会　議　録

会議の名称		第２回つくば市高齢者福祉推進会議		
開催日時		令和２年(2020 年) 6 月 17 日（水）（書面郵送）		
開催場所		書面の郵送により実施		
事務局（担当課）		保健福祉部高齢福祉課		
出席者	委員	森田　信委員、織田　順委員、田宮　菜奈子委員長、山脇　博紀委員、大河原　純也委員、吉場　勉委員、岩﨑　学委員、金野　信子委員、木村　聡委員、梅原　久美子委員、石川　益子委員、室生　勝委員、ホー　真美委員、寺沼　源一委員、成島　淨委員、飯泉　孝司委員、斉藤　秀之委員		
	その他			
	事務局	高齢福祉課：課長　中根、課長補佐　城取、係長　菊池、主任　大津		
公開・非公開の別		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	０人
非公開の場合はその理由				
議題		アンケート調査結果の報告に関すること		
会議次第		１　議題 アンケート調査結果について ２　会議資料 資料１　第８期つくば市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査【概要版】 資料２　第８期つくば市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報書 資料３　つくば市高齢者福祉推進会議委員（第８期）名簿 資料４　つくば市高齢者福祉推進会議事務局名簿 資料５　つくば市高齢者福祉推進会議設置要項 資料６　令和２年度 会議開催予定		

＜書面により意見聴取＞

議題　　アンケート調査結果について

【アンケート調査に関する意見】

岩崎委員　報告書 P355

『あなたは、高齢者の暮らしについてどのように感じていますか』

若年者調査の結果が現状の課題示唆をしており、とても興味深い。高齢期の生活が『楽しみ』と回答した 20.0%の方々が、どのようなポジティブな側面

から楽しみとしているのかと疑問が残った。ポジティブな側面は、加齢に関する施策や啓蒙活動をする上で、マイナス側面同様鍵となる。調査内容にポジティブな側面の掘り下げ項目もあれば尚良かった。

→次回アンケートで検討します。

石川委員　報告書 P61～

『（６）地域での活動について　②スポーツ関係のグループやクラブへの参加』

参加していない、知らないと回答した方が半数を占めているので、何故なのか例をあげて複数回答が出来ると良い。また、アンケート回答対象者に民生委員、ヘルパーも入れてみてはどうかと思った。

→次回アンケートで検討します。

成島委員　今回のアンケート調査の実施期間は、１月 15 日から２月 17 日。その後新型コロナウィルス感染症の流行により４月に緊急事態宣言があり、強い外出自粛要請がなされた。新しい生活様式の提案、今後第２波襲来の可能性もあり、アンケートは現在の実態を反映されているとは言いがたいため、感染対策を含め必要な項目を絞り、再度アンケートを行う必要がある。

→たしかに現状を把握している結果とは言いがたいです。しかし、限られた時間の中での計画策定となるため、国からの方針なども確認しながら、検討します。

【アンケート調査概要版に関する意見】

山脇委員　経年変化が知りたいので、単純な比較は難しいが、『暮らし方、経済状況、ADL、地域とのつながり』など着目すべきカテゴリーが『増加傾向／維持／減少傾向』『改善傾向／維持／悪化傾向』などの三段階評価でもあると重点施策の議論がしやすくなるように思う。

→資料作成中です（見える化システム）

田宮委員長　『市への要望や意見』

自由記載の回答者数の数が分かれば書いて頂いた方が良い。

→　※参考　一般高齢者全 376 件、要支援・要介護者全 222 件、若年者全 174 件、ケアマネ全 50 件

P38　『ケアマネ調査結果抜粋(関係機関との連携について)』

『医療との連携』についての経年比較があると良い

→資料作成中です

P39　『退院前カンファレンスへの参加』

『カンファレンスの参加』なども過去の比較があると良い

→カンファレンスへの参加項目については、前回とやや異なるため（前回は、『サービス担当者会議以外で、前回は業務や担当しているケースについて、多職種で検討できるカンファレンスのような場で相談したことがあるか』）、経年比較はできませんでした。

代わりに『サービスの質の向上に向けた研修への参加』について経年変化の表を作成中です。

P42『介護前段階の高齢者の生活状況について』

・現行計画策定時のアンケートの比較について知りたい

→山脇委員と同様、見える化で対応できるか検討中です

・高齢者の外出の頻度が知りたい

→経年比較の資料を作成中です

斉藤委員　P3『現在の暮らしの状況』

・要支援 2、要介護 1、要介護 2、それぞれ「大変苦しい」「やや苦しい」で約 3 割あることへの対応が必要。

・若年者のどの年代でも「大変苦しい」「やや苦しい」で約 25%程度あることの原因と対策が必要。

P4『外出の有無』

・要支援 1、要支援 2、要介護 1、それぞれ「ほとんど外出しない」15%－20%であることへの対応が必要。

・要介護 3 より重度、とりわけ要介護 4 で「ほとんど外出しない」の比率が高く、その対策が必要。

P5『外出の回数』

・要支援 1、要支援 2、要介護 1、要介護 2、それぞれ「とても減っている」「減っている」が 50%後半であることへの対応が必要。

P6-7『外出の際の移動手段』

・一般高齢者に比べ要支援 2 より重度介護者の路線バス利用がきわめて低く、使用しにくい状況では。そうであるとしたら、対策を講じては。

・一方で、病院・施設のバス、車いす、歩行器・シルバーカーおよびタクシー使用が高いことも前記の対策のヒントでは。

P10『買い物等ができているか』

「できるけどしていない」を「している」に高める方策が必要。

（一般高齢者＞要支援・要介護者）

P11『生きがいの有無』

要介護３の「生きがいあり」の低さに対する対策が必要。

P12『趣味等のグループ活動への参加について』

要支援・要介護者の地域活動は、多いに検討すべきでは。

P14『家族や友人以外の相談相手』

要支援･要介護者のその他の内訳を知りたい(→自由記述書 P80 を次回提示)

P17『健康保持や疾病予防のための取り組み』

要支援・要介護者の定期的な診察の診療科やその目的を知りたい

（→内訳はアンケートでとっていないため、不明。次回検討します。）

P18『在宅生活の継続に必要と感じる支援』

要支援・要介護者の基本的な在宅生活支援に対する対策を講じておく必要がある

P23・24『暮らしの場所』

要支援･要介護者となっても在宅生活を過ごせるような体制や風土つくりが必要

P35『市への要望や意見』　一般高齢者

介護予防、健康づくり、軽い運動、筋力強化、筋力トレーニング、シルバーリハビリ体操、の声が多く、さらに強化するための部会を位置づけることはどうか。

P36『市への要望や意見』　要支援・要介護者

・ワンストップの相談機関を設置しては。

・徒歩 15-20 分圏に高齢者サロン・カフェなどを設置しては。

P42『考察　介護前段階の高齢者の生活状況について』

具体的に検討する専門化による部会を設置しては。

P43『考察　介護予防事業への参加について　在宅生活継続への支援について』

･介護予防事業については更に強化するための専門家による部会を位置づけてはどうか。あるいはさらに強化するための大胆な施策を講じるべきでは。

･在宅サービスの充実に加え、その方の残存能力を引き出す個別ケア会議からの能力再獲得、つまり理学療法、作業療法、言語聴覚療法を在宅で受けられる体制を推進していくべきである。

室生委員　P42～　重点領域に関して以下の考察を追加。

1.介護前段階の高齢者の生活状況について

『家族構成』

一般高齢者（70～74 歳）に一人暮らしと高齢者夫婦が 62%と多く、2025 年問題の対応が必要。また、要支援の一人暮らし・高齢者夫婦が 50%以上で介護予防の充実が必要。

『現在の暮らしの状況』

H26、H29 の「苦しい」に比べ、増加程度を調査すべき。

→経済状況の経年変化を作成　H26 年度は「大変苦しい」「ふつう」がないため、比較は不可でした。

『外出の回数』

一般高齢者（後期高齢者）で急激に減少。介護予防で対応。

『外出の際の移動手段』

後期高齢者の自動車運転が減少。運転免許証返納で更に進む。電動自転車貸与サービス、つくバスとつくタクの充実を。

2.介護予防事業への参加について

『趣味等のグループ活動への参加について』

・介護予防のための通いの場の参加率が低いのは、徒歩では遠く、交通手段が無い場合や内容(メニュー)が魅力的でない場合が多いためかも知れない。趣味、学習・教養サークルの場合も同様。

・市の一般介護予防事業（ＩＣＴ高齢者いきいき健康アップ、いきいきプラザ運動教室、自主活動支援事業、出前体操教室等）は見直しの時期が来ていると思う。

3.在宅生活継続への支援について

移送サービス、配食サービス、買い物サービス等を提供する側の充実も大きな課題。

4.市のサービスや公的制度の周知について

・市民は問題に直面して初めてサービスや制度の情報を求める傾向にある。日頃から架空例を用いて学習する機会を多くし、その際に印刷物で確認する方法がよいと思う。

・市ホームページの中で、介護・福祉・在宅医療に関する部分の活字を大きくし、解り易い文章に改訂すべき。リアルタイムに改訂し、住民が希望すれば地域包括ケアセンターで印刷提供する（冊子の度々の改訂は困難）。

5.家族の介護負担について

家族介護者の要望を取り入れた生活支援・介護予防サービスの充実を図る。通所サービスは従来のデイサービス・デイケアのほかに「高齢者憩いの広場」を利用する。訪問サービスは住民ボランティア、NPO、民間企業等のサービス（移送サービスによる通院および買い物支援、調理、掃除などの家事支援）、社協の見守りネットワークによる見守り、安否確認等を推進する。

「高齢者憩いの広場」の位置づけを提言

運営は前期高齢者とし、健康保持・疾病予防や趣味・筋トレ・体操等の地域づくりの拠点とする。運動や文化的活動の他に、介護と福祉、認知症対応、

在宅医療、ＡＣＰ、成年後見制度等の啓蒙講座も行い、市のサービスや公的制度について学習出来る場とする。座学は出前講座講師（医師、訪問看護師、リハビリ職、保健師等で分担）や有識者ボランティアに、実技指導は運動推進員やシルバー体操指導士が担当。場所は、つくバス停留所付近の空き家に適正配置。

寺沼委員　P23『暮らしの場所について』

やはり「自宅」と回答している方が多い。築年数の経過している住宅では、バリアフリーや火気等の面で必ずしも要支援者のためになっていない構造であると思われる。改修については、相当の費用も必要になることから、自治体からの支援（補助金）を考慮することも必要ではないか。自宅での介護が必要であれば、施設不足を補う結果にもなると思われる。

金野委員・梅原委員・岩崎委員

P20『ＡＣＰの認知』等

・介護サービスの情報及びＡＣＰの重要性、成年後見制度等認知していただけるような方法を考える時期に来ている。

・ケアマネジャー調査では、ＡＣＰの言葉を知らないケアマネジャーが32.2%となった点は残念。利用者への支援を通じ、啓蒙していく事が求められる立場である事から、言葉の理解に留まらず、実践を通じた取組を含め、ケアマネジャー連絡会として、会員と専門多職種、市民の皆様と供に学びを深める機会が必要である。

木村委員　P18『今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて』

自治会に入っていないためにゴミ出しが出来ずに困っているというケースに関わったことがある。第三者から見てもゴミを出す以外に高額な入会金を払ってまで自治会に入るメリットはないと思われる。ゴミ出し出来ずに困っているケースは多いと思われ、ゴミ出しを支援するサービスが必要。

【その他の意見】

織田委員　見通しは難題だが、コロナ禍は避けて通れない問題。対応の組み入れは避けて通れないのでは。

地域包括支援センターが充実し出したので、必要者への浸透と担当者の一層の充実が必要。

行政として、ケアマネジャーの構図は、医療法人・社会福祉法人・民間の施設のうち、どの形態が望ましいのか。

木村委員　犬を飼っていた独居高齢者が病気で倒れ、飼い主不在となってしまったケースがあった。高齢者のペット問題が社会問題となっているが、一方でペットを飼うことが精神的な支えや生きがいになったり、散歩することで身体機能の維持や向上につながったりなどのメリットもある。ペットを家族同然と考える人も多く、高齢になっても安心してペットが飼えるサービスがあれば高齢者の暮らしが豊かになるのでは。

岩崎委員　『若年者について』
若年者を取り込む切り口に、口腔ケア、口や歯の健康は有効なテーマ。
自分が被介護者となった場合は、自宅、家族・親族がなった場合は施設と介護を受ける場所として望む場所が異なる点は、家族、親族に起こることを、自分に起こる『わが事』として捉えることの難しさを示唆。
若年者の感じる地域とのつながりの希薄さ、民生委員や区会との接点の低さは、地域における、若年者層の孤立を示唆しており、今後、地域包括ケアを推進していく上でも、大きな課題となると感じ、ケアマネジャーを含め、個人と地域と専門職、制度のつながりを紡ぐ取組の必要を感じた。
『ケアマネジャーについて』
今後、段階の世代が 85 歳を迎え、要介護認定者が爆発的に増えるであろう 2035 年を想定すると、現状で既に人材が逼迫している介護サービス事業者のみでは、地域での利用者、家族の生活を支えきれない事が懸念される。地域の特性を活かした、自助、共助、公助の仕組み作りが必要となる中、地域包括ケアシステムの推進には、地域とケアマネジャーのつながりの重要性は増していくと考える。ケアマネジャー連絡会を挙げて、能動的な地域とのつながり作りへの取り組みの必要性を感じた。

ホー委員　アンケート調査概要版を読んで思うことは、要支援要介護者に関わっている人々と行政との間で考え方に開きがある。まずは介護予防に力を入れるという姿勢は間違いでなく、長期的にみても必要。賛成だが、その反面支援や介護を必要としている人の不安や不満も気になる。予算も限られている中で個々のモチベーションを上げて行くにはどうするか。

森田委員　私たちは、人生の最後には誰でも高齢になり、病を得、そして死を迎えるわけだが、つくば市は高齢者が安心して人生の最後を送れる自治体であってほしいと願う。限られた予算の中では、あれもこれもというわけにはいかない。集中と選択が言われる。その際に、この資料が大いに役立つことと思う。是

非今後の高齢者福祉施策に役立てていただきたい。

事務局　　今回は、書面での会議開催となりましたが、丁寧に資料を見て頂き、御意見をいただきまして、ありがとうございました。

皆様からいただいた御意見等につきましては、各担当と共有し、今後の施策展開の参考とさせていただきます。

連絡事項

次回の会議は８月下旬頃を予定しています。

会議内容は①今回の御意見をまとめた資料、②７期の進捗状況評価、③第８期の計画骨子案についての協議を予定しています。

第８期つくば市高齢者福祉計画策定のための
アンケート調査【概要版】

１．調査概要

（１）調査目的

本調査は、「つくば市高齢者福祉計画（８期）」を策定するため、本市の高齢者の生活状況や健康状態、施策等への考え方やサービスに関するニーズなどを把握し、令和３年度から令和５年度を計画期間とする新たな計画を策定するうえでの基礎資料として活用することを目的として実施しました。

（２）調査対象および調査方法

・調査実施日：令和２年１月 15 日～令和２年２月 17 日

・調査方法：郵送配布、郵送回収

対象者	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者 （65 歳以上の市民）	3,000	1,821	1,821	60.7% （H29　51.9%）
要支援・要介護認定者 （要支援･要介護にある 65 歳以上の市民）	3,000	1,502	1,502	50.1% （H29　42.9%）
若年者 （40 歳～64 歳までの市民）	2,000	806	805	40.3% （H29　36.3%）
ケアマネジャー	250	174	171	68.4% （H29　58.0%）

（３）調査票について

一般高齢者調査票、要支援・要介護者調査票については、厚生労働省から高齢者福祉計画（８期）を策定するために示された、アンケート調査票のひな形を参照しつつ、本市としてきめ細やかな実態把握やサービス需要等を把握するために独自設問を追加して調査を実施しています。

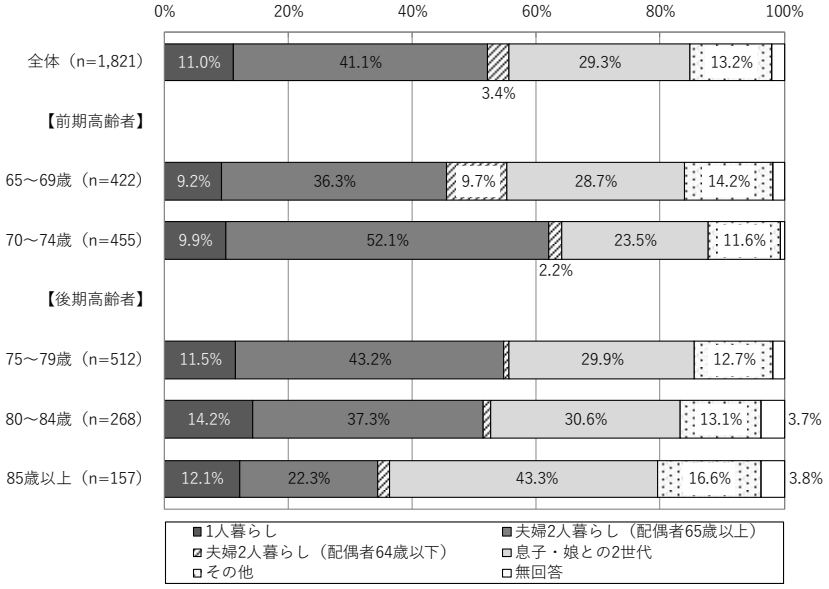
２．一般高齢者調査、要支援・要介護者調査、若年者調査結果抜粋

（１）あなたの御家族や生活状況について

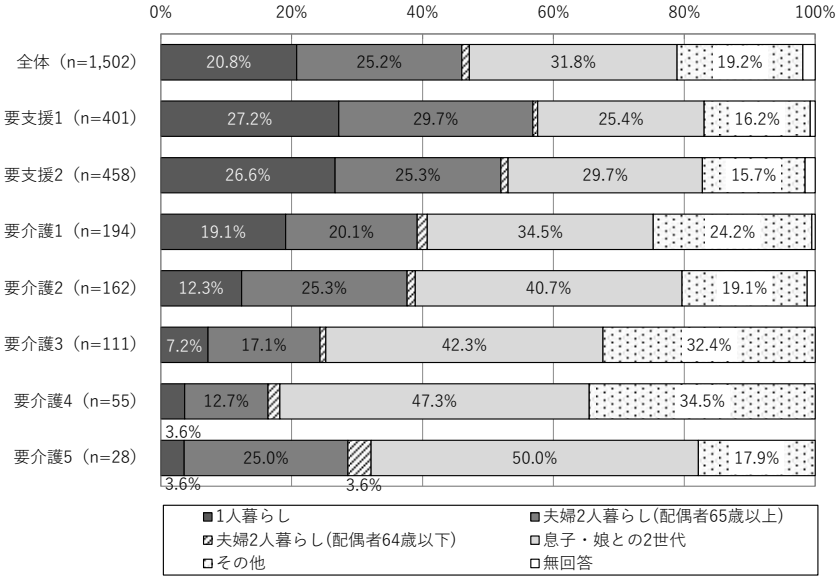
家族構成について、一般高齢者では「夫婦２人暮らし」が４割と最も多く、要支援・要介護者、若年者では「息子・娘との２世代」が約３～４割と最も多くなっています。

【家族構成】

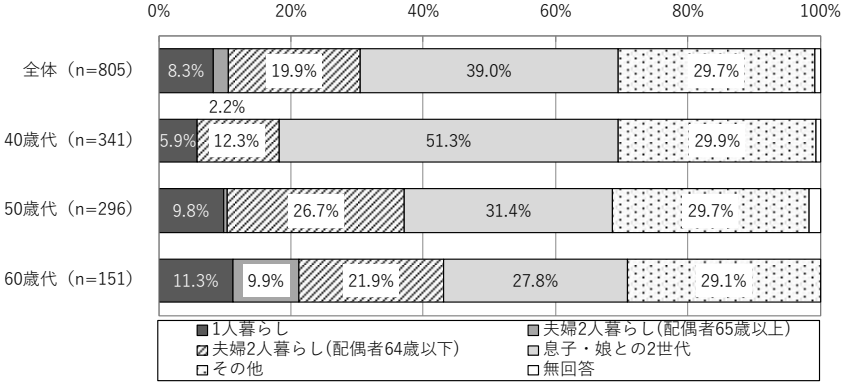
一般高齢者



要支援･要介護者



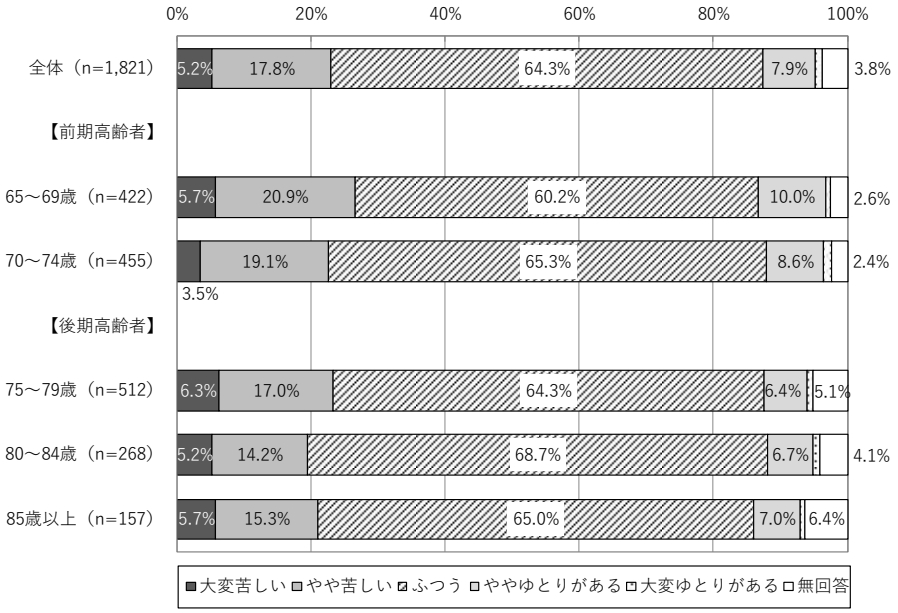
若年者



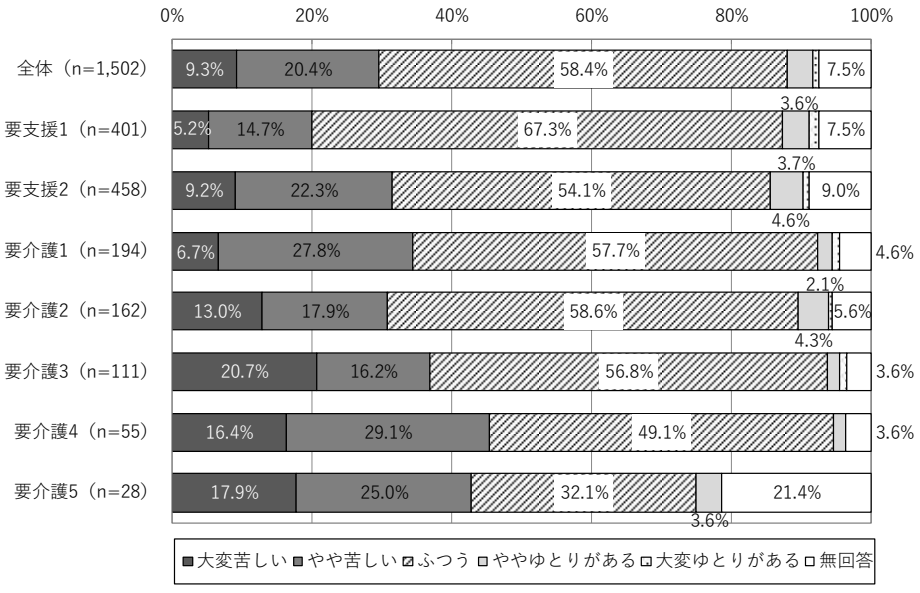
現在の暮らしの状況では、「ふつう」がどの調査でも最も多くなっていますが、要支援・要介護者において「大変苦しい」、「やや苦しい」を合わせると約３割となり、他の調査と比較するとやや多くなっています。

【現在の暮らしの状況】

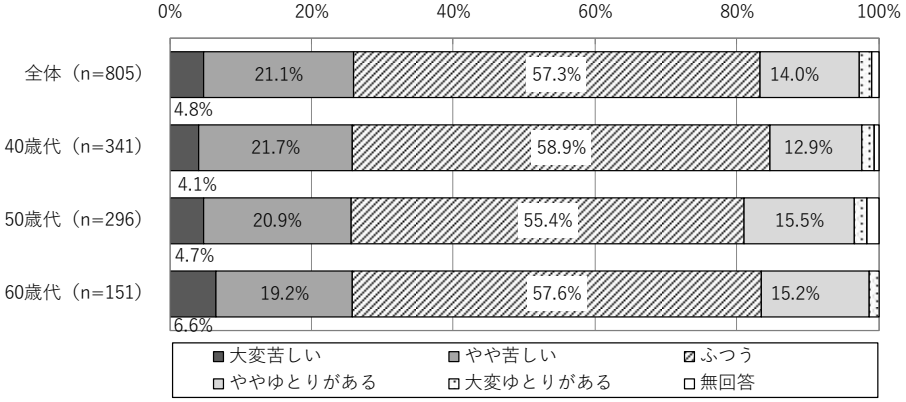
一般高齢者



要支援・要介護者



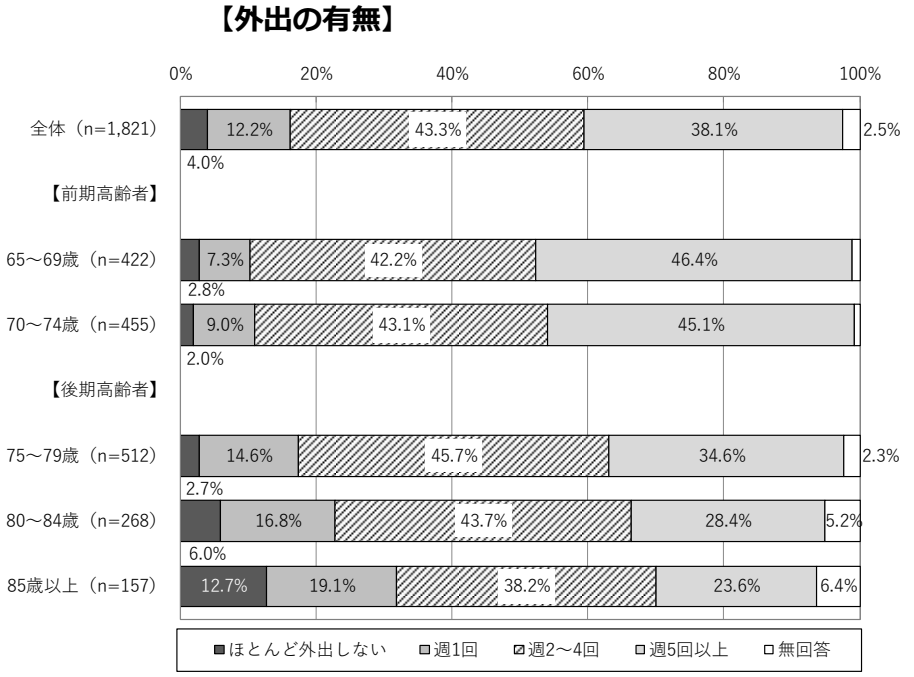
若年者



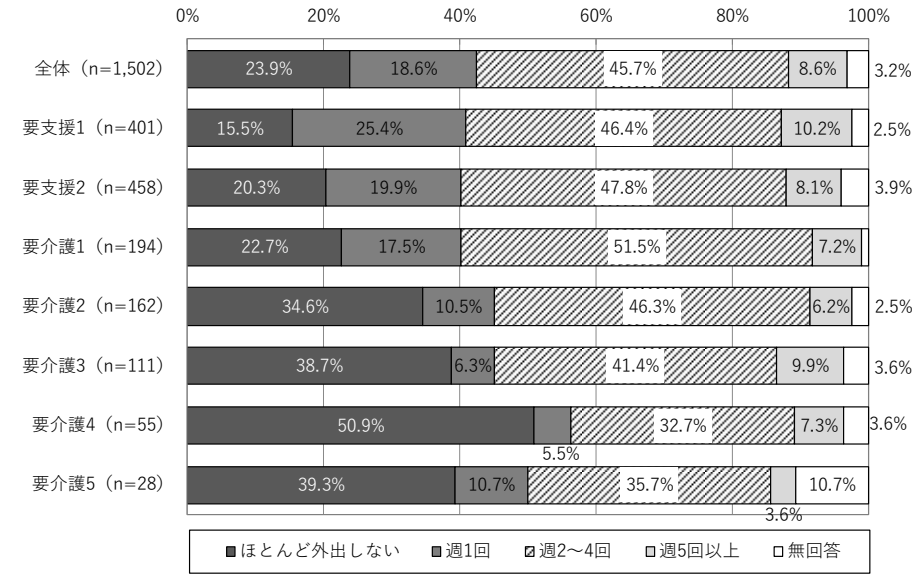
（２）からだを動かすことについて

週に１回以上は外出しているかでは、一般高齢者、要支援・要介護者ともに「週２～４回」が約４割と最も多く、要支援・要介護者では「ほとんど外出しない」が約２割となっています。

一般高齢者



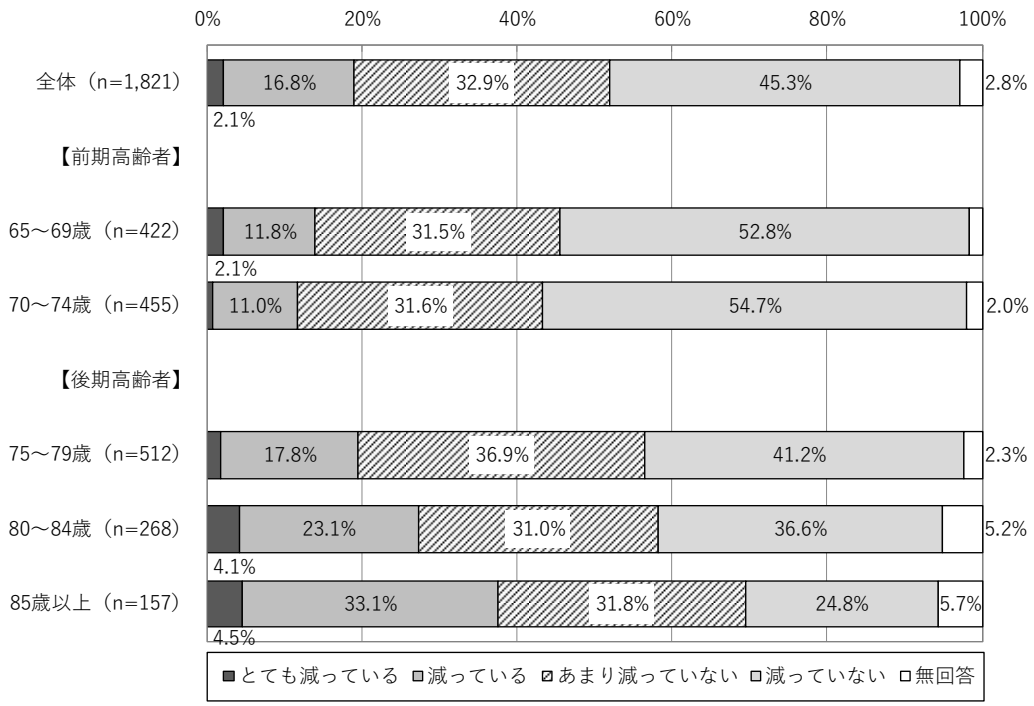
要支援・要介護者



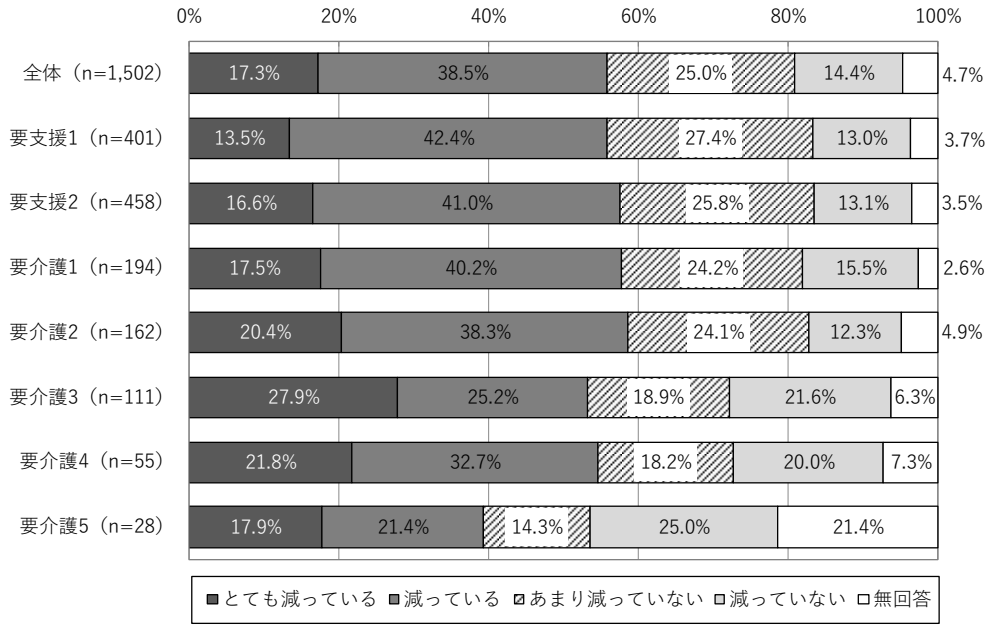
昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、一般高齢者では「減っていない」が４割と最も多く、要支援・要介護者では「減っている」が約４割となっています。

【外出の回数】

一般高齢者



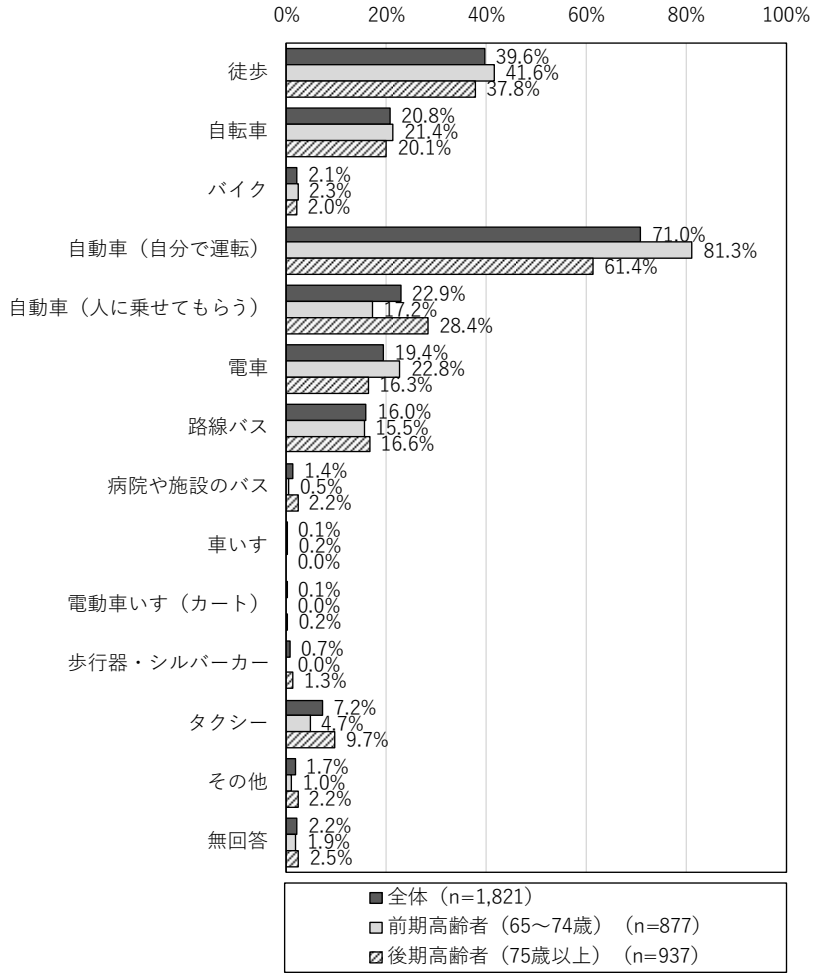
要支援・要介護者



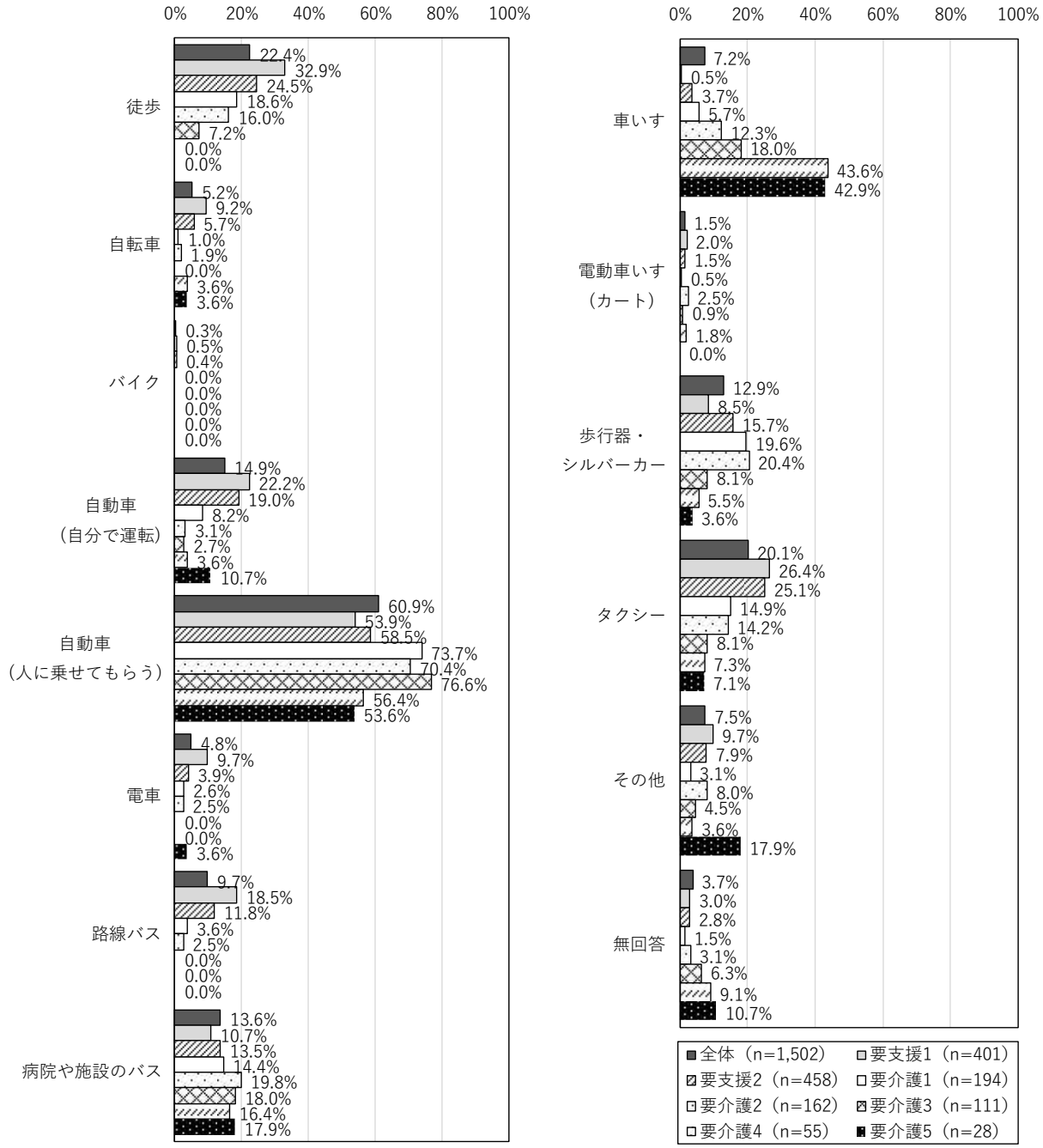
外出する際の移動手段をみると、一般高齢者では「自動車（自分で運転）」が７割と最も多く、要介護者では、「自動車（人に乗せてもらう）」が６割となっています。

【外出の際の移動手段】

一般高齢者



要支援・要介護者

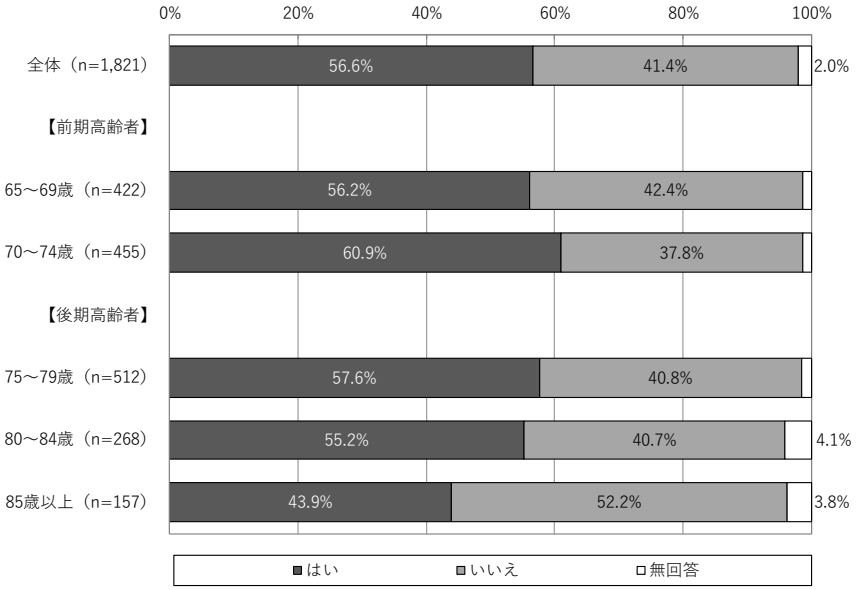

0%
20%
40%
60%
80%
100%
徒歩
22.4%
32.9%
24.5%
18.6%
16.0%
7.2%
0.0%
0.0%
自転車
5.2%
9.2%
5.7%
1.0%
1.9%
0.0%
3.6%
3.6%
バイク
0.3%
0.5%
0.4%
0.0%
0.0%
0.0%
0.0%
0.0%
自動車
（自分で運転）
14.9%
22.2%
19.0%
8.2%
3.1%
2.7%
3.6%
10.7%
自動車
（人に乗せてもらう）
60.9%
53.9%
58.5%
73.7%
70.4%
76.6%
56.4%
53.6%
電車
4.8%
9.7%
3.9%
2.6%
2.5%
0.0%
0.0%
3.6%
路線バス
9.7%
18.5%
11.8%
3.6%
2.5%
0.0%
0.0%
0.0%
病院や施設のバス
13.6%
10.7%
13.5%
14.4%
19.8%
18.0%
16.4%
17.9%
車いす
7.2%
0.5%
3.7%
5.7%
12.3%
18.0%
43.6%
42.9%
電動車いす
（カート）
1.5%
2.0%
1.5%
0.5%
2.5%
0.9%
1.8%
0.0%
歩行器・
シルバーカー
12.9%
8.5%
15.7%
19.6%
20.4%
8.1%
5.5%
3.6%
タクシー
20.1%
26.4%
25.1%
14.9%
14.2%
8.1%
7.3%
7.1%
その他
7.5%
9.7%
7.9%
3.1%
8.0%
4.5%
3.6%
17.9%
無回答
3.7%
3.0%
2.8%
1.5%
3.1%
6.3%
9.1%
10.7%
全体（n=1,502）
要支援1（n=401）
要支援2（n=458）
要介護1（n=194）
要介護2（n=162）
要介護3（n=111）
要介護4（n=55）
要介護5（n=28）

（3）食べることについて

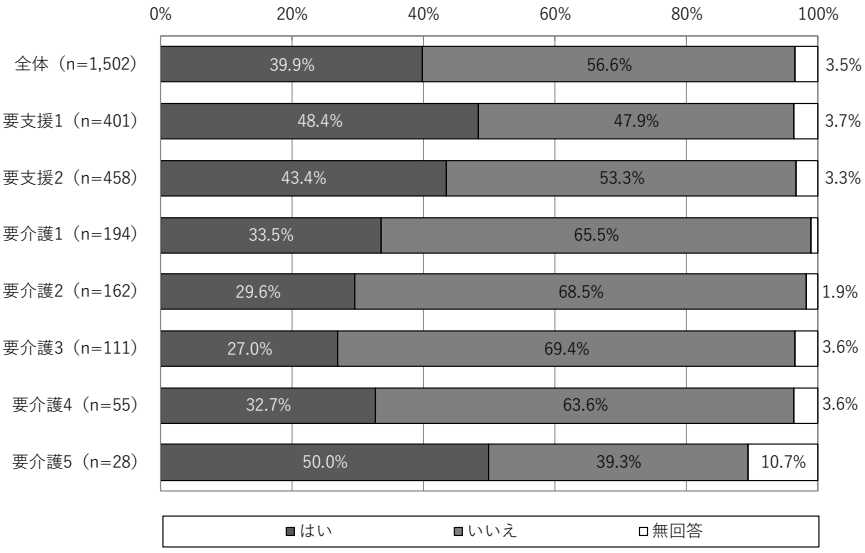
定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかでは、一般高齢者と若年者は受診しているが約５割となっていますが、要支援・要介護者では、約４割となっています。

【定期的な歯科健診の受診】

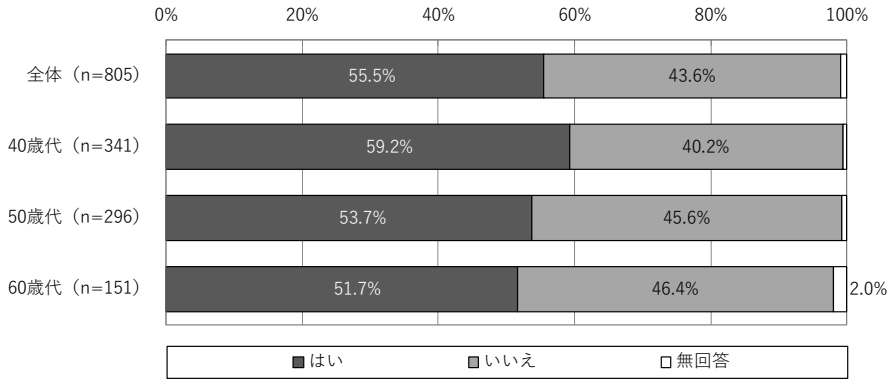
一般高齢者



要支援・要介護者



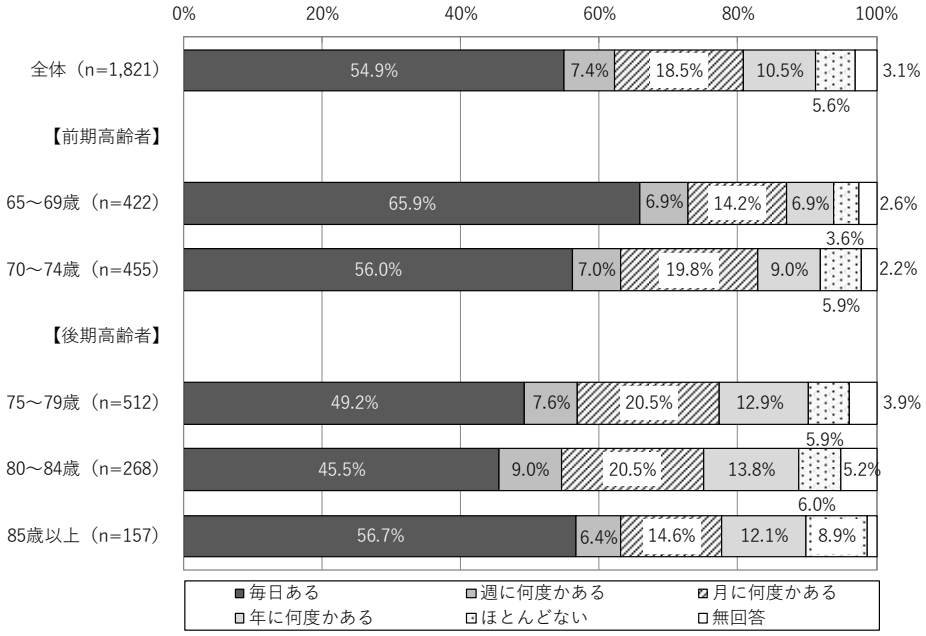
若年者



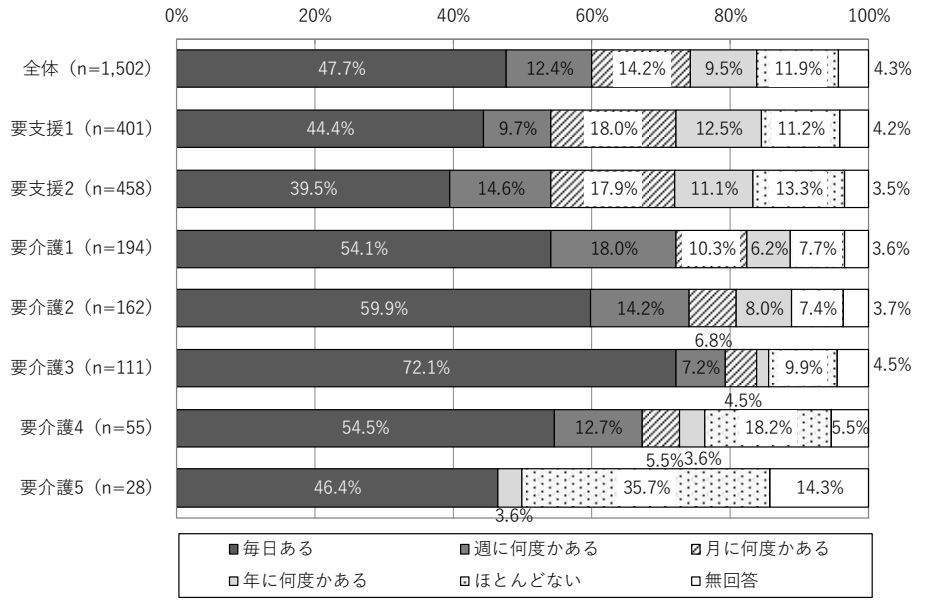
共食の機会について、一般高齢者と要支援・要介護者を比較すると、「毎日ある」の回答は一般高齢者のほうが高くなっています。

【共食の機会】

一般高齢者



要支援・要介護者

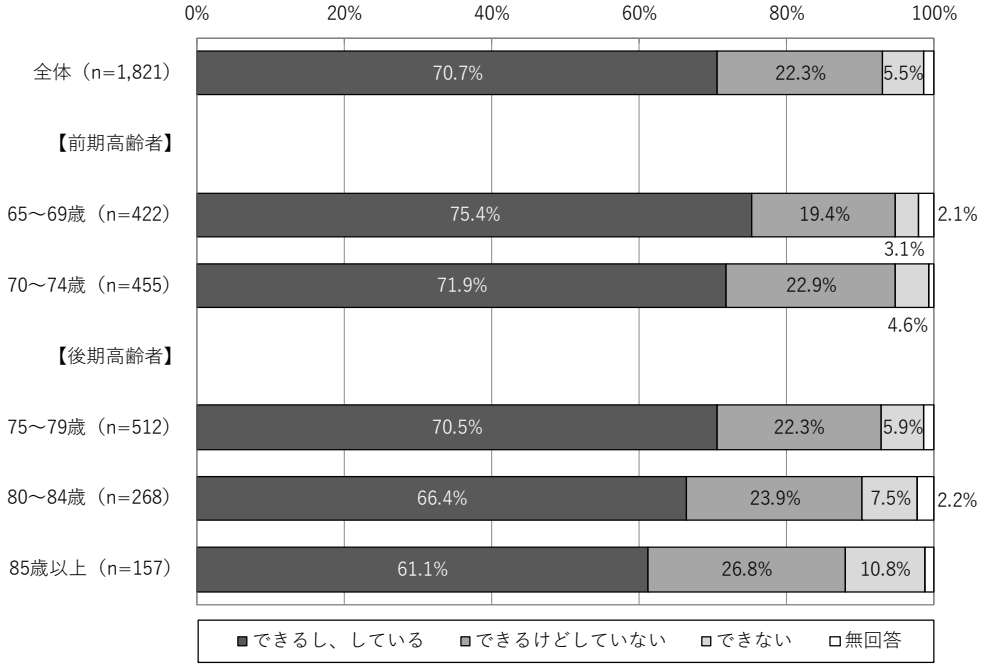


（４）毎日の生活について

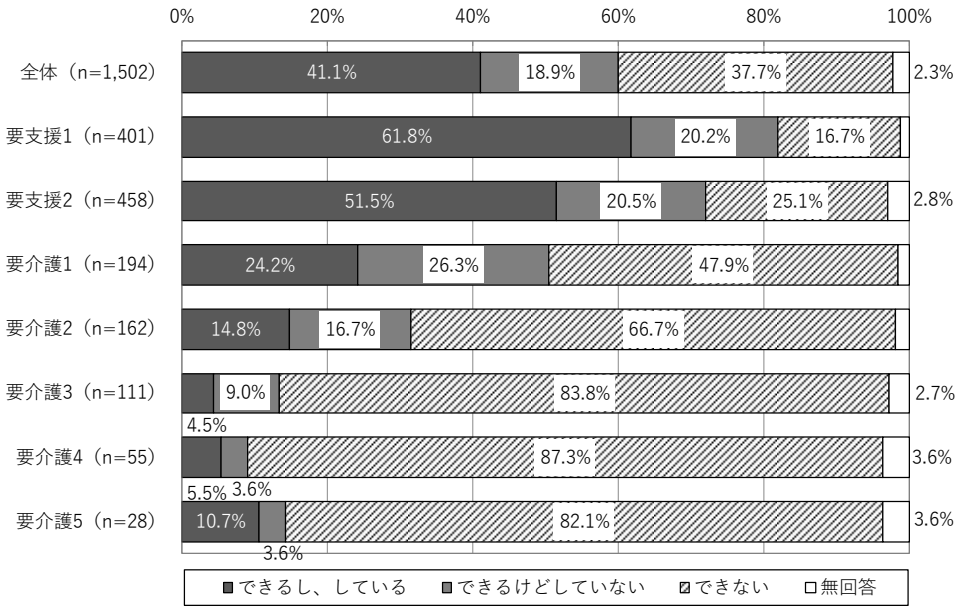
自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できるし、している」の回答は、一般高齢者が多く７割となっており、要支援・要介護者と比較すると約 30 ポイント高くなっています。

【買い物等ができているか】

一般高齢者



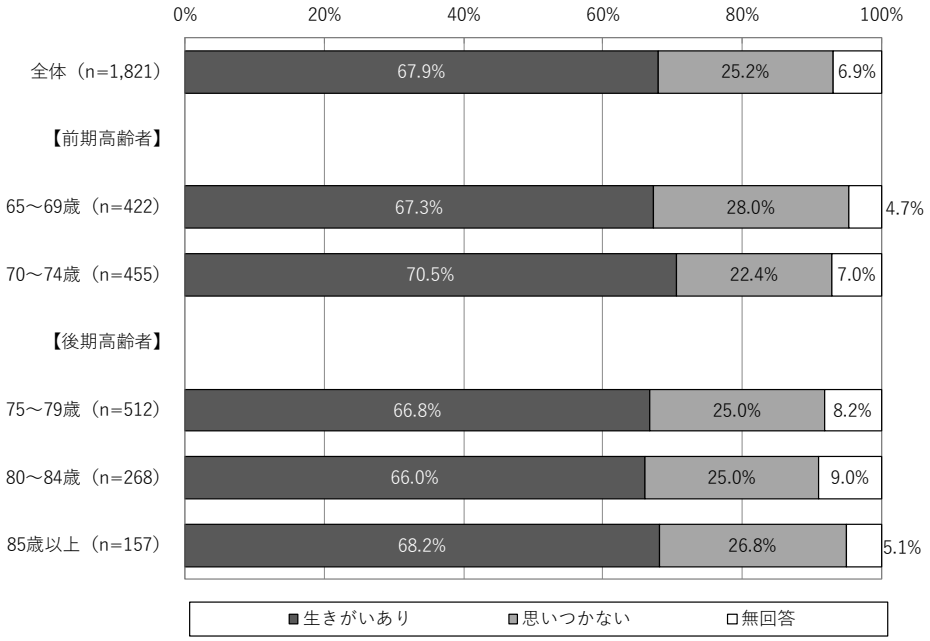
要支援・要介護者



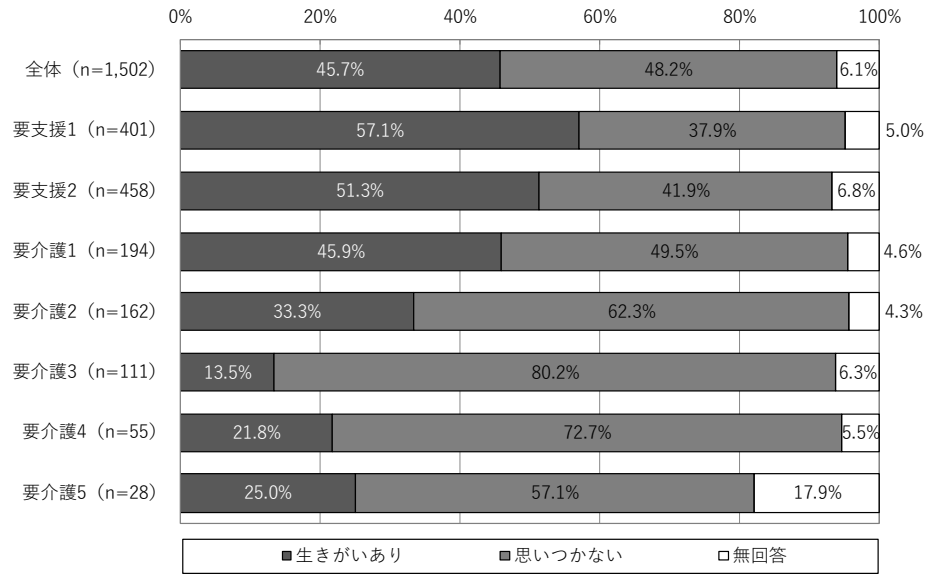
生きがいの有無について、「生きがいあり」は一般高齢者では約７割、要支援・要介護者では約４割となっています。

【生きがいの有無】

一般高齢者



要支援・要介護者

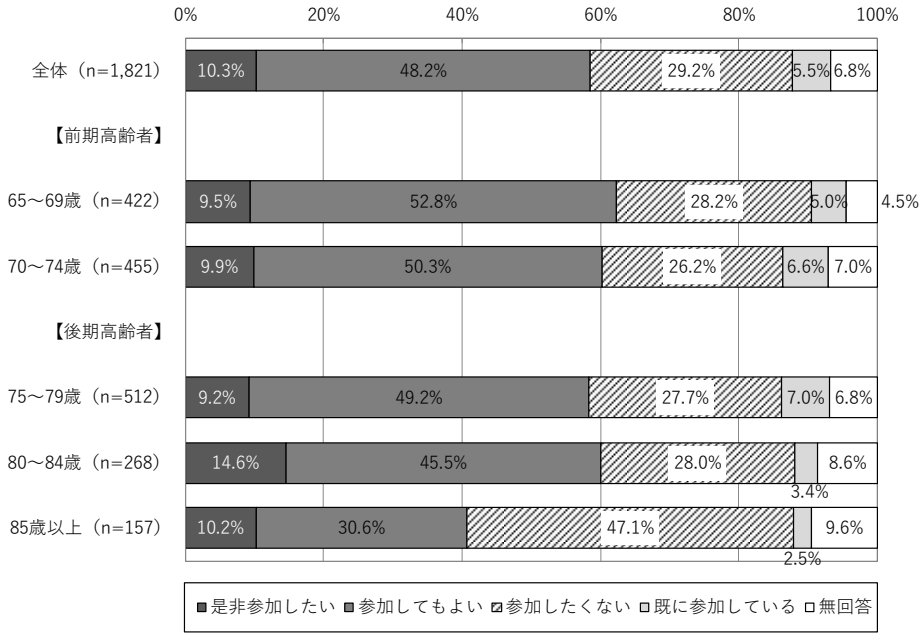


（５）地域での活動について

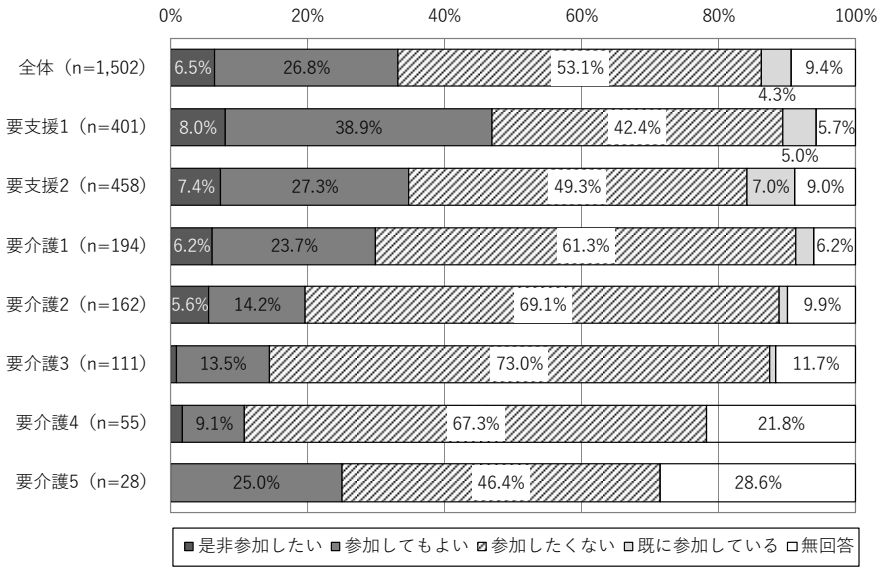
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、一般高齢者、若年者では、「参加してもよい」の回答が多く、要支援・要介護者では「参加したくない」が約５割となっています。

【趣味等のグループ活動への参加について】

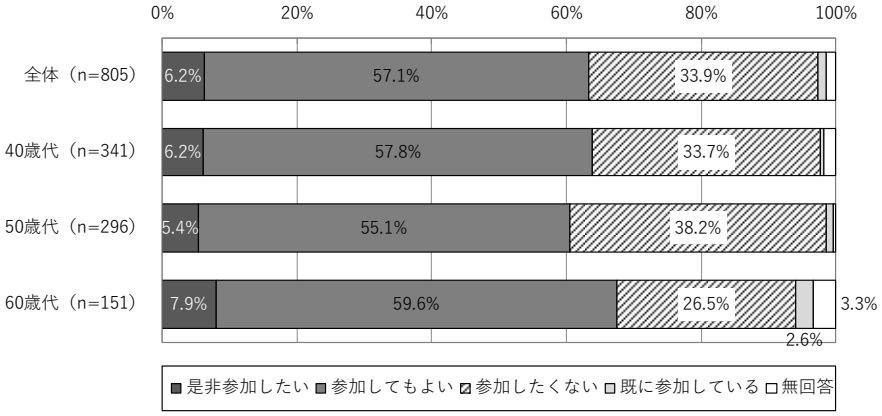
一般高齢者



要支援・要介護者



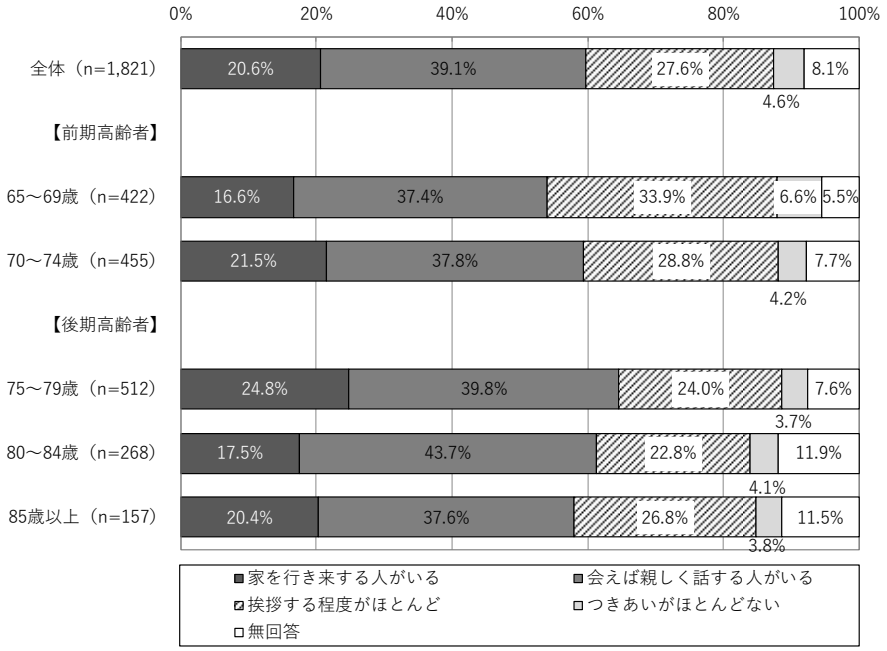
若年者



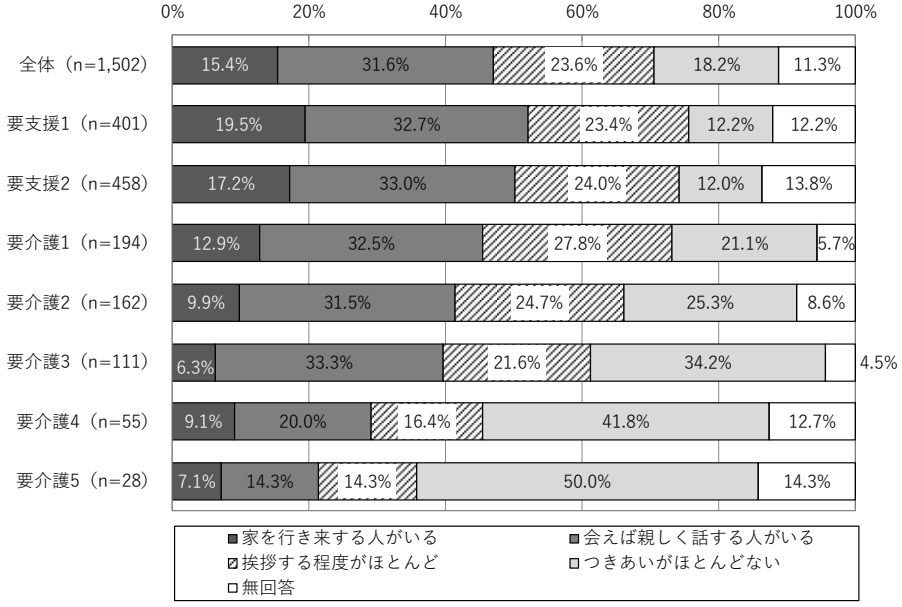
近所付き合いの有無は、一般高齢者と要支援・要介護者では、「会えば親しく話する人がいる」が最も多く、若年者では「あいさつする程度がほとんど」が約５割と最も多くなっています。

【近所付き合いの有無】

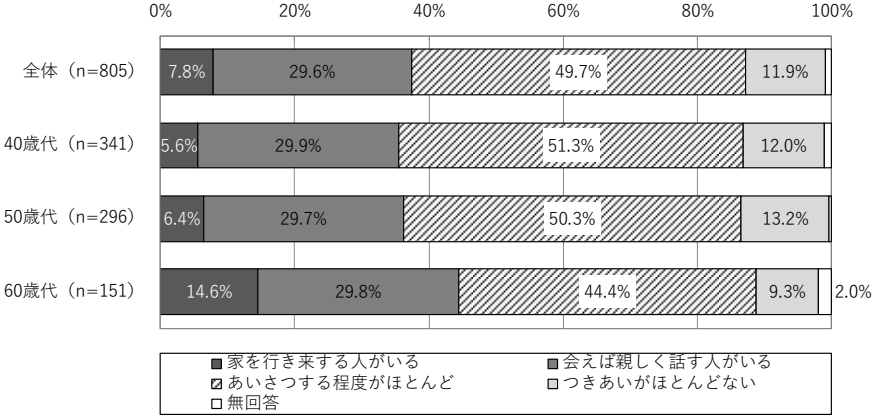
一般高齢者



要支援・要介護者



若年者



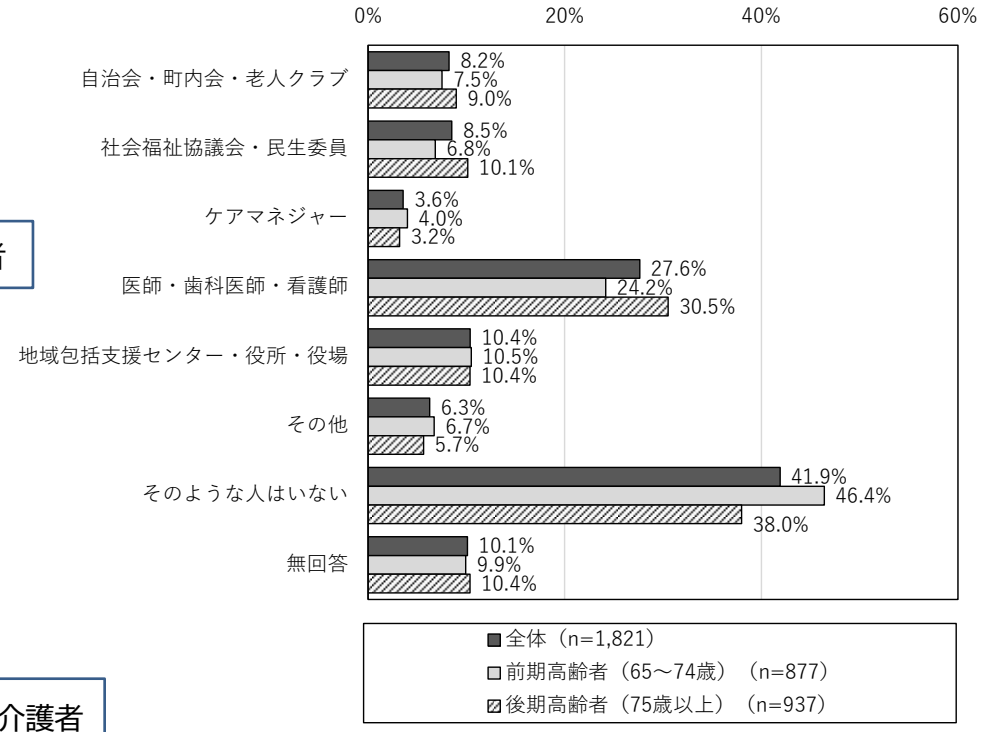
（６）たすけあいについて

家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手については、一般高齢者では、「医師・歯科医師・看護師」が約３割、要支援・要介護者ではケアマネジャーが約５割となっています。

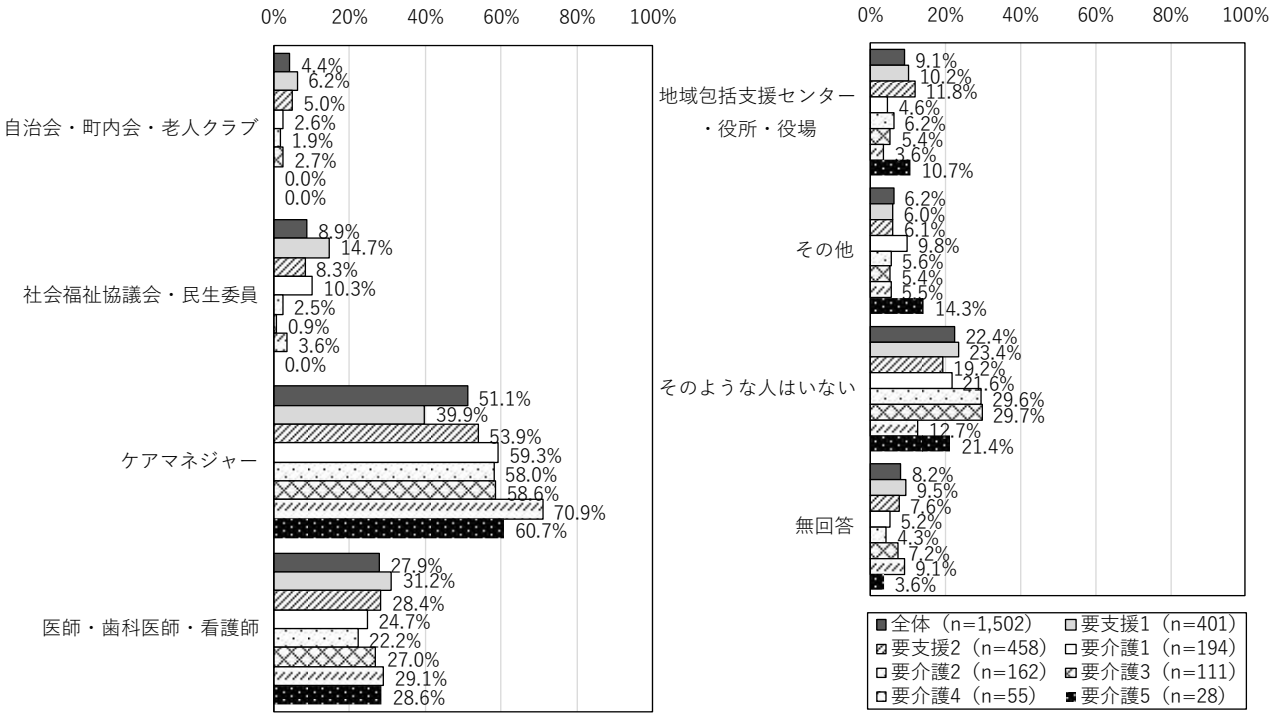
また、一般高齢者では「そのような人はいない」が約４割となっています。

【家族や友人以外の相談相手】

一般高齢者



要支援･要介護者

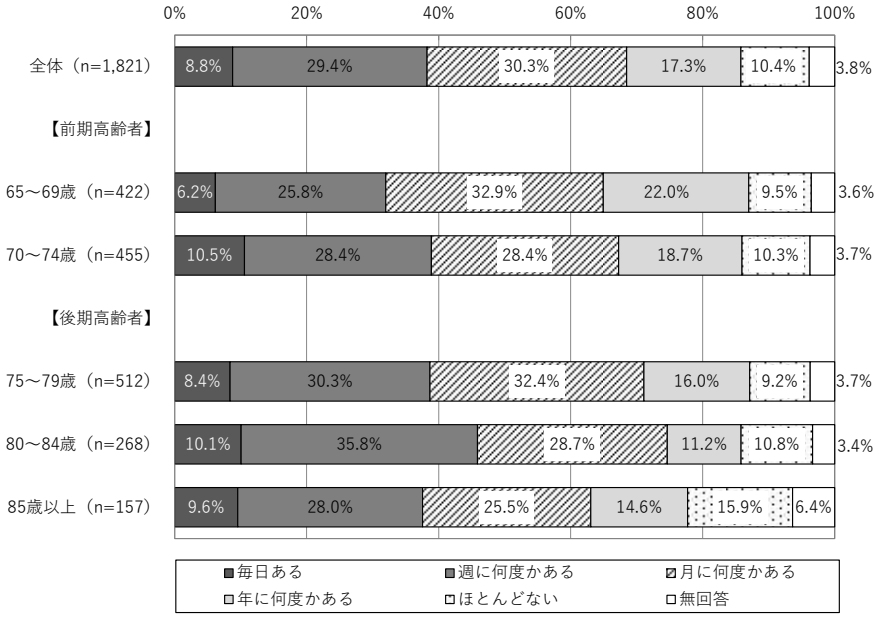


友人･知人と会う頻度について、一般高齢者では「月に何度かある」が約３割、若年者では「年に何度かある」が約３割となっています。

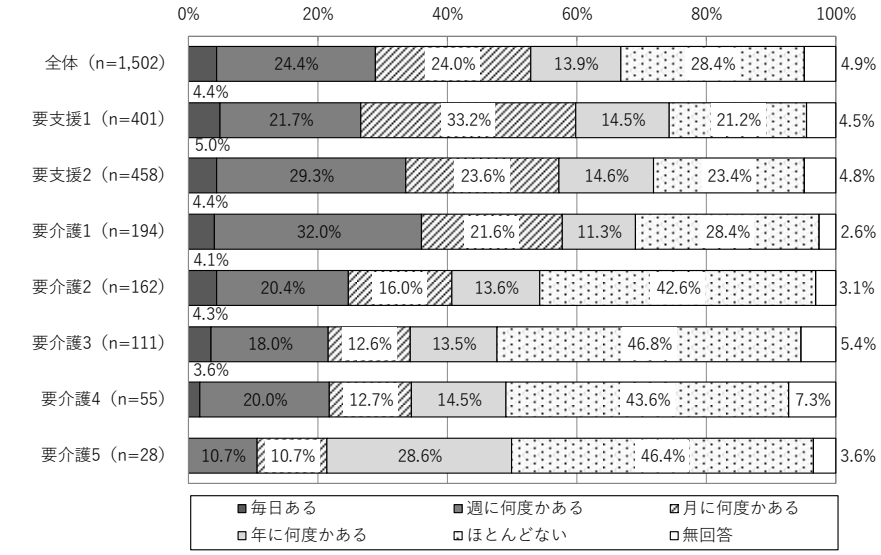
要支援・要介護者では「ほとんどない」が約３割と最も多くなっています。

【友人･知人と会う頻度】

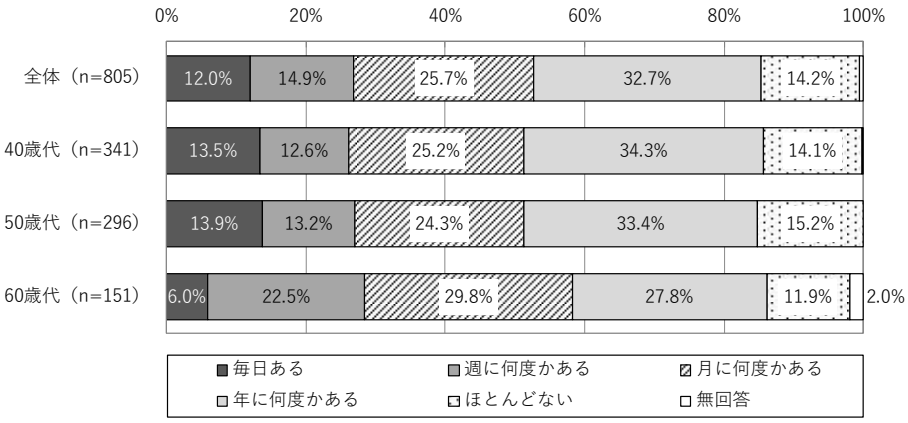
一般高齢者



要支援・要介護者



若年者

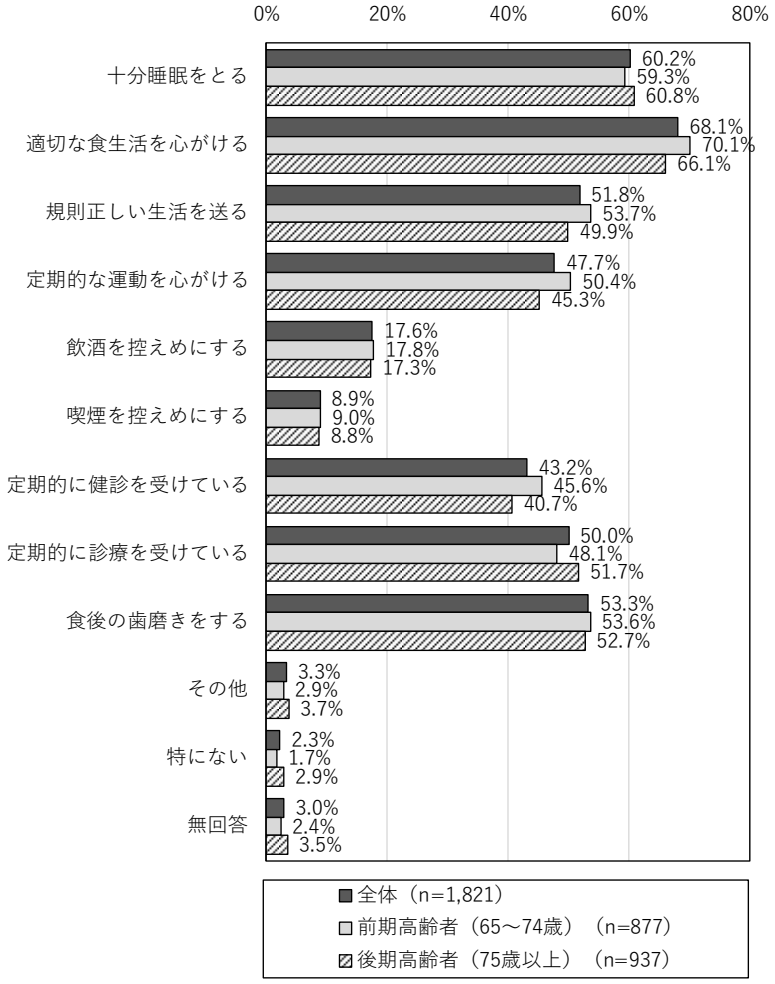


（７）健康について

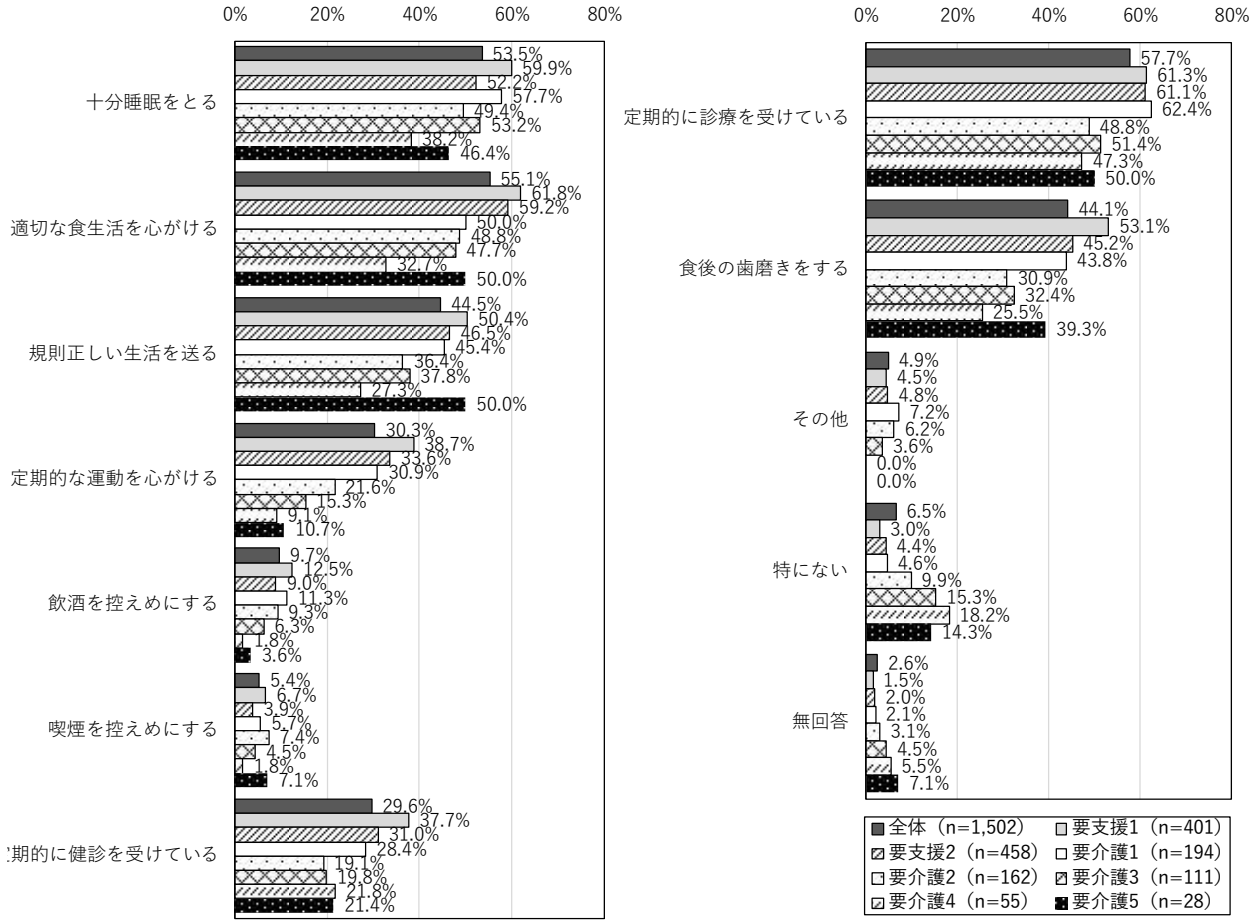
健康保持や疾病予防のための取り組みは、一般高齢者及び若年者では、「適切な食生活を心がける」が最も多く、要支援・要介護者では「定期的に診療を受けている」が約６割と最も多くなっています。

【健康保持や疾病予防のための取り組み】

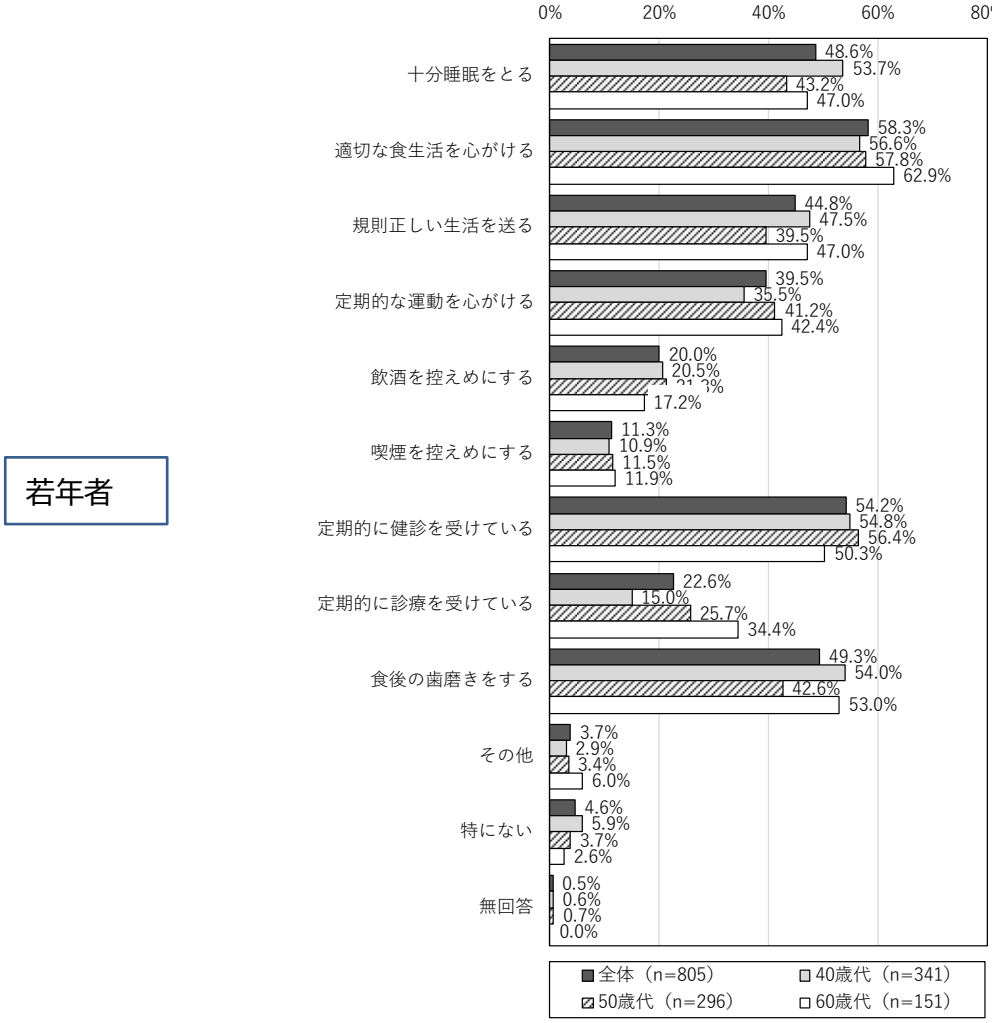
一般高齢者



要支援・要介護者


0%
20%
40%
60%
80%
十分睡眠をとる
53.5%
59.9%
52.2%
57.7%
適切な食生活を心がける
55.1%
61.8%
59.2%
50.0%
規則正しい生活を送る
44.5%
50.4%
46.5%
45.4%
定期的な運動を心がける
30.3%
38.7%
33.6%
30.9%
飲酒を控えめにする
9.7%
12.5%
9.0%
11.3%
喫煙を控えめにする
5.4%
6.7%
3.9%
5.7%
定期的に健診を受けている
29.6%
37.7%
31.0%
28.4%
定期的に診療を受けている
57.7%
61.3%
61.1%
62.4%
食後の歯磨きをする
44.1%
53.1%
45.2%
43.8%
その他
4.9%
4.5%
4.8%
7.2%
特にない
6.5%
3.0%
4.4%
4.6%
無回答
2.6%
1.5%
2.0%
2.1%
全体（n=1,502）
要支援1（n=401）
要支援2（n=458）
要介護1（n=194）
要介護2（n=162）
要介護3（n=111）
要介護4（n=55）
要介護5（n=28）

若年者

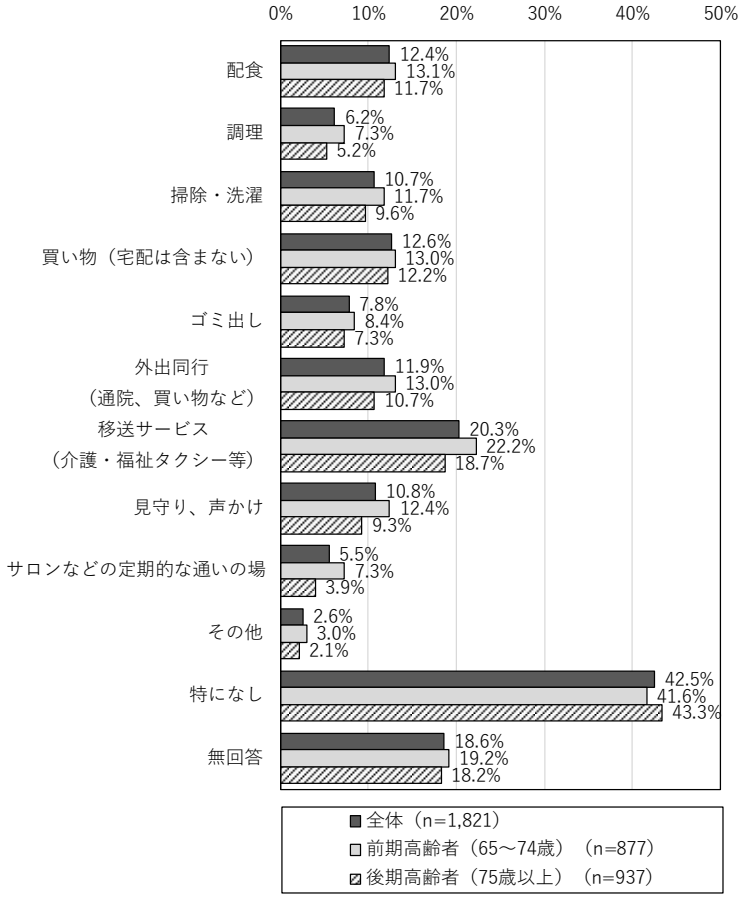

0%
20%
40%
60%
80%
十分睡眠をとる
48.6%
53.7%
43.2%
47.0%
適切な食生活を心がける
58.3%
56.6%
57.8%
62.9%
規則正しい生活を送る
44.8%
47.5%
39.5%
47.0%
定期的な運動を心がける
39.5%
35.5%
41.2%
42.4%
飲酒を控えめにする
20.0%
20.5%
17.2%
喫煙を控えめにする
11.3%
10.9%
11.5%
11.9%
定期的に健診を受けている
54.2%
54.8%
56.4%
50.3%
定期的に診療を受けている
22.6%
15.0%
25.7%
34.4%
食後の歯磨きをする
49.3%
54.0%
42.6%
53.0%
その他
3.7%
2.9%
3.4%
6.0%
特にない
4.6%
5.9%
3.7%
2.6%
無回答
0.5%
0.6%
0.7%
0.0%
全体（n=805）
40歳代（n=341）
50歳代（n=296）
60歳代（n=151）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が一般高齢者では２割、要支援・要介護者では３割となっています。

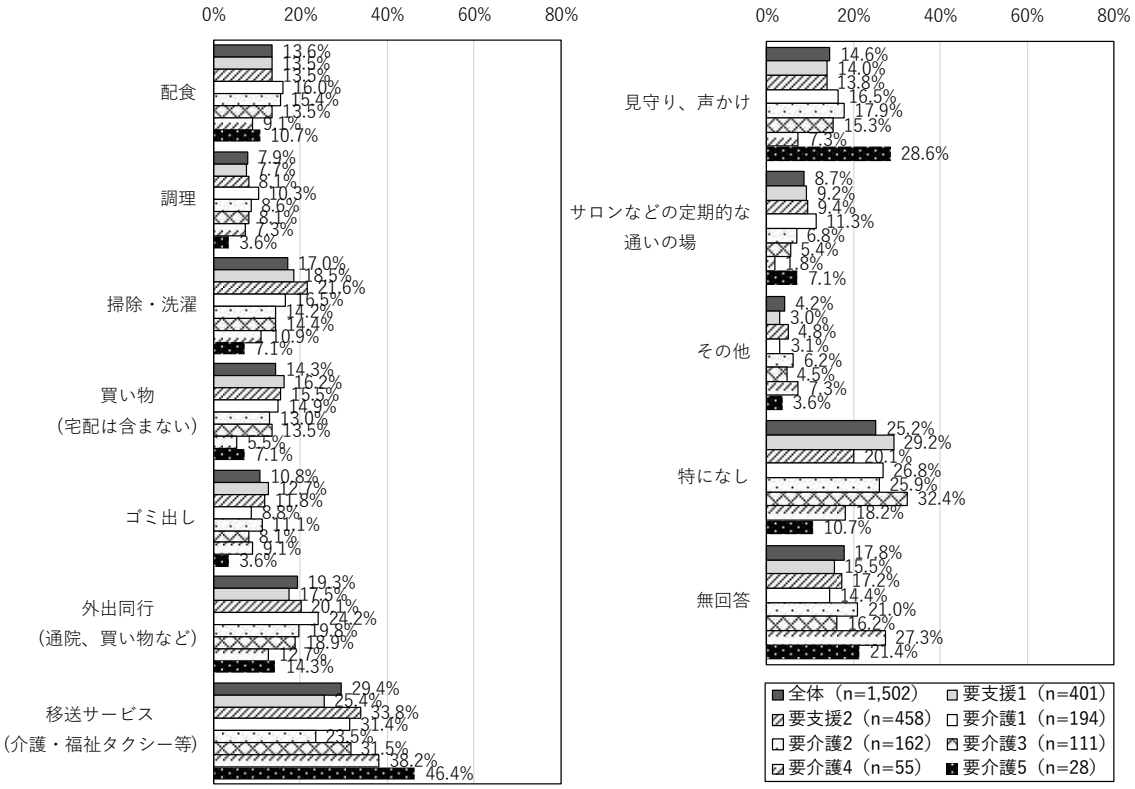
また、一般高齢者では、「特にない」が約４割と最も多くなっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援】

一般高齢者

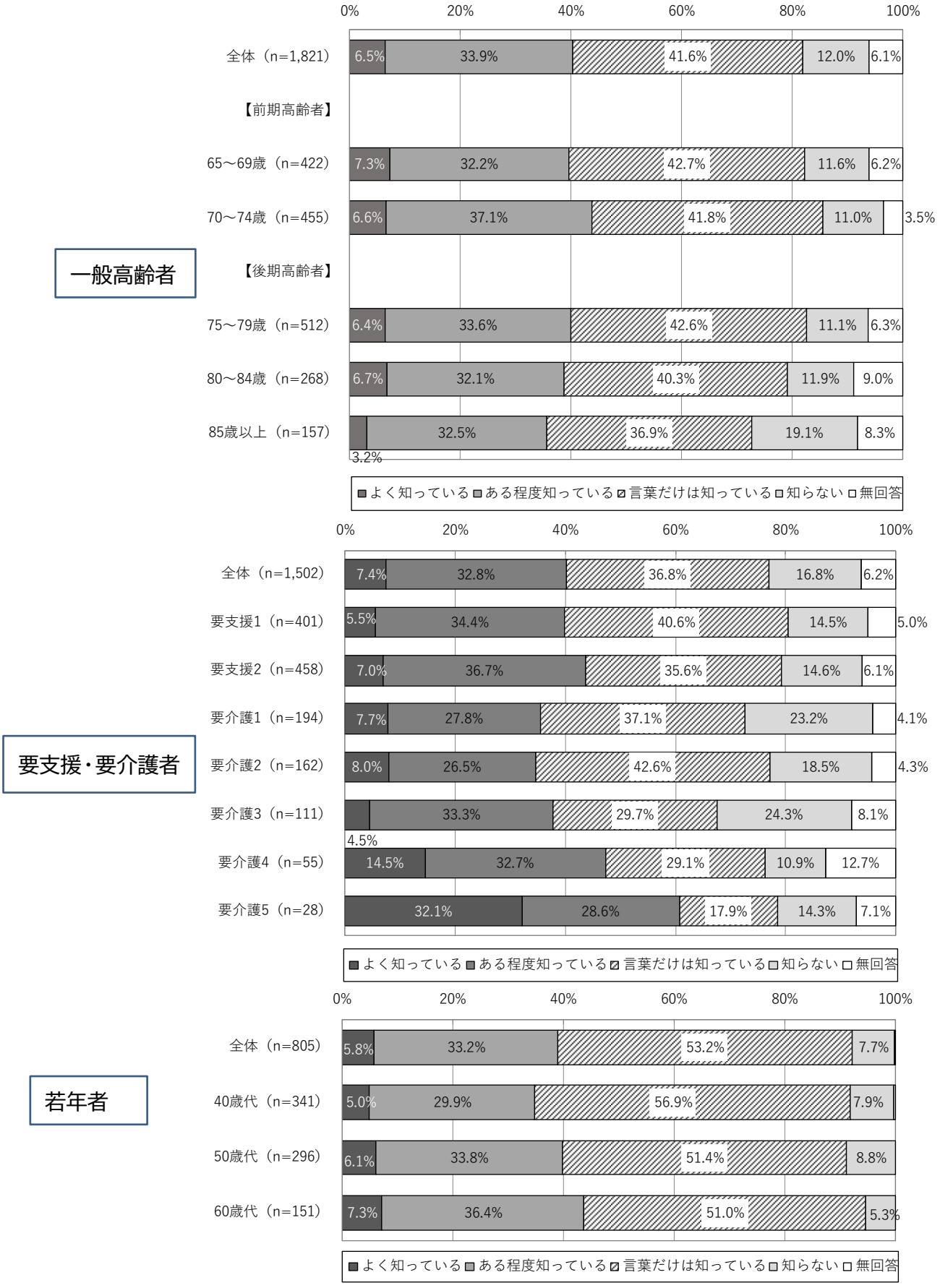


要支援・要介護者



在宅医療の認知について、３調査ともに「言葉だけは知っている」が最も多くなっていますが、要支援・要介護者において「知らない」の割合が 16%とやや高くなっています。

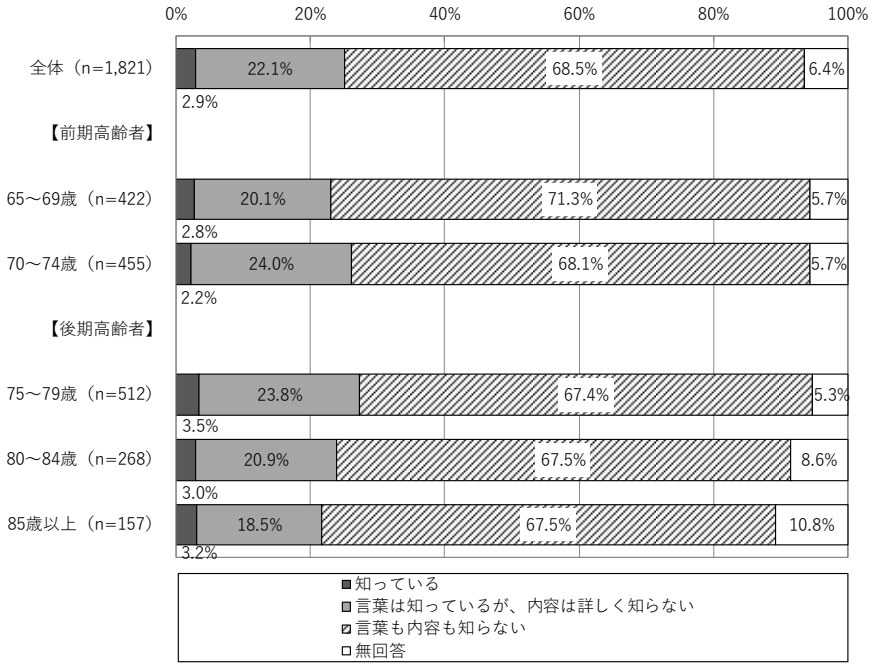
【在宅医療の認知】



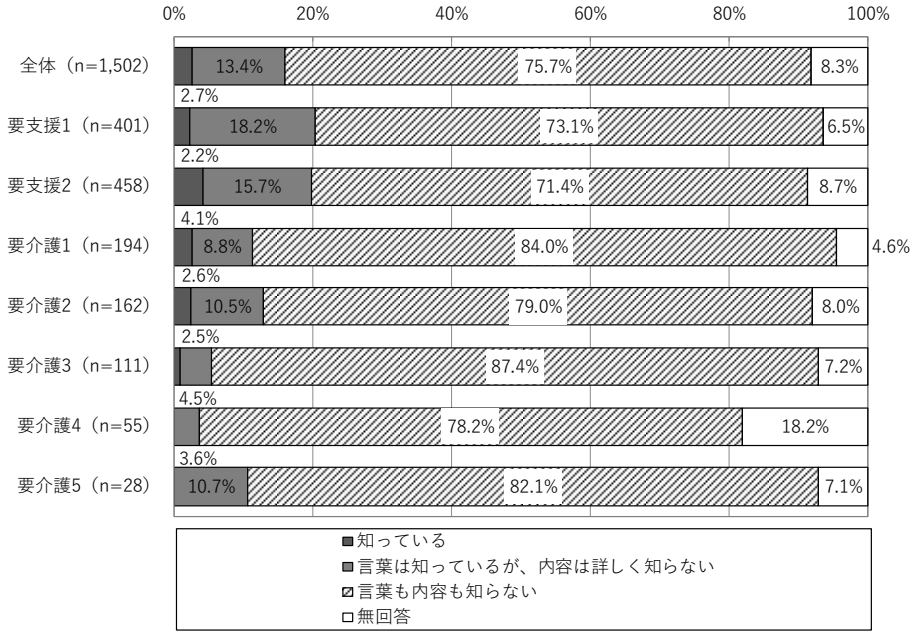
ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）の認知について、３調査全てにおいて「言葉も内容も知らない」が最も高くなっていますが、一般高齢者と若年者を比較すると、その割合において15ポイント以上の差があることがみてとれます。

【ＡＣＰの認知】

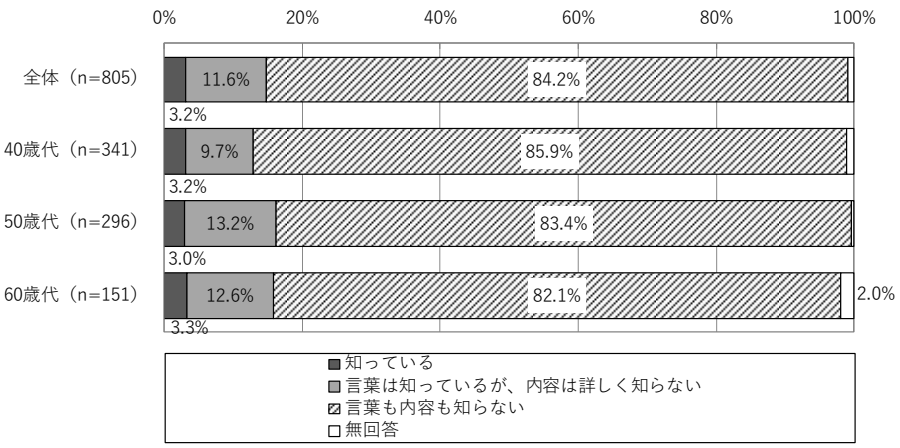
一般高齢者



要支援・要介護者



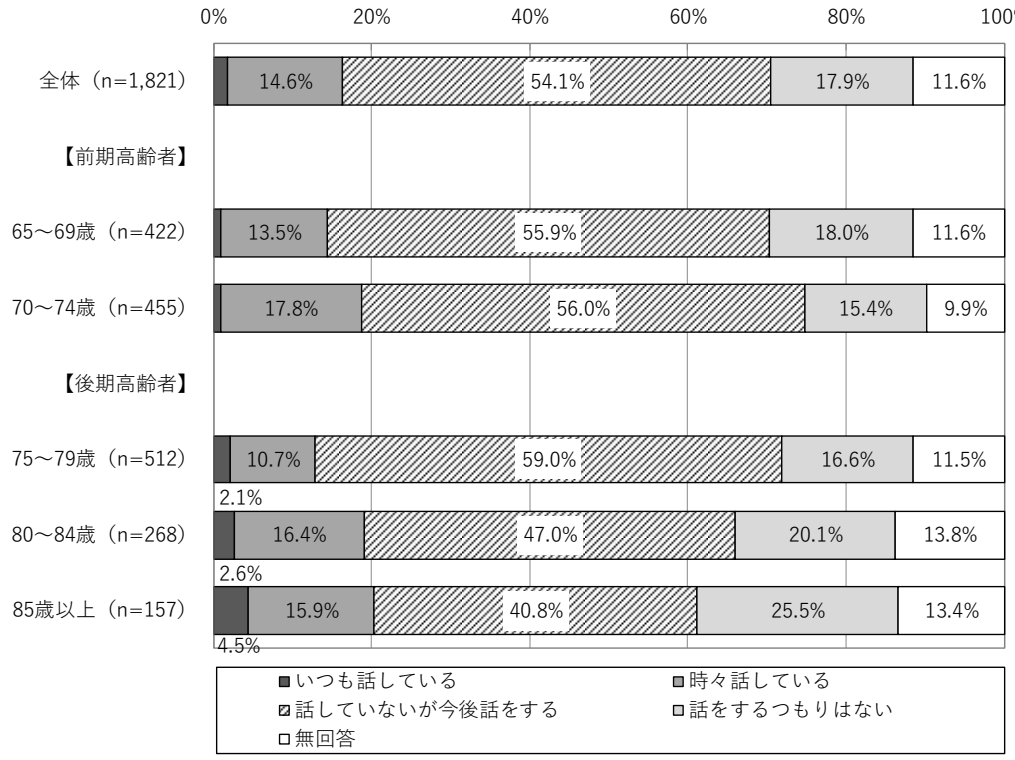
若年者



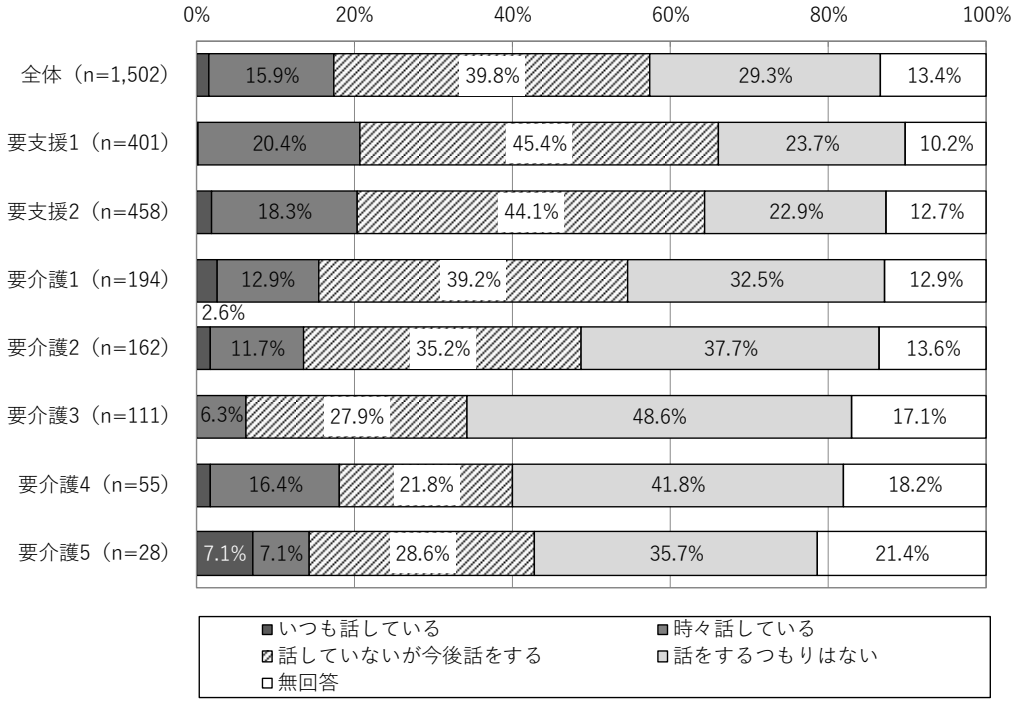
将来への意思について、３調査全てにおいて「話していないが今後話をする」が最も高くなっていますが、要支援・要介護者と若年者を比較すると、その割合において 25 ポイント程度の差があることがみてとれます。

【将来の意思決定について】

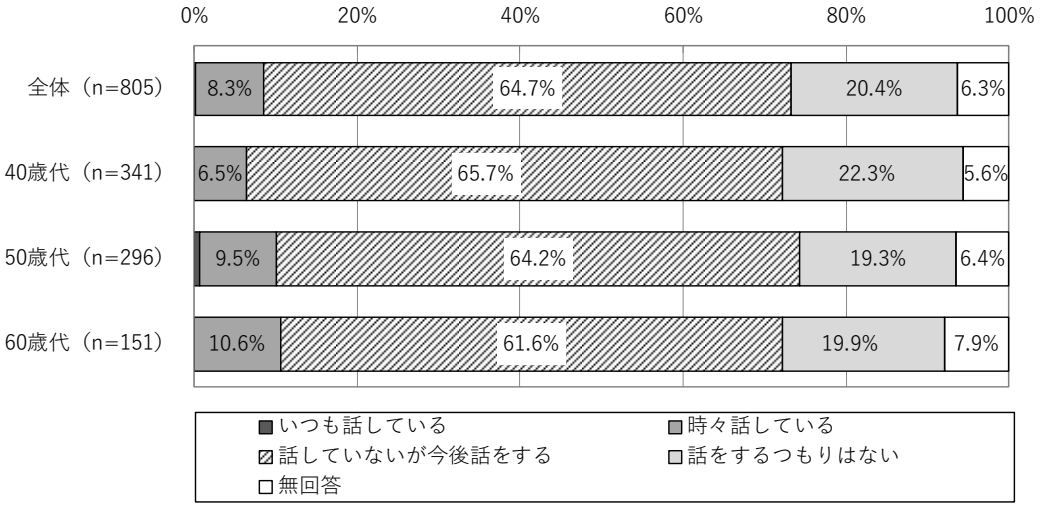
一般高齢者



要支援・要介護者



若年者


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=805）
8.3%
64.7%
20.4%
6.3%
40歳代（n=341）
6.5%
65.7%
22.3%
5.6%
50歳代（n=296）
9.5%
64.2%
19.3%
6.4%
60歳代（n=151）
10.6%
61.6%
19.9%
7.9%
いつも話している
時々話している
話していないが今後話をする
話をするつもりはない
無回答

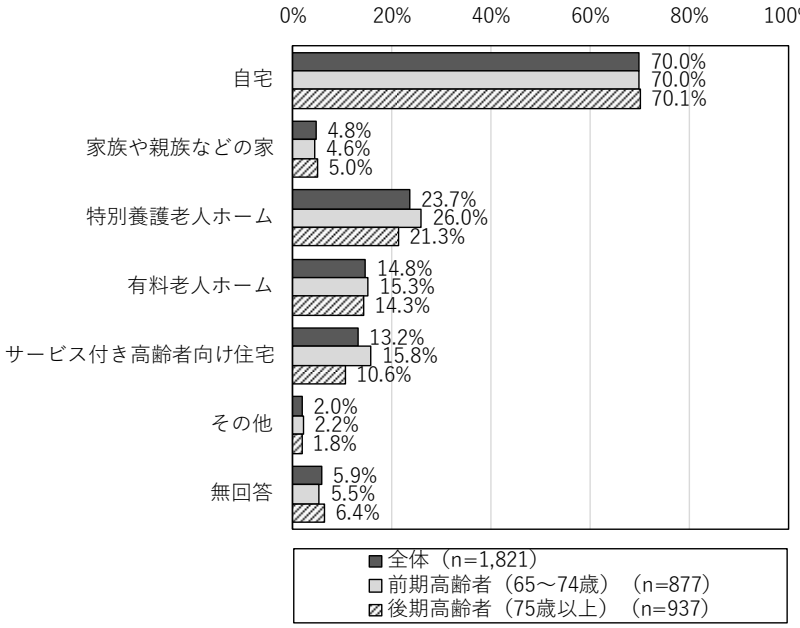
（８）住まいについて

自身が今後、要介護（要支援）状態となった場合の暮らしの場所について、３調査全てにおいて「自宅」が最も多くなっており、次いで「特別養護老人ホーム」が一般高齢者、要支援・要介護者では約２割となっています。

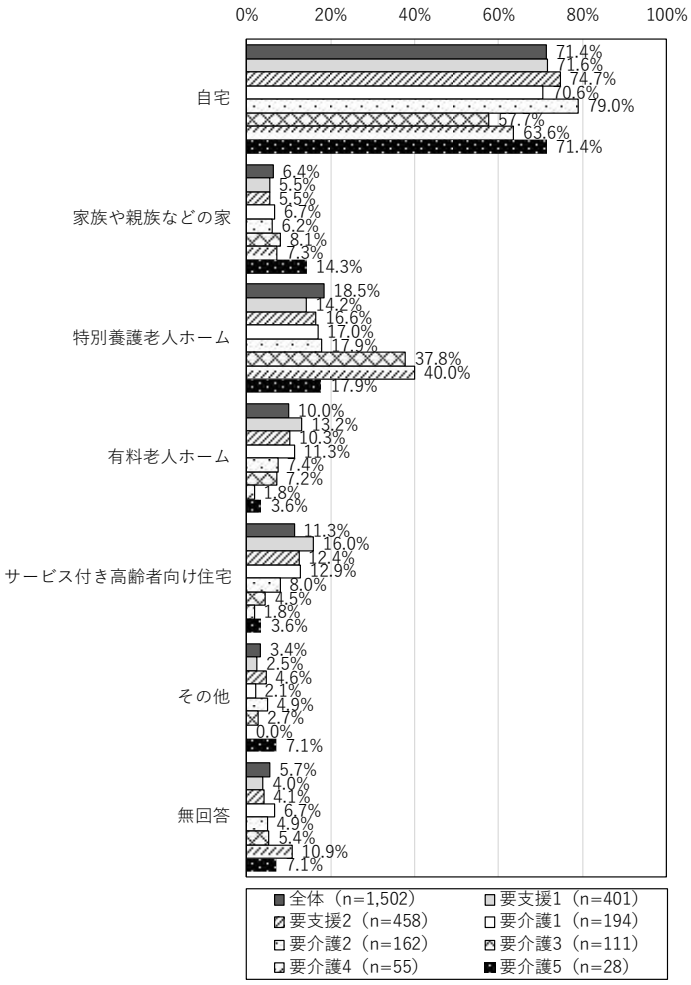
若年者では、「自宅」に次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が 35%となっています。

【暮らしの場所】

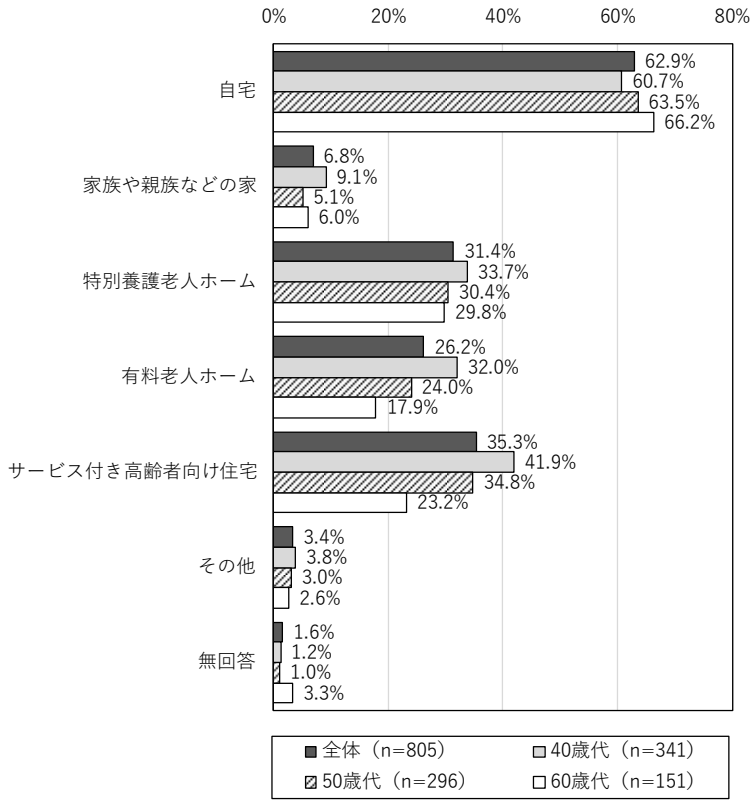
一般高齢者



要支援･要介護者



若年者

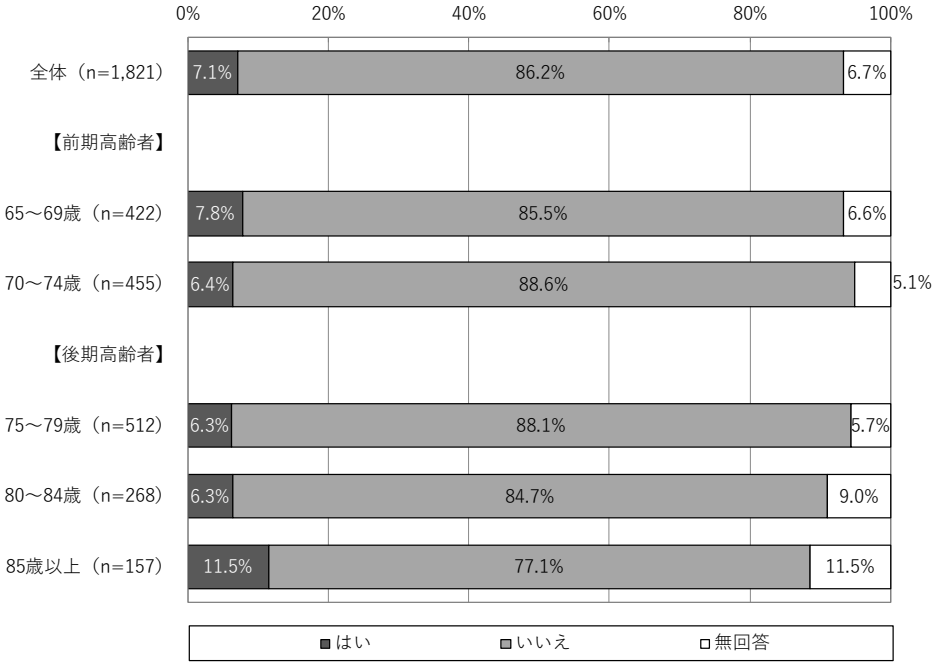

0%
20%
40%
60%
80%
自宅
62.9%
60.7%
63.5%
66.2%
家族や親族などの家
6.8%
9.1%
5.1%
6.0%
特別養護老人ホーム
31.4%
33.7%
30.4%
29.8%
有料老人ホーム
26.2%
32.0%
24.0%
17.9%
サービス付き高齢者向け住宅
35.3%
41.9%
34.8%
23.2%
その他
3.4%
3.8%
3.0%
2.6%
無回答
1.6%
1.2%
1.0%
3.3%
全体（n=805）
40歳代（n=341）
50歳代（n=296）
60歳代（n=151）

（９）認知症にかかる相談窓口の把握について

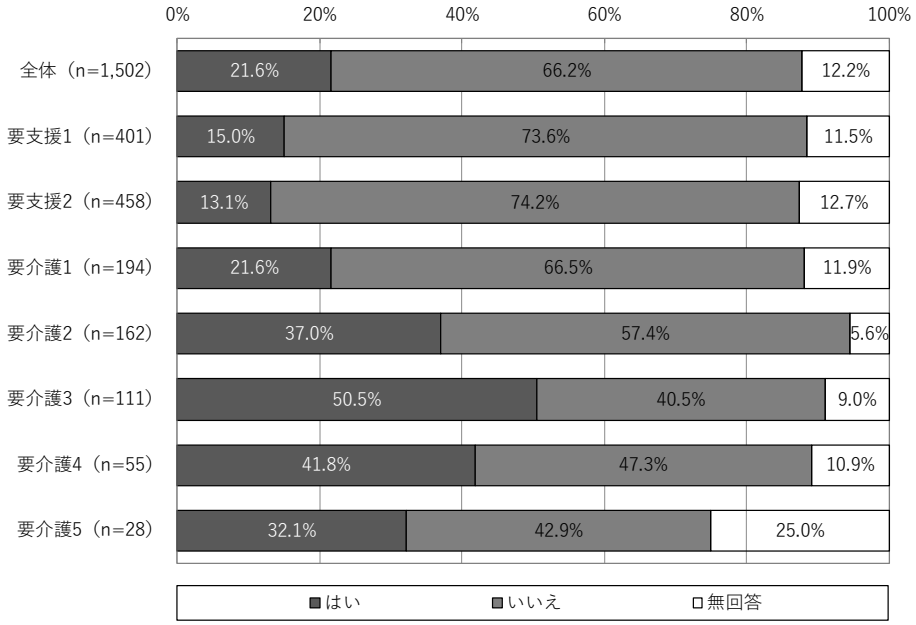
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかでは、３調査全てにおいて「いいえ」が多くなっていますが、要支援・要介護者において、「はい」が約２割となっています。

【認知症の症状】

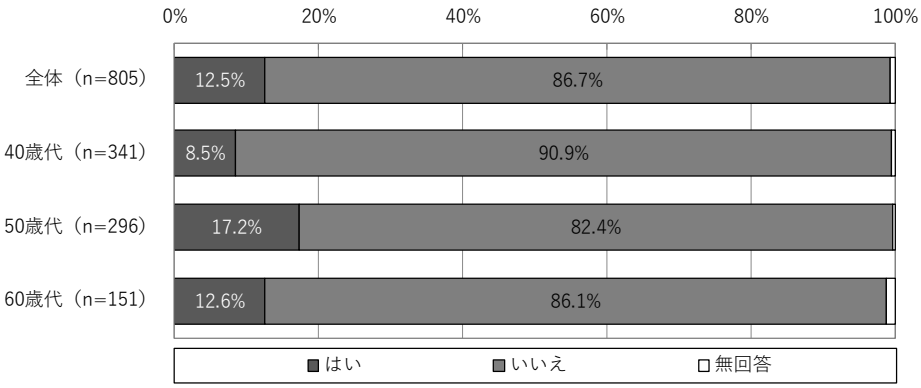
一般高齢者



要支援・要介護者



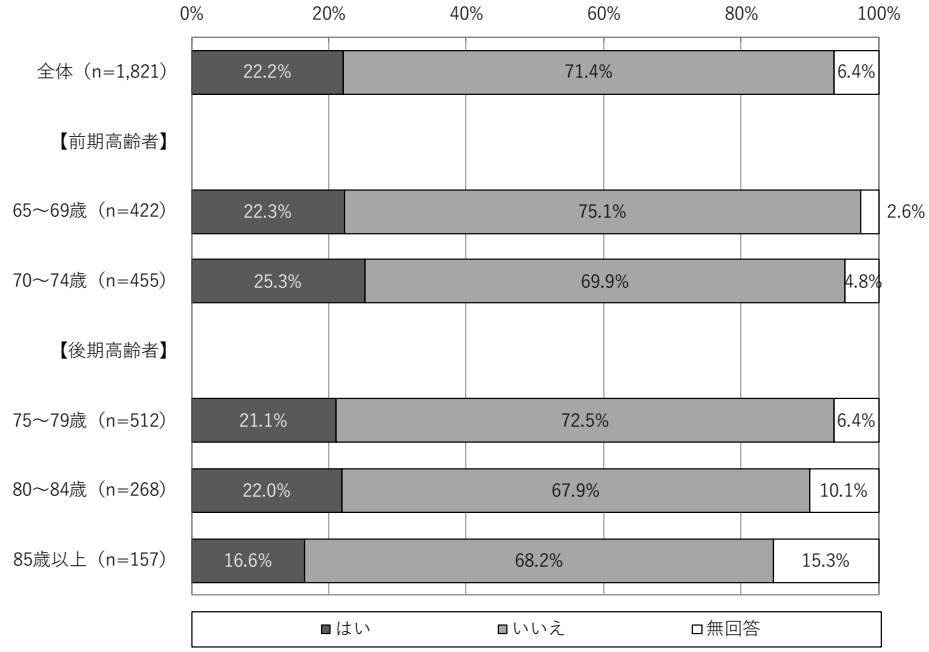
若年者



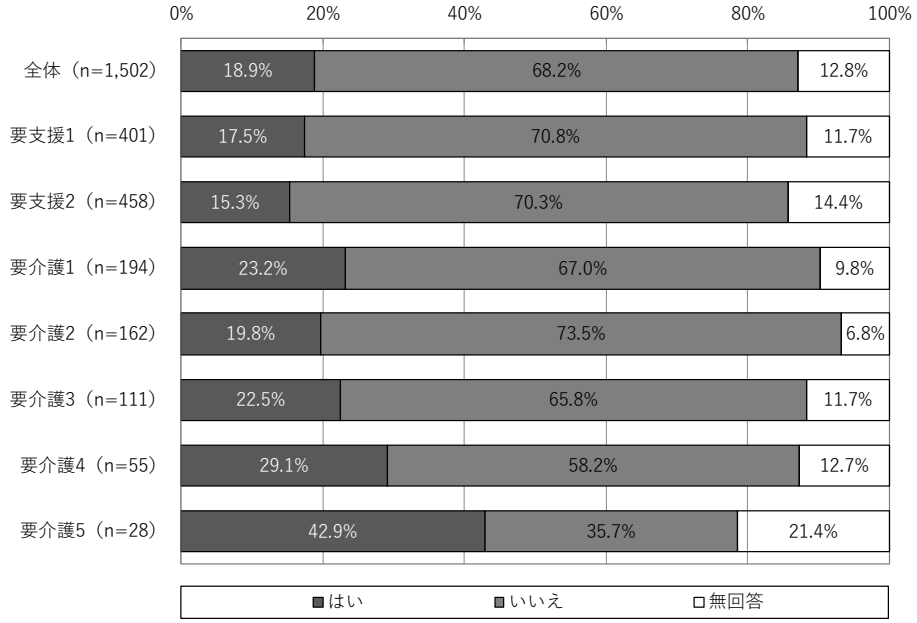
認知症に関する相談窓口の認知については、３調査ともに大きな差はありませんでしたが、要介護５において約４割の方が認知していることがみてとれます。

【認知症に関する相談窓口の認知】

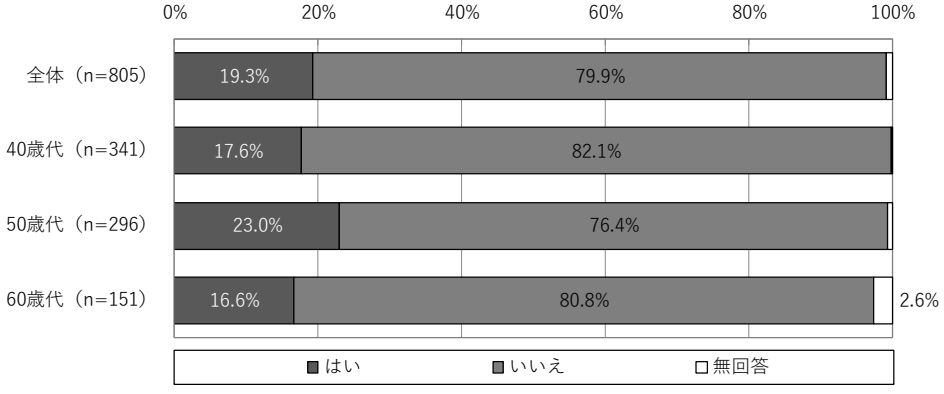
一般高齢者



要支援・要介護者



若年者

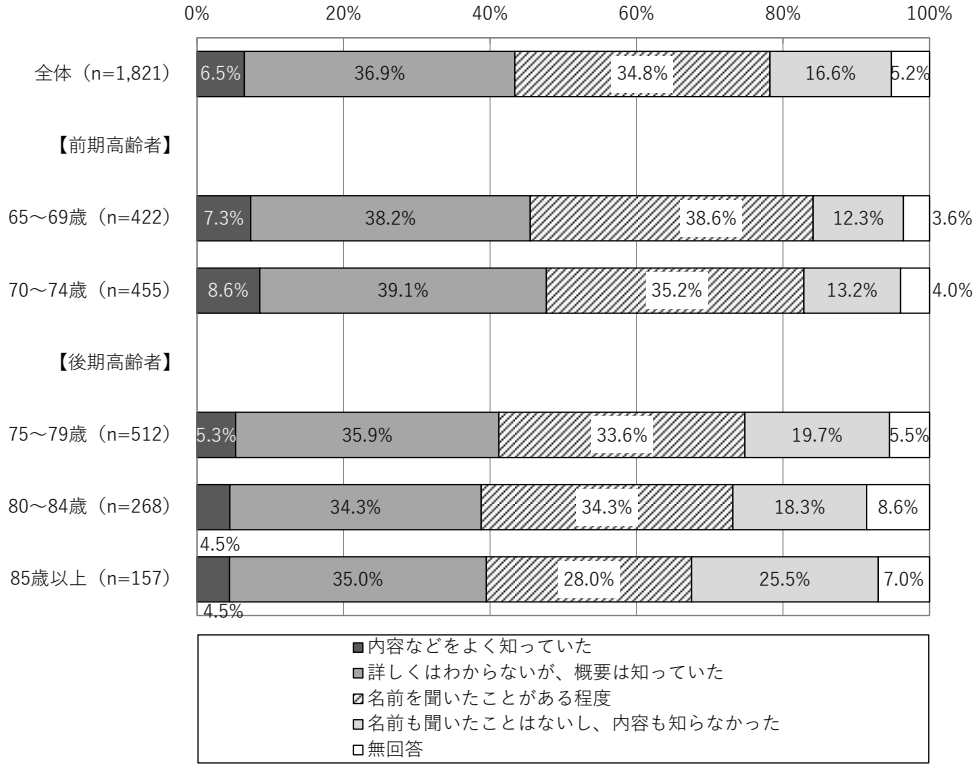


（10）成年後見制度について

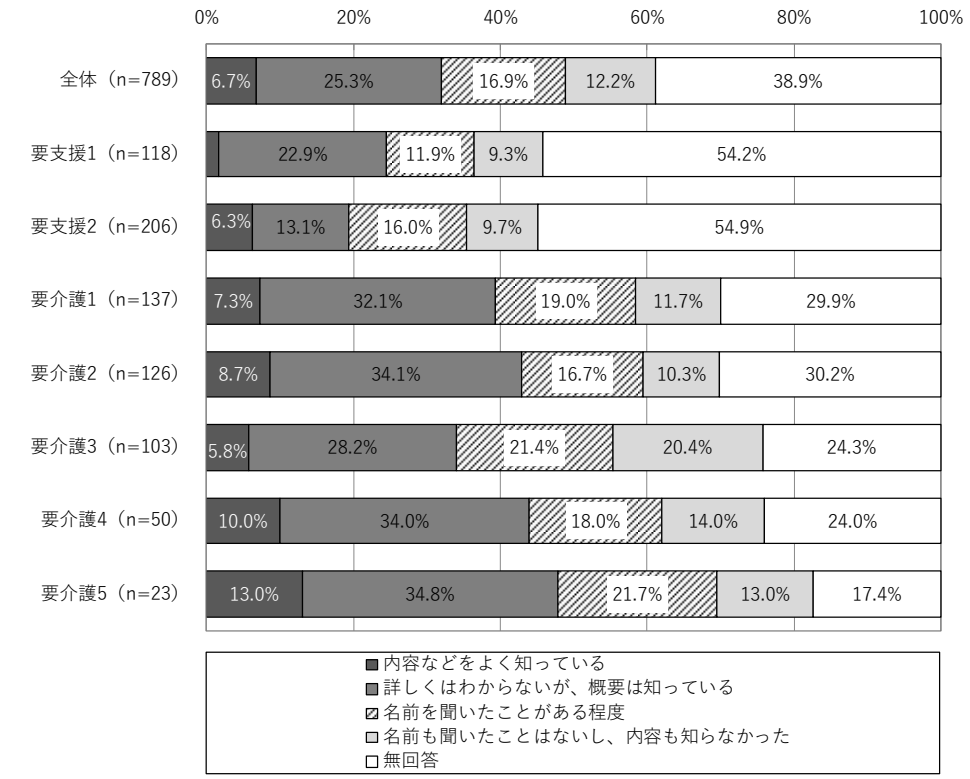
成年後見制度の認知について、３調査を比較すると若年者においてやや「名前も聞いたことはないし、内容も知らない」の割合が高くなっています。

【成年後見制度についての認知】

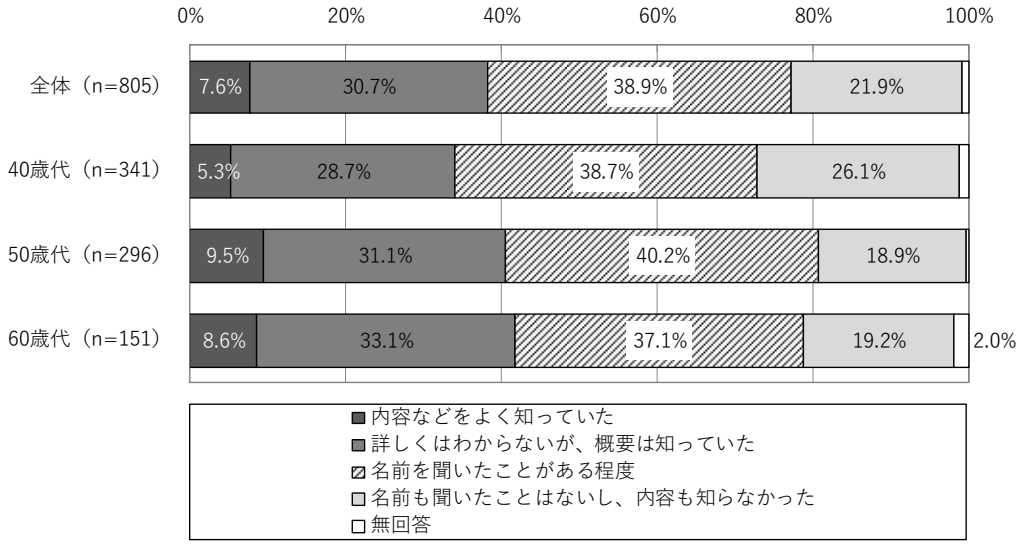
一般高齢者



要支援・要介護者



若年者

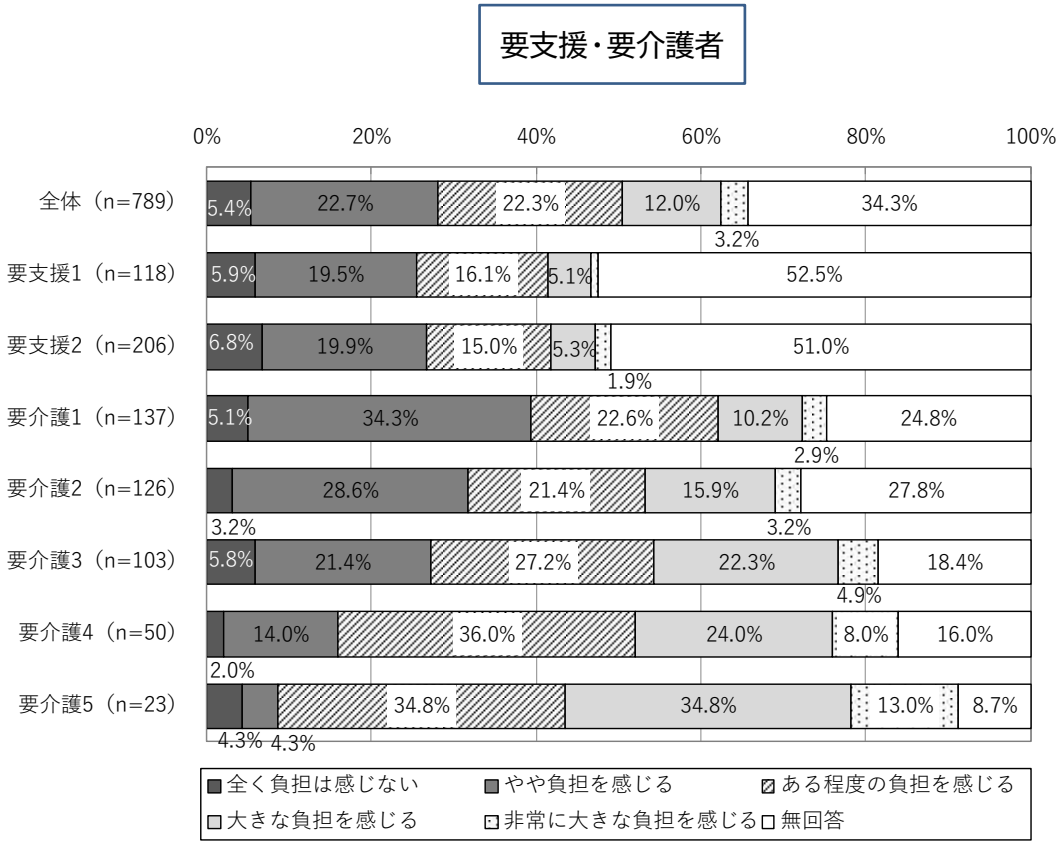

0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=805）
40歳代（n=341）
50歳代（n=296）
60歳代（n=151）
7.6%
30.7%
38.9%
21.9%
5.3%
28.7%
38.7%
26.1%
9.5%
31.1%
40.2%
18.9%
8.6%
33.1%
37.1%
19.2%
2.0%
内容などをよく知っていた
詳しくはわからないが、概要は知っていた
名前を聞いたことがある程度
名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった
無回答

（11）在宅の介護者について（要支援・要介護者のみ）

介護の負担では、「やや負担を感じる」「ある程度の負担を感じる」「大きな負担を感じる」「非常に大きな負担を感じる」を合わせた『負担を感じる』が６割となっています。

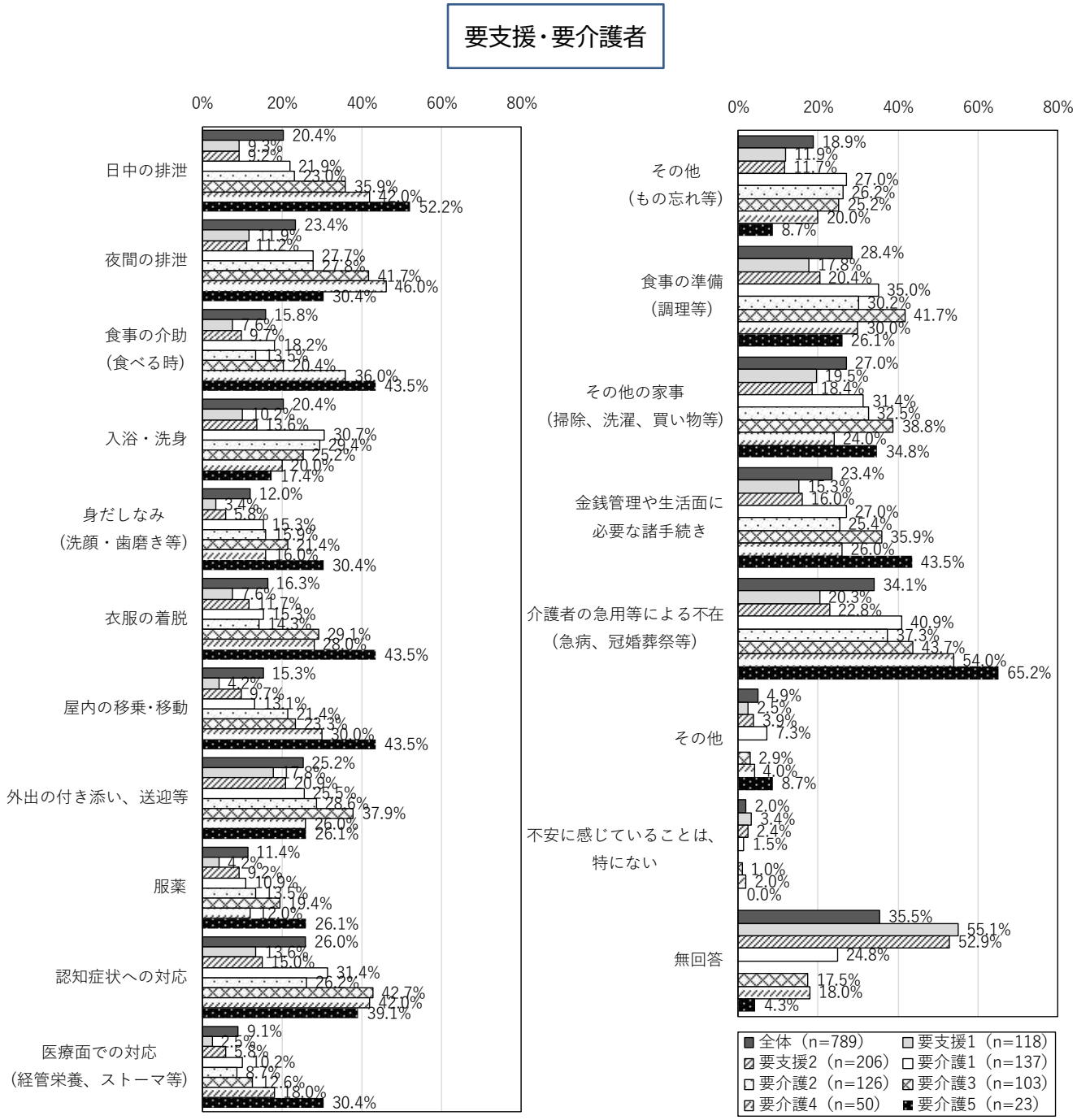
また、要介護５では約半数の方が大きな負担を感じていることがみてとれます。

【介護についての負担】



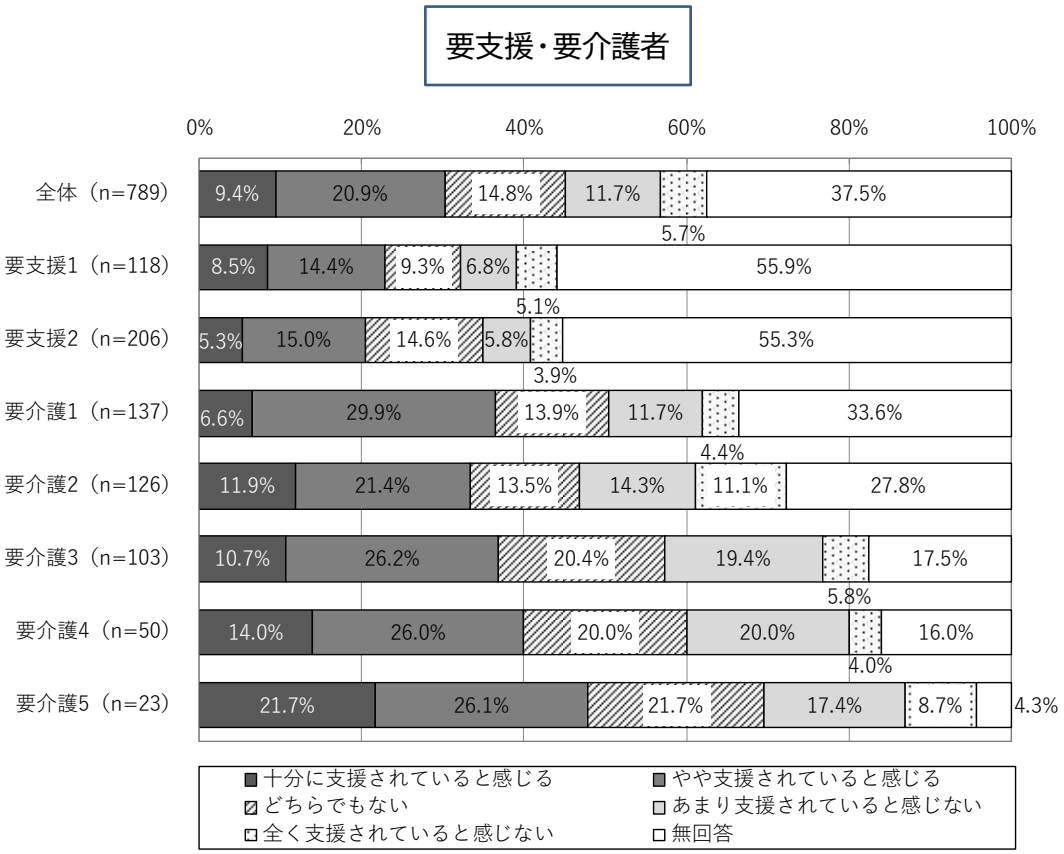
現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護等では、「介護者の急用等による不在（急病、冠婚葬祭等）」が 34.1%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が 28.4%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 27.0%となっています。

【不安に感じる介護】



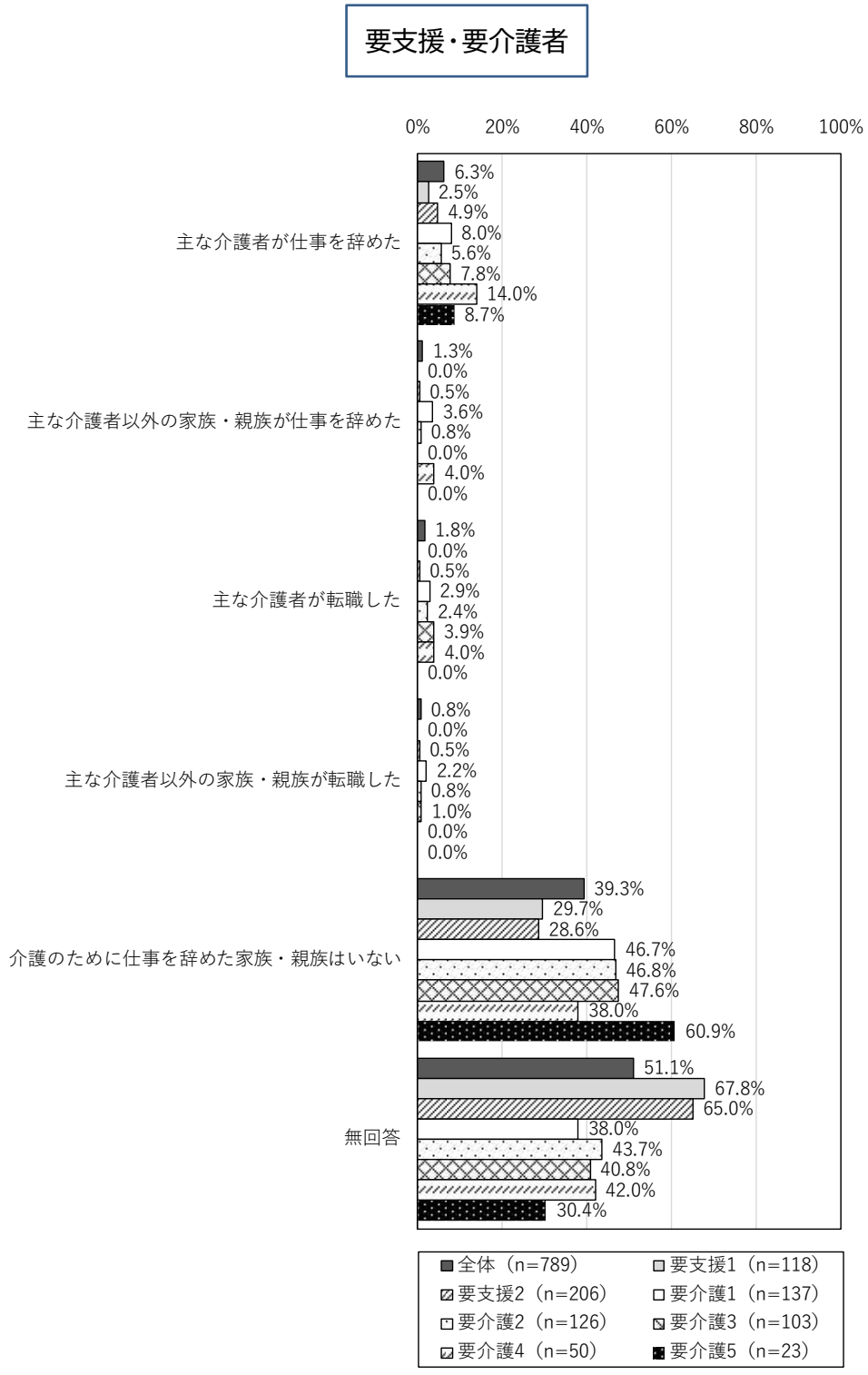
介護をしているあなた自身に対して、支援されていると感じるかでは、「十分に支援されていると感じる」「やや支援されていると感じる」を合わせた『支援されていると感じる』が３割となっています。

【介護についての支援】



家族や親族の中で、介護を必要とする方の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいるかでは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 39.3%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 6.3%、「主な介護者が転職した」が 1.8%となっています。

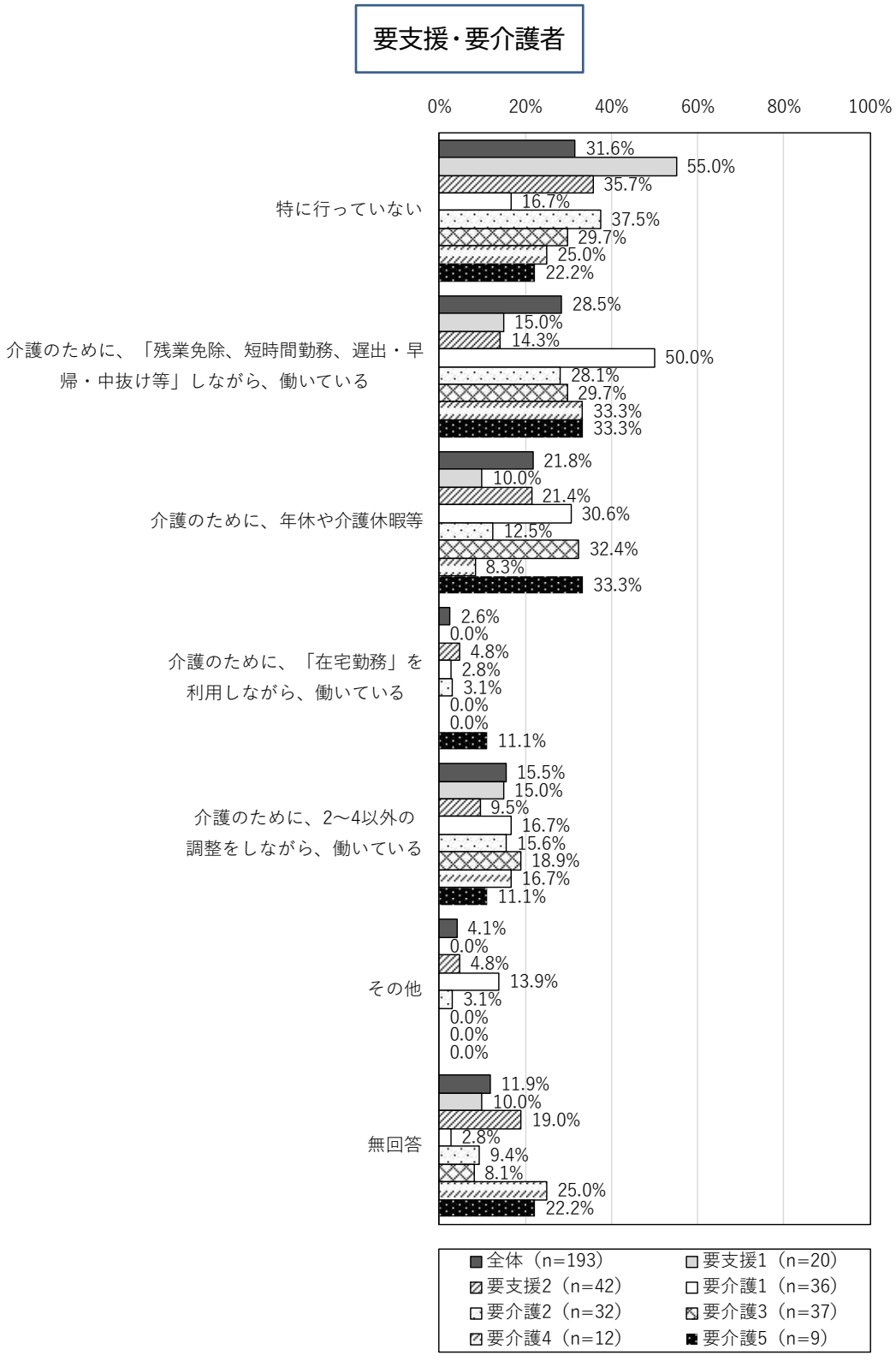
【介護離職について】



介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかでは「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が28.5%と最も多く、次いで、「年休や介護休暇等」が 21.8%となっています。

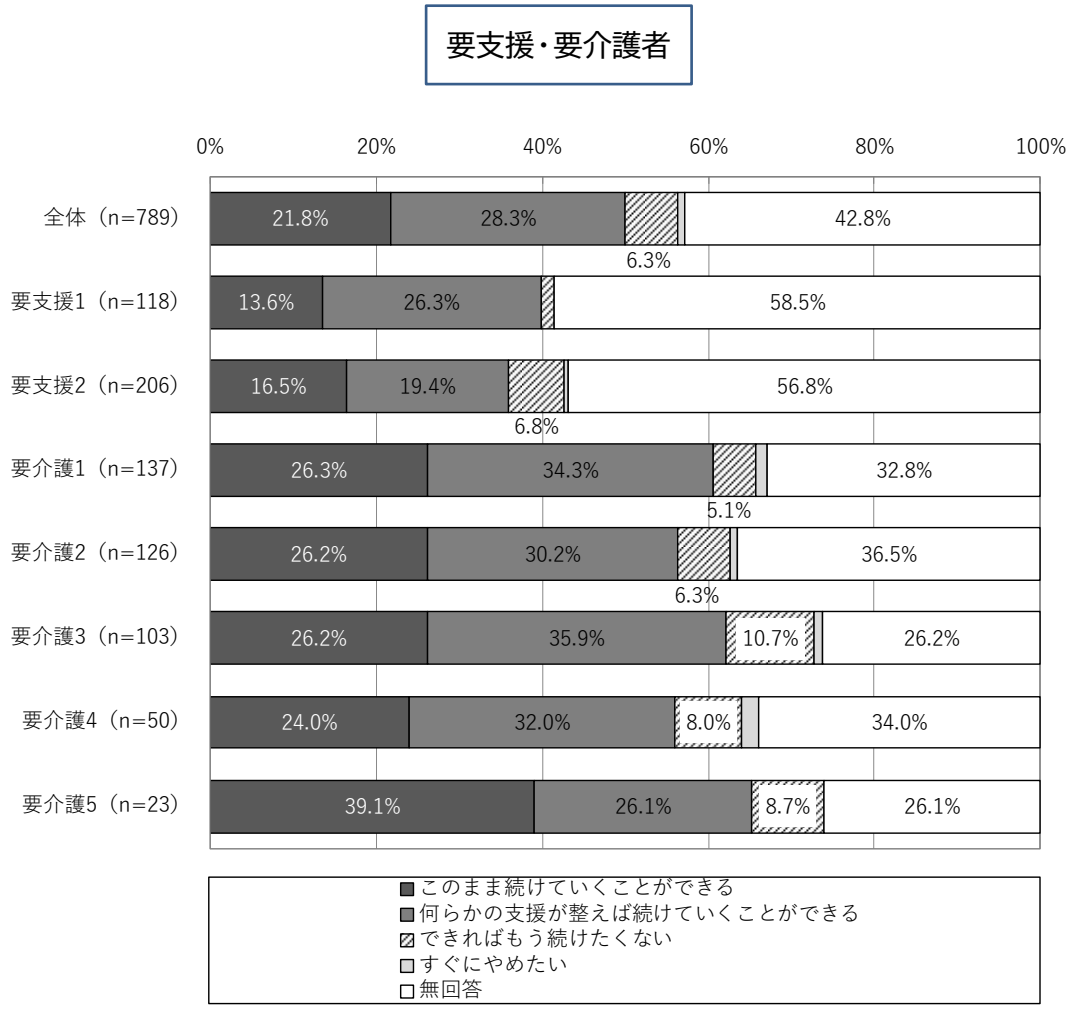
また、「特に行っていない」の項目をみると、要介護２以上になるとその割合は減少してることがみてとれ、働き方において何かしらの調整をしていることがうかがえます。

【介護にあたっての働き方の調整】



全体を通して、今後介護を続けることについての考えでは、「このまま続けていくことができる」「何らかの支援が整えば続けていくことができる」を合わせた『続けていくことができる』が５割となっています。

【介護の継続について】



（12）市への要望や意見

一般高齢者

■今後自分そして家族のためにも市の介護や福祉の話を聞きたいと思う。近い将来に備えていきたい。

■介護予防のための通い場をもっと充実してほしい。

■介護認定を受けたいが、どうしたらよいか？認定を受けたらどのようなサービスが受けられるのかの案内を送ってほしい。

■現在は健康に問題はないが、将来のために介護関連の情報が欲しいと思っています。

■自動車に乗れなくなると移動手段がなくなるので買い物、通院、外出が不便になる。「福祉無料バス」を希望。

■現時点では切実感が無いので要望、意見はありませんが、今後しっかりと検討する予定です。今回のアンケートは自覚への良い刺激となりました。

■高齢者福祉サービスはなくてならないものですがその人の生活状態、精神生活などでかなり年齢的に差があると思います。モチベーション、アイデンティティーによってかなり異なります。全ての人を一括りにしてみないようにして下さい。

■軽い運動、筋力増強など老化の進行を抑える様な施設や運動公園（小規模）が近くにあれば気の向いた時に利用したい。

■健康づくり教室や施設の充実。文化施設や教室の増加。

■階段の手すり他、高齢者に必要な設備と設置する際の助成金の対象者の幅をもっと拡げてほしい。

■筋力が低下しないように、無料で筋力トレーニングができる施設を増やしその情報を分かりやすく流して欲しい。

■今は何もありません。現在良い生活をしています。

■自家用車の代替手段（使いやすい）が急務と思います。

■高齢者の健康づくり（シルバー体操等）に参加しているが非常に良い事と思うので、より多くの人達が参加できる環境づくり（情報の提供、予算の充実）に努めてほしい。

主に上記の意見がありました。

要支援・要介護者

■移動手段の充実を図ってほしい。
■高齢になると理解しづらくなるので、介護保険制度や健康づくりの分かりやすい冊子を出してほしい。在宅で介護している人に分かりやすい冊子もほしいです。
■個々のサービスのみでなく、総合的な相談出来る場がほしい。
■日頃一人暮らしで（娘も東京にいますけど）近所に知り合いがなく、介護の方々が来てくれる事は本当に嬉しいです。感謝しています。そしてそのおかげで私は生きられています。本当に有難う。
■介護を受ける者にとりメリット、権利（利用する）がある物は積極的に教えてほしい。申請待ちではなくもっと利用するのにわかりやすく、わかりにくく利用しづらい。
■地域の高齢者に対してどのような支援サービスが受けられるかの説明を民生委員の方にしてほしい。
■老人ホームに入所希望ですがなかなか条件が合わず入れません。ぜひご紹介いただければ有難く存じます。手首を痛めており日々の生活に困っております。何卒ご配慮のほどお願い申し上げます。
■徒歩で行ける範囲に高齢者のカフェのような集まれる場所があったら出かけて行きたいと思います。
■昨秋は台風が度々あり、高齢の独り暮らしは不安でした。台風通過するまで他の方と一緒に過ごせる場所に居たいと思いました。家族とも相談し考えることにしています。なお、市からの緊急避難警報が携帯に入りましたが、メールしない高齢の方には入らず、知らせてあげました。市からの情報について希望します。頼りにしています。地方に住む知人の様子を聞くと、つくば市は恵まれていると思います。
■情報を欲しいと思いますが、高齢者にも分かりやすい、見やすい「内容、デザイン」にしてほしい。応募する方法もインターネットよりも「ハガキや電話」にしてほしい。
■ツクバスの充実（細部に行き届いた）。最寄りに気軽に立ち寄れる公的施設の設置。

主に上記の意見がありました。

若年者

■他の自治体の成功事例を調査し、良い所をとり入れてはいかがでしょうか。また民間の大手といっしょに開発をすすめるとよいのではないでしょうか。

■あまり現在は関心を払っていないので、情報や福祉がどの程度カバーしているのかわかりませんが、収入や年金の額が低い人でも、身寄りがない人でも、安心して老後を生きていけることを望みます。

■デイサービスを老人特有の行きにくい施設ではなく、知的な活動や体力づくり健康管理ができる場にしてほしい。イメージで行きたがらない老人が多いのを何とかしたい。（ジムのようなカルチャーセンターのような）若い人も同じ空間で活動している施設に。

■マンションが自治会に入っておらず民生委員の管轄外であり住人同士の付き合いもあいさつ程度で希薄であるため将来もっと歳をとったときを考えると不安がある。

■家の近くで健康教室などが開催されれば参加したい。つくタクは利用しづらくつくバスは家の近くに停留所がない（遠い）ためもう少し利用しやすい形が整うことを願いたい。

■一人暮らしをしていますが、生活が経済的に苦しい、市営住宅に住みたいが、なかなか条件にあわず入れず、歳をとってもずっと働いていかないと生活が成り立たない。

■一定の年齢の人には認知症検査を受診する補助なり受診券なり発行してほしい。軽度のうちに発見したほうがいい。独身や単身の人は注意してくれる人がいないし家族でもお勧めしにくい検査ゆえ市から券が来たからと足が向きやすくなる。

■介護をしていると八方塞感があるので話を聞いてもらえるところがあれば助かります。

主に上記の意見がありました。

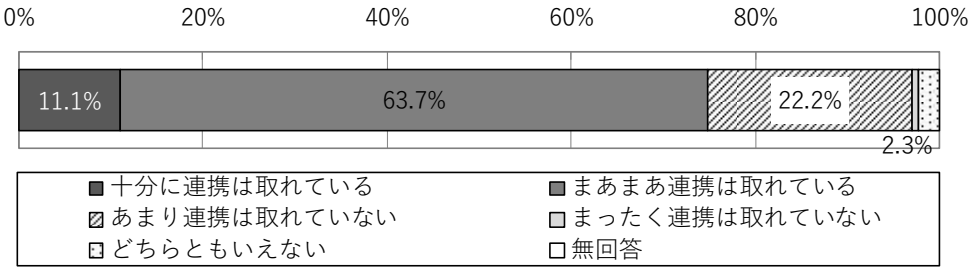
3．ケアマネ調査結果抜粋

（1）関係機関との連携について

医療との連携は取れているかでは、「十分に連携は取れている」「まあまあ連携は取れている」を合わせた『連携は取れている』は 74.8%となっています。

また、「あまり連携は取れていない」「まったく取れていない」を合わせた『連携は取れていない』は 22.8%となっています。

【医療との連携ついて】

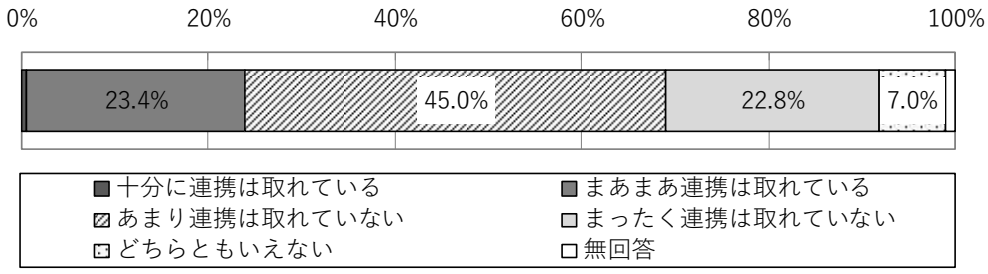


n =171

区会、民生委員との連携は取れているかでは、「あまり連携は取れていない」「まったく取れていない」を合わせた『連携は取れていない』は 67.8%となっています。

また、「十分に連携は取れている」「まあまあ連携は取れている」を合わせた『連携は取れている』は 24.0%となっています。

【区会、民生委員との連携ついて】

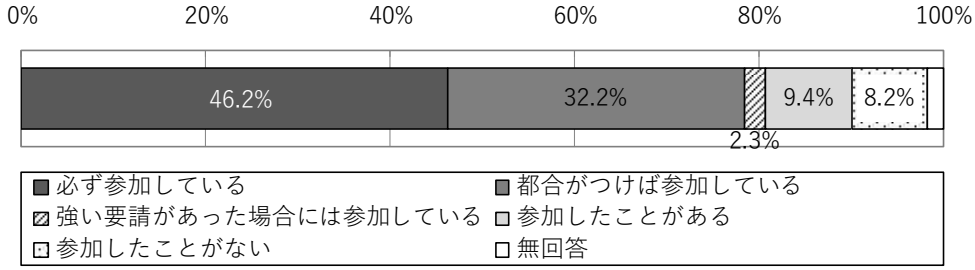


n =171

（２）入退院時について

退院前カンファレンスへ参加しているかでは、「必ず参加している」が 46.2%と最も多く、次いで「都合がつけば参加している」が 32.2%、「参加したことがある」が 9.4%となっています。

【退院前カンファレンスへの参加】

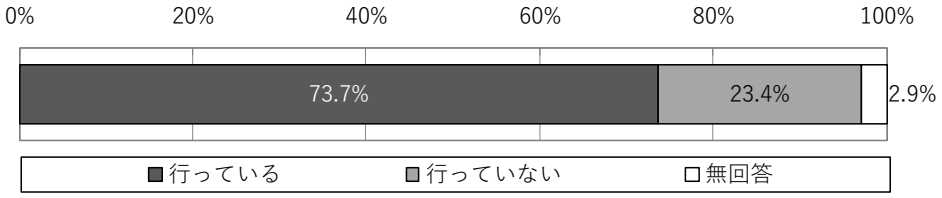


n =171

（３）看取りについて

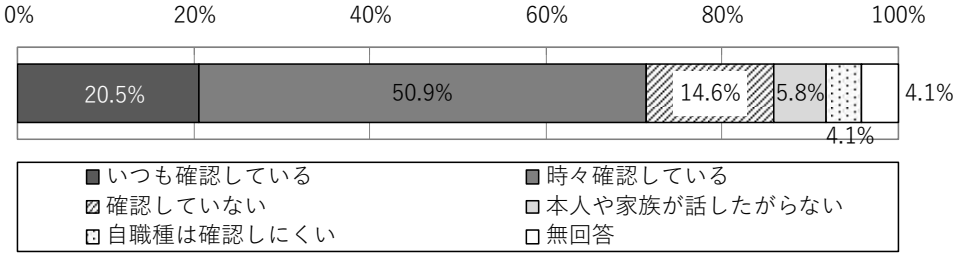
看取りを行っている・関与しているかでは、「行っている」が 73.7%、「行っていない」が 23.4%となっています。

【看取りについて】



n =171

日常の支援において、本人の終末期における医療や介護、生活や家族への希望等、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について、本人の意向を確認しているかでは、「いつも確認している」「時々確認している」を合わせた『確認している』は 71.4%となっています。

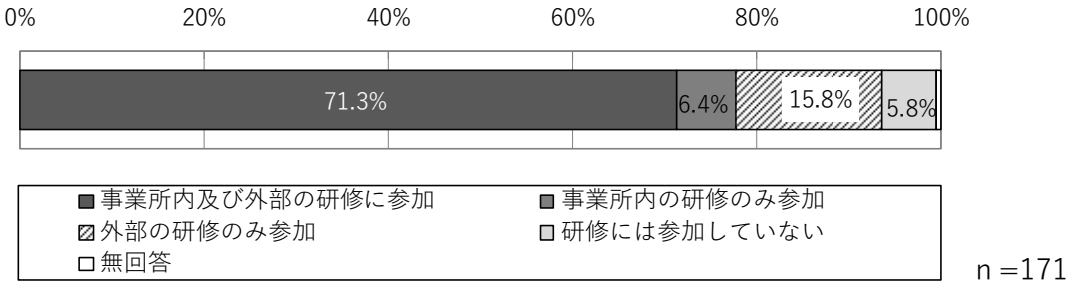


n =171

（4）サービスの質の向上について

サービスの質の向上に向けた研修に参加しているかでは、「事業所内及び外部の研修に参加」が 71.3%と最も多く、次いで「外部の研修のみ参加」が 15.8%、「事業所内の研修のみ参加」が 6.4%となっています。

【サービスの質の向上について】

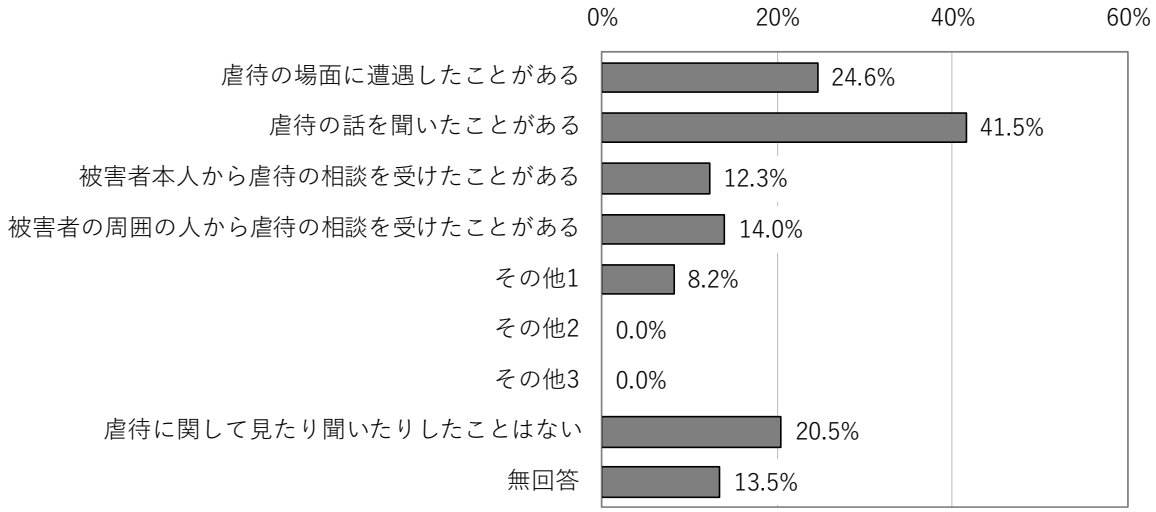


n =171

（5）虐待について

これまで、高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、話や相談を受けたことなどがあるかでは、「虐待の話を聞いたことがある」が 41.5%と最も多く、次いで「虐待の場面に遭遇したことがある」が 24.6%、「被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある」が 14.0%となっています。

【虐待について】



n =171

（６）市への意見

■つくタクは高齢者にとって利用し難い点が多く「買い物に行けない、病院受診が困難」等の声が多く聞かれる。つくタクの利用がもう少し利用者サイドに向けた方向性を期待する。買物難民に対しては、大手スーパーと市が提携し利用者宅からスーパーへの送り迎えが可能になれば生活の質も改善していくと思う。行政が介入し、介護保険横出しサービスを導入する事で介護保険利用の増加の歯止めにもつながると思われます。何よりも本人の意欲向上、社会性の維持につながる効果は大きい。

■介護人材の不足は深刻であり、少ない人材が日々疲弊しながら高齢者ケアに臨んでいます。介護保険の今後の健全な運営を考える上で人材の確保は不可欠な要素であり、事業所単体で解決できる問題ではありません。保険者として、つくば市には、是非この問題の解決に向けた努力を続けて頂きたいと考えます。

■困難なケース等について、積極的に情報を共有して一緒に動いていただけると助かる。ケアマネにかかる負担が大きい。

■細かい法令遵守があるため、その業務に時間がとられがち。負担も多く感じる。ケアマネの一連の仕事（サービス担当者会議、アセスメントの内容など）、もうちょっと簡素化できないものでしょうか。違反とされた時の減算なども厳しすぎるように感じています。

■認定調査時の基準が人によってバラバラであり、特に委託されてきた事業所のケアマネは理解してくれるが市の調査員は厳しく判定する傾向があり、介護度にバラつきが出ている。

■負担限度額制度の使用できる範囲が広がれば、収入が低く介護度も低い人が救われます。

■他市町村の介護窓口と比較してとてもやりやすい。

主に上記の意見がありました。

３．重点領域に対する市の考察

アンケート調査結果、また、事業の実施状況を踏まえ、本市としては今後、以下の重点領域を検証・整理し、高齢者施策の充実や、サービスの拡充等を図り、よりよい計画としていけるよう努めます。

１　介護前段階の高齢者の生活状況について
本市では現行計画において、生活習慣病の予防や心身の機能の維持・改善をするために、健康診査や相談事業、そのほか介護予防に取り組むグループの支援、介護予防に関する講演会や講座等もすすめてまいりました。 アンケート結果を受け、一般高齢者では９割以上、要支援・要介護者では７割の人が外出していることがみてとれました。現行計画策定時のアンケート調査と比較すると、「ほとんど外出しない」は前期高齢者においてはやや増加していますが、後期高齢者ではやや減少しています。 また、地域づくりへの参加意向を、現行計画策定時のアンケート調査と比較すると、「参加したくない」が前期高齢者においては、やや増加していますが、後期高齢者では、参加意向の増加がうかがえます。 生きがいづくりや社会参加の機会をより一層充実させ、高齢者が健康で明るい毎日が送れるよう、支援体制を築く必要があります。
参考 P4～からだを動かすことについて、P8～食べることについて、P10～毎日の生活について、P16～健康について、アンケート調査報告書

2　介護予防事業への参加について

アンケート結果をみると、ボランティアや運動教室の利用割合は、一般高齢者に比べて、要支援・要介護者は総じて低くなっており、介護予防のための通いの場への利用については、「参加していない」が一般高齢者において８割、要支援・要介護者において７割となっています。

また、趣味等の活動の参加意向では、一般高齢者では約５割、要支援・要介護者では約３割の人の参加意向がうかがえました。

介護認定者においては、体調等の問題もあり、地域活動（趣味・ボランティア）や通いの場等への参加が少ないため、地域での出前体操教室などリハビリテーション専門職等を活かした取組、住民運営の通いの場等を推進してきました。

今後も、引き続き、介護サービスだけでなく、総合事業や健康増進に係る各種事業の適切な周知を行い、利用促進につなげていく必要があります。

参考

P12～地域での活動について

3　在宅生活継続への支援について

前回（現行計画策定時アンケート）に引き続き、在宅での生活を続けるために必要なサービスとして、移送サービスの希望が２割をしめています。そのほか、配食サービス、買い物サービス等も前回に比べて今後の必要性を感じる割合が高くなっています。

また、自身が今後要介護状態となった際の暮らしの場所については、一般高齢者、要支援・要介護者共に７割以上の人が自宅で暮らすことを希望しており、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるよう、より一層の在宅サービスの充実が必要です。

参考

P16～健康について（P18）、P23～住まいについて

4　市のサービスや公的制度の周知について
市のサービスや公的制度の認知については、市の広報紙や回覧から情報を得ている人が以前から多くみられたため、本市としては、広報紙等の内容の充実と周知の拡充に努めてきました。 アンケート調査結果をみると、情報入手の方法は一般高齢者においては広報紙等が約７割と最も多く、要支援・要介護者においては、ケアマネジャーや広報紙等から情報を得ている人が約４割となっています。 しかし、いまだに介護保険の手続きの仕方が分からないといった意見や、認知症の相談窓口は２割程度しか周知されていないことが分かりました。 さらに今回、ACP(アドバンスケアプランニング)や在宅医療、成年後見制度といった用語の認知度を聞きましたが、名前は聞いたことがあるが、概要は知らないといった回答が多数であったことも踏まえて、全ての高齢者が自身に合ったサービスや制度を使っていけるよう、情報提供の充実が課題です。
参考 P16～健康について（P19、20）、Ｐ35～市への意見

5　家族の介護負担について
アンケート結果をみると、今後介護を続けていくことができるかでは、「何らかの支援が整えば続けていける」と回答した人が最も多いことがうかがえます。 また、介護をしていて良かったと思うことでは、介護状態にある人への恩返しや、病状等の改善、人間としての絆の深まりが約２割となっています。介護が人生に悪影響を与えているかの設問では、「いいえ」の割合が５割と、「はい」と比較すると 40 ポイント近く多いことが分かりました。 今後、介護者の負担軽減や介護に対して肯定的な見方が今後も増えるよう、支援策を検討していくこと、介護者同士の交流や医療・介護専門職及び介護経験者への相談等の各種支援ネットワーク構築を図っていくことが必要です。
参考 Ｐ29～在宅の介護者について、アンケート調査報告書

今後、上記に挙げた重点領域を鑑みながら、関係各課の事業実施状況や、厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システム等のデータも踏まえて８期計画への課題へつなげていきます。

第８期つくば市高齢者福祉計画策定のための
アンケート調査報告書

令和２年６月

つくば市

目次

Ⅰ．調査の概要 1
Ⅱ．調査結果 5
1　一般高齢者調査 7
（1）あなた自身（宛名御本人）について 12
（2）あなたの御家族や生活状況について 14
（3）からだを動かすことについて 20
（4）食べることについて 30
（5）毎日の生活について 42
（6）地域での活動について 60
（7）たすけあいについて 73
（8）健康について 81
（9）住まいについて 111
（10）認知症にかかる相談窓口の把握について 116
（11）家族の介護について 118
（12）市への意見 121
2　要支援・要介護認定者調査 125
（1）あなた自身（宛名御本人）について 131
（2）あなたの御家族や生活状況について 134
（3）からだを動かすことについて 143
（4）食べることについて 155
（5）毎日の生活について 167
（6）地域での活動について 185
（7）たすけあいについて 198
（8）健康について 206
（9）住まいについて 238
（10）介護保険サービスの利用について 247
（11）認知症にかかる相談窓口の把握について 266
（12）市への意見 268
（13）在宅の介護者について 271
3　若年者調査 313
（1）あなた自身（宛名御本人）について 318
（2）生活状況について 320
（3）健康・医療について 327
（4）生きがいについて 349
（5）社会参加について 357
（6）住まいについて 370
（7）認知症にかかる相談窓口の把握について 374
（8）成年後見制度について 376

（9）家族の介護について 378
（10）市への意見、情報収集について 381
４　ケアマネジャー調査 385
（1）あなた（回答者）について 387
（2）関係機関との連携について 391
（3）入退院時について 395
（4）救急について 397
（5）看取りについて 400
（6）サービスの質の向上について 405
（7）仕事のことについて 408
（8）虐待について 409
（9）自由意見 412

Ⅰ．調査の概要

（1）目　的

本調査は「つくば市高齢者福祉計画（第８期)」策定のため、市内に居住する高齢者及びケアマネジャーの現状を把握し､計画の基礎資料とするために実施したものです。

（2）調査期間

令和２年１月 15 日～令和２年２月 17 日

（3）配布数及び回収数

対象者	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者	3,000	1,821	1,821	60.7%
要支援・要介護認定者	3,000	1,502	1,502	50.1%
若年者	2,000	806	805	40.3%
ケアマネジャー	250	174	171	68.4%

（4）報告書の見方

・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が 100%にならない場合があります。
・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています。したがって、合計値は 100%にならない場合もあります。

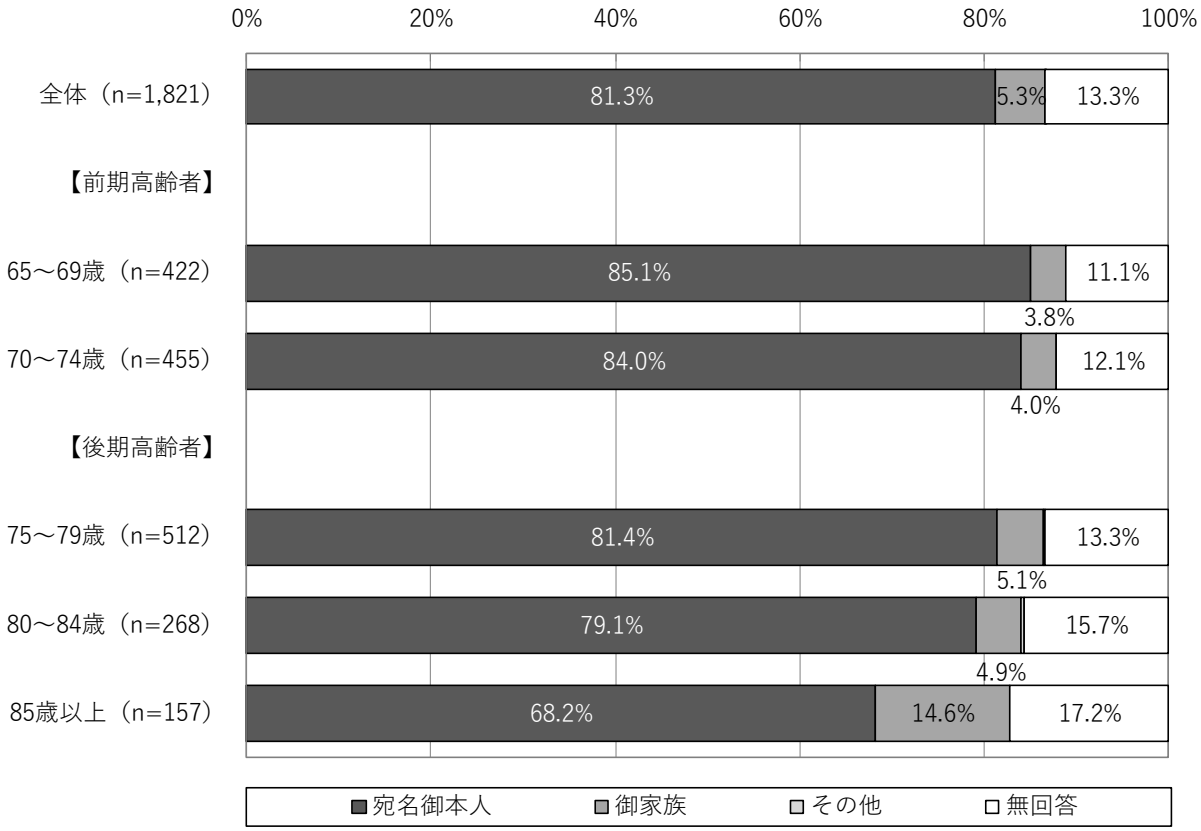
Ⅱ．調査結果

1　一般高齢者調査

1　一般高齢者調査

アンケートに記入される方はどなたですか。（Oは１つ）

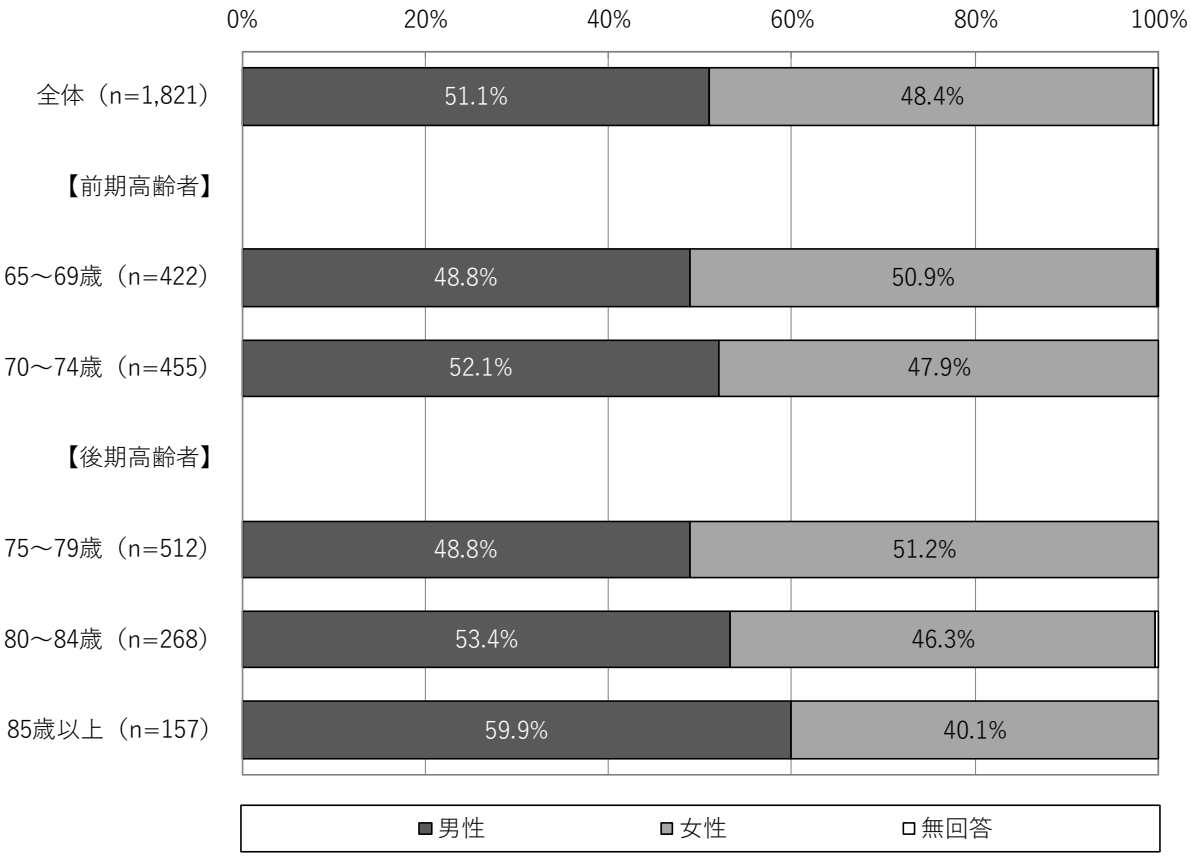
記入された方では、「あて名のご本人が記入」が 81.3％と最も多くなっています。



	宛名御本人	御家族（宛名の御本人からみた続柄）	その他	無回答	合計
全体	1,480	97	2	242	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	359	16	0	47	422
70～74歳	382	18	0	55	455
【後期高齢者】					
75～79歳	417	26	1	68	512
80～84歳	212	13	1	42	268
85歳以上	107	23	0	27	157
全体（n=1,821）	81.3%	5.3%	0.1%	13.3%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	85.1%	3.8%	0.0%	11.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	84.0%	4.0%	0.0%	12.1%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	81.4%	5.1%	0.2%	13.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	79.1%	4.9%	0.4%	15.7%	100.0%
85歳以上（n=157）	68.2%	14.6%	0.0%	17.2%	100.0%

性別・年齢

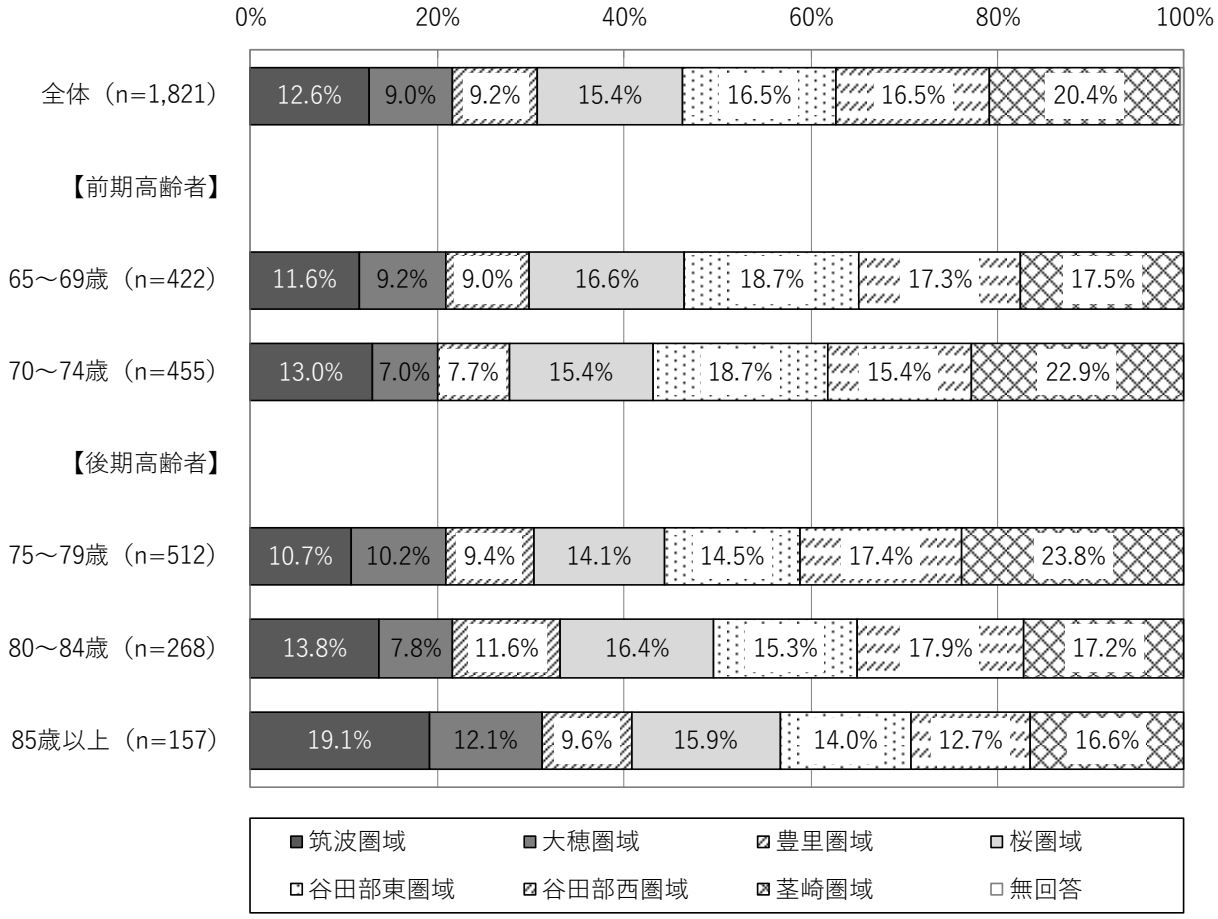
性別では、「男性」が 51.1%、「女性」が 48.4%となっています。



	男性	女性	無回答	合計
全体	930	882	9	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	206	215	1	422
70～74歳	237	218	0	455
【後期高齢者】				
75～79歳	250	262	0	512
80～84歳	143	124	1	268
85歳以上	94	63	0	157
全体（n=1,821）	51.1%	48.4%	0.5%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	48.8%	50.9%	0.2%	100.0%
70～74歳（n=455）	52.1%	47.9%	0.0%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	48.8%	51.2%	0.0%	100.0%
80～84歳（n=268）	53.4%	46.3%	0.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	59.9%	40.1%	0.0%	100.0%

圏域

圏域では、「茎崎圏域」が 20.4%と最も多く、次いで「谷田部東圏域」「谷田部西圏域」がともに 16.5%となっています。

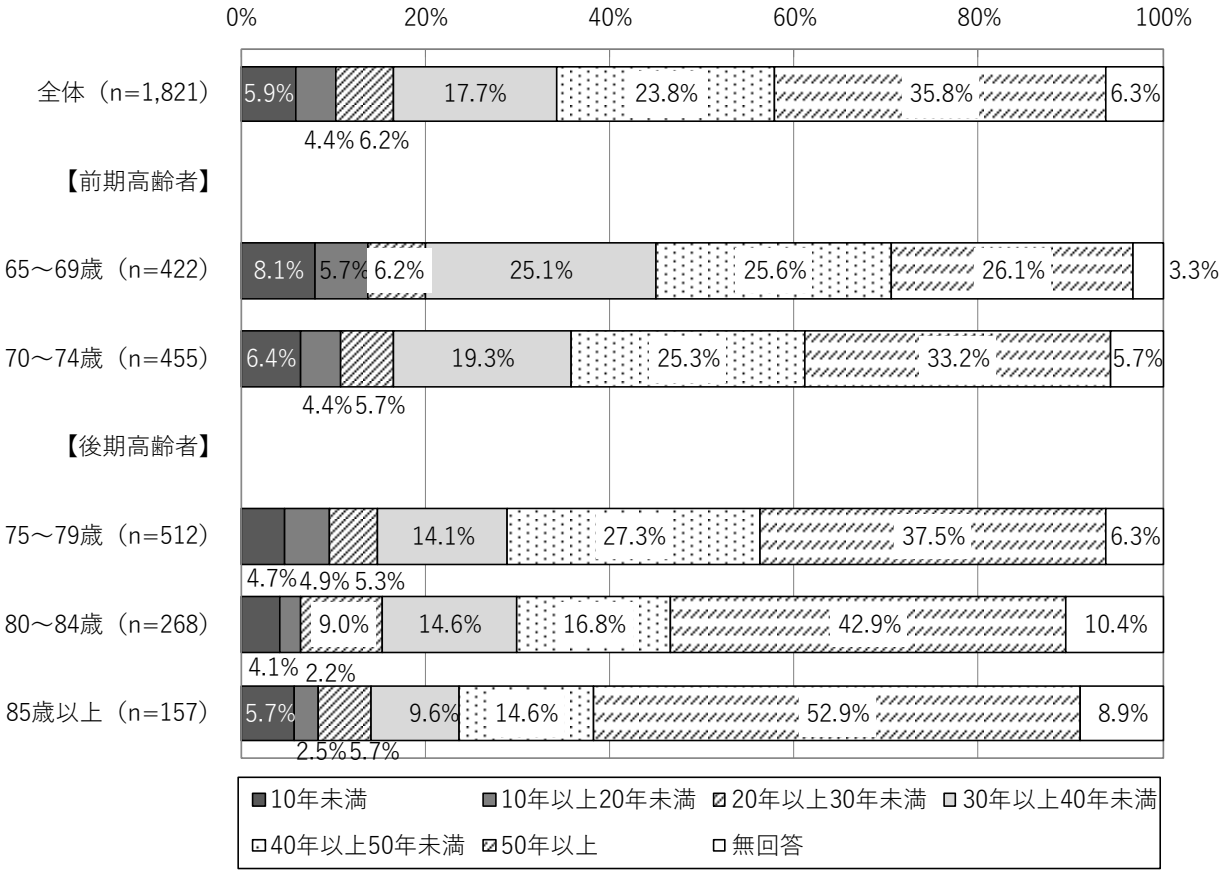


	筑波圏域	大穂圏域	豊里圏域	桜圏域	谷田部東圏域	谷田部西圏域	茎崎圏域	無回答	合計
全体	230	163	167	281	301	300	372	7	1,821
【前期高齢者】									
65～69歳	49	39	38	70	79	73	74	0	422
70～74歳	59	32	35	70	85	70	104	0	455
【後期高齢者】									
75～79歳	55	52	48	72	74	89	122	0	512
80～84歳	37	21	31	44	41	48	46	0	268
85歳以上	30	19	15	25	22	20	26	0	157
全体（n=1,821）	12.6%	9.0%	9.2%	15.4%	16.5%	16.5%	20.4%	0.4%	100.0%
【前期高齢者】									
65～69歳（n=422）	11.6%	9.2%	9.0%	16.6%	18.7%	17.3%	17.5%	0.0%	100.0%
70～74歳（n=455）	13.0%	7.0%	7.7%	15.4%	18.7%	15.4%	22.9%	0.0%	100.0%
【後期高齢者】									
75～79歳（n=512）	10.7%	10.2%	9.4%	14.1%	14.5%	17.4%	23.8%	0.0%	100.0%
80～84歳（n=268）	13.8%	7.8%	11.6%	16.4%	15.3%	17.9%	17.2%	0.0%	100.0%
85歳以上（n=157）	19.1%	12.1%	9.6%	15.9%	14.0%	12.7%	16.6%	0.0%	100.0%

（1）あなた自身（宛名御本人）について

問１　あなたは、つくば市に住みはじめて通算で何年になりますか。

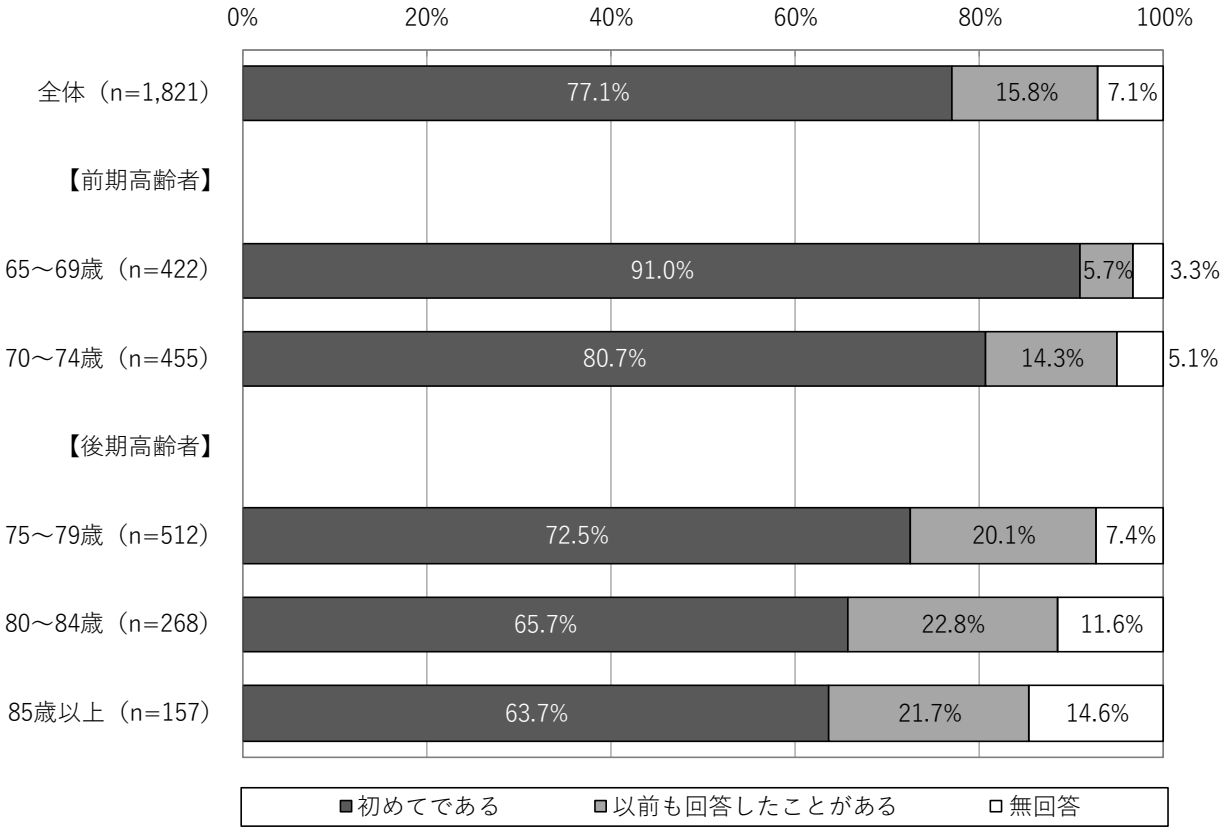
つくば市に住みはじめて何年になるかでは、「50 年以上」が 35.8%と最も多く、次いで「40 年以上 50 年未満」が 23.8%、「30 年以上 40 年未満」が 17.7%となっています。



	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上50年未満	50年以上	無回答	合計
全体	107	80	113	322	433	652	114	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	34	24	26	106	108	110	14	422
70～74歳	29	20	26	88	115	151	26	455
【後期高齢者】								
75～79歳	24	25	27	72	140	192	32	512
80～84歳	11	6	24	39	45	115	28	268
85歳以上	9	4	9	15	23	83	14	157
全体（n=1,821）	5.9%	4.4%	6.2%	17.7%	23.8%	35.8%	6.3%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	8.1%	5.7%	6.2%	25.1%	25.6%	26.1%	3.3%	100.0%
70～74歳（n=455）	6.4%	4.4%	5.7%	19.3%	25.3%	33.2%	5.7%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	4.7%	4.9%	5.3%	14.1%	27.3%	37.5%	6.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	4.1%	2.2%	9.0%	14.6%	16.8%	42.9%	10.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	5.7%	2.5%	5.7%	9.6%	14.6%	52.9%	8.9%	100.0%

問２　高齢者福祉計画に係るアンケート調査に回答したことがありますか。

高齢者福祉計画に係るアンケート調査に回答したことがあるかでは、「初めてである」が 77.1%、「以前も回答したことがある」が 15.8%となっています。

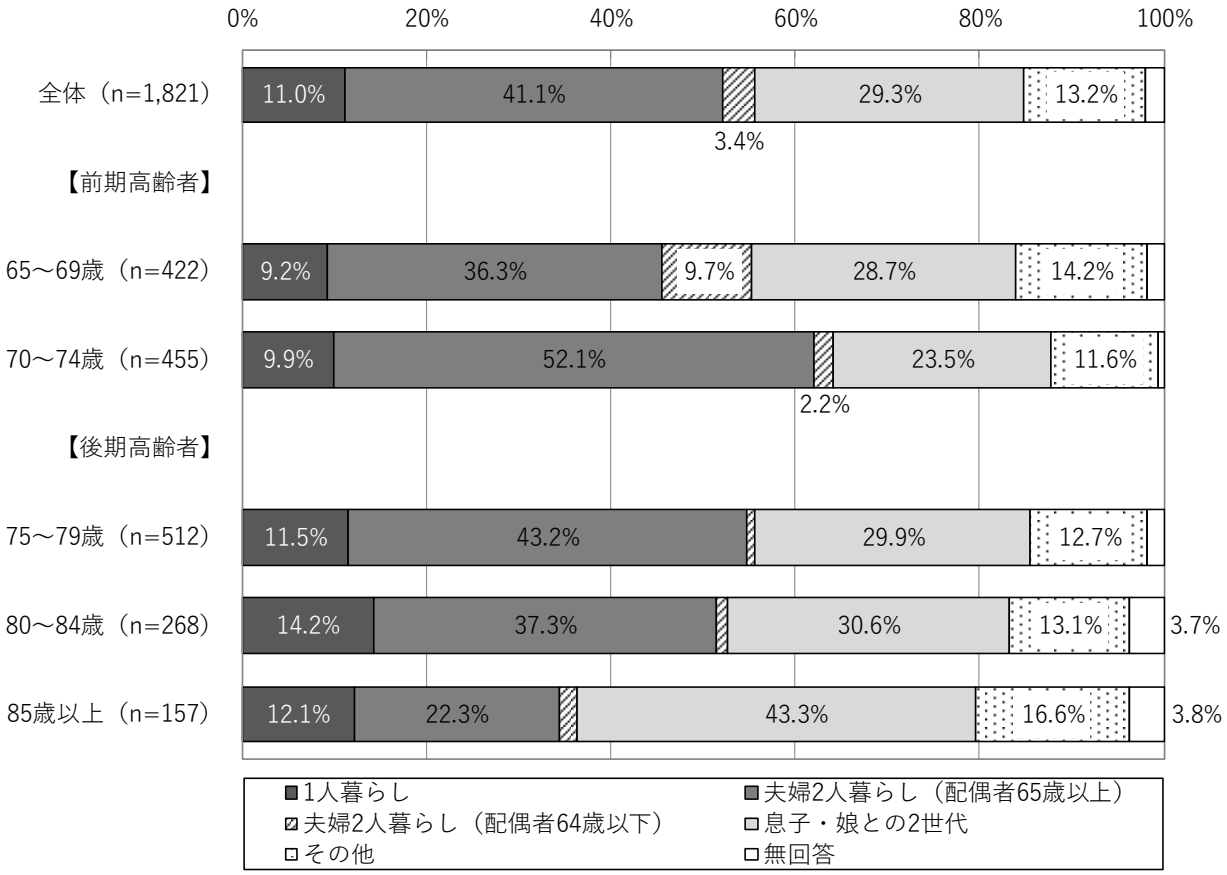


	初めてである	以前も回答したことがある	無回答	合計
全体	1,404	288	129	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	384	24	14	422
70～74歳	367	65	23	455
【後期高齢者】				
75～79歳	371	103	38	512
80～84歳	176	61	31	268
85歳以上	100	34	23	157
全体（n=1,821）	77.1%	15.8%	7.1%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	91.0%	5.7%	3.3%	100.0%
70～74歳（n=455）	80.7%	14.3%	5.1%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	72.5%	20.1%	7.4%	100.0%
80～84歳（n=268）	65.7%	22.8%	11.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	63.7%	21.7%	14.6%	100.0%

（2）あなたの御家族や生活状況について

問１　家族構成をお教えください。

家族構成では、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 41.1%と最も多く、次いで「息子・娘との２世代」が 29.3%となっています。

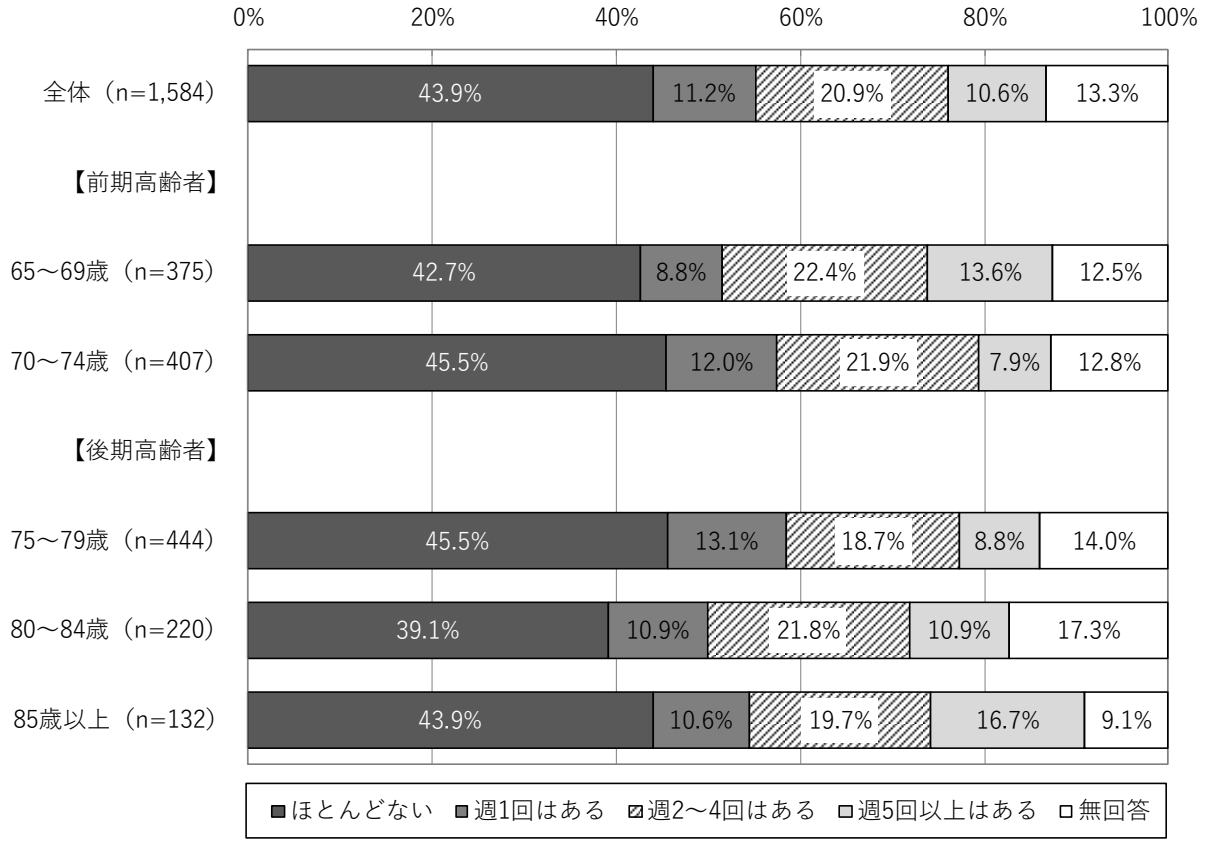


	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世代	その他	無回答	合計
全体	201	748	62	534	240	36	1,821
【前期高齢者】							
65～69歳	39	153	41	121	60	8	422
70～74歳	45	237	10	107	53	3	455
【後期高齢者】							
75～79歳	59	221	5	153	65	9	512
80～84歳	38	100	3	82	35	10	268
85歳以上	19	35	3	68	26	6	157
全体(n=1,821)	11.0%	41.1%	3.4%	29.3%	13.2%	2.0%	100.0%
【前期高齢者】							
65～69歳(n=422)	9.2%	36.3%	9.7%	28.7%	14.2%	1.9%	100.0%
70～74歳(n=455)	9.9%	52.1%	2.2%	23.5%	11.6%	0.7%	100.0%
【後期高齢者】							
75～79歳(n=512)	11.5%	43.2%	1.0%	29.9%	12.7%	1.8%	100.0%
80～84歳(n=268)	14.2%	37.3%	1.1%	30.6%	13.1%	3.7%	100.0%
85歳以上(n=157)	12.1%	22.3%	1.9%	43.3%	16.6%	3.8%	100.0%

【問 1 で「1 人暮らし」以外の方】

問 1-1　日中、1 人になることがありますか。

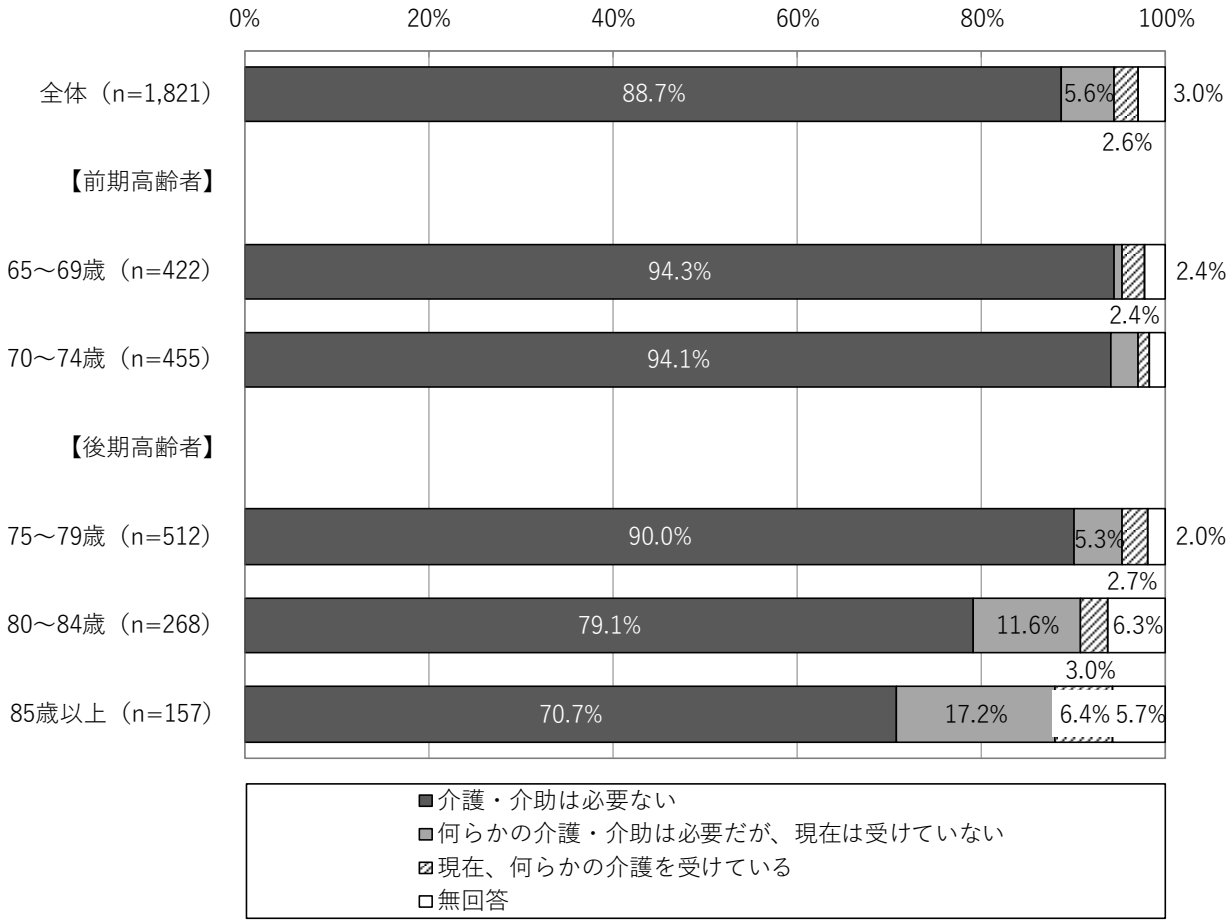
日中、1 人になることがあるかでは、「ほとんどない」が 43.9%と最も多く、次いで「週 2～4 回はある」が 20.9%、「週 1 回はある」が 11.2%となっています。



	ほとんどない	週1回はある	週2～4回はある	週5回以上はある	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	696	178	331	168	211	1,584	237	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	160	33	84	51	47	375	47	422
70～74歳	185	49	89	32	52	407	48	455
【後期高齢者】								
75～79歳	202	58	83	39	62	444	68	512
80～84歳	86	24	48	24	38	220	48	268
85歳以上	58	14	26	22	12	132	25	157
全体（n=1,584）	43.9%	11.2%	20.9%	10.6%	13.3%	100.0%		
【前期高齢者】								
65～69歳（n=375）	42.7%	8.8%	22.4%	13.6%	12.5%	100.0%		
70～74歳（n=407）	45.5%	12.0%	21.9%	7.9%	12.8%	100.0%		
【後期高齢者】								
75～79歳（n=444）	45.5%	13.1%	18.7%	8.8%	14.0%	100.0%		
80～84歳（n=220）	39.1%	10.9%	21.8%	10.9%	17.3%	100.0%		
85歳以上（n=132）	43.9%	10.6%	19.7%	16.7%	9.1%	100.0%		

問２　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かでは、「介護・介助は必要ない」が88.7%と最も多くなっています。

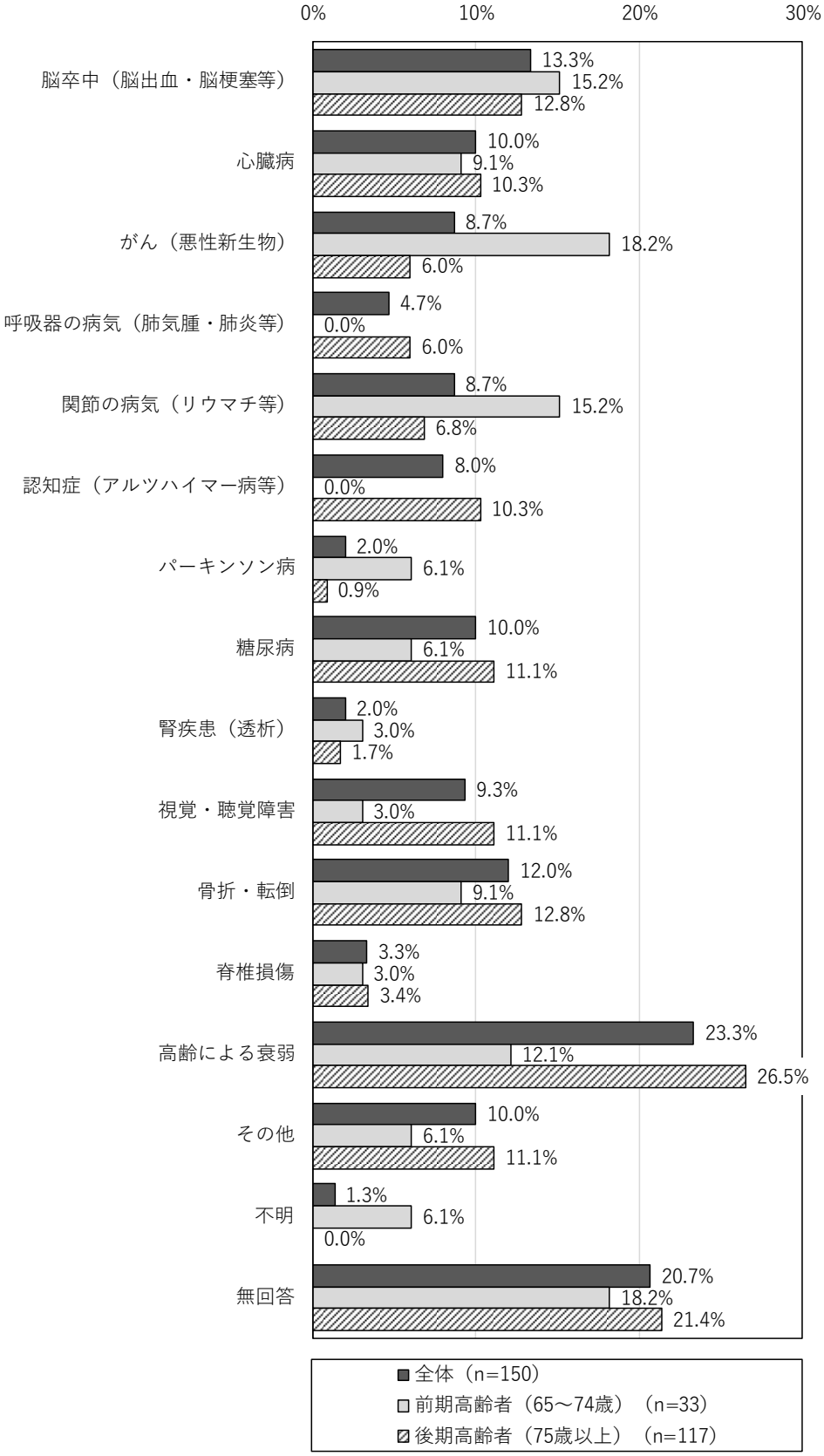


	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	無回答	合計
全体	1,616	102	48	55	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	398	4	10	10	422
70～74歳	428	13	6	8	455
【後期高齢者】					
75～79歳	461	27	14	10	512
80～84歳	212	31	8	17	268
85歳以上	111	27	10	9	157
全体（n=1,821）	88.7%	5.6%	2.6%	3.0%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	94.3%	0.9%	2.4%	2.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	94.1%	2.9%	1.3%	1.8%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	90.0%	5.3%	2.7%	2.0%	100.0%
80～84歳（n=268）	79.1%	11.6%	3.0%	6.3%	100.0%
85歳以上（n=157）	70.7%	17.2%	6.4%	5.7%	100.0%

【問２において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 2-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも）

介護•介助が必要になった主な原因では､「高齢による衰弱」が 23.3%と最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 13.3%､「骨折・転倒」が 12.0%となっています。



	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害
全体	20	15	13	7	13	12	3	15	3	14
前期高齢者（65～74歳）	5	3	6	0	5	0	2	2	1	1
後期高齢者（75歳以上）	15	12	7	7	8	12	1	13	2	13
全体（n=150）	13.3%	10.0%	8.7%	4.7%	8.7%	8.0%	2.0%	10.0%	2.0%	9.3%
前期高齢者（65～74歳）（n=33）	15.2%	9.1%	18.2%	0.0%	15.2%	0.0%	6.1%	6.1%	3.0%	3.0%
後期高齢者（75歳以上）（n=117）	12.8%	10.3%	6.0%	6.0%	6.8%	10.3%	0.9%	11.1%	1.7%	11.1%

	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	18	5	35	15	2	31	150	1,671	1,821
前期高齢者（65～74歳）	3	1	4	2	2	6	33	844	877
後期高齢者（75歳以上）	15	4	31	13	0	25	117	820	937
全体（n=150）	12.0%	3.3%	23.3%	10.0%	1.3%	20.7%			
前期高齢者（65～74歳）（n=33）	9.1%	3.0%	12.1%	6.1%	6.1%	18.2%			
後期高齢者（75歳以上）（n=117）	12.8%	3.4%	26.5%	11.1%	0.0%	21.4%			

【問２において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問 2-2　主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

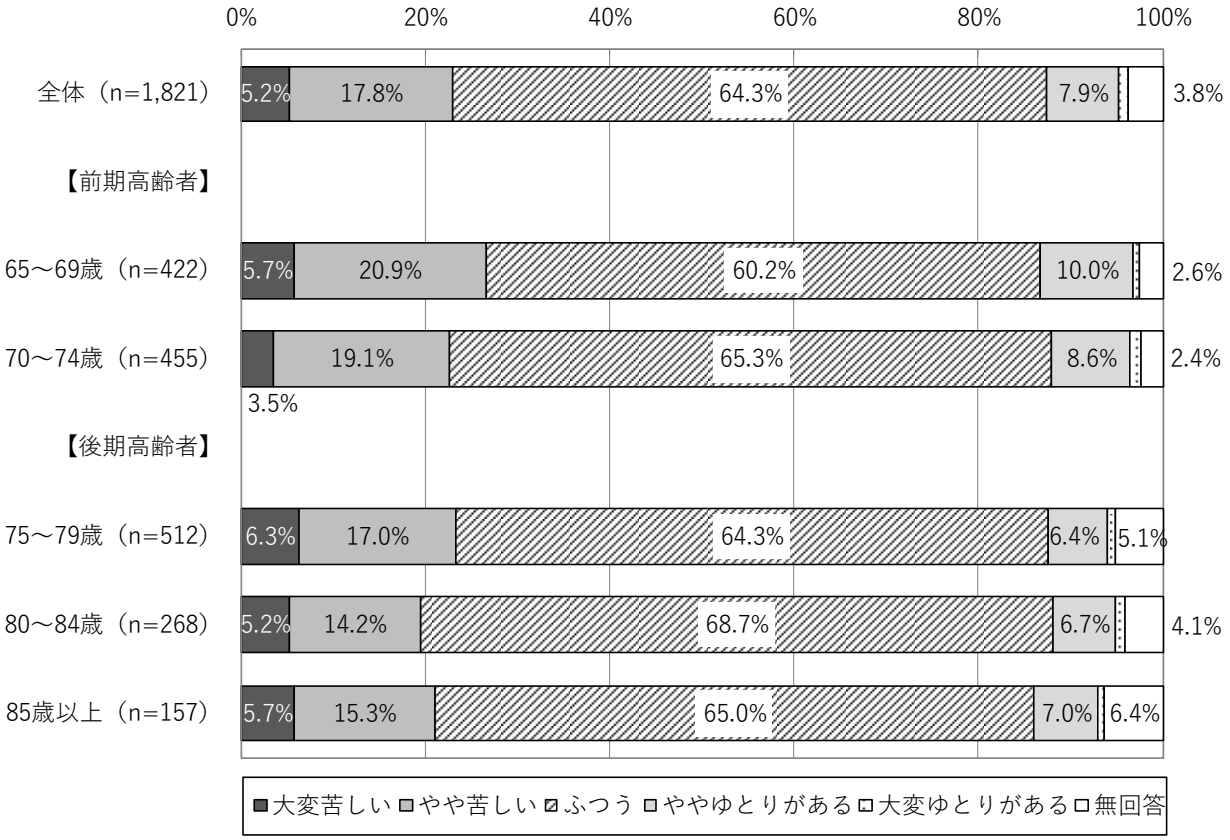
主にどなたの介護、介助を受けているかでは、「配偶者（夫・妻）」が 48 件中 22 件と最も多く、次いで「娘」が 14 件、「息子」が 11 件となっています。

	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	22	11	14	2	1	2	4	5	4	48	1,773	65
前期高齢者（65～74歳）	6	2	2	0	0	1	4	2	2	16	861	19
後期高齢者（75歳以上）	16	9	12	2	1	1	0	3	2	32	905	46
全体（n=48）	45.8%	22.9%	29.2%	4.2%	2.1%	4.2%	8.3%	10.4%	8.3%			
前期高齢者（65～74歳）（n=16）	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	25.0%	12.5%	12.5%			
後期高齢者（75歳以上）（n=32）	50.0%	28.1%	37.5%	6.3%	3.1%	3.1%	0.0%	9.4%	6.3%			

※回答者数が少ない為表のみ掲載

問３　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの状況では、「ふつう」が 64.3%と最も多くなっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が 23.0%、「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が 8.9%となっています。

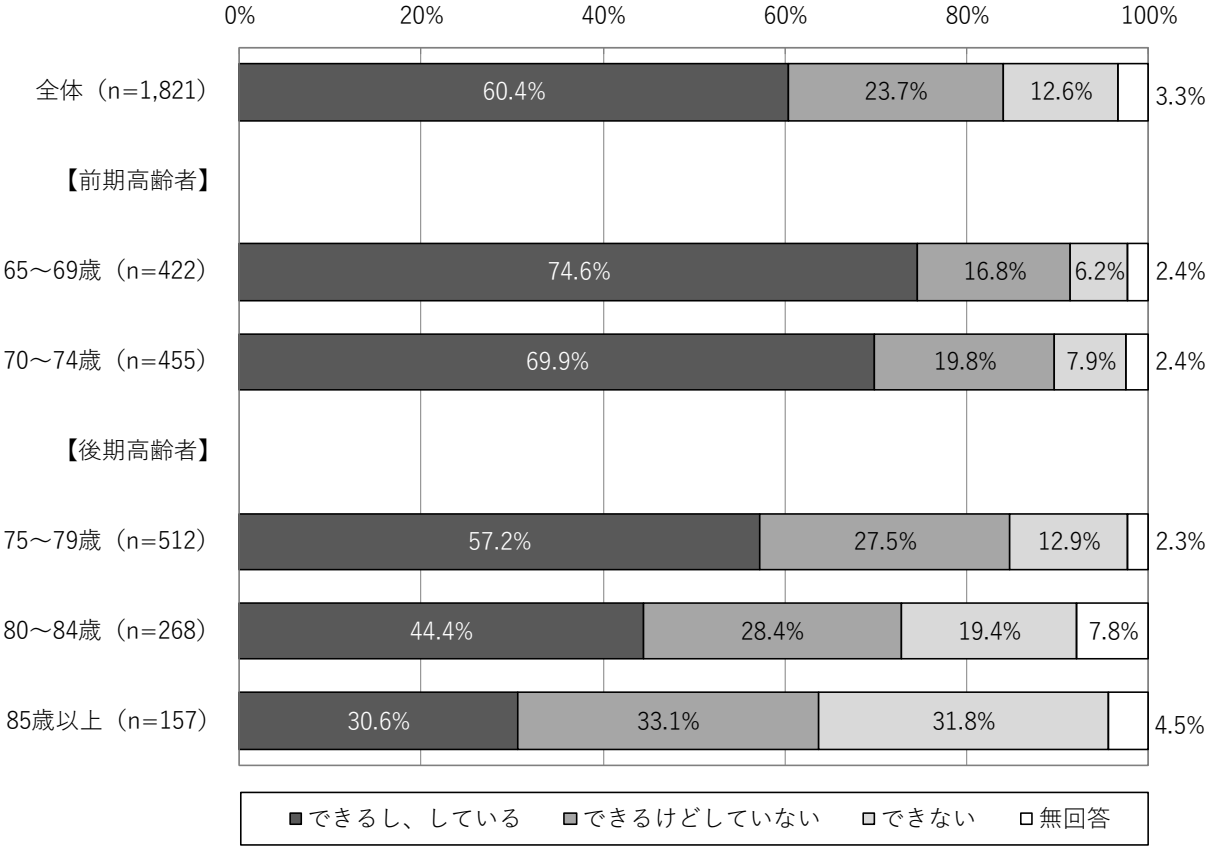


	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	合計
全体	95	324	1,171	144	18	69	1,821
【前期高齢者】							
65～69歳	24	88	254	42	3	11	422
70～74歳	16	87	297	39	5	11	455
【後期高齢者】							
75～79歳	32	87	329	33	5	26	512
80～84歳	14	38	184	18	3	11	268
85歳以上	9	24	102	11	1	10	157
全体（n=1,821）	5.2%	17.8%	64.3%	7.9%	1.0%	3.8%	100.0%
【前期高齢者】							
65～69歳（n=422）	5.7%	20.9%	60.2%	10.0%	0.7%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	3.5%	19.1%	65.3%	8.6%	1.1%	2.4%	100.0%
【後期高齢者】							
75～79歳（n=512）	6.3%	17.0%	64.3%	6.4%	1.0%	5.1%	100.0%
80～84歳（n=268）	5.2%	14.2%	68.7%	6.7%	1.1%	4.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	5.7%	15.3%	65.0%	7.0%	0.6%	6.4%	100.0%

（3）からだを動かすことについて

問１　階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。

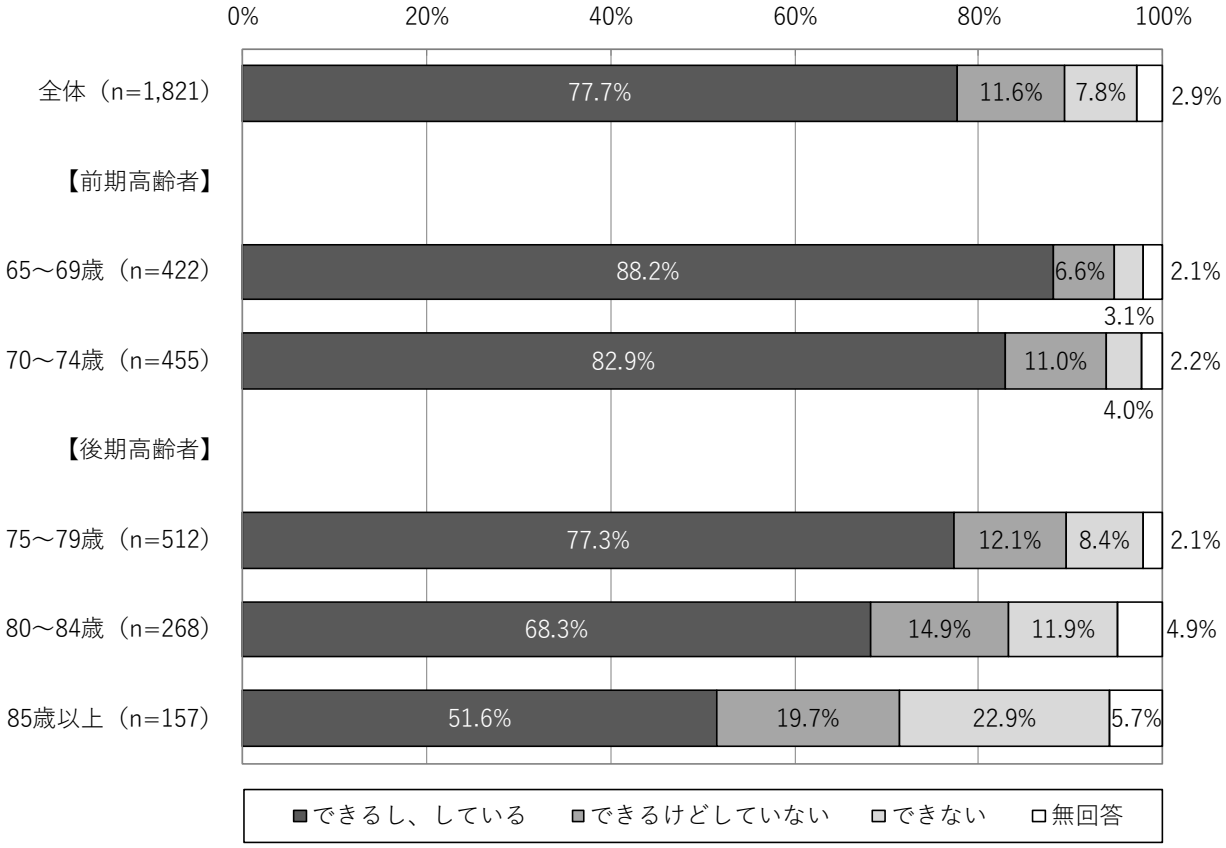
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているかでは、「できるし、している」が60.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 23.7%、「できない」が 12.6%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,099	431	230	61	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	315	71	26	10	422
70～74歳	318	90	36	11	455
【後期高齢者】					
75～79歳	293	141	66	12	512
80～84歳	119	76	52	21	268
85歳以上	48	52	50	7	157
全体（n=1,821）	60.4%	23.7%	12.6%	3.3%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	74.6%	16.8%	6.2%	2.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	69.9%	19.8%	7.9%	2.4%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	57.2%	27.5%	12.9%	2.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	44.4%	28.4%	19.4%	7.8%	100.0%
85歳以上（n=157）	30.6%	33.1%	31.8%	4.5%	100.0%

問 2　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

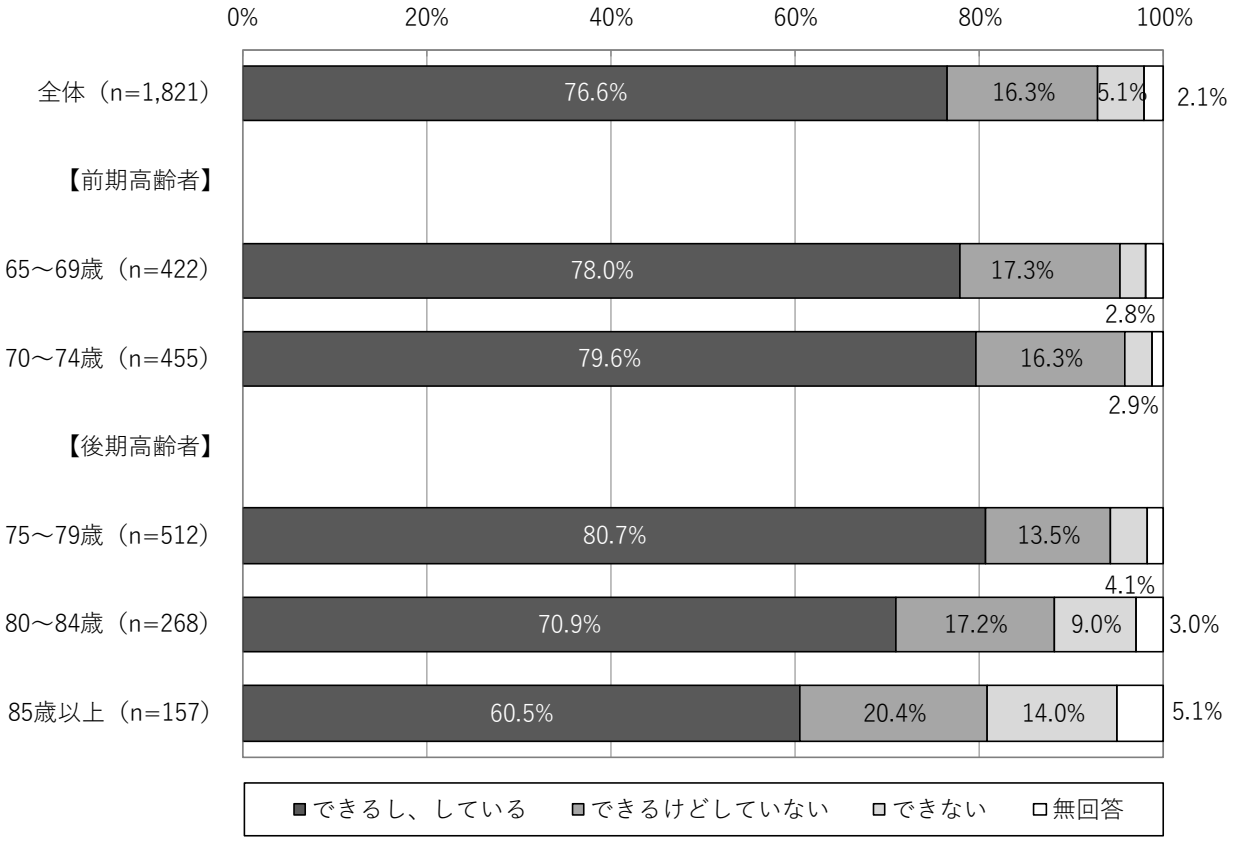
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかでは、「できるし、している」が 77.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.6%、「できない」が 7.8%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,415	212	142	52	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	372	28	13	9	422
70～74歳	377	50	18	10	455
【後期高齢者】					
75～79歳	396	62	43	11	512
80～84歳	183	40	32	13	268
85歳以上	81	31	36	9	157
全体(n=1,821)	77.7%	11.6%	7.8%	2.9%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳(n=422)	88.2%	6.6%	3.1%	2.1%	100.0%
70～74歳(n=455)	82.9%	11.0%	4.0%	2.2%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳(n=512)	77.3%	12.1%	8.4%	2.1%	100.0%
80～84歳(n=268)	68.3%	14.9%	11.9%	4.9%	100.0%
85歳以上(n=157)	51.6%	19.7%	22.9%	5.7%	100.0%

問 3　15 分位続けて歩いていますか。

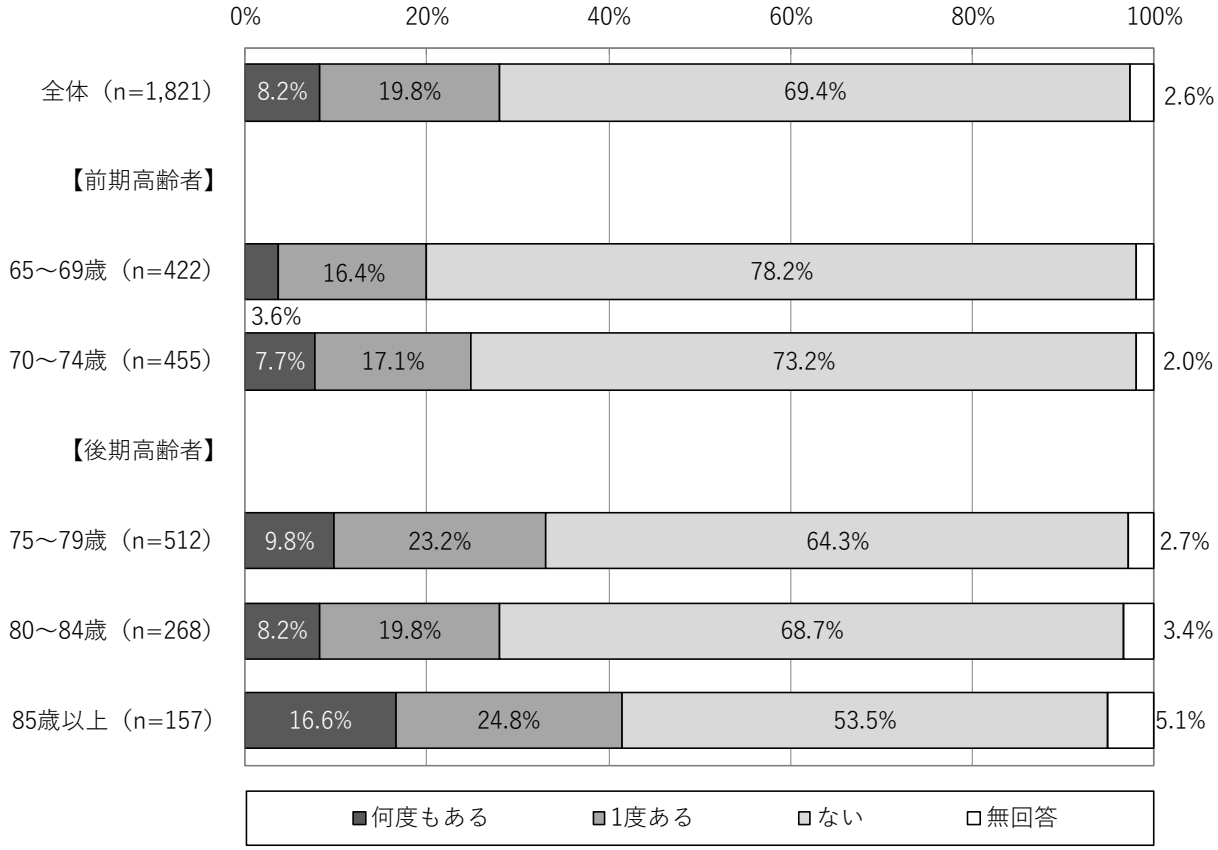
15 分位続けて歩いているかでは、「できるし、している」が 76.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 16.3%、「できない」が 5.1%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,394	296	92	39	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	329	73	12	8	422
70～74歳	362	74	13	6	455
【後期高齢者】					
75～79歳	413	69	21	9	512
80～84歳	190	46	24	8	268
85歳以上	95	32	22	8	157
全体(n=1,821)	76.6%	16.3%	5.1%	2.1%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳(n=422)	78.0%	17.3%	2.8%	1.9%	100.0%
70～74歳(n=455)	79.6%	16.3%	2.9%	1.3%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳(n=512)	80.7%	13.5%	4.1%	1.8%	100.0%
80～84歳(n=268)	70.9%	17.2%	9.0%	3.0%	100.0%
85歳以上(n=157)	60.5%	20.4%	14.0%	5.1%	100.0%

問４　過去１年間に転んだ経験がありますか。

過去 1 年間に転んだ経験があるかでは、「何度もある」が 8.2%、「1 度ある」が 19.8%、「ない」が 69.4%となっています。

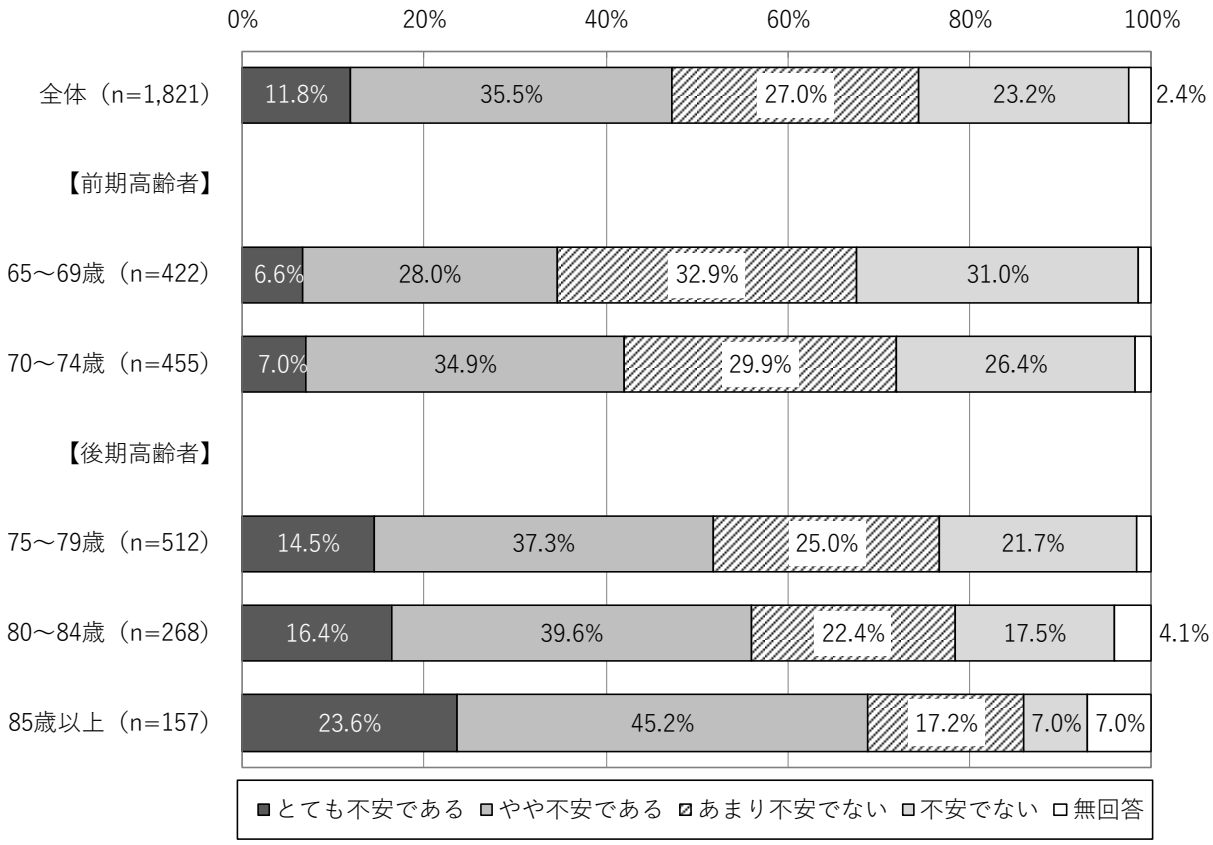


	何度もある	1度ある	ない	無回答	合計
全体	149	361	1,263	48	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	15	69	330	8	422
70～74歳	35	78	333	9	455
【後期高齢者】					
75～79歳	50	119	329	14	512
80～84歳	22	53	184	9	268
85歳以上	26	39	84	8	157
全体（n=1,821）	8.2%	19.8%	69.4%	2.6%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	3.6%	16.4%	78.2%	1.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	7.7%	17.1%	73.2%	2.0%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	9.8%	23.2%	64.3%	2.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	8.2%	19.8%	68.7%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	16.6%	24.8%	53.5%	5.1%	100.0%

問 5　転倒に対する不安は大きいですか。

転倒に対する不安では、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた『不安である』が 47.3%となっています。

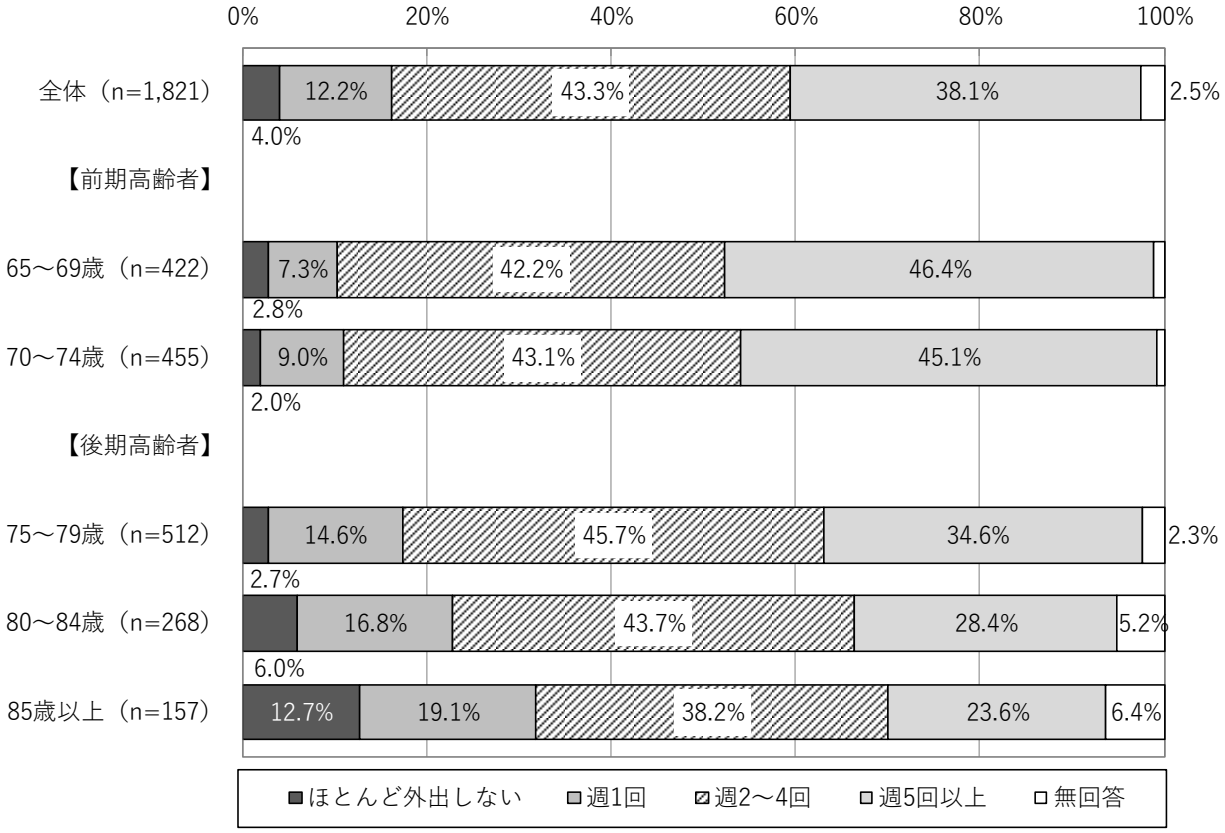
また、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた『不安でない』が 50.2%となっています。



	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	合計
全体	215	647	492	423	44	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	28	118	139	131	6	422
70～74歳	32	159	136	120	8	455
【後期高齢者】						
75～79歳	74	191	128	111	8	512
80～84歳	44	106	60	47	11	268
85歳以上	37	71	27	11	11	157
全体(n=1,821)	11.8%	35.5%	27.0%	23.2%	2.4%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳(n=422)	6.6%	28.0%	32.9%	31.0%	1.4%	100.0%
70～74歳(n=455)	7.0%	34.9%	29.9%	26.4%	1.8%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳(n=512)	14.5%	37.3%	25.0%	21.7%	1.6%	100.0%
80～84歳(n=268)	16.4%	39.6%	22.4%	17.5%	4.1%	100.0%
85歳以上(n=157)	23.6%	45.2%	17.2%	7.0%	7.0%	100.0%

問６　週に１回以上は外出していますか。

週に 1 回以上は外出しているかでは、「週 2～4 回」が 43.3%と最も多く、次いで「週５回以上」が 38.1%、「週１回」が 12.2%となっています。

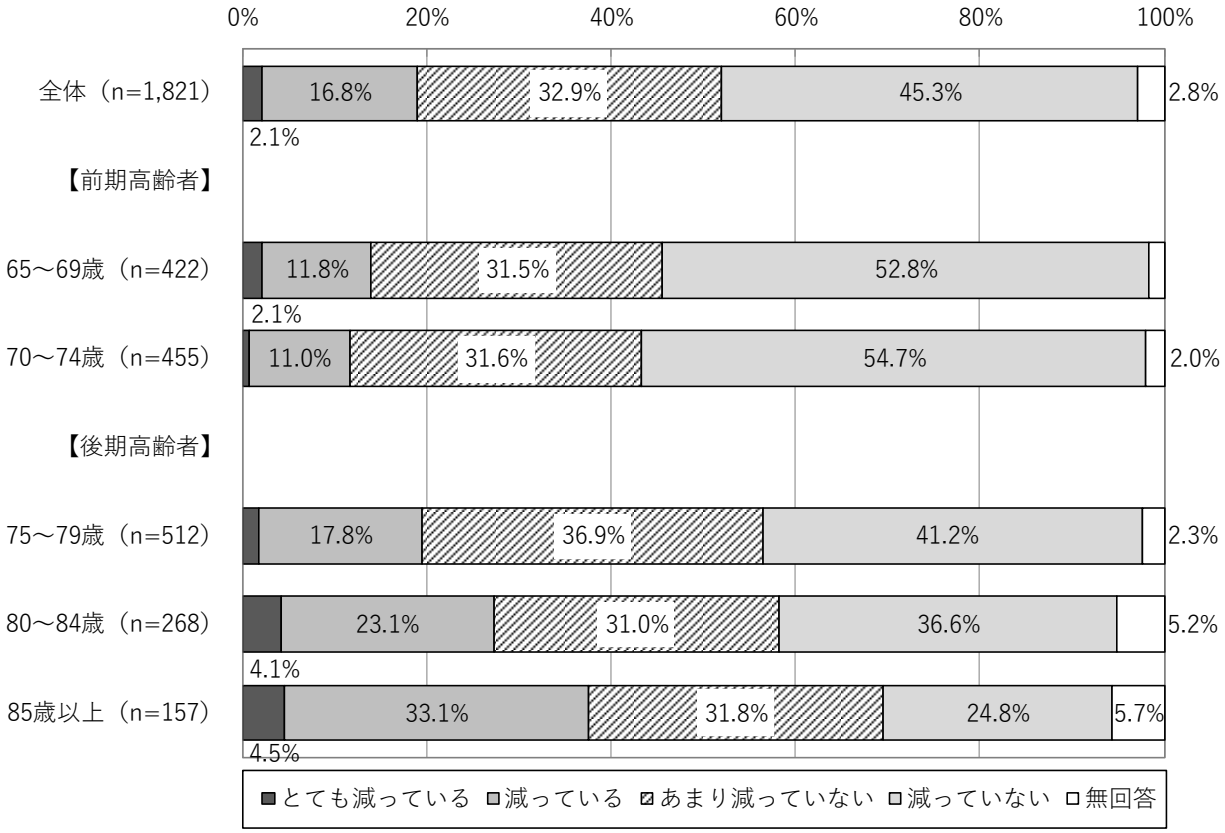


	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	合計
全体	72	223	788	693	45	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	12	31	178	196	5	422
70～74歳	9	41	196	205	4	455
【後期高齢者】						
75～79歳	14	75	234	177	12	512
80～84歳	16	45	117	76	14	268
85歳以上	20	30	60	37	10	157
全体(n=1,821)	4.0%	12.2%	43.3%	38.1%	2.5%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳(n=422)	2.8%	7.3%	42.2%	46.4%	1.2%	100.0%
70～74歳(n=455)	2.0%	9.0%	43.1%	45.1%	0.9%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳(n=512)	2.7%	14.6%	45.7%	34.6%	2.3%	100.0%
80～84歳(n=268)	6.0%	16.8%	43.7%	28.4%	5.2%	100.0%
85歳以上(n=157)	12.7%	19.1%	38.2%	23.6%	6.4%	100.0%

問７　昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた『減っていない』が 78.2%となっています。

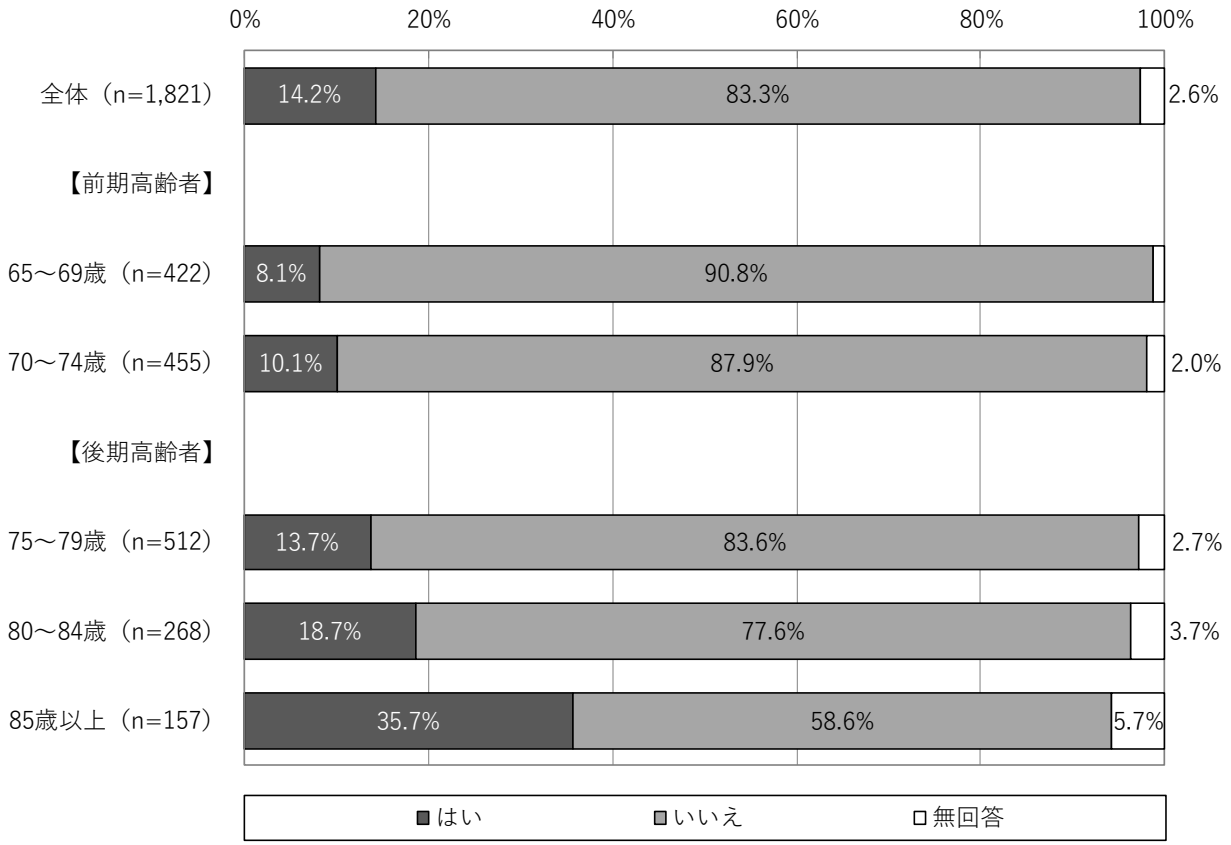
また、「とても減っている」「減っている」を合わせた『減っている』が 18.9%となっています。



	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	合計
全体	39	306	600	825	51	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	9	50	133	223	7	422
70～74歳	3	50	144	249	9	455
【後期高齢者】						
75～79歳	9	91	189	211	12	512
80～84歳	11	62	83	98	14	268
85歳以上	7	52	50	39	9	157
全体(n=1,821)	2.1%	16.8%	32.9%	45.3%	2.8%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳(n=422)	2.1%	11.8%	31.5%	52.8%	1.7%	100.0%
70～74歳(n=455)	0.7%	11.0%	31.6%	54.7%	2.0%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳(n=512)	1.8%	17.8%	36.9%	41.2%	2.3%	100.0%
80～84歳(n=268)	4.1%	23.1%	31.0%	36.6%	5.2%	100.0%
85歳以上(n=157)	4.5%	33.1%	31.8%	24.8%	5.7%	100.0%

問８　外出を控えていますか。

外出を控えているかでは、「はい」が 14.2%、「いいえ」が 83.3%となっています。

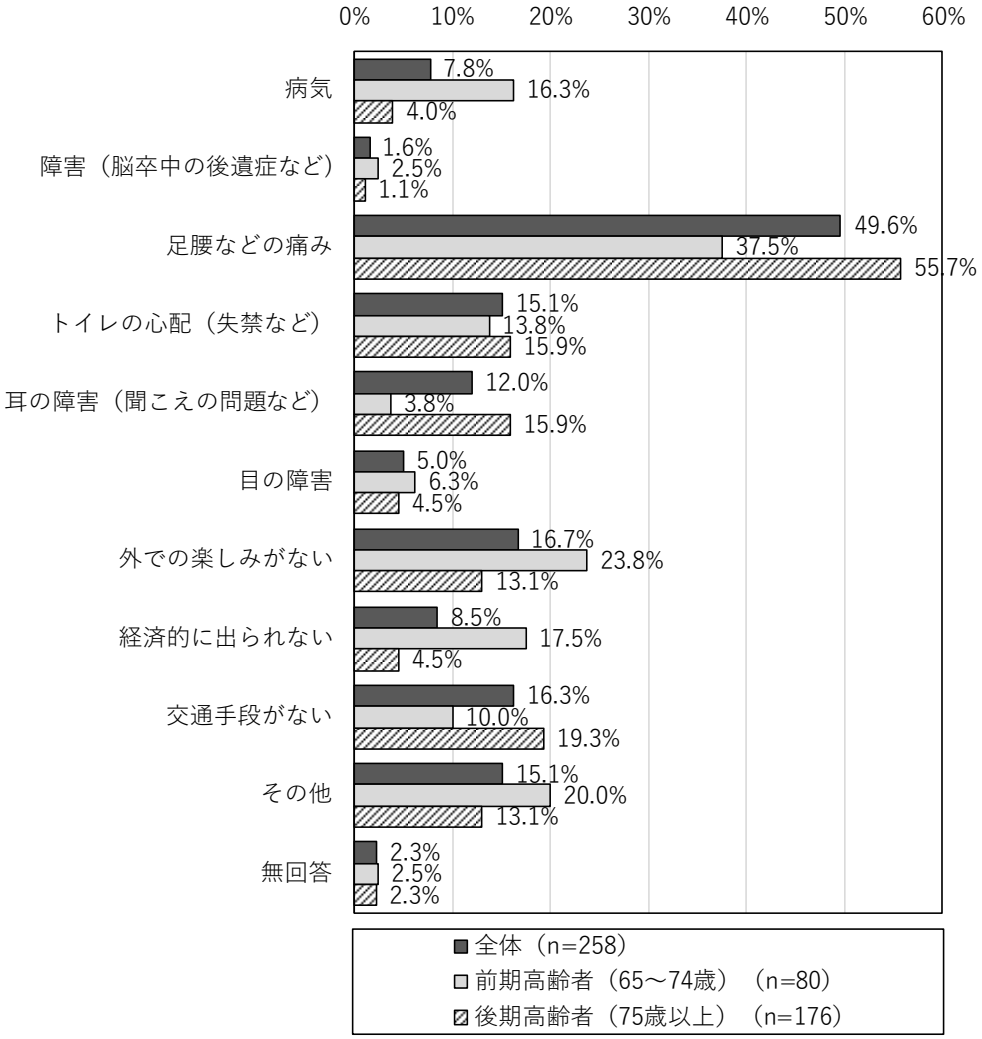


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	258	1,516	47	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	34	383	5	422
70～74歳	46	400	9	455
【後期高齢者】				
75～79歳	70	428	14	512
80～84歳	50	208	10	268
85歳以上	56	92	9	157
全体（n=1,821）	14.2%	83.3%	2.6%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	8.1%	90.8%	1.2%	100.0%
70～74歳（n=455）	10.1%	87.9%	2.0%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	13.7%	83.6%	2.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	18.7%	77.6%	3.7%	100.0%
85歳以上（n=157）	35.7%	58.6%	5.7%	100.0%

【問８で「はい」（外出を控えている）の方のみ】

問 8-1　外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

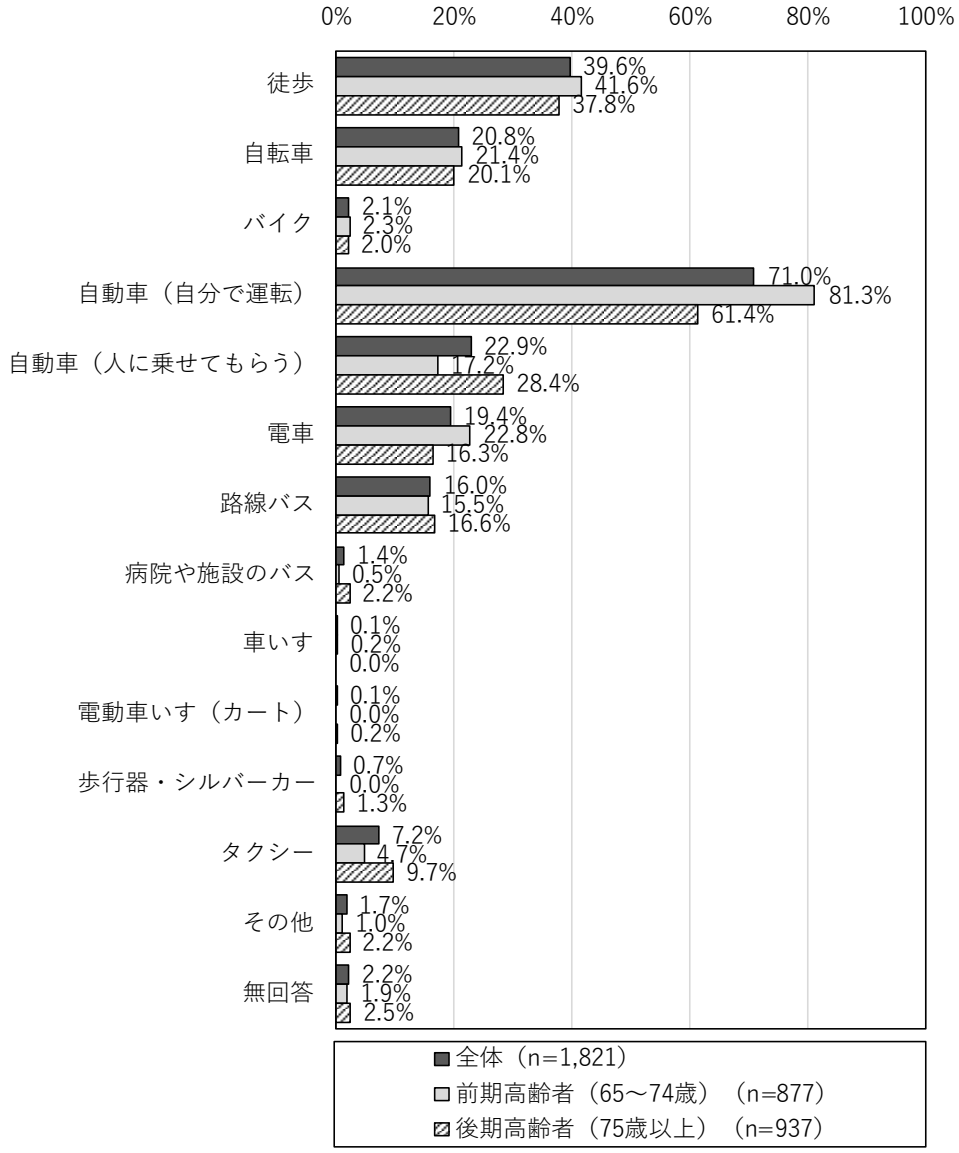
外出を控えている理由では、「足腰などの痛み」が 49.6%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が 16.7%、「交通手段がない」が 16.3%となっています。



	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	20	4	128	39	31	13	43	22	42	39	6	258	1,563	1,821
前期高齢者（65～74歳）	13	2	30	11	3	5	19	14	8	16	2	80	797	877
後期高齢者（75歳以上）	7	2	98	28	28	8	23	8	34	23	4	176	761	937
全体（n=258）	7.8%	1.6%	49.6%	15.1%	12.0%	5.0%	16.7%	8.5%	16.3%	15.1%	2.3%			
前期高齢者（65～74歳）（n=80）	16.3%	2.5%	37.5%	13.8%	3.8%	6.3%	23.8%	17.5%	10.0%	20.0%	2.5%			
後期高齢者（75歳以上）（n=176）	4.0%	1.1%	55.7%	15.9%	15.9%	4.5%	13.1%	4.5%	19.3%	13.1%	2.3%			

問９　外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも）

外出する際の移動手段では、「自動車（自分で運転）」が 71.0%と最も多く、次いで「徒歩」が 39.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 22.9%となっています。

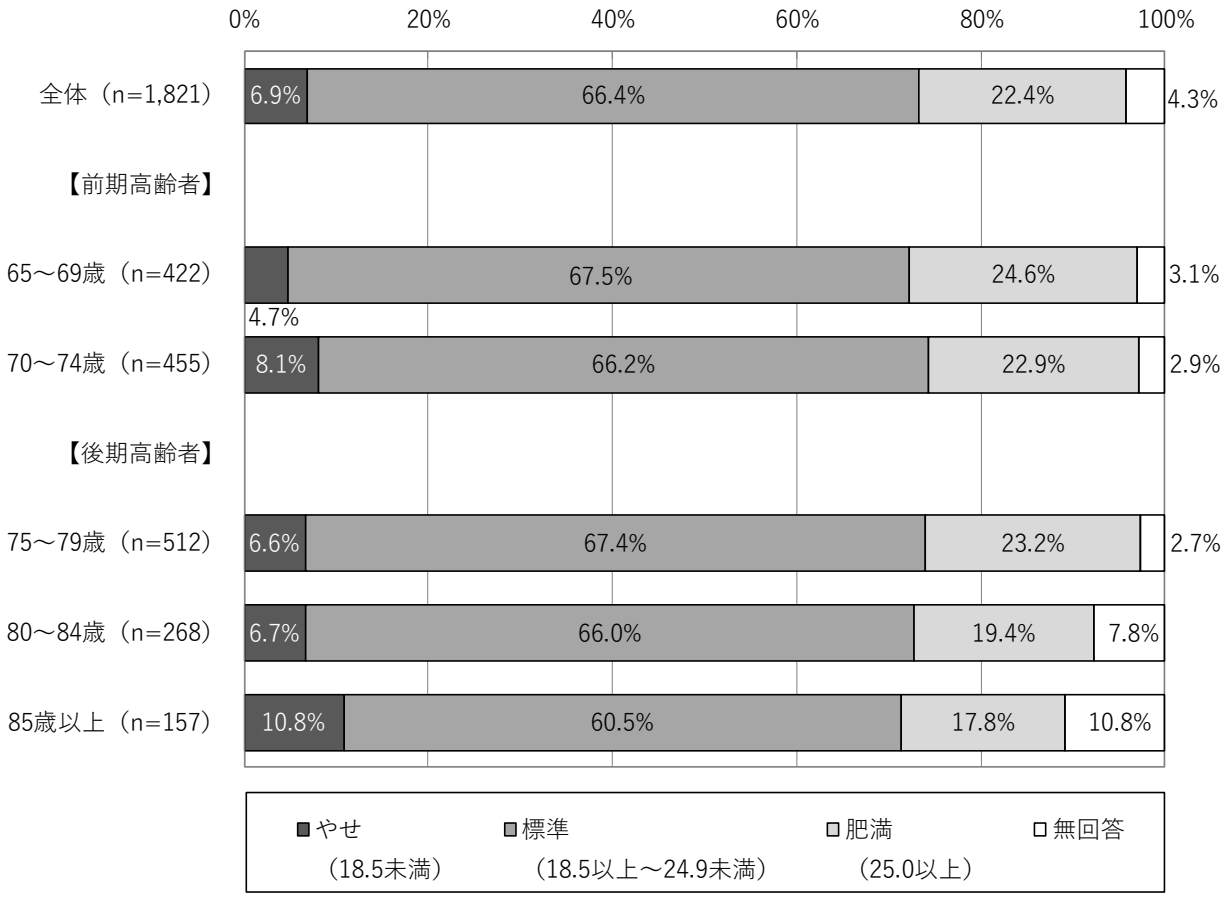


	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	回答者数
全体	722	378	39	1,293	417	354	292	25	2	2	12	132	31	40	1,821
前期高齢者（65～74歳）	365	188	20	713	151	200	136	4	2	0	0	41	9	17	877
後期高齢者（75歳以上）	354	188	19	575	266	153	156	21	0	2	12	91	21	23	937
全体（n=1,821）	39.6%	20.8%	2.1%	71.0%	22.9%	19.4%	16.0%	1.4%	0.1%	0.1%	0.7%	7.2%	1.7%	2.2%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	41.6%	21.4%	2.3%	81.3%	17.2%	22.8%	15.5%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	4.7%	1.0%	1.9%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	37.8%	20.1%	2.0%	61.4%	28.4%	16.3%	16.6%	2.2%	0.0%	0.2%	1.3%	9.7%	2.2%	2.5%	

（4）食べることについて

問１　身長・体重

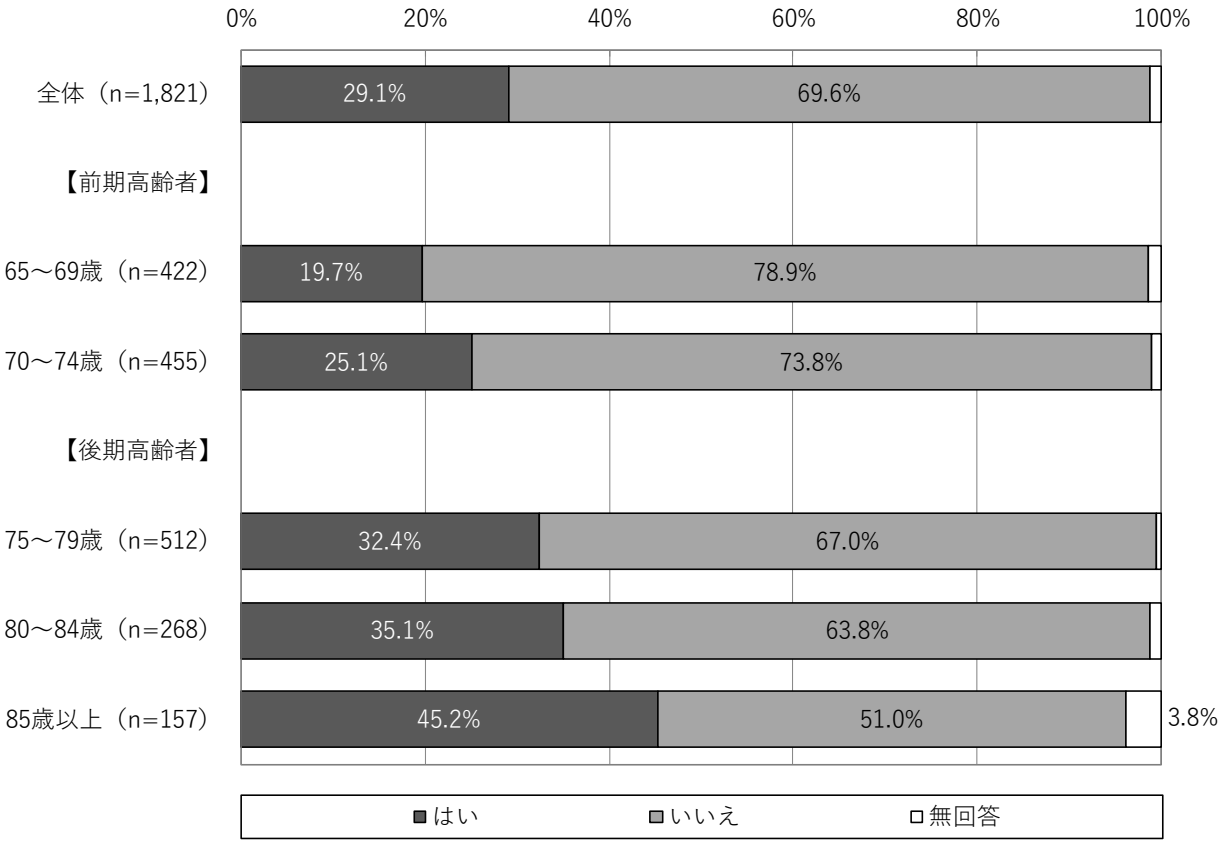
身長・体重から BMI を算出すると、「標準（18.5 以上～24.9 未満）」が 66.4%と最も多く、次いで「肥満（25.0 以上）」が 22.4%、「やせ（18.5 未満）」が 6.9%となっています。



	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上～24.9未満）	肥満（25.0以上）	無回答	合計
全体	126	1,209	408	78	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	20	285	104	13	422
70～74歳	37	301	104	13	455
【後期高齢者】					
75～79歳	34	345	119	14	512
80～84歳	18	177	52	21	268
85歳以上	17	95	28	17	157
全体（n=1,821）	6.9%	66.4%	22.4%	4.3%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	4.7%	67.5%	24.6%	3.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	8.1%	66.2%	22.9%	2.9%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	6.6%	67.4%	23.2%	2.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	6.7%	66.0%	19.4%	7.8%	100.0%
85歳以上（n=157）	10.8%	60.5%	17.8%	10.8%	100.0%

問 2　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

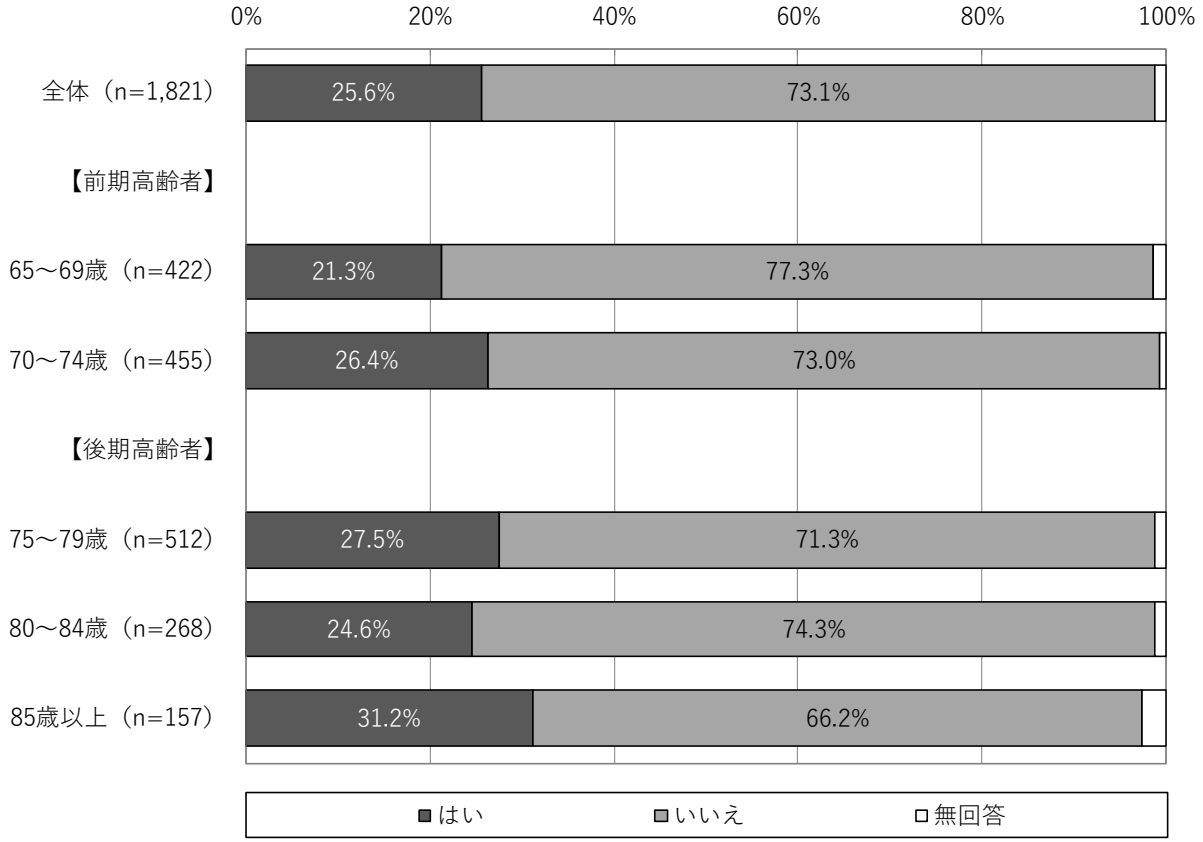
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは、「はい」が 29.1%、「いいえ」が 69.6%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	530	1,268	23	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	83	333	6	422
70～74歳	114	336	5	455
【後期高齢者】				
75～79歳	166	343	3	512
80～84歳	94	171	3	268
85歳以上	71	80	6	157
全体（n=1,821）	29.1%	69.6%	1.3%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	19.7%	78.9%	1.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	25.1%	73.8%	1.1%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	32.4%	67.0%	0.6%	100.0%
80～84歳（n=268）	35.1%	63.8%	1.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	45.2%	51.0%	3.8%	100.0%

問 3　お茶や汁物等でむせることがありますか。

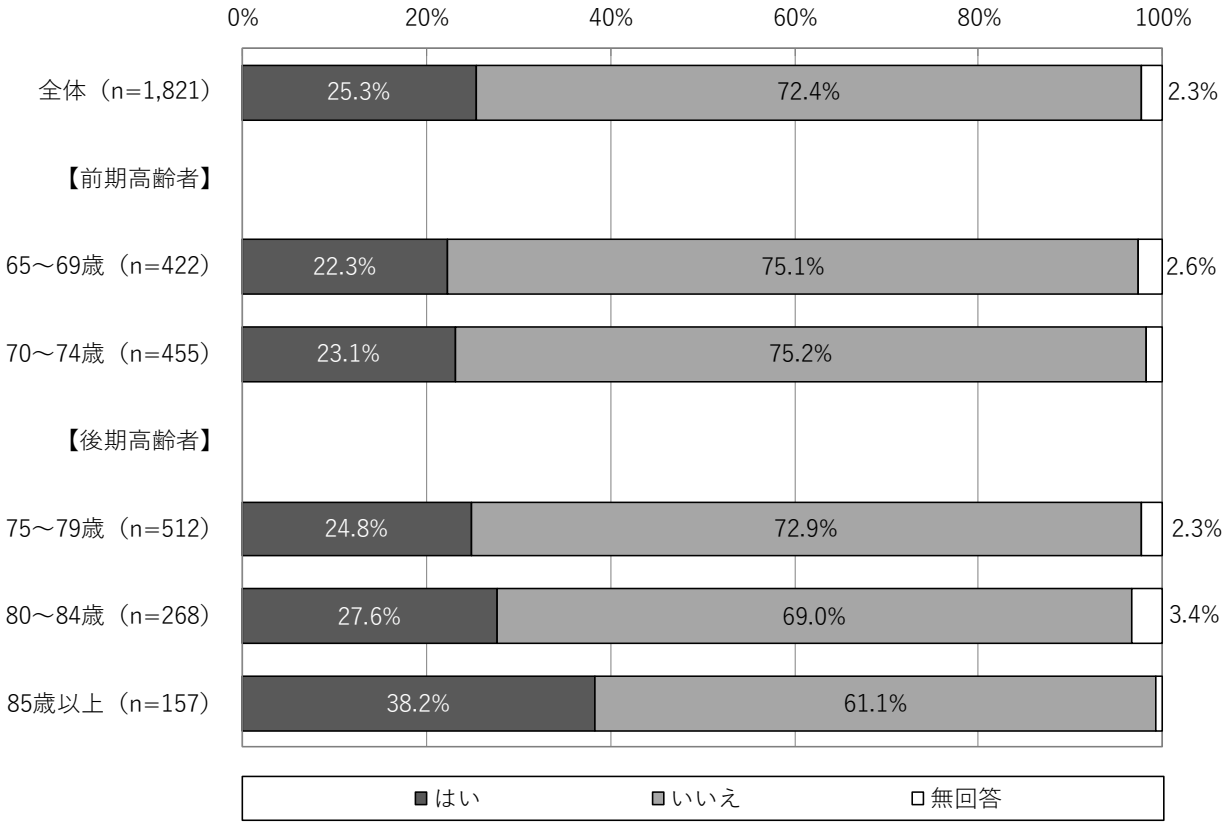
お茶や汁物等でむせることがあるかでは、「はい」が 25.6%、「いいえ」が 73.1%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	467	1,332	22	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	90	326	6	422
70～74歳	120	332	3	455
【後期高齢者】				
75～79歳	141	365	6	512
80～84歳	66	199	3	268
85歳以上	49	104	4	157
全体（n=1,821）	25.6%	73.1%	1.2%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	21.3%	77.3%	1.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	26.4%	73.0%	0.7%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	27.5%	71.3%	1.2%	100.0%
80～84歳（n=268）	24.6%	74.3%	1.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	31.2%	66.2%	2.5%	100.0%

問４　口の渇きが気になりますか。

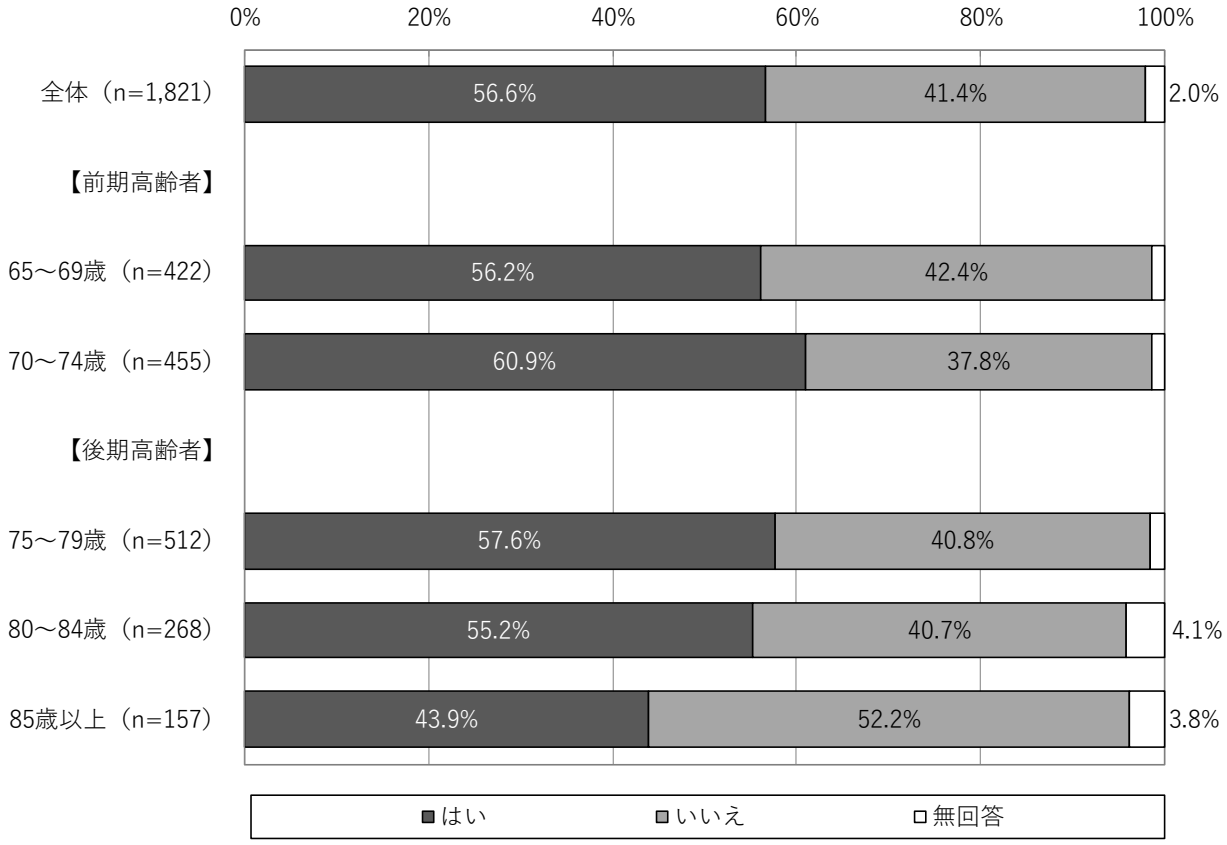
口の渇きが気になるかでは、「はい」が 25.3%、「いいえ」が 72.4%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	461	1,319	41	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	94	317	11	422
70～74歳	105	342	8	455
【後期高齢者】				
75～79歳	127	373	12	512
80～84歳	74	185	9	268
85歳以上	60	96	1	157
全体（n=1,821）	25.3%	72.4%	2.3%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	22.3%	75.1%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	23.1%	75.2%	1.8%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	24.8%	72.9%	2.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	27.6%	69.0%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	38.2%	61.1%	0.6%	100.0%

問５　定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

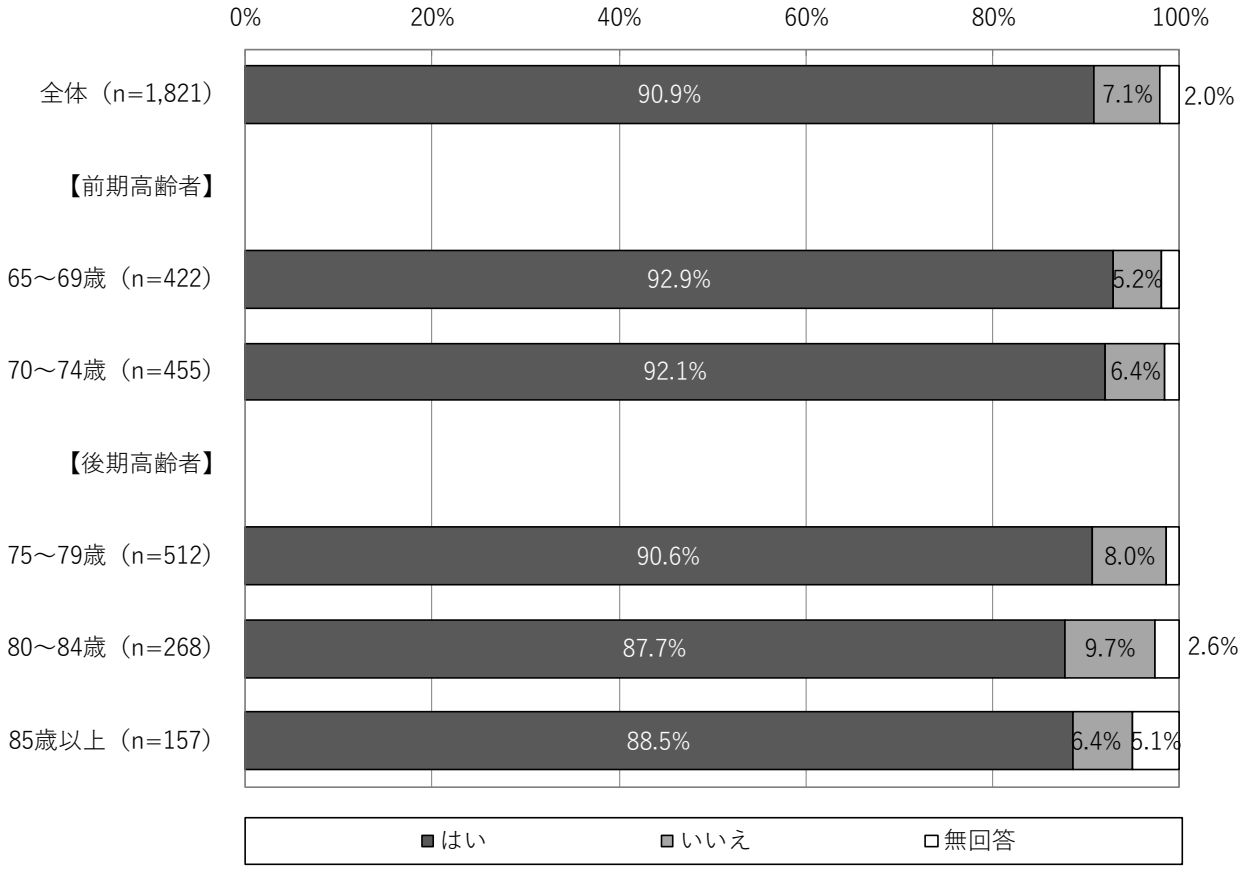
定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかでは、「はい」が 56.6%、「いいえ」が 41.4%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,030	754	37	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	237	179	6	422
70～74歳	277	172	6	455
【後期高齢者】				
75～79歳	295	209	8	512
80～84歳	148	109	11	268
85歳以上	69	82	6	157
全体（n=1,821）	56.6%	41.4%	2.0%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	56.2%	42.4%	1.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	60.9%	37.8%	1.3%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	57.6%	40.8%	1.6%	100.0%
80～84歳（n=268）	55.2%	40.7%	4.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	43.9%	52.2%	3.8%	100.0%

問 6　歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

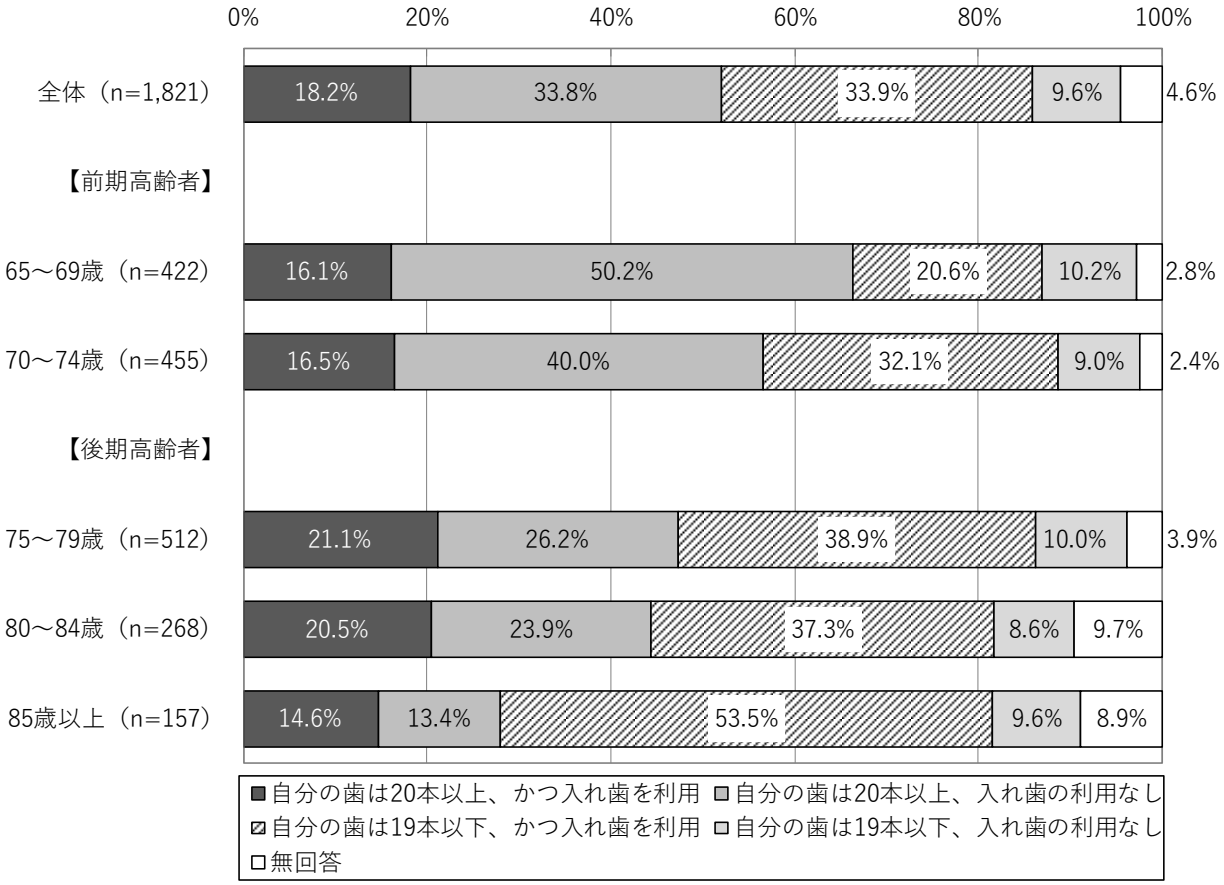
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかでは、「はい」が 90.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,655	129	37	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	392	22	8	422
70～74歳	419	29	7	455
【後期高齢者】				
75～79歳	464	41	7	512
80～84歳	235	26	7	268
85歳以上	139	10	8	157
全体（n=1,821）	90.9%	7.1%	2.0%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	92.9%	5.2%	1.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	92.1%	6.4%	1.5%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	90.6%	8.0%	1.4%	100.0%
80～84歳（n=268）	87.7%	9.7%	2.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	88.5%	6.4%	5.1%	100.0%

問 7　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

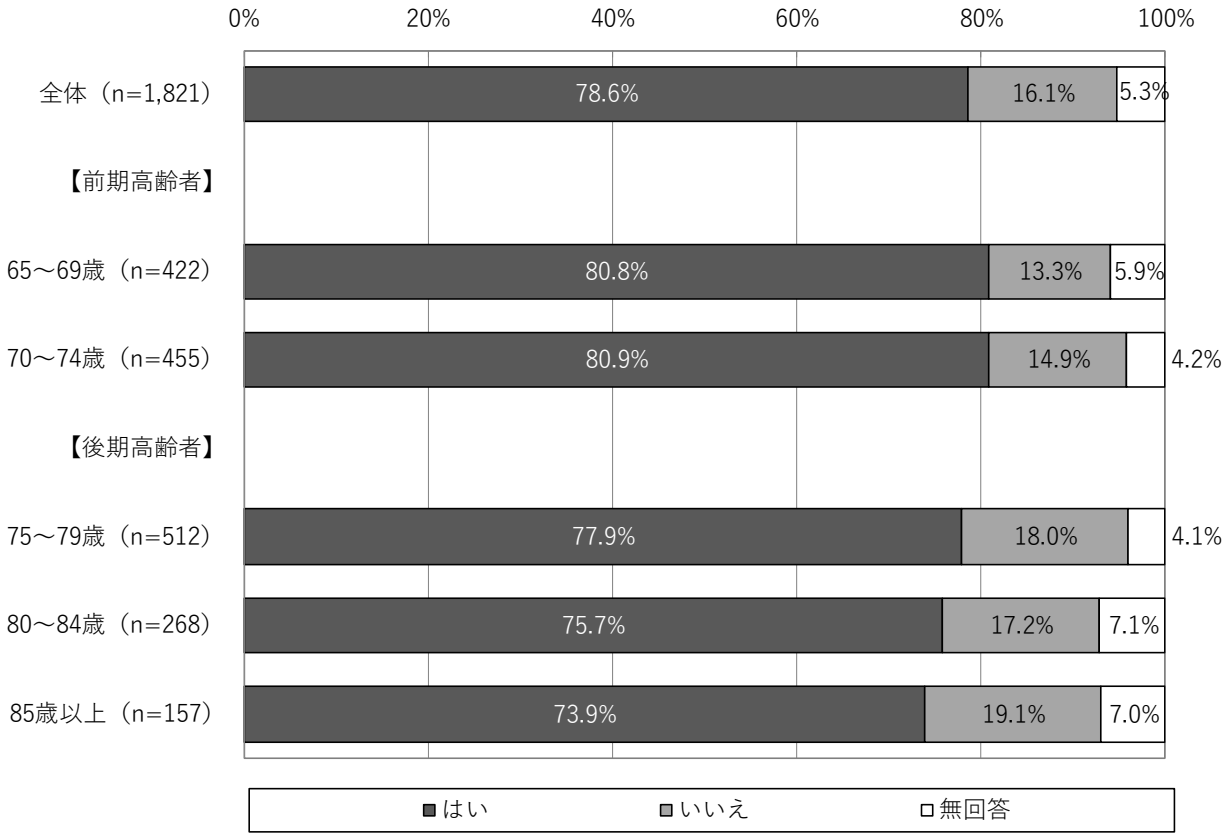
歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 33.9%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 33.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 18.2%となっています。



	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答	合計
全体	331	615	618	174	83	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	68	212	87	43	12	422
70～74歳	75	182	146	41	11	455
【後期高齢者】						
75～79歳	108	134	199	51	20	512
80～84歳	55	64	100	23	26	268
85歳以上	23	21	84	15	14	157
全体（n=1,821）	18.2%	33.8%	33.9%	9.6%	4.6%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	16.1%	50.2%	20.6%	10.2%	2.8%	100.0%
70～74歳（n=455）	16.5%	40.0%	32.1%	9.0%	2.4%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	21.1%	26.2%	38.9%	10.0%	3.9%	100.0%
80～84歳（n=268）	20.5%	23.9%	37.3%	8.6%	9.7%	100.0%
85歳以上（n=157）	14.6%	13.4%	53.5%	9.6%	8.9%	100.0%

問８　噛み合わせは良いですか。

噛み合わせは良いかでは、「はい」が 78.6%、「いいえ」が 16.1%となっています。

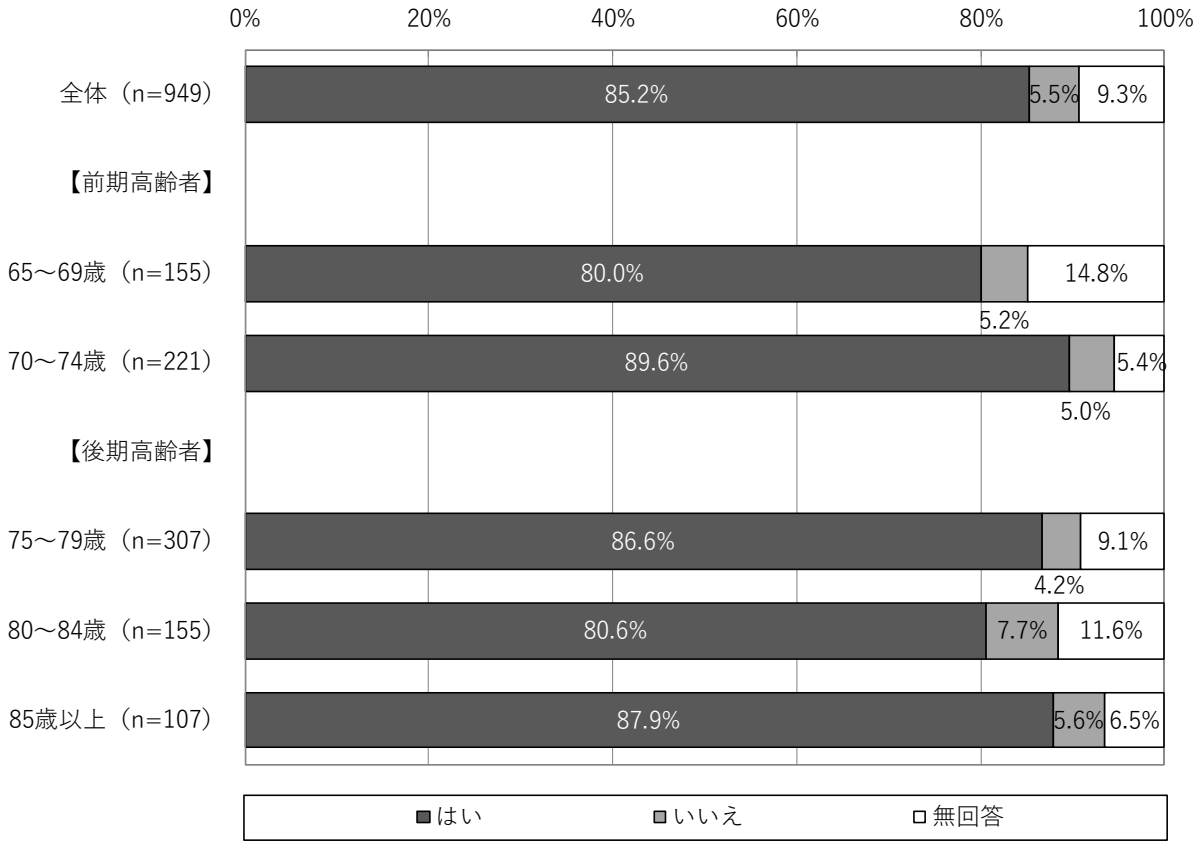


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,432	293	96	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	341	56	25	422
70～74歳	368	68	19	455
【後期高齢者】				
75～79歳	399	92	21	512
80～84歳	203	46	19	268
85歳以上	116	30	11	157
全体（n=1,821）	78.6%	16.1%	5.3%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	80.8%	13.3%	5.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	80.9%	14.9%	4.2%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	77.9%	18.0%	4.1%	100.0%
80～84歳（n=268）	75.7%	17.2%	7.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	73.9%	19.1%	7.0%	100.0%

【問７で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

問 8-1　毎日入れ歯の手入れをしていますか。

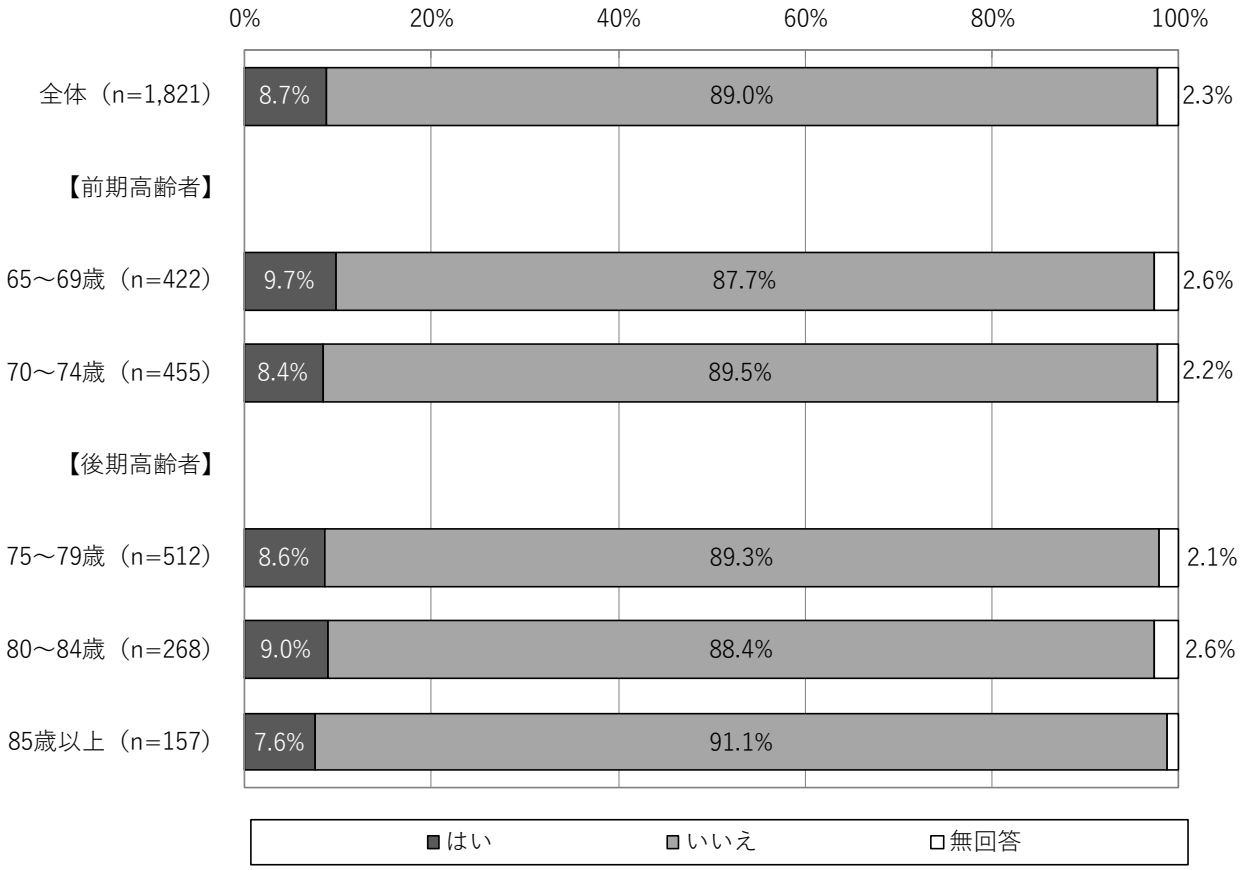
毎日入れ歯の手入れをしているかでは、「はい」が 85.2%、「いいえ」が 5.5%となっています。



	はい	いいえ	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	809	52	88	949	872	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	124	8	23	155	267	422
70～74歳	198	11	12	221	234	455
【後期高齢者】						
75～79歳	266	13	28	307	205	512
80～84歳	125	12	18	155	113	268
85歳以上	94	6	7	107	50	157
全体(n=949)	85.2%	5.5%	9.3%	100.0%		
【前期高齢者】						
65～69歳(n=155)	80.0%	5.2%	14.8%	100.0%		
70～74歳(n=221)	89.6%	5.0%	5.4%	100.0%		
【後期高齢者】						
75～79歳(n=307)	86.6%	4.2%	9.1%	100.0%		
80～84歳(n=155)	80.6%	7.7%	11.6%	100.0%		
85歳以上(n=107)	87.9%	5.6%	6.5%	100.0%		

問 9　6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか。

6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少があったかでは、「はい」が 8.7%、「いいえ」が 89.0%となっています。

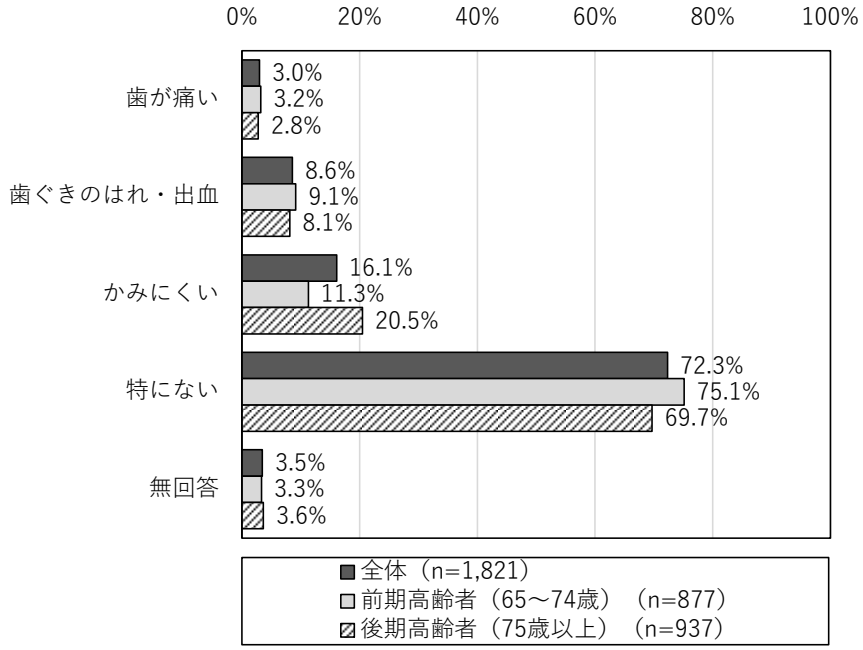


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	159	1,621	41	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	41	370	11	422
70～74歳	38	407	10	455
【後期高齢者】				
75～79歳	44	457	11	512
80～84歳	24	237	7	268
85歳以上	12	143	2	157
全体（n=1,821）	8.7%	89.0%	2.3%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	9.7%	87.7%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	8.4%	89.5%	2.2%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	8.6%	89.3%	2.1%	100.0%
80～84歳（n=268）	9.0%	88.4%	2.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	7.6%	91.1%	1.3%	100.0%

問 10　お口の状態を教えてください。（いくつでも）

お口の状態では、「かみにくい」が 16.1%と最も多く、次いで「歯ぐきのはれ・出血」が 8.6%となっています。

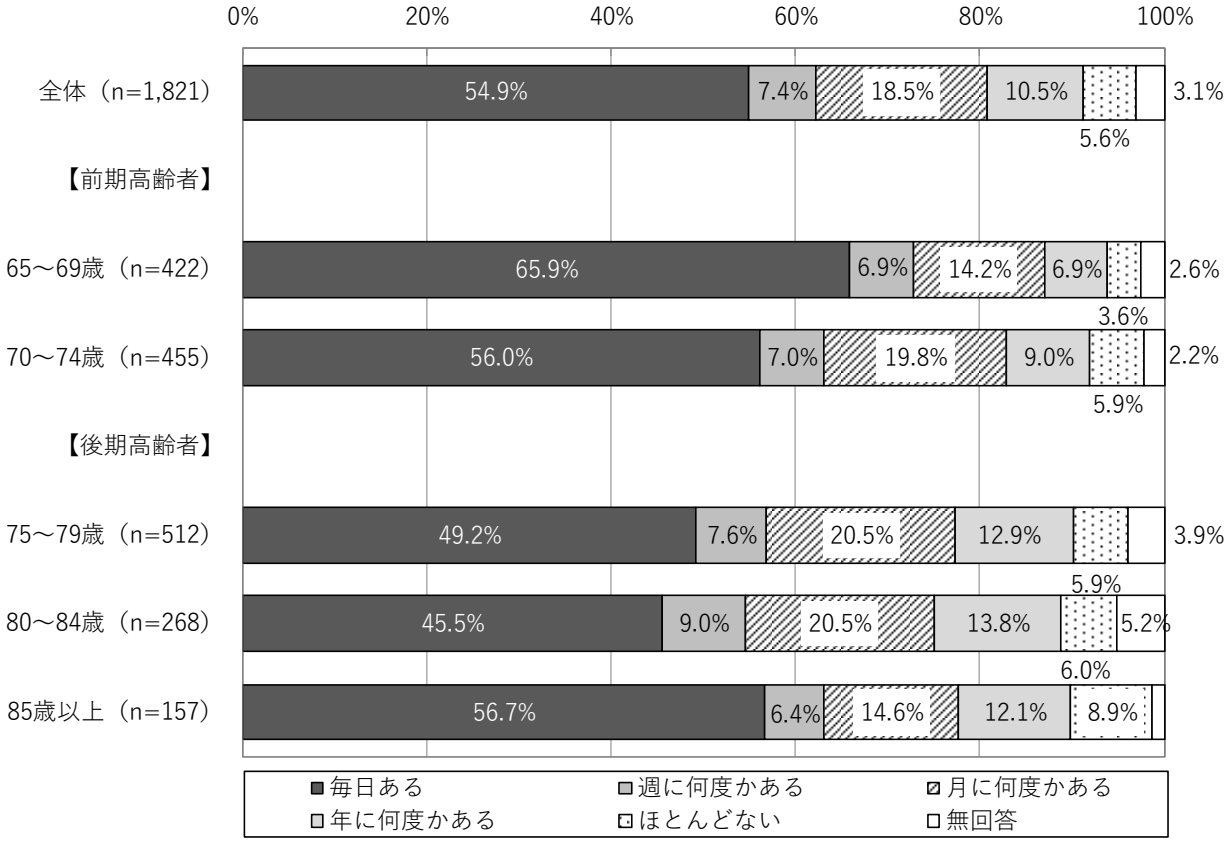
また、「特にない」が 72.3%となっています。



	歯が痛い	歯ぐきのはれ・出血	かみにくい	特にない	無回答	回答者数
全体	54	156	293	1,317	63	1,821
前期高齢者（65～74歳）	28	80	99	659	29	877
後期高齢者（75歳以上）	26	76	192	653	34	937
全体（n=1,821）	3.0%	8.6%	16.1%	72.3%	3.5%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	3.2%	9.1%	11.3%	75.1%	3.3%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	2.8%	8.1%	20.5%	69.7%	3.6%	

問 11　どなたかと食事をともにする機会はありますか。

どなたかと食事をともにする機会はあるかでは、「毎日ある」が 54.9%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 18.5%、「年に何度かある」が 10.5%となっています。

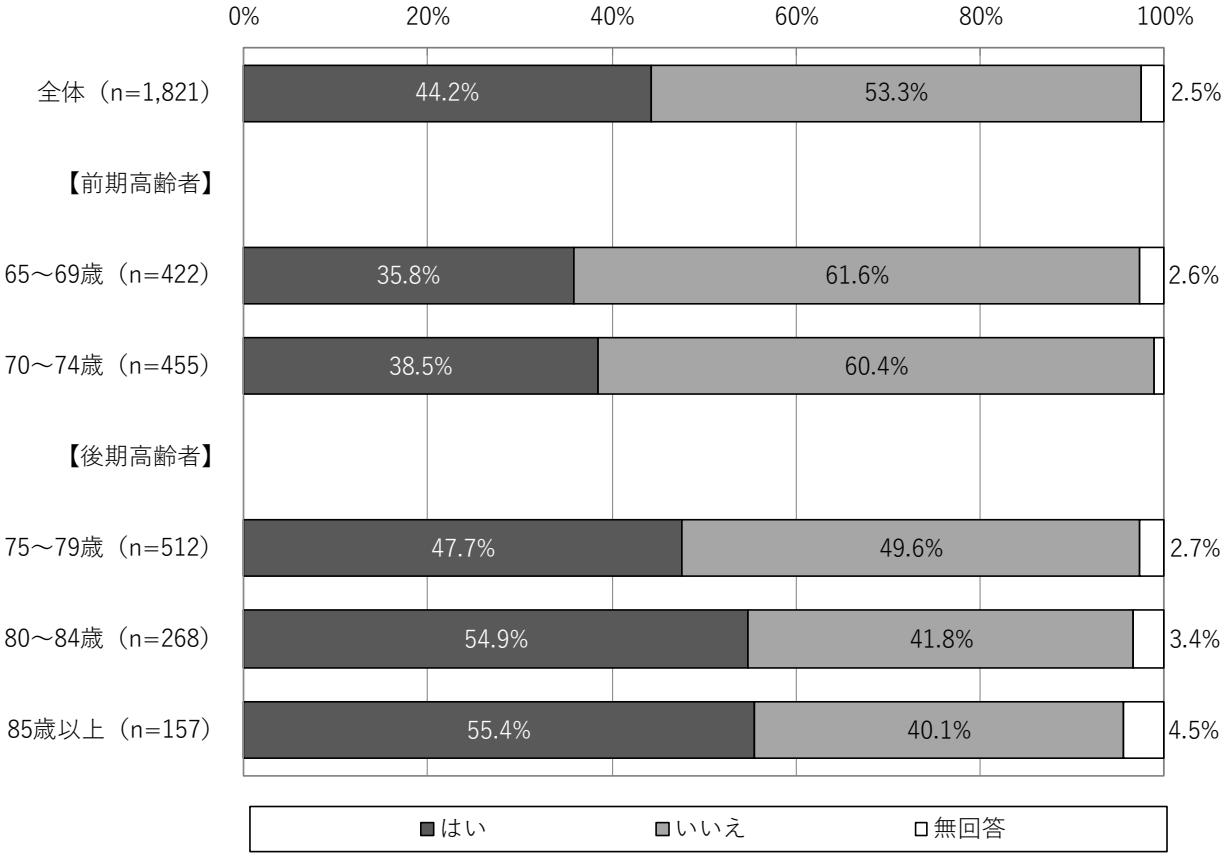


	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	合計
全体	999	134	337	192	102	57	1,821
【前期高齢者】							
65～69歳	278	29	60	29	15	11	422
70～74歳	255	32	90	41	27	10	455
【後期高齢者】							
75～79歳	252	39	105	66	30	20	512
80～84歳	122	24	55	37	16	14	268
85歳以上	89	10	23	19	14	2	157
全体（n=1,821）	54.9%	7.4%	18.5%	10.5%	5.6%	3.1%	100.0%
【前期高齢者】							
65～69歳（n=422）	65.9%	6.9%	14.2%	6.9%	3.6%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	56.0%	7.0%	19.8%	9.0%	5.9%	2.2%	100.0%
【後期高齢者】							
75～79歳（n=512）	49.2%	7.6%	20.5%	12.9%	5.9%	3.9%	100.0%
80～84歳（n=268）	45.5%	9.0%	20.5%	13.8%	6.0%	5.2%	100.0%
85歳以上（n=157）	56.7%	6.4%	14.6%	12.1%	8.9%	1.3%	100.0%

（5）毎日の生活について

問１　物忘れが多いと感じますか。

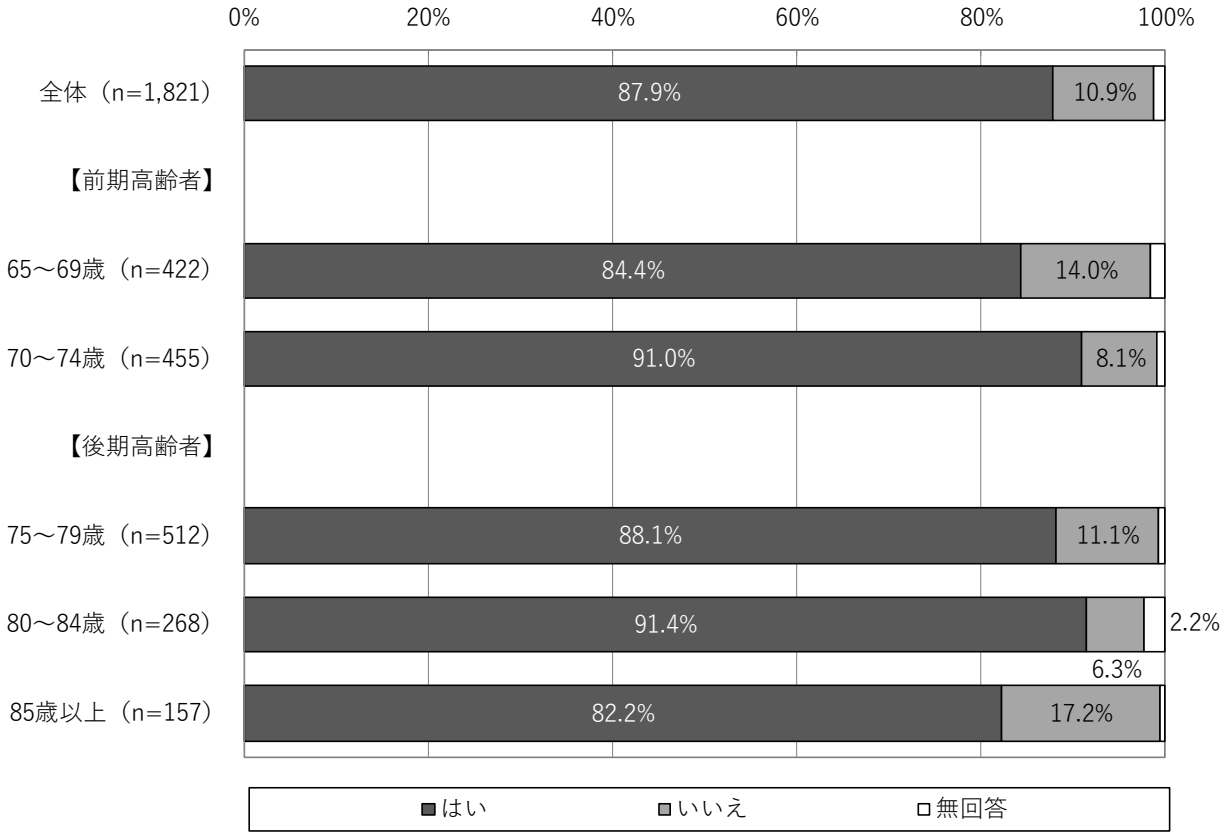
物忘れが多いと感じるかでは、「はい」が 44.2%、「いいえ」が 53.3%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	805	970	46	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	151	260	11	422
70～74歳	175	275	5	455
【後期高齢者】				
75～79歳	244	254	14	512
80～84歳	147	112	9	268
85歳以上	87	63	7	157
全体（n=1,821）	44.2%	53.3%	2.5%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	35.8%	61.6%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	38.5%	60.4%	1.1%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	47.7%	49.6%	2.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	54.9%	41.8%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	55.4%	40.1%	4.5%	100.0%

問 2　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

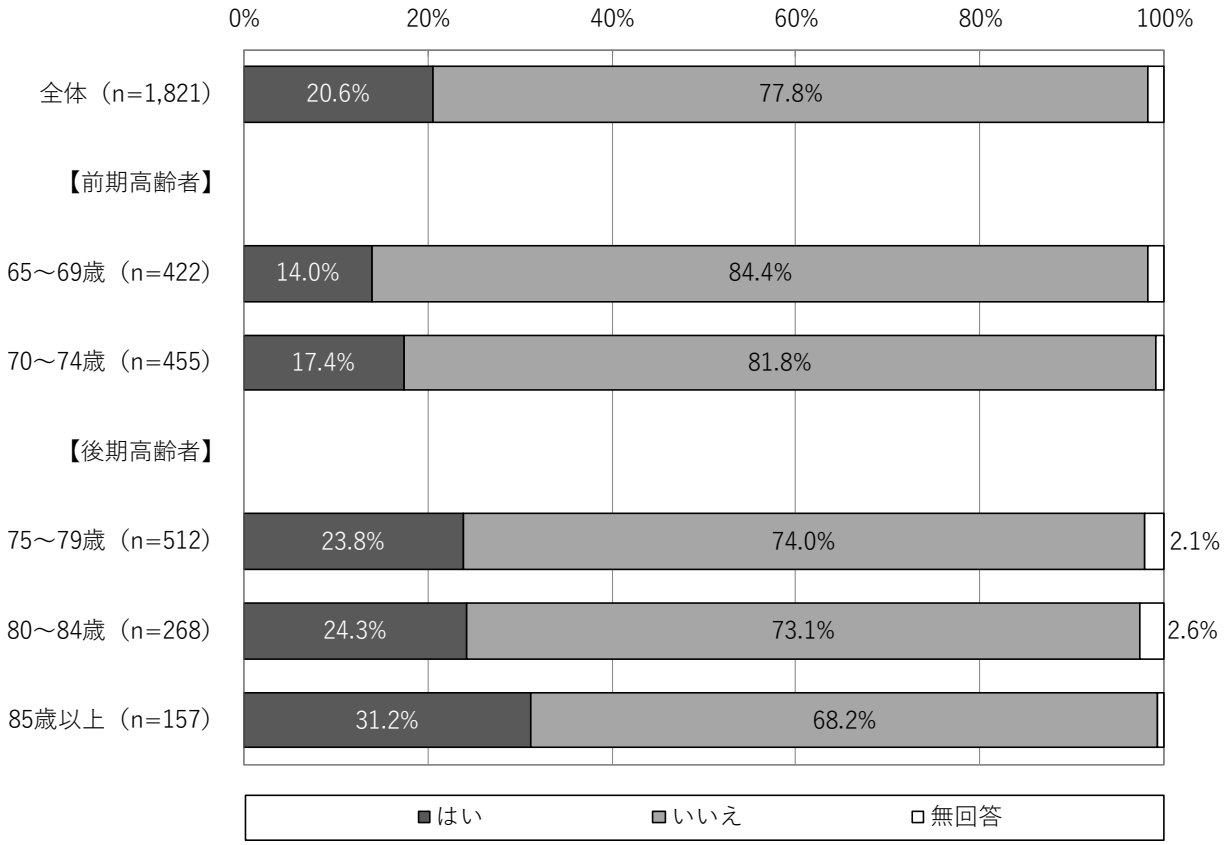
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかでは、「はい」が 87.9%、「いいえ」が 10.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,600	199	22	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	356	59	7	422
70～74歳	414	37	4	455
【後期高齢者】				
75～79歳	451	57	4	512
80～84歳	245	17	6	268
85歳以上	129	27	1	157
全体（n=1,821）	87.9%	10.9%	1.2%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	84.4%	14.0%	1.7%	100.0%
70～74歳（n=455）	91.0%	8.1%	0.9%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	88.1%	11.1%	0.8%	100.0%
80～84歳（n=268）	91.4%	6.3%	2.2%	100.0%
85歳以上（n=157）	82.2%	17.2%	0.6%	100.0%

問３　今日が何月何日かわからない時がありますか。

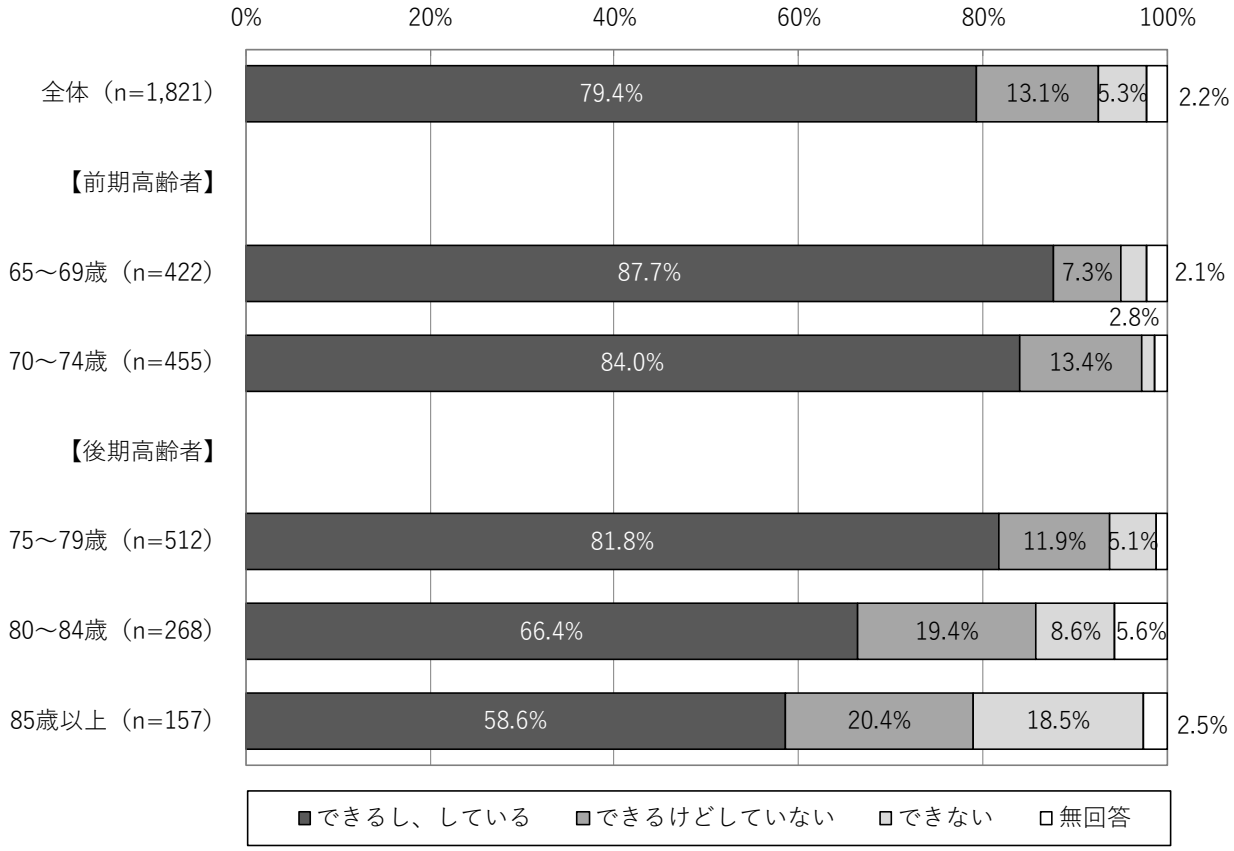
今日が何月何日かわからない時があるかでは、「はい」が 20.6%、「いいえ」が 77.8%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	375	1,416	30	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	59	356	7	422
70～74歳	79	372	4	455
【後期高齢者】				
75～79歳	122	379	11	512
80～84歳	65	196	7	268
85歳以上	49	107	1	157
全体（n=1,821）	20.6%	77.8%	1.6%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	14.0%	84.4%	1.7%	100.0%
70～74歳（n=455）	17.4%	81.8%	0.9%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	23.8%	74.0%	2.1%	100.0%
80～84歳（n=268）	24.3%	73.1%	2.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	31.2%	68.2%	0.6%	100.0%

問４　バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）

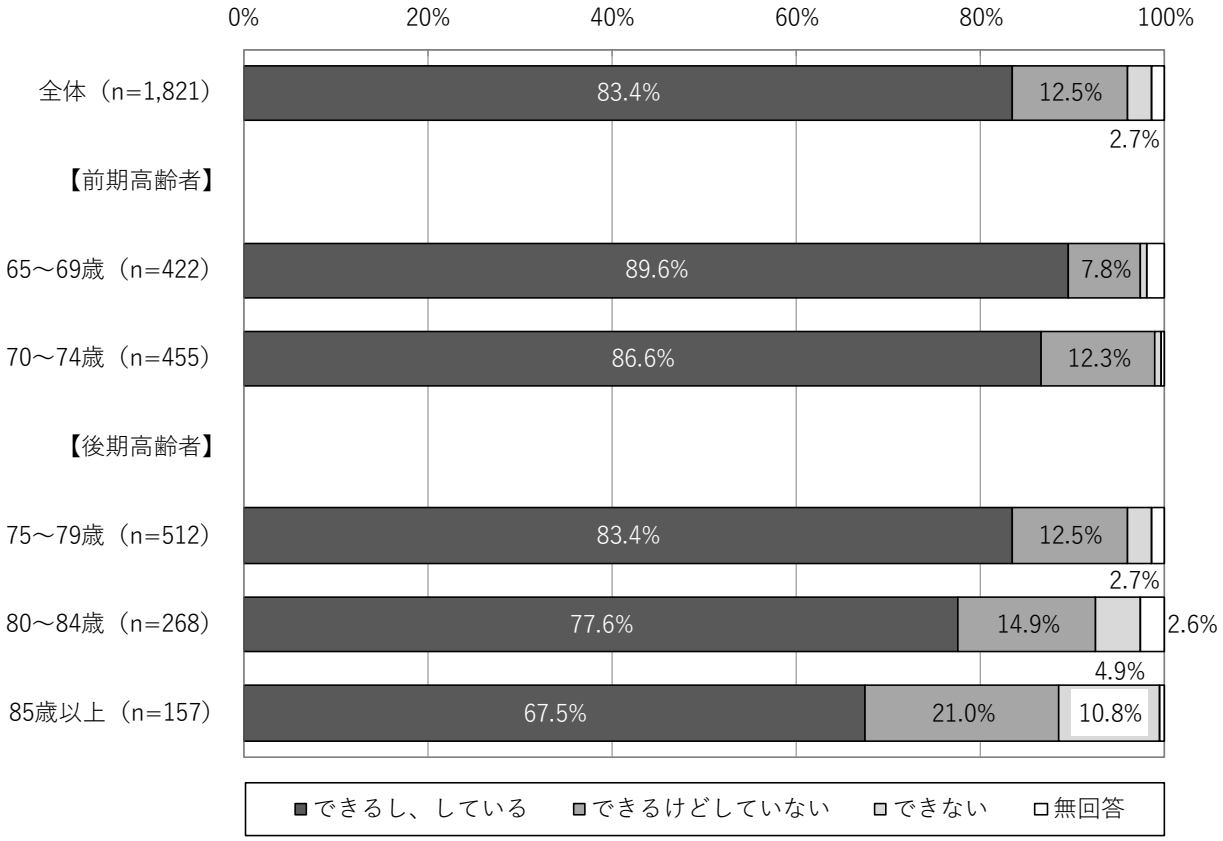
バスや電車を使って１人で外出しているかでは、「できるし、している」が 79.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 13.1%、「できない」が 5.3%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,446	239	96	40	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	370	31	12	9	422
70～74歳	382	61	6	6	455
【後期高齢者】					
75～79歳	419	61	26	6	512
80～84歳	178	52	23	15	268
85歳以上	92	32	29	4	157
全体（n=1,821）	79.4%	13.1%	5.3%	2.2%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	87.7%	7.3%	2.8%	2.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	84.0%	13.4%	1.3%	1.3%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	81.8%	11.9%	5.1%	1.2%	100.0%
80～84歳（n=268）	66.4%	19.4%	8.6%	5.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	58.6%	20.4%	18.5%	2.5%	100.0%

問 5　自分で食品・日用品の買物をしていますか。

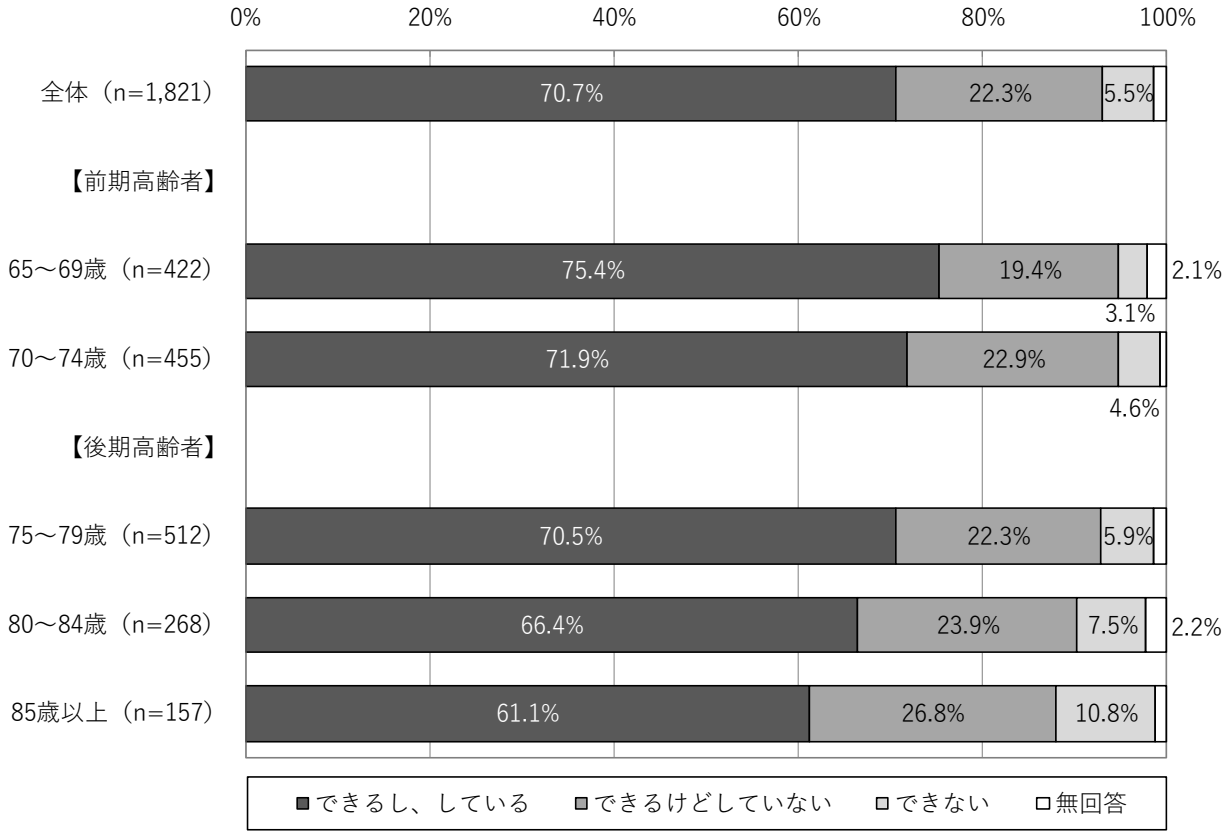
自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できるし、している」が 83.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 12.5%、「できない」が 2.7%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,519	227	50	25	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	378	33	3	8	422
70～74歳	394	56	3	2	455
【後期高齢者】					
75～79歳	427	64	14	7	512
80～84歳	208	40	13	7	268
85歳以上	106	33	17	1	157
全体（n=1,821）	83.4%	12.5%	2.7%	1.4%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	89.6%	7.8%	0.7%	1.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	86.6%	12.3%	0.7%	0.4%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	83.4%	12.5%	2.7%	1.4%	100.0%
80～84歳（n=268）	77.6%	14.9%	4.9%	2.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	67.5%	21.0%	10.8%	0.6%	100.0%

問 6　自分で食事の用意をしていますか。

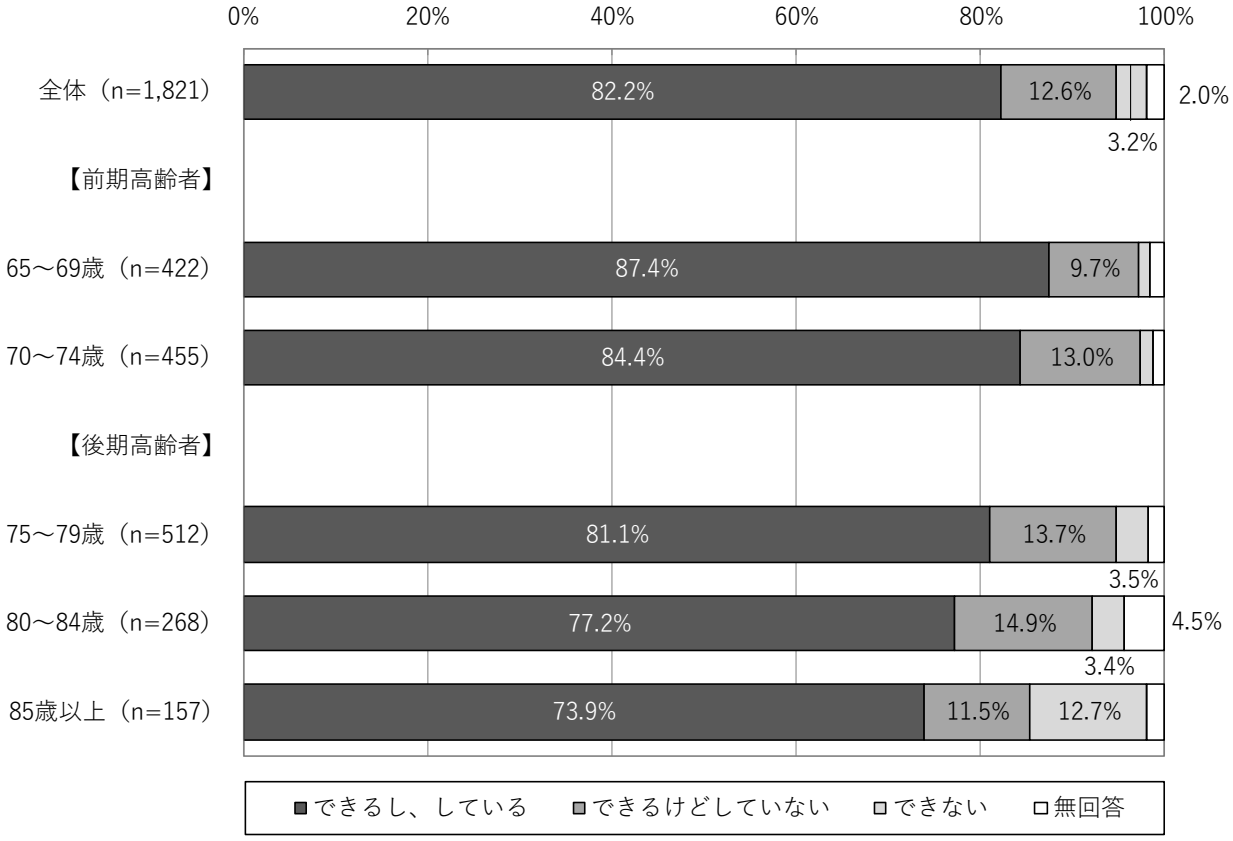
自分で食事の用意をしているかでは､「できるし､している」が 70.7%と最も多く､次いで「できるけどしていない」が 22.3%､「できない」が 5.5%となっています。



	できるし､している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,287	406	101	27	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	318	82	13	9	422
70～74歳	327	104	21	3	455
【後期高齢者】					
75～79歳	361	114	30	7	512
80～84歳	178	64	20	6	268
85歳以上	96	42	17	2	157
全体(n=1,821)	70.7%	22.3%	5.5%	1.5%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳(n=422)	75.4%	19.4%	3.1%	2.1%	100.0%
70～74歳(n=455)	71.9%	22.9%	4.6%	0.7%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳(n=512)	70.5%	22.3%	5.9%	1.4%	100.0%
80～84歳(n=268)	66.4%	23.9%	7.5%	2.2%	100.0%
85歳以上(n=157)	61.1%	26.8%	10.8%	1.3%	100.0%

問 7　自分で請求書の支払いをしていますか。

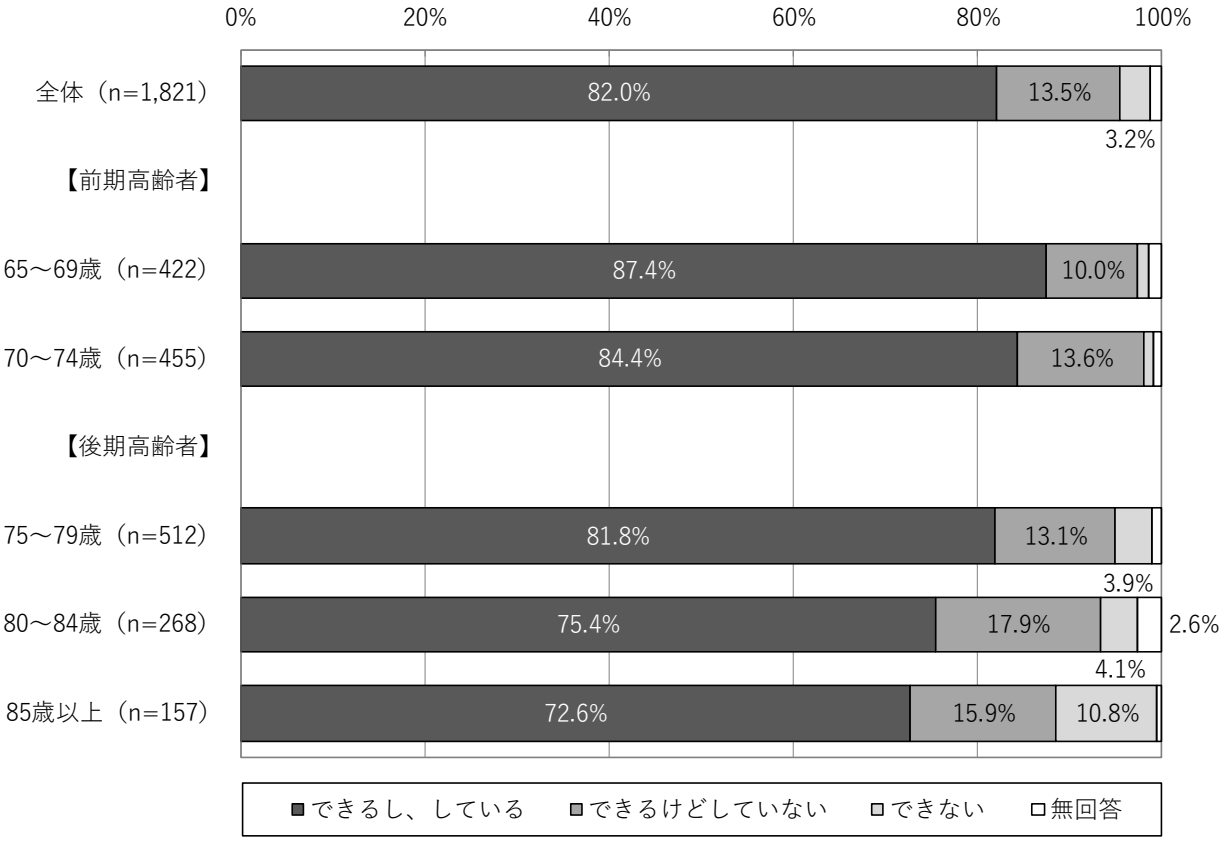
自分で請求書の支払いをしているかでは、「できるし、している」が 82.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 12.6%、「できない」が 3.2%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,497	229	58	37	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	369	41	5	7	422
70～74歳	384	59	6	6	455
【後期高齢者】					
75～79歳	415	70	18	9	512
80～84歳	207	40	9	12	268
85歳以上	116	18	20	3	157
全体（n=1,821）	82.2%	12.6%	3.2%	2.0%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	87.4%	9.7%	1.2%	1.7%	100.0%
70～74歳（n=455）	84.4%	13.0%	1.3%	1.3%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	81.1%	13.7%	3.5%	1.8%	100.0%
80～84歳（n=268）	77.2%	14.9%	3.4%	4.5%	100.0%
85歳以上（n=157）	73.9%	11.5%	12.7%	1.9%	100.0%

問８　自分で預貯金の出し入れをしていますか。

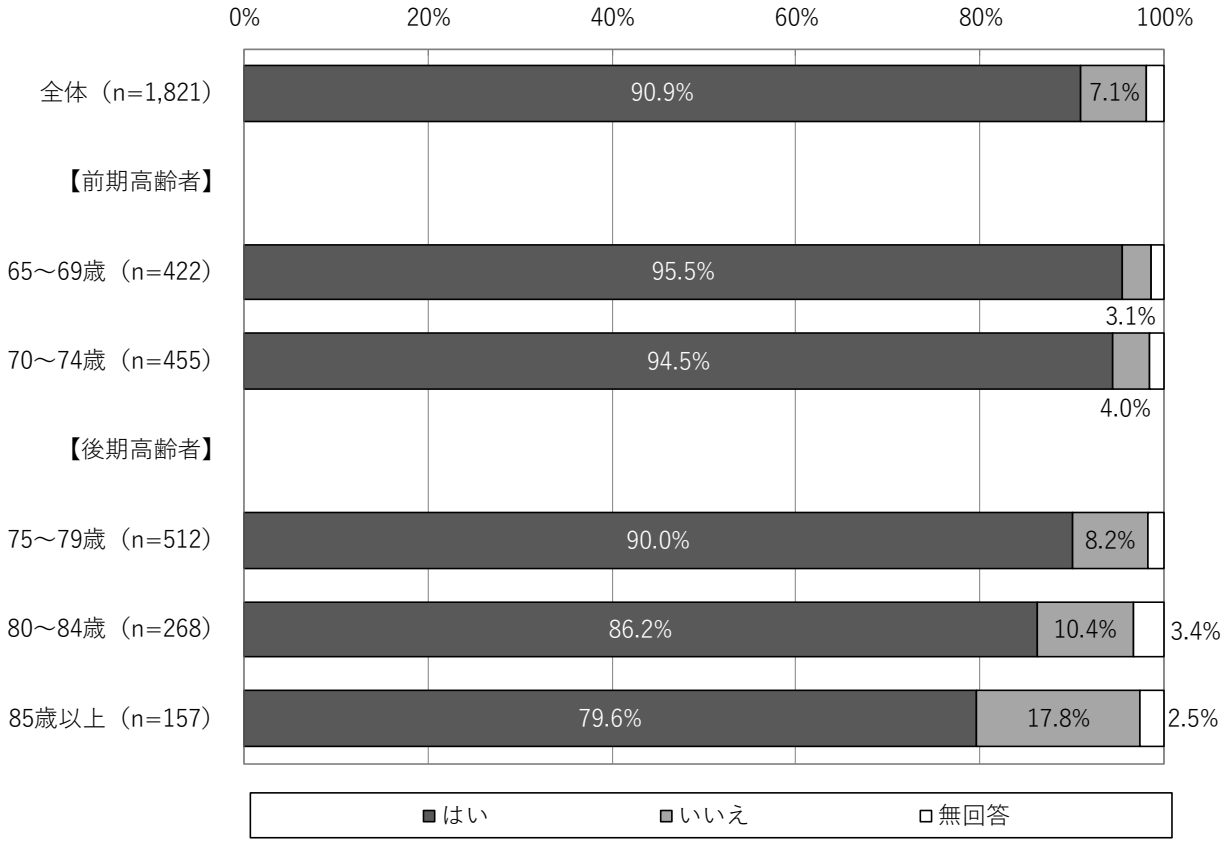
自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できるし、している」が 82.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 13.5%、「できない」が 3.2%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	1,494	245	58	24	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	369	42	5	6	422
70～74歳	384	62	5	4	455
【後期高齢者】					
75～79歳	419	67	20	6	512
80～84歳	202	48	11	7	268
85歳以上	114	25	17	1	157
全体（n=1,821）	82.0%	13.5%	3.2%	1.3%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	87.4%	10.0%	1.2%	1.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	84.4%	13.6%	1.1%	0.9%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	81.8%	13.1%	3.9%	1.2%	100.0%
80～84歳（n=268）	75.4%	17.9%	4.1%	2.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	72.6%	15.9%	10.8%	0.6%	100.0%

問９　年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

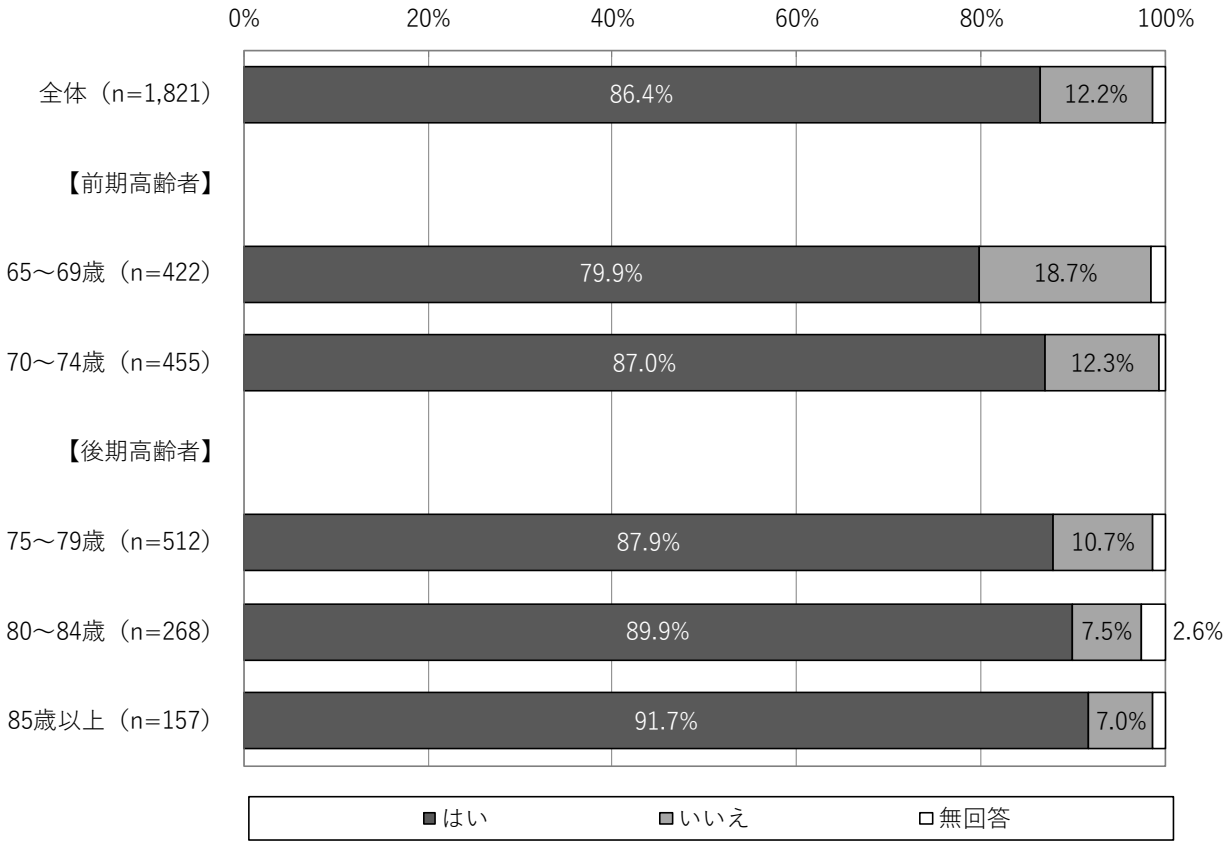
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けるかでは､「はい」が 90.9%､「いいえ」が 7.1%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,656	130	35	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	403	13	6	422
70～74歳	430	18	7	455
【後期高齢者】				
75～79歳	461	42	9	512
80～84歳	231	28	9	268
85歳以上	125	28	4	157
全体(n=1,821)	90.9%	7.1%	1.9%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	95.5%	3.1%	1.4%	100.0%
70～74歳(n=455)	94.5%	4.0%	1.5%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	90.0%	8.2%	1.8%	100.0%
80～84歳(n=268)	86.2%	10.4%	3.4%	100.0%
85歳以上(n=157)	79.6%	17.8%	2.5%	100.0%

問 10　新聞を読んでいますか。

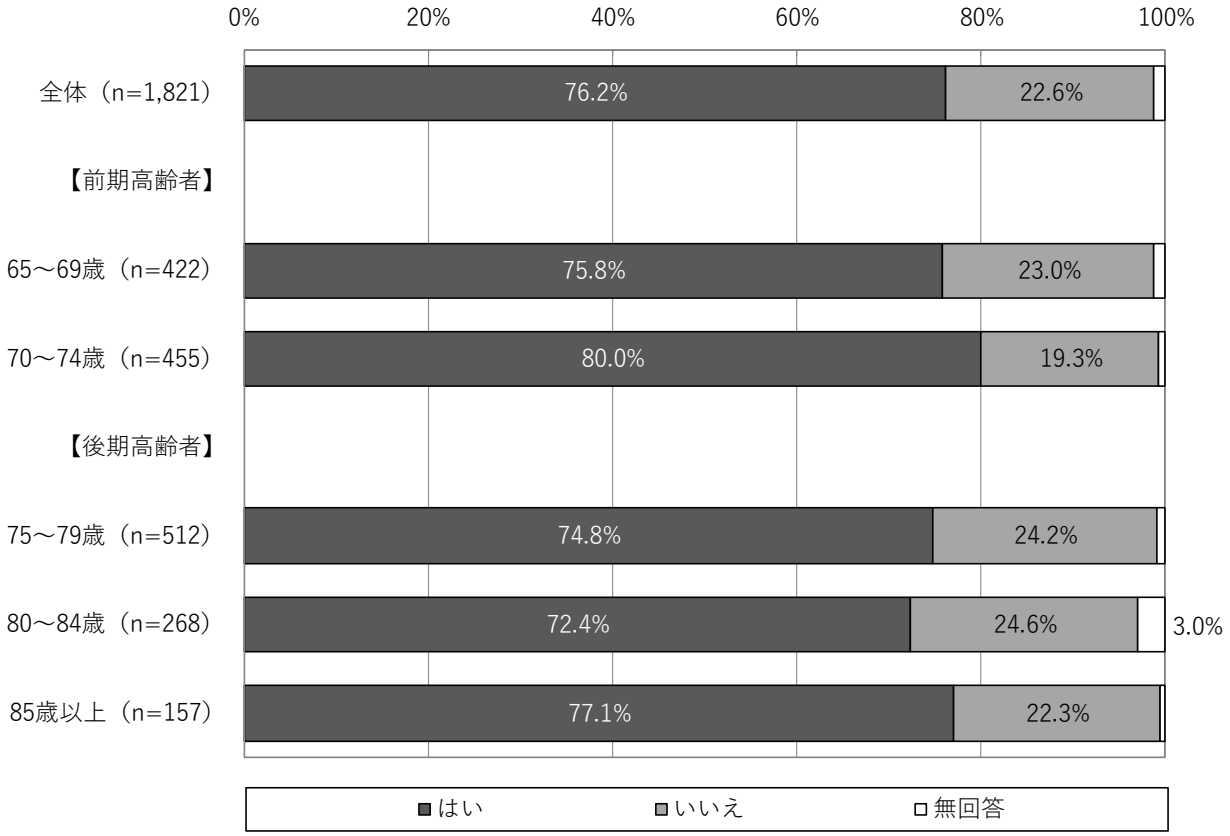
新聞を読んでいるかでは、「はい」が 86.4%、「いいえ」が 12.2%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,573	223	25	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	337	79	6	422
70～74歳	396	56	3	455
【後期高齢者】				
75～79歳	450	55	7	512
80～84歳	241	20	7	268
85歳以上	144	11	2	157
全体（n=1,821）	86.4%	12.2%	1.4%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	79.9%	18.7%	1.4%	100.0%
70～74歳（n=455）	87.0%	12.3%	0.7%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	87.9%	10.7%	1.4%	100.0%
80～84歳（n=268）	89.9%	7.5%	2.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	91.7%	7.0%	1.3%	100.0%

問 11　本や雑誌を読んでいますか。

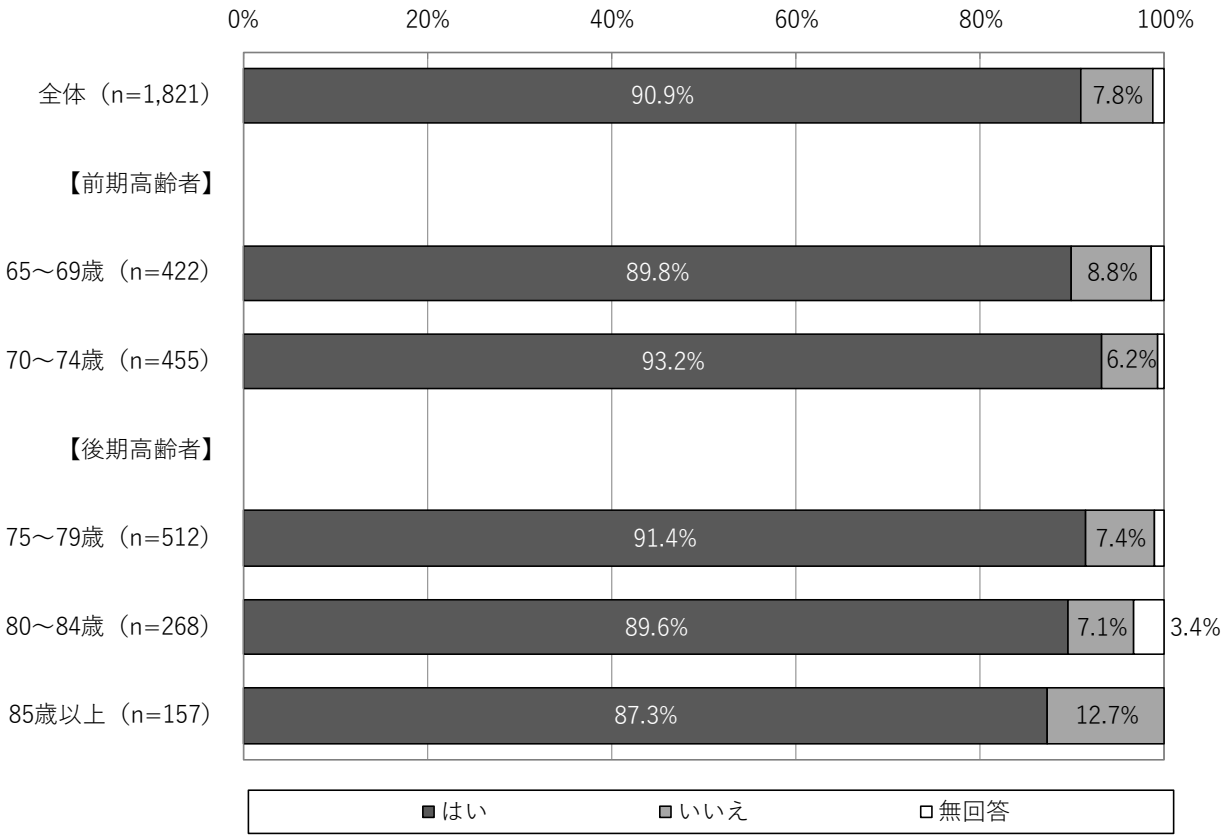
本や雑誌を読んでいるかでは、「はい」が 76.2%、「いいえ」が 22.6%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,388	411	22	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	320	97	5	422
70～74歳	364	88	3	455
【後期高齢者】				
75～79歳	383	124	5	512
80～84歳	194	66	8	268
85歳以上	121	35	1	157
全体(n=1,821)	76.2%	22.6%	1.2%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	75.8%	23.0%	1.2%	100.0%
70～74歳(n=455)	80.0%	19.3%	0.7%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	74.8%	24.2%	1.0%	100.0%
80～84歳(n=268)	72.4%	24.6%	3.0%	100.0%
85歳以上(n=157)	77.1%	22.3%	0.6%	100.0%

問 12　健康についての記事や番組に関心がありますか。

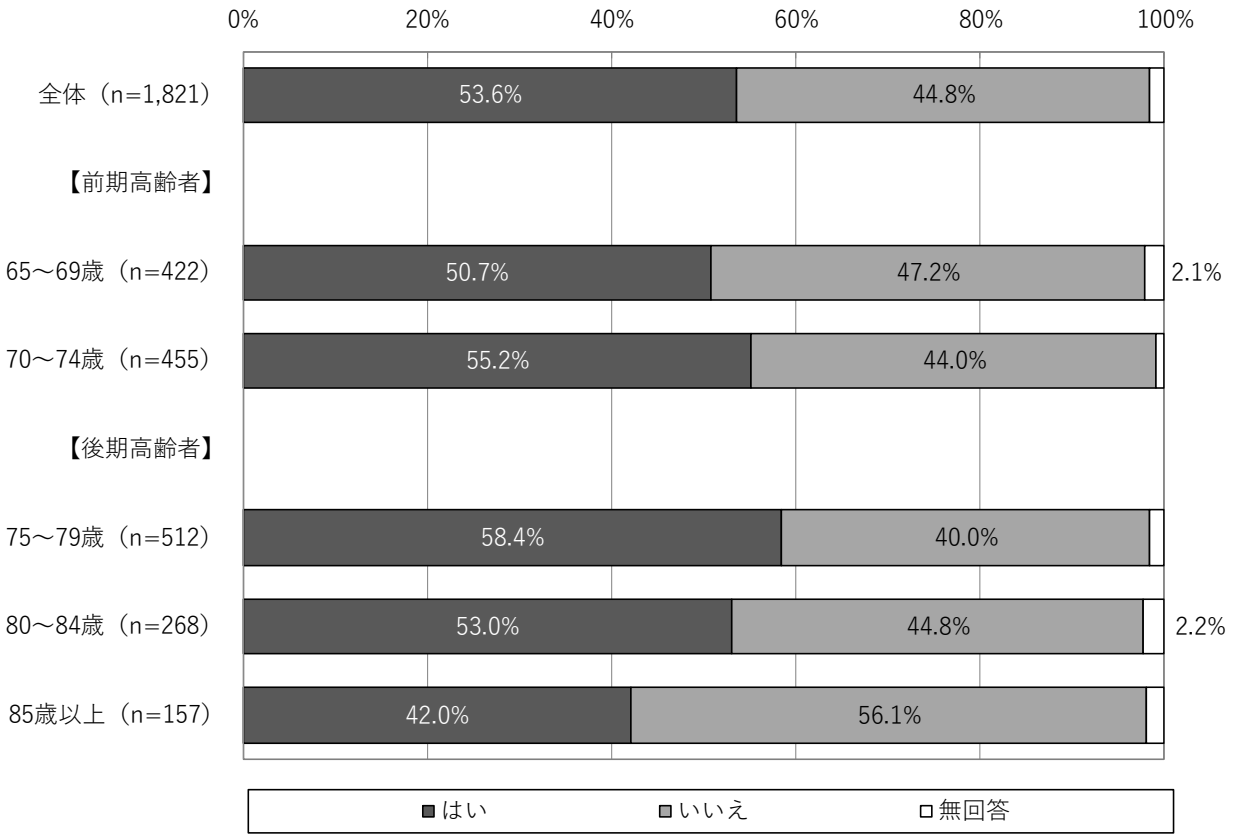
健康についての記事や番組に関心があるかでは、「はい」が 90.9%、「いいえ」が 7.8%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,655	142	24	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	379	37	6	422
70～74歳	424	28	3	455
【後期高齢者】				
75～79歳	468	38	6	512
80～84歳	240	19	9	268
85歳以上	137	20	0	157
全体(n=1,821)	90.9%	7.8%	1.3%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	89.8%	8.8%	1.4%	100.0%
70～74歳(n=455)	93.2%	6.2%	0.7%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	91.4%	7.4%	1.2%	100.0%
80～84歳(n=268)	89.6%	7.1%	3.4%	100.0%
85歳以上(n=157)	87.3%	12.7%	0.0%	100.0%

問 13　友人の家を訪ねていますか。

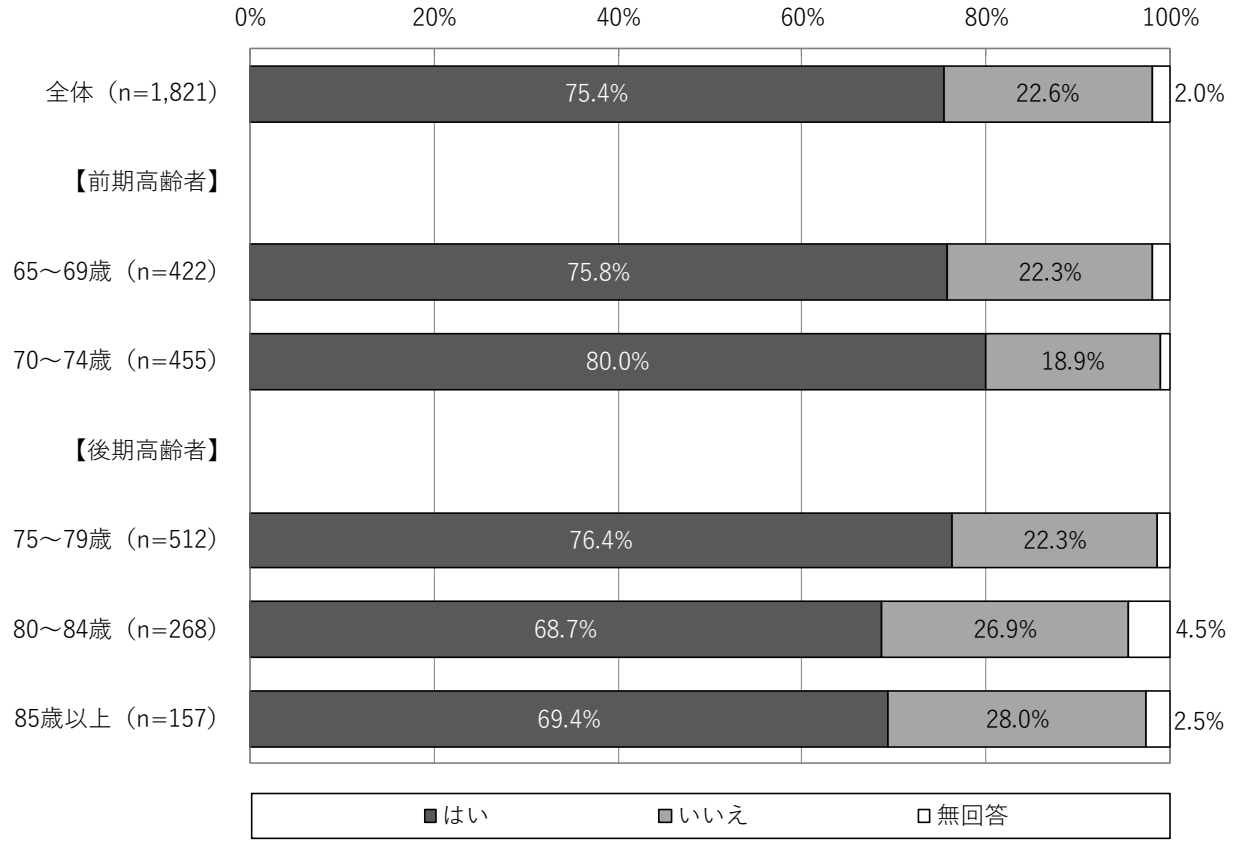
友人の家を訪ねているかでは、「はい」が 53.6%、「いいえ」が 44.8%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	976	815	30	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	214	199	9	422
70～74歳	251	200	4	455
【後期高齢者】				
75～79歳	299	205	8	512
80～84歳	142	120	6	268
85歳以上	66	88	3	157
全体(n=1,821)	53.6%	44.8%	1.6%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	50.7%	47.2%	2.1%	100.0%
70～74歳(n=455)	55.2%	44.0%	0.9%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	58.4%	40.0%	1.6%	100.0%
80～84歳(n=268)	53.0%	44.8%	2.2%	100.0%
85歳以上(n=157)	42.0%	56.1%	1.9%	100.0%

問 14　家族や友人の相談にのっていますか。

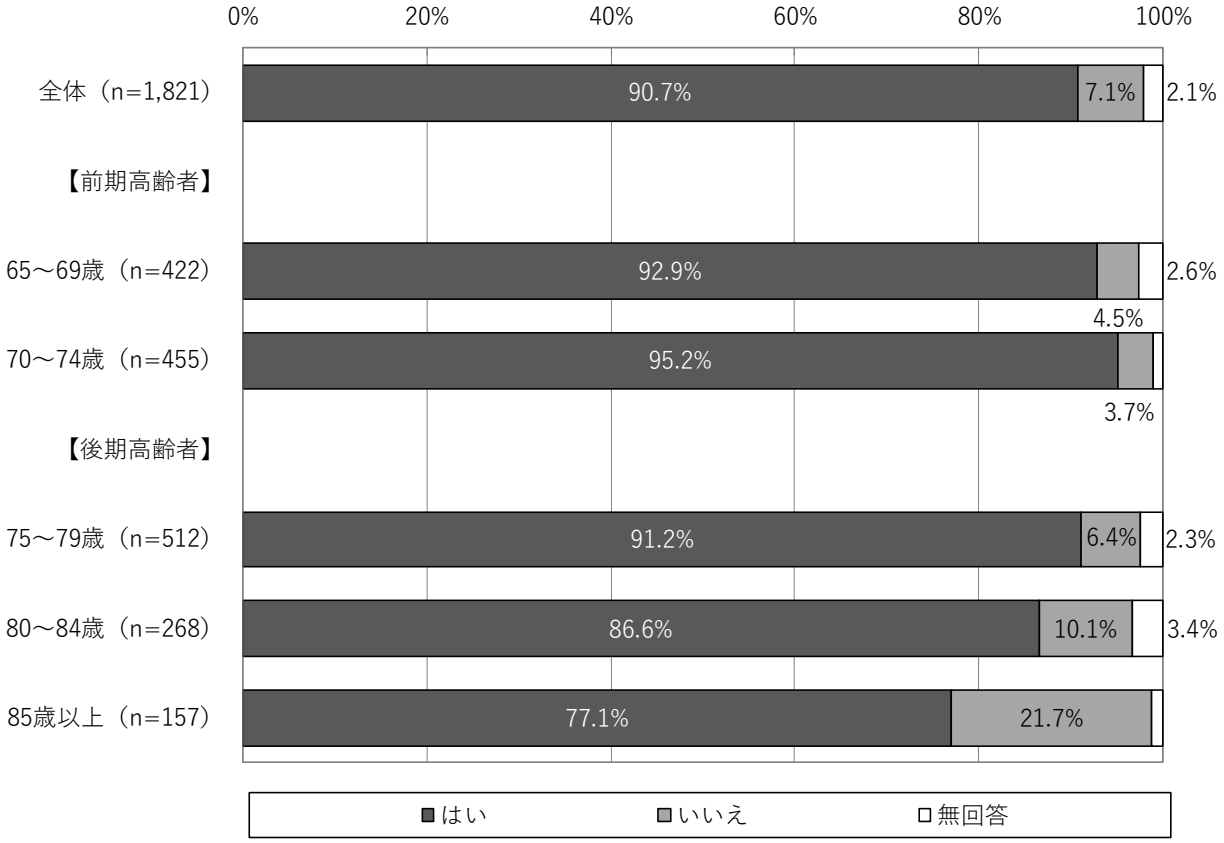
家族や友人の相談にのっているかでは、「はい」が 75.4%、「いいえ」が 22.6%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,373	412	36	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	320	94	8	422
70～74歳	364	86	5	455
【後期高齢者】				
75～79歳	391	114	7	512
80～84歳	184	72	12	268
85歳以上	109	44	4	157
全体(n=1,821)	75.4%	22.6%	2.0%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	75.8%	22.3%	1.9%	100.0%
70～74歳(n=455)	80.0%	18.9%	1.1%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	76.4%	22.3%	1.4%	100.0%
80～84歳(n=268)	68.7%	26.9%	4.5%	100.0%
85歳以上(n=157)	69.4%	28.0%	2.5%	100.0%

問 15　病人を見舞うことができますか。

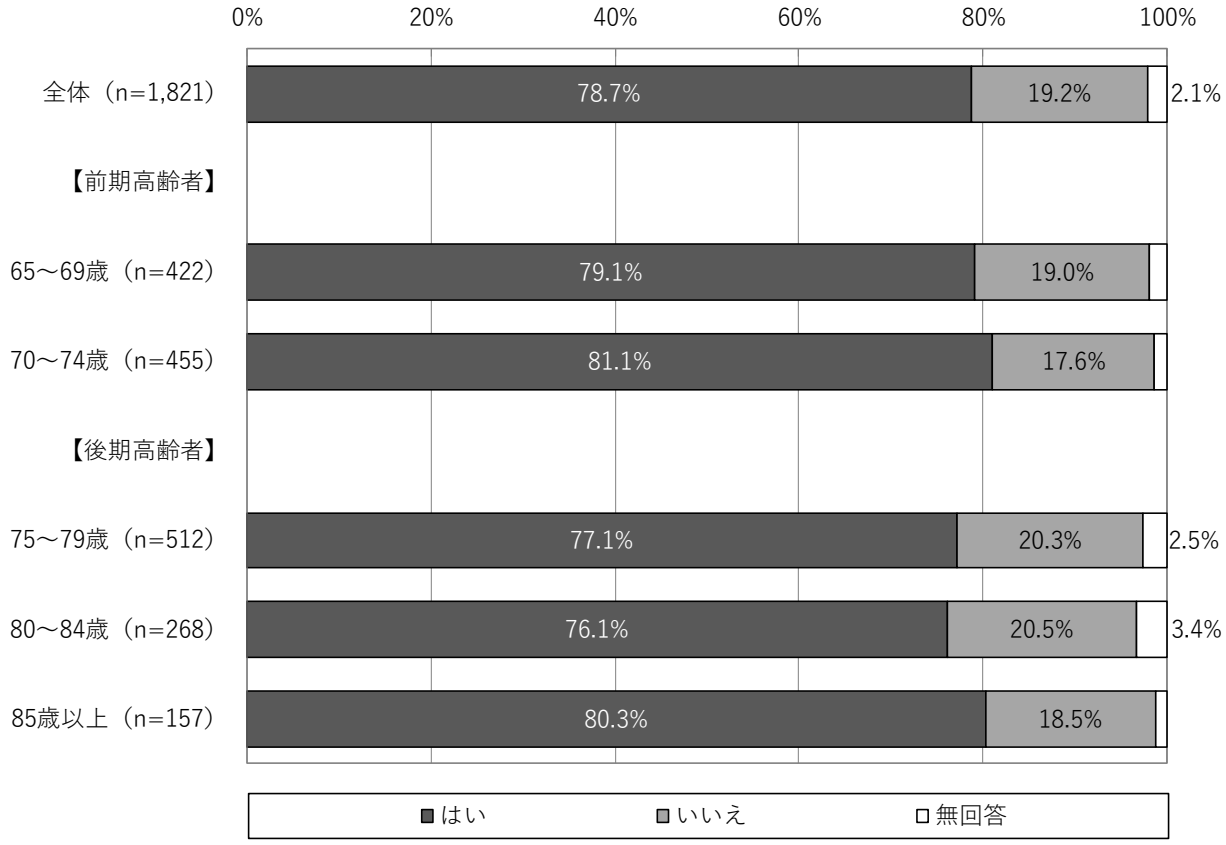
病人を見舞うことができるかでは、「はい」が 90.7%、「いいえ」が 7.1%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,652	130	39	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	392	19	11	422
70～74歳	433	17	5	455
【後期高齢者】				
75～79歳	467	33	12	512
80～84歳	232	27	9	268
85歳以上	121	34	2	157
全体（n=1,821）	90.7%	7.1%	2.1%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	92.9%	4.5%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	95.2%	3.7%	1.1%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	91.2%	6.4%	2.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	86.6%	10.1%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	77.1%	21.7%	1.3%	100.0%

問 16　若い人に自分から話しかけることがありますか。

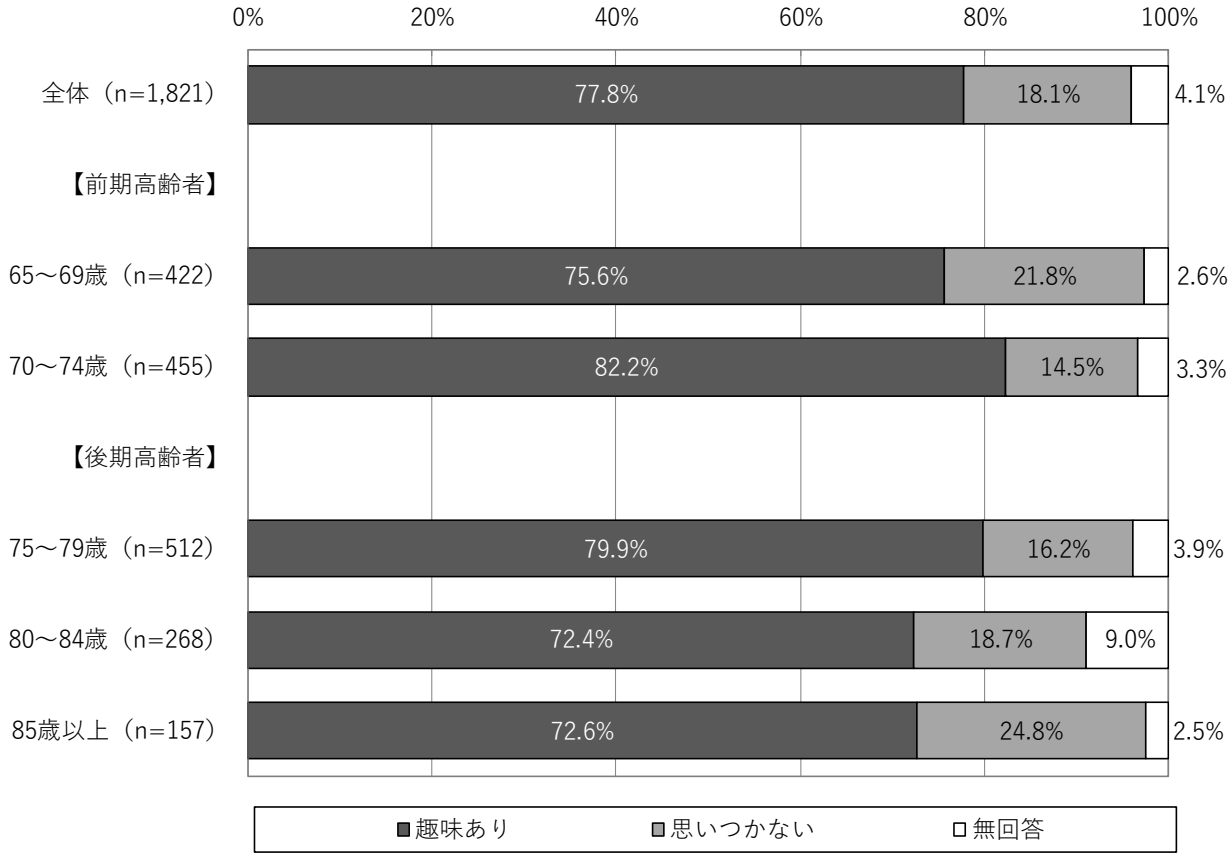
若い人に自分から話しかけることがあるかでは、「はい」が 78.7%、「いいえ」が 19.2%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,433	350	38	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	334	80	8	422
70～74歳	369	80	6	455
【後期高齢者】				
75～79歳	395	104	13	512
80～84歳	204	55	9	268
85歳以上	126	29	2	157
全体（n=1,821）	78.7%	19.2%	2.1%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	79.1%	19.0%	1.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	81.1%	17.6%	1.3%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	77.1%	20.3%	2.5%	100.0%
80～84歳（n=268）	76.1%	20.5%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	80.3%	18.5%	1.3%	100.0%

問 17　趣味はありますか。

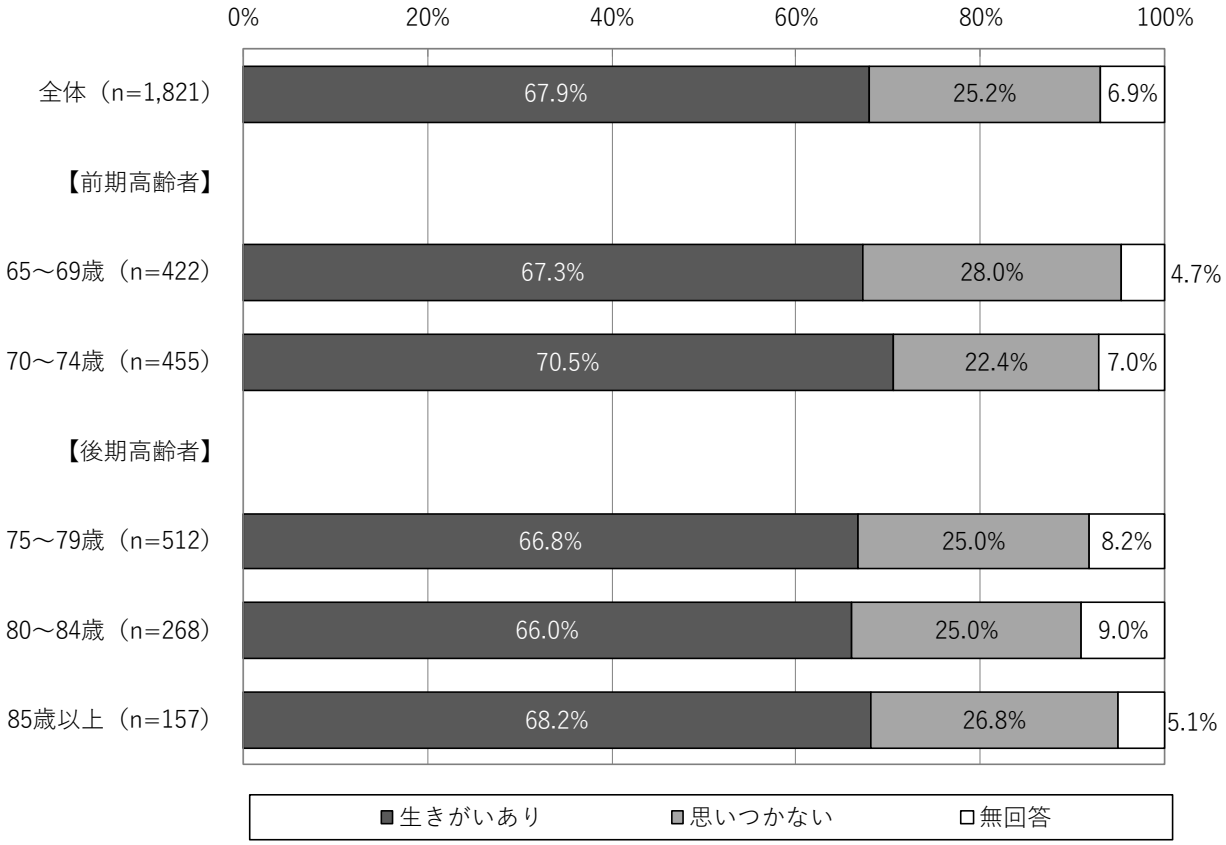
趣味はあるかでは、「趣味あり」が 77.8%、「思いつかない」が 18.1%となっています。



	趣味あり	思いつかない	無回答	合計
全体	1,417	330	74	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	319	92	11	422
70～74歳	374	66	15	455
【後期高齢者】				
75～79歳	409	83	20	512
80～84歳	194	50	24	268
85歳以上	114	39	4	157
全体（n=1,821）	77.8%	18.1%	4.1%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	75.6%	21.8%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	82.2%	14.5%	3.3%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	79.9%	16.2%	3.9%	100.0%
80～84歳（n=268）	72.4%	18.7%	9.0%	100.0%
85歳以上（n=157）	72.6%	24.8%	2.5%	100.0%

問 18　生きがいはありますか。

生きがいはあるかでは、「生きがいあり」が 67.9%、「思いつかない」が 25.2%となっています。



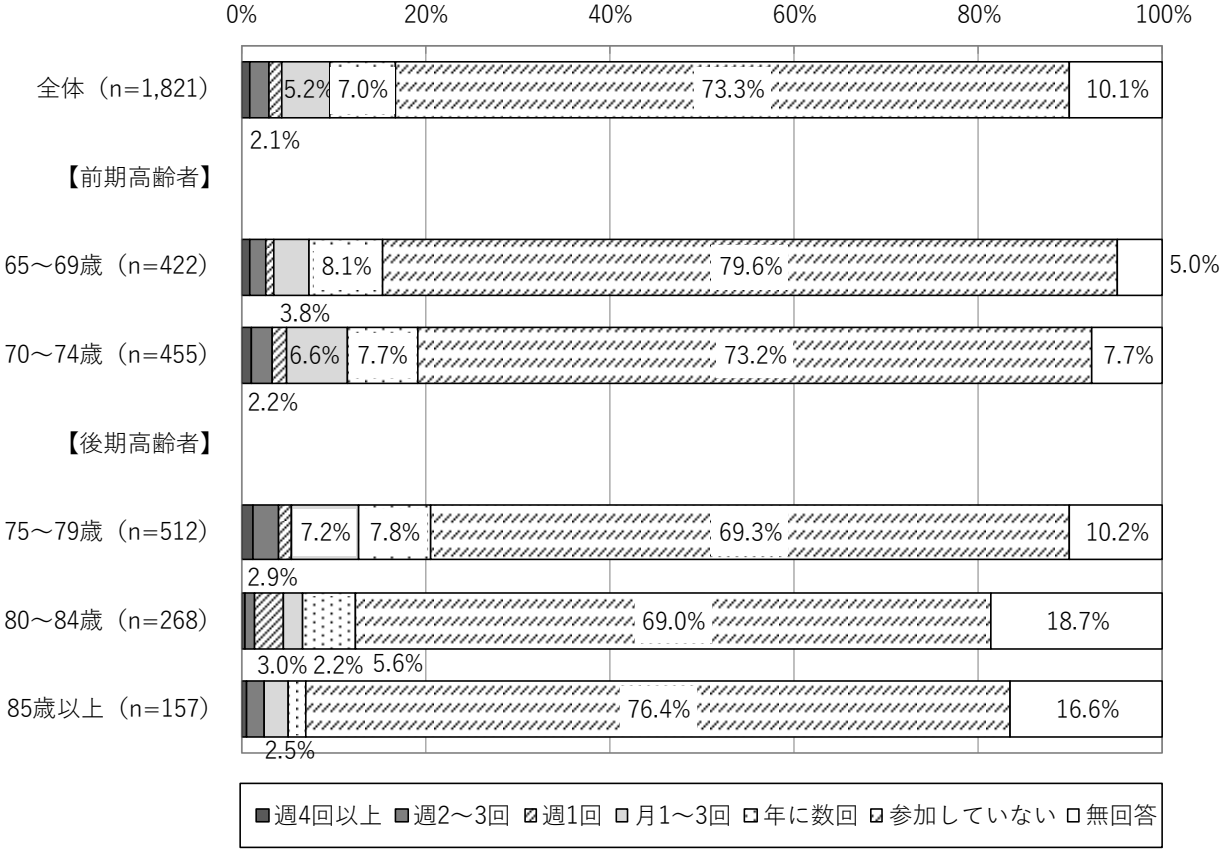
	生きがいあり	思いつかない	無回答	合計
全体	1,237	458	126	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	284	118	20	422
70～74歳	321	102	32	455
【後期高齢者】				
75～79歳	342	128	42	512
80～84歳	177	67	24	268
85歳以上	107	42	8	157
全体(n=1,821)	67.9%	25.2%	6.9%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	67.3%	28.0%	4.7%	100.0%
70～74歳(n=455)	70.5%	22.4%	7.0%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	66.8%	25.0%	8.2%	100.0%
80～84歳(n=268)	66.0%	25.0%	9.0%	100.0%
85歳以上(n=157)	68.2%	26.8%	5.1%	100.0%

（6）地域での活動について

問１　以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①-⑧それぞれに回答してください。

【①ボランティアのグループ】

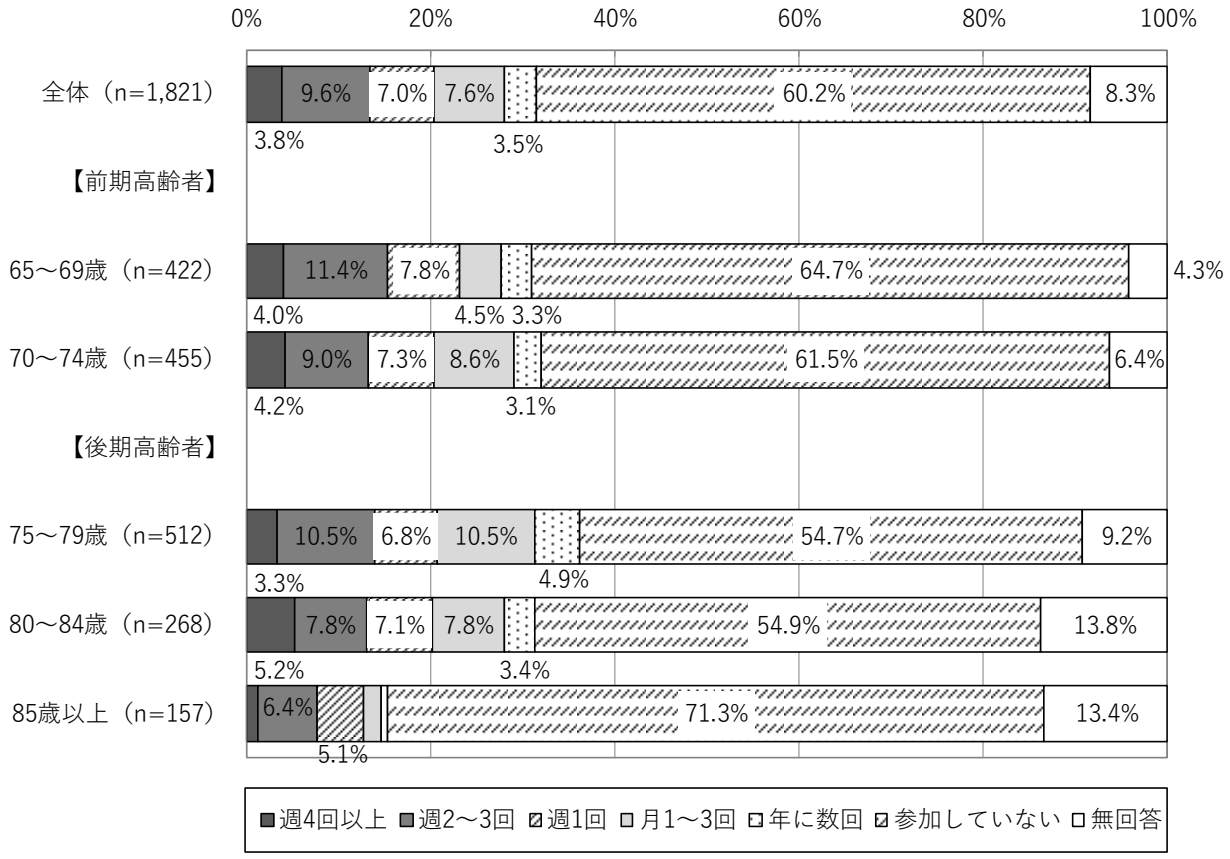
ボランティアのグループでは、「週 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月 1～3 回」「年に数回」を合わせた『参加している』（以下同様）が 16.6%となっています。また、「参加していない」は 73.3%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	17	38	26	94	128	1,334	184	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	4	7	4	16	34	336	21	422
70～74歳	5	10	7	30	35	333	35	455
【後期高齢者】								
75～79歳	6	15	7	37	40	355	52	512
80～84歳	1	3	8	6	15	185	50	268
85歳以上	1	3	0	4	3	120	26	157
全体（n=1,821）	0.9%	2.1%	1.4%	5.2%	7.0%	73.3%	10.1%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	0.9%	1.7%	0.9%	3.8%	8.1%	79.6%	5.0%	100.0%
70～74歳（n=455）	1.1%	2.2%	1.5%	6.6%	7.7%	73.2%	7.7%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	1.2%	2.9%	1.4%	7.2%	7.8%	69.3%	10.2%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.4%	1.1%	3.0%	2.2%	5.6%	69.0%	18.7%	100.0%
85歳以上（n=157）	0.6%	1.9%	0.0%	2.5%	1.9%	76.4%	16.6%	100.0%

【②スポーツ関係のグループやクラブ】

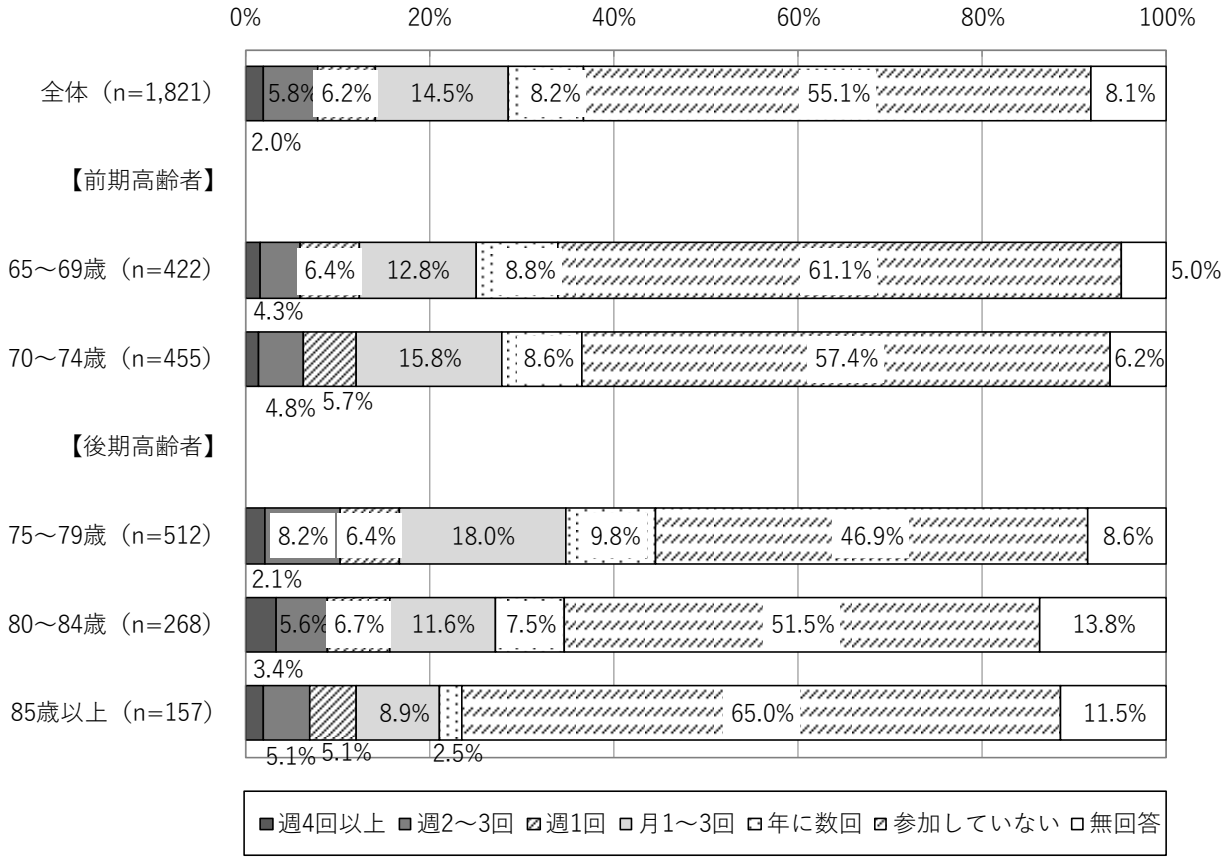
スポーツ関係のグループやクラブでは、『参加している』が 31.5%となっています。また、「参加していない」は 60.2%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	69	174	128	138	63	1,097	152	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	17	48	33	19	14	273	18	422
70～74歳	19	41	33	39	14	280	29	455
【後期高齢者】								
75～79歳	17	54	35	54	25	280	47	512
80～84歳	14	21	19	21	9	147	37	268
85歳以上	2	10	8	3	1	112	21	157
全体（n=1,821）	3.8%	9.6%	7.0%	7.6%	3.5%	60.2%	8.3%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	4.0%	11.4%	7.8%	4.5%	3.3%	64.7%	4.3%	100.0%
70～74歳（n=455）	4.2%	9.0%	7.3%	8.6%	3.1%	61.5%	6.4%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	3.3%	10.5%	6.8%	10.5%	4.9%	54.7%	9.2%	100.0%
80～84歳（n=268）	5.2%	7.8%	7.1%	7.8%	3.4%	54.9%	13.8%	100.0%
85歳以上（n=157）	1.3%	6.4%	5.1%	1.9%	0.6%	71.3%	13.4%	100.0%

【③趣味関係のグループ】

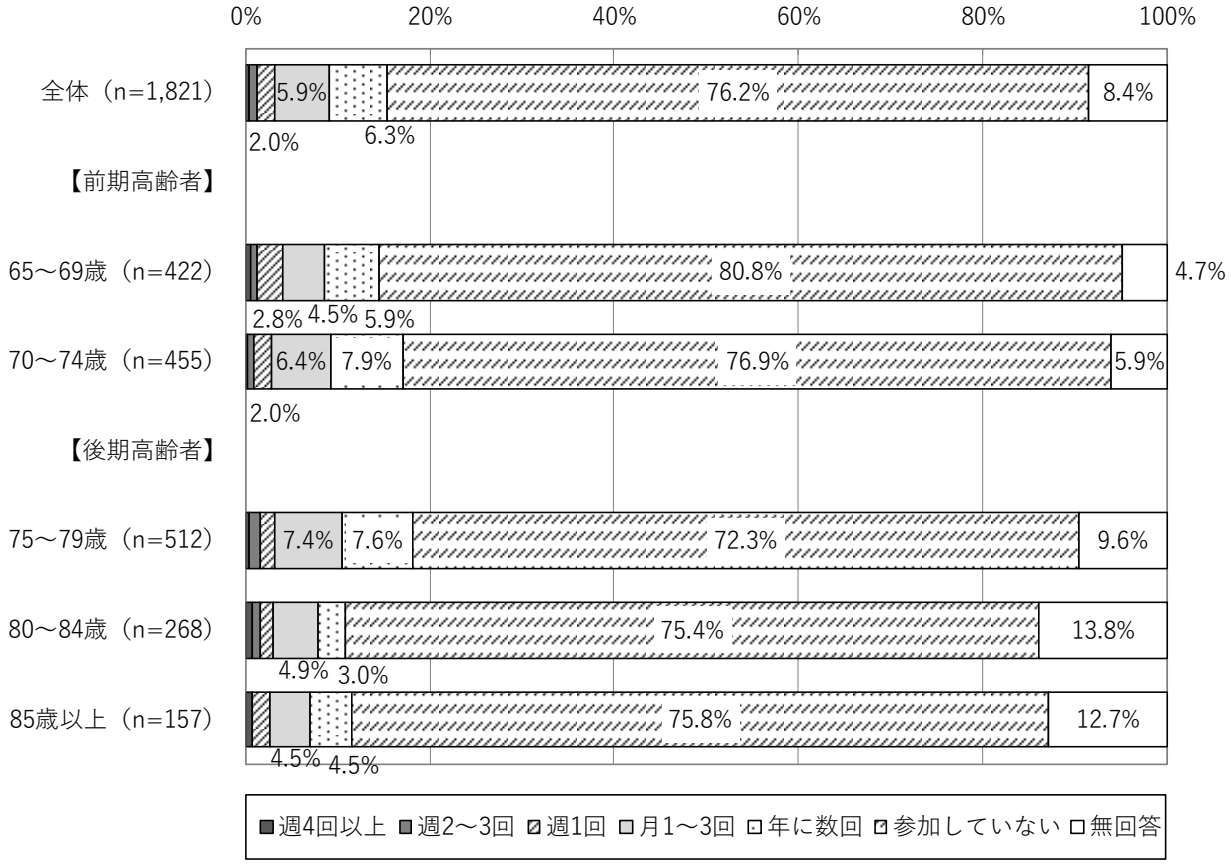
趣味関係のグループでは、『参加している』が 36.7%となっています。また、「参加していない」は 55.1%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	37	106	113	264	150	1,003	148	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	7	18	27	54	37	258	21	422
70～74歳	7	22	26	72	39	261	28	455
【後期高齢者】								
75～79歳	11	42	33	92	50	240	44	512
80～84歳	9	15	18	31	20	138	37	268
85歳以上	3	8	8	14	4	102	18	157
全体(n=1,821)	2.0%	5.8%	6.2%	14.5%	8.2%	55.1%	8.1%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳(n=422)	1.7%	4.3%	6.4%	12.8%	8.8%	61.1%	5.0%	100.0%
70～74歳(n=455)	1.5%	4.8%	5.7%	15.8%	8.6%	57.4%	6.2%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳(n=512)	2.1%	8.2%	6.4%	18.0%	9.8%	46.9%	8.6%	100.0%
80～84歳(n=268)	3.4%	5.6%	6.7%	11.6%	7.5%	51.5%	13.8%	100.0%
85歳以上(n=157)	1.9%	5.1%	5.1%	8.9%	2.5%	65.0%	11.5%	100.0%

【④学習・教養サークル】

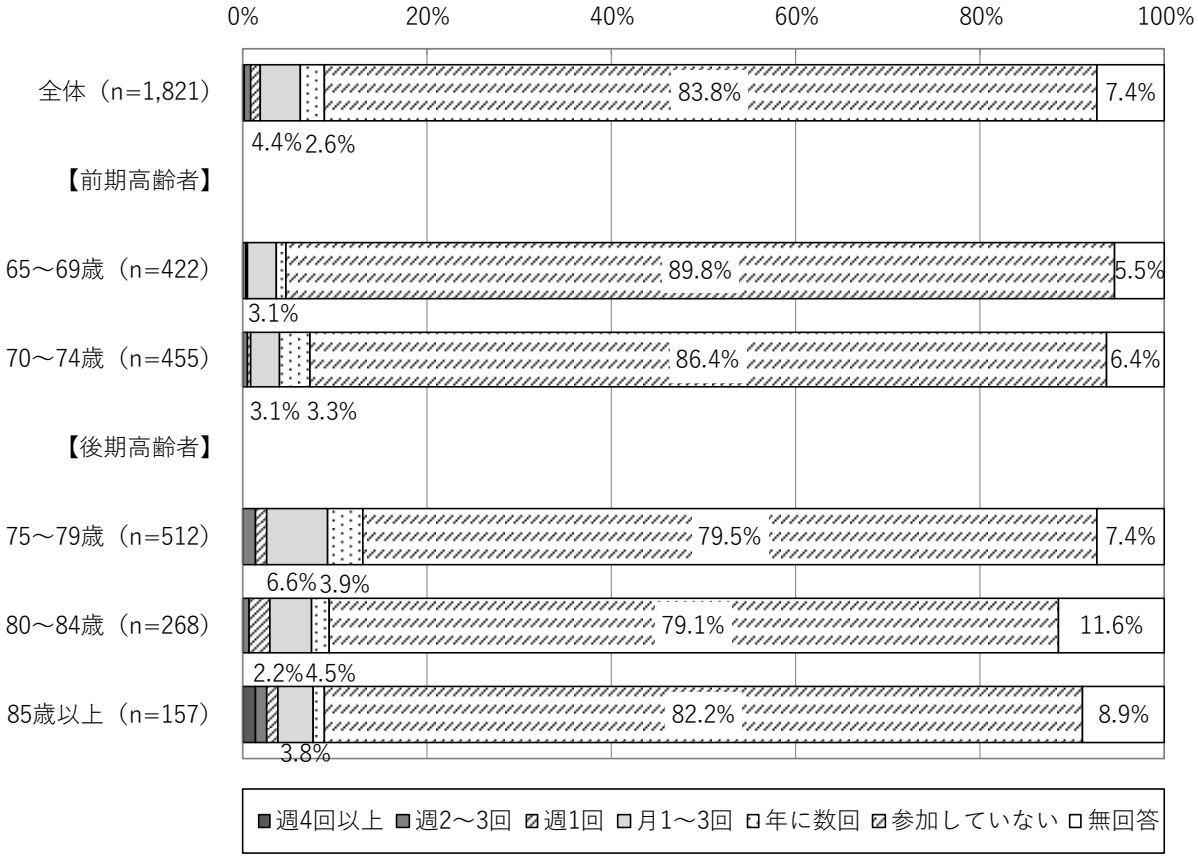
学習・教養サークルでは、『参加している』が 15.4%となっています。また、「参加していない」は 76.2%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	8	14	36	107	115	1,388	153	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	2	3	12	19	25	341	20	422
70～74歳	1	3	9	29	36	350	27	455
【後期高齢者】								
75～79歳	2	6	8	38	39	370	49	512
80～84歳	2	2	4	13	8	202	37	268
85歳以上	1	0	3	7	7	119	20	157
全体（n=1,821）	0.4%	0.8%	2.0%	5.9%	6.3%	76.2%	8.4%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	0.5%	0.7%	2.8%	4.5%	5.9%	80.8%	4.7%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.2%	0.7%	2.0%	6.4%	7.9%	76.9%	5.9%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	0.4%	1.2%	1.6%	7.4%	7.6%	72.3%	9.6%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.7%	0.7%	1.5%	4.9%	3.0%	75.4%	13.8%	100.0%
85歳以上（n=157）	0.6%	0.0%	1.9%	4.5%	4.5%	75.8%	12.7%	100.0%

【⑤介護予防のための通いの場（高齢者憩いの広場、ふれあいサロン）】

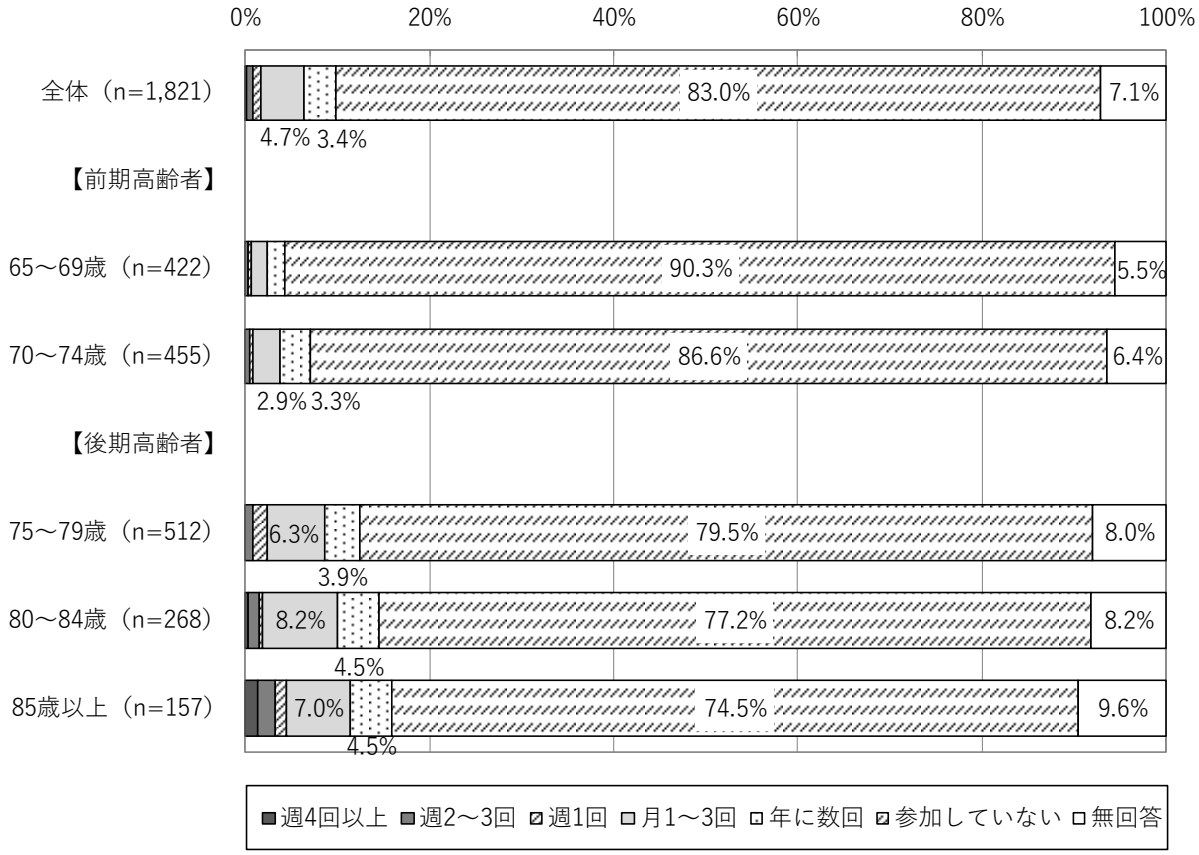
介護予防のための通いの場（高齢者憩いの広場、ふれあいサロン）では、『参加している』が 8.8%となっています。また、「参加していない」は 83.8%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	2	14	17	80	47	1,526	135	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	0	1	1	13	5	379	23	422
70～74歳	0	2	2	14	15	393	29	455
【後期高齢者】								
75～79歳	0	7	6	34	20	407	38	512
80～84歳	0	2	6	12	5	212	31	268
85歳以上	2	2	2	6	2	129	14	157
全体（n=1,821）	0.1%	0.8%	0.9%	4.4%	2.6%	83.8%	7.4%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	0.0%	0.2%	0.2%	3.1%	1.2%	89.8%	5.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.0%	0.4%	0.4%	3.1%	3.3%	86.4%	6.4%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	0.0%	1.4%	1.2%	6.6%	3.9%	79.5%	7.4%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.0%	0.7%	2.2%	4.5%	1.9%	79.1%	11.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	1.3%	1.3%	1.3%	3.8%	1.3%	82.2%	8.9%	100.0%

【⑥老人クラブ】

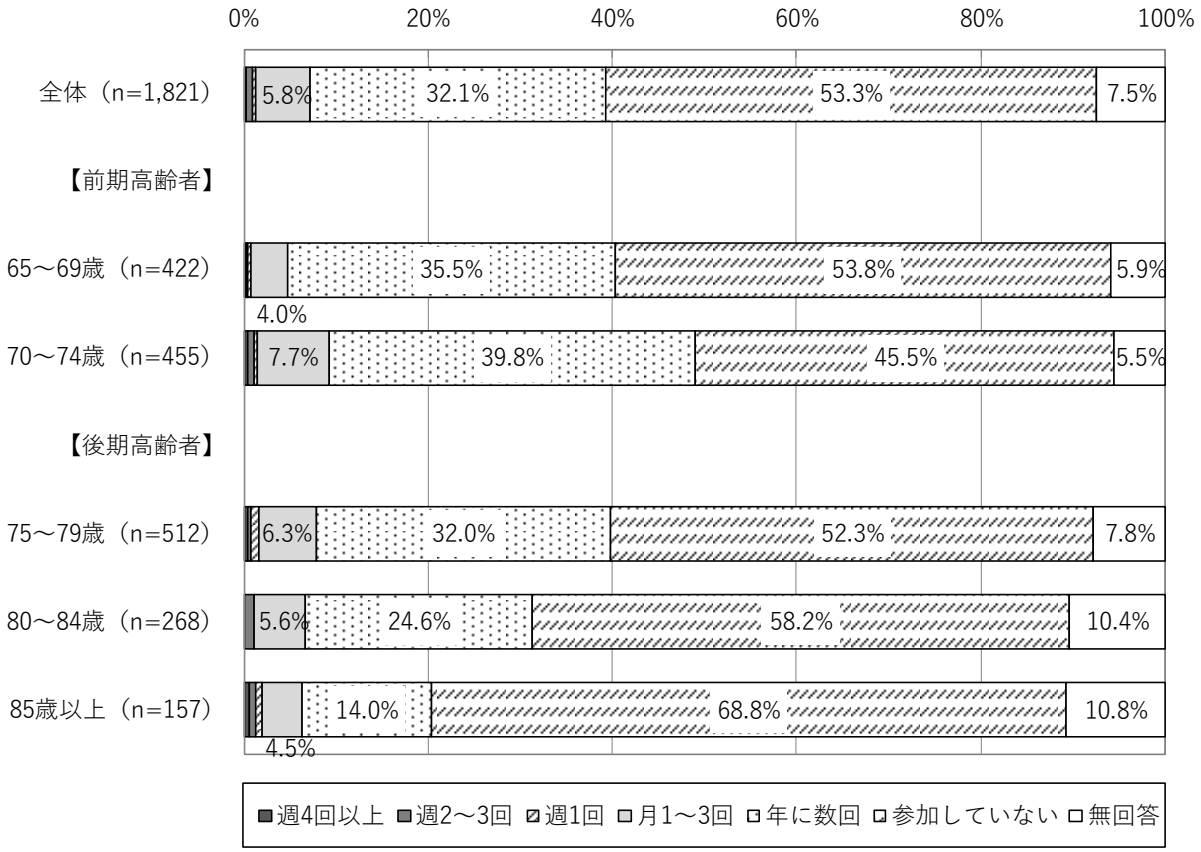
老人クラブでは、『参加している』が 9.8%となっています。また、「参加していない」は 83.0%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	3	13	15	86	62	1,512	130	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	0	1	2	7	8	381	23	422
70～74歳	0	2	2	13	15	394	29	455
【後期高齢者】								
75～79歳	0	4	8	32	20	407	41	512
80～84歳	1	3	1	22	12	207	22	268
85歳以上	2	3	2	11	7	117	15	157
全体（n=1,821）	0.2%	0.7%	0.8%	4.7%	3.4%	83.0%	7.1%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	0.0%	0.2%	0.5%	1.7%	1.9%	90.3%	5.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.0%	0.4%	0.4%	2.9%	3.3%	86.6%	6.4%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	0.0%	0.8%	1.6%	6.3%	3.9%	79.5%	8.0%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.4%	1.1%	0.4%	8.2%	4.5%	77.2%	8.2%	100.0%
85歳以上（n=157）	1.3%	1.9%	1.3%	7.0%	4.5%	74.5%	9.6%	100.0%

【⑦町内会・自治会】

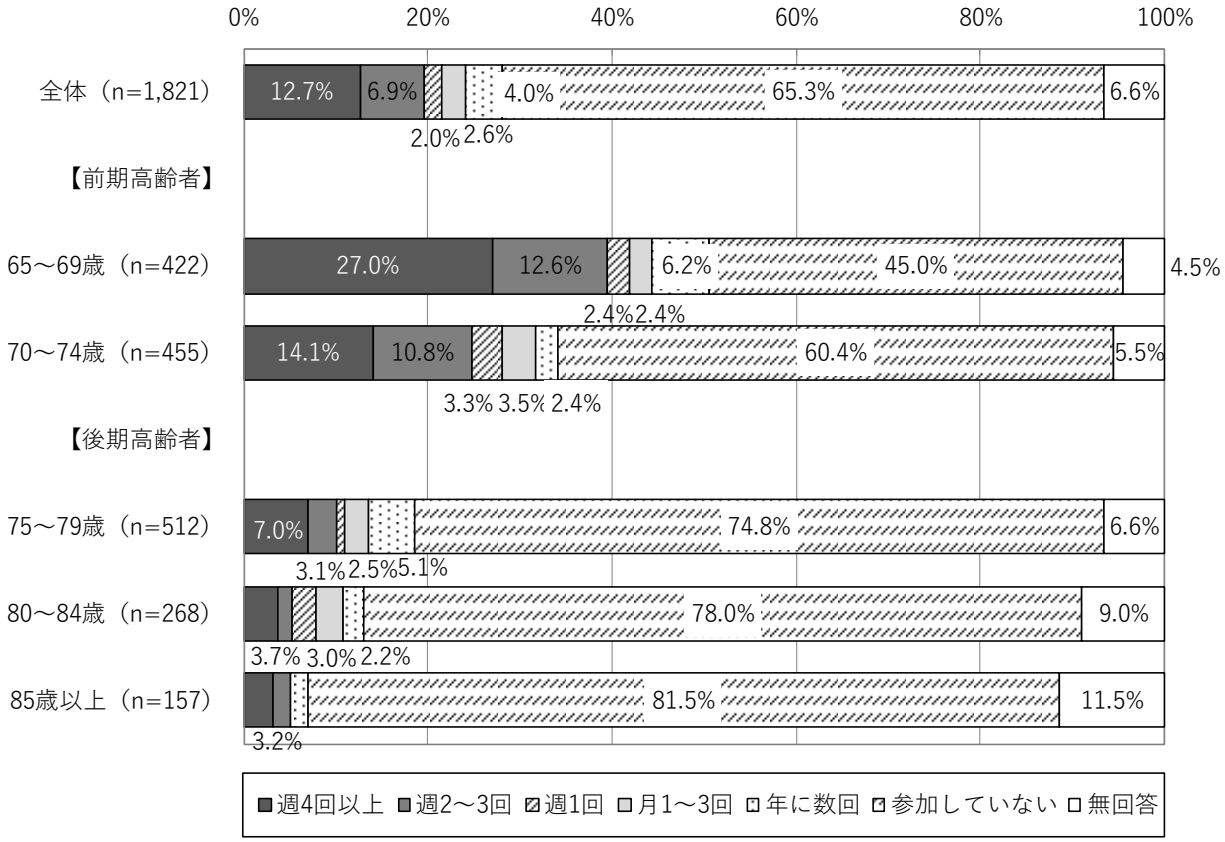
町内会・自治会では、『参加している』が 39.1%となっています。また、「参加していない」は 53.3%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	6	10	8	106	584	971	136	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	1	1	1	17	150	227	25	422
70～74歳	2	3	2	35	181	207	25	455
【後期高齢者】								
75～79歳	2	2	4	32	164	268	40	512
80～84歳	0	3	0	15	66	156	28	268
85歳以上	1	1	1	7	22	108	17	157
全体（n=1,821）	0.3%	0.5%	0.4%	5.8%	32.1%	53.3%	7.5%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳（n=422）	0.2%	0.2%	0.2%	4.0%	35.5%	53.8%	5.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.4%	0.7%	0.4%	7.7%	39.8%	45.5%	5.5%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳（n=512）	0.4%	0.4%	0.8%	6.3%	32.0%	52.3%	7.8%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.0%	1.1%	0.0%	5.6%	24.6%	58.2%	10.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	0.6%	0.6%	0.6%	4.5%	14.0%	68.8%	10.8%	100.0%

【⑧収入のある仕事】

収入のある仕事では、『参加している』が 28.2%となっています。また、「参加していない」は 65.3%となっています。

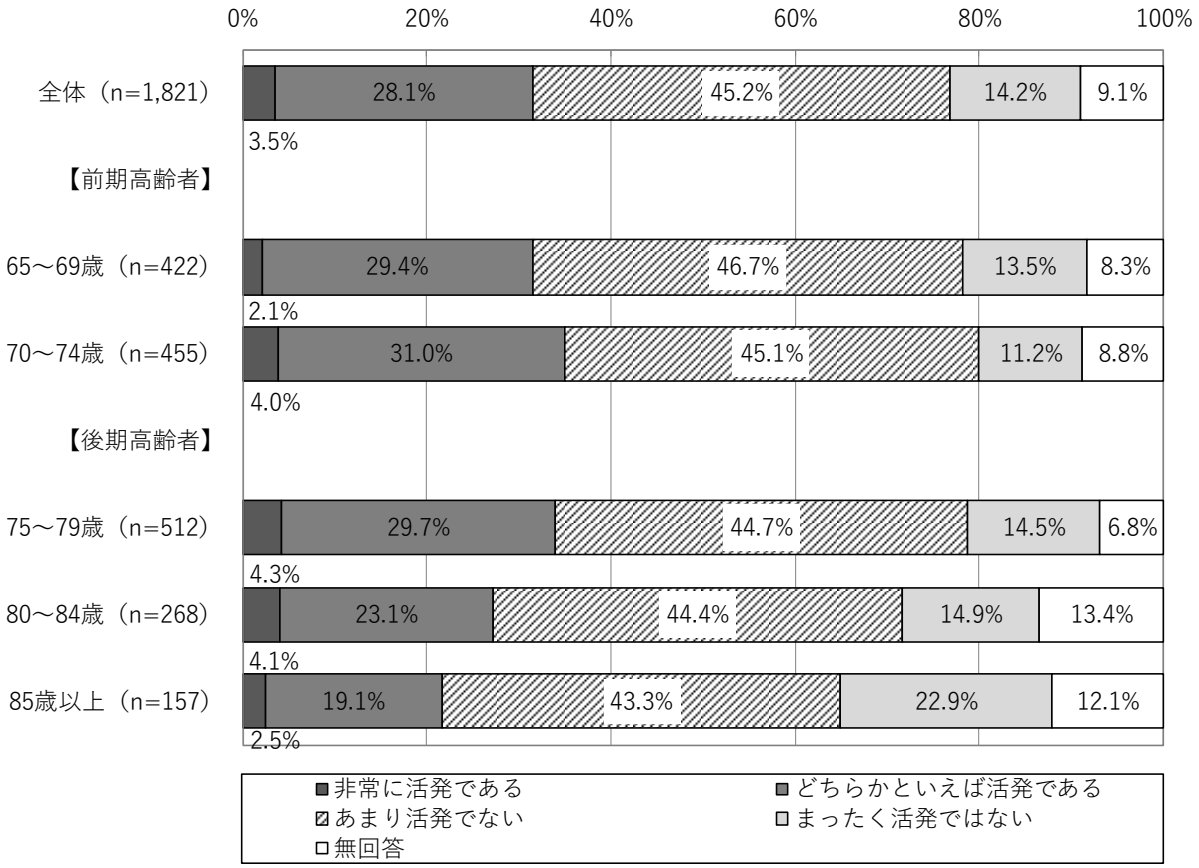


	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	231	126	36	47	72	1,189	120	1,821
【前期高齢者】								
65～69歳	114	53	10	10	26	190	19	422
70～74歳	64	49	15	16	11	275	25	455
【後期高齢者】								
75～79歳	36	16	4	13	26	383	34	512
80～84歳	10	4	7	8	6	209	24	268
85歳以上	5	3	0	0	3	128	18	157
全体(n=1,821)	12.7%	6.9%	2.0%	2.6%	4.0%	65.3%	6.6%	100.0%
【前期高齢者】								
65～69歳(n=422)	27.0%	12.6%	2.4%	2.4%	6.2%	45.0%	4.5%	100.0%
70～74歳(n=455)	14.1%	10.8%	3.3%	3.5%	2.4%	60.4%	5.5%	100.0%
【後期高齢者】								
75～79歳(n=512)	7.0%	3.1%	0.8%	2.5%	5.1%	74.8%	6.6%	100.0%
80～84歳(n=268)	3.7%	1.5%	2.6%	3.0%	2.2%	78.0%	9.0%	100.0%
85歳以上(n=157)	3.2%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	81.5%	11.5%	100.0%

問２　自身が住んでいる地域の地域活動や行事は活発だと思いますか。

自身が住んでいる地域の地域活動や行事は活発だと思うかでは、「非常に活発である」「どちらかといえば活発である」を合わせた『活発である』が 31.6%となっています。

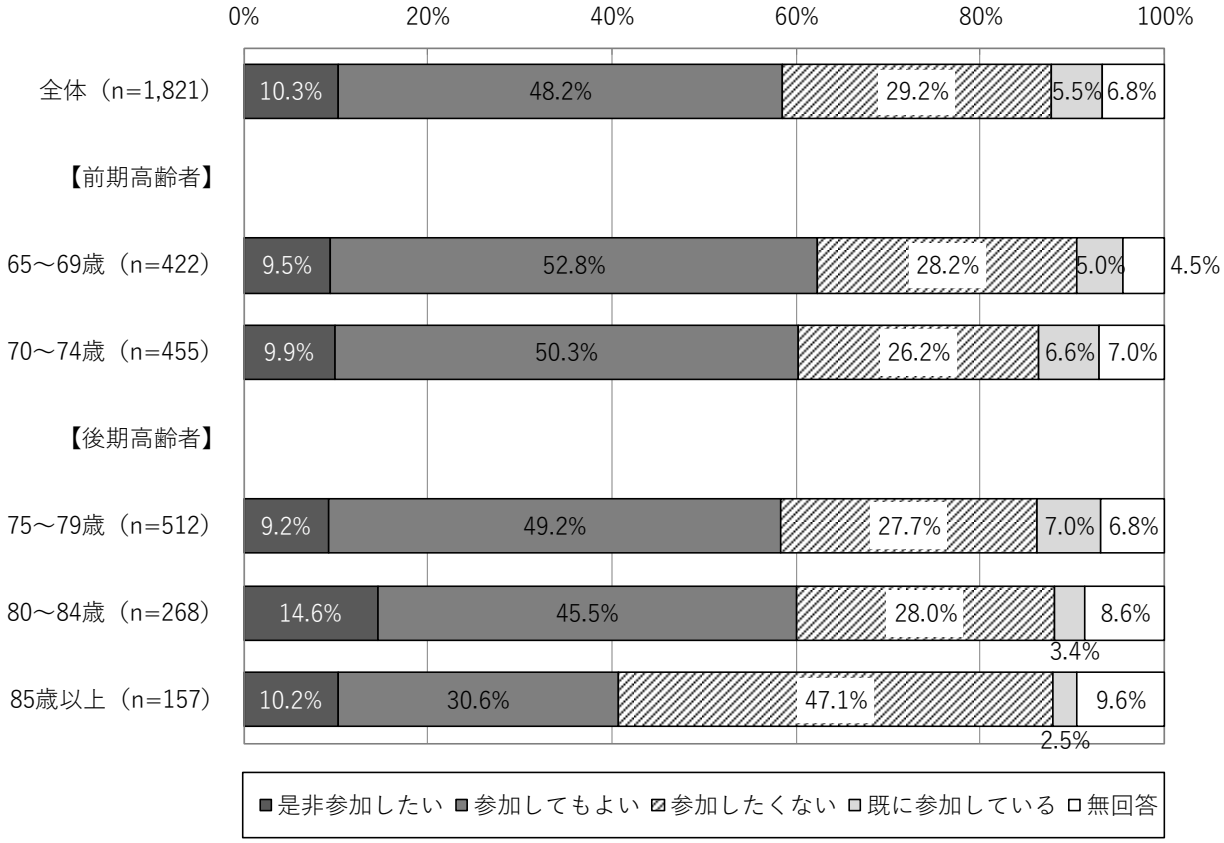
また、「あまり活発でない」「まったく活発ではない」を合わせた『活発でない』が 59.4%となっています。



	非常に活発である	どちらかといえば活発である	あまり活発でない	まったく活発ではない	無回答	合計
全体	64	511	823	258	165	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	9	124	197	57	35	422
70～74歳	18	141	205	51	40	455
【後期高齢者】						
75～79歳	22	152	229	74	35	512
80～84歳	11	62	119	40	36	268
85歳以上	4	30	68	36	19	157
全体（n=1,821）	3.5%	28.1%	45.2%	14.2%	9.1%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	2.1%	29.4%	46.7%	13.5%	8.3%	100.0%
70～74歳（n=455）	4.0%	31.0%	45.1%	11.2%	8.8%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	4.3%	29.7%	44.7%	14.5%	6.8%	100.0%
80～84歳（n=268）	4.1%	23.1%	44.4%	14.9%	13.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	2.5%	19.1%	43.3%	22.9%	12.1%	100.0%

問 3　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

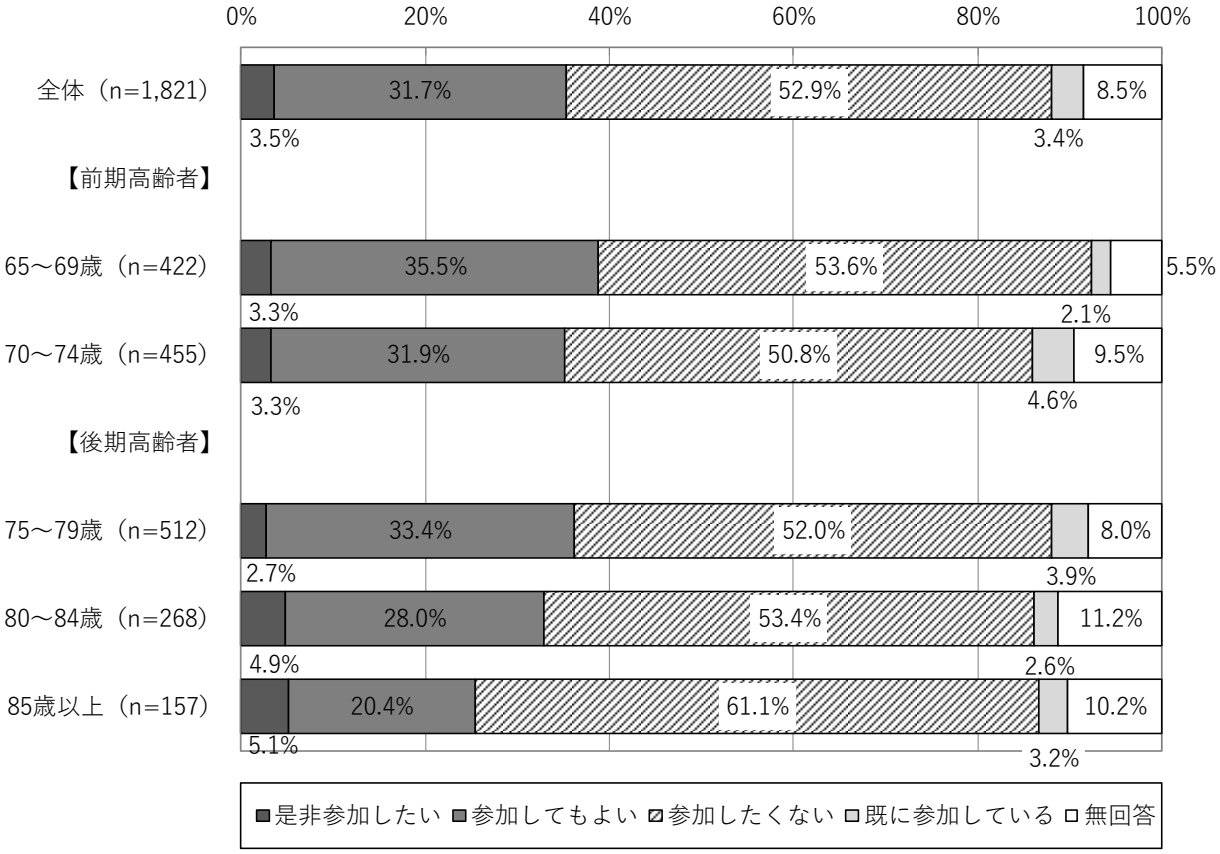
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかでは、「参加してもよい」が 48.2%と最も多く、次いで「参加したくない」が 29.2%、「是非参加したい」が 10.3%となっています。



	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	合計
全体	188	878	531	100	124	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	40	223	119	21	19	422
70～74歳	45	229	119	30	32	455
【後期高齢者】						
75～79歳	47	252	142	36	35	512
80～84歳	39	122	75	9	23	268
85歳以上	16	48	74	4	15	157
全体（n=1,821）	10.3%	48.2%	29.2%	5.5%	6.8%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	9.5%	52.8%	28.2%	5.0%	4.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	9.9%	50.3%	26.2%	6.6%	7.0%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	9.2%	49.2%	27.7%	7.0%	6.8%	100.0%
80～84歳（n=268）	14.6%	45.5%	28.0%	3.4%	8.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	10.2%	30.6%	47.1%	2.5%	9.6%	100.0%

問４　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

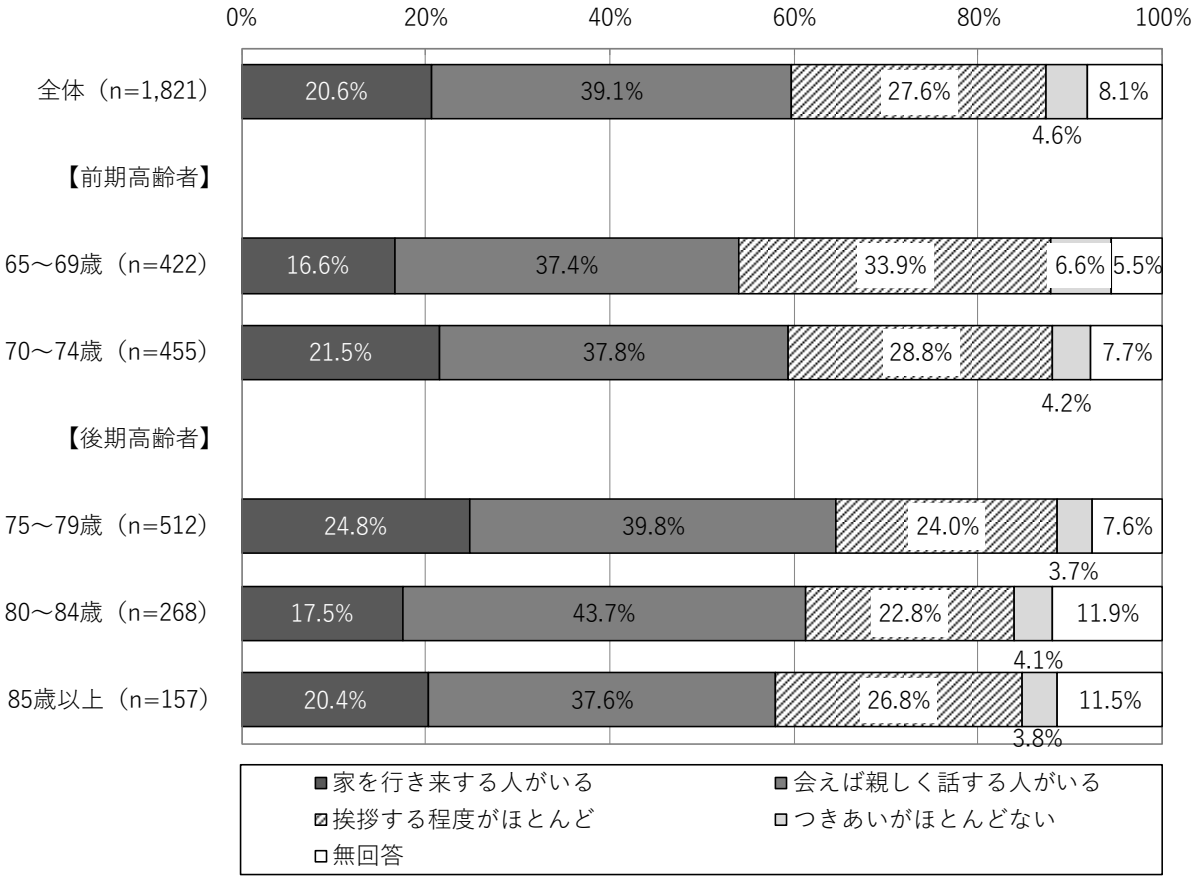
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかでは、「参加したくない」が 52.9%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 31.7%、「是非参加したい」が 3.5%となっています。



	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	合計
全体	64	578	963	62	154	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	14	150	226	9	23	422
70～74歳	15	145	231	21	43	455
【後期高齢者】						
75～79歳	14	171	266	20	41	512
80～84歳	13	75	143	7	30	268
85歳以上	8	32	96	5	16	157
全体（n=1,821）	3.5%	31.7%	52.9%	3.4%	8.5%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	3.3%	35.5%	53.6%	2.1%	5.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	3.3%	31.9%	50.8%	4.6%	9.5%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	2.7%	33.4%	52.0%	3.9%	8.0%	100.0%
80～84歳（n=268）	4.9%	28.0%	53.4%	2.6%	11.2%	100.0%
85歳以上（n=157）	5.1%	20.4%	61.1%	3.2%	10.2%	100.0%

問 5　近所付き合いはどの程度ありますか。

近所付き合いはどの程度あるかでは、「会えば親しく話する人がいる」が 39.1%と最も多く、次いで「挨拶する程度がほとんど」が 27.6%、「家を行き来する人がいる」が 20.6%となっています。

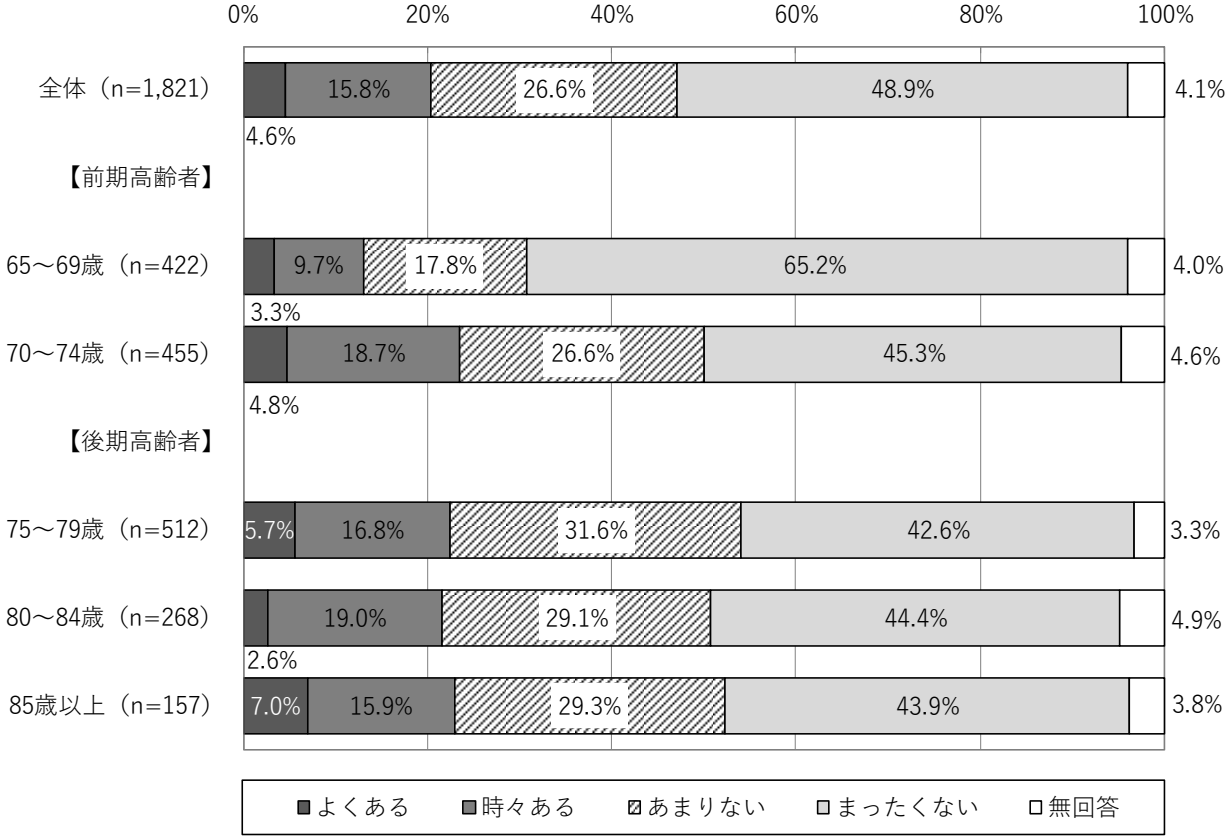


	家を行き来する人がいる	会えば親しく話する人がいる	挨拶する程度がほとんど	つきあいがほとんどない	無回答	合計
全体	376	712	503	83	147	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	70	158	143	28	23	422
70～74歳	98	172	131	19	35	455
【後期高齢者】						
75～79歳	127	204	123	19	39	512
80～84歳	47	117	61	11	32	268
85歳以上	32	59	42	6	18	157
全体（n=1,821）	20.6%	39.1%	27.6%	4.6%	8.1%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	16.6%	37.4%	33.9%	6.6%	5.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	21.5%	37.8%	28.8%	4.2%	7.7%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	24.8%	39.8%	24.0%	3.7%	7.6%	100.0%
80～84歳（n=268）	17.5%	43.7%	22.8%	4.1%	11.9%	100.0%
85歳以上（n=157）	20.4%	37.6%	26.8%	3.8%	11.5%	100.0%

問 6　地区担当の民生委員と会話をする機会はありますか。

地区担当の民生委員と会話をする機会はあるかでは、「よくある」「時々ある」を合わせた『ある』が 20.4%となっています。

また、「まったくない」「あまりない」を合わせた『ない』が 75.5%となっています。



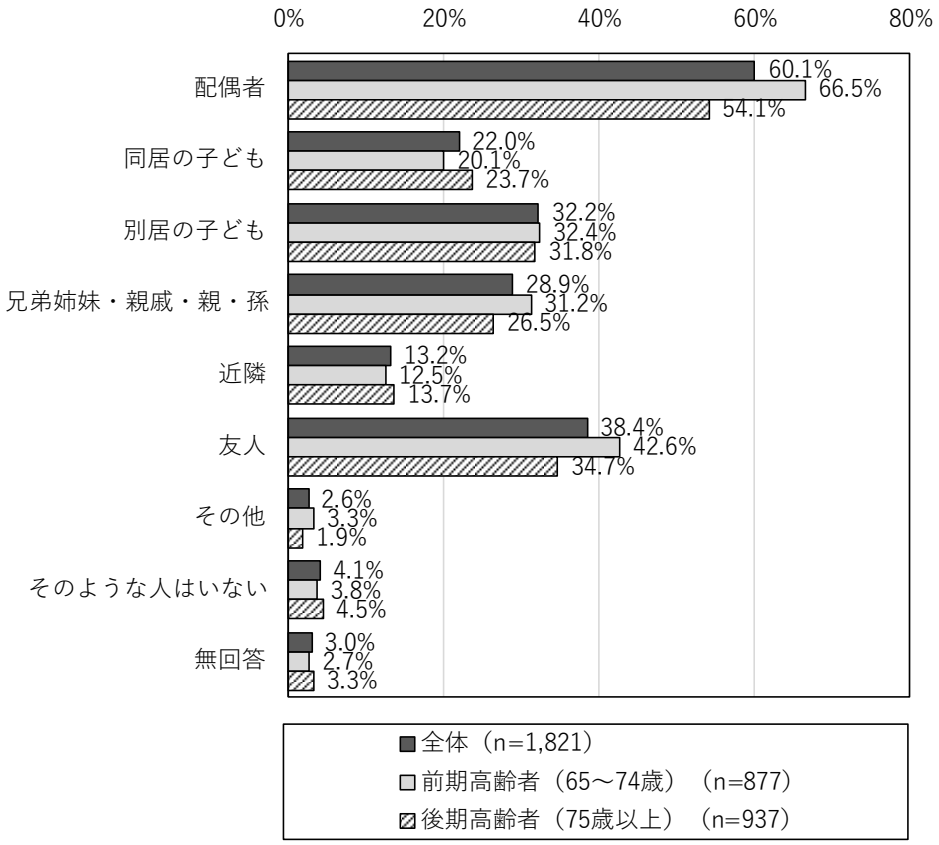
	よくある	時々ある	あまりない	まったくない	無回答	合計
全体	84	288	485	890	74	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	14	41	75	275	17	422
70～74歳	22	85	121	206	21	455
【後期高齢者】						
75～79歳	29	86	162	218	17	512
80～84歳	7	51	78	119	13	268
85歳以上	11	25	46	69	6	157
全体（n=1,821）	4.6%	15.8%	26.6%	48.9%	4.1%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	3.3%	9.7%	17.8%	65.2%	4.0%	100.0%
70～74歳（n=455）	4.8%	18.7%	26.6%	45.3%	4.6%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	5.7%	16.8%	31.6%	42.6%	3.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	2.6%	19.0%	29.1%	44.4%	4.9%	100.0%
85歳以上（n=157）	7.0%	15.9%	29.3%	43.9%	3.8%	100.0%

（7）たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問１　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（いくつでも）

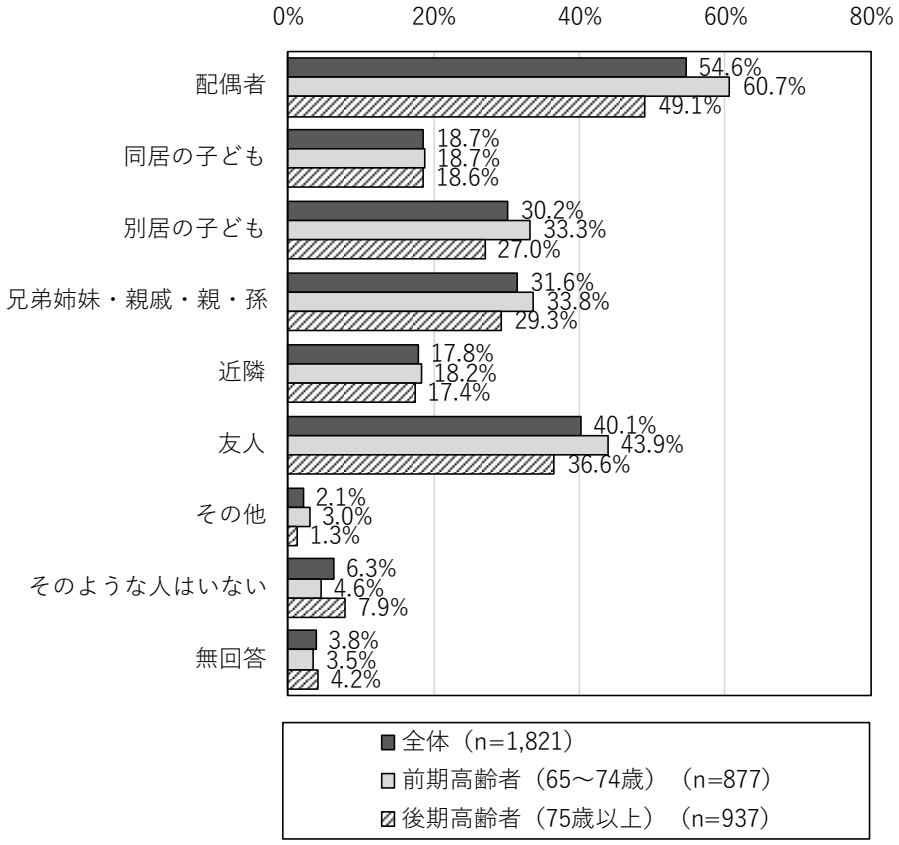
あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人では、「配偶者」が 60.1%と最も多く、次いで「友人」が 38.4%、「別居の子ども」が 32.2%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	1,094	400	587	526	240	700	47	75	55	1,821
前期高齢者（65～74歳）	583	176	284	274	110	374	29	33	24	877
後期高齢者（75歳以上）	507	222	298	248	128	325	18	42	31	937
全体（n=1,821）	60.1%	22.0%	32.2%	28.9%	13.2%	38.4%	2.6%	4.1%	3.0%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	66.5%	20.1%	32.4%	31.2%	12.5%	42.6%	3.3%	3.8%	2.7%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	54.1%	23.7%	31.8%	26.5%	13.7%	34.7%	1.9%	4.5%	3.3%	

問 2　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（いくつでも）

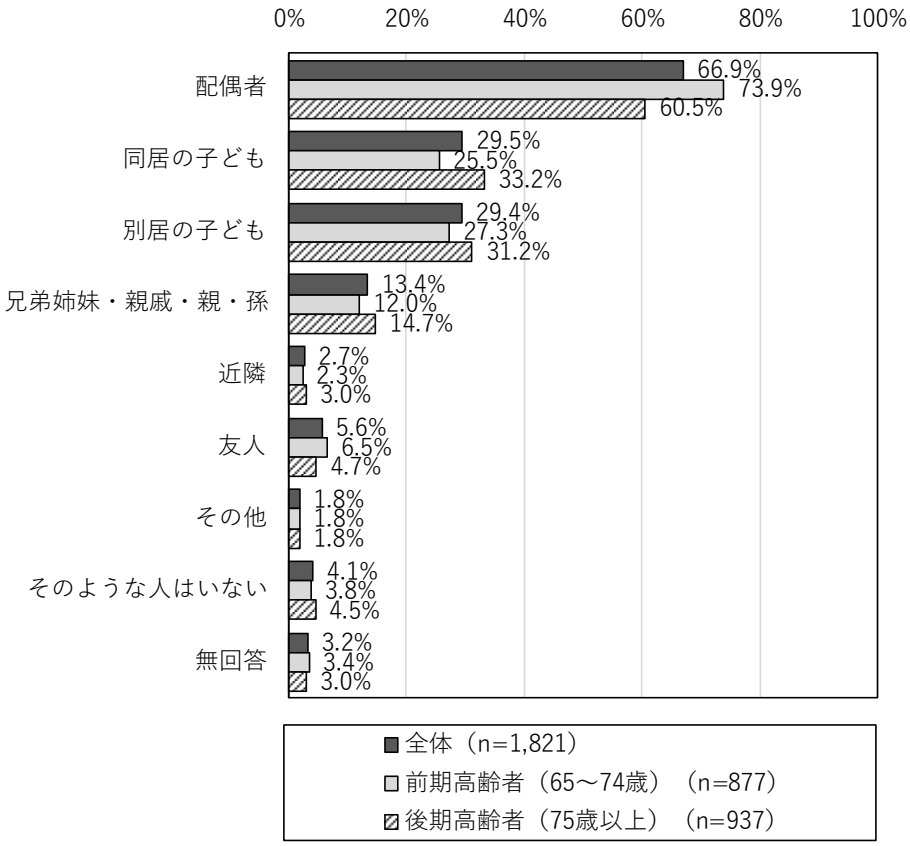
反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人では、「配偶者」が 54.6%と最も多く、次いで「友人」が 40.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 31.6%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	994	340	550	575	325	731	38	114	70	1,821
前期高齢者（65～74歳）	532	164	292	296	160	385	26	40	31	877
後期高齢者（75歳以上）	460	174	253	275	163	343	12	74	39	937
全体（n=1,821）	54.6%	18.7%	30.2%	31.6%	17.8%	40.1%	2.1%	6.3%	3.8%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	60.7%	18.7%	33.3%	33.8%	18.2%	43.9%	3.0%	4.6%	3.5%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	49.1%	18.6%	27.0%	29.3%	17.4%	36.6%	1.3%	7.9%	4.2%	

問 3　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。（いくつでも）

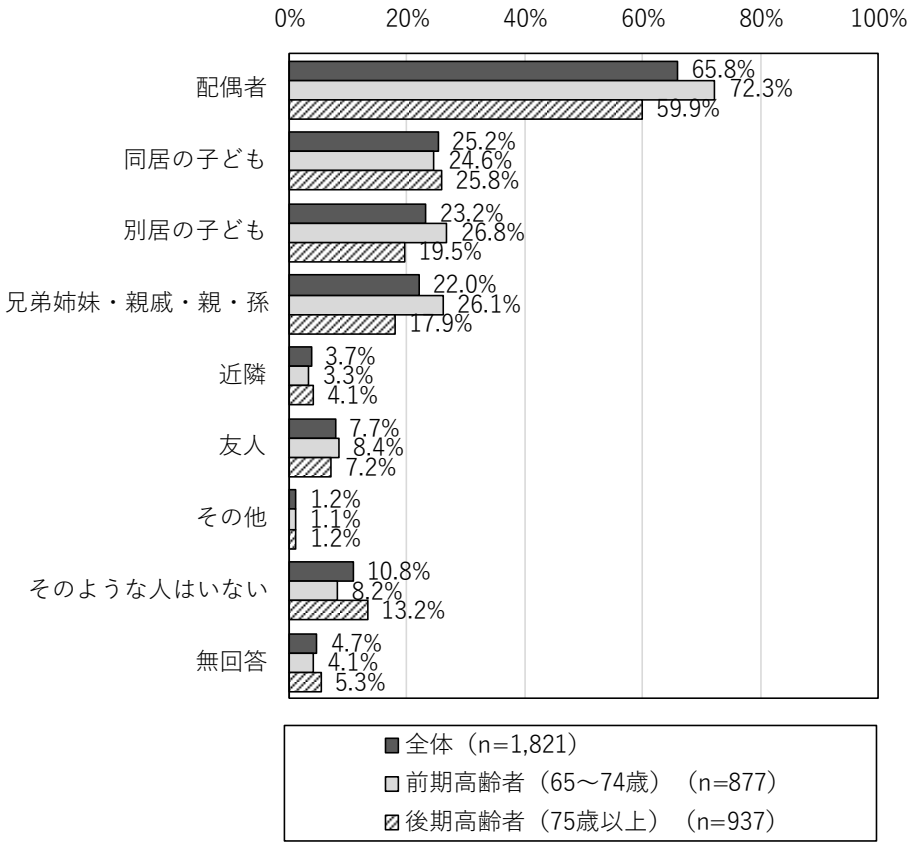
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が 66.9%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 29.5%、「別居の子ども」が 29.4%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	1,219	537	535	244	49	102	33	75	58	1,821
前期高齢者（65～74歳）	648	224	239	105	20	57	16	33	30	877
後期高齢者（75歳以上）	567	311	292	138	28	44	17	42	28	937
全体（n=1,821）	66.9%	29.5%	29.4%	13.4%	2.7%	5.6%	1.8%	4.1%	3.2%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	73.9%	25.5%	27.3%	12.0%	2.3%	6.5%	1.8%	3.8%	3.4%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	60.5%	33.2%	31.2%	14.7%	3.0%	4.7%	1.8%	4.5%	3.0%	

問４　反対に、看病や世話をしてあげる人。（いくつでも）

反対に、看病や世話をしてあげる人では、「配偶者」が 65.8%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 25.2%、「別居の子ども」が 23.2%となっています。

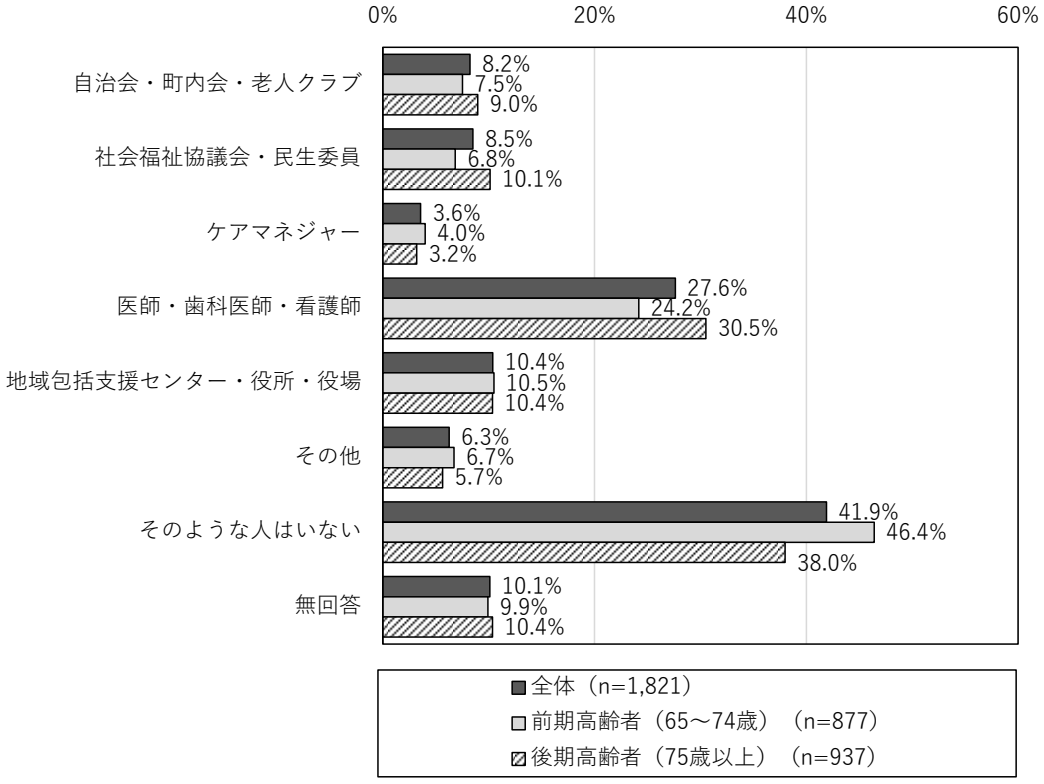


	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	1,199	459	422	400	67	141	21	196	86	1,821
前期高齢者（65～74歳）	634	216	235	229	29	74	10	72	36	877
後期高齢者（75歳以上）	561	242	183	168	38	67	11	124	50	937
全体（n=1,821）	65.8%	25.2%	23.2%	22.0%	3.7%	7.7%	1.2%	10.8%	4.7%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	72.3%	24.6%	26.8%	26.1%	3.3%	8.4%	1.1%	8.2%	4.1%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	59.9%	25.8%	19.5%	17.9%	4.1%	7.2%	1.2%	13.2%	5.3%	

問 5　家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手では、「医師・歯科医師・看護師」が 27.6%と最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が 10.4%となっています。

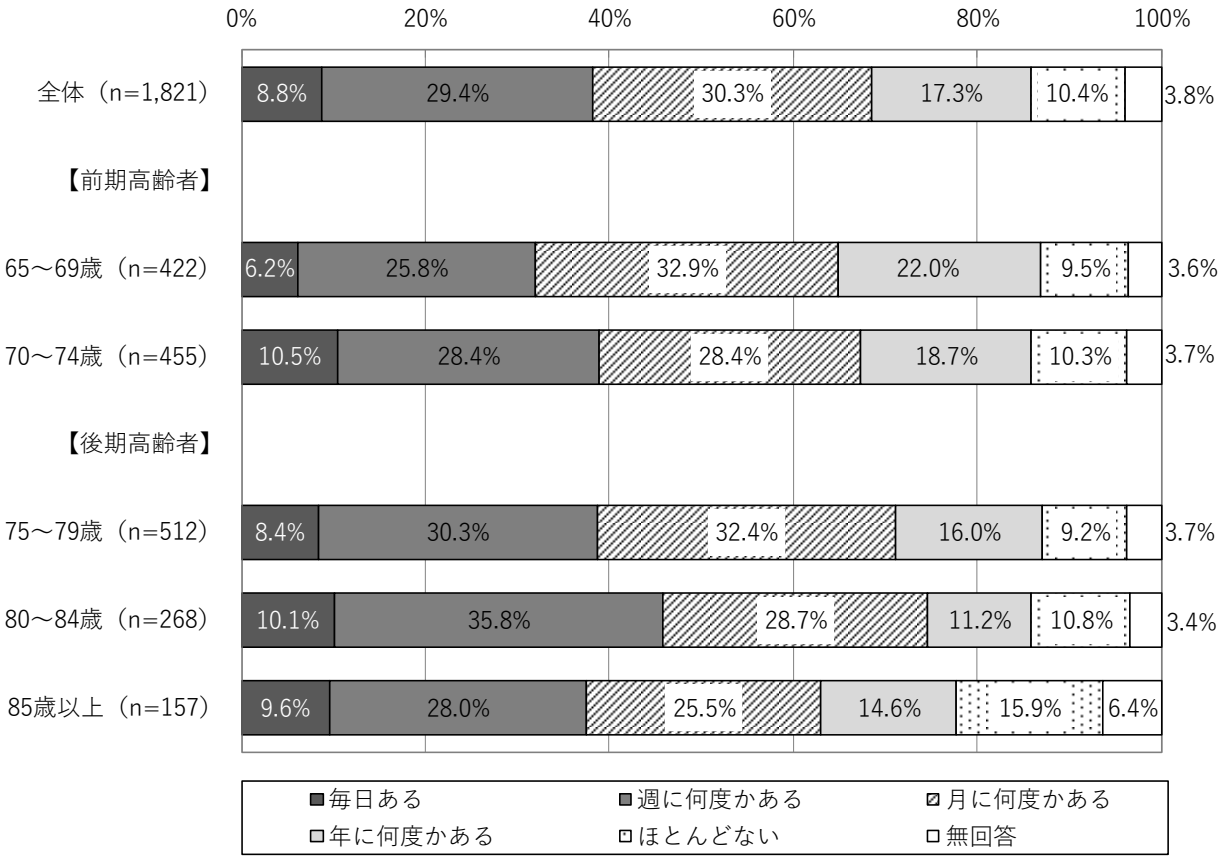
また、「そのような人はいない」が 41.9%となっています。



	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	150	155	65	503	189	114	763	184	1,821
前期高齢者（65～74歳）	66	60	35	212	92	59	407	87	877
後期高齢者（75歳以上）	84	95	30	286	97	53	356	97	937
全体（n=1,821）	8.2%	8.5%	3.6%	27.6%	10.4%	6.3%	41.9%	10.1%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	7.5%	6.8%	4.0%	24.2%	10.5%	6.7%	46.4%	9.9%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	9.0%	10.1%	3.2%	30.5%	10.4%	5.7%	38.0%	10.4%	

問 6　友人･知人と会う頻度はどれくらいですか。

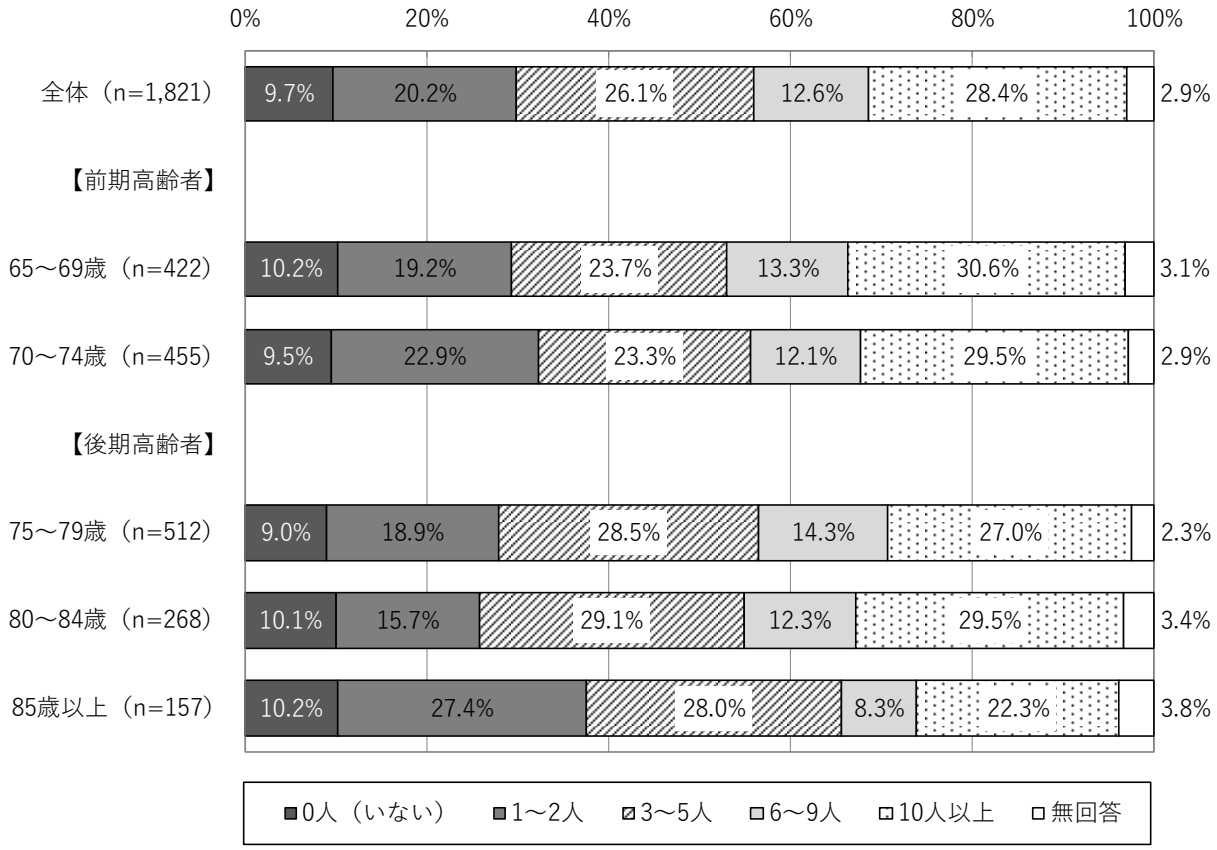
友人･知人と会う頻度では、「月に何度かある」が 30.3%と最も多く、次いで「週に何度かある」が 29.4%、「年に何度かある」が 17.3%となっています。



	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	合計
全体	160	536	551	315	189	70	1,821
【前期高齢者】							
65～69歳	26	109	139	93	40	15	422
70～74歳	48	129	129	85	47	17	455
【後期高齢者】							
75～79歳	43	155	166	82	47	19	512
80～84歳	27	96	77	30	29	9	268
85歳以上	15	44	40	23	25	10	157
全体（n=1,821）	8.8%	29.4%	30.3%	17.3%	10.4%	3.8%	100.0%
【前期高齢者】							
65～69歳（n=422）	6.2%	25.8%	32.9%	22.0%	9.5%	3.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	10.5%	28.4%	28.4%	18.7%	10.3%	3.7%	100.0%
【後期高齢者】							
75～79歳（n=512）	8.4%	30.3%	32.4%	16.0%	9.2%	3.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	10.1%	35.8%	28.7%	11.2%	10.8%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	9.6%	28.0%	25.5%	14.6%	15.9%	6.4%	100.0%

問７　この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。※同じ人には何度会っても１人と数えることとします。

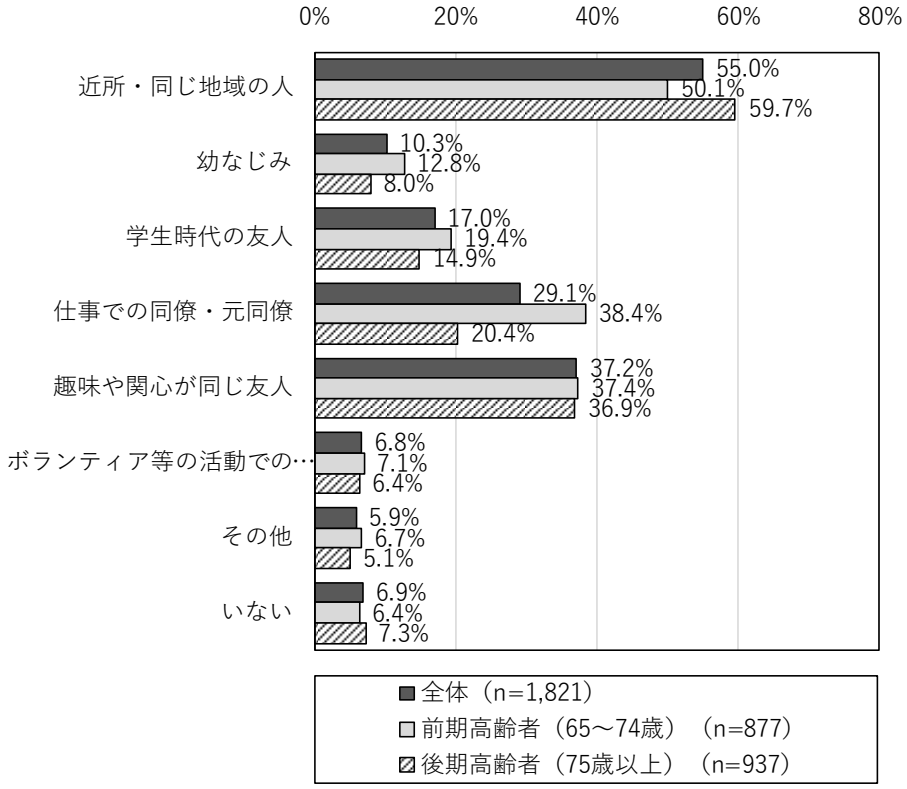
この１か月間、何人の友人・知人と会ったかでは、「10 人以上」が 28.4%と最も多く、次いで「3～5 人」が 26.1%、「1～2 人」が 20.2%となっています。



	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答	合計
全体	177	368	475	230	518	53	1,821
【前期高齢者】							
65～69歳	43	81	100	56	129	13	422
70～74歳	43	104	106	55	134	13	455
【後期高齢者】							
75～79歳	46	97	146	73	138	12	512
80～84歳	27	42	78	33	79	9	268
85歳以上	16	43	44	13	35	6	157
全体（n=1,821）	9.7%	20.2%	26.1%	12.6%	28.4%	2.9%	100.0%
【前期高齢者】							
65～69歳（n=422）	10.2%	19.2%	23.7%	13.3%	30.6%	3.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	9.5%	22.9%	23.3%	12.1%	29.5%	2.9%	100.0%
【後期高齢者】							
75～79歳（n=512）	9.0%	18.9%	28.5%	14.3%	27.0%	2.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	10.1%	15.7%	29.1%	12.3%	29.5%	3.4%	100.0%
85歳以上（n=157）	10.2%	27.4%	28.0%	8.3%	22.3%	3.8%	100.0%

問８　よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）

よく会う友人・知人では、「近所・同じ地域の人」が 55.0%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 37.2%、「仕事での同僚・元同僚」が 29.1%となっています。



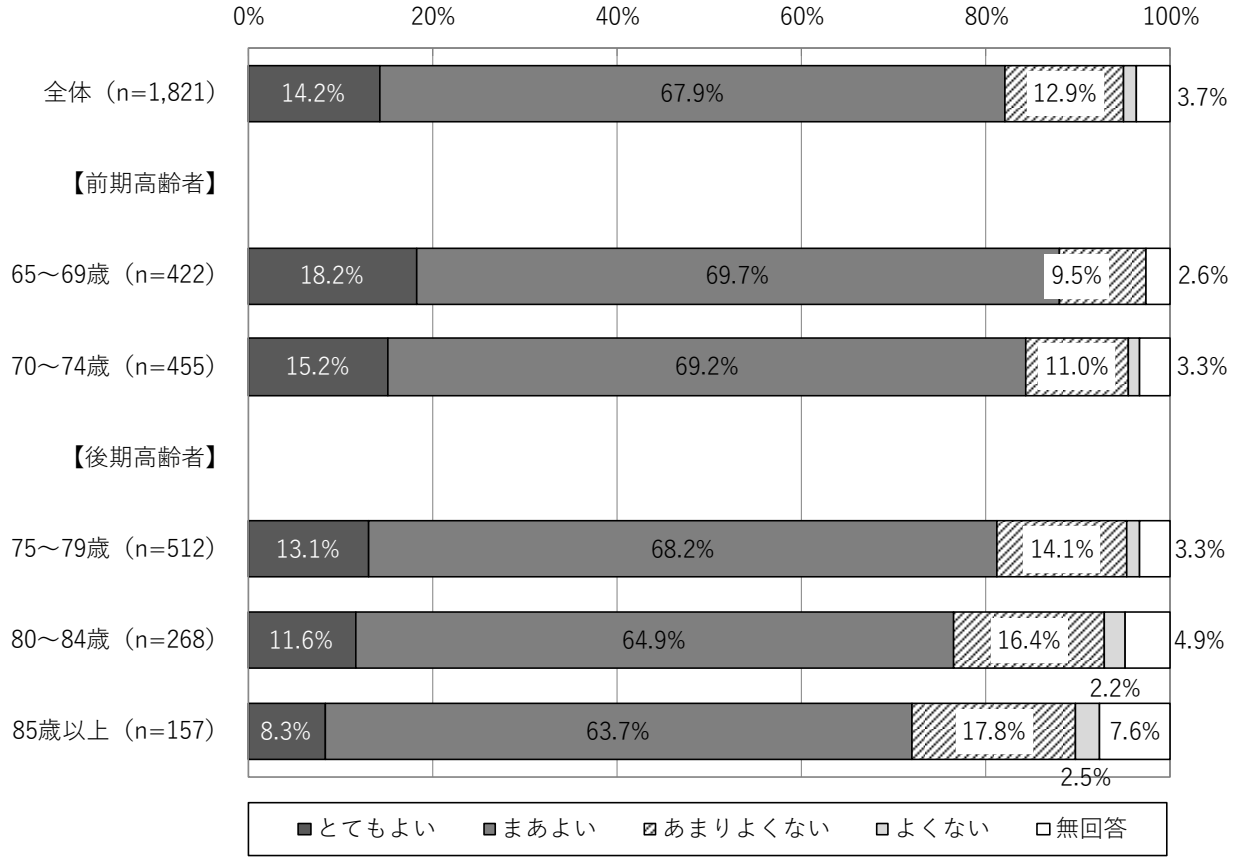
	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答	回答者数
全体	1,002	187	310	530	677	123	108	126	87	1,821
前期高齢者（65～74歳）	439	112	170	337	328	62	59	56	33	877
後期高齢者（75歳以上）	559	75	140	191	346	60	48	68	54	937
全体（n=1,821）	55.0%	10.3%	17.0%	29.1%	37.2%	6.8%	5.9%	6.9%	4.8%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	50.1%	12.8%	19.4%	38.4%	37.4%	7.1%	6.7%	6.4%	3.8%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	59.7%	8.0%	14.9%	20.4%	36.9%	6.4%	5.1%	7.3%	5.8%	

（8）健康について

問１　現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態では、「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』は 82.1%となっています。

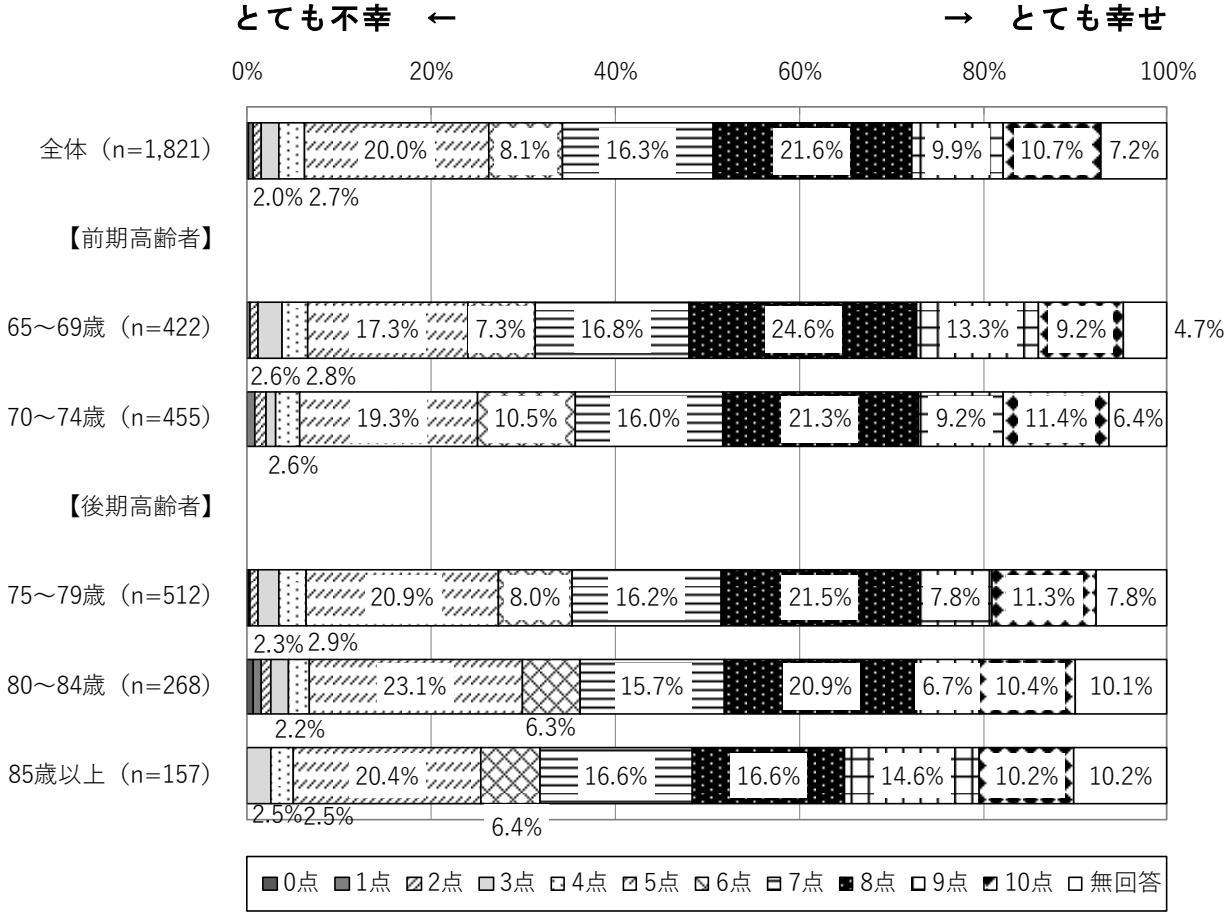
また、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』が 14.2%となっています。



	とてもよい	まあよい	あまり よくない	よくない	無回答	合計
全体	259	1,237	234	23	68	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	77	294	40	0	11	422
70～74歳	69	315	50	6	15	455
【後期高齢者】						
75～79歳	67	349	72	7	17	512
80～84歳	31	174	44	6	13	268
85歳以上	13	100	28	4	12	157
全体(n=1,821)	14.2%	67.9%	12.9%	1.3%	3.7%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳(n=422)	18.2%	69.7%	9.5%	0.0%	2.6%	100.0%
70～74歳(n=455)	15.2%	69.2%	11.0%	1.3%	3.3%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳(n=512)	13.1%	68.2%	14.1%	1.4%	3.3%	100.0%
80～84歳(n=268)	11.6%	64.9%	16.4%	2.2%	4.9%	100.0%
85歳以上(n=157)	8.3%	63.7%	17.8%	2.5%	7.6%	100.0%

問 2　あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、御記入ください）

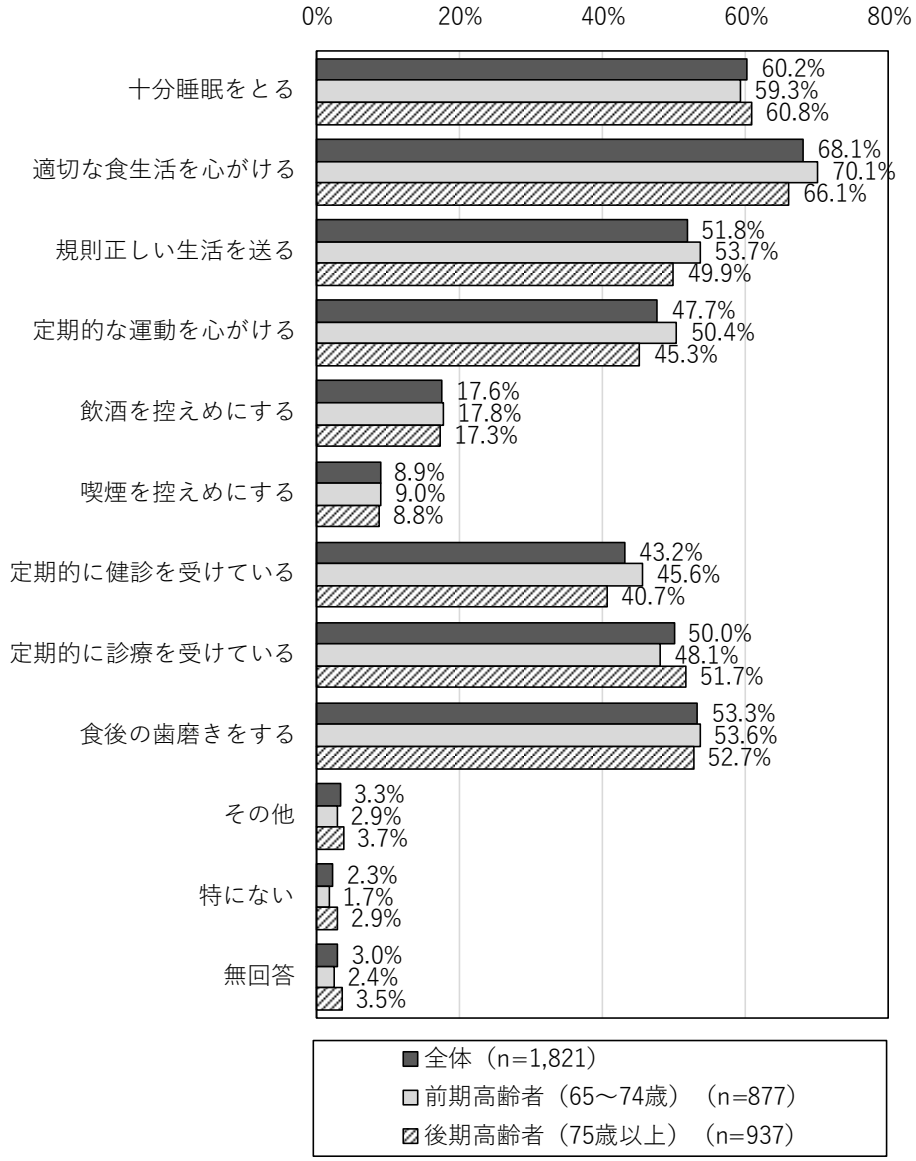
現在の幸せ度では、「8 点」が 21.6%と最も多く、次いで「5 点」が 20.0%、「7 点」が 16.3%となっています。



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
全体	3	8	16	37	49	364	148	296	393	181	194	132	1,821
【前期高齢者】													
65～69歳	0	1	4	11	12	73	31	71	104	56	39	20	422
70～74歳	0	4	5	5	12	88	48	73	97	42	52	29	455
【後期高齢者】													
75～79歳	1	1	4	12	15	107	41	83	110	40	58	40	512
80～84歳	2	2	3	5	6	62	17	42	56	18	28	27	268
85歳以上	0	0	0	4	4	32	10	26	26	23	16	16	157
全体（n=1,821）	0.2%	0.4%	0.9%	2.0%	2.7%	20.0%	8.1%	16.3%	21.6%	9.9%	10.7%	7.2%	100.0%
【前期高齢者】													
65～69歳（n=422）	0.0%	0.2%	0.9%	2.6%	2.8%	17.3%	7.3%	16.8%	24.6%	13.3%	9.2%	4.7%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.0%	0.9%	1.1%	1.1%	2.6%	19.3%	10.5%	16.0%	21.3%	9.2%	11.4%	6.4%	100.0%
【後期高齢者】													
75～79歳（n=512）	0.2%	0.2%	0.8%	2.3%	2.9%	20.9%	8.0%	16.2%	21.5%	7.8%	11.3%	7.8%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.7%	0.7%	1.1%	1.9%	2.2%	23.1%	6.3%	15.7%	20.9%	6.7%	10.4%	10.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	20.4%	6.4%	16.6%	16.6%	14.6%	10.2%	10.2%	100.0%

問３　健康保持や疾病予防のために何か取り組まれていることはありますか。（いくつでも）

健康保持や疾病予防のために取り組まれていることでは、「適切な食生活を心がける」が 68.1%と最も多く、次いで「十分睡眠をとる」が 60.2%、「食後の歯磨きをする」が 53.3%となっています。



	十分睡眠をとる	適切な食生活を心がける	規則正しい生活を送る	定期的な運動を心がける	飲酒を控えめにする	喫煙を控えめにする	定期的に健診を受けている	定期的に診療を受けている	食後の歯磨きをする	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	1,097	1,240	944	869	320	162	786	910	971	60	42	54	1,821
前期高齢者（65～74歳）	520	615	471	442	156	79	400	422	470	25	15	21	877
後期高齢者（75歳以上）	570	619	468	424	162	82	381	484	494	35	27	33	937
全体（n=1,821）	60.2%	68.1%	51.8%	47.7%	17.6%	8.9%	43.2%	50.0%	53.3%	3.3%	2.3%	3.0%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	59.3%	70.1%	53.7%	50.4%	17.8%	9.0%	45.6%	48.1%	53.6%	2.9%	1.7%	2.4%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	60.8%	66.1%	49.9%	45.3%	17.3%	8.8%	40.7%	51.7%	52.7%	3.7%	2.9%	3.5%	

【問３で「特にない」の方のみ】

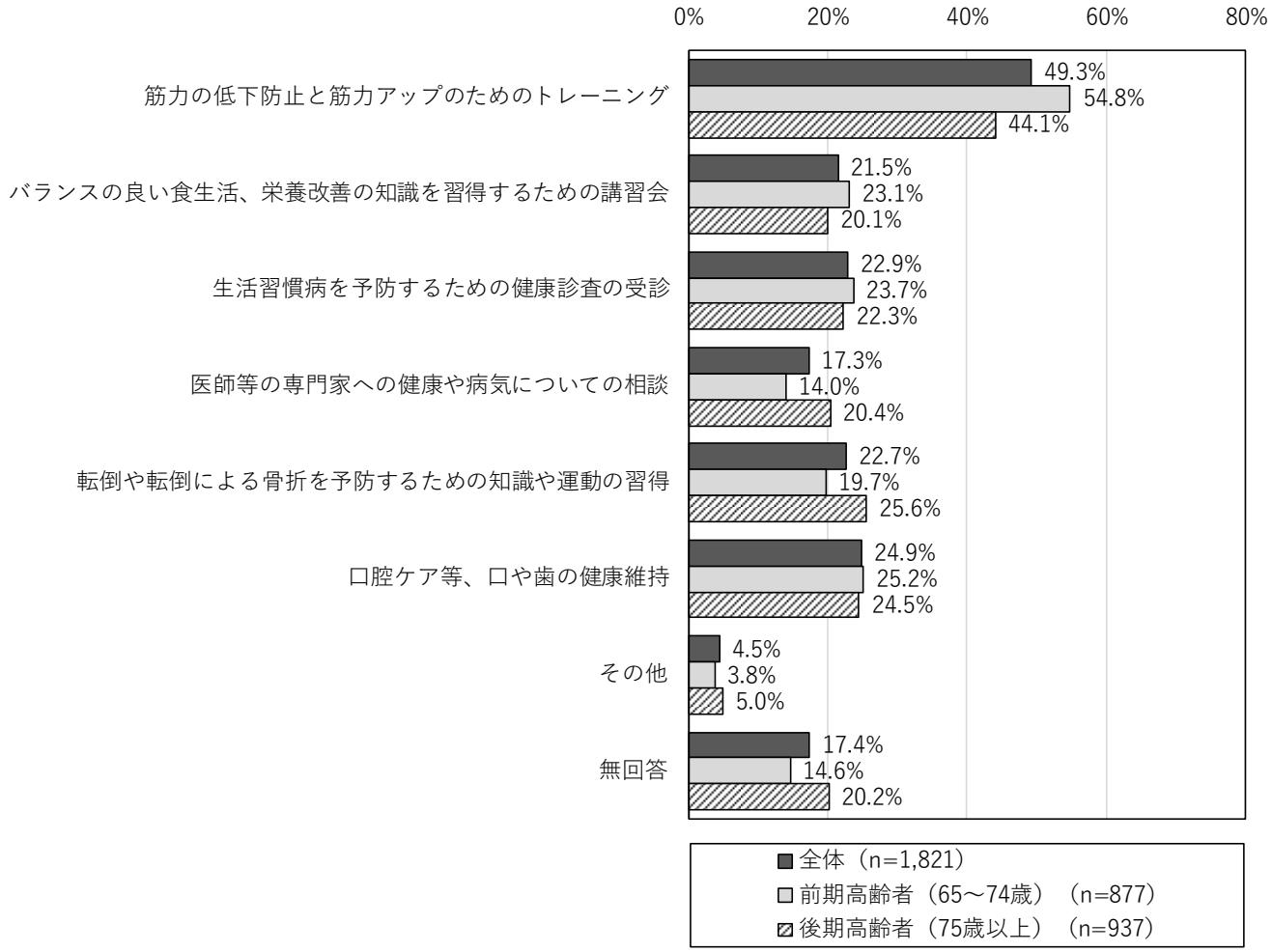
問 3-1　現在、特に健康保持や疾病予防に取り組まれていない理由は何ですか（自由記述）

■やり方が分からない。１人では出来ないため。
■何かを心掛けても三日坊主で長続きしないから。
■健康だから。
■どこも悪くない。
■定期的運動を希望するが機会がない。
■リウマチが特に悪い状態なので何も出来ない。
■めんどくさい。（2 件）
■一日おきに透析に通っている。
■仕事のため、時間がない。
■健康である。
■忙しい。掃除、外出（買い物、友人と会う、役所）庭の手入れ、墓参り、等々。
■アルバイト、畑仕事している。
■尿漏れ、残尿で月１回の診察を受ける。90 代でこの程度の病気は気にせず現在の生活スタイルで良いのではと思う。
■やる気がない。
■自由。
■何もしなくても健康に心配ないから。
■医者から言われて服用している薬は正しく指示通り続けている。従ってそれ以外の事は特にしない。
■若い時からあまり大病したことがない。

主に上記の意見がありました。

問４　健康づくりや身体機能の維持・向上のために、取り組んでみたいものはありますか。（いくつでも）

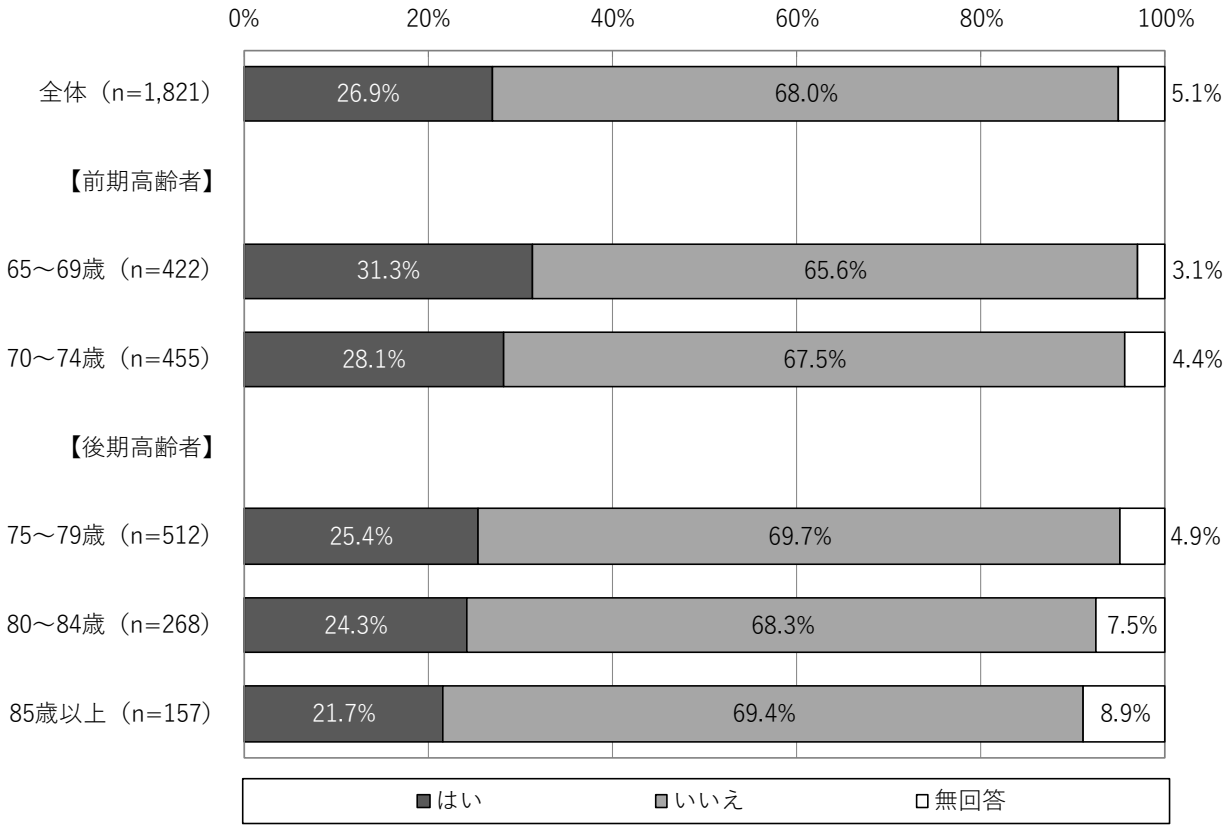
健康づくりや身体機能の維持・向上のために、取り組んでみたいものでは、「筋力の低下防止と筋力アップのためのトレーニング」が 49.3%と最も多く、次いで「口腔ケア等、口や歯の健康維持」が 24.9%、「生活習慣病を予防するための健康診査の受診」が 22.9%となっています。



	筋力の低下防止と筋力アップのためのトレーニング	バランスの良い食生活、栄養改善の知識を習得するための講習会	生活習慣病を予防するための健康診査の受診	医師等の専門家への健康や病気についての相談	転倒や転倒による骨折を予防するための知識や運動の習得	口腔ケア等、口や歯の健康維持	その他	無回答	回答者数
全体	897	391	417	315	413	453	82	317	1,821
前期高齢者（65～74歳）	481	203	208	123	173	221	33	128	877
後期高齢者（75歳以上）	413	188	209	191	240	230	47	189	937
全体（n=1,821）	49.3%	21.5%	22.9%	17.3%	22.7%	24.9%	4.5%	17.4%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	54.8%	23.1%	23.7%	14.0%	19.7%	25.2%	3.8%	14.6%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	44.1%	20.1%	22.3%	20.4%	25.6%	24.5%	5.0%	20.2%	

問 5　この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

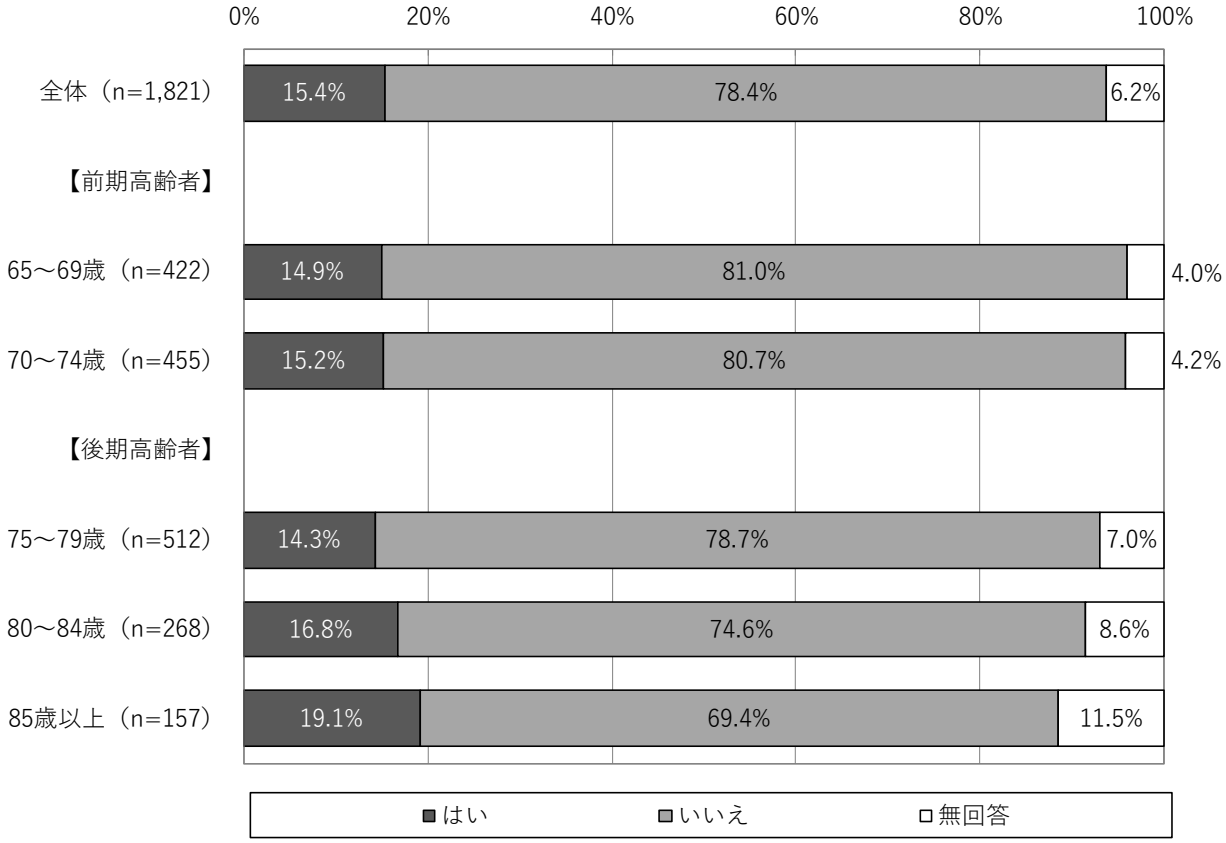
この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかでは、「はい」が 26.9%、「いいえ」が 68.0%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	490	1,239	92	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	132	277	13	422
70～74歳	128	307	20	455
【後期高齢者】				
75～79歳	130	357	25	512
80～84歳	65	183	20	268
85歳以上	34	109	14	157
全体（n=1,821）	26.9%	68.0%	5.1%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	31.3%	65.6%	3.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	28.1%	67.5%	4.4%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	25.4%	69.7%	4.9%	100.0%
80～84歳（n=268）	24.3%	68.3%	7.5%	100.0%
85歳以上（n=157）	21.7%	69.4%	8.9%	100.0%

問 6　この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

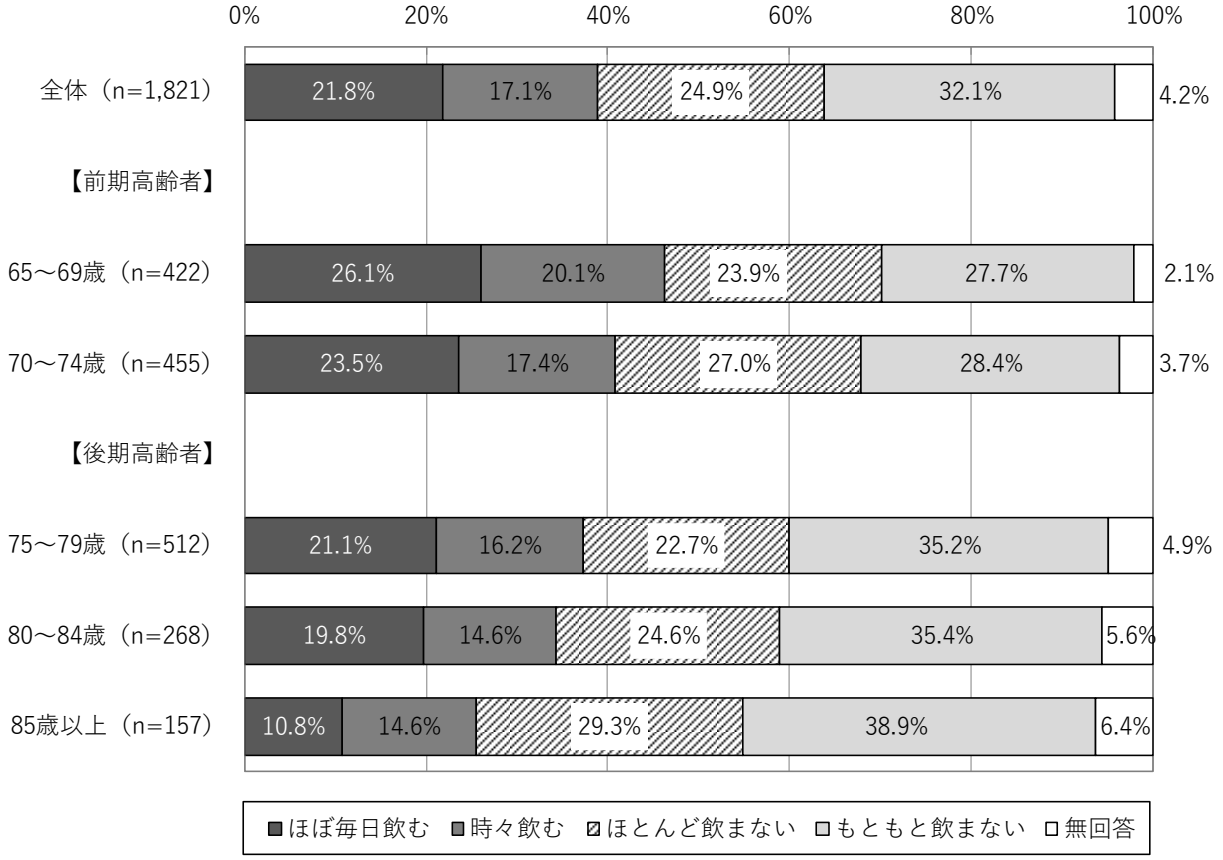
この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかでは、「はい」が 15.4%、「いいえ」が 78.4%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	280	1,428	113	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	63	342	17	422
70～74歳	69	367	19	455
【後期高齢者】				
75～79歳	73	403	36	512
80～84歳	45	200	23	268
85歳以上	30	109	18	157
全体(n=1,821)	15.4%	78.4%	6.2%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	14.9%	81.0%	4.0%	100.0%
70～74歳(n=455)	15.2%	80.7%	4.2%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	14.3%	78.7%	7.0%	100.0%
80～84歳(n=268)	16.8%	74.6%	8.6%	100.0%
85歳以上(n=157)	19.1%	69.4%	11.5%	100.0%

問 7　お酒は飲みますか。

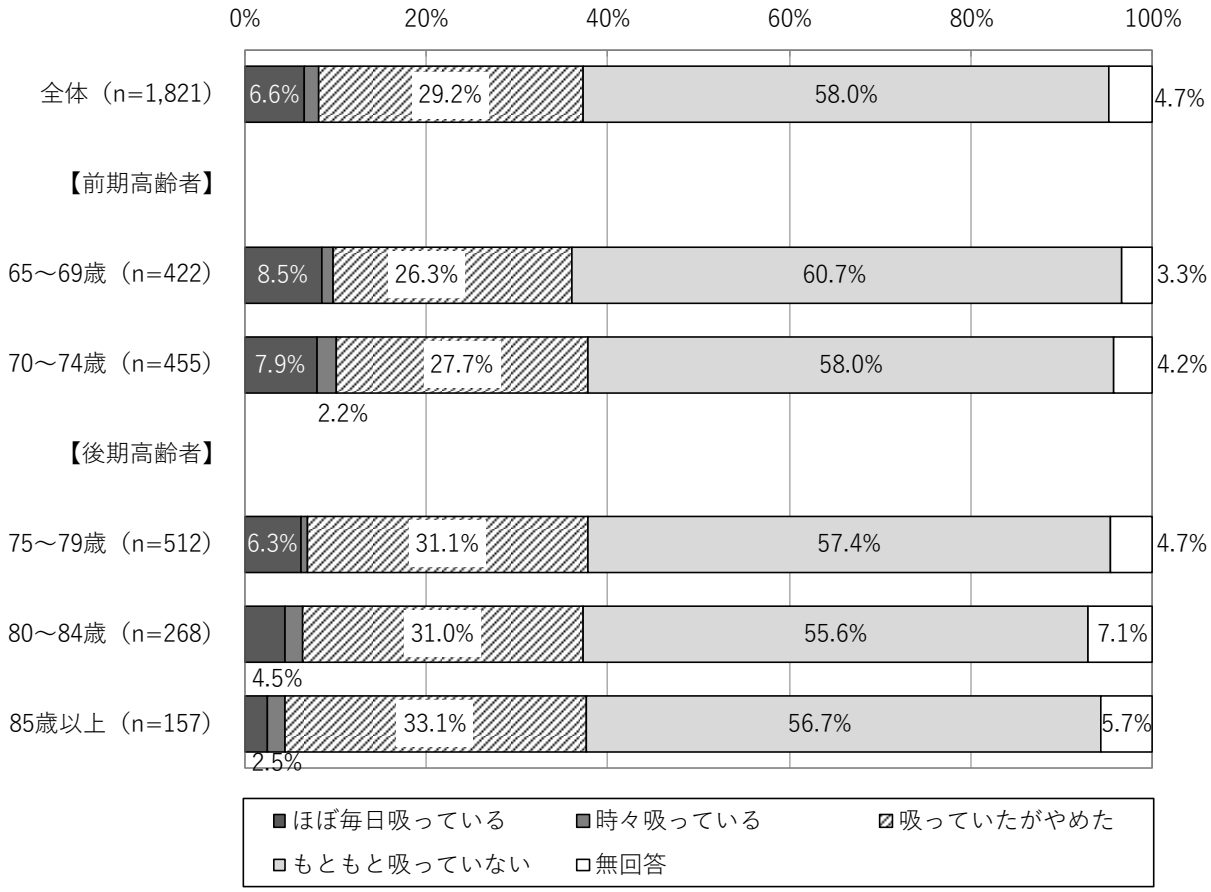
飲酒については、「もともと飲まない」が 32.1%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 24.9%、「ほぼ毎日飲む」が 21.8%となっています。



	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答	合計
全体	397	311	453	584	76	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	110	85	101	117	9	422
70～74歳	107	79	123	129	17	455
【後期高齢者】						
75～79歳	108	83	116	180	25	512
80～84歳	53	39	66	95	15	268
85歳以上	17	23	46	61	10	157
全体（n=1,821）	21.8%	17.1%	24.9%	32.1%	4.2%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	26.1%	20.1%	23.9%	27.7%	2.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	23.5%	17.4%	27.0%	28.4%	3.7%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	21.1%	16.2%	22.7%	35.2%	4.9%	100.0%
80～84歳（n=268）	19.8%	14.6%	24.6%	35.4%	5.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	10.8%	14.6%	29.3%	38.9%	6.4%	100.0%

問 8　タバコは吸っていますか。

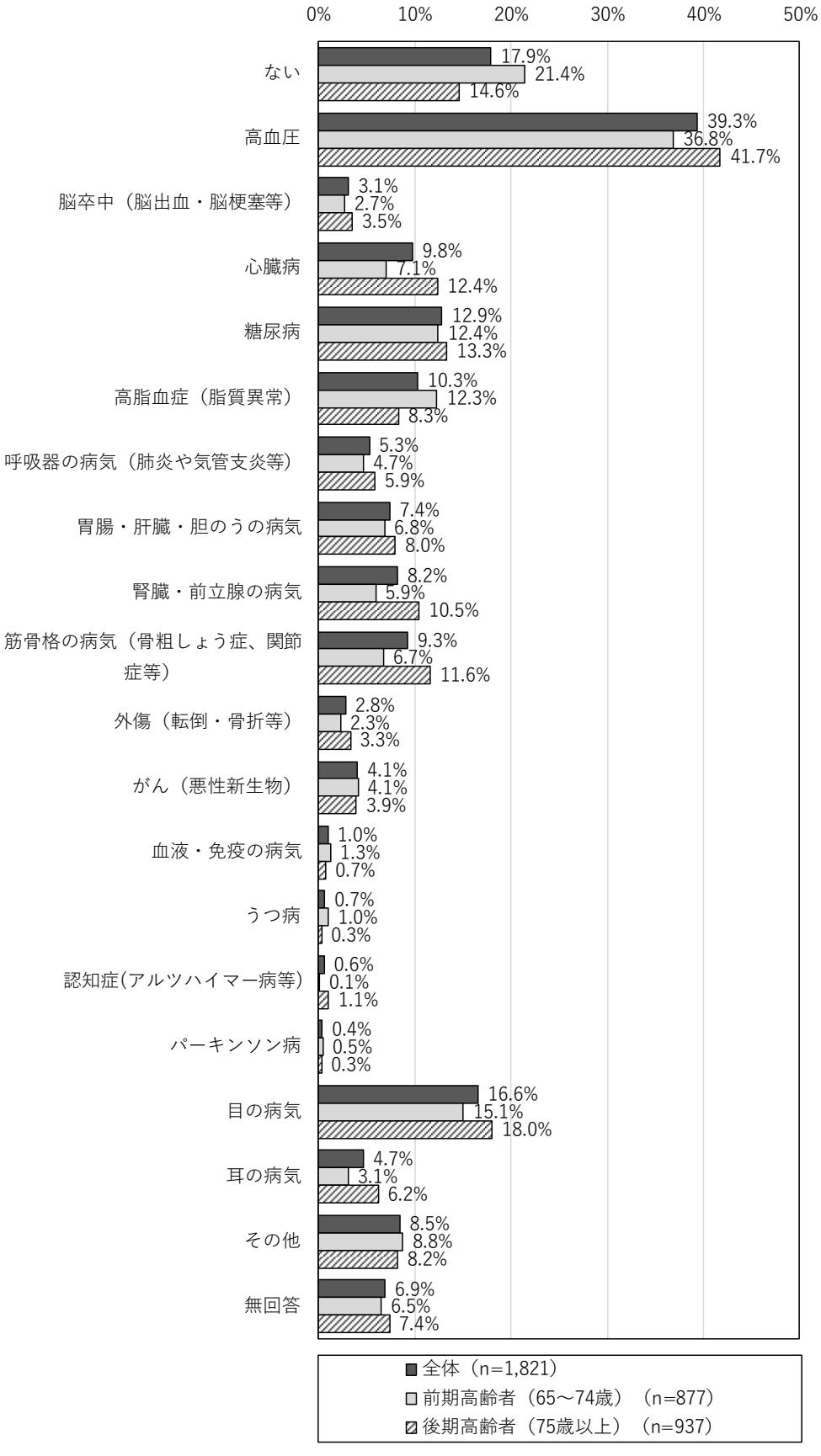
喫煙については、「もともと吸っていない」が 58.0%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 29.2%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.6%となっています。



	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答	合計
全体	121	26	532	1,056	86	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	36	5	111	256	14	422
70～74歳	36	10	126	264	19	455
【後期高齢者】						
75～79歳	32	3	159	294	24	512
80～84歳	12	5	83	149	19	268
85歳以上	4	3	52	89	9	157
全体（n=1,821）	6.6%	1.4%	29.2%	58.0%	4.7%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	8.5%	1.2%	26.3%	60.7%	3.3%	100.0%
70～74歳（n=455）	7.9%	2.2%	27.7%	58.0%	4.2%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	6.3%	0.6%	31.1%	57.4%	4.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	4.5%	1.9%	31.0%	55.6%	7.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	2.5%	1.9%	33.1%	56.7%	5.7%	100.0%

問９　現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

現在治療中、又は後遺症のある病気では、「高血圧」が 39.3%と最も多く、次いで「ない」が 17.9%、「目の病気」が 16.6%となっています。

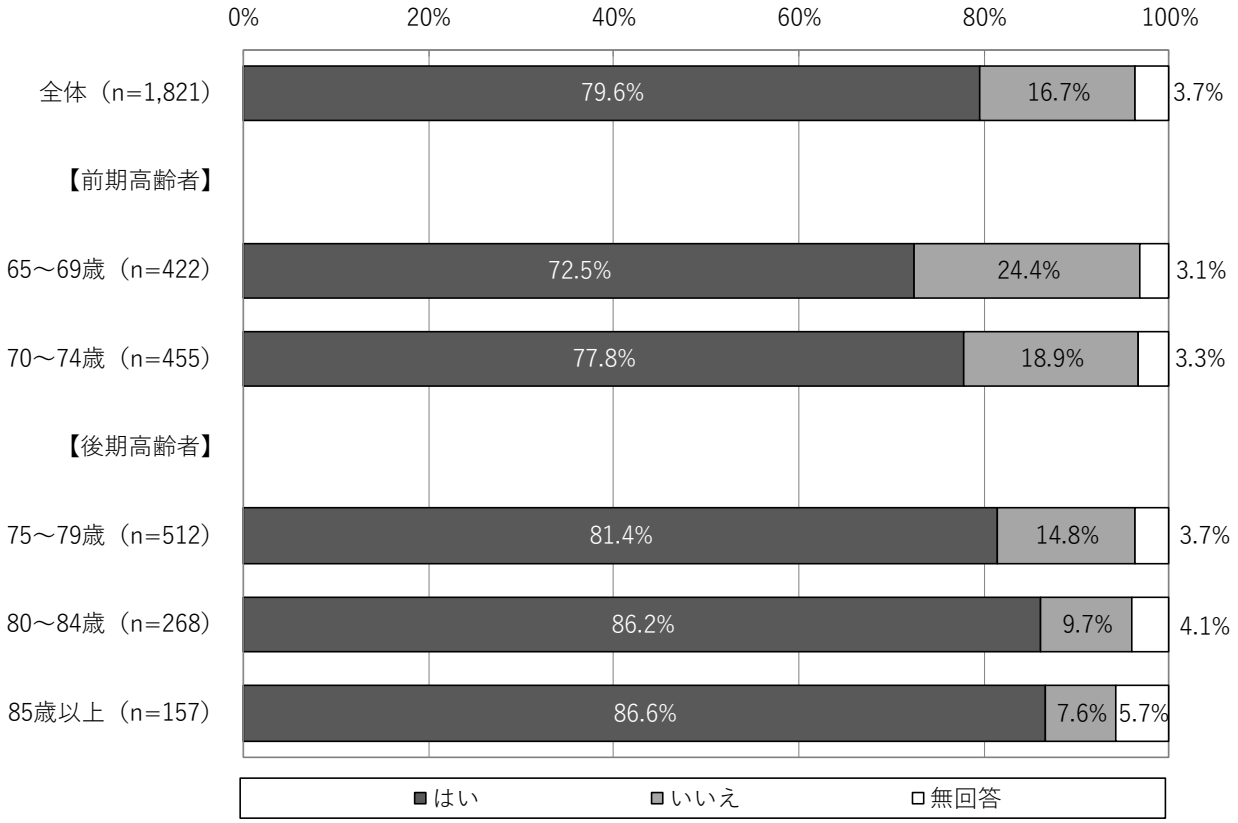


	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）
全体	326	716	57	178	234	188	96	135	150	169	51
前期高齢者（65～74歳）	188	323	24	62	109	108	41	60	52	59	20
後期高齢者（75歳以上）	137	391	33	116	125	78	55	75	98	109	31
全体（n=1,821）	17.9%	39.3%	3.1%	9.8%	12.9%	10.3%	5.3%	7.4%	8.2%	9.3%	2.8%
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	21.4%	36.8%	2.7%	7.1%	12.4%	12.3%	4.7%	6.8%	5.9%	6.7%	2.3%
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	14.6%	41.7%	3.5%	12.4%	13.3%	8.3%	5.9%	8.0%	10.5%	11.6%	3.3%

	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	回答者数	
全体	74	18	12	11	7	302	85	154	126	1,821	
前期高齢者（65～74歳）	36	11	9	1	4	132	27	77	57	877	
後期高齢者（75歳以上）	37	7	3	10	3	169	58	77	69	937	
全体（n=1,821）	4.1%	1.0%	0.7%	0.6%	0.4%	16.6%	4.7%	8.5%	6.9%		
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	4.1%	1.3%	1.0%	0.1%	0.5%	15.1%	3.1%	8.8%	6.5%		
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	3.9%	0.7%	0.3%	1.1%	0.3%	18.0%	6.2%	8.2%	7.4%		

問 10　現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかでは、「はい」が 79.6%、「いいえ」が 16.7%となっています。

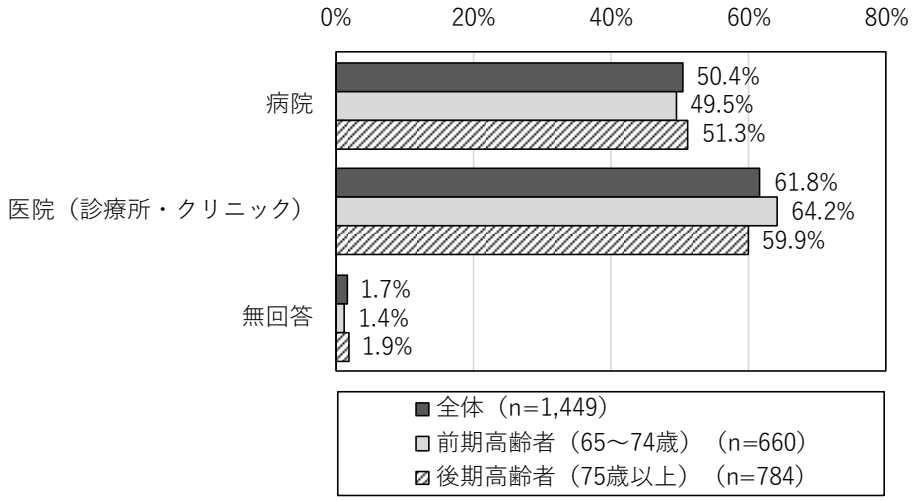


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,449	305	67	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	306	103	13	422
70～74歳	354	86	15	455
【後期高齢者】				
75～79歳	417	76	19	512
80～84歳	231	26	11	268
85歳以上	136	12	9	157
全体（n=1,821）	79.6%	16.7%	3.7%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	72.5%	24.4%	3.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	77.8%	18.9%	3.3%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	81.4%	14.8%	3.7%	100.0%
80～84歳（n=268）	86.2%	9.7%	4.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	86.6%	7.6%	5.7%	100.0%

【問 10 で「はい」の方のみ】

問 10-1　何か所の病院・医院に通院していますか。また、かかっている診療科の種類は何種類ありますか。（0 か所、0 種類の場合は 0 と書いて下さい）

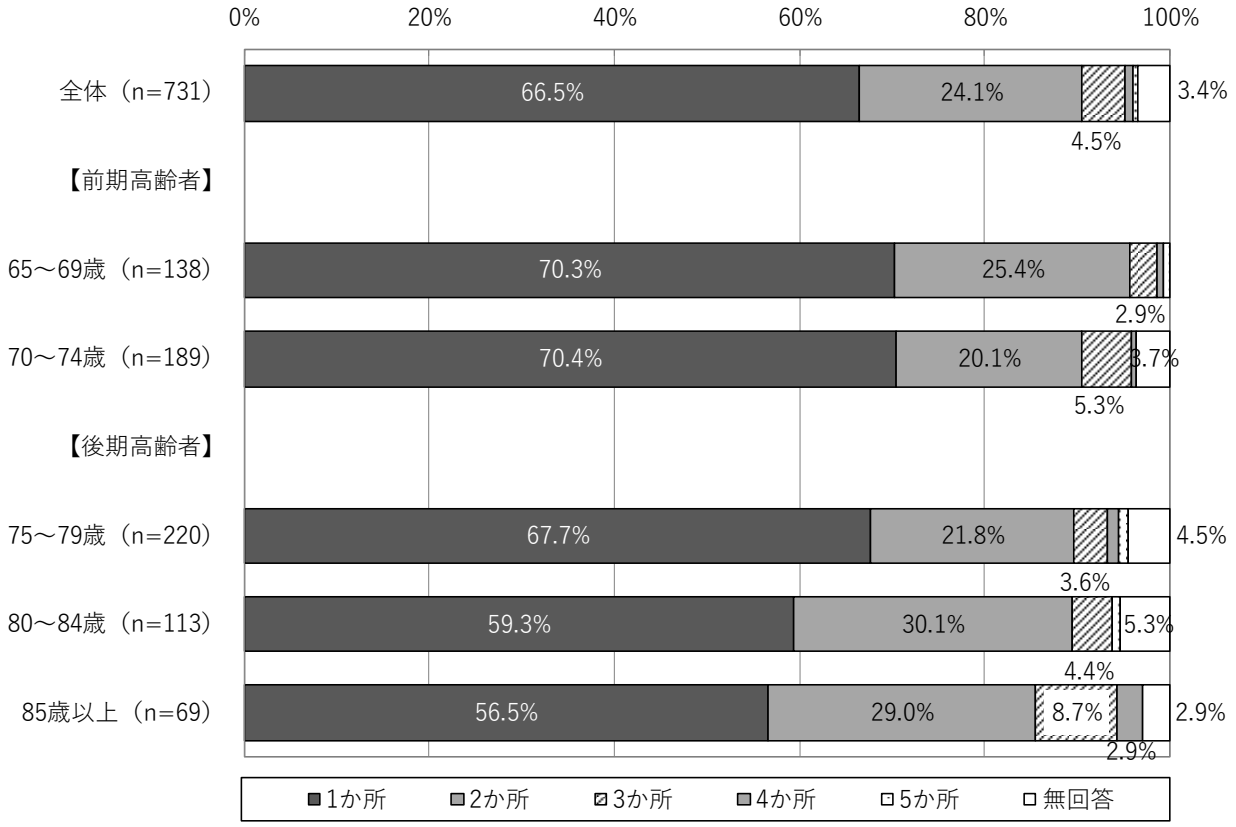
病院・医院・かかっている診療科では、「病院」が 50.4%、「医院（診療所・クリニック）」が 61.8%となっています。



	病院	医院（診療所・クリニック）	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	731	895	24	1,449	372	1,821
前期高齢者（65～74歳）	327	424	9	660	217	877
後期高齢者（75歳以上）	402	470	15	784	153	937
全体（n=1,449）	50.4%	61.8%	1.7%			
前期高齢者（65～74歳）（n=660）	49.5%	64.2%	1.4%			
後期高齢者（75歳以上）（n=784）	51.3%	59.9%	1.9%			

【病院】

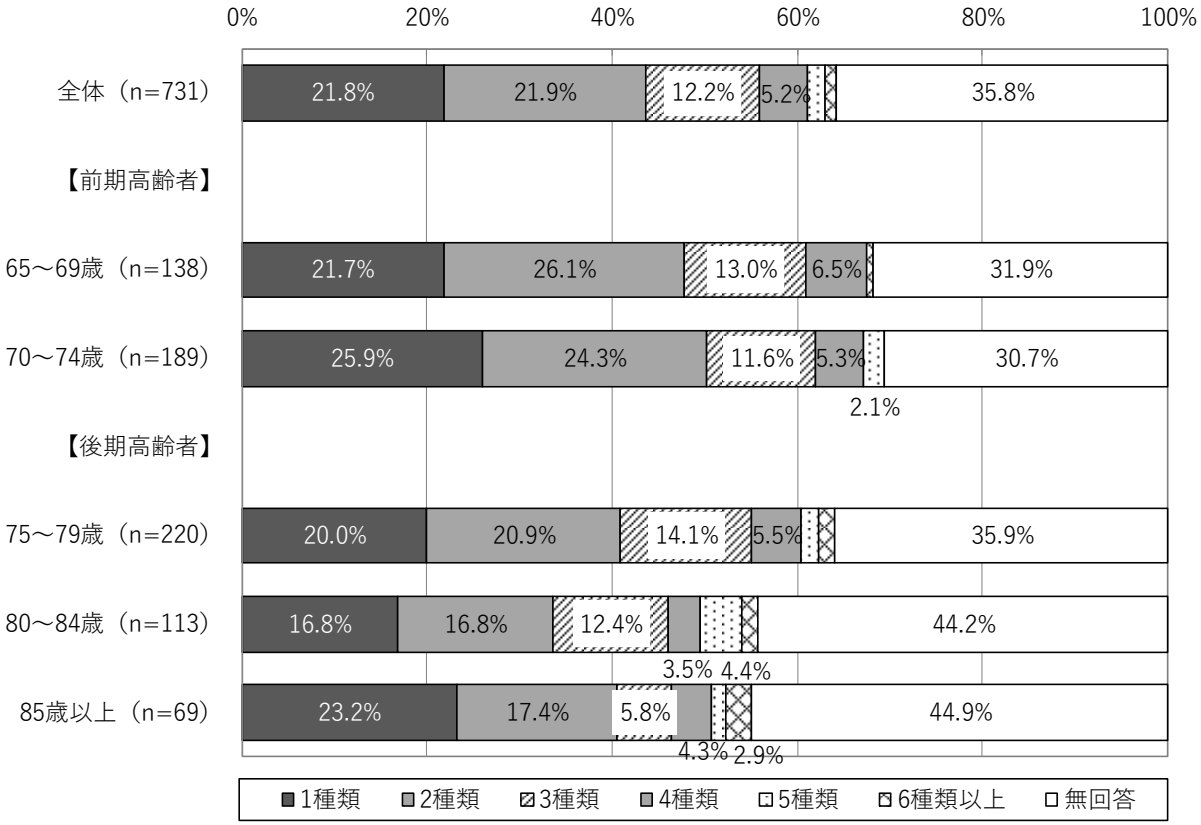
かかっている病院の数では、「1 か所」が 66.5%と最も多く、次いで「2 か所」が 24.1%となっています。



	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	486	176	33	7	4	25	731	1,090	1,821
【前期高齢者】									
65～69歳	97	35	4	1	1	0	138	284	422
70～74歳	133	38	10	1	0	7	189	266	455
【後期高齢者】									
75～79歳	149	48	8	3	2	10	220	292	512
80～84歳	67	34	5	0	1	6	113	155	268
85歳以上	39	20	6	2	0	2	69	88	157
全体（n=731）	66.5%	24.1%	4.5%	1.0%	0.5%	3.4%	100.0%		
【前期高齢者】									
65～69歳（n=138）	70.3%	25.4%	2.9%	0.7%	0.7%	0.0%	100.0%		
70～74歳（n=189）	70.4%	20.1%	5.3%	0.5%	0.0%	3.7%	100.0%		
【後期高齢者】									
75～79歳（n=220）	67.7%	21.8%	3.6%	1.4%	0.9%	4.5%	100.0%		
80～84歳（n=113）	59.3%	30.1%	4.4%	0.0%	0.9%	5.3%	100.0%		
85歳以上（n=69）	56.5%	29.0%	8.7%	2.9%	0.0%	2.9%	100.0%		

【病院でかかっている診療科の種類】

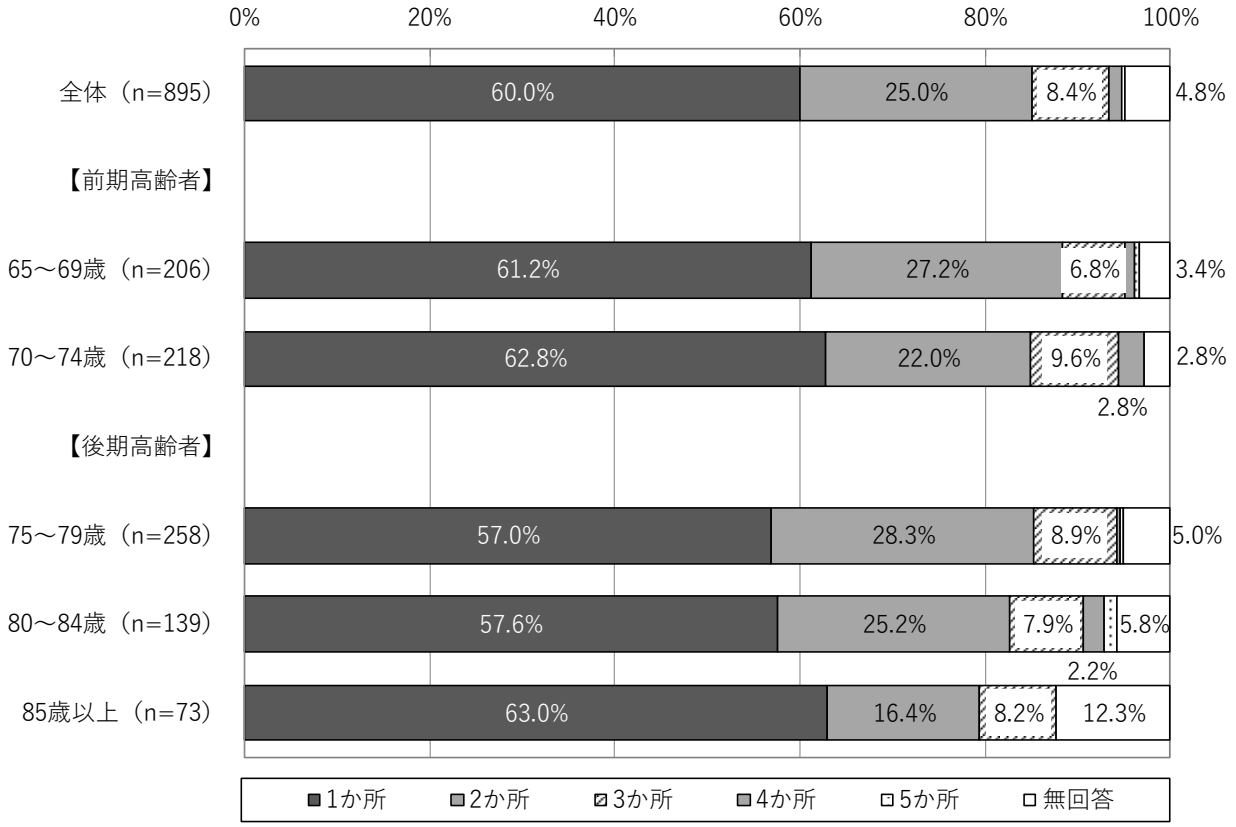
かかっている診療科の種類では、「2 種類」が 21.9%と最も多く、次いで「1 種類」が 21.8%となっています。



	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	159	160	89	38	14	9	262	731	1,090	1,821
【前期高齢者】										
65～69歳	30	36	18	9	0	1	44	138	284	422
70～74歳	49	46	22	10	4	0	58	189	266	455
【後期高齢者】										
75～79歳	44	46	31	12	4	4	79	220	292	512
80～84歳	19	19	14	4	5	2	50	113	155	268
85歳以上	16	12	4	3	1	2	31	69	88	157
全体（n=731）	21.8%	21.9%	12.2%	5.2%	1.9%	1.2%	35.8%	100.0%		
【前期高齢者】										
65～69歳（n=138）	21.7%	26.1%	13.0%	6.5%	0.0%	0.7%	31.9%	100.0%		
70～74歳（n=189）	25.9%	24.3%	11.6%	5.3%	2.1%	0.0%	30.7%	100.0%		
【後期高齢者】										
75～79歳（n=220）	20.0%	20.9%	14.1%	5.5%	1.8%	1.8%	35.9%	100.0%		
80～84歳（n=113）	16.8%	16.8%	12.4%	3.5%	4.4%	1.8%	44.2%	100.0%		
85歳以上（n=69）	23.2%	17.4%	5.8%	4.3%	1.4%	2.9%	44.9%	100.0%		

【医院（診療所・クリニック）】

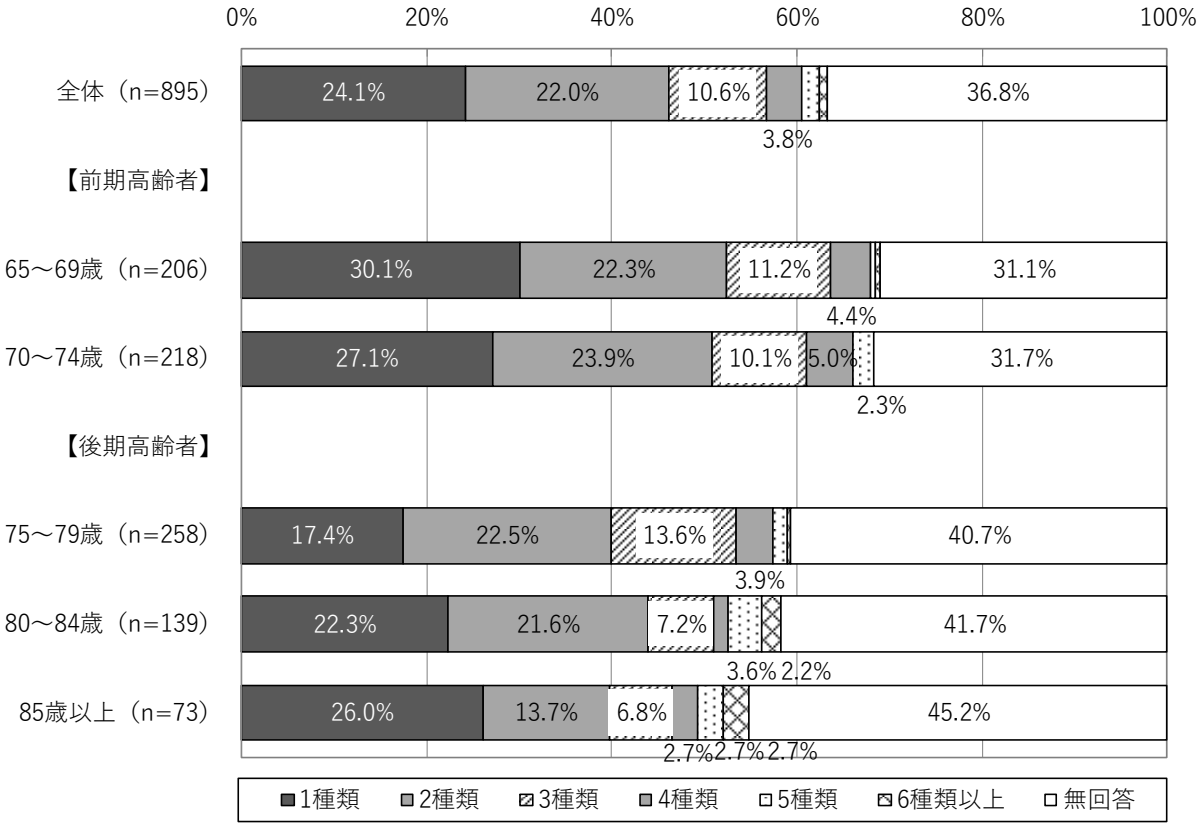
かかっている医院（診療所・クリニック）の数では、「1 か所」が 60.0%と最も多く、次いで「2 か所」が 25.0%となっています。



	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	537	224	75	12	4	43	895	926	1,821
【前期高齢者】									
65～69歳	126	56	14	2	1	7	206	216	422
70～74歳	137	48	21	6	0	6	218	237	455
【後期高齢者】									
75～79歳	147	73	23	1	1	13	258	254	512
80～84歳	80	35	11	3	2	8	139	129	268
85歳以上	46	12	6	0	0	9	73	84	157
全体（n=895）	60.0%	25.0%	8.4%	1.3%	0.4%	4.8%	100.0%		
【前期高齢者】									
65～69歳（n=206）	61.2%	27.2%	6.8%	1.0%	0.5%	3.4%	100.0%		
70～74歳（n=218）	62.8%	22.0%	9.6%	2.8%	0.0%	2.8%	100.0%		
【後期高齢者】									
75～79歳（n=258）	57.0%	28.3%	8.9%	0.4%	0.4%	5.0%	100.0%		
80～84歳（n=139）	57.6%	25.2%	7.9%	2.2%	1.4%	5.8%	100.0%		
85歳以上（n=73）	63.0%	16.4%	8.2%	0.0%	0.0%	12.3%	100.0%		

【医院（診療所・クリニック）でかかっている診療科の種類】

かかっている診療科の種類では、「1 種類」が 24.1%と最も多く、次いで「2 種類」が 22.0%となっています。

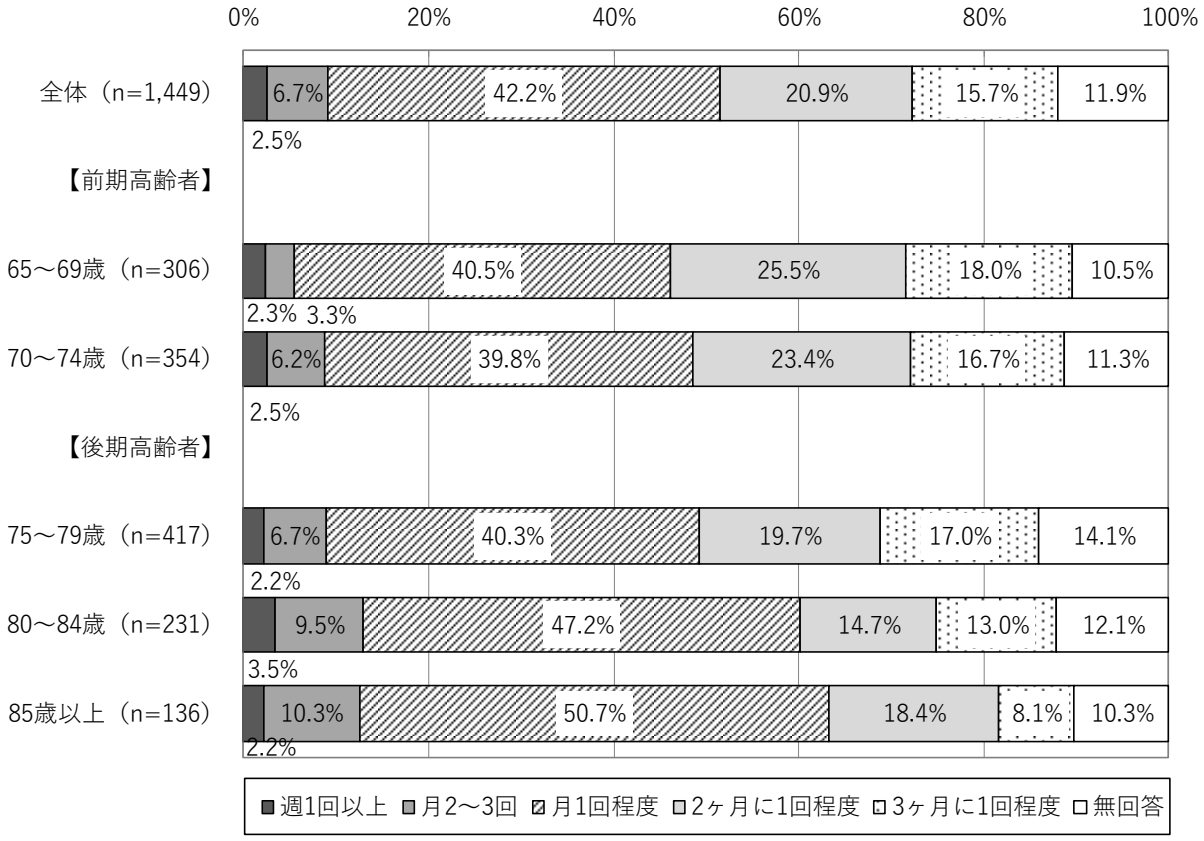


	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	216	197	95	34	17	7	329	895	926	1,821
【前期高齢者】										
65～69歳	62	46	23	9	1	1	64	206	216	422
70～74歳	59	52	22	11	5	0	69	218	237	455
【後期高齢者】										
75～79歳	45	58	35	10	4	1	105	258	254	512
80～84歳	31	30	10	2	5	3	58	139	129	268
85歳以上	19	10	5	2	2	2	33	73	84	157
全体（n=895）	24.1%	22.0%	10.6%	3.8%	1.9%	0.8%	36.8%	100.0%		
【前期高齢者】										
65～69歳（n=206）	30.1%	22.3%	11.2%	4.4%	0.5%	0.5%	31.1%	100.0%		
70～74歳（n=218）	27.1%	23.9%	10.1%	5.0%	2.3%	0.0%	31.7%	100.0%		
【後期高齢者】										
75～79歳（n=258）	17.4%	22.5%	13.6%	3.9%	1.6%	0.4%	40.7%	100.0%		
80～84歳（n=139）	22.3%	21.6%	7.2%	1.4%	3.6%	2.2%	41.7%	100.0%		
85歳以上（n=73）	26.0%	13.7%	6.8%	2.7%	2.7%	2.7%	45.2%	100.0%		

【問 10 で「はい」の方のみ】

問 10-2　その頻度は次のどれですか。

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院している頻度では、「月 1 回程度」が 42.2%と最も多く、次いで「2 ヶ月に 1 回程度」が 20.9%、「3 ヶ月に 1 回程度」が 15.7%となっています。

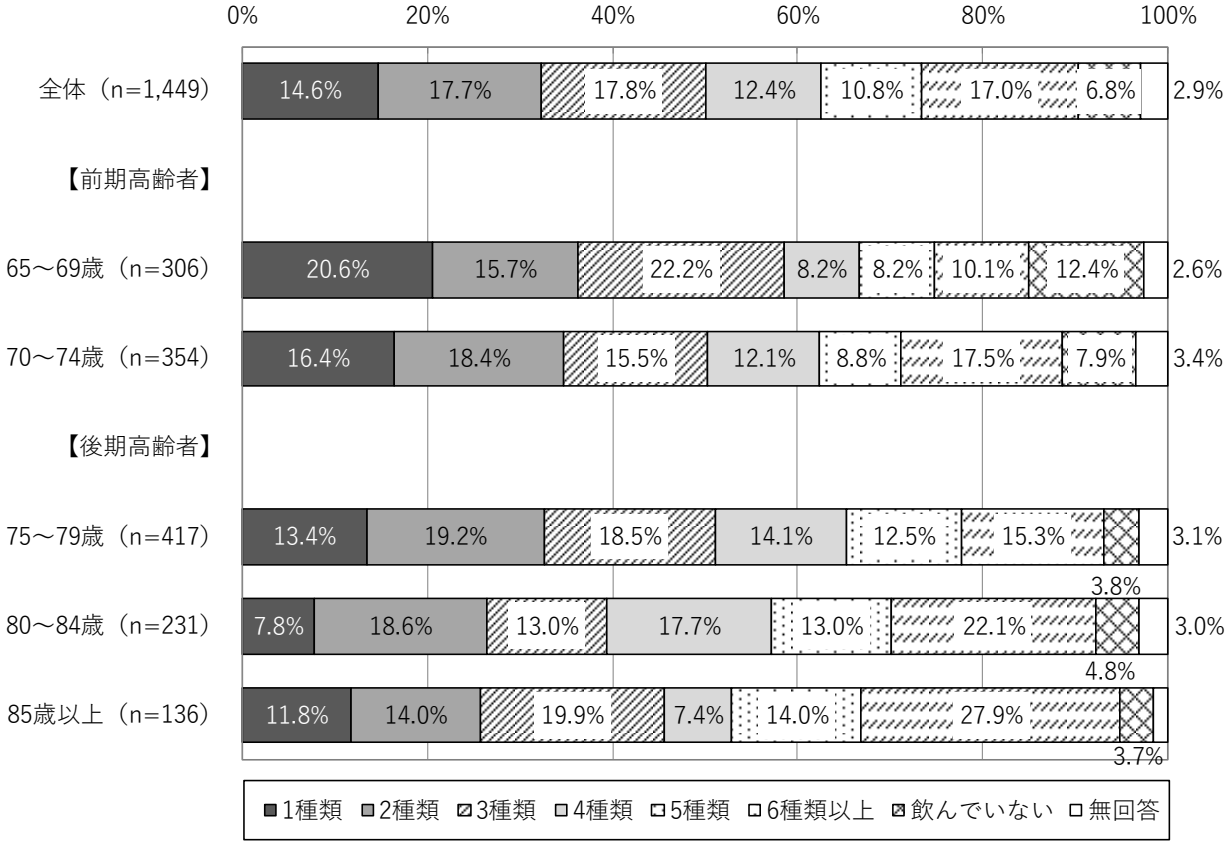


	週1回以上	月2～3回	月1回程度	2ヶ月に1回程度	3ヶ月に1回程度	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	36	97	612	303	228	173	1,449	372	1,821
【前期高齢者】									
65～69歳	7	10	124	78	55	32	306	116	422
70～74歳	9	22	141	83	59	40	354	101	455
【後期高齢者】									
75～79歳	9	28	168	82	71	59	417	95	512
80～84歳	8	22	109	34	30	28	231	37	268
85歳以上	3	14	69	25	11	14	136	21	157
全体(n=1,449)	2.5%	6.7%	42.2%	20.9%	15.7%	11.9%	100.0%		
【前期高齢者】									
65～69歳(n=306)	2.3%	3.3%	40.5%	25.5%	18.0%	10.5%	100.0%		
70～74歳(n=354)	2.5%	6.2%	39.8%	23.4%	16.7%	11.3%	100.0%		
【後期高齢者】									
75～79歳(n=417)	2.2%	6.7%	40.3%	19.7%	17.0%	14.1%	100.0%		
80～84歳(n=231)	3.5%	9.5%	47.2%	14.7%	13.0%	12.1%	100.0%		
85歳以上(n=136)	2.2%	10.3%	50.7%	18.4%	8.1%	10.3%	100.0%		

【問 10 で「はい」の方のみ】

問 10-3　現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

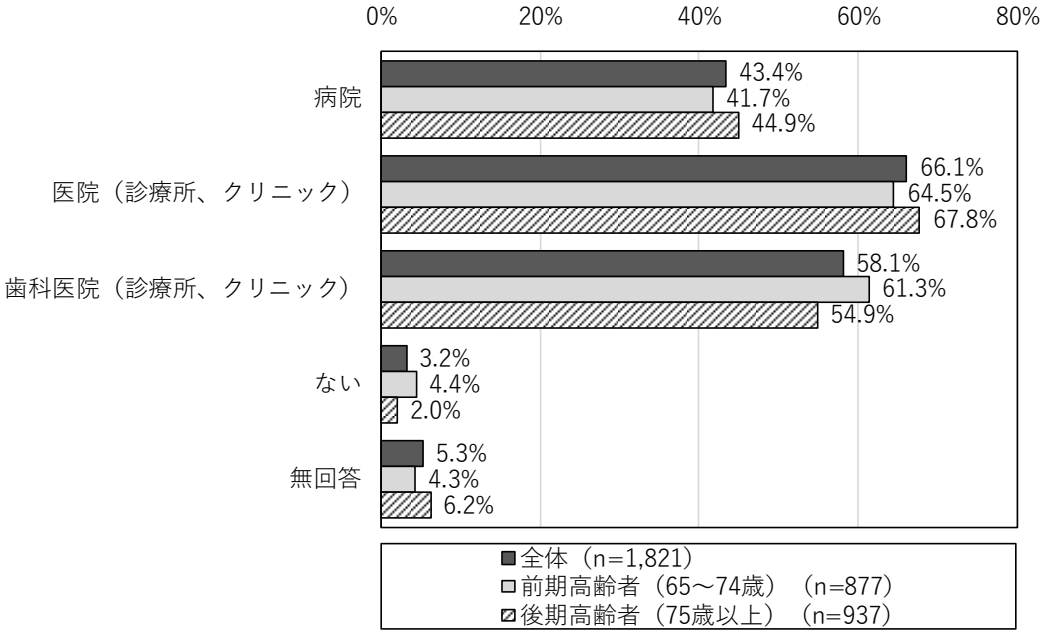
現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるかでは、「3 種類」が 17.8%と最も多く、次いで「2 種類」が 17.7%、「6 種類以上」が 17.0%となっています。



	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類以上	飲んでいない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	212	257	258	179	157	246	98	42	1,449	372	1,821
【前期高齢者】											
65～69歳	63	48	68	25	25	31	38	8	306	116	422
70～74歳	58	65	55	43	31	62	28	12	354	101	455
【後期高齢者】											
75～79歳	56	80	77	59	52	64	16	13	417	95	512
80～84歳	18	43	30	41	30	51	11	7	231	37	268
85歳以上	16	19	27	10	19	38	5	2	136	21	157
全体（n=1,449）	14.6%	17.7%	17.8%	12.4%	10.8%	17.0%	6.8%	2.9%	100.0%		
【前期高齢者】											
65～69歳（n=306）	20.6%	15.7%	22.2%	8.2%	8.2%	10.1%	12.4%	2.6%	100.0%		
70～74歳（n=354）	16.4%	18.4%	15.5%	12.1%	8.8%	17.5%	7.9%	3.4%	100.0%		
【後期高齢者】											
75～79歳（n=417）	13.4%	19.2%	18.5%	14.1%	12.5%	15.3%	3.8%	3.1%	100.0%		
80～84歳（n=231）	7.8%	18.6%	13.0%	17.7%	13.0%	22.1%	4.8%	3.0%	100.0%		
85歳以上（n=136）	11.8%	14.0%	19.9%	7.4%	14.0%	27.9%	3.7%	1.5%	100.0%		

問 11　かかりつけの病院・医院・歯科医院（診療所、クリニック）はありますか。（いくつでも）

かかりつけの病院・医院・歯科医院（診療所、クリニック）はあるかでは、「医院（診療所、クリニック）」が 66.1%と最も多く、次いで「歯科医院（診療所、クリニック）」が 58.1%、「病院」が 43.4%となっています。

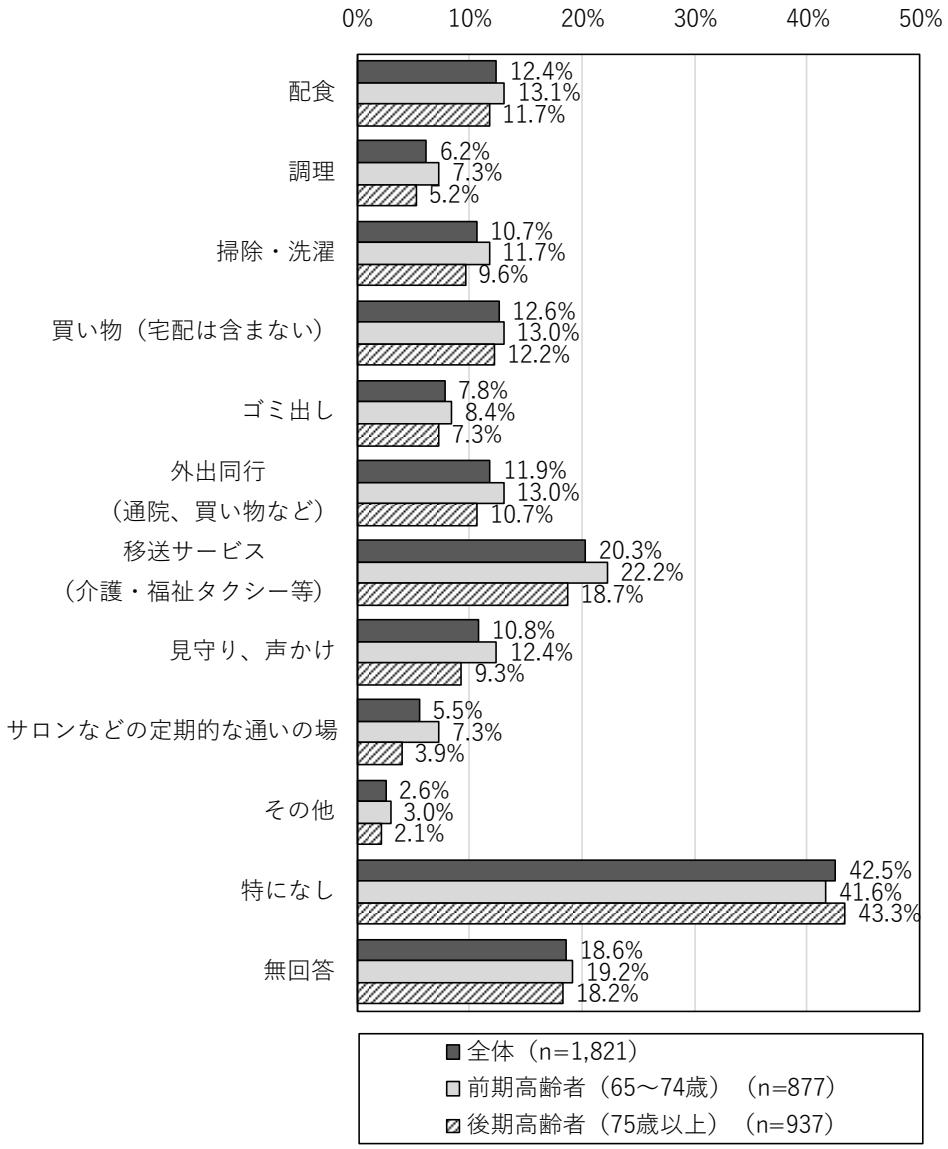


	病院	医院（診療所、クリニック）	歯科医院（診療所、クリニック）	ない	無回答	回答者数
全体	790	1,204	1,058	58	96	1,821
前期高齢者（65～74歳）	366	566	538	39	38	877
後期高齢者（75歳以上）	421	635	514	19	58	937
全体（n=1,821）	43.4%	66.1%	58.1%	3.2%	5.3%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	41.7%	64.5%	61.3%	4.4%	4.3%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	44.9%	67.8%	54.9%	2.0%	6.2%	

問 12　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、御回答ください。（いくつでも）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 20.3%と最も多く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が 12.6%、「配食」が 12.4%となっています。

また、「特になし」が 42.5%となっています。

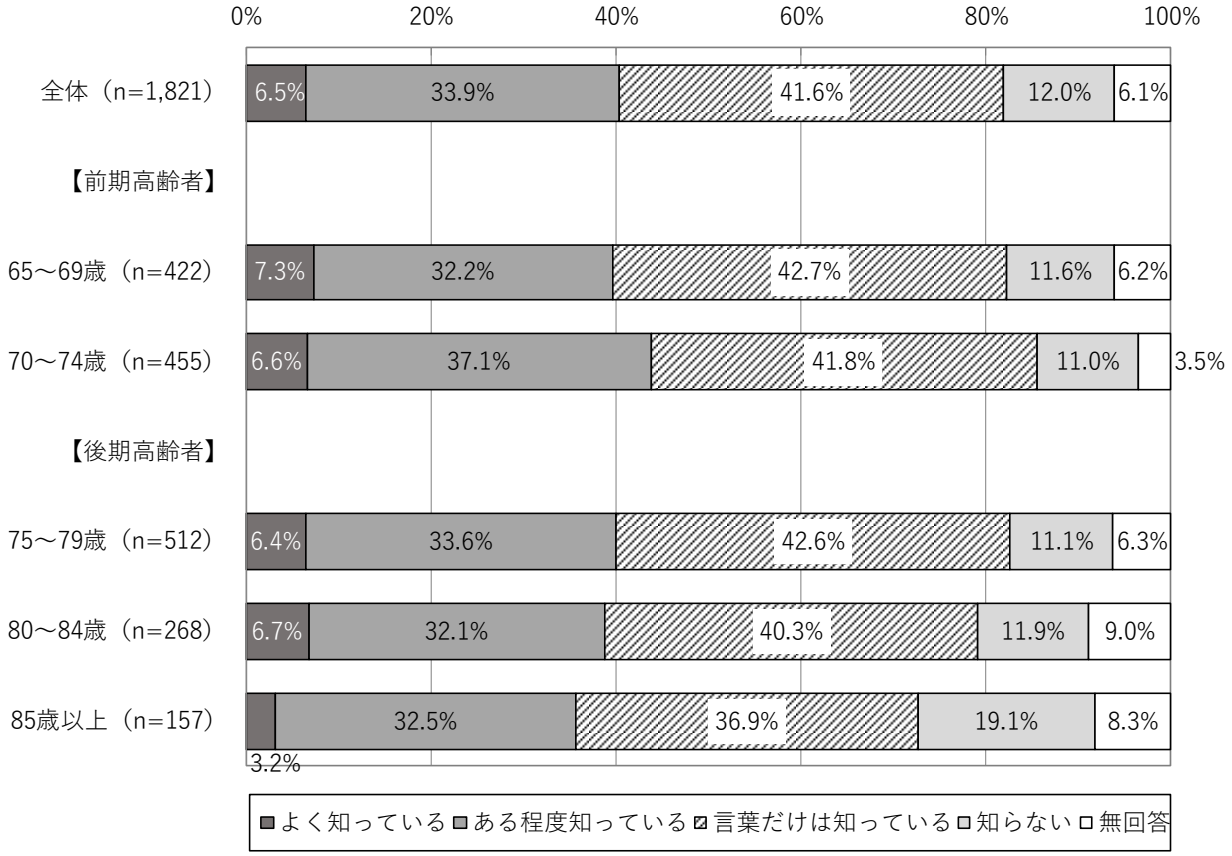


	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	回答者数
全体	226	113	194	230	142	216	370	197	101	47	774	339	1,821
前期高齢者（65～74歳）	115	64	103	114	74	114	195	109	64	26	365	168	877
後期高齢者（75歳以上）	110	49	90	114	68	100	175	87	37	20	406	171	937
全体（n=1,821）	12.4%	6.2%	10.7%	12.6%	7.8%	11.9%	20.3%	10.8%	5.5%	2.6%	42.5%	18.6%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	13.1%	7.3%	11.7%	13.0%	8.4%	13.0%	22.2%	12.4%	7.3%	3.0%	41.6%	19.2%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	11.7%	5.2%	9.6%	12.2%	7.3%	10.7%	18.7%	9.3%	3.9%	2.1%	43.3%	18.2%	

問 13　あなたは「在宅医療」についてご存知ですか。

「在宅医療」を知っているかでは、「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」を合わせた『知っている』が 82.0%と最も多くなっています。

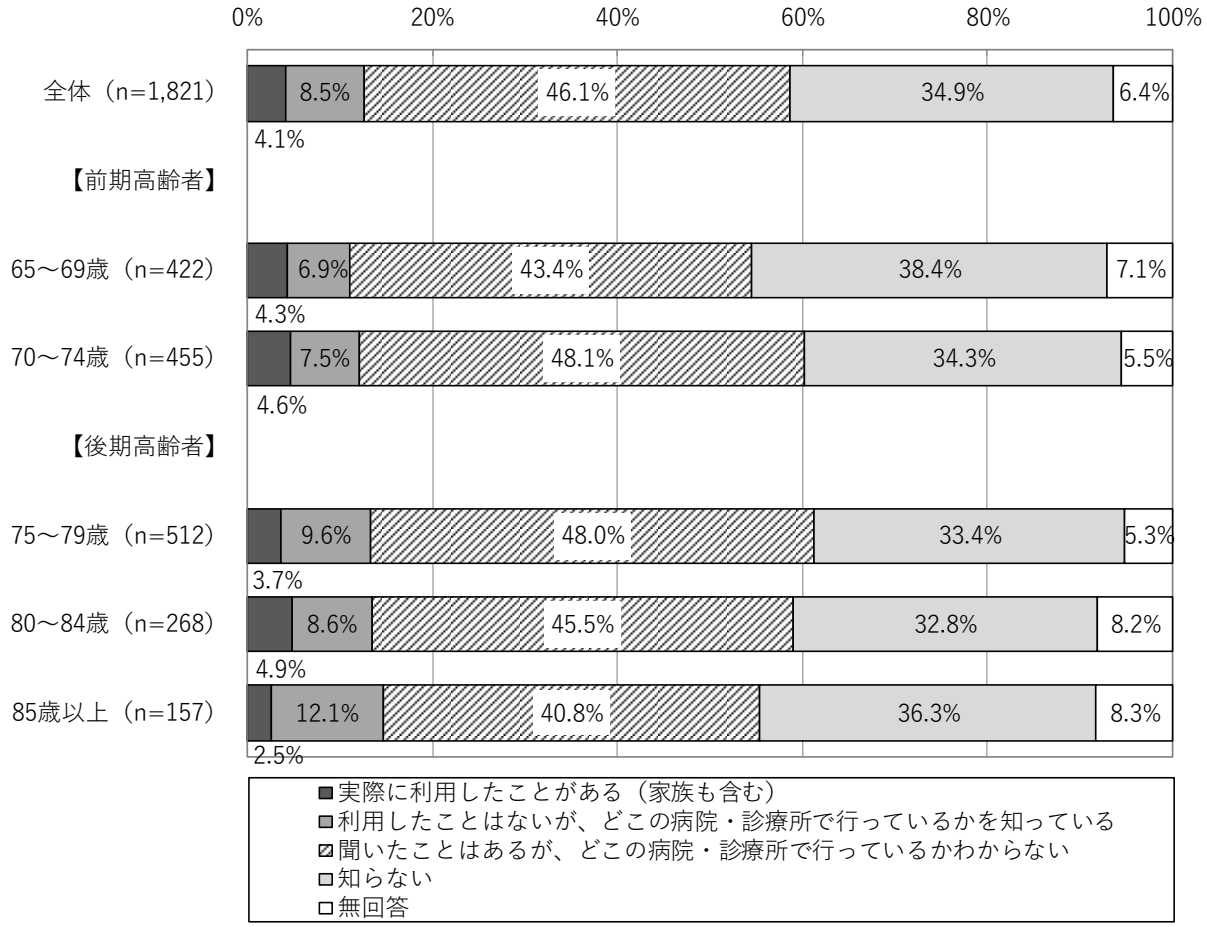
また、「知らない」が 12.0%となっています。



	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけは知っている	知らない	無回答	合計
全体	118	617	757	218	111	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	31	136	180	49	26	422
70～74歳	30	169	190	50	16	455
【後期高齢者】						
75～79歳	33	172	218	57	32	512
80～84歳	18	86	108	32	24	268
85歳以上	5	51	58	30	13	157
全体（n=1,821）	6.5%	33.9%	41.6%	12.0%	6.1%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	7.3%	32.2%	42.7%	11.6%	6.2%	100.0%
70～74歳（n=455）	6.6%	37.1%	41.8%	11.0%	3.5%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	6.4%	33.6%	42.6%	11.1%	6.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	6.7%	32.1%	40.3%	11.9%	9.0%	100.0%
85歳以上（n=157）	3.2%	32.5%	36.9%	19.1%	8.3%	100.0%

問 14　24 時間体制で往診・訪問診療を行う在宅療養支援診療所、24 時間体制で入院を受け付ける在宅療養支援病院・地域包括ケア病棟があることをご存知ですか。

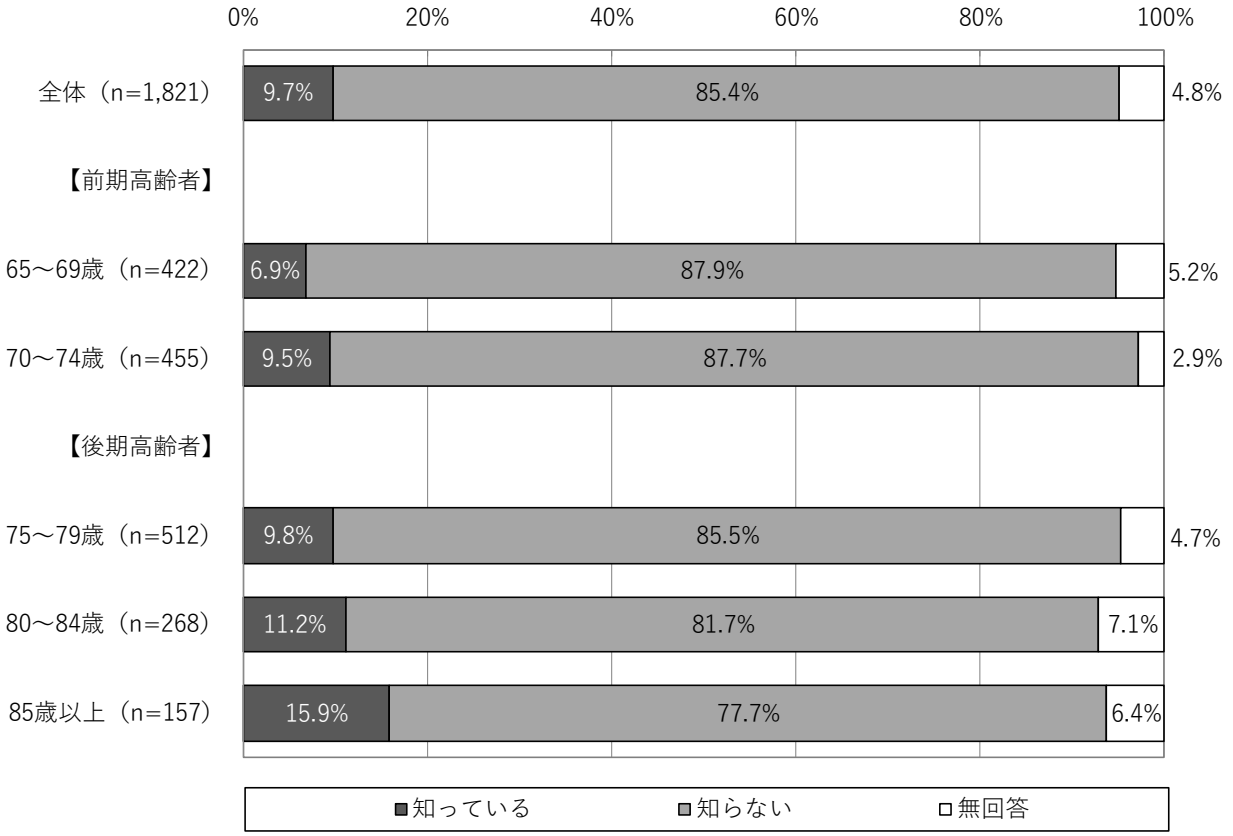
在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院・地域包括ケア病棟の認知では、「聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているかわからない」が 46.1%と最も多く、次いで「知らない」が 34.9%、「利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているかを知っている」が 8.5%となっています。



	実際に利用したことがある（家族も含む）	利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているかを知っている	聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているかわからない	知らない	無回答	合計
全体	75	154	839	636	117	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	18	29	183	162	30	422
70～74歳	21	34	219	156	25	455
【後期高齢者】						
75～79歳	19	49	246	171	27	512
80～84歳	13	23	122	88	22	268
85歳以上	4	19	64	57	13	157
全体（n=1,821）	4.1%	8.5%	46.1%	34.9%	6.4%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	4.3%	6.9%	43.4%	38.4%	7.1%	100.0%
70～74歳（n=455）	4.6%	7.5%	48.1%	34.3%	5.5%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	3.7%	9.6%	48.0%	33.4%	5.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	4.9%	8.6%	45.5%	32.8%	8.2%	100.0%
85歳以上（n=157）	2.5%	12.1%	40.8%	36.3%	8.3%	100.0%

問 15　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」をご存知ですか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を知っているかでは、「知っている」が 9.7%、「知らない」が 85.4%となっています。

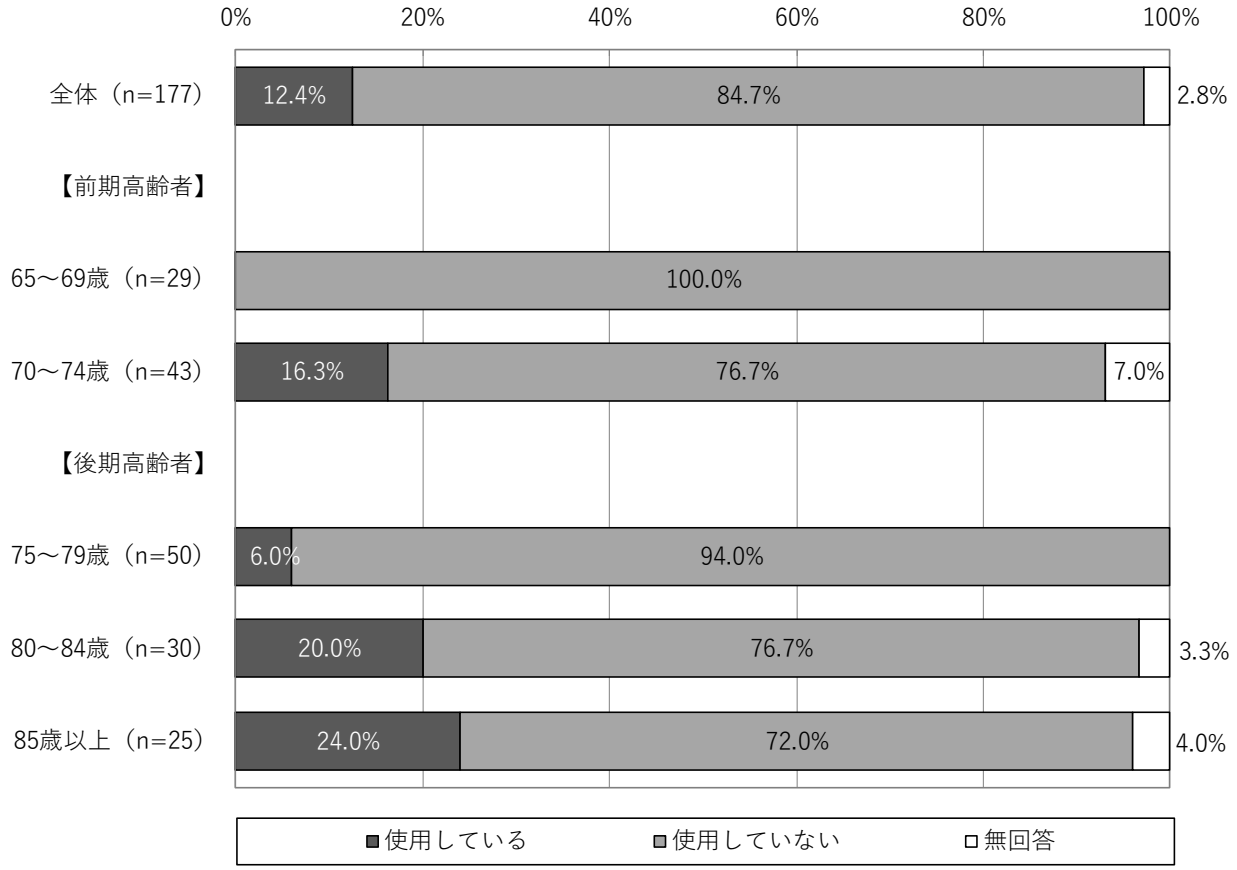


	知っている	知らない	無回答	合計
全体	177	1,556	88	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	29	371	22	422
70～74歳	43	399	13	455
【後期高齢者】				
75～79歳	50	438	24	512
80～84歳	30	219	19	268
85歳以上	25	122	10	157
全体(n=1,821)	9.7%	85.4%	4.8%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	6.9%	87.9%	5.2%	100.0%
70～74歳(n=455)	9.5%	87.7%	2.9%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	9.8%	85.5%	4.7%	100.0%
80～84歳(n=268)	11.2%	81.7%	7.1%	100.0%
85歳以上(n=157)	15.9%	77.7%	6.4%	100.0%

【問 15 で「知っている」の方のみ】

問 15-1　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していますか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用しているかでは、「使用している」が 12.4%、「使用していない」が 84.7%となっています。

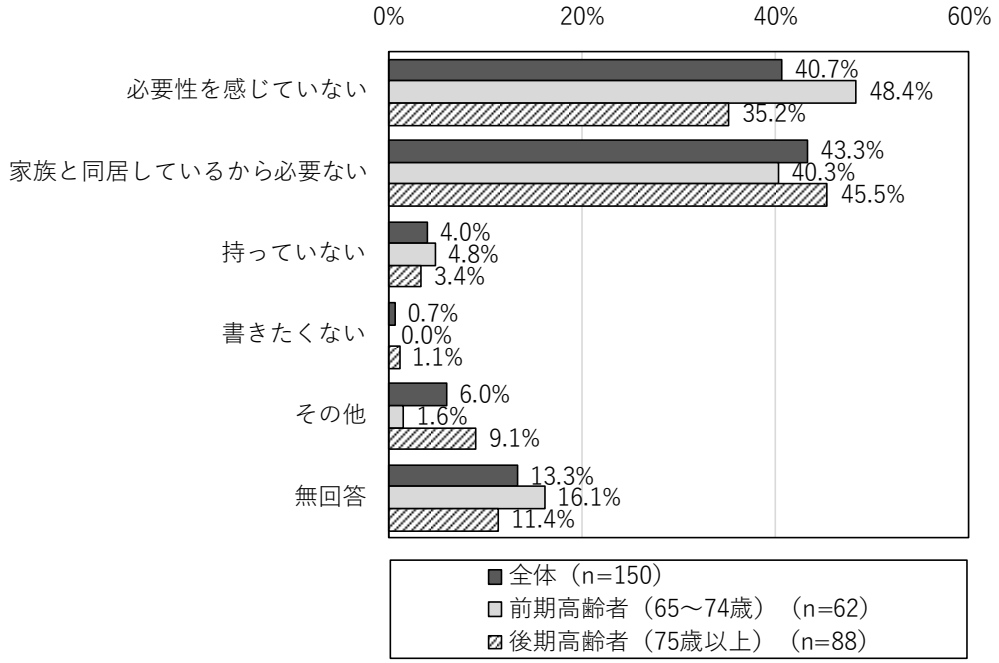


	使用している	使用していない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	22	150	5	177	1,644	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	0	29	0	29	393	422
70～74歳	7	33	3	43	412	455
【後期高齢者】						
75～79歳	3	47	0	50	462	512
80～84歳	6	23	1	30	238	268
85歳以上	6	18	1	25	132	157
全体（n=177）	12.4%	84.7%	2.8%	100.0%		
【前期高齢者】						
65～69歳（n=29）	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
70～74歳（n=43）	16.3%	76.7%	7.0%	100.0%		
【後期高齢者】						
75～79歳（n=50）	6.0%	94.0%	0.0%	100.0%		
80～84歳（n=30）	20.0%	76.7%	3.3%	100.0%		
85歳以上（n=25）	24.0%	72.0%	4.0%	100.0%		

【問 15-1 で「使用していない」の方のみ】

問 15-2　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していない理由は何ですか。（いくつでも）

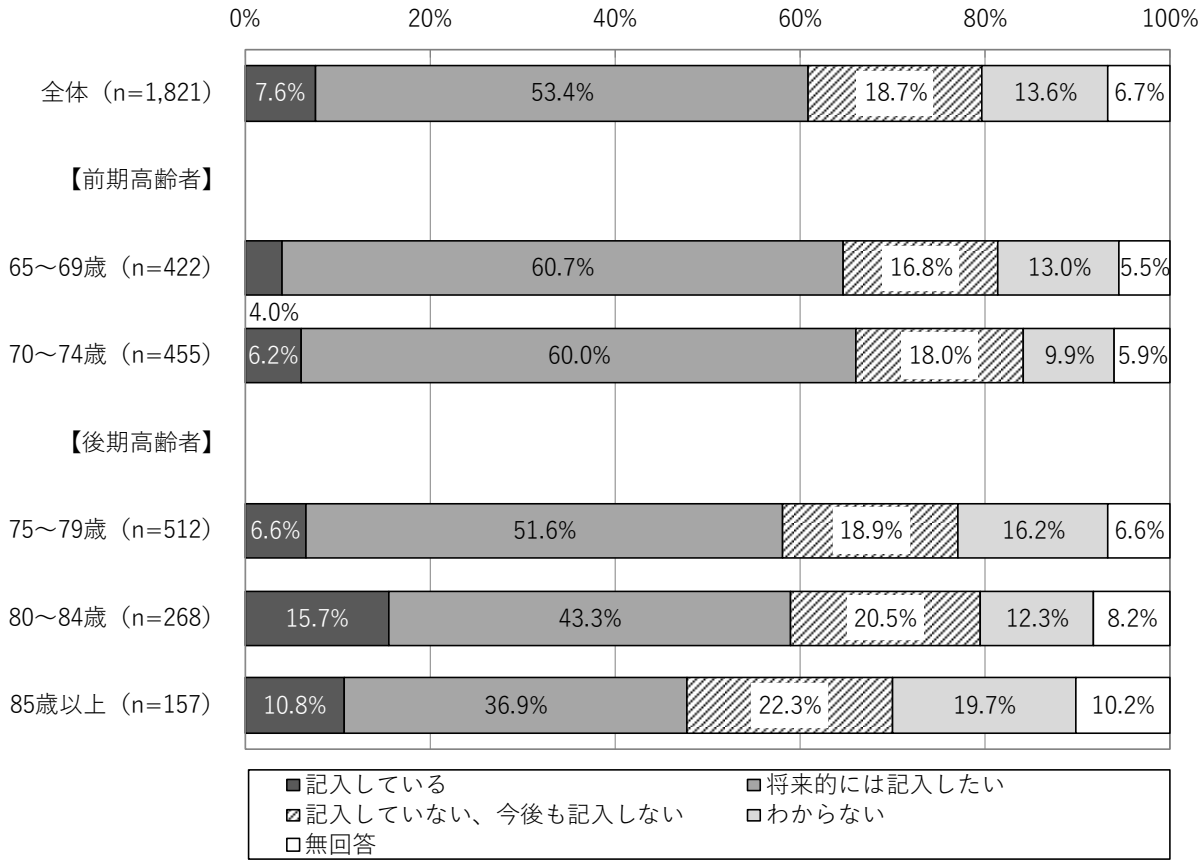
「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していない理由では、「家族と同居しているから必要ない」が 43.3%と最も多く、次いで「必要性を感じていない」が 40.7%となっています。



	必要性を感じていない	家族と同居しているから必要ない	持っていない	書きたくない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	61	65	6	1	9	20	150	1671	1,821
前期高齢者（65～74歳）	30	25	3	0	1	10	62	815	877
後期高齢者（75歳以上）	31	40	3	1	8	10	88	849	937
全体（n=150）	40.7%	43.3%	4.0%	0.7%	6.0%	13.3%			
前期高齢者（65～74歳）（n=62）	48.4%	40.3%	4.8%	0.0%	1.6%	16.1%			
後期高齢者（75歳以上）（n=88）	35.2%	45.5%	3.4%	1.1%	9.1%	11.4%			

問 16　将来に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどをエンディングノート等に記入していますか。

エンディングノート等に記入しているかでは、「将来的には記入したい」が 53.4%と最も多く、次いで「記入していない、今後も記入しない」が 18.7%となっています。

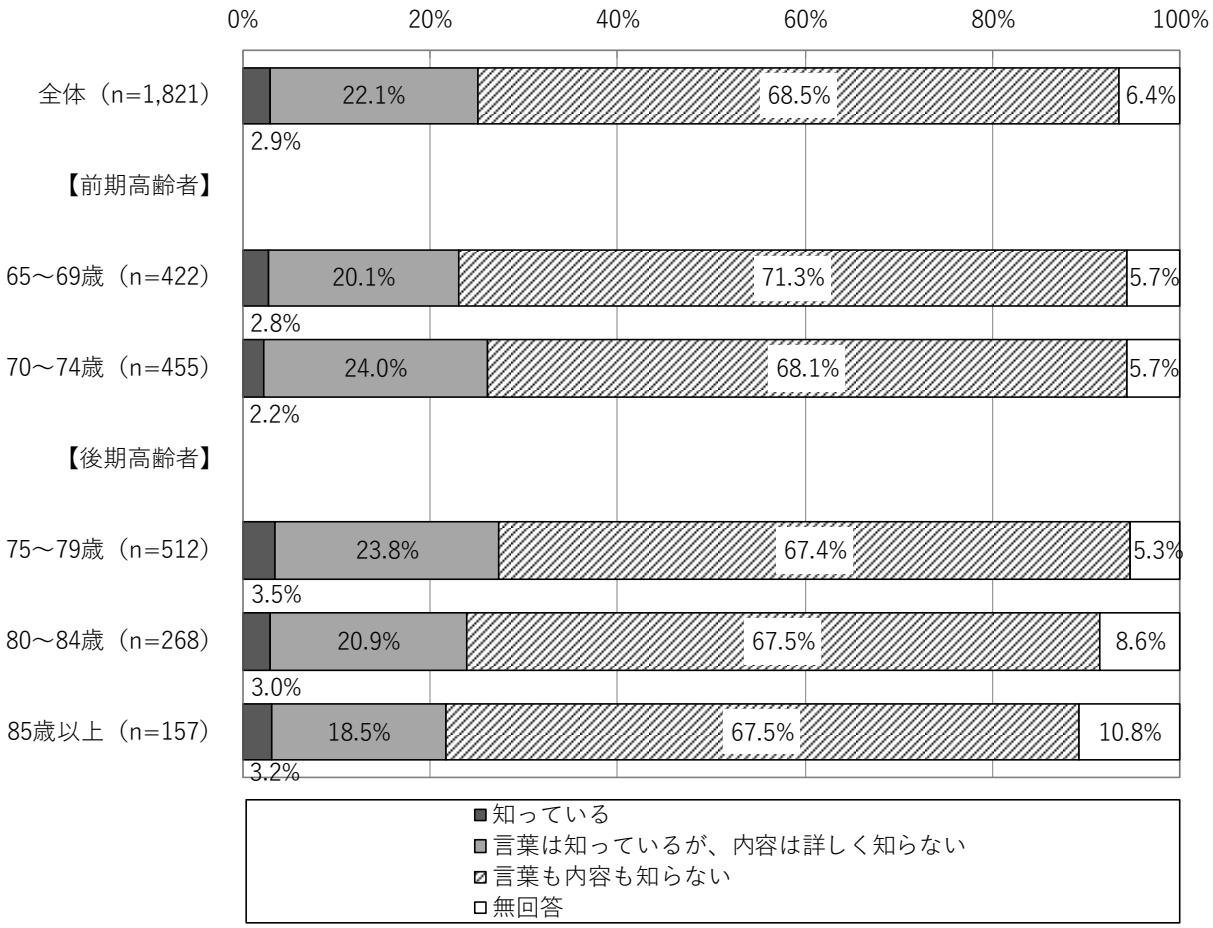


	記入している	将来的には記入したい	記入していない、今後も記入しない	わからない	無回答	合計
全体	139	972	341	247	122	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	17	256	71	55	23	422
70～74歳	28	273	82	45	27	455
【後期高齢者】						
75～79歳	34	264	97	83	34	512
80～84歳	42	116	55	33	22	268
85歳以上	17	58	35	31	16	157
全体（n=1,821）	7.6%	53.4%	18.7%	13.6%	6.7%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	4.0%	60.7%	16.8%	13.0%	5.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	6.2%	60.0%	18.0%	9.9%	5.9%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	6.6%	51.6%	18.9%	16.2%	6.6%	100.0%
80～84歳（n=268）	15.7%	43.3%	20.5%	12.3%	8.2%	100.0%
85歳以上（n=157）	10.8%	36.9%	22.3%	19.7%	10.2%	100.0%

問 17　ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っていますか。

ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っているかでは、「知っている」「言葉は知っているが、内容は詳しく知らない」を合わせた『知っている』が 25.0%となっています。

また、「言葉も内容も知らない」が 68.5%となっています。

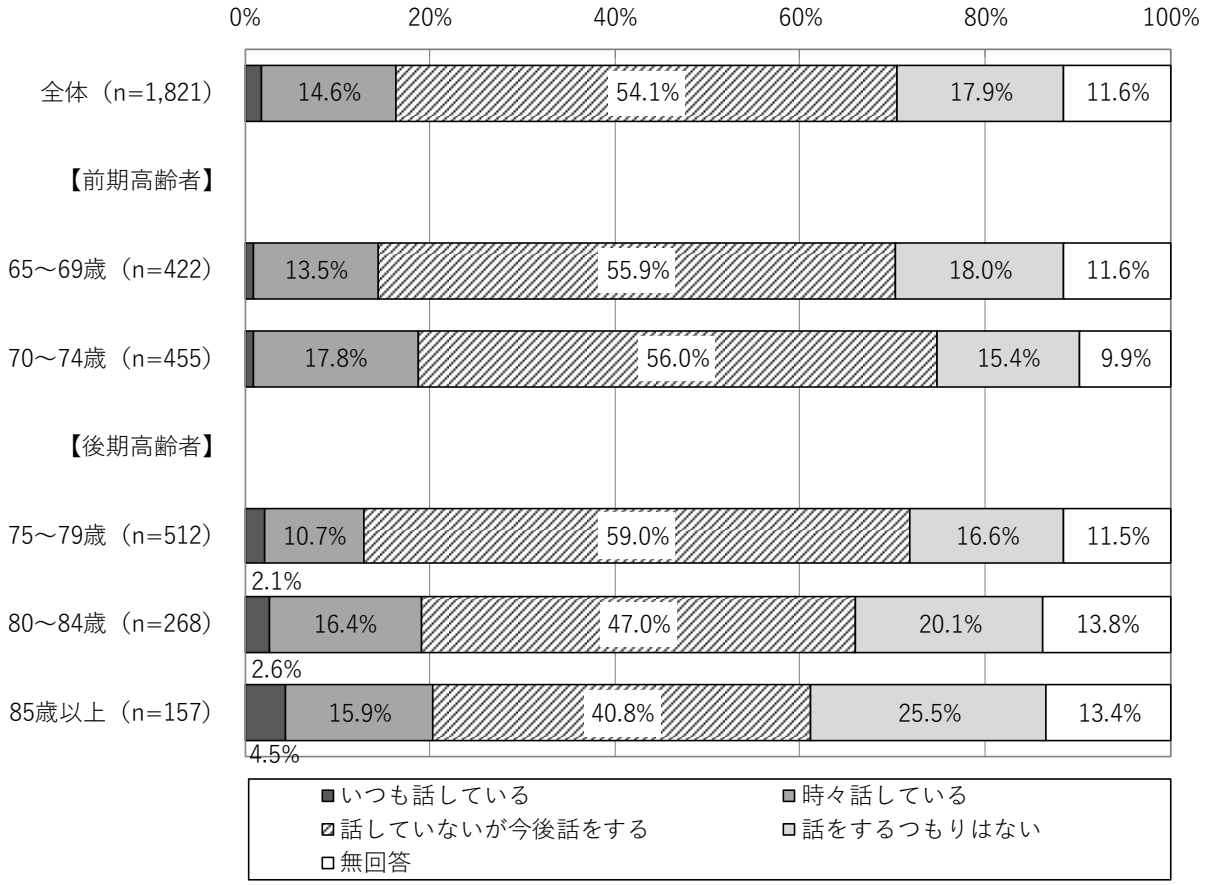


	知っている	言葉は知っているが、内容は詳しく知らない	言葉も内容も知らない	無回答	合計
全体	53	403	1,248	117	1,821
【前期高齢者】					
65～69歳	12	85	301	24	422
70～74歳	10	109	310	26	455
【後期高齢者】					
75～79歳	18	122	345	27	512
80～84歳	8	56	181	23	268
85歳以上	5	29	106	17	157
全体（n=1,821）	2.9%	22.1%	68.5%	6.4%	100.0%
【前期高齢者】					
65～69歳（n=422）	2.8%	20.1%	71.3%	5.7%	100.0%
70～74歳（n=455）	2.2%	24.0%	68.1%	5.7%	100.0%
【後期高齢者】					
75～79歳（n=512）	3.5%	23.8%	67.4%	5.3%	100.0%
80～84歳（n=268）	3.0%	20.9%	67.5%	8.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	3.2%	18.5%	67.5%	10.8%	100.0%

問 18　将来に備えて、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）や人生の終わり方について家族や知人、サービス関係者と話しあったことはありますか。

将来に備えて、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）や人生の終わり方について家族や知人､サービス関係者と話しあったことはあったかでは､「いつも話している」「時々話している」を合わせた『話している』が 16.4%となっています。

また､「話していないが今後話をする」が 54.1%､「話をするつもりはない」が 17.9%となっています。

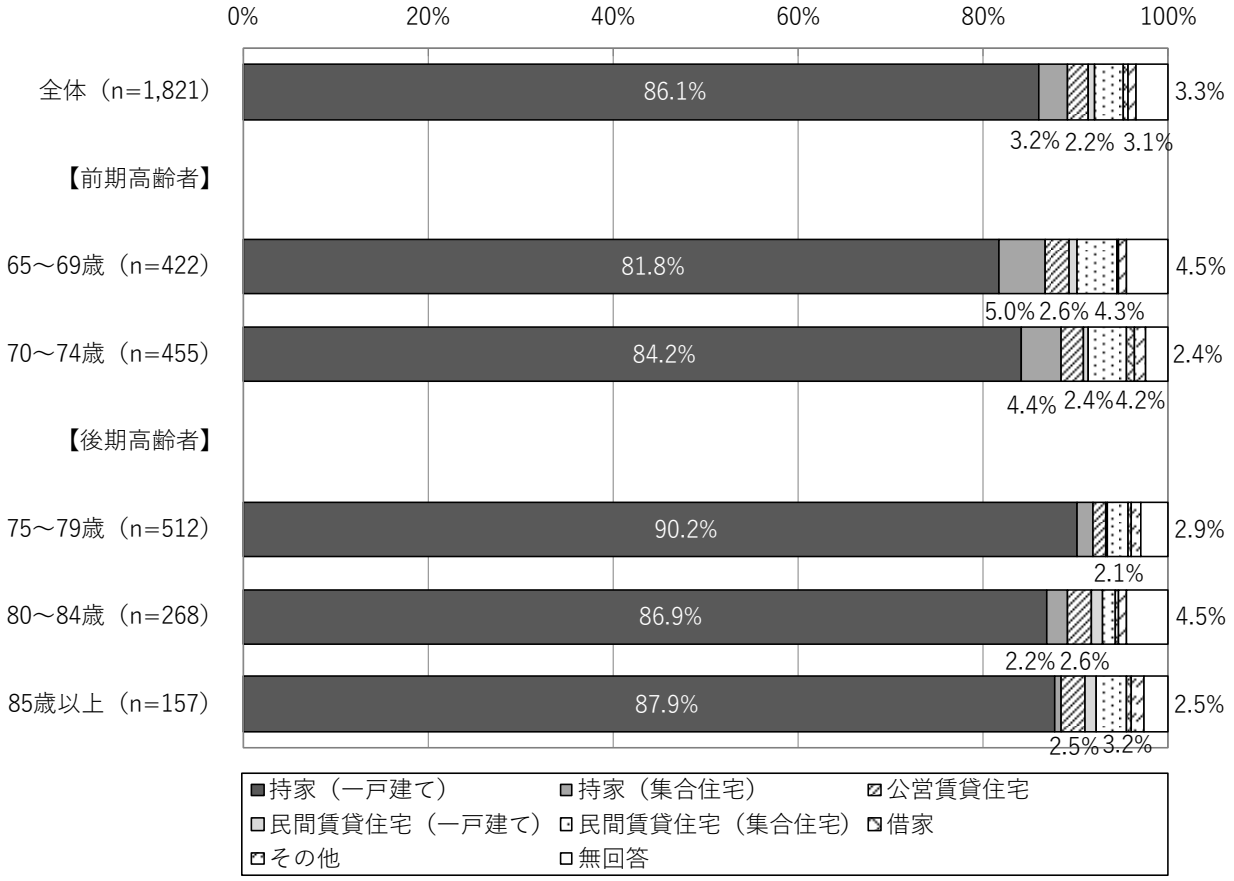


	いつも話している	時々話している	話していないが今後話をする	話をするつもりはない	無回答	合計
全体	33	265	986	326	211	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	4	57	236	76	49	422
70～74歳	4	81	255	70	45	455
【後期高齢者】						
75～79歳	11	55	302	85	59	512
80～84歳	7	44	126	54	37	268
85歳以上	7	25	64	40	21	157
全体（n=1,821）	1.8%	14.6%	54.1%	17.9%	11.6%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	0.9%	13.5%	55.9%	18.0%	11.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.9%	17.8%	56.0%	15.4%	9.9%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	2.1%	10.7%	59.0%	16.6%	11.5%	100.0%
80～84歳（n=268）	2.6%	16.4%	47.0%	20.1%	13.8%	100.0%
85歳以上（n=157）	4.5%	15.9%	40.8%	25.5%	13.4%	100.0%

（9）住まいについて

問１　お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらかでは、「持家（一戸建て）」が 86.1%と最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が 3.2%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 3.1%となっています。

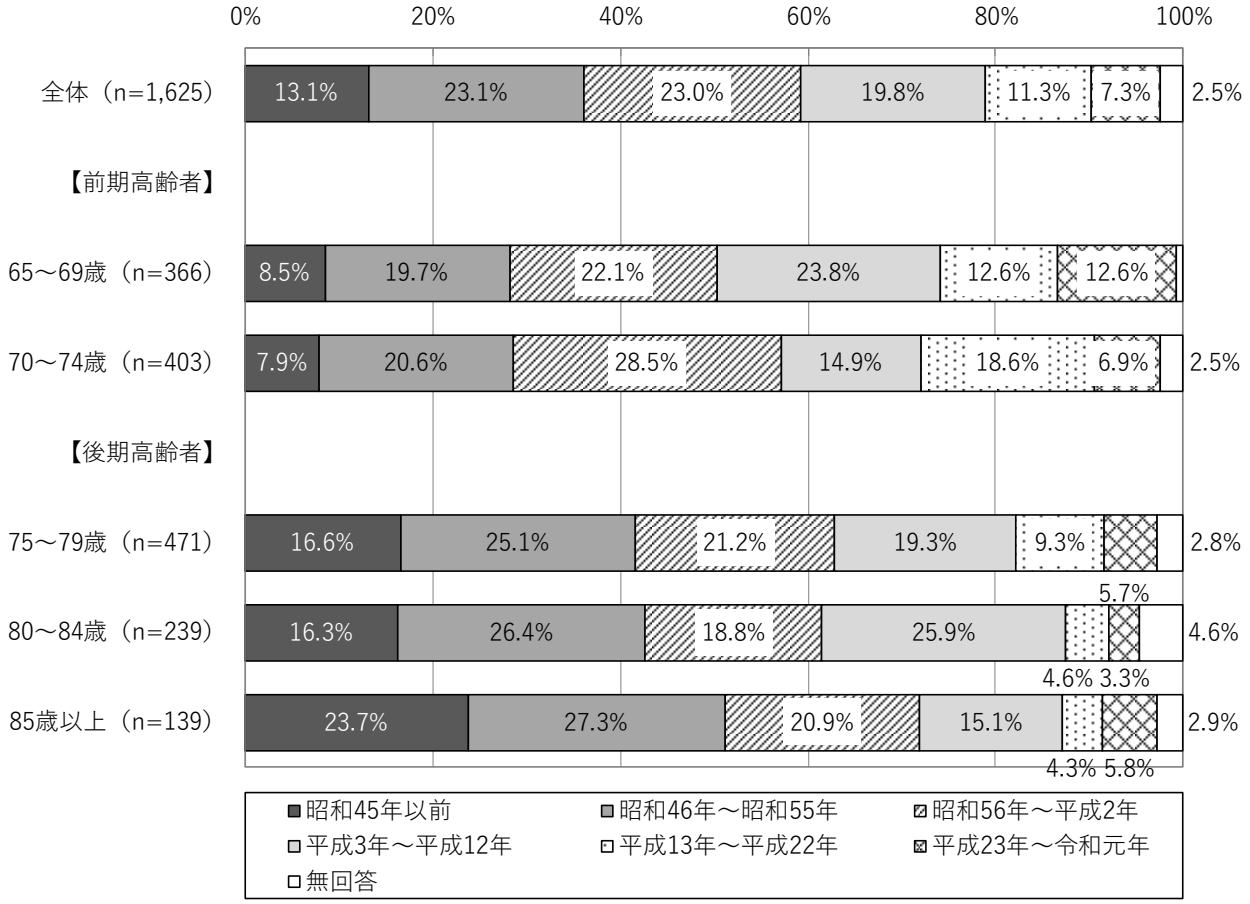


	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答	合計
全体	1,567	58	40	12	57	9	17	61	1,821
【前期高齢者】									
65～69歳	345	21	11	4	18	1	3	19	422
70～74歳	383	20	11	2	19	4	5	11	455
【後期高齢者】									
75～79歳	462	9	7	1	11	2	5	15	512
80～84歳	233	6	7	3	4	1	2	12	268
85歳以上	138	1	4	2	5	1	2	4	157
全体（n=1,821）	86.1%	3.2%	2.2%	0.7%	3.1%	0.5%	0.9%	3.3%	100.0%
【前期高齢者】									
65～69歳（n=422）	81.8%	5.0%	2.6%	0.9%	4.3%	0.2%	0.7%	4.5%	100.0%
70～74歳（n=455）	84.2%	4.4%	2.4%	0.4%	4.2%	0.9%	1.1%	2.4%	100.0%
【後期高齢者】									
75～79歳（n=512）	90.2%	1.8%	1.4%	0.2%	2.1%	0.4%	1.0%	2.9%	100.0%
80～84歳（n=268）	86.9%	2.2%	2.6%	1.1%	1.5%	0.4%	0.7%	4.5%	100.0%
85歳以上（n=157）	87.9%	0.6%	2.5%	1.3%	3.2%	0.6%	1.3%	2.5%	100.0%

【問 1 において「持家（一戸建て）」又は「持家（集合住宅）」の方のみ】

問 1-1　建築時期はいつですか。

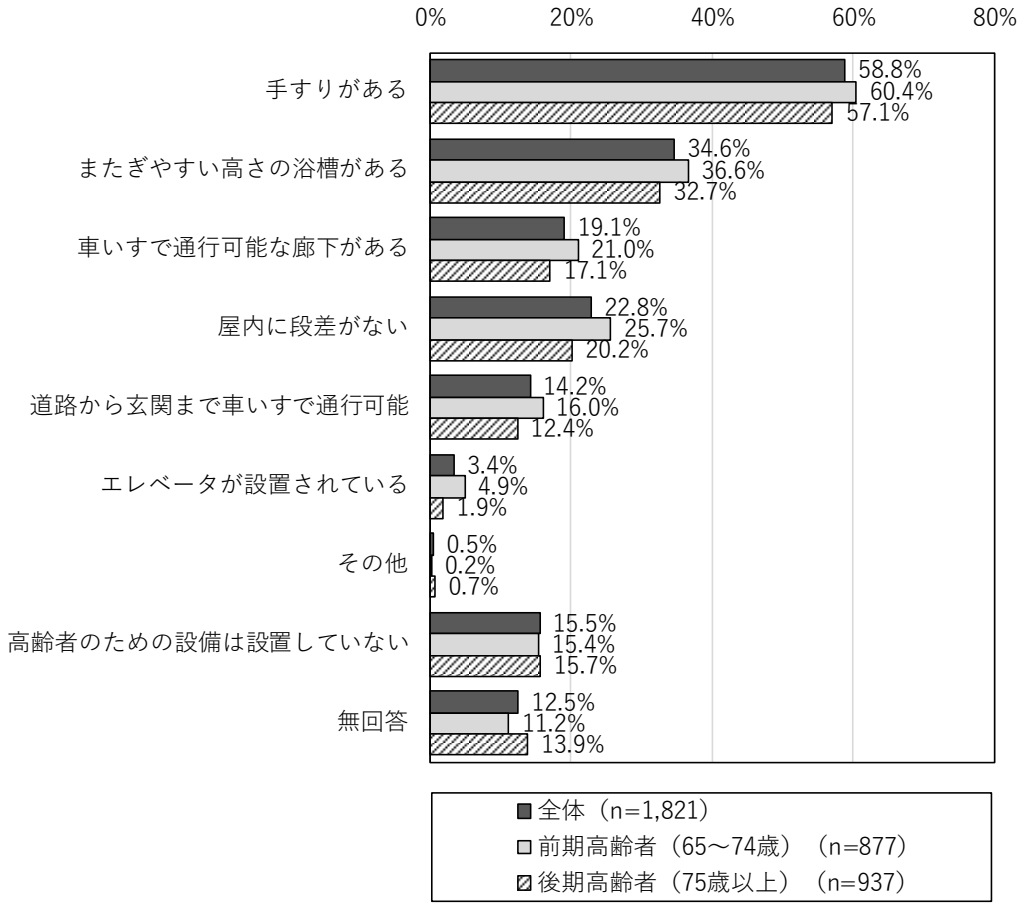
建築時期では、「昭和 46 年～昭和 55 年」が 23.1%と最も多く、次いで「昭和 56 年～平成 2 年」が 23.0%、「平成 3 年～平成 12 年」が 19.8%となっています。



	昭和45年以前	昭和46年～昭和55年	昭和56年～平成2年	平成3年～平成12年	平成13年～平成22年	平成23年～令和元年	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	213	375	373	322	183	118	41	1,625	196	1,821
【前期高齢者】										
65～69歳	31	72	81	87	46	46	3	366	56	422
70～74歳	32	83	115	60	75	28	10	403	52	455
【後期高齢者】										
75～79歳	78	118	100	91	44	27	13	471	41	512
80～84歳	39	63	45	62	11	8	11	239	29	268
85歳以上	33	38	29	21	6	8	4	139	18	157
全体（n=1,625）	13.1%	23.1%	23.0%	19.8%	11.3%	7.3%	2.5%	100.0%		
【前期高齢者】										
65～69歳（n=366）	8.5%	19.7%	22.1%	23.8%	12.6%	12.6%	0.8%	100.0%		
70～74歳（n=403）	7.9%	20.6%	28.5%	14.9%	18.6%	6.9%	2.5%	100.0%		
【後期高齢者】										
75～79歳（n=471）	16.6%	25.1%	21.2%	19.3%	9.3%	5.7%	2.8%	100.0%		
80～84歳（n=239）	16.3%	26.4%	18.8%	25.9%	4.6%	3.3%	4.6%	100.0%		
85歳以上（n=139）	23.7%	27.3%	20.9%	15.1%	4.3%	5.8%	2.9%	100.0%		

問 2　高齢者のための設備の設置状況を教えてください。（賃貸住宅等に住んでいる場合、共用部分に設置がある設備も含む。）

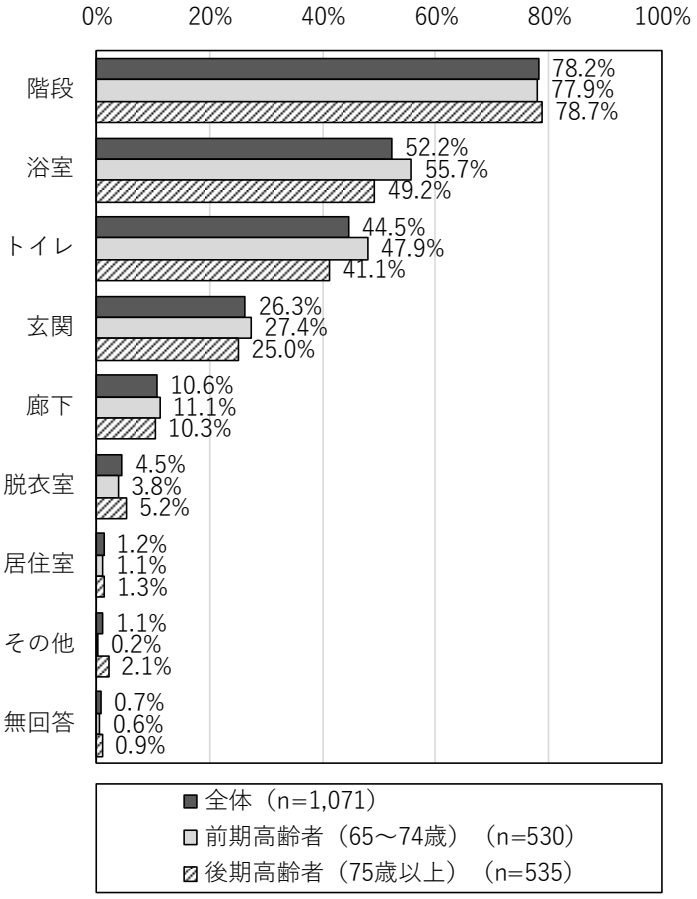
高齢者のための設備の設置状況では、「手すりがある」が 58.8%と最も多く、次いで「またぎやすい高さの浴槽がある」が 34.6%、「屋内に段差がない」が 22.8%となっています。



	手すりがある	またぎやすい高さの浴槽がある	車いすで通行可能な廊下がある	屋内に段差がない	道路から玄関まで車いすで通行可能	エレベータが設置されている	その他	高齢者のための設備は設置していない	無回答	回答者数
全体	1,071	630	347	416	258	62	9	283	228	1,821
前期高齢者（65～74歳）	530	321	184	225	140	43	2	135	98	877
後期高齢者（75歳以上）	535	306	160	189	116	18	7	147	130	937
全体（n=1,821）	58.8%	34.6%	19.1%	22.8%	14.2%	3.4%	0.5%	15.5%	12.5%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	60.4%	36.6%	21.0%	25.7%	16.0%	4.9%	0.2%	15.4%	11.2%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	57.1%	32.7%	17.1%	20.2%	12.4%	1.9%	0.7%	15.7%	13.9%	

【手すりの設置場所に○をつけてください（いくつでも）】

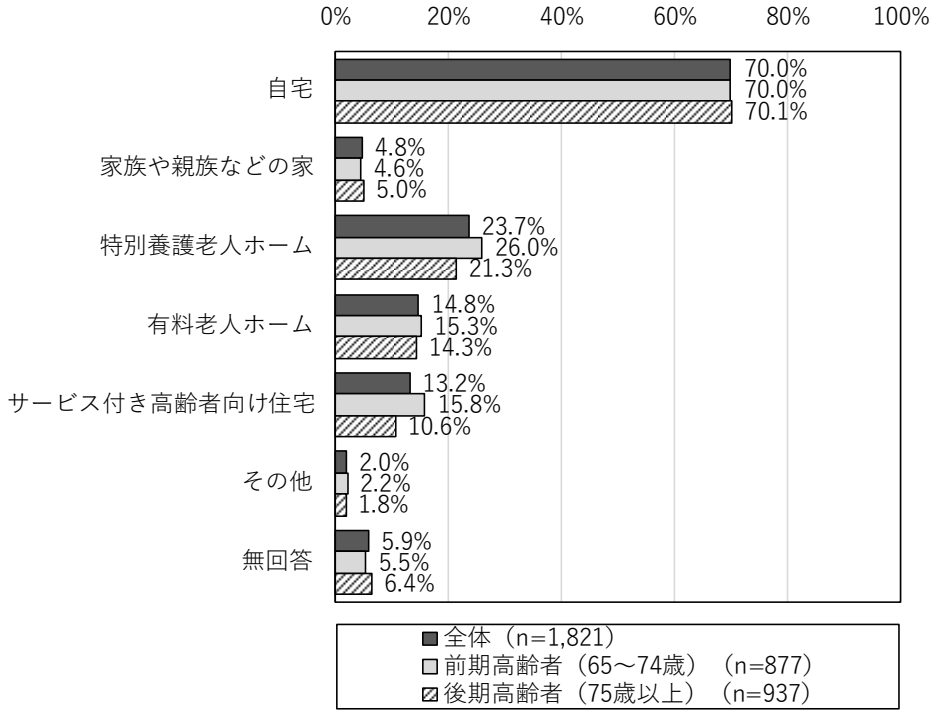
手すりの設置場所では、「階段」が 78.2%と最も多く、次いで「浴室」が 52.2%、「トイレ」が 44.5%となっています。



	階段	浴室	トイレ	玄関	廊下	脱衣室	居住室	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	837	559	477	282	114	48	13	12	8	1,071	750	1,821
前期高齢者（65～74歳）	413	295	254	145	59	20	6	1	3	530	347	877
後期高齢者（75歳以上）	421	263	220	134	55	28	7	11	5	535	402	937
全体（n=1,071）	78.2%	52.2%	44.5%	26.3%	10.6%	4.5%	1.2%	1.1%	0.7%			
前期高齢者（65～74歳）（n=530）	77.9%	55.7%	47.9%	27.4%	11.1%	3.8%	1.1%	0.2%	0.6%			
後期高齢者（75歳以上）（n=535）	78.7%	49.2%	41.1%	25.0%	10.3%	5.2%	1.3%	2.1%	0.9%			

問 3　あなたは、自身が今後、要介護（要支援）状態となった場合、暮らしの場所はどこが良いですか。（いくつでも）

自身が今後、要介護（要支援）状態となった場合の暮らしの場所では、「自宅」が 70.0%と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム（※要介護 3 以上の方が入所対象）」が 23.7%、「有料老人ホーム」が 14.8%となっています。

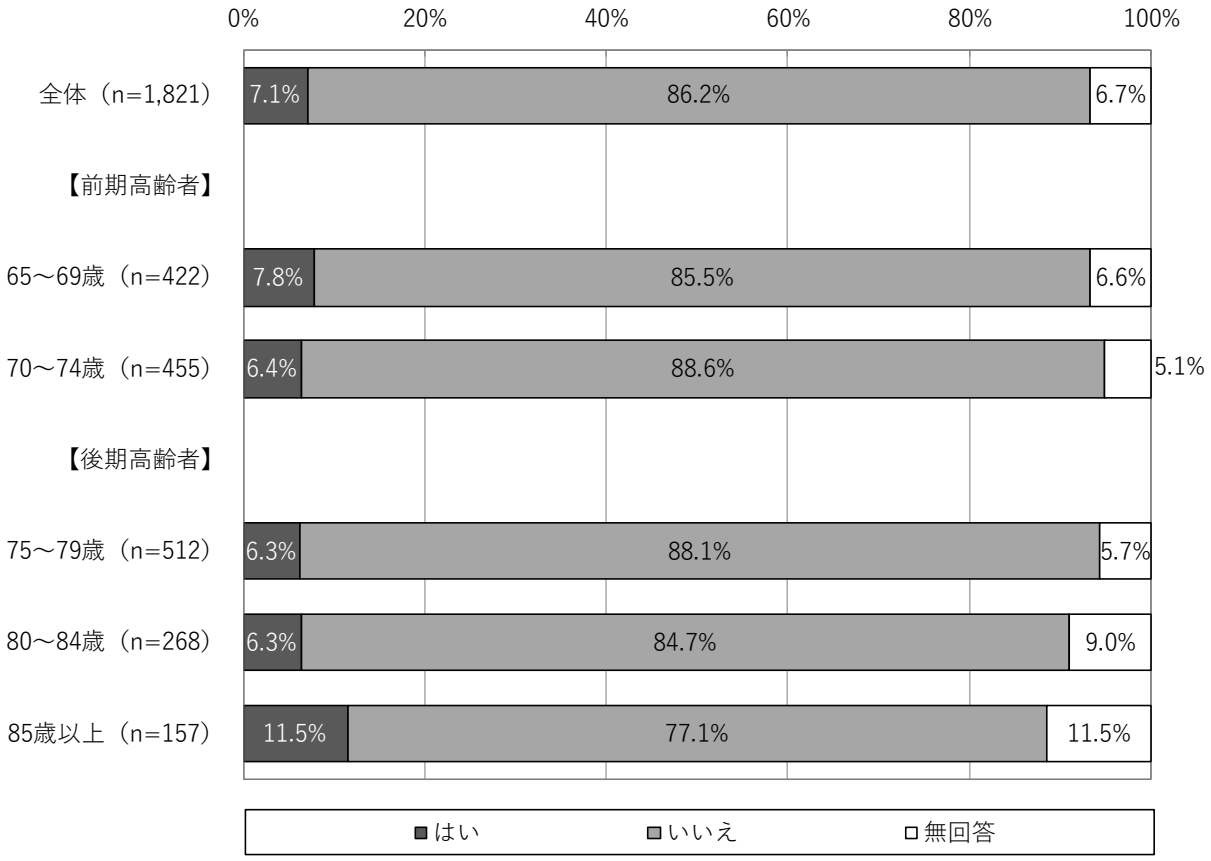


	自宅	家族や親族などの家	特別養護老人ホーム（要介護3以上の方が入所対象）	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答	回答者数
全体	1,275	87	431	269	240	36	108	1,821
前期高齢者（65～74歳）	614	40	228	134	139	19	48	877
後期高齢者（75歳以上）	657	47	200	134	99	17	60	937
全体（n=1,821）	70.0%	4.8%	23.7%	14.8%	13.2%	2.0%	5.9%	
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	70.0%	4.6%	26.0%	15.3%	15.8%	2.2%	5.5%	
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	70.1%	5.0%	21.3%	14.3%	10.6%	1.8%	6.4%	

（10）認知症にかかる相談窓口の把握について

問１　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。

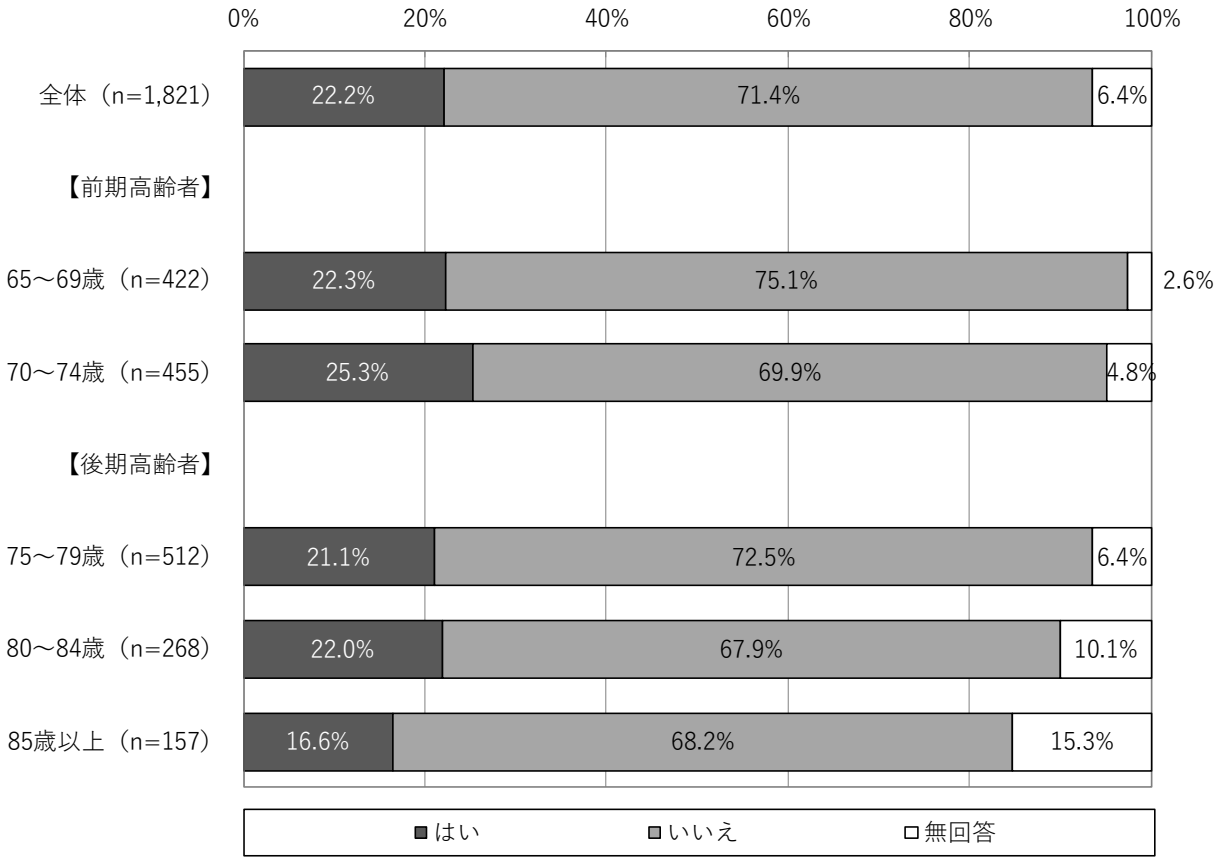
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「はい」が7.1%、「いいえ」が86.2%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	129	1,570	122	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	33	361	28	422
70～74歳	29	403	23	455
【後期高齢者】				
75～79歳	32	451	29	512
80～84歳	17	227	24	268
85歳以上	18	121	18	157
全体(n=1,821)	7.1%	86.2%	6.7%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳(n=422)	7.8%	85.5%	6.6%	100.0%
70～74歳(n=455)	6.4%	88.6%	5.1%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳(n=512)	6.3%	88.1%	5.7%	100.0%
80～84歳(n=268)	6.3%	84.7%	9.0%	100.0%
85歳以上(n=157)	11.5%	77.1%	11.5%	100.0%

問２　認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「はい」が 22.2%、「いいえ」が 71.4%となっています。



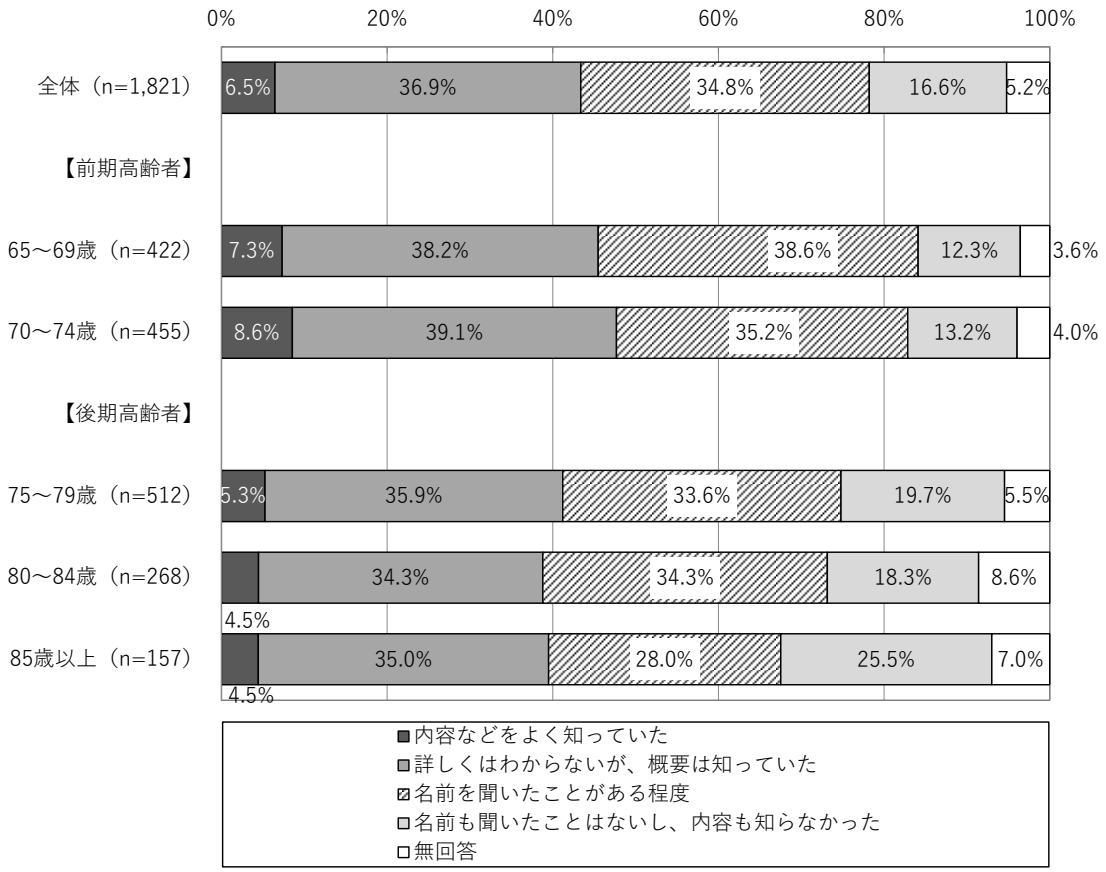
	はい	いいえ	無回答	合計
全体	404	1,300	117	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	94	317	11	422
70～74歳	115	318	22	455
【後期高齢者】				
75～79歳	108	371	33	512
80～84歳	59	182	27	268
85歳以上	26	107	24	157
全体（n=1,821）	22.2%	71.4%	6.4%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	22.3%	75.1%	2.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	25.3%	69.9%	4.8%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	21.1%	72.5%	6.4%	100.0%
80～84歳（n=268）	22.0%	67.9%	10.1%	100.0%
85歳以上（n=157）	16.6%	68.2%	15.3%	100.0%

（11）家族の介護について

問１　あなた（宛名御本人）は、成年後見制度を知っていましたか。

成年後見制度を知っているかでは、「内容などをよく知っていた」「詳しくはわからないが、概要は知っていた」「名前を聞いたことがある程度」を合わせた『知っていた』が 78.2%となっています。

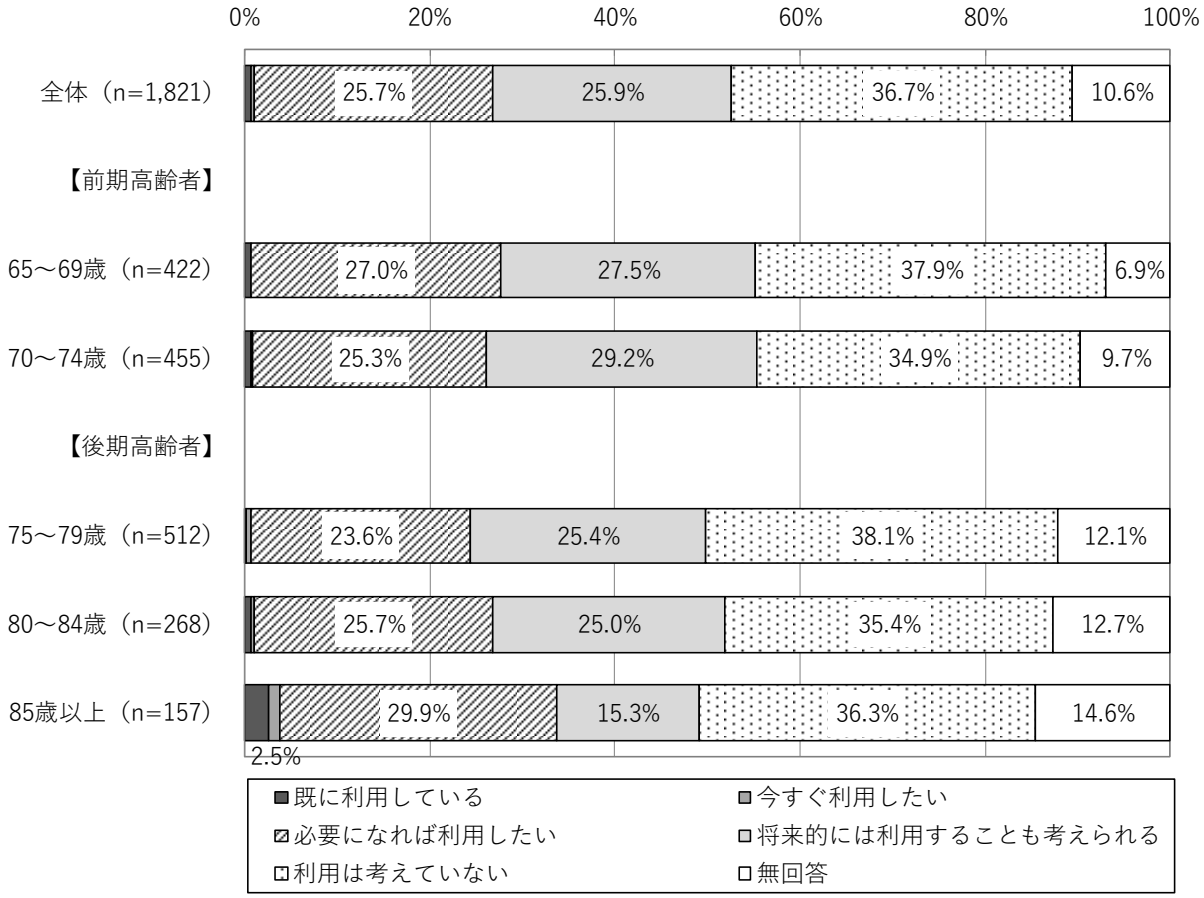
また、「名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった」が 16.6%となっています。



	内容などをよく知っていた	詳しくはわからないが、概要は知っていた	名前を聞いたことがある程度	名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった	無回答	合計
全体	118	672	634	302	95	1,821
【前期高齢者】						
65～69歳	31	161	163	52	15	422
70～74歳	39	178	160	60	18	455
【後期高齢者】						
75～79歳	27	184	172	101	28	512
80～84歳	12	92	92	49	23	268
85歳以上	7	55	44	40	11	157
全体（n=1,821）	6.5%	36.9%	34.8%	16.6%	5.2%	100.0%
【前期高齢者】						
65～69歳（n=422）	7.3%	38.2%	38.6%	12.3%	3.6%	100.0%
70～74歳（n=455）	8.6%	39.1%	35.2%	13.2%	4.0%	100.0%
【後期高齢者】						
75～79歳（n=512）	5.3%	35.9%	33.6%	19.7%	5.5%	100.0%
80～84歳（n=268）	4.5%	34.3%	34.3%	18.3%	8.6%	100.0%
85歳以上（n=157）	4.5%	35.0%	28.0%	25.5%	7.0%	100.0%

問 2　あなた（宛名御本人）は、成年後見制度についてどのように思われますか。

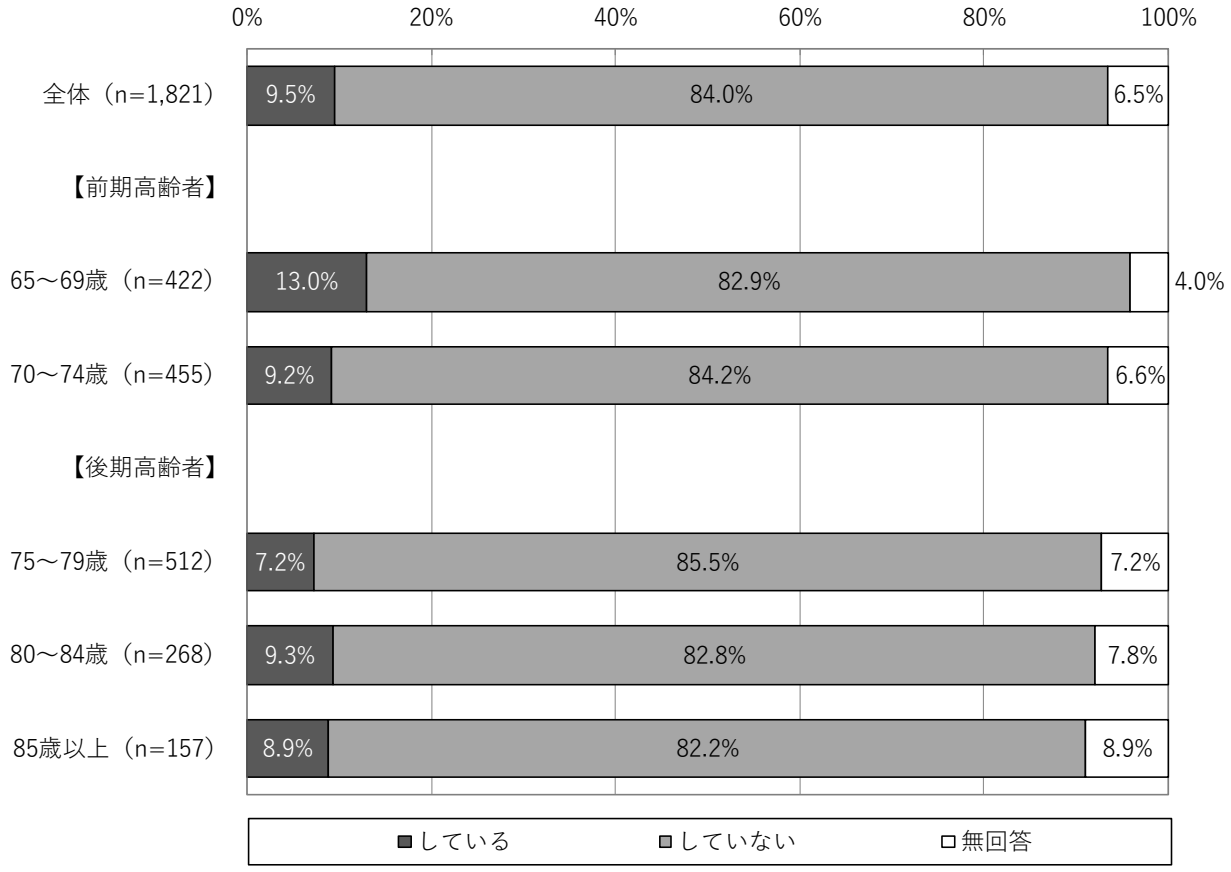
成年後見制度についてどのように思っているかでは、「利用は考えていない」が 36.7%と最も多く、次いで「将来的には利用することも考えられる」が 25.9%、「必要になれば利用したい」が 25.7%となっています。



	既に利用している	今すぐ利用したい	必要になれば利用したい	将来的には利用することも考えられる	利用は考えていない	無回答	合計
全体	13	7	468	471	669	193	1,821
【前期高齢者】							
65～69歳	3	0	114	116	160	29	422
70～74歳	3	1	115	133	159	44	455
【後期高齢者】							
75～79歳	1	3	121	130	195	62	512
80～84歳	2	1	69	67	95	34	268
85歳以上	4	2	47	24	57	23	157
全体（n=1,821）	0.7%	0.4%	25.7%	25.9%	36.7%	10.6%	100.0%
【前期高齢者】							
65～69歳（n=422）	0.7%	0.0%	27.0%	27.5%	37.9%	6.9%	100.0%
70～74歳（n=455）	0.7%	0.2%	25.3%	29.2%	34.9%	9.7%	100.0%
【後期高齢者】							
75～79歳（n=512）	0.2%	0.6%	23.6%	25.4%	38.1%	12.1%	100.0%
80～84歳（n=268）	0.7%	0.4%	25.7%	25.0%	35.4%	12.7%	100.0%
85歳以上（n=157）	2.5%	1.3%	29.9%	15.3%	36.3%	14.6%	100.0%

問 3　現在、あなたは家族や親族などの介護をしていますか。

家族や親族などの介護をしているかでは、「している」が 9.5%、「していない」が 84.0%となっています。

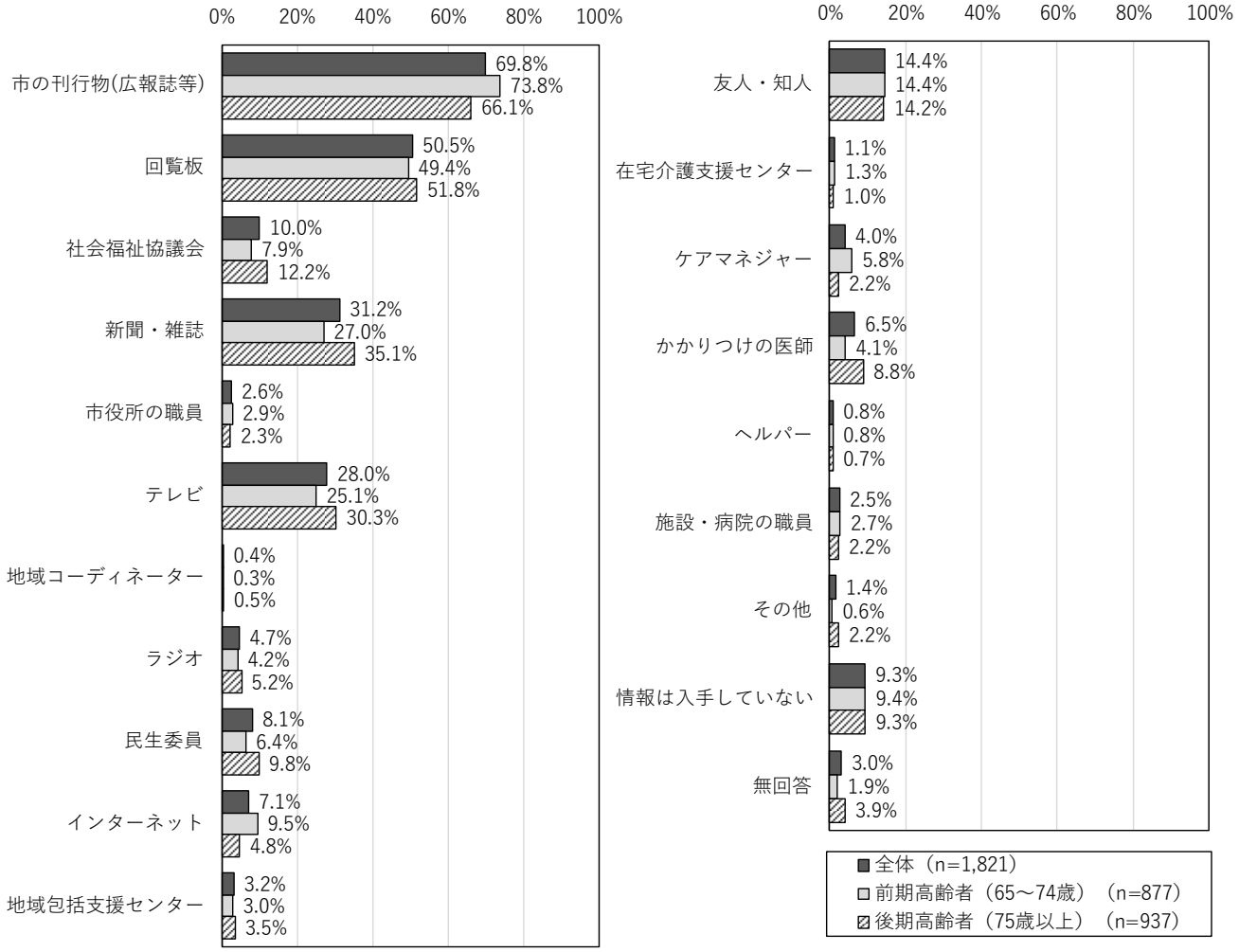


	している	していない	無回答	合計
全体	173	1,529	119	1,821
【前期高齢者】				
65～69歳	55	350	17	422
70～74歳	42	383	30	455
【後期高齢者】				
75～79歳	37	438	37	512
80～84歳	25	222	21	268
85歳以上	14	129	14	157
全体（n=1,821）	9.5%	84.0%	6.5%	100.0%
【前期高齢者】				
65～69歳（n=422）	13.0%	82.9%	4.0%	100.0%
70～74歳（n=455）	9.2%	84.2%	6.6%	100.0%
【後期高齢者】				
75～79歳（n=512）	7.2%	85.5%	7.2%	100.0%
80～84歳（n=268）	9.3%	82.8%	7.8%	100.0%
85歳以上（n=157）	8.9%	82.2%	8.9%	100.0%

（12）市への意見

問１　あなたは、日ごろ、高齢者福祉サービスや市政一般に関する情報は、どのように入手されていますか。（いくつでも）

日ごろ、高齢者福祉サービスや市政一般に関する情報の入手先は、「市の刊行物（広報誌等）」が 69.8%と最も多く、次いで「回覧板」が 50.5%、「新聞・雑誌」が 31.2%となっています。



	市の刊行物（広報誌等）	回覧板	社会福祉協議会	新聞・雑誌	市役所の職員	テレビ	地域コーディネーター	ラジオ	民生委員	インターネット	地域包括支援センター
全体	1,271	920	183	568	47	509	8	86	148	130	59
前期高齢者（65～74歳）	647	433	69	237	25	220	3	37	56	83	26
後期高齢者（75歳以上）	619	485	114	329	22	284	5	49	92	45	33
全体（n=1,821）	69.8%	50.5%	10.0%	31.2%	2.6%	28.0%	0.4%	4.7%	8.1%	7.1%	3.2%
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	73.8%	49.4%	7.9%	27.0%	2.9%	25.1%	0.3%	4.2%	6.4%	9.5%	3.0%
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	66.1%	51.8%	12.2%	35.1%	2.3%	30.3%	0.5%	5.2%	9.8%	4.8%	3.5%

	友人・知人	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	かかりつけの医師	ヘルパー	施設・病院の職員	その他	情報は入手していない	無回答	回答者数	
全体	262	20	72	118	14	45	26	169	54	1,821	
前期高齢者（65～74歳）	126	11	51	36	7	24	5	82	17	877	
後期高齢者（75歳以上）	133	9	21	82	7	21	21	87	37	937	
全体（n=1,821）	14.4%	1.1%	4.0%	6.5%	0.8%	2.5%	1.4%	9.3%	3.0%		
前期高齢者（65～74歳）（n=877）	14.4%	1.3%	5.8%	4.1%	0.8%	2.7%	0.6%	9.4%	1.9%		
後期高齢者（75歳以上）（n=937）	14.2%	1.0%	2.2%	8.8%	0.7%	2.2%	2.2%	9.3%	3.9%		

問２　健康づくり、高齢者福祉や介護保険制度について、市への要望や意見、また、提案などございましたら右の枠にご記入ください。（自由記述）

■今後自分そして家族のためにも市の介護や福祉の話を聞きたいと思う。近い将来に備えていきたい。
■介護予防のための通い場をもっと充実してほしい。
■介護認定を受けたいが、どうしたらよいか？認定を受けたらどのようなサービスが受けられるのかの案内を送ってほしい。
■現在は健康に問題はないが、将来のために介護関連の情報が欲しいと思っています。
■自動車に乗れなくなると移動手段がなくなるので買い物、通院、外出が不便になる。「福祉無料バス」を希望。
■現時点では切実感が無いので要望、意見はありませんが、今後しっかりと検討する予定です。今回のアンケートは自覚への良い刺激となりました。
■高齢者福祉サービスはなくてならないものですがその人の生活状態、精神生活などでかなり年齢的に差があると思います。モチベーション、アイデンティティーによってかなり異なります。全ての人を一括りにしてみないようにして下さい。
■軽い運動、筋力増強など老化の進行を抑える様な施設や運動公園（小規模）が近くにあれば気の向いた時に利用したい。
■健康づくり教室や施設の充実。文化施設や教室の増加。
■階段の手すり他、高齢者に必要な設備と設置する際の助成金の対象者の幅をもっと拡げてほしい。
■筋力が低下しないように、無料で筋力トレーニングができる施設を増やしその情報を分かりやすく流して欲しい。
■今は何もありません。現在良い生活をしています。
■自家用車の代替手段（使いやすい）が急務と思います。
■高齢者の健康づくり（シルバー体操等）に参加しているが非常に良い事と思うので、より多くの人達が参加できる環境づくり（情報の提供、予算の充実）に努めてほしい。

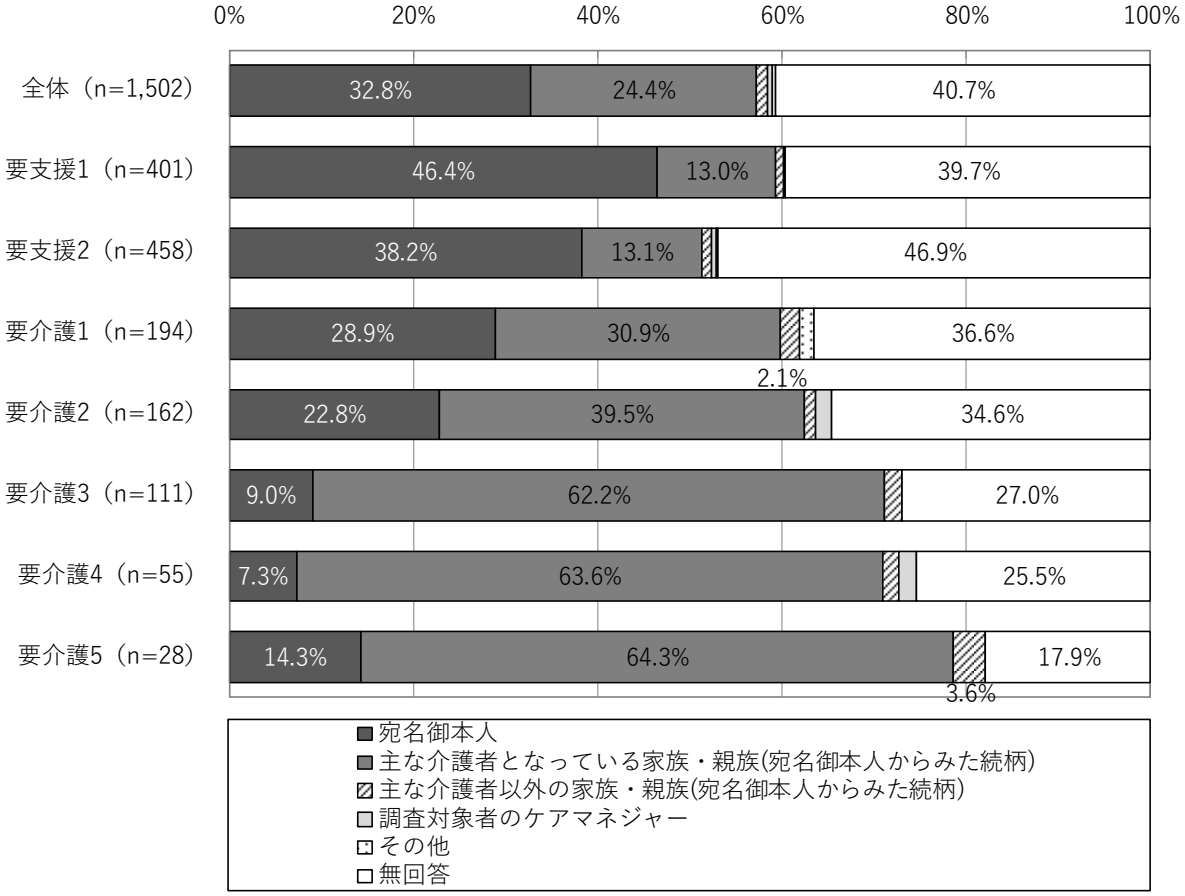
主に上記の意見がありました。

2　要支援・要介護認定者調査

2　要支援・要介護認定者調査

本調査票を記入される方は、どなたですか。

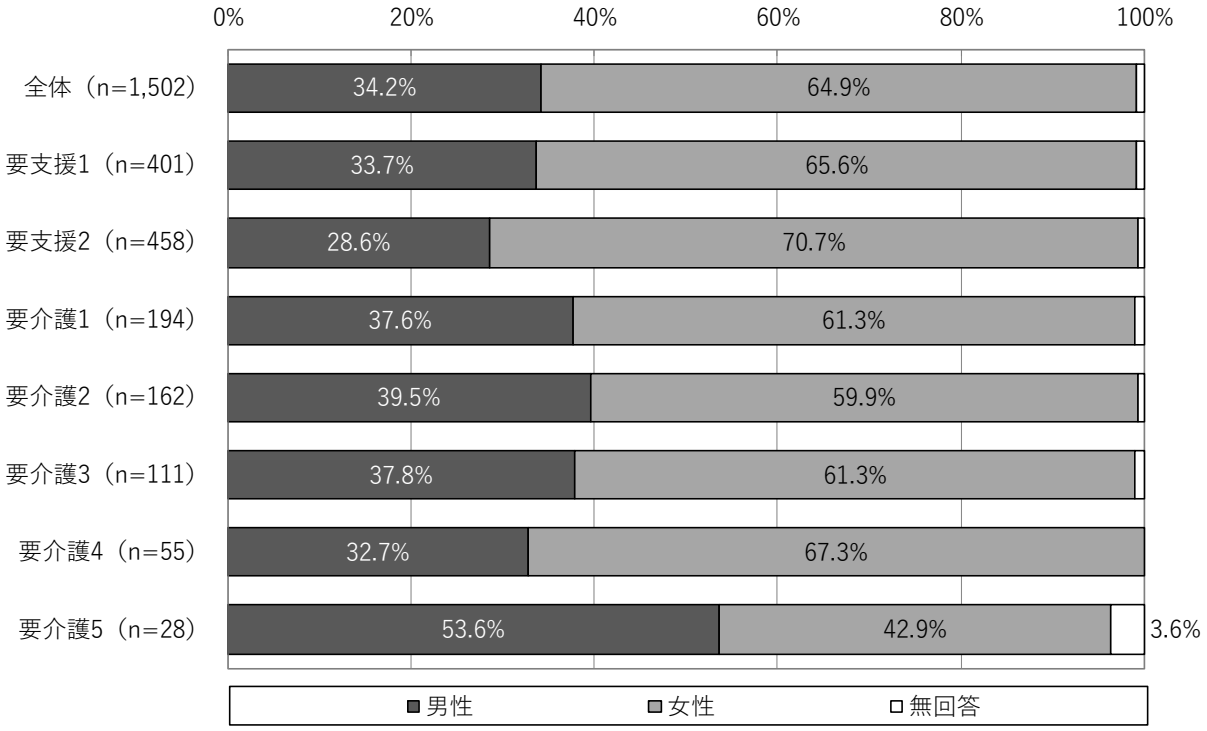
本調査票を記入される方では、「宛名御本人」が 32.8%と最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族（宛名御本人からみた続柄）」が 24.4%、「主な介護者以外の家族・親族（宛名御本人からみた続柄）」が 1.3%となっています。



	宛名御本人	主な介護者となっている家族・親族（宛名御本人からみた続柄）	主な介護者以外の家族・親族(宛名御本人からみた続柄)	調査対象者のケアマネジャー	その他	無回答	合計
全体	492	367	19	7	5	612	1,502
要支援1	186	52	3	1	0	159	401
要支援2	175	60	5	2	1	215	458
要介護1	56	60	4	0	3	71	194
要介護2	37	64	2	3	0	56	162
要介護3	10	69	2	0	0	30	111
要介護4	4	35	1	1	0	14	55
要介護5	4	18	1	0	0	5	28
全体(n=1,502)	32.8%	24.4%	1.3%	0.5%	0.3%	40.7%	100.0%
要支援1(n=401)	46.4%	13.0%	0.7%	0.2%	0.0%	39.7%	100.0%
要支援2(n=458)	38.2%	13.1%	1.1%	0.4%	0.2%	46.9%	100.0%
要介護1(n=194)	28.9%	30.9%	2.1%	0.0%	1.5%	36.6%	100.0%
要介護2(n=162)	22.8%	39.5%	1.2%	1.9%	0.0%	34.6%	100.0%
要介護3(n=111)	9.0%	62.2%	1.8%	0.0%	0.0%	27.0%	100.0%
要介護4(n=55)	7.3%	63.6%	1.8%	1.8%	0.0%	25.5%	100.0%
要介護5(n=28)	14.3%	64.3%	3.6%	0.0%	0.0%	17.9%	100.0%

性別

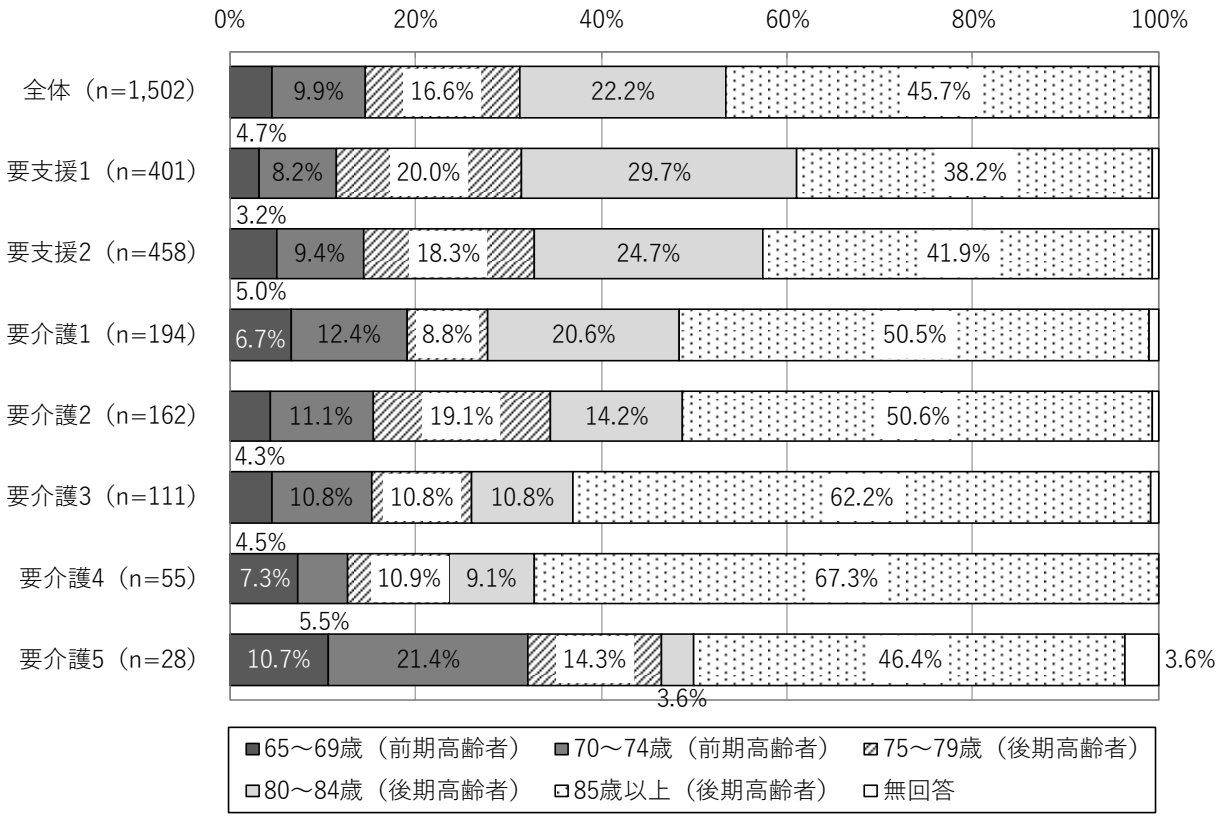
性別では、「男性」が 34.2%、「女性」が 64.9%となっています。



	男性	女性	無回答	合計
全体	514	975	13	1,502
要支援1	135	263	3	401
要支援2	131	324	3	458
要介護1	73	119	2	194
要介護2	64	97	1	162
要介護3	42	68	1	111
要介護4	18	37	0	55
要介護5	15	12	1	28
全体(n=1,502)	34.2%	64.9%	0.9%	100.0%
要支援1(n=401)	33.7%	65.6%	0.7%	100.0%
要支援2(n=458)	28.6%	70.7%	0.7%	100.0%
要介護1(n=194)	37.6%	61.3%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	39.5%	59.9%	0.6%	100.0%
要介護3(n=111)	37.8%	61.3%	0.9%	100.0%
要介護4(n=55)	32.7%	67.3%	0.0%	100.0%
要介護5(n=28)	53.6%	42.9%	3.6%	100.0%

年齢

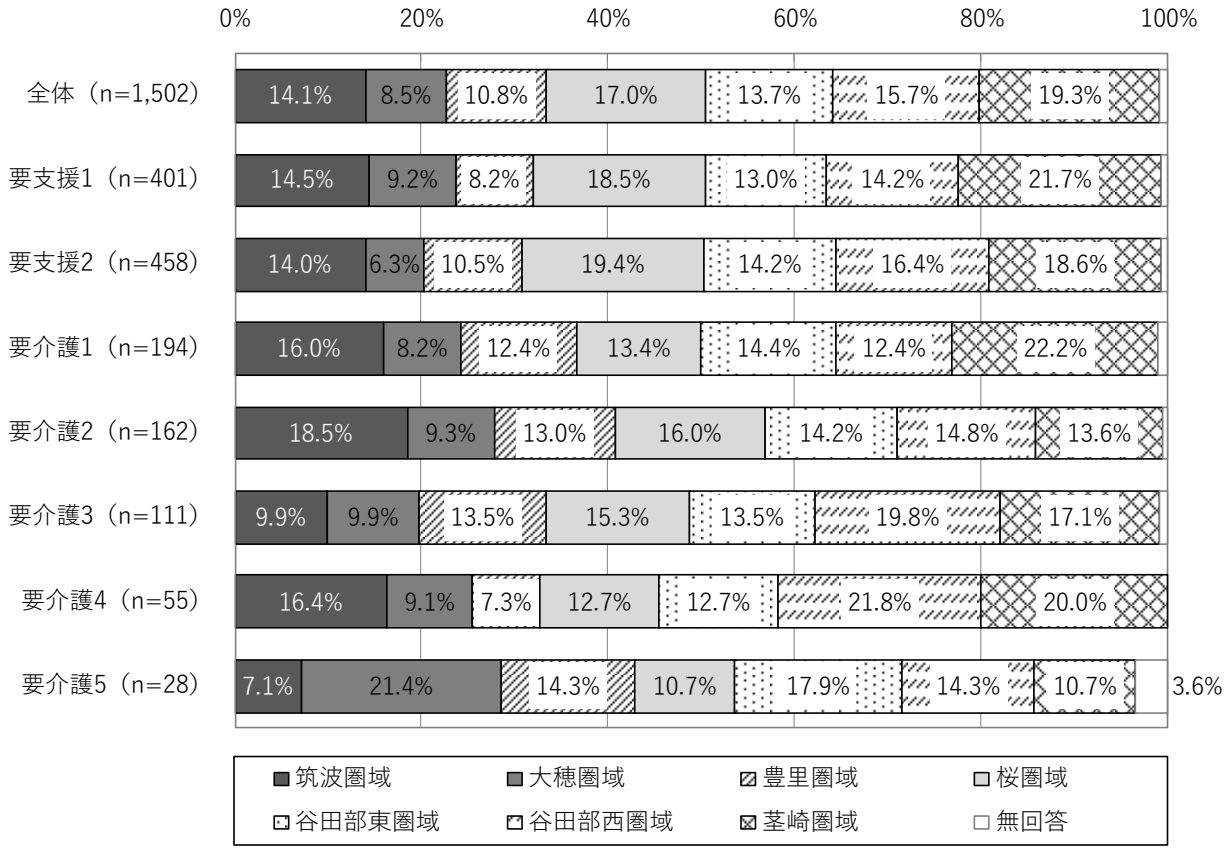
年齢では、「85 歳以上（後期高齢者）」が 45.7%と最も多く、次いで「80～84 歳（後期高齢者）」が 22.2%、「75～79 歳（後期高齢者）」が 16.6%となっています。



	65～69歳（前期高齢者）	70～74歳（前期高齢者）	75～79歳（後期高齢者）	80～84歳（後期高齢者）	85歳以上（後期高齢者）	無回答	合計
全体	70	149	250	334	686	13	1,502
要支援1	13	33	80	119	153	3	401
要支援2	23	43	84	113	192	3	458
要介護1	13	24	17	40	98	2	194
要介護2	7	18	31	23	82	1	162
要介護3	5	12	12	12	69	1	111
要介護4	4	3	6	5	37	0	55
要介護5	3	6	4	1	13	1	28
全体（n=1,502）	4.7%	9.9%	16.6%	22.2%	45.7%	0.9%	100.0%
要支援1（n=401）	3.2%	8.2%	20.0%	29.7%	38.2%	0.7%	100.0%
要支援2（n=458）	5.0%	9.4%	18.3%	24.7%	41.9%	0.7%	100.0%
要介護1（n=194）	6.7%	12.4%	8.8%	20.6%	50.5%	1.0%	100.0%
要介護2（n=162）	4.3%	11.1%	19.1%	14.2%	50.6%	0.6%	100.0%
要介護3（n=111）	4.5%	10.8%	10.8%	10.8%	62.2%	0.9%	100.0%
要介護4（n=55）	7.3%	5.5%	10.9%	9.1%	67.3%	0.0%	100.0%
要介護5（n=28）	10.7%	21.4%	14.3%	3.6%	46.4%	3.6%	100.0%

圏域

圏域では、「茎崎圏域」が 19.3%と最も多く、次いで「桜圏域」が 17.0%、「谷田部西圏域」が 15.7%となっています。

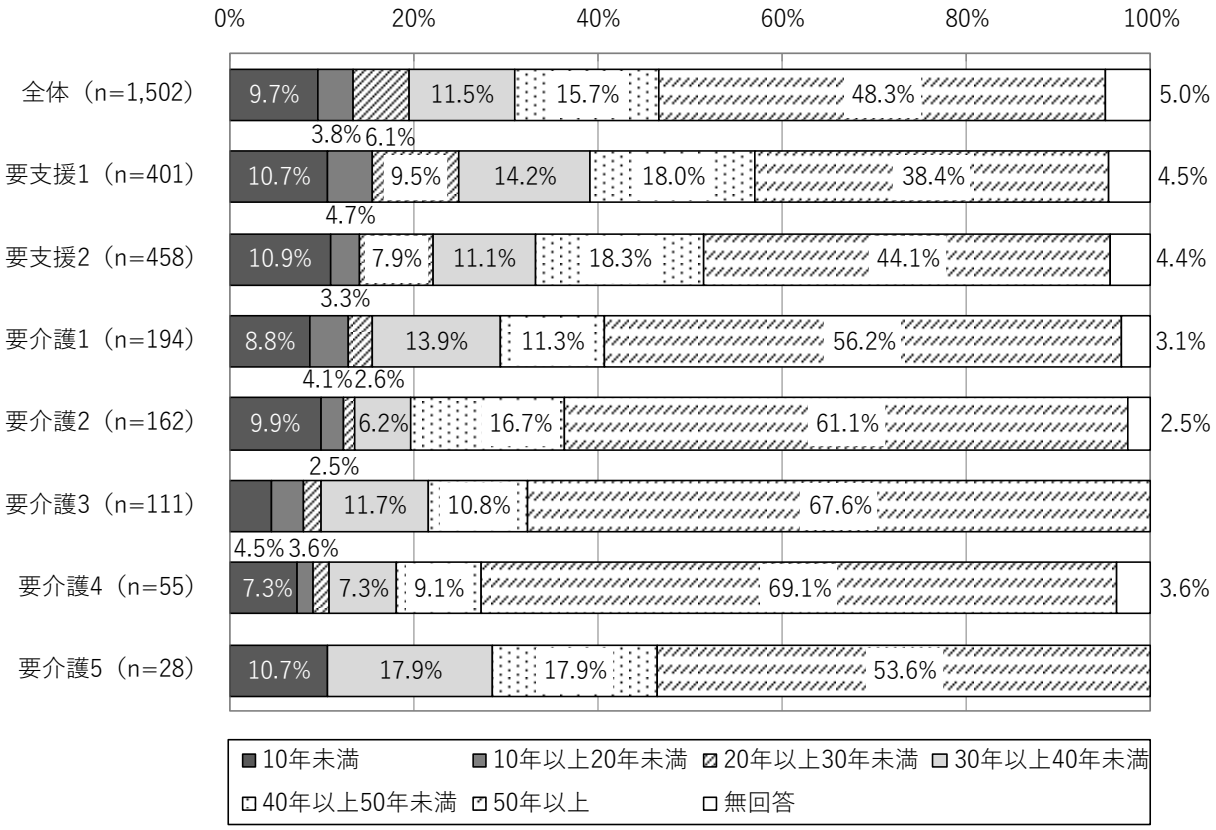


	筑波圏域	大穂圏域	豊里圏域	桜圏域	谷田部東圏域	谷田部西圏域	茎崎圏域	無回答	合計
全体	212	128	162	255	206	236	290	13	1,502
要支援1	58	37	33	74	52	57	87	3	401
要支援2	64	29	48	89	65	75	85	3	458
要介護1	31	16	24	26	28	24	43	2	194
要介護2	30	15	21	26	23	24	22	1	162
要介護3	11	11	15	17	15	22	19	1	111
要介護4	9	5	4	7	7	12	11	0	55
要介護5	2	6	4	3	5	4	3	1	28
全体(n=1,502)	14.1%	8.5%	10.8%	17.0%	13.7%	15.7%	19.3%	0.9%	100.0%
要支援1(n=401)	14.5%	9.2%	8.2%	18.5%	13.0%	14.2%	21.7%	0.7%	100.0%
要支援2(n=458)	14.0%	6.3%	10.5%	19.4%	14.2%	16.4%	18.6%	0.7%	100.0%
要介護1(n=194)	16.0%	8.2%	12.4%	13.4%	14.4%	12.4%	22.2%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	18.5%	9.3%	13.0%	16.0%	14.2%	14.8%	13.6%	0.6%	100.0%
要介護3(n=111)	9.9%	9.9%	13.5%	15.3%	13.5%	19.8%	17.1%	0.9%	100.0%
要介護4(n=55)	16.4%	9.1%	7.3%	12.7%	12.7%	21.8%	20.0%	0.0%	100.0%
要介護5(n=28)	7.1%	21.4%	14.3%	10.7%	17.9%	14.3%	10.7%	3.6%	100.0%

（1）あなた自身（宛名御本人）について

問１　あなたは、つくば市に住みはじめて通算で何年になりますか。

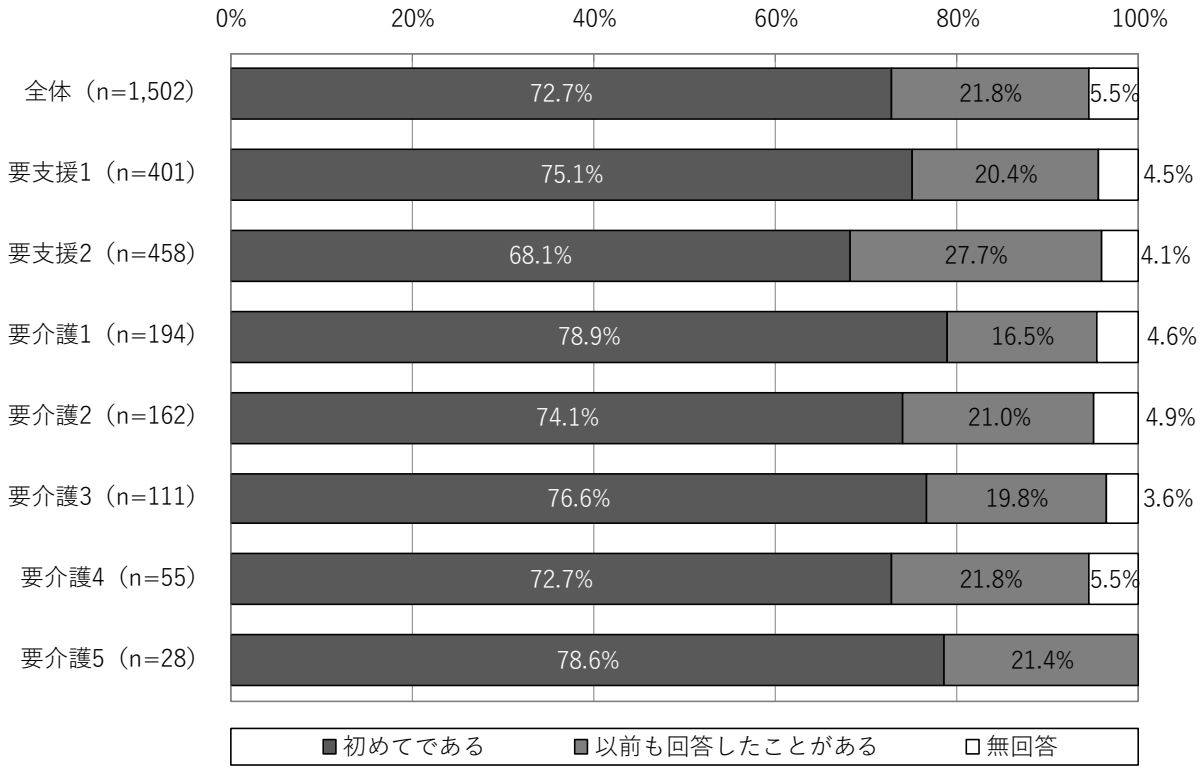
つくば市に住みはじめて何年になるかでは、「50 年以上」が 48.3%と最も多く、次いで「40 年以上 50 年未満」が 15.7%、「30 年以上 40 年未満」が 11.5%となっています。



	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上50年未満	50年以上	無回答	合計
全体	145	57	91	172	236	726	75	1,502
要支援1	43	19	38	57	72	154	18	401
要支援2	50	15	36	51	84	202	20	458
要介護1	17	8	5	27	22	109	6	194
要介護2	16	4	2	10	27	99	4	162
要介護3	5	4	2	13	12	75	0	111
要介護4	4	1	1	4	5	38	2	55
要介護5	3	0	0	5	5	15	0	28
全体（n=1,502）	9.7%	3.8%	6.1%	11.5%	15.7%	48.3%	5.0%	100.0%
要支援1（n=401）	10.7%	4.7%	9.5%	14.2%	18.0%	38.4%	4.5%	100.0%
要支援2（n=458）	10.9%	3.3%	7.9%	11.1%	18.3%	44.1%	4.4%	100.0%
要介護1（n=194）	8.8%	4.1%	2.6%	13.9%	11.3%	56.2%	3.1%	100.0%
要介護2（n=162）	9.9%	2.5%	1.2%	6.2%	16.7%	61.1%	2.5%	100.0%
要介護3（n=111）	4.5%	3.6%	1.8%	11.7%	10.8%	67.6%	0.0%	100.0%
要介護4（n=55）	7.3%	1.8%	1.8%	7.3%	9.1%	69.1%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	10.7%	0.0%	0.0%	17.9%	17.9%	53.6%	0.0%	100.0%

問 2　高齢者福祉計画に係るアンケート調査に回答したことがありますか。

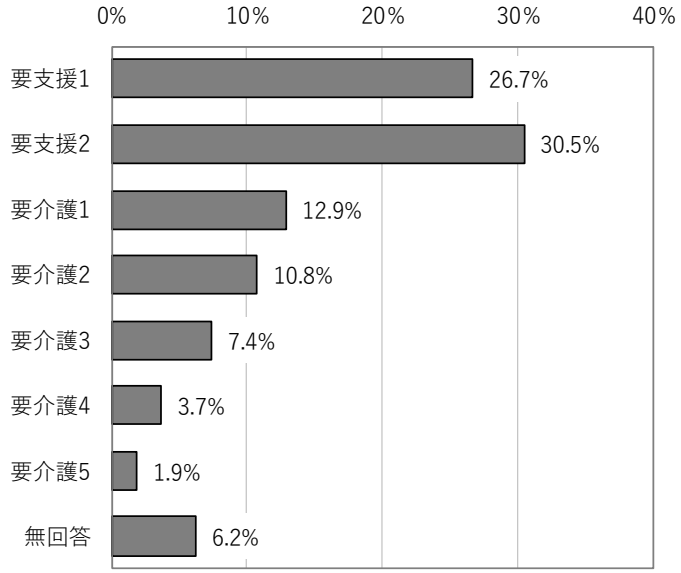
高齢者福祉計画に係るアンケート調査に回答したことがあるかでは、「初めてである」が 72.7%、「以前も回答したことがある」が 21.8%となっています。



	初めてである	以前も回答したことがある	無回答	合計
全体	1,092	327	83	1,502
要支援1	301	82	18	401
要支援2	312	127	19	458
要介護1	153	32	9	194
要介護2	120	34	8	162
要介護3	85	22	4	111
要介護4	40	12	3	55
要介護5	22	6	0	28
全体（n=1,502）	72.7%	21.8%	5.5%	100.0%
要支援1（n=401）	75.1%	20.4%	4.5%	100.0%
要支援2（n=458）	68.1%	27.7%	4.1%	100.0%
要介護1（n=194）	78.9%	16.5%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	74.1%	21.0%	4.9%	100.0%
要介護3（n=111）	76.6%	19.8%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	72.7%	21.8%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	78.6%	21.4%	0.0%	100.0%

問 3　あなたの、現在の要介護度は次のうちどれですか。

現在の要介護度では、「要支援 2」が 30.5%と最も多く、次いで「要支援 1」が 26.7%、「要介護 1」が 12.9%となっています。

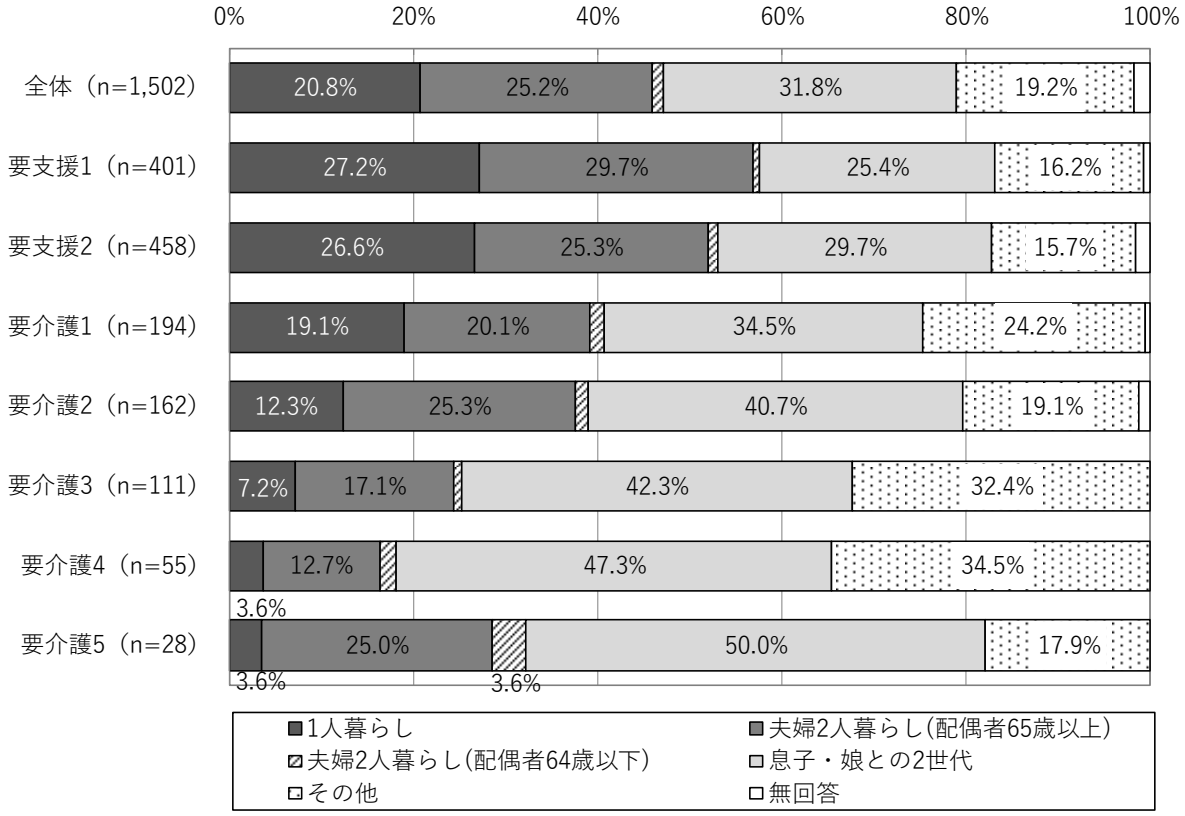


項目	度数	構成比
要支援1	401	26.7%
要支援2	458	30.5%
要介護1	194	12.9%
要介護2	162	10.8%
要介護3	111	7.4%
要介護4	55	3.7%
要介護5	28	1.9%
無回答	93	6.2%
合計	1,502	100.0%

（2）あなたの御家族や生活状況について

問１　家族構成をお教えください。

家族構成では、「息子・娘との２世代」が 31.8%と最も多く、次いで「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 25.2%、「1 人暮らし」が 20.8%となっています。

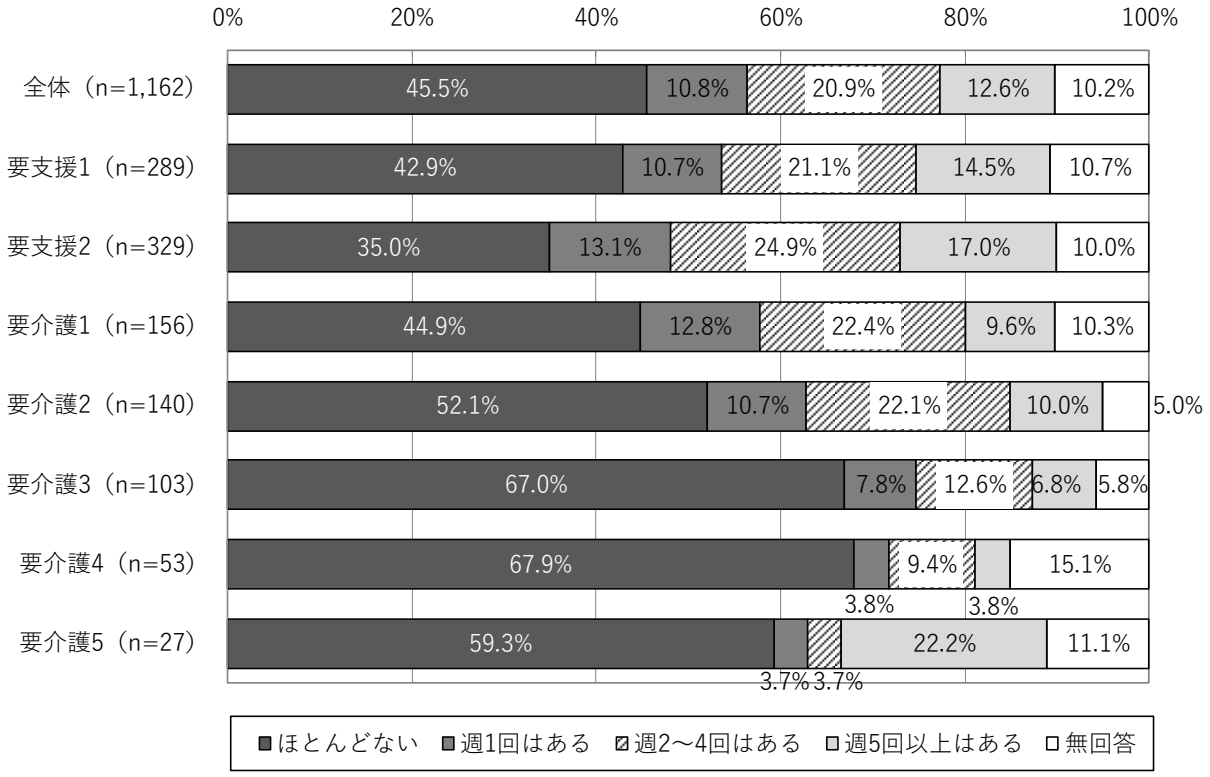


	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世代	その他	無回答	合計
全体	312	379	17	477	289	28	1,502
要支援1	109	119	3	102	65	3	401
要支援2	122	116	5	136	72	7	458
要介護1	37	39	3	67	47	1	194
要介護2	20	41	2	66	31	2	162
要介護3	8	19	1	47	36	0	111
要介護4	2	7	1	26	19	0	55
要介護5	1	7	1	14	5	0	28
全体(n=1,502)	20.8%	25.2%	1.1%	31.8%	19.2%	1.9%	100.0%
要支援1(n=401)	27.2%	29.7%	0.7%	25.4%	16.2%	0.7%	100.0%
要支援2(n=458)	26.6%	25.3%	1.1%	29.7%	15.7%	1.5%	100.0%
要介護1(n=194)	19.1%	20.1%	1.5%	34.5%	24.2%	0.5%	100.0%
要介護2(n=162)	12.3%	25.3%	1.2%	40.7%	19.1%	1.2%	100.0%
要介護3(n=111)	7.2%	17.1%	0.9%	42.3%	32.4%	0.0%	100.0%
要介護4(n=55)	3.6%	12.7%	1.8%	47.3%	34.5%	0.0%	100.0%
要介護5(n=28)	3.6%	25.0%	3.6%	50.0%	17.9%	0.0%	100.0%

【問 1 で「1 人暮らし」以外の方】

問 1-1　日中、1 人になることがありますか。

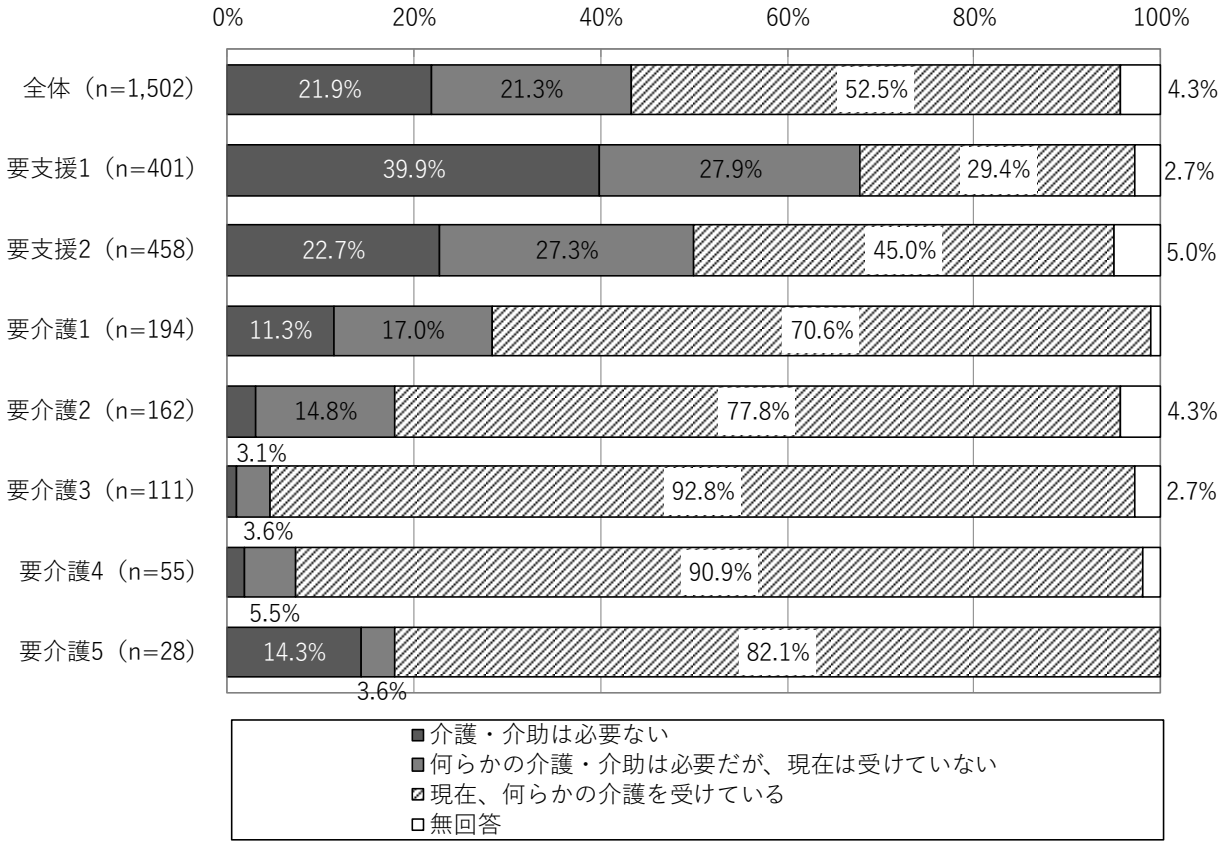
「ほとんどない」が 45.5%と最も多く、次いで「週 2～4 回はある」が 20.9%、「週 5 回以上はある」が 12.6%となっています。



	ほとんどない	週1回はある	週2～4回はある	週5回以上はある	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	529	126	243	146	118	1,162	340	1,502
要支援1	124	31	61	42	31	289	112	401
要支援2	115	43	82	56	33	329	129	458
要介護1	70	20	35	15	16	156	38	194
要介護2	73	15	31	14	7	140	22	162
要介護3	69	8	13	7	6	103	8	111
要介護4	36	2	5	2	8	53	2	55
要介護5	16	1	1	6	3	27	1	28
全体(n=1,162)	45.5%	10.8%	20.9%	12.6%	10.2%	100.0%		
要支援1(n=289)	42.9%	10.7%	21.1%	14.5%	10.7%	100.0%		
要支援2(n=329)	35.0%	13.1%	24.9%	17.0%	10.0%	100.0%		
要介護1(n=156)	44.9%	12.8%	22.4%	9.6%	10.3%	100.0%		
要介護2(n=140)	52.1%	10.7%	22.1%	10.0%	5.0%	100.0%		
要介護3(n=103)	67.0%	7.8%	12.6%	6.8%	5.8%	100.0%		
要介護4(n=53)	67.9%	3.8%	9.4%	3.8%	15.1%	100.0%		
要介護5(n=27)	59.3%	3.7%	3.7%	22.2%	11.1%	100.0%		

問 2　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 52.5%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 21.3%、「介護・介助は必要ない」が 21.9%となっています。

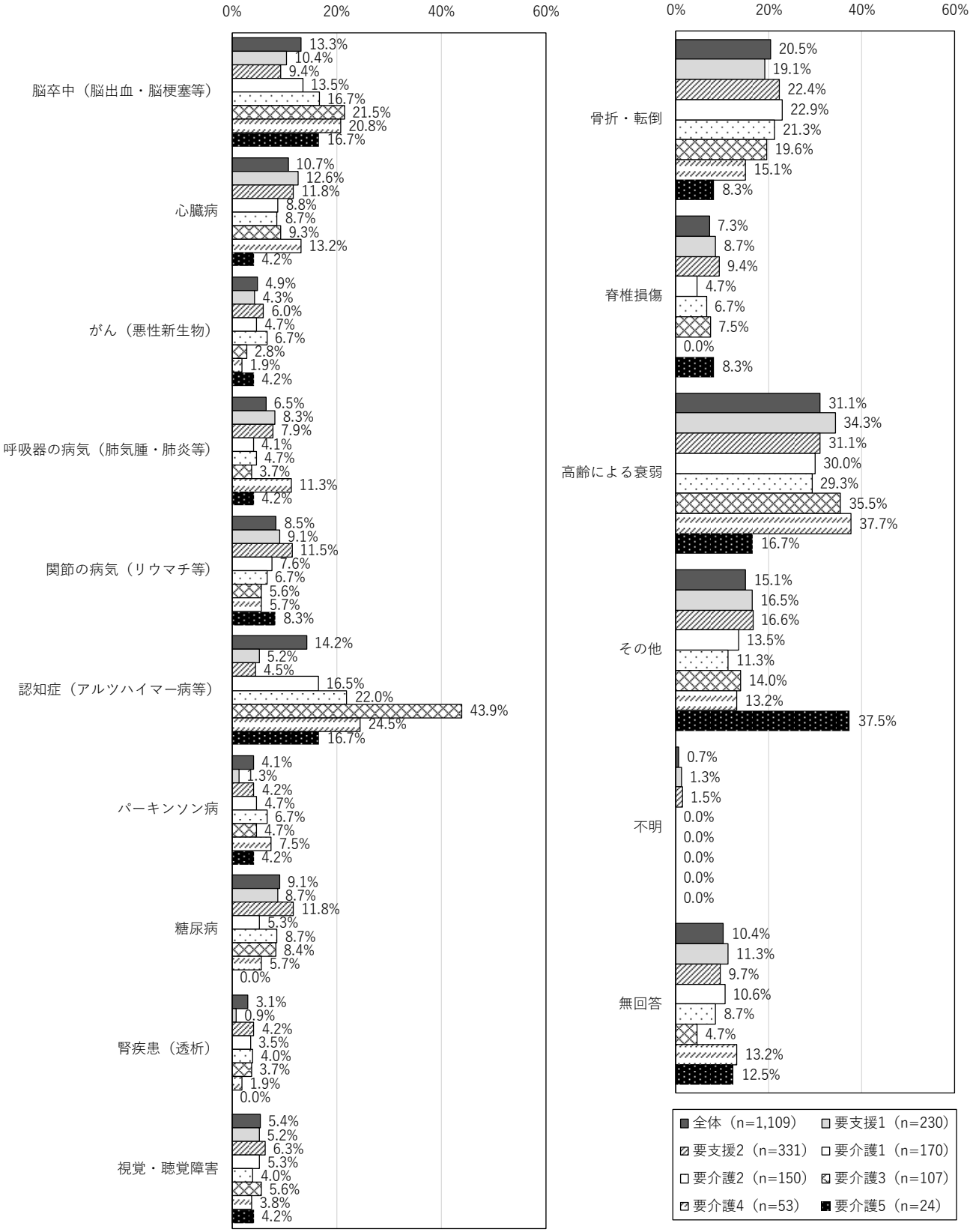


	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	無回答	合計
全体	329	320	789	64	1,502
要支援1	160	112	118	11	401
要支援2	104	125	206	23	458
要介護1	22	33	137	2	194
要介護2	5	24	126	7	162
要介護3	1	4	103	3	111
要介護4	1	3	50	1	55
要介護5	4	1	23	0	28
全体(n=1,502)	21.9%	21.3%	52.5%	4.3%	100.0%
要支援1(n=401)	39.9%	27.9%	29.4%	2.7%	100.0%
要支援2(n=458)	22.7%	27.3%	45.0%	5.0%	100.0%
要介護1(n=194)	11.3%	17.0%	70.6%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	3.1%	14.8%	77.8%	4.3%	100.0%
要介護3(n=111)	0.9%	3.6%	92.8%	2.7%	100.0%
要介護4(n=55)	1.8%	5.5%	90.9%	1.8%	100.0%
要介護5(n=28)	14.3%	3.6%	82.1%	0.0%	100.0%

【問２において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 2-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも）

介護•介助が必要になった主な原因では､「高齢による衰弱」が 31.1%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 20.5%となっています。



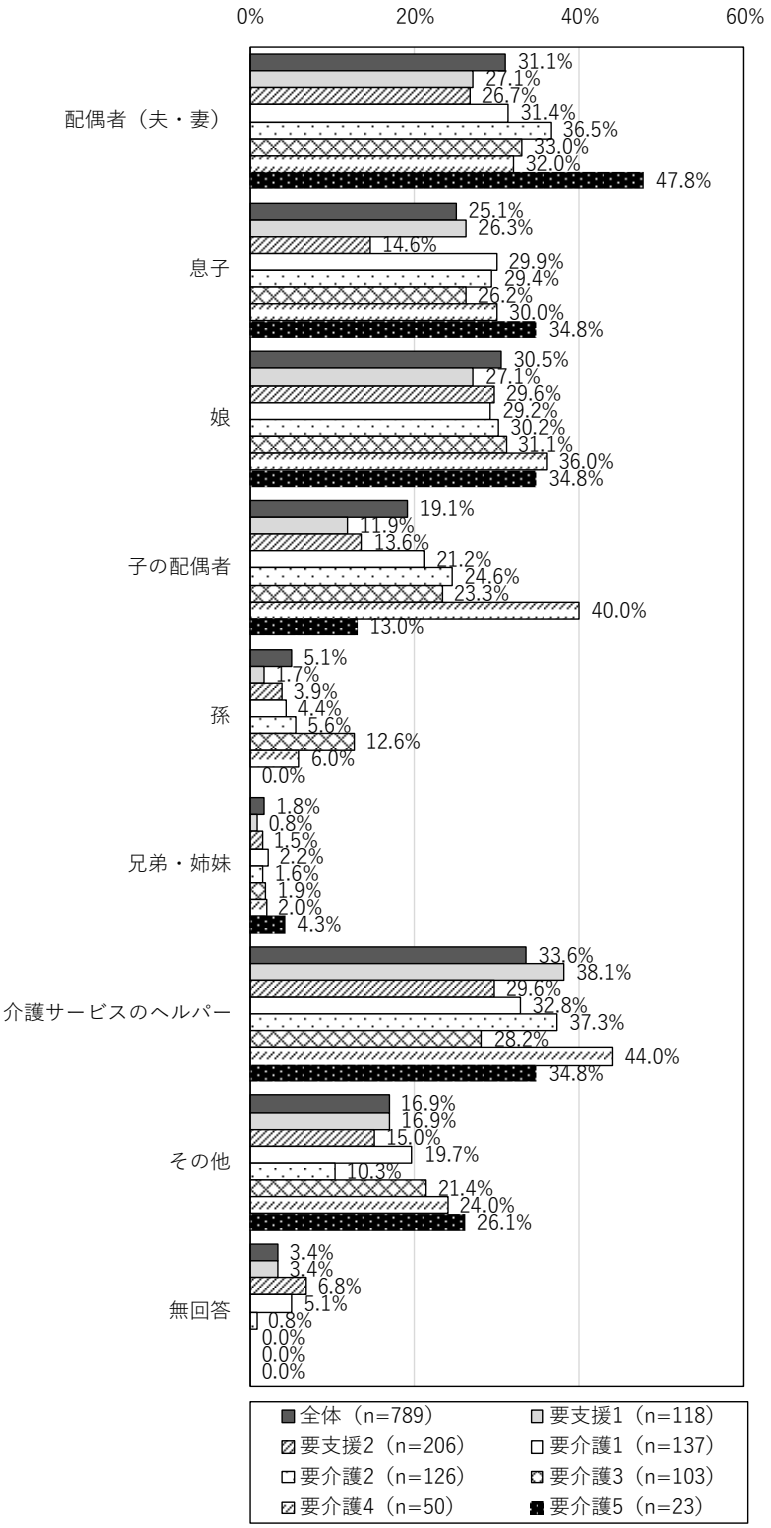
	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害
全体	147	119	54	72	94	158	46	101	34	60
要支援1	24	29	10	19	21	12	3	20	2	12
要支援2	31	39	20	26	38	15	14	39	14	21
要介護1	23	15	8	7	13	28	8	9	6	9
要介護2	25	13	10	7	10	33	10	13	6	6
要介護3	23	10	3	4	6	47	5	9	4	6
要介護4	11	7	1	6	3	13	4	3	1	2
要介護5	4	1	1	1	2	4	1	0	0	1
全体(n=1,109)	13.3%	10.7%	4.9%	6.5%	8.5%	14.2%	4.1%	9.1%	3.1%	5.4%
要支援1(n=230)	10.4%	12.6%	4.3%	8.3%	9.1%	5.2%	1.3%	8.7%	0.9%	5.2%
要支援2(n=331)	9.4%	11.8%	6.0%	7.9%	11.5%	4.5%	4.2%	11.8%	4.2%	6.3%
要介護1(n=170)	13.5%	8.8%	4.7%	4.1%	7.6%	16.5%	4.7%	5.3%	3.5%	5.3%
要介護2(n=150)	16.7%	8.7%	6.7%	4.7%	6.7%	22.0%	6.7%	8.7%	4.0%	4.0%
要介護3(n=107)	21.5%	9.3%	2.8%	3.7%	5.6%	43.9%	4.7%	8.4%	3.7%	5.6%
要介護4(n=53)	20.8%	13.2%	1.9%	11.3%	5.7%	24.5%	7.5%	5.7%	1.9%	3.8%
要介護5(n=24)	16.7%	4.2%	4.2%	4.2%	8.3%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%

	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	回答者数	非該当	合計	
全体	227	81	345	168	8	115	1,109	393	1,502	
要支援1	44	20	79	38	3	26	230	171	401	
要支援2	74	31	103	55	5	32	331	127	458	
要介護1	39	8	51	23	0	18	170	24	194	
要介護2	32	10	44	17	0	13	150	12	162	
要介護3	21	8	38	15	0	5	107	4	111	
要介護4	8	0	20	7	0	7	53	2	55	
要介護5	2	2	4	9	0	3	24	4	28	
全体(n=1,109)	20.5%	7.3%	31.1%	15.1%	0.7%	10.4%				
要支援1(n=230)	19.1%	8.7%	34.3%	16.5%	1.3%	11.3%				
要支援2(n=331)	22.4%	9.4%	31.1%	16.6%	1.5%	9.7%				
要介護1(n=170)	22.9%	4.7%	30.0%	13.5%	0.0%	10.6%				
要介護2(n=150)	21.3%	6.7%	29.3%	11.3%	0.0%	8.7%				
要介護3(n=107)	19.6%	7.5%	35.5%	14.0%	0.0%	4.7%				
要介護4(n=53)	15.1%	0.0%	37.7%	13.2%	0.0%	13.2%				
要介護5(n=24)	8.3%	8.3%	16.7%	37.5%	0.0%	12.5%				

【問２において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問 2-2　主にどなたの介護・介助を受けていますか。（いくつでも）

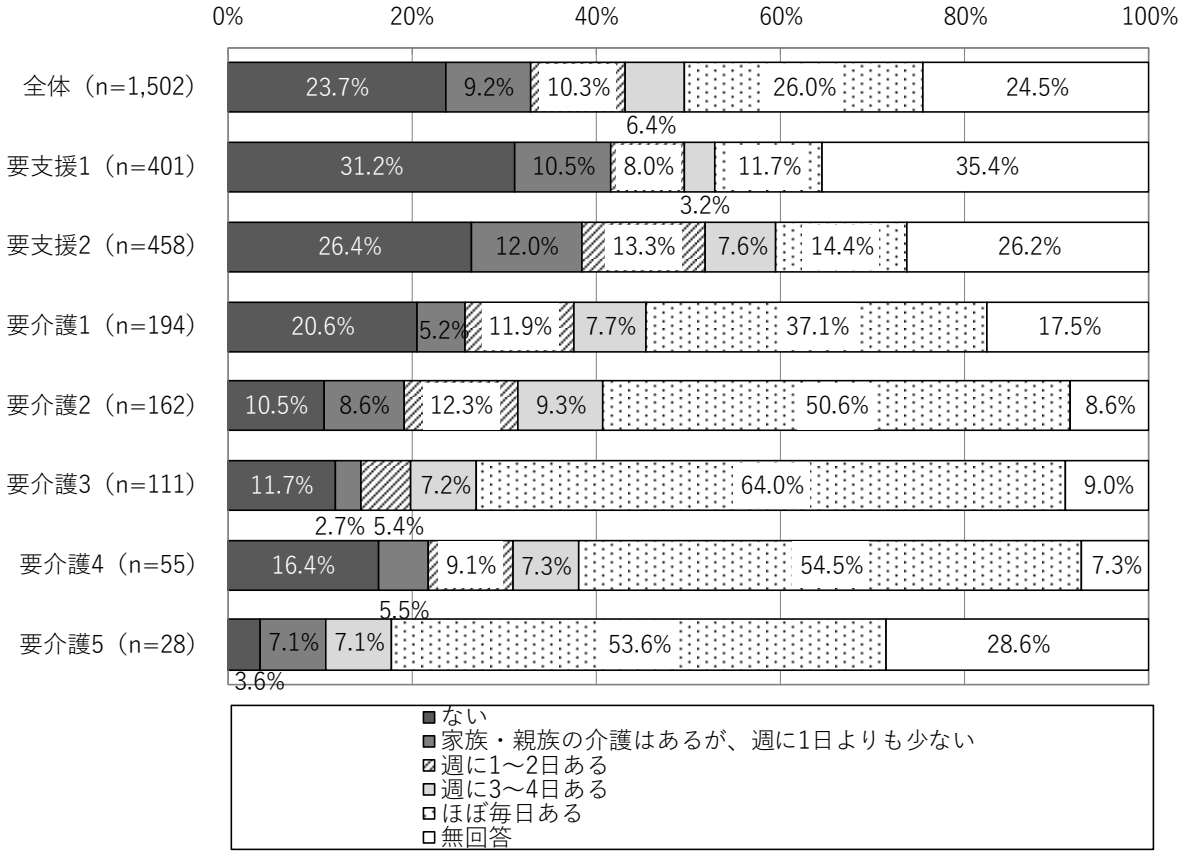
主な介護・介助者では、「介護サービスのヘルパー」が 33.6%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 31.1%、「娘」が 30.5%となっています。



	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	245	198	241	151	40	14	265	133	27	789	713	1,502
要支援1	32	31	32	14	2	1	45	20	4	118	283	401
要支援2	55	30	61	28	8	3	61	31	14	206	252	458
要介護1	43	41	40	29	6	3	45	27	7	137	57	194
要介護2	46	37	38	31	7	2	47	13	1	126	36	162
要介護3	34	27	32	24	13	2	29	22	0	103	8	111
要介護4	16	15	18	20	3	1	22	12	0	50	5	55
要介護5	11	8	8	3	0	1	8	6	0	23	5	28
全体(n=789)	31.1%	25.1%	30.5%	19.1%	5.1%	1.8%	33.6%	16.9%	3.4%			
要支援1(n=118)	27.1%	26.3%	27.1%	11.9%	1.7%	0.8%	38.1%	16.9%	3.4%			
要支援2(n=206)	26.7%	14.6%	29.6%	13.6%	3.9%	1.5%	29.6%	15.0%	6.8%			
要介護1(n=137)	31.4%	29.9%	29.2%	21.2%	4.4%	2.2%	32.8%	19.7%	5.1%			
要介護2(n=126)	36.5%	29.4%	30.2%	24.6%	5.6%	1.6%	37.3%	10.3%	0.8%			
要介護3(n=103)	33.0%	26.2%	31.1%	23.3%	12.6%	1.9%	28.2%	21.4%	0.0%			
要介護4(n=50)	32.0%	30.0%	36.0%	40.0%	6.0%	2.0%	44.0%	24.0%	0.0%			
要介護5(n=23)	47.8%	34.8%	34.8%	13.0%	0.0%	4.3%	34.8%	26.1%	0.0%			

問 2-3　御家族や御親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子や親族等からの介護を含む。）

家族や親族の方からの介護が週にどのくらいあるかでは、「ほぼ毎日ある」が 26.0%と最も多く、次いで「ない」が 23.7%、「週に 1～2 日ある」が 10.3%となっています。

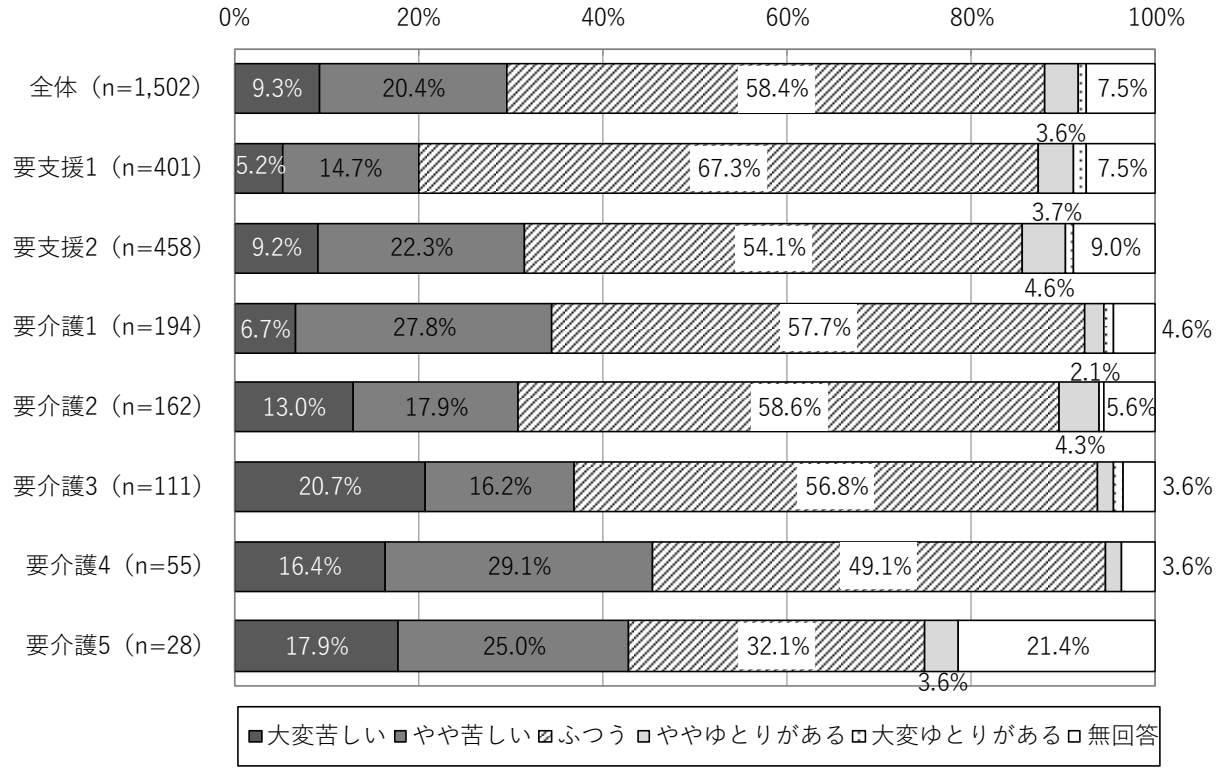


	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	合計
全体	356	138	154	96	390	368	1,502
要支援1	125	42	32	13	47	142	401
要支援2	121	55	61	35	66	120	458
要介護1	40	10	23	15	72	34	194
要介護2	17	14	20	15	82	14	162
要介護3	13	3	6	8	71	10	111
要介護4	9	3	5	4	30	4	55
要介護5	1	2	0	2	15	8	28
全体（n=1,502）	23.7%	9.2%	10.3%	6.4%	26.0%	24.5%	100.0%
要支援1（n=401）	31.2%	10.5%	8.0%	3.2%	11.7%	35.4%	100.0%
要支援2（n=458）	26.4%	12.0%	13.3%	7.6%	14.4%	26.2%	100.0%
要介護1（n=194）	20.6%	5.2%	11.9%	7.7%	37.1%	17.5%	100.0%
要介護2（n=162）	10.5%	8.6%	12.3%	9.3%	50.6%	8.6%	100.0%
要介護3（n=111）	11.7%	2.7%	5.4%	7.2%	64.0%	9.0%	100.0%
要介護4（n=55）	16.4%	5.5%	9.1%	7.3%	54.5%	7.3%	100.0%
要介護5（n=28）	3.6%	7.1%	0.0%	7.1%	53.6%	28.6%	100.0%

問 3　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

暮らしの状況では、「ふつう」が 58.4%と最も多くなっています。

「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が 29.7%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が 4.5%となっています。

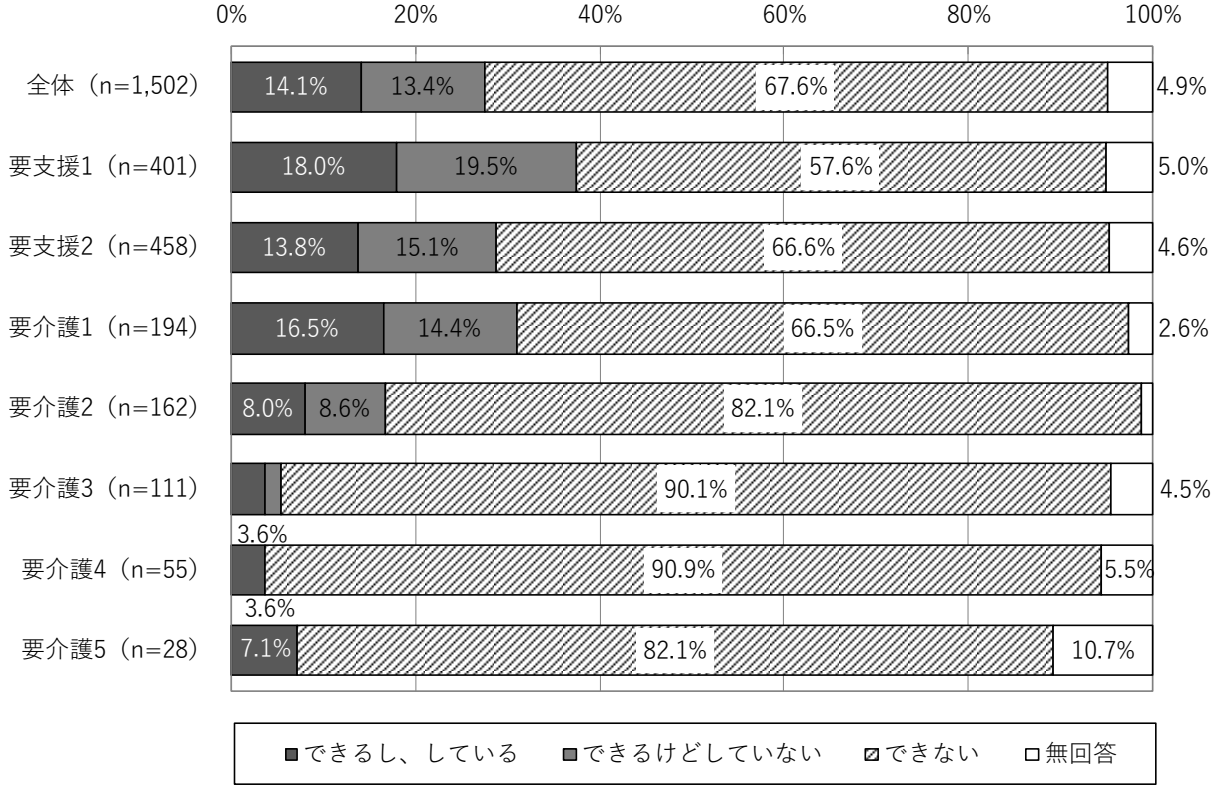


	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	合計
全体	139	306	877	54	14	112	1,502
要支援1	21	59	270	15	6	30	401
要支援2	42	102	248	21	4	41	458
要介護1	13	54	112	4	2	9	194
要介護2	21	29	95	7	1	9	162
要介護3	23	18	63	2	1	4	111
要介護4	9	16	27	1	0	2	55
要介護5	5	7	9	1	0	6	28
全体（n=1,502）	9.3%	20.4%	58.4%	3.6%	0.9%	7.5%	100.0%
要支援1（n=401）	5.2%	14.7%	67.3%	3.7%	1.5%	7.5%	100.0%
要支援2（n=458）	9.2%	22.3%	54.1%	4.6%	0.9%	9.0%	100.0%
要介護1（n=194）	6.7%	27.8%	57.7%	2.1%	1.0%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	13.0%	17.9%	58.6%	4.3%	0.6%	5.6%	100.0%
要介護3（n=111）	20.7%	16.2%	56.8%	1.8%	0.9%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	16.4%	29.1%	49.1%	1.8%	0.0%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	17.9%	25.0%	32.1%	3.6%	0.0%	21.4%	100.0%

（3）からだを動かすことについて

問１　階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。

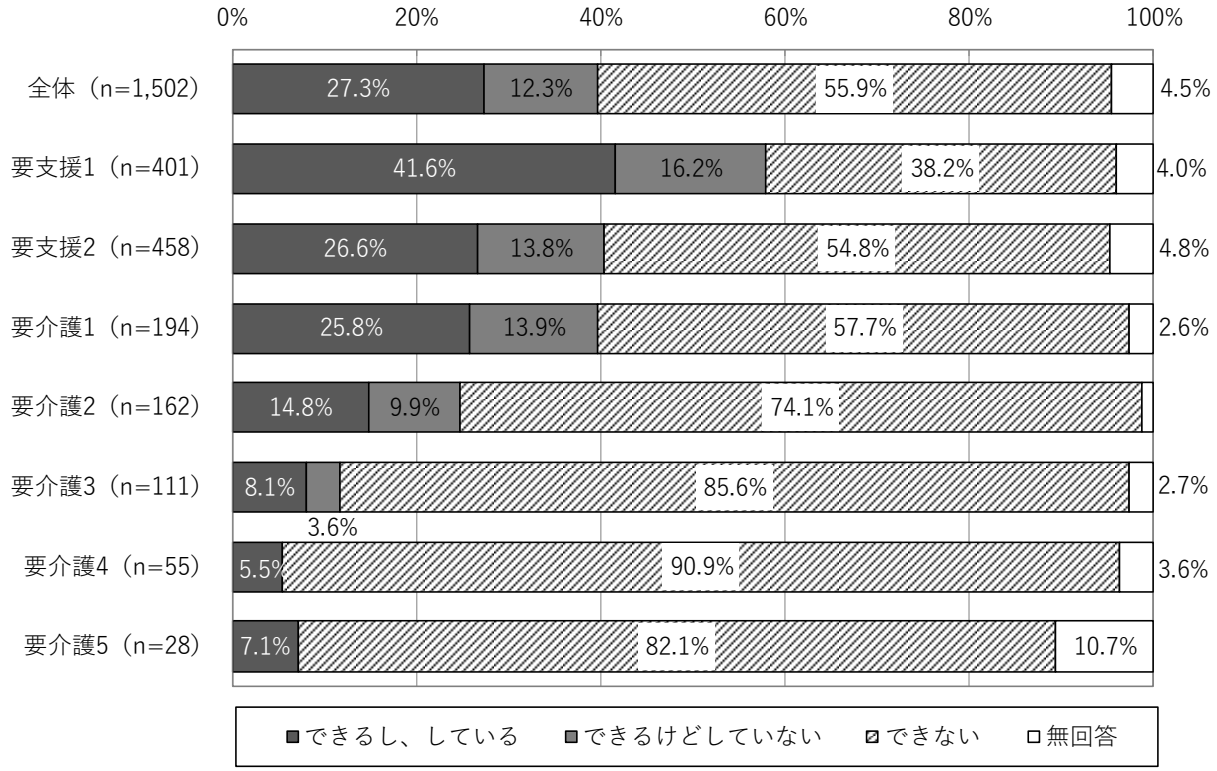
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているかでは、「できない」が 67.6%と最も多く、次いで「できるし、している」が 14.1%、「できるけどしていない」が 13.4%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	212	201	1,016	73	1,502
要支援1	72	78	231	20	401
要支援2	63	69	305	21	458
要介護1	32	28	129	5	194
要介護2	13	14	133	2	162
要介護3	4	2	100	5	111
要介護4	2	0	50	3	55
要介護5	2	0	23	3	28
全体(n=1,502)	14.1%	13.4%	67.6%	4.9%	100.0%
要支援1(n=401)	18.0%	19.5%	57.6%	5.0%	100.0%
要支援2(n=458)	13.8%	15.1%	66.6%	4.6%	100.0%
要介護1(n=194)	16.5%	14.4%	66.5%	2.6%	100.0%
要介護2(n=162)	8.0%	8.6%	82.1%	1.2%	100.0%
要介護3(n=111)	3.6%	1.8%	90.1%	4.5%	100.0%
要介護4(n=55)	3.6%	0.0%	90.9%	5.5%	100.0%
要介護5(n=28)	7.1%	0.0%	82.1%	10.7%	100.0%

問 2　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

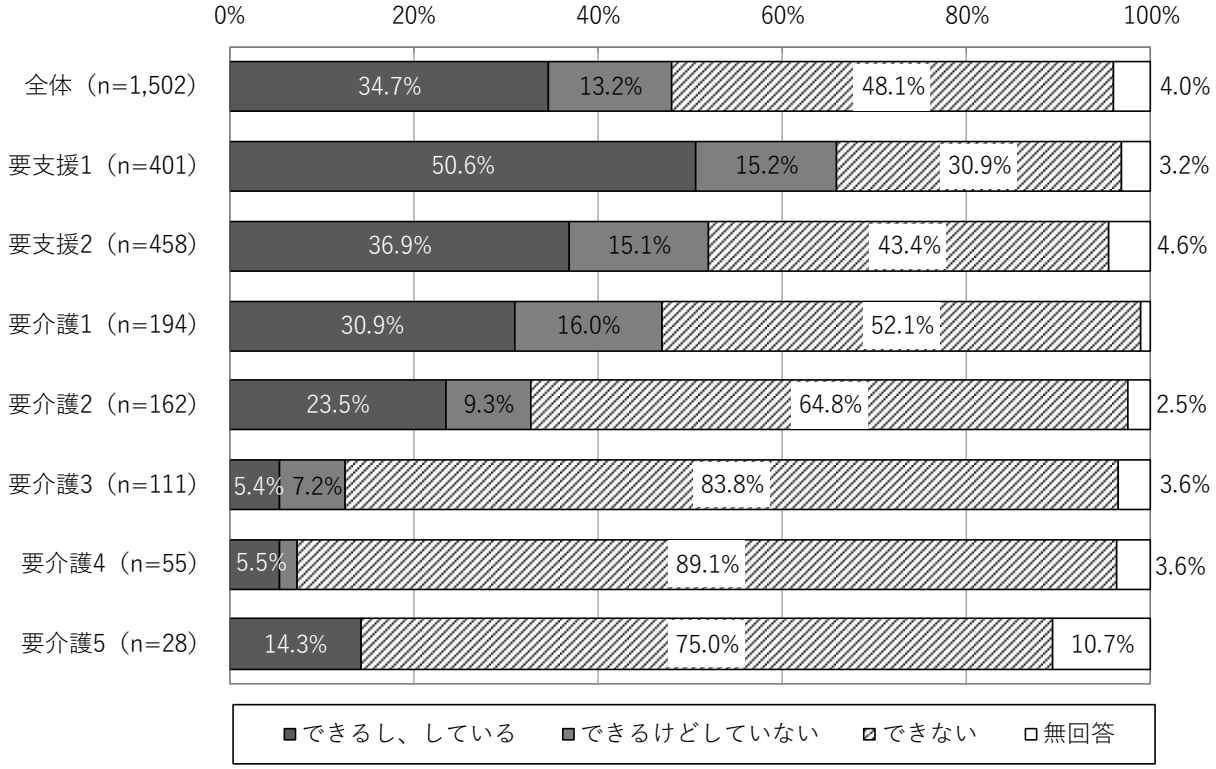
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかでは、「できない」が 55.9%と最も多く、次いで「できるし、している」が 27.3%、「できるけどしていない」が 12.3%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	410	185	839	68	1,502
要支援1	167	65	153	16	401
要支援2	122	63	251	22	458
要介護1	50	27	112	5	194
要介護2	24	16	120	2	162
要介護3	9	4	95	3	111
要介護4	3	0	50	2	55
要介護5	2	0	23	3	28
全体（n=1,502）	27.3%	12.3%	55.9%	4.5%	100.0%
要支援1（n=401）	41.6%	16.2%	38.2%	4.0%	100.0%
要支援2（n=458）	26.6%	13.8%	54.8%	4.8%	100.0%
要介護1（n=194）	25.8%	13.9%	57.7%	2.6%	100.0%
要介護2（n=162）	14.8%	9.9%	74.1%	1.2%	100.0%
要介護3（n=111）	8.1%	3.6%	85.6%	2.7%	100.0%
要介護4（n=55）	5.5%	0.0%	90.9%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	7.1%	0.0%	82.1%	10.7%	100.0%

問 3　15 分位続けて歩いていますか。

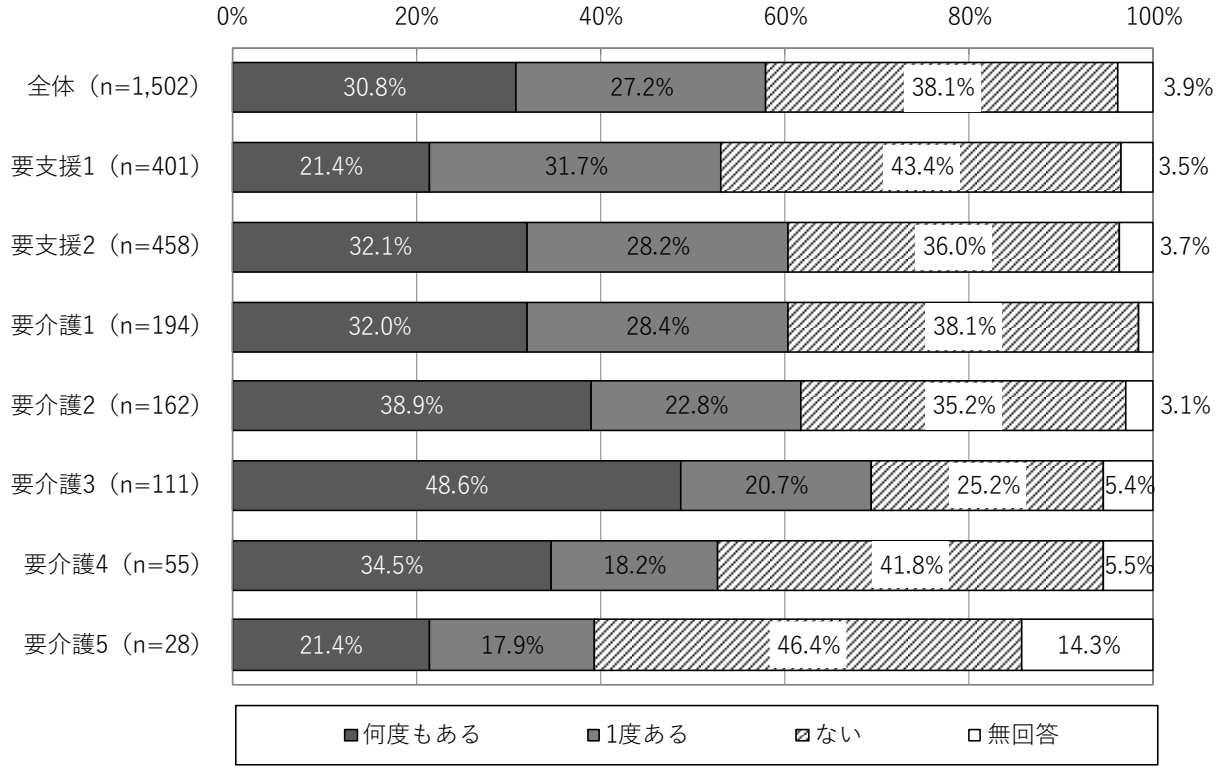
15 分位続けて歩いているかでは、「できない」が 48.1%と最も多く、次いで「できるし、している」が 34.7%、「できるけどしていない」が 13.2%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	521	199	722	60	1,502
要支援1	203	61	124	13	401
要支援2	169	69	199	21	458
要介護1	60	31	101	2	194
要介護2	38	15	105	4	162
要介護3	6	8	93	4	111
要介護4	3	1	49	2	55
要介護5	4	0	21	3	28
全体（n=1,502）	34.7%	13.2%	48.1%	4.0%	100.0%
要支援1（n=401）	50.6%	15.2%	30.9%	3.2%	100.0%
要支援2（n=458）	36.9%	15.1%	43.4%	4.6%	100.0%
要介護1（n=194）	30.9%	16.0%	52.1%	1.0%	100.0%
要介護2（n=162）	23.5%	9.3%	64.8%	2.5%	100.0%
要介護3（n=111）	5.4%	7.2%	83.8%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	5.5%	1.8%	89.1%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	14.3%	0.0%	75.0%	10.7%	100.0%

問４　過去１年間に転んだ経験がありますか。

過去１年間に転んだ経験があるかでは、「何度もある」が 30.8%、「1 度ある」が 27.2%、「ない」が 38.1%となっています。

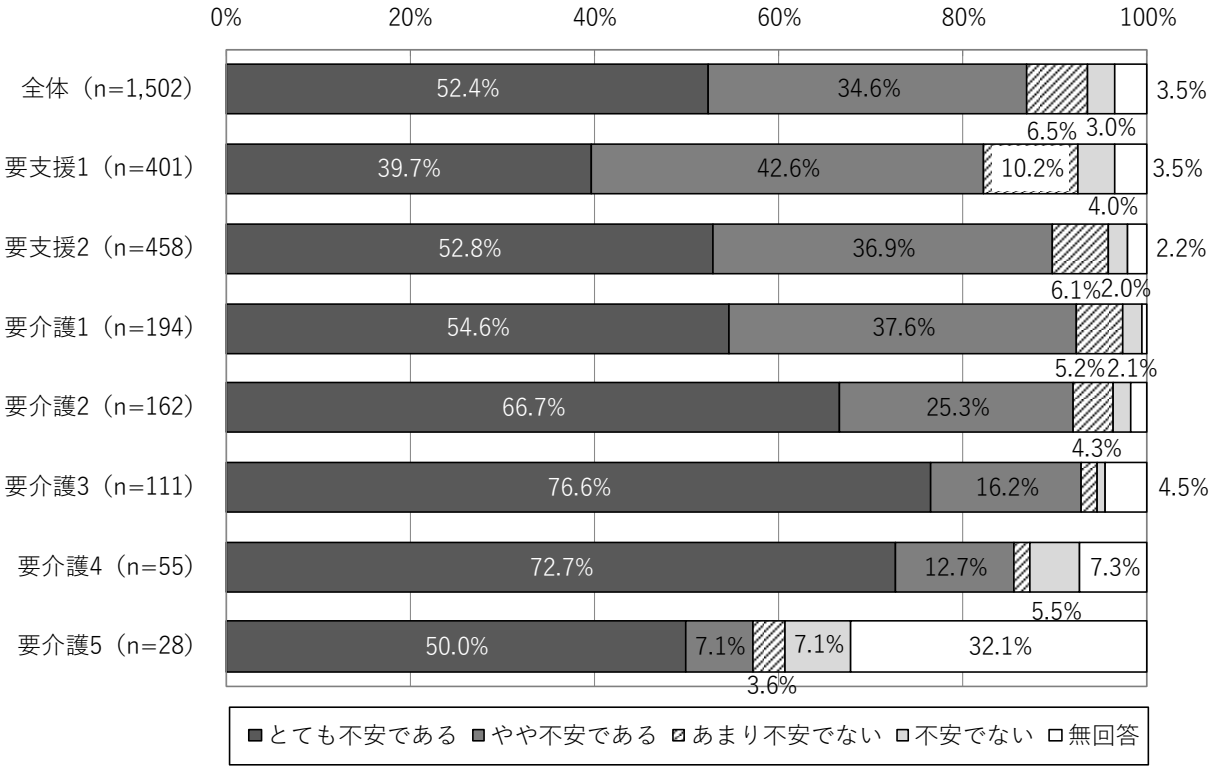


	何度もある	1度ある	ない	無回答	合計
全体	463	408	573	58	1,502
要支援1	86	127	174	14	401
要支援2	147	129	165	17	458
要介護1	62	55	74	3	194
要介護2	63	37	57	5	162
要介護3	54	23	28	6	111
要介護4	19	10	23	3	55
要介護5	6	5	13	4	28
全体（n=1,502）	30.8%	27.2%	38.1%	3.9%	100.0%
要支援1（n=401）	21.4%	31.7%	43.4%	3.5%	100.0%
要支援2（n=458）	32.1%	28.2%	36.0%	3.7%	100.0%
要介護1（n=194）	32.0%	28.4%	38.1%	1.5%	100.0%
要介護2（n=162）	38.9%	22.8%	35.2%	3.1%	100.0%
要介護3（n=111）	48.6%	20.7%	25.2%	5.4%	100.0%
要介護4（n=55）	34.5%	18.2%	41.8%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	21.4%	17.9%	46.4%	14.3%	100.0%

問 5　転倒に対する不安は大きいですか。

転倒に対する不安では、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた『不安である』が 87.0%となっています。

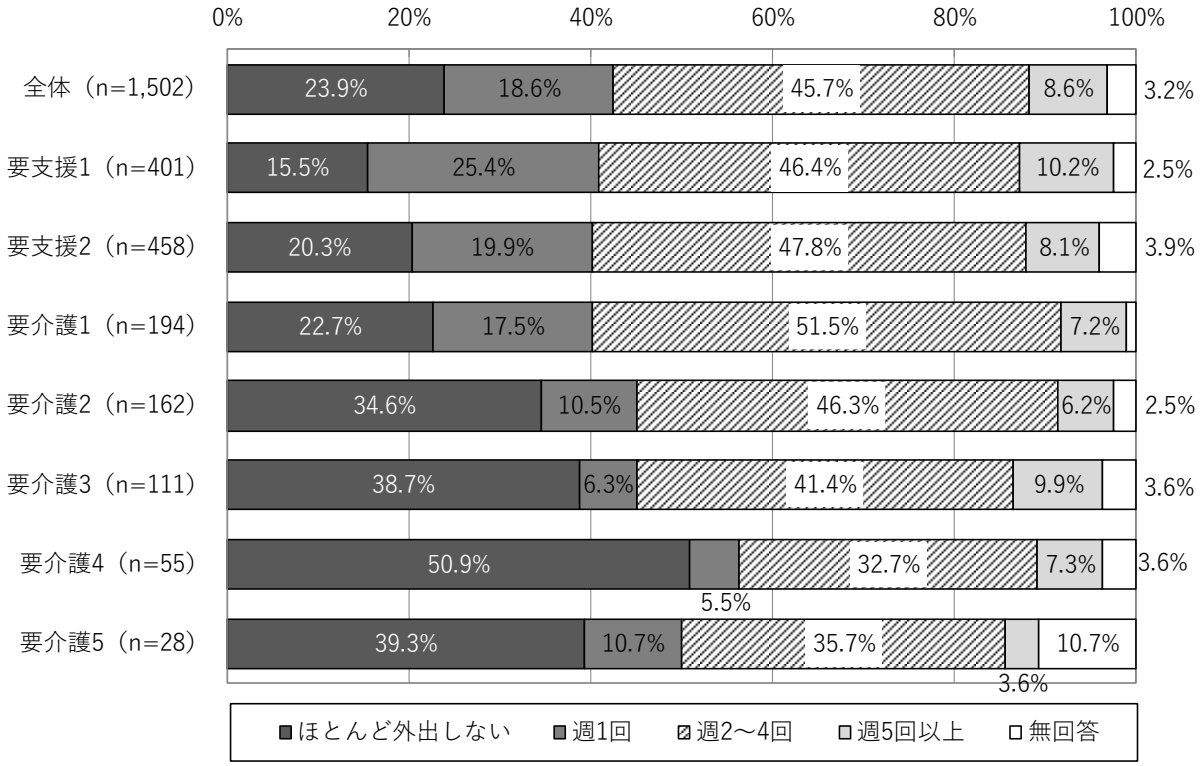
また、「あまり不安でない」「あまり不安でない」を合わせた『不安でない』が 9.5%となっています。



	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	合計
全体	787	519	98	45	53	1,502
要支援1	159	171	41	16	14	401
要支援2	242	169	28	9	10	458
要介護1	106	73	10	4	1	194
要介護2	108	41	7	3	3	162
要介護3	85	18	2	1	5	111
要介護4	40	7	1	3	4	55
要介護5	14	2	1	2	9	28
全体(n=1,502)	52.4%	34.6%	6.5%	3.0%	3.5%	100.0%
要支援1(n=401)	39.7%	42.6%	10.2%	4.0%	3.5%	100.0%
要支援2(n=458)	52.8%	36.9%	6.1%	2.0%	2.2%	100.0%
要介護1(n=194)	54.6%	37.6%	5.2%	2.1%	0.5%	100.0%
要介護2(n=162)	66.7%	25.3%	4.3%	1.9%	1.9%	100.0%
要介護3(n=111)	76.6%	16.2%	1.8%	0.9%	4.5%	100.0%
要介護4(n=55)	72.7%	12.7%	1.8%	5.5%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	50.0%	7.1%	3.6%	7.1%	32.1%	100.0%

問 6　週に 1 回以上は外出していますか。

週に 1 回以上は外出しているかでは、「週 2～4 回」が 45.7%と最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が 23.9%、「週 1 回」が 18.6%となっています。

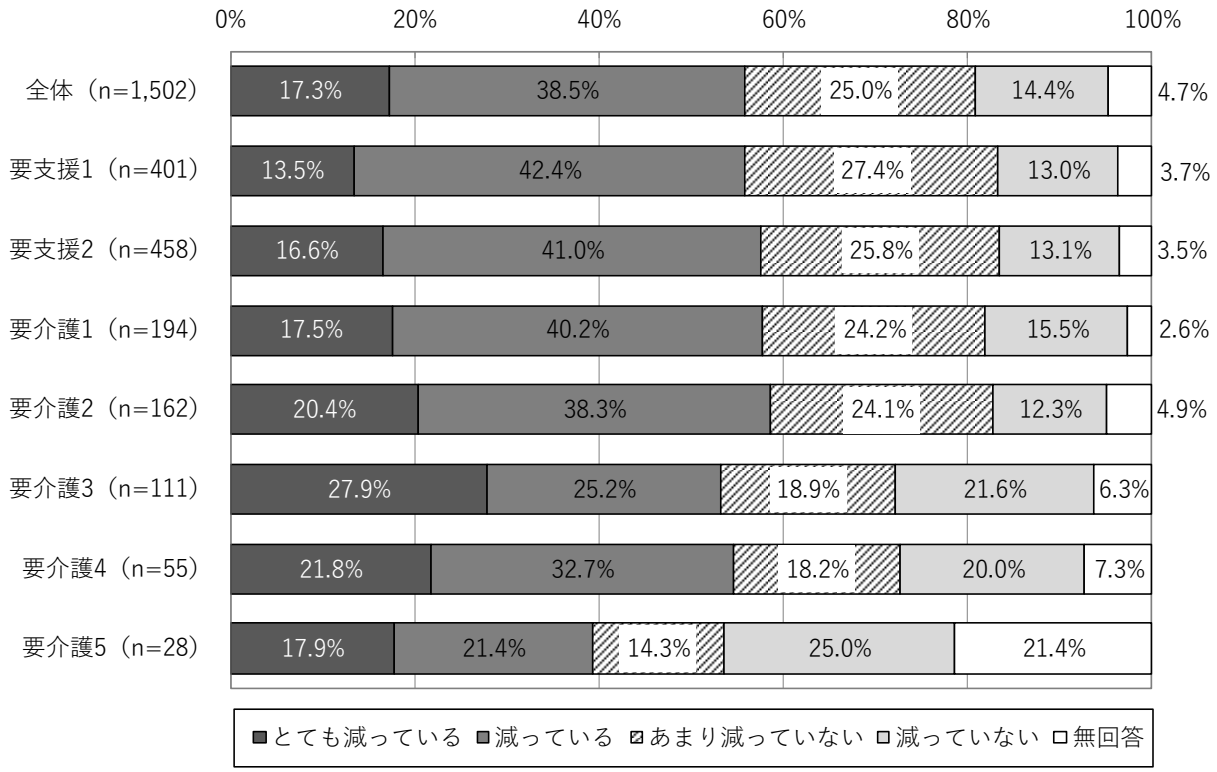


	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	合計
全体	359	280	686	129	48	1,502
要支援1	62	102	186	41	10	401
要支援2	93	91	219	37	18	458
要介護1	44	34	100	14	2	194
要介護2	56	17	75	10	4	162
要介護3	43	7	46	11	4	111
要介護4	28	3	18	4	2	55
要介護5	11	3	10	1	3	28
全体(n=1,502)	23.9%	18.6%	45.7%	8.6%	3.2%	100.0%
要支援1(n=401)	15.5%	25.4%	46.4%	10.2%	2.5%	100.0%
要支援2(n=458)	20.3%	19.9%	47.8%	8.1%	3.9%	100.0%
要介護1(n=194)	22.7%	17.5%	51.5%	7.2%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	34.6%	10.5%	46.3%	6.2%	2.5%	100.0%
要介護3(n=111)	38.7%	6.3%	41.4%	9.9%	3.6%	100.0%
要介護4(n=55)	50.9%	5.5%	32.7%	7.3%	3.6%	100.0%
要介護5(n=28)	39.3%	10.7%	35.7%	3.6%	10.7%	100.0%

問 7　昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、「とても減っている」「減っている」を合わせた『減っている』が 55.8%となっています。

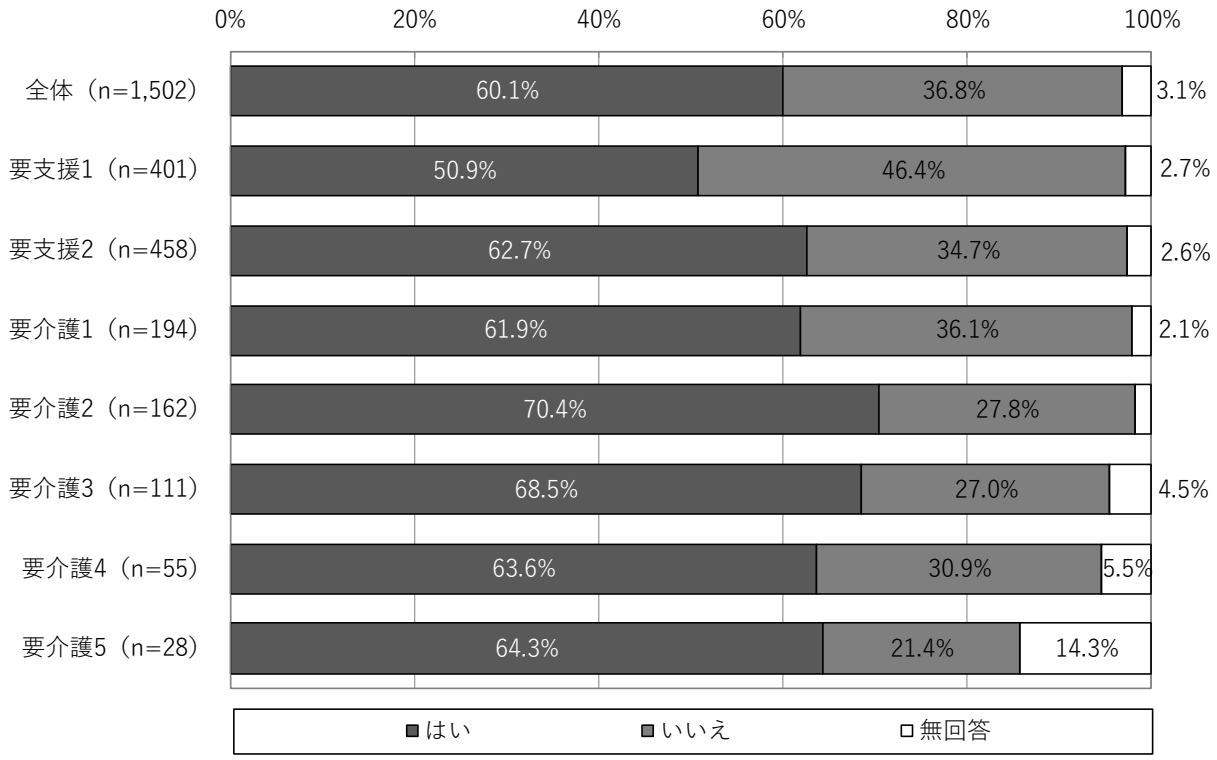
また、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた『減っていない』が 39.4%となっています。



	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	合計
全体	260	578	376	217	71	1,502
要支援1	54	170	110	52	15	401
要支援2	76	188	118	60	16	458
要介護1	34	78	47	30	5	194
要介護2	33	62	39	20	8	162
要介護3	31	28	21	24	7	111
要介護4	12	18	10	11	4	55
要介護5	5	6	4	7	6	28
全体(n=1,502)	17.3%	38.5%	25.0%	14.4%	4.7%	100.0%
要支援1(n=401)	13.5%	42.4%	27.4%	13.0%	3.7%	100.0%
要支援2(n=458)	16.6%	41.0%	25.8%	13.1%	3.5%	100.0%
要介護1(n=194)	17.5%	40.2%	24.2%	15.5%	2.6%	100.0%
要介護2(n=162)	20.4%	38.3%	24.1%	12.3%	4.9%	100.0%
要介護3(n=111)	27.9%	25.2%	18.9%	21.6%	6.3%	100.0%
要介護4(n=55)	21.8%	32.7%	18.2%	20.0%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	17.9%	21.4%	14.3%	25.0%	21.4%	100.0%

問８　外出を控えていますか。

外出を控えているかでは、「はい」が 60.1%、「いいえ」が 36.8%となっています。

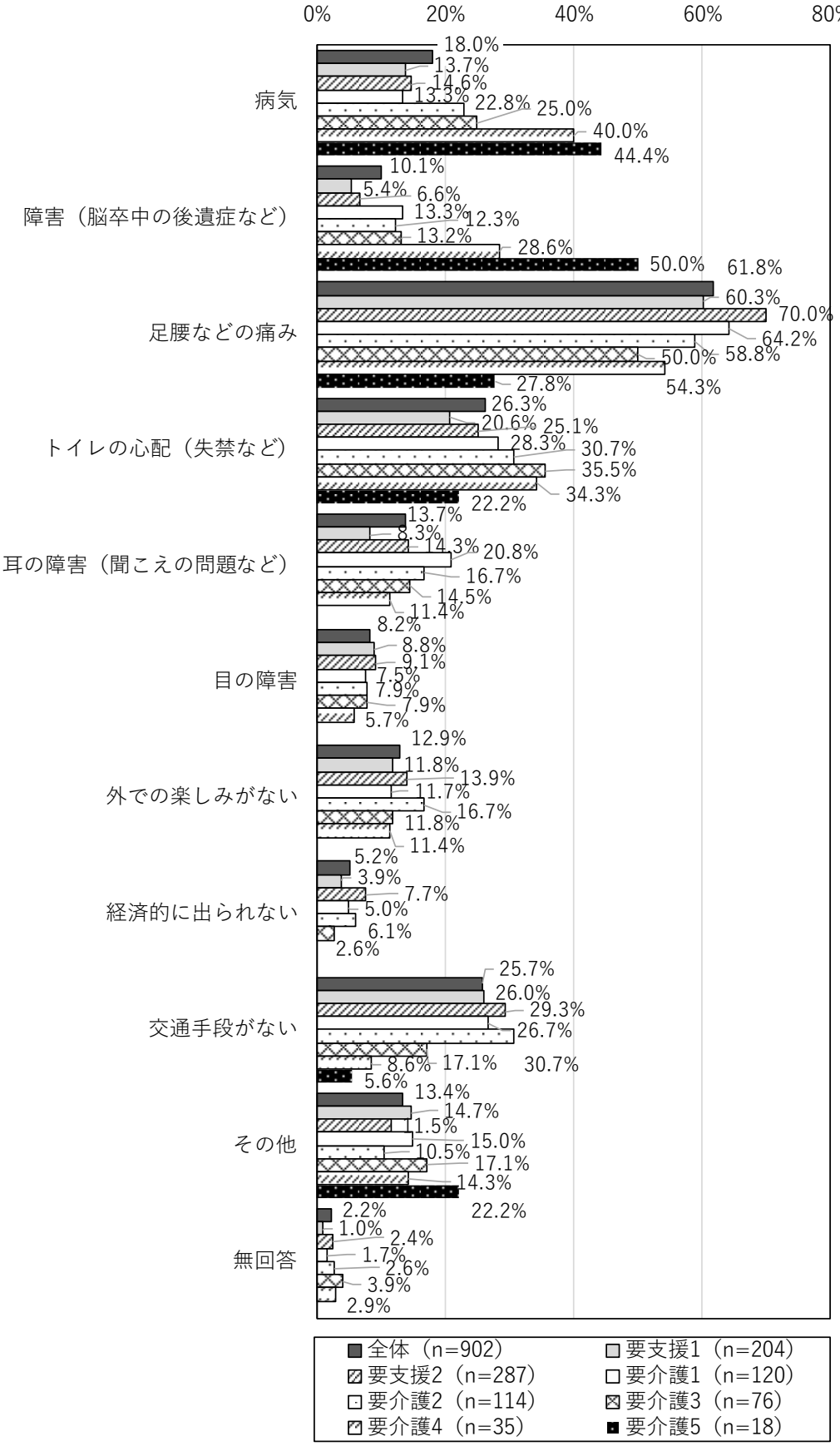


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	902	553	47	1,502
要支援1	204	186	11	401
要支援2	287	159	12	458
要介護1	120	70	4	194
要介護2	114	45	3	162
要介護3	76	30	5	111
要介護4	35	17	3	55
要介護5	18	6	4	28
全体（n=1,502）	60.1%	36.8%	3.1%	100.0%
要支援1（n=401）	50.9%	46.4%	2.7%	100.0%
要支援2（n=458）	62.7%	34.7%	2.6%	100.0%
要介護1（n=194）	61.9%	36.1%	2.1%	100.0%
要介護2（n=162）	70.4%	27.8%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	68.5%	27.0%	4.5%	100.0%
要介護4（n=55）	63.6%	30.9%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	64.3%	21.4%	14.3%	100.0%

【問８で「はい」（外出を控えている）の方のみ】

問 8-1　外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

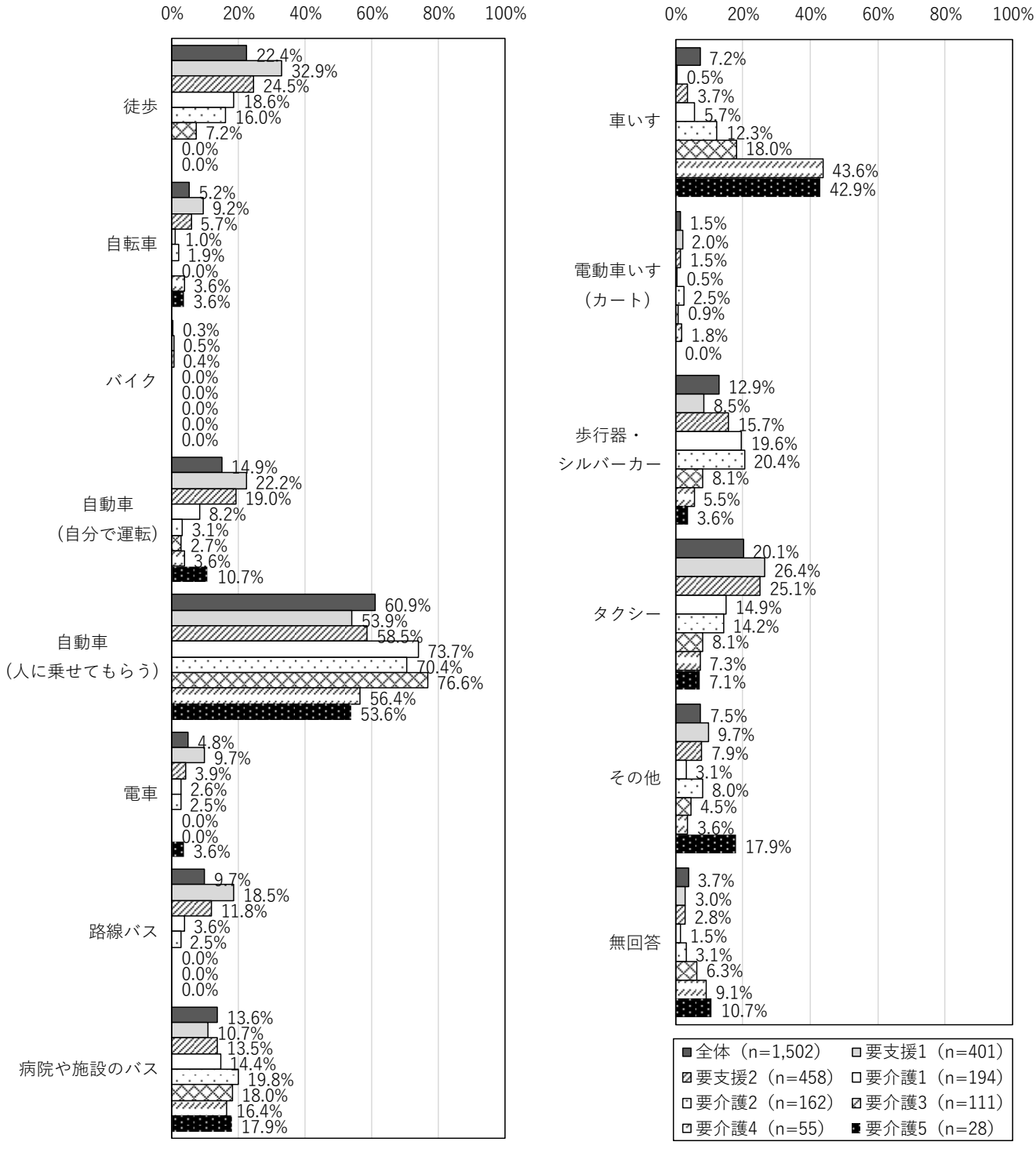
外出を控えている理由では、「足腰などの痛み」が 61.8%と最も多く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が 26.3%、「交通手段がない」が 25.7%となっています。



	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	162	91	557	237	124	74	116	47	232	121	20	902	600	1,502
要支援1	28	11	123	42	17	18	24	8	53	30	2	204	197	401
要支援2	42	19	201	72	41	26	40	22	84	33	7	287	171	458
要介護1	16	16	77	34	25	9	14	6	32	18	2	120	74	194
要介護2	26	14	67	35	19	9	19	7	35	12	3	114	48	162
要介護3	19	10	38	27	11	6	9	2	13	13	3	76	35	111
要介護4	14	10	19	12	4	2	4	0	3	5	1	35	20	55
要介護5	8	9	5	4	0	0	0	0	1	4	0	18	10	28
全体（n=902）	18.0%	10.1%	61.8%	26.3%	13.7%	8.2%	12.9%	5.2%	25.7%	13.4%	2.2%			
要支援1（n=204）	13.7%	5.4%	60.3%	20.6%	8.3%	8.8%	11.8%	3.9%	26.0%	14.7%	1.0%			
要支援2（n=287）	14.6%	6.6%	70.0%	25.1%	14.3%	9.1%	13.9%	7.7%	29.3%	11.5%	2.4%			
要介護1（n=120）	13.3%	13.3%	64.2%	28.3%	20.8%	7.5%	11.7%	5.0%	26.7%	15.0%	1.7%			
要介護2（n=114）	22.8%	12.3%	58.8%	30.7%	16.7%	7.9%	16.7%	6.1%	30.7%	10.5%	2.6%			
要介護3（n=76）	25.0%	13.2%	50.0%	35.5%	14.5%	7.9%	11.8%	2.6%	17.1%	17.1%	3.9%			
要介護4（n=35）	40.0%	28.6%	54.3%	34.3%	11.4%	5.7%	11.4%	0.0%	8.6%	14.3%	2.9%			
要介護5（n=18）	44.4%	50.0%	27.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	22.2%	0.0%			

問９　外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも）

外出する際の移動手段では、「自動車（人に乗せてもらう）」が 60.9%と最も多く、次いで「徒歩」が 22.4%、「タクシー」が 20.1%となっています。



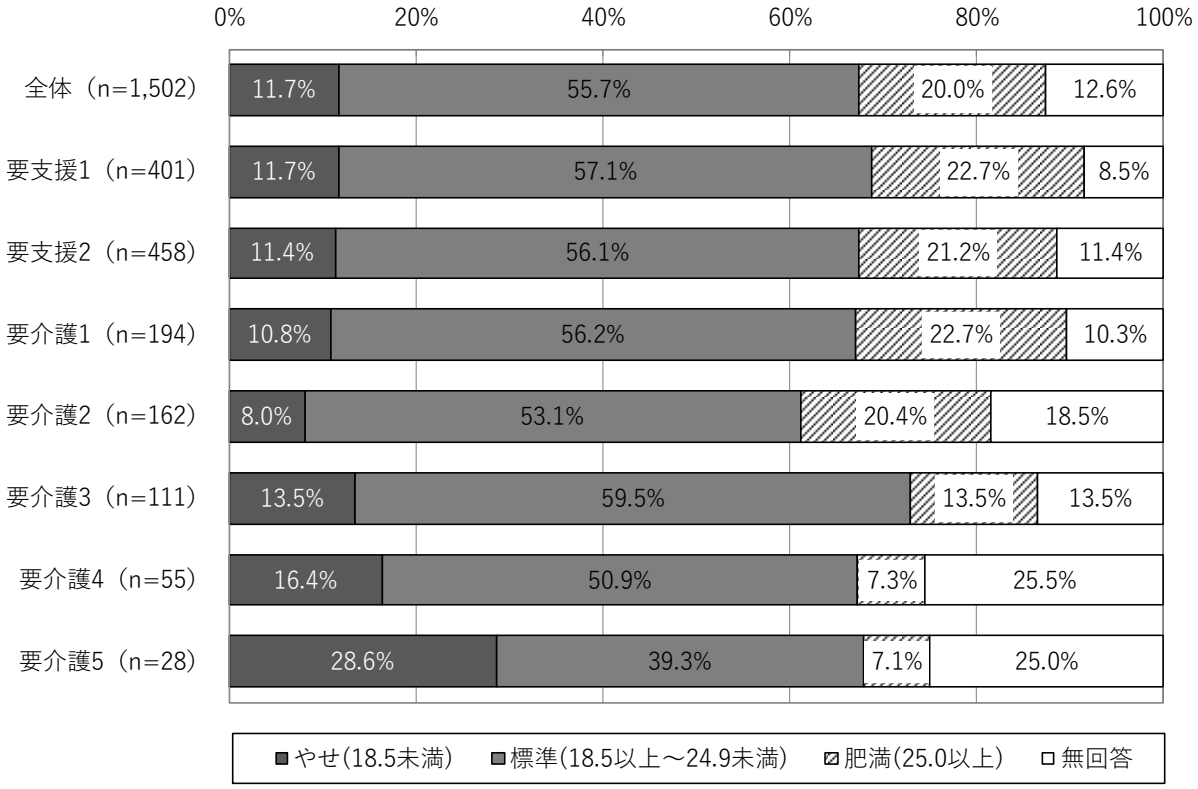
	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス
全体	336	78	5	224	914	72	146	205
要支援1	132	37	2	89	216	39	74	43
要支援2	112	26	2	87	268	18	54	62
要介護1	36	2	0	16	143	5	7	28
要介護2	26	3	0	5	114	4	4	32
要介護3	8	0	0	3	85	0	0	20
要介護4	0	2	0	2	31	0	0	9
要介護5	0	1	0	3	15	1	0	5
全体(n=1,502)	22.4%	5.2%	0.3%	14.9%	60.9%	4.8%	9.7%	13.6%
要支援1(n=401)	32.9%	9.2%	0.5%	22.2%	53.9%	9.7%	18.5%	10.7%
要支援2(n=458)	24.5%	5.7%	0.4%	19.0%	58.5%	3.9%	11.8%	13.5%
要介護1(n=194)	18.6%	1.0%	0.0%	8.2%	73.7%	2.6%	3.6%	14.4%
要介護2(n=162)	16.0%	1.9%	0.0%	3.1%	70.4%	2.5%	2.5%	19.8%
要介護3(n=111)	7.2%	0.0%	0.0%	2.7%	76.6%	0.0%	0.0%	18.0%
要介護4(n=55)	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	56.4%	0.0%	0.0%	16.4%
要介護5(n=28)	0.0%	3.6%	0.0%	10.7%	53.6%	3.6%	0.0%	17.9%

	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	回答者数
全体	108	22	194	302	113	56	1,502
要支援1	2	8	34	106	39	12	401
要支援2	17	7	72	115	36	13	458
要介護1	11	1	38	29	6	3	194
要介護2	20	4	33	23	13	5	162
要介護3	20	1	9	9	5	7	111
要介護4	24	1	3	4	2	5	55
要介護5	12	0	1	2	5	3	28
全体(n=1,502)	7.2%	1.5%	12.9%	20.1%	7.5%	3.7%	
要支援1(n=401)	0.5%	2.0%	8.5%	26.4%	9.7%	3.0%	
要支援2(n=458)	3.7%	1.5%	15.7%	25.1%	7.9%	2.8%	
要介護1(n=194)	5.7%	0.5%	19.6%	14.9%	3.1%	1.5%	
要介護2(n=162)	12.3%	2.5%	20.4%	14.2%	8.0%	3.1%	
要介護3(n=111)	18.0%	0.9%	8.1%	8.1%	4.5%	6.3%	
要介護4(n=55)	43.6%	1.8%	5.5%	7.3%	3.6%	9.1%	
要介護5(n=28)	42.9%	0.0%	3.6%	7.1%	17.9%	10.7%	

（4）食べることについて

問１　身長・体重

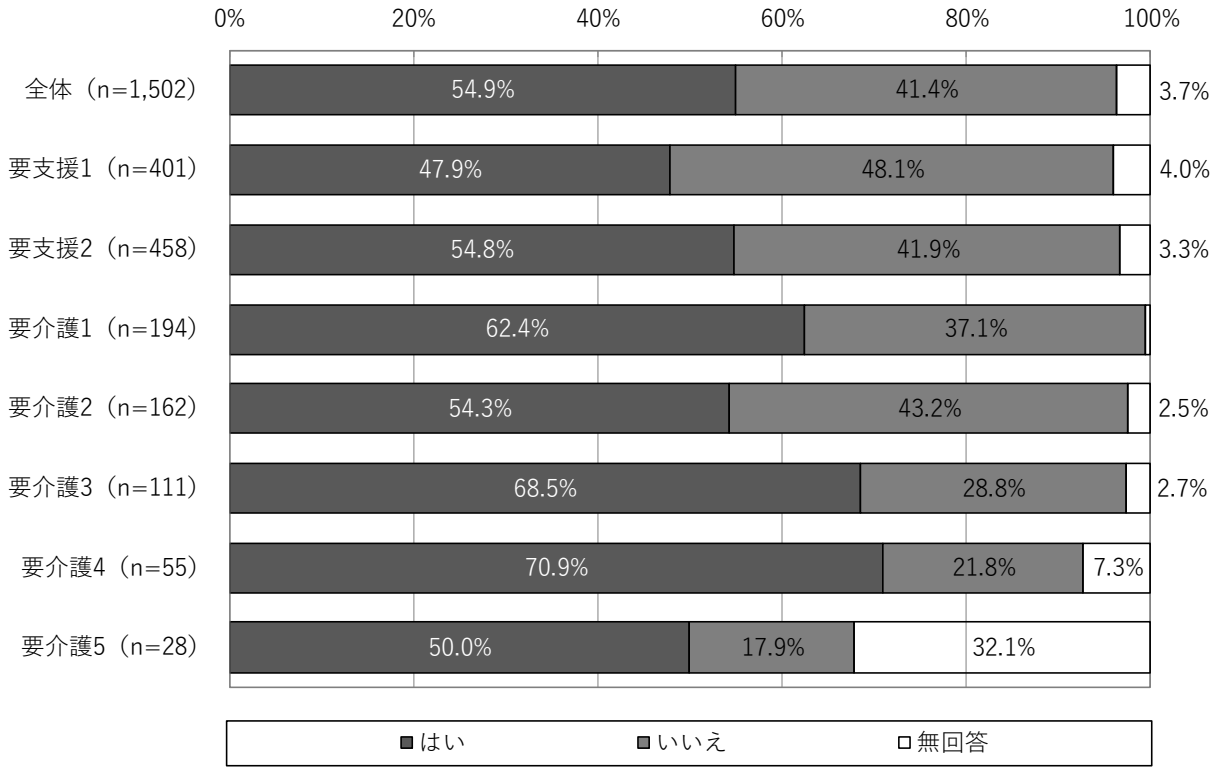
身長・体重からＢＭＩを算出すると、「標準（18.5 以上～24.9 未満）」が 55.7%と最も多く、次いで「肥満（25.0 以上）」が 20.0%、「やせ（18.5 未満）」が 11.7%となっています。



	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上～24.9未満）	肥満（25.0以上）	無回答	合計
全体	176	837	300	189	1,502
要支援1	47	229	91	34	401
要支援2	52	257	97	52	458
要介護1	21	109	44	20	194
要介護2	13	86	33	30	162
要介護3	15	66	15	15	111
要介護4	9	28	4	14	55
要介護5	8	11	2	7	28
全体（n=1,502）	11.7%	55.7%	20.0%	12.6%	100.0%
要支援1（n=401）	11.7%	57.1%	22.7%	8.5%	100.0%
要支援2（n=458）	11.4%	56.1%	21.2%	11.4%	100.0%
要介護1（n=194）	10.8%	56.2%	22.7%	10.3%	100.0%
要介護2（n=162）	8.0%	53.1%	20.4%	18.5%	100.0%
要介護3（n=111）	13.5%	59.5%	13.5%	13.5%	100.0%
要介護4（n=55）	16.4%	50.9%	7.3%	25.5%	100.0%
要介護5（n=28）	28.6%	39.3%	7.1%	25.0%	100.0%

問 2　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

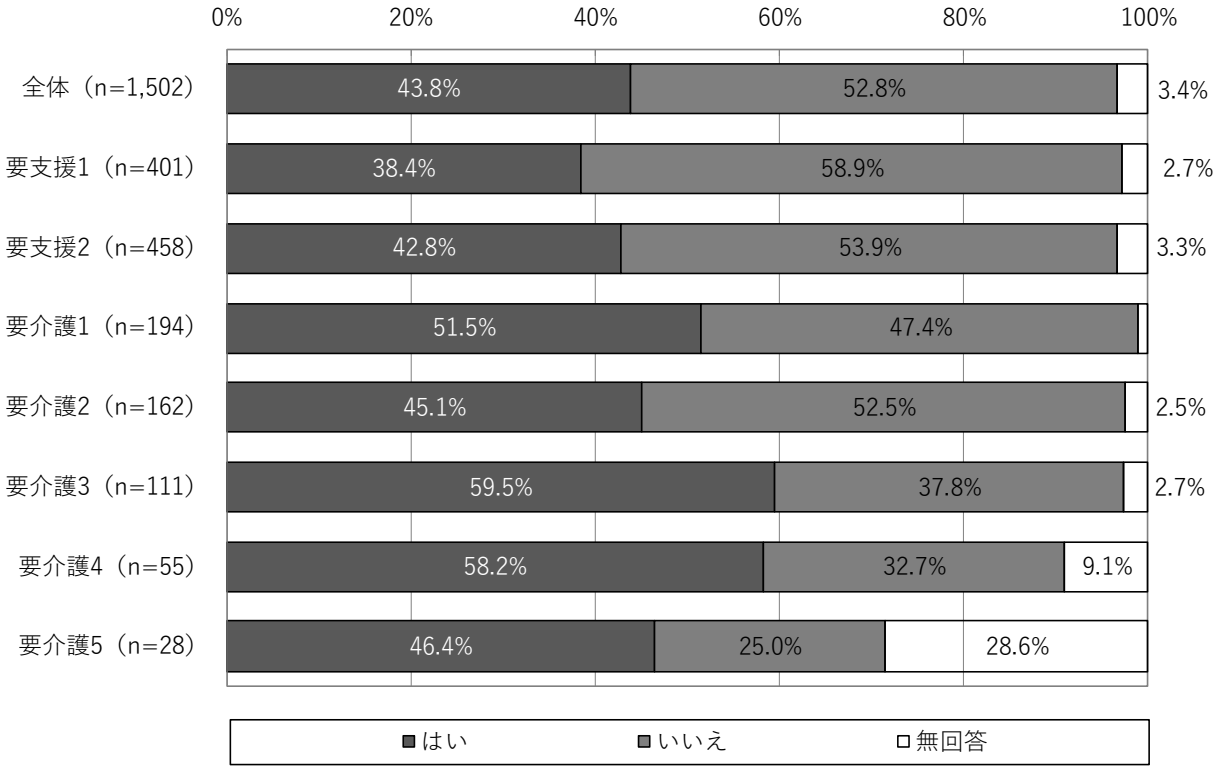
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは、「はい」が 54.9%、「いいえ」が 41.4%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	825	622	55	1,502
要支援1	192	193	16	401
要支援2	251	192	15	458
要介護1	121	72	1	194
要介護2	88	70	4	162
要介護3	76	32	3	111
要介護4	39	12	4	55
要介護5	14	5	9	28
全体(n=1,502)	54.9%	41.4%	3.7%	100.0%
要支援1(n=401)	47.9%	48.1%	4.0%	100.0%
要支援2(n=458)	54.8%	41.9%	3.3%	100.0%
要介護1(n=194)	62.4%	37.1%	0.5%	100.0%
要介護2(n=162)	54.3%	43.2%	2.5%	100.0%
要介護3(n=111)	68.5%	28.8%	2.7%	100.0%
要介護4(n=55)	70.9%	21.8%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	50.0%	17.9%	32.1%	100.0%

問 3　お茶や汁物等でむせることがありますか。

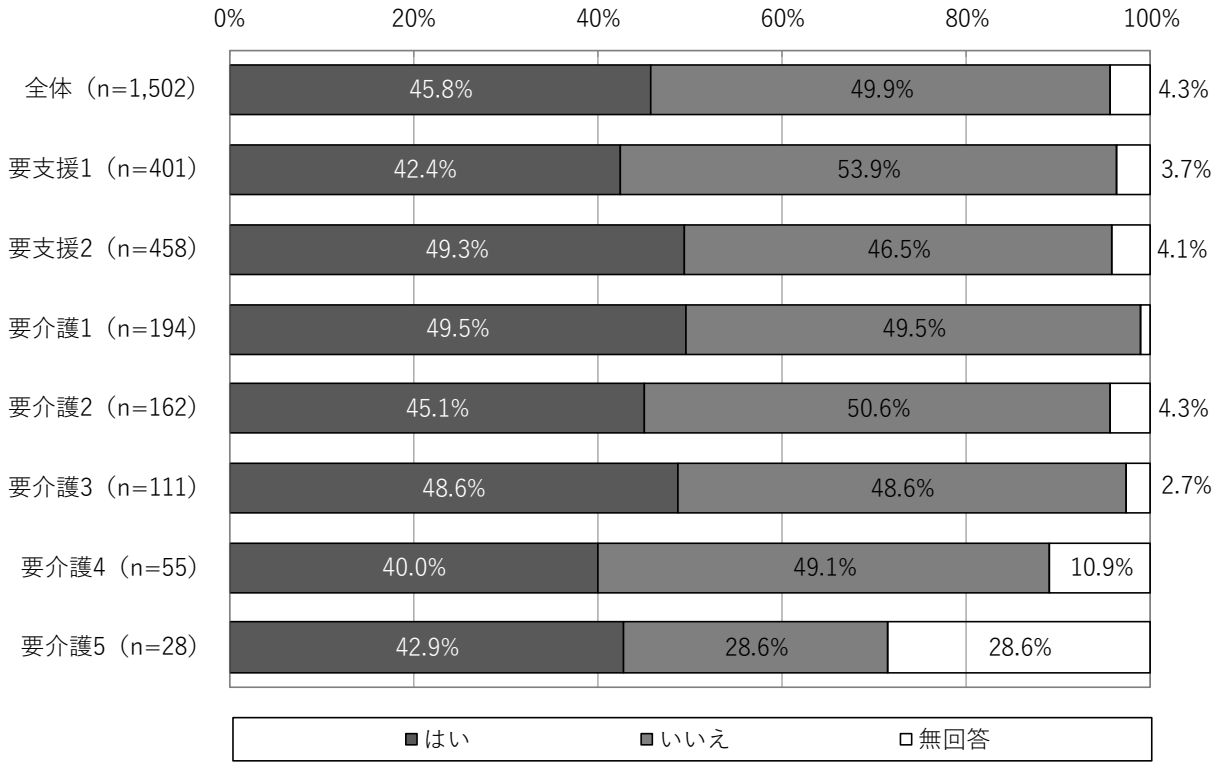
お茶や汁物等でむせることがあるかでは、「はい」が 43.8%、「いいえ」が 52.8%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	658	793	51	1,502
要支援1	154	236	11	401
要支援2	196	247	15	458
要介護1	100	92	2	194
要介護2	73	85	4	162
要介護3	66	42	3	111
要介護4	32	18	5	55
要介護5	13	7	8	28
全体（n=1,502）	43.8%	52.8%	3.4%	100.0%
要支援1（n=401）	38.4%	58.9%	2.7%	100.0%
要支援2（n=458）	42.8%	53.9%	3.3%	100.0%
要介護1（n=194）	51.5%	47.4%	1.0%	100.0%
要介護2（n=162）	45.1%	52.5%	2.5%	100.0%
要介護3（n=111）	59.5%	37.8%	2.7%	100.0%
要介護4（n=55）	58.2%	32.7%	9.1%	100.0%
要介護5（n=28）	46.4%	25.0%	28.6%	100.0%

問４　口の渇きが気になりますか。

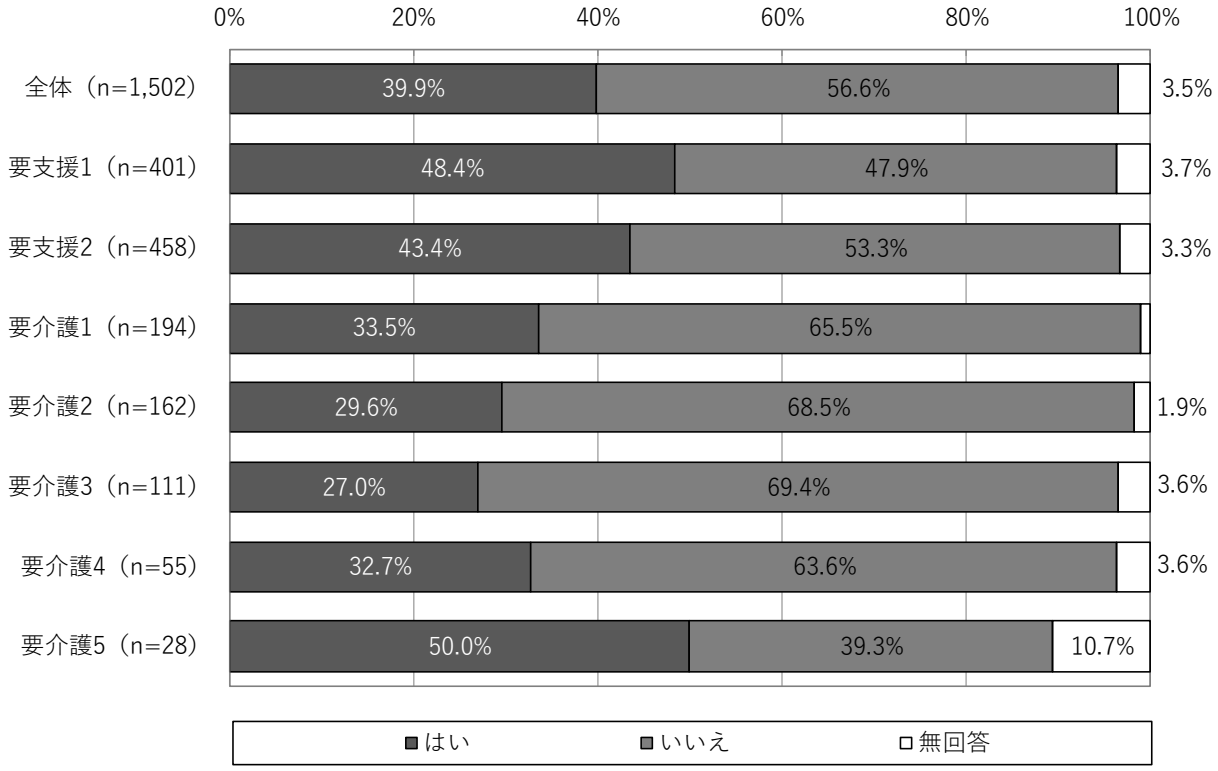
口の渇きが気になるかでは、「はい」が 45.8%、「いいえ」が 49.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	688	749	65	1,502
要支援1	170	216	15	401
要支援2	226	213	19	458
要介護1	96	96	2	194
要介護2	73	82	7	162
要介護3	54	54	3	111
要介護4	22	27	6	55
要介護5	12	8	8	28
全体（n=1,502）	45.8%	49.9%	4.3%	100.0%
要支援1（n=401）	42.4%	53.9%	3.7%	100.0%
要支援2（n=458）	49.3%	46.5%	4.1%	100.0%
要介護1（n=194）	49.5%	49.5%	1.0%	100.0%
要介護2（n=162）	45.1%	50.6%	4.3%	100.0%
要介護3（n=111）	48.6%	48.6%	2.7%	100.0%
要介護4（n=55）	40.0%	49.1%	10.9%	100.0%
要介護5（n=28）	42.9%	28.6%	28.6%	100.0%

問 5　定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

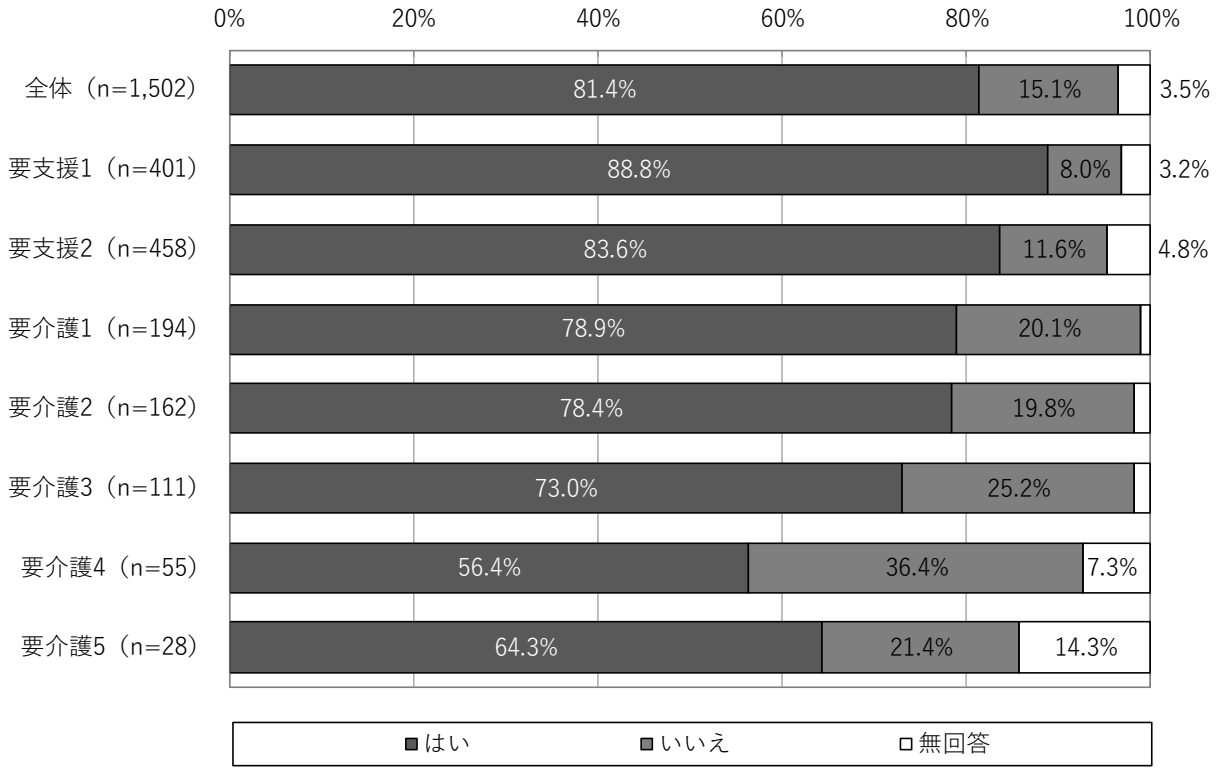
定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかでは、「はい」が 39.9%、「いいえ」が 56.6%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	599	850	53	1,502
要支援1	194	192	15	401
要支援2	199	244	15	458
要介護1	65	127	2	194
要介護2	48	111	3	162
要介護3	30	77	4	111
要介護4	18	35	2	55
要介護5	14	11	3	28
全体（n=1,502）	39.9%	56.6%	3.5%	100.0%
要支援1（n=401）	48.4%	47.9%	3.7%	100.0%
要支援2（n=458）	43.4%	53.3%	3.3%	100.0%
要介護1（n=194）	33.5%	65.5%	1.0%	100.0%
要介護2（n=162）	29.6%	68.5%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	27.0%	69.4%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	32.7%	63.6%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	50.0%	39.3%	10.7%	100.0%

問 6　歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

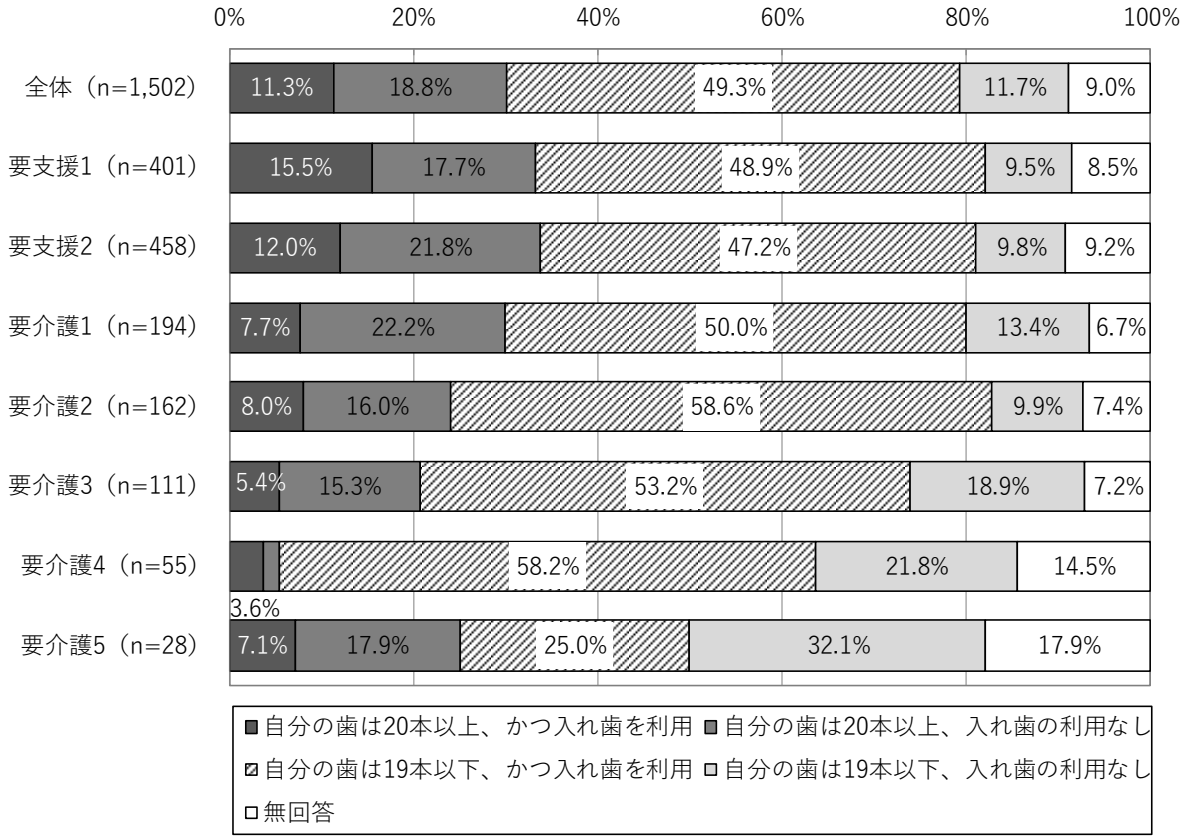
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかでは、「はい」が 81.4%、「いいえ」が 15.1%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,222	227	53	1,502
要支援1	356	32	13	401
要支援2	383	53	22	458
要介護1	153	39	2	194
要介護2	127	32	3	162
要介護3	81	28	2	111
要介護4	31	20	4	55
要介護5	18	6	4	28
全体(n=1,502)	81.4%	15.1%	3.5%	100.0%
要支援1(n=401)	88.8%	8.0%	3.2%	100.0%
要支援2(n=458)	83.6%	11.6%	4.8%	100.0%
要介護1(n=194)	78.9%	20.1%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	78.4%	19.8%	1.9%	100.0%
要介護3(n=111)	73.0%	25.2%	1.8%	100.0%
要介護4(n=55)	56.4%	36.4%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	64.3%	21.4%	14.3%	100.0%

問 7　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

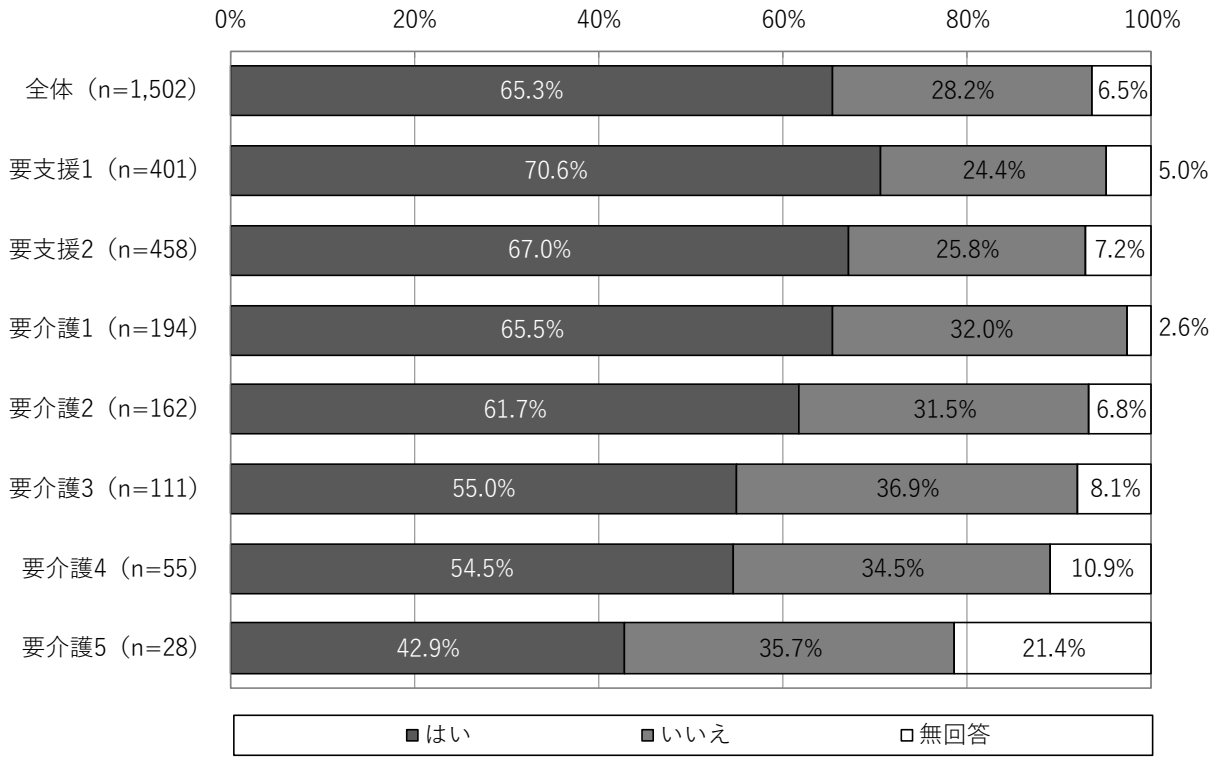
歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 49.3%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 18.8%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 11.7%となっています。



	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答	合計
全体	170	282	740	175	135	1,502
要支援1	62	71	196	38	34	401
要支援2	55	100	216	45	42	458
要介護1	15	43	97	26	13	194
要介護2	13	26	95	16	12	162
要介護3	6	17	59	21	8	111
要介護4	2	1	32	12	8	55
要介護5	2	5	7	9	5	28
全体(n=1,502)	11.3%	18.8%	49.3%	11.7%	9.0%	100.0%
要支援1(n=401)	15.5%	17.7%	48.9%	9.5%	8.5%	100.0%
要支援2(n=458)	12.0%	21.8%	47.2%	9.8%	9.2%	100.0%
要介護1(n=194)	7.7%	22.2%	50.0%	13.4%	6.7%	100.0%
要介護2(n=162)	8.0%	16.0%	58.6%	9.9%	7.4%	100.0%
要介護3(n=111)	5.4%	15.3%	53.2%	18.9%	7.2%	100.0%
要介護4(n=55)	3.6%	1.8%	58.2%	21.8%	14.5%	100.0%
要介護5(n=28)	7.1%	17.9%	25.0%	32.1%	17.9%	100.0%

問 8　噛み合わせは良いですか。

噛み合わせは良いかでは、「はい」が 65.3%、「いいえ」が 28.2%となっています。

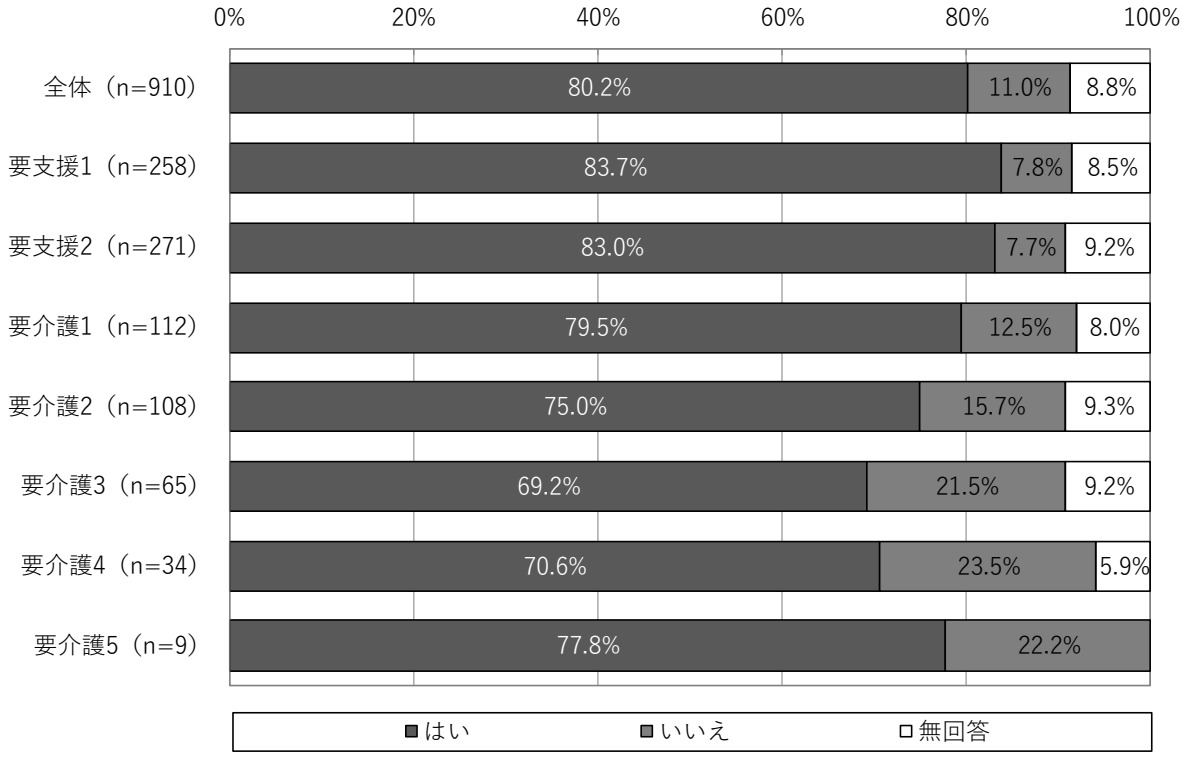


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	981	423	98	1,502
要支援1	283	98	20	401
要支援2	307	118	33	458
要介護1	127	62	5	194
要介護2	100	51	11	162
要介護3	61	41	9	111
要介護4	30	19	6	55
要介護5	12	10	6	28
全体（n=1,502）	65.3%	28.2%	6.5%	100.0%
要支援1（n=401）	70.6%	24.4%	5.0%	100.0%
要支援2（n=458）	67.0%	25.8%	7.2%	100.0%
要介護1（n=194）	65.5%	32.0%	2.6%	100.0%
要介護2（n=162）	61.7%	31.5%	6.8%	100.0%
要介護3（n=111）	55.0%	36.9%	8.1%	100.0%
要介護4（n=55）	54.5%	34.5%	10.9%	100.0%
要介護5（n=28）	42.9%	35.7%	21.4%	100.0%

【問 7 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

問 8-1　毎日入れ歯の手入れをしていますか。

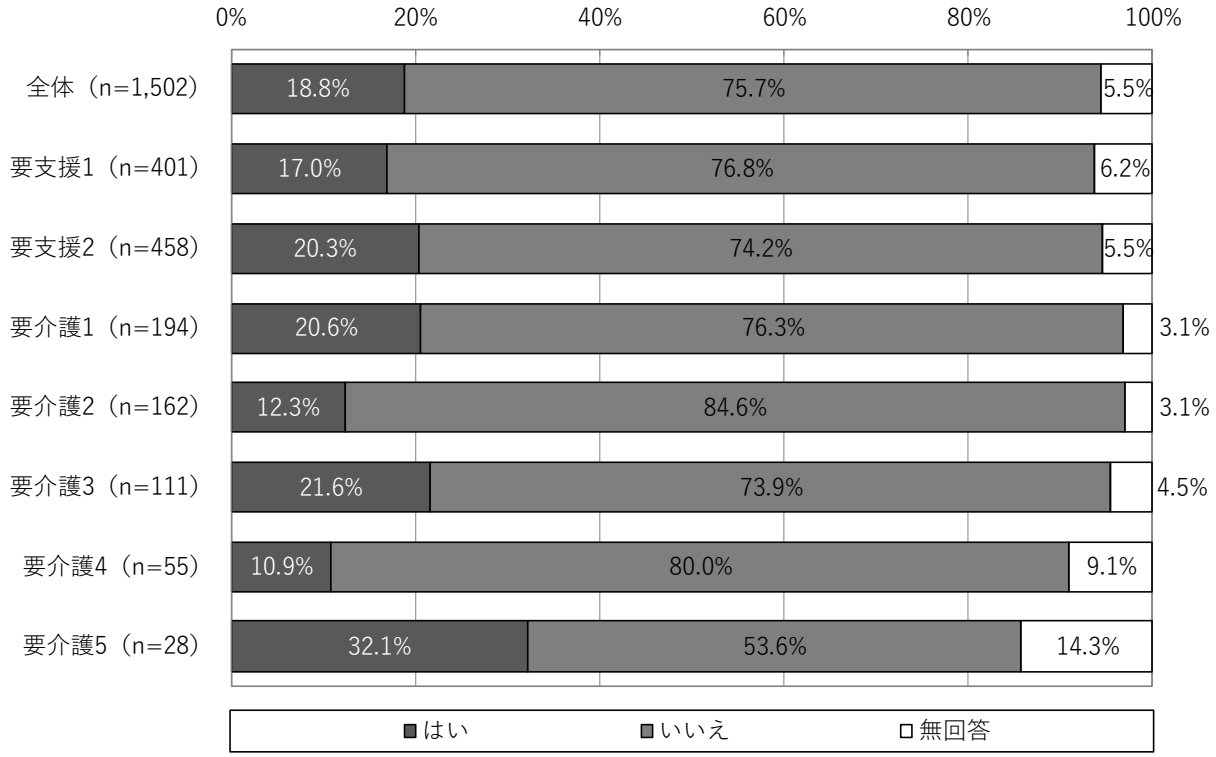
毎日入れ歯の手入れをしているかでは、「はい」が 80.2%、「いいえ」が 11.0%となっています。



	はい	いいえ	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	730	100	80	910	592	1,502
要支援1	216	20	22	258	143	401
要支援2	225	21	25	271	187	458
要介護1	89	14	9	112	82	194
要介護2	81	17	10	108	54	162
要介護3	45	14	6	65	46	111
要介護4	24	8	2	34	21	55
要介護5	7	2	0	9	19	28
全体(n=910)	80.2%	11.0%	8.8%	100.0%		
要支援1(n=258)	83.7%	7.8%	8.5%	100.0%		
要支援2(n=271)	83.0%	7.7%	9.2%	100.0%		
要介護1(n=112)	79.5%	12.5%	8.0%	100.0%		
要介護2(n=108)	75.0%	15.7%	9.3%	100.0%		
要介護3(n=65)	69.2%	21.5%	9.2%	100.0%		
要介護4(n=34)	70.6%	23.5%	5.9%	100.0%		
要介護5(n=9)	77.8%	22.2%	0.0%	100.0%		

問 9　6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか。

6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少では、「はい」が 18.8%、「いいえ」が 75.7%となっています。

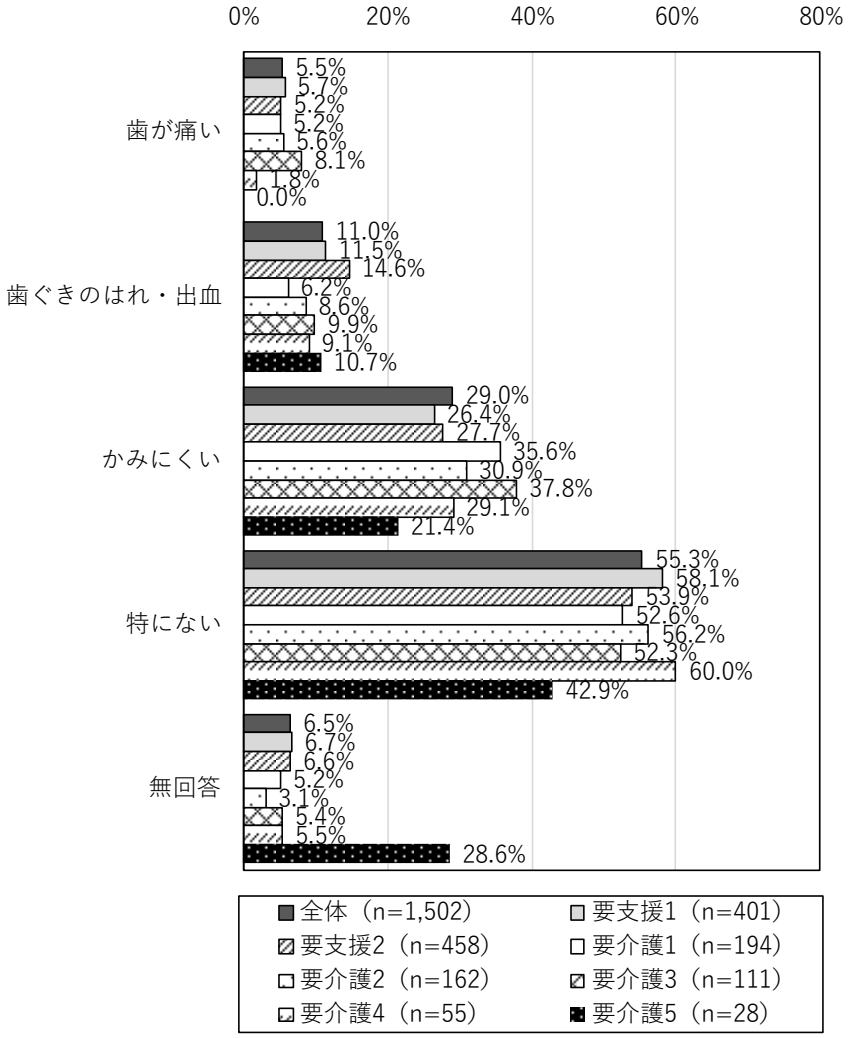


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	282	1,137	83	1,502
要支援1	68	308	25	401
要支援2	93	340	25	458
要介護1	40	148	6	194
要介護2	20	137	5	162
要介護3	24	82	5	111
要介護4	6	44	5	55
要介護5	9	15	4	28
全体（n=1,502）	18.8%	75.7%	5.5%	100.0%
要支援1（n=401）	17.0%	76.8%	6.2%	100.0%
要支援2（n=458）	20.3%	74.2%	5.5%	100.0%
要介護1（n=194）	20.6%	76.3%	3.1%	100.0%
要介護2（n=162）	12.3%	84.6%	3.1%	100.0%
要介護3（n=111）	21.6%	73.9%	4.5%	100.0%
要介護4（n=55）	10.9%	80.0%	9.1%	100.0%
要介護5（n=28）	32.1%	53.6%	14.3%	100.0%

問 10　お口の状態を教えてください。（いくつでも）

お口の状態では、「かみにくい」が 29.0%と最も多く、次いで「歯ぐきのはれ・出血」が 11.0%となっています。

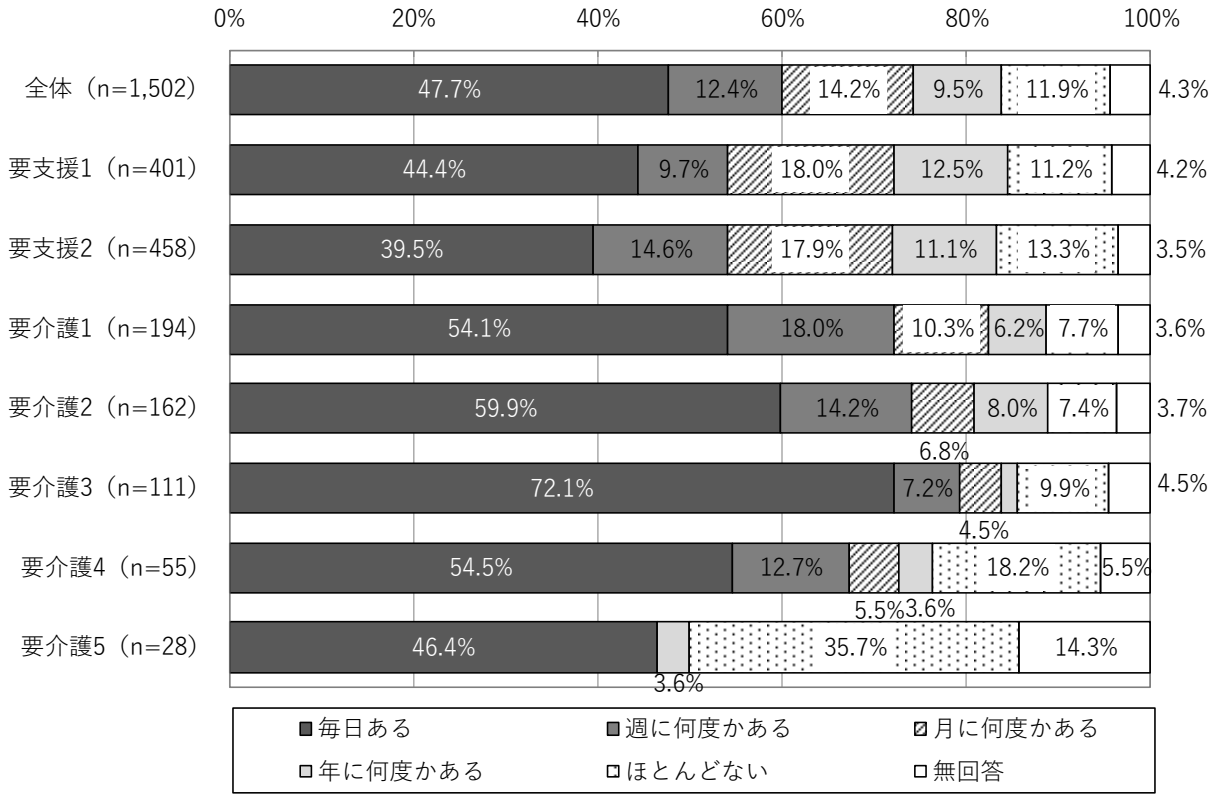
また、「特にない」が 55.3%となっています。



	歯が痛い	歯ぐきのはれ・出血	かみにくい	特にない	無回答	回答者数
全体	82	165	436	831	98	1,502
要支援1	23	46	106	233	27	401
要支援2	24	67	127	247	30	458
要介護1	10	12	69	102	10	194
要介護2	9	14	50	91	5	162
要介護3	9	11	42	58	6	111
要介護4	1	5	16	33	3	55
要介護5	0	3	6	12	8	28
全体(n=1,502)	5.5%	11.0%	29.0%	55.3%	6.5%	
要支援1(n=401)	5.7%	11.5%	26.4%	58.1%	6.7%	
要支援2(n=458)	5.2%	14.6%	27.7%	53.9%	6.6%	
要介護1(n=194)	5.2%	6.2%	35.6%	52.6%	5.2%	
要介護2(n=162)	5.6%	8.6%	30.9%	56.2%	3.1%	
要介護3(n=111)	8.1%	9.9%	37.8%	52.3%	5.4%	
要介護4(n=55)	1.8%	9.1%	29.1%	60.0%	5.5%	
要介護5(n=28)	0.0%	10.7%	21.4%	42.9%	28.6%	

問 11　どなたかと食事をともにする機会はありますか。

どなたかと食事をともにする機会はあるかでは、「毎日ある」が 47.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 14.2%、「週に何度かある」が 12.4%となっています。

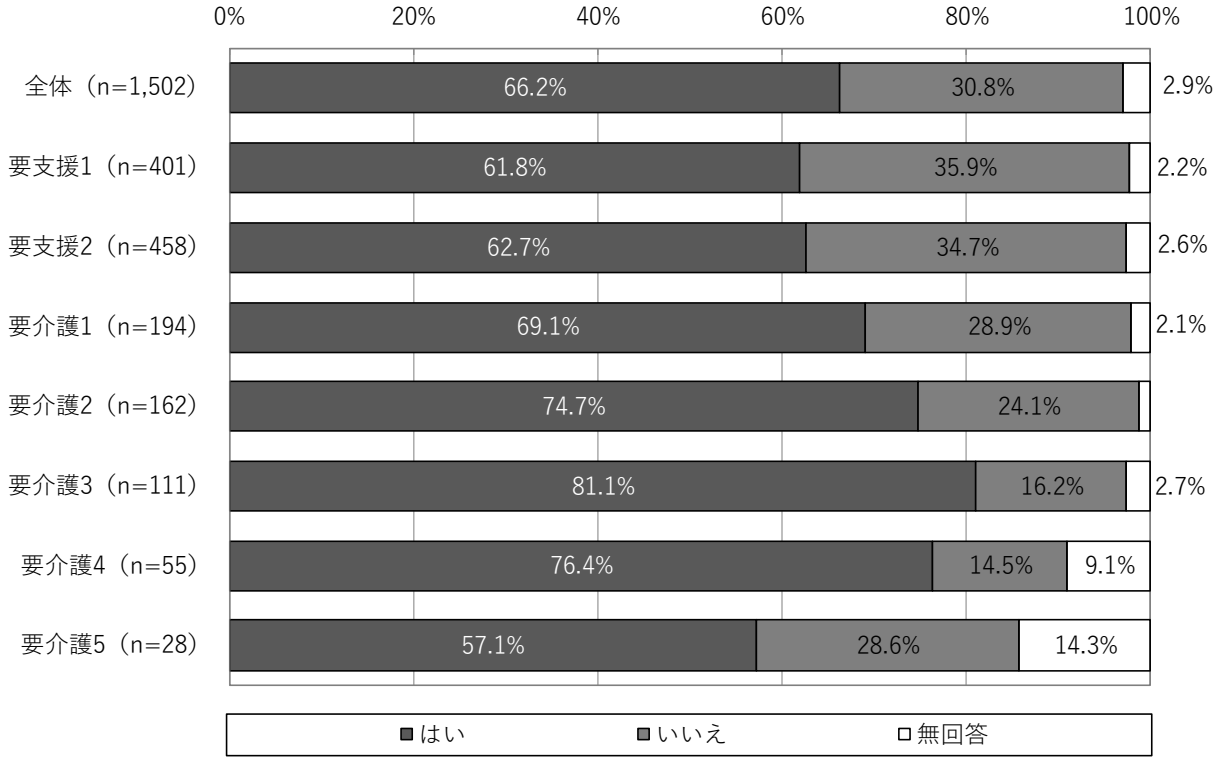


	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	合計
全体	716	186	213	143	179	65	1,502
要支援1	178	39	72	50	45	17	401
要支援2	181	67	82	51	61	16	458
要介護1	105	35	20	12	15	7	194
要介護2	97	23	11	13	12	6	162
要介護3	80	8	5	2	11	5	111
要介護4	30	7	3	2	10	3	55
要介護5	13	0	0	1	10	4	28
全体（n=1,502）	47.7%	12.4%	14.2%	9.5%	11.9%	4.3%	100.0%
要支援1（n=401）	44.4%	9.7%	18.0%	12.5%	11.2%	4.2%	100.0%
要支援2（n=458）	39.5%	14.6%	17.9%	11.1%	13.3%	3.5%	100.0%
要介護1（n=194）	54.1%	18.0%	10.3%	6.2%	7.7%	3.6%	100.0%
要介護2（n=162）	59.9%	14.2%	6.8%	8.0%	7.4%	3.7%	100.0%
要介護3（n=111）	72.1%	7.2%	4.5%	1.8%	9.9%	4.5%	100.0%
要介護4（n=55）	54.5%	12.7%	5.5%	3.6%	18.2%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	46.4%	0.0%	0.0%	3.6%	35.7%	14.3%	100.0%

（5）毎日の生活について

問１　物忘れが多いと感じますか。

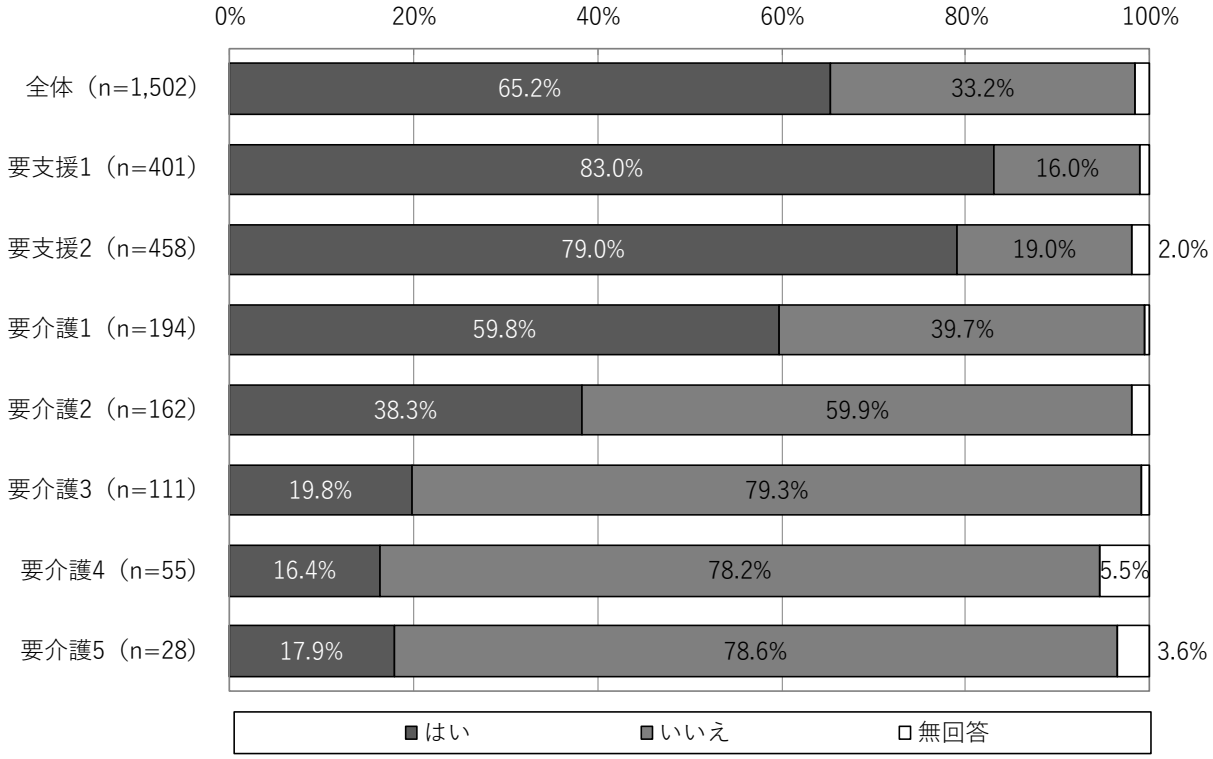
物忘れが多いと感じるかでは、「はい」が 66.2%、「いいえ」が 30.8%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	995	463	44	1,502
要支援1	248	144	9	401
要支援2	287	159	12	458
要介護1	134	56	4	194
要介護2	121	39	2	162
要介護3	90	18	3	111
要介護4	42	8	5	55
要介護5	16	8	4	28
全体（n=1,502）	66.2%	30.8%	2.9%	100.0%
要支援1（n=401）	61.8%	35.9%	2.2%	100.0%
要支援2（n=458）	62.7%	34.7%	2.6%	100.0%
要介護1（n=194）	69.1%	28.9%	2.1%	100.0%
要介護2（n=162）	74.7%	24.1%	1.2%	100.0%
要介護3（n=111）	81.1%	16.2%	2.7%	100.0%
要介護4（n=55）	76.4%	14.5%	9.1%	100.0%
要介護5（n=28）	57.1%	28.6%	14.3%	100.0%

問 2　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

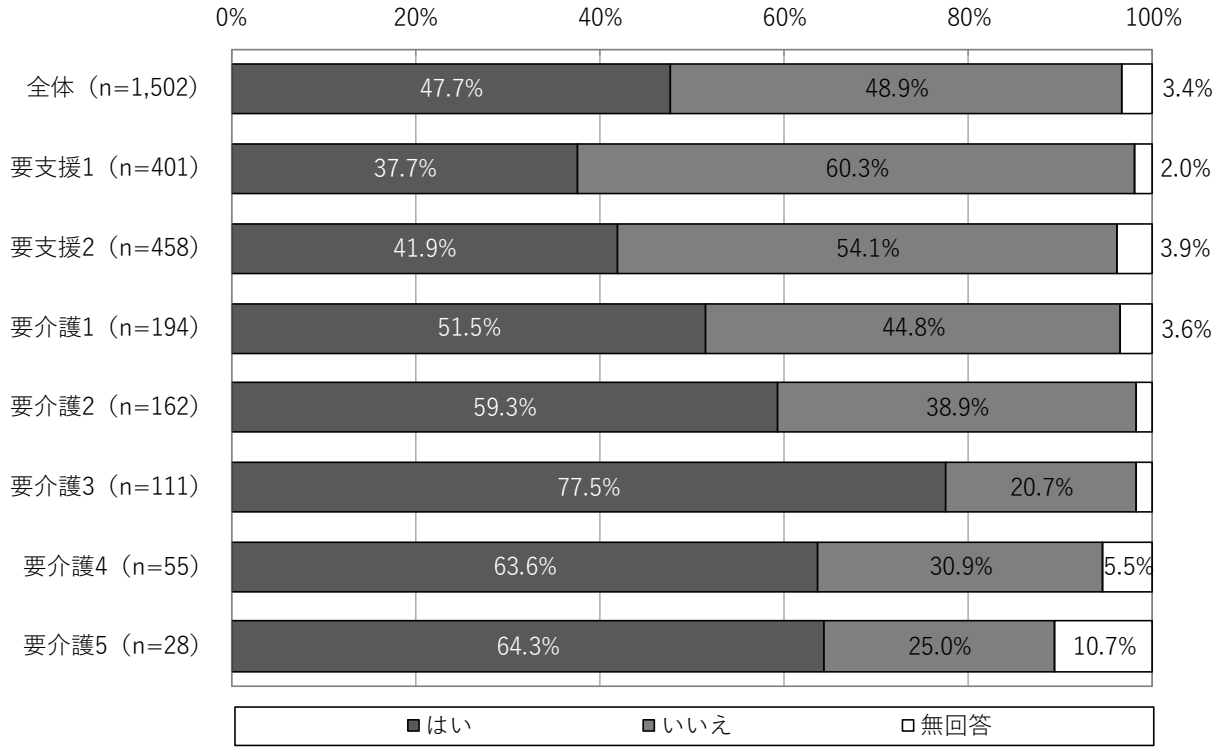
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかでは、「はい」が 65.2%、「いいえ」が 33.2%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	980	498	24	1,502
要支援1	333	64	4	401
要支援2	362	87	9	458
要介護1	116	77	1	194
要介護2	62	97	3	162
要介護3	22	88	1	111
要介護4	9	43	3	55
要介護5	5	22	1	28
全体（n=1,502）	65.2%	33.2%	1.6%	100.0%
要支援1（n=401）	83.0%	16.0%	1.0%	100.0%
要支援2（n=458）	79.0%	19.0%	2.0%	100.0%
要介護1（n=194）	59.8%	39.7%	0.5%	100.0%
要介護2（n=162）	38.3%	59.9%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	19.8%	79.3%	0.9%	100.0%
要介護4（n=55）	16.4%	78.2%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	17.9%	78.6%	3.6%	100.0%

問 3　今日が何月何日かわからない時がありますか。

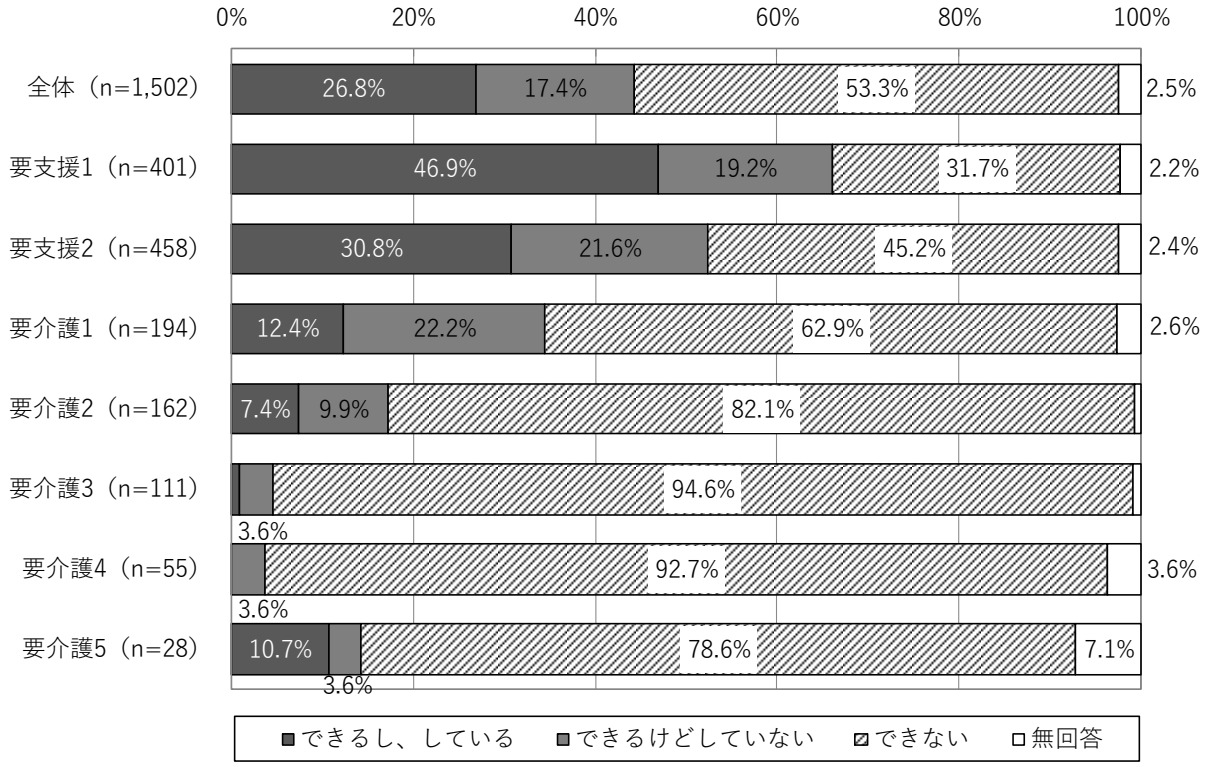
今日が何月何日かわからない時があるかでは、「はい」が 47.7%、「いいえ」が 48.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	716	735	51	1,502
要支援1	151	242	8	401
要支援2	192	248	18	458
要介護1	100	87	7	194
要介護2	96	63	3	162
要介護3	86	23	2	111
要介護4	35	17	3	55
要介護5	18	7	3	28
全体（n=1,502）	47.7%	48.9%	3.4%	100.0%
要支援1（n=401）	37.7%	60.3%	2.0%	100.0%
要支援2（n=458）	41.9%	54.1%	3.9%	100.0%
要介護1（n=194）	51.5%	44.8%	3.6%	100.0%
要介護2（n=162）	59.3%	38.9%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	77.5%	20.7%	1.8%	100.0%
要介護4（n=55）	63.6%	30.9%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	64.3%	25.0%	10.7%	100.0%

問４　バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）

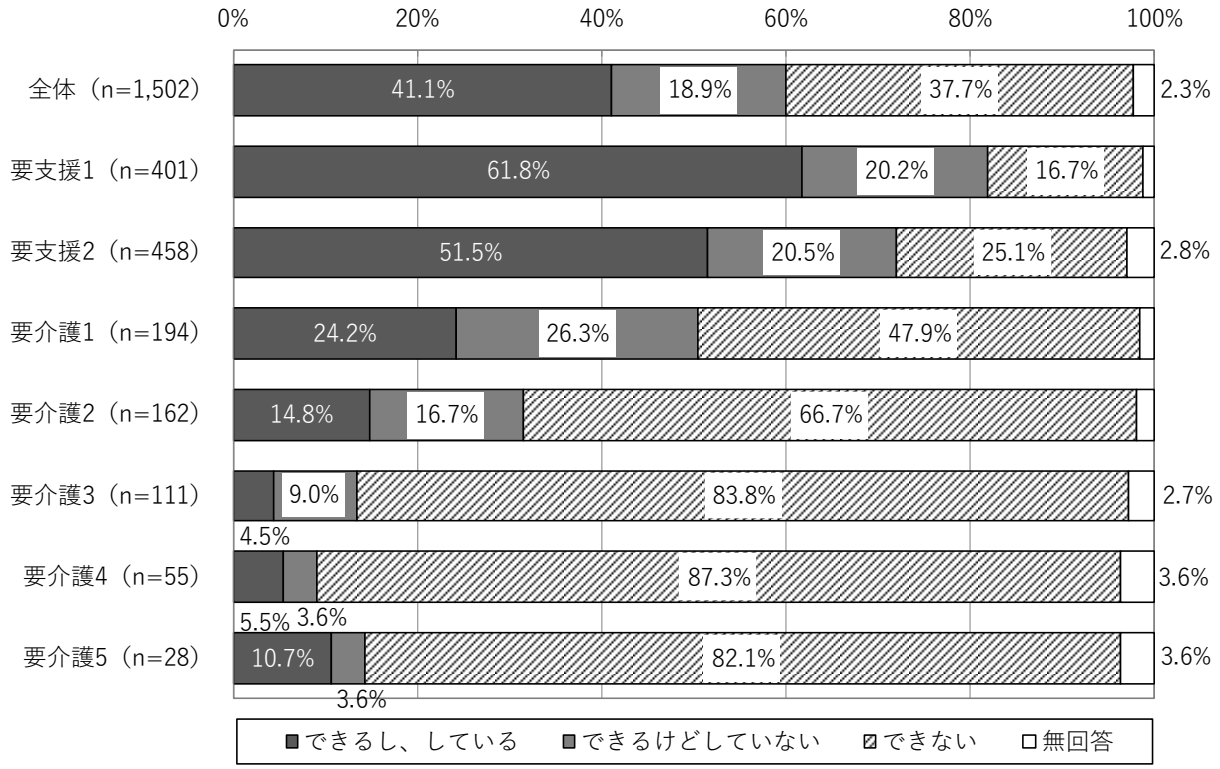
バスや電車を使って１人で外出しているかでは､「できるし､している」が 26.8%､「できるけどしていない」が 17.4%､「できない」が 53.3%となっています。



	できるし､している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	403	262	800	37	1,502
要支援1	188	77	127	9	401
要支援2	141	99	207	11	458
要介護1	24	43	122	5	194
要介護2	12	16	133	1	162
要介護3	1	4	105	1	111
要介護4	0	2	51	2	55
要介護5	3	1	22	2	28
全体(n=1,502)	26.8%	17.4%	53.3%	2.5%	100.0%
要支援1(n=401)	46.9%	19.2%	31.7%	2.2%	100.0%
要支援2(n=458)	30.8%	21.6%	45.2%	2.4%	100.0%
要介護1(n=194)	12.4%	22.2%	62.9%	2.6%	100.0%
要介護2(n=162)	7.4%	9.9%	82.1%	0.6%	100.0%
要介護3(n=111)	0.9%	3.6%	94.6%	0.9%	100.0%
要介護4(n=55)	0.0%	3.6%	92.7%	3.6%	100.0%
要介護5(n=28)	10.7%	3.6%	78.6%	7.1%	100.0%

問 5　自分で食品・日用品の買物をしていますか。

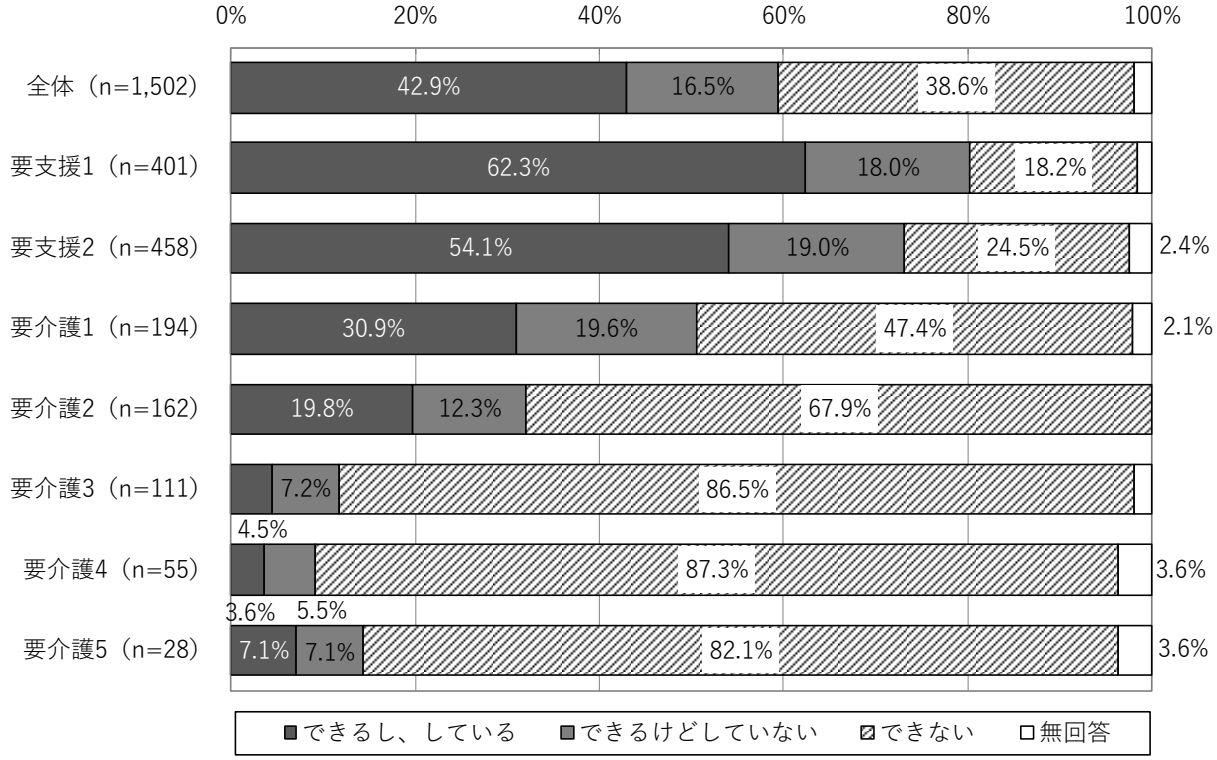
自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できるし、している」が 41.1%「できない」が 37.7%、「できるけどしていない」が 18.9%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	618	284	566	34	1,502
要支援1	248	81	67	5	401
要支援2	236	94	115	13	458
要介護1	47	51	93	3	194
要介護2	24	27	108	3	162
要介護3	5	10	93	3	111
要介護4	3	2	48	2	55
要介護5	3	1	23	1	28
全体（n=1,502）	41.1%	18.9%	37.7%	2.3%	100.0%
要支援1（n=401）	61.8%	20.2%	16.7%	1.2%	100.0%
要支援2（n=458）	51.5%	20.5%	25.1%	2.8%	100.0%
要介護1（n=194）	24.2%	26.3%	47.9%	1.5%	100.0%
要介護2（n=162）	14.8%	16.7%	66.7%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	4.5%	9.0%	83.8%	2.7%	100.0%
要介護4（n=55）	5.5%	3.6%	87.3%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	10.7%	3.6%	82.1%	3.6%	100.0%

問 6　自分で食事の用意をしていますか。

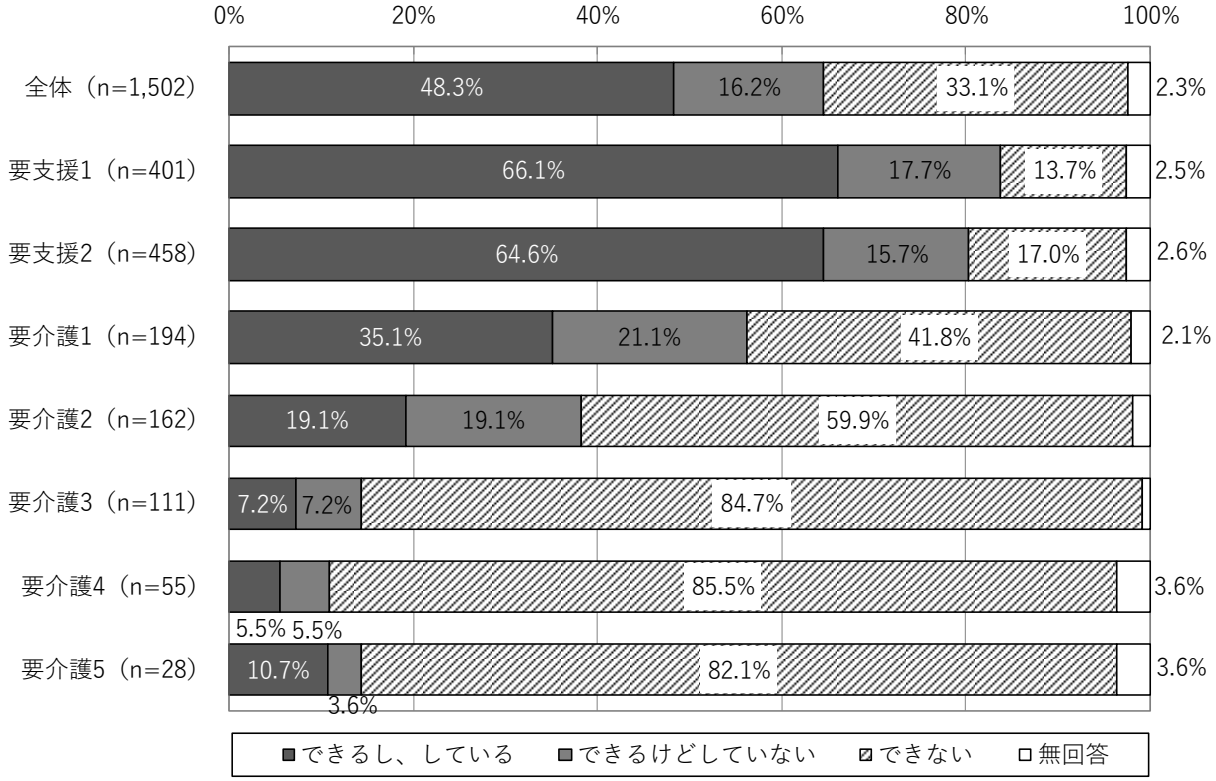
自分で食事の用意をしているかでは、「できるし、している」が 42.9%、「できるけどしていない」が 16.5%、「できない」が 38.6%、となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	645	248	580	29	1,502
要支援1	250	72	73	6	401
要支援2	248	87	112	11	458
要介護1	60	38	92	4	194
要介護2	32	20	110	0	162
要介護3	5	8	96	2	111
要介護4	2	3	48	2	55
要介護5	2	2	23	1	28
全体（n=1,502）	42.9%	16.5%	38.6%	1.9%	100.0%
要支援1（n=401）	62.3%	18.0%	18.2%	1.5%	100.0%
要支援2（n=458）	54.1%	19.0%	24.5%	2.4%	100.0%
要介護1（n=194）	30.9%	19.6%	47.4%	2.1%	100.0%
要介護2（n=162）	19.8%	12.3%	67.9%	0.0%	100.0%
要介護3（n=111）	4.5%	7.2%	86.5%	1.8%	100.0%
要介護4（n=55）	3.6%	5.5%	87.3%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	7.1%	7.1%	82.1%	3.6%	100.0%

問 7　自分で請求書の支払いをしていますか。

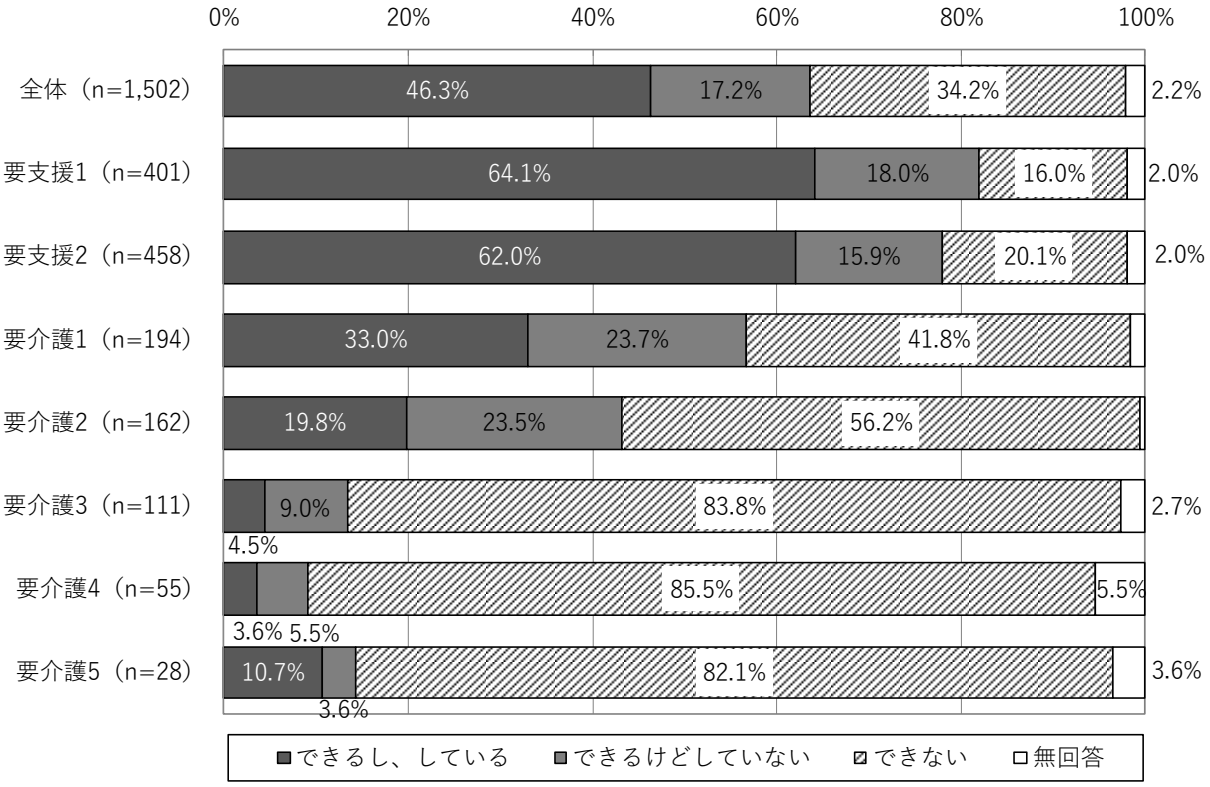
自分で請求書の支払いをしているかでは、「できるし、している」が 48.3%、「できるけどしていない」が 16.2%、「できない」が 33.1%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	726	244	497	35	1,502
要支援1	265	71	55	10	401
要支援2	296	72	78	12	458
要介護1	68	41	81	4	194
要介護2	31	31	97	3	162
要介護3	8	8	94	1	111
要介護4	3	3	47	2	55
要介護5	3	1	23	1	28
全体（n=1,502）	48.3%	16.2%	33.1%	2.3%	100.0%
要支援1（n=401）	66.1%	17.7%	13.7%	2.5%	100.0%
要支援2（n=458）	64.6%	15.7%	17.0%	2.6%	100.0%
要介護1（n=194）	35.1%	21.1%	41.8%	2.1%	100.0%
要介護2（n=162）	19.1%	19.1%	59.9%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	7.2%	7.2%	84.7%	0.9%	100.0%
要介護4（n=55）	5.5%	5.5%	85.5%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	10.7%	3.6%	82.1%	3.6%	100.0%

問 8　自分で預貯金の出し入れをしていますか。

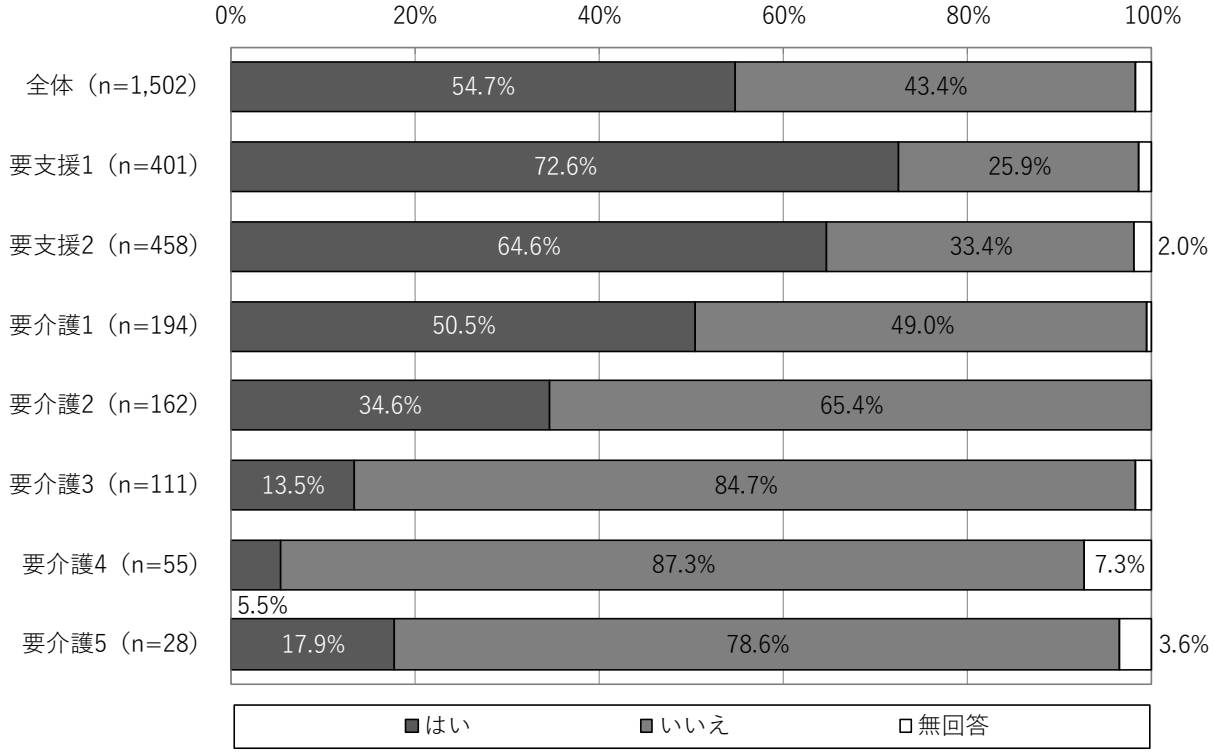
自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できるし、している」が 46.3%、「できるけどしていない」が 17.2%、「できない」が 34.2%となっています。



	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
全体	696	259	514	33	1,502
要支援1	257	72	64	8	401
要支援2	284	73	92	9	458
要介護1	64	46	81	3	194
要介護2	32	38	91	1	162
要介護3	5	10	93	3	111
要介護4	2	3	47	3	55
要介護5	3	1	23	1	28
全体(n=1,502)	46.3%	17.2%	34.2%	2.2%	100.0%
要支援1(n=401)	64.1%	18.0%	16.0%	2.0%	100.0%
要支援2(n=458)	62.0%	15.9%	20.1%	2.0%	100.0%
要介護1(n=194)	33.0%	23.7%	41.8%	1.5%	100.0%
要介護2(n=162)	19.8%	23.5%	56.2%	0.6%	100.0%
要介護3(n=111)	4.5%	9.0%	83.8%	2.7%	100.0%
要介護4(n=55)	3.6%	5.5%	85.5%	5.5%	100.0%
要介護5(n=28)	10.7%	3.6%	82.1%	3.6%	100.0%

問９　年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。

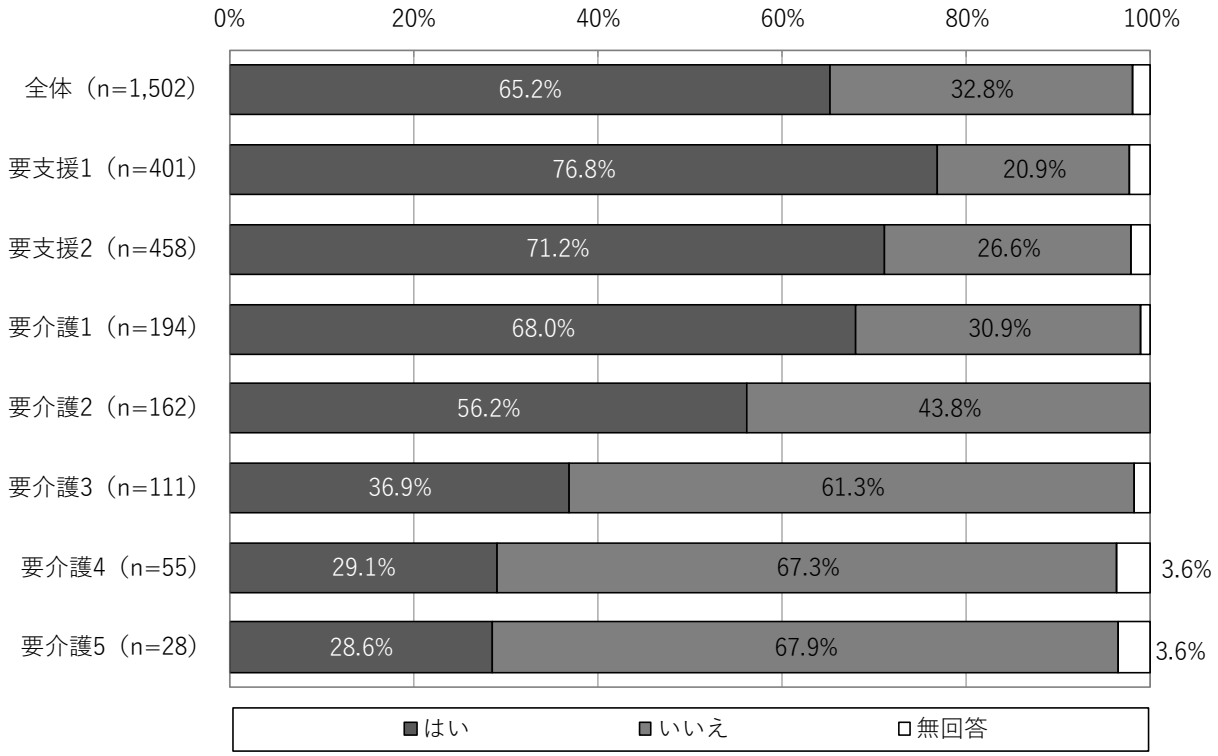
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けるかでは、「はい」が 54.7%、「いいえ」が 43.4%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	822	652	28	1,502
要支援1	291	104	6	401
要支援2	296	153	9	458
要介護1	98	95	1	194
要介護2	56	106	0	162
要介護3	15	94	2	111
要介護4	3	48	4	55
要介護5	5	22	1	28
全体(n=1,502)	54.7%	43.4%	1.9%	100.0%
要支援1(n=401)	72.6%	25.9%	1.5%	100.0%
要支援2(n=458)	64.6%	33.4%	2.0%	100.0%
要介護1(n=194)	50.5%	49.0%	0.5%	100.0%
要介護2(n=162)	34.6%	65.4%	0.0%	100.0%
要介護3(n=111)	13.5%	84.7%	1.8%	100.0%
要介護4(n=55)	5.5%	87.3%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	17.9%	78.6%	3.6%	100.0%

問 10　新聞を読んでいますか。

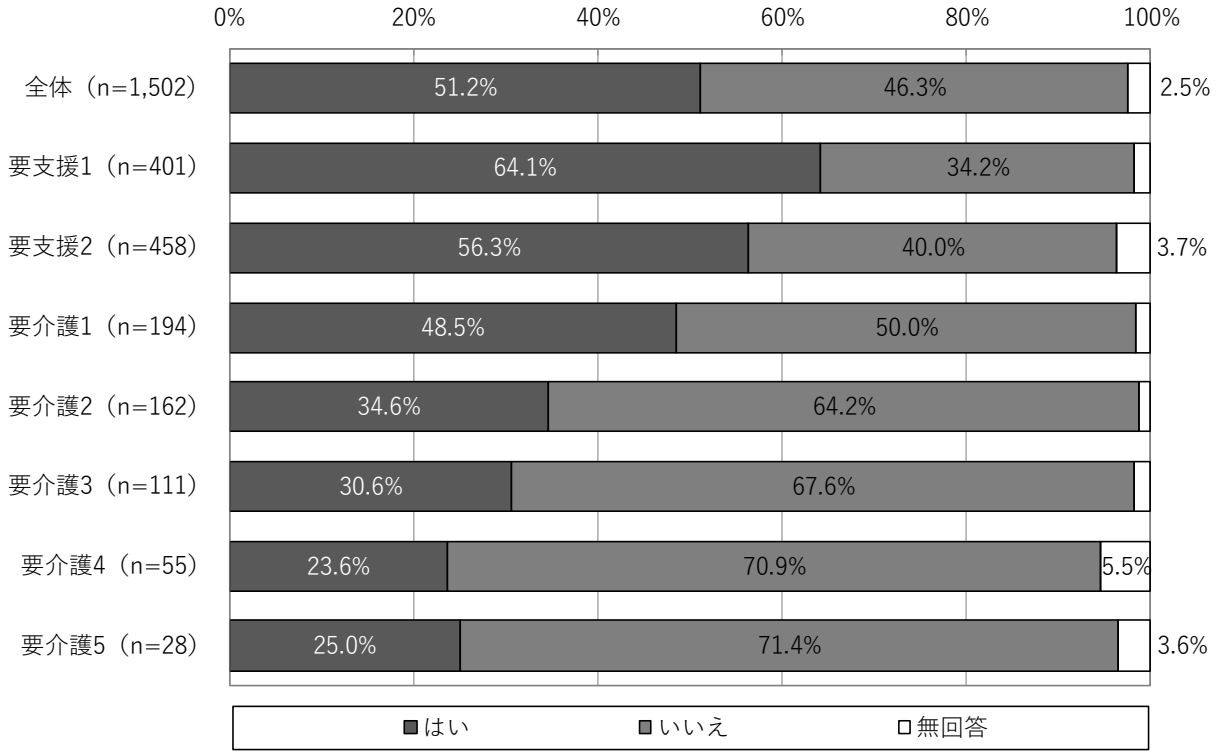
新聞を読んでいるかでは、「はい」が 65.2%、「いいえ」が 32.8%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	979	493	30	1,502
要支援1	308	84	9	401
要支援2	326	122	10	458
要介護1	132	60	2	194
要介護2	91	71	0	162
要介護3	41	68	2	111
要介護4	16	37	2	55
要介護5	8	19	1	28
全体(n=1,502)	65.2%	32.8%	2.0%	100.0%
要支援1(n=401)	76.8%	20.9%	2.2%	100.0%
要支援2(n=458)	71.2%	26.6%	2.2%	100.0%
要介護1(n=194)	68.0%	30.9%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	56.2%	43.8%	0.0%	100.0%
要介護3(n=111)	36.9%	61.3%	1.8%	100.0%
要介護4(n=55)	29.1%	67.3%	3.6%	100.0%
要介護5(n=28)	28.6%	67.9%	3.6%	100.0%

問 11　本や雑誌を読んでいますか。

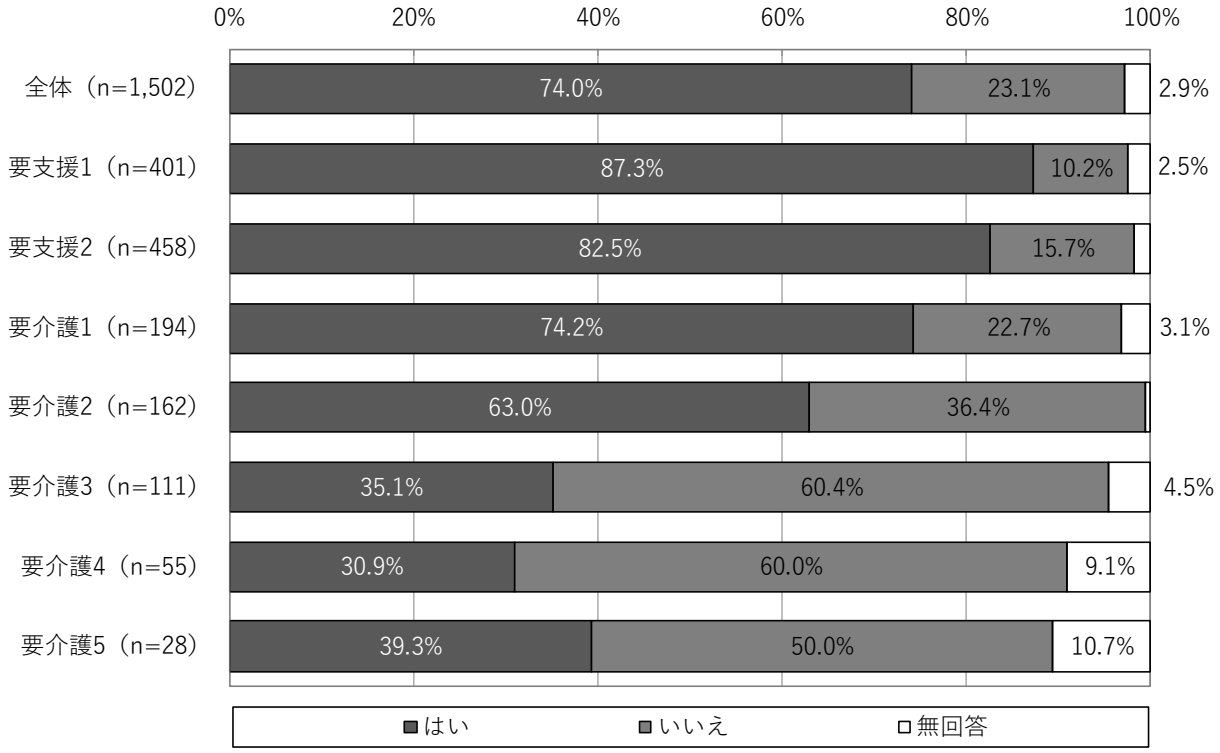
本や雑誌を読んでいるかでは、「はい」が 51.2%、「いいえ」が 46.3%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	769	695	38	1,502
要支援1	257	137	7	401
要支援2	258	183	17	458
要介護1	94	97	3	194
要介護2	56	104	2	162
要介護3	34	75	2	111
要介護4	13	39	3	55
要介護5	7	20	1	28
全体（n=1,502）	51.2%	46.3%	2.5%	100.0%
要支援1（n=401）	64.1%	34.2%	1.7%	100.0%
要支援2（n=458）	56.3%	40.0%	3.7%	100.0%
要介護1（n=194）	48.5%	50.0%	1.5%	100.0%
要介護2（n=162）	34.6%	64.2%	1.2%	100.0%
要介護3（n=111）	30.6%	67.6%	1.8%	100.0%
要介護4（n=55）	23.6%	70.9%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	25.0%	71.4%	3.6%	100.0%

問 12　健康についての記事や番組に関心がありますか。

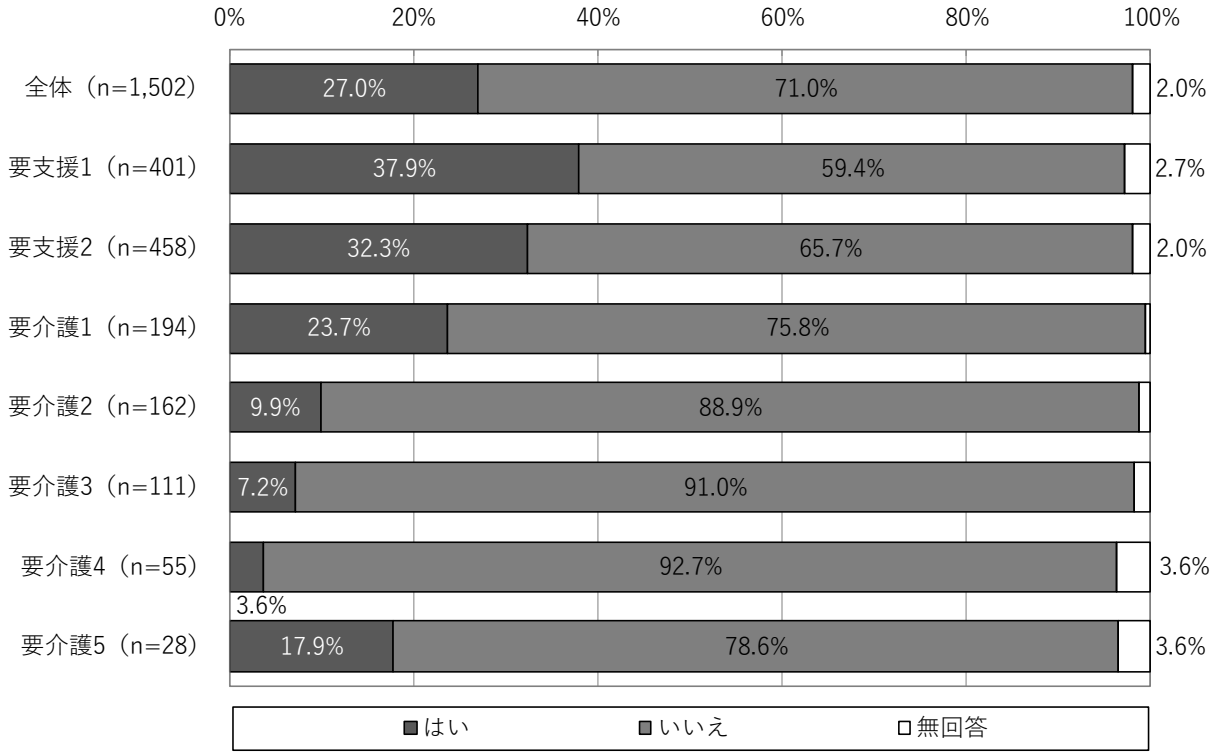
健康についての記事や番組に関心があるかでは、「はい」が 74.0%、「いいえ」が 23.1%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,112	347	43	1,502
要支援1	350	41	10	401
要支援2	378	72	8	458
要介護1	144	44	6	194
要介護2	102	59	1	162
要介護3	39	67	5	111
要介護4	17	33	5	55
要介護5	11	14	3	28
全体（n=1,502）	74.0%	23.1%	2.9%	100.0%
要支援1（n=401）	87.3%	10.2%	2.5%	100.0%
要支援2（n=458）	82.5%	15.7%	1.7%	100.0%
要介護1（n=194）	74.2%	22.7%	3.1%	100.0%
要介護2（n=162）	63.0%	36.4%	0.6%	100.0%
要介護3（n=111）	35.1%	60.4%	4.5%	100.0%
要介護4（n=55）	30.9%	60.0%	9.1%	100.0%
要介護5（n=28）	39.3%	50.0%	10.7%	100.0%

問 13　友人の家を訪ねていますか。

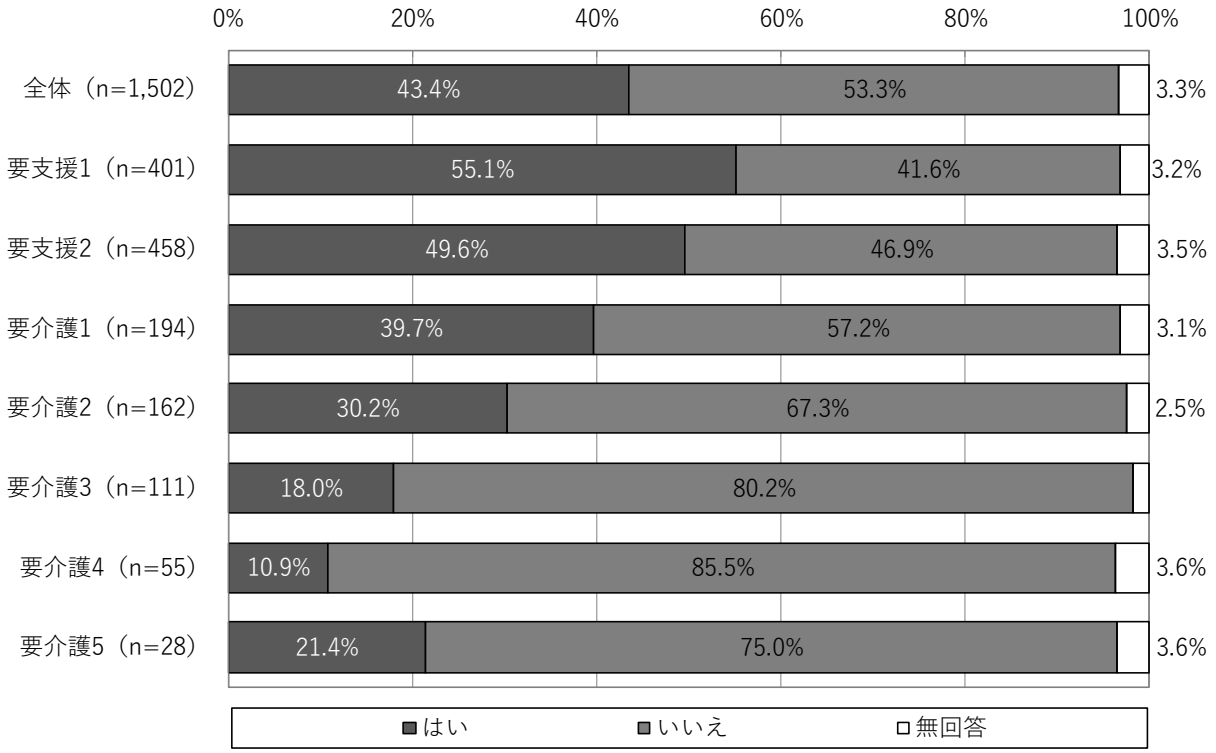
友人の家を訪ねているかでは、「はい」が 27.0%、「いいえ」が 71.0%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	406	1,066	30	1,502
要支援1	152	238	11	401
要支援2	148	301	9	458
要介護1	46	147	1	194
要介護2	16	144	2	162
要介護3	8	101	2	111
要介護4	2	51	2	55
要介護5	5	22	1	28
全体(n=1,502)	27.0%	71.0%	2.0%	100.0%
要支援1(n=401)	37.9%	59.4%	2.7%	100.0%
要支援2(n=458)	32.3%	65.7%	2.0%	100.0%
要介護1(n=194)	23.7%	75.8%	0.5%	100.0%
要介護2(n=162)	9.9%	88.9%	1.2%	100.0%
要介護3(n=111)	7.2%	91.0%	1.8%	100.0%
要介護4(n=55)	3.6%	92.7%	3.6%	100.0%
要介護5(n=28)	17.9%	78.6%	3.6%	100.0%

問 14　家族や友人の相談にのっていますか。

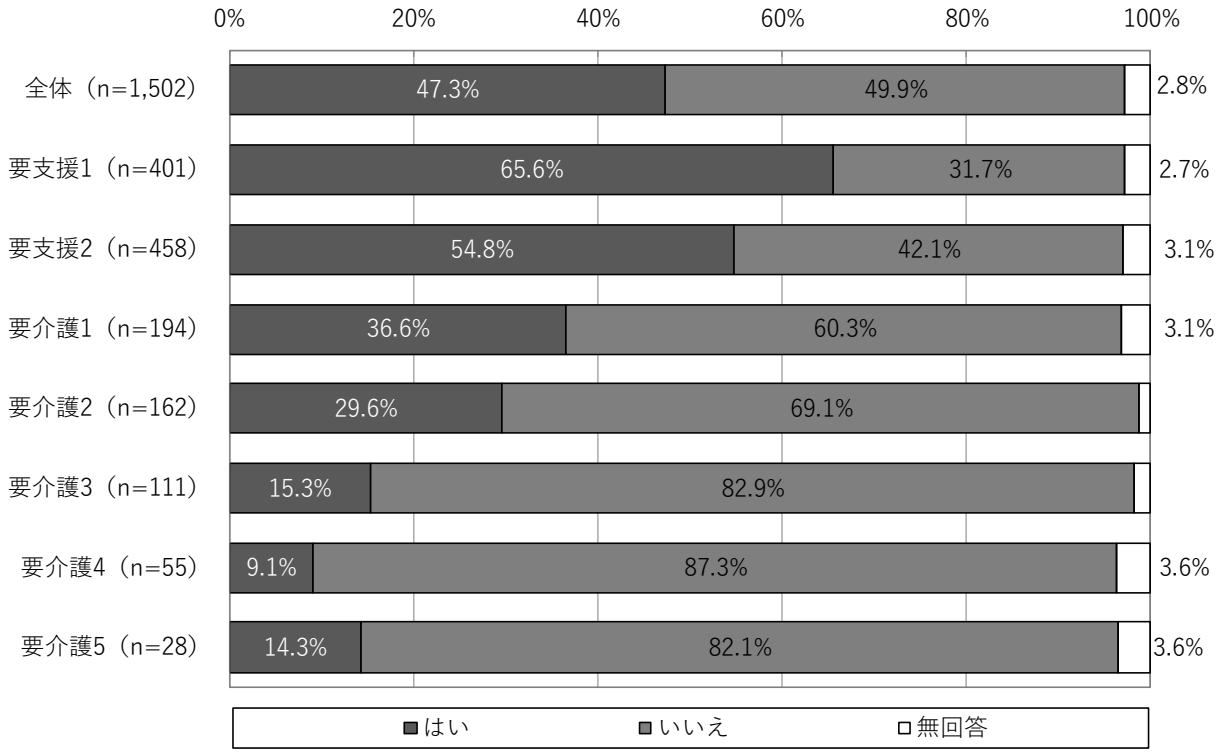
家族や友人の相談にのっているかでは、「はい」が 43.4%、「いいえ」が 53.3%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	652	801	49	1,502
要支援1	221	167	13	401
要支援2	227	215	16	458
要介護1	77	111	6	194
要介護2	49	109	4	162
要介護3	20	89	2	111
要介護4	6	47	2	55
要介護5	6	21	1	28
全体（n=1,502）	43.4%	53.3%	3.3%	100.0%
要支援1（n=401）	55.1%	41.6%	3.2%	100.0%
要支援2（n=458）	49.6%	46.9%	3.5%	100.0%
要介護1（n=194）	39.7%	57.2%	3.1%	100.0%
要介護2（n=162）	30.2%	67.3%	2.5%	100.0%
要介護3（n=111）	18.0%	80.2%	1.8%	100.0%
要介護4（n=55）	10.9%	85.5%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	21.4%	75.0%	3.6%	100.0%

問 15　病人を見舞うことができますか。

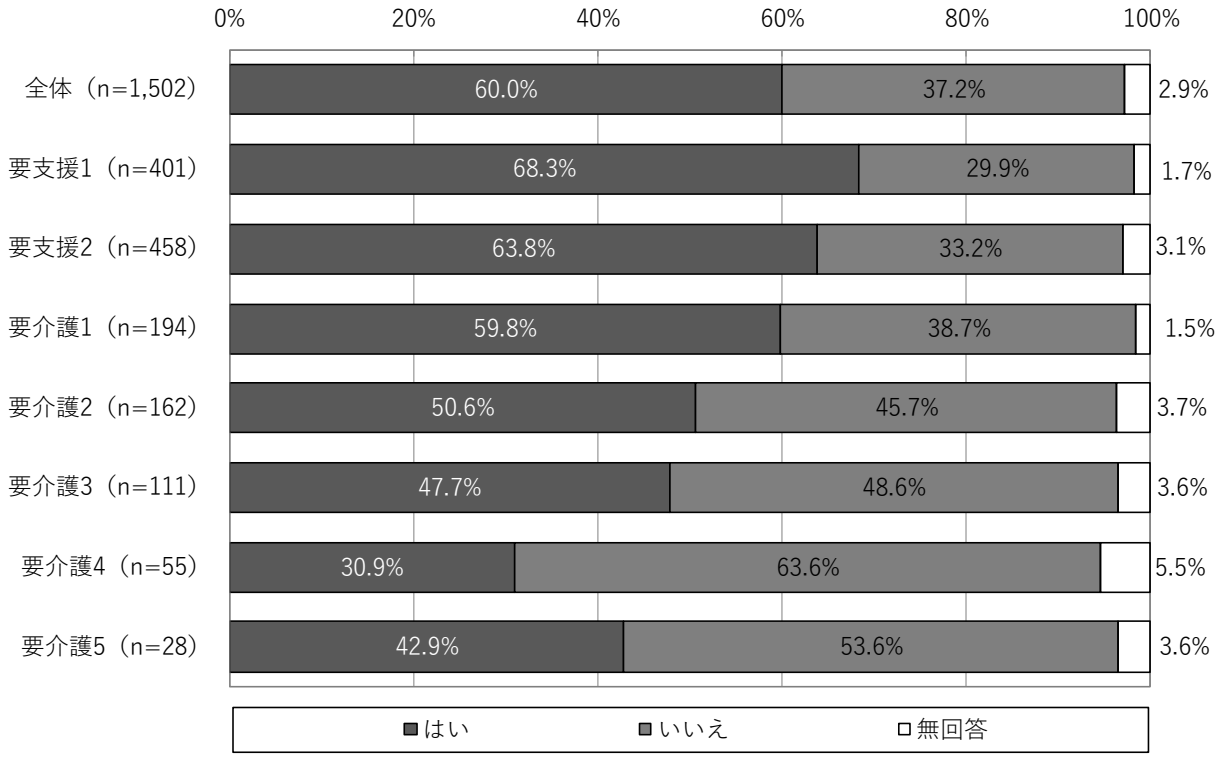
病人を見舞うことができるかでは、「はい」が 47.3%、「いいえ」が 49.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	711	749	42	1,502
要支援1	263	127	11	401
要支援2	251	193	14	458
要介護1	71	117	6	194
要介護2	48	112	2	162
要介護3	17	92	2	111
要介護4	5	48	2	55
要介護5	4	23	1	28
全体（n=1,502）	47.3%	49.9%	2.8%	100.0%
要支援1（n=401）	65.6%	31.7%	2.7%	100.0%
要支援2（n=458）	54.8%	42.1%	3.1%	100.0%
要介護1（n=194）	36.6%	60.3%	3.1%	100.0%
要介護2（n=162）	29.6%	69.1%	1.2%	100.0%
要介護3（n=111）	15.3%	82.9%	1.8%	100.0%
要介護4（n=55）	9.1%	87.3%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	14.3%	82.1%	3.6%	100.0%

問 16　若い人に自分から話しかけることがありますか。

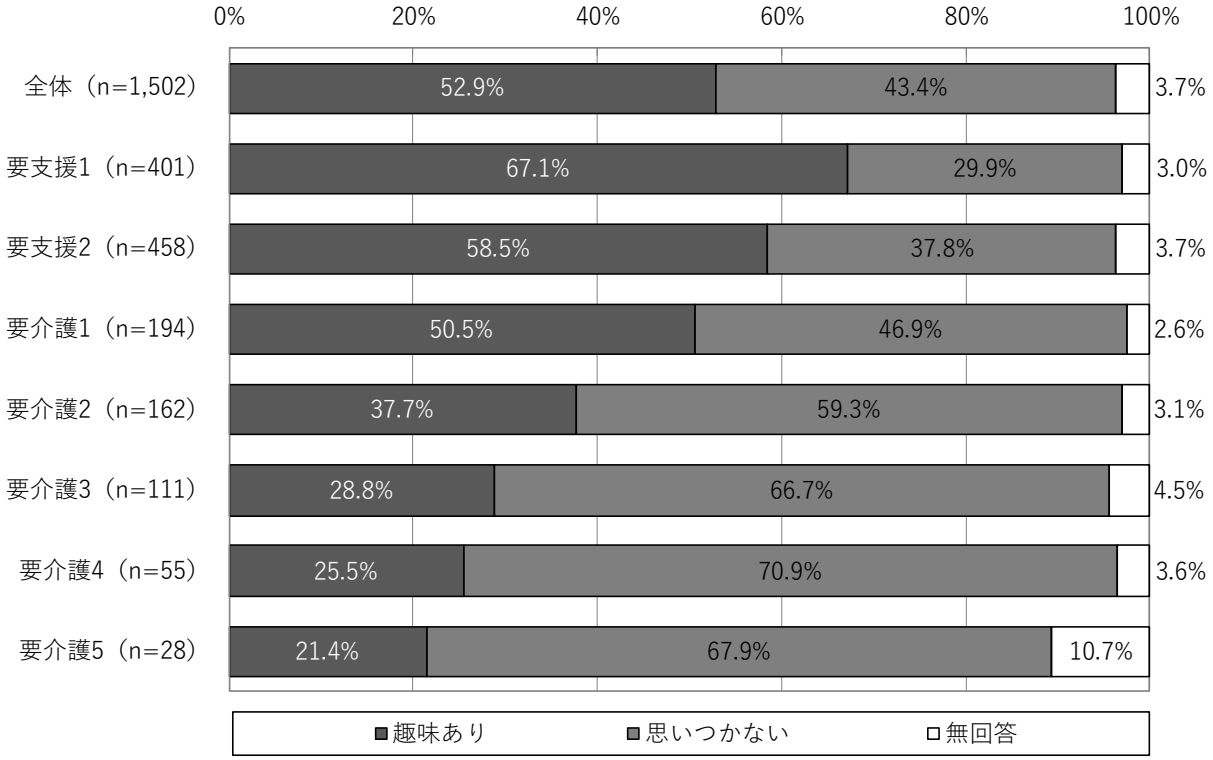
若い人に自分から話しかけることがあるかでは、「はい」が 60.0%、「いいえ」が 37.2%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	901	558	43	1,502
要支援1	274	120	7	401
要支援2	292	152	14	458
要介護1	116	75	3	194
要介護2	82	74	6	162
要介護3	53	54	4	111
要介護4	17	35	3	55
要介護5	12	15	1	28
全体（n=1,502）	60.0%	37.2%	2.9%	100.0%
要支援1（n=401）	68.3%	29.9%	1.7%	100.0%
要支援2（n=458）	63.8%	33.2%	3.1%	100.0%
要介護1（n=194）	59.8%	38.7%	1.5%	100.0%
要介護2（n=162）	50.6%	45.7%	3.7%	100.0%
要介護3（n=111）	47.7%	48.6%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	30.9%	63.6%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	42.9%	53.6%	3.6%	100.0%

問 17　趣味はありますか。

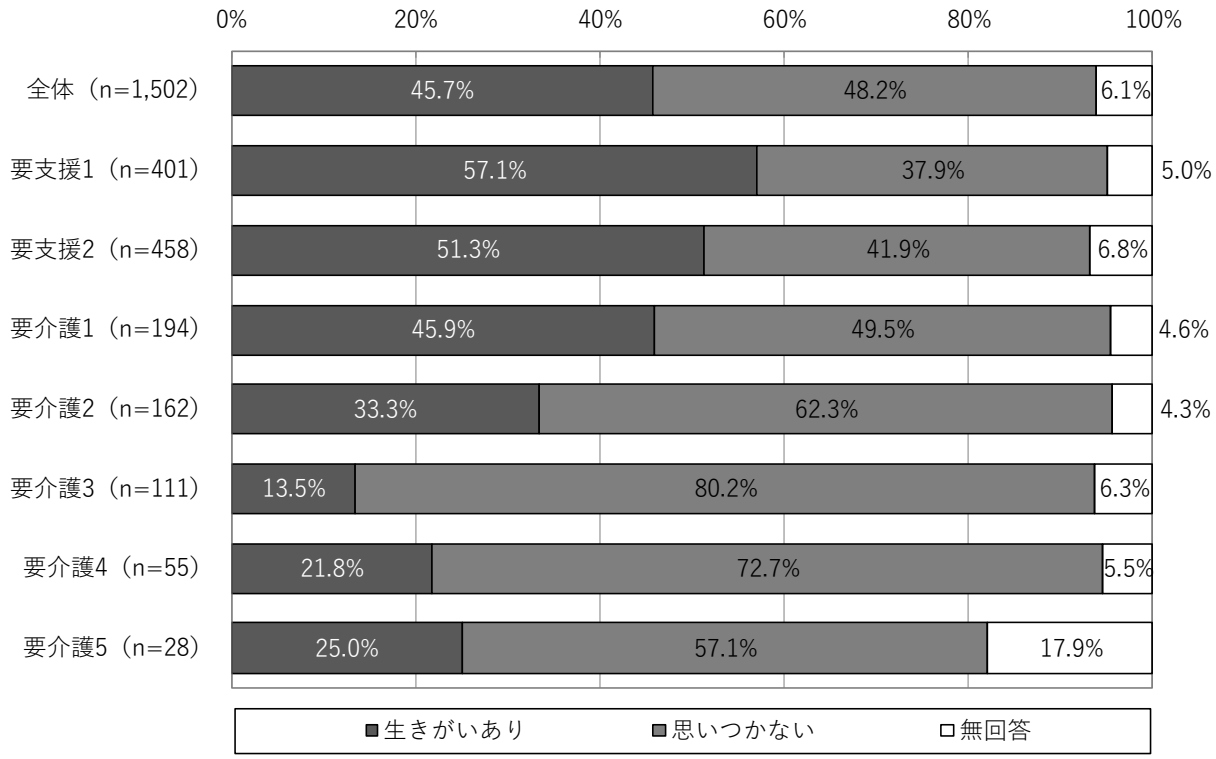
趣味があるかでは、「趣味あり」が 52.9%、「思いつかない」が 43.4%となっています。



	趣味あり	思いつかない	無回答	合計
全体	794	652	56	1,502
要支援1	269	120	12	401
要支援2	268	173	17	458
要介護1	98	91	5	194
要介護2	61	96	5	162
要介護3	32	74	5	111
要介護4	14	39	2	55
要介護5	6	19	3	28
全体（n=1,502）	52.9%	43.4%	3.7%	100.0%
要支援1（n=401）	67.1%	29.9%	3.0%	100.0%
要支援2（n=458）	58.5%	37.8%	3.7%	100.0%
要介護1（n=194）	50.5%	46.9%	2.6%	100.0%
要介護2（n=162）	37.7%	59.3%	3.1%	100.0%
要介護3（n=111）	28.8%	66.7%	4.5%	100.0%
要介護4（n=55）	25.5%	70.9%	3.6%	100.0%
要介護5（n=28）	21.4%	67.9%	10.7%	100.0%

問 18　生きがいはありますか。

生きがいはあるかでは、「生きがいあり」が 45.7%、「思いつかない」が 48.2%となっています。



	生きがいあり	思いつかない	無回答	合計
全体	686	724	92	1,502
要支援1	229	152	20	401
要支援2	235	192	31	458
要介護1	89	96	9	194
要介護2	54	101	7	162
要介護3	15	89	7	111
要介護4	12	40	3	55
要介護5	7	16	5	28
全体（n=1,502）	45.7%	48.2%	6.1%	100.0%
要支援1（n=401）	57.1%	37.9%	5.0%	100.0%
要支援2（n=458）	51.3%	41.9%	6.8%	100.0%
要介護1（n=194）	45.9%	49.5%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	33.3%	62.3%	4.3%	100.0%
要介護3（n=111）	13.5%	80.2%	6.3%	100.0%
要介護4（n=55）	21.8%	72.7%	5.5%	100.0%
要介護5（n=28）	25.0%	57.1%	17.9%	100.0%

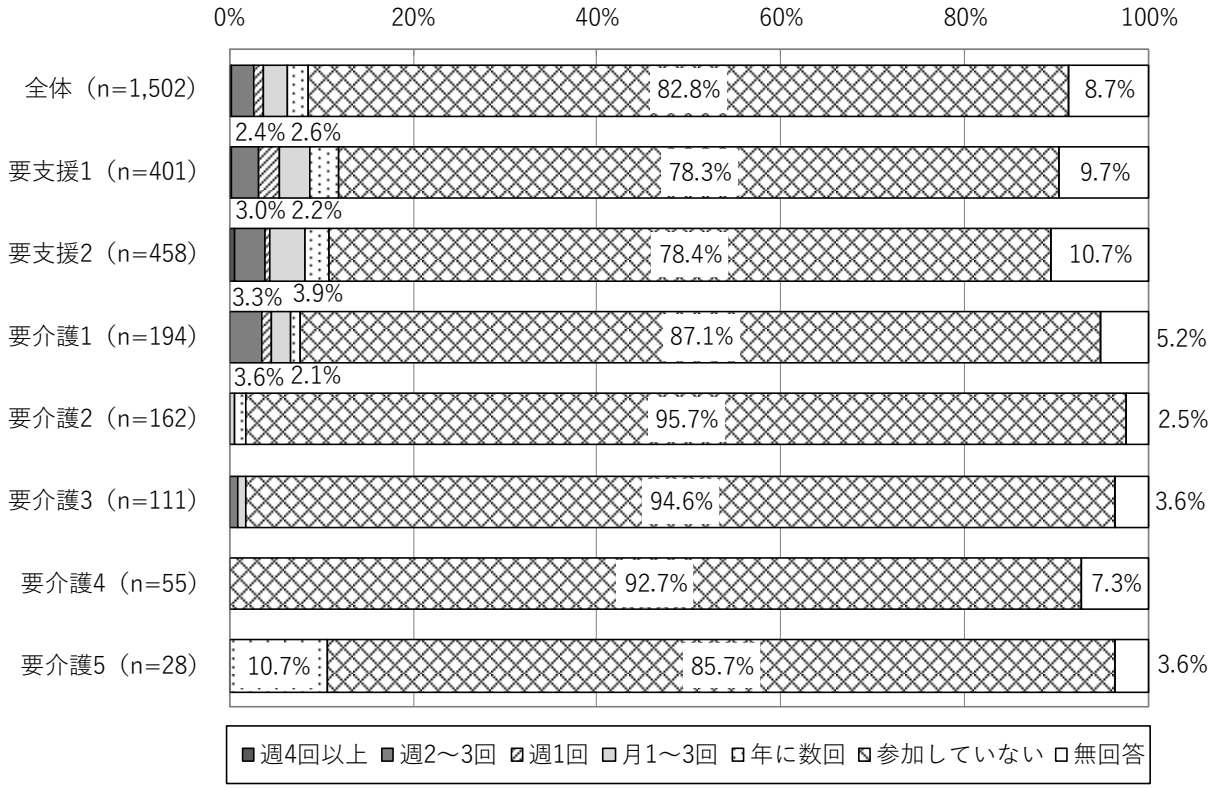
（6）地域での活動について

問１　以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①-⑧それぞれに回答してください。

【①ボランティアのグループ】

ボランティアのグループでは、「週 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月 1～3 回」「年に数回」を合わせた『参加している』(以下同様)は、8.6%となっています。

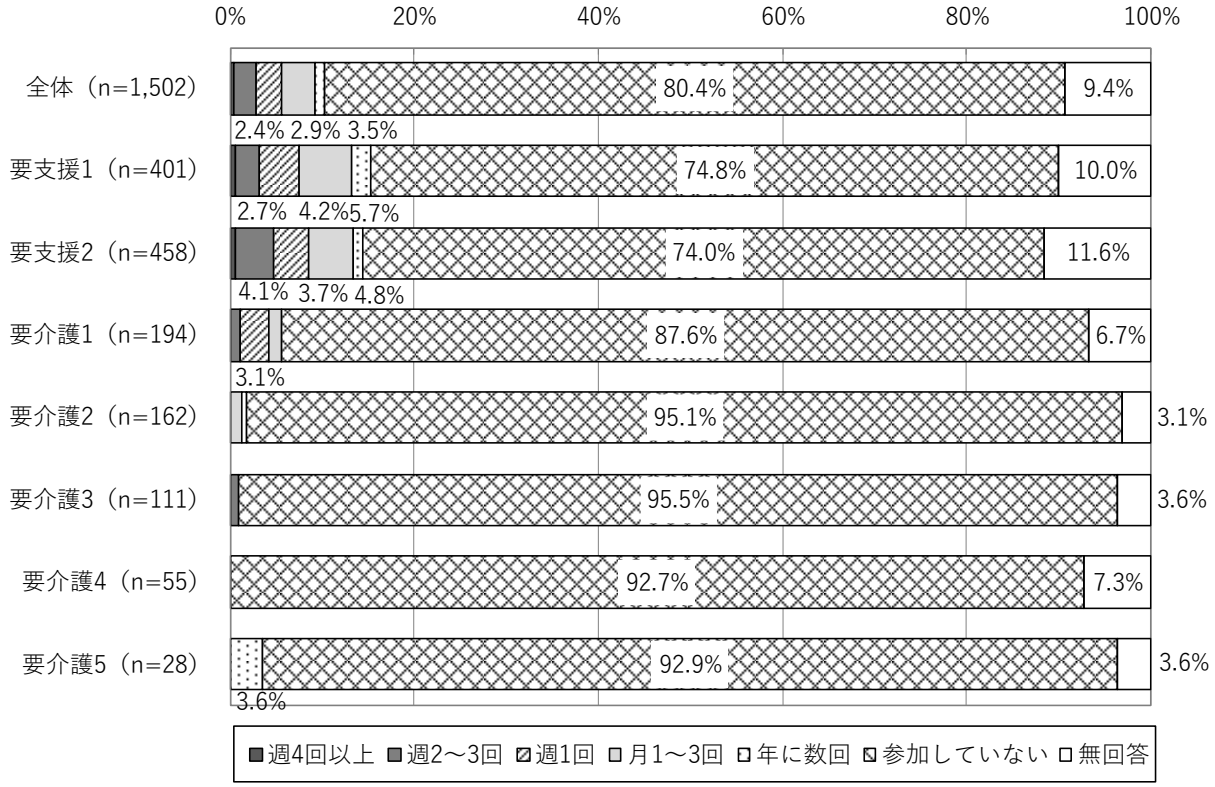
また、「参加していない」が 82.8%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	4	36	15	39	34	1,243	131	1,502
要支援1	1	12	9	13	13	314	39	401
要支援2	3	15	2	18	12	359	49	458
要介護1	0	7	2	4	2	169	10	194
要介護2	0	0	0	1	2	155	4	162
要介護3	0	1	0	1	0	105	4	111
要介護4	0	0	0	0	0	51	4	55
要介護5	0	0	0	0	3	24	1	28
全体(n=1,502)	0.3%	2.4%	1.0%	2.6%	2.3%	82.8%	8.7%	100.0%
要支援1(n=401)	0.2%	3.0%	2.2%	3.2%	3.2%	78.3%	9.7%	100.0%
要支援2(n=458)	0.7%	3.3%	0.4%	3.9%	2.6%	78.4%	10.7%	100.0%
要介護1(n=194)	0.0%	3.6%	1.0%	2.1%	1.0%	87.1%	5.2%	100.0%
要介護2(n=162)	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.2%	95.7%	2.5%	100.0%
要介護3(n=111)	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	94.6%	3.6%	100.0%
要介護4(n=55)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.7%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	85.7%	3.6%	100.0%

【②スポーツ関係のグループやクラブ】

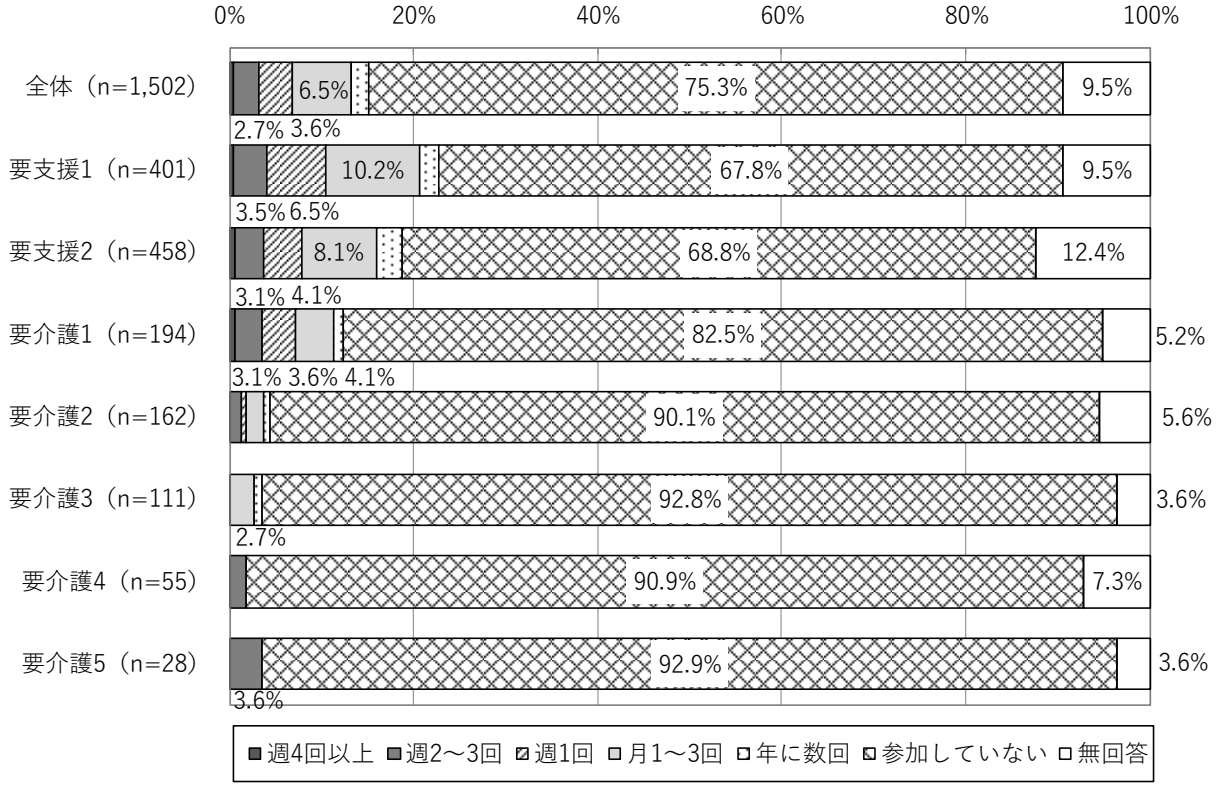
スポーツ関係のグループやクラブでは、『参加している』が 10.3%となっています。また、「参加していない」が 80.4%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	6	36	43	53	16	1,207	141	1,502
要支援1	2	11	17	23	8	300	40	401
要支援2	3	19	17	22	5	339	53	458
要介護1	0	2	6	3	0	170	13	194
要介護2	0	0	0	2	1	154	5	162
要介護3	0	1	0	0	0	106	4	111
要介護4	0	0	0	0	0	51	4	55
要介護5	0	0	0	0	1	26	1	28
全体(n=1,502)	0.4%	2.4%	2.9%	3.5%	1.1%	80.4%	9.4%	100.0%
要支援1(n=401)	0.5%	2.7%	4.2%	5.7%	2.0%	74.8%	10.0%	100.0%
要支援2(n=458)	0.7%	4.1%	3.7%	4.8%	1.1%	74.0%	11.6%	100.0%
要介護1(n=194)	0.0%	1.0%	3.1%	1.5%	0.0%	87.6%	6.7%	100.0%
要介護2(n=162)	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.6%	95.1%	3.1%	100.0%
要介護3(n=111)	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	95.5%	3.6%	100.0%
要介護4(n=55)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.7%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	92.9%	3.6%	100.0%

【③趣味関係のグループ】

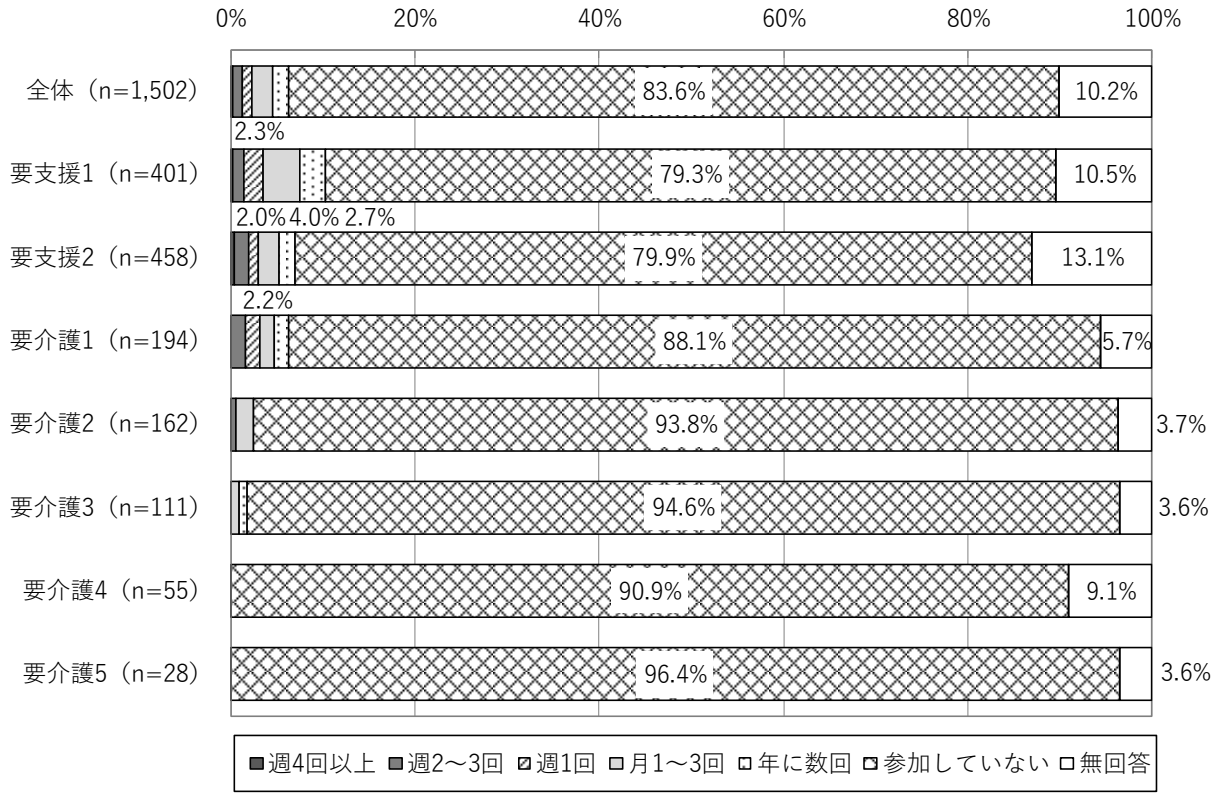
趣味関係のグループでは、『参加している』が 15.2%となっています。また、「参加していない」が 75.3%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	7	41	54	97	29	1,131	143	1,502
要支援1	2	14	26	41	8	272	38	401
要支援2	3	14	19	37	13	315	57	458
要介護1	1	6	7	8	2	160	10	194
要介護2	0	2	1	3	1	146	9	162
要介護3	0	0	0	3	1	103	4	111
要介護4	0	1	0	0	0	50	4	55
要介護5	0	1	0	0	0	26	1	28
全体（n=1,502）	0.5%	2.7%	3.6%	6.5%	1.9%	75.3%	9.5%	100.0%
要支援1（n=401）	0.5%	3.5%	6.5%	10.2%	2.0%	67.8%	9.5%	100.0%
要支援2（n=458）	0.7%	3.1%	4.1%	8.1%	2.8%	68.8%	12.4%	100.0%
要介護1（n=194）	0.5%	3.1%	3.6%	4.1%	1.0%	82.5%	5.2%	100.0%
要介護2（n=162）	0.0%	1.2%	0.6%	1.9%	0.6%	90.1%	5.6%	100.0%
要介護3（n=111）	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.9%	92.8%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	7.3%	100.0%
要介護5（n=28）	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	3.6%	100.0%

【④学習・教養サークル】

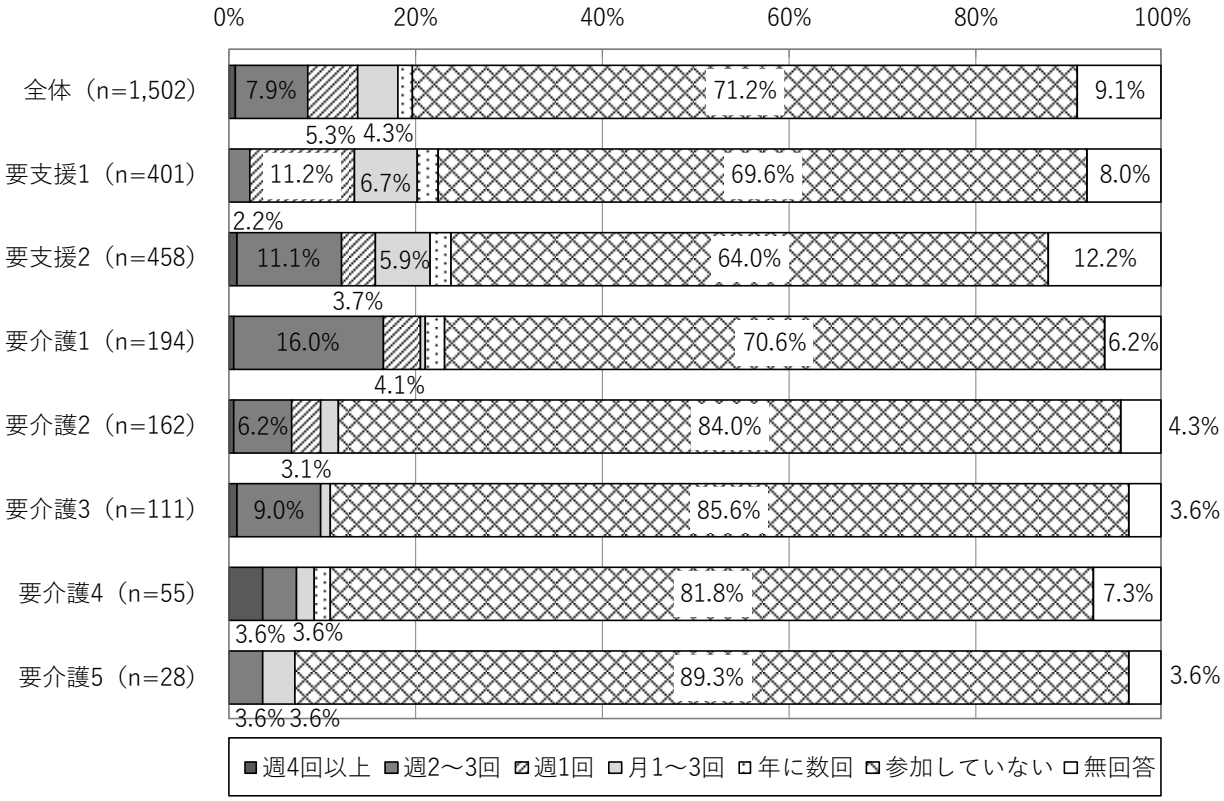
学習・教養サークルでは、『参加している』が 6.4%となっています。また、「参加していない」が 83.6%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	3	16	16	34	25	1,255	153	1,502
要支援1	1	5	8	16	11	318	42	401
要支援2	2	7	5	10	8	366	60	458
要介護1	0	3	3	3	3	171	11	194
要介護2	0	1	0	3	0	152	6	162
要介護3	0	0	0	1	1	105	4	111
要介護4	0	0	0	0	0	50	5	55
要介護5	0	0	0	0	0	27	1	28
全体（n=1,502）	0.2%	1.1%	1.1%	2.3%	1.7%	83.6%	10.2%	100.0%
要支援1（n=401）	0.2%	1.2%	2.0%	4.0%	2.7%	79.3%	10.5%	100.0%
要支援2（n=458）	0.4%	1.5%	1.1%	2.2%	1.7%	79.9%	13.1%	100.0%
要介護1（n=194）	0.0%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	88.1%	5.7%	100.0%
要介護2（n=162）	0.0%	0.6%	0.0%	1.9%	0.0%	93.8%	3.7%	100.0%
要介護3（n=111）	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	94.6%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%	100.0%
要介護5（n=28）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.4%	3.6%	100.0%

【⑤介護予防のための通いの場(高齢者憩いの広場、ふれあいサロン)】

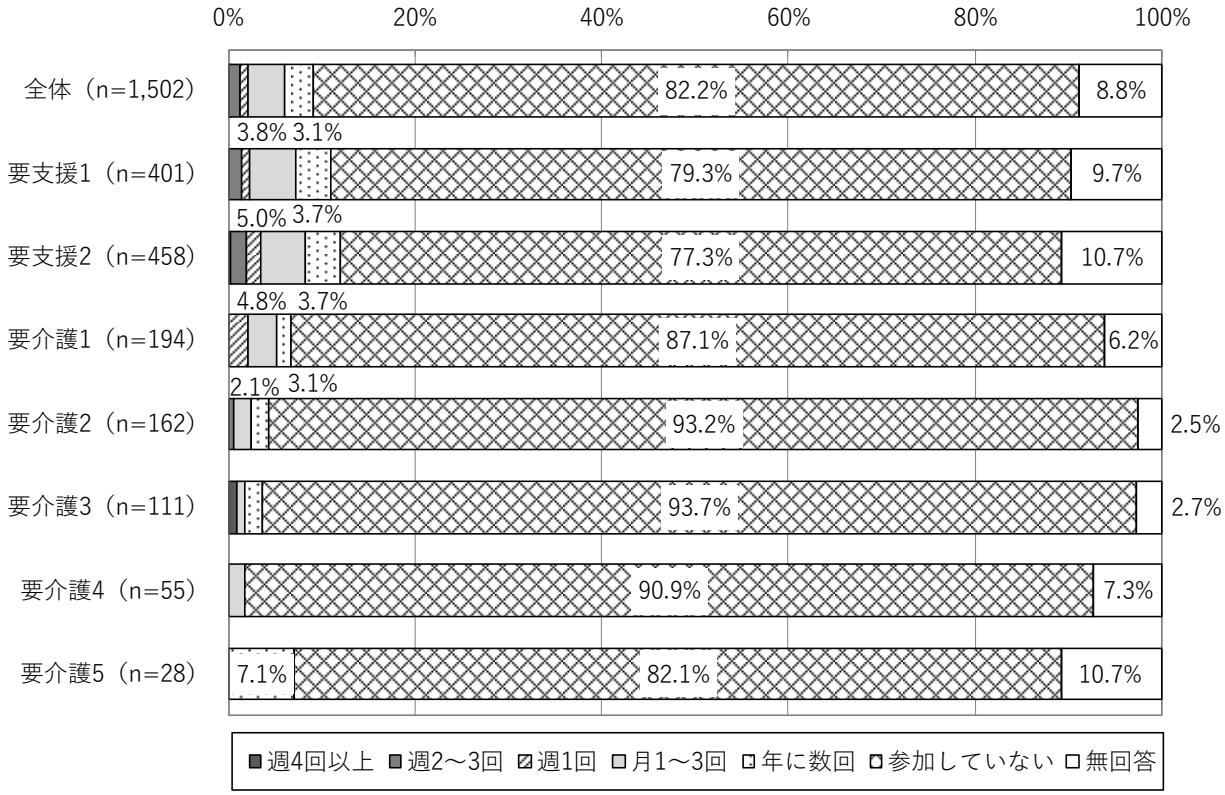
介護予防のための通いの場(高齢者憩いの広場、ふれあいサロン)では、『参加している』が 19.8%となっています。また、「参加していない」が 71.2%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	10	118	80	64	24	1,070	136	1,502
要支援1	0	9	45	27	9	279	32	401
要支援2	4	51	17	27	10	293	56	458
要介護1	1	31	8	1	4	137	12	194
要介護2	1	10	5	3	0	136	7	162
要介護3	1	10	0	1	0	95	4	111
要介護4	2	2	0	1	1	45	4	55
要介護5	0	1	0	1	0	25	1	28
全体(n=1,502)	0.7%	7.9%	5.3%	4.3%	1.6%	71.2%	9.1%	100.0%
要支援1(n=401)	0.0%	2.2%	11.2%	6.7%	2.2%	69.6%	8.0%	100.0%
要支援2(n=458)	0.9%	11.1%	3.7%	5.9%	2.2%	64.0%	12.2%	100.0%
要介護1(n=194)	0.5%	16.0%	4.1%	0.5%	2.1%	70.6%	6.2%	100.0%
要介護2(n=162)	0.6%	6.2%	3.1%	1.9%	0.0%	84.0%	4.3%	100.0%
要介護3(n=111)	0.9%	9.0%	0.0%	0.9%	0.0%	85.6%	3.6%	100.0%
要介護4(n=55)	3.6%	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%	81.8%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	89.3%	3.6%	100.0%

【⑥老人クラブ】

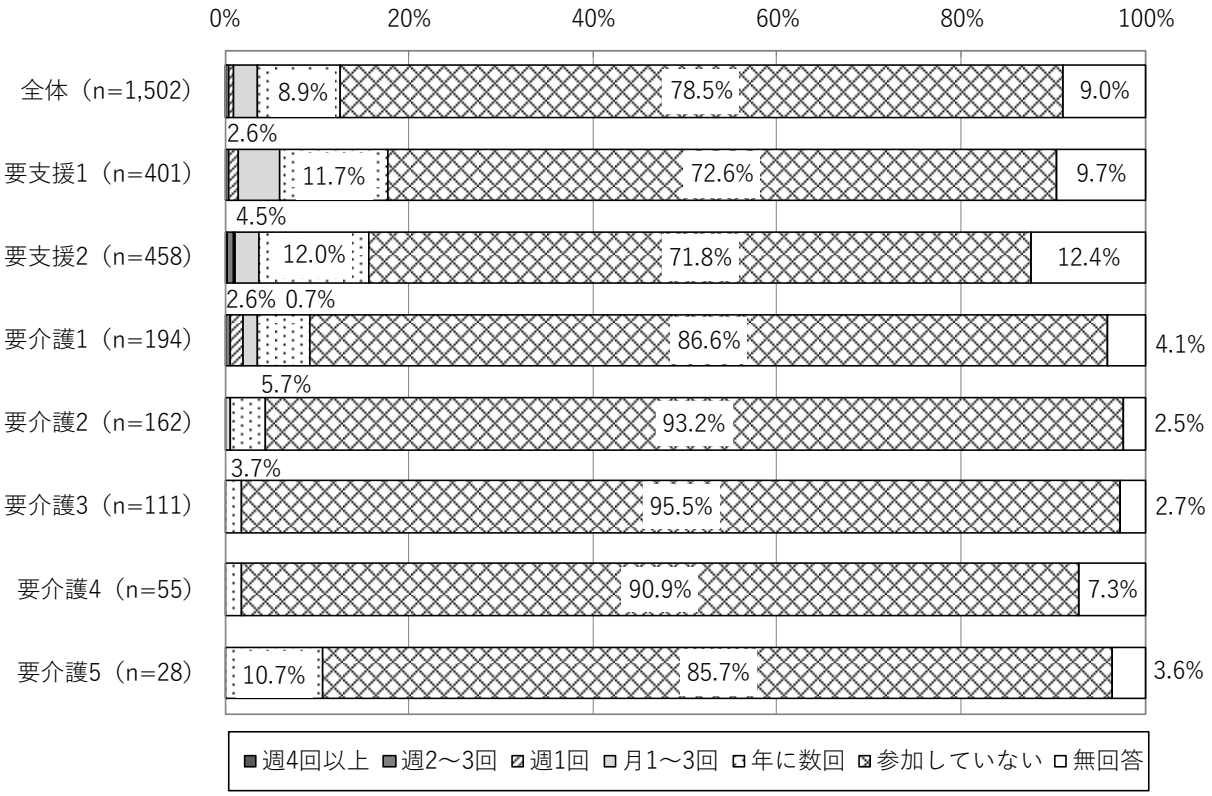
老人クラブ)では、『参加している』が 9.1%となっています。また、「参加していない」が 82.2%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	2	16	15	57	46	1,234	132	1,502
要支援1	0	6	3	20	15	318	39	401
要支援2	1	8	7	22	17	354	49	458
要介護1	0	0	4	6	3	169	12	194
要介護2	0	1	0	3	3	151	4	162
要介護3	1	0	0	1	2	104	3	111
要介護4	0	0	0	1	0	50	4	55
要介護5	0	0	0	0	2	23	3	28
全体(n=1,502)	0.1%	1.1%	1.0%	3.8%	3.1%	82.2%	8.8%	100.0%
要支援1(n=401)	0.0%	1.5%	0.7%	5.0%	3.7%	79.3%	9.7%	100.0%
要支援2(n=458)	0.2%	1.7%	1.5%	4.8%	3.7%	77.3%	10.7%	100.0%
要介護1(n=194)	0.0%	0.0%	2.1%	3.1%	1.5%	87.1%	6.2%	100.0%
要介護2(n=162)	0.0%	0.6%	0.0%	1.9%	1.9%	93.2%	2.5%	100.0%
要介護3(n=111)	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	93.7%	2.7%	100.0%
要介護4(n=55)	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	90.9%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	82.1%	10.7%	100.0%

【⑦町内会・自治会】

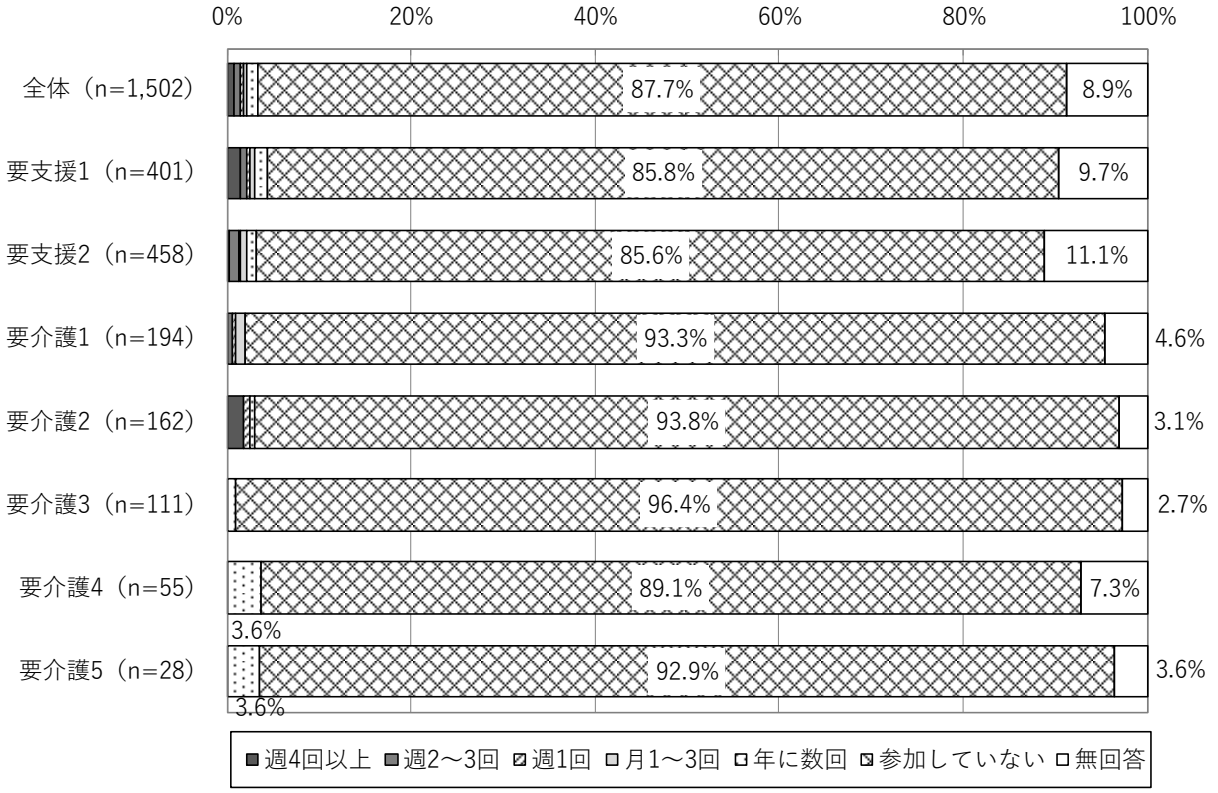
町内会・自治会では、『参加している』が 12.5%となっています。また、「参加していない」が 78.5%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	1	6	8	39	134	1,179	135	1,502
要支援1	0	2	4	18	47	291	39	401
要支援2	1	3	1	12	55	329	57	458
要介護1	0	1	3	3	11	168	8	194
要介護2	0	0	0	1	6	151	4	162
要介護3	0	0	0	0	2	106	3	111
要介護4	0	0	0	0	1	50	4	55
要介護5	0	0	0	0	3	24	1	28
全体(n=1,502)	0.1%	0.4%	0.5%	2.6%	8.9%	78.5%	9.0%	100.0%
要支援1(n=401)	0.0%	0.5%	1.0%	4.5%	11.7%	72.6%	9.7%	100.0%
要支援2(n=458)	0.2%	0.7%	0.2%	2.6%	12.0%	71.8%	12.4%	100.0%
要介護1(n=194)	0.0%	0.5%	1.5%	1.5%	5.7%	86.6%	4.1%	100.0%
要介護2(n=162)	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	3.7%	93.2%	2.5%	100.0%
要介護3(n=111)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	95.5%	2.7%	100.0%
要介護4(n=55)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	90.9%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	85.7%	3.6%	100.0%

【⑧収入のある仕事】

収入のある仕事では、『参加している』が 3.4%となっています。また、「参加していない」が 87.7%となっています。

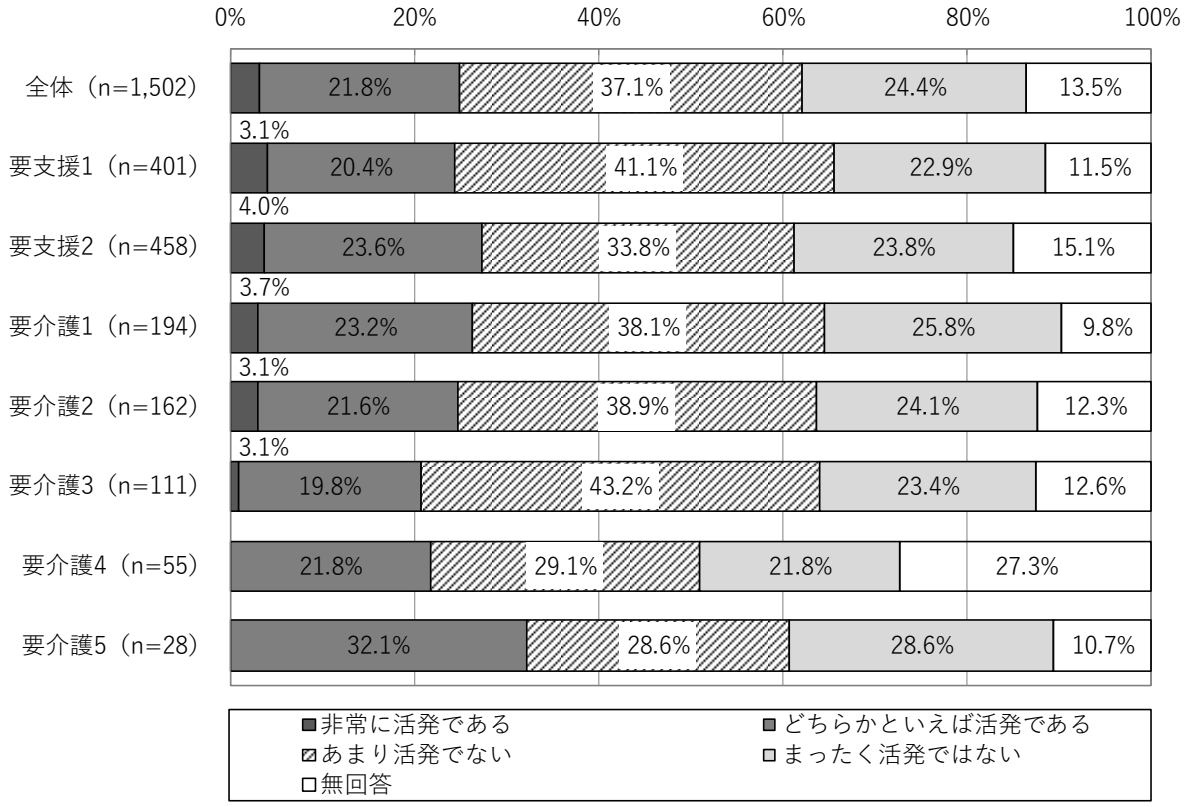


	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	11	10	5	7	18	1,318	133	1,502
要支援1	6	3	1	2	6	344	39	401
要支援2	1	5	1	3	5	392	51	458
要介護1	0	1	1	2	0	181	9	194
要介護2	3	0	1	0	1	152	5	162
要介護3	0	0	0	0	1	107	3	111
要介護4	0	0	0	0	2	49	4	55
要介護5	0	0	0	0	1	26	1	28
全体（n=1,502）	0.7%	0.7%	0.3%	0.5%	1.2%	87.7%	8.9%	100.0%
要支援1（n=401）	1.5%	0.7%	0.2%	0.5%	1.5%	85.8%	9.7%	100.0%
要支援2（n=458）	0.2%	1.1%	0.2%	0.7%	1.1%	85.6%	11.1%	100.0%
要介護1（n=194）	0.0%	0.5%	0.5%	1.0%	0.0%	93.3%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	1.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	93.8%	3.1%	100.0%
要介護3（n=111）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	96.4%	2.7%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	89.1%	7.3%	100.0%
要介護5（n=28）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	92.9%	3.6%	100.0%

問 2　自身が住んでいる地域の地域活動や行事は活発だと思いますか。

住んでいる地域の地域活動や行事は活発だと思うかでは、「活発である」「どちらかといえば活発である」を合わせた『活発である』が 24.9%となっています。

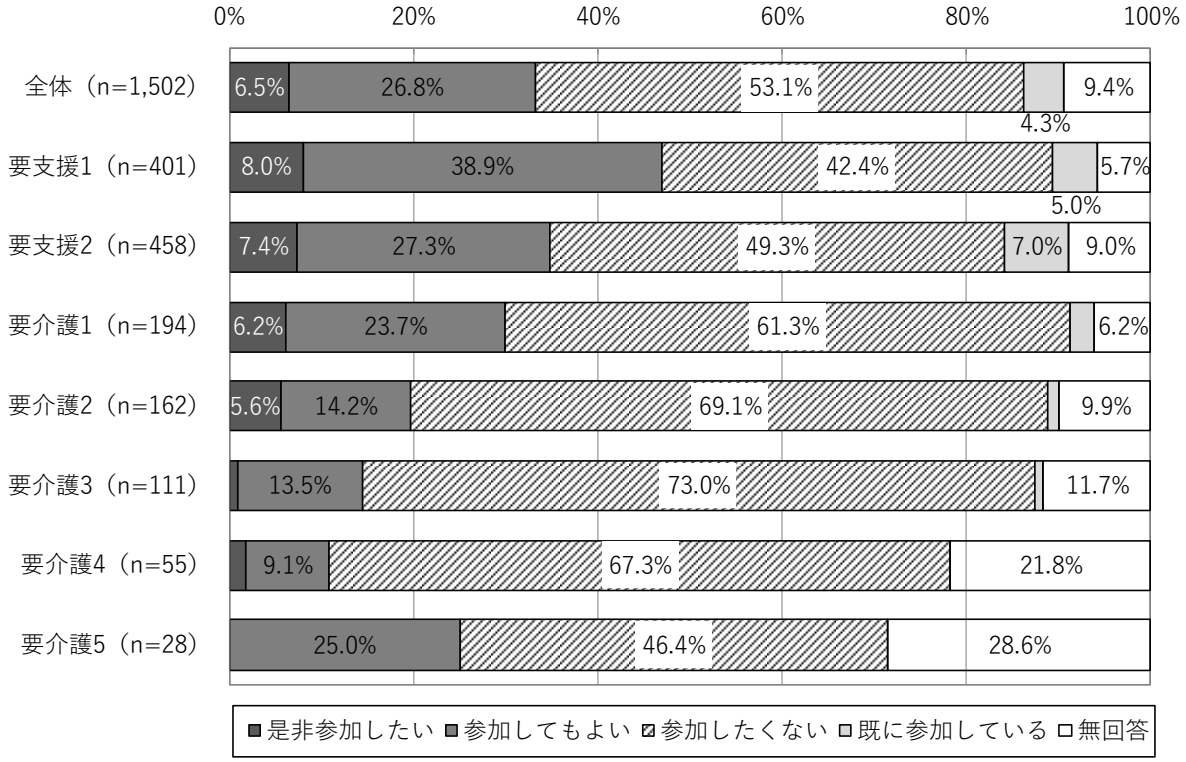
また、「あまり活発でない」「まったく活発ではない」を合わせた『活発でない』が 61.5%となっています。



	非常に活発である	どちらかといえば活発である	あまり活発でない	まったく活発ではない	無回答	合計
全体	47	328	557	367	203	1,502
要支援1	16	82	165	92	46	401
要支援2	17	108	155	109	69	458
要介護1	6	45	74	50	19	194
要介護2	5	35	63	39	20	162
要介護3	1	22	48	26	14	111
要介護4	0	12	16	12	15	55
要介護5	0	9	8	8	3	28
全体（n=1,502）	3.1%	21.8%	37.1%	24.4%	13.5%	100.0%
要支援1（n=401）	4.0%	20.4%	41.1%	22.9%	11.5%	100.0%
要支援2（n=458）	3.7%	23.6%	33.8%	23.8%	15.1%	100.0%
要介護1（n=194）	3.1%	23.2%	38.1%	25.8%	9.8%	100.0%
要介護2（n=162）	3.1%	21.6%	38.9%	24.1%	12.3%	100.0%
要介護3（n=111）	0.9%	19.8%	43.2%	23.4%	12.6%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	21.8%	29.1%	21.8%	27.3%	100.0%
要介護5（n=28）	0.0%	32.1%	28.6%	28.6%	10.7%	100.0%

問 3　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

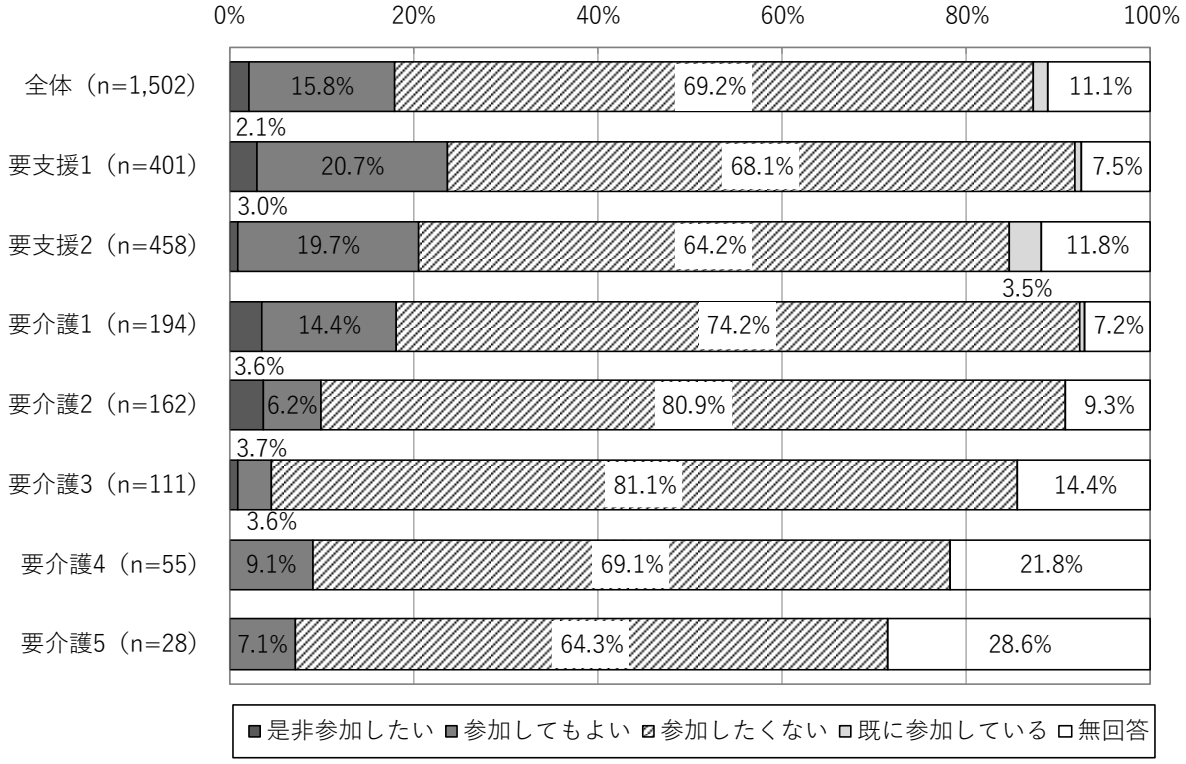
健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思うかでは、「参加したくない」が 53.1%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 26.8%、「是非参加したい」が 6.5%となっています。



	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	合計
全体	97	402	797	65	141	1,502
要支援1	32	156	170	20	23	401
要支援2	34	125	226	32	41	458
要介護1	12	46	119	5	12	194
要介護2	9	23	112	2	16	162
要介護3	1	15	81	1	13	111
要介護4	1	5	37	0	12	55
要介護5	0	7	13	0	8	28
全体(n=1,502)	6.5%	26.8%	53.1%	4.3%	9.4%	100.0%
要支援1(n=401)	8.0%	38.9%	42.4%	5.0%	5.7%	100.0%
要支援2(n=458)	7.4%	27.3%	49.3%	7.0%	9.0%	100.0%
要介護1(n=194)	6.2%	23.7%	61.3%	2.6%	6.2%	100.0%
要介護2(n=162)	5.6%	14.2%	69.1%	1.2%	9.9%	100.0%
要介護3(n=111)	0.9%	13.5%	73.0%	0.9%	11.7%	100.0%
要介護4(n=55)	1.8%	9.1%	67.3%	0.0%	21.8%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	25.0%	46.4%	0.0%	28.6%	100.0%

問４　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

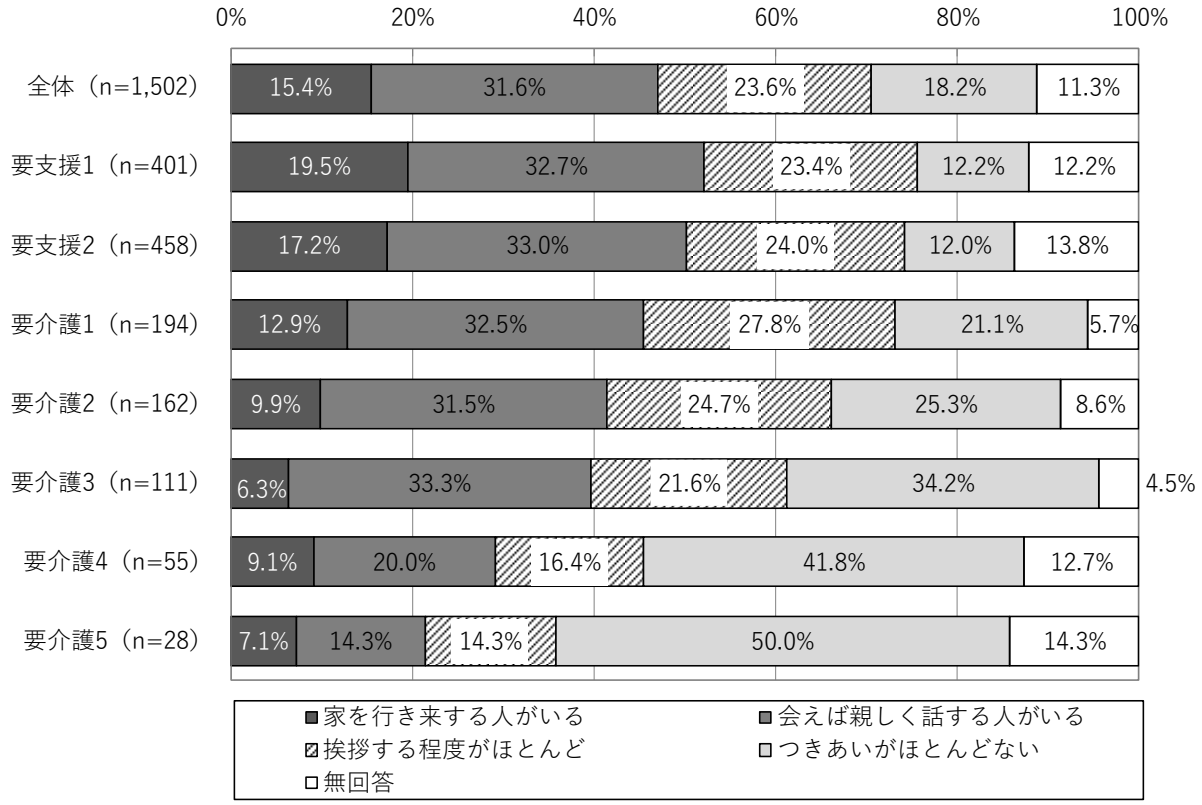
健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかでは、「参加したくない」が 69.2%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 15.8%、「是非参加したい」が 2.1%となっています。



	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	合計
全体	32	238	1,040	25	167	1,502
要支援1	12	83	273	3	30	401
要支援2	4	90	294	16	54	458
要介護1	7	28	144	1	14	194
要介護2	6	10	131	0	15	162
要介護3	1	4	90	0	16	111
要介護4	0	5	38	0	12	55
要介護5	0	2	18	0	8	28
全体（n=1,502）	2.1%	15.8%	69.2%	1.7%	11.1%	100.0%
要支援1（n=401）	3.0%	20.7%	68.1%	0.7%	7.5%	100.0%
要支援2（n=458）	0.9%	19.7%	64.2%	3.5%	11.8%	100.0%
要介護1（n=194）	3.6%	14.4%	74.2%	0.5%	7.2%	100.0%
要介護2（n=162）	3.7%	6.2%	80.9%	0.0%	9.3%	100.0%
要介護3（n=111）	0.9%	3.6%	81.1%	0.0%	14.4%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	9.1%	69.1%	0.0%	21.8%	100.0%
要介護5（n=28）	0.0%	7.1%	64.3%	0.0%	28.6%	100.0%

問 5　近所付き合いはどの程度ありますか。

近所付き合いの程度では、「会えば親しく話する人がいる」が 31.6%と最も多く、次いで「挨拶する程度がほとんど」が 23.6%、「つきあいがほとんどない」が 18.2%となっています。

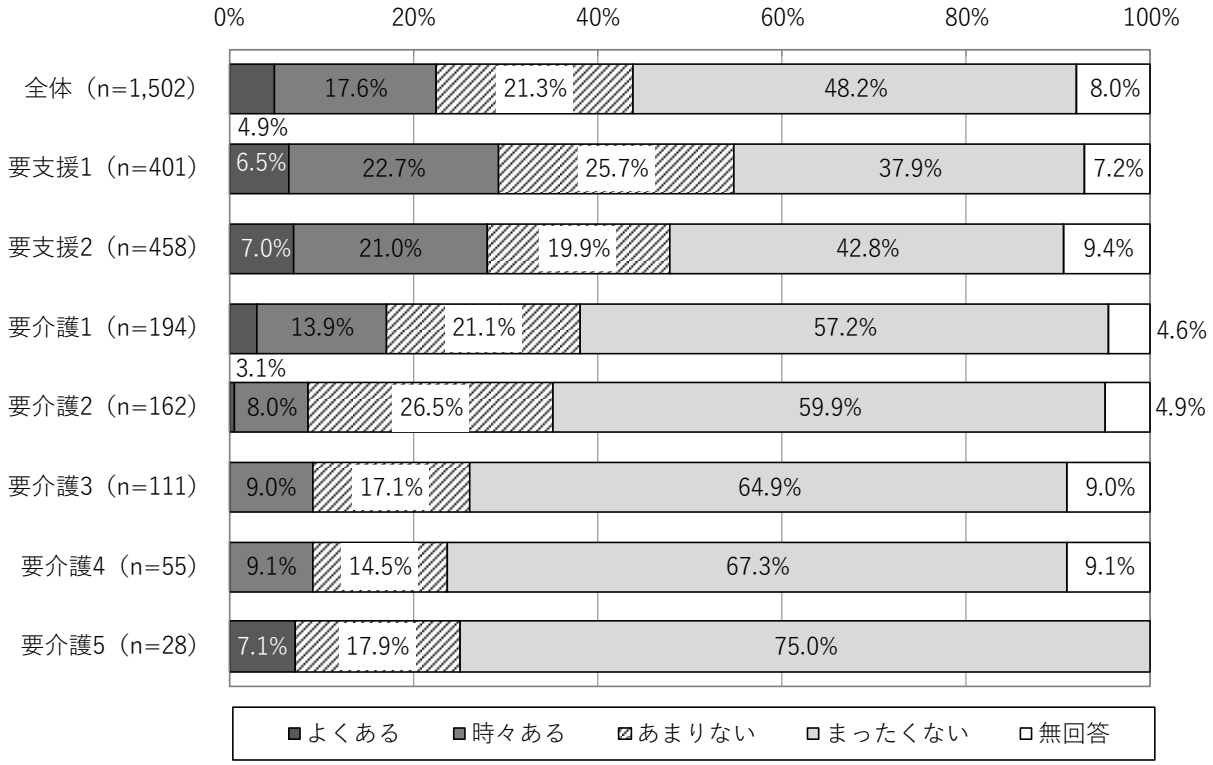


	家を行き来する人がいる	会えば親しく話する人がいる	挨拶する程度がほとんど	つきあいがほとんどない	無回答	合計
全体	231	475	354	273	169	1,502
要支援1	78	131	94	49	49	401
要支援2	79	151	110	55	63	458
要介護1	25	63	54	41	11	194
要介護2	16	51	40	41	14	162
要介護3	7	37	24	38	5	111
要介護4	5	11	9	23	7	55
要介護5	2	4	4	14	4	28
全体（n=1,502）	15.4%	31.6%	23.6%	18.2%	11.3%	100.0%
要支援1（n=401）	19.5%	32.7%	23.4%	12.2%	12.2%	100.0%
要支援2（n=458）	17.2%	33.0%	24.0%	12.0%	13.8%	100.0%
要介護1（n=194）	12.9%	32.5%	27.8%	21.1%	5.7%	100.0%
要介護2（n=162）	9.9%	31.5%	24.7%	25.3%	8.6%	100.0%
要介護3（n=111）	6.3%	33.3%	21.6%	34.2%	4.5%	100.0%
要介護4（n=55）	9.1%	20.0%	16.4%	41.8%	12.7%	100.0%
要介護5（n=28）	7.1%	14.3%	14.3%	50.0%	14.3%	100.0%

問 6　地区担当の民生委員と会話をする機会はありますか。

「よくある」「時々ある」を合わせた『ある』は 22.5%となっています。

また、「あまりない」「まったくない」を合わせた『ない』は 69.5%となっています。



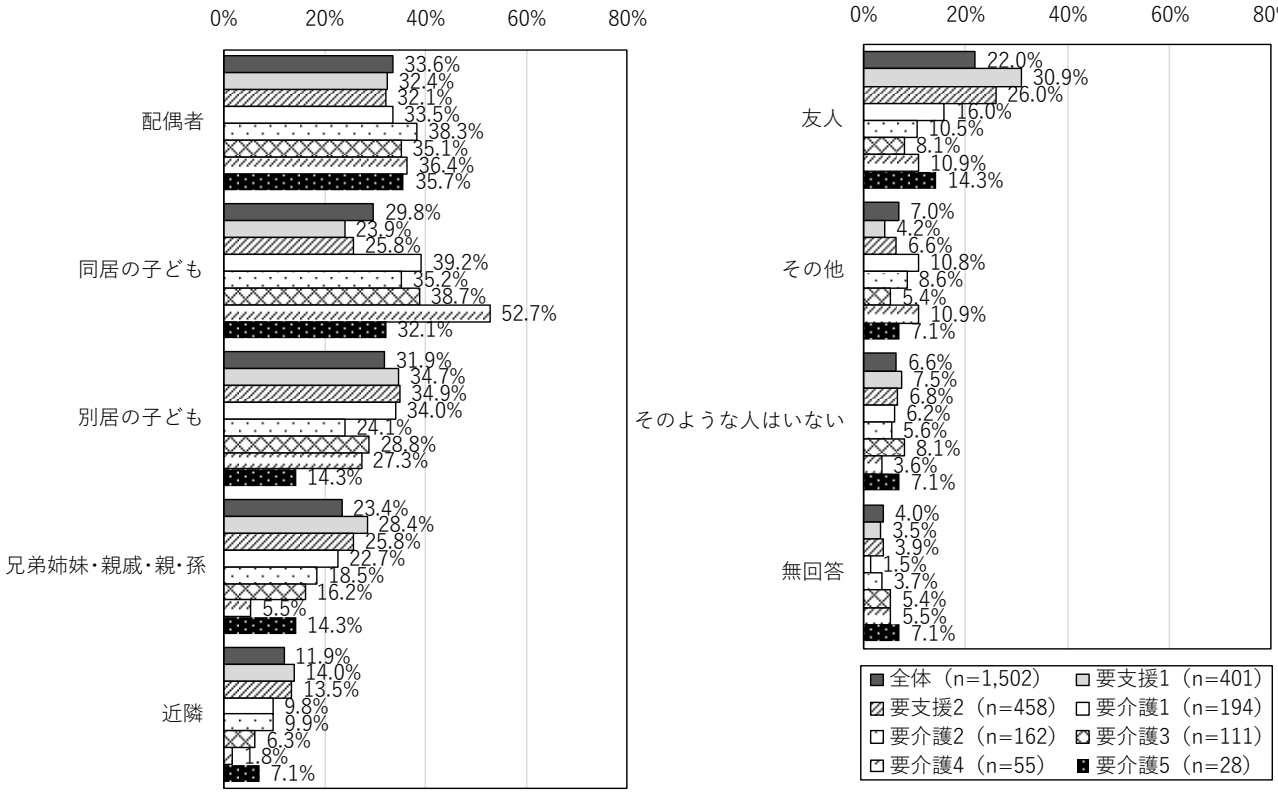
	よくある	時々ある	あまりない	まったくない	無回答	合計
全体	74	264	320	724	120	1,502
要支援1	26	91	103	152	29	401
要支援2	32	96	91	196	43	458
要介護1	6	27	41	111	9	194
要介護2	1	13	43	97	8	162
要介護3	0	10	19	72	10	111
要介護4	0	5	8	37	5	55
要介護5	2	0	5	21	0	28
全体（n=1,502）	4.9%	17.6%	21.3%	48.2%	8.0%	100.0%
要支援1（n=401）	6.5%	22.7%	25.7%	37.9%	7.2%	100.0%
要支援2（n=458）	7.0%	21.0%	19.9%	42.8%	9.4%	100.0%
要介護1（n=194）	3.1%	13.9%	21.1%	57.2%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	0.6%	8.0%	26.5%	59.9%	4.9%	100.0%
要介護3（n=111）	0.0%	9.0%	17.1%	64.9%	9.0%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	9.1%	14.5%	67.3%	9.1%	100.0%
要介護5（n=28）	7.1%	0.0%	17.9%	75.0%	0.0%	100.0%

（7）たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問１　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（いくつでも）

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人では、「配偶者」が 33.6%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 31.9%、「同居の子ども」が 29.8%となっています。

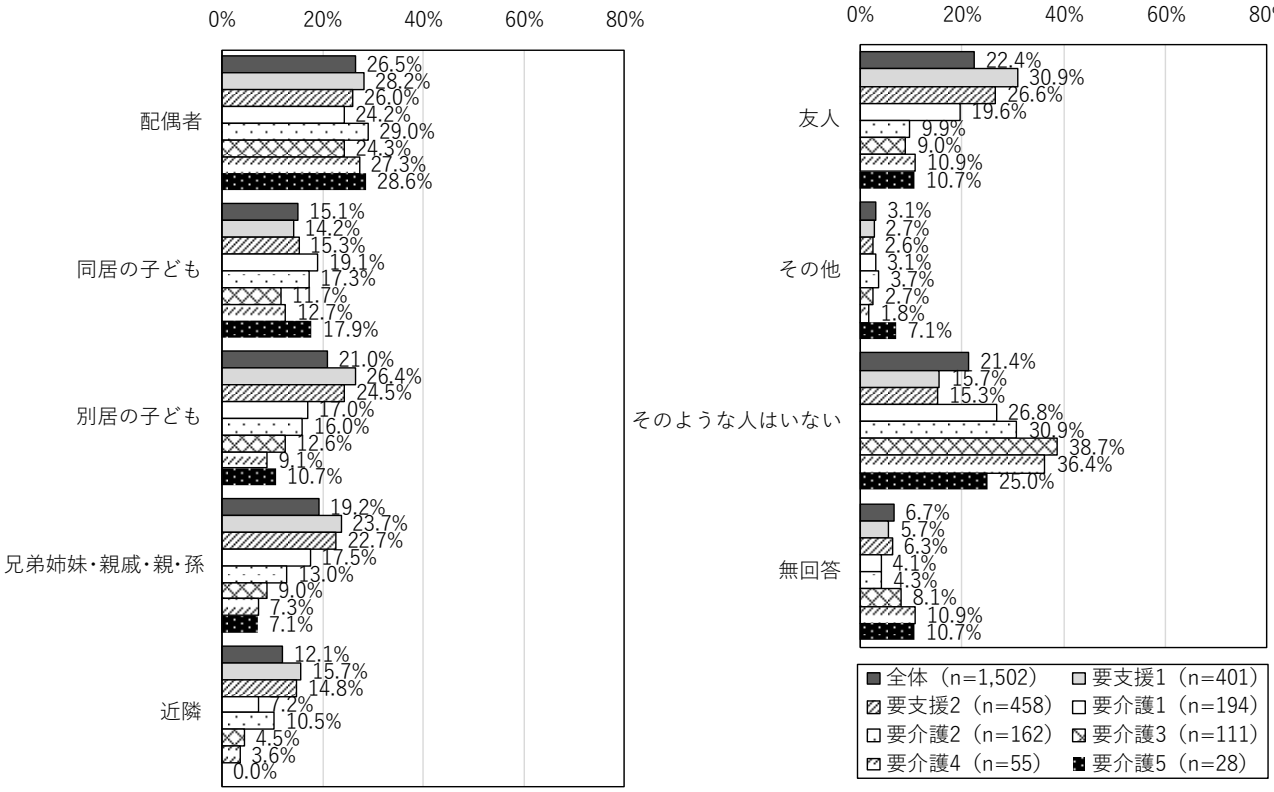


	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	504	447	479	351	179	330	105	99	60	1,502
要支援1	130	96	139	114	56	124	17	30	14	401
要支援2	147	118	160	118	62	119	30	31	18	458
要介護1	65	76	66	44	19	31	21	12	3	194
要介護2	62	57	39	30	16	17	14	9	6	162
要介護3	39	43	32	18	7	9	6	9	6	111
要介護4	20	29	15	3	1	6	6	2	3	55
要介護5	10	9	4	4	2	4	2	2	2	28
全体(n=1,502)	33.6%	29.8%	31.9%	23.4%	11.9%	22.0%	7.0%	6.6%	4.0%	
要支援1(n=401)	32.4%	23.9%	34.7%	28.4%	14.0%	30.9%	4.2%	7.5%	3.5%	
要支援2(n=458)	32.1%	25.8%	34.9%	25.8%	13.5%	26.0%	6.6%	6.8%	3.9%	
要介護1(n=194)	33.5%	39.2%	34.0%	22.7%	9.8%	16.0%	10.8%	6.2%	1.5%	
要介護2(n=162)	38.3%	35.2%	24.1%	18.5%	9.9%	10.5%	8.6%	5.6%	3.7%	
要介護3(n=111)	35.1%	38.7%	28.8%	16.2%	6.3%	8.1%	5.4%	8.1%	5.4%	
要介護4(n=55)	36.4%	52.7%	27.3%	5.5%	1.8%	10.9%	10.9%	3.6%	5.5%	
要介護5(n=28)	35.7%	32.1%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	

問 2　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（いくつでも）

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人では、「配偶者」が 26.5%と最も多く、次いで「友人」が 22.4%となっています。

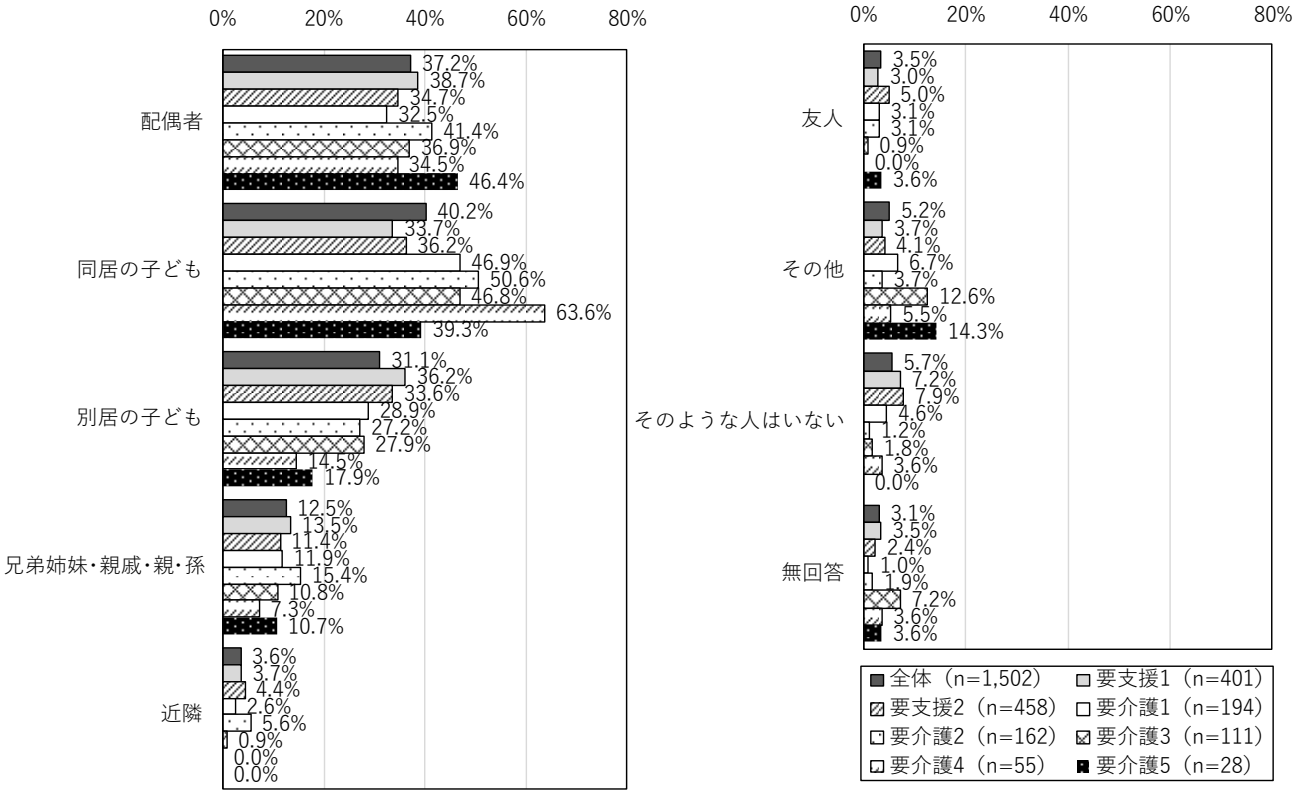
また、「そのような人はいない」が 21.4%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	398	227	315	289	182	337	47	321	100	1,502
要支援1	113	57	106	95	63	124	11	63	23	401
要支援2	119	70	112	104	68	122	12	70	29	458
要介護1	47	37	33	34	14	38	6	52	8	194
要介護2	47	28	26	21	17	16	6	50	7	162
要介護3	27	13	14	10	5	10	3	43	9	111
要介護4	15	7	5	4	2	6	1	20	6	55
要介護5	8	5	3	2	0	3	2	7	3	28
全体(n=1,502)	26.5%	15.1%	21.0%	19.2%	12.1%	22.4%	3.1%	21.4%	6.7%	
要支援1(n=401)	28.2%	14.2%	26.4%	23.7%	15.7%	30.9%	2.7%	15.7%	5.7%	
要支援2(n=458)	26.0%	15.3%	24.5%	22.7%	14.8%	26.6%	2.6%	15.3%	6.3%	
要介護1(n=194)	24.2%	19.1%	17.0%	17.5%	7.2%	19.6%	3.1%	26.8%	4.1%	
要介護2(n=162)	29.0%	17.3%	16.0%	13.0%	10.5%	9.9%	3.7%	30.9%	4.3%	
要介護3(n=111)	24.3%	11.7%	12.6%	9.0%	4.5%	9.0%	2.7%	38.7%	8.1%	
要介護4(n=55)	27.3%	12.7%	9.1%	7.3%	3.6%	10.9%	1.8%	36.4%	10.9%	
要介護5(n=28)	28.6%	17.9%	10.7%	7.1%	0.0%	10.7%	7.1%	25.0%	10.7%	

問 3　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。（いくつでも）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人では、「同居の子ども」が 40.2%と最も多く、次いで「配偶者」が 37.2%、「別居の子ども」が 31.1%となっています。

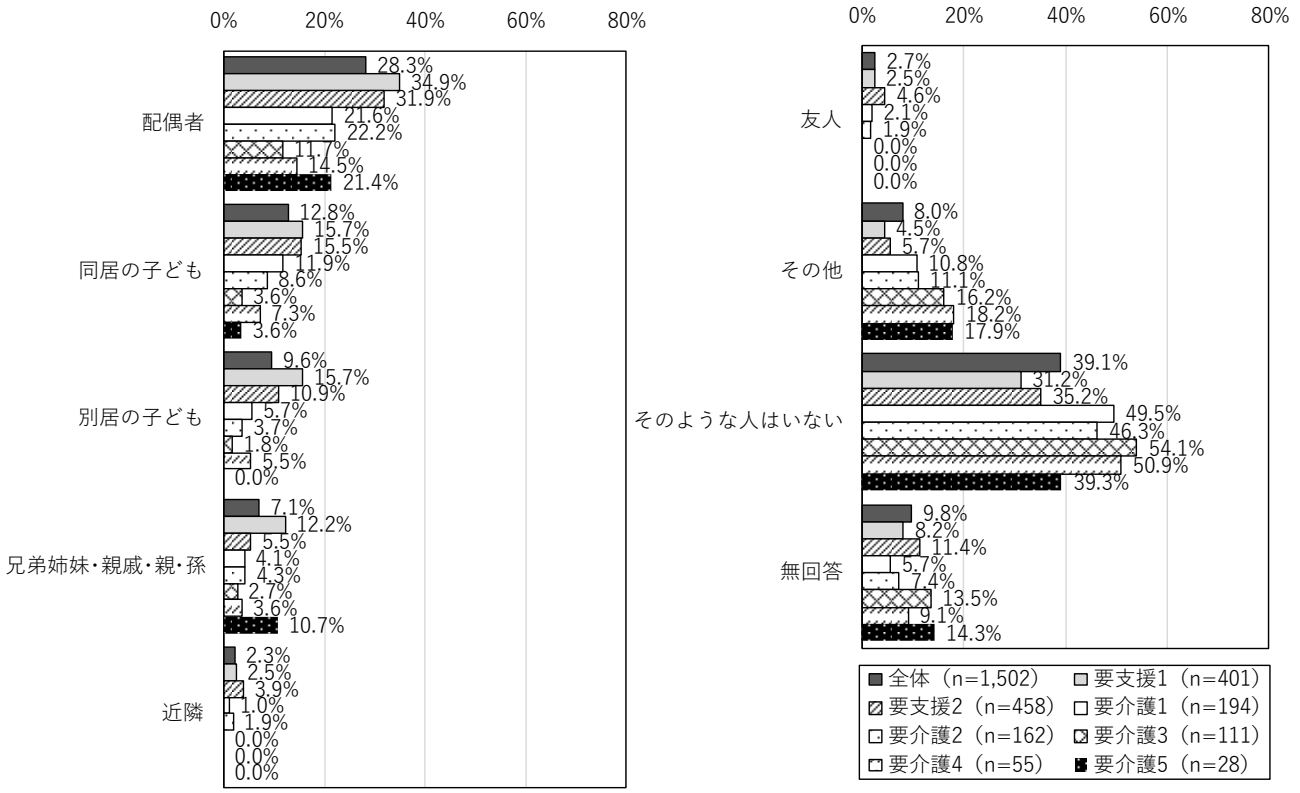


	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	558	604	467	188	54	53	78	85	47	1,502
要支援1	155	135	145	54	15	12	15	29	14	401
要支援2	159	166	154	52	20	23	19	36	11	458
要介護1	63	91	56	23	5	6	13	9	2	194
要介護2	67	82	44	25	9	5	6	2	3	162
要介護3	41	52	31	12	1	1	14	2	8	111
要介護4	19	35	8	4	0	0	3	2	2	55
要介護5	13	11	5	3	0	1	4	0	1	28
全体(n=1,502)	37.2%	40.2%	31.1%	12.5%	3.6%	3.5%	5.2%	5.7%	3.1%	
要支援1(n=401)	38.7%	33.7%	36.2%	13.5%	3.7%	3.0%	3.7%	7.2%	3.5%	
要支援2(n=458)	34.7%	36.2%	33.6%	11.4%	4.4%	5.0%	4.1%	7.9%	2.4%	
要介護1(n=194)	32.5%	46.9%	28.9%	11.9%	2.6%	3.1%	6.7%	4.6%	1.0%	
要介護2(n=162)	41.4%	50.6%	27.2%	15.4%	5.6%	3.1%	3.7%	1.2%	1.9%	
要介護3(n=111)	36.9%	46.8%	27.9%	10.8%	0.9%	0.9%	12.6%	1.8%	7.2%	
要介護4(n=55)	34.5%	63.6%	14.5%	7.3%	0.0%	0.0%	5.5%	3.6%	3.6%	
要介護5(n=28)	46.4%	39.3%	17.9%	10.7%	0.0%	3.6%	14.3%	0.0%	3.6%	

問４　反対に、看病や世話をしてあげる人。（いくつでも）

反対に、看病や世話をしてあげる人では、「配偶者」が 28.3%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 12.8%となっています。

また、「そのような人はいない」が 39.1%となっています。

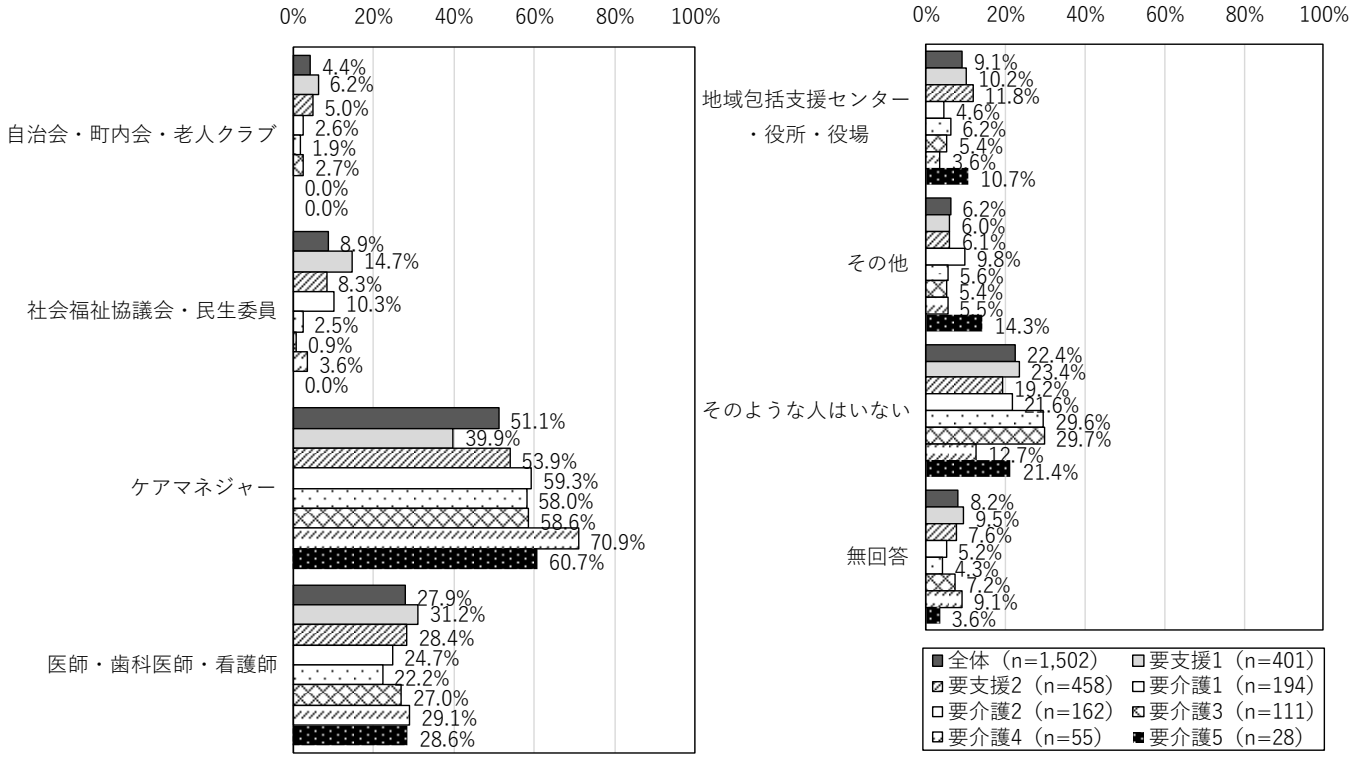


	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	425	192	144	107	34	40	120	587	147	1,502
要支援1	140	63	63	49	10	10	18	125	33	401
要支援2	146	71	50	25	18	21	26	161	52	458
要介護1	42	23	11	8	2	4	21	96	11	194
要介護2	36	14	6	7	3	3	18	75	12	162
要介護3	13	4	2	3	0	0	18	60	15	111
要介護4	8	4	3	2	0	0	10	28	5	55
要介護5	6	1	0	3	0	0	5	11	4	28
全体(n=1,502)	28.3%	12.8%	9.6%	7.1%	2.3%	2.7%	8.0%	39.1%	9.8%	
要支援1(n=401)	34.9%	15.7%	15.7%	12.2%	2.5%	2.5%	4.5%	31.2%	8.2%	
要支援2(n=458)	31.9%	15.5%	10.9%	5.5%	3.9%	4.6%	5.7%	35.2%	11.4%	
要介護1(n=194)	21.6%	11.9%	5.7%	4.1%	1.0%	2.1%	10.8%	49.5%	5.7%	
要介護2(n=162)	22.2%	8.6%	3.7%	4.3%	1.9%	1.9%	11.1%	46.3%	7.4%	
要介護3(n=111)	11.7%	3.6%	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	16.2%	54.1%	13.5%	
要介護4(n=55)	14.5%	7.3%	5.5%	3.6%	0.0%	0.0%	18.2%	50.9%	9.1%	
要介護5(n=28)	21.4%	3.6%	0.0%	10.7%	0.0%	0.0%	17.9%	39.3%	14.3%	

問 5　家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手では、「ケアマネジャー」が 51.1%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 27.9%となっています。

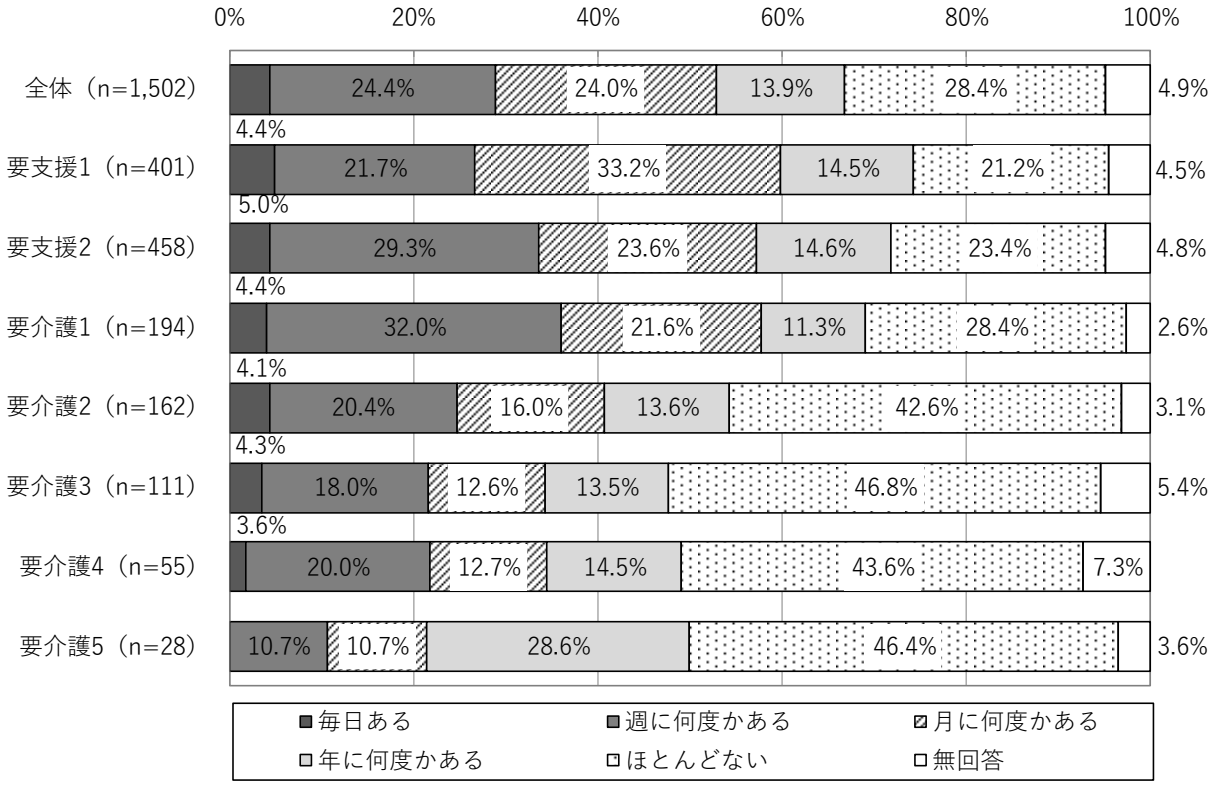
また、「そのような人はいない」が 22.4%となっています。



	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	66	133	767	419	137	93	337	123	1,502
要支援1	25	59	160	125	41	24	94	38	401
要支援2	23	38	247	130	54	28	88	35	458
要介護1	5	20	115	48	9	19	42	10	194
要介護2	3	4	94	36	10	9	48	7	162
要介護3	3	1	65	30	6	6	33	8	111
要介護4	0	2	39	16	2	3	7	5	55
要介護5	0	0	17	8	3	4	6	1	28
全体(n=1,502)	4.4%	8.9%	51.1%	27.9%	9.1%	6.2%	22.4%	8.2%	
要支援1(n=401)	6.2%	14.7%	39.9%	31.2%	10.2%	6.0%	23.4%	9.5%	
要支援2(n=458)	5.0%	8.3%	53.9%	28.4%	11.8%	6.1%	19.2%	7.6%	
要介護1(n=194)	2.6%	10.3%	59.3%	24.7%	4.6%	9.8%	21.6%	5.2%	
要介護2(n=162)	1.9%	2.5%	58.0%	22.2%	6.2%	5.6%	29.6%	4.3%	
要介護3(n=111)	2.7%	0.9%	58.6%	27.0%	5.4%	5.4%	29.7%	7.2%	
要介護4(n=55)	0.0%	3.6%	70.9%	29.1%	3.6%	5.5%	12.7%	9.1%	
要介護5(n=28)	0.0%	0.0%	60.7%	28.6%	10.7%	14.3%	21.4%	3.6%	

問 6　友人･知人と会う頻度はどれくらいですか。

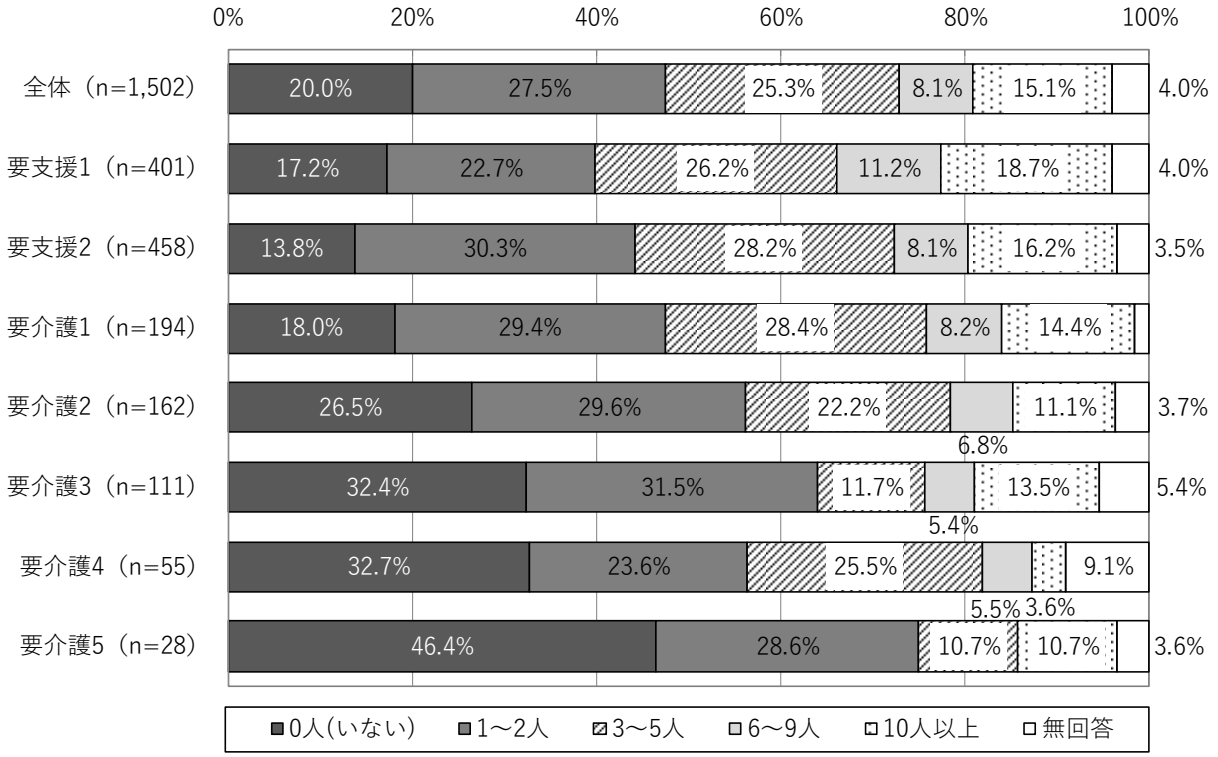
友人･知人と会う頻度では、「ほとんどない」が 28.4%と最も多く、次いで「週に何度かある」が 24.4%、「月に何度かある」が 24.0%となっています。



	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	合計
全体	66	367	361	209	426	73	1,502
要支援1	20	87	133	58	85	18	401
要支援2	20	134	108	67	107	22	458
要介護1	8	62	42	22	55	5	194
要介護2	7	33	26	22	69	5	162
要介護3	4	20	14	15	52	6	111
要介護4	1	11	7	8	24	4	55
要介護5	0	3	3	8	13	1	28
全体(n=1,502)	4.4%	24.4%	24.0%	13.9%	28.4%	4.9%	100.0%
要支援1(n=401)	5.0%	21.7%	33.2%	14.5%	21.2%	4.5%	100.0%
要支援2(n=458)	4.4%	29.3%	23.6%	14.6%	23.4%	4.8%	100.0%
要介護1(n=194)	4.1%	32.0%	21.6%	11.3%	28.4%	2.6%	100.0%
要介護2(n=162)	4.3%	20.4%	16.0%	13.6%	42.6%	3.1%	100.0%
要介護3(n=111)	3.6%	18.0%	12.6%	13.5%	46.8%	5.4%	100.0%
要介護4(n=55)	1.8%	20.0%	12.7%	14.5%	43.6%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	0.0%	10.7%	10.7%	28.6%	46.4%	3.6%	100.0%

問７　この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。※同じ人には何度会っても１人と数えることとします。

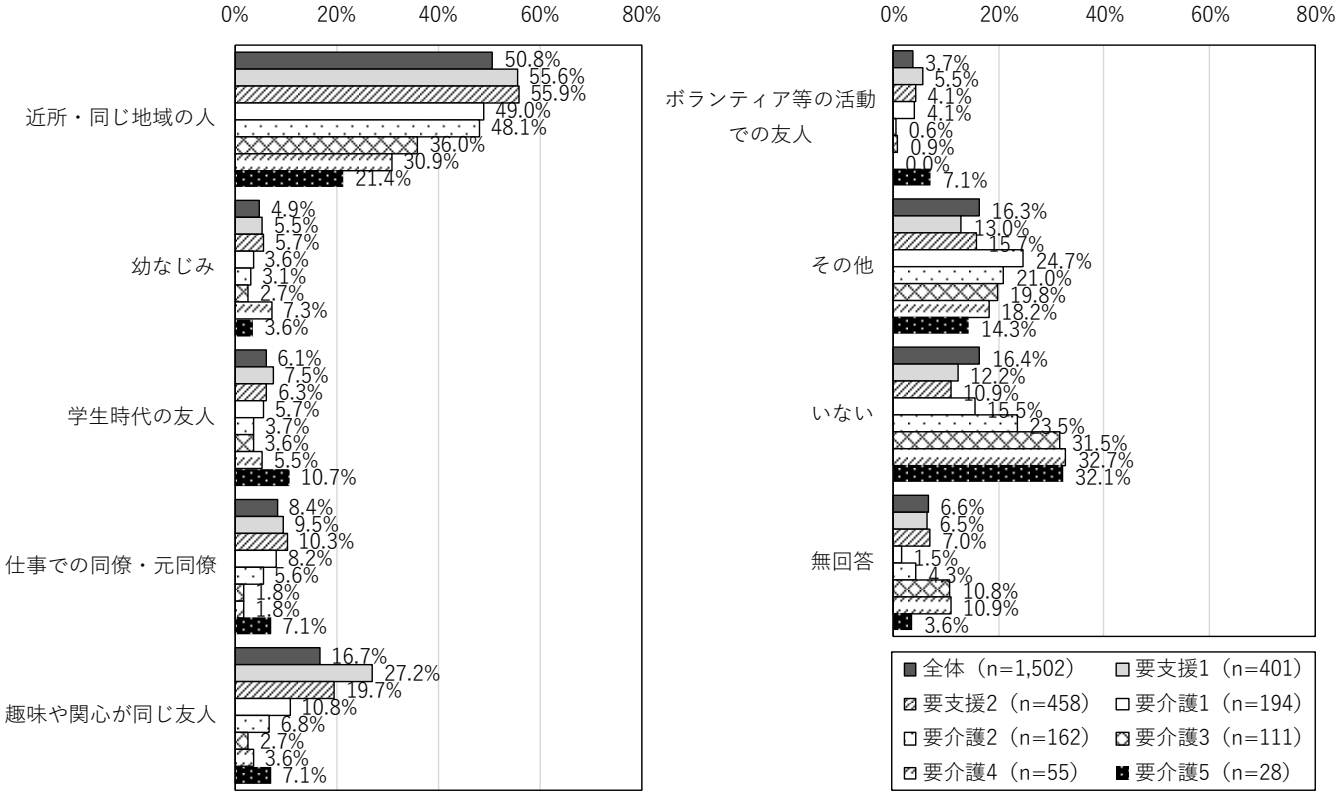
この１か月間、何人の友人・知人と会ったかでは、「1～2 人」が 27.5%と最も多く、次いで「3～5 人」が 25.3%、「0 人（いない）」が 20.0%となっています。



	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答	合計
全体	301	413	380	121	227	60	1,502
要支援1	69	91	105	45	75	16	401
要支援2	63	139	129	37	74	16	458
要介護1	35	57	55	16	28	3	194
要介護2	43	48	36	11	18	6	162
要介護3	36	35	13	6	15	6	111
要介護4	18	13	14	3	2	5	55
要介護5	13	8	3	0	3	1	28
全体(n=1,502)	20.0%	27.5%	25.3%	8.1%	15.1%	4.0%	100.0%
要支援1(n=401)	17.2%	22.7%	26.2%	11.2%	18.7%	4.0%	100.0%
要支援2(n=458)	13.8%	30.3%	28.2%	8.1%	16.2%	3.5%	100.0%
要介護1(n=194)	18.0%	29.4%	28.4%	8.2%	14.4%	1.5%	100.0%
要介護2(n=162)	26.5%	29.6%	22.2%	6.8%	11.1%	3.7%	100.0%
要介護3(n=111)	32.4%	31.5%	11.7%	5.4%	13.5%	5.4%	100.0%
要介護4(n=55)	32.7%	23.6%	25.5%	5.5%	3.6%	9.1%	100.0%
要介護5(n=28)	46.4%	28.6%	10.7%	0.0%	10.7%	3.6%	100.0%

問８　よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）

よく会う友人・知人との関係では、「近所・同じ地域の人」が 50.8%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 16.7%、「いない」が 16.4%となっています。



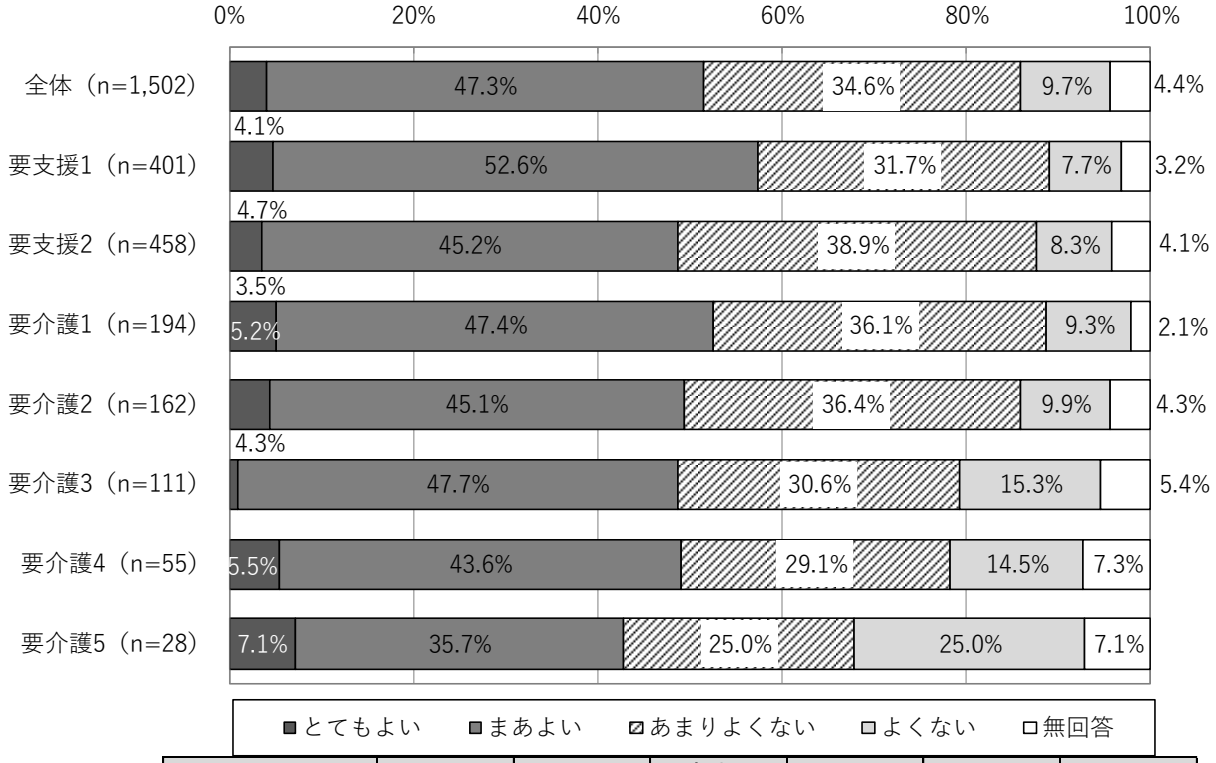
	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答	合計
全体	763	73	92	126	251	56	245	247	99	1,502
要支援1	223	22	30	38	109	22	52	49	26	401
要支援2	256	26	29	47	90	19	72	50	32	458
要介護1	95	7	11	16	21	8	48	30	3	194
要介護2	78	5	6	9	11	1	34	38	7	162
要介護3	40	3	4	2	3	1	22	35	12	111
要介護4	17	4	3	1	2	0	10	18	6	55
要介護5	6	1	3	2	2	2	4	9	1	28
全体(n=1,502)	50.8%	4.9%	6.1%	8.4%	16.7%	3.7%	16.3%	16.4%	6.6%	
要支援1(n=401)	55.6%	5.5%	7.5%	9.5%	27.2%	5.5%	13.0%	12.2%	6.5%	
要支援2(n=458)	55.9%	5.7%	6.3%	10.3%	19.7%	4.1%	15.7%	10.9%	7.0%	
要介護1(n=194)	49.0%	3.6%	5.7%	8.2%	10.8%	4.1%	24.7%	15.5%	1.5%	
要介護2(n=162)	48.1%	3.1%	3.7%	5.6%	6.8%	0.6%	21.0%	23.5%	4.3%	
要介護3(n=111)	36.0%	2.7%	3.6%	1.8%	2.7%	0.9%	19.8%	31.5%	10.8%	
要介護4(n=55)	30.9%	7.3%	5.5%	1.8%	3.6%	0.0%	18.2%	32.7%	10.9%	
要介護5(n=28)	21.4%	3.6%	10.7%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	32.1%	3.6%	

（8）健康について

問１　現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態では、「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』が 51.4%となっています。

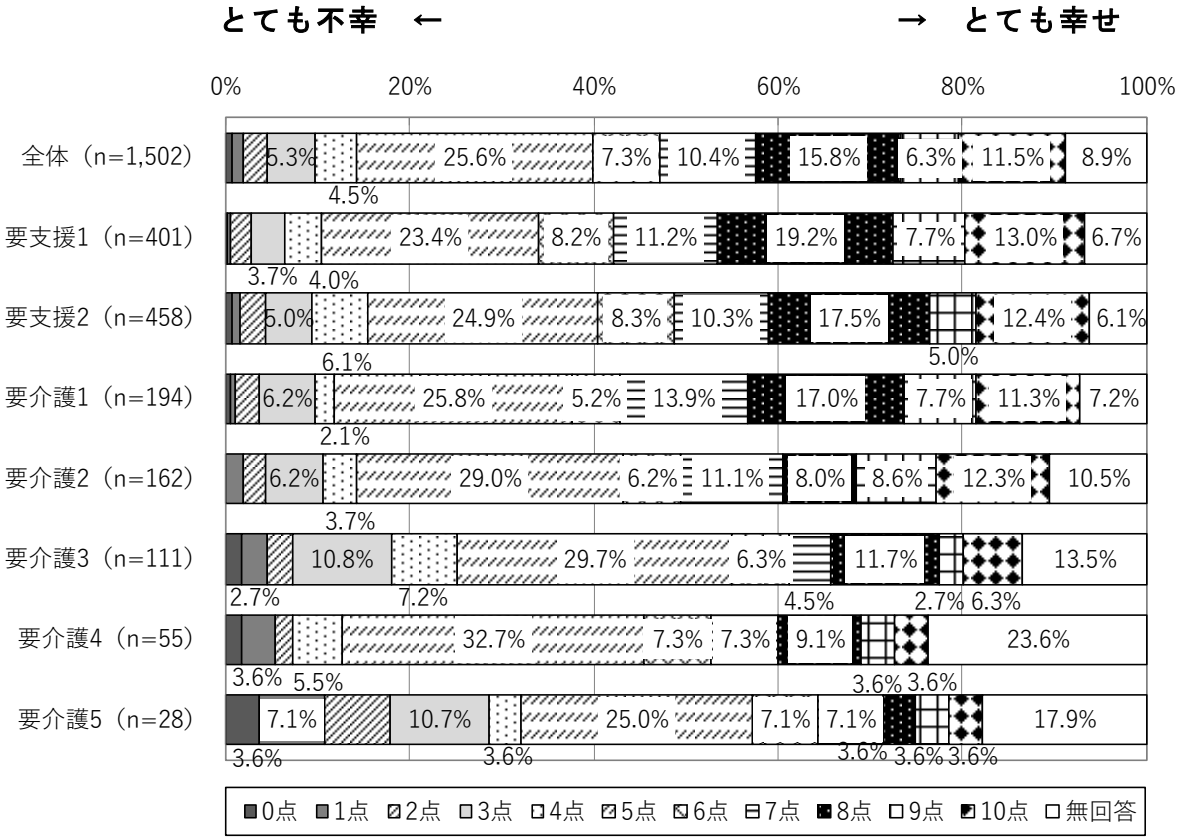
また、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』が 44.3%となっています。



	とてもよい	まあよい	あまり よくない	よくない	無回答	合計
全体	62	710	519	145	66	1,502
要支援1	19	211	127	31	13	401
要支援2	16	207	178	38	19	458
要介護1	10	92	70	18	4	194
要介護2	7	73	59	16	7	162
要介護3	1	53	34	17	6	111
要介護4	3	24	16	8	4	55
要介護5	2	10	7	7	2	28
全体(n=1,502)	4.1%	47.3%	34.6%	9.7%	4.4%	100.0%
要支援1(n=401)	4.7%	52.6%	31.7%	7.7%	3.2%	100.0%
要支援2(n=458)	3.5%	45.2%	38.9%	8.3%	4.1%	100.0%
要介護1(n=194)	5.2%	47.4%	36.1%	9.3%	2.1%	100.0%
要介護2(n=162)	4.3%	45.1%	36.4%	9.9%	4.3%	100.0%
要介護3(n=111)	0.9%	47.7%	30.6%	15.3%	5.4%	100.0%
要介護4(n=55)	5.5%	43.6%	29.1%	14.5%	7.3%	100.0%
要介護5(n=28)	7.1%	35.7%	25.0%	25.0%	7.1%	100.0%

問 2　あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、御記入ください）

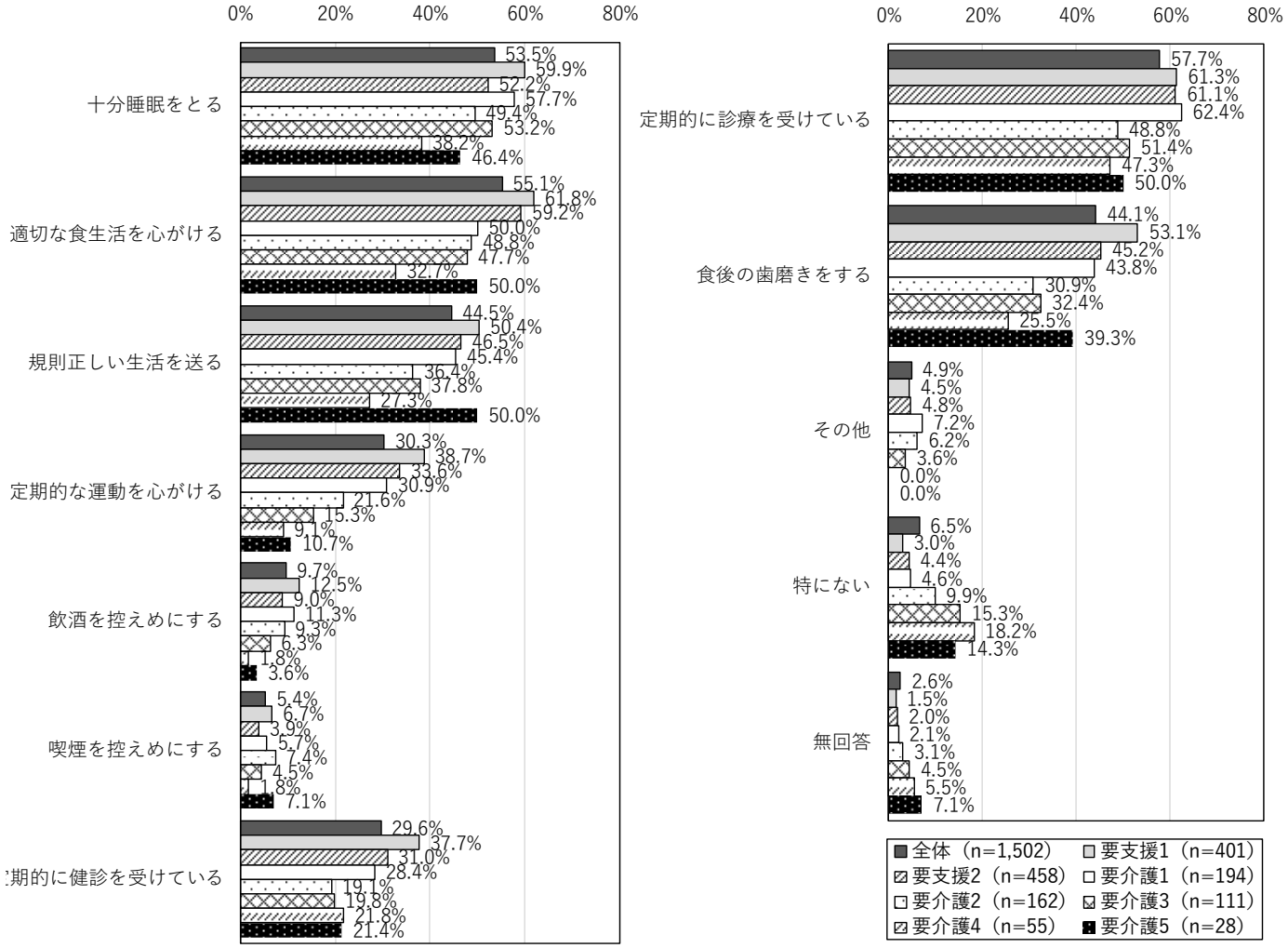
現在の幸せ度は、「5 点」が 25.6%と最も多く、次いで「8 点」が 15.8%、「10 点」が 11.5%となっています。



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
全体	11	17	39	79	68	384	110	156	238	94	173	133	1,502
要支援1	1	1	9	15	16	94	33	45	77	31	52	27	401
要支援2	3	4	13	23	28	114	38	47	80	23	57	28	458
要介護1	1	1	5	12	4	50	10	27	33	15	22	14	194
要介護2	0	3	4	10	6	47	10	18	13	14	20	17	162
要介護3	2	3	3	12	8	33	7	5	13	3	7	15	111
要介護4	1	2	1	0	3	18	4	4	5	2	2	13	55
要介護5	1	2	2	3	1	7	2	2	1	1	1	5	28
全体（n=1,502）	0.7%	1.1%	2.6%	5.3%	4.5%	25.6%	7.3%	10.4%	15.8%	6.3%	11.5%	8.9%	100.0%
要支援1（n=401）	0.2%	0.2%	2.2%	3.7%	4.0%	23.4%	8.2%	11.2%	19.2%	7.7%	13.0%	6.7%	100.0%
要支援2（n=458）	0.7%	0.9%	2.8%	5.0%	6.1%	24.9%	8.3%	10.3%	17.5%	5.0%	12.4%	6.1%	100.0%
要介護1（n=194）	0.5%	0.5%	2.6%	6.2%	2.1%	25.8%	5.2%	13.9%	17.0%	7.7%	11.3%	7.2%	100.0%
要介護2（n=162）	0.0%	1.9%	2.5%	6.2%	3.7%	29.0%	6.2%	11.1%	8.0%	8.6%	12.3%	10.5%	100.0%
要介護3（n=111）	1.8%	2.7%	2.7%	10.8%	7.2%	29.7%	6.3%	4.5%	11.7%	2.7%	6.3%	13.5%	100.0%
要介護4（n=55）	1.8%	3.6%	1.8%	0.0%	5.5%	32.7%	7.3%	7.3%	9.1%	3.6%	3.6%	23.6%	100.0%
要介護5（n=28）	3.6%	7.1%	7.1%	10.7%	3.6%	25.0%	7.1%	7.1%	3.6%	3.6%	3.6%	17.9%	100.0%

問 3　健康保持や疾病予防のために何か取り組まれていることはありますか。（いくつでも）

健康保持や疾病予防のために取り組んでいることでは、「定期的に診療を受けている」が 57.7%と最も多く、次いで「適切な食生活を心がける」が 55.1%、「十分睡眠をとる」が 53.5%となっています。



	十分睡眠をとる	適切な食生活を心がける	規則正しい生活を送る	定期的な運動を心がける	飲酒を控えめにする	喫煙を控えめにする	定期的に健診を受けている	定期的に診療を受けている	食後の歯磨きをする	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	803	828	668	455	145	81	445	867	663	73	98	39	1,502
要支援1	240	248	202	155	50	27	151	246	213	18	12	6	401
要支援2	239	271	213	154	41	18	142	280	207	22	20	9	458
要介護1	112	97	88	60	22	11	55	121	85	14	9	4	194
要介護2	80	79	59	35	15	12	31	79	50	10	16	5	162
要介護3	59	53	42	17	7	5	22	57	36	4	17	5	111
要介護4	21	18	15	5	1	1	12	26	14	0	10	3	55
要介護5	13	14	14	3	1	2	6	14	11	0	4	2	28
全体(n=1,502)	53.5%	55.1%	44.5%	30.3%	9.7%	5.4%	29.6%	57.7%	44.1%	4.9%	6.5%	2.6%	
要支援1(n=401)	59.9%	61.8%	50.4%	38.7%	12.5%	6.7%	37.7%	61.3%	53.1%	4.5%	3.0%	1.5%	
要支援2(n=458)	52.2%	59.2%	46.5%	33.6%	9.0%	3.9%	31.0%	61.1%	45.2%	4.8%	4.4%	2.0%	
要介護1(n=194)	57.7%	50.0%	45.4%	30.9%	11.3%	5.7%	28.4%	62.4%	43.8%	7.2%	4.6%	2.1%	
要介護2(n=162)	49.4%	48.8%	36.4%	21.6%	9.3%	7.4%	19.1%	48.8%	30.9%	6.2%	9.9%	3.1%	
要介護3(n=111)	53.2%	47.7%	37.8%	15.3%	6.3%	4.5%	19.8%	51.4%	32.4%	3.6%	15.3%	4.5%	
要介護4(n=55)	38.2%	32.7%	27.3%	9.1%	1.8%	1.8%	21.8%	47.3%	25.5%	0.0%	18.2%	5.5%	
要介護5(n=28)	46.4%	50.0%	50.0%	10.7%	3.6%	7.1%	21.4%	50.0%	39.3%	0.0%	14.3%	7.1%	

【問３で「特にない」の方のみ】

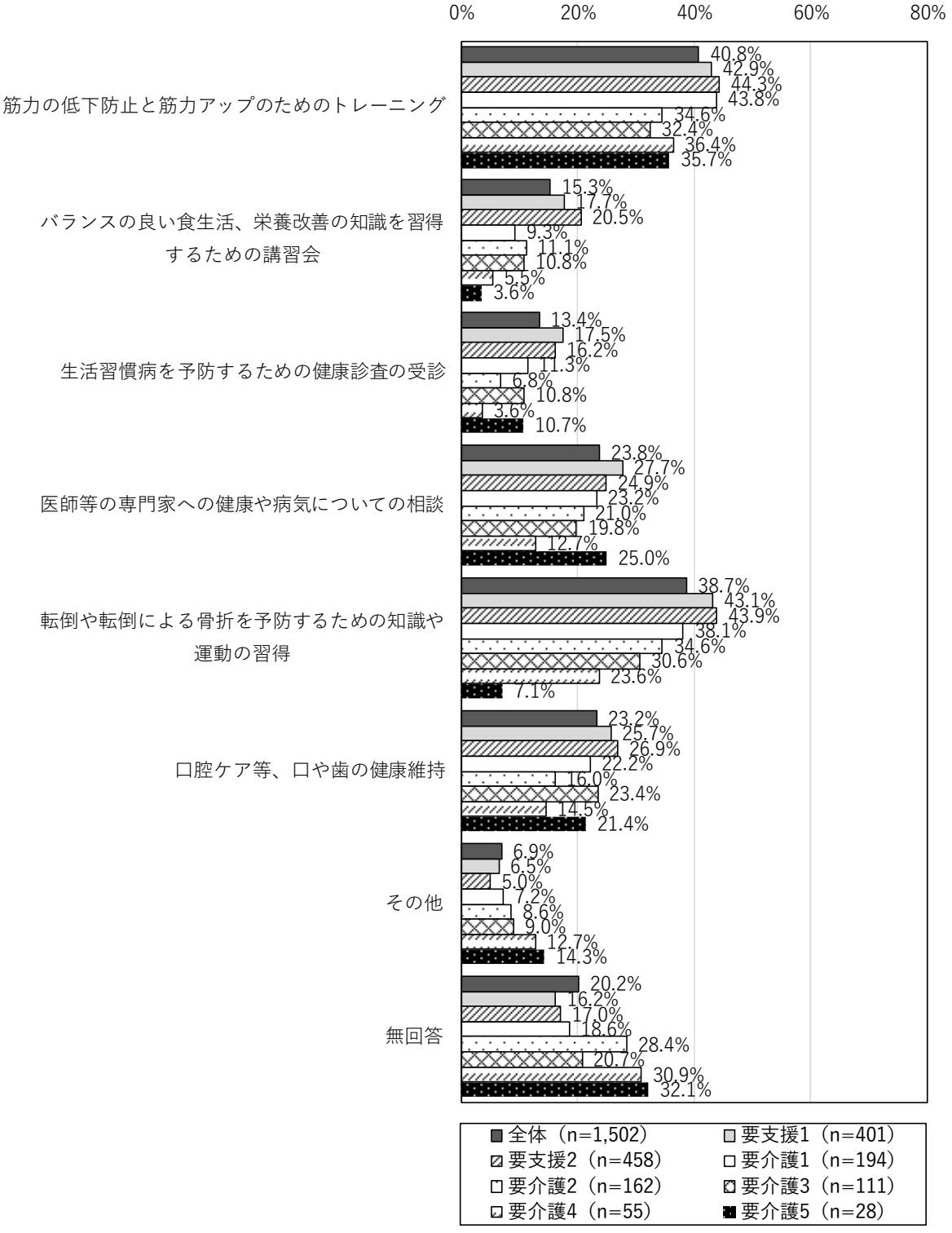
問 3-1　現在、特に健康保持や疾病予防に取り組まれていない理由は何ですか。（自由記述）

■認知症がだいぶ進んだため。手足がとても動かなくなり物忘れもひどくなり、言う事を聞かないため。
■まともに歩けないから。
■眼が不自由なため行動しにくい。
■障害の為、取り組めない。
■身体が思うように動かせない。
■足腰が弱い。
■体を自由に動かすことができない。
■体調が悪いため。
■動くことがとても難しい（腰痛のため）。
■自然体で良いと考えている。
■自発的な活動はほぼない。
■自分ではなにもできない。
■整形外科にてリハビリ（両膝）。
■全身痛くて苦痛の為。
■現在デイサービスに通っており適切な指導は受けていると思っている。
■ショートステイを繰り返しほぼ受け身の状態だから。
■家族問題の悩み。
■気力、体力がない。

主に上記の意見がありました。

問４　健康づくりや身体機能の維持・向上のために、取り組んでみたいものはありますか。（いくつでも）

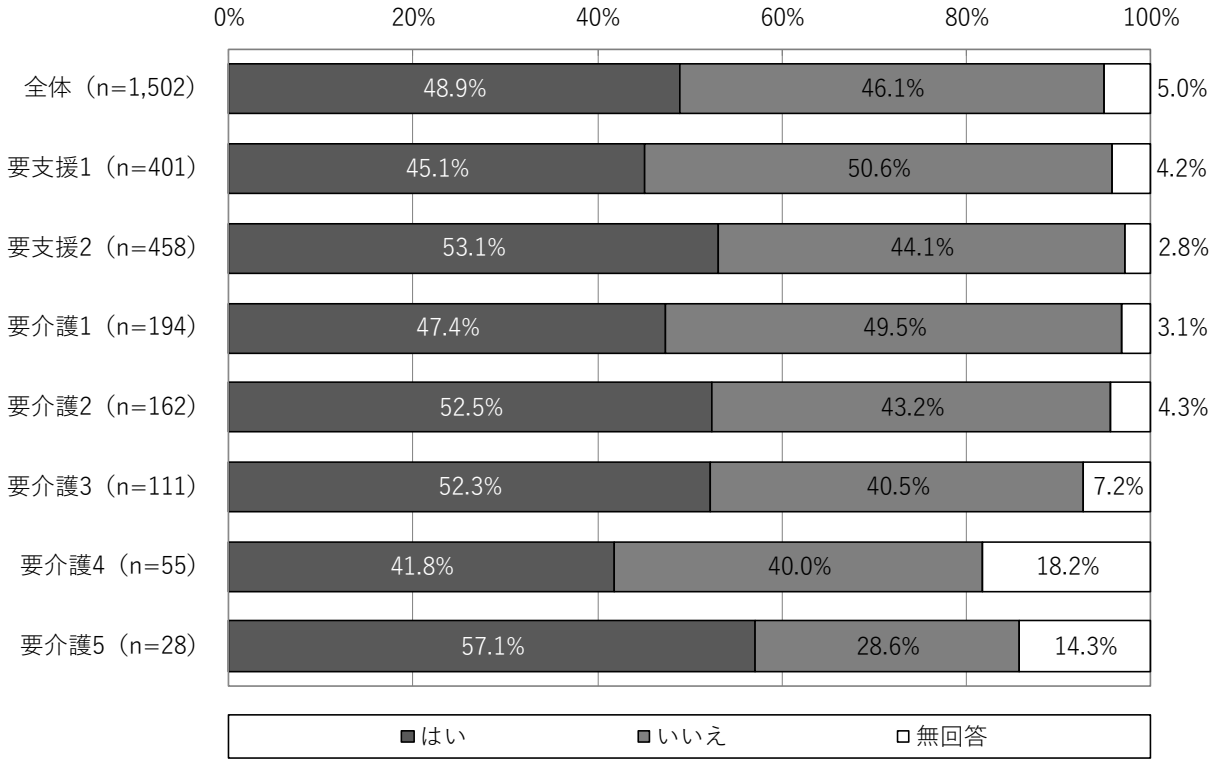
健康づくりや身体機能の維持・向上のために、取り組んでみたいものでは、「筋力の低下防止と筋力アップのためのトレーニング」が 40.8%と最も多く、次いで「転倒や転倒による骨折を予防するための知識や運動の習得」が 38.7%、「医師等の専門家への健康や病気についての相談」が 23.8%となっています。



	筋力の低下防止と筋力アップのためのトレーニング	バランスの良い食生活、栄養改善の知識を習得するための講習会	生活習慣病を予防するための健康診査の受診	医師等の専門家への健康や病気についての相談	転倒や転倒による骨折を予防するための知識や運動の習得	口腔ケア等、口や歯の健康維持	その他	無回答	回答者数
全体	613	230	201	357	581	349	104	303	1,502
要支援1	172	71	70	111	173	103	26	65	401
要支援2	203	94	74	114	201	123	23	78	458
要介護1	85	18	22	45	74	43	14	36	194
要介護2	56	18	11	34	56	26	14	46	162
要介護3	36	12	12	22	34	26	10	23	111
要介護4	20	3	2	7	13	8	7	17	55
要介護5	10	1	3	7	2	6	4	9	28
全体(n=1,502)	40.8%	15.3%	13.4%	23.8%	38.7%	23.2%	6.9%	20.2%	
要支援1(n=401)	42.9%	17.7%	17.5%	27.7%	43.1%	25.7%	6.5%	16.2%	
要支援2(n=458)	44.3%	20.5%	16.2%	24.9%	43.9%	26.9%	5.0%	17.0%	
要介護1(n=194)	43.8%	9.3%	11.3%	23.2%	38.1%	22.2%	7.2%	18.6%	
要介護2(n=162)	34.6%	11.1%	6.8%	21.0%	34.6%	16.0%	8.6%	28.4%	
要介護3(n=111)	32.4%	10.8%	10.8%	19.8%	30.6%	23.4%	9.0%	20.7%	
要介護4(n=55)	36.4%	5.5%	3.6%	12.7%	23.6%	14.5%	12.7%	30.9%	
要介護5(n=28)	35.7%	3.6%	10.7%	25.0%	7.1%	21.4%	14.3%	32.1%	

問 5　この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

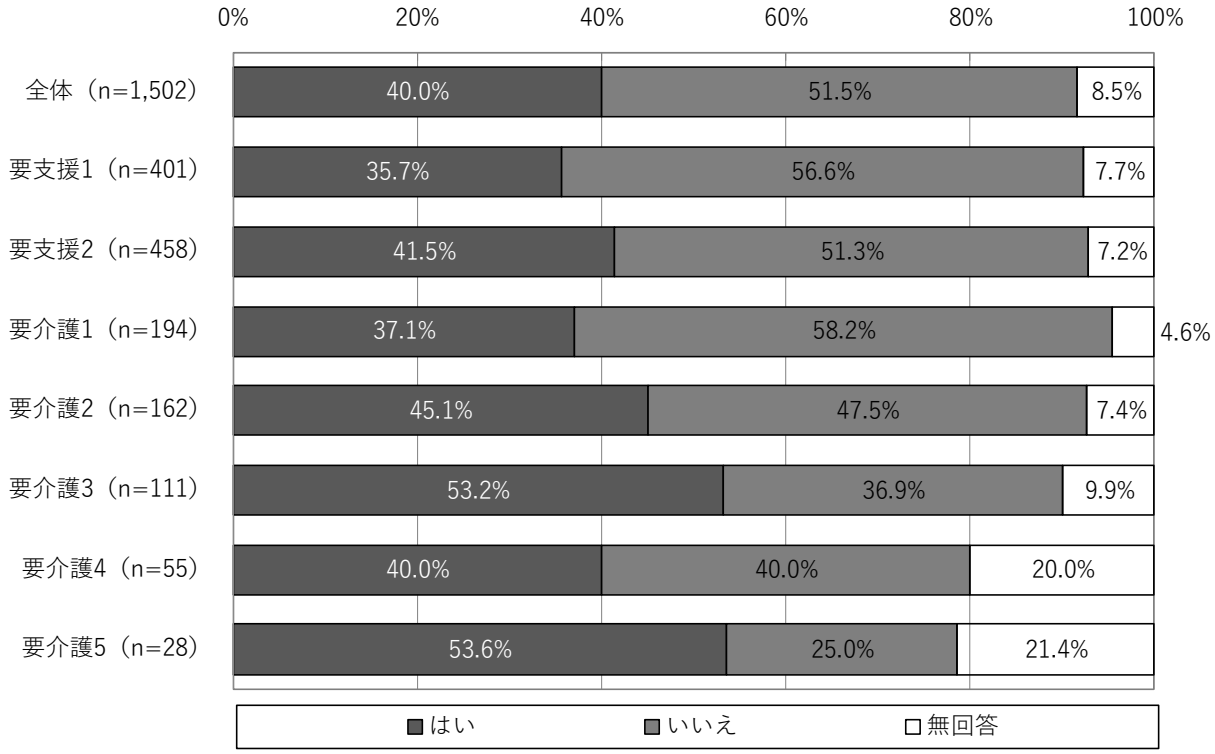
この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかでは、「はい」が 48.9%、「いいえ」が 46.1%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	734	693	75	1,502
要支援1	181	203	17	401
要支援2	243	202	13	458
要介護1	92	96	6	194
要介護2	85	70	7	162
要介護3	58	45	8	111
要介護4	23	22	10	55
要介護5	16	8	4	28
全体（n=1,502）	48.9%	46.1%	5.0%	100.0%
要支援1（n=401）	45.1%	50.6%	4.2%	100.0%
要支援2（n=458）	53.1%	44.1%	2.8%	100.0%
要介護1（n=194）	47.4%	49.5%	3.1%	100.0%
要介護2（n=162）	52.5%	43.2%	4.3%	100.0%
要介護3（n=111）	52.3%	40.5%	7.2%	100.0%
要介護4（n=55）	41.8%	40.0%	18.2%	100.0%
要介護5（n=28）	57.1%	28.6%	14.3%	100.0%

問 6　この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

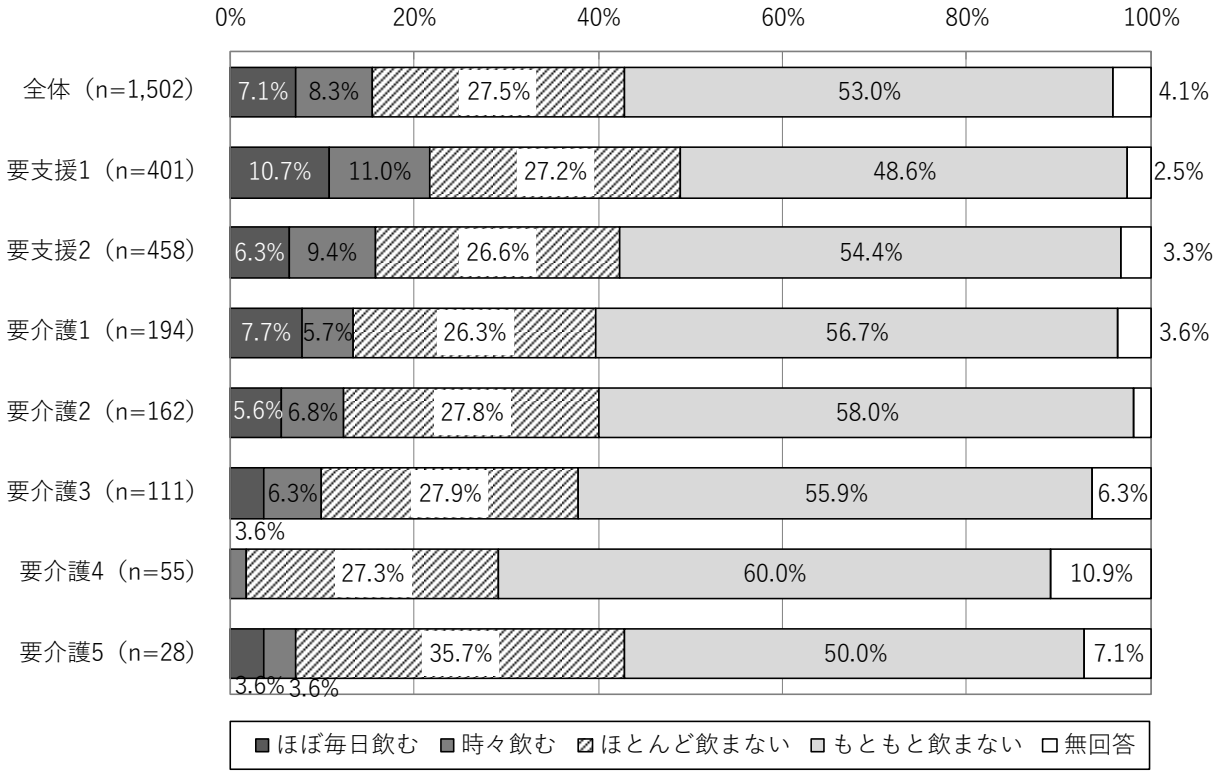
この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかでは、「はい」が 40.0%、「いいえ」が 51.5%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	601	774	127	1,502
要支援1	143	227	31	401
要支援2	190	235	33	458
要介護1	72	113	9	194
要介護2	73	77	12	162
要介護3	59	41	11	111
要介護4	22	22	11	55
要介護5	15	7	6	28
全体（n=1,502）	40.0%	51.5%	8.5%	100.0%
要支援1（n=401）	35.7%	56.6%	7.7%	100.0%
要支援2（n=458）	41.5%	51.3%	7.2%	100.0%
要介護1（n=194）	37.1%	58.2%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	45.1%	47.5%	7.4%	100.0%
要介護3（n=111）	53.2%	36.9%	9.9%	100.0%
要介護4（n=55）	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
要介護5（n=28）	53.6%	25.0%	21.4%	100.0%

問 7　お酒は飲みますか。

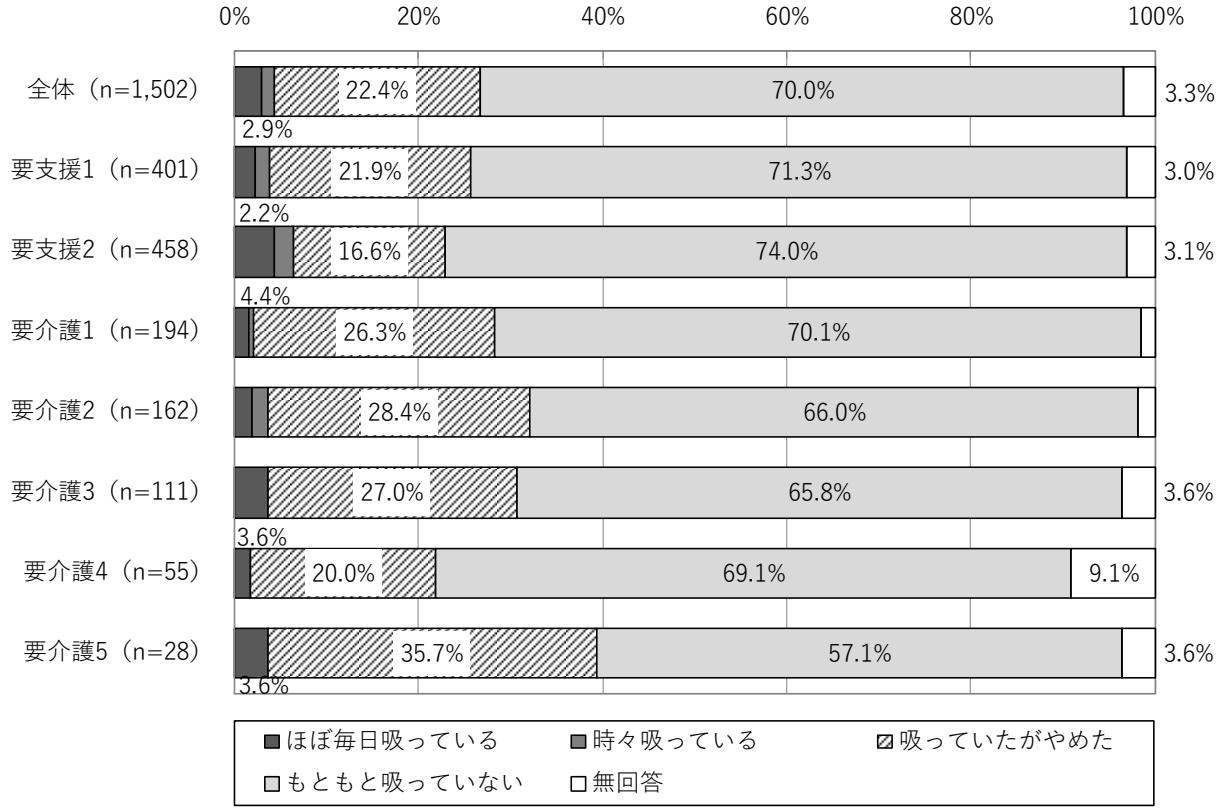
飲酒については、「もともと飲まない」が 53.0%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 27.5%、「時々飲む」が 8.3%となっています。



	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答	合計
全体	106	125	413	796	62	1,502
要支援1	43	44	109	195	10	401
要支援2	29	43	122	249	15	458
要介護1	15	11	51	110	7	194
要介護2	9	11	45	94	3	162
要介護3	4	7	31	62	7	111
要介護4	0	1	15	33	6	55
要介護5	1	1	10	14	2	28
全体（n=1,502）	7.1%	8.3%	27.5%	53.0%	4.1%	100.0%
要支援1（n=401）	10.7%	11.0%	27.2%	48.6%	2.5%	100.0%
要支援2（n=458）	6.3%	9.4%	26.6%	54.4%	3.3%	100.0%
要介護1（n=194）	7.7%	5.7%	26.3%	56.7%	3.6%	100.0%
要介護2（n=162）	5.6%	6.8%	27.8%	58.0%	1.9%	100.0%
要介護3（n=111）	3.6%	6.3%	27.9%	55.9%	6.3%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	1.8%	27.3%	60.0%	10.9%	100.0%
要介護5（n=28）	3.6%	3.6%	35.7%	50.0%	7.1%	100.0%

問 8　タバコは吸っていますか。

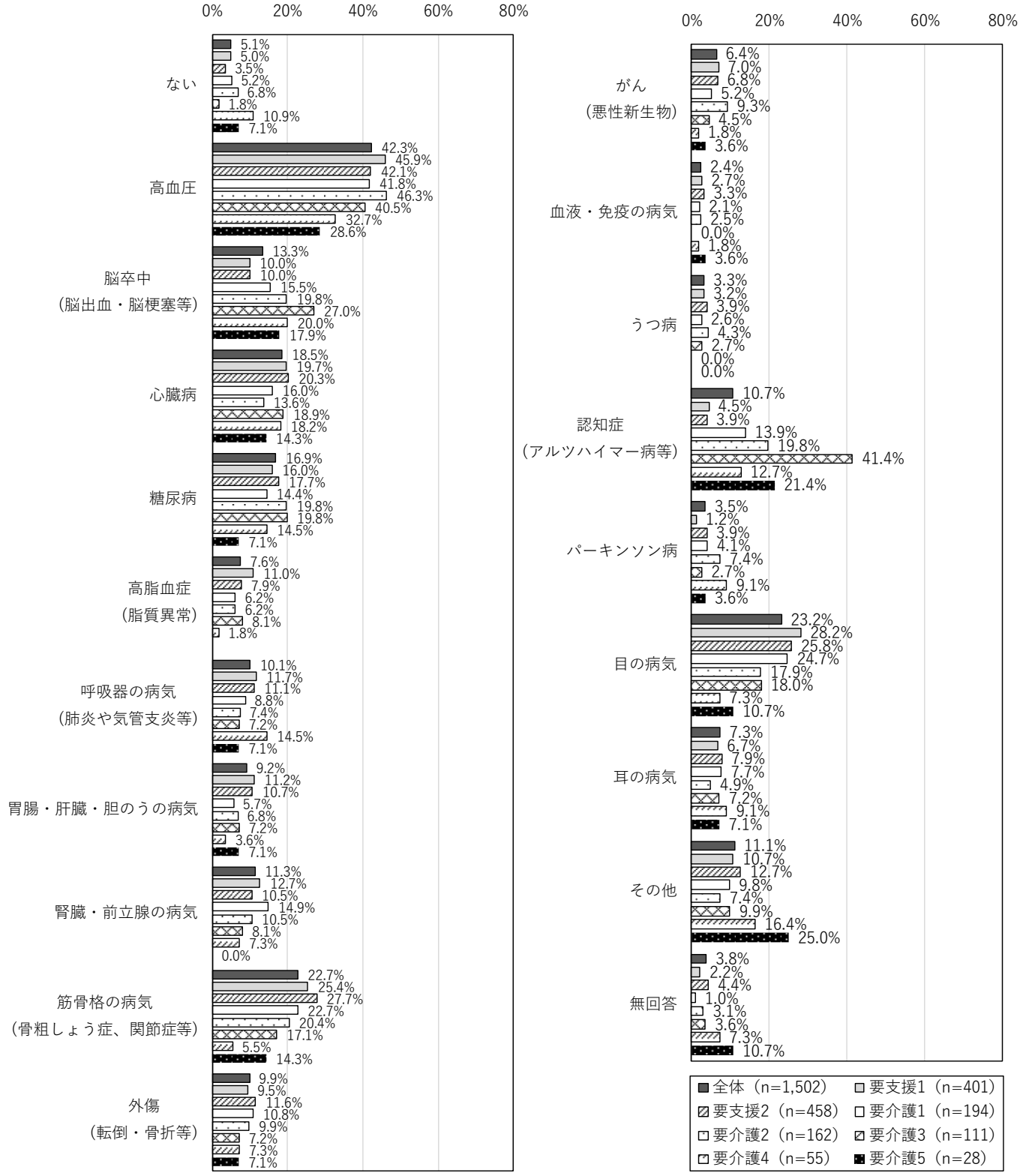
喫煙については、「もともと吸っていない」が 70.0%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 22.4%、「ほぼ毎日吸っている」が 2.9%となっています。



	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答	合計
全体	44	20	337	1,051	50	1,502
要支援1	9	6	88	286	12	401
要支援2	20	9	76	339	14	458
要介護1	3	1	51	136	3	194
要介護2	3	3	46	107	3	162
要介護3	4	0	30	73	4	111
要介護4	1	0	11	38	5	55
要介護5	1	0	10	16	1	28
全体(n=1,502)	2.9%	1.3%	22.4%	70.0%	3.3%	100.0%
要支援1(n=401)	2.2%	1.5%	21.9%	71.3%	3.0%	100.0%
要支援2(n=458)	4.4%	2.0%	16.6%	74.0%	3.1%	100.0%
要介護1(n=194)	1.5%	0.5%	26.3%	70.1%	1.5%	100.0%
要介護2(n=162)	1.9%	1.9%	28.4%	66.0%	1.9%	100.0%
要介護3(n=111)	3.6%	0.0%	27.0%	65.8%	3.6%	100.0%
要介護4(n=55)	1.8%	0.0%	20.0%	69.1%	9.1%	100.0%
要介護5(n=28)	3.6%	0.0%	35.7%	57.1%	3.6%	100.0%

問９　現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

現在治療中、又は後遺症のある病気があるかでは、「高血圧」が 42.3%と最も多く、次いで「目の病気」が 23.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 22.7%となっています。

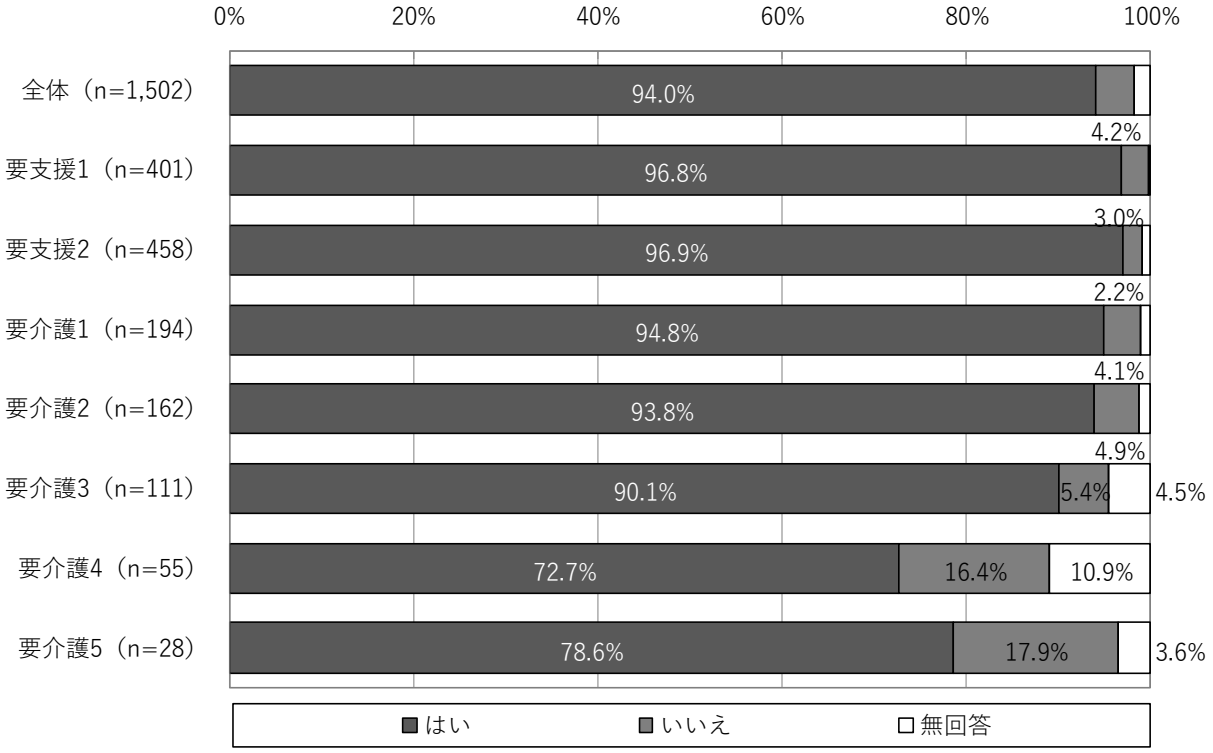


	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）
全体	76	635	200	278	254	114	151	138	170	341	149
要支援1	20	184	40	79	64	44	47	45	51	102	38
要支援2	16	193	46	93	81	36	51	49	48	127	53
要介護1	10	81	30	31	28	12	17	11	29	44	21
要介護2	11	75	32	22	32	10	12	11	17	33	16
要介護3	2	45	30	21	22	9	8	8	9	19	8
要介護4	6	18	11	10	8	1	8	2	4	3	4
要介護5	2	8	5	4	2	0	2	2	0	4	2
全体(n=1,502)	5.1%	42.3%	13.3%	18.5%	16.9%	7.6%	10.1%	9.2%	11.3%	22.7%	9.9%
要支援1(n=401)	5.0%	45.9%	10.0%	19.7%	16.0%	11.0%	11.7%	11.2%	12.7%	25.4%	9.5%
要支援2(n=458)	3.5%	42.1%	10.0%	20.3%	17.7%	7.9%	11.1%	10.7%	10.5%	27.7%	11.6%
要介護1(n=194)	5.2%	41.8%	15.5%	16.0%	14.4%	6.2%	8.8%	5.7%	14.9%	22.7%	10.8%
要介護2(n=162)	6.8%	46.3%	19.8%	13.6%	19.8%	6.2%	7.4%	6.8%	10.5%	20.4%	9.9%
要介護3(n=111)	1.8%	40.5%	27.0%	18.9%	19.8%	8.1%	7.2%	7.2%	8.1%	17.1%	7.2%
要介護4(n=55)	10.9%	32.7%	20.0%	18.2%	14.5%	1.8%	14.5%	3.6%	7.3%	5.5%	7.3%
要介護5(n=28)	7.1%	28.6%	17.9%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%

	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	合計
全体	96	36	49	161	53	348	110	167	57	1,502
要支援1	28	11	13	18	5	113	27	43	9	401
要支援2	31	15	18	18	18	118	36	58	20	458
要介護1	10	4	5	27	8	48	15	19	2	194
要介護2	15	4	7	32	12	29	8	12	5	162
要介護3	5	0	3	46	3	20	8	11	4	111
要介護4	1	1	0	7	5	4	5	9	4	55
要介護5	1	1	0	6	1	3	2	7	3	28
全体(n=1,502)	6.4%	2.4%	3.3%	10.7%	3.5%	23.2%	7.3%	11.1%	3.8%	
要支援1(n=401)	7.0%	2.7%	3.2%	4.5%	1.2%	28.2%	6.7%	10.7%	2.2%	
要支援2(n=458)	6.8%	3.3%	3.9%	3.9%	3.9%	25.8%	7.9%	12.7%	4.4%	
要介護1(n=194)	5.2%	2.1%	2.6%	13.9%	4.1%	24.7%	7.7%	9.8%	1.0%	
要介護2(n=162)	9.3%	2.5%	4.3%	19.8%	7.4%	17.9%	4.9%	7.4%	3.1%	
要介護3(n=111)	4.5%	0.0%	2.7%	41.4%	2.7%	18.0%	7.2%	9.9%	3.6%	
要介護4(n=55)	1.8%	1.8%	0.0%	12.7%	9.1%	7.3%	9.1%	16.4%	7.3%	
要介護5(n=28)	3.6%	3.6%	0.0%	21.4%	3.6%	10.7%	7.1%	25.0%	10.7%	

問 10　現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかでは、「はい」が 94.0%、「いいえ」が 4.2%となっています。

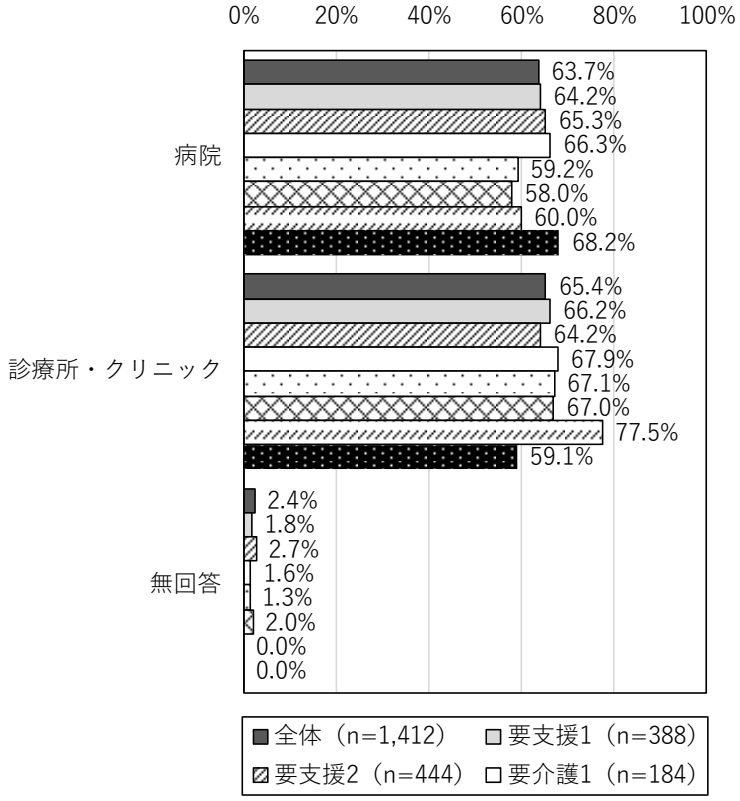


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	1,412	63	27	1,502
要支援1	388	12	1	401
要支援2	444	10	4	458
要介護1	184	8	2	194
要介護2	152	8	2	162
要介護3	100	6	5	111
要介護4	40	9	6	55
要介護5	22	5	1	28
全体(n=1,502)	94.0%	4.2%	1.8%	100.0%
要支援1(n=401)	96.8%	3.0%	0.2%	100.0%
要支援2(n=458)	96.9%	2.2%	0.9%	100.0%
要介護1(n=194)	94.8%	4.1%	1.0%	100.0%
要介護2(n=162)	93.8%	4.9%	1.2%	100.0%
要介護3(n=111)	90.1%	5.4%	4.5%	100.0%
要介護4(n=55)	72.7%	16.4%	10.9%	100.0%
要介護5(n=28)	78.6%	17.9%	3.6%	100.0%

【問 10 で「はい」の方のみ】

問 10-1　何か所の病院・医院に通院していますか。また、かかっている診療科の種類は何種類ありますか。

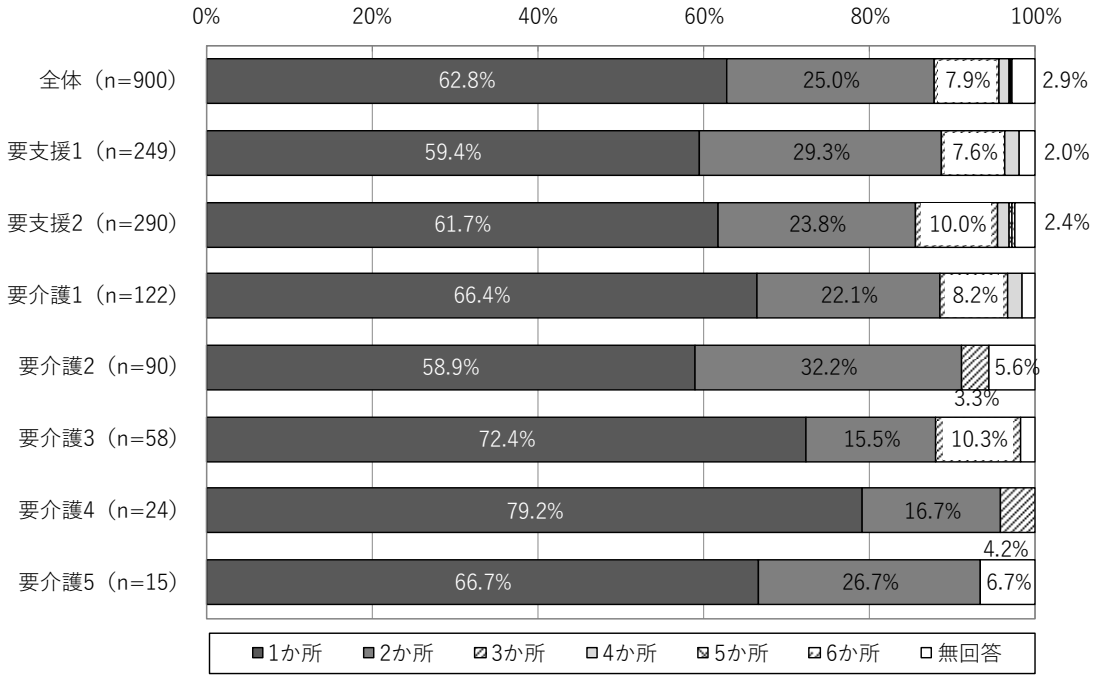
通院では、「病院」が 63.7%、「医院（診療所・クリニック）」が 65.4%となっています。



	病院	診療所・クリニック	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	900	923	34	1,412	90	1,502
要支援1	249	257	7	388	13	401
要支援2	290	285	12	444	14	458
要介護1	122	125	3	184	10	194
要介護2	90	102	2	152	10	162
要介護3	58	67	2	100	11	111
要介護4	24	31	0	40	15	55
要介護5	15	13	0	22	6	28
全体(n=1,412)	63.7%	65.4%	2.4%			
要支援1(n=388)	64.2%	66.2%	1.8%			
要支援2(n=444)	65.3%	64.2%	2.7%			
要介護1(n=184)	66.3%	67.9%	1.6%			
要介護2(n=152)	59.2%	67.1%	1.3%			
要介護3(n=100)	58.0%	67.0%	2.0%			
要介護4(n=40)	60.0%	77.5%	0.0%			
要介護5(n=22)	68.2%	59.1%	0.0%			

【病院】

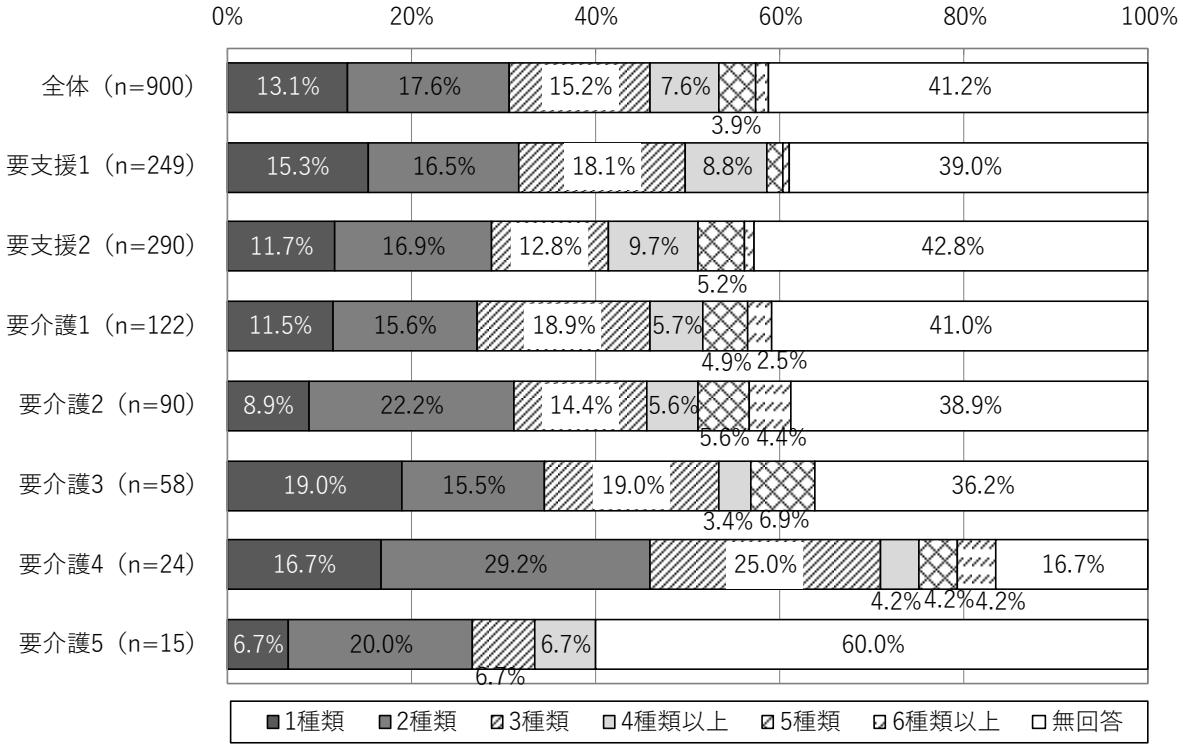
かかっている病院の数は、「1 か所」が 62.8%と最も多く、次いで「2 か所」が 25.0%となっています。



	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	6か所	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	565	225	71	11	1	1	26	900	602	1,502
要支援1	148	73	19	4	0	0	5	249	152	401
要支援2	179	69	29	4	1	1	7	290	168	458
要介護1	81	27	10	2	0	0	2	122	72	194
要介護2	53	29	3	0	0	0	5	90	72	162
要介護3	42	9	6	0	0	0	1	58	53	111
要介護4	19	4	1	0	0	0	0	24	31	55
要介護5	10	4	0	0	0	0	1	15	13	28
全体(n=900)	62.8%	25.0%	7.9%	1.2%	0.1%	0.1%	2.9%	100.0%		
要支援1(n=249)	59.4%	29.3%	7.6%	1.6%	0.0%	0.0%	2.0%	100.0%		
要支援2(n=290)	61.7%	23.8%	10.0%	1.4%	0.3%	0.3%	2.4%	100.0%		
要介護1(n=122)	66.4%	22.1%	8.2%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%		
要介護2(n=90)	58.9%	32.2%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%		
要介護3(n=58)	72.4%	15.5%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%		
要介護4(n=24)	79.2%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
要介護5(n=15)	66.7%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	100.0%		

【病院でかかっている診療科の種類】

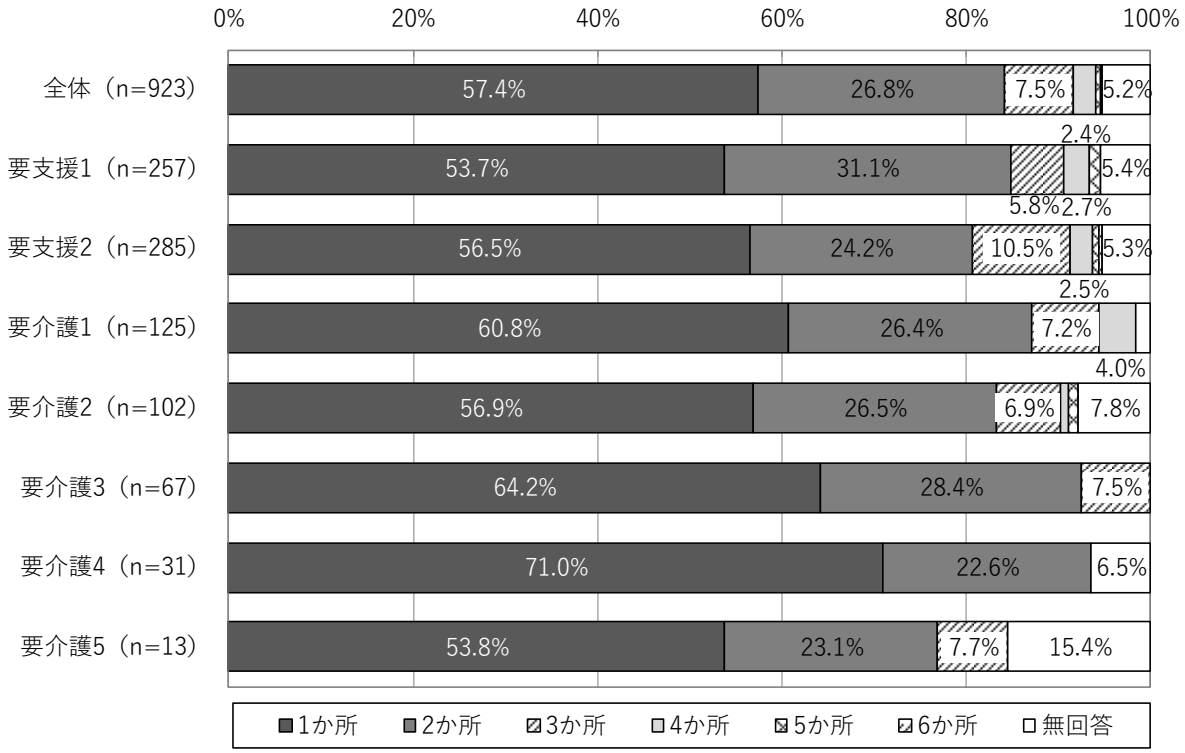
病院かかっている診療科の種類では、「2 種類」が 17.6%と最も多く、次いで「3 種類」が 15.2%、「1 種類」が 13.1%となっています。



	1種類	2種類	3種類	4種類以上	5種類	6種類以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	118	158	137	68	35	13	371	900	602	1,502
要支援1	38	41	45	22	4	2	97	249	152	401
要支援2	34	49	37	28	15	3	124	290	168	458
要介護1	14	19	23	7	6	3	50	122	72	194
要介護2	8	20	13	5	5	4	35	90	72	162
要介護3	11	9	11	2	4	0	21	58	53	111
要介護4	4	7	6	1	1	1	4	24	31	55
要介護5	1	3	1	1	0	0	9	15	13	28
全体(n=900)	13.1%	17.6%	15.2%	7.6%	3.9%	1.4%	41.2%	100.0%		
要支援1(n=249)	15.3%	16.5%	18.1%	8.8%	1.6%	0.8%	39.0%	100.0%		
要支援2(n=290)	11.7%	16.9%	12.8%	9.7%	5.2%	1.0%	42.8%	100.0%		
要介護1(n=122)	11.5%	15.6%	18.9%	5.7%	4.9%	2.5%	41.0%	100.0%		
要介護2(n=90)	8.9%	22.2%	14.4%	5.6%	5.6%	4.4%	38.9%	100.0%		
要介護3(n=58)	19.0%	15.5%	19.0%	3.4%	6.9%	0.0%	36.2%	100.0%		
要介護4(n=24)	16.7%	29.2%	25.0%	4.2%	4.2%	4.2%	16.7%	100.0%		
要介護5(n=15)	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%		

【医院（診療所・クリニック】

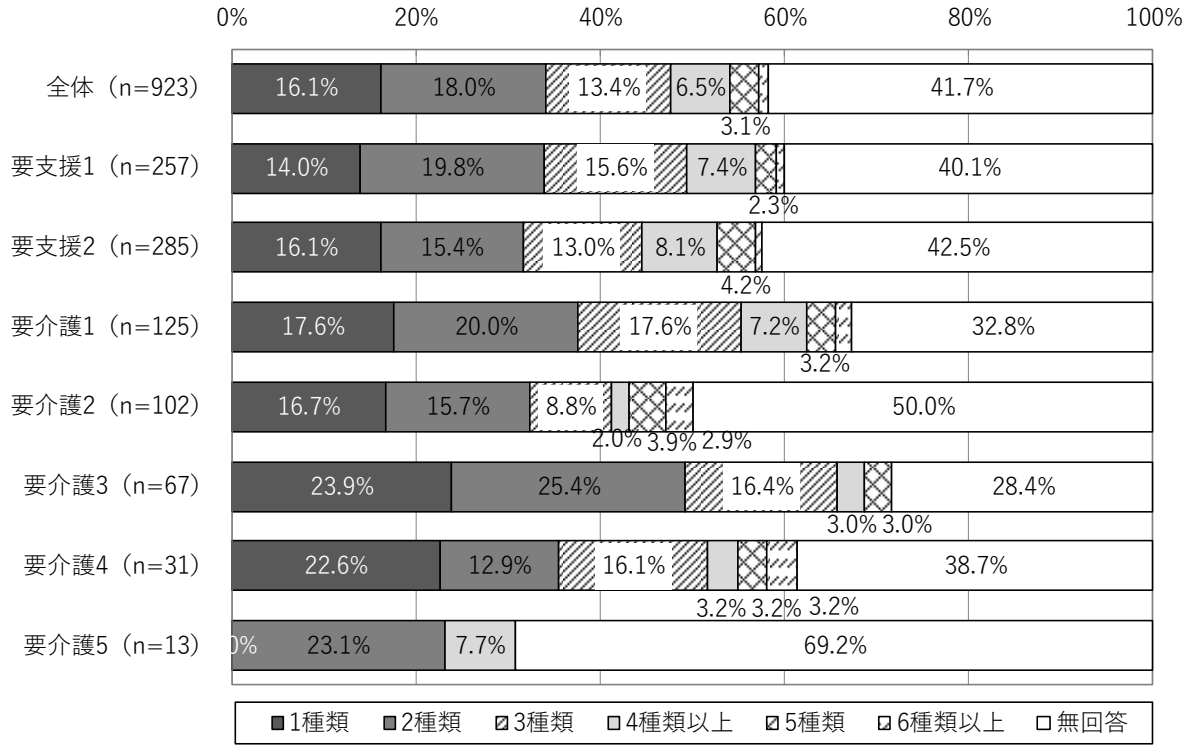
かかっている医院（診療所・クリニック）の数は、「1 か所」が 57.4%と最も多く、次いで「2 か所」が 26.8%となっています。



	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	6か所	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	530	247	69	22	6	1	48	923	579	1,502
要支援1	138	80	15	7	3	0	14	257	144	401
要支援2	161	69	30	7	2	1	15	285	173	458
要介護1	76	33	9	5	0	0	2	125	69	194
要介護2	58	27	7	1	1	0	8	102	60	162
要介護3	43	19	5	0	0	0	0	67	44	111
要介護4	22	7	0	0	0	0	2	31	24	55
要介護5	7	3	1	0	0	0	2	13	15	28
全体(n=923)	57.4%	26.8%	7.5%	2.4%	0.7%	0.1%	5.2%	100.0%		
要支援1(n=257)	53.7%	31.1%	5.8%	2.7%	1.2%	0.0%	5.4%	100.0%		
要支援2(n=285)	56.5%	24.2%	10.5%	2.5%	0.7%	0.4%	5.3%	100.0%		
要介護1(n=125)	60.8%	26.4%	7.2%	4.0%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%		
要介護2(n=102)	56.9%	26.5%	6.9%	1.0%	1.0%	0.0%	7.8%	100.0%		
要介護3(n=67)	64.2%	28.4%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
要介護4(n=31)	71.0%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	100.0%		
要介護5(n=13)	53.8%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	100.0%		

【かかっている診療科】

かかっている診療科の種類では、「2 種類」が 18.0%と最も多く、次いで「1 種類」が 16.1%、「3 種類」が 13.4%となっています。

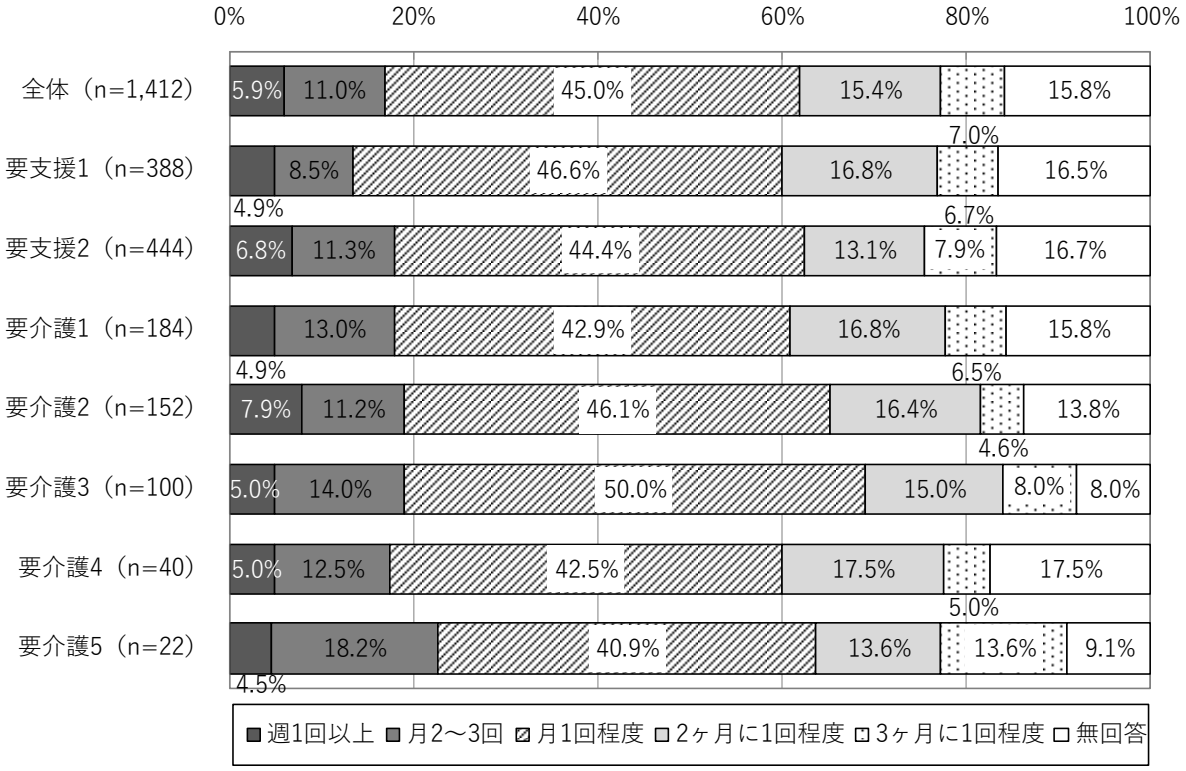


	1種類	2種類	3種類	4種類以上	5種類	6種類以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	149	166	124	60	29	10	385	923	579	1,502
要支援1	36	51	40	19	6	2	103	257	144	401
要支援2	46	44	37	23	12	2	121	285	173	458
要介護1	22	25	22	9	4	2	41	125	69	194
要介護2	17	16	9	2	4	3	51	102	60	162
要介護3	16	17	11	2	2	0	19	67	44	111
要介護4	7	4	5	1	1	1	12	31	24	55
要介護5	0	3	0	1	0	0	9	13	15	28
全体（n=923）	16.1%	18.0%	13.4%	6.5%	3.1%	1.1%	41.7%	100.0%		
要支援1（n=257）	14.0%	19.8%	15.6%	7.4%	2.3%	0.8%	40.1%	100.0%		
要支援2（n=285）	16.1%	15.4%	13.0%	8.1%	4.2%	0.7%	42.5%	100.0%		
要介護1（n=125）	17.6%	20.0%	17.6%	7.2%	3.2%	1.6%	32.8%	100.0%		
要介護2（n=102）	16.7%	15.7%	8.8%	2.0%	3.9%	2.9%	50.0%	100.0%		
要介護3（n=67）	23.9%	25.4%	16.4%	3.0%	3.0%	0.0%	28.4%	100.0%		
要介護4（n=31）	22.6%	12.9%	16.1%	3.2%	3.2%	3.2%	38.7%	100.0%		
要介護5（n=13）	0.0%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	69.2%	100.0%		

【問 10 で「はい」の方のみ】

問 10-2　その頻度は次のどれですか。

病院・医院（診療所、クリニック）に行く頻度では、「月 1 回程度」が 45.0%と最も多く、次いで「2 ヶ月に 1 回程度」が 15.4%、「月 2～3 回」が 11.0%となっています。

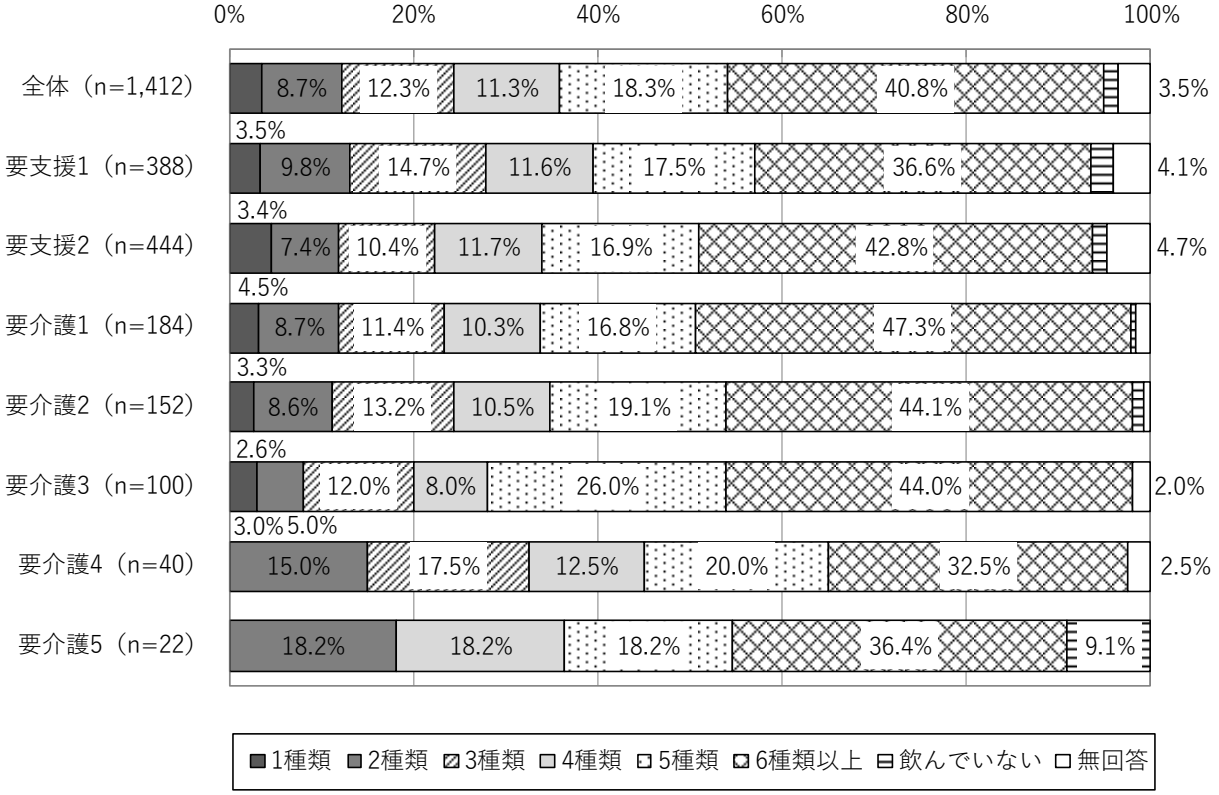


	週1回以上	月2～3回	月1回程度	2ヶ月に1回程度	3ヶ月に1回程度	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	83	155	635	217	99	223	1,412	90	1,502
要支援1	19	33	181	65	26	64	388	13	401
要支援2	30	50	197	58	35	74	444	14	458
要介護1	9	24	79	31	12	29	184	10	194
要介護2	12	17	70	25	7	21	152	10	162
要介護3	5	14	50	15	8	8	100	11	111
要介護4	2	5	17	7	2	7	40	15	55
要介護5	1	4	9	3	3	2	22	6	28
全体（n=1,412）	5.9%	11.0%	45.0%	15.4%	7.0%	15.8%	100.0%		
要支援1（n=388）	4.9%	8.5%	46.6%	16.8%	6.7%	16.5%	100.0%		
要支援2（n=444）	6.8%	11.3%	44.4%	13.1%	7.9%	16.7%	100.0%		
要介護1（n=184）	4.9%	13.0%	42.9%	16.8%	6.5%	15.8%	100.0%		
要介護2（n=152）	7.9%	11.2%	46.1%	16.4%	4.6%	13.8%	100.0%		
要介護3（n=100）	5.0%	14.0%	50.0%	15.0%	8.0%	8.0%	100.0%		
要介護4（n=40）	5.0%	12.5%	42.5%	17.5%	5.0%	17.5%	100.0%		
要介護5（n=22）	4.5%	18.2%	40.9%	13.6%	13.6%	9.1%	100.0%		

【問 10 で「はい」の方のみ】

問 10-3　現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

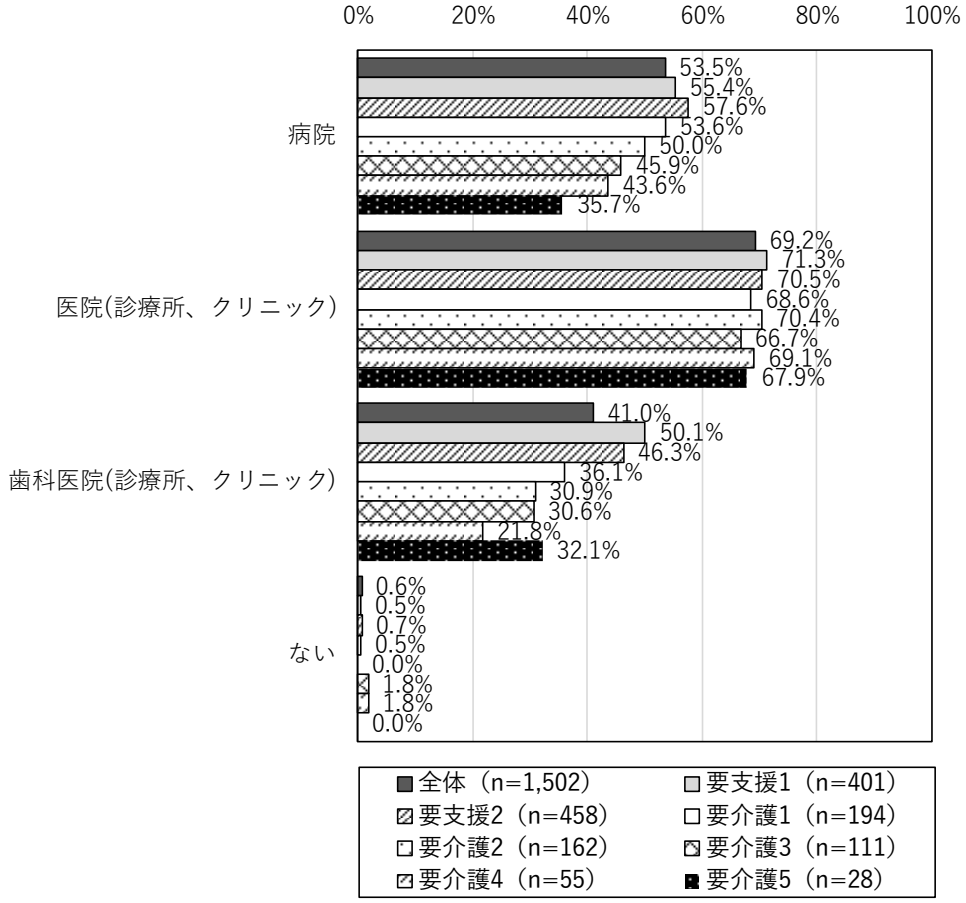
医師の処方した薬の種類では、「6 種類以上」が 40.8%と最も多く、次いで「5 種類」が 18.3%、「3 種類」が 12.3%となっています。



	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類以上	飲んでいない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	49	123	173	160	258	576	24	49	1,412	90	1,502
要支援1	13	38	57	45	68	142	9	16	388	13	401
要支援2	20	33	46	52	75	190	7	21	444	14	458
要介護1	6	16	21	19	31	87	1	3	184	10	194
要介護2	4	13	20	16	29	67	2	1	152	10	162
要介護3	3	5	12	8	26	44	0	2	100	11	111
要介護4	0	6	7	5	8	13	0	1	40	15	55
要介護5	0	4	0	4	4	8	2	0	22	6	28
全体(n=1,412)	3.5%	8.7%	12.3%	11.3%	18.3%	40.8%	1.7%	3.5%	100.0%		
要支援1(n=388)	3.4%	9.8%	14.7%	11.6%	17.5%	36.6%	2.3%	4.1%	100.0%		
要支援2(n=444)	4.5%	7.4%	10.4%	11.7%	16.9%	42.8%	1.6%	4.7%	100.0%		
要介護1(n=184)	3.3%	8.7%	11.4%	10.3%	16.8%	47.3%	0.5%	1.6%	100.0%		
要介護2(n=152)	2.6%	8.6%	13.2%	10.5%	19.1%	44.1%	1.3%	0.7%	100.0%		
要介護3(n=100)	3.0%	5.0%	12.0%	8.0%	26.0%	44.0%	0.0%	2.0%	100.0%		
要介護4(n=40)	0.0%	15.0%	17.5%	12.5%	20.0%	32.5%	0.0%	2.5%	100.0%		
要介護5(n=22)	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	18.2%	36.4%	9.1%	0.0%	100.0%		

問 11　かかりつけの病院・医院・歯科医院（診療所、クリニック）はありますか。（いくつでも）

「医院（診療所、クリニック）」が 69.2%と最も多く、次いで「病院」が 53.5%、「歯科医院（診療所、クリニック）」が 41.0%となっています。

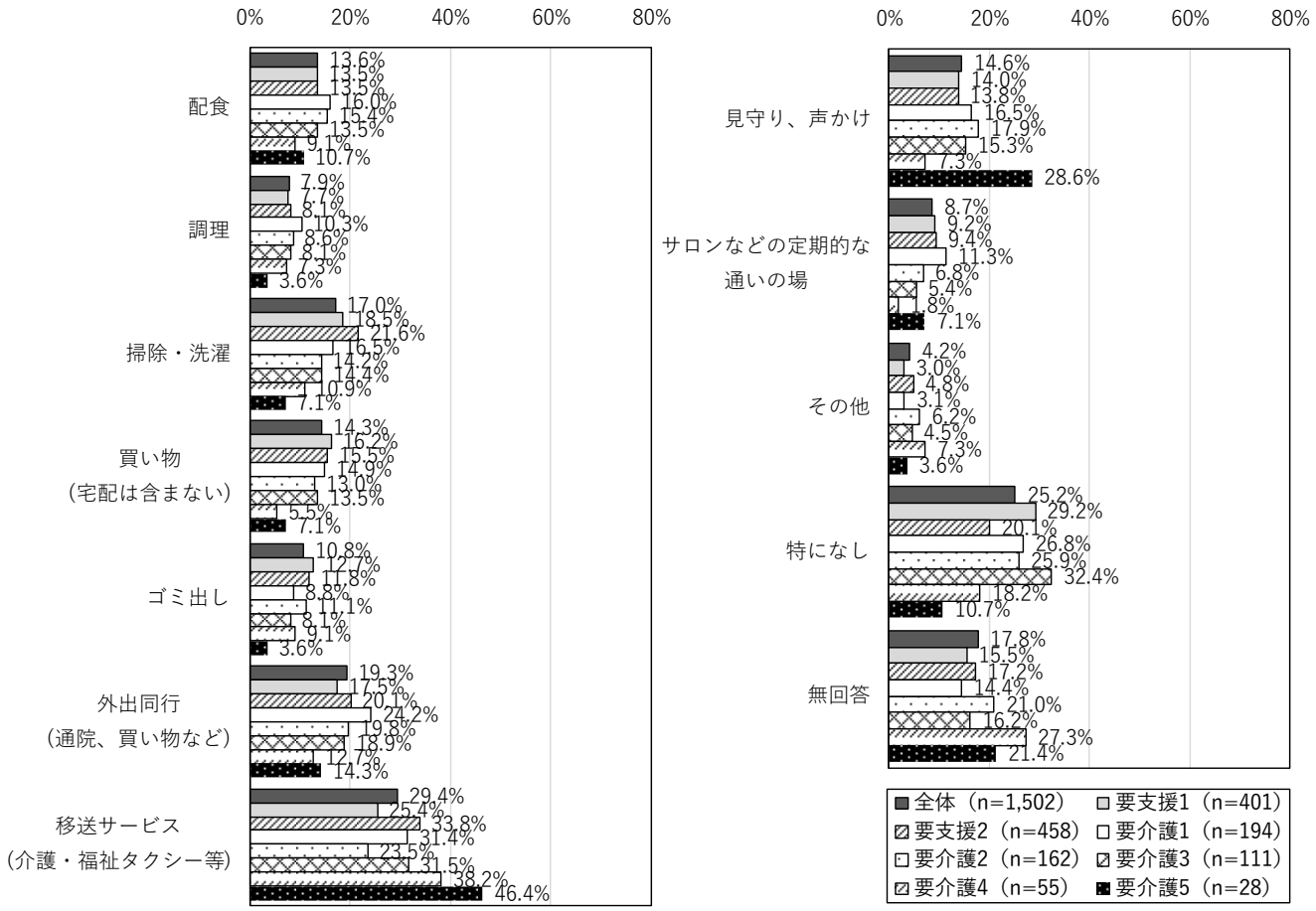


	病院	医院（診療所、クリニック）	歯科医院（診療所、クリニック）	ない	無回答	回答者数
全体	804	1,040	616	9	42	1,502
要支援1	222	286	201	2	6	401
要支援2	264	323	212	3	7	458
要介護1	104	133	70	1	4	194
要介護2	81	114	50	0	5	162
要介護3	51	74	34	2	4	111
要介護4	24	38	12	1	5	55
要介護5	10	19	9	0	1	28
全体(n=1,502)	53.5%	69.2%	41.0%	0.6%	2.8%	
要支援1(n=401)	55.4%	71.3%	50.1%	0.5%	1.5%	
要支援2(n=458)	57.6%	70.5%	46.3%	0.7%	1.5%	
要介護1(n=194)	53.6%	68.6%	36.1%	0.5%	2.1%	
要介護2(n=162)	50.0%	70.4%	30.9%	0.0%	3.1%	
要介護3(n=111)	45.9%	66.7%	30.6%	1.8%	3.6%	
要介護4(n=55)	43.6%	69.1%	21.8%	1.8%	9.1%	
要介護5(n=28)	35.7%	67.9%	32.1%	0.0%	3.6%	

問 12　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、御回答ください。※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。（いくつでも）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 29.4%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 19.3%となっています。

また、「特になし」が 25.2%となっています。

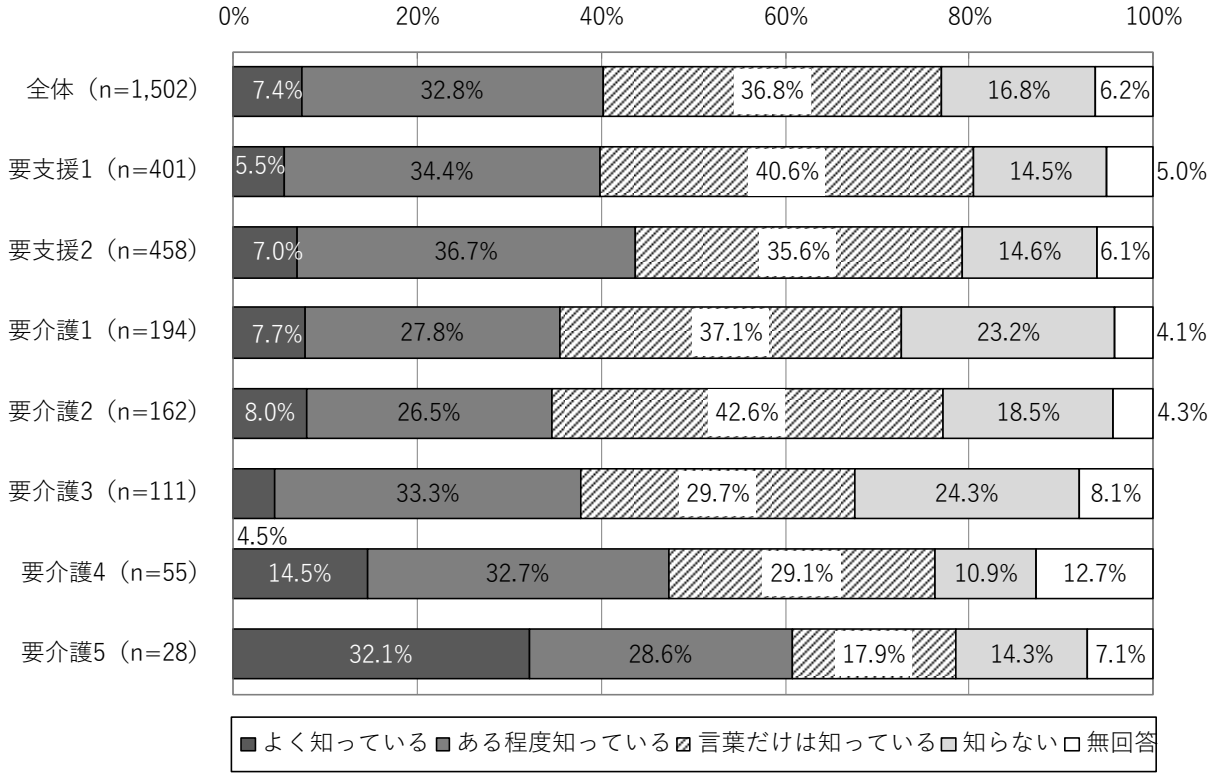


	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	回答者数
全体	204	118	256	215	162	290	442	219	130	63	379	267	1,502
要支援1	54	31	74	65	51	70	102	56	37	12	117	62	401
要支援2	62	37	99	71	54	92	155	63	43	22	92	79	458
要介護1	31	20	32	29	17	47	61	32	22	6	52	28	194
要介護2	25	14	23	21	18	32	38	29	11	10	42	34	162
要介護3	15	9	16	15	9	21	35	17	6	5	36	18	111
要介護4	5	4	6	3	5	7	21	4	1	4	10	15	55
要介護5	3	1	2	2	1	4	13	8	2	1	3	6	28
全体（n=1,502）	13.6%	7.9%	17.0%	14.3%	10.8%	19.3%	29.4%	14.6%	8.7%	4.2%	25.2%	17.8%	
要支援1（n=401）	13.5%	7.7%	18.5%	16.2%	12.7%	17.5%	25.4%	14.0%	9.2%	3.0%	29.2%	15.5%	
要支援2（n=458）	13.5%	8.1%	21.6%	15.5%	11.8%	20.1%	33.8%	13.8%	9.4%	4.8%	20.1%	17.2%	
要介護1（n=194）	16.0%	10.3%	16.5%	14.9%	8.8%	24.2%	31.4%	16.5%	11.3%	3.1%	26.8%	14.4%	
要介護2（n=162）	15.4%	8.6%	14.2%	13.0%	11.1%	19.8%	23.5%	17.9%	6.8%	6.2%	25.9%	21.0%	
要介護3（n=111）	13.5%	8.1%	14.4%	13.5%	8.1%	18.9%	31.5%	15.3%	5.4%	4.5%	32.4%	16.2%	
要介護4（n=55）	9.1%	7.3%	10.9%	5.5%	9.1%	12.7%	38.2%	7.3%	1.8%	7.3%	18.2%	27.3%	
要介護5（n=28）	10.7%	3.6%	7.1%	7.1%	3.6%	14.3%	46.4%	28.6%	7.1%	3.6%	10.7%	21.4%	

問 13　あなたは「在宅医療」についてご存知ですか。

「在宅医療」について知っているかでは、「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」を合わせた『知っている』が 77.0%となっています。

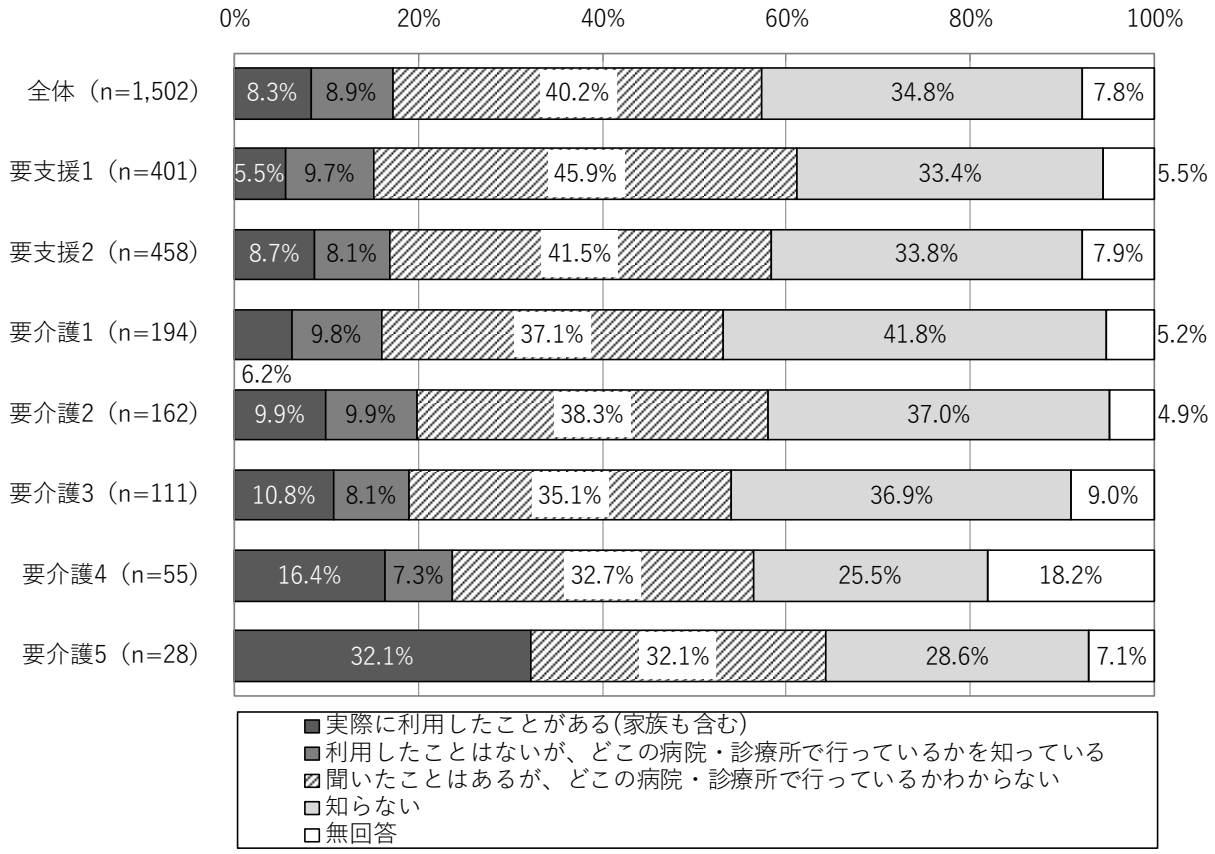
また、「知らない」が 16.8%となっています。



	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけは知っている	知らない	無回答	合計
全体	111	493	552	253	93	1,502
要支援1	22	138	163	58	20	401
要支援2	32	168	163	67	28	458
要介護1	15	54	72	45	8	194
要介護2	13	43	69	30	7	162
要介護3	5	37	33	27	9	111
要介護4	8	18	16	6	7	55
要介護5	9	8	5	4	2	28
全体（n=1,502）	7.4%	32.8%	36.8%	16.8%	6.2%	100.0%
要支援1（n=401）	5.5%	34.4%	40.6%	14.5%	5.0%	100.0%
要支援2（n=458）	7.0%	36.7%	35.6%	14.6%	6.1%	100.0%
要介護1（n=194）	7.7%	27.8%	37.1%	23.2%	4.1%	100.0%
要介護2（n=162）	8.0%	26.5%	42.6%	18.5%	4.3%	100.0%
要介護3（n=111）	4.5%	33.3%	29.7%	24.3%	8.1%	100.0%
要介護4（n=55）	14.5%	32.7%	29.1%	10.9%	12.7%	100.0%
要介護5（n=28）	32.1%	28.6%	17.9%	14.3%	7.1%	100.0%

問 14　24 時間体制で往診・訪問診療を行う在宅療養支援診療所、24 時間体制で入院を受け付ける在宅療養支援病院・地域包括ケア病棟があることをご存知ですか。

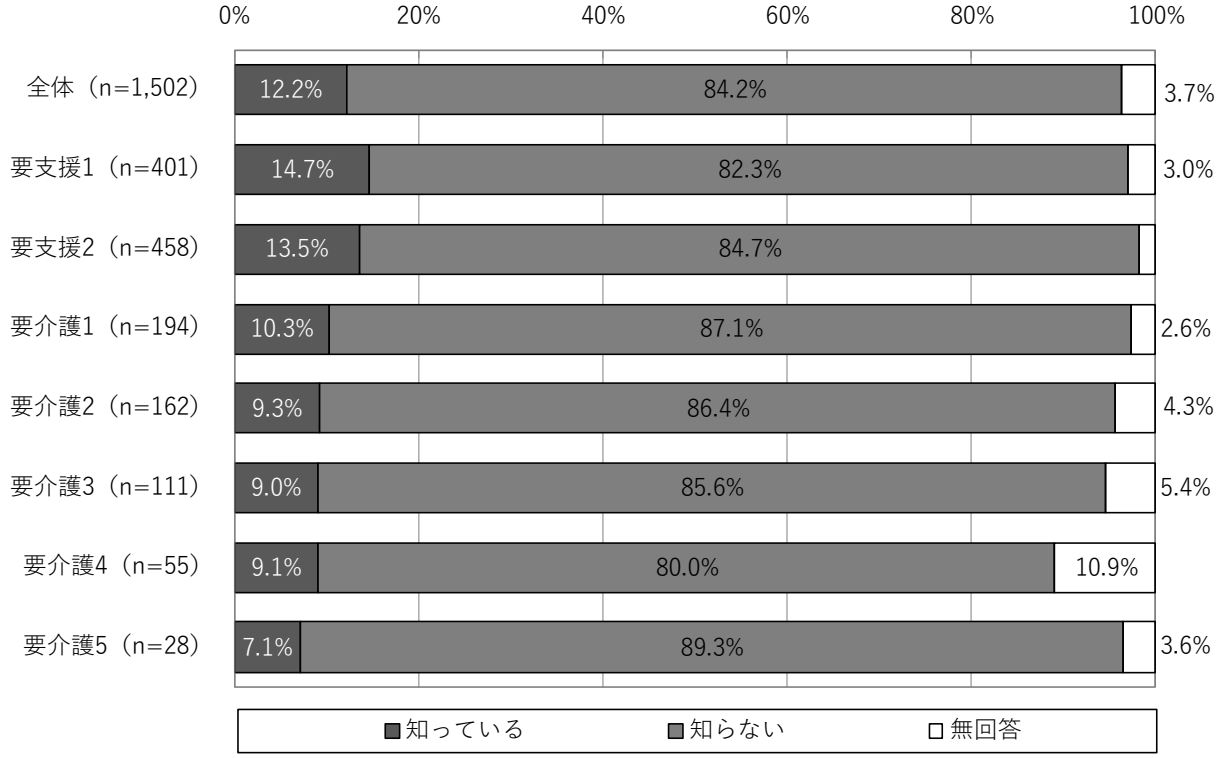
在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院・地域包括ケア病棟の認知については、「聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているかわからない」が 40.2%と最も多く、次いで「知らない」が 34.8%、「利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているかを知っている」が 8.9%となっています。



	実際に利用したことがある(家族も含む)	利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているかを知っている	聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているかわからない	知らない	無回答	合計
全体	124	134	604	523	117	1,502
要支援1	22	39	184	134	22	401
要支援2	40	37	190	155	36	458
要介護1	12	19	72	81	10	194
要介護2	16	16	62	60	8	162
要介護3	12	9	39	41	10	111
要介護4	9	4	18	14	10	55
要介護5	9	0	9	8	2	28
全体(n=1,502)	8.3%	8.9%	40.2%	34.8%	7.8%	100.0%
要支援1(n=401)	5.5%	9.7%	45.9%	33.4%	5.5%	100.0%
要支援2(n=458)	8.7%	8.1%	41.5%	33.8%	7.9%	100.0%
要介護1(n=194)	6.2%	9.8%	37.1%	41.8%	5.2%	100.0%
要介護2(n=162)	9.9%	9.9%	38.3%	37.0%	4.9%	100.0%
要介護3(n=111)	10.8%	8.1%	35.1%	36.9%	9.0%	100.0%
要介護4(n=55)	16.4%	7.3%	32.7%	25.5%	18.2%	100.0%
要介護5(n=28)	32.1%	0.0%	32.1%	28.6%	7.1%	100.0%

問 15　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」をご存知ですか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を知っているかでは、「知っている」が 12.2%、「知らない」が 84.2%となっています。

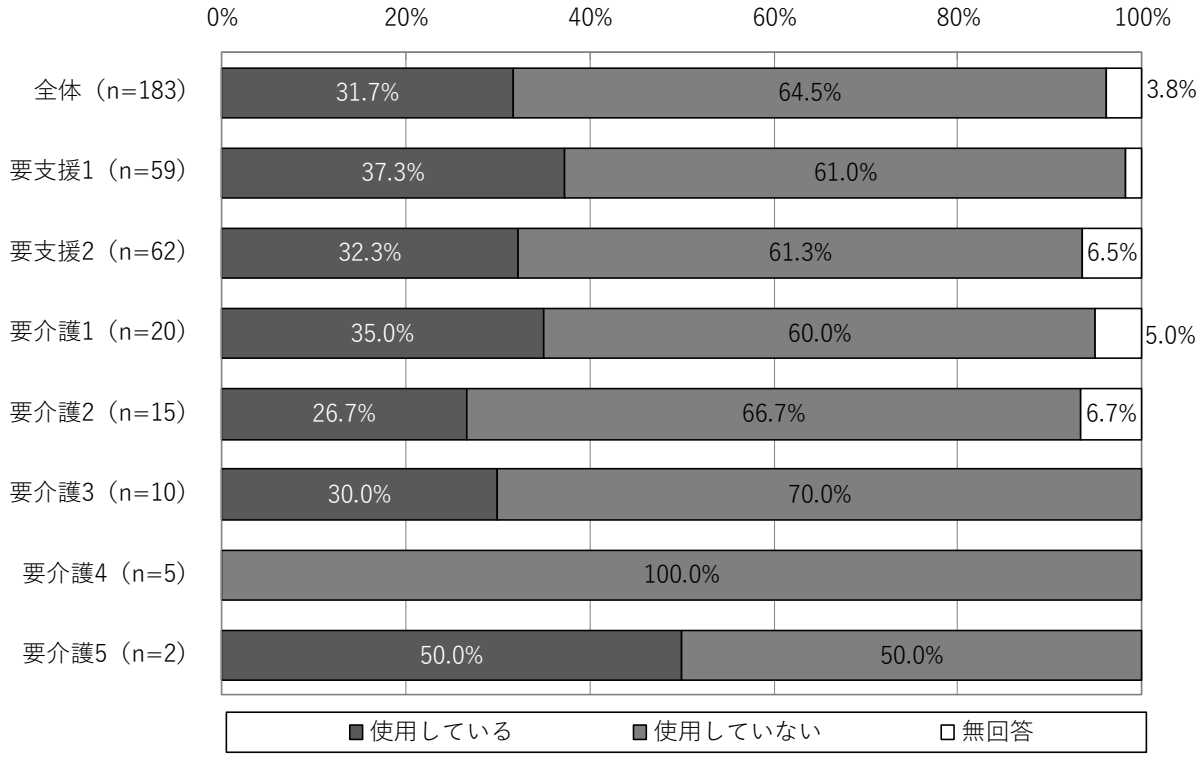


	知っている	知らない	無回答	合計
全体	183	1,264	55	1,502
要支援1	59	330	12	401
要支援2	62	388	8	458
要介護1	20	169	5	194
要介護2	15	140	7	162
要介護3	10	95	6	111
要介護4	5	44	6	55
要介護5	2	25	1	28
全体(n=1,502)	12.2%	84.2%	3.7%	100.0%
要支援1(n=401)	14.7%	82.3%	3.0%	100.0%
要支援2(n=458)	13.5%	84.7%	1.7%	100.0%
要介護1(n=194)	10.3%	87.1%	2.6%	100.0%
要介護2(n=162)	9.3%	86.4%	4.3%	100.0%
要介護3(n=111)	9.0%	85.6%	5.4%	100.0%
要介護4(n=55)	9.1%	80.0%	10.9%	100.0%
要介護5(n=28)	7.1%	89.3%	3.6%	100.0%

【問 15 で「知っている」の方のみ】

問 15-1　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していますか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用しているかでは、「使用している」が 31.7%、「使用していない」が 64.5%となっています。

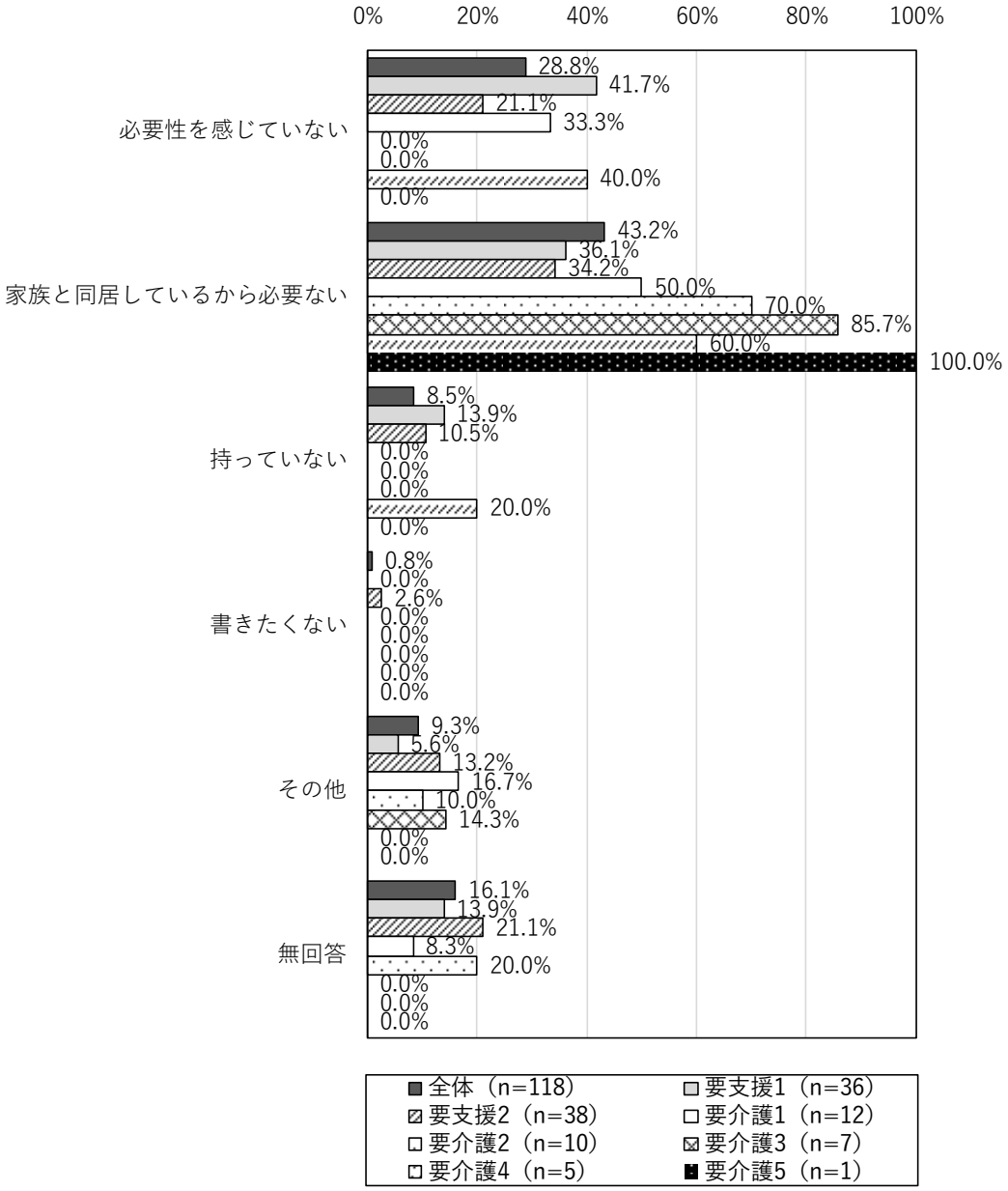


	使用している	使用していない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	58	118	7	183	1,319	1,502
要支援1	22	36	1	59	342	401
要支援2	20	38	4	62	396	458
要介護1	7	12	1	20	174	194
要介護2	4	10	1	15	147	162
要介護3	3	7	0	10	101	111
要介護4	0	5	0	5	50	55
要介護5	1	1	0	2	26	28
全体(n=183)	31.7%	64.5%	3.8%	100.0%		
要支援1(n=59)	37.3%	61.0%	1.7%	100.0%		
要支援2(n=62)	32.3%	61.3%	6.5%	100.0%		
要介護1(n=20)	35.0%	60.0%	5.0%	100.0%		
要介護2(n=15)	26.7%	66.7%	6.7%	100.0%		
要介護3(n=10)	30.0%	70.0%	0.0%	100.0%		
要介護4(n=5)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
要介護5(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%		

【問 15 で「使用していない」の方のみ】

問 15-2　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していない理由は何ですか。（いくつでも）

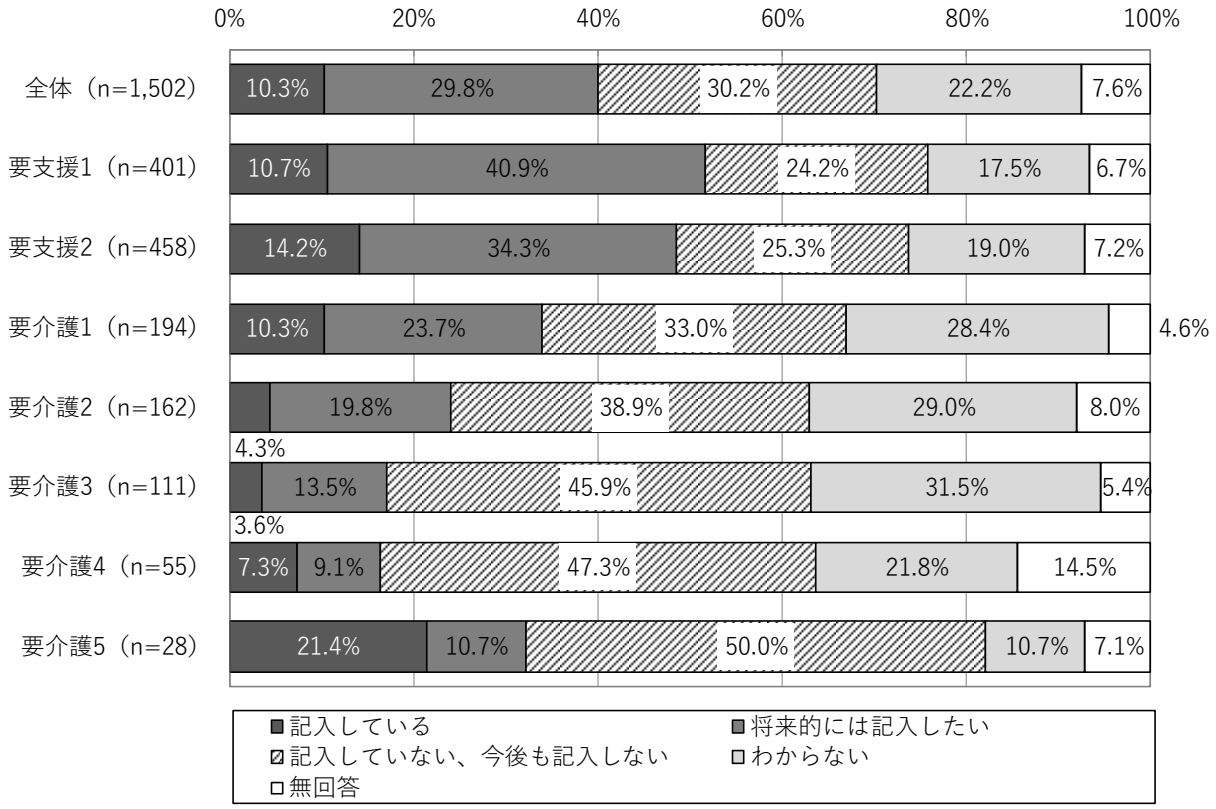
「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していない理由では、「家族と同居しているから必要ない」が 43.2%と最も多く、次いで「必要性を感じていない」が 28.8%となっています。



	必要性を感じていない	家族と同居しているから必要ない	持っていない	書きたくない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	34	51	10	1	11	19	118	1,384	1,502
要支援1	15	13	5	0	2	5	36	365	401
要支援2	8	13	4	1	5	8	38	420	458
要介護1	4	6	0	0	2	1	12	182	194
要介護2	0	7	0	0	1	2	10	152	162
要介護3	0	6	0	0	1	0	7	104	111
要介護4	2	3	1	0	0	0	5	50	55
要介護5	0	1	0	0	0	0	1	27	28
全体(n=118)	28.8%	43.2%	8.5%	0.8%	9.3%	16.1%			
要支援1(n=36)	41.7%	36.1%	13.9%	0.0%	5.6%	13.9%			
要支援2(n=38)	21.1%	34.2%	10.5%	2.6%	13.2%	21.1%			
要介護1(n=12)	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%			
要介護2(n=10)	0.0%	70.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%			
要介護3(n=7)	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%			
要介護4(n=5)	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
要介護5(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

問 16　将来に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどをエンディングノート等に記入していますか。

エンディングノート等に記入しているかでは、「記入していない、今後も記入しない」が 30.2%と最も多く、次いで「将来的には記入したい」が 29.8%となっています。

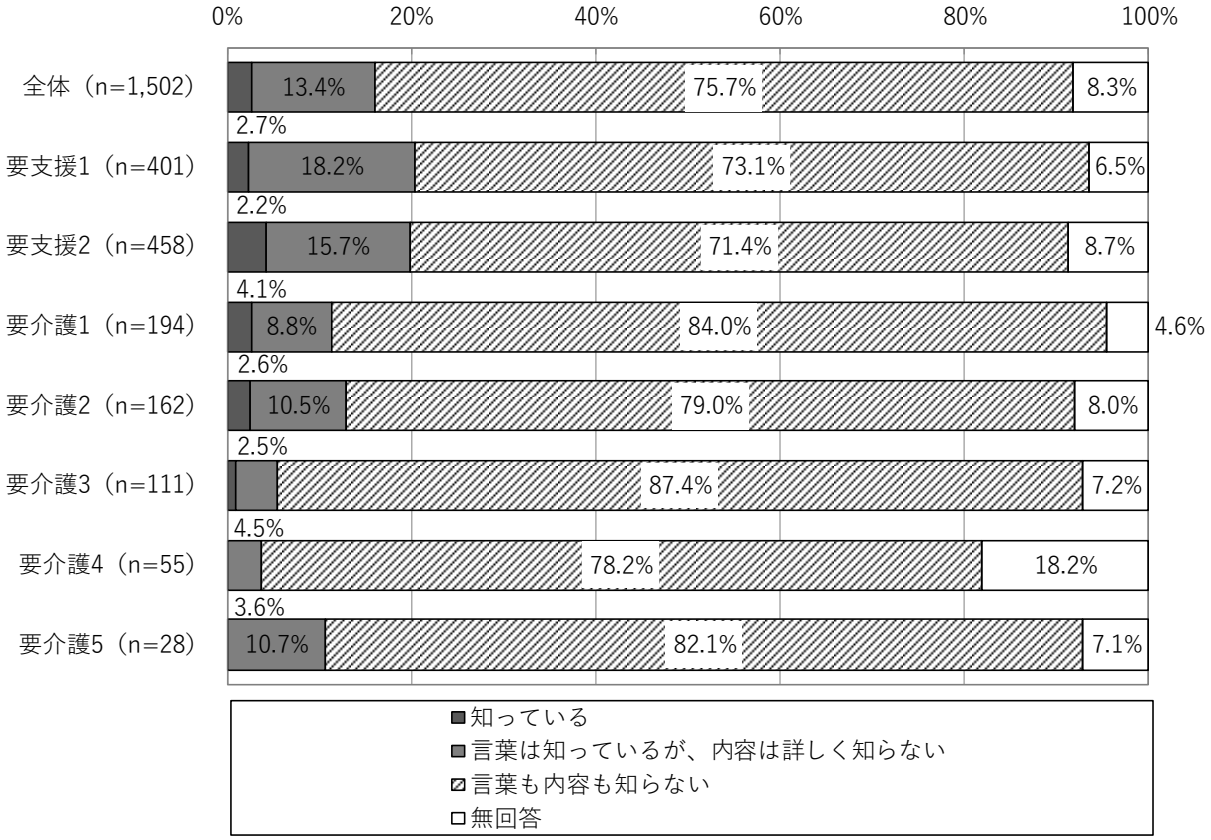


	記入している	将来的には記入したい	記入していない、今後も記入しない	わからない	無回答	合計
全体	155	447	453	333	114	1,502
要支援1	43	164	97	70	27	401
要支援2	65	157	116	87	33	458
要介護1	20	46	64	55	9	194
要介護2	7	32	63	47	13	162
要介護3	4	15	51	35	6	111
要介護4	4	5	26	12	8	55
要介護5	6	3	14	3	2	28
全体（n=1,502）	10.3%	29.8%	30.2%	22.2%	7.6%	100.0%
要支援1（n=401）	10.7%	40.9%	24.2%	17.5%	6.7%	100.0%
要支援2（n=458）	14.2%	34.3%	25.3%	19.0%	7.2%	100.0%
要介護1（n=194）	10.3%	23.7%	33.0%	28.4%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	4.3%	19.8%	38.9%	29.0%	8.0%	100.0%
要介護3（n=111）	3.6%	13.5%	45.9%	31.5%	5.4%	100.0%
要介護4（n=55）	7.3%	9.1%	47.3%	21.8%	14.5%	100.0%
要介護5（n=28）	21.4%	10.7%	50.0%	10.7%	7.1%	100.0%

問 17　ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っていますか。

ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っているかでは、「知っている」「言葉は知っているが、内容は詳しく知らない」を合わせた『知っている』が 16.1%となっています。

また、「言葉も内容も知らない」が 75.7%となっています。

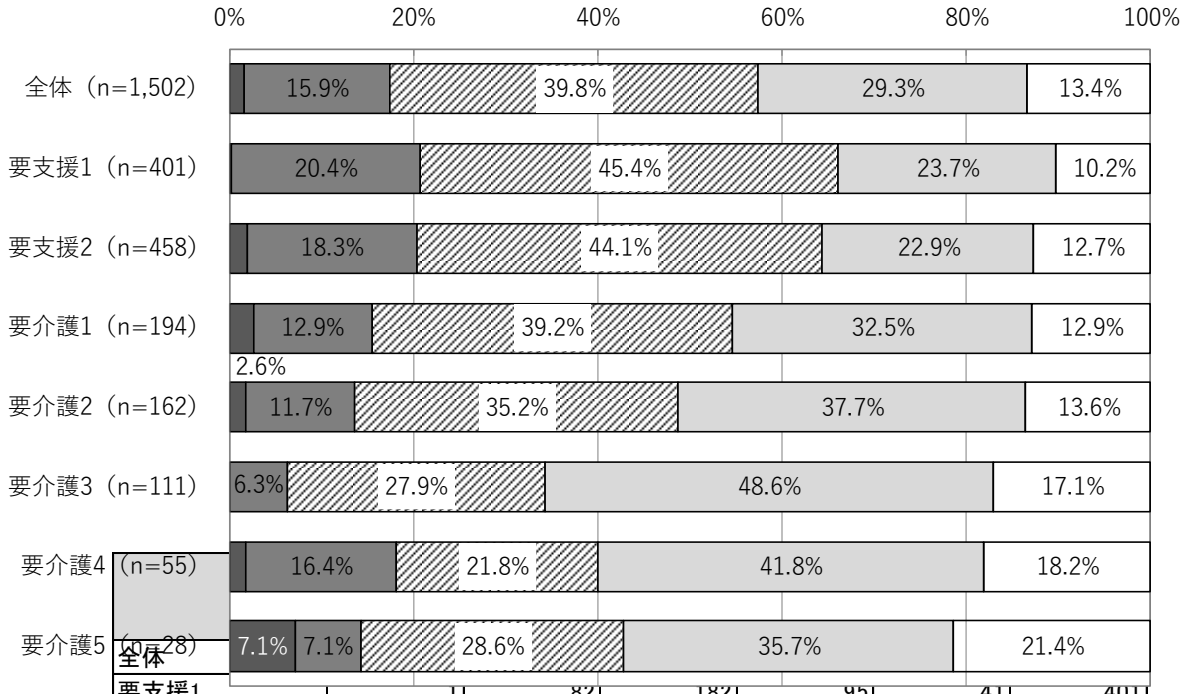


	知っている	言葉は知っているが、内容は詳しく知らない	言葉も内容も知らない	無回答	合計
全体	40	201	1,137	124	1,502
要支援1	9	73	293	26	401
要支援2	19	72	327	40	458
要介護1	5	17	163	9	194
要介護2	4	17	128	13	162
要介護3	1	5	97	8	111
要介護4	0	2	43	10	55
要介護5	0	3	23	2	28
全体（n=1,502）	2.7%	13.4%	75.7%	8.3%	100.0%
要支援1（n=401）	2.2%	18.2%	73.1%	6.5%	100.0%
要支援2（n=458）	4.1%	15.7%	71.4%	8.7%	100.0%
要介護1（n=194）	2.6%	8.8%	84.0%	4.6%	100.0%
要介護2（n=162）	2.5%	10.5%	79.0%	8.0%	100.0%
要介護3（n=111）	0.9%	4.5%	87.4%	7.2%	100.0%
要介護4（n=55）	0.0%	3.6%	78.2%	18.2%	100.0%
要介護5（n=28）	0.0%	10.7%	82.1%	7.1%	100.0%

問 18　将来に備えて、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）や人生の終わり方について家族や知人、サービス関係者と話しあったことはありますか。

将来に備えて、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）や人生の終わり方について家族や知人、サービス関係者と話しあったことはあるかでは、「いつも話している」「時々話している」を合わせた『話している』が 17.5%となっています。

また、「話していないが今後話をする」が 39.8%と最も多く、次いで「話をするつもりはない」が 29.3%、「時々話している」が 15.9%となっています。

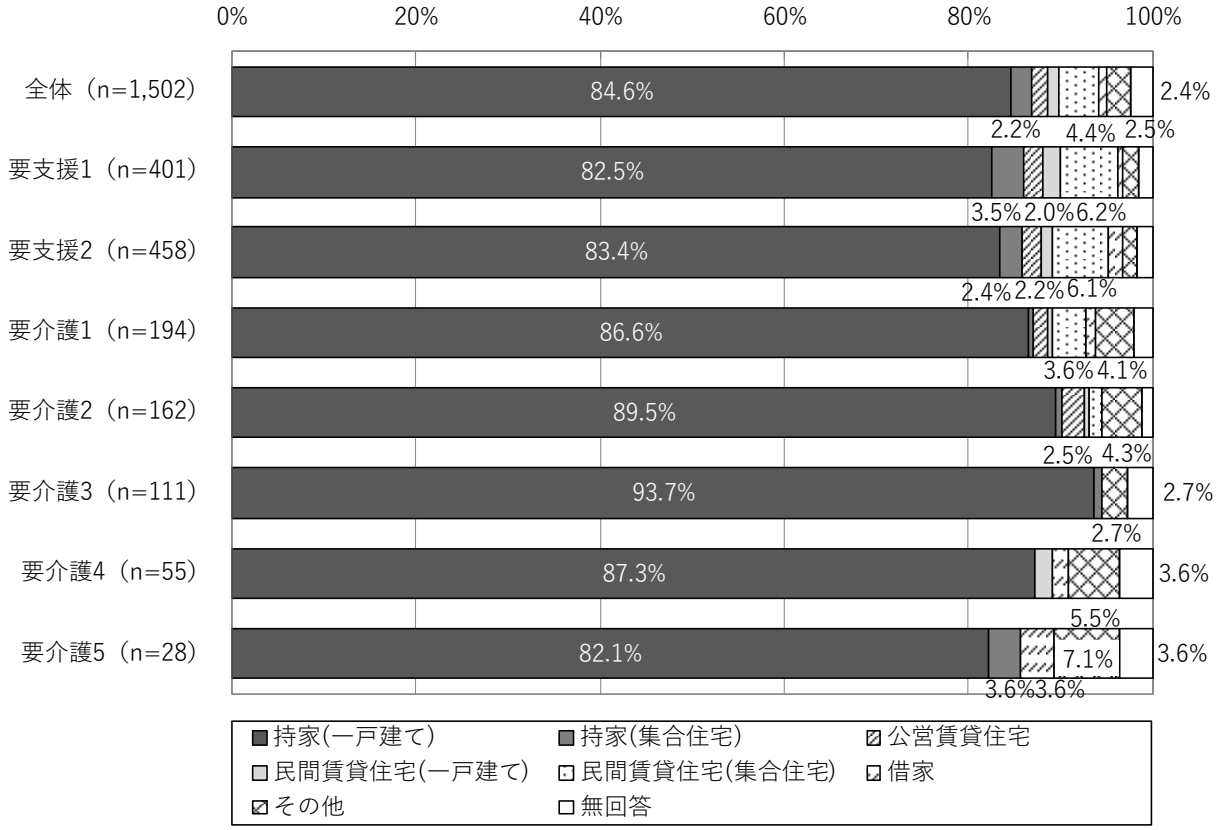


全体						
要支援1	1	82	182	95	41	401
要支援2	9	84	202	105	58	458
要介護1	5	25	76	63	25	194
要介護2	3	19	57	61	22	162
要介護3	0	7	31	54	19	111
要介護4	1	9	12	23	10	55
要介護5	2	2	8	10	6	28
全体（n=1,502）	1.6%	15.9%	39.8%	29.3%	13.4%	100.0%
要支援1（n=401）	0.2%	20.4%	45.4%	23.7%	10.2%	100.0%
要支援2（n=458）	2.0%	18.3%	44.1%	22.9%	12.7%	100.0%
要介護1（n=194）	2.6%	12.9%	39.2%	32.5%	12.9%	100.0%
要介護2（n=162）	1.9%	11.7%	35.2%	37.7%	13.6%	100.0%
要介護3（n=111）	0.0%	6.3%	27.9%	48.6%	17.1%	100.0%
要介護4（n=55）	1.8%	16.4%	21.8%	41.8%	18.2%	100.0%
要介護5（n=28）	7.1%	7.1%	28.6%	35.7%	21.4%	100.0%

（9）住まいについて

問１　お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

お住まいでは、「持家（一戸建て）」が 84.6%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 4.4%となっています。

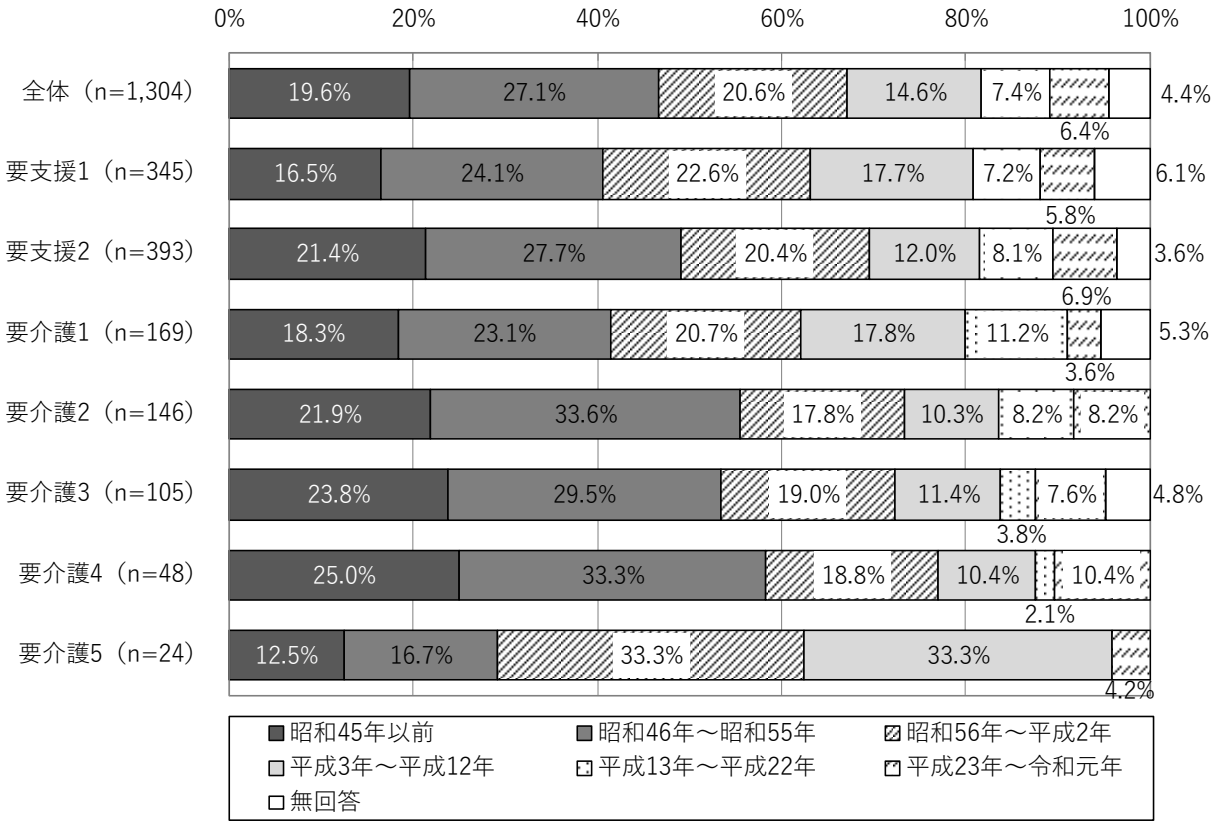


	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答	合計
全体	1,271	33	27	18	66	13	38	36	1,502
要支援1	331	14	8	8	25	2	7	6	401
要支援2	382	11	10	5	28	7	7	8	458
要介護1	168	1	3	1	7	2	8	4	194
要介護2	145	1	4	1	2	0	7	2	162
要介護3	104	1	0	0	0	0	3	3	111
要介護4	48	0	0	1	0	1	3	2	55
要介護5	23	1	0	0	0	1	2	1	28
全体(n=1,502)	84.6%	2.2%	1.8%	1.2%	4.4%	0.9%	2.5%	2.4%	100.0%
要支援1(n=401)	82.5%	3.5%	2.0%	2.0%	6.2%	0.5%	1.7%	1.5%	100.0%
要支援2(n=458)	83.4%	2.4%	2.2%	1.1%	6.1%	1.5%	1.5%	1.7%	100.0%
要介護1(n=194)	86.6%	0.5%	1.5%	0.5%	3.6%	1.0%	4.1%	2.1%	100.0%
要介護2(n=162)	89.5%	0.6%	2.5%	0.6%	1.2%	0.0%	4.3%	1.2%	100.0%
要介護3(n=111)	93.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	100.0%
要介護4(n=55)	87.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	5.5%	3.6%	100.0%
要介護5(n=28)	82.1%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	7.1%	3.6%	100.0%

【問 1 において「持家（一戸建て）」又は「持家（集合住宅）」の方のみ】

問 1-1　建築時期はいつですか。

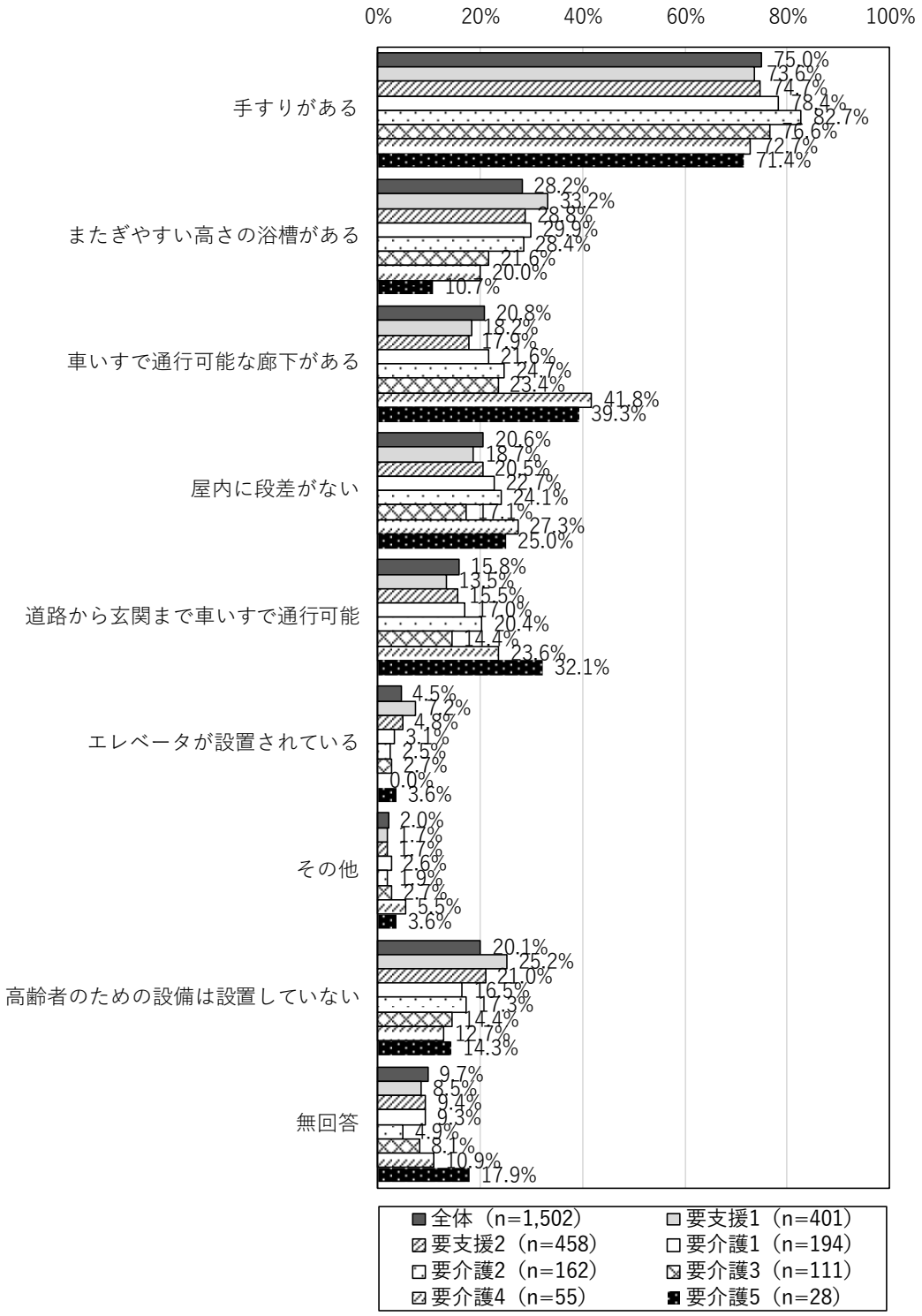
建築時期では、「昭和 46 年～昭和 55 年」が 27.1%と最も多く、次いで「昭和 56 年～平成 2 年」が 20.6%、「昭和 45 年以前」が 19.6%となっています。



	昭和45年以前	昭和46年～昭和55年	昭和56年～平成2年	平成3年～平成12年	平成13年～平成22年	平成23年～令和元年	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	255	353	268	190	96	84	58	1,304	198	1,502
要支援1	57	83	78	61	25	20	21	345	56	401
要支援2	84	109	80	47	32	27	14	393	65	458
要介護1	31	39	35	30	19	6	9	169	25	194
要介護2	32	49	26	15	12	12	0	146	16	162
要介護3	25	31	20	12	4	8	5	105	6	111
要介護4	12	16	9	5	1	5	0	48	7	55
要介護5	3	4	8	8	0	1	0	24	4	28
全体(n=1,304)	19.6%	27.1%	20.6%	14.6%	7.4%	6.4%	4.4%	100.0%		
要支援1(n=345)	16.5%	24.1%	22.6%	17.7%	7.2%	5.8%	6.1%	100.0%		
要支援2(n=393)	21.4%	27.7%	20.4%	12.0%	8.1%	6.9%	3.6%	100.0%		
要介護1(n=169)	18.3%	23.1%	20.7%	17.8%	11.2%	3.6%	5.3%	100.0%		
要介護2(n=146)	21.9%	33.6%	17.8%	10.3%	8.2%	8.2%	0.0%	100.0%		
要介護3(n=105)	23.8%	29.5%	19.0%	11.4%	3.8%	7.6%	4.8%	100.0%		
要介護4(n=48)	25.0%	33.3%	18.8%	10.4%	2.1%	10.4%	0.0%	100.0%		
要介護5(n=24)	12.5%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%		

問 2　高齢者のための設備の設置状況を教えてください。（賃貸住宅等に住んでいる場合、共用部分に設置がある設備も含む。）（いくつでも）

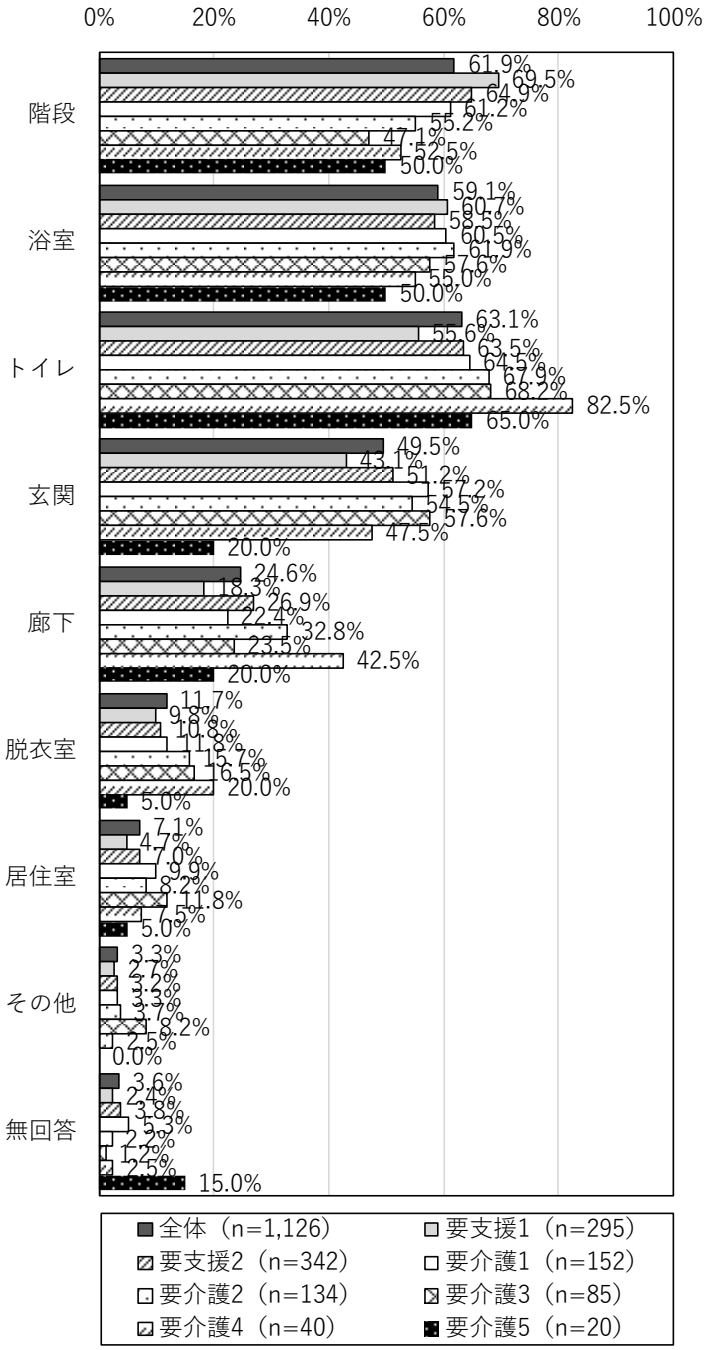
「手すりがある」が 75.0%と最も多く、次いで「またぎやすい高さの浴槽がある」が 28.2%、「車いすで通行可能な廊下がある」が 20.8%となっています。



	手すりがある	またぎやすい高さの浴槽がある	車いすで通行可能な廊下がある	屋内に段差がない	道路から玄関まで車いすで通行可能	エレベータが設置されている	その他	高齢者のための設備は設置していない	無回答	回答者数
全体	1,126	423	312	310	238	67	30	302	146	1,502
要支援1	295	133	73	75	54	29	7	101	34	401
要支援2	342	132	82	94	71	22	8	96	43	458
要介護1	152	58	42	44	33	6	5	32	18	194
要介護2	134	46	40	39	33	4	3	28	8	162
要介護3	85	24	26	19	16	3	3	16	9	111
要介護4	40	11	23	15	13	0	3	7	6	55
要介護5	20	3	11	7	9	1	1	4	5	28
全体（n=1,502）	75.0%	28.2%	20.8%	20.6%	15.8%	4.5%	2.0%	20.1%	9.7%	
要支援1（n=401）	73.6%	33.2%	18.2%	18.7%	13.5%	7.2%	1.7%	25.2%	8.5%	
要支援2（n=458）	74.7%	28.8%	17.9%	20.5%	15.5%	4.8%	1.7%	21.0%	9.4%	
要介護1（n=194）	78.4%	29.9%	21.6%	22.7%	17.0%	3.1%	2.6%	16.5%	9.3%	
要介護2（n=162）	82.7%	28.4%	24.7%	24.1%	20.4%	2.5%	1.9%	17.3%	4.9%	
要介護3（n=111）	76.6%	21.6%	23.4%	17.1%	14.4%	2.7%	2.7%	14.4%	8.1%	
要介護4（n=55）	72.7%	20.0%	41.8%	27.3%	23.6%	0.0%	5.5%	12.7%	10.9%	
要介護5（n=28）	71.4%	10.7%	39.3%	25.0%	32.1%	3.6%	3.6%	14.3%	17.9%	

【手すりの設置場所に○をつけてください（○はいくつでも）】

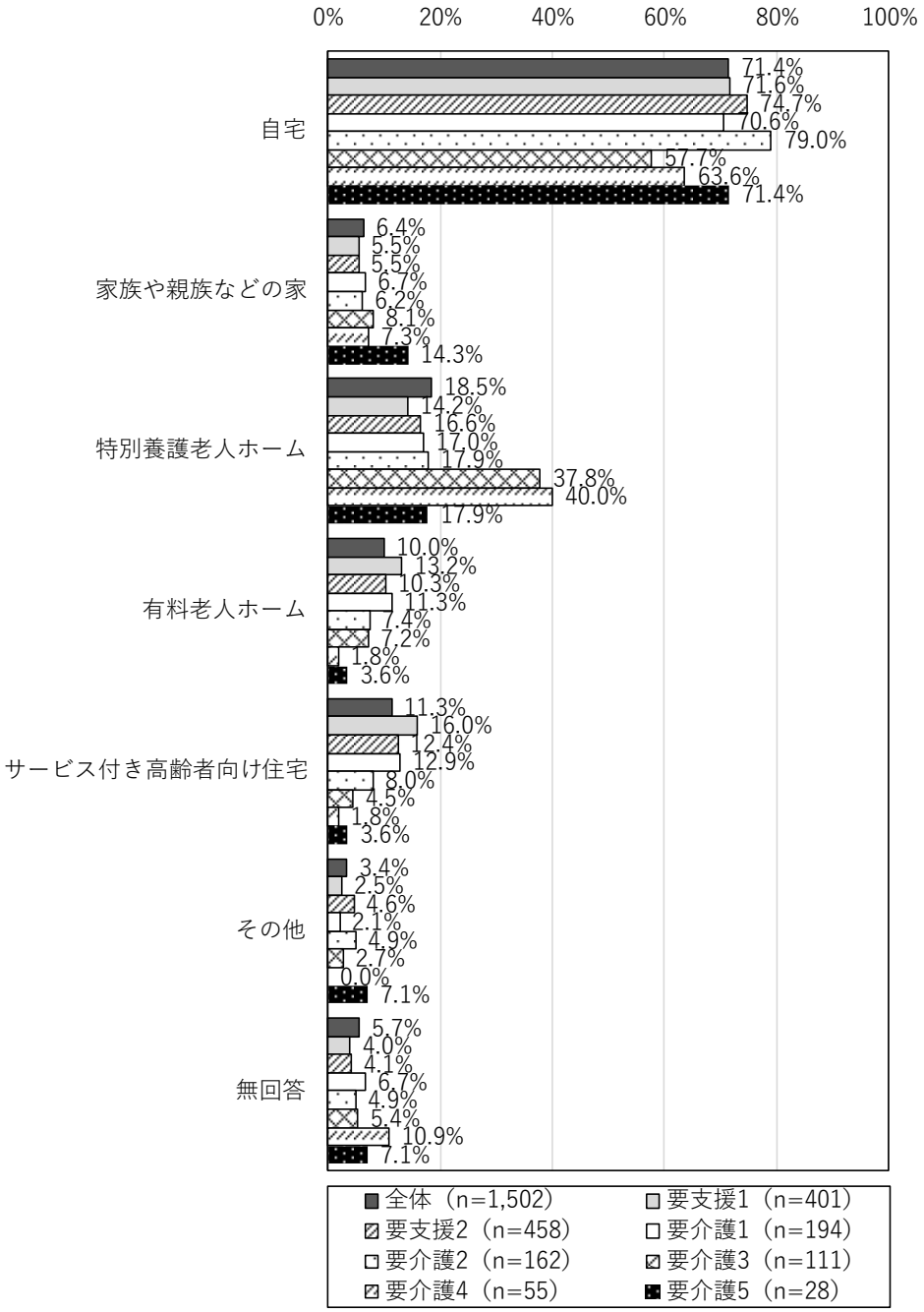
「トイレ」が 63.1%と最も多く、次いで「階段」が 61.9%、「浴室」が 59.1%となっています。



	階段	浴室	トイレ	玄関	廊下	脱衣室	居住室	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	697	666	711	557	277	132	80	37	40	1,126	376	1,502
要支援1	205	179	164	127	54	29	14	8	7	295	106	401
要支援2	222	200	217	175	92	37	24	11	13	342	116	458
要介護1	93	92	98	87	34	18	15	5	8	152	42	194
要介護2	74	83	91	73	44	21	11	5	3	134	28	162
要介護3	40	49	58	49	20	14	10	7	1	85	26	111
要介護4	21	22	33	19	17	8	3	1	1	40	15	55
要介護5	10	10	13	4	4	1	1	0	3	20	8	28
全体（n=1,126）	61.9%	59.1%	63.1%	49.5%	24.6%	11.7%	7.1%	3.3%	3.6%			
要支援1（n=295）	69.5%	60.7%	55.6%	43.1%	18.3%	9.8%	4.7%	2.7%	2.4%			
要支援2（n=342）	64.9%	58.5%	63.5%	51.2%	26.9%	10.8%	7.0%	3.2%	3.8%			
要介護1（n=152）	61.2%	60.5%	64.5%	57.2%	22.4%	11.8%	9.9%	3.3%	5.3%			
要介護2（n=134）	55.2%	61.9%	67.9%	54.5%	32.8%	15.7%	8.2%	3.7%	2.2%			
要介護3（n=85）	47.1%	57.6%	68.2%	57.6%	23.5%	16.5%	11.8%	8.2%	1.2%			
要介護4（n=40）	52.5%	55.0%	82.5%	47.5%	42.5%	20.0%	7.5%	2.5%	2.5%			
要介護5（n=20）	50.0%	50.0%	65.0%	20.0%	20.0%	5.0%	5.0%	0.0%	15.0%			

問 3　あなたは、自身が今の要介護（要支援）状態が続いた場合、暮らしの場所はどこが良いですか。（いくつでも）

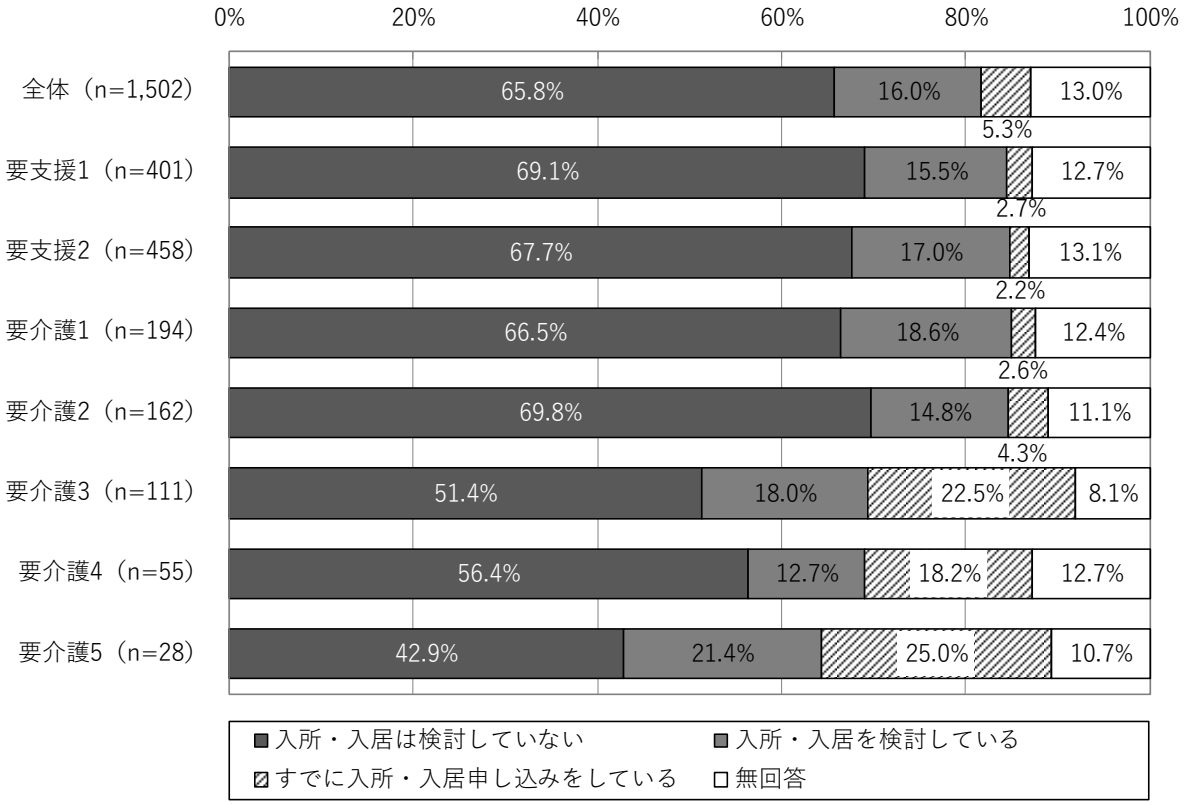
自身が今の要介護（要支援）状態が続いた場合、暮らしの場所では、「自宅」が 71.4%と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム（※要介護 3 以上の方が入所対象）」が 18.5%、「サービス付き高齢者向け住宅」が 11.3%となっています。



	自宅	家族や親族などの家	特別養護老人ホーム(※要介護3以上の方が入所対象)	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答	回答者数
全体	1,072	96	278	150	170	51	85	1,502
要支援1	287	22	57	53	64	10	16	401
要支援2	342	25	76	47	57	21	19	458
要介護1	137	13	33	22	25	4	13	194
要介護2	128	10	29	12	13	8	8	162
要介護3	64	9	42	8	5	3	6	111
要介護4	35	4	22	1	1	0	6	55
要介護5	20	4	5	1	1	2	2	28
全体(n=1,502)	71.4%	6.4%	18.5%	10.0%	11.3%	3.4%	5.7%	
要支援1(n=401)	71.6%	5.5%	14.2%	13.2%	16.0%	2.5%	4.0%	
要支援2(n=458)	74.7%	5.5%	16.6%	10.3%	12.4%	4.6%	4.1%	
要介護1(n=194)	70.6%	6.7%	17.0%	11.3%	12.9%	2.1%	6.7%	
要介護2(n=162)	79.0%	6.2%	17.9%	7.4%	8.0%	4.9%	4.9%	
要介護3(n=111)	57.7%	8.1%	37.8%	7.2%	4.5%	2.7%	5.4%	
要介護4(n=55)	63.6%	7.3%	40.0%	1.8%	1.8%	0.0%	10.9%	
要介護5(n=28)	71.4%	14.3%	17.9%	3.6%	3.6%	7.1%	7.1%	

問４　現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

現時点での施設等への入所・入居の検討状況では、「入所・入居は検討していない」が 65.8%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 16.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.3%となっています。

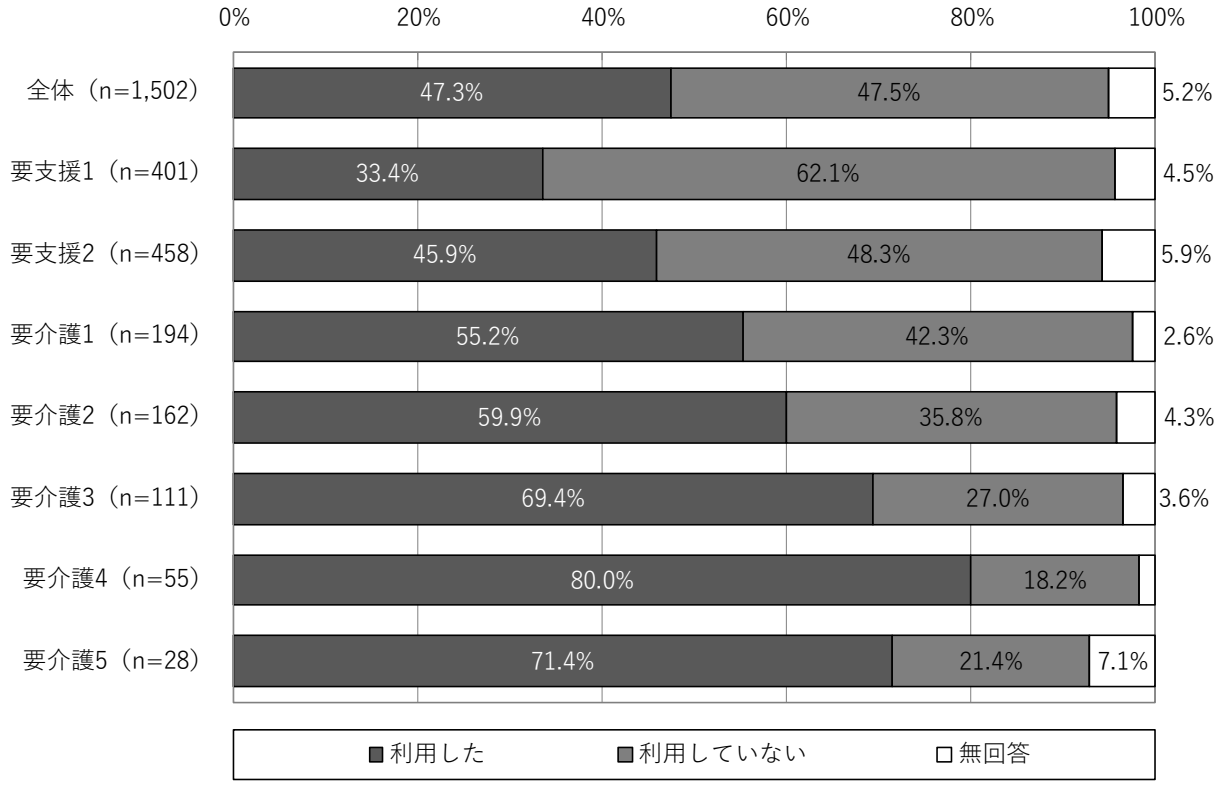


	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答	合計
全体	988	240	79	195	1,502
要支援1	277	62	11	51	401
要支援2	310	78	10	60	458
要介護1	129	36	5	24	194
要介護2	113	24	7	18	162
要介護3	57	20	25	9	111
要介護4	31	7	10	7	55
要介護5	12	6	7	3	28
全体(n=1,502)	65.8%	16.0%	5.3%	13.0%	100.0%
要支援1(n=401)	69.1%	15.5%	2.7%	12.7%	100.0%
要支援2(n=458)	67.7%	17.0%	2.2%	13.1%	100.0%
要介護1(n=194)	66.5%	18.6%	2.6%	12.4%	100.0%
要介護2(n=162)	69.8%	14.8%	4.3%	11.1%	100.0%
要介護3(n=111)	51.4%	18.0%	22.5%	8.1%	100.0%
要介護4(n=55)	56.4%	12.7%	18.2%	12.7%	100.0%
要介護5(n=28)	42.9%	21.4%	25.0%	10.7%	100.0%

（10）介護保険サービスの利用について

問 1　令和元年 11 月の 1 か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。

令和元年 11 月の 1 か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用したかでは、「利用した」が 47.3%「利用していない」が 47.5%となっています。



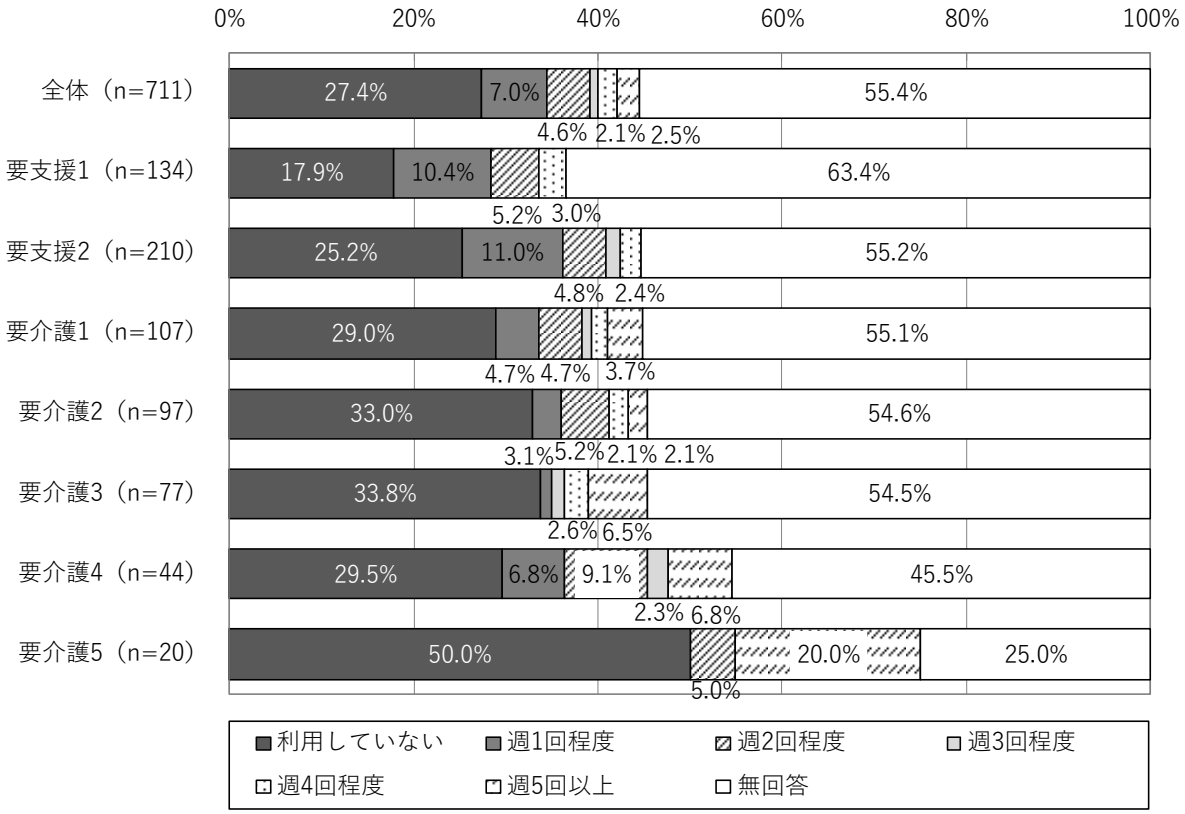
	利用した	利用していない	無回答	合計
全体	711	713	78	1,502
要支援1	134	249	18	401
要支援2	210	221	27	458
要介護1	107	82	5	194
要介護2	97	58	7	162
要介護3	77	30	4	111
要介護4	44	10	1	55
要介護5	20	6	2	28
全体（n=1,502）	47.3%	47.5%	5.2%	100.0%
要支援1（n=401）	33.4%	62.1%	4.5%	100.0%
要支援2（n=458）	45.9%	48.3%	5.9%	100.0%
要介護1（n=194）	55.2%	42.3%	2.6%	100.0%
要介護2（n=162）	59.9%	35.8%	4.3%	100.0%
要介護3（n=111）	69.4%	27.0%	3.6%	100.0%
要介護4（n=55）	80.0%	18.2%	1.8%	100.0%
要介護5（n=28）	71.4%	21.4%	7.1%	100.0%

【問１で「利用した」の方のみ】

問 1-1　以下の介護保険サービスについて、令和元年 11 月の１か月間の利用状況を御回答ください。（それぞれ１つに○）

【Ａ.訪問介護(ホームヘルプサービス)】

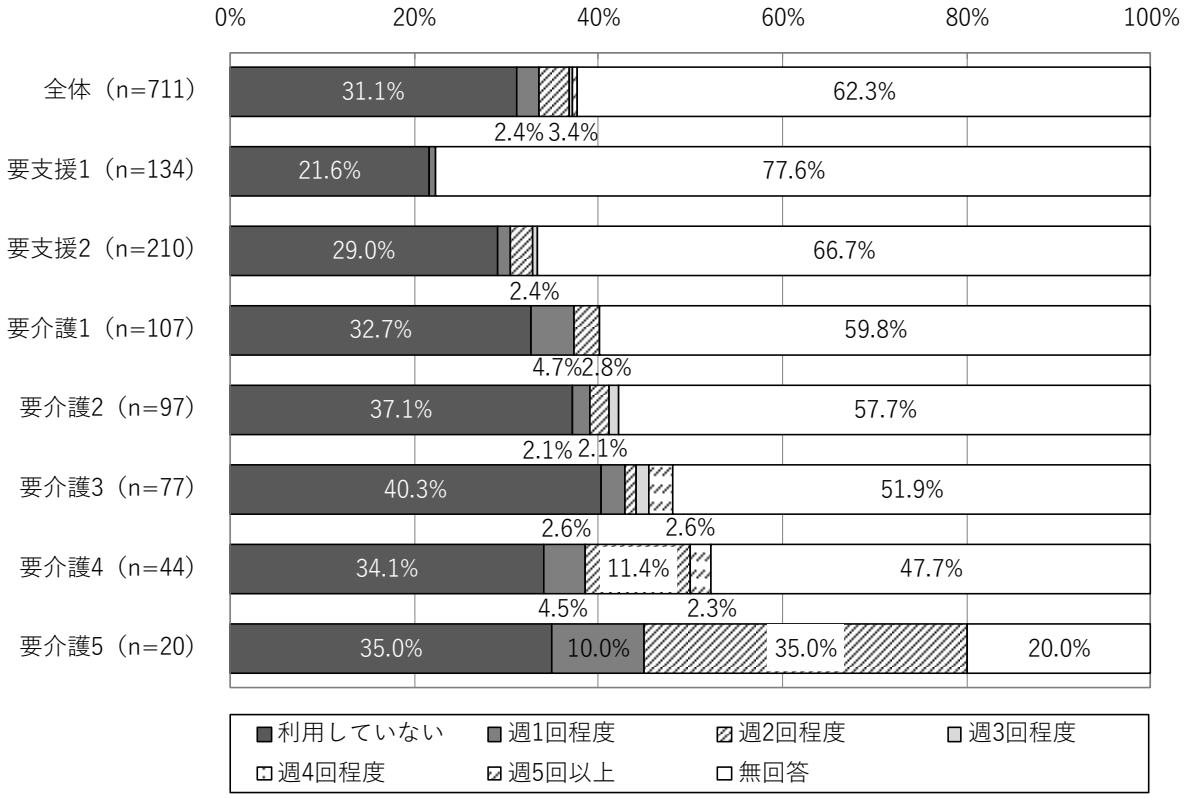
訪問介護(ホームヘルプサービス)では、「週１回程度」が 7.0%と多く、次いで「週２回程度」が 4.6%となっています。また、「利用していない」が 27.4%となっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	195	50	33	6	15	18	394	711	791	1,502
要支援1	24	14	7	0	4	0	85	134	267	401
要支援2	53	23	10	3	5	0	116	210	248	458
要介護1	31	5	5	1	2	4	59	107	87	194
要介護2	32	3	5	0	2	2	53	97	65	162
要介護3	26	1	0	1	2	5	42	77	34	111
要介護4	13	3	4	1	0	3	20	44	11	55
要介護5	10	0	1	0	0	4	5	20	8	28
全体(n=711)	27.4%	7.0%	4.6%	0.8%	2.1%	2.5%	55.4%	100.0%		
要支援1(n=134)	17.9%	10.4%	5.2%	0.0%	3.0%	0.0%	63.4%	100.0%		
要支援2(n=210)	25.2%	11.0%	4.8%	1.4%	2.4%	0.0%	55.2%	100.0%		
要介護1(n=107)	29.0%	4.7%	4.7%	0.9%	1.9%	3.7%	55.1%	100.0%		
要介護2(n=97)	33.0%	3.1%	5.2%	0.0%	2.1%	2.1%	54.6%	100.0%		
要介護3(n=77)	33.8%	1.3%	0.0%	1.3%	2.6%	6.5%	54.5%	100.0%		
要介護4(n=44)	29.5%	6.8%	9.1%	2.3%	0.0%	6.8%	45.5%	100.0%		
要介護5(n=20)	50.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	20.0%	25.0%	100.0%		

【B.訪問入浴介護】

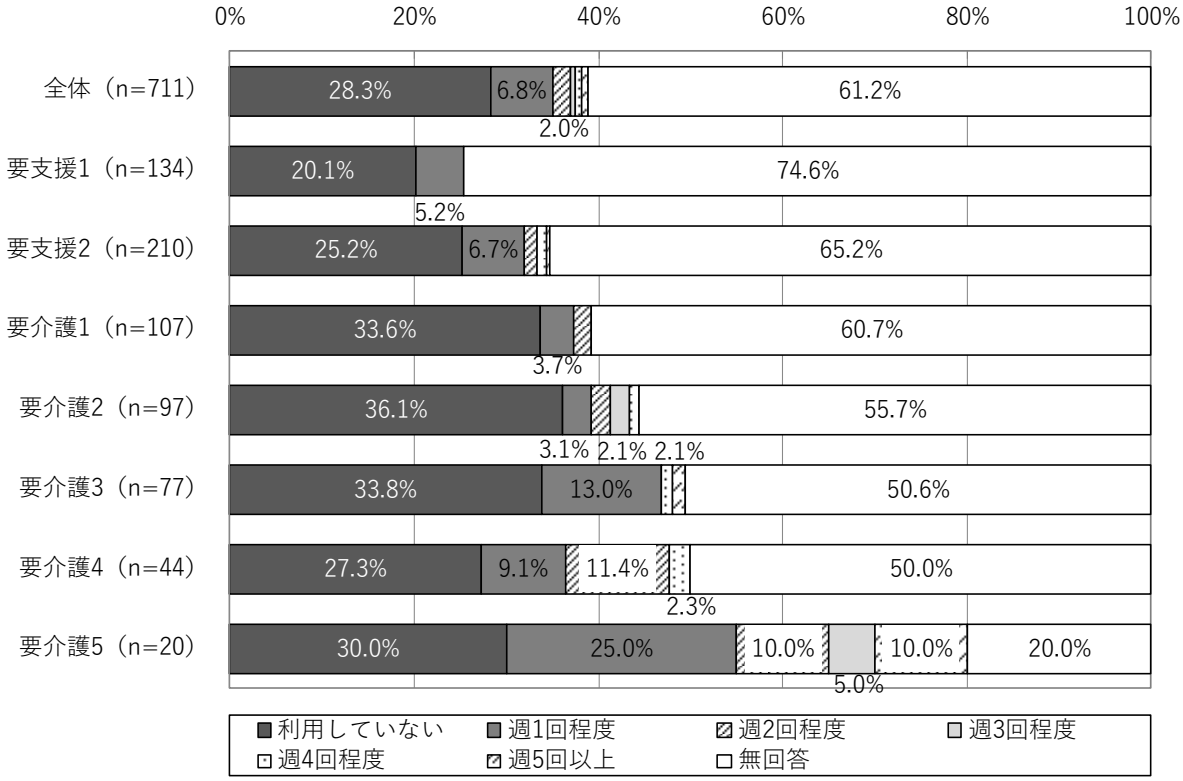
訪問入浴介護では、「週２回程度」が 3.4%と多く、次いで「週１回程度」が 2.4%となっています。また、「利用していない」が 31.1%となっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	221	17	24	3	0	3	443	711	791	1,502
要支援1	29	1	0	0	0	0	104	134	267	401
要支援2	61	3	5	1	0	0	140	210	248	458
要介護1	35	5	3	0	0	0	64	107	87	194
要介護2	36	2	2	1	0	0	56	97	65	162
要介護3	31	2	1	1	0	2	40	77	34	111
要介護4	15	2	5	0	0	1	21	44	11	55
要介護5	7	2	7	0	0	0	4	20	8	28
全体（n=711）	31.1%	2.4%	3.4%	0.4%	0.0%	0.4%	62.3%	100.0%		
要支援1（n=134）	21.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.6%	100.0%		
要支援2（n=210）	29.0%	1.4%	2.4%	0.5%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%		
要介護1（n=107）	32.7%	4.7%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	59.8%	100.0%		
要介護2（n=97）	37.1%	2.1%	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%	57.7%	100.0%		
要介護3（n=77）	40.3%	2.6%	1.3%	1.3%	0.0%	2.6%	51.9%	100.0%		
要介護4（n=44）	34.1%	4.5%	11.4%	0.0%	0.0%	2.3%	47.7%	100.0%		
要介護5（n=20）	35.0%	10.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%		

【C.訪問看護】

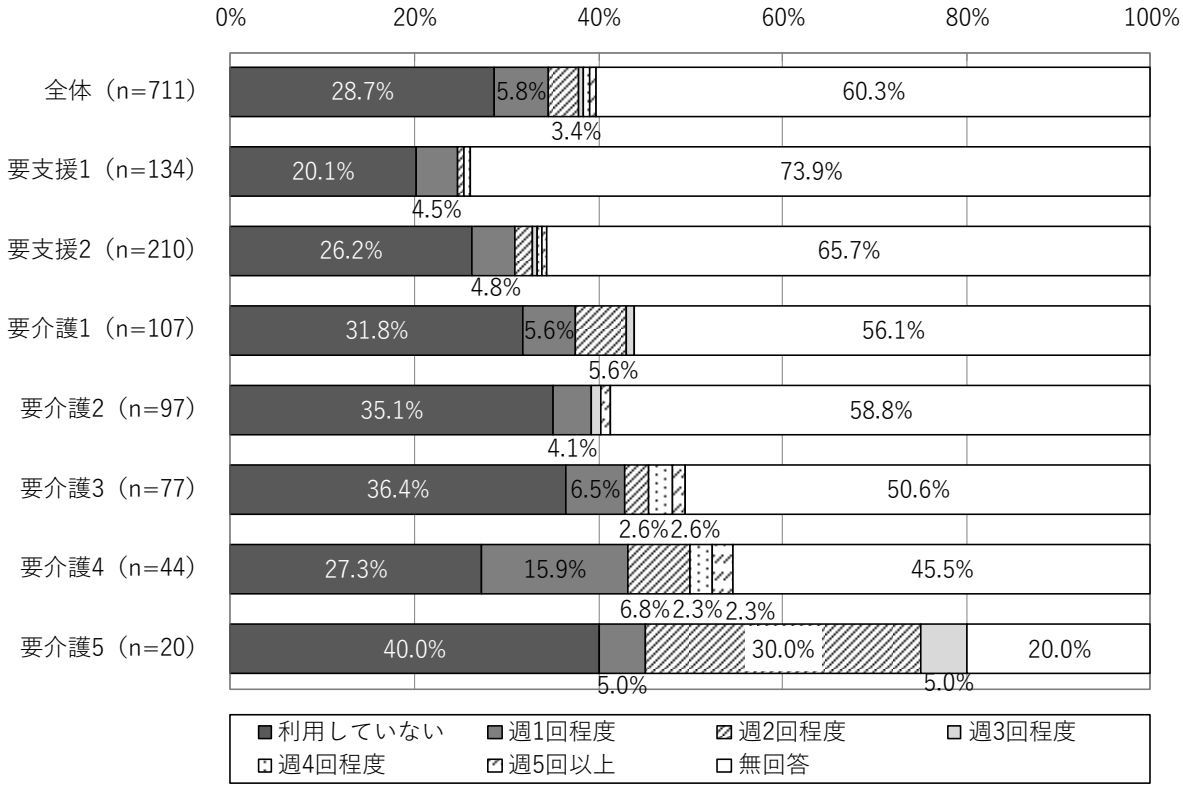
訪問看護では、「週１回程度」が 6.8%と多く、次いで「週２回程度」が 2.0%となっています。また、「利用していない」が 28.3%となっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	201	48	14	4	5	4	435	711	791	1,502
要支援1	27	7	0	0	0	0	100	134	267	401
要支援2	53	14	3	0	2	1	137	210	248	458
要介護1	36	4	2	0	0	0	65	107	87	194
要介護2	35	3	2	2	1	0	54	97	65	162
要介護3	26	10	0	0	1	1	39	77	34	111
要介護4	12	4	5	0	1	0	22	44	11	55
要介護5	6	5	2	1	0	2	4	20	8	28
全体(n=711)	28.3%	6.8%	2.0%	0.6%	0.7%	0.6%	61.2%	100.0%		
要支援1(n=134)	20.1%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.6%	100.0%		
要支援2(n=210)	25.2%	6.7%	1.4%	0.0%	1.0%	0.5%	65.2%	100.0%		
要介護1(n=107)	33.6%	3.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	60.7%	100.0%		
要介護2(n=97)	36.1%	3.1%	2.1%	2.1%	1.0%	0.0%	55.7%	100.0%		
要介護3(n=77)	33.8%	13.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	50.6%	100.0%		
要介護4(n=44)	27.3%	9.1%	11.4%	0.0%	2.3%	0.0%	50.0%	100.0%		
要介護5(n=20)	30.0%	25.0%	10.0%	5.0%	0.0%	10.0%	20.0%	100.0%		

【D.訪問リハビリテーション】

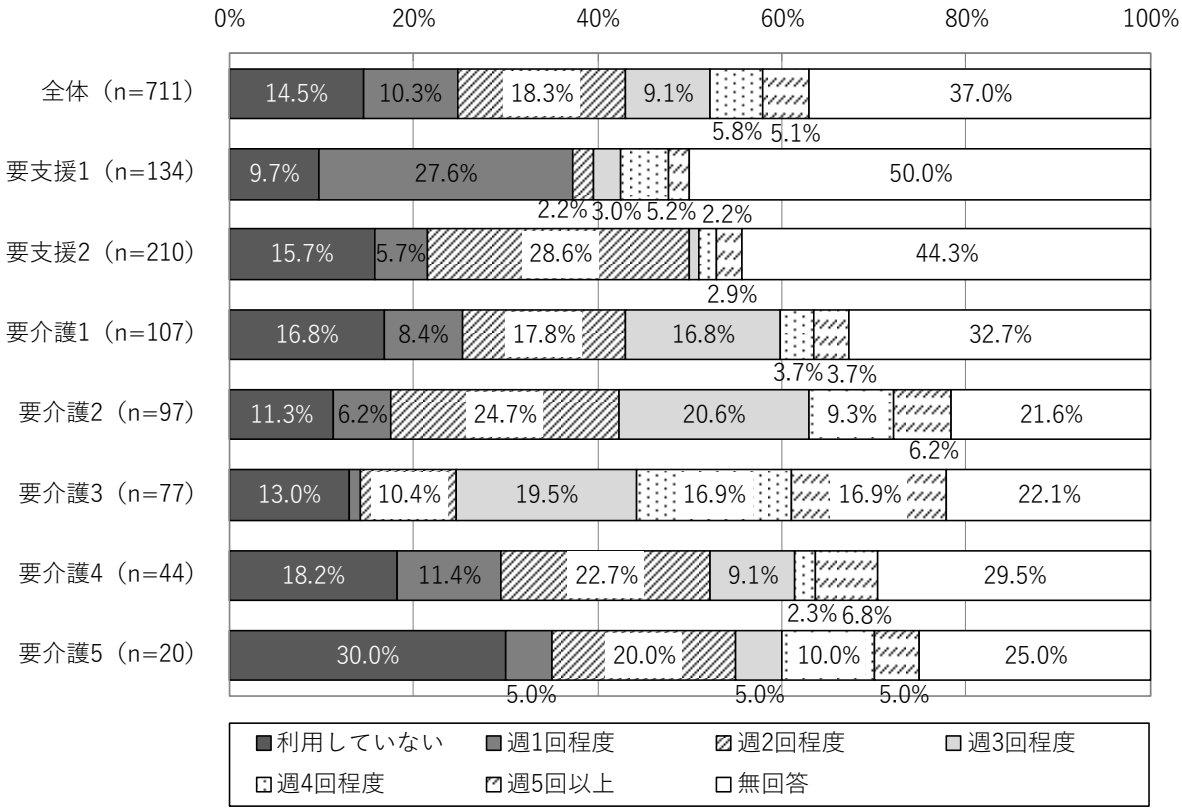
訪問リハビリテーションでは、「週１回程度」が 5.8%と多く、次いで「週２回程度」が 3.4%となっています。また、「利用していない」が 28.7%となっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	204	41	24	4	5	4	429	711	791	1,502
要支援1	27	6	1	0	1	0	99	134	267	401
要支援2	55	10	4	1	1	1	138	210	248	458
要介護1	34	6	6	1	0	0	60	107	87	194
要介護2	34	4	0	1	0	1	57	97	65	162
要介護3	28	5	2	0	2	1	39	77	34	111
要介護4	12	7	3	0	1	1	20	44	11	55
要介護5	8	1	6	1	0	0	4	20	8	28
全体(n=711)	28.7%	5.8%	3.4%	0.6%	0.7%	0.6%	60.3%	100.0%		
要支援1(n=134)	20.1%	4.5%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	73.9%	100.0%		
要支援2(n=210)	26.2%	4.8%	1.9%	0.5%	0.5%	0.5%	65.7%	100.0%		
要介護1(n=107)	31.8%	5.6%	5.6%	0.9%	0.0%	0.0%	56.1%	100.0%		
要介護2(n=97)	35.1%	4.1%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	58.8%	100.0%		
要介護3(n=77)	36.4%	6.5%	2.6%	0.0%	2.6%	1.3%	50.6%	100.0%		
要介護4(n=44)	27.3%	15.9%	6.8%	0.0%	2.3%	2.3%	45.5%	100.0%		
要介護5(n=20)	40.0%	5.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%		

【E.通所介護(デイサービス)】

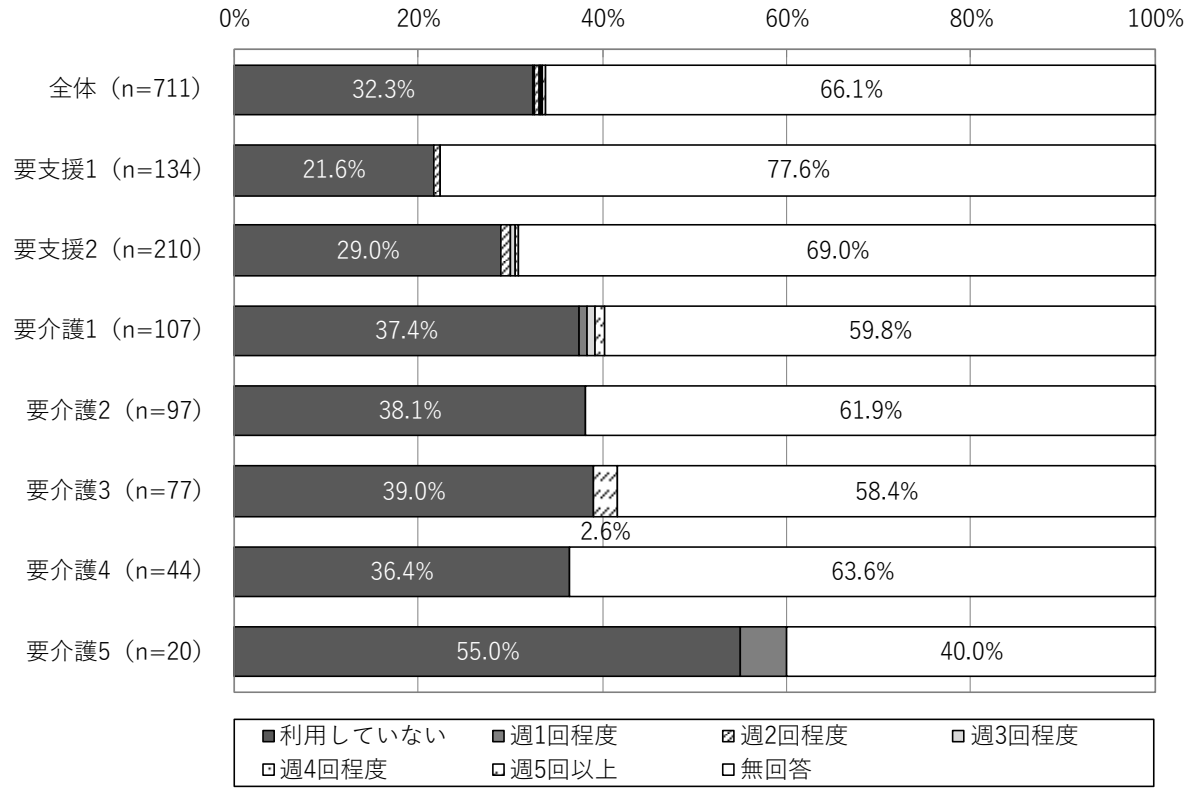
通所介護(デイサービス)では、「週２回程度」が 18.3%と最も多く、次いで「週１回程度」が 10.3%となっています。また、「利用していない」が 14.5%となっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	103	73	130	65	41	36	263	711	791	1,502
要支援1	13	37	3	4	7	3	67	134	267	401
要支援2	33	12	60	2	4	6	93	210	248	458
要介護1	18	9	19	18	4	4	35	107	87	194
要介護2	11	6	24	20	9	6	21	97	65	162
要介護3	10	1	8	15	13	13	17	77	34	111
要介護4	8	5	10	4	1	3	13	44	11	55
要介護5	6	1	4	1	2	1	5	20	8	28
全体(n=711)	14.5%	10.3%	18.3%	9.1%	5.8%	5.1%	37.0%	100.0%		
要支援1(n=134)	9.7%	27.6%	2.2%	3.0%	5.2%	2.2%	50.0%	100.0%		
要支援2(n=210)	15.7%	5.7%	28.6%	1.0%	1.9%	2.9%	44.3%	100.0%		
要介護1(n=107)	16.8%	8.4%	17.8%	16.8%	3.7%	3.7%	32.7%	100.0%		
要介護2(n=97)	11.3%	6.2%	24.7%	20.6%	9.3%	6.2%	21.6%	100.0%		
要介護3(n=77)	13.0%	1.3%	10.4%	19.5%	16.9%	16.9%	22.1%	100.0%		
要介護4(n=44)	18.2%	11.4%	22.7%	9.1%	2.3%	6.8%	29.5%	100.0%		
要介護5(n=20)	30.0%	5.0%	20.0%	5.0%	10.0%	5.0%	25.0%	100.0%		

【Ｆ.認知症対応型通所介護】

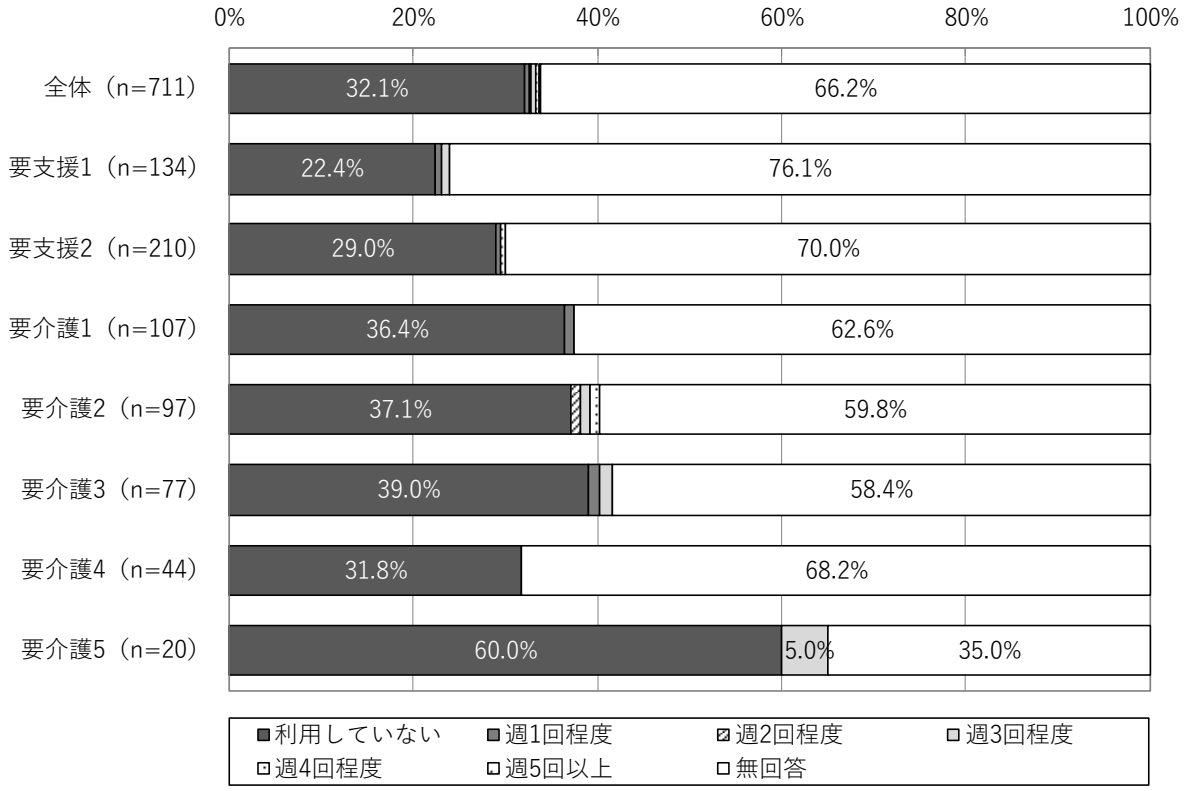
認知症対応型通所介護では、「利用していない」が 32.3%と最も多くなっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	230	2	3	2	1	3	470	711	791	1,502
要支援1	29	0	1	0	0	0	104	134	267	401
要支援2	61	0	2	1	1	0	145	210	248	458
要介護1	40	1	0	1	0	1	64	107	87	194
要介護2	37	0	0	0	0	0	60	97	65	162
要介護3	30	0	0	0	0	2	45	77	34	111
要介護4	16	0	0	0	0	0	28	44	11	55
要介護5	11	1	0	0	0	0	8	20	8	28
全体(n=711)	32.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.1%	0.4%	66.1%	100.0%		
要支援1(n=134)	21.6%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	77.6%	100.0%		
要支援2(n=210)	29.0%	0.0%	1.0%	0.5%	0.5%	0.0%	69.0%	100.0%		
要介護1(n=107)	37.4%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	59.8%	100.0%		
要介護2(n=97)	38.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.9%	100.0%		
要介護3(n=77)	39.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	58.4%	100.0%		
要介護4(n=44)	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	100.0%		
要介護5(n=20)	55.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%		

【G.地域密着型通所介護】

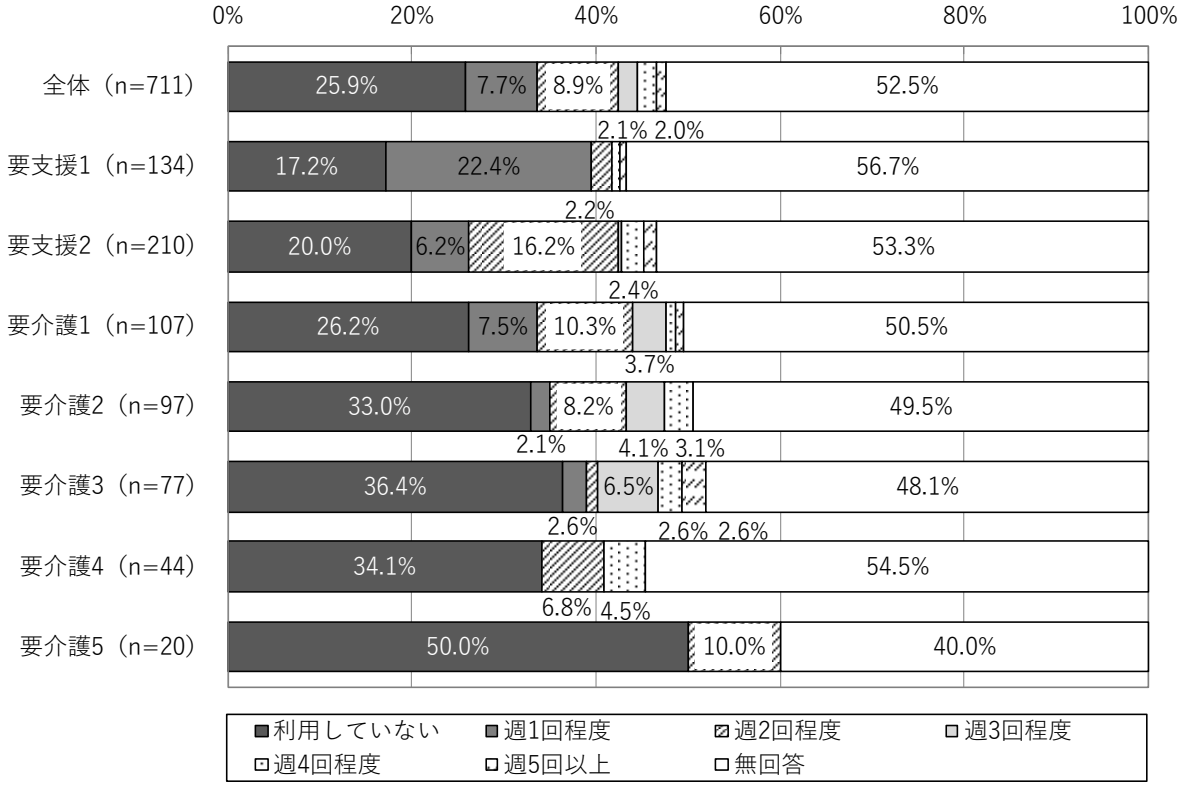
地域密着型通所介護では、「利用していない」が 32.1％と最も多くなっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	228	4	1	4	2	1	471	711	791	1,502
要支援1	30	1	0	1	0	0	102	134	267	401
要支援2	61	1	0	0	1	0	147	210	248	458
要介護1	39	1	0	0	0	0	67	107	87	194
要介護2	36	0	1	1	1	0	58	97	65	162
要介護3	30	1	0	1	0	0	45	77	34	111
要介護4	14	0	0	0	0	0	30	44	11	55
要介護5	12	0	0	1	0	0	7	20	8	28
全体（n=711）	32.1%	0.6%	0.1%	0.6%	0.3%	0.1%	66.2%	100.0%		
要支援1（n=134）	22.4%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	76.1%	100.0%		
要支援2（n=210）	29.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	70.0%	100.0%		
要介護1（n=107）	36.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.6%	100.0%		
要介護2（n=97）	37.1%	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	59.8%	100.0%		
要介護3（n=77）	39.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	58.4%	100.0%		
要介護4（n=44）	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	68.2%	100.0%		
要介護5（n=20）	60.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	35.0%	100.0%		

【H.通所リハビリテーション(デイケア)】

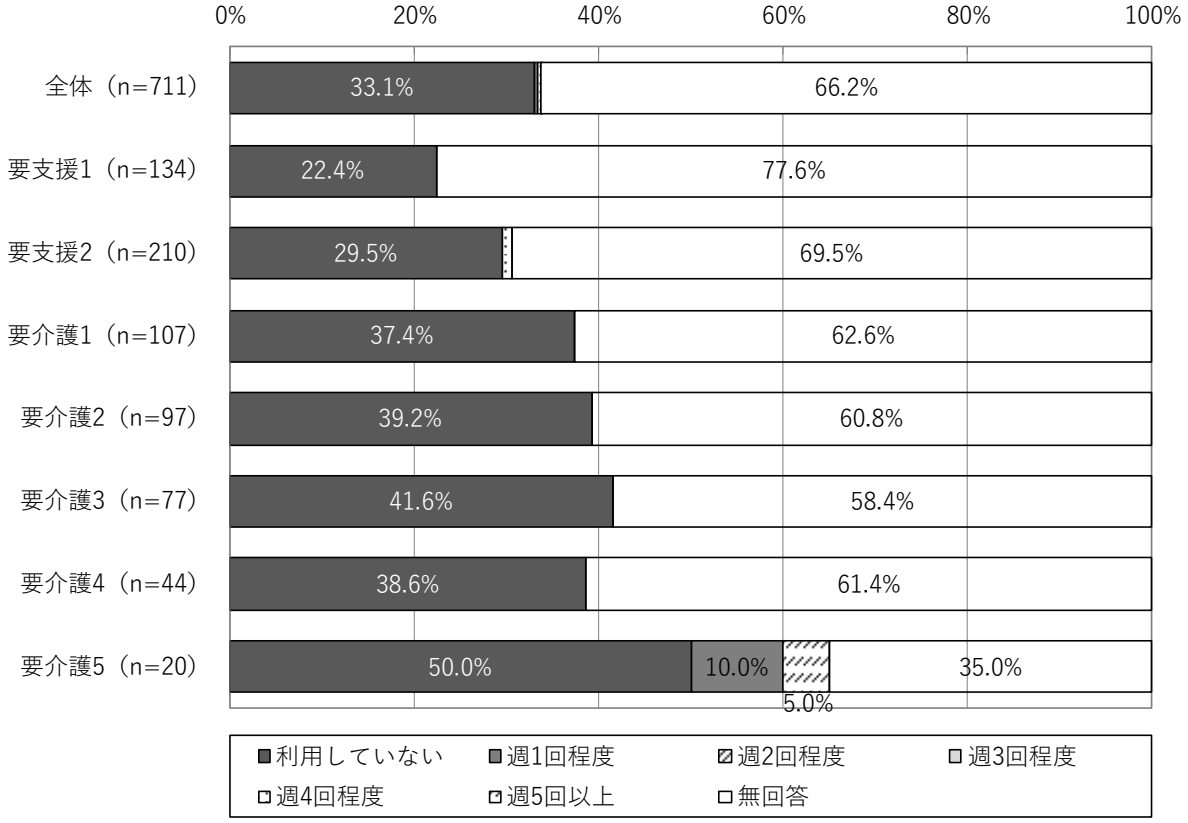
通所リハビリテーション(デイケア)では、「週 2 回程度」が 8.9%と多く、次いで「週 1 回程度」が 7.7%となっています。また、「利用していない」が 25.9%となっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	184	55	63	15	14	7	373	711	791	1,502
要支援1	23	30	3	0	1	1	76	134	267	401
要支援2	42	13	34	1	5	3	112	210	248	458
要介護1	28	8	11	4	1	1	54	107	87	194
要介護2	32	2	8	4	3	0	48	97	65	162
要介護3	28	2	1	5	2	2	37	77	34	111
要介護4	15	0	3	0	2	0	24	44	11	55
要介護5	10	0	2	0	0	0	8	20	8	28
全体(n=711)	25.9%	7.7%	8.9%	2.1%	2.0%	1.0%	52.5%	100.0%		
要支援1(n=134)	17.2%	22.4%	2.2%	0.0%	0.7%	0.7%	56.7%	100.0%		
要支援2(n=210)	20.0%	6.2%	16.2%	0.5%	2.4%	1.4%	53.3%	100.0%		
要介護1(n=107)	26.2%	7.5%	10.3%	3.7%	0.9%	0.9%	50.5%	100.0%		
要介護2(n=97)	33.0%	2.1%	8.2%	4.1%	3.1%	0.0%	49.5%	100.0%		
要介護3(n=77)	36.4%	2.6%	1.3%	6.5%	2.6%	2.6%	48.1%	100.0%		
要介護4(n=44)	34.1%	0.0%	6.8%	0.0%	4.5%	0.0%	54.5%	100.0%		
要介護5(n=20)	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%		

【Ⅰ.夜間対応型訪問介護(※訪問のあった回数を回答)】

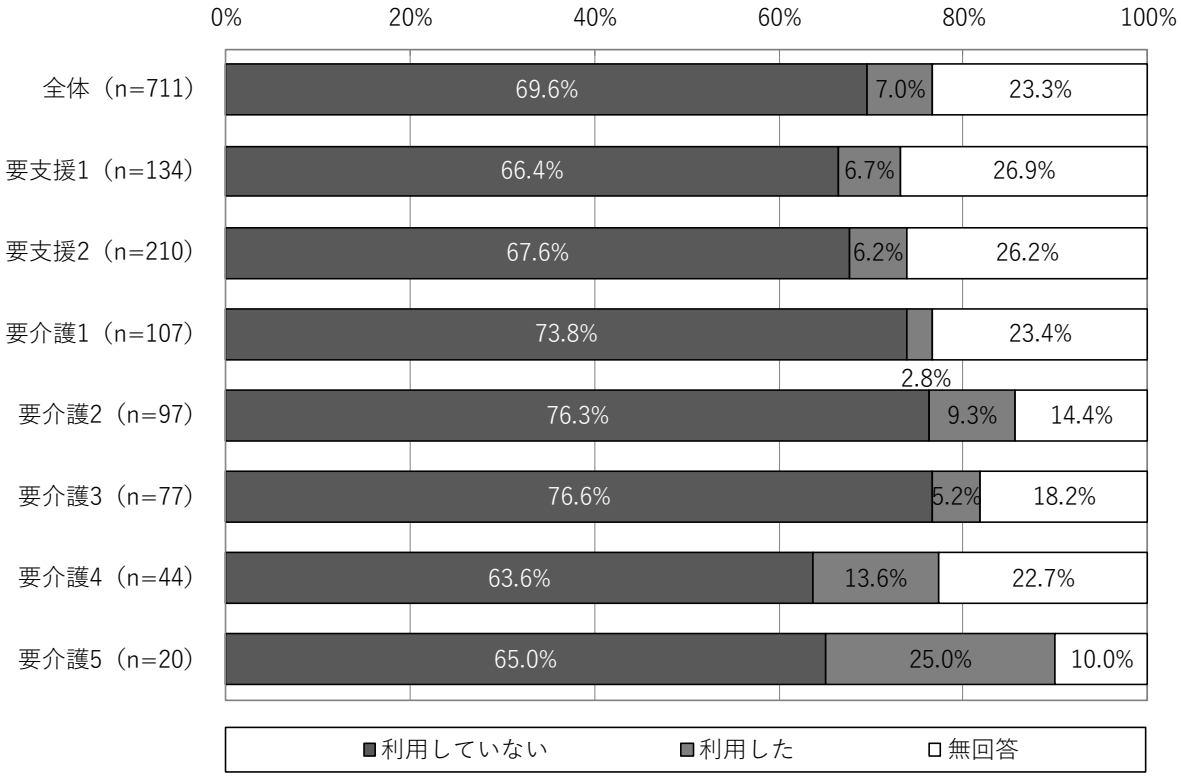
夜間対応型訪問介護では、「利用していない」が 33.1％と最も多くなっています。



	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	235	2	0	0	2	1	471	711	791	1,502
要支援1	30	0	0	0	0	0	104	134	267	401
要支援2	62	0	0	0	2	0	146	210	248	458
要介護1	40	0	0	0	0	0	67	107	87	194
要介護2	38	0	0	0	0	0	59	97	65	162
要介護3	32	0	0	0	0	0	45	77	34	111
要介護4	17	0	0	0	0	0	27	44	11	55
要介護5	10	2	0	0	0	1	7	20	8	28
全体(n=711)	33.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	66.2%	100.0%		
要支援1(n=134)	22.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.6%	100.0%		
要支援2(n=210)	29.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	69.5%	100.0%		
要介護1(n=107)	37.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.6%	100.0%		
要介護2(n=97)	39.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.8%	100.0%		
要介護3(n=77)	41.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	58.4%	100.0%		
要介護4(n=44)	38.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.4%	100.0%		
要介護5(n=20)	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	35.0%	100.0%		

【Ｊ.定期巡回・随時対応型・訪問介護看護】

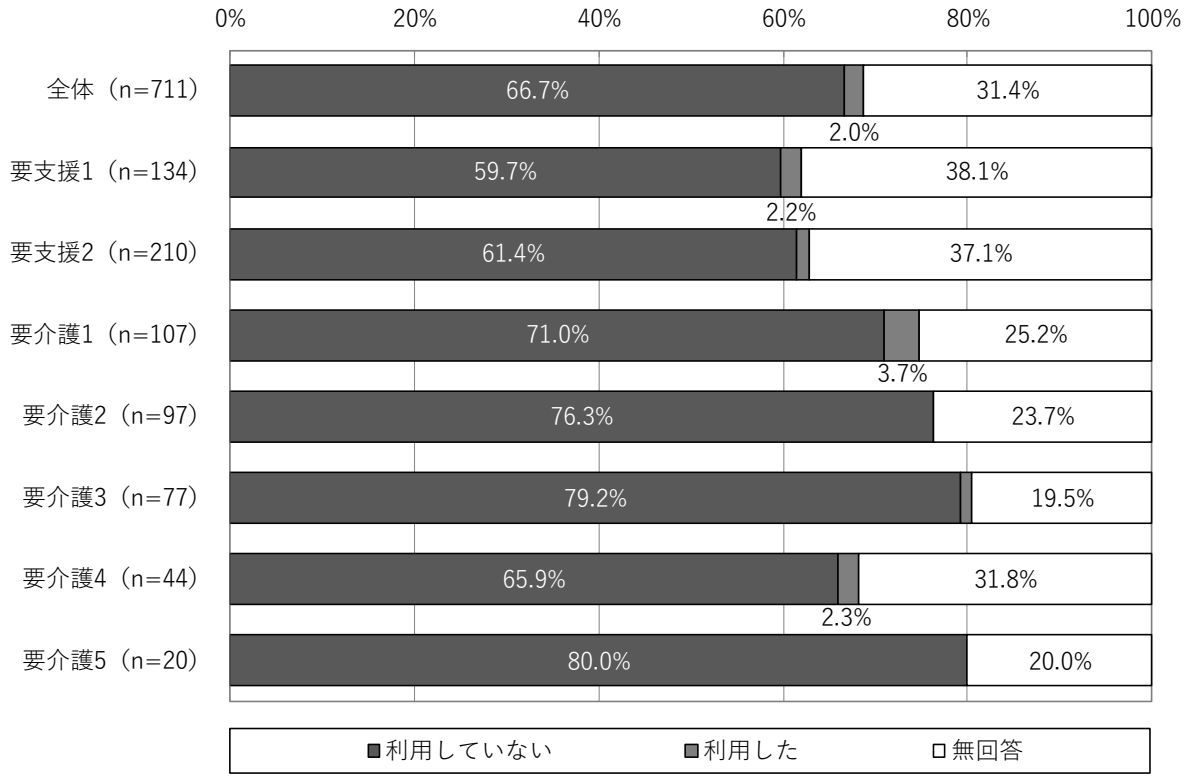
定期巡回・随時対応型・訪問介護看護では、「利用していない」が 69.6%、「利用した」が 7.0%となっています。



	利用していない	利用した	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	495	50	166	711	791	1,502
要支援1	89	9	36	134	267	401
要支援2	142	13	55	210	248	458
要介護1	79	3	25	107	87	194
要介護2	74	9	14	97	65	162
要介護3	59	4	14	77	34	111
要介護4	28	6	10	44	11	55
要介護5	13	5	2	20	8	28
全体(n=711)	69.6%	7.0%	23.3%	100.0%		
要支援1(n=134)	66.4%	6.7%	26.9%	100.0%		
要支援2(n=210)	67.6%	6.2%	26.2%	100.0%		
要介護1(n=107)	73.8%	2.8%	23.4%	100.0%		
要介護2(n=97)	76.3%	9.3%	14.4%	100.0%		
要介護3(n=77)	76.6%	5.2%	18.2%	100.0%		
要介護4(n=44)	63.6%	13.6%	22.7%	100.0%		
要介護5(n=20)	65.0%	25.0%	10.0%	100.0%		

【K.小規模多機能型居宅介護】

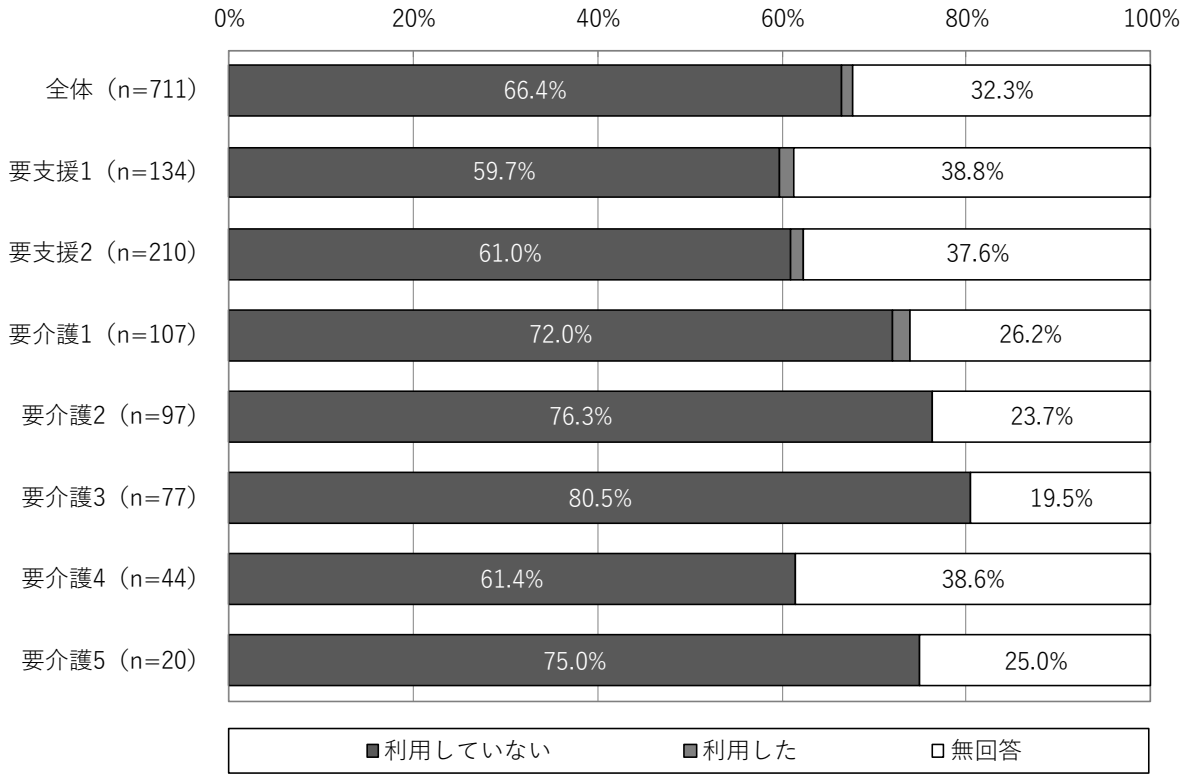
小規模多機能型居宅介護では、「利用していない」が 66.7%、「利用した」が 2.0%となっています。



	利用していない	利用した	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	474	14	223	711	791	1,502
要支援1	80	3	51	134	267	401
要支援2	129	3	78	210	248	458
要介護1	76	4	27	107	87	194
要介護2	74	0	23	97	65	162
要介護3	61	1	15	77	34	111
要介護4	29	1	14	44	11	55
要介護5	16	0	4	20	8	28
全体(n=711)	66.7%	2.0%	31.4%	100.0%		
要支援1(n=134)	59.7%	2.2%	38.1%	100.0%		
要支援2(n=210)	61.4%	1.4%	37.1%	100.0%		
要介護1(n=107)	71.0%	3.7%	25.2%	100.0%		
要介護2(n=97)	76.3%	0.0%	23.7%	100.0%		
要介護3(n=77)	79.2%	1.3%	19.5%	100.0%		
要介護4(n=44)	65.9%	2.3%	31.8%	100.0%		
要介護5(n=20)	80.0%	0.0%	20.0%	100.0%		

【L.看護小規模多機能型居宅介護】

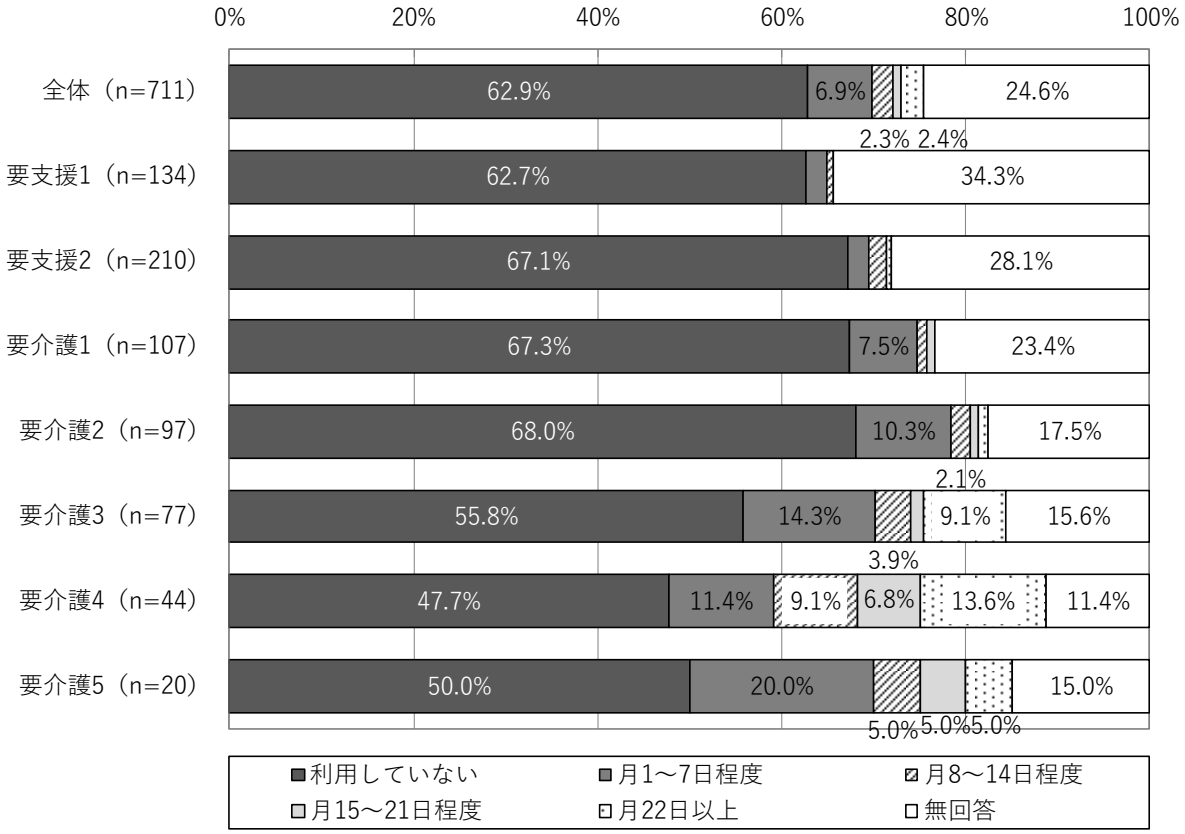
看護小規模多機能型居宅介護では、「利用していない」が 66.4%、「利用した」が 1.3%となっています。



	利用していない	利用した	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	472	9	230	711	791	1,502
要支援1	80	2	52	134	267	401
要支援2	128	3	79	210	248	458
要介護1	77	2	28	107	87	194
要介護2	74	0	23	97	65	162
要介護3	62	0	15	77	34	111
要介護4	27	0	17	44	11	55
要介護5	15	0	5	20	8	28
全体（n=711）	66.4%	1.3%	32.3%	100.0%		
要支援1（n=134）	59.7%	1.5%	38.8%	100.0%		
要支援2（n=210）	61.0%	1.4%	37.6%	100.0%		
要介護1（n=107）	72.0%	1.9%	26.2%	100.0%		
要介護2（n=97）	76.3%	0.0%	23.7%	100.0%		
要介護3（n=77）	80.5%	0.0%	19.5%	100.0%		
要介護4（n=44）	61.4%	0.0%	38.6%	100.0%		
要介護5（n=20）	75.0%	0.0%	25.0%	100.0%		

【M.短期入所生活介護(ショートステイ)】

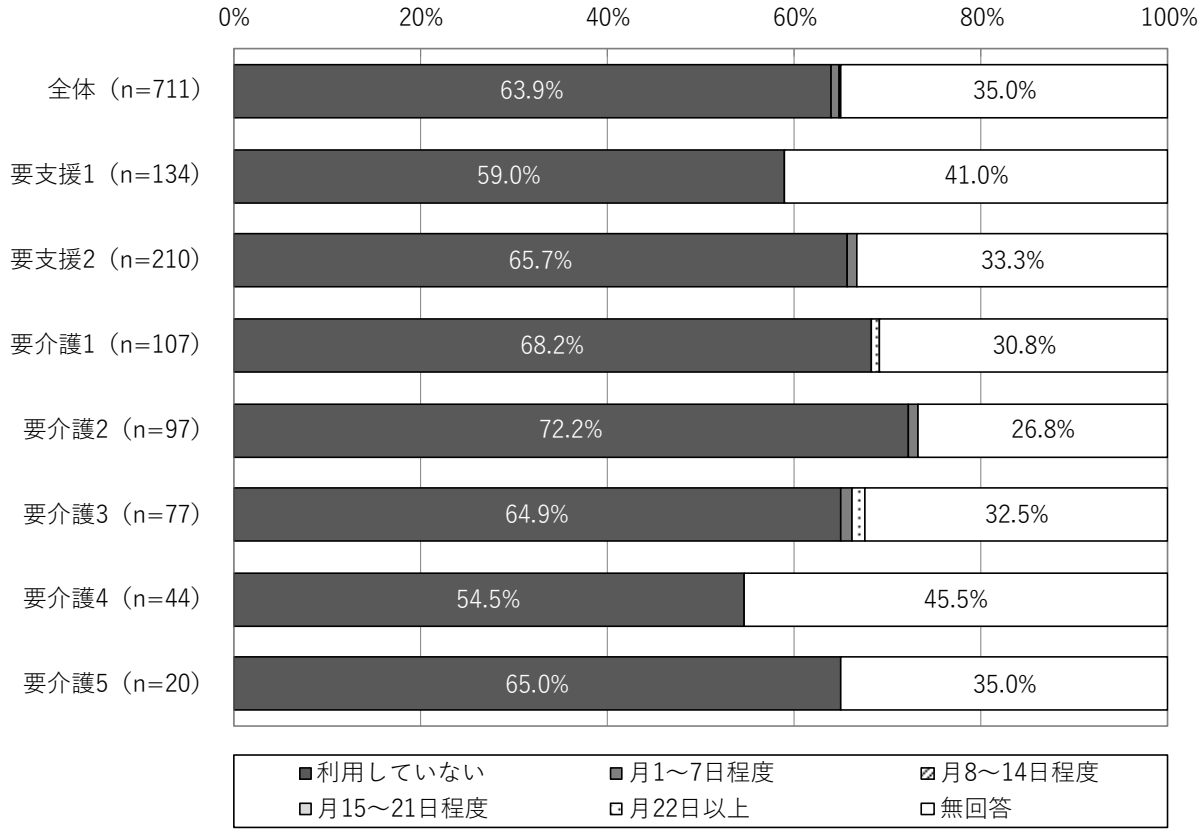
短期入所生活介護(ショートステイ)では、「月 1～7 日程度」が 6.9%と多く、次いで「月 22 日以上」が 2.4%、「月 8～14 日程度」が 2.3%となっています。また、「利用していない」が 62.9%となっています。



	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	447	49	16	7	17	175	711	791	1,502
要支援1	84	3	1	0	0	46	134	267	401
要支援2	141	5	4	0	1	59	210	248	458
要介護1	72	8	1	1	0	25	107	87	194
要介護2	66	10	2	1	1	17	97	65	162
要介護3	43	11	3	1	7	12	77	34	111
要介護4	21	5	4	3	6	5	44	11	55
要介護5	10	4	1	1	1	3	20	8	28
全体(n=711)	62.9%	6.9%	2.3%	1.0%	2.4%	24.6%	100.0%		
要支援1(n=134)	62.7%	2.2%	0.7%	0.0%	0.0%	34.3%	100.0%		
要支援2(n=210)	67.1%	2.4%	1.9%	0.0%	0.5%	28.1%	100.0%		
要介護1(n=107)	67.3%	7.5%	0.9%	0.9%	0.0%	23.4%	100.0%		
要介護2(n=97)	68.0%	10.3%	2.1%	1.0%	1.0%	17.5%	100.0%		
要介護3(n=77)	55.8%	14.3%	3.9%	1.3%	9.1%	15.6%	100.0%		
要介護4(n=44)	47.7%	11.4%	9.1%	6.8%	13.6%	11.4%	100.0%		
要介護5(n=20)	50.0%	20.0%	5.0%	5.0%	5.0%	15.0%	100.0%		

【N.短期入所療養介護】

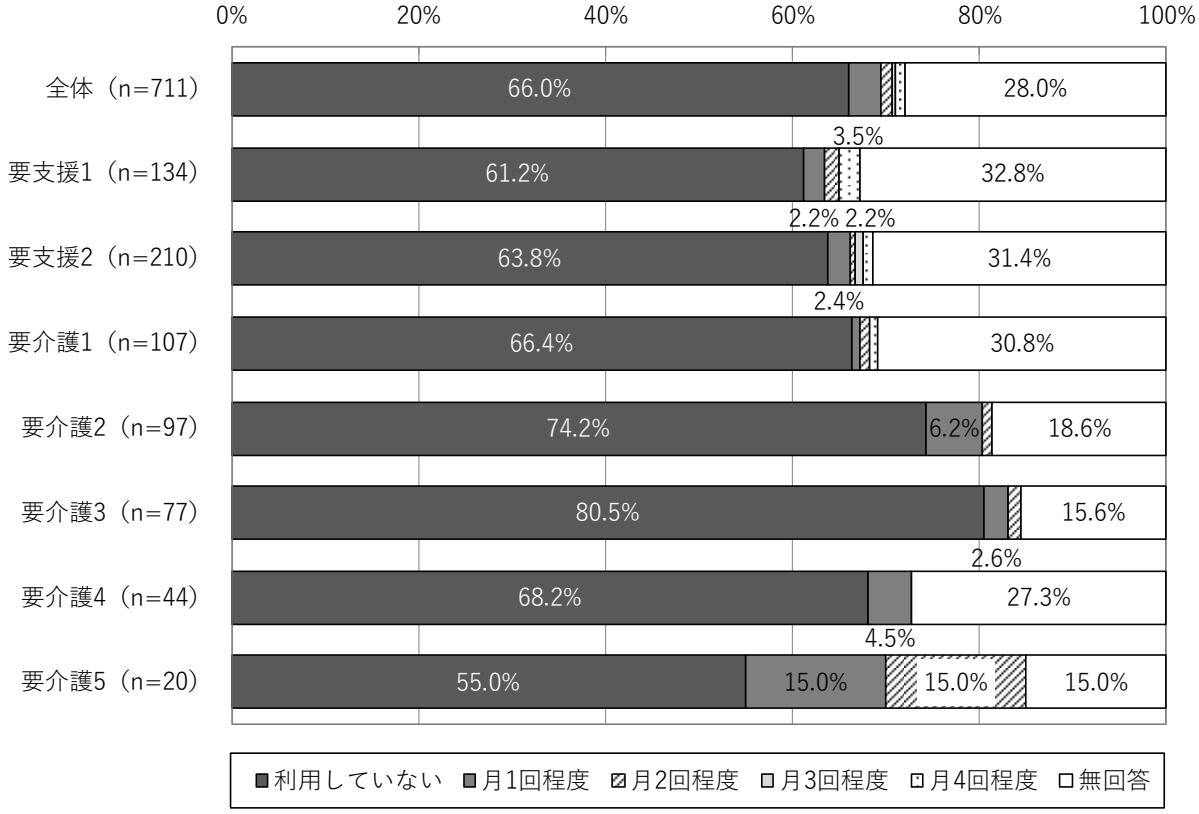
短期入所療養介護では、「利用していない」が 63.9%となっています。



	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	454	6	0	0	2	249	711	791	1,502
要支援1	79	0	0	0	0	55	134	267	401
要支援2	138	2	0	0	0	70	210	248	458
要介護1	73	0	0	0	1	33	107	87	194
要介護2	70	1	0	0	0	26	97	65	162
要介護3	50	1	0	0	1	25	77	34	111
要介護4	24	0	0	0	0	20	44	11	55
要介護5	13	0	0	0	0	7	20	8	28
全体(n=711)	63.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	35.0%	100.0%		
要支援1(n=134)	59.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.0%	100.0%		
要支援2(n=210)	65.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%		
要介護1(n=107)	68.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	30.8%	100.0%		
要介護2(n=97)	72.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.8%	100.0%		
要介護3(n=77)	64.9%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	32.5%	100.0%		
要介護4(n=44)	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%	100.0%		
要介護5(n=20)	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.0%	100.0%		

【O.居宅療養管理指導】

短期入所療養介護では、「月 1 回程度」が 3.5%となっています。また、「利用していない」が 66.0%となっています。



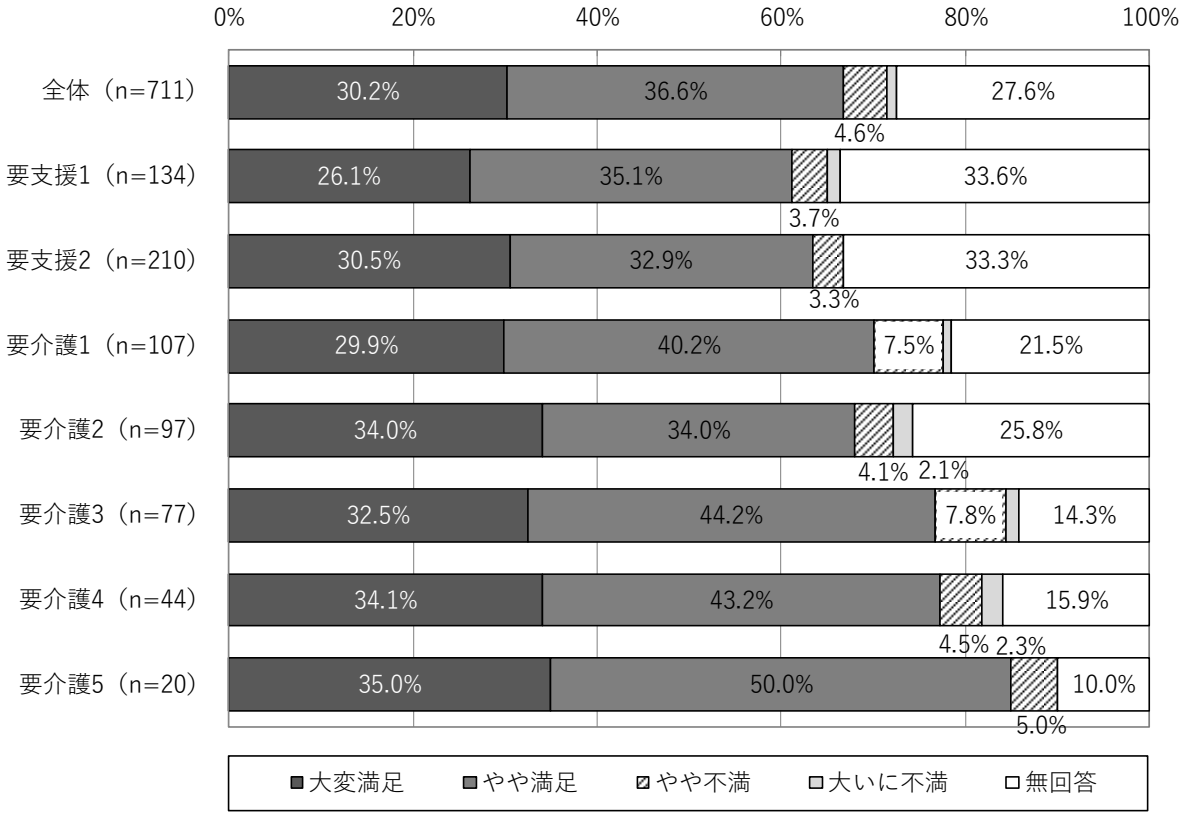
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	469	25	9	2	7	199	711	791	1,502
要支援1	82	3	2	0	3	44	134	267	401
要支援2	134	5	1	2	2	66	210	248	458
要介護1	71	1	1	0	1	33	107	87	194
要介護2	72	6	1	0	0	18	97	65	162
要介護3	62	2	1	0	0	12	77	34	111
要介護4	30	2	0	0	0	12	44	11	55
要介護5	11	3	3	0	0	3	20	8	28
全体（n=711）	66.0%	3.5%	1.3%	0.3%	1.0%	28.0%	100.0%		
要支援1（n=134）	61.2%	2.2%	1.5%	0.0%	2.2%	32.8%	100.0%		
要支援2（n=210）	63.8%	2.4%	0.5%	1.0%	1.0%	31.4%	100.0%		
要介護1（n=107）	66.4%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	30.8%	100.0%		
要介護2（n=97）	74.2%	6.2%	1.0%	0.0%	0.0%	18.6%	100.0%		
要介護3（n=77）	80.5%	2.6%	1.3%	0.0%	0.0%	15.6%	100.0%		
要介護4（n=44）	68.2%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	100.0%		
要介護5（n=20）	55.0%	15.0%	15.0%	0.0%	0.0%	15.0%	100.0%		

【問 1 で「利用した」の方のみ】

問 1-2　利用した介護保険サービスに満足していますか。

利用した介護保険サービスに満足しているかでは、「大変満足」「やや満足」を合わせた『満足』が 66.8%となっています。

また、「やや不満」「大いに不満」を合わせた『不満』が 5.6%となっています。

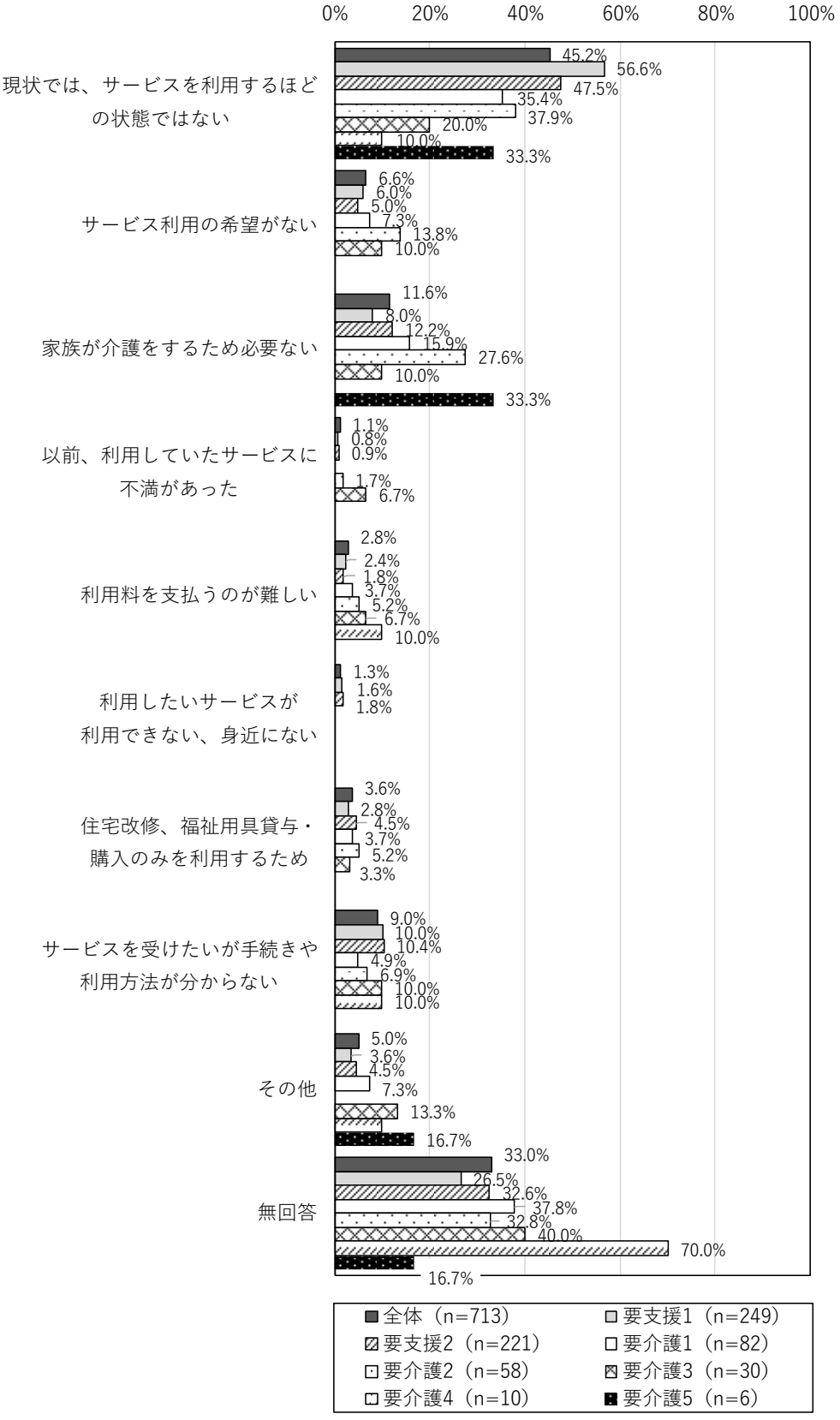


	大変満足	やや満足	やや不満	大いに不満	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	215	260	33	7	196	711	791	1,502
要支援1	35	47	5	2	45	134	267	401
要支援2	64	69	7	0	70	210	248	458
要介護1	32	43	8	1	23	107	87	194
要介護2	33	33	4	2	25	97	65	162
要介護3	25	34	6	1	11	77	34	111
要介護4	15	19	2	1	7	44	11	55
要介護5	7	10	1	0	2	20	8	28
全体(n=711)	30.2%	36.6%	4.6%	1.0%	27.6%	100.0%		
要支援1(n=134)	26.1%	35.1%	3.7%	1.5%	33.6%	100.0%		
要支援2(n=210)	30.5%	32.9%	3.3%	0.0%	33.3%	100.0%		
要介護1(n=107)	29.9%	40.2%	7.5%	0.9%	21.5%	100.0%		
要介護2(n=97)	34.0%	34.0%	4.1%	2.1%	25.8%	100.0%		
要介護3(n=77)	32.5%	44.2%	7.8%	1.3%	14.3%	100.0%		
要介護4(n=44)	34.1%	43.2%	4.5%	2.3%	15.9%	100.0%		
要介護5(n=20)	35.0%	50.0%	5.0%	0.0%	10.0%	100.0%		

【問 1 で「利用していない」の方のみ】

問 1-3　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.2%と最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 11.6%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 9.0%となっています。

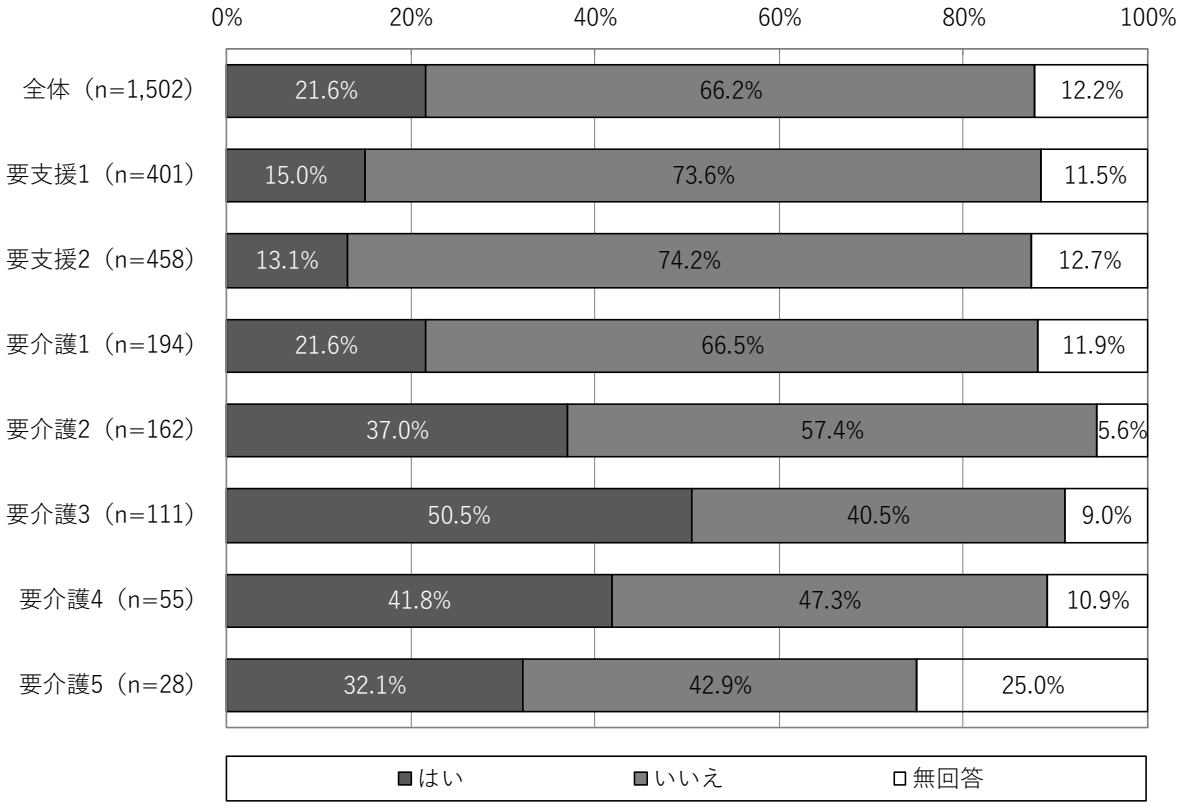


	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	322	47	83	8	20	9	26	64	36	235	713	789	1,502
要支援1	141	15	20	2	6	4	7	25	9	66	249	152	401
要支援2	105	11	27	2	4	4	10	23	10	72	221	237	458
要介護1	29	6	13	0	3	0	3	4	6	31	82	112	194
要介護2	22	8	16	1	3	0	3	4	0	19	58	104	162
要介護3	6	3	3	2	2	0	1	3	4	12	30	81	111
要介護4	1	0	0	0	1	0	0	1	1	7	10	45	55
要介護5	2	0	2	0	0	0	0	0	1	1	6	22	28
全体(n=713)	45.2%	6.6%	11.6%	1.1%	2.8%	1.3%	3.6%	9.0%	5.0%	33.0%			
要支援1(n=249)	56.6%	6.0%	8.0%	0.8%	2.4%	1.6%	2.8%	10.0%	3.6%	26.5%			
要支援2(n=221)	47.5%	5.0%	12.2%	0.9%	1.8%	1.8%	4.5%	10.4%	4.5%	32.6%			
要介護1(n=82)	35.4%	7.3%	15.9%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	4.9%	7.3%	37.8%			
要介護2(n=58)	37.9%	13.8%	27.6%	1.7%	5.2%	0.0%	5.2%	6.9%	0.0%	32.8%			
要介護3(n=30)	20.0%	10.0%	10.0%	6.7%	6.7%	0.0%	3.3%	10.0%	13.3%	40.0%			
要介護4(n=10)	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	70.0%			
要介護5(n=6)	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%			

（11）認知症にかかる相談窓口の把握について

問１　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。

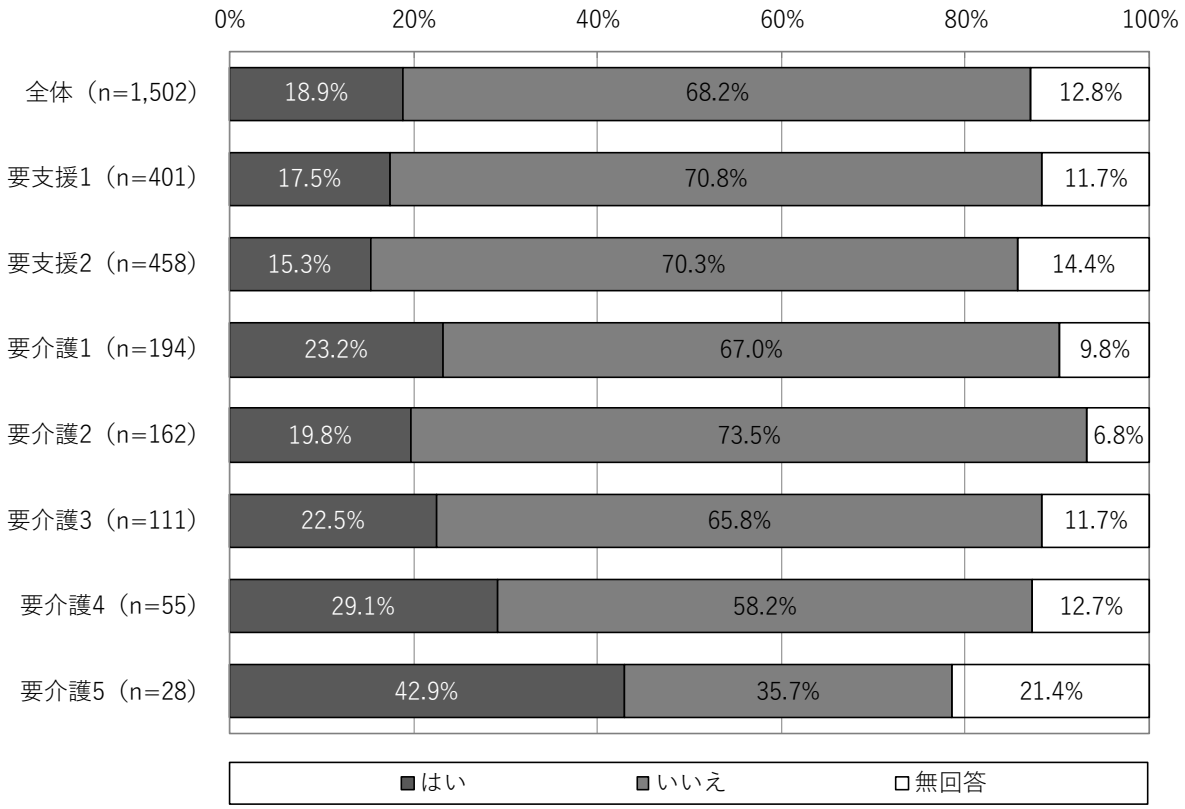
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいるかでは、「はい」が21.6%、「いいえ」が66.2%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	325	994	183	1,502
要支援1	60	295	46	401
要支援2	60	340	58	458
要介護1	42	129	23	194
要介護2	60	93	9	162
要介護3	56	45	10	111
要介護4	23	26	6	55
要介護5	9	12	7	28
全体(n=1,502)	21.6%	66.2%	12.2%	100.0%
要支援1(n=401)	15.0%	73.6%	11.5%	100.0%
要支援2(n=458)	13.1%	74.2%	12.7%	100.0%
要介護1(n=194)	21.6%	66.5%	11.9%	100.0%
要介護2(n=162)	37.0%	57.4%	5.6%	100.0%
要介護3(n=111)	50.5%	40.5%	9.0%	100.0%
要介護4(n=55)	41.8%	47.3%	10.9%	100.0%
要介護5(n=28)	32.1%	42.9%	25.0%	100.0%

問 2　認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「はい」が 18.9%、「いいえ」が 68.2%となっています。

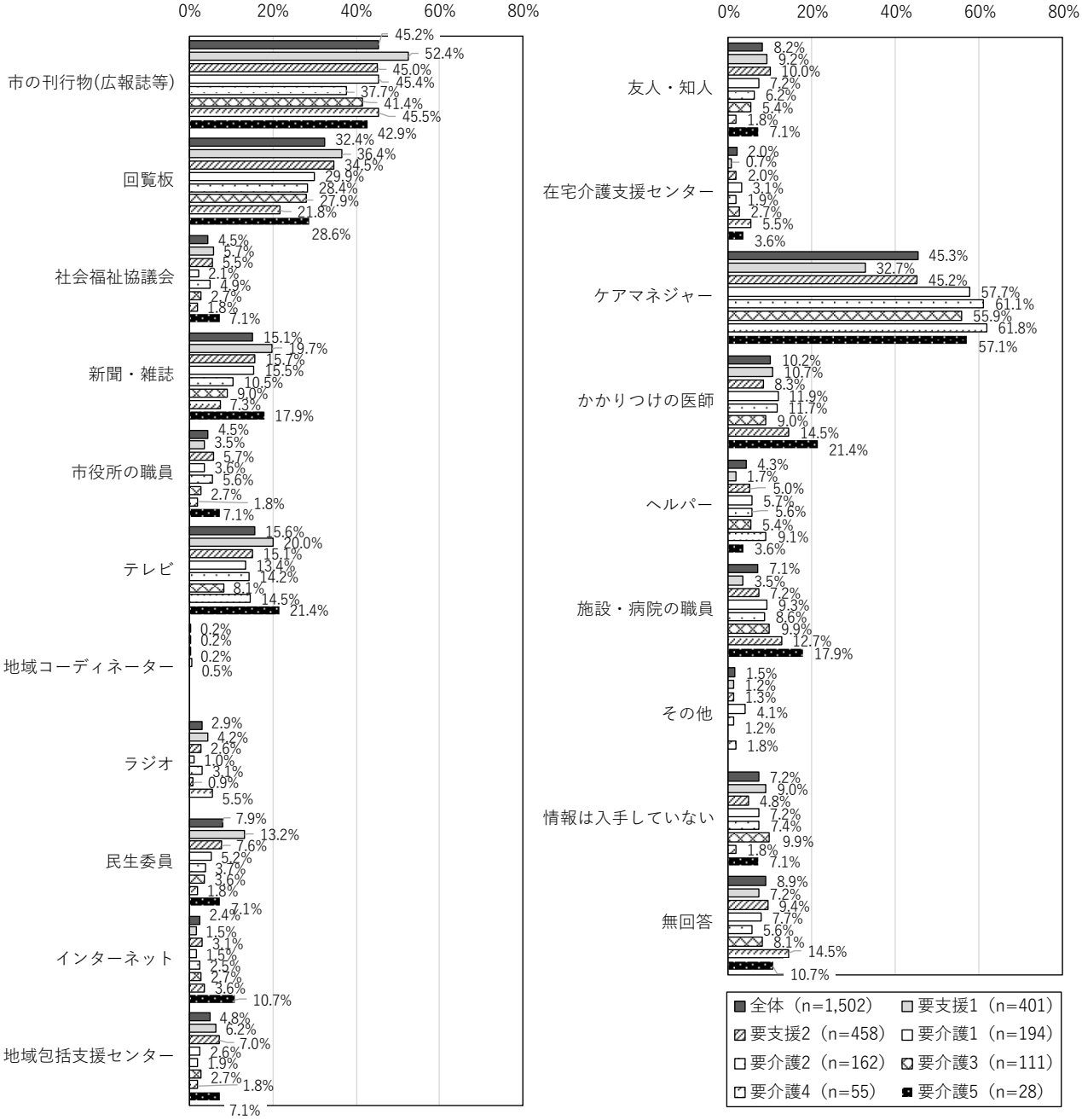


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	284	1,025	193	1,502
要支援1	70	284	47	401
要支援2	70	322	66	458
要介護1	45	130	19	194
要介護2	32	119	11	162
要介護3	25	73	13	111
要介護4	16	32	7	55
要介護5	12	10	6	28
全体（n=1,502）	18.9%	68.2%	12.8%	100.0%
要支援1（n=401）	17.5%	70.8%	11.7%	100.0%
要支援2（n=458）	15.3%	70.3%	14.4%	100.0%
要介護1（n=194）	23.2%	67.0%	9.8%	100.0%
要介護2（n=162）	19.8%	73.5%	6.8%	100.0%
要介護3（n=111）	22.5%	65.8%	11.7%	100.0%
要介護4（n=55）	29.1%	58.2%	12.7%	100.0%
要介護5（n=28）	42.9%	35.7%	21.4%	100.0%

（12）市への意見

問１　あなたは、日ごろ、高齢者福祉サービスや市政一般に関する情報は、どのように入手されていますか。（いくつでも）

日ごろ、高齢者福祉サービスや市政一般に関する情報先では、「ケアマネジャー」が 45.3%と最も多く、次いで「市の刊行物（広報誌等）」が 45.2%、「回覧板」が 32.4%となっています。



	市の刊行物（広報誌等）	回覧板	社会福祉協議会	新聞・雑誌	市役所の職員	テレビ	地域コーディネーター	ラジオ	民生委員	インターネット	地域包括支援センター
全体	679	486	67	227	67	234	3	43	119	36	72
要支援1	210	146	23	79	14	80	1	17	53	6	25
要支援2	206	158	25	72	26	69	1	12	35	14	32
要介護1	88	58	4	30	7	26	1	2	10	3	5
要介護2	61	46	8	17	9	23	0	5	6	4	3
要介護3	46	31	3	10	3	9	0	1	4	3	3
要介護4	25	12	1	4	1	8	0	3	1	2	1
要介護5	12	8	2	5	2	6	0	0	2	3	2
全体(n=1,502)	45.2%	32.4%	4.5%	15.1%	4.5%	15.6%	0.2%	2.9%	7.9%	2.4%	4.8%
要支援1(n=401)	52.4%	36.4%	5.7%	19.7%	3.5%	20.0%	0.2%	4.2%	13.2%	1.5%	6.2%
要支援2(n=458)	45.0%	34.5%	5.5%	15.7%	5.7%	15.1%	0.2%	2.6%	7.6%	3.1%	7.0%
要介護1(n=194)	45.4%	29.9%	2.1%	15.5%	3.6%	13.4%	0.5%	1.0%	5.2%	1.5%	2.6%
要介護2(n=162)	37.7%	28.4%	4.9%	10.5%	5.6%	14.2%	0.0%	3.1%	3.7%	2.5%	1.9%
要介護3(n=111)	41.4%	27.9%	2.7%	9.0%	2.7%	8.1%	0.0%	0.9%	3.6%	2.7%	2.7%
要介護4(n=55)	45.5%	21.8%	1.8%	7.3%	1.8%	14.5%	0.0%	5.5%	1.8%	3.6%	1.8%
要介護5(n=28)	42.9%	28.6%	7.1%	17.9%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	10.7%	7.1%

	友人・知人	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	かかりつけの医師	ヘルパー	施設・病院の職員	その他	情報は入手していない	無回答	回答者数	
全体	123	30	680	153	64	106	23	108	134	1,502	
要支援1	37	3	131	43	7	14	5	36	29	401	
要支援2	46	9	207	38	23	33	6	22	43	458	
要介護1	14	6	112	23	11	18	8	14	15	194	
要介護2	10	3	99	19	9	14	2	12	9	162	
要介護3	6	3	62	10	6	11	0	11	9	111	
要介護4	1	3	34	8	5	7	1	1	8	55	
要介護5	2	1	16	6	1	5	0	2	3	28	
全体(n=1,502)	8.2%	2.0%	45.3%	10.2%	4.3%	7.1%	1.5%	7.2%	8.9%		
要支援1(n=401)	9.2%	0.7%	32.7%	10.7%	1.7%	3.5%	1.2%	9.0%	7.2%		
要支援2(n=458)	10.0%	2.0%	45.2%	8.3%	5.0%	7.2%	1.3%	4.8%	9.4%		
要介護1(n=194)	7.2%	3.1%	57.7%	11.9%	5.7%	9.3%	4.1%	7.2%	7.7%		
要介護2(n=162)	6.2%	1.9%	61.1%	11.7%	5.6%	8.6%	1.2%	7.4%	5.6%		
要介護3(n=111)	5.4%	2.7%	55.9%	9.0%	5.4%	9.9%	0.0%	9.9%	8.1%		
要介護4(n=55)	1.8%	5.5%	61.8%	14.5%	9.1%	12.7%	1.8%	1.8%	14.5%		
要介護5(n=28)	7.1%	3.6%	57.1%	21.4%	3.6%	17.9%	0.0%	7.1%	10.7%		

問 2　健康づくり、高齢者福祉や介護保険制度について、市への要望や意見、また、提案などございましたら右の枠にご記入ください。（自由記述）

■移動手段の充実を図ってほしい。
■高齢になると理解しづらくなるので、介護保険制度や健康づくりの分かりやすい冊子を出してほしい。在宅で介護している人に分かりやすい冊子もほしいです。
■個々のサービスのみでなく、総合的な相談出来る場がほしい。
■日頃一人暮らしで（娘も東京にいますけど）近所に知り合いがなく、介護の方々が来てくれる事は本当に嬉しいです。感謝しています。そしてそのおかげで私は生きられています。本当に有難う。
■介護を受ける者にとりメリット、権利（利用する）かある物は積極的に教えてほしい。申請待ちではなくもっと利用するのにわかりやすく、わかりにくく利用しづらい。
■地域の高齢者に対してどのような支援サービスが受けられるかの説明を民生委員の方にしてほしい。
■老人ホームに入所希望ですがなかなか条件が合わず入れません。ぜひご紹介いただければ有難く存じます。手首を痛めており日々の生活に困っております。何卒ご配慮のほどお願い申し上げます。
■徒歩で行ける範囲に高齢者のカフェのような集まれる場所があったら出かけて行きたいと思います。
■昨秋は台風が度々あり、高齢の独り暮らしは不安でした。台風通過するまで他の方と一緒に過ごせる場所に居たいと思いました。家族とも相談し考えることにしています。なお、市からの緊急避難警報が携帯に入りましたが、メールしない高齢の方には入らず、知らせてあげました。市からの情報について希望します。頼りにしています。地方に住む知人の様子を聞くと、つくば市は恵まれていると思います。
■情報を欲しいと思いますが、高齢者にも分かりやすい、見やすい「内容、デザイン」にしてほしい。応募する方法もインターネットよりも「ハガキや電話」にしてほしい。
■ツクバスの充実（細部に行き届いた）。最寄りに気軽に立ち寄れる公的施設の設置。

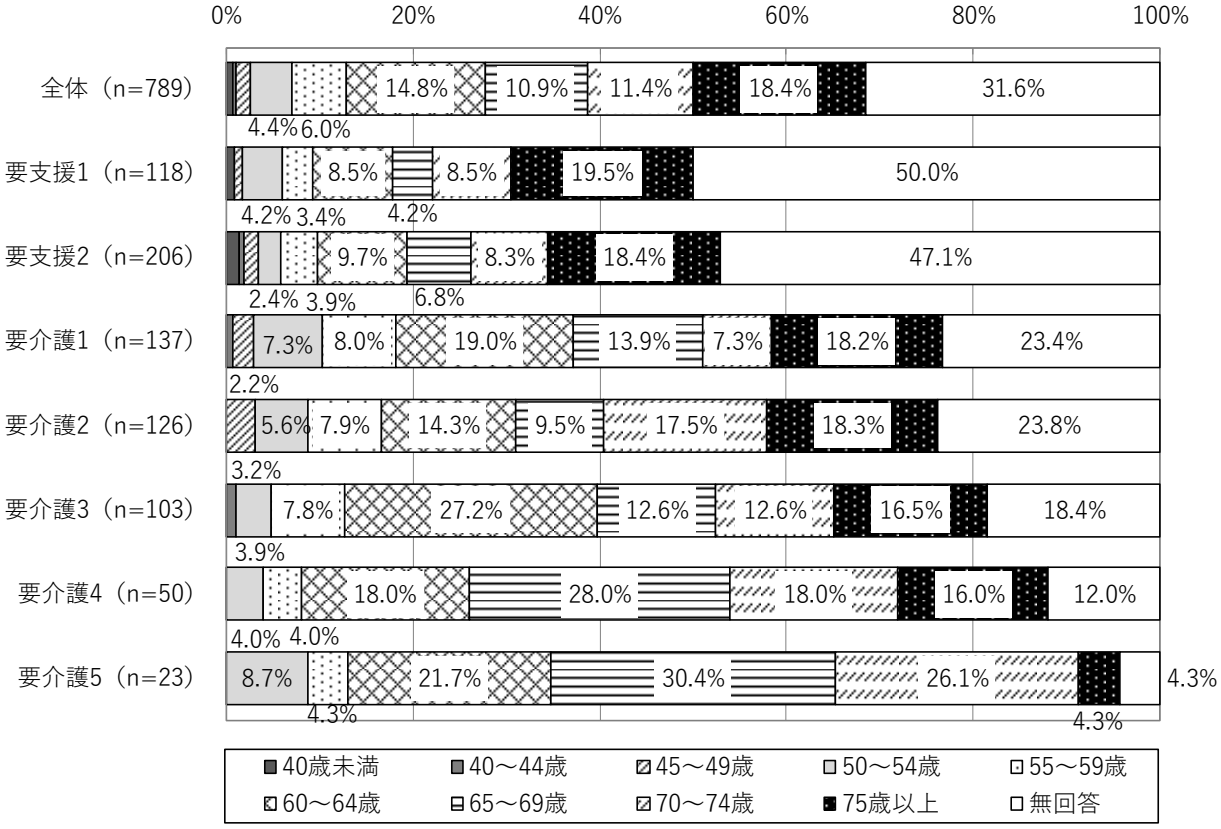
主に上記の意見がありました。

（13）在宅の介護者について

問１　あなたの年齢及び性別、就労の形態、宛名御本人からみた続柄、同居の有無を教えてください。

【①年齢】

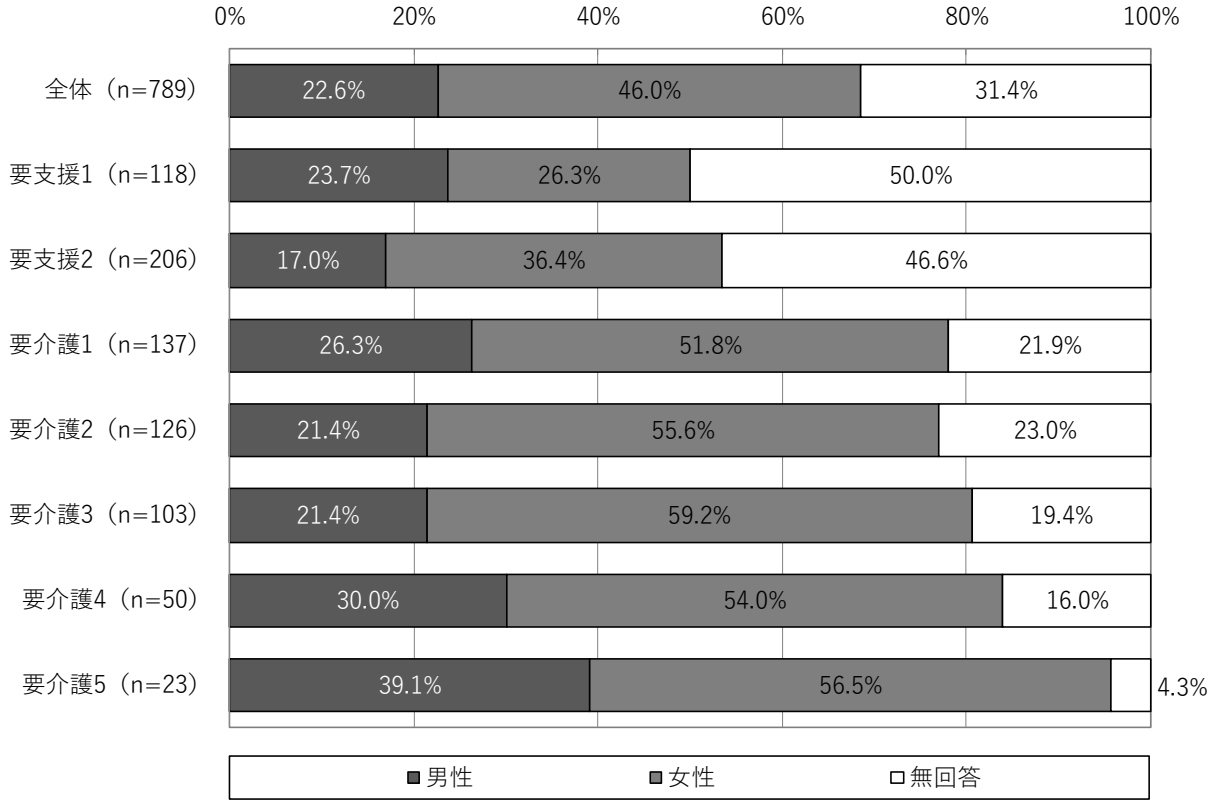
年齢では、「75 歳以上」が 18.4%と最も多く、次いで「60～64 歳」が 14.8%、「70～74 歳」が 11.4%となっています。



	40歳未満	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	5	3	12	35	47	117	86	90	145	249	789	713	1,502
要支援1	1	0	1	5	4	10	5	10	23	59	118	283	401
要支援2	3	1	3	5	8	20	14	17	38	97	206	252	458
要介護1	0	1	3	10	11	26	19	10	25	32	137	57	194
要介護2	0	0	4	7	10	18	12	22	23	30	126	36	162
要介護3	0	1	0	4	8	28	13	13	17	19	103	8	111
要介護4	0	0	0	2	2	9	14	9	8	6	50	5	55
要介護5	0	0	0	2	1	5	7	6	1	1	23	5	28
全体(n=789)	0.6%	0.4%	1.5%	4.4%	6.0%	14.8%	10.9%	11.4%	18.4%	31.6%	100.0%		
要支援1(n=118)	0.8%	0.0%	0.8%	4.2%	3.4%	8.5%	4.2%	8.5%	19.5%	50.0%	100.0%		
要支援2(n=206)	1.5%	0.5%	1.5%	2.4%	3.9%	9.7%	6.8%	8.3%	18.4%	47.1%	100.0%		
要介護1(n=137)	0.0%	0.7%	2.2%	7.3%	8.0%	19.0%	13.9%	7.3%	18.2%	23.4%	100.0%		
要介護2(n=126)	0.0%	0.0%	3.2%	5.6%	7.9%	14.3%	9.5%	17.5%	18.3%	23.8%	100.0%		
要介護3(n=103)	0.0%	1.0%	0.0%	3.9%	7.8%	27.2%	12.6%	12.6%	16.5%	18.4%	100.0%		
要介護4(n=50)	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	18.0%	28.0%	18.0%	16.0%	12.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	4.3%	21.7%	30.4%	26.1%	4.3%	4.3%	100.0%		

【②性別】

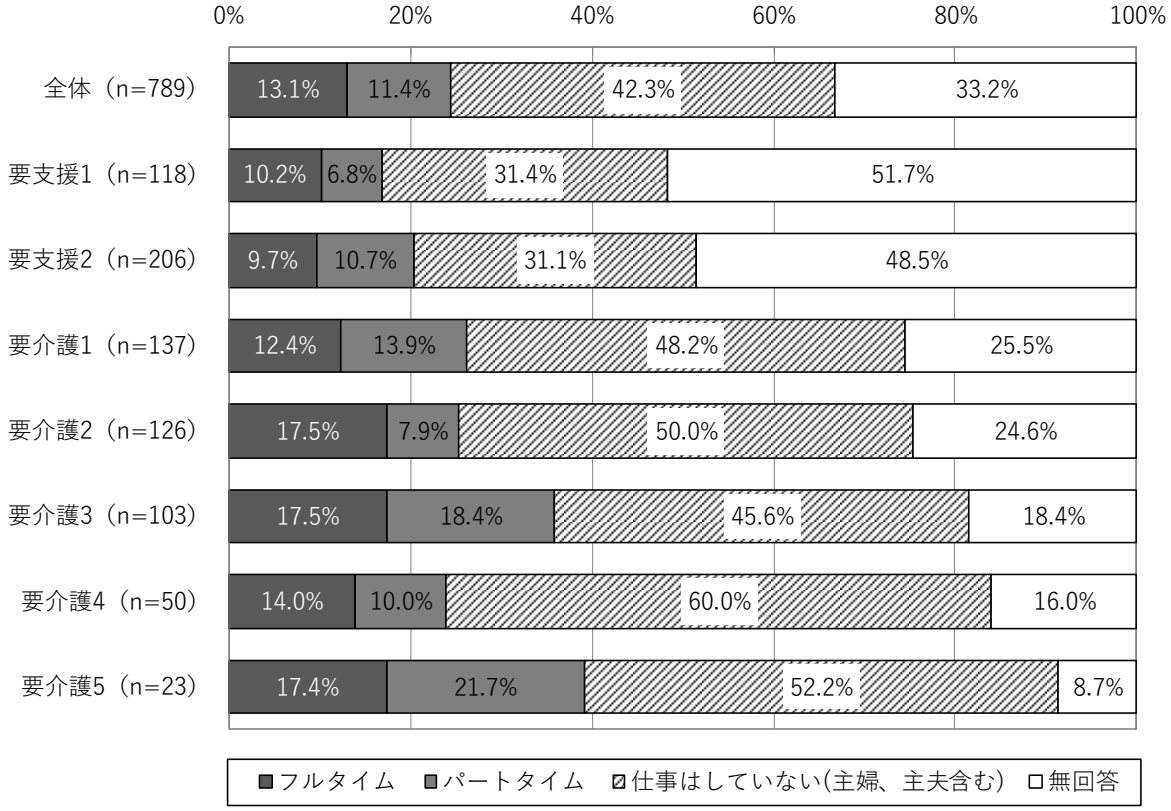
性別では、「男性」が 22.6%、「女性」が 46.0%となっています。



	男性	女性	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	178	363	248	789	713	1,502
要支援1	28	31	59	118	283	401
要支援2	35	75	96	206	252	458
要介護1	36	71	30	137	57	194
要介護2	27	70	29	126	36	162
要介護3	22	61	20	103	8	111
要介護4	15	27	8	50	5	55
要介護5	9	13	1	23	5	28
全体(n=789)	22.6%	46.0%	31.4%	100.0%		
要支援1(n=118)	23.7%	26.3%	50.0%	100.0%		
要支援2(n=206)	17.0%	36.4%	46.6%	100.0%		
要介護1(n=137)	26.3%	51.8%	21.9%	100.0%		
要介護2(n=126)	21.4%	55.6%	23.0%	100.0%		
要介護3(n=103)	21.4%	59.2%	19.4%	100.0%		
要介護4(n=50)	30.0%	54.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	39.1%	56.5%	4.3%	100.0%		

【③就労の形態】

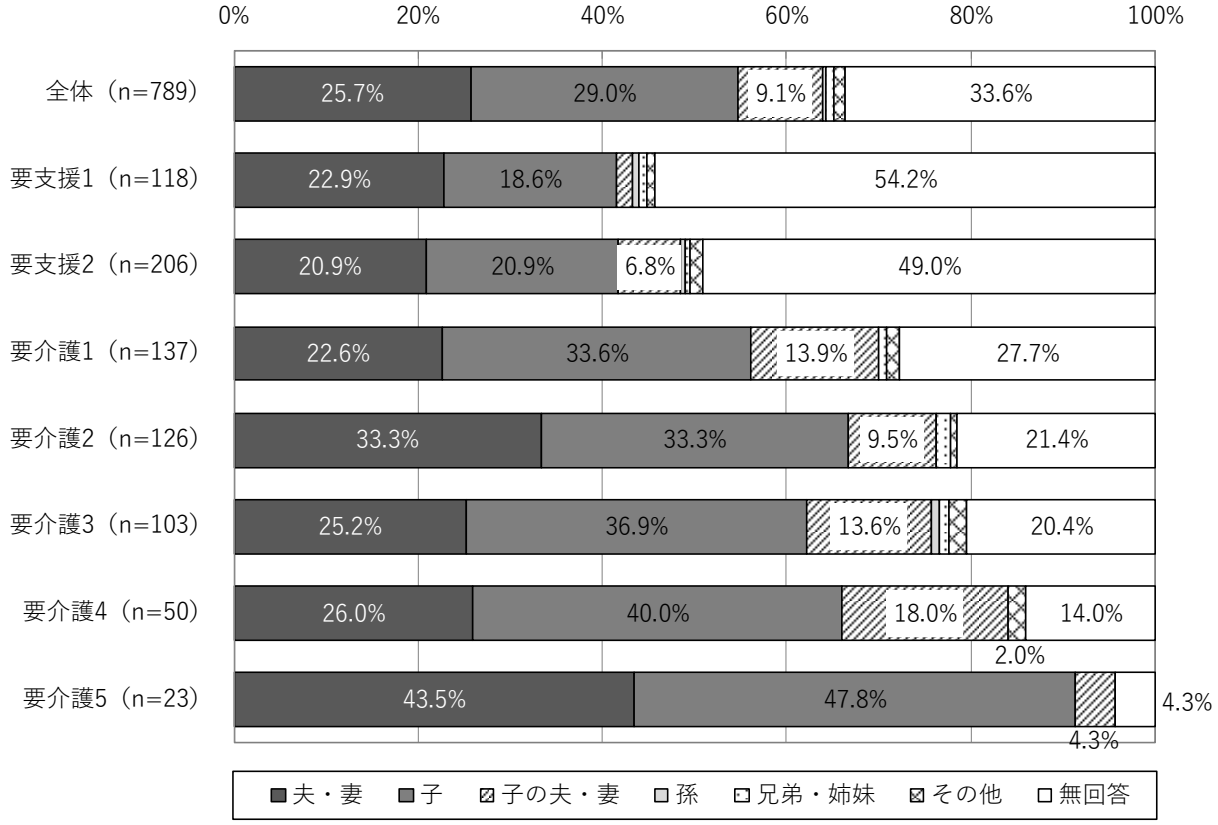
就労の形態では、「仕事はしていない(主婦、主夫含む)」が 42.3%と最も多く、次いで「フルタイム」が 13.1%、「パートタイム」が 11.4%となっています。



	フルタイム	パートタイム	仕事はしていない(主婦、主夫含む)	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	103	90	334	262	789	713	1,502
要支援1	12	8	37	61	118	283	401
要支援2	20	22	64	100	206	252	458
要介護1	17	19	66	35	137	57	194
要介護2	22	10	63	31	126	36	162
要介護3	18	19	47	19	103	8	111
要介護4	7	5	30	8	50	5	55
要介護5	4	5	12	2	23	5	28
全体(n=789)	13.1%	11.4%	42.3%	33.2%	100.0%		
要支援1(n=118)	10.2%	6.8%	31.4%	51.7%	100.0%		
要支援2(n=206)	9.7%	10.7%	31.1%	48.5%	100.0%		
要介護1(n=137)	12.4%	13.9%	48.2%	25.5%	100.0%		
要介護2(n=126)	17.5%	7.9%	50.0%	24.6%	100.0%		
要介護3(n=103)	17.5%	18.4%	45.6%	18.4%	100.0%		
要介護4(n=50)	14.0%	10.0%	60.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	17.4%	21.7%	52.2%	8.7%	100.0%		

【④宛名御本人からみた続柄等】

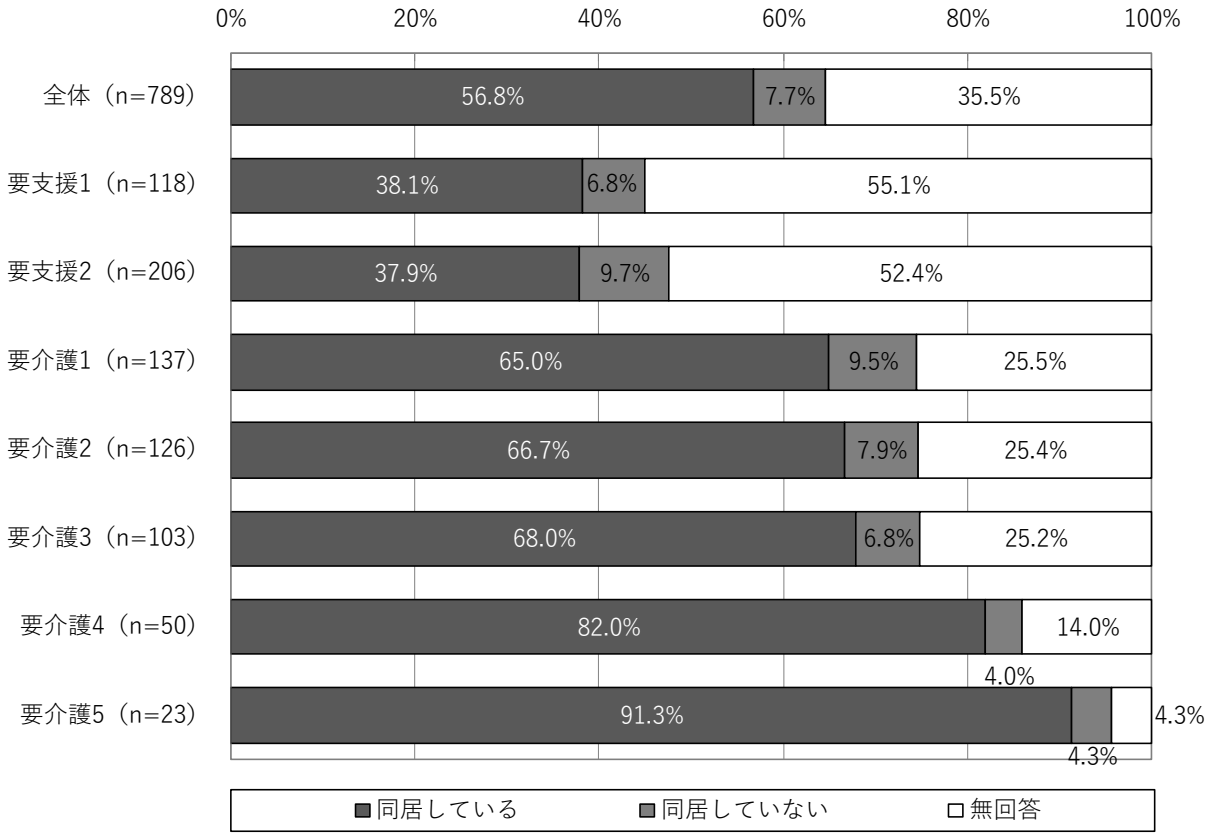
宛名御本人からみた続柄等では、「子」が 29.0%と最も多く、次いで「夫・妻」が 25.7%、「子の夫・妻」が 9.1%となっています。



	夫・妻	子	子の夫・妻	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	203	229	72	3	7	10	265	789	713	1,502
要支援1	27	22	2	1	1	1	64	118	283	401
要支援2	43	43	14	1	1	3	101	206	252	458
要介護1	31	46	19	0	1	2	38	137	57	194
要介護2	42	42	12	0	2	1	27	126	36	162
要介護3	26	38	14	1	1	2	21	103	8	111
要介護4	13	20	9	0	0	1	7	50	5	55
要介護5	10	11	1	0	0	0	1	23	5	28
全体（n=789）	25.7%	29.0%	9.1%	0.4%	0.9%	1.3%	33.6%	100.0%		
要支援1（n=118）	22.9%	18.6%	1.7%	0.8%	0.8%	0.8%	54.2%	100.0%		
要支援2（n=206）	20.9%	20.9%	6.8%	0.5%	0.5%	1.5%	49.0%	100.0%		
要介護1（n=137）	22.6%	33.6%	13.9%	0.0%	0.7%	1.5%	27.7%	100.0%		
要介護2（n=126）	33.3%	33.3%	9.5%	0.0%	1.6%	0.8%	21.4%	100.0%		
要介護3（n=103）	25.2%	36.9%	13.6%	1.0%	1.0%	1.9%	20.4%	100.0%		
要介護4（n=50）	26.0%	40.0%	18.0%	0.0%	0.0%	2.0%	14.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	43.5%	47.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	100.0%		

【⑤宛名御本人との同居の有無】

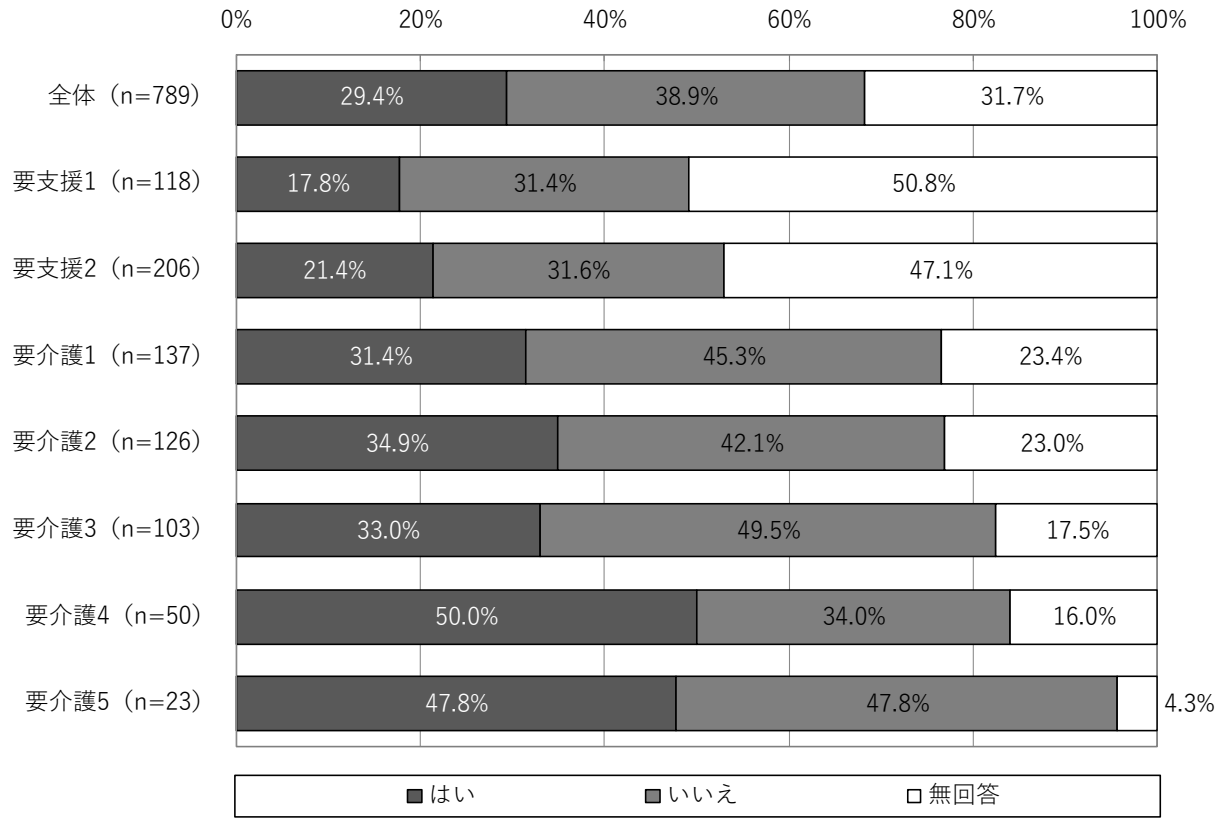
「同居している」が 56.8%、「同居していない」が 7.7%となっています。



	同居している	同居していない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	448	61	280	789	713	1,502
要支援1	45	8	65	118	283	401
要支援2	78	20	108	206	252	458
要介護1	89	13	35	137	57	194
要介護2	84	10	32	126	36	162
要介護3	70	7	26	103	8	111
要介護4	41	2	7	50	5	55
要介護5	21	1	1	23	5	28
全体（n=789）	56.8%	7.7%	35.5%	100.0%		
要支援1（n=118）	38.1%	6.8%	55.1%	100.0%		
要支援2（n=206）	37.9%	9.7%	52.4%	100.0%		
要介護1（n=137）	65.0%	9.5%	25.5%	100.0%		
要介護2（n=126）	66.7%	7.9%	25.4%	100.0%		
要介護3（n=103）	68.0%	6.8%	25.2%	100.0%		
要介護4（n=50）	82.0%	4.0%	14.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	91.3%	4.3%	4.3%	100.0%		

問 2　ご家庭やご家族の中で、あなたの他に宛名の本人の方の介護をしている人はいますか。

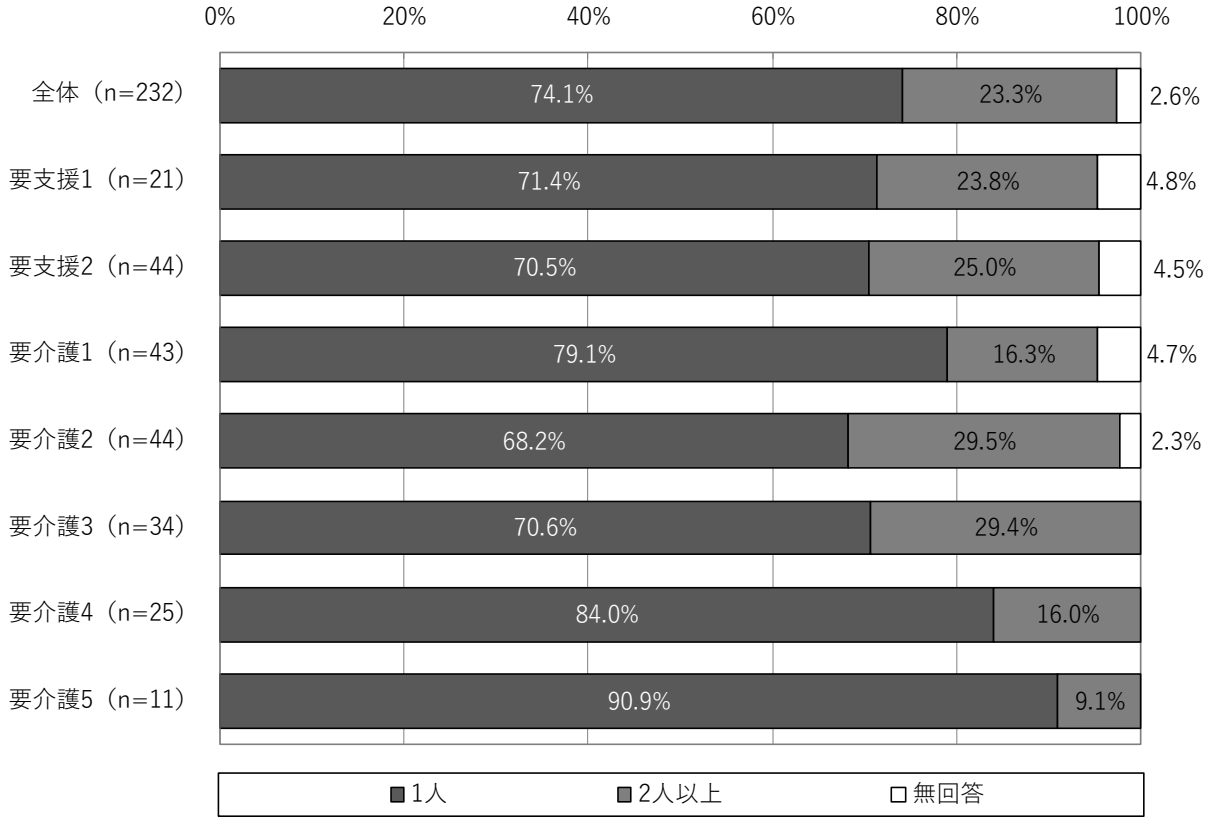
ご家庭やご家族の中で、あなたの他に宛名の本人の方の介護をしている人では、「はい」が 29.4%、「いいえ」が 38.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	232	307	250	789	713	1,502
要支援1	21	37	60	118	283	401
要支援2	44	65	97	206	252	458
要介護1	43	62	32	137	57	194
要介護2	44	53	29	126	36	162
要介護3	34	51	18	103	8	111
要介護4	25	17	8	50	5	55
要介護5	11	11	1	23	5	28
全体(n=789)	29.4%	38.9%	31.7%	100.0%		
要支援1(n=118)	17.8%	31.4%	50.8%	100.0%		
要支援2(n=206)	21.4%	31.6%	47.1%	100.0%		
要介護1(n=137)	31.4%	45.3%	23.4%	100.0%		
要介護2(n=126)	34.9%	42.1%	23.0%	100.0%		
要介護3(n=103)	33.0%	49.5%	17.5%	100.0%		
要介護4(n=50)	50.0%	34.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	47.8%	47.8%	4.3%	100.0%		

【はいの回答】

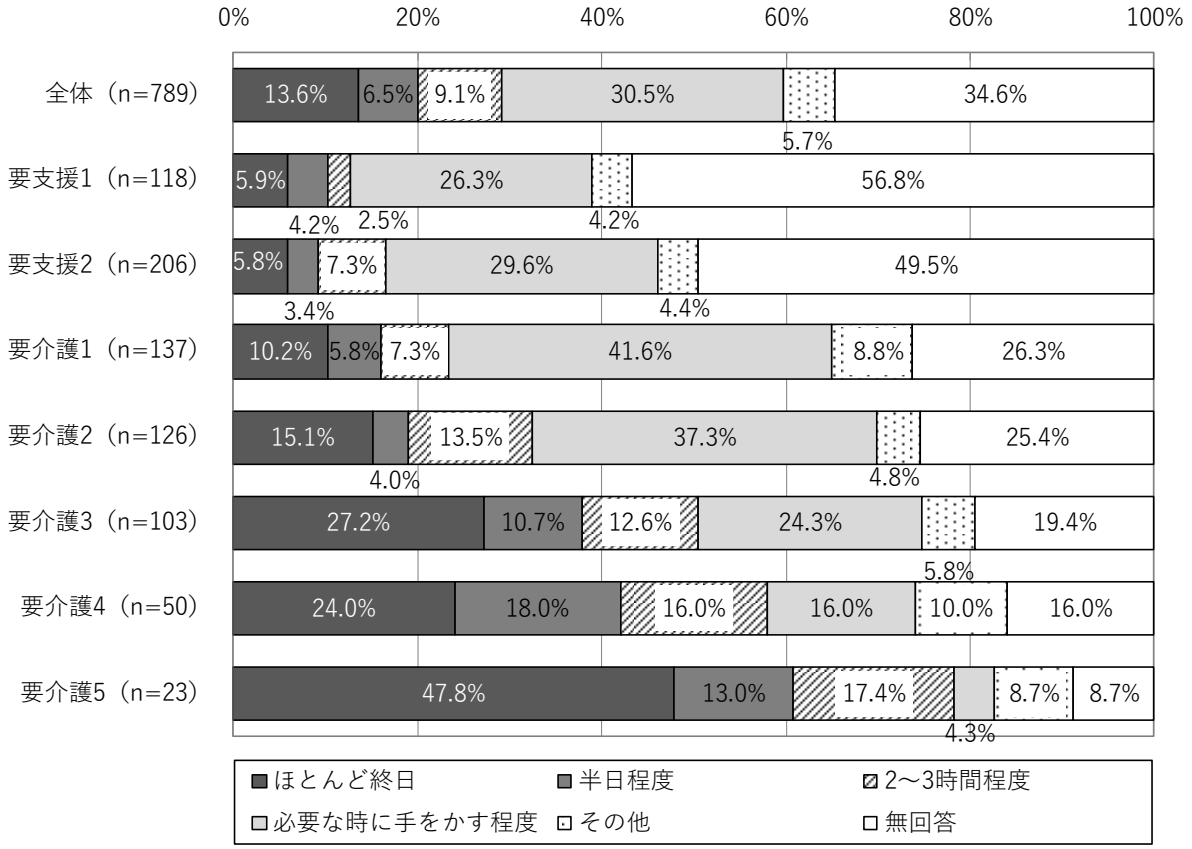
ご家庭やご家族の中で、あなたの他に宛名の本人の方の介護をしていると回答した人では、「1 人」が 74.1%、「2 人以上」が 23.3%となっています。



	1人	2人以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	172	54	6	232	1,270	1,502
要支援1	15	5	1	21	380	401
要支援2	31	11	2	44	414	458
要介護1	34	7	2	43	151	194
要介護2	30	13	1	44	118	162
要介護3	24	10	0	34	77	111
要介護4	21	4	0	25	30	55
要介護5	10	1	0	11	17	28
全体(n=232)	74.1%	23.3%	2.6%	100.0%		
要支援1(n=21)	71.4%	23.8%	4.8%	100.0%		
要支援2(n=44)	70.5%	25.0%	4.5%	100.0%		
要介護1(n=43)	79.1%	16.3%	4.7%	100.0%		
要介護2(n=44)	68.2%	29.5%	2.3%	100.0%		
要介護3(n=34)	70.6%	29.4%	0.0%	100.0%		
要介護4(n=25)	84.0%	16.0%	0.0%	100.0%		
要介護5(n=11)	90.9%	9.1%	0.0%	100.0%		

問 3　主に介護をしている方の 1 日の平均的な介護時間はどのくらいですか。
※介護の頻度が毎日でなく数日に 1 度の場合は「5．その他」に○をつけてください。

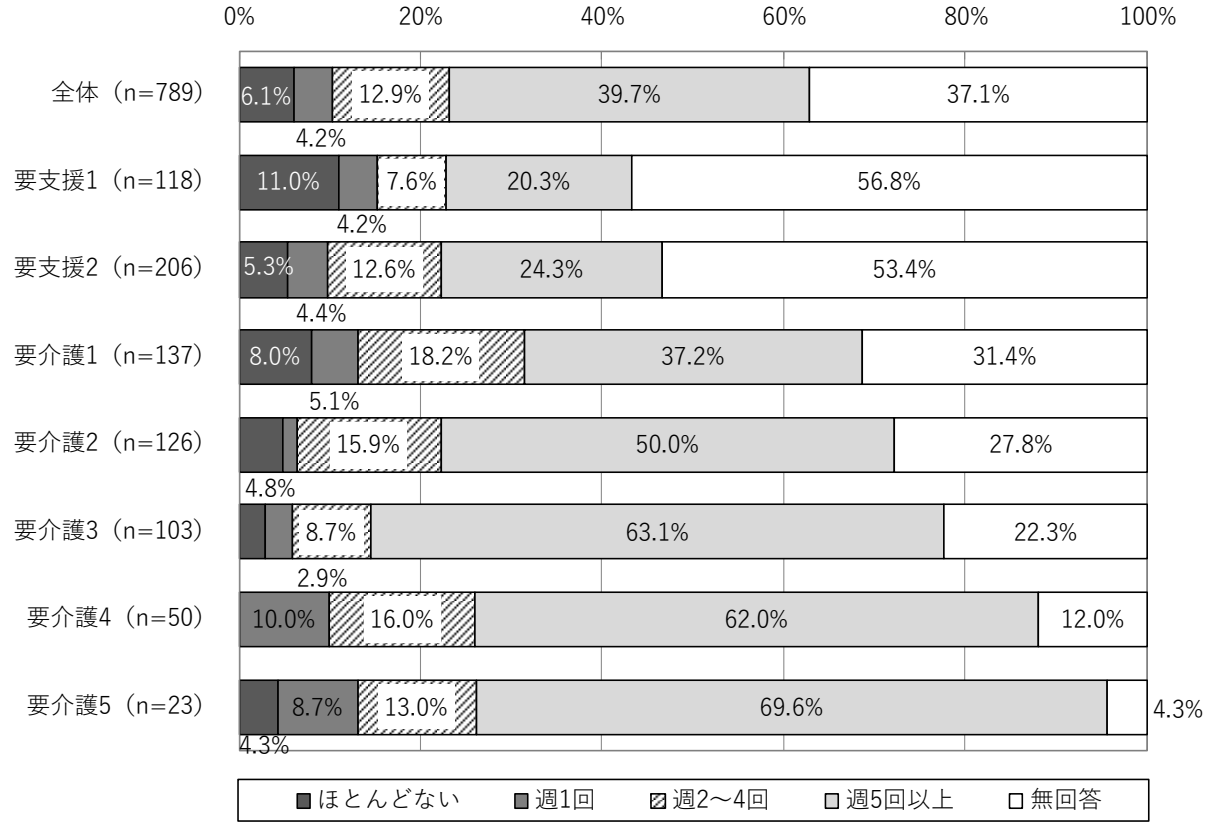
主に介護をしている方の 1 日の平均的な介護時間では、「必要な時に手をかす程度」が 30.5%と最も多く、次いで「ほとんど終日」が 13.6%、「2～3 時間程度」が 9.1%となっています



	ほとんど終日	半日程度	2～3時間程度	必要な時に手をかす程度	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	107	51	72	241	45	273	789	713	1,502
要支援1	7	5	3	31	5	67	118	283	401
要支援2	12	7	15	61	9	102	206	252	458
要介護1	14	8	10	57	12	36	137	57	194
要介護2	19	5	17	47	6	32	126	36	162
要介護3	28	11	13	25	6	20	103	8	111
要介護4	12	9	8	8	5	8	50	5	55
要介護5	11	3	4	1	2	2	23	5	28
全体(n=789)	13.6%	6.5%	9.1%	30.5%	5.7%	34.6%	100.0%		
要支援1(n=118)	5.9%	4.2%	2.5%	26.3%	4.2%	56.8%	100.0%		
要支援2(n=206)	5.8%	3.4%	7.3%	29.6%	4.4%	49.5%	100.0%		
要介護1(n=137)	10.2%	5.8%	7.3%	41.6%	8.8%	26.3%	100.0%		
要介護2(n=126)	15.1%	4.0%	13.5%	37.3%	4.8%	25.4%	100.0%		
要介護3(n=103)	27.2%	10.7%	12.6%	24.3%	5.8%	19.4%	100.0%		
要介護4(n=50)	24.0%	18.0%	16.0%	16.0%	10.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	47.8%	13.0%	17.4%	4.3%	8.7%	8.7%	100.0%		

問４　週にどのくらい介護を行っていますか。

週にどのくらい介護を行っているかでは、「週 5 回以上」が 39.7%と最も多く、次いで「週 2～4 回」が 12.9%となっています。

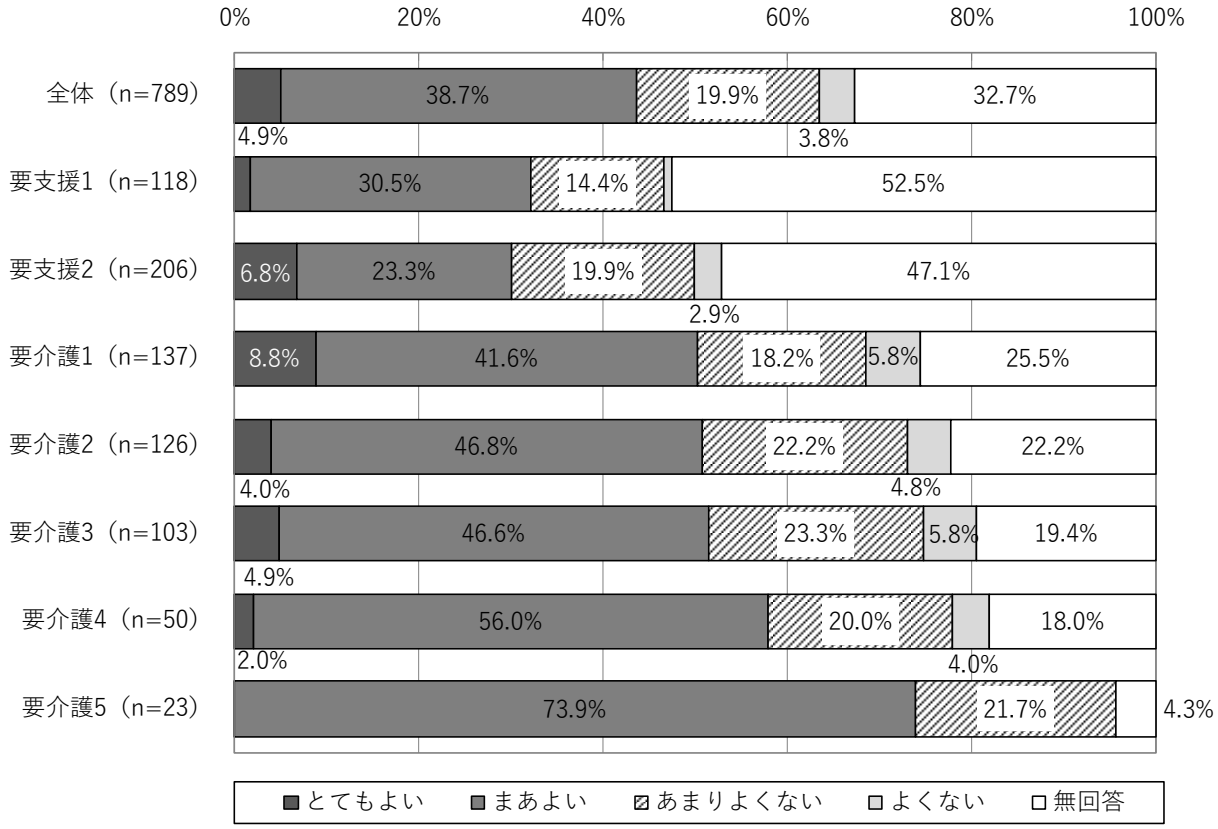


	ほとんどない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	48	33	102	313	293	789	713	1,502
要支援1	13	5	9	24	67	118	283	401
要支援2	11	9	26	50	110	206	252	458
要介護1	11	7	25	51	43	137	57	194
要介護2	6	2	20	63	35	126	36	162
要介護3	3	3	9	65	23	103	8	111
要介護4	0	5	8	31	6	50	5	55
要介護5	1	2	3	16	1	23	5	28
全体（n=789）	6.1%	4.2%	12.9%	39.7%	37.1%	100.0%		
要支援1（n=118）	11.0%	4.2%	7.6%	20.3%	56.8%	100.0%		
要支援2（n=206）	5.3%	4.4%	12.6%	24.3%	53.4%	100.0%		
要介護1（n=137）	8.0%	5.1%	18.2%	37.2%	31.4%	100.0%		
要介護2（n=126）	4.8%	1.6%	15.9%	50.0%	27.8%	100.0%		
要介護3（n=103）	2.9%	2.9%	8.7%	63.1%	22.3%	100.0%		
要介護4（n=50）	0.0%	10.0%	16.0%	62.0%	12.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	4.3%	8.7%	13.0%	69.6%	4.3%	100.0%		

問 5　現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態では、「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』が 43.6%なっています。

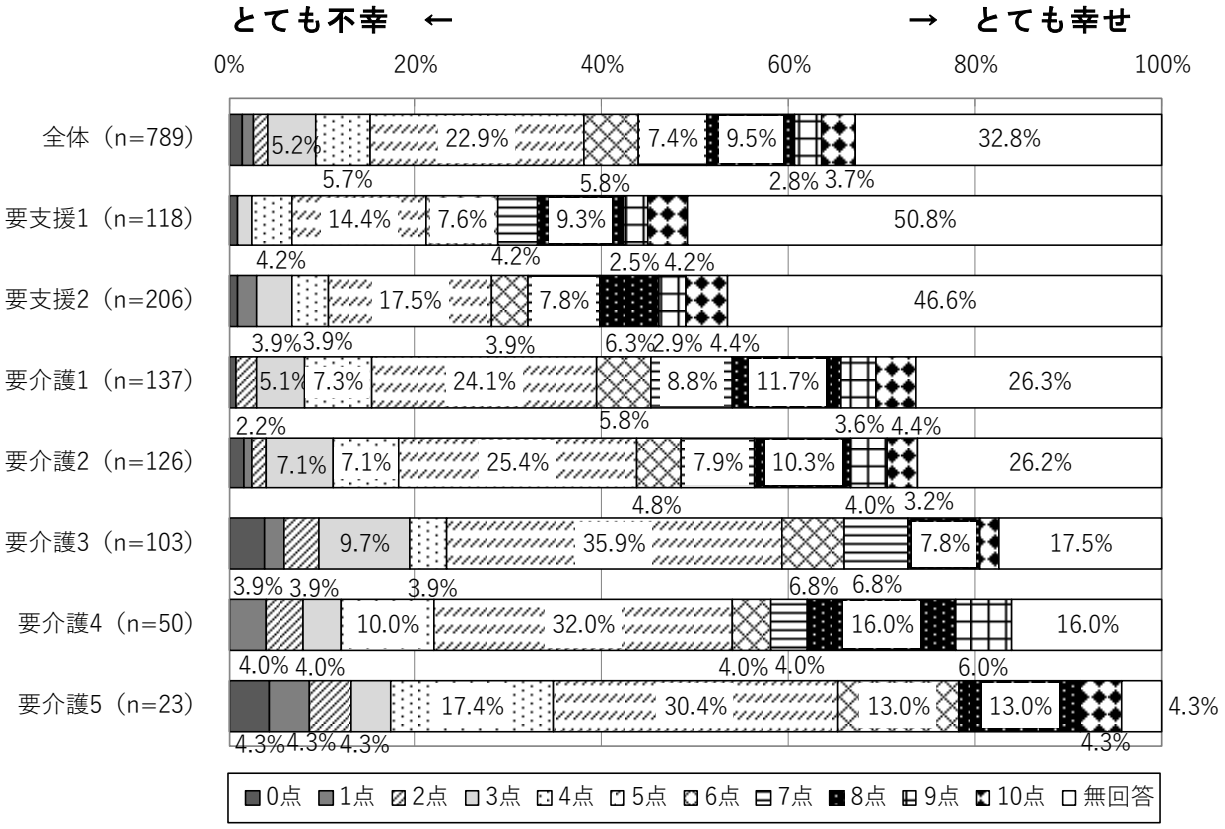
また、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』が 23.7%となっています。



	とてもよい	まあよい	あまり よくない	よくない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	39	305	157	30	258	789	713	1,502
要支援1	2	36	17	1	62	118	283	401
要支援2	14	48	41	6	97	206	252	458
要介護1	12	57	25	8	35	137	57	194
要介護2	5	59	28	6	28	126	36	162
要介護3	5	48	24	6	20	103	8	111
要介護4	1	28	10	2	9	50	5	55
要介護5	0	17	5	0	1	23	5	28
全体（n=789）	4.9%	38.7%	19.9%	3.8%	32.7%	100.0%		
要支援1（n=118）	1.7%	30.5%	14.4%	0.8%	52.5%	100.0%		
要支援2（n=206）	6.8%	23.3%	19.9%	2.9%	47.1%	100.0%		
要介護1（n=137）	8.8%	41.6%	18.2%	5.8%	25.5%	100.0%		
要介護2（n=126）	4.0%	46.8%	22.2%	4.8%	22.2%	100.0%		
要介護3（n=103）	4.9%	46.6%	23.3%	5.8%	19.4%	100.0%		
要介護4（n=50）	2.0%	56.0%	20.0%	4.0%	18.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	0.0%	73.9%	21.7%	0.0%	4.3%	100.0%		

問 6　あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、御記入ください。）

現在の幸せ度では、「5 点」が 22.9%と最も多く、次いで「8 点」が 9.5%、「7 点」が 7.4%となっています。

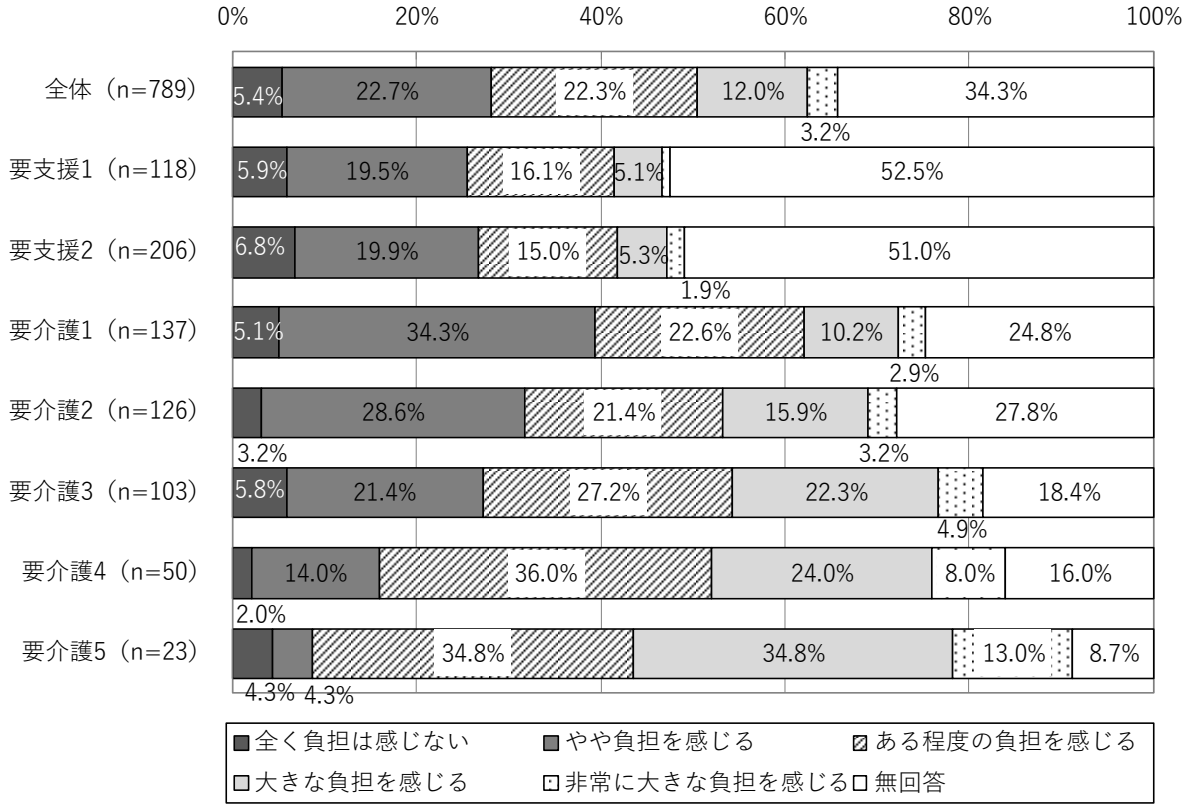


	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	11	10	12	41	45	181	46	58	75	22	29	259	789	713	1,502
要支援1	1	0	0	2	5	17	9	5	11	3	5	60	118	283	401
要支援2	2	4	0	8	8	36	8	16	13	6	9	96	206	252	458
要介護1	1	0	3	7	10	33	8	12	16	5	6	36	137	57	194
要介護2	2	1	2	9	9	32	6	10	13	5	4	33	126	36	162
要介護3	4	2	4	10	4	37	7	7	8	0	2	18	103	8	111
要介護4	0	2	2	2	5	16	2	2	8	3	0	8	50	5	55
要介護5	1	1	1	1	4	7	3	0	3	0	1	1	23	5	28
全体(n=789)	1.4%	1.3%	1.5%	5.2%	5.7%	22.9%	5.8%	7.4%	9.5%	2.8%	3.7%	32.8%	100.0%		
要支援1(n=118)	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	4.2%	14.4%	7.6%	4.2%	9.3%	2.5%	4.2%	50.8%	100.0%		
要支援2(n=206)	1.0%	1.9%	0.0%	3.9%	3.9%	17.5%	3.9%	7.8%	6.3%	2.9%	4.4%	46.6%	100.0%		
要介護1(n=137)	0.7%	0.0%	2.2%	5.1%	7.3%	24.1%	5.8%	8.8%	11.7%	3.6%	4.4%	26.3%	100.0%		
要介護2(n=126)	1.6%	0.8%	1.6%	7.1%	7.1%	25.4%	4.8%	7.9%	10.3%	4.0%	3.2%	26.2%	100.0%		
要介護3(n=103)	3.9%	1.9%	3.9%	9.7%	3.9%	35.9%	6.8%	6.8%	7.8%	0.0%	1.9%	17.5%	100.0%		
要介護4(n=50)	0.0%	4.0%	4.0%	4.0%	10.0%	32.0%	4.0%	4.0%	16.0%	6.0%	0.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	17.4%	30.4%	13.0%	0.0%	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%	100.0%		

問 7　あなたの介護負担はどれくらいですか。

介護の負担では、「やや負担を感じる」「ある程度の負担を感じる」「大きな負担を感じる」「非常に大きな負担を感じる」を合わせた『負担を感じる』が 60.2%となっています。

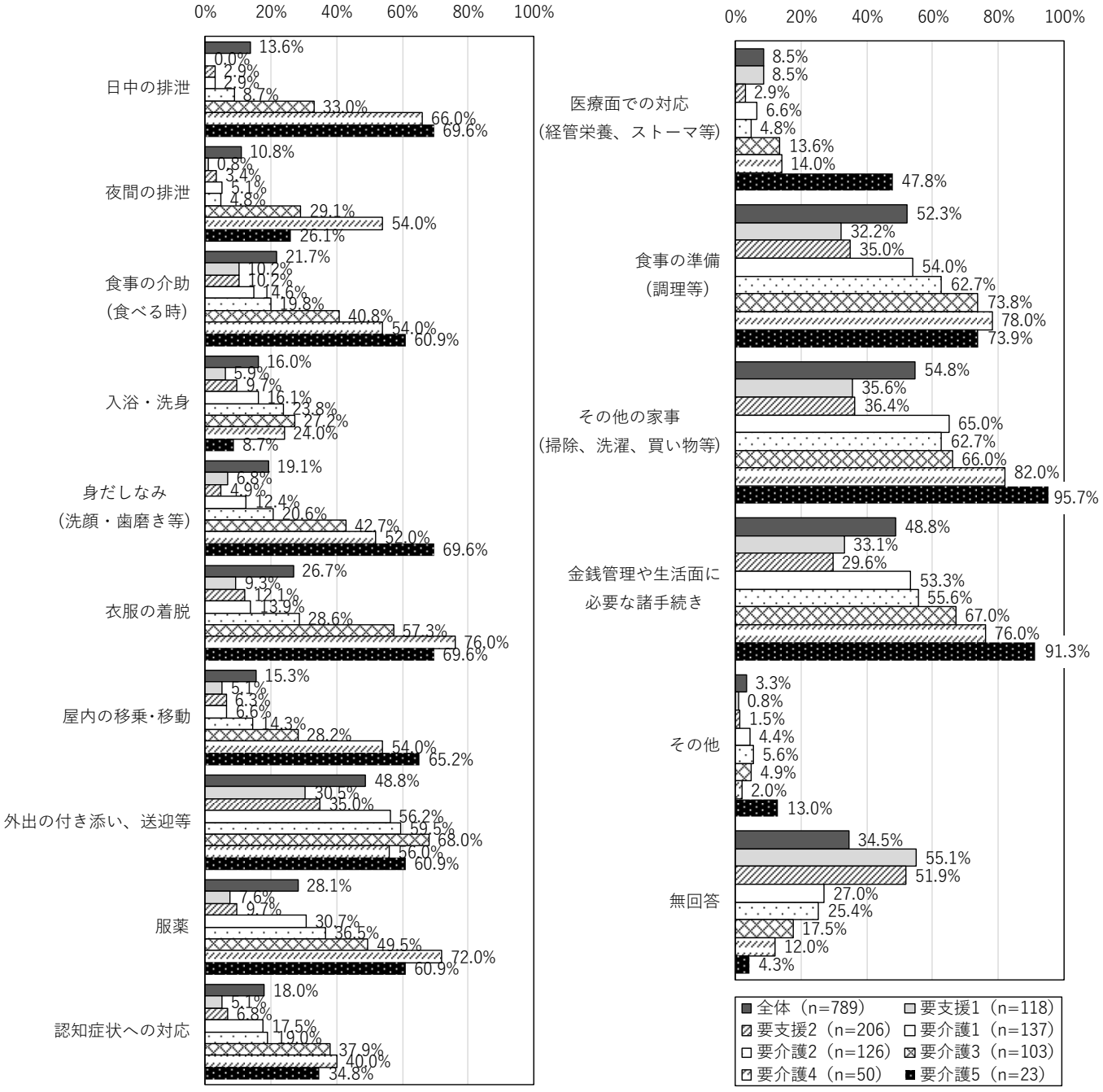
また、「全く負担は感じない」は 5.4%となっています。



	全く負担は感じない	やや負担を感じる	ある程度の負担を感じる	大きな負担を感じる	非常に大きな負担を感じる	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	43	179	176	95	25	271	789	713	1,502
要支援1	7	23	19	6	1	62	118	283	401
要支援2	14	41	31	11	4	105	206	252	458
要介護1	7	47	31	14	4	34	137	57	194
要介護2	4	36	27	20	4	35	126	36	162
要介護3	6	22	28	23	5	19	103	8	111
要介護4	1	7	18	12	4	8	50	5	55
要介護5	1	1	8	8	3	2	23	5	28
全体（n=789）	5.4%	22.7%	22.3%	12.0%	3.2%	34.3%	100.0%		
要支援1（n=118）	5.9%	19.5%	16.1%	5.1%	0.8%	52.5%	100.0%		
要支援2（n=206）	6.8%	19.9%	15.0%	5.3%	1.9%	51.0%	100.0%		
要介護1（n=137）	5.1%	34.3%	22.6%	10.2%	2.9%	24.8%	100.0%		
要介護2（n=126）	3.2%	28.6%	21.4%	15.9%	3.2%	27.8%	100.0%		
要介護3（n=103）	5.8%	21.4%	27.2%	22.3%	4.9%	18.4%	100.0%		
要介護4（n=50）	2.0%	14.0%	36.0%	24.0%	8.0%	16.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	4.3%	4.3%	34.8%	34.8%	13.0%	8.7%	100.0%		

問 8　現在、あなたが行っている介護等について、御回答ください。（あてはまるものすべてに○）

現在、介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 54.8%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が 52.3%、「外出の付き添い、送迎等」が 48.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 48.8%となっています。

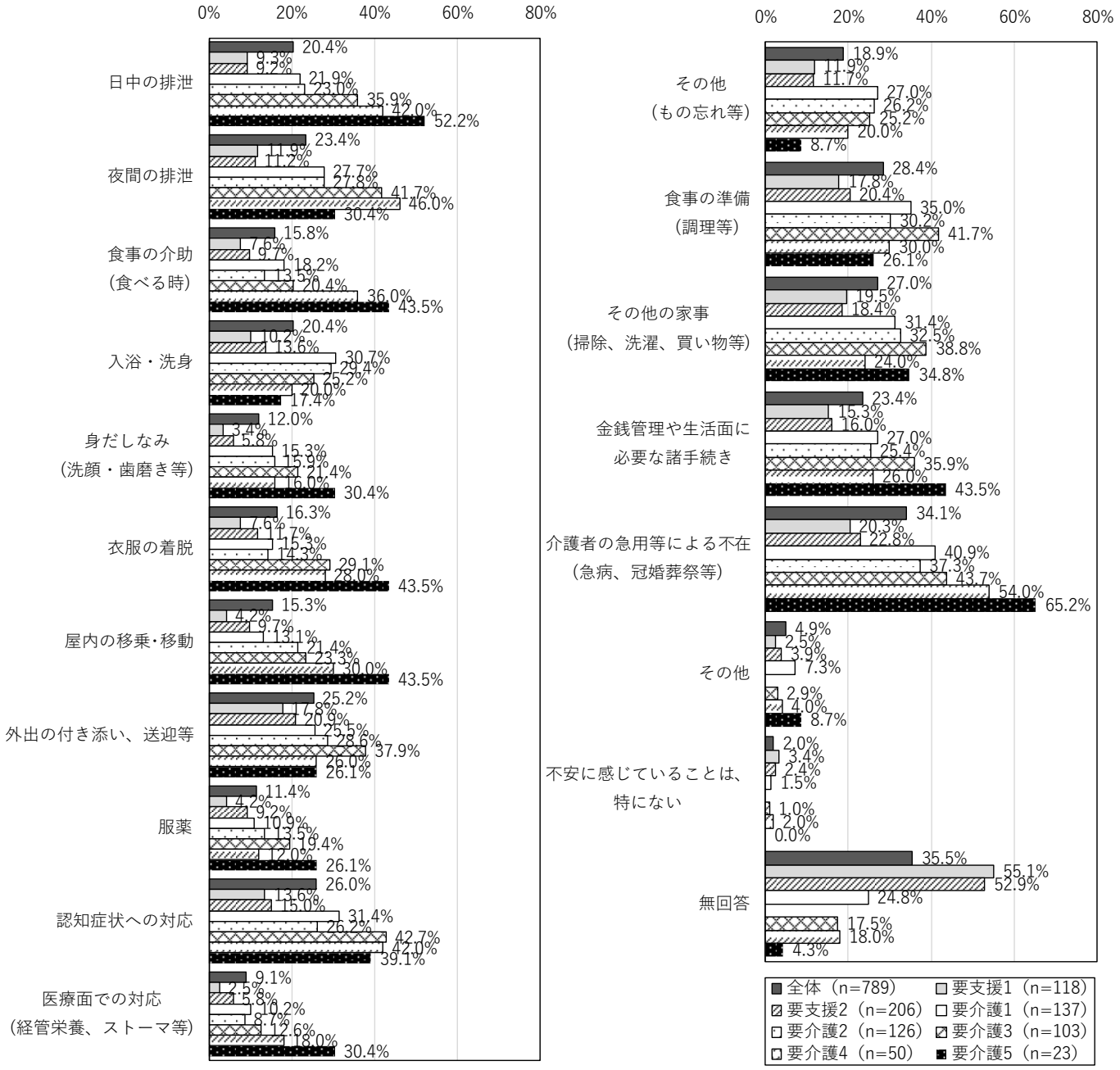


	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体	107	85	171	126	151	211	121	385	222	142
要支援1	0	1	12	7	8	11	6	36	9	6
要支援2	6	7	21	20	10	25	13	72	20	14
要介護1	4	7	20	22	17	19	9	77	42	24
要介護2	11	6	25	30	26	36	18	75	46	24
要介護3	34	30	42	28	44	59	29	70	51	39
要介護4	33	27	27	12	26	38	27	28	36	20
要介護5	16	6	14	2	16	16	15	14	14	8
全体(n=789)	13.6%	10.8%	21.7%	16.0%	19.1%	26.7%	15.3%	48.8%	28.1%	18.0%
要支援1(n=118)	0.0%	0.8%	10.2%	5.9%	6.8%	9.3%	5.1%	30.5%	7.6%	5.1%
要支援2(n=206)	2.9%	3.4%	10.2%	9.7%	4.9%	12.1%	6.3%	35.0%	9.7%	6.8%
要介護1(n=137)	2.9%	5.1%	14.6%	16.1%	12.4%	13.9%	6.6%	56.2%	30.7%	17.5%
要介護2(n=126)	8.7%	4.8%	19.8%	23.8%	20.6%	28.6%	14.3%	59.5%	36.5%	19.0%
要介護3(n=103)	33.0%	29.1%	40.8%	27.2%	42.7%	57.3%	28.2%	68.0%	49.5%	37.9%
要介護4(n=50)	66.0%	54.0%	54.0%	24.0%	52.0%	76.0%	54.0%	56.0%	72.0%	40.0%
要介護5(n=23)	69.6%	26.1%	60.9%	8.7%	69.6%	69.6%	65.2%	60.9%	60.9%	34.8%

	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	無回答	回答者数	非該当	合計	
全体	67	413	432	385	26	272	789	713	1,502	
要支援1	10	38	42	39	1	65	118	283	401	
要支援2	6	72	75	61	3	107	206	252	458	
要介護1	9	74	89	73	6	37	137	57	194	
要介護2	6	79	79	70	7	32	126	36	162	
要介護3	14	76	68	69	5	18	103	8	111	
要介護4	7	39	41	38	1	6	50	5	55	
要介護5	11	17	22	21	3	1	23	5	28	
全体(n=789)	8.5%	52.3%	54.8%	48.8%	3.3%	34.5%				
要支援1(n=118)	8.5%	32.2%	35.6%	33.1%	0.8%	55.1%				
要支援2(n=206)	2.9%	35.0%	36.4%	29.6%	1.5%	51.9%				
要介護1(n=137)	6.6%	54.0%	65.0%	53.3%	4.4%	27.0%				
要介護2(n=126)	4.8%	62.7%	62.7%	55.6%	5.6%	25.4%				
要介護3(n=103)	13.6%	73.8%	66.0%	67.0%	4.9%	17.5%				
要介護4(n=50)	14.0%	78.0%	82.0%	76.0%	2.0%	12.0%				
要介護5(n=23)	47.8%	73.9%	95.7%	91.3%	13.0%	4.3%				

問９　現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じる介護等について、御回答ください。（いくつでも）

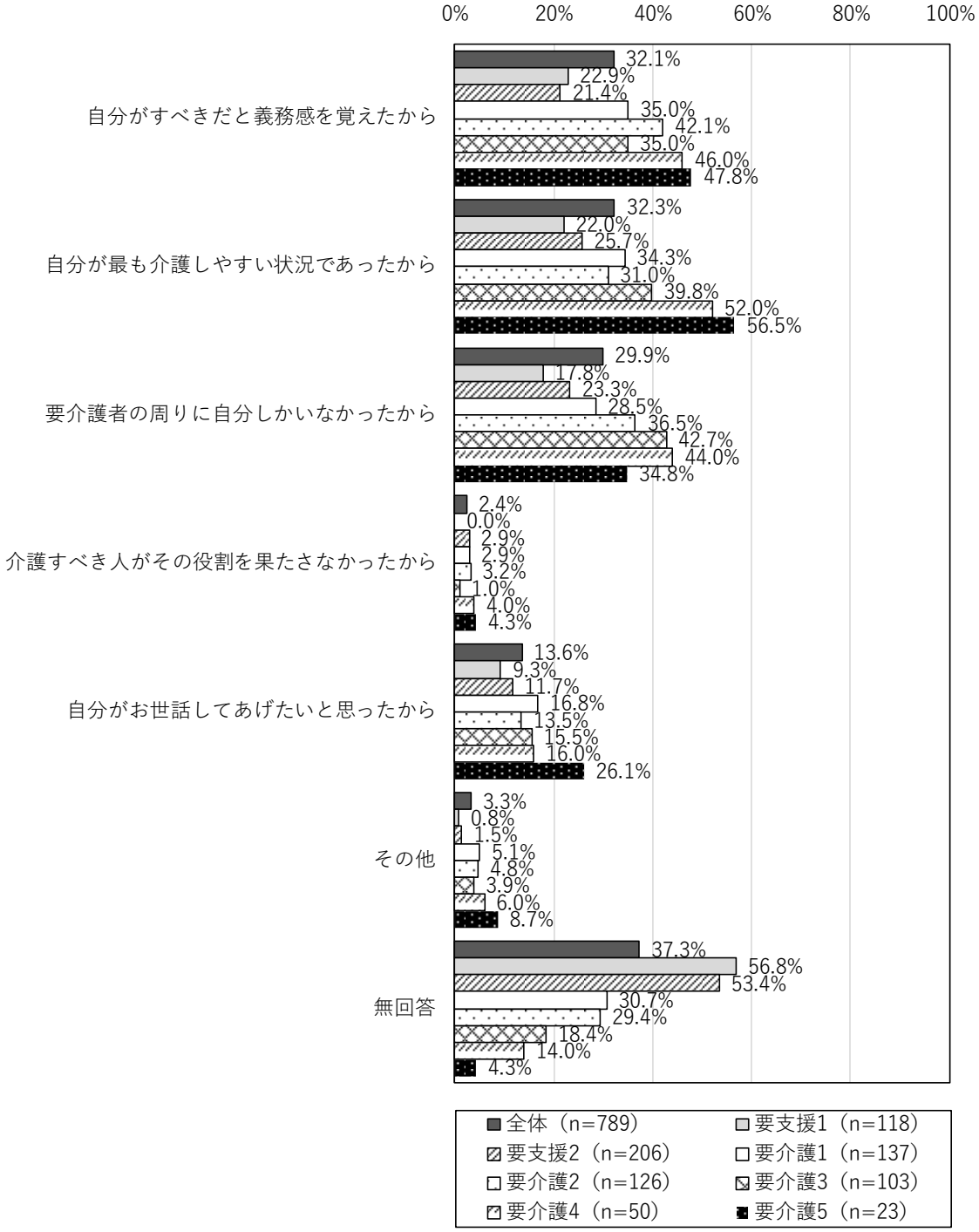
現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じる介護等では、「介護者の急用等による不在（急病、冠婚葬祭等）」が 34.1%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が 28.4%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 27.0%となっています。



	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
全体	161	185	125	161	95	129	121	199	90	205	72
要支援1	11	14	9	12	4	9	5	21	5	16	3
要支援2	19	23	20	28	12	24	20	43	19	31	12
要介護1	30	38	25	42	21	21	18	35	15	43	14
要介護2	29	35	17	37	20	18	27	36	17	33	11
要介護3	37	43	21	26	22	30	24	39	20	44	13
要介護4	21	23	18	10	8	14	15	13	6	21	9
要介護5	12	7	10	4	7	10	10	6	6	9	7
全体(n=789)	20.4%	23.4%	15.8%	20.4%	12.0%	16.3%	15.3%	25.2%	11.4%	26.0%	9.1%
要支援1(n=118)	9.3%	11.9%	7.6%	10.2%	3.4%	7.6%	4.2%	17.8%	4.2%	13.6%	2.5%
要支援2(n=206)	9.2%	11.2%	9.7%	13.6%	5.8%	11.7%	9.7%	20.9%	9.2%	15.0%	5.8%
要介護1(n=137)	21.9%	27.7%	18.2%	30.7%	15.3%	15.3%	13.1%	25.5%	10.9%	31.4%	10.2%
要介護2(n=126)	23.0%	27.8%	13.5%	29.4%	15.9%	14.3%	21.4%	28.6%	13.5%	26.2%	8.7%
要介護3(n=103)	35.9%	41.7%	20.4%	25.2%	21.4%	29.1%	23.3%	37.9%	19.4%	42.7%	12.6%
要介護4(n=50)	42.0%	46.0%	36.0%	20.0%	16.0%	28.0%	30.0%	26.0%	12.0%	42.0%	18.0%
要介護5(n=23)	52.2%	30.4%	43.5%	17.4%	30.4%	43.5%	43.5%	26.1%	26.1%	39.1%	30.4%
	その他（もの忘れ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	介護者の急用等による不在（急病、冠婚葬祭等）	その他	不安に感じていることは、特にない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	149	224	213	185	269	39	16	280	789	713	1,502
要支援1	14	21	23	18	24	3	4	65	118	283	401
要支援2	24	42	38	33	47	8	5	109	206	252	458
要介護1	37	48	43	37	56	10	2	34	137	57	194
要介護2	33	38	41	32	47	11	3	36	126	36	162
要介護3	26	43	40	37	45	3	1	18	103	8	111
要介護4	10	15	12	13	27	2	1	9	50	5	55
要介護5	2	6	8	10	15	2	0	1	23	5	28
全体(n=789)	18.9%	28.4%	27.0%	23.4%	34.1%	4.9%	2.0%	35.5%			
要支援1(n=118)	11.9%	17.8%	19.5%	15.3%	20.3%	2.5%	3.4%	55.1%			
要支援2(n=206)	11.7%	20.4%	18.4%	16.0%	22.8%	3.9%	2.4%	52.9%			
要介護1(n=137)	27.0%	35.0%	31.4%	27.0%	40.9%	7.3%	1.5%	24.8%			
要介護2(n=126)	26.2%	30.2%	32.5%	25.4%	37.3%	8.7%	2.4%	28.6%			
要介護3(n=103)	25.2%	41.7%	38.8%	35.9%	43.7%	2.9%	1.0%	17.5%			
要介護4(n=50)	20.0%	30.0%	24.0%	26.0%	54.0%	4.0%	2.0%	18.0%			
要介護5(n=23)	8.7%	26.1%	34.8%	43.5%	65.2%	8.7%	0.0%	4.3%			

問 10　あなたが介護をするに至った理由は何ですか。（いくつでも）

介護をするに至った理由では、「自分が最も介護しやすい状況であったから」が 32.3%と最も多く、次いで「自分がすべきだと義務感を覚えたから」が 32.1%、「要介護者の周りに自分しかいなかったから」が 29.9%となっています。

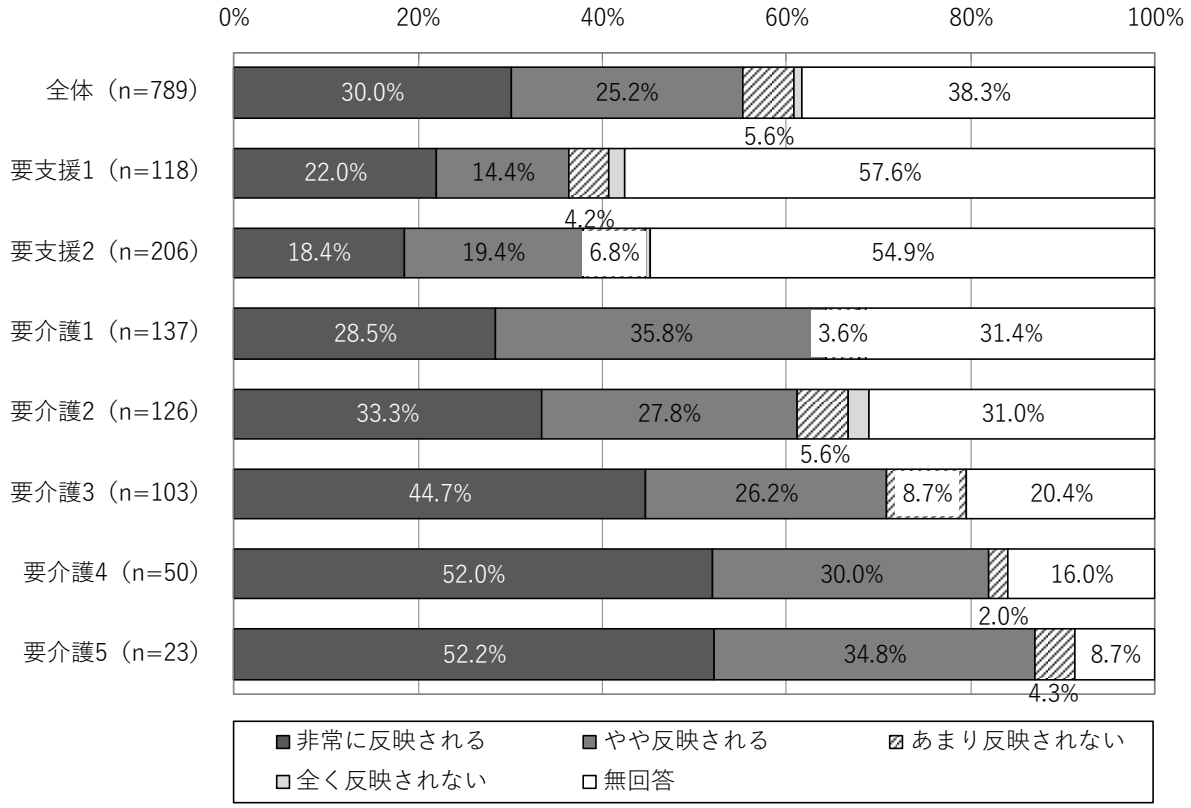


	自分がすべきだと義務感を覚えたから	自分が最も介護しやすい状況であったから	要介護者の周りに自分しかいなかったから	介護すべき人がその役割を果たさなかったから	自分がお世話してあげたいと思ったから	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	253	255	236	19	107	26	294	789	713	1,502
要支援1	27	26	21	0	11	1	67	118	283	401
要支援2	44	53	48	6	24	3	110	206	252	458
要介護1	48	47	39	4	23	7	42	137	57	194
要介護2	53	39	46	4	17	6	37	126	36	162
要介護3	36	41	44	1	16	4	19	103	8	111
要介護4	23	26	22	2	8	3	7	50	5	55
要介護5	11	13	8	1	6	2	1	23	5	28
全体(n=789)	32.1%	32.3%	29.9%	2.4%	13.6%	3.3%	37.3%			
要支援1(n=118)	22.9%	22.0%	17.8%	0.0%	9.3%	0.8%	56.8%			
要支援2(n=206)	21.4%	25.7%	23.3%	2.9%	11.7%	1.5%	53.4%			
要介護1(n=137)	35.0%	34.3%	28.5%	2.9%	16.8%	5.1%	30.7%			
要介護2(n=126)	42.1%	31.0%	36.5%	3.2%	13.5%	4.8%	29.4%			
要介護3(n=103)	35.0%	39.8%	42.7%	1.0%	15.5%	3.9%	18.4%			
要介護4(n=50)	46.0%	52.0%	44.0%	4.0%	16.0%	6.0%	14.0%			
要介護5(n=23)	47.8%	56.5%	34.8%	4.3%	26.1%	8.7%	4.3%			

問 11　介護方針を決める際に、どれくらいあなたの意見が反映されますか。

介護方針を決める際に、どれくらいあなたの意見が反映されているかでは、「非常に反映される」「やや反映される」を合わせた『反映される』が 55.2%となっています。

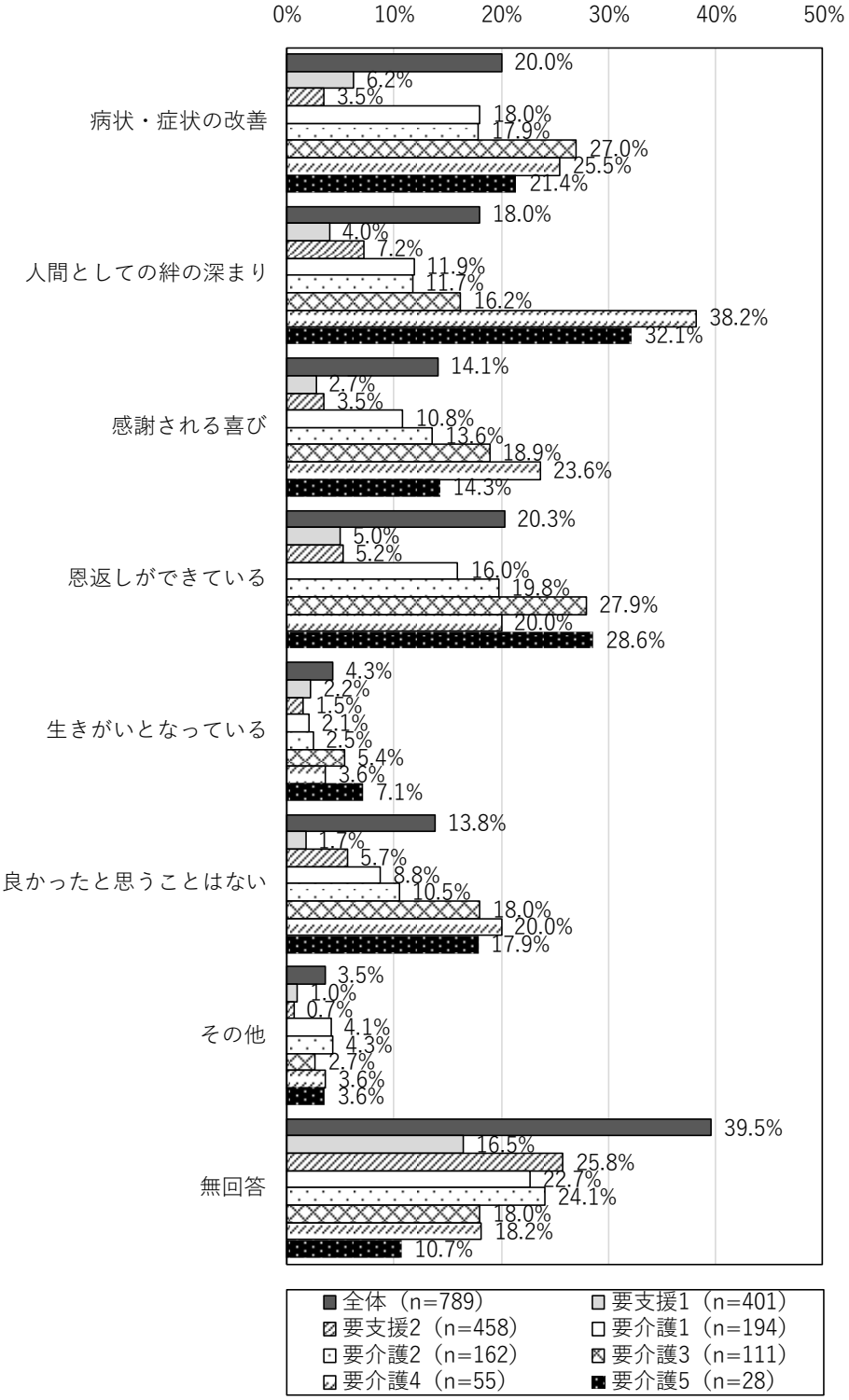
また、「あまり反映されない」「全く反映されない」を合わせた『反映されない』が 6.5%となっています。



	非常に反映される	やや反映される	あまり反映されない	全く反映されない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	237	199	44	7	302	789	713	1,502
要支援1	26	17	5	2	68	118	283	401
要支援2	38	40	14	1	113	206	252	458
要介護1	39	49	5	1	43	137	57	194
要介護2	42	35	7	3	39	126	36	162
要介護3	46	27	9	0	21	103	8	111
要介護4	26	15	1	0	8	50	5	55
要介護5	12	8	1	0	2	23	5	28
全体(n=789)	30.0%	25.2%	5.6%	0.9%	38.3%	100.0%		
要支援1(n=118)	22.0%	14.4%	4.2%	1.7%	57.6%	100.0%		
要支援2(n=206)	18.4%	19.4%	6.8%	0.5%	54.9%	100.0%		
要介護1(n=137)	28.5%	35.8%	3.6%	0.7%	31.4%	100.0%		
要介護2(n=126)	33.3%	27.8%	5.6%	2.4%	31.0%	100.0%		
要介護3(n=103)	44.7%	26.2%	8.7%	0.0%	20.4%	100.0%		
要介護4(n=50)	52.0%	30.0%	2.0%	0.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	52.2%	34.8%	4.3%	0.0%	8.7%	100.0%		

問 12　介護をしていて良かったと思うことは何ですか。（いくつでも）

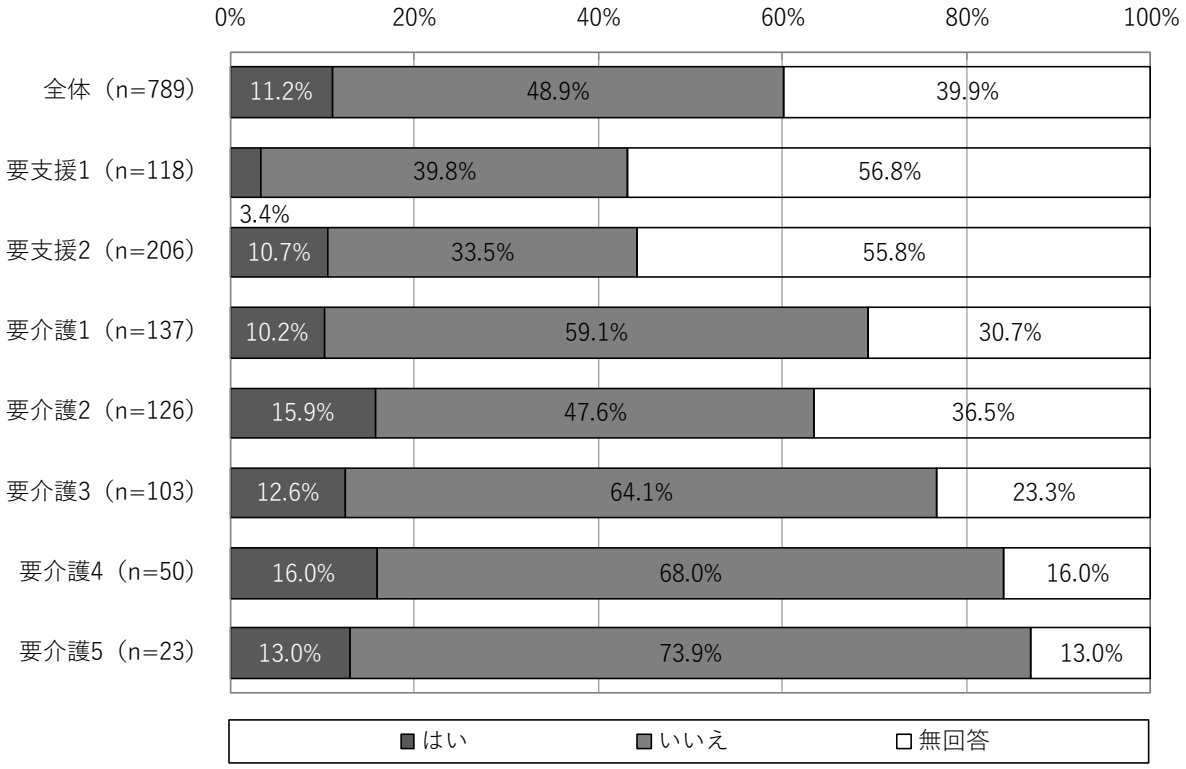
介護をしていて良かったと思うことでは、「恩返しができている」が 20.3%と最も多く、次いで「病状・症状の改善」が 20.0%、「人間としての絆の深まり」が 18.0%となっています。



	病状・症状の改善	人間としての絆の深まり	感謝される喜び	恩返しができている	生きがいとなっている	良かったと思うことはない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	158	142	111	160	34	109	28	312	789	713	1,502
要支援1	25	16	11	20	9	7	4	66	118	283	401
要支援2	16	33	16	24	7	26	3	118	206	252	458
要介護1	35	23	21	31	4	17	8	44	137	57	194
要介護2	29	19	22	32	4	17	7	39	126	36	162
要介護3	30	18	21	31	6	20	3	20	103	8	111
要介護4	14	21	13	11	2	11	2	10	50	5	55
要介護5	6	9	4	8	2	5	1	3	23	5	28
全体(n=789)	20.0%	18.0%	14.1%	20.3%	4.3%	13.8%	3.5%	39.5%			
要支援1(n=401)	6.2%	4.0%	2.7%	5.0%	2.2%	1.7%	1.0%	16.5%			
要支援2(n=458)	3.5%	7.2%	3.5%	5.2%	1.5%	5.7%	0.7%	25.8%			
要介護1(n=194)	18.0%	11.9%	10.8%	16.0%	2.1%	8.8%	4.1%	22.7%			
要介護2(n=162)	17.9%	11.7%	13.6%	19.8%	2.5%	10.5%	4.3%	24.1%			
要介護3(n=111)	27.0%	16.2%	18.9%	27.9%	5.4%	18.0%	2.7%	18.0%			
要介護4(n=55)	25.5%	38.2%	23.6%	20.0%	3.6%	20.0%	3.6%	18.2%			
要介護5(n=28)	21.4%	32.1%	14.3%	28.6%	7.1%	17.9%	3.6%	10.7%			

問 13　家族の介護をすることは、あなたの人生に悪い影響を与えていると思いますか。

家族の介護をすることは、あなたの人生に悪い影響を与えていると思うかでは、「はい」が 11.2%、「いいえ」が 48.9%となっています。

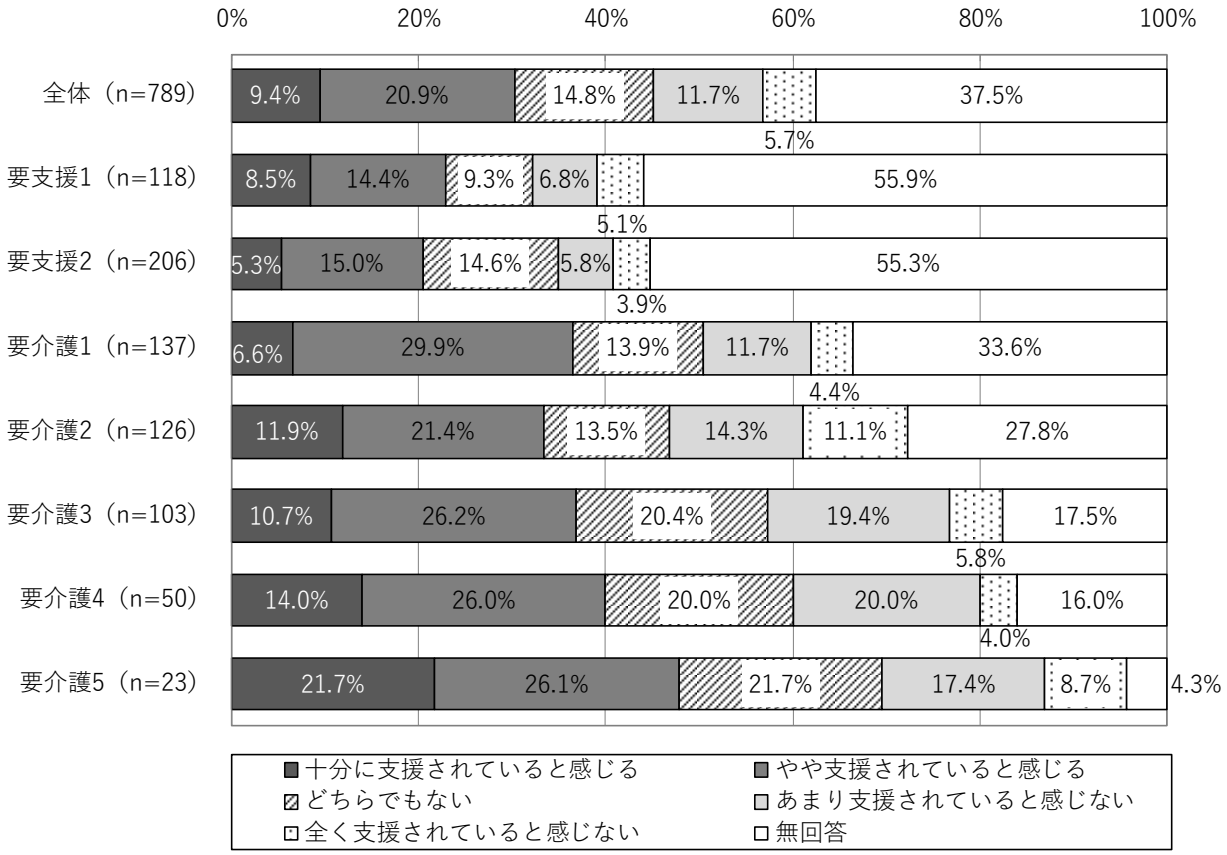


	はい	いいえ	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	88	386	315	789	713	1,502
要支援1	4	47	67	118	283	401
要支援2	22	69	115	206	252	458
要介護1	14	81	42	137	57	194
要介護2	20	60	46	126	36	162
要介護3	13	66	24	103	8	111
要介護4	8	34	8	50	5	55
要介護5	3	17	3	23	5	28
全体(n=789)	11.2%	48.9%	39.9%	100.0%		
要支援1(n=118)	3.4%	39.8%	56.8%	100.0%		
要支援2(n=206)	10.7%	33.5%	55.8%	100.0%		
要介護1(n=137)	10.2%	59.1%	30.7%	100.0%		
要介護2(n=126)	15.9%	47.6%	36.5%	100.0%		
要介護3(n=103)	12.6%	64.1%	23.3%	100.0%		
要介護4(n=50)	16.0%	68.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	13.0%	73.9%	13.0%	100.0%		

問 14　介護をしているあなた自身に対して、支援されていると感じますか。

介護をしているあなた自身に対して、支援されていると感じるかでは、「十分に支援されていると感じる」「やや支援されていると感じる」を合わせた『支援されていると感じる』が 30.3%となっています。

また、「あまり支援されていると感じない」「全く支援されていると感じない」を合わせた『支援されていると感じない』が 17.4%となっています。

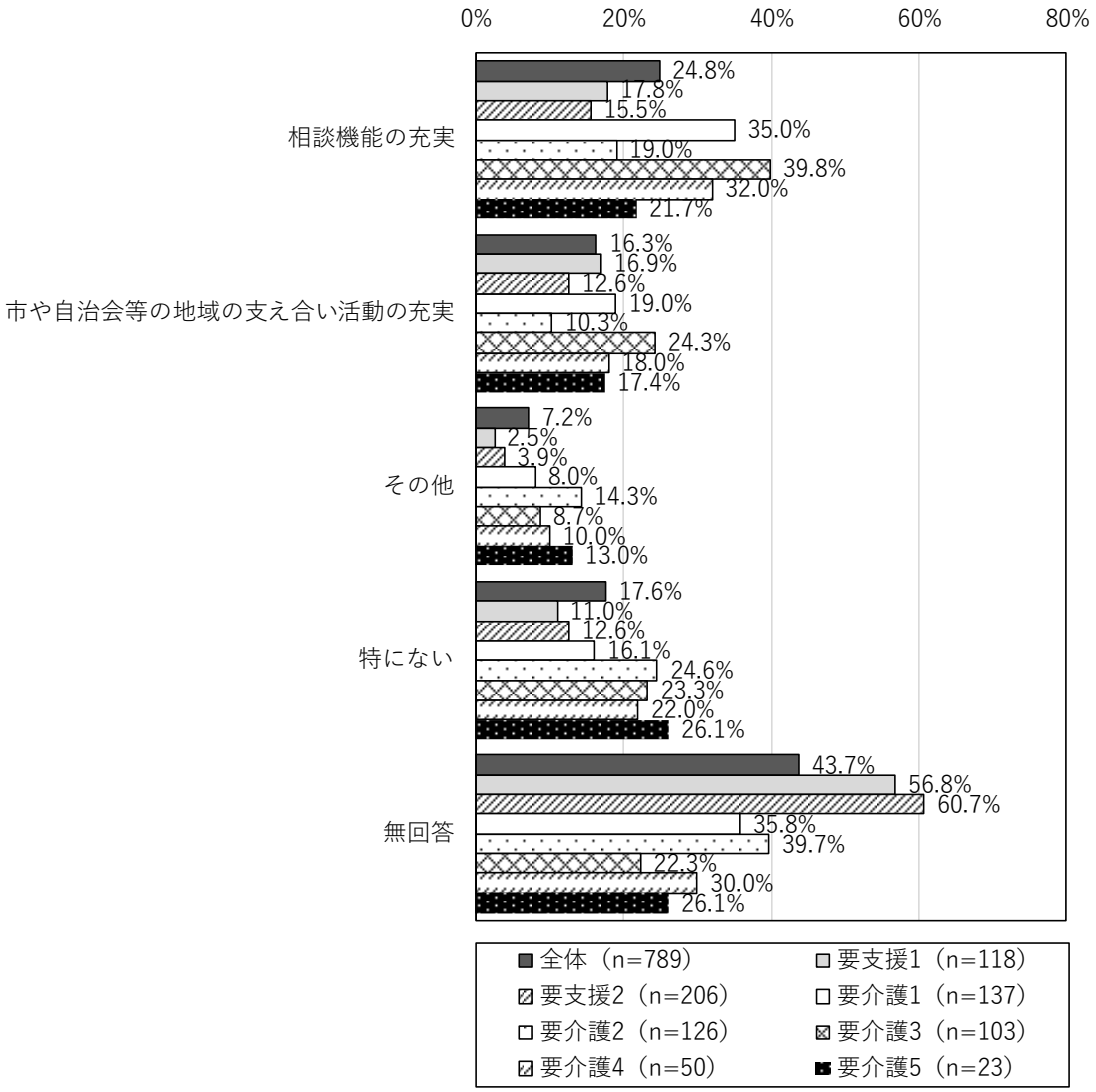


	十分に支援されていると感じる	やや支援されていると感じる	どちらでもない	あまり支援されていると感じない	全く支援されていると感じない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	74	165	117	92	45	296	789	713	1,502
要支援1	10	17	11	8	6	66	118	283	401
要支援2	11	31	30	12	8	114	206	252	458
要介護1	9	41	19	16	6	46	137	57	194
要介護2	15	27	17	18	14	35	126	36	162
要介護3	11	27	21	20	6	18	103	8	111
要介護4	7	13	10	10	2	8	50	5	55
要介護5	5	6	5	4	2	1	23	5	28
全体(n=789)	9.4%	20.9%	14.8%	11.7%	5.7%	37.5%	100.0%		
要支援1(n=118)	8.5%	14.4%	9.3%	6.8%	5.1%	55.9%	100.0%		
要支援2(n=206)	5.3%	15.0%	14.6%	5.8%	3.9%	55.3%	100.0%		
要介護1(n=137)	6.6%	29.9%	13.9%	11.7%	4.4%	33.6%	100.0%		
要介護2(n=126)	11.9%	21.4%	13.5%	14.3%	11.1%	27.8%	100.0%		
要介護3(n=103)	10.7%	26.2%	20.4%	19.4%	5.8%	17.5%	100.0%		
要介護4(n=50)	14.0%	26.0%	20.0%	20.0%	4.0%	16.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	21.7%	26.1%	21.7%	17.4%	8.7%	4.3%	100.0%		

問 15　どのような支援が整えば介護を続けていくことができると感じていますか。（いくつでも○、最もそう感じるもの１つに◎）

どのような支援が整えば介護を続けていくことができると感じているかでは、「相談機能の充実」が 24.8%と最も多く、次いで「市や自治会等の地域の支え合い活動の充実」が 16.3%となっています。

また、「特にない」が 17.6%となっています。



	相談機能の充実	市や自治会等の地域の支え合い活動の充実	その他	特にない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	196	129	57	139	345	789	713	1,502
要支援1	21	20	3	13	67	118	283	401
要支援2	32	26	8	26	125	206	252	458
要介護1	48	26	11	22	49	137	57	194
要介護2	24	13	18	31	50	126	36	162
要介護3	41	25	9	24	23	103	8	111
要介護4	16	9	5	11	15	50	5	55
要介護5	5	4	3	6	6	23	5	28
全体(n=789)	24.8%	16.3%	7.2%	17.6%	43.7%			
要支援1(n=118)	17.8%	16.9%	2.5%	11.0%	56.8%			
要支援2(n=206)	15.5%	12.6%	3.9%	12.6%	60.7%			
要介護1(n=137)	35.0%	19.0%	8.0%	16.1%	35.8%			
要介護2(n=126)	19.0%	10.3%	14.3%	24.6%	39.7%			
要介護3(n=103)	39.8%	24.3%	8.7%	23.3%	22.3%			
要介護4(n=50)	32.0%	18.0%	10.0%	22.0%	30.0%			
要介護5(n=23)	21.7%	17.4%	13.0%	26.1%	26.1%			

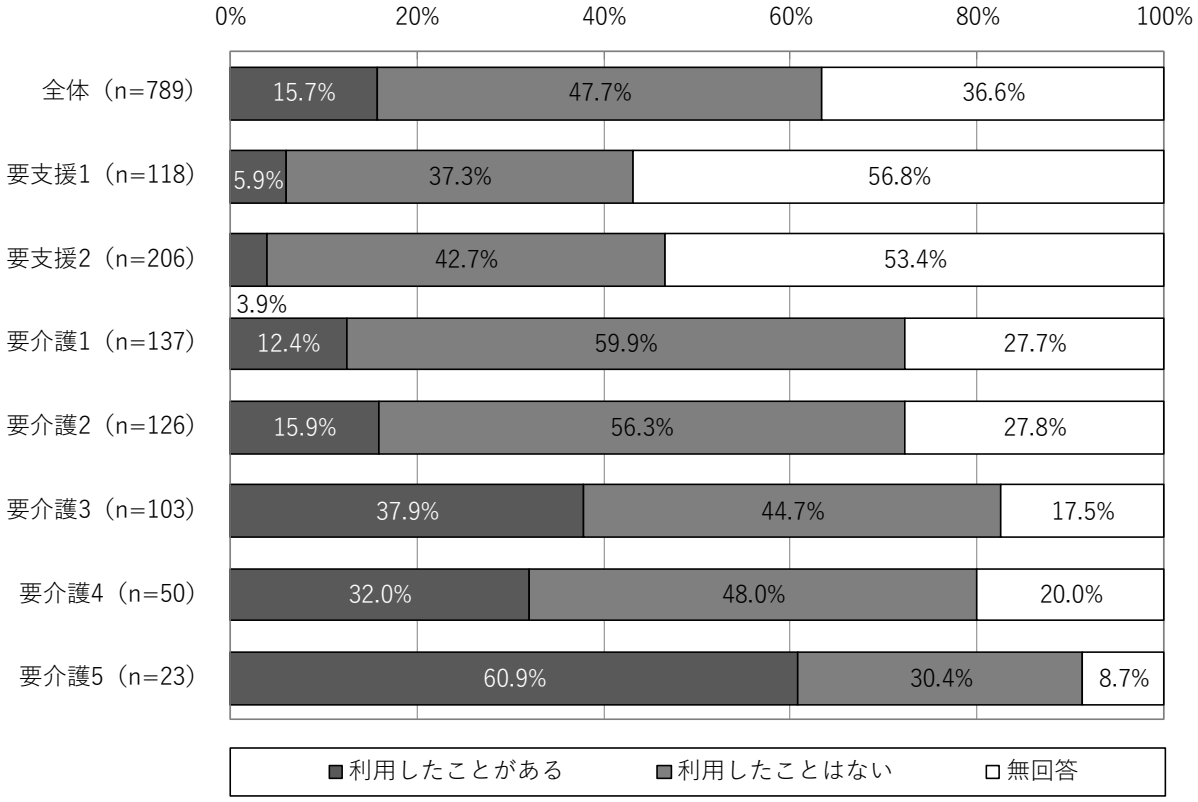
【最もそう感じるもの】

最も感じるものでは、「相談機能の充実」が 11.5%と最も多く、次いで「市や自治会等の地域の支え合い活動の充実」が 7.5%となっています。

	相談機能の充実	市や自治会等の地域の支え合い活動の充実	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	35	23	7	240	305	1,197	1,502
要支援1	3	3	0	32	38	363	401
要支援2	8	4	0	43	55	403	458
要介護1	7	7	2	50	66	128	194
要介護2	4	4	1	36	45	117	162
要介護3	10	2	3	41	56	55	111
要介護4	3	0	1	20	24	31	55
要介護5	0	2	0	9	11	17	28
全体(n=305)	11.5%	7.5%	2.3%	78.7%	100.0%		
要支援1(n=38)	7.9%	7.9%	0.0%	84.2%	100.0%		
要支援2(n=55)	14.5%	7.3%	0.0%	78.2%	100.0%		
要介護1(n=66)	10.6%	10.6%	3.0%	75.8%	100.0%		
要介護2(n=45)	8.9%	8.9%	2.2%	80.0%	100.0%		
要介護3(n=56)	17.9%	3.6%	5.4%	73.2%	100.0%		
要介護4(n=24)	12.5%	0.0%	4.2%	83.3%	100.0%		
要介護5(n=11)	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%	100.0%		

問 16　御家族の事情などにより予定外で緊急で短期入所（緊急ショートステイ）を利用したことがありますか。

家族の事情などにより予定外で緊急で短期入所（緊急ショートステイ）を利用したことがあるかでは、「利用したことがある」が 15.7%、「利用したことはない」が 47.7%となっています。



	利用したことがある	利用したことはない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	124	376	289	789	713	1,502
要支援1	7	44	67	118	283	401
要支援2	8	88	110	206	252	458
要介護1	17	82	38	137	57	194
要介護2	20	71	35	126	36	162
要介護3	39	46	18	103	8	111
要介護4	16	24	10	50	5	55
要介護5	14	7	2	23	5	28
全体（n=789）	15.7%	47.7%	36.6%	100.0%		
要支援1（n=118）	5.9%	37.3%	56.8%	100.0%		
要支援2（n=206）	3.9%	42.7%	53.4%	100.0%		
要介護1（n=137）	12.4%	59.9%	27.7%	100.0%		
要介護2（n=126）	15.9%	56.3%	27.8%	100.0%		
要介護3（n=103）	37.9%	44.7%	17.5%	100.0%		
要介護4（n=50）	32.0%	48.0%	20.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	60.9%	30.4%	8.7%	100.0%		

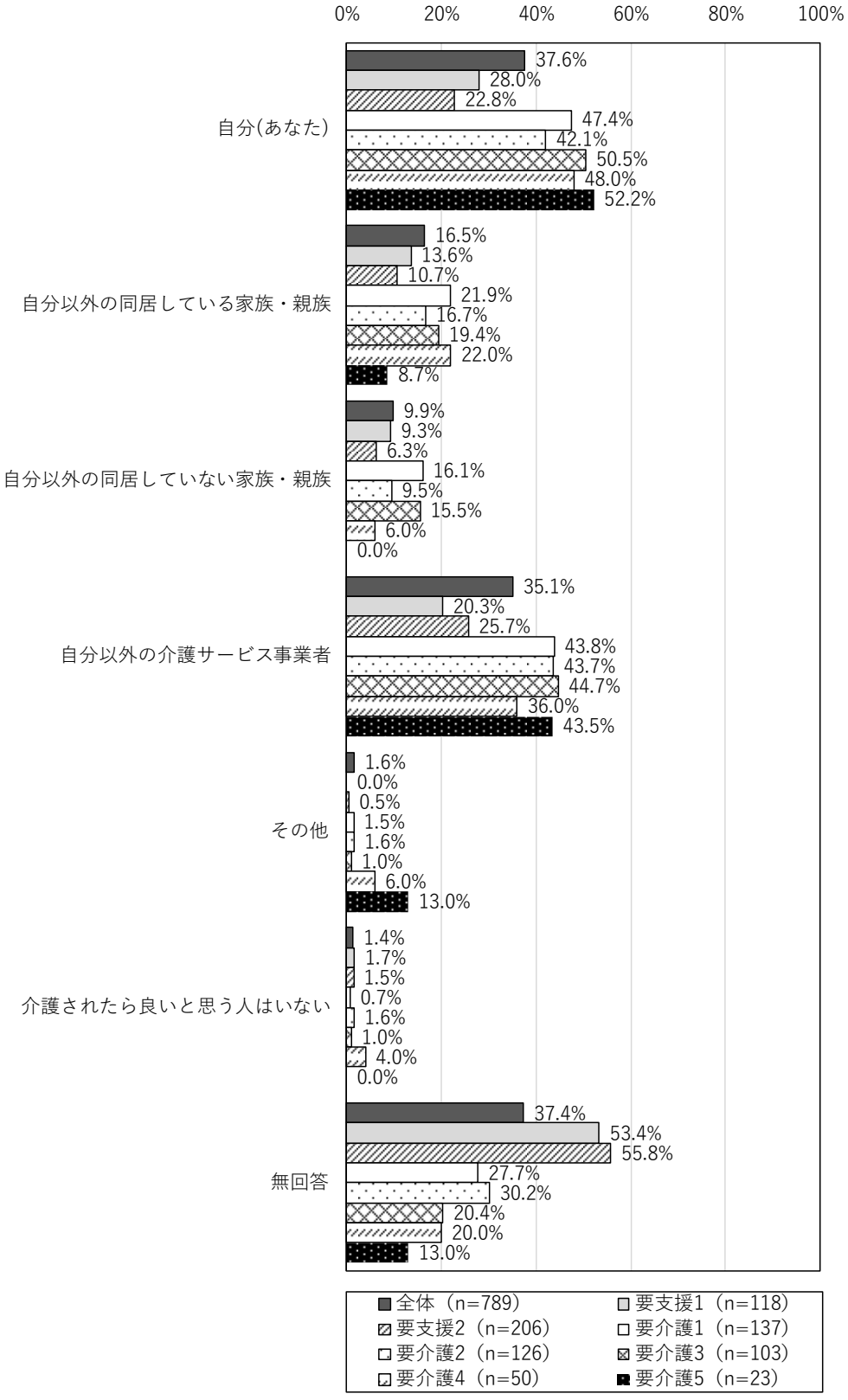
【利用したことがある】

利用したことがある回数では、「1 回」が 40.3%と最も多く、次いで「2 回」が 19.4%、「７回以上」が 9.4%となっています。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	50	24	5	4	3	2	12	24	124	1,378	1,502
要支援1	3	3	0	1	0	0	0	0	7	394	401
要支援2	6	1	0	0	0	0	1	0	8	450	458
要介護1	9	2	0	1	0	0	1	4	17	177	194
要介護2	8	5	2	0	1	0	2	2	20	142	162
要介護3	17	6	0	1	1	1	4	9	39	72	111
要介護4	2	3	2	1	1	0	1	6	16	39	55
要介護5	4	3	1	0	0	1	2	3	14	14	28
全体(n=124)	40.3%	19.4%	4.0%	3.2%	2.4%	1.6%	9.7%	19.4%	100.0%		
要支援1(n=7)	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
要支援2(n=8)	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%		
要介護1(n=17)	52.9%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	100.0%		
要介護2(n=20)	40.0%	25.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	10.0%	100.0%		
要介護3(n=39)	43.6%	15.4%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%	10.3%	23.1%	100.0%		
要介護4(n=16)	12.5%	18.8%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	37.5%	100.0%		
要介護5(n=14)	28.6%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	21.4%	100.0%		

問 17　あなたは、要介護者の方が今の要介護（要支援）状態が続いた場合、要介護者の方は誰に介護をされたら良いと思いますか。（いくつでも）

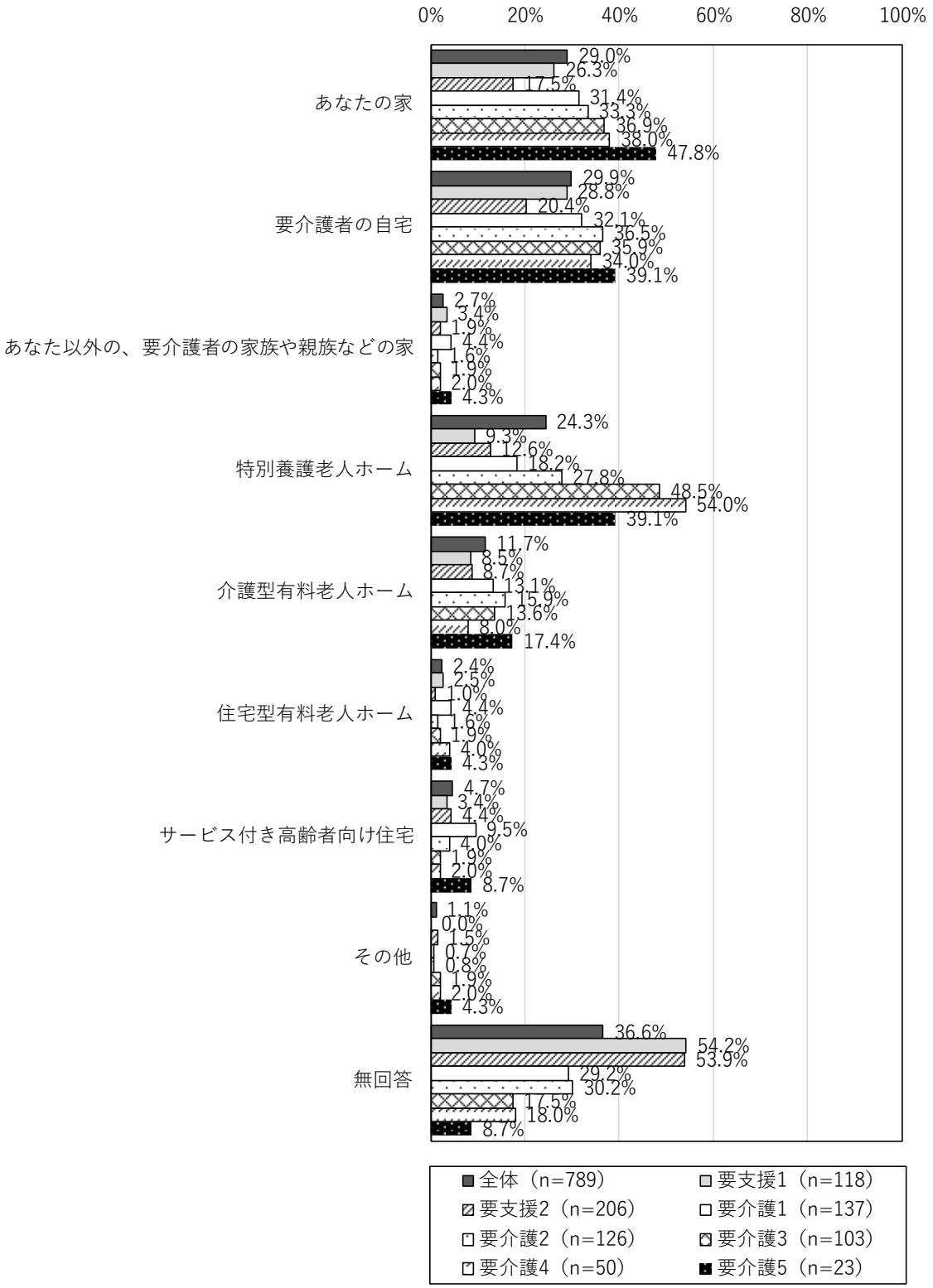
要介護者の方が今の要介護（要支援）状態が続いた場合、要介護者の方は誰に介護をされたら良いと思うかでは、「自分（あなた）」が 37.6%と最も多く、次いで「自分以外の介護サービス事業者」が 35.1%、「自分以外の同居している家族・親族」が 16.5%となっています。



	自分（あなた）	自分以外の同居している家族・親族	自分以外の同居していない家族・親族	自分以外の介護サービス事業者	その他	介護されたら良いと思う人はいない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	297	130	78	277	13	11	295	789	713	1,502
要支援1	33	16	11	24	0	2	63	118	283	401
要支援2	47	22	13	53	1	3	115	206	252	458
要介護1	65	30	22	60	2	1	38	137	57	194
要介護2	53	21	12	55	2	2	38	126	36	162
要介護3	52	20	16	46	1	1	21	103	8	111
要介護4	24	11	3	18	3	2	10	50	5	55
要介護5	12	2	0	10	3	0	3	23	5	28
全体(n=789)	37.6%	16.5%	9.9%	35.1%	1.6%	1.4%	37.4%			
要支援1(n=118)	28.0%	13.6%	9.3%	20.3%	0.0%	1.7%	53.4%			
要支援2(n=206)	22.8%	10.7%	6.3%	25.7%	0.5%	1.5%	55.8%			
要介護1(n=137)	47.4%	21.9%	16.1%	43.8%	1.5%	0.7%	27.7%			
要介護2(n=126)	42.1%	16.7%	9.5%	43.7%	1.6%	1.6%	30.2%			
要介護3(n=103)	50.5%	19.4%	15.5%	44.7%	1.0%	1.0%	20.4%			
要介護4(n=50)	48.0%	22.0%	6.0%	36.0%	6.0%	4.0%	20.0%			
要介護5(n=23)	52.2%	8.7%	0.0%	43.5%	13.0%	0.0%	13.0%			

問 18　あなたは、要介護者の方が今の要介護（要支援）状態が続いた場合、要介護者の方の暮らしの場所はどこが良いと思いますか。（いくつでも○、最も希望するもの１つに◎）

要介護者の方が今の要介護（要支援）状態が続いた場合、要介護者の方の暮らしの場所はどこが良いと思うかでは、「要介護者の自宅」が 29.9%と最も多く、次いで「あなたの家」が 29.0%、「特別養護老人ホーム（※要介護３以上の方が入所対象）」が 24.3%となっています。



	あなたの家	要介護者の自宅	あなた以外の、要介護者の家族や親族などの家	特別養護老人ホーム（※要介護３以上の方が入所対象）	介護型有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	229	236	21	192	92	19	37	9	289	789	713	1,502
要支援1	31	34	4	11	10	3	4	0	64	118	283	401
要支援2	36	42	4	26	18	2	9	3	111	206	252	458
要介護1	43	44	6	25	18	6	13	1	40	137	57	194
要介護2	42	46	2	35	20	2	5	1	38	126	36	162
要介護3	38	37	2	50	14	2	2	2	18	103	8	111
要介護4	19	17	1	27	4	2	1	1	9	50	5	55
要介護5	11	9	1	9	4	1	2	1	2	23	5	28
全体(n=789)	29.0%	29.9%	2.7%	24.3%	11.7%	2.4%	4.7%	1.1%	36.6%			
要支援1(n=118)	26.3%	28.8%	3.4%	9.3%	8.5%	2.5%	3.4%	0.0%	54.2%			
要支援2(n=206)	17.5%	20.4%	1.9%	12.6%	8.7%	1.0%	4.4%	1.5%	53.9%			
要介護1(n=137)	31.4%	32.1%	4.4%	18.2%	13.1%	4.4%	9.5%	0.7%	29.2%			
要介護2(n=126)	33.3%	36.5%	1.6%	27.8%	15.9%	1.6%	4.0%	0.8%	30.2%			
要介護3(n=103)	36.9%	35.9%	1.9%	48.5%	13.6%	1.9%	1.9%	1.9%	17.5%			
要介護4(n=50)	38.0%	34.0%	2.0%	54.0%	8.0%	4.0%	2.0%	2.0%	18.0%			
要介護5(n=23)	47.8%	39.1%	4.3%	39.1%	17.4%	4.3%	8.7%	4.3%	8.7%			

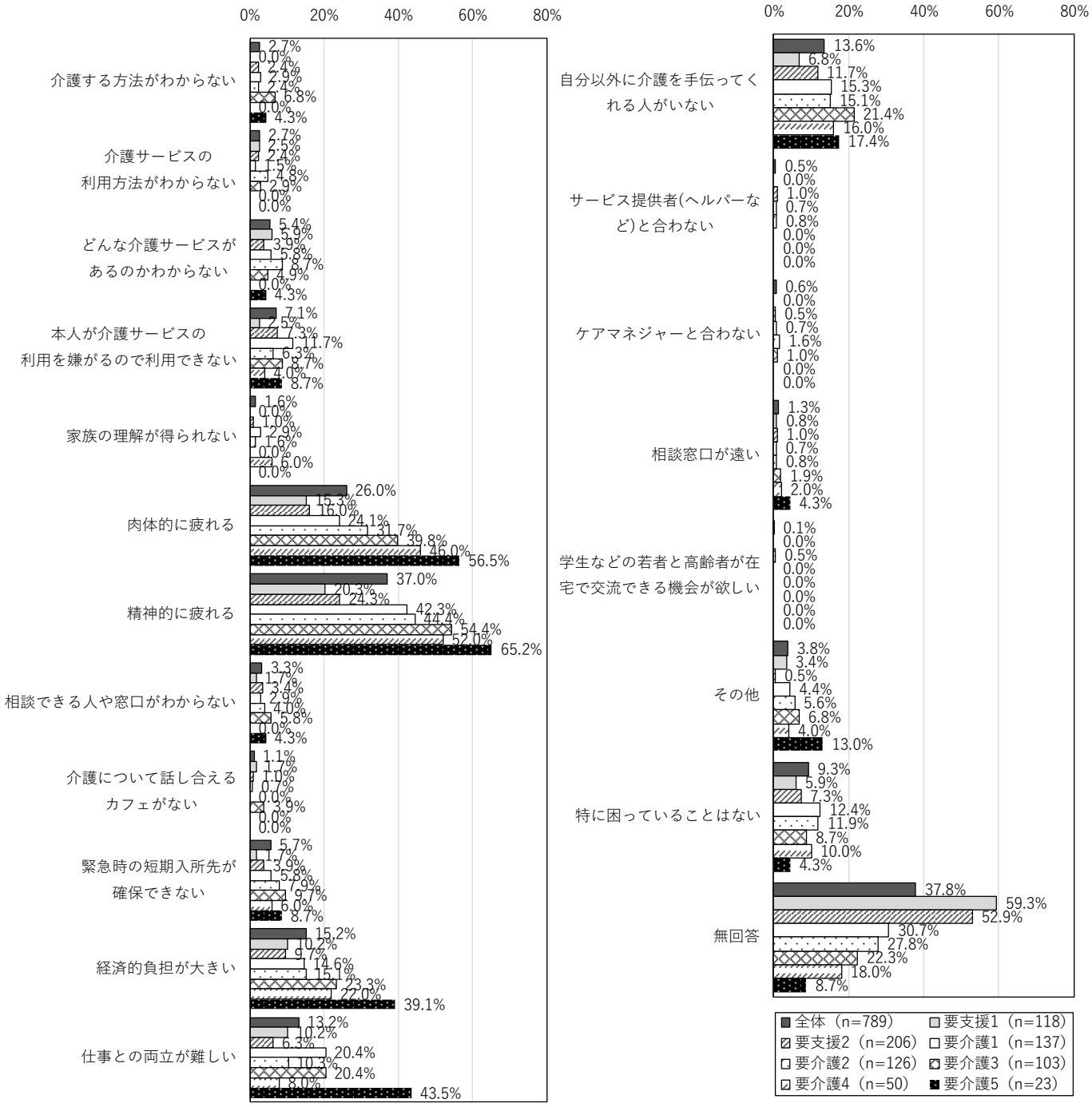
【最も希望するもの】

最も希望するものでは、「要介護者の自宅」が 8.8%と最も多く、次いで「あなたの家」が 4.8%、「特別養護老人ホーム（※要介護３以上の方が入所対象）」が 4.6%となっています。

	あなたの家	要介護者の自宅	あなた以外の、要介護者の家族や親族などの家	特別養護老人ホーム（※要介護３以上の方が入所対象）	介護型有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	24	44	2	23	7	1	2	397	500	1,002	1,502
要支援1	3	7	0	0	0	1	0	43	54	347	401
要支援2	5	6	1	0	2	0	0	81	95	363	458
要介護1	2	12	0	4	2	0	2	75	97	97	194
要介護2	4	8	0	5	1	0	0	70	88	74	162
要介護3	5	5	1	9	1	0	0	64	85	26	111
要介護4	2	3	0	2	0	0	0	34	41	14	55
要介護5	1	3	0	3	1	0	0	13	21	7	28
全体(n=500)	4.8%	8.8%	0.4%	4.6%	1.4%	0.2%	0.4%	79.4%	100.0%		
要支援1(n=54)	5.6%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	79.6%	100.0%		
要支援2(n=95)	5.3%	6.3%	1.1%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	85.3%	100.0%		
要介護1(n=97)	2.1%	12.4%	0.0%	4.1%	2.1%	0.0%	2.1%	77.3%	100.0%		
要介護2(n=88)	4.5%	9.1%	0.0%	5.7%	1.1%	0.0%	0.0%	79.5%	100.0%		
要介護3(n=85)	5.9%	5.9%	1.2%	10.6%	1.2%	0.0%	0.0%	75.3%	100.0%		
要介護4(n=41)	4.9%	7.3%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	82.9%	100.0%		
要介護5(n=21)	4.8%	14.3%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	61.9%	100.0%		

問 19　介護をするうえで、困っていることは何ですか。（いくつでも）

介護をするうえで、困っていることでは、「精神的に疲れる」が 37.0%と最も多く、次いで「肉体的に疲れる」が 26.0%、「経済的負担が大きい」が 15.2%となっています。

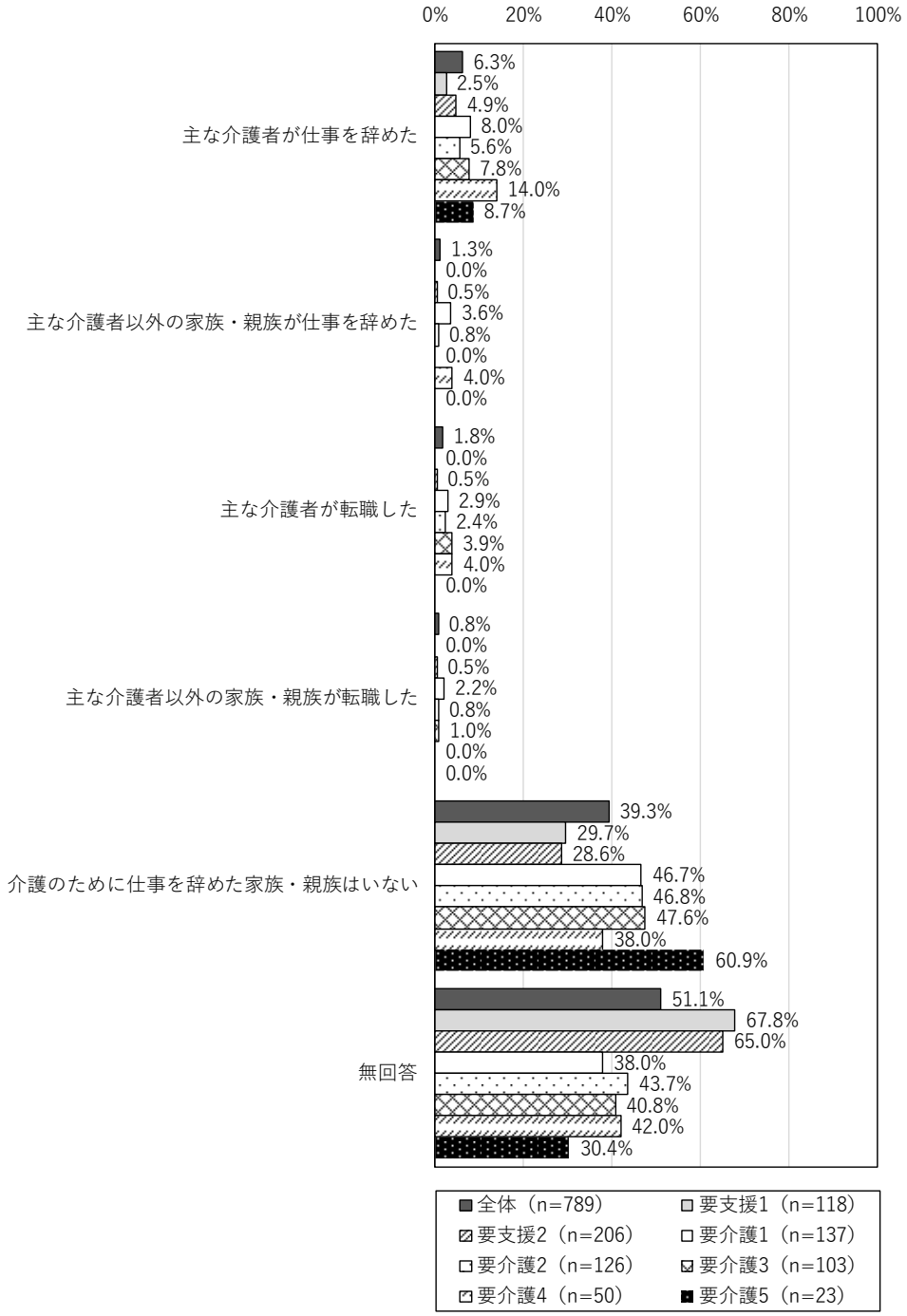


	介護する方法がわからない	介護サービスの利用方法がわからない	どんな介護サービスがあるのかわからない	本人が介護サービスの利用を嫌がるので利用できない	家族の理解が得られない	肉体的に疲れる	精神的に疲れる	相談できる人や窓口がわからない	介護について話し合えるカフェがない	緊急時の短期入所先が確保できない	経済的負担が大きい	仕事との両立が難しい
全体	21	21	43	56	13	205	292	26	9	45	120	104
要支援1	0	3	7	3	0	18	24	2	2	2	12	12
要支援2	5	5	8	15	2	33	50	7	2	8	20	13
要介護1	4	2	8	16	4	33	58	4	1	8	20	28
要介護2	3	6	11	8	2	40	56	5	0	10	19	13
要介護3	7	3	5	9	0	41	56	6	4	10	24	21
要介護4	0	0	0	2	3	23	26	0	0	3	11	4
要介護5	1	0	1	2	0	13	15	1	0	2	9	10
全体(n=789)	2.7%	2.7%	5.4%	7.1%	1.6%	26.0%	37.0%	3.3%	1.1%	5.7%	15.2%	13.2%
要支援1(n=118)	0.0%	2.5%	5.9%	2.5%	0.0%	15.3%	20.3%	1.7%	1.7%	1.7%	10.2%	10.2%
要支援2(n=206)	2.4%	2.4%	3.9%	7.3%	1.0%	16.0%	24.3%	3.4%	1.0%	3.9%	9.7%	6.3%
要介護1(n=137)	2.9%	1.5%	5.8%	11.7%	2.9%	24.1%	42.3%	2.9%	0.7%	5.8%	14.6%	20.4%
要介護2(n=126)	2.4%	4.8%	8.7%	6.3%	1.6%	31.7%	44.4%	4.0%	0.0%	7.9%	15.1%	10.3%
要介護3(n=103)	6.8%	2.9%	4.9%	8.7%	0.0%	39.8%	54.4%	5.8%	3.9%	9.7%	23.3%	20.4%
要介護4(n=50)	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	6.0%	46.0%	52.0%	0.0%	0.0%	6.0%	22.0%	8.0%
要介護5(n=23)	4.3%	0.0%	4.3%	8.7%	0.0%	56.5%	65.2%	4.3%	0.0%	8.7%	39.1%	43.5%

	自分以外に介護を手伝ってくれる人がいない	サービス提供者（ヘルパーなど）と合わない	ケアマネジャーと合わない	相談窓口が遠い	学生などの若者と高齢者が在宅で交流できる機会が欲しい	その他	特に困っていることはない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	107	4	5	10	1	30	73	298	789	713	1,502
要支援1	8	0	0	1	0	4	7	70	118	283	401
要支援2	24	2	1	2	1	1	15	109	206	252	458
要介護1	21	1	1	1	0	6	17	42	137	57	194
要介護2	19	1	2	1	0	7	15	35	126	36	162
要介護3	22	0	1	2	0	7	9	23	103	8	111
要介護4	8	0	0	1	0	2	5	9	50	5	55
要介護5	4	0	0	1	0	3	1	2	23	5	28
全体(n=789)	13.6%	0.5%	0.6%	1.3%	0.1%	3.8%	9.3%	37.8%			
要支援1(n=118)	6.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	3.4%	5.9%	59.3%			
要支援2(n=206)	11.7%	1.0%	0.5%	1.0%	0.5%	0.5%	7.3%	52.9%			
要介護1(n=137)	15.3%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	4.4%	12.4%	30.7%			
要介護2(n=126)	15.1%	0.8%	1.6%	0.8%	0.0%	5.6%	11.9%	27.8%			
要介護3(n=103)	21.4%	0.0%	1.0%	1.9%	0.0%	6.8%	8.7%	22.3%			
要介護4(n=50)	16.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	4.0%	10.0%	18.0%			
要介護5(n=23)	17.4%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%	8.7%			

問 20　御家族や御親族の中で、介護を必要とする方の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。)（いくつでも）

家族や親族の中で、介護を必要とする方の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいるかでは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 39.3%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 6.3%、「主な介護者が転職した」が 1.8%となっています。



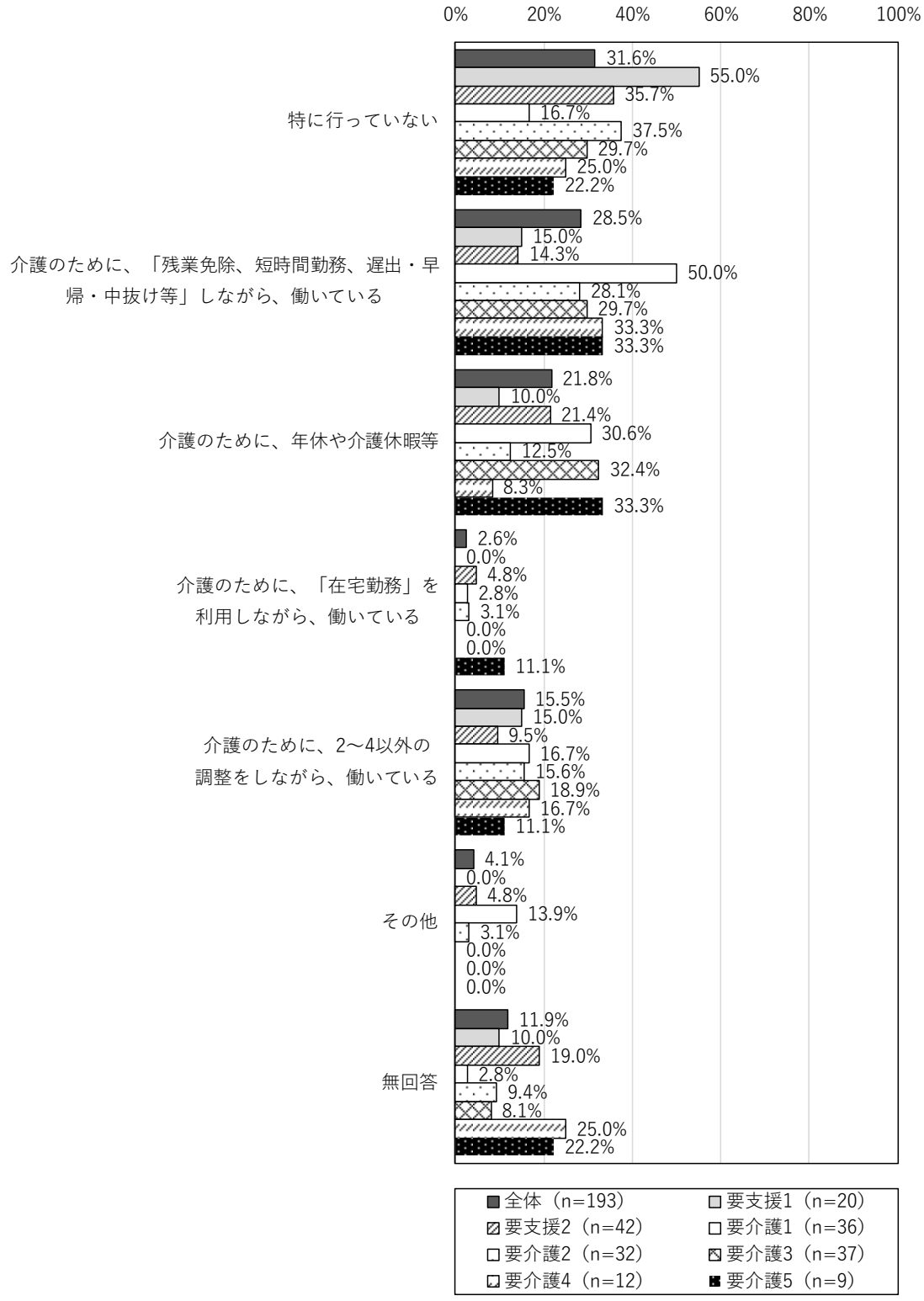
	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	50	10	14	6	310	403	789	713	1,502
要支援1	3	0	0	0	35	80	118	283	401
要支援2	10	1	1	1	59	134	206	252	458
要介護1	11	5	4	3	64	52	137	57	194
要介護2	7	1	3	1	59	55	126	36	162
要介護3	8	0	4	1	49	42	103	8	111
要介護4	7	2	2	0	19	21	50	5	55
要介護5	2	0	0	0	14	7	23	5	28
全体(n=789)	6.3%	1.3%	1.8%	0.8%	39.3%	51.1%			
要支援1(n=118)	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	29.7%	67.8%			
要支援2(n=206)	4.9%	0.5%	0.5%	0.5%	28.6%	65.0%			
要介護1(n=137)	8.0%	3.6%	2.9%	2.2%	46.7%	38.0%			
要介護2(n=126)	5.6%	0.8%	2.4%	0.8%	46.8%	43.7%			
要介護3(n=103)	7.8%	0.0%	3.9%	1.0%	47.6%	40.8%			
要介護4(n=50)	14.0%	4.0%	4.0%	0.0%	38.0%	42.0%			
要介護5(n=23)	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	60.9%	30.4%			

【問 1③で「フルタイム」「パートタイム」の方のみ】

問 21　あなたは、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（いくつでも）

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかでは「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 28.5%と最も多く、次いで、「年休や介護休暇等」が 21.8%となっています。

また、「特に行っていない」が 31.6%となっています。



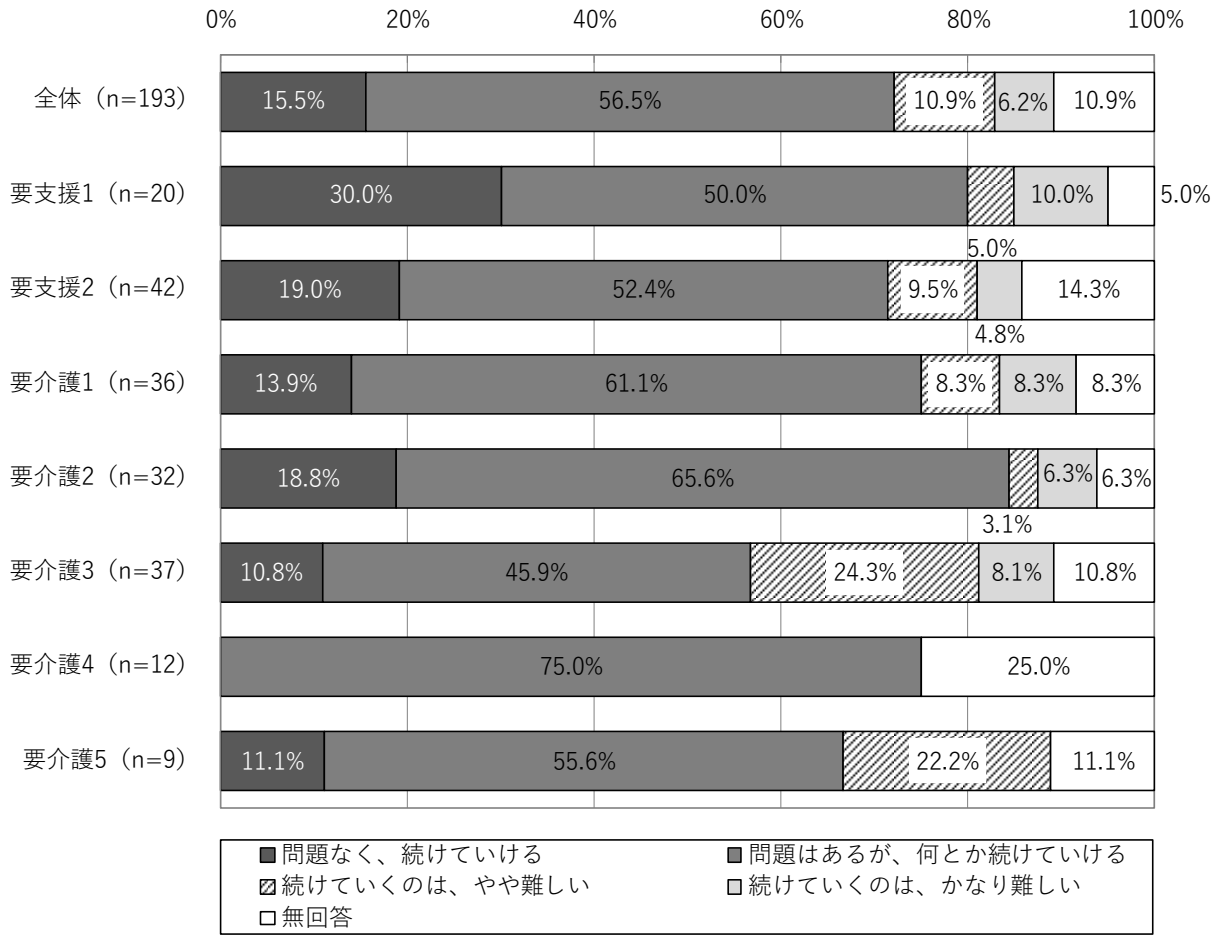
	特に行っていない	介護のために、「残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等」しながら、働いている	介護のために、年休や介護休暇等	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4※以外の調整をしながら、働いている	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	61	55	42	5	30	8	23	193	1,309	1,502
要支援1	11	3	2	0	3	0	2	20	381	401
要支援2	15	6	9	2	4	2	8	42	416	458
要介護1	6	18	11	1	6	5	1	36	158	194
要介護2	12	9	4	1	5	1	3	32	130	162
要介護3	11	11	12	0	7	0	3	37	74	111
要介護4	3	4	1	0	2	0	3	12	43	55
要介護5	2	3	3	1	1	0	2	9	19	28
全体(n=193)	31.6%	28.5%	21.8%	2.6%	15.5%	4.1%	11.9%			
要支援1(n=20)	55.0%	15.0%	10.0%	0.0%	15.0%	0.0%	10.0%			
要支援2(n=42)	35.7%	14.3%	21.4%	4.8%	9.5%	4.8%	19.0%			
要介護1(n=36)	16.7%	50.0%	30.6%	2.8%	16.7%	13.9%	2.8%			
要介護2(n=32)	37.5%	28.1%	12.5%	3.1%	15.6%	3.1%	9.4%			
要介護3(n=37)	29.7%	29.7%	32.4%	0.0%	18.9%	0.0%	8.1%			
要介護4(n=12)	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	25.0%			
要介護5(n=9)	22.2%	33.3%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%			

※2～4 以外…「介護のために、「残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等」しながら、働いている」「介護のために、年休や介護休暇等」「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」以外。

【問 1③で「フルタイム」「パートタイム」の方のみ】

問 22　あなたは、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

今後も働きながら介護を続けていけそうかでは、「問題はあるが、何とか続けていける」が 56.5%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 15.5%、「続けていくのは、やや難しい」が 10.9%となっています。

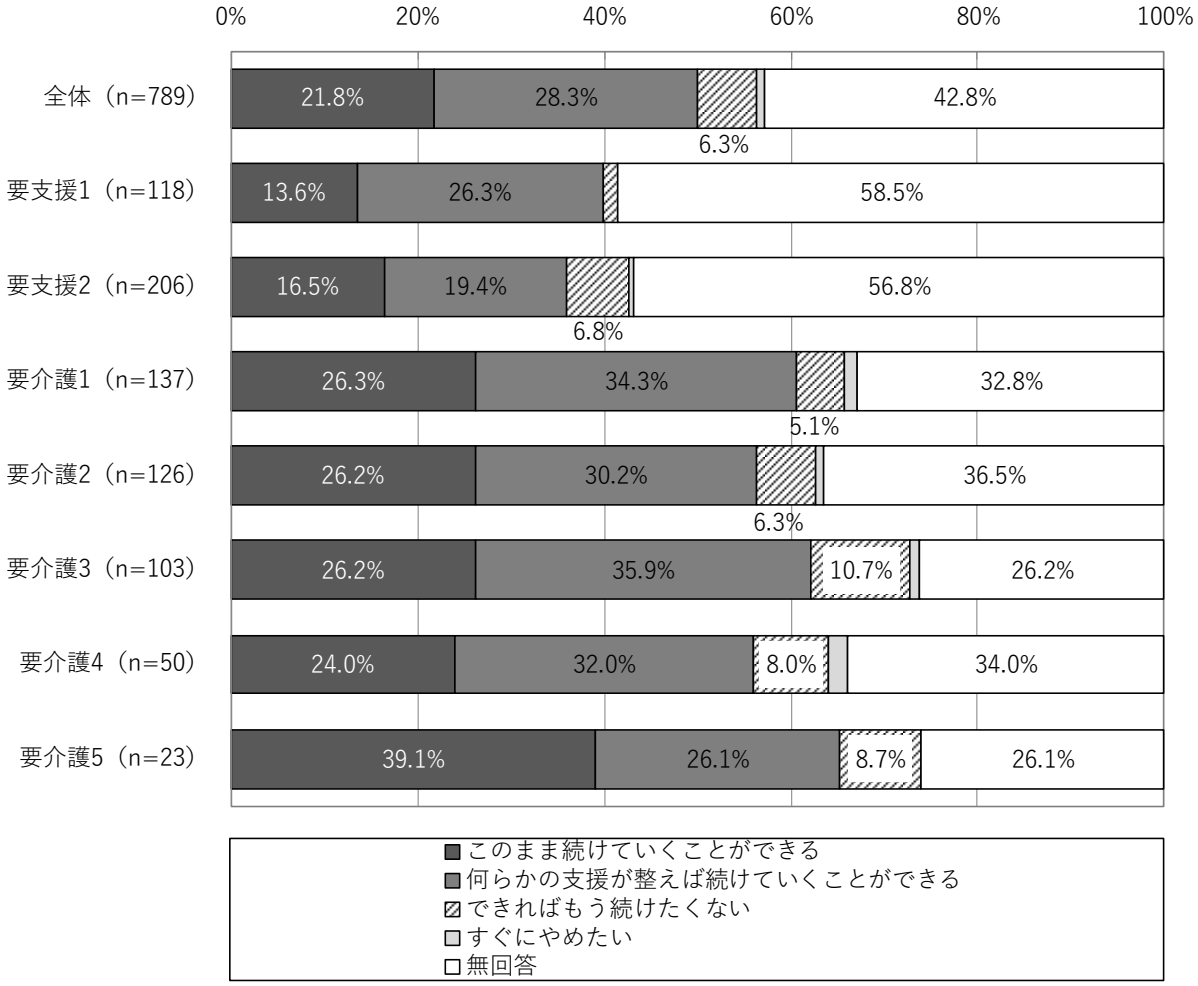


	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	30	109	21	12	21	193	1,309	1,502
要支援1	6	10	1	2	1	20	381	401
要支援2	8	22	4	2	6	42	416	458
要介護1	5	22	3	3	3	36	158	194
要介護2	6	21	1	2	2	32	130	162
要介護3	4	17	9	3	4	37	74	111
要介護4	0	9	0	0	3	12	43	55
要介護5	1	5	2	0	1	9	19	28
全体(n=193)	15.5%	56.5%	10.9%	6.2%	10.9%	100.0%		
要支援1(n=20)	30.0%	50.0%	5.0%	10.0%	5.0%	100.0%		
要支援2(n=42)	19.0%	52.4%	9.5%	4.8%	14.3%	100.0%		
要介護1(n=36)	13.9%	61.1%	8.3%	8.3%	8.3%	100.0%		
要介護2(n=32)	18.8%	65.6%	3.1%	6.3%	6.3%	100.0%		
要介護3(n=37)	10.8%	45.9%	24.3%	8.1%	10.8%	100.0%		
要介護4(n=12)	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%		
要介護5(n=9)	11.1%	55.6%	22.2%	0.0%	11.1%	100.0%		

問 23　全体を通して、今後介護を続けることについてどうお考えですか。

全体を通して、今後介護を続けることについての考えでは、「このまま続けていくことができる」「何らかの支援が整えば続けていくことができる」を合わせた『続けていくことができる』が 50.1%となっています。

また、「できればもう続けたくない」「すぐにやめたい」を合わせた『もう続けたくない』が 7.1%となっています。

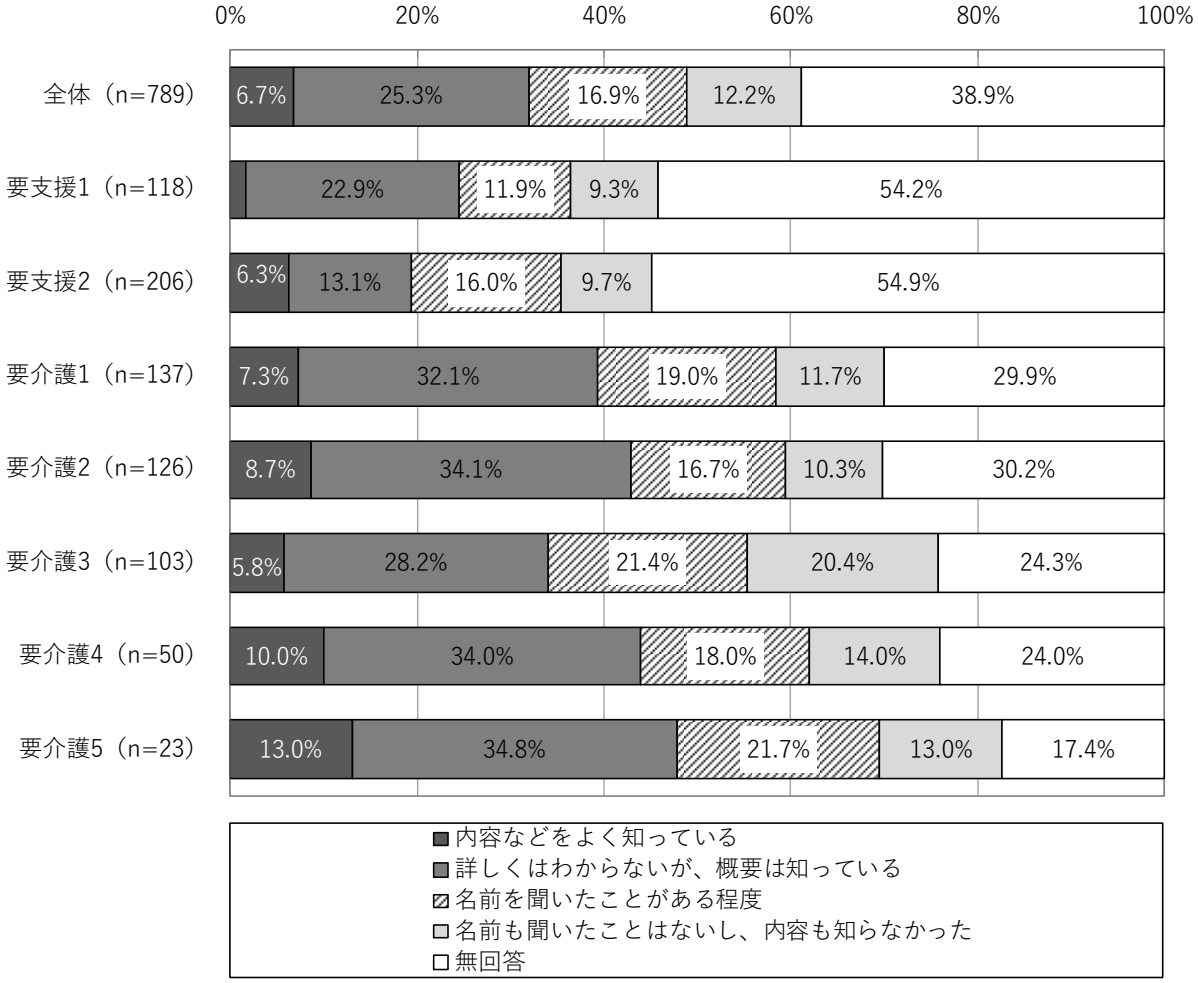


	このまま続けていくことができる	何らかの支援が整えば続けていくことができる	できればもう続けたくない	すぐにやめたい	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	172	223	50	6	338	789	713	1,502
要支援1	16	31	2	0	69	118	283	401
要支援2	34	40	14	1	117	206	252	458
要介護1	36	47	7	2	45	137	57	194
要介護2	33	38	8	1	46	126	36	162
要介護3	27	37	11	1	27	103	8	111
要介護4	12	16	4	1	17	50	5	55
要介護5	9	6	2	0	6	23	5	28
全体（n=789）	21.8%	28.3%	6.3%	0.8%	42.8%	100.0%		
要支援1（n=118）	13.6%	26.3%	1.7%	0.0%	58.5%	100.0%		
要支援2（n=206）	16.5%	19.4%	6.8%	0.5%	56.8%	100.0%		
要介護1（n=137）	26.3%	34.3%	5.1%	1.5%	32.8%	100.0%		
要介護2（n=126）	26.2%	30.2%	6.3%	0.8%	36.5%	100.0%		
要介護3（n=103）	26.2%	35.9%	10.7%	1.0%	26.2%	100.0%		
要介護4（n=50）	24.0%	32.0%	8.0%	2.0%	34.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	39.1%	26.1%	8.7%	0.0%	26.1%	100.0%		

問 24　成年後見制度を知っていましたか。

成年後見制度を知っているかでは、「内容などをよく知っている」「詳しくはわからないが、概要は知っている」「名前を聞いたことがある程度」を合わせた『知っている』が 48.9%となっています。

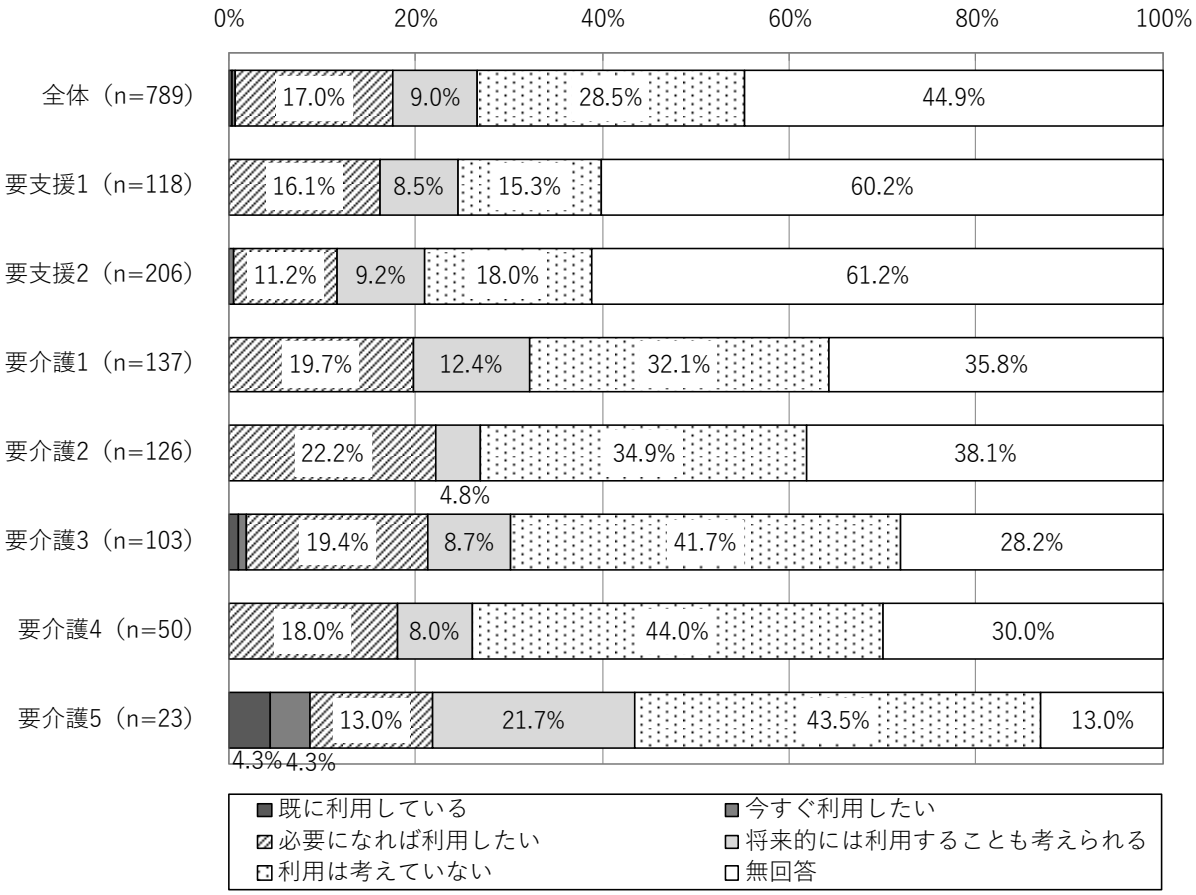
また、「名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった」が 12.2%となっています。



	内容などをよく知っている	詳しくはわからないが、概要は知っている	名前を聞いたことがある程度	名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	53	200	133	96	307	789	713	1,502
要支援1	2	27	14	11	64	118	283	401
要支援2	13	27	33	20	113	206	252	458
要介護1	10	44	26	16	41	137	57	194
要介護2	11	43	21	13	38	126	36	162
要介護3	6	29	22	21	25	103	8	111
要介護4	5	17	9	7	12	50	5	55
要介護5	3	8	5	3	4	23	5	28
全体(n=789)	6.7%	25.3%	16.9%	12.2%	38.9%	100.0%		
要支援1(n=118)	1.7%	22.9%	11.9%	9.3%	54.2%	100.0%		
要支援2(n=206)	6.3%	13.1%	16.0%	9.7%	54.9%	100.0%		
要介護1(n=137)	7.3%	32.1%	19.0%	11.7%	29.9%	100.0%		
要介護2(n=126)	8.7%	34.1%	16.7%	10.3%	30.2%	100.0%		
要介護3(n=103)	5.8%	28.2%	21.4%	20.4%	24.3%	100.0%		
要介護4(n=50)	10.0%	34.0%	18.0%	14.0%	24.0%	100.0%		
要介護5(n=23)	13.0%	34.8%	21.7%	13.0%	17.4%	100.0%		

問 25　成年後見制度についてどのように思われますか。

成年後見制度について思うことでは、「利用は考えていない」が 28.5%と最も多く、次いで「必要になれば利用したい」が 17.0%、「将来的には利用することも考えられる」が 9.0%となっています。



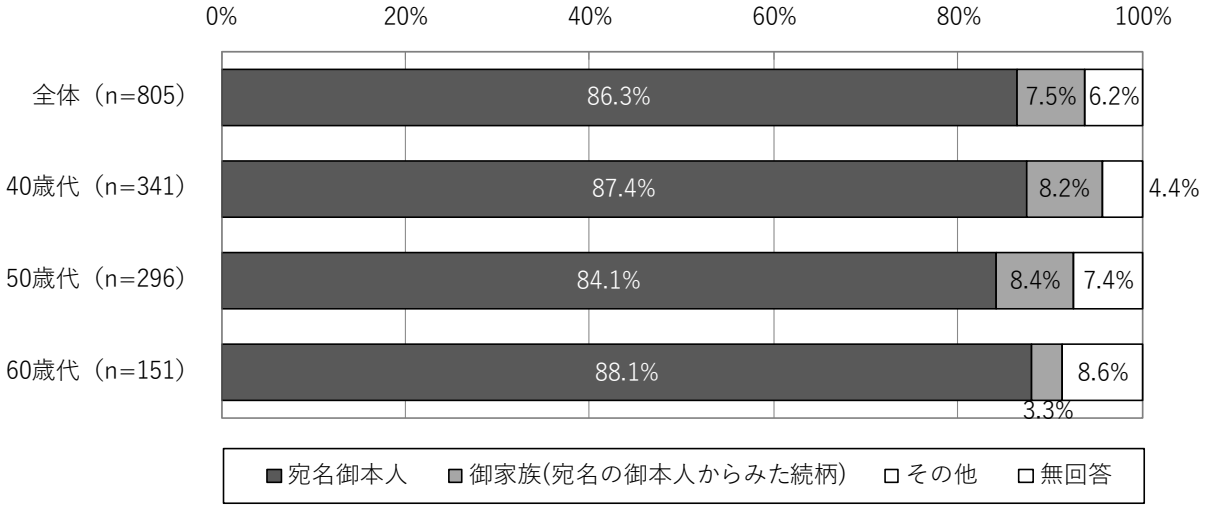
	既に利用している	今すぐ利用したい	必要になれば利用したい	将来的には利用することも考えられる	利用は考えていない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	2	3	134	71	225	354	789	713	1,502
要支援1	0	0	19	10	18	71	118	283	401
要支援2	0	1	23	19	37	126	206	252	458
要介護1	0	0	27	17	44	49	137	57	194
要介護2	0	0	28	6	44	48	126	36	162
要介護3	1	1	20	9	43	29	103	8	111
要介護4	0	0	9	4	22	15	50	5	55
要介護5	1	1	3	5	10	3	23	5	28
全体（n=789）	0.3%	0.4%	17.0%	9.0%	28.5%	44.9%	100.0%		
要支援1（n=118）	0.0%	0.0%	16.1%	8.5%	15.3%	60.2%	100.0%		
要支援2（n=206）	0.0%	0.5%	11.2%	9.2%	18.0%	61.2%	100.0%		
要介護1（n=137）	0.0%	0.0%	19.7%	12.4%	32.1%	35.8%	100.0%		
要介護2（n=126）	0.0%	0.0%	22.2%	4.8%	34.9%	38.1%	100.0%		
要介護3（n=103）	1.0%	1.0%	19.4%	8.7%	41.7%	28.2%	100.0%		
要介護4（n=50）	0.0%	0.0%	18.0%	8.0%	44.0%	30.0%	100.0%		
要介護5（n=23）	4.3%	4.3%	13.0%	21.7%	43.5%	13.0%	100.0%		

3　若年者調査

3　若年者調査

このアンケートに記入される方はどなたですか。

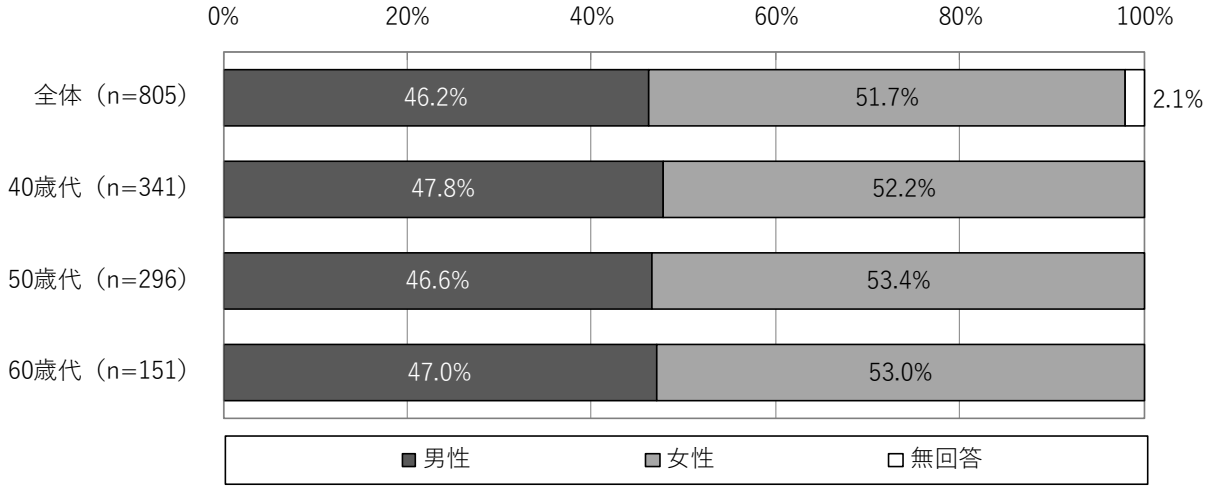
アンケートに記入される方では、「宛名御本人」が 86.3%と最も多く、次いで「御家族（宛名の御本人からみた続柄）」が 7.5%となっています。



	宛名御本人	御家族(宛名の御本人からみた続柄)	その他	無回答	合計
全体	695	60	0	50	805
40歳代	298	28	0	15	341
50歳代	249	25	0	22	296
60歳代	133	5	0	13	151
全体（n=805）	86.3%	7.5%	0.0%	6.2%	100.0%
40歳代（n=341）	87.4%	8.2%	0.0%	4.4%	100.0%
50歳代（n=296）	84.1%	8.4%	0.0%	7.4%	100.0%
60歳代（n=151）	88.1%	3.3%	0.0%	8.6%	100.0%

性別

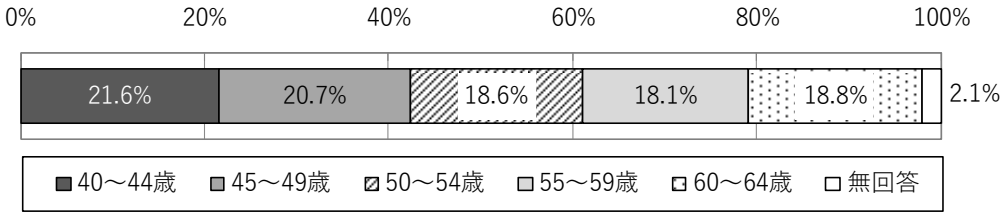
性別では、「男性」が 46.2%、「女性」が 51.7%となっています。



	男性	女性	無回答	合計
全体	372	416	17	805
40歳代	163	178	0	341
50歳代	138	158	0	296
60歳代	71	80	0	151
全体（n=805）	46.2%	51.7%	2.1%	100.0%
40歳代（n=341）	47.8%	52.2%	0.0%	100.0%
50歳代（n=296）	46.6%	53.4%	0.0%	100.0%
60歳代（n=151）	47.0%	53.0%	0.0%	100.0%

年齢

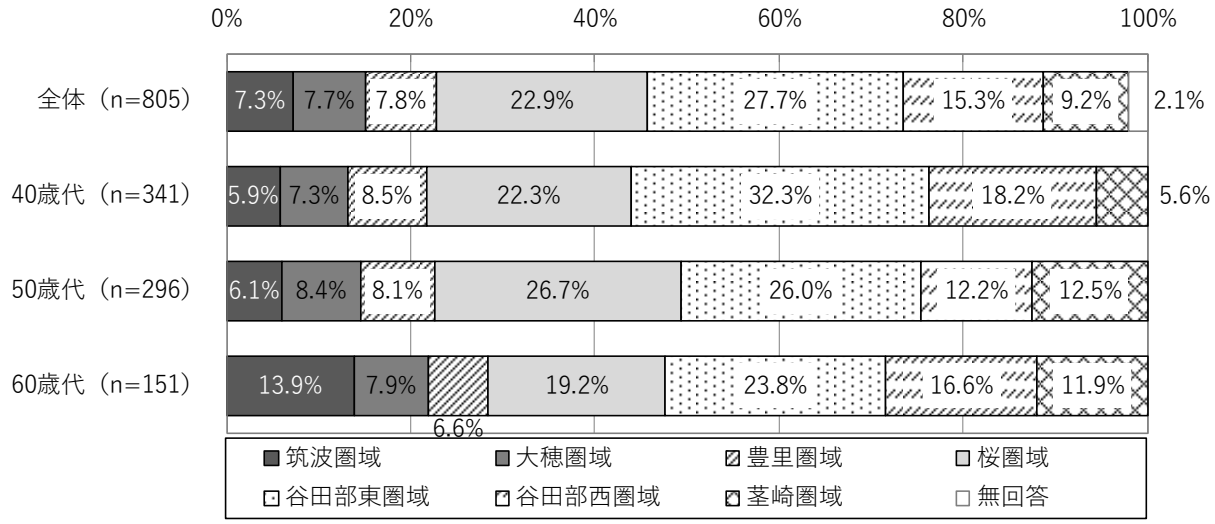
年齢では、「40～44 歳」が 21.6%と最も多く、次いで「45～49 歳」が 20.7%、「60～64 歳」が 18.8%となっています。



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答	合計
度数	174	167	150	146	151	17	805
構成比	21.6%	20.7%	18.6%	18.1%	18.8%	2.1%	100.0%

圏域

圏域では、「谷田部東圏域」が 27.7%と最も多く、次いで「桜圏域」が 22.9%、「谷田部西圏域」が 15.3%となっています。

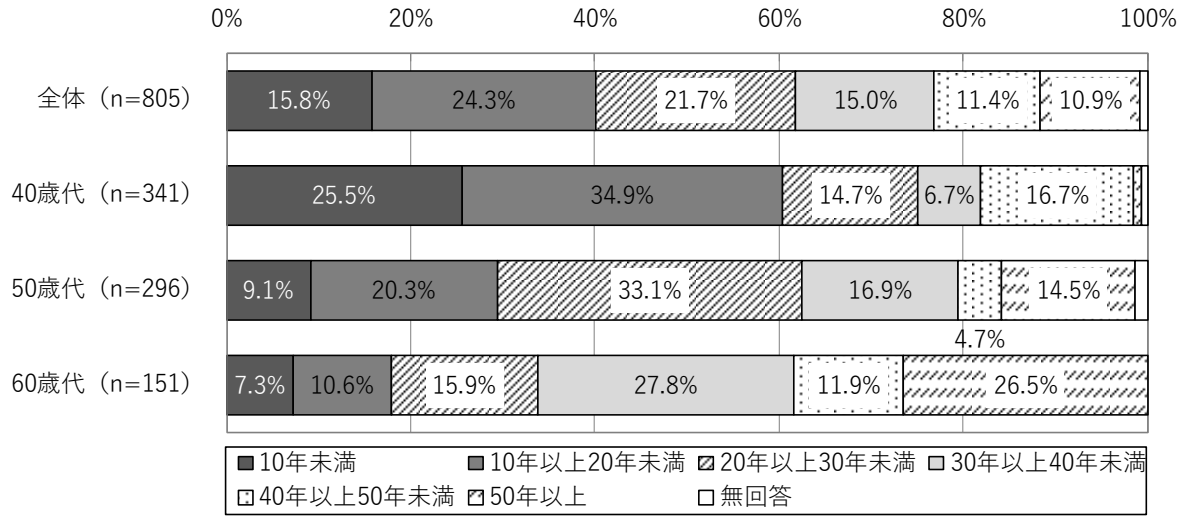


	筑波圏域	大穂圏域	豊里圏域	桜圏域	谷田部東圏域	谷田部西圏域	茎崎圏域	無回答	合計
全体	59	62	63	184	223	123	74	17	805
40歳代	20	25	29	76	110	62	19	0	341
50歳代	18	25	24	79	77	36	37	0	296
60歳代	21	12	10	29	36	25	18	0	151
全体(n=805)	7.3%	7.7%	7.8%	22.9%	27.7%	15.3%	9.2%	2.1%	100.0%
40歳代(n=341)	5.9%	7.3%	8.5%	22.3%	32.3%	18.2%	5.6%	0.0%	100.0%
50歳代(n=296)	6.1%	8.4%	8.1%	26.7%	26.0%	12.2%	12.5%	0.0%	100.0%
60歳代(n=151)	13.9%	7.9%	6.6%	19.2%	23.8%	16.6%	11.9%	0.0%	100.0%

（1）あなた自身（宛名御本人）について

問１　あなたは、つくば市に住みはじめて通算で何年になりますか。

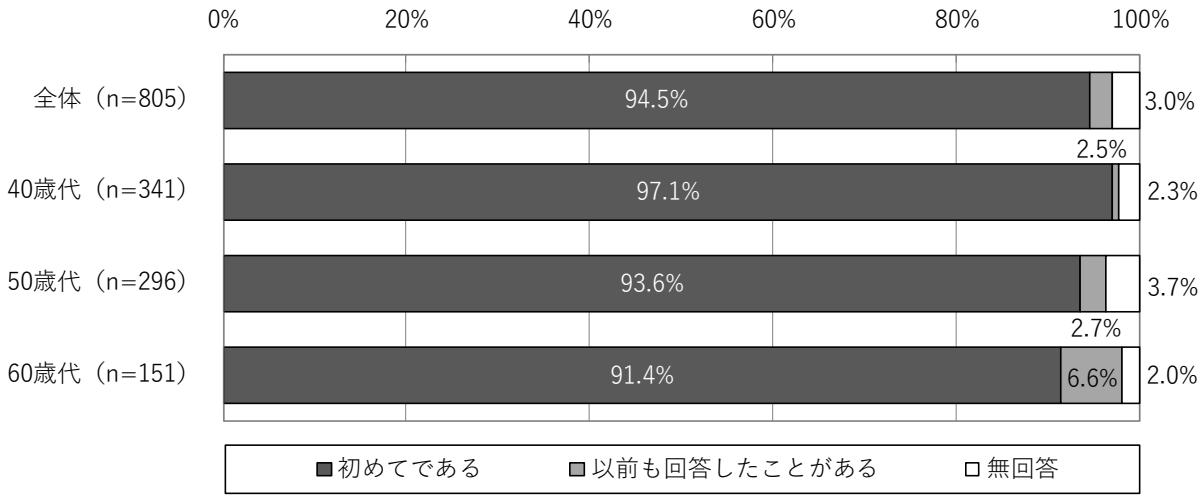
つくば市に住みはじめて通算で何年になるかでは、「10 年以上 20 年未満」が 24.3%と最も多く、次いで「20 年以上 30 年未満」が 21.7%、「10 年未満」が 15.8%となっています。



	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上50年未満	50年以上	無回答	合計
全体	127	196	175	121	92	88	6	805
40歳代	87	119	50	23	57	3	2	341
50歳代	27	60	98	50	14	43	4	296
60歳代	11	16	24	42	18	40	0	151
全体（n=805）	15.8%	24.3%	21.7%	15.0%	11.4%	10.9%	0.7%	100.0%
40歳代（n=341）	25.5%	34.9%	14.7%	6.7%	16.7%	0.9%	0.6%	100.0%
50歳代（n=296）	9.1%	20.3%	33.1%	16.9%	4.7%	14.5%	1.4%	100.0%
60歳代（n=151）	7.3%	10.6%	15.9%	27.8%	11.9%	26.5%	0.0%	100.0%

問 2　高齢者福祉計画に係るアンケート調査を行ったことがありますか。

高齢者福祉計画に係るアンケート調査を行ったことがあるかでは、「初めてである」が 94.5%と最も多くなっています。

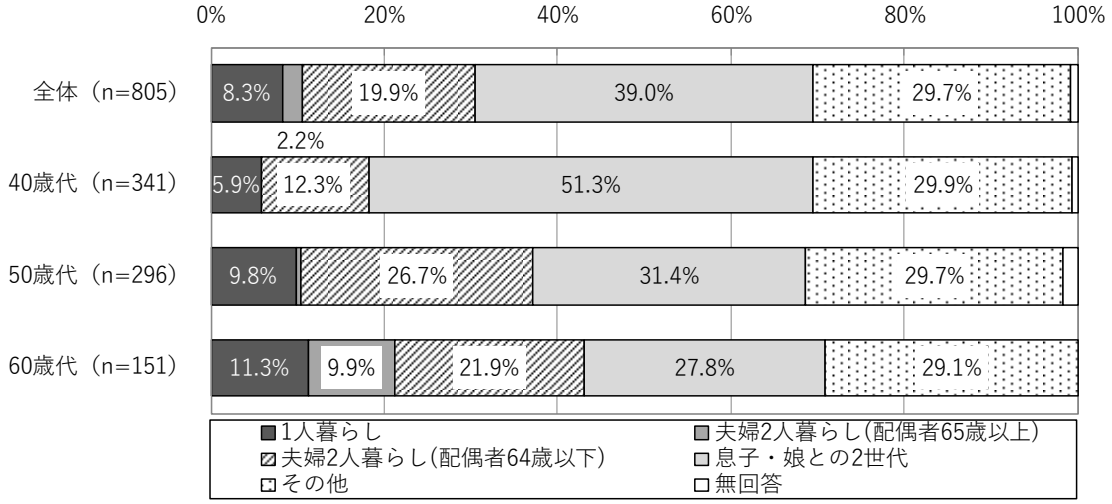


	初めてである	以前も回答したことがある	無回答	合計
全体	761	20	24	805
40歳代	331	2	8	341
50歳代	277	8	11	296
60歳代	138	10	3	151
全体（n=805）	94.5%	2.5%	3.0%	100.0%
40歳代（n=341）	97.1%	0.6%	2.3%	100.0%
50歳代（n=296）	93.6%	2.7%	3.7%	100.0%
60歳代（n=151）	91.4%	6.6%	2.0%	100.0%

（2）生活状況について

問１　同居している家族構成をお教えください。（敷地内同居含む）

同居している家族構成では、「息子・娘との２世代」が 39.0%と最も多く、次いで「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」が 19.9%となっています。



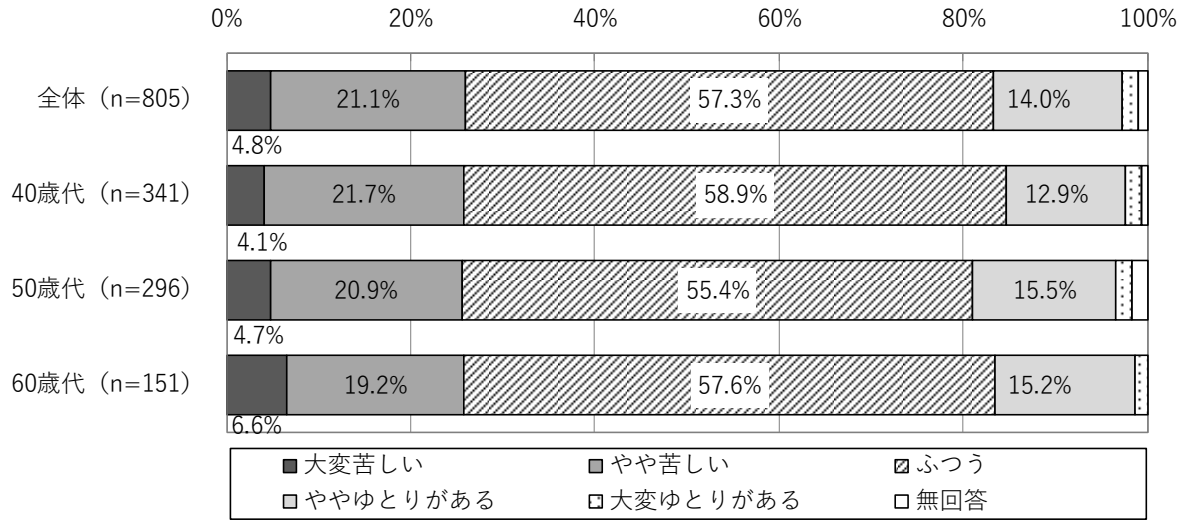
	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世代	その他	無回答	合計
全体	67	18	160	314	239	7	805
40歳代	20	0	42	175	102	2	341
50歳代	29	2	79	93	88	5	296
60歳代	17	15	33	42	44	0	151
全体(n=805)	8.3%	2.2%	19.9%	39.0%	29.7%	0.9%	100.0%
40歳代(n=341)	5.9%	0.0%	12.3%	51.3%	29.9%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	9.8%	0.7%	26.7%	31.4%	29.7%	1.7%	100.0%
60歳代(n=151)	11.3%	9.9%	21.9%	27.8%	29.1%	0.0%	100.0%

問 2　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかでは、「ふつう」が 57.3%と最も多くとなっています。

「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が 25.9%となっています。

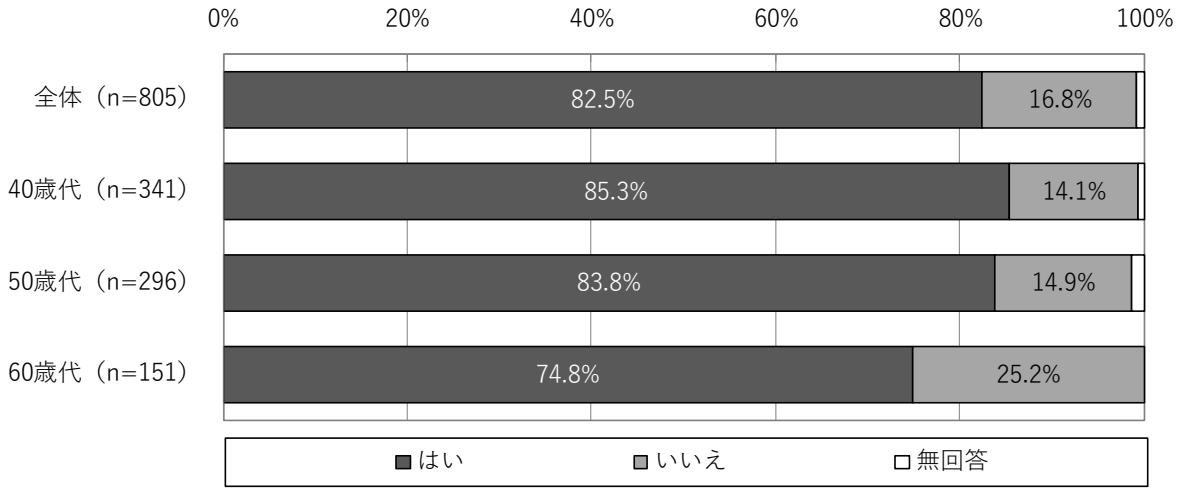
「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」が 15.7%なっています。



	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	合計
全体	39	170	461	113	14	8	805
40歳代	14	74	201	44	6	2	341
50歳代	14	62	164	46	5	5	296
60歳代	10	29	87	23	2	0	151
全体(n=805)	4.8%	21.1%	57.3%	14.0%	1.7%	1.0%	100.0%
40歳代(n=341)	4.1%	21.7%	58.9%	12.9%	1.8%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	4.7%	20.9%	55.4%	15.5%	1.7%	1.7%	100.0%
60歳代(n=151)	6.6%	19.2%	57.6%	15.2%	1.3%	0.0%	100.0%

問 3　あなたは仕事をしていますか。

仕事をしているかでは、「はい」が 82.5%、「いいえ」が 16.8%となっています。

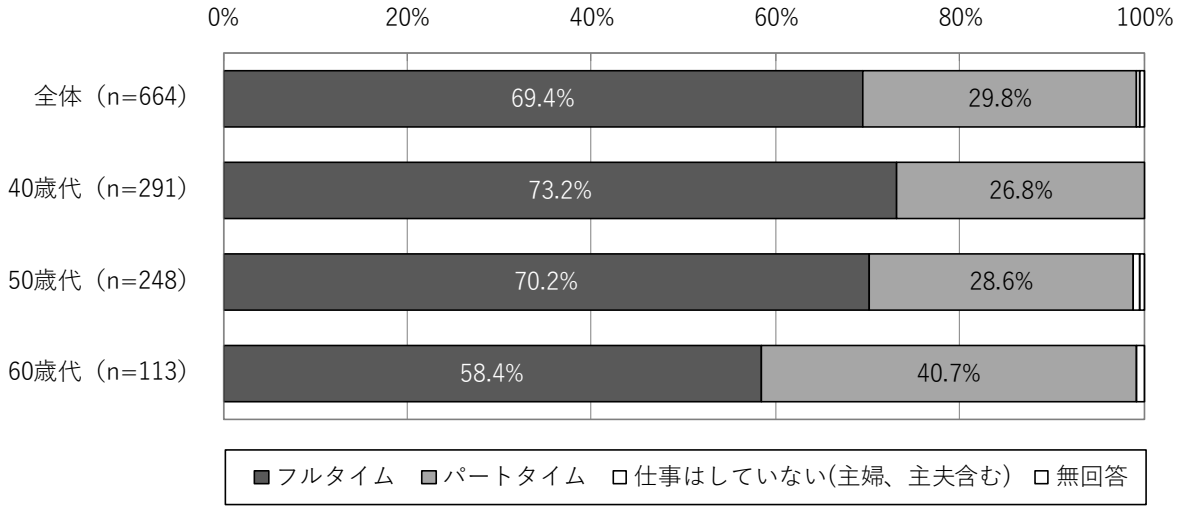


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	664	135	6	805
40歳代	291	48	2	341
50歳代	248	44	4	296
60歳代	113	38	0	151
全体(n=805)	82.5%	16.8%	0.7%	100.0%
40歳代(n=341)	85.3%	14.1%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	83.8%	14.9%	1.4%	100.0%
60歳代(n=151)	74.8%	25.2%	0.0%	100.0%

【問３で「はい」の方のみ】

問 3-1　現在の勤務形態について教えてください

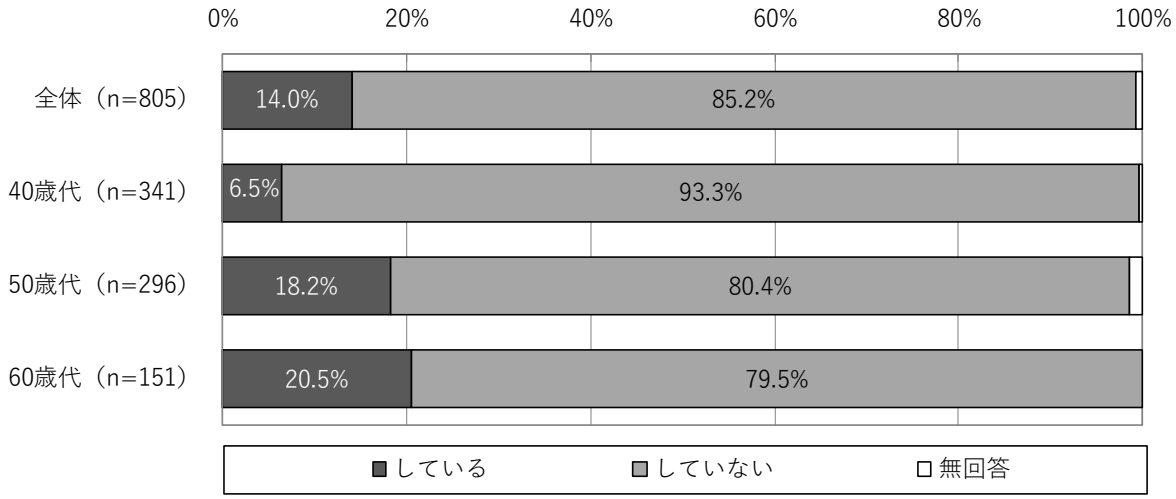
勤務形態については、「フルタイム」が 69.4%と最も多く、次いで「パートタイム」が 29.8%、「仕事はしていない（主婦、主夫含む）」が 0.3%となっています。



	フルタイム	パートタイム	仕事はしていない(主婦、主夫含む)	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	461	198	2	3	664	141	805
40歳代	213	78	0	0	291	50	341
50歳代	174	71	2	1	248	48	296
60歳代	66	46	0	1	113	38	151
全体(n=664)	69.4%	29.8%	0.3%	0.5%	100.0%		
40歳代(n=291)	73.2%	26.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
50歳代(n=248)	70.2%	28.6%	0.8%	0.4%	100.0%		
60歳代(n=113)	58.4%	40.7%	0.0%	0.9%	100.0%		

問４　現在、あなたは家族や親族などの介護をしていますか。

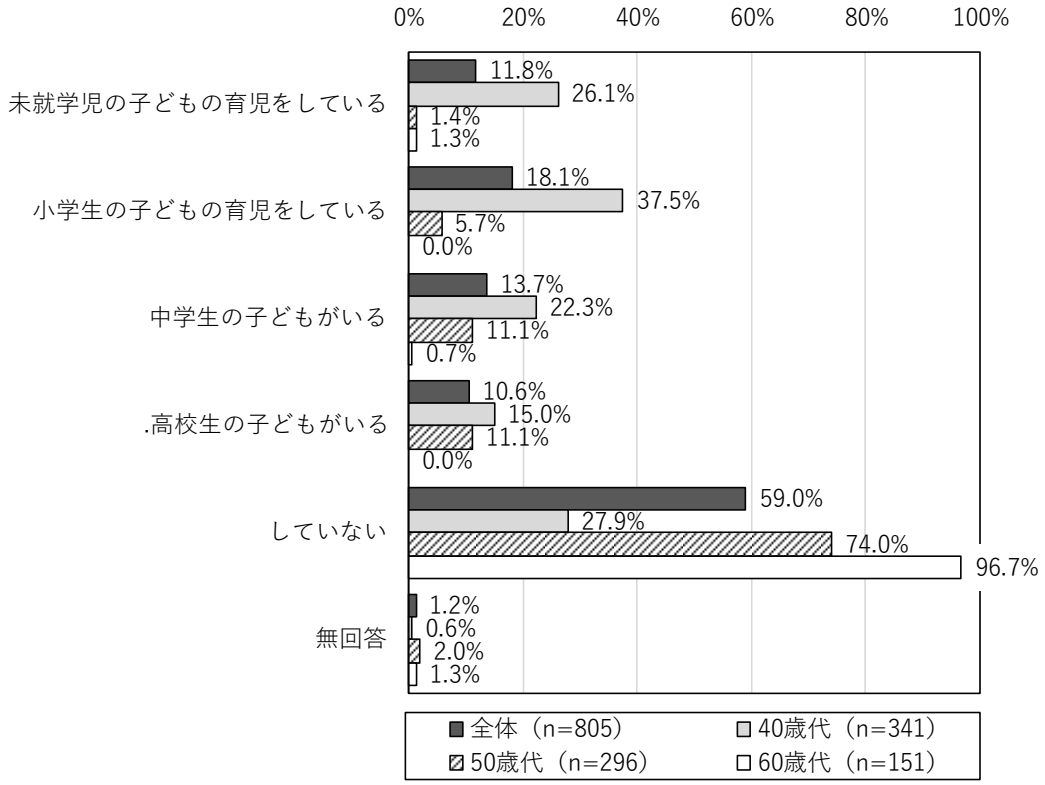
家族や親族などの介護をしているかでは、「している」が 14.0%、「していない」が 85.2%となっています。



	している	していない	無回答	合計
全体	113	686	6	805
40歳代	22	318	1	341
50歳代	54	238	4	296
60歳代	31	120	0	151
全体（n=805）	14.0%	85.2%	0.7%	100.0%
40歳代（n=341）	6.5%	93.3%	0.3%	100.0%
50歳代（n=296）	18.2%	80.4%	1.4%	100.0%
60歳代（n=151）	20.5%	79.5%	0.0%	100.0%

問 5　現在、あなたは子育てをしていますか。

子育てをしているかでは、「していない」が 59.0%と最も多く、次いで「小学生の子どもの育児をしている」が 18.1%、「中学生の子どもがいる」が 13.7%となっています。



	未就学児の子どもの育児をしている	小学生の子どもの育児をしている	中学生の子どもがいる	.高校生の子どもがいる	していない	無回答	回答者数
全体	95	146	110	85	475	10	805
40歳代	89	128	76	51	95	2	341
50歳代	4	17	33	33	219	6	296
60歳代	2	0	1	0	146	2	151
全体（n=805）	11.8%	18.1%	13.7%	10.6%	59.0%	1.2%	
40歳代（n=341）	26.1%	37.5%	22.3%	15.0%	27.9%	0.6%	
50歳代（n=296）	1.4%	5.7%	11.1%	11.1%	74.0%	2.0%	
60歳代（n=151）	1.3%	0.0%	0.7%	0.0%	96.7%	1.3%	

【未就学児の子どもの育児をしている】

	1人	2人	回答者数	非該当	合計
全体	78	17	95	710	805
40歳代	74	15	89	252	341
50歳代	3	1	4	292	296
60歳代	1	1	2	149	151
全体(n=95)	82.1%	17.9%	100.0%		
40歳代(n=89)	83.1%	16.9%	100.0%		
50歳代(n=4)	75.0%	25.0%	100.0%		
60歳代(n=2)	50.0%	50.0%	100.0%		

【小学生の子どもの育児をしている】

	1人	2人	3人	4人以上	回答者数	非該当	合計
全体	108	34	3	1	146	659	805
40歳代	91	33	3	1	128	213	341
50歳代	16	1	0	0	17	279	296
60歳代	0	0	0	0	0	151	151
全体(n=146)	74.0%	23.3%	2.1%	0.7%	100.0%		
40歳代(n=128)	71.1%	25.8%	2.3%	0.8%	100.0%		
50歳代(n=17)	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%		
60歳代(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

【中学生の子どもがいる】

	1人	2人	回答者数	非該当	合計
全体	102	8	110	695	805
40歳代	68	8	76	265	341
50歳代	33	0	33	263	296
60歳代	1	0	1	150	151
全体(n=110)	92.7%	7.3%	100.0%		
40歳代(n=76)	89.5%	10.5%	100.0%		
50歳代(n=33)	100.0%	0.0%	100.0%		
60歳代(n=1)	100.0%	0.0%	100.0%		

【高校生の子どもがいる】

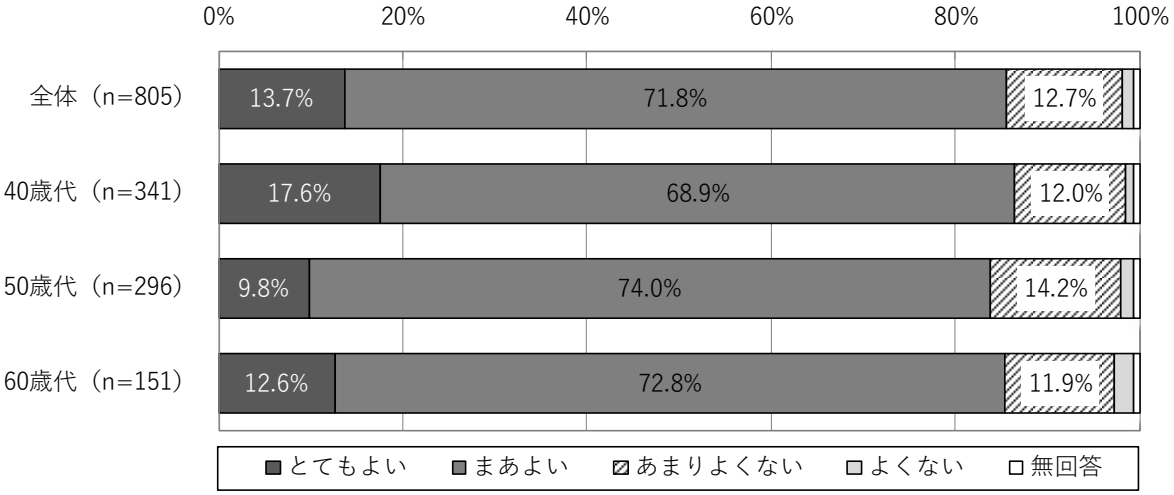
	1人	2人	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	78	6	1	85	720	805
40歳代	48	3	0	51	290	341
50歳代	30	3	0	33	263	296
60歳代	0	0	0	0	151	151
全体(n=85)	91.8%	7.1%	1.2%	100.0%		
40歳代(n=51)	94.1%	5.9%	0.0%	100.0%		
50歳代(n=33)	90.9%	9.1%	0.0%	100.0%		
60歳代(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

（3）健康・医療について

問１　現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態では、「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』が 85.5%となっています。

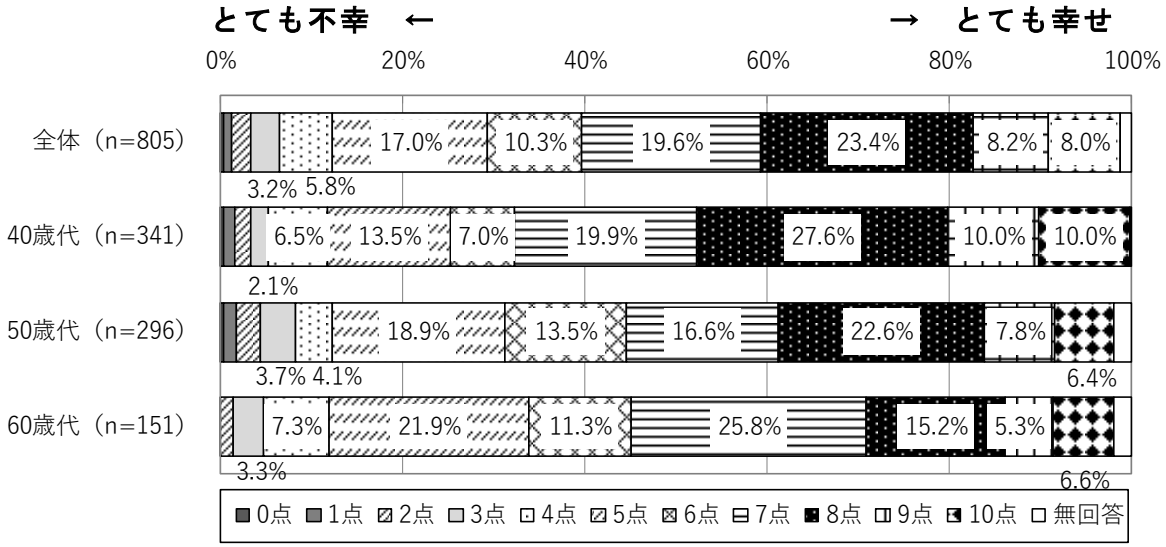
また、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』が 13.9%となっています。



	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	合計
全体	110	578	102	10	5	805
40歳代	60	235	41	3	2	341
50歳代	29	219	42	4	2	296
60歳代	19	110	18	3	1	151
全体（n=805）	13.7%	71.8%	12.7%	1.2%	0.6%	
40歳代（n=341）	17.6%	68.9%	12.0%	0.9%	0.6%	
50歳代（n=296）	9.8%	74.0%	14.2%	1.4%	0.7%	
60歳代（n=151）	12.6%	72.8%	11.9%	2.0%	0.7%	

問 2　あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、御記入ください）

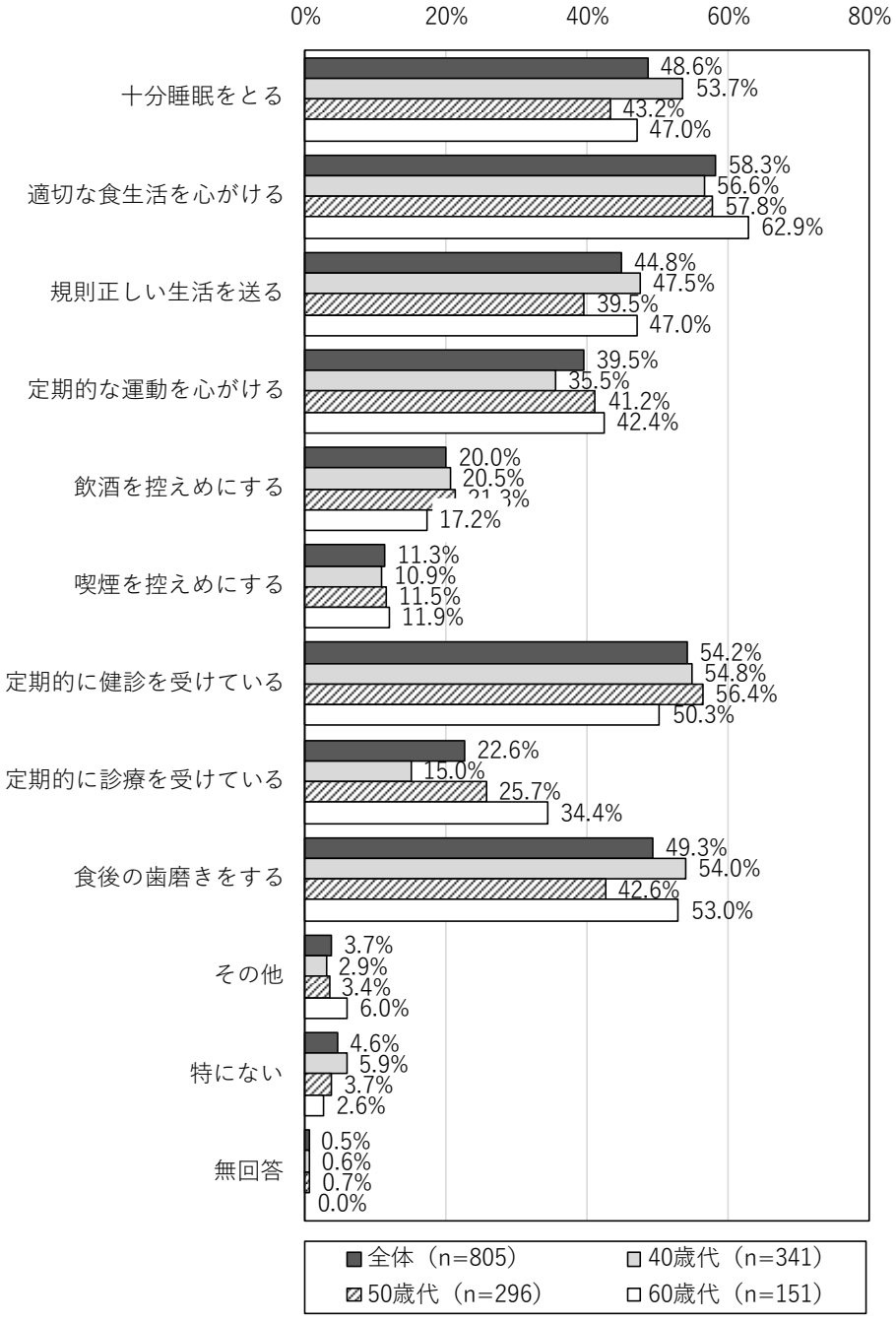
現在の幸せ度では、「8 点」が 23.4%と最も多く、次いで「7 点」が 19.6%、「5 点」が 17.0%となっています。



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
全体	2	8	16	26	47	137	83	158	188	66	64	10	805
40歳代	1	4	6	7	22	46	24	68	94	34	34	1	341
50歳代	1	4	8	11	12	56	40	49	67	23	19	6	296
60歳代	0	0	2	5	11	33	17	39	23	8	10	3	151
全体(n=805)	0.2%	1.0%	2.0%	3.2%	5.8%	17.0%	10.3%	19.6%	23.4%	8.2%	8.0%	1.2%	100.0%
40歳代(n=341)	0.3%	1.2%	1.8%	2.1%	6.5%	13.5%	7.0%	19.9%	27.6%	10.0%	10.0%	0.3%	100.0%
50歳代(n=296)	0.3%	1.4%	2.7%	3.7%	4.1%	18.9%	13.5%	16.6%	22.6%	7.8%	6.4%	2.0%	100.0%
60歳代(n=151)	0.0%	0.0%	1.3%	3.3%	7.3%	21.9%	11.3%	25.8%	15.2%	5.3%	6.6%	2.0%	100.0%

問 3　健康保持のために何か取り組まれていることはありますか。（いくつでも）

健康保持のために取り組んでいることでは、「適切な食生活を心がける」が 58.3%と最も多く、次いで「定期的に健診を受けている」が 54.2%、「食後の歯磨きをする」が 49.3%となっています。



	十分睡眠をとる	適切な食生活を心がける	規則正しい生活を送る	定期的な運動を心がける	飲酒を控えめにする	喫煙を控えめにする	定期的に健診を受けている	定期的に診療を受けている	食後の歯磨きをする	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	391	469	361	318	161	91	436	182	397	30	37	4	805
40歳代	183	193	162	121	70	37	187	51	184	10	20	2	341
50歳代	128	171	117	122	63	34	167	76	126	10	11	2	296
60歳代	71	95	71	64	26	18	76	52	80	9	4	0	151
全体(n=805)	48.6%	58.3%	44.8%	39.5%	20.0%	11.3%	54.2%	22.6%	49.3%	3.7%	4.6%	0.5%	
40歳代(n=341)	53.7%	56.6%	47.5%	35.5%	20.5%	10.9%	54.8%	15.0%	54.0%	2.9%	5.9%	0.6%	
50歳代(n=296)	43.2%	57.8%	39.5%	41.2%	21.3%	11.5%	56.4%	25.7%	42.6%	3.4%	3.7%	0.7%	
60歳代(n=151)	47.0%	62.9%	47.0%	42.4%	17.2%	11.9%	50.3%	34.4%	53.0%	6.0%	2.6%	0.0%	

【問３で「特にない」の方のみ】

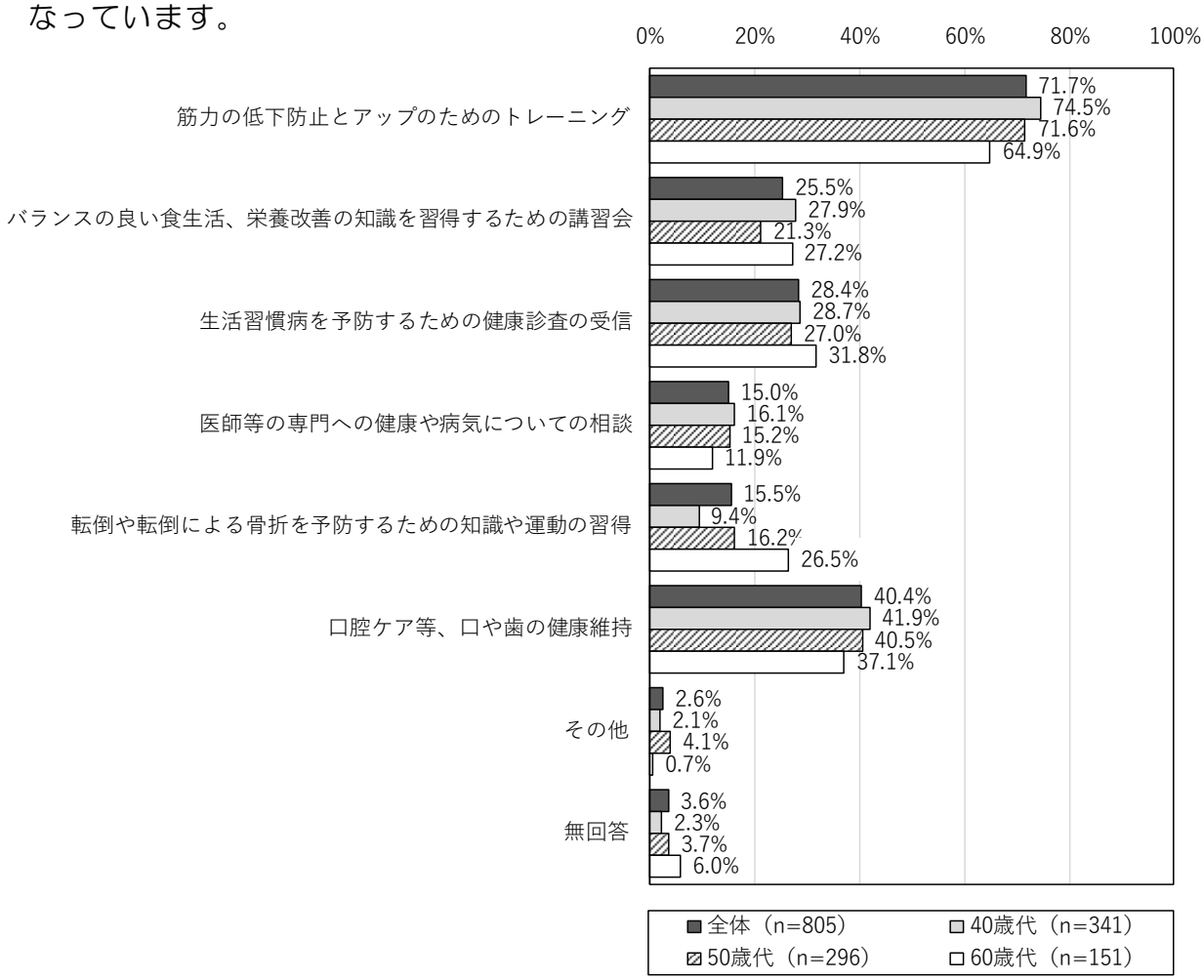
問 3-1　現在、特に健康保持や疾病予防に取り組まれていない理由は何ですか。（自由記述）

■健康状態がまあよいため。
■現状において必要性を感じていないことに加え、忙しさにかまけて取り組む程の熱意がない。
■仕事が多忙にて取り組む余裕がない。
■仕事が不規則で忙しい。
■時間、お金。
■時間がない。（２件）
■取り組もうと思っても、なかなか長続きなしない。（金銭面であったり仕事が忙がしかったりで）
■体調に不安を感じた事がないから。
■特に危機感がない。
■特に困っていないから。
■不便を感じない。

主に上記の意見がありました。

問 4　健康づくりや身体機能向上のために取り組みたいことは何ですか。（いくつでも）

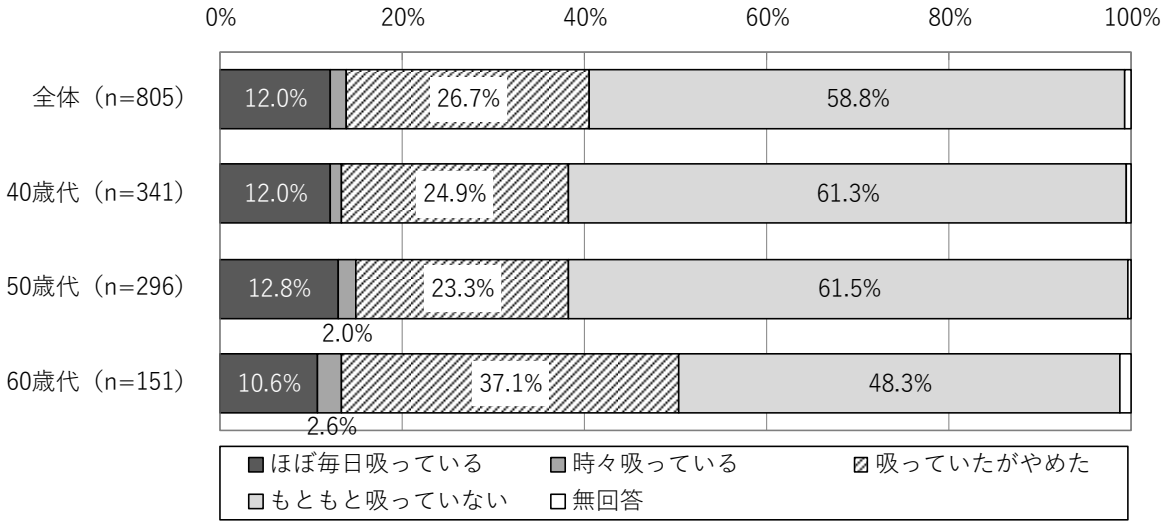
健康づくりや身体機能向上のために取り組みたいことでは、「筋力の低下防止とアップのためのトレーニング」が 71.7%と最も多く、次いで「口腔ケア等、口や歯の健康維持」が 40.4%、「生活習慣病を予防するための健康診査の受信」が 28.4%となっています。



	筋力の低下防止とアップのためのトレーニング	バランスの良い食生活、栄養改善の知識を習得するための講習会	生活習慣病を予防するための健康診査の受信	医師等の専門への健康や病気についての相談	転倒や転倒による骨折を予防するための知識や運動の習得	口腔ケア等、口や歯の健康維持	その他	無回答	回答者数
全体	577	205	229	121	125	325	21	29	805
40歳代	254	95	98	55	32	143	7	8	341
50歳代	212	63	80	45	48	120	12	11	296
60歳代	98	41	48	18	40	56	1	9	151
全体(n=805)	71.7%	25.5%	28.4%	15.0%	15.5%	40.4%	2.6%	3.6%	
40歳代(n=341)	74.5%	27.9%	28.7%	16.1%	9.4%	41.9%	2.1%	2.3%	
50歳代(n=296)	71.6%	21.3%	27.0%	15.2%	16.2%	40.5%	4.1%	3.7%	
60歳代(n=151)	64.9%	27.2%	31.8%	11.9%	26.5%	37.1%	0.7%	6.0%	

問 5　タバコは吸っていますか。

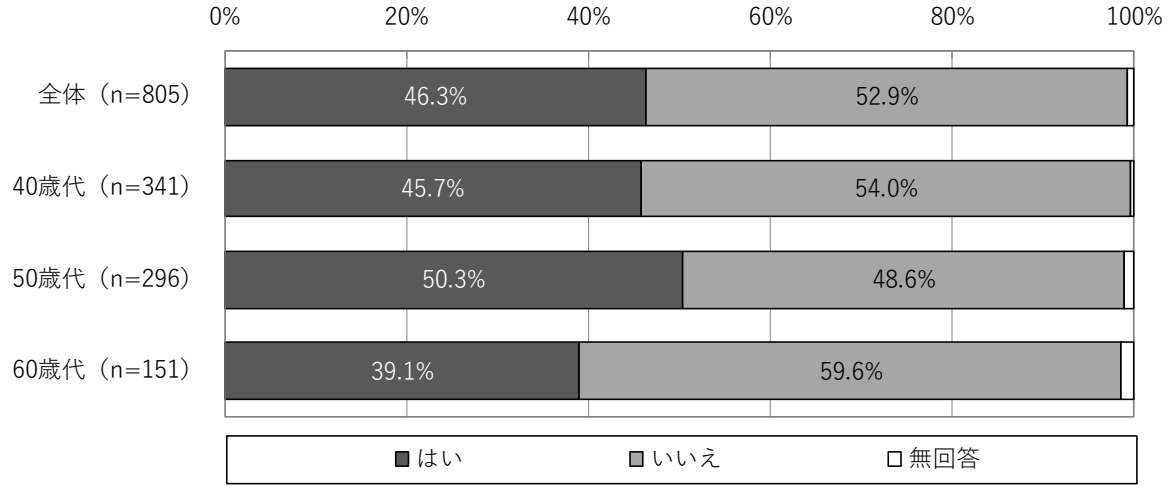
喫煙については、「もともと吸っていない」が 58.8%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 26.7%、「ほぼ毎日吸っている」が 12.0%となっています。



	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答	合計
全体	97	14	215	473	6	805
40歳代	41	4	85	209	2	341
50歳代	38	6	69	182	1	296
60歳代	16	4	56	73	2	151
全体（n=805）	12.0%	1.7%	26.7%	58.8%	0.7%	100.0%
40歳代（n=341）	12.0%	1.2%	24.9%	61.3%	0.6%	100.0%
50歳代（n=296）	12.8%	2.0%	23.3%	61.5%	0.3%	100.0%
60歳代（n=151）	10.6%	2.6%	37.1%	48.3%	1.3%	100.0%

問 6　この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

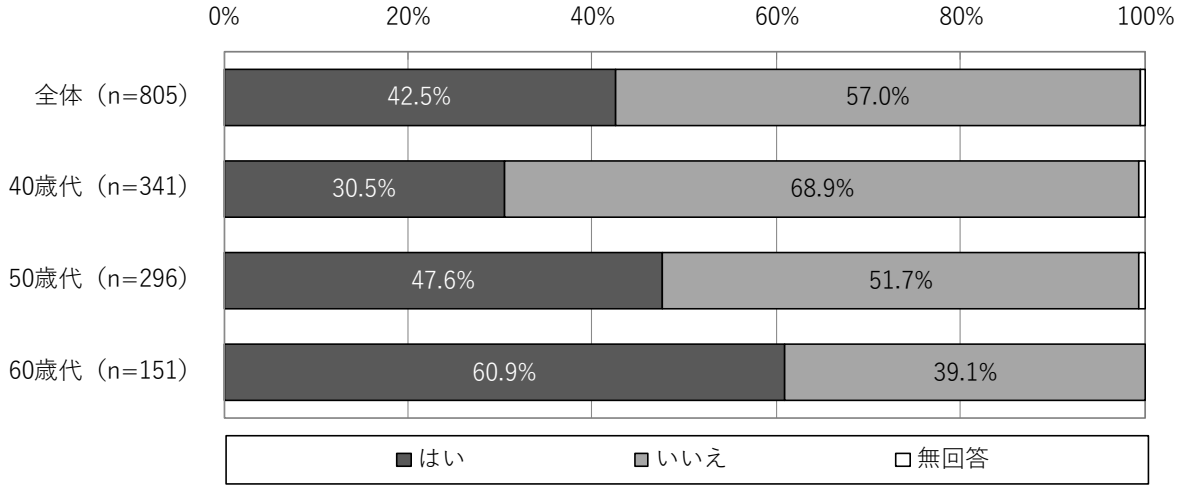
この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるかでは、「はい」が 46.3%、「いいえ」が 52.9%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	373	426	6	805
40歳代	156	184	1	341
50歳代	149	144	3	296
60歳代	59	90	2	151
全体(n=805)	46.3%	52.9%	0.7%	100.0%
40歳代(n=341)	45.7%	54.0%	0.3%	100.0%
50歳代(n=296)	50.3%	48.6%	1.0%	100.0%
60歳代(n=151)	39.1%	59.6%	1.3%	100.0%

問 7　現在病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

現在病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかでは、「はい」が 42.5%、「いいえ」が 57.0%となっています。

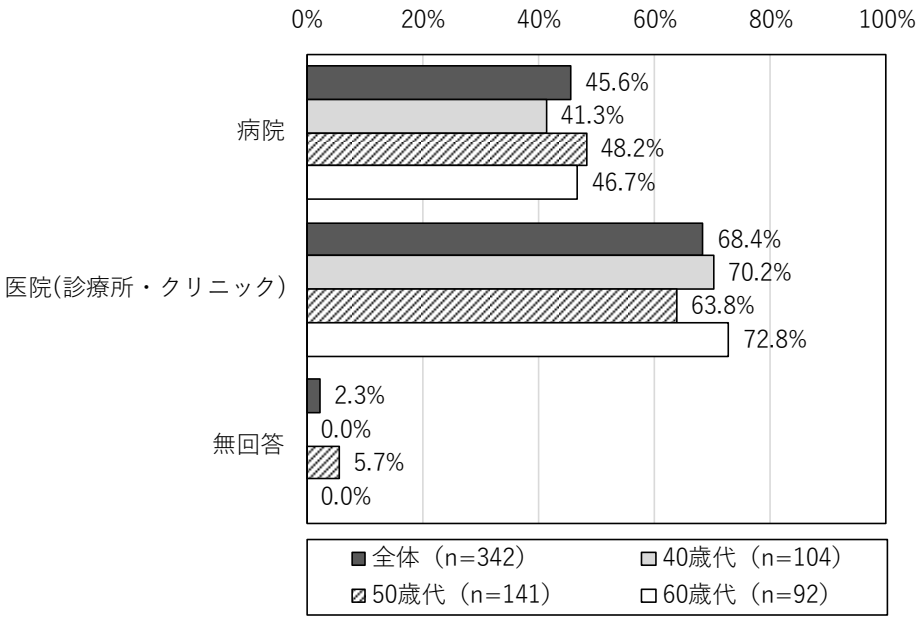


	はい	いいえ	無回答	合計
全体	342	459	4	805
40歳代	104	235	2	341
50歳代	141	153	2	296
60歳代	92	59	0	151
全体（n=805）	42.5%	57.0%	0.5%	100.0%
40歳代（n=341）	30.5%	68.9%	0.6%	100.0%
50歳代（n=296）	47.6%	51.7%	0.7%	100.0%
60歳代（n=151）	60.9%	39.1%	0.0%	100.0%

【問７で「はい」の方のみ】

問 7-1　何か所の病院・医院に通院していますか。また、かかっている診療科の種類は何種類ありますか。

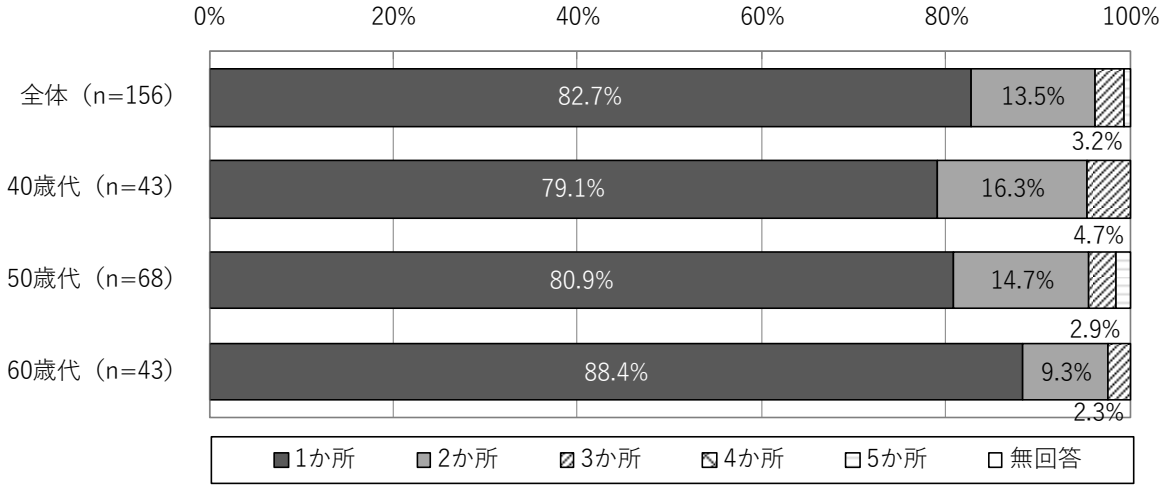
かかっている病院・医院では、「病院」が 45.6%、「医院（診療所・クリニック）」が 68.4%となっています。



	病院	医院（診療所・クリニック）	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	156	234	8	342	463	805
40歳代	43	73	0	104	237	341
50歳代	68	90	8	141	155	296
60歳代	43	67	0	92	59	151
全体（n=342）	45.6%	68.4%	2.3%			
40歳代（n=104）	41.3%	70.2%	0.0%			
50歳代（n=141）	48.2%	63.8%	5.7%			
60歳代（n=92）	46.7%	72.8%	0.0%			

【病院】

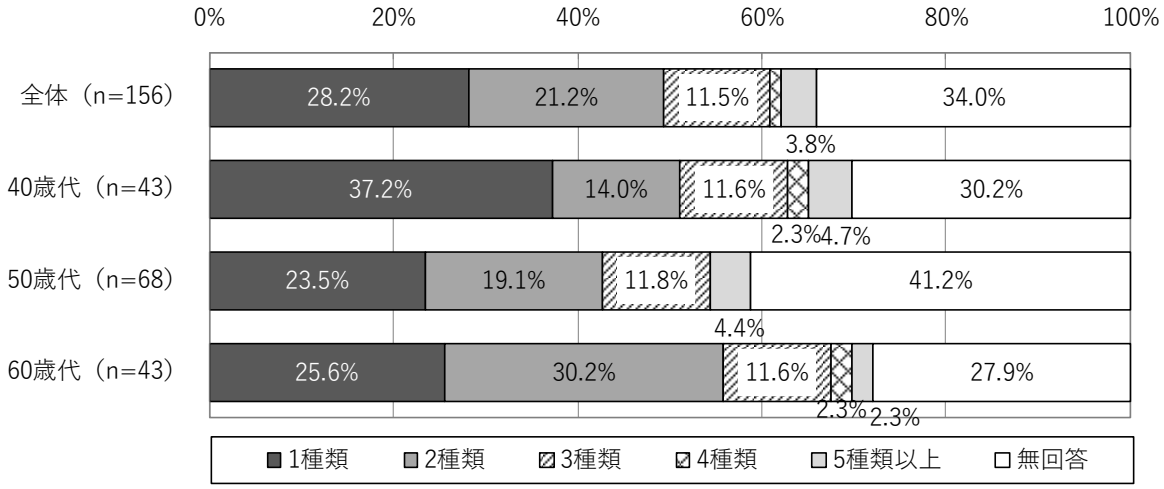
かかっている病院の数は、「1 か所」が 82.7%と最も多く、次いで「2 か所」が 13.5%となっています。



	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	129	21	5	0	1	0	156	649	805
40歳代	34	7	2	0	0	0	43	298	341
50歳代	55	10	2	0	1	0	68	228	296
60歳代	38	4	1	0	0	0	43	108	151
全体(n=156)	82.7%	13.5%	3.2%	0.0%	0.6%	0.0%	100.0%		
40歳代(n=43)	79.1%	16.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
50歳代(n=68)	80.9%	14.7%	2.9%	0.0%	1.5%	0.0%	100.0%		
60歳代(n=43)	88.4%	9.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

【病院でかかっている診療科の種類】

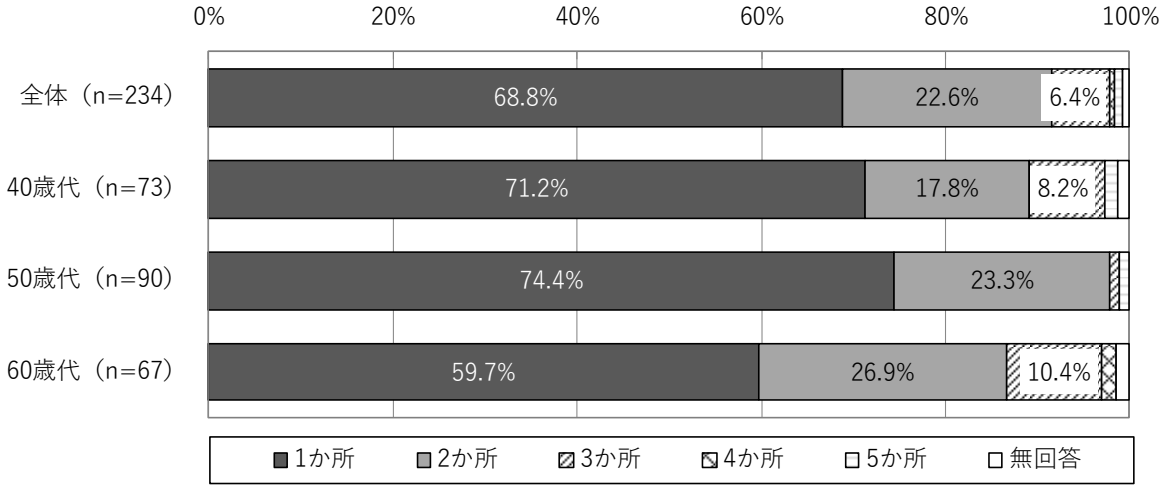
病院でかかっている診療科の種類では、「1 種類」が 28.2%と最も多く、次いで「２種類」が 21.2%となっています。



	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	44	33	18	2	6	53	156	649	805
40歳代	16	6	5	1	2	13	43	298	341
50歳代	16	13	8	0	3	28	68	228	296
60歳代	11	13	5	1	1	12	43	108	151
全体(n=156)	28.2%	21.2%	11.5%	1.3%	3.8%	34.0%	100.0%		
40歳代(n=43)	37.2%	14.0%	11.6%	2.3%	4.7%	30.2%	100.0%		
50歳代(n=68)	23.5%	19.1%	11.8%	0.0%	4.4%	41.2%	100.0%		
60歳代(n=43)	25.6%	30.2%	11.6%	2.3%	2.3%	27.9%	100.0%		

【医院（診療所・クリニック）】

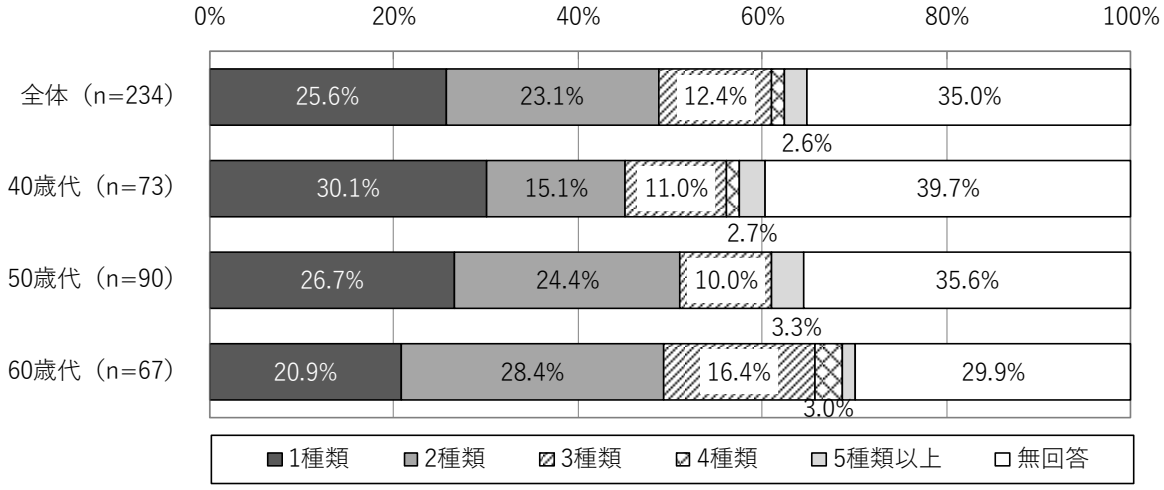
かかっている医院（診療所・クリニック）の数は、「1 か所」が 68.8%と最も多く、次いで「2 か所」が 22.6%となっています。



	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	161	53	15	1	2	2	234	571	805
40歳代	52	13	6	0	1	1	73	268	341
50歳代	67	21	1	0	1	0	90	206	296
60歳代	40	18	7	1	0	1	67	84	151
全体（n=234）	68.8%	22.6%	6.4%	0.4%	0.9%	0.9%	100.0%		
40歳代（n=73）	71.2%	17.8%	8.2%	0.0%	1.4%	1.4%	100.0%		
50歳代（n=90）	74.4%	23.3%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	100.0%		
60歳代（n=67）	59.7%	26.9%	10.4%	1.5%	0.0%	1.5%	100.0%		

【医院（診療所・クリニック）でかかっている診療科の種類】

医院（診療所・クリニック）でかかっている診療科の種類では、「1 種類」が 25.6%と最も多く、次いで「２種類」が 23.1%となっています。

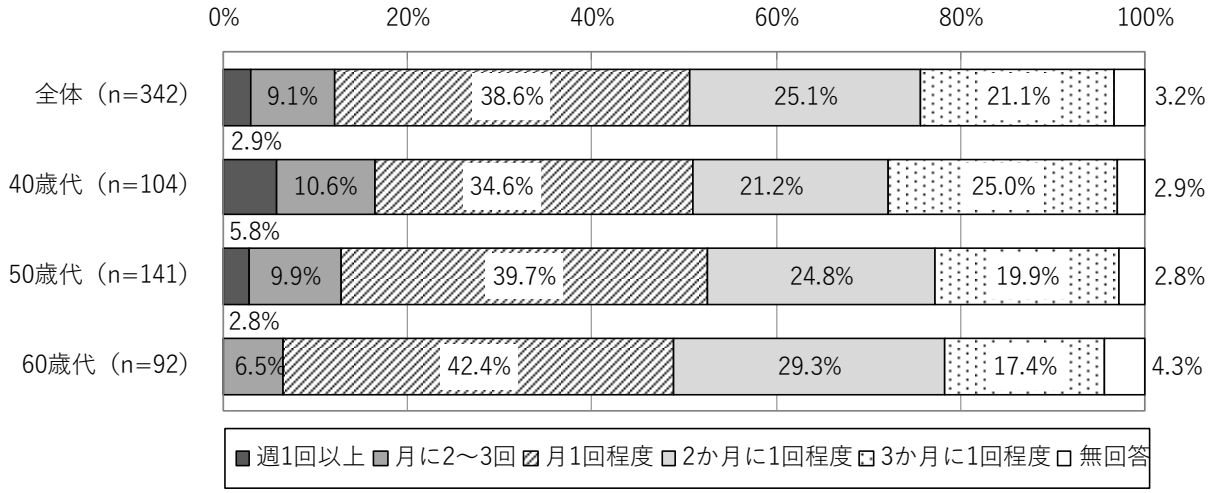


	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類以上	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	60	54	29	3	6	82	234	571	805
40歳代	22	11	8	1	2	29	73	268	341
50歳代	24	22	9	0	3	32	90	206	296
60歳代	14	19	11	2	1	20	67	84	151
全体（n=234）	25.6%	23.1%	12.4%	1.3%	2.6%	35.0%	100.0%		
40歳代（n=73）	30.1%	15.1%	11.0%	1.4%	2.7%	39.7%	100.0%		
50歳代（n=90）	26.7%	24.4%	10.0%	0.0%	3.3%	35.6%	100.0%		
60歳代（n=67）	20.9%	28.4%	16.4%	3.0%	1.5%	29.9%	100.0%		

【問７で「はい」の方のみ】

問 7-2　その頻度は次のうちどれですか。

頻度では、「月１回程度」が 38.6%と最も多く、次いで「2 か月に 1 回程度」が 25.1%、「3 か月に 1 回程度」が 21.1%となっています。

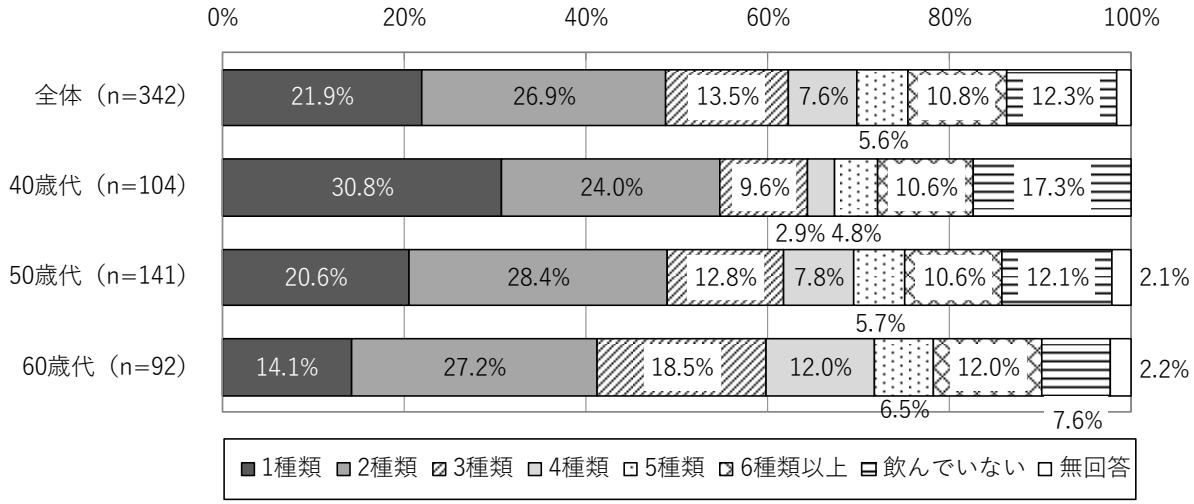


	週1回以上	月に2～3回	月1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	10	31	132	86	72	11	342	463	805
40歳代	6	11	36	22	26	3	104	237	341
50歳代	4	14	56	35	28	4	141	155	296
60歳代	0	6	39	27	16	4	92	59	151
全体（n=342）	2.9%	9.1%	38.6%	25.1%	21.1%	3.2%	100.0%		
40歳代（n=104）	5.8%	10.6%	34.6%	21.2%	25.0%	2.9%	100.0%		
50歳代（n=141）	2.8%	9.9%	39.7%	24.8%	19.9%	2.8%	100.0%		
60歳代（n=92）	0.0%	6.5%	42.4%	29.3%	17.4%	4.3%	100.0%		

【問７で「はい」の方のみ】

問 7-3　現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

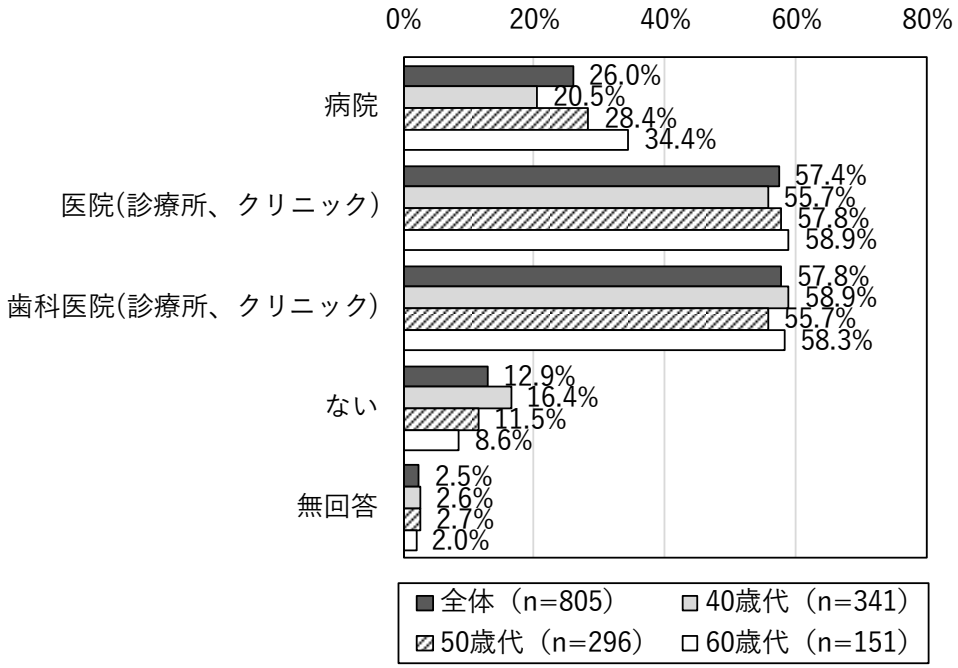
現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるかでは、「2 種類」が 26.9%と最も多く、次いで「1 種類」が 21.9%、「3 種類」が 13.5%となっています。



	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類以上	飲んでいない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	75	92	46	26	19	37	42	5	342	463	805
40歳代	32	25	10	3	5	11	18	0	104	237	341
50歳代	29	40	18	11	8	15	17	3	141	155	296
60歳代	13	25	17	11	6	11	7	2	92	59	151
全体（n=342）	21.9%	26.9%	13.5%	7.6%	5.6%	10.8%	12.3%	1.5%	100.0%		
40歳代（n=104）	30.8%	24.0%	9.6%	2.9%	4.8%	10.6%	17.3%	0.0%	100.0%		
50歳代（n=141）	20.6%	28.4%	12.8%	7.8%	5.7%	10.6%	12.1%	2.1%	100.0%		
60歳代（n=92）	14.1%	27.2%	18.5%	12.0%	6.5%	12.0%	7.6%	2.2%	100.0%		

問８　かかりつけの病院・医院・歯科医院（診療所、クリニック）はありますか。（いくつでも）

かかりつけの病院・医院・歯科医院（診療所、クリニック）はあるかでは、「歯科医院（診療所、クリニック）」が 57.8%と最も多く、次いで「医院（診療所、クリニック）」が 57.4%、「病院」が 26.0%となっています。

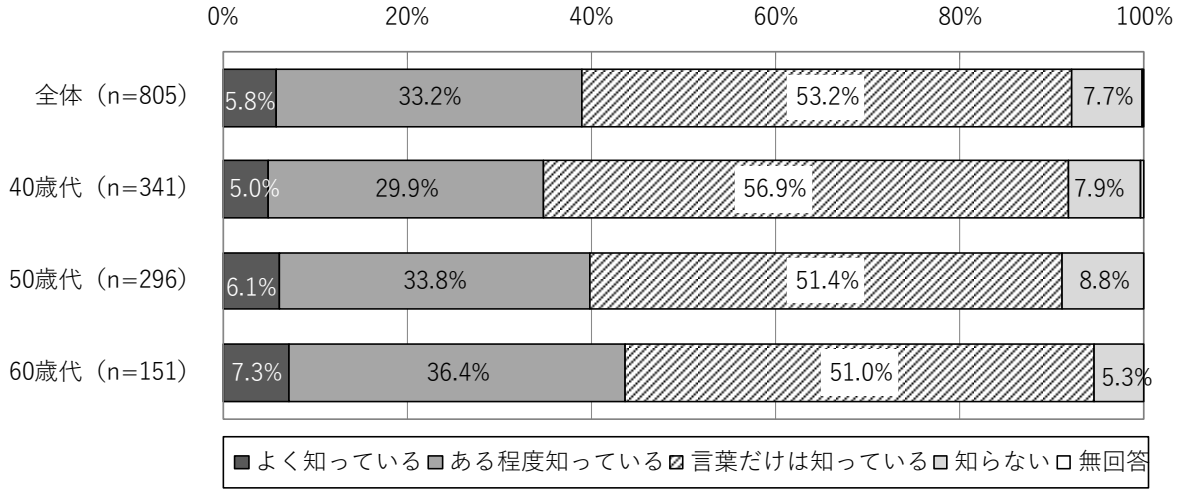


	病院	医院（診療所、クリニック）	歯科医院（診療所、クリニック）	ない	無回答	回答者数
全体	209	462	465	104	20	805
40歳代	70	190	201	56	9	341
50歳代	84	171	165	34	8	296
60歳代	52	89	88	13	3	151
全体（n=805）	26.0%	57.4%	57.8%	12.9%	2.5%	
40歳代（n=341）	20.5%	55.7%	58.9%	16.4%	2.6%	
50歳代（n=296）	28.4%	57.8%	55.7%	11.5%	2.7%	
60歳代（n=151）	34.4%	58.9%	58.3%	8.6%	2.0%	

問９　あなたは「在宅医療」についてご存知ですか。

「在宅医療」について知っているかでは、「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」を合わせた『知っている』が 92.2%となっています。

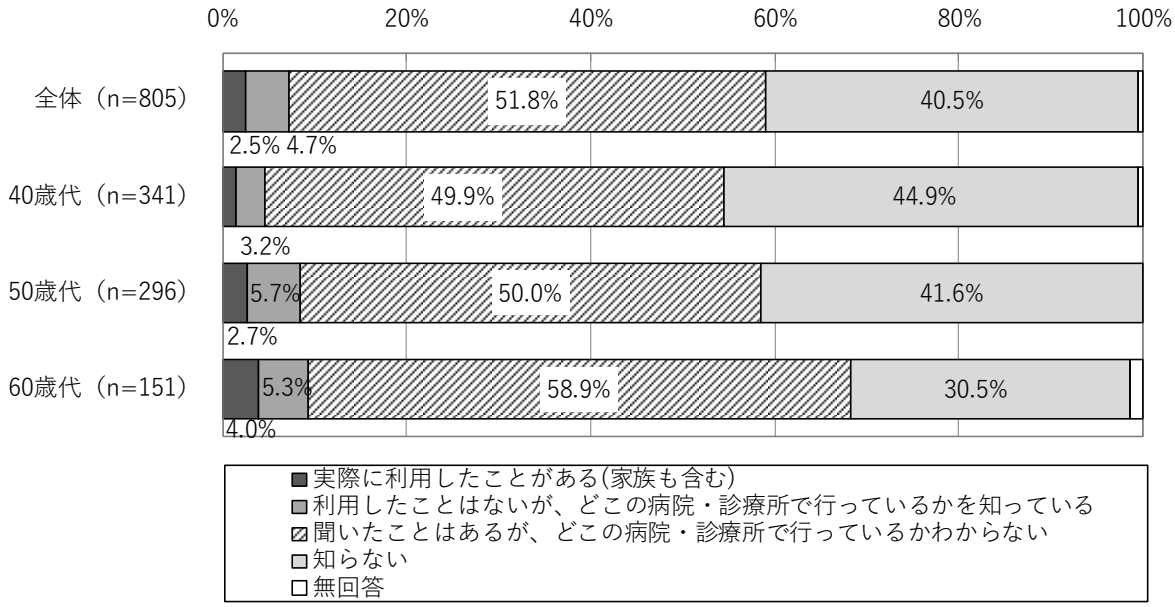
また、「知らない」が 7.7%となっています。



	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけは知っている	知らない	無回答	合計
全体	47	267	428	62	1	805
40歳代	17	102	194	27	1	341
50歳代	18	100	152	26	0	296
60歳代	11	55	77	8	0	151
全体（n=805）	5.8%	33.2%	53.2%	7.7%	0.1%	100.0%
40歳代（n=341）	5.0%	29.9%	56.9%	7.9%	0.3%	100.0%
50歳代（n=296）	6.1%	33.8%	51.4%	8.8%	0.0%	100.0%
60歳代（n=151）	7.3%	36.4%	51.0%	5.3%	0.0%	100.0%

問 10　24 時間体制で往診・訪問診療を行う在宅療養支援診療所、24 時間体制で入院を受け付ける在宅療養支援病院・地域包括ケア病棟があることをご存知ですか。

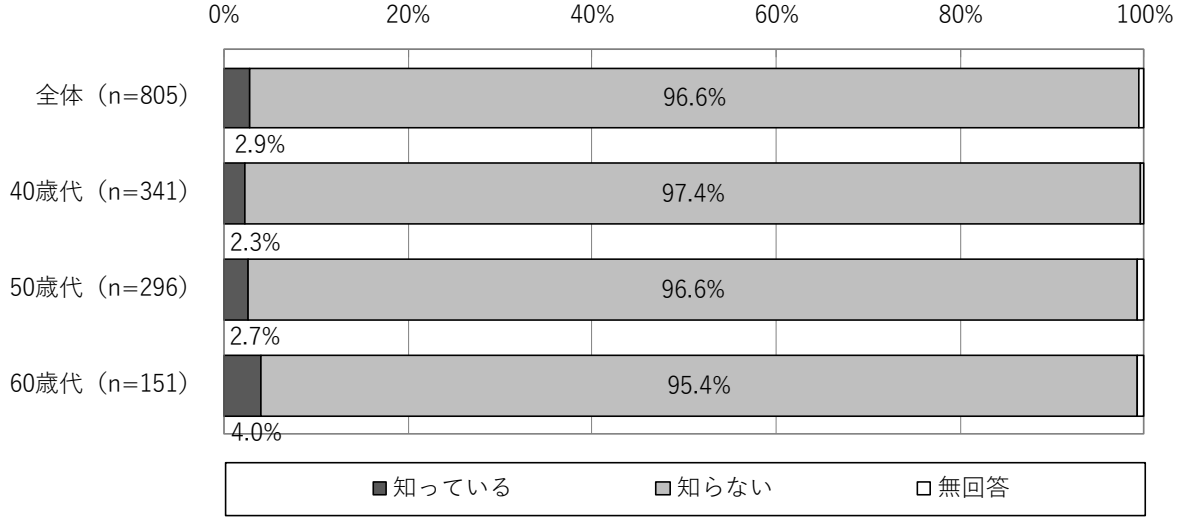
在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院・地域包括ケア病棟の認知では、「聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているかわからない」が 51.8%と最も多く、次いで「知らない」が 40.5%、「利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているかを知っている」が 4.7%となっています。



	実際に利用したことがある(家族も含む)	利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているかを知っている	聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているかわからない	知らない	無回答	合計
全体	20	38	417	326	4	805
40歳代	5	11	170	153	2	341
50歳代	8	17	148	123	0	296
60歳代	6	8	89	46	2	151
全体(n=805)	2.5%	4.7%	51.8%	40.5%	0.5%	100.0%
40歳代(n=341)	1.5%	3.2%	49.9%	44.9%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	2.7%	5.7%	50.0%	41.6%	0.0%	100.0%
60歳代(n=151)	4.0%	5.3%	58.9%	30.5%	1.3%	100.0%

問 11　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」をご存知ですか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を知っているかでは、「知っている」が 2.9%、「知らない」が 96.6%なっています。



	知っている	知らない	無回答	合計
全体	23	778	4	805
40歳代	8	332	1	341
50歳代	8	286	2	296
60歳代	6	144	1	151
全体(n=805)	2.9%	96.6%	0.5%	100.0%
40歳代(n=341)	2.3%	97.4%	0.3%	100.0%
50歳代(n=296)	2.7%	96.6%	0.7%	100.0%
60歳代(n=151)	4.0%	95.4%	0.7%	100.0%

【問 11 で「知っている」の方のみ】

問 11-1　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していますか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用しているかでは、「使用している」が 23 件中４件、「使用していない」が 19 件となっています。

	使用している	使用していない	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	4	19	0	23	782	805
40歳代	3	5	0	8	333	341
50歳代	0	8	0	8	288	296
60歳代	0	6	0	6	145	151
全体(n=23)	17.4%	82.6%	0.0%	100.0%		
40歳代(n=8)	37.5%	62.5%	0.0%	100.0%		
50歳代(n=8)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
60歳代(n=6)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		

※回答者数が少ない為表のみ掲載

【問 11-1 で「使用していない」の方のみ】

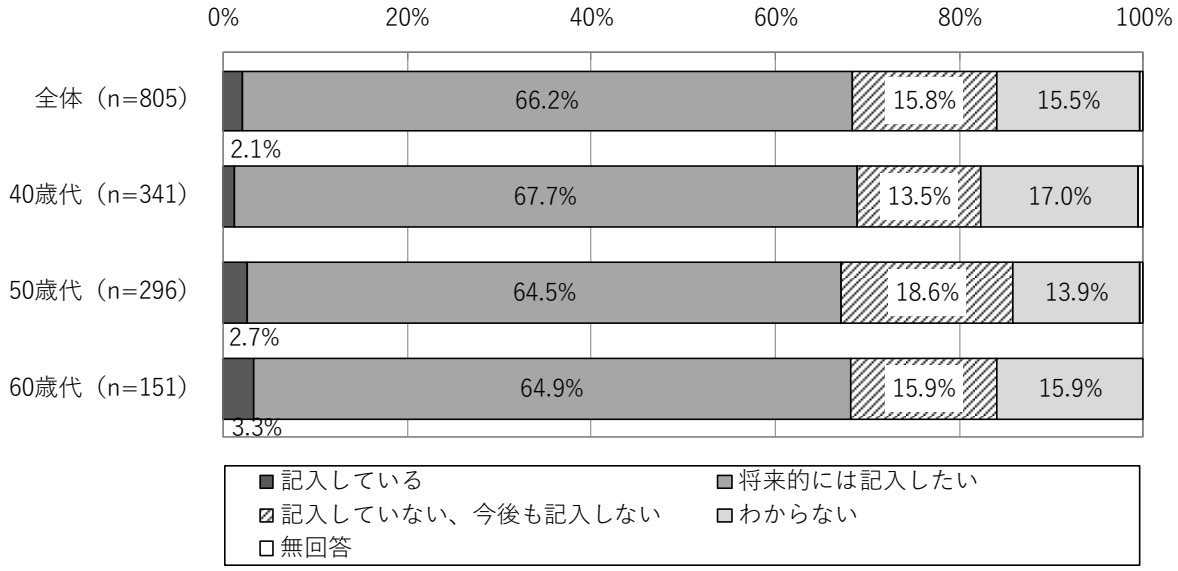
問 11-2　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していない理由は何ですが。（いくつでも）

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していない理由では、「必要性を感じていない」が 19 件中 8 件、「家族と同居しているから必要ない」が 6 件となっています。

	必要性を感じていない	家族と同居しているから必要ない	持っていない	書きたくない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	8	6	1	0	5	1	19	786	805
40歳代	1	1	1	0	2	0	5	336	341
50歳代	3	3	0	0	3	1	8	288	296
60歳代	4	2	0	0	0	0	6	145	151
全体(n=19)	42.1%	31.6%	5.3%	0.0%	26.3%	5.3%			
40歳代(n=5)	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%			
50歳代(n=8)	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%			
60歳代(n=6)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

問 12　将来に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどをエンディングノート等に記入していますか。

将来に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどをエンディングノート等に記入しているかでは、「将来的には記入したい」が 66.2%と最も多く、次いで「記入していない、今後も記入しない」が 15.8%となっています。

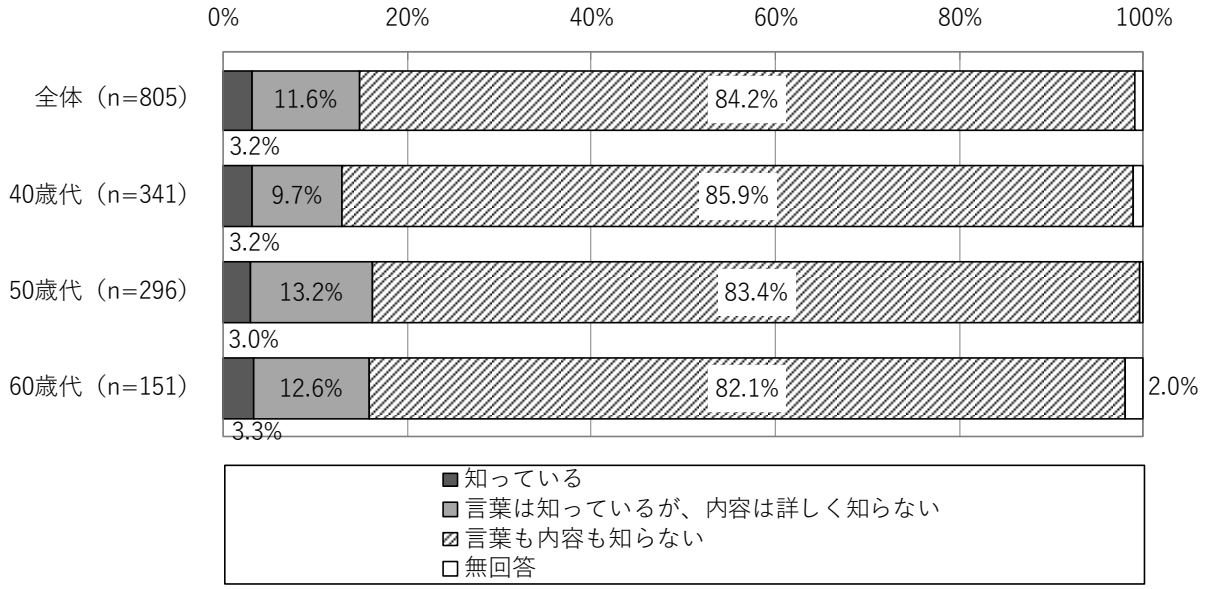


	記入している	将来的には記入したい	記入していない、今後も記入しない	わからない	無回答	合計
全体	17	533	127	125	3	805
40歳代	4	231	46	58	2	341
50歳代	8	191	55	41	1	296
60歳代	5	98	24	24	0	151
全体(n=805)	2.1%	66.2%	15.8%	15.5%	0.4%	100.0%
40歳代(n=341)	1.2%	67.7%	13.5%	17.0%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	2.7%	64.5%	18.6%	13.9%	0.3%	100.0%
60歳代(n=151)	3.3%	64.9%	15.9%	15.9%	0.0%	100.0%

問 13　ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っていますか。

ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っているかでは、「知っている」「言葉は知っているが、内容は詳しく知らない」を合わせた『知っている』14.8%となっています。

また、「言葉も内容も知らない」が 84.2%となっています。

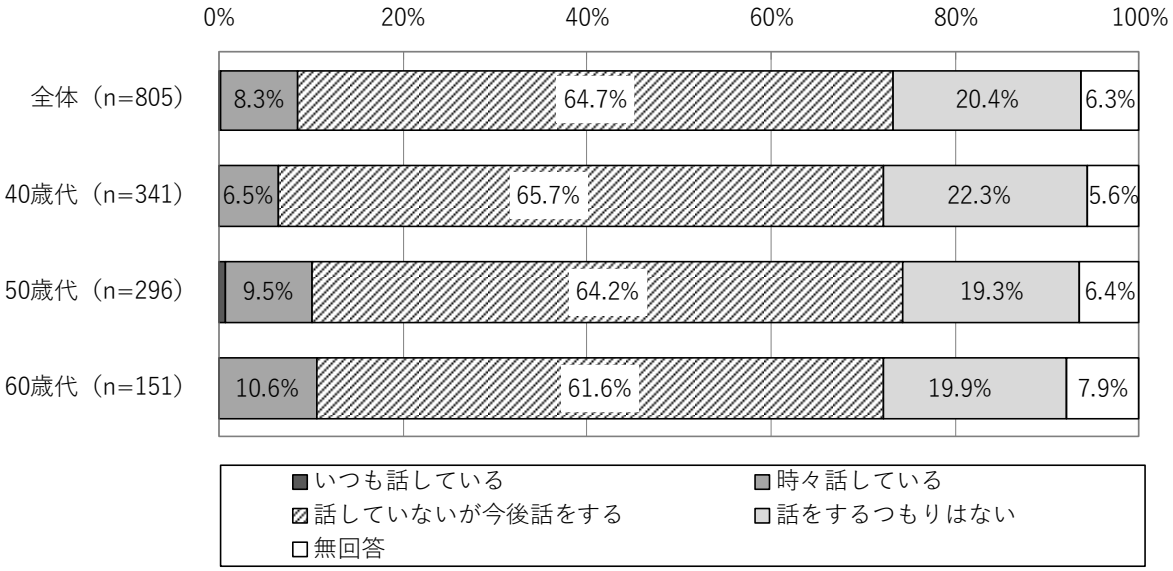


	知っている	言葉は知っているが、内容は詳しく知らない	言葉も内容も知らない	無回答	合計
全体	26	93	678	8	805
40歳代	11	33	293	4	341
50歳代	9	39	247	1	296
60歳代	5	19	124	3	151
全体（n=805）	3.2%	11.6%	84.2%	1.0%	100.0%
40歳代（n=341）	3.2%	9.7%	85.9%	1.2%	100.0%
50歳代（n=296）	3.0%	13.2%	83.4%	0.3%	100.0%
60歳代（n=151）	3.3%	12.6%	82.1%	2.0%	100.0%

問 14　将来に備えて、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）や人生の終わり方について家族や知人、サービス関係者と話しあったことはありますか。

将来に備えて、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）や人生の終わり方について家族や知人、サービス関係者と話しあったことがあるかでは、「いつも話している」「時々話している」を合わせた『話している』が 8.5%となっています。

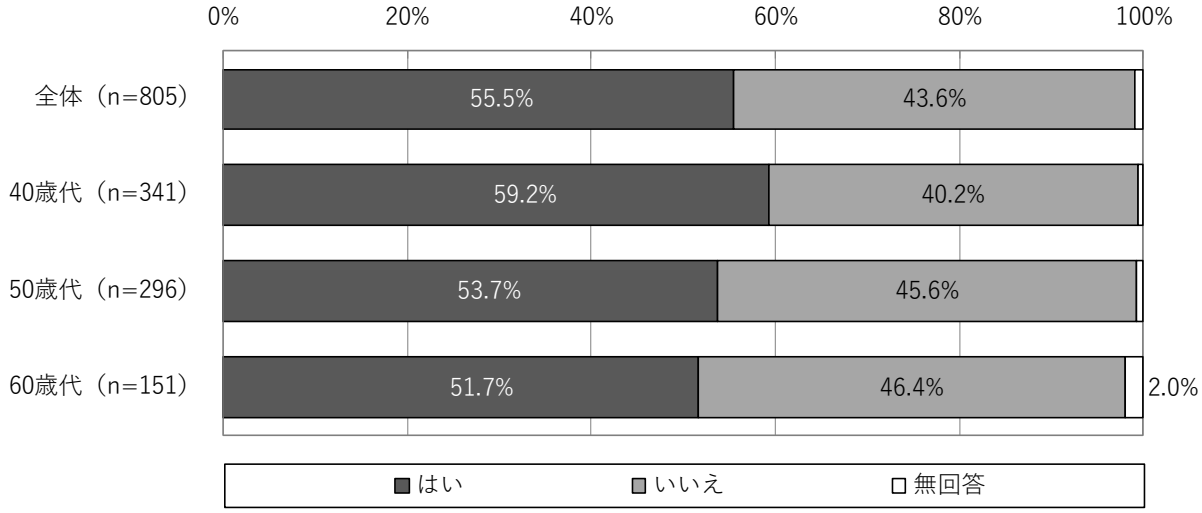
「話していないが今後話をする」が 64.7%、「話をするつもりはない」が 20.4%、となっています。



	いつも話している	時々話している	話していないが今後話をする	話をするつもりはない	無回答	合計
全体	2	67	521	164	51	805
40歳代	0	22	224	76	19	341
50歳代	2	28	190	57	19	296
60歳代	0	16	93	30	12	151
全体(n=805)	0.2%	8.3%	64.7%	20.4%	6.3%	100.0%
40歳代(n=341)	0.0%	6.5%	65.7%	22.3%	5.6%	100.0%
50歳代(n=296)	0.7%	9.5%	64.2%	19.3%	6.4%	100.0%
60歳代(n=151)	0.0%	10.6%	61.6%	19.9%	7.9%	100.0%

問 15　定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

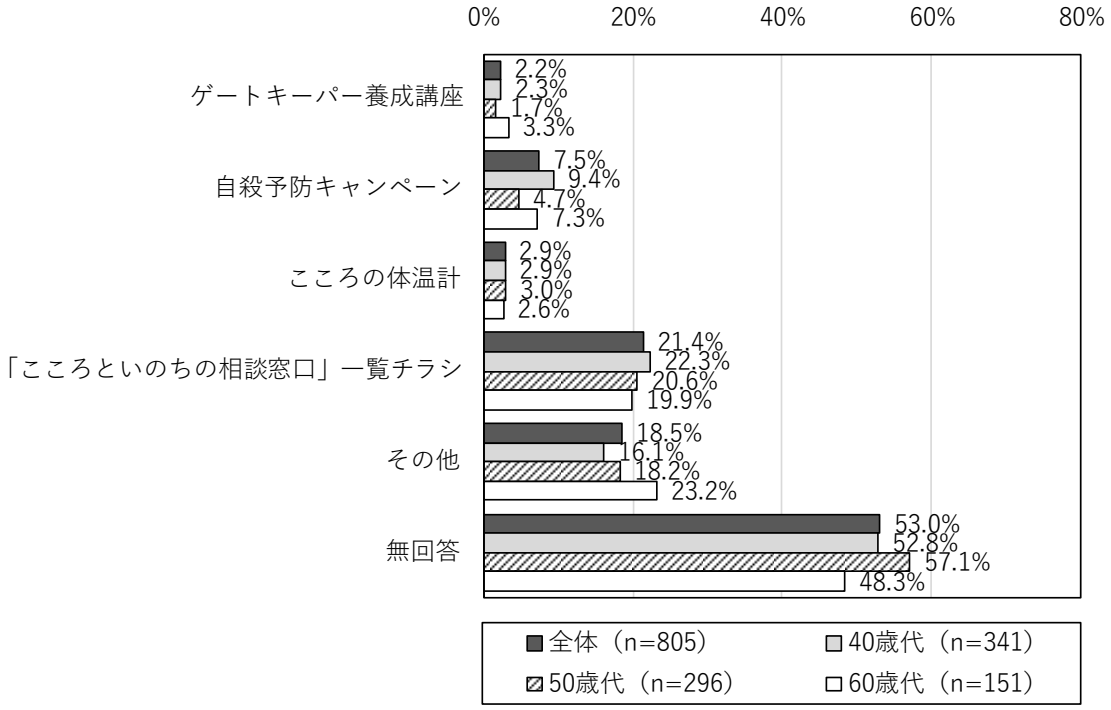
定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかでは、「はい」が 55.5%、「いいえ」が 43.6%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	447	351	7	805
40歳代	202	137	2	341
50歳代	159	135	2	296
60歳代	78	70	3	151
全体（n=805）	55.5%	43.6%	0.9%	100.0%
40歳代（n=341）	59.2%	40.2%	0.6%	100.0%
50歳代（n=296）	53.7%	45.6%	0.7%	100.0%
60歳代（n=151）	51.7%	46.4%	2.0%	100.0%

問 16　つくば市で行われている自殺予防事業を知っていますか。(いくつでも)

つくば市で行われている自殺予防事業を知っているかでは、「「こころといのちの相談窓口」一覧チラシ」が 21.4%と最も多く、次いで「自殺予防キャンペーン」が 7.5%となっています。

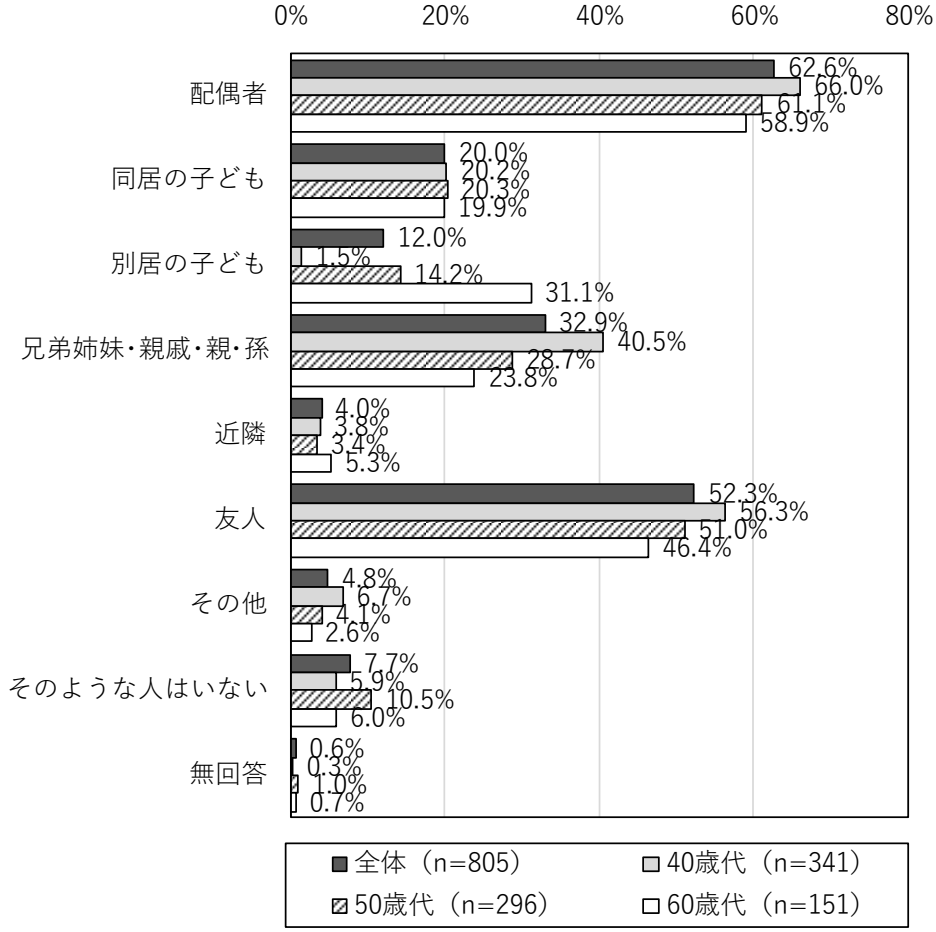


	ゲートキーパー養成講座	自殺予防キャンペーン	こころの体温計	「こころといのちの相談窓口」一覧チラシ	その他	無回答	回答者数
全体	18	60	23	172	149	427	805
40歳代	8	32	10	76	55	180	341
50歳代	5	14	9	61	54	169	296
60歳代	5	11	4	30	35	73	151
全体(n=805)	2.2%	7.5%	2.9%	21.4%	18.5%	53.0%	
40歳代(n=341)	2.3%	9.4%	2.9%	22.3%	16.1%	52.8%	
50歳代(n=296)	1.7%	4.7%	3.0%	20.6%	18.2%	57.1%	
60歳代(n=151)	3.3%	7.3%	2.6%	19.9%	23.2%	48.3%	

（4）生きがいについて

問１　心配や愚痴を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも）

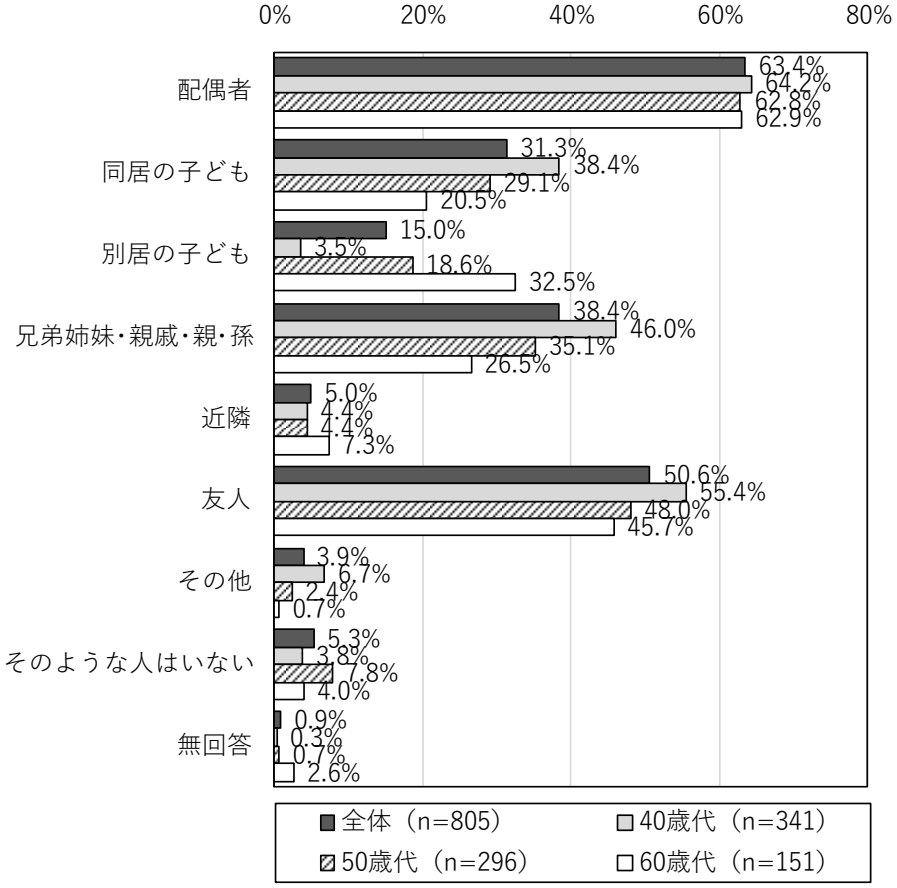
心配や愚痴を聞いてくれる人はいるかでは、「配偶者」が 62.6%と最も多く、次いで「友人」が 52.3%、「兄弟姉妹･親戚･親･孫」が 32.9%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	504	161	97	265	32	421	39	62	5	805
40歳代	225	69	5	138	13	192	23	20	1	341
50歳代	181	60	42	85	10	151	12	31	3	296
60歳代	89	30	47	36	8	70	4	9	1	151
全体(n=805)	62.6%	20.0%	12.0%	32.9%	4.0%	52.3%	4.8%	7.7%	0.6%	
40歳代(n=341)	66.0%	20.2%	1.5%	40.5%	3.8%	56.3%	6.7%	5.9%	0.3%	
50歳代(n=296)	61.1%	20.3%	14.2%	28.7%	3.4%	51.0%	4.1%	10.5%	1.0%	
60歳代(n=151)	58.9%	19.9%	31.1%	23.8%	5.3%	46.4%	2.6%	6.0%	0.7%	

問 2　反対に心配や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（いくつでも）

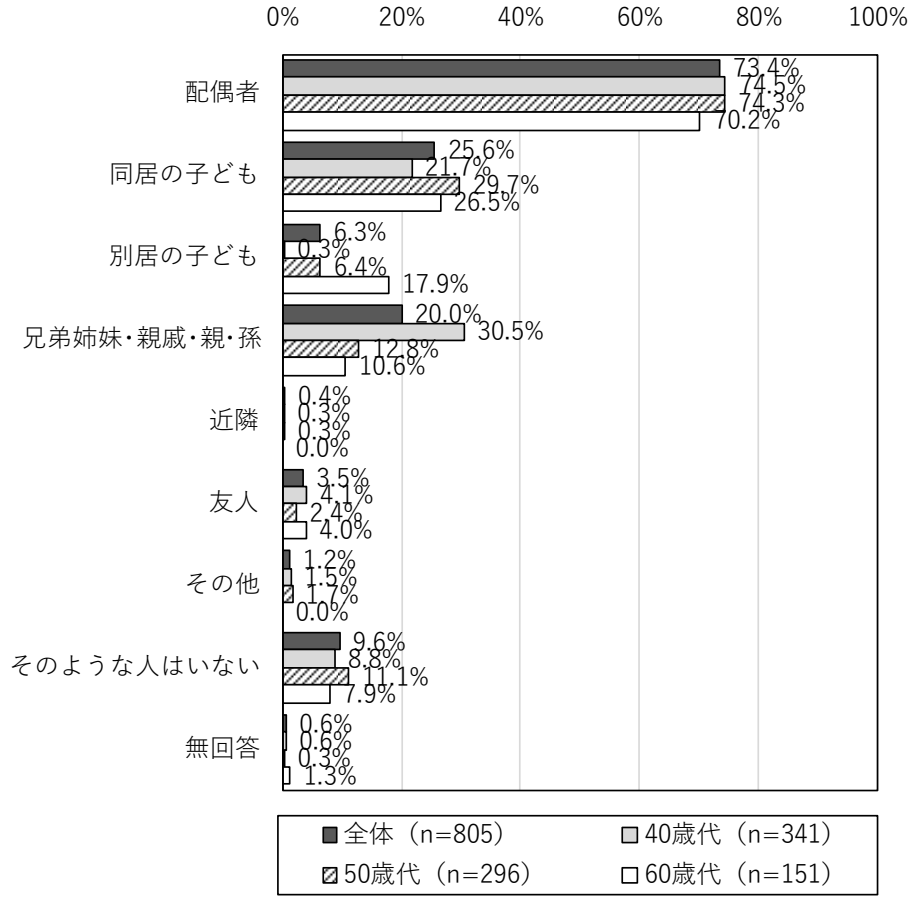
反対に心配や愚痴を聞いてあげる人はいるかでは､「配偶者」が 63.4%と最も多く、次いで「友人」が 50.6%､「兄弟姉妹･親戚･親･孫」が 38.4%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	510	252	121	309	40	407	31	43	7	805
40歳代	219	131	12	157	15	189	23	13	1	341
50歳代	186	86	55	104	13	142	7	23	2	296
60歳代	95	31	49	40	11	69	1	6	4	151
全体(n=805)	63.4%	31.3%	15.0%	38.4%	5.0%	50.6%	3.9%	5.3%	0.9%	
40歳代(n=341)	64.2%	38.4%	3.5%	46.0%	4.4%	55.4%	6.7%	3.8%	0.3%	
50歳代(n=296)	62.8%	29.1%	18.6%	35.1%	4.4%	48.0%	2.4%	7.8%	0.7%	
60歳代(n=151)	62.9%	20.5%	32.5%	26.5%	7.3%	45.7%	0.7%	4.0%	2.6%	

問 3　病気で寝込んだ時に看病してくれる人はいますか。（いくつでも）

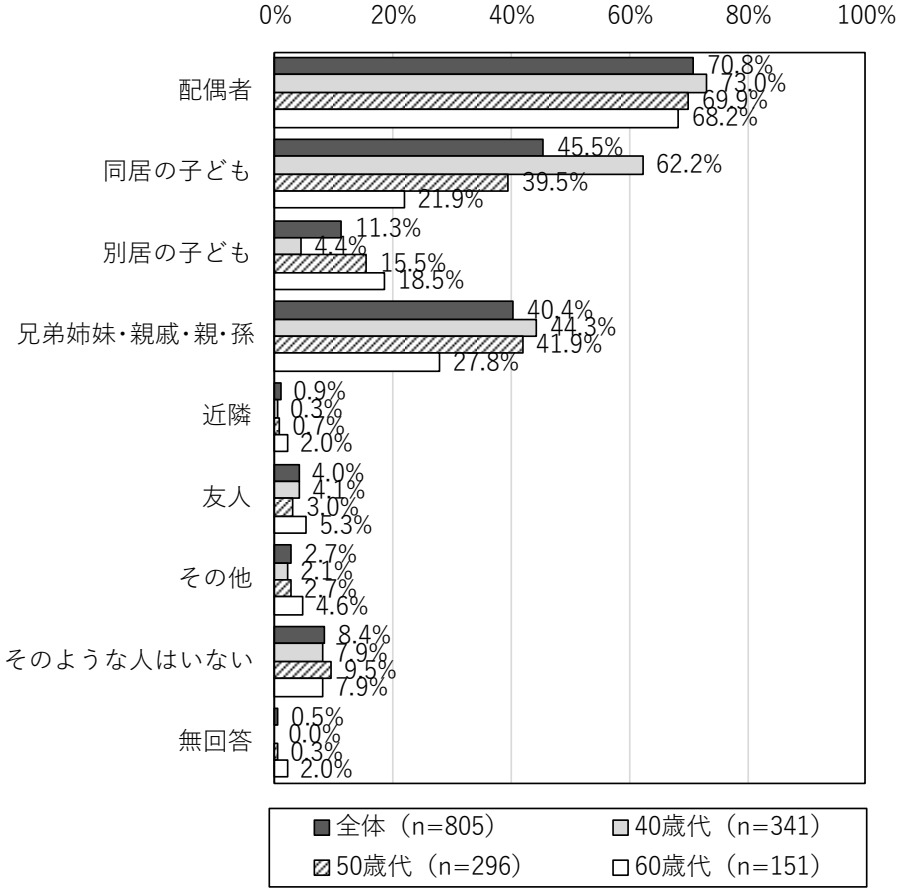
病気で寝込んだ時に看病してくれる人はいるかでは、「配偶者」が 73.4%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 25.6%、「兄弟姉妹･親戚･親･孫」が 20.0%となっています。



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	591	206	51	161	3	28	10	77	5	805
40歳代	254	74	1	104	1	14	5	30	2	341
50歳代	220	88	19	38	1	7	5	33	1	296
60歳代	106	40	27	16	0	6	0	12	2	151
全体(n=805)	73.4%	25.6%	6.3%	20.0%	0.4%	3.5%	1.2%	9.6%	0.6%	
40歳代(n=341)	74.5%	21.7%	0.3%	30.5%	0.3%	4.1%	1.5%	8.8%	0.6%	
50歳代(n=296)	74.3%	29.7%	6.4%	12.8%	0.3%	2.4%	1.7%	11.1%	0.3%	
60歳代(n=151)	70.2%	26.5%	17.9%	10.6%	0.0%	4.0%	0.0%	7.9%	1.3%	

問４　反対に看病や世話をしてあげる人はいますか。（いくつでも）

反対に看病や世話をしてあげる人では、「配偶者」が 70.8%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 45.5%、「兄弟姉妹･親戚･親･孫」が 40.4%となっています。

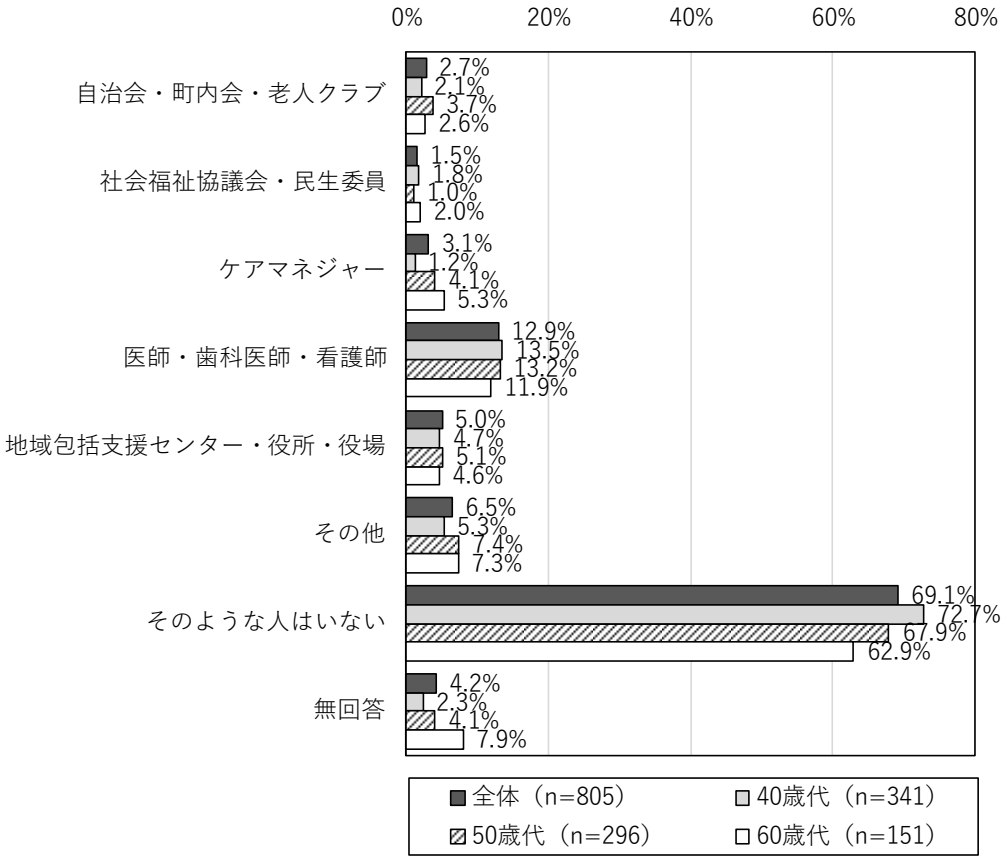


	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	570	366	91	325	7	32	22	68	4	805
40歳代	249	212	15	151	1	14	7	27	0	341
50歳代	207	117	46	124	2	9	8	28	1	296
60歳代	103	33	28	42	3	8	7	12	3	151
全体(n=805)	70.8%	45.5%	11.3%	40.4%	0.9%	4.0%	2.7%	8.4%	0.5%	
40歳代(n=341)	73.0%	62.2%	4.4%	44.3%	0.3%	4.1%	2.1%	7.9%	0.0%	
50歳代(n=296)	69.9%	39.5%	15.5%	41.9%	0.7%	3.0%	2.7%	9.5%	0.3%	
60歳代(n=151)	68.2%	21.9%	18.5%	27.8%	2.0%	5.3%	4.6%	7.9%	2.0%	

問 5　家族や知人以外で何かあった時に相談する相手はいますか。(いくつでも)

家族や知人以外で何かあった時に相談する相手では、「医師・歯科医師・看護師」が 12.9%と最も多く、次いで、「地域包括支援センター・役所・役場」が 5.0%となっています。

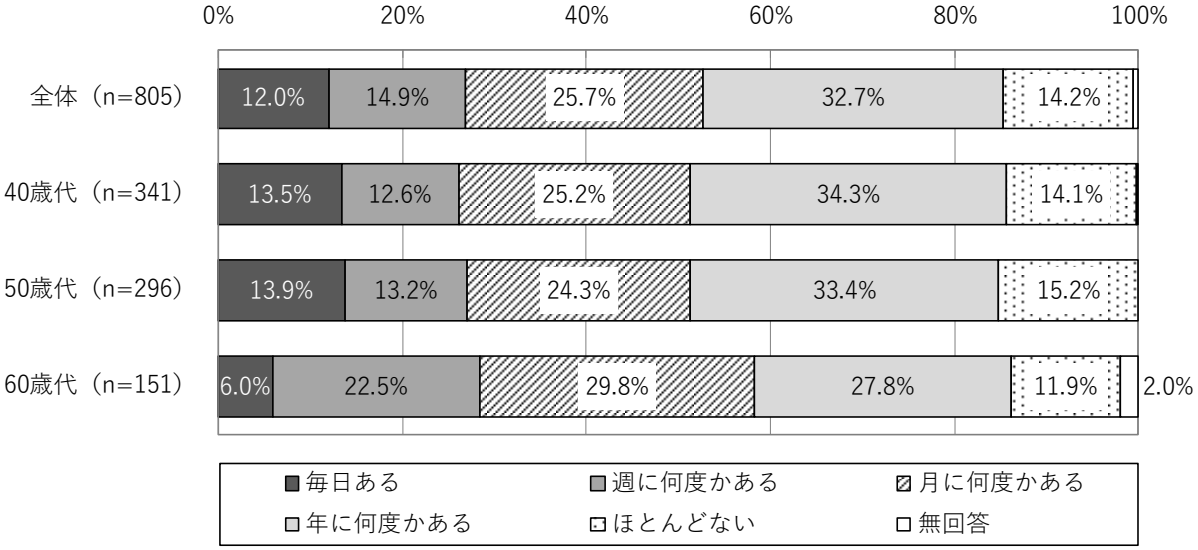
また、「そのような人はいない」が 69.1%となっています。



	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答	回答者数
全体	22	12	25	104	40	52	556	34	805
40歳代	7	6	4	46	16	18	248	8	341
50歳代	11	3	12	39	15	22	201	12	296
60歳代	4	3	8	18	7	11	95	12	151
全体(n=805)	2.7%	1.5%	3.1%	12.9%	5.0%	6.5%	69.1%	4.2%	
40歳代(n=341)	2.1%	1.8%	1.2%	13.5%	4.7%	5.3%	72.7%	2.3%	
50歳代(n=296)	3.7%	1.0%	4.1%	13.2%	5.1%	7.4%	67.9%	4.1%	
60歳代(n=151)	2.6%	2.0%	5.3%	11.9%	4.6%	7.3%	62.9%	7.9%	

問 6　友人･知人と会う頻度はどれくらいですか。

友人･知人と会う頻度では、「年に何度かある」が 32.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 25.7%、「週に何度かある」が 14.9%となっています。

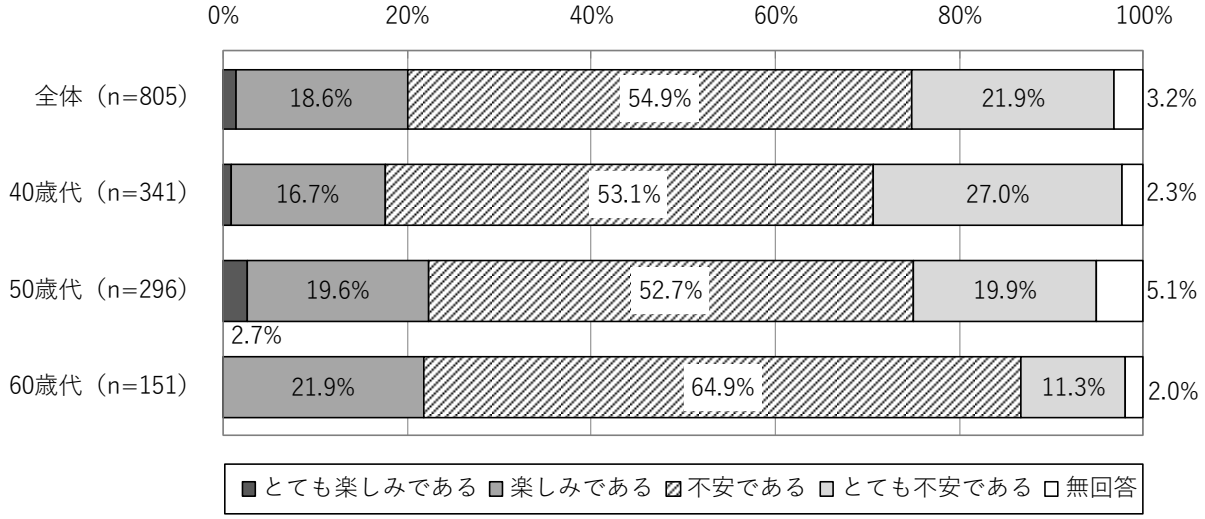


	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	合計
全体	97	120	207	263	114	4	805
40歳代	46	43	86	117	48	1	341
50歳代	41	39	72	99	45	0	296
60歳代	9	34	45	42	18	3	151
全体（n=805）	12.0%	14.9%	25.7%	32.7%	14.2%	0.5%	100.0%
40歳代（n=341）	13.5%	12.6%	25.2%	34.3%	14.1%	0.3%	100.0%
50歳代（n=296）	13.9%	13.2%	24.3%	33.4%	15.2%	0.0%	100.0%
60歳代（n=151）	6.0%	22.5%	29.8%	27.8%	11.9%	2.0%	100.0%

問 7　あなたは、高齢期の暮らしについて、どのように感じていますか。

高齢期の暮らしについて、どのように感じているかでは、「不安である」「とても不安である」を合わせた『不安である』が 76.8%となっています。

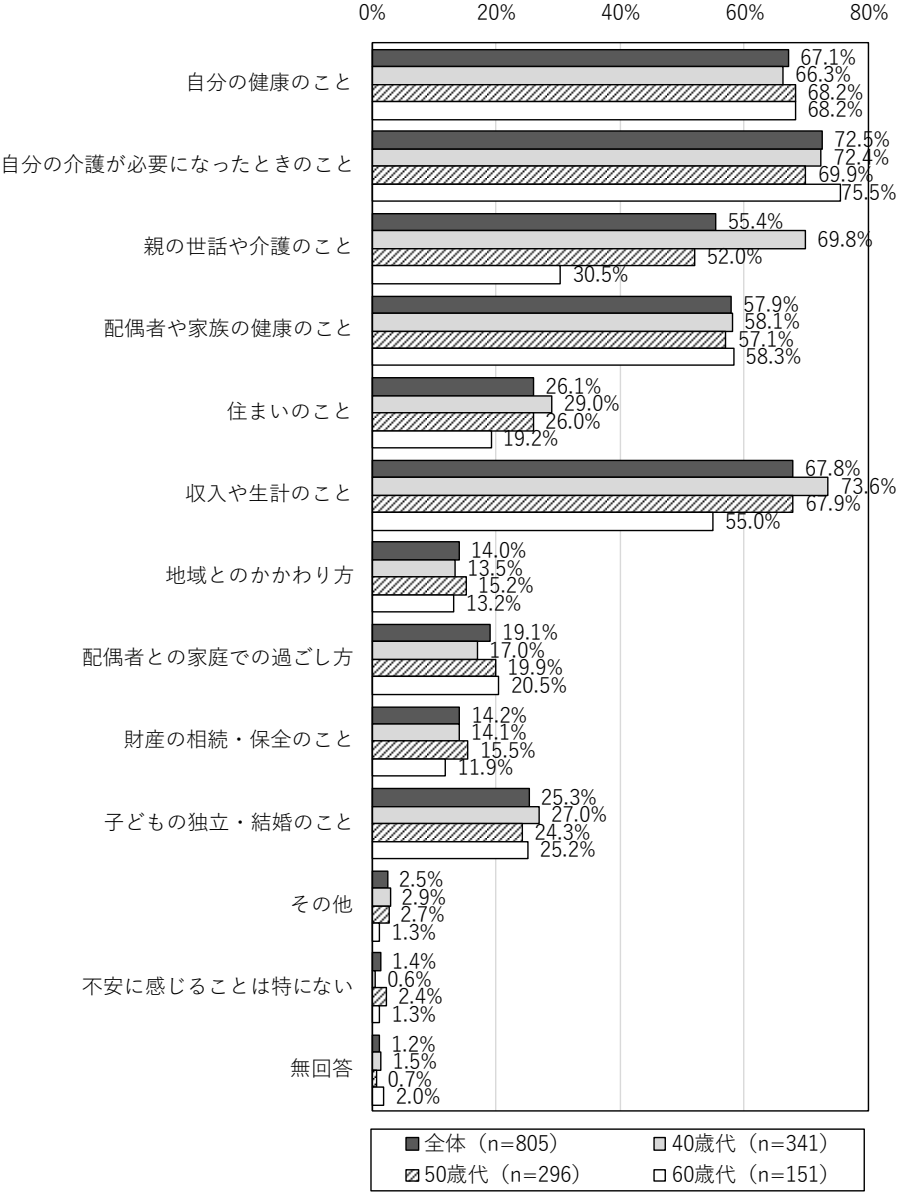
また、「とても楽しみである」「楽しみである」を合わせた『楽しみである』が 20.0%となっています。



	とても楽しみである	楽しみである	不安である	とても不安である	無回答	合計
全体	11	150	442	176	26	805
40歳代	3	57	181	92	8	341
50歳代	8	58	156	59	15	296
60歳代	0	33	98	17	3	151
全体（n=805）	1.4%	18.6%	54.9%	21.9%	3.2%	100.0%
40歳代（n=341）	0.9%	16.7%	53.1%	27.0%	2.3%	100.0%
50歳代（n=296）	2.7%	19.6%	52.7%	19.9%	5.1%	100.0%
60歳代（n=151）	0.0%	21.9%	64.9%	11.3%	2.0%	100.0%

問 8　高齢期の暮らしについて、不安を感じるとしたらどのようなことですか。（いくつでも）

高齢期の暮らしについて、不安を感じることでは、「自分の介護が必要になったときのこと」が 72.5%と最も多く、次いで「収入や生計のこと」が 67.8%、「自分の健康のこと」が 67.1%となっています。



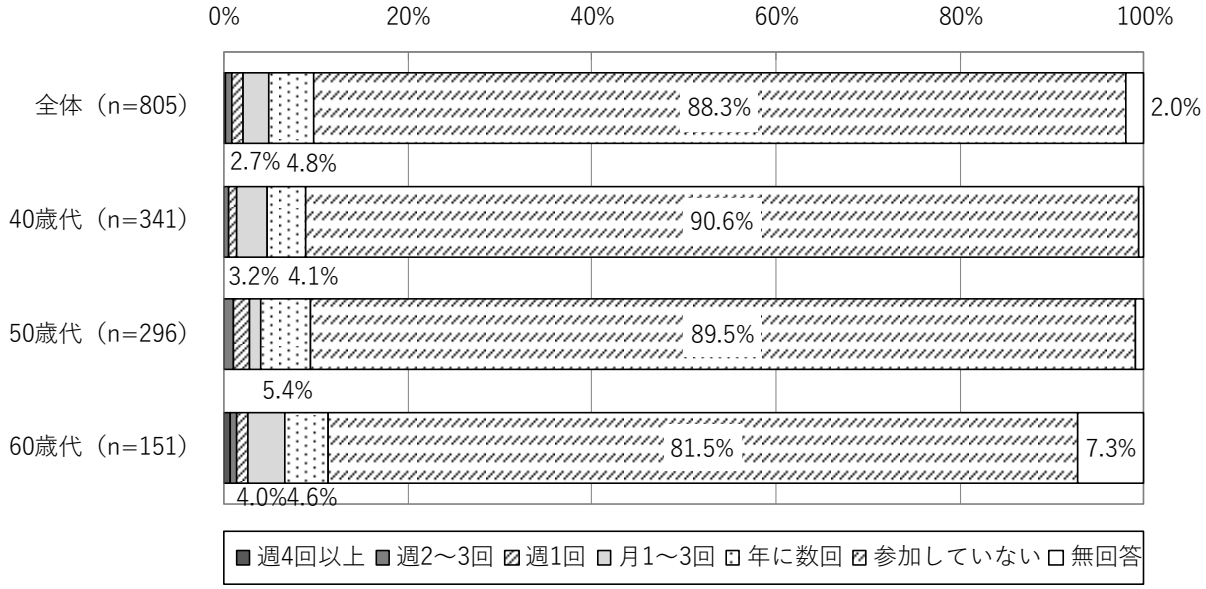
	自分の健康のこと	自分の介護が必要になったときのこと	親の世話や介護のこと	配偶者や家族の健康のこと	住まいのこと	収入や生計のこと	地域とのかかわり方	配偶者との家庭での過ごし方	財産の相続・保全のこと	子どもの独立・結婚のこと	その他	不安に感じることは特にない	無回答	回答者数
全体	540	584	446	466	210	546	113	154	114	204	20	11	10	805
40歳代	226	247	238	198	99	251	46	58	48	92	10	2	5	341
50歳代	202	207	154	169	77	201	45	59	46	72	8	7	2	296
60歳代	103	114	46	88	29	83	20	31	18	38	2	2	3	151
全体(n=805)	67.1%	72.5%	55.4%	57.9%	26.1%	67.8%	14.0%	19.1%	14.2%	25.3%	2.5%	1.4%	1.2%	
40歳代(n=341)	66.3%	72.4%	69.8%	58.1%	29.0%	73.6%	13.5%	17.0%	14.1%	27.0%	2.9%	0.6%	1.5%	
50歳代(n=296)	68.2%	69.9%	52.0%	57.1%	26.0%	67.9%	15.2%	19.9%	15.5%	24.3%	2.7%	2.4%	0.7%	
60歳代(n=151)	68.2%	75.5%	30.5%	58.3%	19.2%	55.0%	13.2%	20.5%	11.9%	25.2%	1.3%	1.3%	2.0%	

（5）社会参加について

問 1　以下の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①－⑧それぞれに回答してください。

【①ボランティアのグループ】

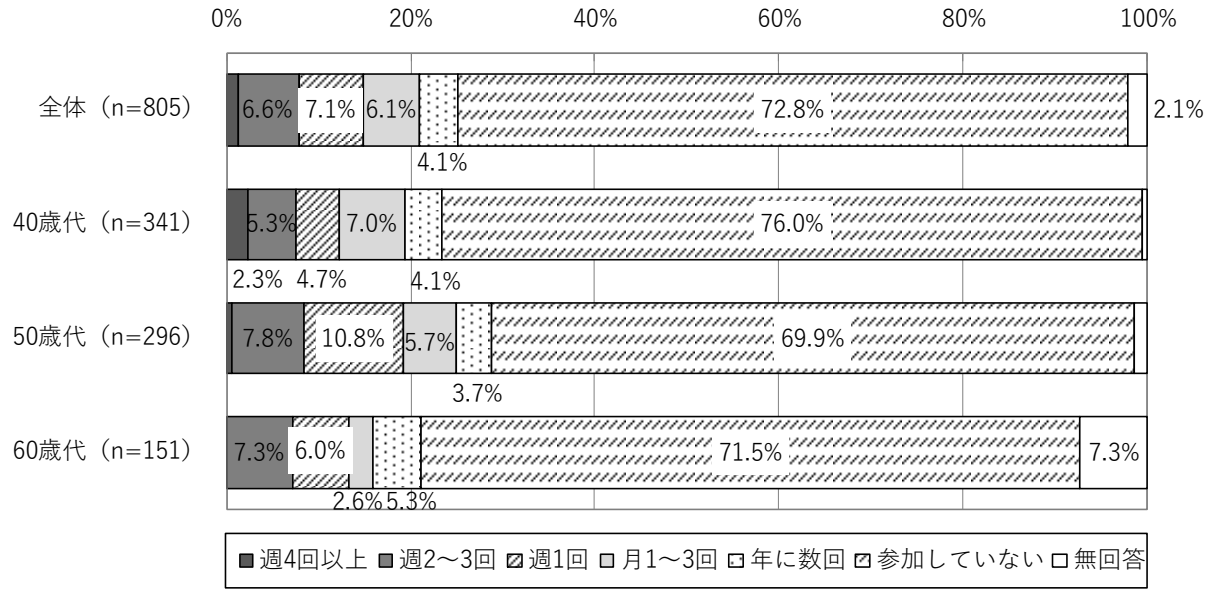
ボランティアのグループでは、「週４回以上」「週 2～３回」「週 1 回」「月 1～３回」「年に数回」を合わせた『参加している』(以下同様)が 9.5%となっています。また、「参加していない」が 88.3%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	1	6	10	22	39	711	16	805
40歳代	0	2	3	11	14	309	2	341
50歳代	0	3	5	4	16	265	3	296
60歳代	1	1	2	6	7	123	11	151
全体(n=805)	0.1%	0.7%	1.2%	2.7%	4.8%	88.3%	2.0%	100.0%
40歳代(n=341)	0.0%	0.6%	0.9%	3.2%	4.1%	90.6%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	0.0%	1.0%	1.7%	1.4%	5.4%	89.5%	1.0%	100.0%
60歳代(n=151)	0.7%	0.7%	1.3%	4.0%	4.6%	81.5%	7.3%	100.0%

【②スポーツ関係のグループやクラブ】

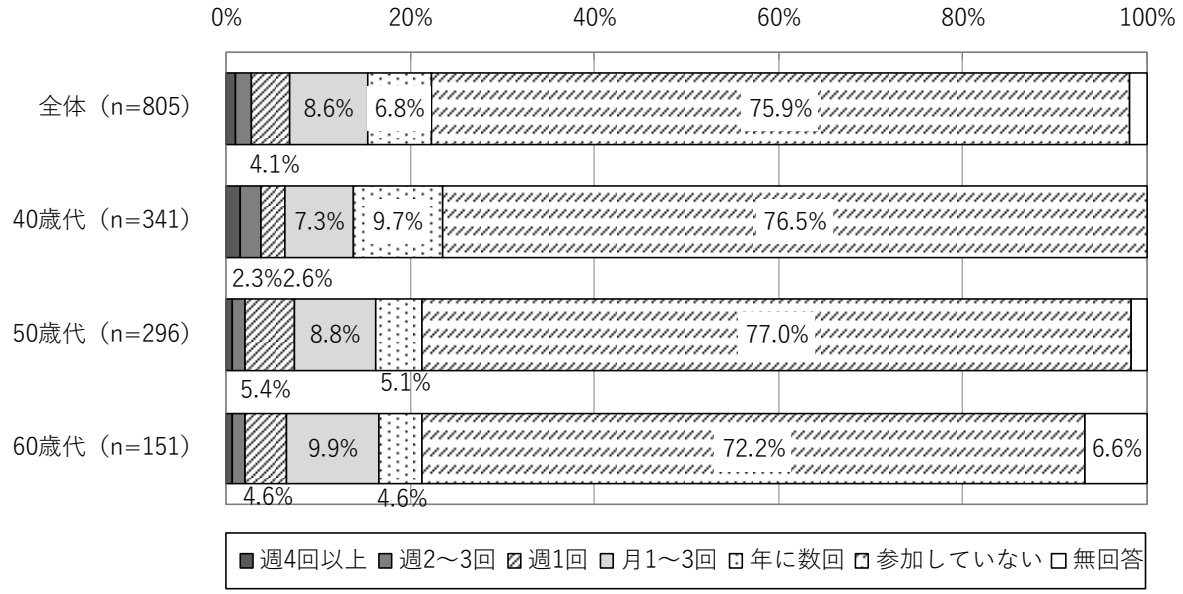
スポーツ関係のグループやクラブでは、『参加している』が 25.1%となっています。また、「参加していない」が 72.8%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	10	53	57	49	33	586	17	805
40歳代	8	18	16	24	14	259	2	341
50歳代	2	23	32	17	11	207	4	296
60歳代	0	11	9	4	8	108	11	151
全体(n=805)	1.2%	6.6%	7.1%	6.1%	4.1%	72.8%	2.1%	100.0%
40歳代(n=341)	2.3%	5.3%	4.7%	7.0%	4.1%	76.0%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	0.7%	7.8%	10.8%	5.7%	3.7%	69.9%	1.4%	100.0%
60歳代(n=151)	0.0%	7.3%	6.0%	2.6%	5.3%	71.5%	7.3%	100.0%

【③趣味関係のグループ】

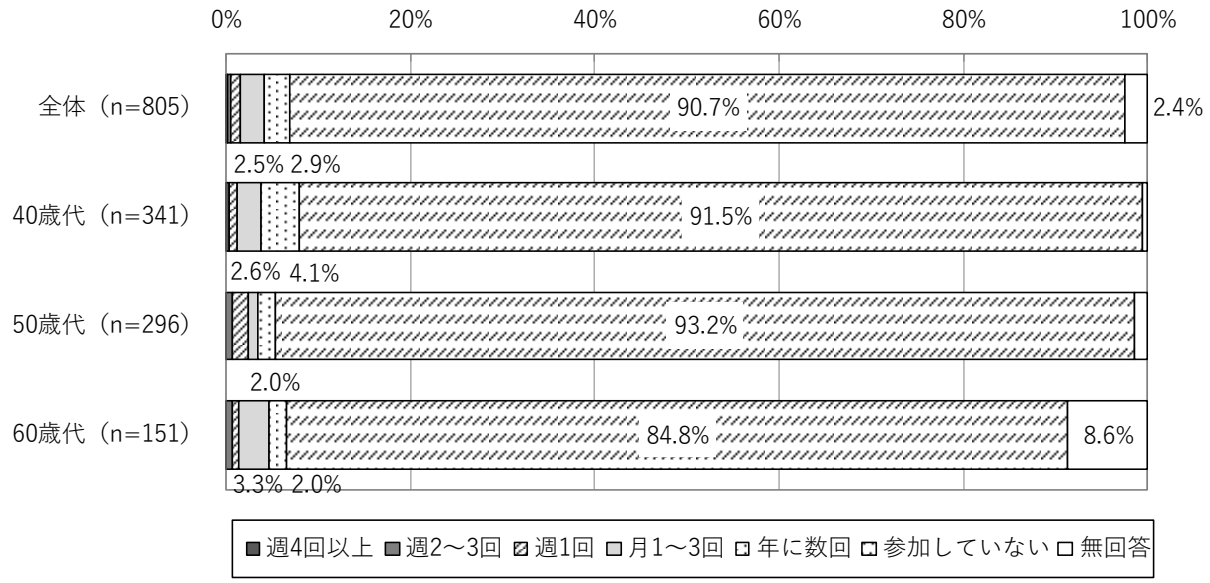
趣味関係のグループでは、『参加している』が 22.2%となっています。また、「参加していない」が 75.9%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	8	14	33	69	55	611	15	805
40歳代	5	8	9	25	33	261	0	341
50歳代	2	4	16	26	15	228	5	296
60歳代	1	2	7	15	7	109	10	151
全体（n=805）	1.0%	1.7%	4.1%	8.6%	6.8%	75.9%	1.9%	100.0%
40歳代（n=341）	1.5%	2.3%	2.6%	7.3%	9.7%	76.5%	0.0%	100.0%
50歳代（n=296）	0.7%	1.4%	5.4%	8.8%	5.1%	77.0%	1.7%	100.0%
60歳代（n=151）	0.7%	1.3%	4.6%	9.9%	4.6%	72.2%	6.6%	100.0%

【④学習・教養サークル】

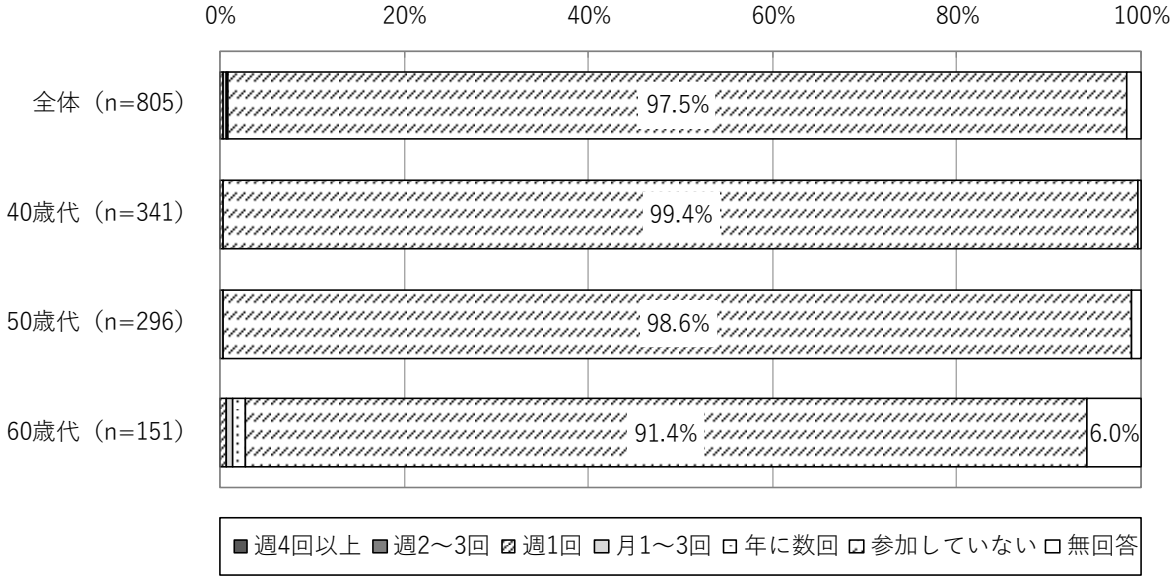
学習・教養サークルでは、『参加している』が 7.0%となっています。また、「参加していない」が 90.7%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	1	3	9	20	23	730	19	805
40歳代	1	0	3	9	14	312	2	341
50歳代	0	2	5	3	6	276	4	296
60歳代	0	1	1	5	3	128	13	151
全体（n=805）	0.1%	0.4%	1.1%	2.5%	2.9%	90.7%	2.4%	100.0%
40歳代（n=341）	0.3%	0.0%	0.9%	2.6%	4.1%	91.5%	0.6%	100.0%
50歳代（n=296）	0.0%	0.7%	1.7%	1.0%	2.0%	93.2%	1.4%	100.0%
60歳代（n=151）	0.0%	0.7%	0.7%	3.3%	2.0%	84.8%	8.6%	100.0%

【⑤介護予防のための通いの場（高齢者憩いの広場・ふれあいサロン）】

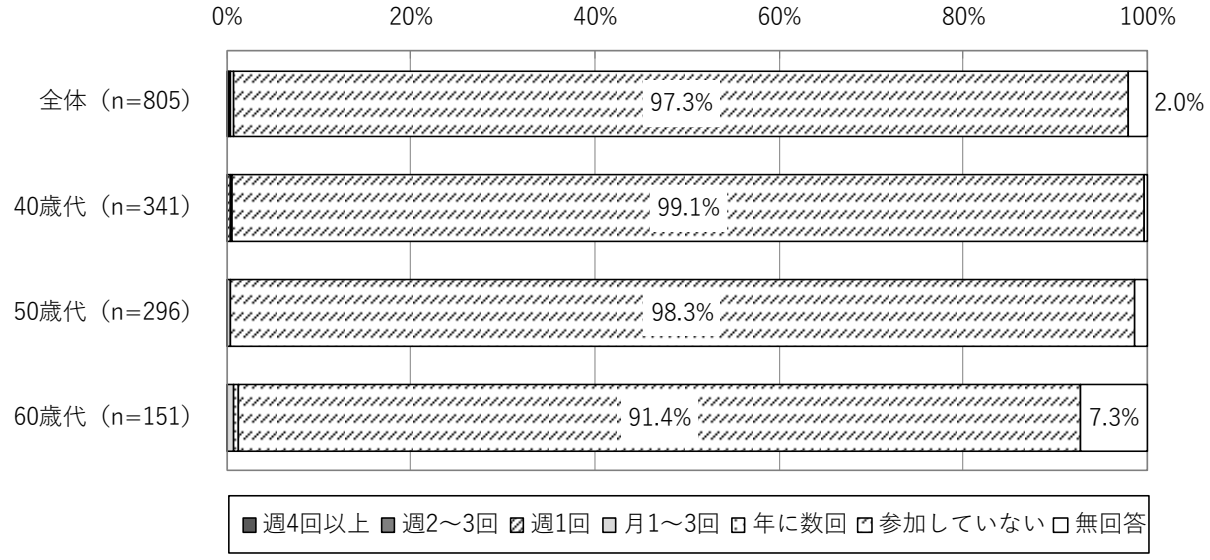
介護予防のための通いの場（高齢者憩いの広場・ふれあいサロン）では、『参加している』が 0.8%となっています。また、「参加していない」が 97.5%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	0	0	2	3	2	785	13	805
40歳代	0	0	1	0	0	339	1	341
50歳代	0	0	0	1	0	292	3	296
60歳代	0	0	1	1	2	138	9	151
全体（n=805）	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.2%	97.5%	1.6%	100.0%
40歳代（n=341）	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	99.4%	0.3%	100.0%
50歳代（n=296）	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	98.6%	1.0%	100.0%
60歳代（n=151）	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	1.3%	91.4%	6.0%	100.0%

【⑥老人クラブ】

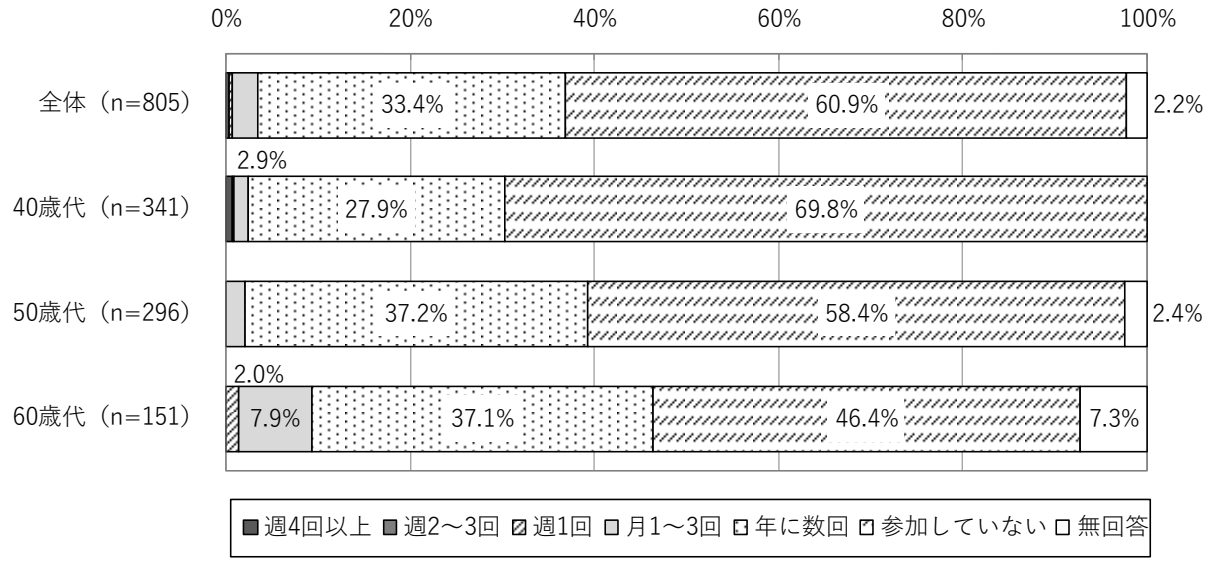
老人クラブでは、『参加している』が 0.7%となっています。また、「参加していない」が 97.3%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	0	0	1	2	3	783	16	805
40歳代	0	0	1	0	1	338	1	341
50歳代	0	0	0	1	0	291	4	296
60歳代	0	0	0	1	1	138	11	151
全体（n=805）	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%	97.3%	2.0%	100.0%
40歳代（n=341）	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	99.1%	0.3%	100.0%
50歳代（n=296）	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	98.3%	1.4%	100.0%
60歳代（n=151）	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	91.4%	7.3%	100.0%

【⑦町内会・自治会】

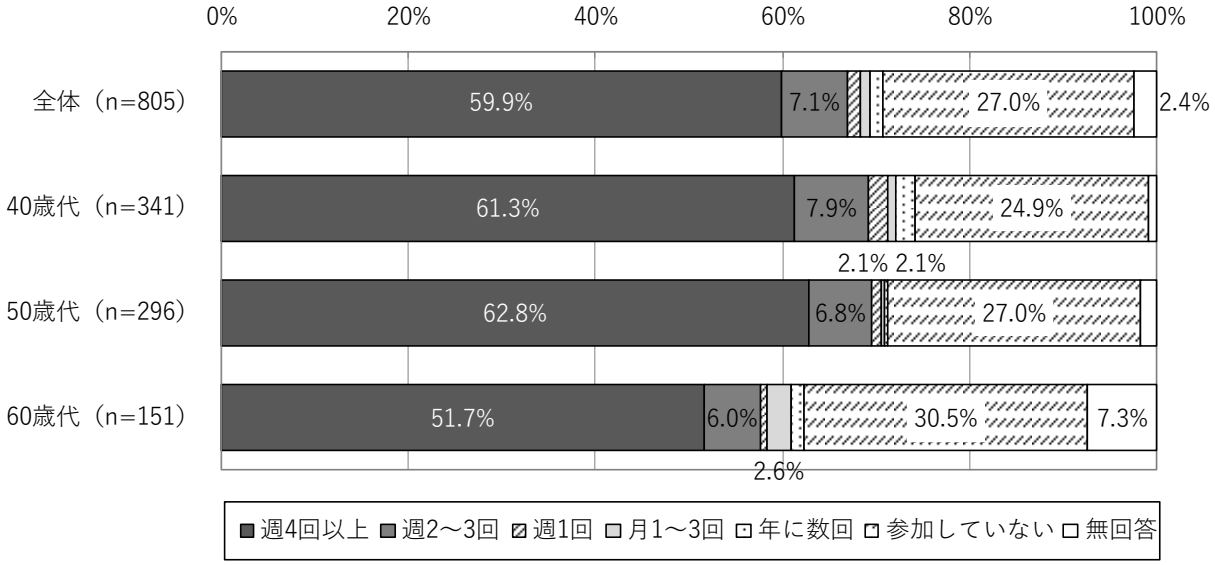
町内会・自治会では、『参加している』が 36.9%となっています。また、「参加していない」が 60.9%となっています。



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	2	0	3	23	269	490	18	805
40歳代	2	0	1	5	95	238	0	341
50歳代	0	0	0	6	110	173	7	296
60歳代	0	0	2	12	56	70	11	151
全体（n=805）	0.2%	0.0%	0.4%	2.9%	33.4%	60.9%	2.2%	100.0%
40歳代（n=341）	0.6%	0.0%	0.3%	1.5%	27.9%	69.8%	0.0%	100.0%
50歳代（n=296）	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	37.2%	58.4%	2.4%	100.0%
60歳代（n=151）	0.0%	0.0%	1.3%	7.9%	37.1%	46.4%	7.3%	100.0%

【⑧収入のある仕事】

収入のある仕事では、『参加している』が 70.7%となっています。また、「参加していない」が 27.0%となっています。

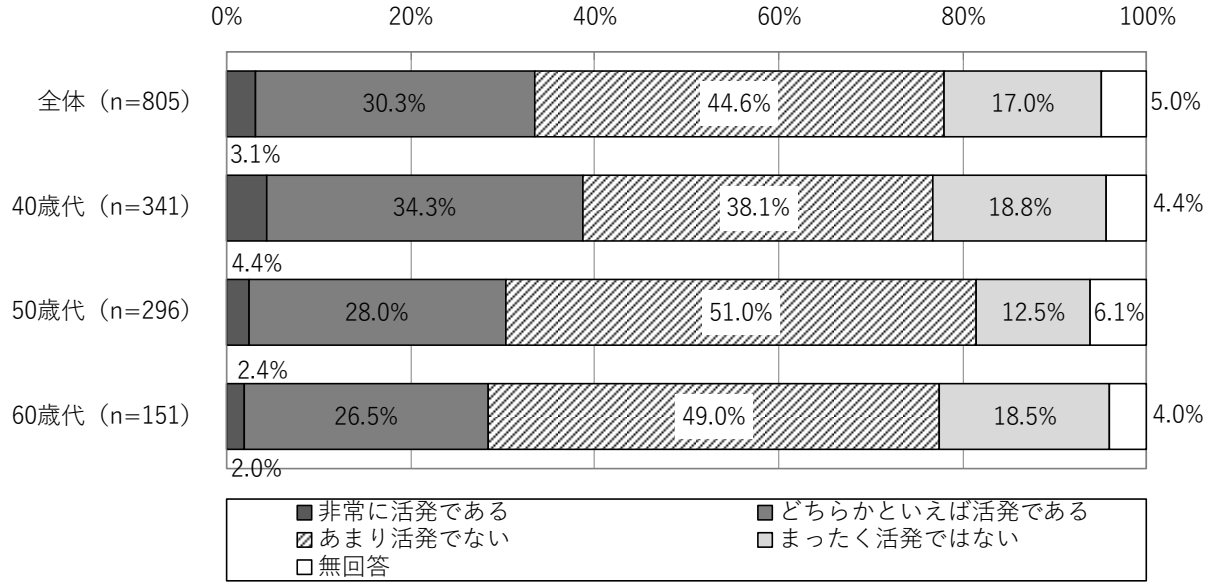


	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	合計
全体	482	57	11	9	10	217	19	805
40歳代	209	27	7	3	7	85	3	341
50歳代	186	20	3	1	1	80	5	296
60歳代	78	9	1	4	2	46	11	151
全体（n=805）	59.9%	7.1%	1.4%	1.1%	1.2%	27.0%	2.4%	100.0%
40歳代（n=341）	61.3%	7.9%	2.1%	0.9%	2.1%	24.9%	0.9%	100.0%
50歳代（n=296）	62.8%	6.8%	1.0%	0.3%	0.3%	27.0%	1.7%	100.0%
60歳代（n=151）	51.7%	6.0%	0.7%	2.6%	1.3%	30.5%	7.3%	100.0%

問 2　自身が住んでいる地域の地域活動や行事は活発だと思いますか。

住んでいる地域の地域活動や行事は活発だと思うかでは、「あまり活発でない」「まったく活発ではない」を合わせた『活発でない』が 61.6%となっています。

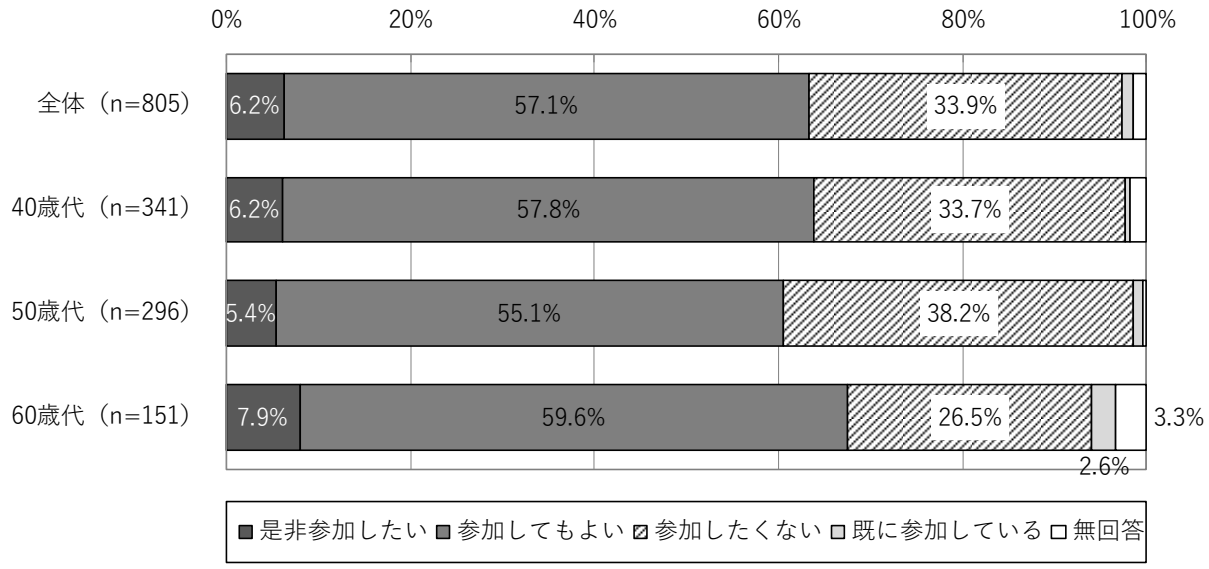
また、「非常に活発である」「どちらかといえば活発である」を合わせた『活発である』が 33.4%となっています。



	非常に活発である	どちらかといえば活発である	あまり活発でない	まったく活発ではない	無回答	合計
全体	25	244	359	137	40	805
40歳代	15	117	130	64	15	341
50歳代	7	83	151	37	18	296
60歳代	3	40	74	28	6	151
全体（n=805）	3.1%	30.3%	44.6%	17.0%	5.0%	100.0%
40歳代（n=341）	4.4%	34.3%	38.1%	18.8%	4.4%	100.0%
50歳代（n=296）	2.4%	28.0%	51.0%	12.5%	6.1%	100.0%
60歳代（n=151）	2.0%	26.5%	49.0%	18.5%	4.0%	100.0%

問３　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

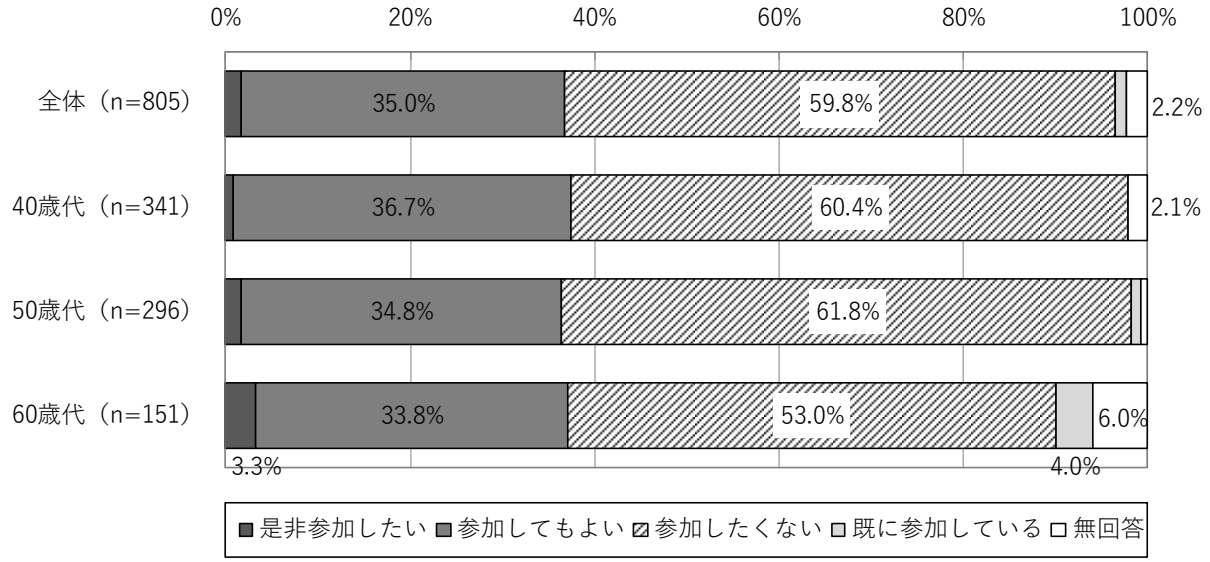
健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思うかでは、「参加してもよい」が 57.1%と最も多く、次いで「参加したくない」が 33.9%、「是非参加したい」が 6.2%となっています。



	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	合計
全体	50	460	273	10	12	805
40歳代	21	197	115	2	6	341
50歳代	16	163	113	3	1	296
60歳代	12	90	40	4	5	151
全体(n=805)	6.2%	57.1%	33.9%	1.2%	1.5%	100.0%
40歳代(n=341)	6.2%	57.8%	33.7%	0.6%	1.8%	100.0%
50歳代(n=296)	5.4%	55.1%	38.2%	1.0%	0.3%	100.0%
60歳代(n=151)	7.9%	59.6%	26.5%	2.6%	3.3%	100.0%

問４　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

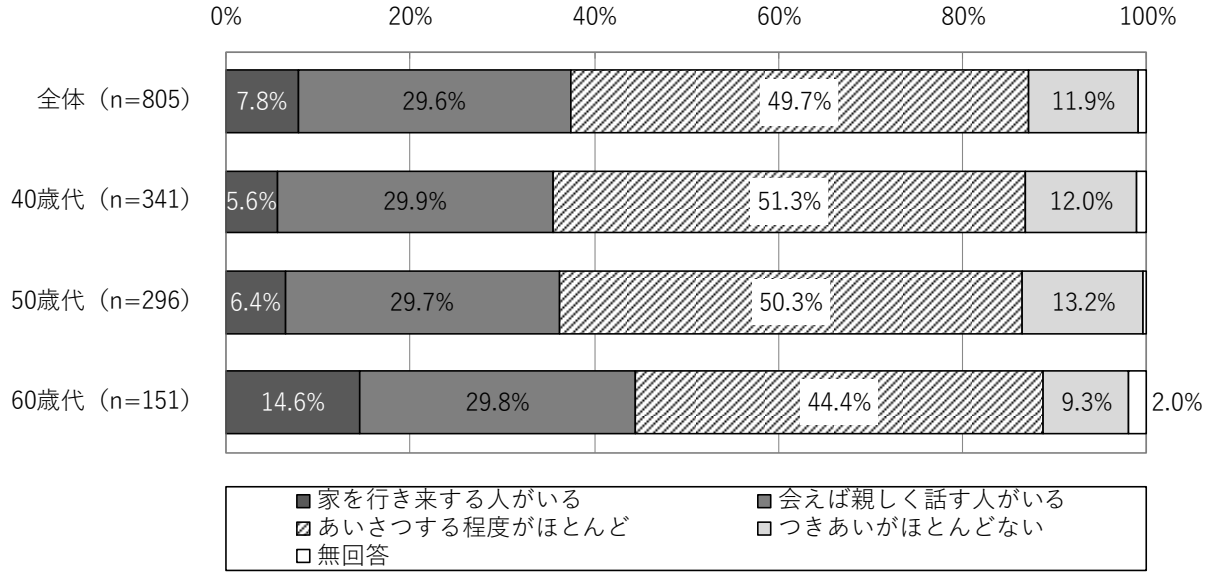
健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかでは、「参加したくない」が 59.8%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 35.0%、「是非参加したい」が 1.7%となっています。



	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	合計
全体	14	282	481	10	18	805
40歳代	3	125	206	0	7	341
50歳代	5	103	183	3	2	296
60歳代	5	51	80	6	9	151
全体（n=805）	1.7%	35.0%	59.8%	1.2%	2.2%	100.0%
40歳代（n=341）	0.9%	36.7%	60.4%	0.0%	2.1%	100.0%
50歳代（n=296）	1.7%	34.8%	61.8%	1.0%	0.7%	100.0%
60歳代（n=151）	3.3%	33.8%	53.0%	4.0%	6.0%	100.0%

問 5　近所づきあいはどの程度ありますか。

近所づきあいについては、「あいさつする程度がほとんど」が 49.7%と最も多く、次いで「会えば親しく話す人がいる」が 29.6%、「つきあいがほとんどない」が 11.9%となっています。

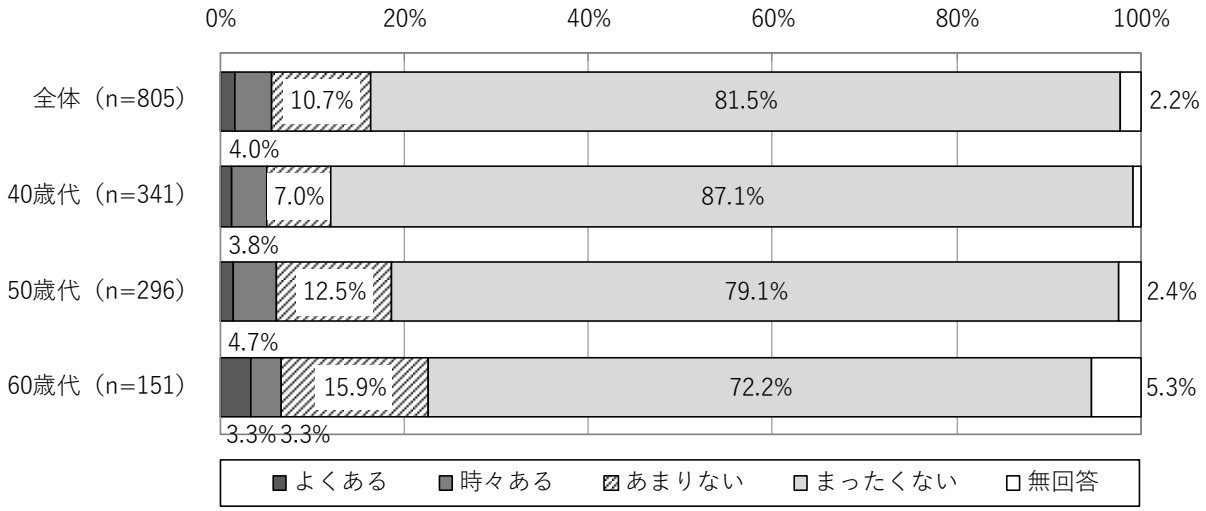


	家を行き来する人がいる	会えば親しく話す人がいる	あいさつする程度がほとんど	つきあいがほとんどない	無回答	合計
全体	63	238	400	96	8	805
40歳代	19	102	175	41	4	341
50歳代	19	88	149	39	1	296
60歳代	22	45	67	14	3	151
全体（n=805）	7.8%	29.6%	49.7%	11.9%	1.0%	100.0%
40歳代（n=341）	5.6%	29.9%	51.3%	12.0%	1.2%	100.0%
50歳代（n=296）	6.4%	29.7%	50.3%	13.2%	0.3%	100.0%
60歳代（n=151）	14.6%	29.8%	44.4%	9.3%	2.0%	100.0%

問 6　地区担当の民生委員と会話したことがありますか。

地区担当の民生委員と会話したことがあるかでは、「あまりない」「まったくない」を合わせた『ない』が 92.2%となっています。

また、「よくある」「時々ある」が合わせた『ある』が 5.6%となっています。

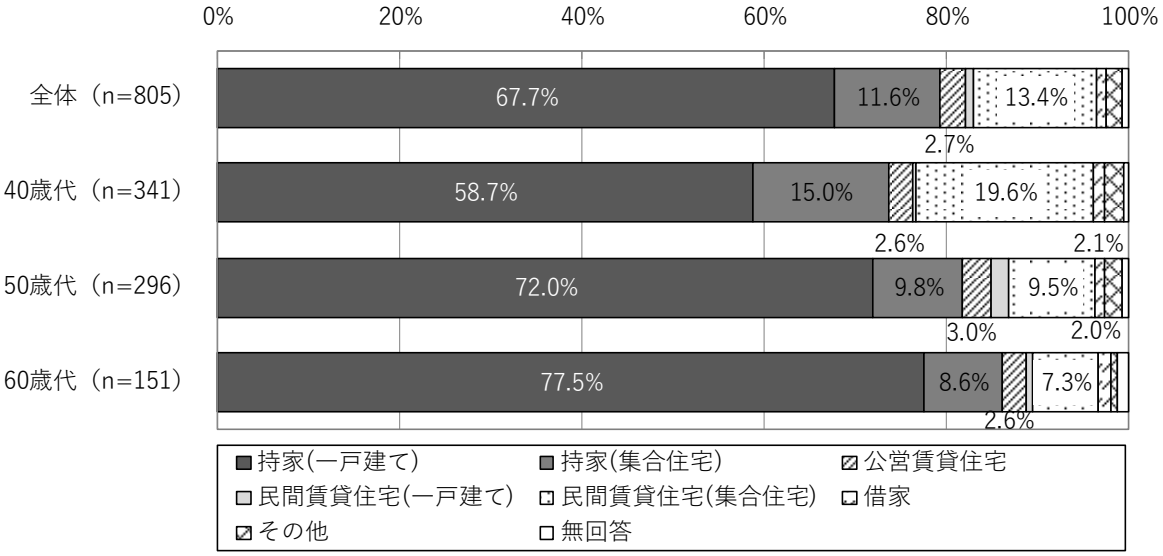


	よくある	時々ある	あまりない	まったくない	無回答	合計
全体	13	32	86	656	18	805
40歳代	4	13	24	297	3	341
50歳代	4	14	37	234	7	296
60歳代	5	5	24	109	8	151
全体(n=805)	1.6%	4.0%	10.7%	81.5%	2.2%	100.0%
40歳代(n=341)	1.2%	3.8%	7.0%	87.1%	0.9%	100.0%
50歳代(n=296)	1.4%	4.7%	12.5%	79.1%	2.4%	100.0%
60歳代(n=151)	3.3%	3.3%	15.9%	72.2%	5.3%	100.0%

（6）住まいについて

問１　お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

お住まいは一戸建て、又は集合住宅については、「持家（一戸建て）」が 67.7%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 13.4%、「持家（集合住宅）」が 11.6%となっています。

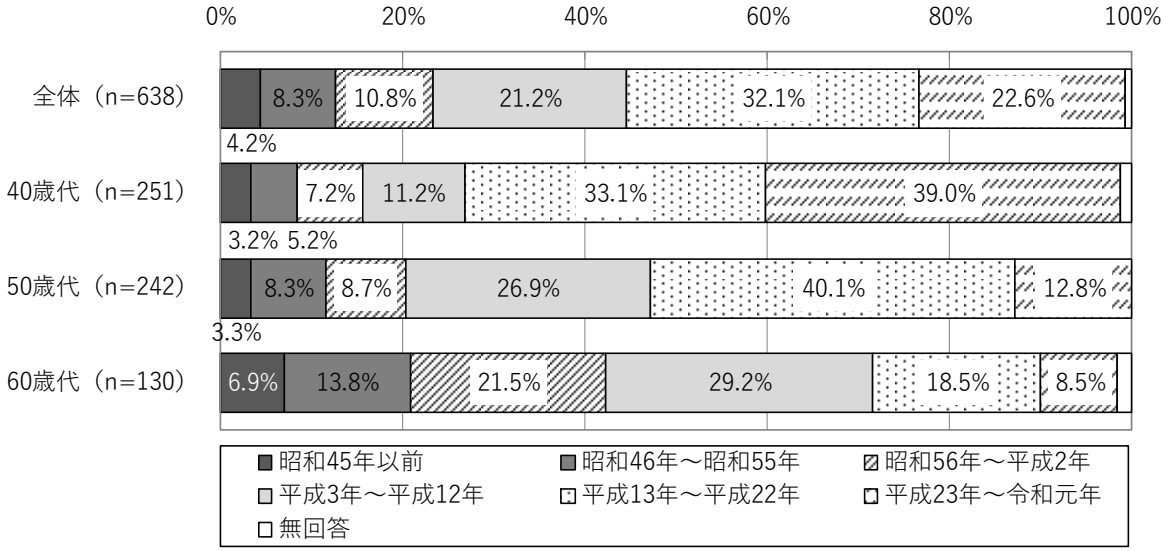


	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答	合計
全体	545	93	22	8	108	9	14	6	805
40歳代	200	51	9	1	67	4	7	2	341
50歳代	213	29	9	6	28	3	6	2	296
60歳代	117	13	4	1	11	2	1	2	151
全体(n=805)	67.7%	11.6%	2.7%	1.0%	13.4%	1.1%	1.7%	0.7%	100.0%
40歳代(n=341)	58.7%	15.0%	2.6%	0.3%	19.6%	1.2%	2.1%	0.6%	100.0%
50歳代(n=296)	72.0%	9.8%	3.0%	2.0%	9.5%	1.0%	2.0%	0.7%	100.0%
60歳代(n=151)	77.5%	8.6%	2.6%	0.7%	7.3%	1.3%	0.7%	1.3%	100.0%

【問 1 において「持家（一戸建て）」「持家（集合住宅）」の方のみ】

問 1-1　建築時期はいつですか。

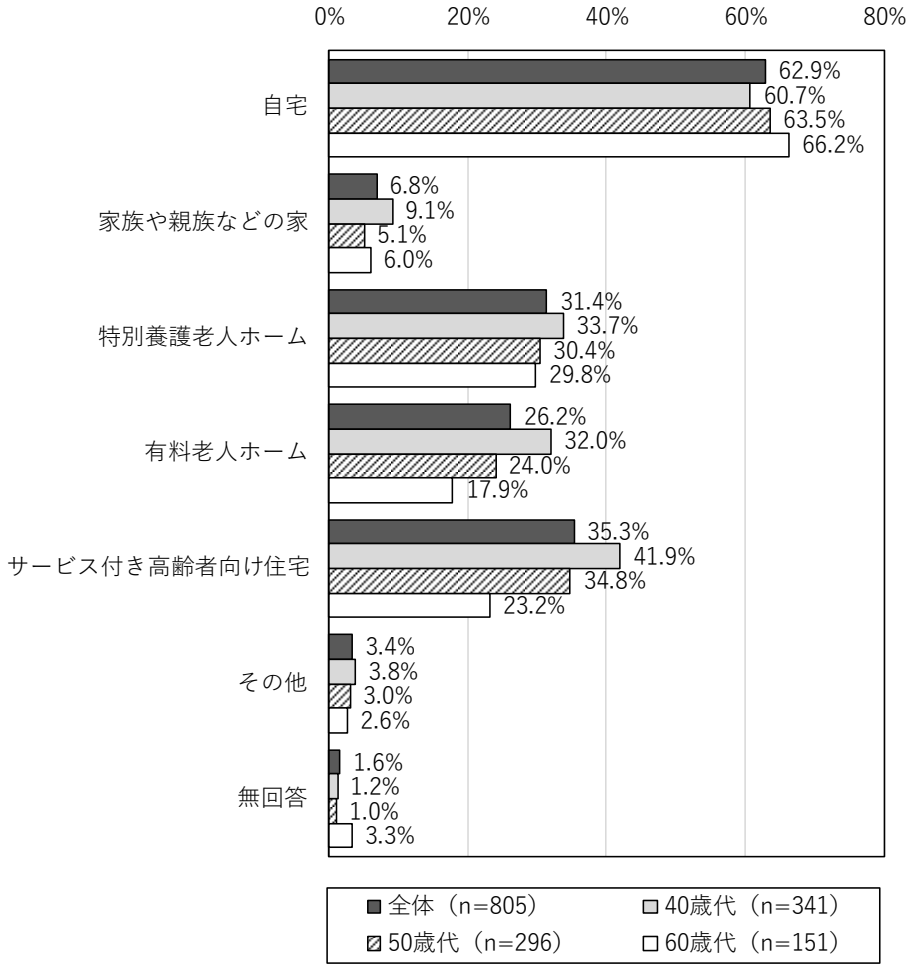
建築時期では、「平成 13 年～平成 22 年」が 32.1%と最も多く、次いで「平成 23 年～令和元年」が 22.6%、「平成 3 年～平成 12 年」が 21.2%となっています。



	昭和45年以前	昭和46年～昭和55年	昭和56年～平成2年	平成3年～平成12年	平成13年～平成22年	平成23年～令和元年	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	27	53	69	135	205	144	5	638	167	805
40歳代	8	13	18	28	83	98	3	251	90	341
50歳代	8	20	21	65	97	31	0	242	54	296
60歳代	9	18	28	38	24	11	2	130	21	151
全体(n=638)	4.2%	8.3%	10.8%	21.2%	32.1%	22.6%	0.8%	100.0%		
40歳代(n=251)	3.2%	5.2%	7.2%	11.2%	33.1%	39.0%	1.2%	100.0%		
50歳代(n=242)	3.3%	8.3%	8.7%	26.9%	40.1%	12.8%	0.0%	100.0%		
60歳代(n=130)	6.9%	13.8%	21.5%	29.2%	18.5%	8.5%	1.5%	100.0%		

問 2　あなたは、自身が今後、要介護（要支援）状態となった場合、暮らしの場所はどこが良いですか。（いくつでも）

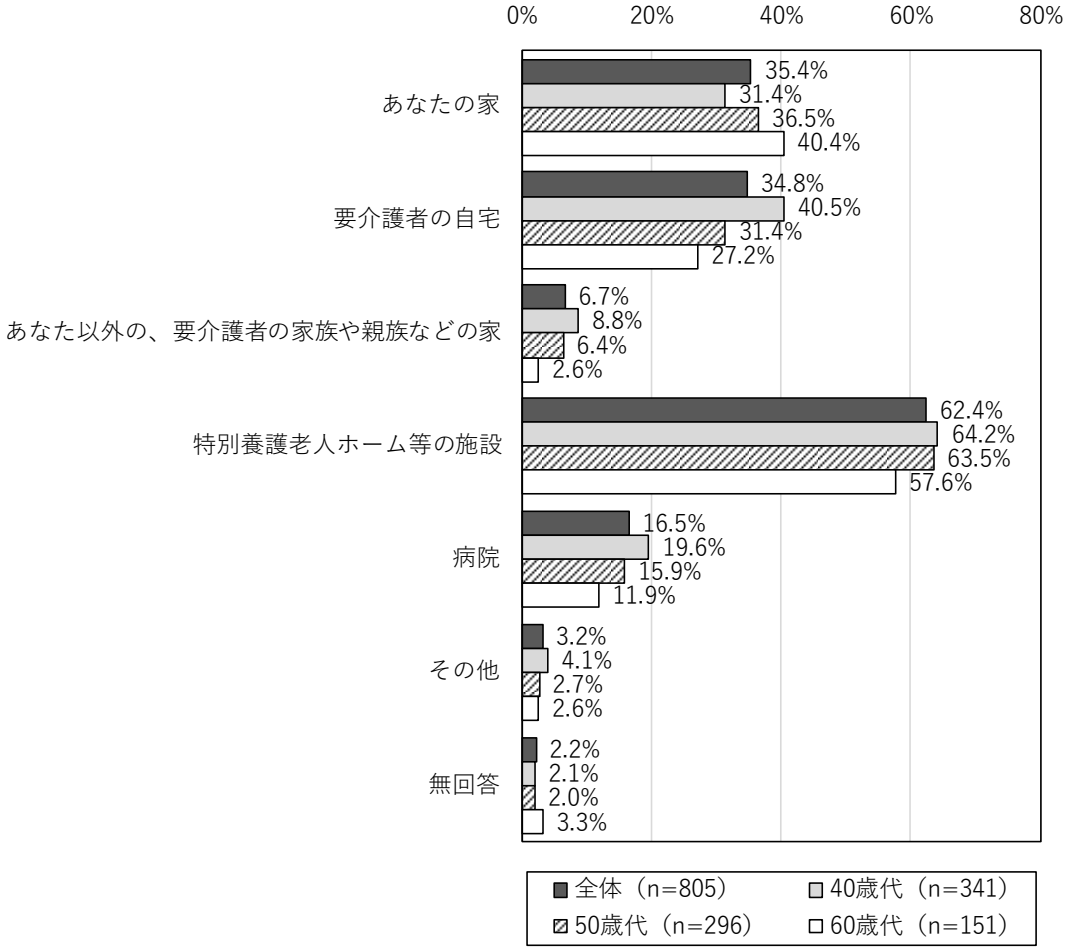
自身が今後、要介護（要支援）状態となった場合、暮らしの場所はどこが良いかでは、「自宅」が 62.9%と最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が 35.3%、「特別養護老人ホーム（※要介護 3 以上の方が入所対象）」が 31.4%となっています。



	自宅	家族や親族などの家	特別養護老人ホーム（※要介護3以上の方が入所対象）	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答	回答者数
全体	506	55	253	211	284	27	13	805
40歳代	207	31	115	109	143	13	4	341
50歳代	188	15	90	71	103	9	3	296
60歳代	100	9	45	27	35	4	5	151
全体(n=805)	62.9%	6.8%	31.4%	26.2%	35.3%	3.4%	1.6%	
40歳代(n=341)	60.7%	9.1%	33.7%	32.0%	41.9%	3.8%	1.2%	
50歳代(n=296)	63.5%	5.1%	30.4%	24.0%	34.8%	3.0%	1.0%	
60歳代(n=151)	66.2%	6.0%	29.8%	17.9%	23.2%	2.6%	3.3%	

問３　あなたは、家族や親族などが今後、要介護（要支援）状態となった場合、要介護者の方の暮らしの場所はどこが良いと思いますか。（いくつでも）

家族や親族などが今後、要介護（要支援）状態となった場合、要介護者の方の暮らしの場所はどこが良かでは、「特別養護老人ホーム等の施設」が 62.4%と最も多く、次いで「あなたの家」が 35.4%、「要介護者の自宅」が 34.8%となっています。

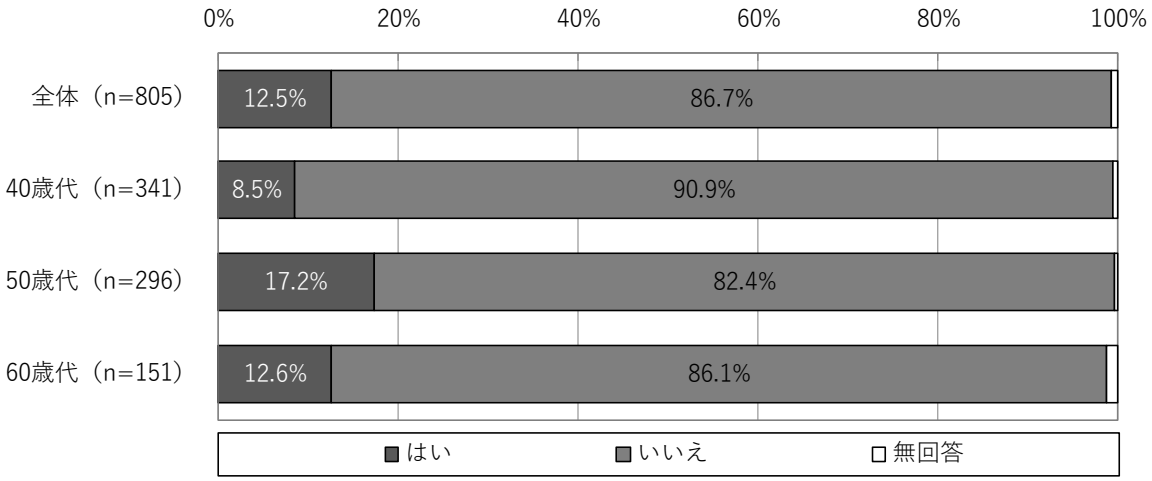


	あなたの家	要介護者の自宅	あなた以外の、要介護者の家族や親族などの家	特別養護老人ホーム等の施設	病院	その他	無回答	回答者数
全体	285	280	54	502	133	26	18	805
40歳代	107	138	30	219	67	14	7	341
50歳代	108	93	19	188	47	8	6	296
60歳代	61	41	4	87	18	4	5	151
全体（n=805）	35.4%	34.8%	6.7%	62.4%	16.5%	3.2%	2.2%	
40歳代（n=341）	31.4%	40.5%	8.8%	64.2%	19.6%	4.1%	2.1%	
50歳代（n=296）	36.5%	31.4%	6.4%	63.5%	15.9%	2.7%	2.0%	
60歳代（n=151）	40.4%	27.2%	2.6%	57.6%	11.9%	2.6%	3.3%	

（7）認知症にかかる相談窓口の把握について

問１　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

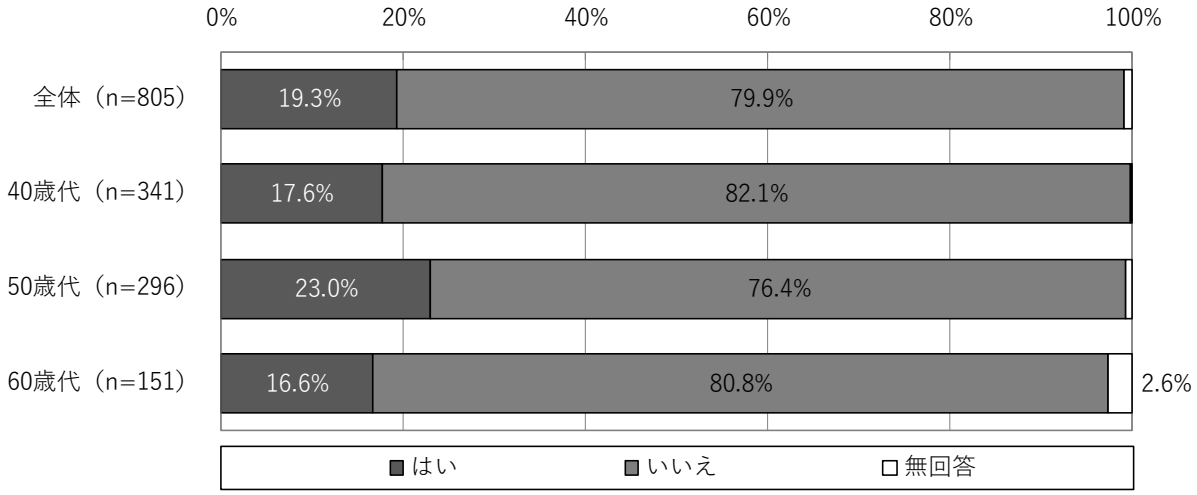
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「はい」が12.5%、「いいえ」が86.7%となっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
全体	101	698	6	805
40歳代	29	310	2	341
50歳代	51	244	1	296
60歳代	19	130	2	151
全体（n=805）	12.5%	86.7%	0.7%	100.0%
40歳代（n=341）	8.5%	90.9%	0.6%	100.0%
50歳代（n=296）	17.2%	82.4%	0.3%	100.0%
60歳代（n=151）	12.6%	86.1%	1.3%	100.0%

問 2　認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「はい」が 19.3%、「いいえ」が 79.9%となっています。



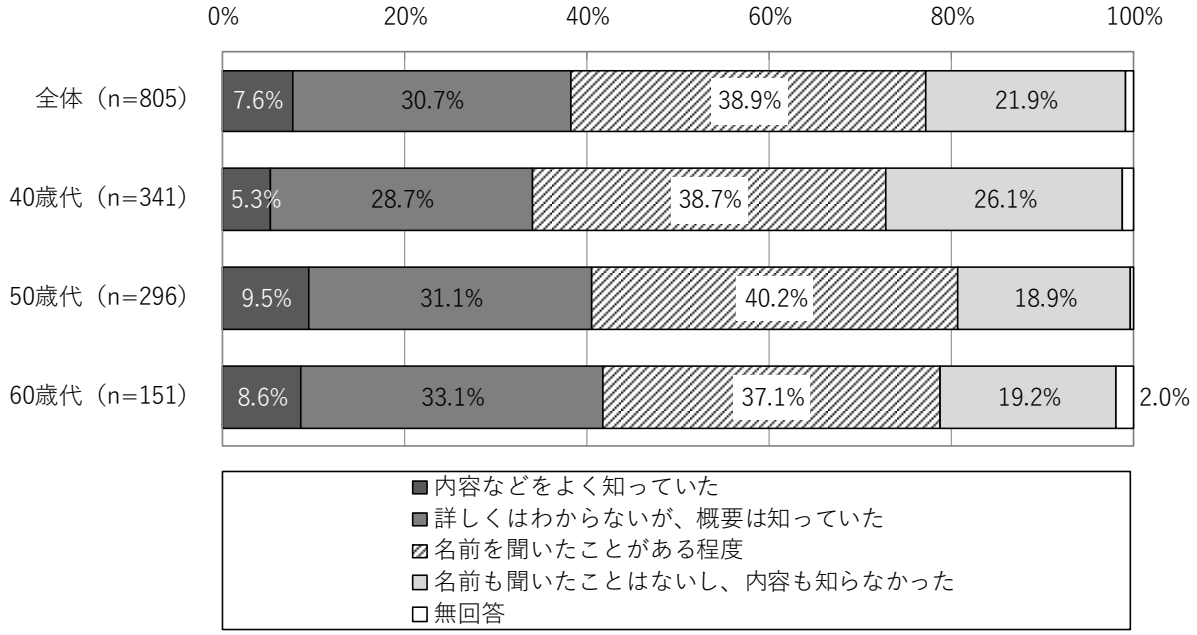
	はい	いいえ	無回答	合計
全体	155	643	7	805
40歳代	60	280	1	341
50歳代	68	226	2	296
60歳代	25	122	4	151
全体(n=805)	19.3%	79.9%	0.9%	100.0%
40歳代(n=341)	17.6%	82.1%	0.3%	100.0%
50歳代(n=296)	23.0%	76.4%	0.7%	100.0%
60歳代(n=151)	16.6%	80.8%	2.6%	100.0%

（8）成年後見制度について

問１　あなた（宛名御本人）は、成年後見制度を知っていましたか。

成年後見制度を知っているかでは、「内容などをよく知っていた」「詳しくはわからないが、概要は知っていた」「名前を聞いたことがある程度」を合わせた『知っていた』が 77.2%となっています。

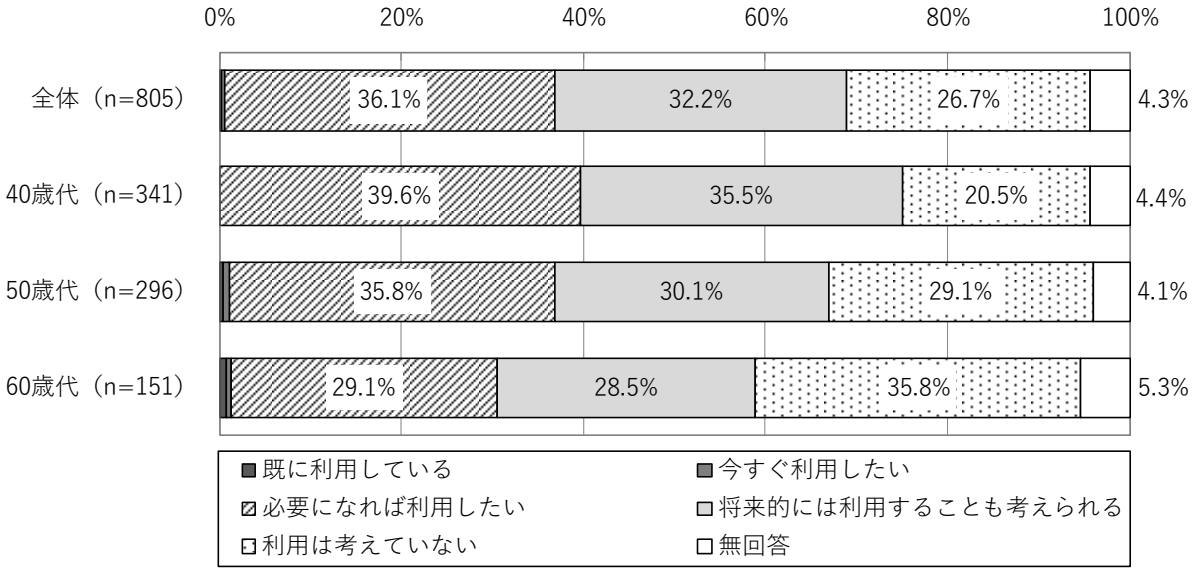
また、「名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった」が 21.9%となっています。



	内容などをよく知っていた	詳しくはわからないが、概要は知っていた	名前を聞いたことがある程度	名前も聞いたことはないし、内容も知らなかった	無回答	合計
全体	61	247	313	176	8	805
40歳代	18	98	132	89	4	341
50歳代	28	92	119	56	1	296
60歳代	13	50	56	29	3	151
全体（n=805）	7.6%	30.7%	38.9%	21.9%	1.0%	100.0%
40歳代（n=341）	5.3%	28.7%	38.7%	26.1%	1.2%	100.0%
50歳代（n=296）	9.5%	31.1%	40.2%	18.9%	0.3%	100.0%
60歳代（n=151）	8.6%	33.1%	37.1%	19.2%	2.0%	100.0%

問２　あなた（宛名御本人）は、成年後見制度についてどのように思われますか。

成年後見制度について思うことでは、「必要になれば利用したい」が 36.1%と最も多く、次いで「将来的には利用することも考えられる」が 32.2%、「利用は考えていない」が 26.7%となっています。



	既に利用している	今すぐ利用したい	必要になれば利用したい	将来的には利用することも考えられる	利用は考えていない	無回答	合計
全体	2	3	291	259	215	35	805
40歳代	0	0	135	121	70	15	341
50歳代	1	2	106	89	86	12	296
60歳代	1	1	44	43	54	8	151
全体（n=805）	0.2%	0.4%	36.1%	32.2%	26.7%	4.3%	100.0%
40歳代（n=341）	0.0%	0.0%	39.6%	35.5%	20.5%	4.4%	100.0%
50歳代（n=296）	0.3%	0.7%	35.8%	30.1%	29.1%	4.1%	100.0%
60歳代（n=151）	0.7%	0.7%	29.1%	28.5%	35.8%	5.3%	100.0%

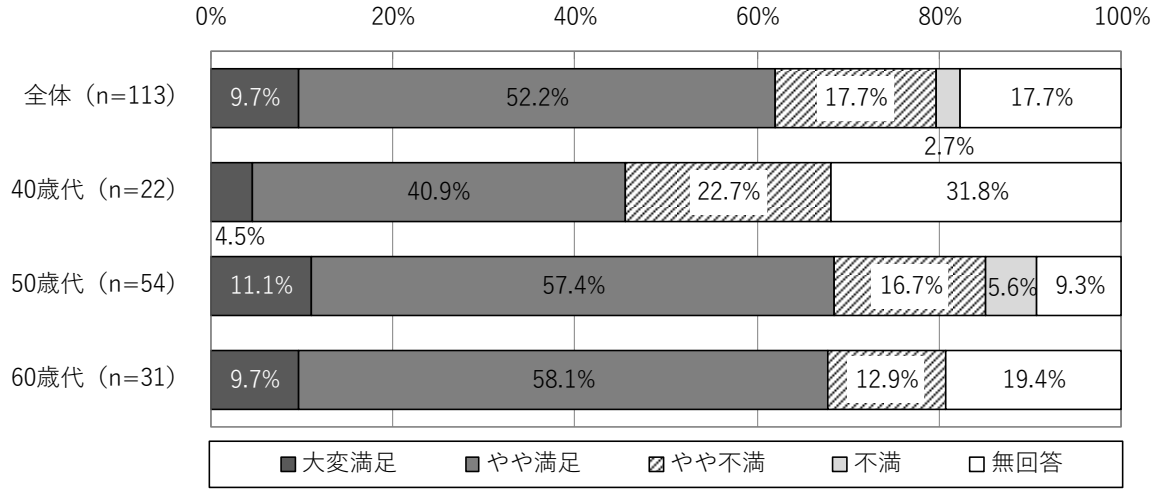
（9）家族の介護について

【現在、介護をしている方】

問１　あなたは、あなたが介護している方が利用している介護サービスに満足していますか。

介護している方が利用している介護サービスに満足しているかでは、「大変満足」「やや満足」を合わせた『満足』が 61.9%となっています。

また、「やや不満」「不満」を合わせた『不満』が 20.4%となっています。

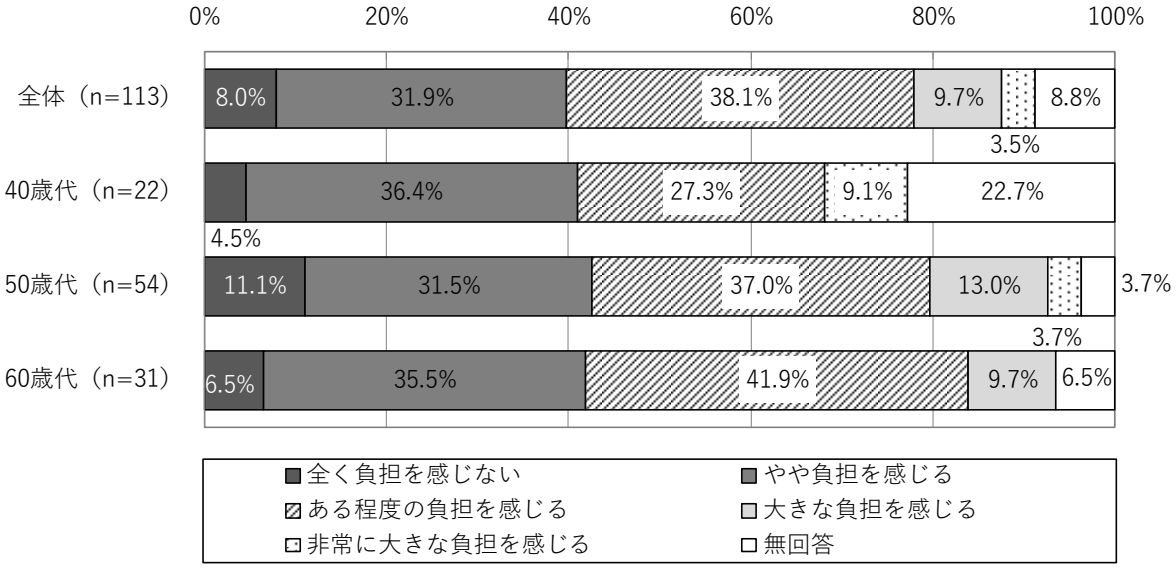


	大変満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	11	59	20	3	20	113	692	805
40歳代	1	9	5	0	7	22	319	341
50歳代	6	31	9	3	5	54	242	296
60歳代	3	18	4	0	6	31	120	151
全体(n=113)	9.7%	52.2%	17.7%	2.7%	17.7%	100.0%		
40歳代(n=22)	4.5%	40.9%	22.7%	0.0%	31.8%	100.0%		
50歳代(n=54)	11.1%	57.4%	16.7%	5.6%	9.3%	100.0%		
60歳代(n=31)	9.7%	58.1%	12.9%	0.0%	19.4%	100.0%		

問 2　あなたの介護負担はどれくらいですか。

介護の負担について、「やや負担を感じる」「ある程度の負担を感じる」「大きな負担を感じる」「非常に大きな負担を感じる」を合わせた『負担を感じる』が 83.2%となっています。

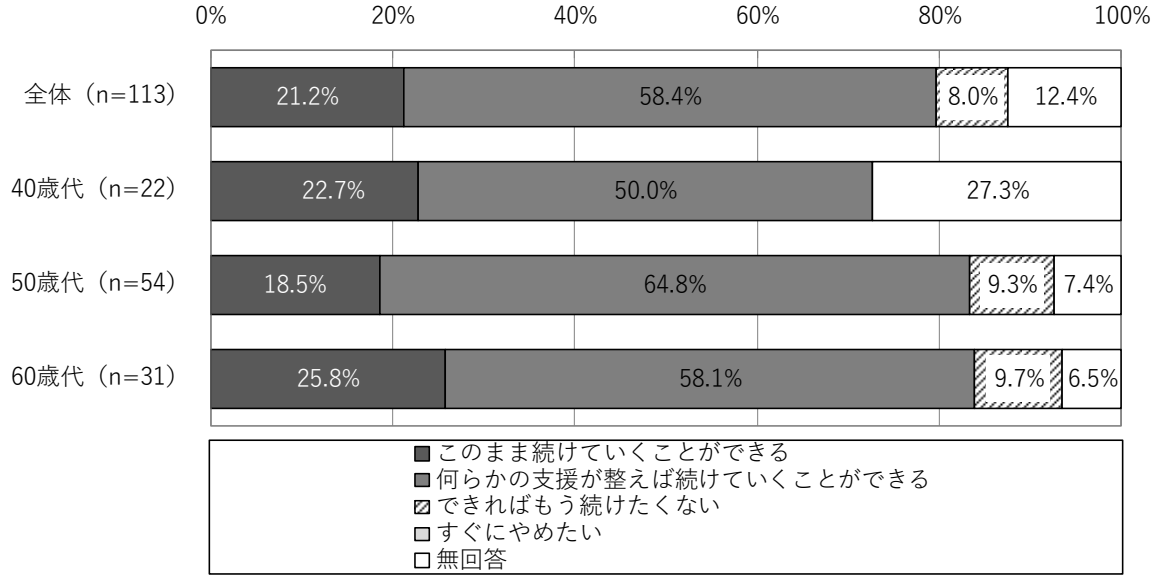
また、「全く負担を感じない」が 8.0%となっています。



	全く負担を感じない	やや負担を感じる	ある程度の負担を感じる	大きな負担を感じる	非常に大きな負担を感じる	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	9	36	43	11	4	10	113	692	805
40歳代	1	8	6	0	2	5	22	319	341
50歳代	6	17	20	7	2	2	54	242	296
60歳代	2	11	13	3	0	2	31	120	151
全体(n=113)	8.0%	31.9%	38.1%	9.7%	3.5%	8.8%	100.0%		
40歳代(n=22)	4.5%	36.4%	27.3%	0.0%	9.1%	22.7%	100.0%		
50歳代(n=54)	11.1%	31.5%	37.0%	13.0%	3.7%	3.7%	100.0%		
60歳代(n=31)	6.5%	35.5%	41.9%	9.7%	0.0%	6.5%	100.0%		

問 3　全体を通して、今後介護を続けることについてどうお考えですか。

今後介護を続けることについての考え方では、「何らかの支援が整えば続けていくことができる」が 58.4%と最も多く、次いで「このまま続けていくことができる」が 21.2%、「できればもう続けたくない」が 8.0%となっています。

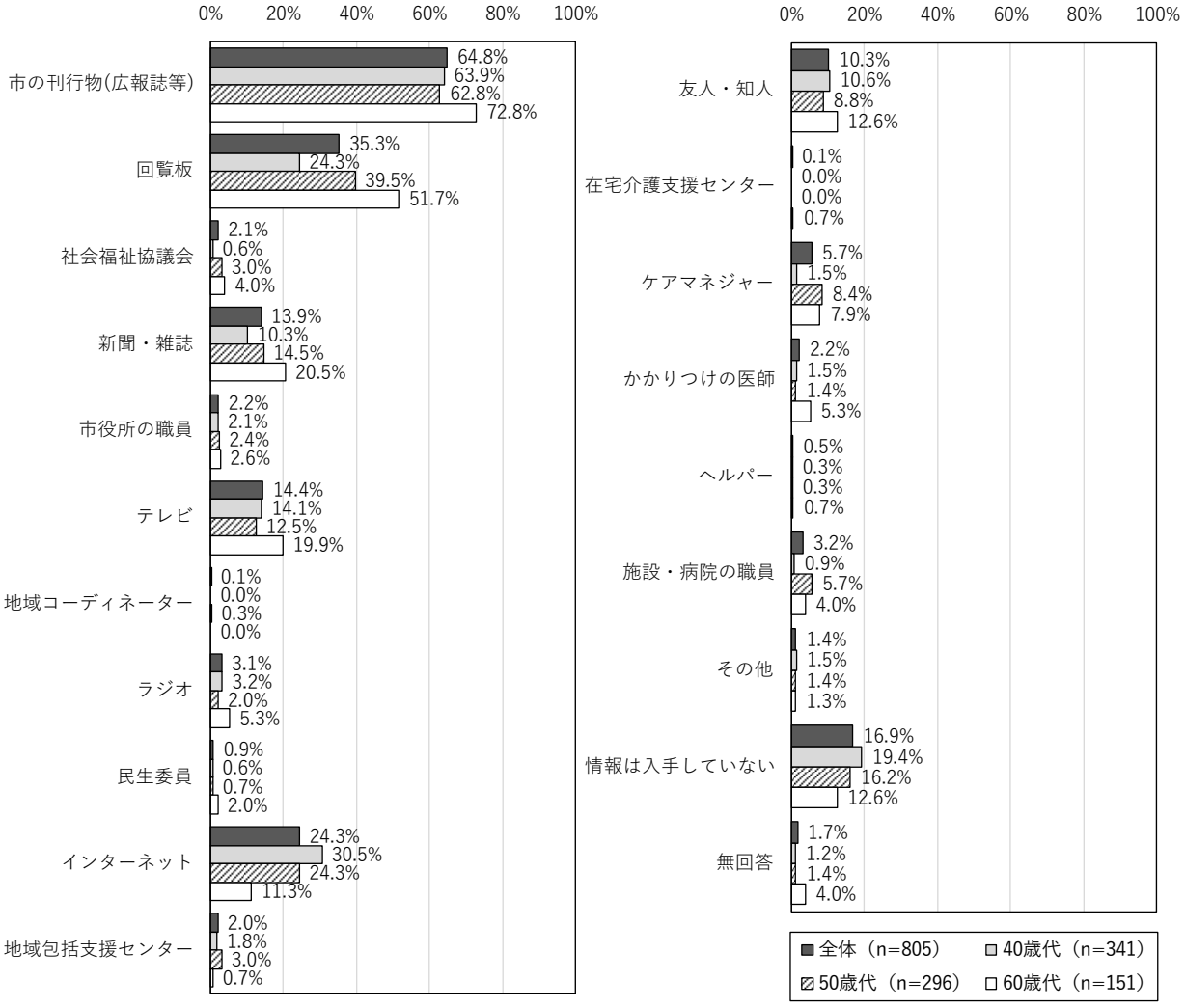


	このまま続けていくことができる	何らかの支援が整えば続けていくことができる	できればもう続けたくない	すぐにやめたい	無回答	回答者数	非該当	合計
全体	24	66	9	0	14	113	692	805
40歳代	5	11	0	0	6	22	319	341
50歳代	10	35	5	0	4	54	242	296
60歳代	8	18	3	0	2	31	120	151
全体（n=113）	21.2%	58.4%	8.0%	0.0%	12.4%	100.0%		
40歳代（n=22）	22.7%	50.0%	0.0%	0.0%	27.3%	100.0%		
50歳代（n=54）	18.5%	64.8%	9.3%	0.0%	7.4%	100.0%		
60歳代（n=31）	25.8%	58.1%	9.7%	0.0%	6.5%	100.0%		

（10）市への意見、情報収集について

問１　あなたは、日ごろ、高齢者福祉サービスや市政一般に関する情報は、どのように入手されていますか。（いくつでも）

あなたは、日ごろ、高齢者福祉サービスや市政一般に関する情報の入手先では、「市の刊行物（広報誌等）」が 64.8%と最も多く、次いで「回覧板」が 35.3%、「インターネット」が 24.3%となっています。



	市の刊行物（広報誌等）	回覧板	社会福祉協議会	新聞・雑誌	市役所の職員	テレビ	地域コーディネーター	ラジオ	民生委員	インターネット	地域包括支援センター
全体	522	284	17	112	18	116	1	25	7	196	16
40歳代	218	83	2	35	7	48	0	11	2	104	6
50歳代	186	117	9	43	7	37	1	6	2	72	9
60歳代	110	78	6	31	4	30	0	8	3	17	1
全体(n=805)	64.8%	35.3%	2.1%	13.9%	2.2%	14.4%	0.1%	3.1%	0.9%	24.3%	2.0%
40歳代(n=341)	63.9%	24.3%	0.6%	10.3%	2.1%	14.1%	0.0%	3.2%	0.6%	30.5%	1.8%
50歳代(n=296)	62.8%	39.5%	3.0%	14.5%	2.4%	12.5%	0.3%	2.0%	0.7%	24.3%	3.0%
60歳代(n=151)	72.8%	51.7%	4.0%	20.5%	2.6%	19.9%	0.0%	5.3%	2.0%	11.3%	0.7%

	友人・知人	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	かかりつけの医師	ヘルパー	施設・病院の職員	その他	情報は入手していない	無回答	回答者数	
全体	83	1	46	18	4	26	11	136	14	805	
40歳代	36	0	5	5	1	3	5	66	4	341	
50歳代	26	0	25	4	1	17	4	48	4	296	
60歳代	19	1	12	8	1	6	2	19	6	151	
全体(n=805)	10.3%	0.1%	5.7%	2.2%	0.5%	3.2%	1.4%	16.9%	1.7%		
40歳代(n=341)	10.6%	0.0%	1.5%	1.5%	0.3%	0.9%	1.5%	19.4%	1.2%		
50歳代(n=296)	8.8%	0.0%	8.4%	1.4%	0.3%	5.7%	1.4%	16.2%	1.4%		
60歳代(n=151)	12.6%	0.7%	7.9%	5.3%	0.7%	4.0%	1.3%	12.6%	4.0%		

問 2　健康づくり、高齢者福祉や介護保険制度について、市への要望や意見、また、提案などはありますか。（自由記述）

■他の自治体の成功事例を調査し、良い所をとり入れてはいかがでしょうか。また民間の大手といっしょに開発をすすめるとよいのではないでしょうか。
■あまり現在は関心を払っていないので、情報や福祉がどの程度カバーしているのかわかりませんが、収入や年金の額が低い人でも、身寄りがない人でも、安心して老後を生きていけることを望みます。
■デイサービスを老人特有の行きにくい施設ではなく、知的な活動や体力づくり健康管理ができる場にしてほしい。イメージで行きたがらない老人が多いのを何とかしたい。（ジムのようなカルチャーセンターのような）若い人も同じ空間で活動している施設に。
■マンションが自治会に入っておらず民生委員の管轄外であり住人同士の付き合いもあいさつ程度で希薄であるため将来もっと歳をとったときを考えると不安がある。
■家の近くで健康教室などが開催されれば参加したい。つくタクは利用しづらくつくバスは家の近くに停留所がない（遠い）ためもう少し利用しやすい形が整うことを願いたい。
■一人暮らしをしていますが、生活が経済的に苦しい、市営住宅に住みたいが、なかなか条件にあわず入れず、歳をとってもずっ～と働いていかないと生活が成り立たない。
■一定の年齢の人には認知症検査を受診する補助なり受診券なり発行してほしい。軽度のうちに発見したほうがいい。独身や単身の人は注意してくれる人がいないし家族でもお勧めしにくい検査ゆえ市から券が来たからと足が向きやすくなる。
■介護をしていると八方塞感があるので話を聞いてもらえるところがあれば助かります。

主に上記の意見がありました。

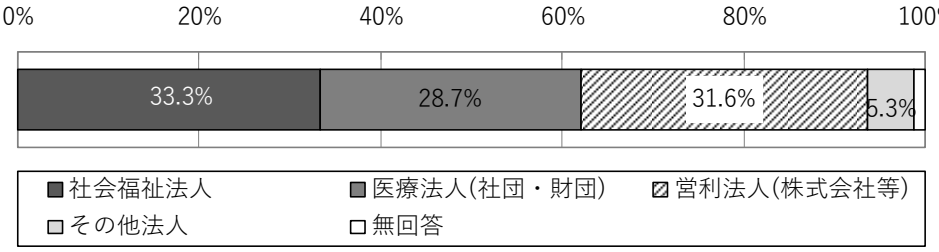
4　ケアマネジャー調査

4　ケアマネジャー調査

（1）あなた（回答者）について

問 1　あなたの所属事業所の組織体はどれにあてはまりますか。

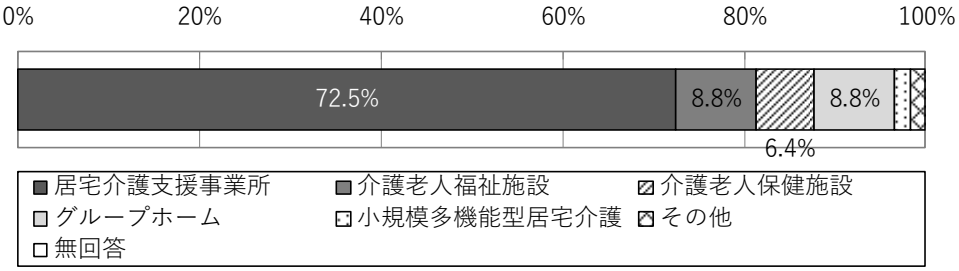
所属事業所の組織体では、「社会福祉法人」が 33.3%と最も多く、次いで「営利法人（株式会社等）」が 31.6%、「医療法人（社団・財団）」が 28.7%となっています。



項目	社会福祉法人	医療法人（社団･財団）	営利法人（株式会社等）	その他法人	無回答	合計
度数	57	49	54	9	2	171
構成比	33.3%	28.7%	31.6%	5.3%	1.2%	100.0%

問 2　あなたの所属事業所は次のうちどれにあてはまりますか。

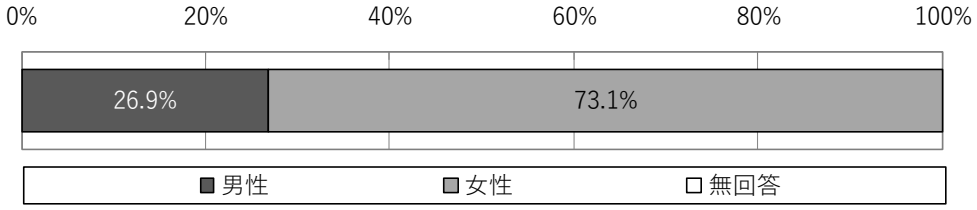
所属事業所では、「居宅介護支援事業所」が 72.5%と最も多く、次いで「介護老人福祉施設」「グループホーム」がともに 8.8%となっています。



項目	居宅介護支援事業所	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	グループホーム	小規模多機能型居宅介護	その他	無回答	合計
度数	124	15	11	15	3	3	0	171
構成比	72.5%	8.8%	6.4%	8.8%	1.8%	1.8%	0.0%	100.0%

問 3　あなたの性別をお答えください。

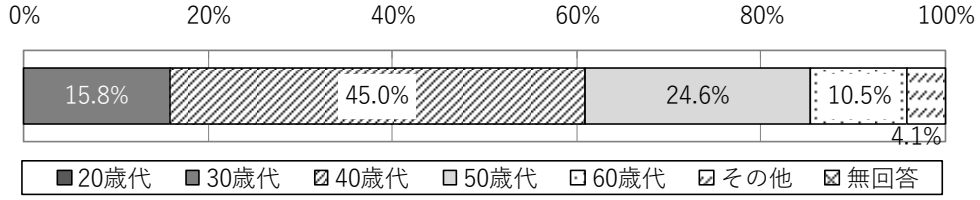
性別では、「男性」が 26.9%、「女性」が 73.1%となっています。



項目	男性	女性	無回答	合計
度数	46	125	0	171
構成比	26.9%	73.1%	0.0%	100.0%

問 4　あなたの年齢をお答えください。

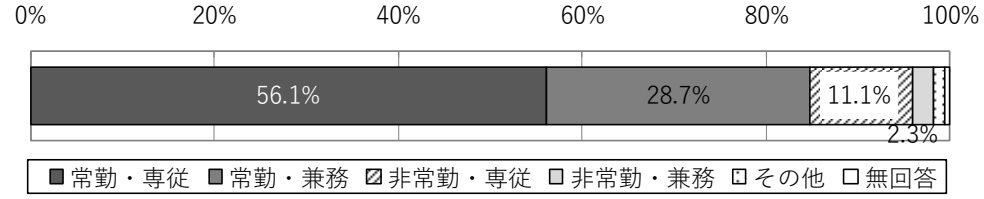
年齢では、「40 歳代」が 45.0%と最も多く、次いで「50 歳代」が 24.6%、「30 歳代」が 15.8%となっています。



項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	その他	無回答	合計
度数	0	27	77	42	18	7	0	171
構成比	0.0%	15.8%	45.0%	24.6%	10.5%	4.1%	0.0%	100.0%

問 5　あなたの勤務形態をお答えください。

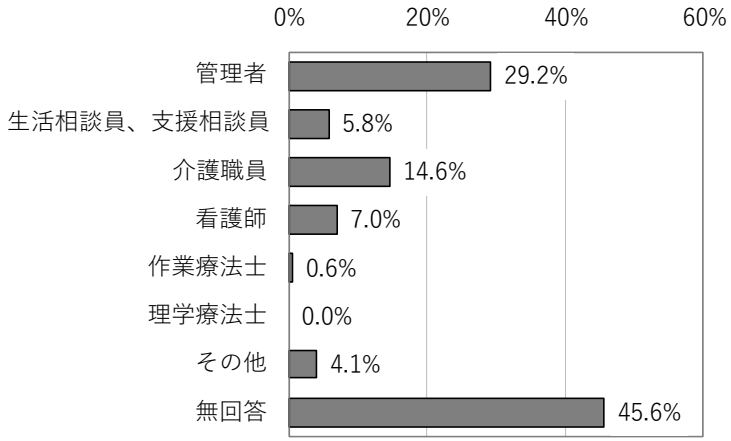
勤務形態では、「常勤・専従」が 56.1%と最も多く、次いで「常勤・兼務」が 28.7%、「非常勤・専従」が 11.1%となっています。



項目	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	その他	無回答	合計
度数	96	49	19	4	2	1	171
構成比	56.1%	28.7%	11.1%	2.3%	1.2%	0.6%	100.0%

問 6　ケアマネジャーと兼務している職種を教えてください。（いくつでも）

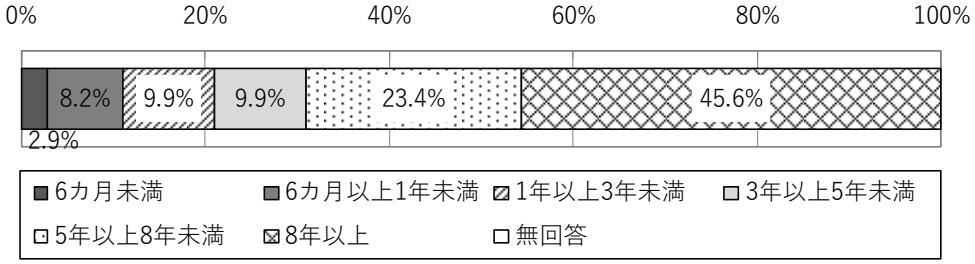
ケアマネジャーと兼務している職種では、「管理者」が 29.2%と最も多く、次いで「介護職員」が 14.6%、「看護師」が 7.0%となっています。



項目	度数	構成比
管理者	50	29.2%
生活相談員、支援相談員	10	5.8%
介護職員	25	14.6%
看護師	12	7.0%
作業療法士	1	0.6%
理学療法士	0	0.0%
その他	7	4.1%
無回答	78	45.6%
回答者数	171	

問 7　あなたのケアマネジャーとしての勤続年数をお答えください。

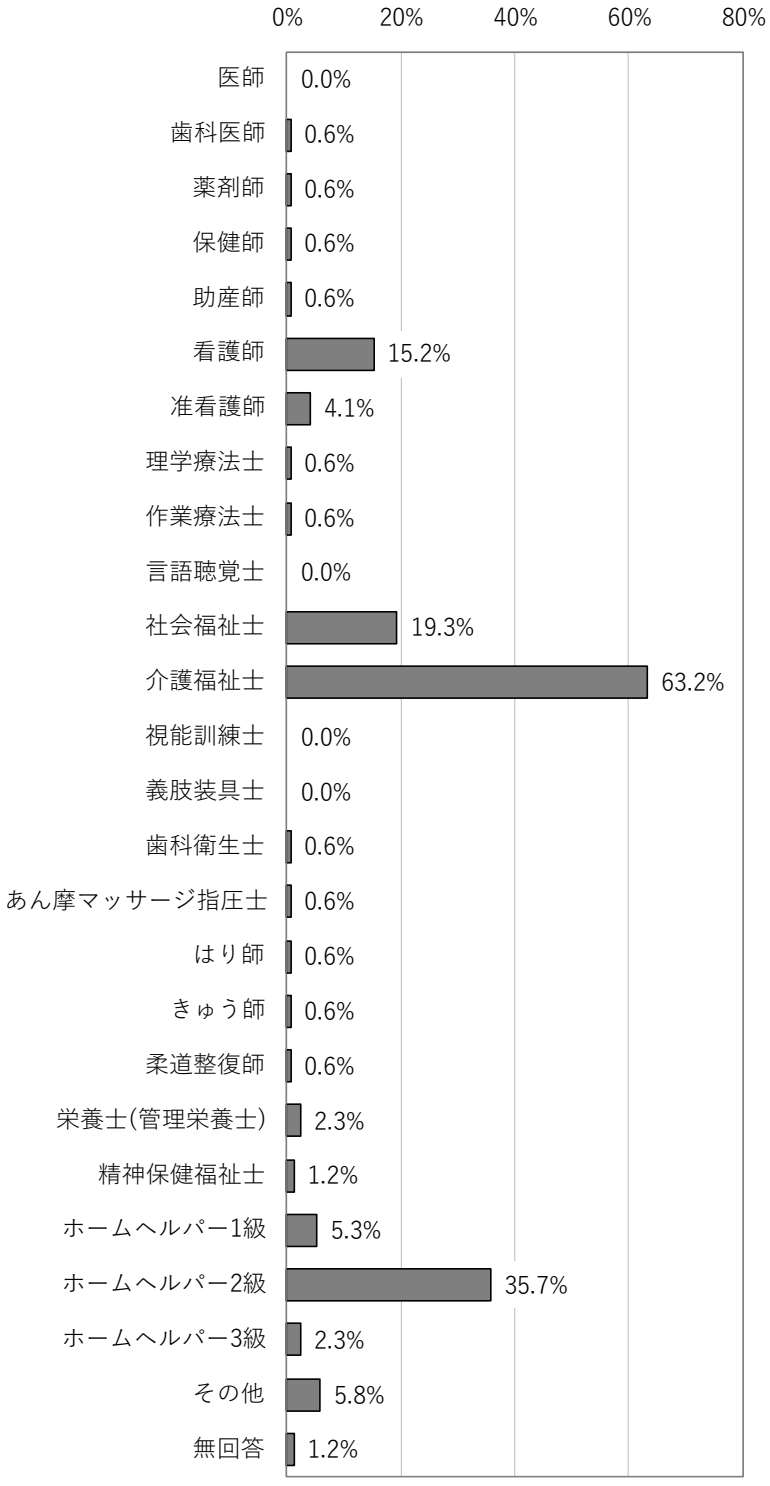
ケアマネジャーとしての勤続年数では、「8 年以上」が 45.6%と最も多く、次いで「5 年以上 8 年未満」が 23.4%、「1 年以上 3 年未満」「3 年以上 5 年未満」がともに 9.9%となっています。



項目	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 8年未満	8年以上	無回答	合計
度数	5	14	17	17	40	78	0	171
構成比	2.9%	8.2%	9.9%	9.9%	23.4%	45.6%	0.0%	100.0%

問 8　あなたのケアマネジャー以外の保健・医療・福祉に係る資格を教えてください。（いくつでも）

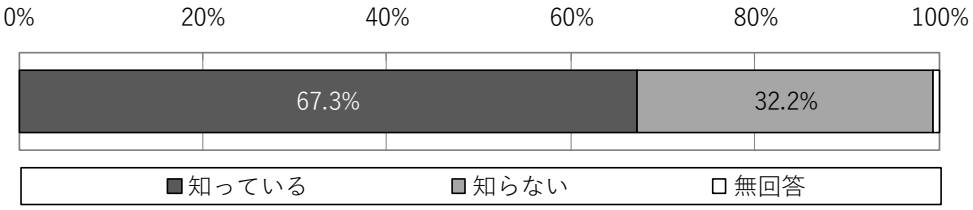
ケアマネジャー以外の保健・医療・福祉に係る資格では、「介護福祉士」が 63.2%と最も多く、次いで「ホームヘルパー2 級」が 35.7%、「社会福祉士」が 19.3%となっています。



項目	度数	構成比
医師	0	0.0%
歯科医師	1	0.6%
薬剤師	1	0.6%
保健師	1	0.6%
助産師	1	0.6%
看護師	26	15.2%
准看護師	7	4.1%
理学療法士	1	0.6%
作業療法士	1	0.6%
言語聴覚士	0	0.0%
社会福祉士	33	19.3%
介護福祉士	108	63.2%
視能訓練士	0	0.0%
義肢装具士	0	0.0%
歯科衛生士	1	0.6%
あん摩マッサージ指圧士	1	0.6%
はり師	1	0.6%
きゅう師	1	0.6%
柔道整復師	1	0.6%
栄養士(管理栄養士)	4	2.3%
精神保健福祉士	2	1.2%
ホームヘルパー1級	9	5.3%
ホームヘルパー2級	61	35.7%
ホームヘルパー3級	4	2.3%
その他	10	5.8%
無回答	2	1.2%
回答者数	171	

問９　ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っていますか。

ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について言葉を知っているかでは、「知っている」が 67.3%、「知らない」が 32.2%となっています。



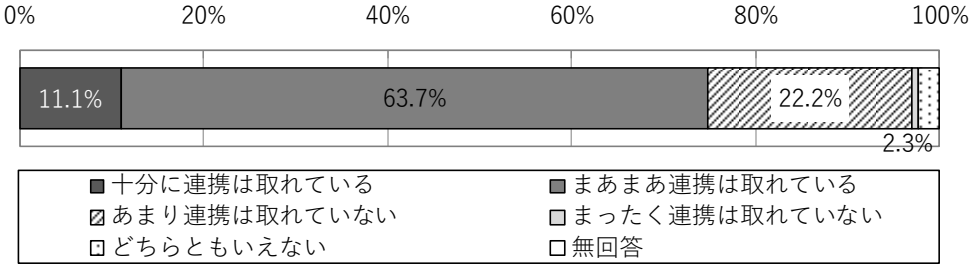
項目	知っている	知らない	無回答	合計
度数	115	55	1	171
構成比	67.3%	32.2%	0.6%	100.0%

（2）関係機関との連携について

問１　医療との連携は取れていますか。

医療との連携は取れているかでは、「十分に連携は取れている」「まあまあ連携は取れている」を合わせた『連携は取れている』は 74.8%となっています。

また、「あまり連携は取れていない」「まったく取れていない」を合わせた『連携は取れていない』は 22.8%となっています。



項目	十分に連携は取れている	まあまあ連携は取れている	あまり連携は取れていない	まったく連携は取れていない	どちらともいえない	無回答	合計
度数	19	109	38	1	4	0	171
構成比	11.1%	63.7%	22.2%	0.6%	2.3%	0.0%	100.0%

【問 1 で「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」「どちらともいえない」の方のみ】

問 1-1　医療との連携が取れていない理由は何ですか。（いくつでも）

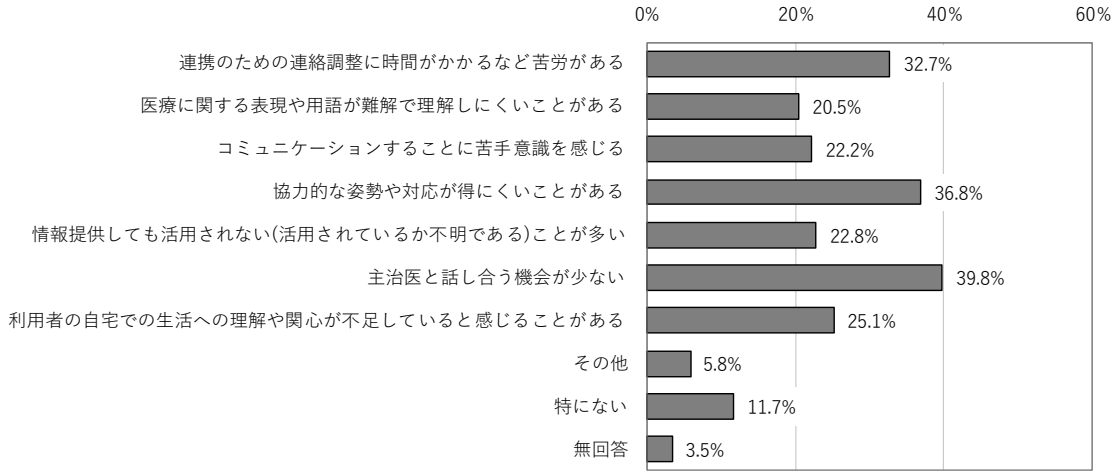
医療との連携が取れていない理由では、「医師が忙しく日程を調整することが難しい」が 43 件中 23 件と最も多く、次いで「自分自身の医療的な知識が不足している」が 22 件、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が９件となっています。

項目	度数	構成比
医師が忙しく日程を調整することが難しい	23	53.5%
自分自身の医療的な知識が不足している	22	51.2%
医師の介護保険制度に対する理解が少ない	9	20.9%
連携の必要性を感じない	6	14.0%
その他	7	16.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	43	
非該当	128	
合計	171	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

問 2　主治医（診療所の医師）との連携における課題だと思う点についてお答えください。（いくつでも）

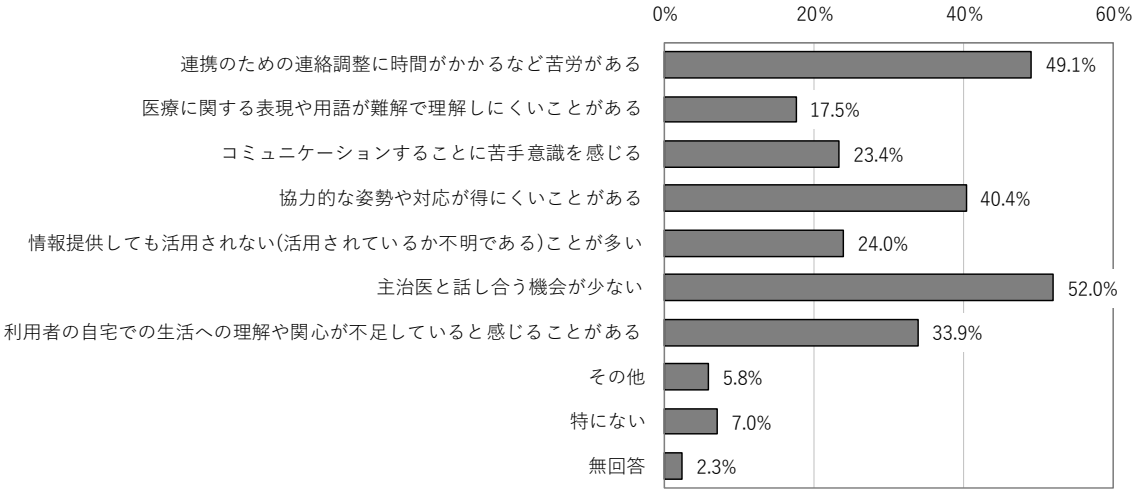
主治医（診療所の医師）との連携における課題だと思う点では、「主治医と話し合う機会が少ない」が 39.8%と最も多く、次いで「協力的な姿勢や対応が得にくいことがある」が 36.8%、「連携のための連絡調整に時間がかかるなど苦労がある」が 32.7%となっています。



項目	度数	構成比
連携のための連絡調整に時間がかかるなど苦労がある	56	32.7%
医療に関する表現や用語が難解で理解しにくいことがある	35	20.5%
コミュニケーションすることに苦手意識を感じる	38	22.2%
協力的な姿勢や対応が得にくいことがある	63	36.8%
情報提供しても活用されない(活用されているか不明である)ことが多い	39	22.8%
主治医と話し合う機会が少ない	68	39.8%
利用者の自宅での生活への理解や関心が不足していると感じることがある	43	25.1%
その他	10	5.8%
特にない	20	11.7%
無回答	6	3.5%
回答者数	171	

問 3　主治医（病院の医師）との連携における課題だと思う点についてお答えください。（いくつでも）

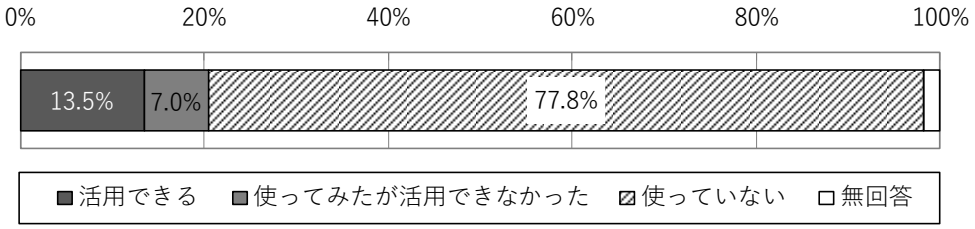
主治医（病院の医師）との連携における課題だと思う点では、「主治医と話し合う機会が少ない」が 52.0%と最も多く、次いで「連携のための連絡調整に時間がかかるなど苦労がある」が 49.1%、「協力的な姿勢や対応が得にくいことがある」が 40.4%となっています。



項目	度数	構成比
連携のための連絡調整に時間がかかるなど苦労がある	84	49.1%
医療に関する表現や用語が難解で理解しにくいことがある	30	17.5%
コミュニケーションすることに苦手意識を感じる	40	23.4%
協力的な姿勢や対応が得にくいことがある	69	40.4%
情報提供しても活用されない(活用されているか不明である)ことが多い	41	24.0%
主治医と話し合う機会が少ない	89	52.0%
利用者の自宅での生活への理解や関心が不足していると感じることがある	58	33.9%
その他	10	5.8%
特にない	12	7.0%
無回答	4	2.3%
回答者数	171	

問 4　「つくば地域連携タイムー覧」を活用したことがありますか。

「つくば地域連携タイムー覧」を活用したことがあるかでは、「活用できる」が 13.5%、「使ってみたが活用できなかった」が 7.0%、「使っていない」が 77.8%となっています。



項目	活用できる	使ってみたが活用できなかった	使っていない	無回答	合計
度数	23	12	133	3	171
構成比	13.5%	7.0%	77.8%	1.8%	100.0%

問 5　今後、医療とどのような連携が必要と考えますか。（自由記述）

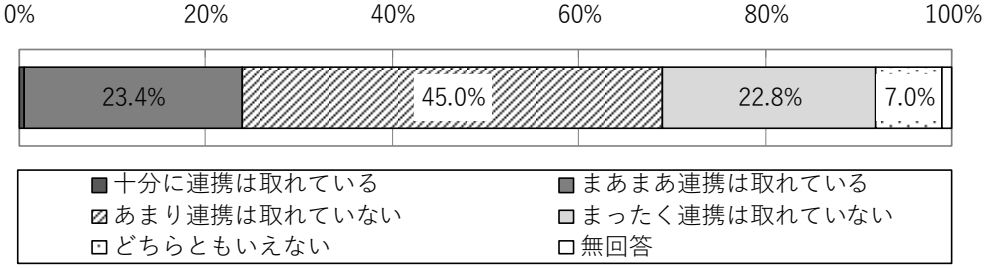
■医師、看護師とのかかわりは必須なので、退院前カンファレンスや入院中の様子を把握したり連携していく必要がある。そのことによって利用者様への支援内容が医療的なところも加わり医療面に気をつけてサービスが実施して行けると思う。
■医療サービス利用者のみならず、全ての人に対して、医療、病気や薬のことの情報共有、家庭介護についての情報共有が必要。
■病院の医師は忙しい。医師との面会ができるように、医療機関にケアマネと対応できる担当を置いてもらえるとよい。その担当を通して書類やアポを取るようにする。
■本人の日常の様子を報告し状況把握していただいた上で主治医意見書に反映させていただく又、変化があった際には随時報告し、その都度アドバイスをいただけると安心できる。
■利用者の病気だけではなく生活をどのように送っているかの情報の共有を図りたい。

主に上記の意見がありました。

問 6　区会、民生委員との連携は取れていますか。

区会、民生委員との連携は取れているかでは、「あまり連携は取れていない」「まったく取れていない」を合わせた『連携は取れていない』は 67.8%となっています。

また、「十分に連携は取れている」「まあまあ連携は取れている」を合わせた『連携は取れている』は 24.0%となっています。

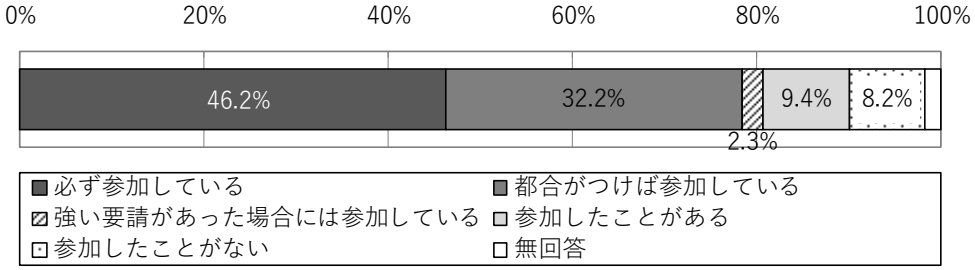


項目	十分に連携は取れている	まあまあ連携は取れている	あまり連携は取れていない	まったく連携は取れていない	どちらともいえない	無回答	合計
度数	1	40	77	39	12	2	171
構成比	0.6%	23.4%	45.0%	22.8%	7.0%	1.2%	100.0%

（3）入退院時について

問 1　退院前カンファレンスへ参加していますか。

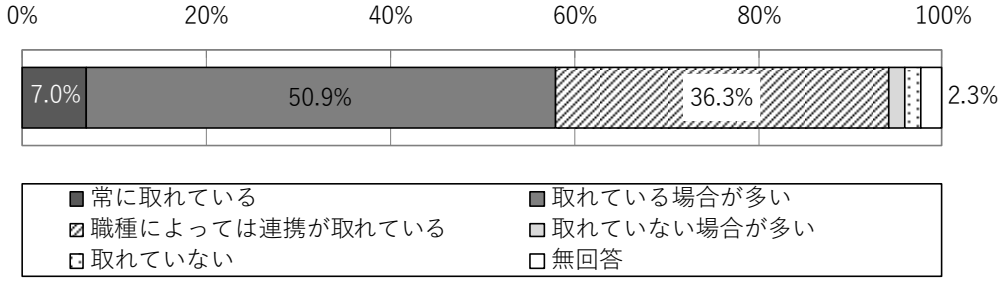
退院前カンファレンスへ参加しているかでは、「必ず参加している」が 46.2%と最も多く、次いで「都合がつけば参加している」が 32.2%、「参加したことがある」が 9.4%となっています。



項目	必ず参加している	都合がつけば参加している	強い要請があった場合には参加している	参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
度数	79	55	4	16	14	3	171
構成比	46.2%	32.2%	2.3%	9.4%	8.2%	1.8%	100.0%

問 2　入退院時、医師、ケアマネジャー、訪問看護、リハビリ職等のサービス関係者と円滑な連携が取れていますか。

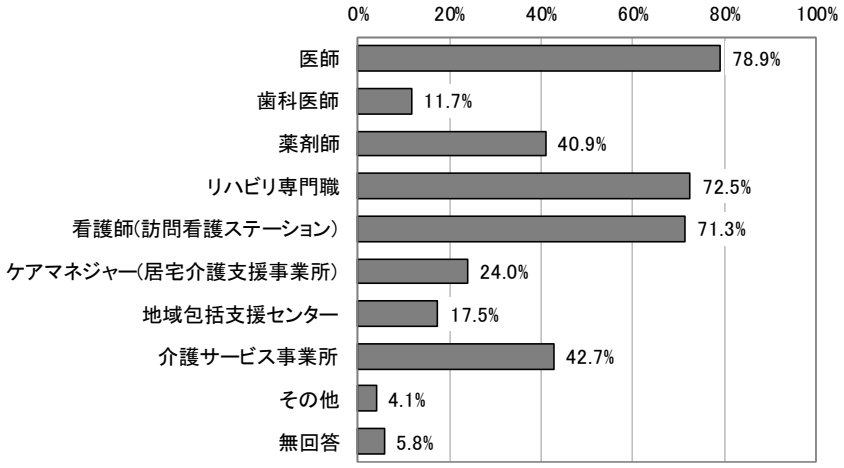
入退院時、医師、ケアマネジャー、訪問看護、リハビリ職等のサービス関係者と円滑な連携が取れているかでは、「取れている場合が多い」が 50.9%と最も多く、次いで「職種によっては連携が取れている」が 36.3%、「常に取れている」が 7.0%となっています。



項目	常に取れている	取れている場合が多い	職種によっては連携が取れている	取れていない場合が多い	取れていない	無回答	合計
度数	12	87	62	3	3	4	171
構成比	7.0%	50.9%	36.3%	1.8%	1.8%	2.3%	100.0%

問 3　今後、入退院時支援に連携したい職種は何ですか。（いくつでも）

今後、入退院時支援に連携したい職種では、「医師」が 78.9%と最も多く、次いで「リハビリ専門職」が 72.5%、「看護師（訪問看護ステーション）」が 71.3%となっています。

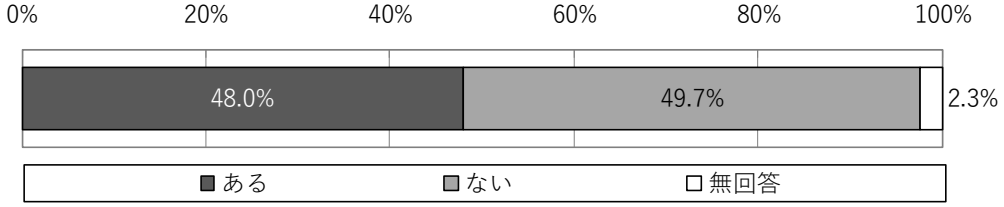


項目	度数	構成比
医師	135	78.9%
歯科医師	20	11.7%
薬剤師	70	40.9%
リハビリ専門職	124	72.5%
看護師(訪問看護ステーション)	122	71.3%
ケアマネジャー(居宅介護支援事業所)	41	24.0%
地域包括支援センター	30	17.5%
介護サービス事業所	73	42.7%
その他	7	4.1%
無回答	10	5.8%
回答者数	171	

（4）救急について

問１　利用者の急変により救急車を要請したことがありますか。

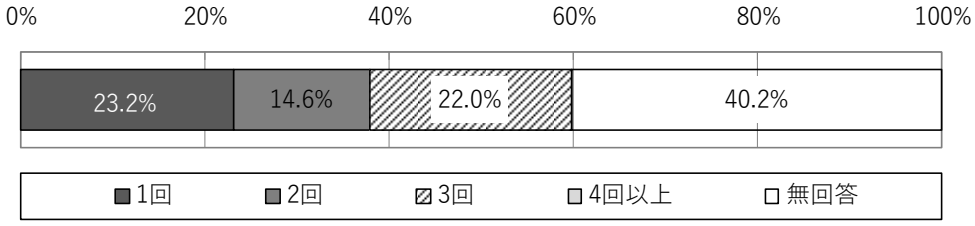
利用者の急変により救急車を要請したことがあるかでは、「ある」が 48.0%、「ない」が 49.7%となっています。



項目	ある	ない	無回答	合計
度数	82	85	4	171
構成比	48.0%	49.7%	2.3%	100.0%

【救急車要請件数】

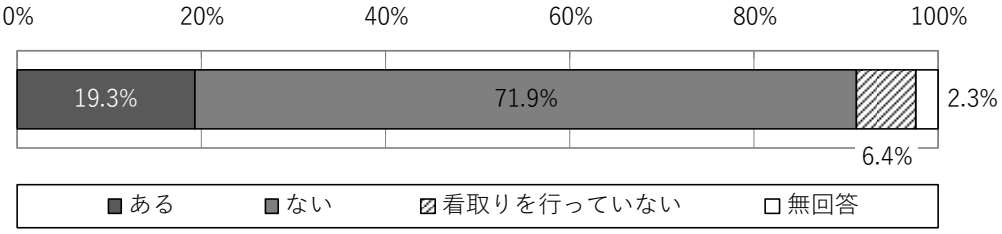
救急車要請件数では、「1 回」が 23.2%と最も多く、次いで「3 回」が 22.0%、「2 回」が 14.6%となっています。



項目	1回	2回	3回	4回以上	無回答	回答者数	非該当	合計
度数	19	12	18	0	33	82	89	171
構成比	23.2%	14.6%	22.0%	0.0%	40.2%	100.0%		

問 2　想定内の状況変化でも家族が「急変」ととらえて、救急搬送が要請されてしまったことがありますか。

想定内の状況変化でも家族が「急変」ととらえて、救急搬送が要請されてしまったことがあるかでは、「ある」が 19.3%、「ない」が 71.9%、「看取りを行っていない」が 6.4%となっています。



項目	ある	ない	看取りを行っていない	無回答	合計
度数	33	123	11	4	171
構成比	19.3%	71.9%	6.4%	2.3%	100.0%

【救急車要請件数】

救急車要請件数では、「1 回」が 33 件中 13 件と最も多く、次いで「2 回」が 4 件となっています。

項目	度数	構成比
1回	13	39.4%
2回	4	12.1%
3回	2	6.1%
4回以上	1	3.0%
無回答	13	39.4%
回答者数	33	100.0%
非該当	138	
合計	171	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

【問 2 で「ある」の方のみ】

問 2-1　呼んだのは誰ですか。（いくつでも）

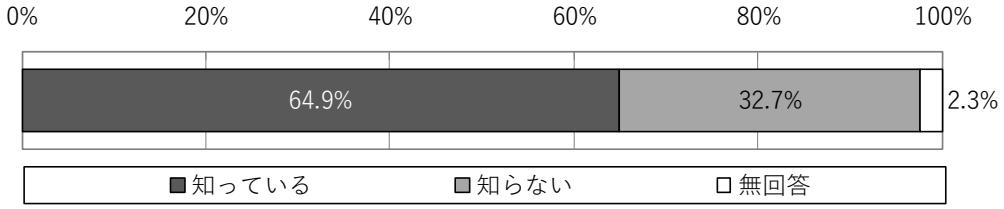
救急車を呼んだ人では、「同居家族」が 33 件中 28 件と最も多くなっています。

項目	度数	構成比
同居家族	28	84.8%
別居家族	1	3.0%
介護サービス提供者	2	6.1%
医療サービス提供者	3	9.1%
近隣住民	0	0.0%
その他	4	12.1%
無回答	1	3.0%
回答者数	33	
非該当	138	
合計	171	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

問 3　「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」をご存知ですか。

「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を知っているかでは、「知っている」が 64.9%、「知らない」が 32.7%となっています。

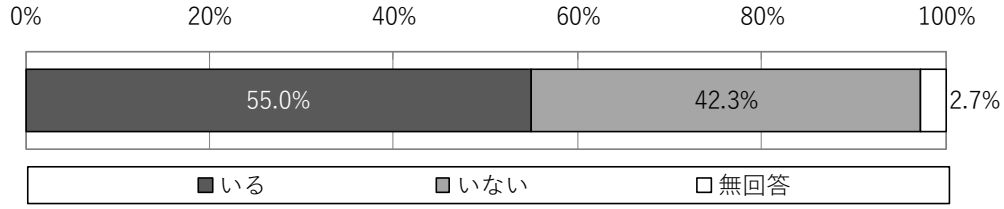


項目	知っている	知らない	無回答	合計
度数	111	56	4	171
構成比	64.9%	32.7%	2.3%	100.0%

【問 3 で「知っている」の方のみ】

問 3-1　利用者で使用している人がいますか。

利用者で使用している人がいるかでは、「いる」が 55.0%、「いない」が 42.3%となっています。



項目	いる	いない	無回答	回答者数	非該当	合計
度数	61	47	3	111	60	171
構成比	55.0%	42.3%	2.7%	100.0%		

【問 3-1 で「いる」の方のみ】

問 3-2　更新作業を行っていますか。

更新作業を行っているかでは、「いる」が 61 件中 22 件、「いない」が 38 件となっています。

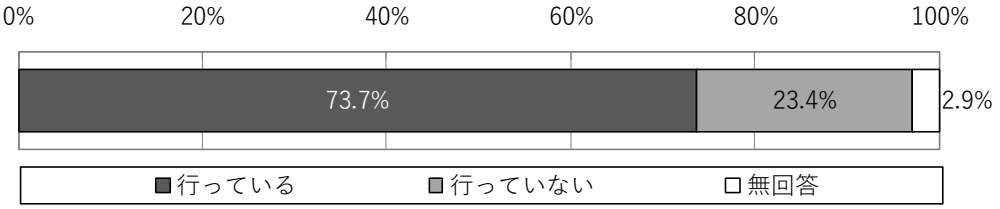
項目	度数	構成比
いる	22	36.1%
いない	38	62.3%
無回答	1	1.6%
回答者計	61	100.0%
非該当	110	
合計	171	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

（5）看取りについて

問１　看取りを行っている・関与している場合にはその理由、行っていない場合にはその理由は何ですか。（いくつでも）

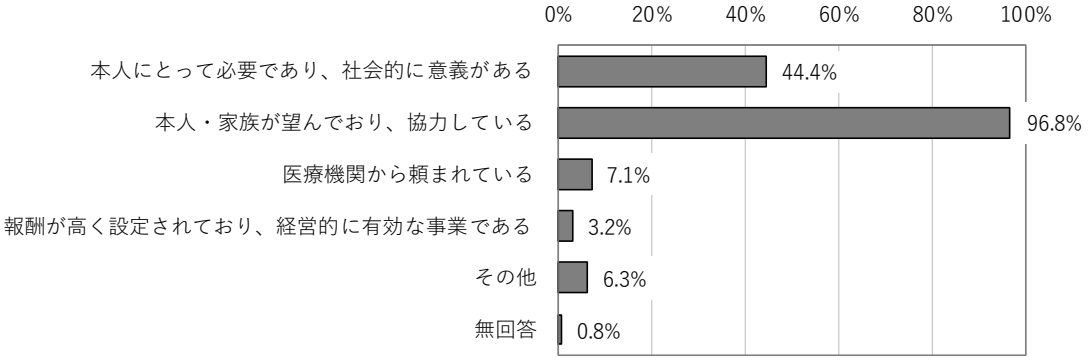
看取りを行っている・関与しているかでは、「行っている」が 73.7%、「行っていない」が 23.4%となっています。



項目	行っている	行っていない	無回答	合計
度数	126	40	5	171
構成比	73.7%	23.4%	2.9%	100.0%

【行っている理由（いくつでも）】

行っている理由では、「本人・家族が望んでおり、協力している」が 96.8%と最も多く、次いで「本人にとって必要であり、社会的に意義がある」が 44.4%、「医療機関から頼まれている」が 7.1%となっています。



項目	度数	構成比
本人にとって必要であり、社会的に意義がある	56	44.4%
本人・家族が望んでおり、協力している	122	96.8%
医療機関から頼まれている	9	7.1%
報酬が高く設定されており、経営的に有効な事業である	4	3.2%
その他	8	6.3%
無回答	1	0.8%
回答者数	126	
非該当	45	
合計	171	

【行っていない理由】

行っていない理由では、「希望者がいない」が 40 件中 17 件と多く、次いで「土日夜間に対応するのが難しい」が 8 件「看取りの知識が乏しい」が 7 件となっています。

項目	度数	構成比
移動の手間等により労力がかかりすぎる	1	2.5%
他の利用者で手がいっぱい	2	5.0%
看取りの知識が乏しい	7	17.5%
自宅での診療は機器も十分ではなく自身がない	5	12.5%
希望者がいない	17	42.5%
土日夜間に対応するのが難しい	8	20.0%
その他	10	25.0%
無回答	5	12.5%
回答者数	40	
非該当	50	
合計	171	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

問 2　看取りについて以下にお答えください。（①～⑨それぞれ 1 つに○）※この設問における「在宅」とは利用者の自宅のほか介護施設や居住系施設も含めます。

①在宅の看取りについて問題を感じることがあるでは､「非常にそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』(以下同様)が 50.3%となっています。

②在宅で看取りをすることにケアマネジャーとして不安や負担を感じることがあるでは、『そう思う』が 53.2%となっています。

③今後、在宅で看取るケースを増やしていけると思うでは､『そう思う』が 32.2%となっています。

④在宅で看取りを行う利用者のケアプラン作成に困難を感じることがあるでは、『そう思う』が 43.8%となっています。

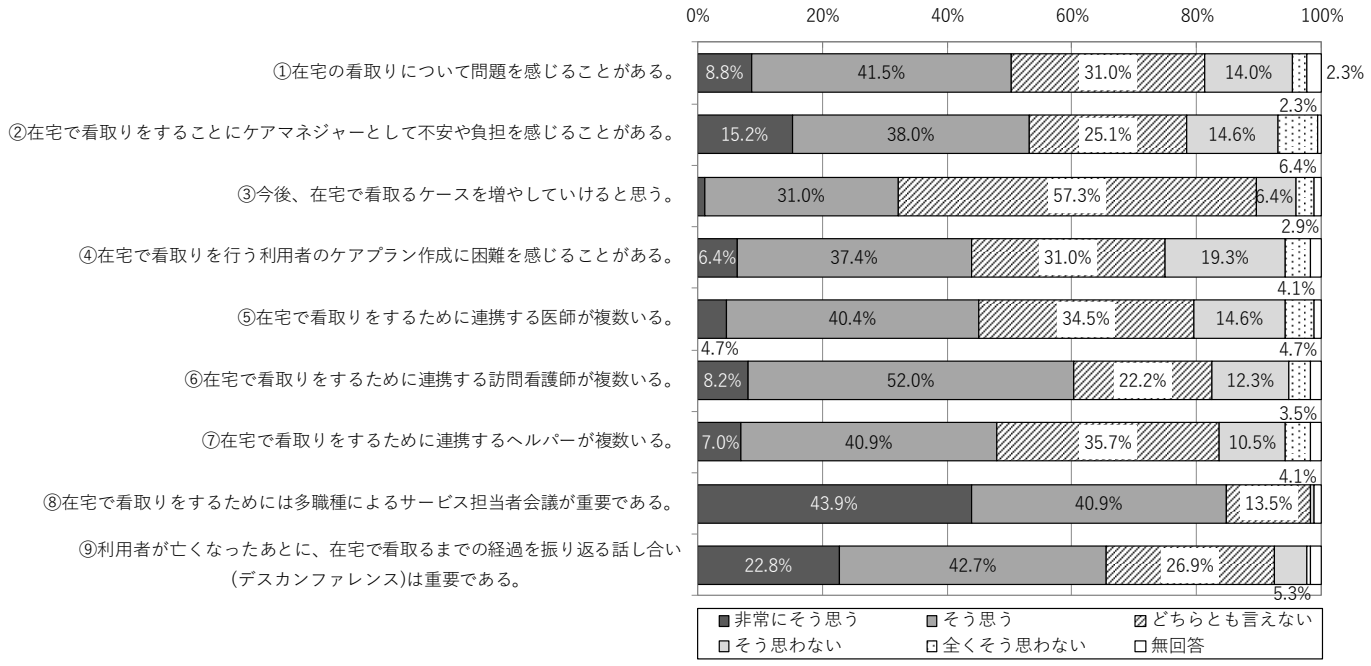
⑤在宅で看取りをするために連携する医師が複数いるでは､『そう思う』が 45.1%となっています。

⑥在宅で看取りをするために連携する訪問看護師が複数いるでは、『そう思う』が 60.2%となっています。

⑦在宅で看取りをするために連携するヘルパーが複数いるでは、『そう思う』が 47.9%となっています。

⑧在宅で看取りをするためには多職種によるサービス担当者会議が重要であるでは、『そう思う』が 84.8%となっています。

⑨利用者が亡くなったあとに、在宅で看取るまでの経過を振り返る話し合い(デスカンファレンス)は重要であるでは、『そう思う』が 65.5%となっています。

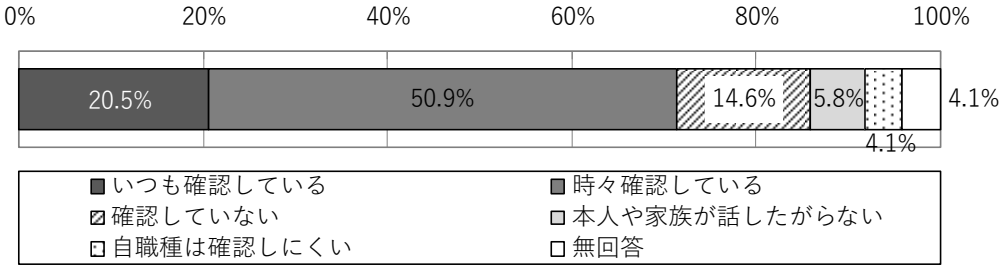


項目（度数）	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	合計
① 在宅の看取りについて問題を感じることがある。	15	71	53	24	4	4	171
② 在宅で看取りをすることにケアマネジャーとして不安や負担を感じることがある。	26	65	43	25	11	1	171
③ 今後、在宅で看取るケースを増やしていけると思う。	2	53	98	11	5	2	171
④ 在宅で看取りを行う利用者のケアプラン作成に困難を感じることがある。	11	64	53	33	7	3	171
⑤ 在宅で看取りをするために連携する医師が複数いる。	8	69	59	25	8	2	171
⑥ 在宅で看取りをするために連携する訪問看護師が複数いる。	14	89	38	21	6	3	171
⑦ 在宅で看取りをするために連携するヘルパーが複数いる。	12	70	61	18	7	3	171
⑧ 在宅で看取りをするためには多職種によるサービス担当者会議が重要である。	75	70	23	1	0	2	171
⑨ 利用者が亡くなったあとに、在宅で看取るまでの経過を振り返る話し合い(デスカンファレンス)は重要である。	39	73	46	9	1	3	171
① 在宅の看取りについて問題を感じることがある。	8.8%	41.5%	31.0%	14.0%	2.3%	2.3%	100.0%
② 在宅で看取りをすることにケアマネジャーとして不安や負担を感じることがある。	15.2%	38.0%	25.1%	14.6%	6.4%	0.6%	100.0%
③ 今後、在宅で看取るケースを増やしていけると思う。	1.2%	31.0%	57.3%	6.4%	2.9%	1.2%	100.0%
④ 在宅で看取りを行う利用者のケアプラン作成に困難を感じることがある。	6.4%	37.4%	31.0%	19.3%	4.1%	1.8%	100.0%
⑤ 在宅で看取りをするために連携する医師が複数いる。	4.7%	40.4%	34.5%	14.6%	4.7%	1.2%	100.0%
⑥ 在宅で看取りをするために連携する訪問看護師が複数いる。	8.2%	52.0%	22.2%	12.3%	3.5%	1.8%	100.0%
⑦ 在宅で看取りをするために連携するヘルパーが複数いる。	7.0%	40.9%	35.7%	10.5%	4.1%	1.8%	100.0%
⑧ 在宅で看取りをするためには多職種によるサービス担当者会議が重要である。	43.9%	40.9%	13.5%	0.6%	0.0%	1.2%	100.0%
⑨ 利用者が亡くなったあとに、在宅で看取るまでの経過を振り返る話し合い(デスカンファレンス)は重要である。	22.8%	42.7%	26.9%	5.3%	0.6%	1.8%	100.0%

問３　日常の支援において、本人の終末期における医療や介護、生活や家族への希望等、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について、本人の意向を確認していますか。

日常の支援において、本人の終末期における医療や介護、生活や家族への希望等、ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）について、本人の意向を確認しているかでは、「いつも確認している」「時々確認している」を合わせた『確認している』は 71.4%となっています。

また、「確認していない」が 14.6%となっています。



項目	いつも確認している	時々確認している	確認していない	本人や家族が話したがらない	自職種は確認しにくい	無回答	合計
度数	35	87	25	10	7	7	171
構成比	20.5%	50.9%	14.6%	5.8%	4.1%	4.1%	100.0%

問４　在宅での看取りの問題に対する解決策を具体的に書いてください。（自由記述）

■早い段階での人生会議をしておくこと。役割分担で不安な部分は保険サービスで補えるようなプラン作成。出来るだけ多くの親族と関わり本人の意思を皆で確認しておく。

■家族の看取りに対しての覚悟が必要かと思われる。心のゆれがあるのは仕方のない事だと思うが、それに寄り添っていくのが大切だと思います。

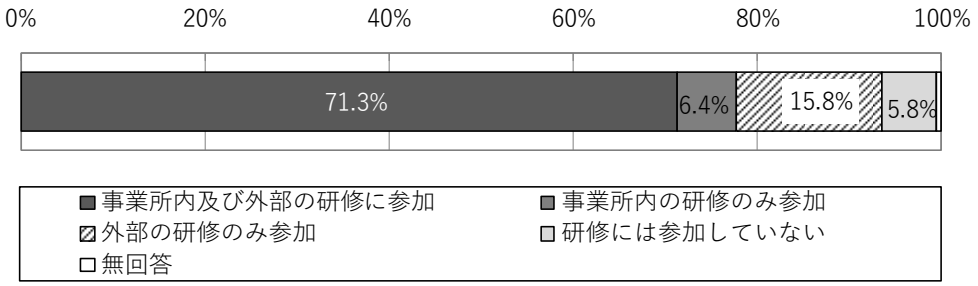
■終末期は家族の移行が大きく揺らぐ時期。担当者会議で決定されたことでも震える事もある。担会を形ばかりで行うよりは、実際にどれだけ連携が図れて、正しい情報がタイムリーに交わされているかと考える。家族の気持ちには十分に添うが、頻回な変更にどこまで対応できるか課題だった。業務の中で時間は少ないが、聞きにくい事を明確にし、とことん話し合うことが解決。家族の性質を早期に察知し、個々に合った説明の仕方に工夫が必要。

主に上記の意見がありました。

（6）サービスの質の向上について

問 1　サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。

サービスの質の向上に向けた研修に参加しているかでは、「事業所内及び外部の研修に参加」が 71.3%と最も多く、次いで「外部の研修のみ参加」が 15.8%、「事業所内の研修のみ参加」が 6.4%となっています。



項目	事業所内及び外部の研修に参加	事業所内の研修のみ参加	外部の研修のみ参加	研修には参加していない	無回答	合計
度数	122	11	27	10	1	171
構成比	71.3%	6.4%	15.8%	5.8%	0.6%	100.0%

【問 1 で「研修には参加していない」の方のみ】

問 1-1　研修に参加しない、または参加できない理由は何ですか。（いくつでも）

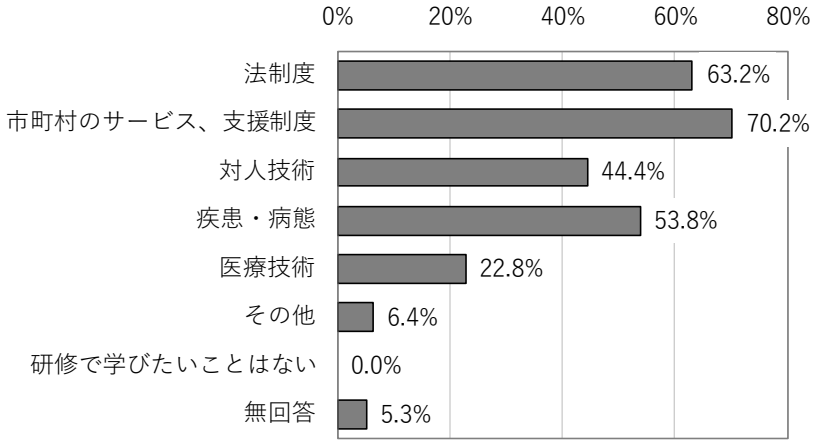
研修に参加しない、または参加できない理由では、「業務に多忙で時間がないから」「外部研修などの場合、金銭的に自己負担が大きいから」がともに 10 件中 6 件となっています。

項目	度数	構成比
業務に多忙で時間がないから	6	60.0%
外部研修などの場合、金銭的に自己負担が大きいから	6	60.0%
もう十分業務への理解はあるから	0	0.0%
その他	3	30.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	10	
非該当	161	
合計	171	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

問 2　どんな内容を研修で学びたいですか。（いくつでも）

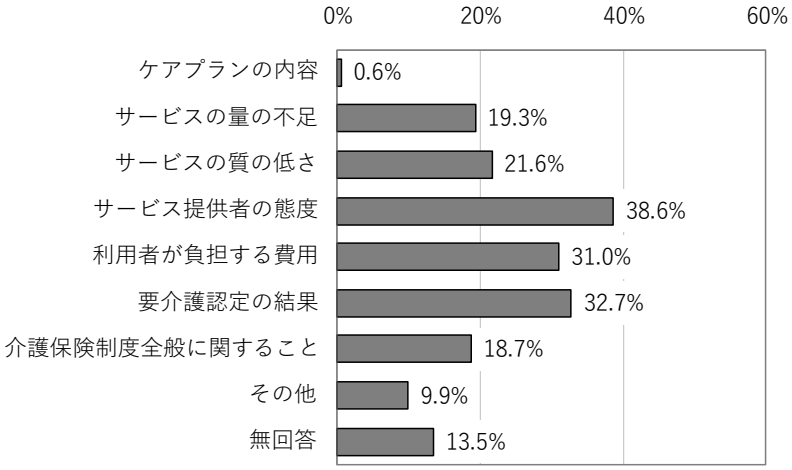
研修で学びたいことでは、「市町村のサービス、支援制度」が 70.2%と最も多く、次いで「法制度」が 63.2%、「疾患・病態」が 53.8%となっています。



項目	度数	構成比
法制度	108	63.2%
市町村のサービス、支援制度	120	70.2%
対人技術	76	44.4%
疾患・病態	92	53.8%
医療技術	39	22.8%
その他	11	6.4%
研修で学びたいことはない	0	0.0%
無回答	9	5.3%
回答者数	171	

問 3　利用者からどのような苦情が寄せられますか。（いくつでも）

利用者からの苦情の内容では、「サービス提供者の態度」が 38.6%と最も多く、次いで「要介護認定の結果」が 32.7%、「利用者が負担する費用」が 31.0%となっています。

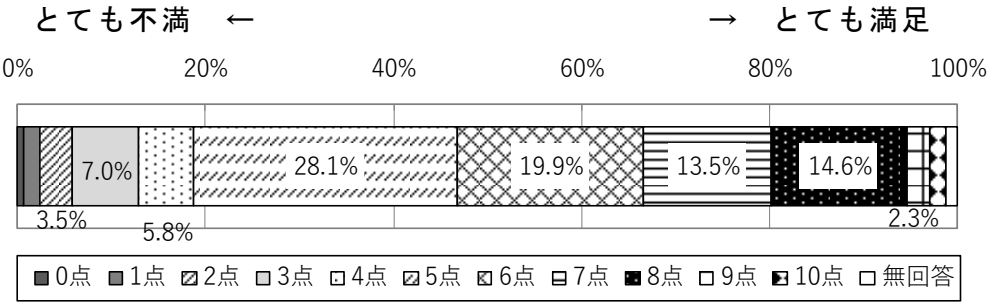


項目	度数	構成比
ケアプランの内容	1	0.6%
サービスの量の不足	33	19.3%
サービスの質の低さ	37	21.6%
サービス提供者の態度	66	38.6%
利用者が負担する費用	53	31.0%
要介護認定の結果	56	32.7%
介護保険制度全般に関すること	32	18.7%
その他	17	9.9%
無回答	23	13.5%
回答者数	171	

（7）仕事のことについて

問 1　あなたの仕事に対する満足度はどれくらいですか。10 点満点としてどれくらいかあてはまる数字に 1 つ○をしてください。

仕事に対する満足度では、「5 点」が 28.1%と最も多く、次いで「6 点」が 19.9%、「8 点」が 14.6%となっています。



項目	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
度数	1	3	6	12	10	48	34	23	25	4	3	2	171
構成比	0.6%	1.8%	3.5%	7.0%	5.8%	28.1%	19.9%	13.5%	14.6%	2.3%	1.8%	1.2%	100.0%

問 2　ケアマネジャーとして特に悩んでいることや、希望することは何ですか。（自由記述）

■ケアマネには地域コミュニティを創造していく視点や力があると思うが、それぞれの所属先の壁があり、その中に留まり、介護保険、年度内ビジネスに従事しているだけでは、創造に至れない。先ずは、しっかりと、自分の所属する先で利益を出して行くことが必要。その上で、事業所の壁を越えて協働することで自らも生活し齢を重ねていく地域の未来を創造して行きたい。

■マネジメントプロセスにかけられる時間がもっと欲しい。利用者お一人お一人その人らしく支えるためには現状困難。常勤、専従であるも、介護現場の人手不足から、現場を手伝ったり施設の運営管理業務等からなかなか難しい。

■職員によってケアプランの周知がされてなく、きちんと実施されていない事がある。

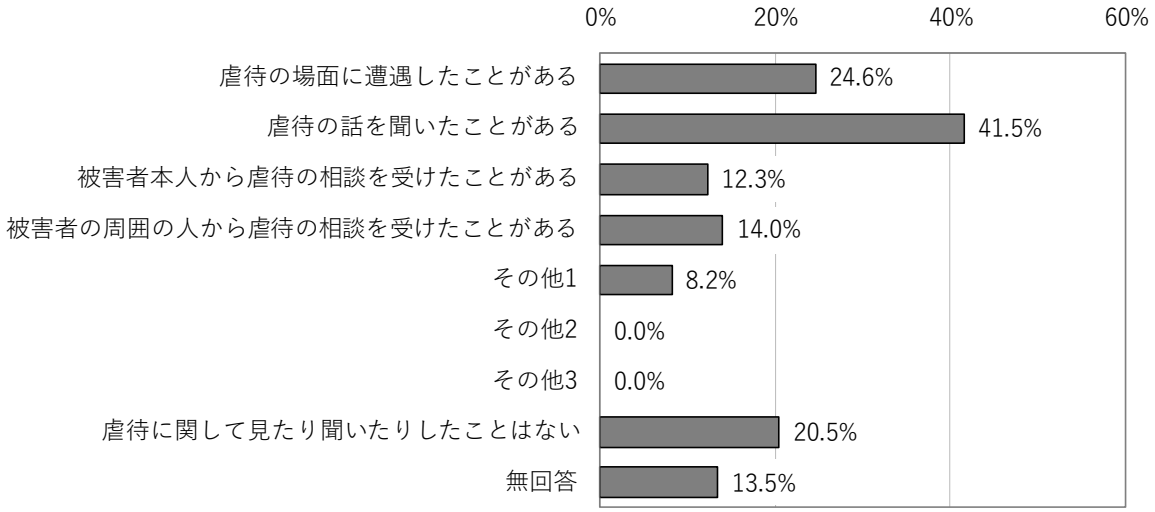
■多職種との連携の大変さ。本人と家族、家族間の意見の相違時の対応に困る事がある。

主に上記の意見がありました。

（8）虐待について

問１　これまで、高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、話や相談を受けたことなどがありますか。また、ある場合はその件数について記入してください。（いくつでも）

これまで、高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、話や相談を受けたことなどがあるかでは、「虐待の話を聞いたことがある」が 41.5%と最も多く、次いで「虐待の場面に遭遇したことがある」が 24.6%、「被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある」が 14.0%となっています。



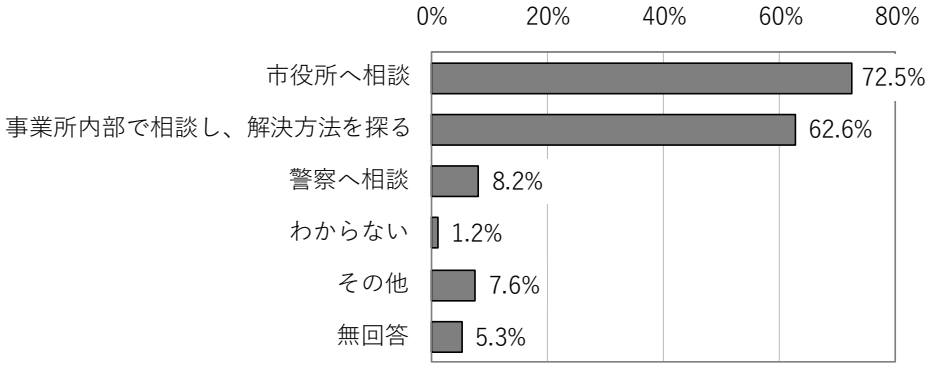
項目	度数	構成比
虐待の場面に遭遇したことがある	42	24.6%
虐待の話を聞いたことがある	71	41.5%
被害者本人から虐待の相談を受けたことがある	21	12.3%
被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある	24	14.0%
その他1	14	8.2%
その他2	0	0.0%
その他3	0	0.0%
虐待に関して見たり聞いたりしたことはない	35	20.5%
無回答	23	13.5%
回答者数	171	

≪虐待の場面に遭遇したことがある≫
「1 件」が 42 件中 22 件、次いで「2 件」が 9 件となっています。
≪虐待の話を聞いたことがある≫
「1 件」が 71 件中 31 件、次いで「2 件」が 16 件となっています。
≪被害者本人から虐待の相談を受けたことがある≫
「1 件」が 21 件中 17 件となっています。
≪被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある≫
「1 件」が 24 件中 14 件となっています。
≪その他 1≫
「2 件」が 14 件中 6 件となっています。
≪その他 2≫
回答はありませんでした。
≪その他 3≫
回答はありませんでした。

	1件	2件	3件以上	無回答	回答者数	非該当	合計
虐待の場面に遭遇したことがある	22	9	4	3	42	129	171
虐待の話を聞いたことがある	31	16	5	9	71	100	171
被害者本人から虐待の相談を受けたことがある	17	1	1	0	21	150	171
被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある	14	2	2	1	24	147	171
その他1	4	6	2	2	14	157	171
その他2	0	0	0	0	0	171	171
その他3	0	0	0	0	0	171	171
虐待の場面に遭遇したことがある(n=42)	52.4%	21.4%	9.5%	7.1%	100.0%		
虐待の話を聞いたことがある(n=71)	43.7%	22.5%	7.0%	12.7%	100.0%		
被害者本人から虐待の相談を受けたことがある(n=21)	81.0%	4.8%	4.8%	0.0%	100.0%		
被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある(n=24)	58.3%	8.3%	8.3%	4.2%	100.0%		
その他1(n=14)	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	100.0%		
その他2(n=0)	0	0	0	0	0		
その他3(n=0)	0	0	0	0	0		

問 2　虐待を発見したり、疑いがもたれる場合、どのように行動しますか。（いくつでも）

虐待を発見したり、疑いがもたれる場合の行動では、「市役所へ相談」が 72.5%と最も多く、次いで「事業所内部で相談し、解決方法を探る」が 62.6%、「警察へ相談」が 8.2%となっています。



項目	度数	構成比
市役所へ相談	124	72.5%
事業所内部で相談し、解決方法を探る	107	62.6%
警察へ相談	14	8.2%
わからない	2	1.2%
その他	13	7.6%
無回答	9	5.3%
回答者数	171	

（9）自由意見

市の高齢者保健福祉施策や介護保険運営について、日ごろ考えていること、意見などございましたら右の欄にご記入ください。(自由記述)

■つくタクは高齢者にとって利用し難い点が多く「買い物に行けない、病院受診が困難」等の声が多く聞かれる。つくタクの利用がもう少し利用者サイドに向けた方向性を期待する。買物難民に対しては、大手スーパーと市が提携し利用者宅からスーパーへの送り迎えが可能になれば生活の質も改善していくと思う。行政が介入し、介護保険横出しサービスを導入する事で介護保険利用の押下の歯止めにもつながると思われます。何よりも本人の意欲向上、社会性の維持につながる効果は大きい。

■介護人材の不足は深刻であり、少ない人材が日々疲弊しながら高齢者ケアに臨んでいます。介護保険の今後の健全な運営を考える上で人材の確保は不可欠な要素であり、事業所単体で解決できる問題ではありません。保険者として、つくば市には、是非この問題の解決に向けた努力を続けて頂きたいと考えます。

■困難なケース等について、積極的に情報を共有して一緒に動いていただけると助かる。ケアマネにかかる負担が大きい。

■細かい法令遵守があるため、その業務に時間がとられがち。負担も多く感じる。ケアマネの一連の仕事（サービス担当者会議、アセスメントの内容など）、もうちょっと簡素化できないものでしょうか。違反とされた時の減算なども厳しすぎるように感じています。

■認定調査時の基準が人によってバラバラであり、特に委託されてきた事業所のケアマネは理解してくれるが市の調査員は厳しく判定する傾向があり、介護度にバラつきが出ている。

■負担限度額制度の使用できる範囲が広がれば、収入が低く介護度も低い人が救われます。

■他市町村の介護窓口と比較してとてもやりやすい。

主に上記の意見がありました。

第８期つくば市高齢者福祉計画策定のための
アンケート調査報告書

発　　行／つくば市
発行年月／令和２年６月
編　　集／保健福祉部高齢福祉課
住　　所／〒305-8555　茨城県つくば市研究学園一丁目１番地１
電　　話／029-883-1111（代表）

つくば市高齢者福祉推進会議委員（第８期）名簿

資料３

	区分	所属（推薦）団体等	氏名
1	市民（一般公募）	介護保険第１号被保険者	森田　信
2	市民（一般公募）	介護保険第１号被保険者	石川　益子
3	市民（一般公募）	介護保険第１号被保険者	織田　順
4	市民（一般公募）	介護保険第１号被保険者	室生　勝
5	市民（一般公募）	介護保険第２号被保険者	ホー　真美
6	学識経験者代表	国立大学法人筑波大学	田宮　菜奈子
7	学識経験者代表	国立大学法人筑波技術大学	山脇　博紀
8	学識経験者代表（住宅団体）	一般財団法人茨城県住宅管理センター	寺沼　源一
9	医療団体代表	一般社団法人つくば市医師会	成島　淨
10	医療団体代表	つくば市歯科医師会	大河原 純也
11	福祉関係団体代表	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会	吉場　勉
12	福祉関係団体代表	つくば市民生委員児童委員連絡協議会	飯泉　孝司
13	介護サービス事業者代表	一般社団法人茨城県ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門職協会	斉藤　秀之
14	介護サービス事業者代表	つくばケアマネージャー連絡会	岩﨑　学
15	介護サービス事業者代表	つくば市特別養護老人ホーム連絡会	金野　信子
16	介護サービス事業者代表	つくば市地域密着型サービス事業所連絡会	木村　聡
17	介護サービス事業者代表	つくば市地域密着型サービス事業所連絡会	梅原　久美子

【つくば市高齢者福祉推進会議設置、委員構成の根拠】

つくば市高齢者福祉推進会議設置要項

第３条　推進会議は、委員21人以内で構成する。
２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。
（１）市民
（２）保健、医療、福祉又は高齢者に係る住宅政策等に関し学識経験を有する者
（３）保健、医療又は福祉関係団体を代表する者
（４）介護サービスに関する事業に従事する者

つくば市高齢者福祉推進会議（第８期）　事務局名簿

資料４

	部・課名等	役職	氏名
1	保健福祉部	部長	小室　伸一
2	保健福祉部	次長	安曽　貞夫
3	保健福祉部　介護保険課	課長	水品　久美子
4	保健福祉部　地域包括支援課	課長	会田　延男
5	保健福祉部　国民健康保険課	課長	木澤　伸治
6	保健福祉部　医療年金課	課長	日下　永一
7	保健福祉部　健康増進課	課長	岡野　智
8	保健福祉部　社会福祉課	課長	安田　正幸
9	建設部　住宅政策課	課長	田中　聖史
10	保健福祉部	参事	黒田　直明
11	保健福祉部　高齢福祉課	課長	中根　英明
12	保健福祉部　高齢福祉課	課長補佐	城取　美知枝
13	保健福祉部　高齢福祉課	係長	菊池　智未
14	保健福祉部　高齢福祉課	主任	大津　尚子
15	地域計画株式会社		石原　拓哉

資料５

つくば市高齢者福祉推進会議設置要項

（設置）

第１条　つくば市における高齢者施策と介護保険事業等について広く意見を聴くため、つくば市高齢者福祉推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（協議事項）

第２条　推進会議は、次に掲げる事項を協議する。

（１）高齢者の保健福祉施策の総合的な推進に関すること。

（２）老人福祉計画の策定、進行管理及び評価に関すること。

（３）介護保険事業計画の策定、進行管理及び評価に関すること。

（４）高齢者居住安定確保計画の策定、進行管理及び評価に関すること。

（５）その他高齢者の保健福祉に関し必要な事項。

（構成）

第３条　推進会議は、委員 21 人以内で構成する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

（１）市民

（２）保健、医療、福祉又は高齢者に係る住宅政策等に関し学識経験を有する者

（３）保健、医療又は福祉関係団体を代表する者

（４）介護サービスに関する事業に従事する者

（任期）

第４条　委員の任期は、３年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

２　委員は、再任されることができる。

（推進会議）

第５条　推進会議に委員の互選により委員長及び副委員長をおく。

２　委員長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（推進会議の開催）

第６条　推進会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

２　委員長は、推進会議の議長となる。

３　推進会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。ただし、会議の招集が困難である場合等にあっては、開催に代えて書面の郵送により意見の聴取を

行うことができるものとする。

（報告）
第７条　委員長は、市長に推進会議の結果を報告する。

（専門部会）
第８条　委員長は、専門的な事項を特に調査及び検討させる必要があると認めるときは、推進会議に諮り、専門部会を置くことができる。

（庶務）
第９条　推進会議の庶務は、保健福祉部高齢福祉課において処理する。

附　則

この要項は、平成 13 年８月１日から施行する。
この要項は、平成 16 年 10 月１日から施行する。
この要項は、平成 19 年 12 月 10 日から施行する。
この要項は、平成 22 年６月 22 日から施行する。
この要項は、平成 25 年８月 13 日から施行する。
この要項は、平成 28 年５月 17 日から施行する。
この要項は、平成 29 年４月１日から施行する。
この要項は、令和２年５月 28 日から施行する。

資料６

令和２年度　会議開催予定

第２回会議（６月開催）

・アンケート調査結果の報告

第３回会議（８月開催）

・第８期計画骨子案（計画の総論～高齢者を取り巻く現状～施策の設定）

・第７期計画の進捗状況評価の報告

・その他（第８期計画について国の指針の進捗等）

第４回会議（10月開催）

・第８期計画書素案（パブリックコメント用資料としての素案の校正）

・介護保険事業の説明

〇パブリックコメント前の庁議　令和２年11月25日

〇パブリックコメント　令和２年12月４日～令和３年１月４日

第５回会議（来年２月開催）

・パブリックコメントの結果

・第８期計画最終案

・介護保険料の決定

※会議の日程及び内容は、国の指針の進捗等で変更する場合があります。

会　議　録

会議の名称		第３回つくば市高齢者福祉推進会議		
開催日時		令和２年(2020 年) ８月 25 日（火）		
開催場所		つくば市役所２階会議室 202・203		
事務局（担当課）		保健福祉部高齢福祉課		
出席者	委員	田宮菜奈子委員長、織田順委員、大河原純也委員、吉場勉委員、岩﨑学委員、木村聡委員、梅原久美子委員、石川益子委員、ホー真美委員、寺沼源一委員、飯泉孝司委員、斉藤秀之委員		
	その他			
	事務局	保健福祉部：安曽次長 介護保険課：小林課長補佐、中澤係長 地域包括支援課：板倉課長補佐、藤田主査 健康増進課：今野係長、倉持係長 住宅政策課：大谷係長 つくば市社会福祉協議会：大橋係長、大竹係長 高齢福祉課：中根課長、城取課長補佐、菊池係長、相澤係長、 主任　大津		
公開・非公開の別		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	０人
非公開の場合はその理由				
議題		アンケート調査結果の報告に関すること		
会議次第		１　開会 ２　挨拶 ３　アンケート調査結果の経年比較について ４　議題 （１）つくば市高齢者福祉計画（第７期）施策進捗状況について （２）つくば市高齢者福祉計画（第８期）骨子案について ５　その他 ６　閉会		

＜審議内容＞

アンケート調査結果の経年比較について（前回会議での委員からの意見より）

◎参考資料、当日配布資料１について事務局より説明
・参考資料：アンケート調査結果の経年比較について
・当日配布資料１：設問項目の変更とカイ二乗検定によるアンケート調査結果比較表の統計学的有意性について

委員長　ボランティアの参加は平成 28 年と比較して減っているということですね。しかし、詳細に分析していただいていますが、対象の母集団自体が変わっているので、一概にそうとは言い切れず、あくまでも目安です。アンケート調査時期がコロナの影響はないですか。

事務局　今年の１月～２月ですのでぎりぎり問題はないと思います。

委員長　影響は未だ出ていない時期ですね。運動器機能リスクを見ても該当者が増加していますね。全体的に高齢化が進んできていることが要因かもしれません。今後の、例えばボランティア活動等の周知が必要かと思います。他に何かありますか、なければ次に移ります。

議題

（１） つくば市高齢者福祉計画（第７期）施策進捗状況について

◎資料１－１、１－２、１－３、事前質問票（１）に基づき事務局より説明
・資料１－１：つくば市高齢者福祉計画（第７期）施策進捗状況評価表
・資料１－２：つくば市高齢者福祉計画（第８期）における新規事業と廃止事業
・資料１－３：施策目標の変更について
・事前質問票（１）：室生委員からのご意見

委員長　　事前質問票（２）というのはどのように見ればよいのですか。

事務局　　次の議題でご説明します。

委員長　　わかりました。資料１－１、１－２について何かありますか。以前から数値化した評価をしたほうがよいのでは、意見をしていたので、今回は反映されたということですね。

織田委員　資料１－２の憩いの広場ですが、今後の事業の方針はどうお考えですか。

事務局　　令和元年度からスタートし６団体で活動していました。今年度は９団体で活動しています。緊急事態宣言が発令されていたときは、中止していましたが、感性予防を徹底し現在は活動しています。

石川委員　こちらで活動している団体はどのようなものですか。

事務局　　地域の自治会や、シルバークラブ、趣味が同じ人たち等です。活動に興味を持った人は参加できる仕組みとなっています。

石川委員　具体的には何をやっているのでしょうか。

事務局　　グランドゴルフや健康麻雀、俳句や囲碁、集まって談話するといった活動をしています。また、介護予防に関する活動を取り組むことになっているので、専門家を招いて講話を聞いたり、簡単なストレッチをしたりしている団体が多いです。

石川委員　シルバークラブと同様のことですか。

事務局　　シルバークラブですと、参加者が限定的になってしまいますが、この活動に関しては、参加者や地区は問わず、また活動頻度によって補助金の関係も変わってくるので週３回以上の頻度の団体が多くなっています。

石川委員　情報を知りませんでした。
　　具体的にはどこの地区で実施されているのですか。

事務局　　広報つくばで周知や申し込みを図っていました。茎崎、桜、谷田部の各地区で申し込みがありますが、地区によってのばらつきがあります。

委員長　　申請が６団体ですか、それとも抽選ですか。

事務局　　申請団体は全て受理しています。昨年は６団体で、今年は９団体です。

斎藤委員　先ほどの参考資料（統計的なデータ）と事業評価を今後は繋げていく必要

	があります。資料 1-3 で柱立てを変更したと説明がありましたが、今後、コロナをどのようにとらえて計画に反映させていくのかが課題であると感じました。コロナが蔓延している状態で計画の数値を算出するのか、それとも通常の状態で考えていかなければいけないのかは意識したほうが良いと思います。
岩崎委員	資料 1-1Ｐ8 の基準緩和型訪問サービスですが、評価はＣとなっていますが、どのような分析からですか。
事務局	生活支援サポーター養成研修を行いましたがあまり成果がでませんでした。事業所からの実績もあがらなかったので、事業自体は継続ですが、評価はこのようになっています。
岩崎委員	具体的な周知はどうしていきますか。
事務局	現在対応している事業所では、需要がありません。研修を受けた人と事業所需要によって成り立ってくると思います。
岩崎委員	現場の人間は需要がないとは認識していません。基準緩和型の意味合いが伝わっていないのが現実かと思います。
斉藤委員	事業所は報酬単価が安くてもやる気がありますか。
岩崎委員	専門性が必要なものと非専門的なもので、職員の使いわけができれば効率化がより図れると考えています。
斉藤委員	基準緩和型のメリットが周知されていないということでしょうか。
岩崎委員	専門職を有効利用していくというところですね。
事務局	貴重なご意見として承り、今後検討していきます。
委員長	新規事業の看取りに関するものと、介護度改善に関するものをもう少し詳しく教えてください。
事務局	看取り介護給付金事業は令和元年度から実施しており、看取りを行った施

設に対して、１件あたり 6,400 円の補助を出しています。看取り介護加算の基準に上乗せする形で、市から給付金を交付します。要介護度改善ケア給付金事業は、介護老人福祉施設等に対して、介護度が改善した高齢者に対して１人あたり 50,000 円の給付を行っています。要介護度が機能訓練等を重ねて改善しても、介護報酬が上がるといったシステムではないので、健全な施設運営や介護スタッフのモチベーションの向上を図るために、市から給付金を交付します。

委員長　実際に、施設の方のモチベーションが上がっているのであれば、とても大切なことですね。今後、施策としての評価が必要なことだと思います。

委員長　次の議題に移りたいと思います。

では、次の議題、つくば市高齢者福祉計画（第８期）骨子案について、事務局より説明をお願いします。

議題

（２）つくば市高齢者福祉計画（第８期）骨子案について

◎資料２、事前質問票（２）に基づき事務局より説明
・資料２：つくば市高齢者福祉計画（第８期）骨子案
・事前質問票（２）

委員長　ただいまの説明についてですが、内容が盛りだくさんだったため閉会の時間が近づいてしまいました。この議題、また今日の会議についての意見を後日募るという形をとらせていただきます。意見はメール等で寄せればよいでしょうか。

事務局　どのような形態でも大丈夫です。

斉藤委員　ボランティアという概念が計画やアンケートで多用されていますが、定義はどうですか。

委員長　ボランティア等に関してアンケートの設問の仕方の変更がないか、もう一度調べてください。

飯泉委員　介護保険の段階はどういったものでしょうか。

斉藤委員　保険料は 40 歳から徴収されます。段階として、要支援は１・２、要介護は１～５となります。

ホー委員　つくば市は他市と比較しても比較的若い世代が多いと思いますが、今後保険料の設定等をしていくなかで、高齢化の進展はどうなっていますか。

事務局　県内では最も低く、19.37%の高齢化率となっています。つくばエクスプレスが開通したこともあり、若い世代の流入は多いです。また、大きく高齢化が進展すると予測されていた時期もありましたが、その時の予測よりは進行していません。

委員長　本市の場合は地域差がかなりみられます。市役所周辺や中心部は若い世代が多くみられますが、例えば茎崎地区等は高齢化が進行しています。時間も迫っていますので、本日の会議は以上でよろしいでしょうか。何か意見がある人は事務局に後日意見をお願いします。

事務局　ご意見に関しては、次の会議は 10 月末を予定しているため、９月末とさせていただきます。

その他

○事務局　次の会議は素案の審議になります。10 月末を予定しており、素案審議後はパブリックコメントを実施し、計画最終案の審議として来年に会議を予定しています。

参考資料

アンケート調査結果の経年比較について

第２回会議においては、各委員の方々からアンケート調査に関わる意見や、市の事業に対する意見が多数寄せられました。

本資料は、その意見の中から、第８期計画策定において参考となる意見をピックアップし、また、データの整合性が取れるものについては、平成 28 年度アンケートとの経年比較を資料としてまとめたものです。

1　アンケート調査結果からみた経年変化

第２回つくば市高齢者福祉推進会議の委員の質問を鑑みて、７期計画策定時のアンケート調査と今回のアンケート調査を、データの整合性がとれる設問をピックアップし経年変化をグラフ化しました。

★調査対象と回収数

対象者	調査年度	配布数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者（65 歳以上の市民）	令和元年度	3,000	1,821	60.7%
	平成 28 年度	3,000	1,557	51.9%
ケアマネジャー	令和元年度	250	171	68.4%
	平成 28 年度	243	141	58.0%

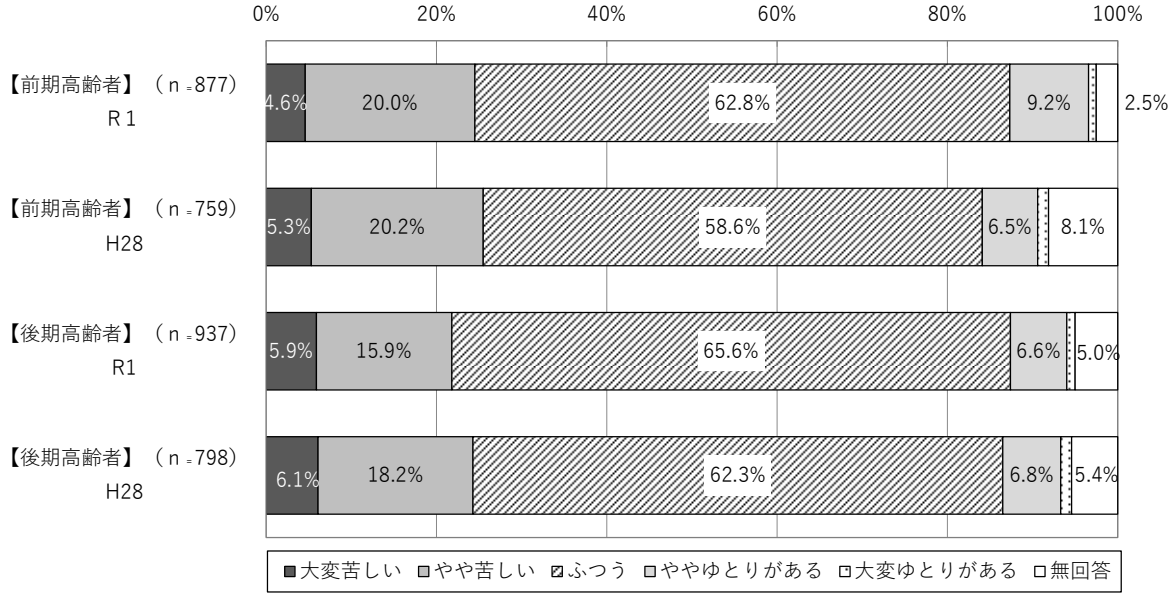
参考資料

▶経済状況（一般高齢者調査）

（２）あなたの御家族や生活状況について

：問３　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

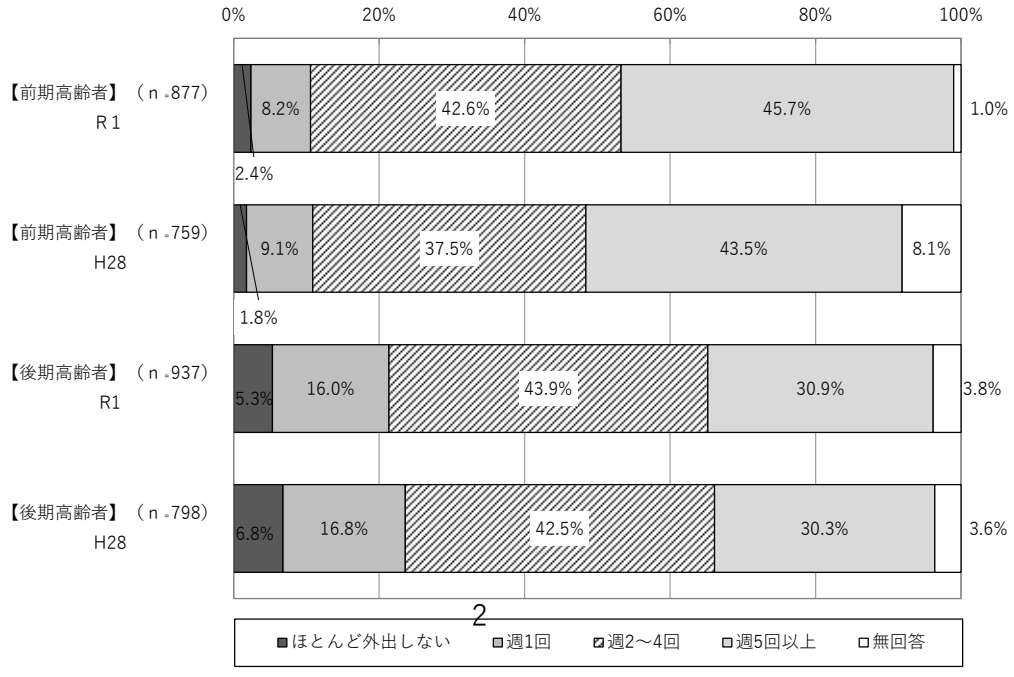
前期高齢者・後期高齢者ともに「大変苦しい」、「やや苦しい」の割合は、やや減少しています。



▶外出頻度（一般高齢者調査）

（３）からだを動かすことについて　　：問６　週に１回以上は外出していますか。

前期高齢者・後期高齢者ともに大きな変化はみられませんでしたが、前期高齢者では週 2～4 回の割合が増加しています。



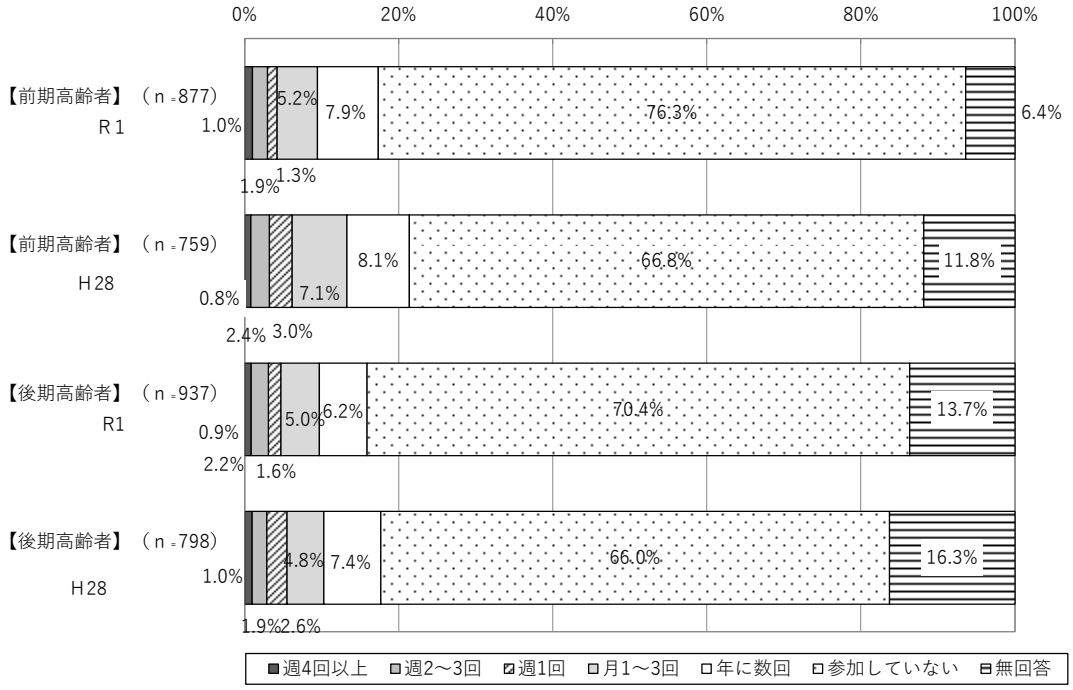
参考資料

▶ボランティア活動への参加（一般高齢者）

（６）地域での活動について

：問１　ボランティアグループにどのくらいの頻度で参加していますか。

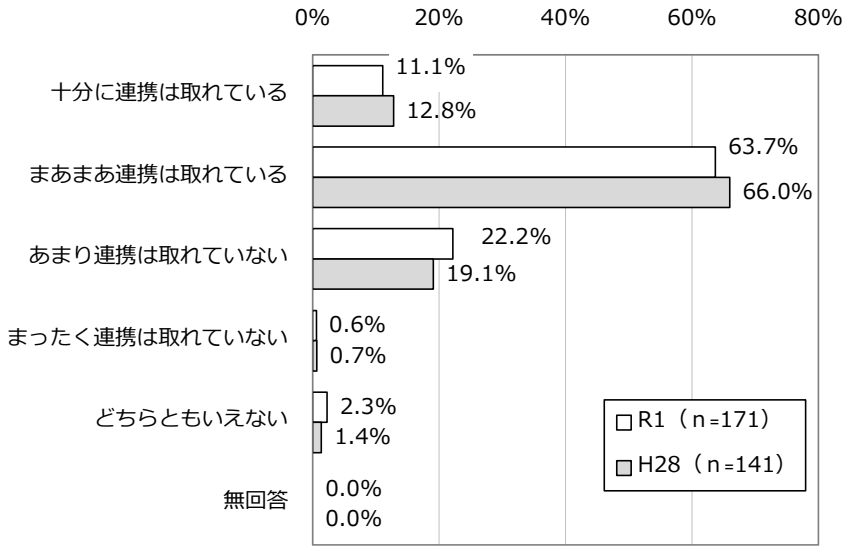
「参加していない」がやや増加しており、前期高齢者においては約 10 ポイント増加しています。



▶医療と介護の連携（ケアマネ）

（２）関係機関との連携について　：問１　医療との連携は取れていますか。

「あまり連携は取れていない」がやや増加しています。



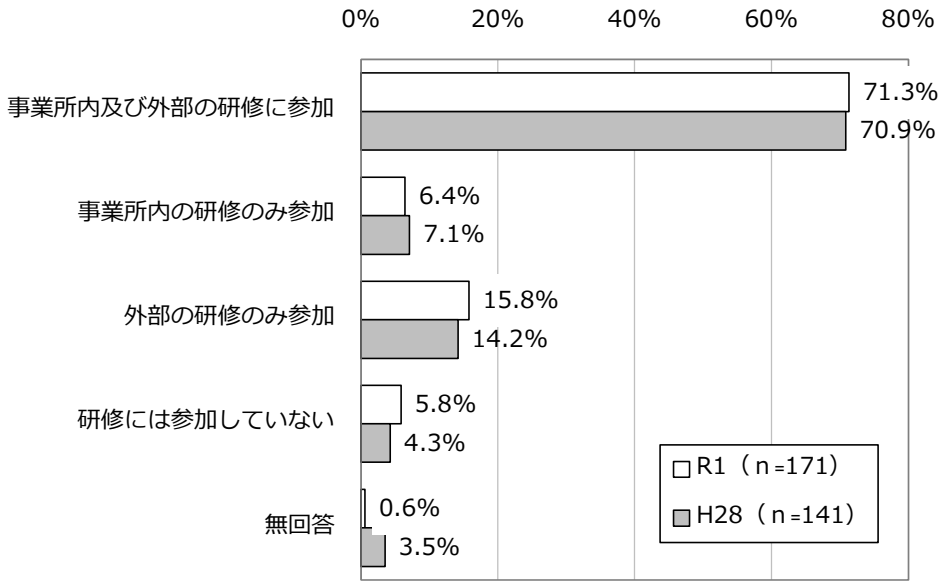
参考資料

▶研修への参加（ケアマネ）

（６）サービスの質の向上について

：問１　サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。

「外部の研修のみ参加」がやや増加しています。



参考資料

２　見える化システムにおける現状分析

平成 28 年度の 7 期計画策定時の調査結果と、令和元年度に実施した 8 期計画策定のための調査結果を比較し、各リスクの経年変化をみたものです。

以下に示す経年変化は、厚生労働省が運用する地域包括ケア「見える化」システムに高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果（一般高齢者調査）をアップロードすることによって、算出された数値を整理及びグラフ化し、該当項目における経年変化を追ったものです。

＜「見える化」システムとは？＞

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報やアンケート調査結果の分析等、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報がシステムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

参考資料

▶運動器機能リスク（転倒等に不安がある人）

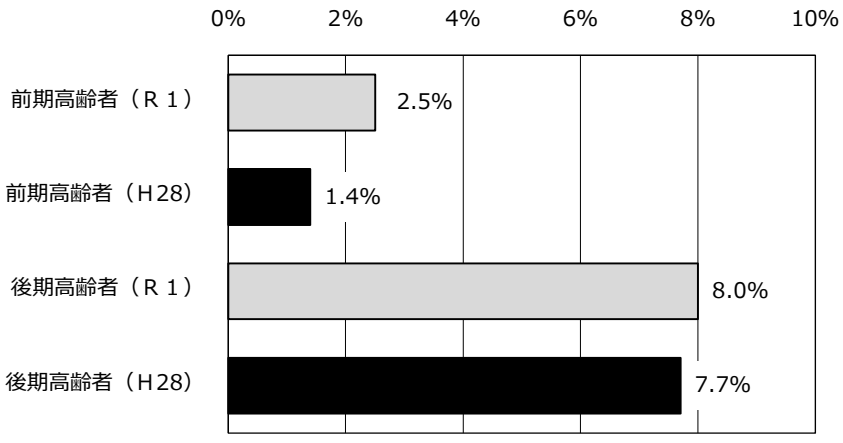
【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、３点以上を運動機能低下のリスク該当者としています。

（３）からだを動かすことについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問１	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	「できない」
問２	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
問３	15 分位続けて歩いていますか	「できない」
問４	この１年間に転んだことがありますか	「何度もある」または「１度ある」
問５	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」または「やや不安である」

前期高齢者では約１ポイント増加しており、後期高齢者では 0.3 ポイント増加しています。



参考資料

▶栄養改善リスク（体重の増減等があった人）

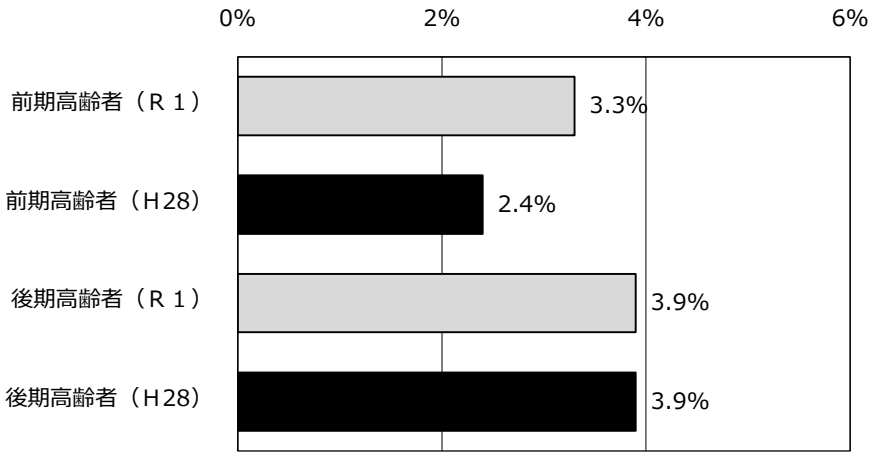
【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、２点以上を栄養低下リスク該当者としています。

（４）食べることについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問１	ＢＭＩ(身長と体重から算出)	18.5 未満
問９	半年で２～３kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

前期高齢者は約１ポイント増加しており、後期高齢者では 0.3 ポイント増加しています。



参考資料

▶咀嚼（そしゃく）機能リスク（口腔機能に低下がみられる人）

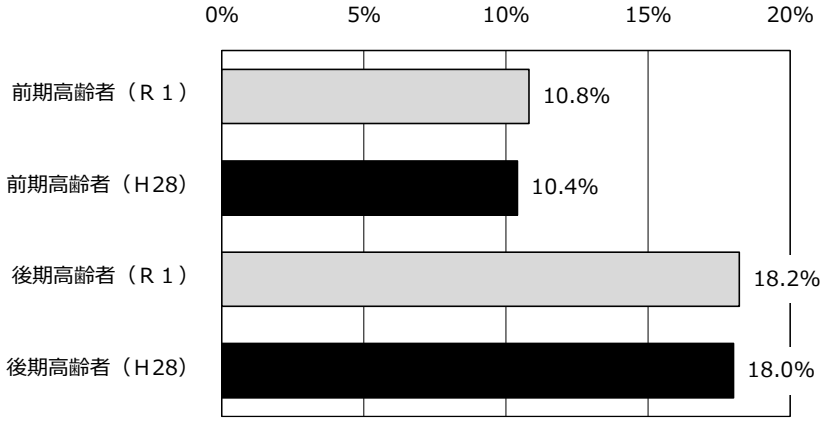
【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、２点以上を口腔機能低下のリスク該当者としています。

（４）食べることについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問２	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
問３	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
問４	口の渇きが気になりますか	「はい」

前期高齢者は 0.4 ポイント増加しており、後期高齢者では 0.2 ポイント増加しています。



参考資料

▶閉じこもりリスク（外出の頻度が少ない人）

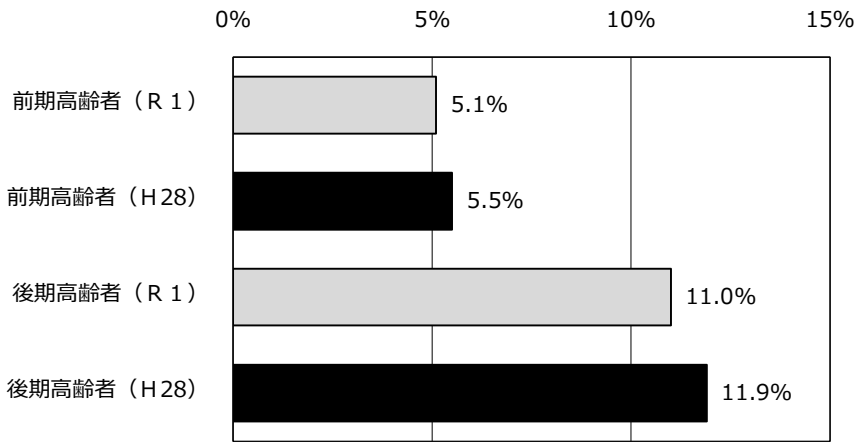
【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を閉じこもりのリスク該当者としています。

（３）からだを動かすことについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問 6	週に１回以上は外出していますか	「ほとんど外出していない」または「週１回」

前期高齢者は 0.4 ポイント減少しており、後期高齢者では 0.9 ポイント減少しています。



参考資料

▶認知症リスク（認知機能が低下している人）

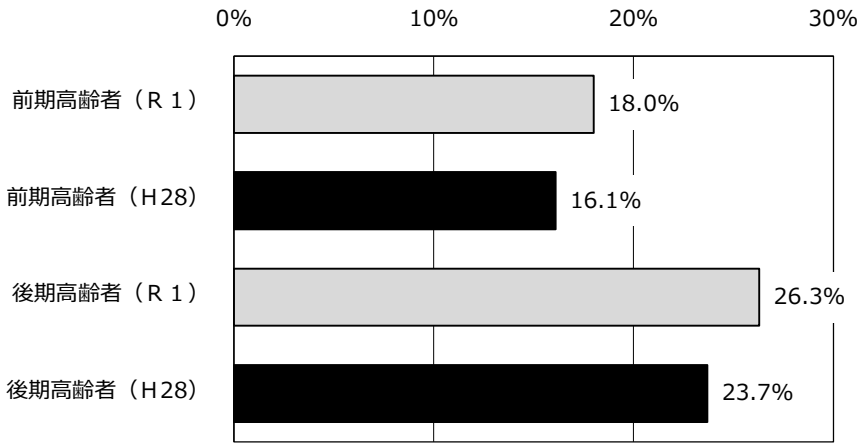
【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、１点以上を認知症予防の該当者としています。

（５）毎日の生活について

設問番号	設問名	該当する選択肢
問１	物忘れが多いと感じますか	「はい」
問２	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「いいえ」
問３	今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」

前期高齢者は 1.9 ポイント増加しており、後期高齢者では 2.6 ポイント増加しています。



参考資料

▶うつリスク（気分が沈んだり憂鬱な気持ちになった人）

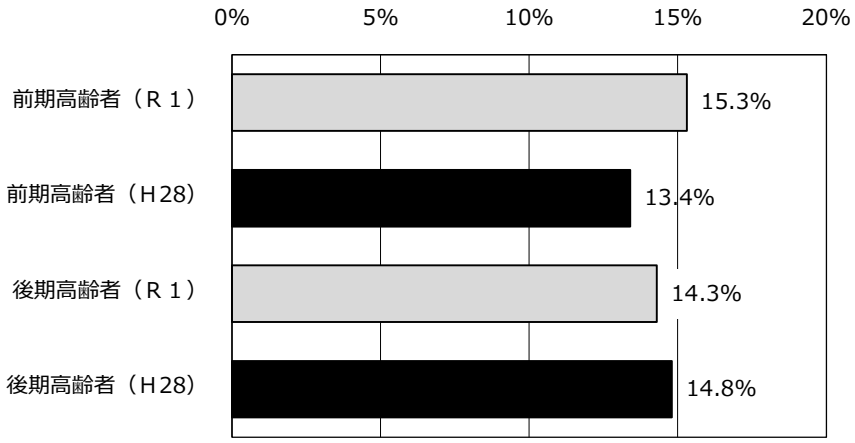
【指標】

下記の設問について、いずれか１つでも該当する選択肢を回答した方をうつのリスク該当者としています。

（８）健康について

設問番号	設問名	該当する選択肢
問５	この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
問６	この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

前期高齢者は 1.9 ポイント増加しており、後期高齢者では 0.5 ポイント減少しています。



参考資料

▶IADL（手段的日常生活動作）が低い高齢者

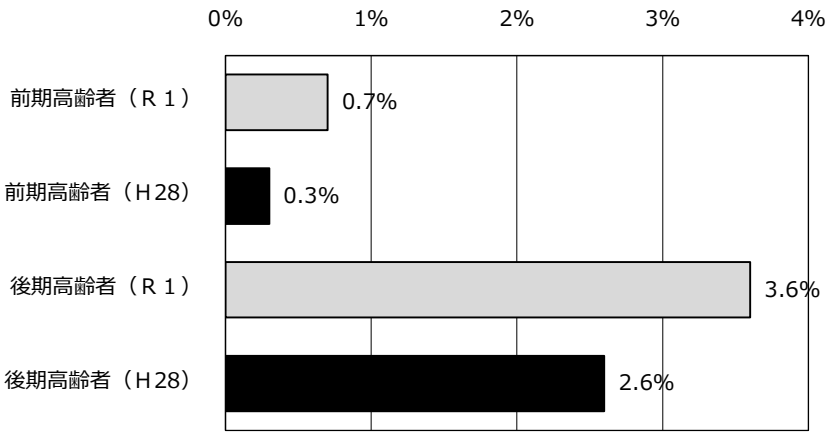
【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計５点満点で評価し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」とした上で、４点以下を“低下者”に該当することとしました。

（５）毎日の生活について

設問番号	設問名	該当する選択肢
問４	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」、「できるけどしていない」
問５	日用品の買物をしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
問６	自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
問７	請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
問８	預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」

前期高齢者は 0.4 ポイント増加しており、後期高齢者では１ポイント増加しています。



参考資料

▶転倒リスク（転倒した経験が多い人）

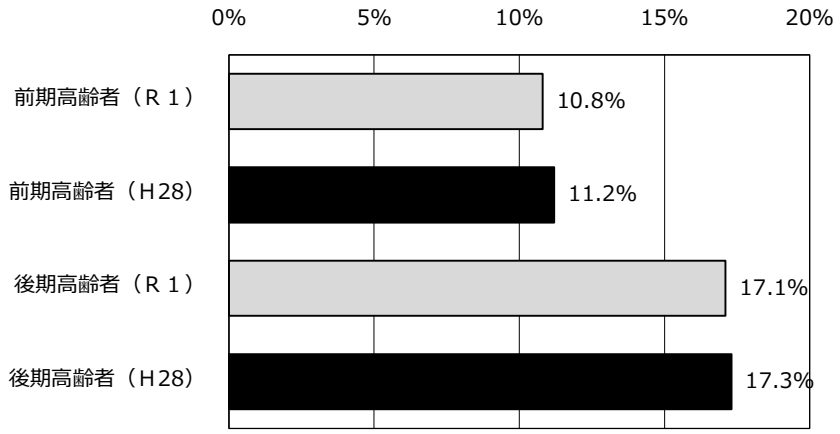
【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を閉じこもりのリスク該当者としています。

（３）からだを動かすことについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問 4	この１年間に転んだことがありますか	「何度もある」または「１度ある」

前期高齢者は 0.4 ポイント減少しており、後期高齢者では 0.2 ポイント減少しています。



資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
施策目標1　地域共生社会の実現に向けて											
地域包括ケアシステムの推進											
1-1 **地域包括支援センターの充実**	1	**地域包括支援センターの運営体制**	市では、情報の共有と支援方針の統一を図るため、平成23 年度より直営の1カ所で地域包括支援センターを運営していました。 平成29 年10 月から、高齢者に対して、より身近な存在となり、地域に密着した支援や迅速な対応を行うため、7つに分けた日常生活圏域のうち、高齢化率が高い筑波圏域と茎崎圏域に地域包括支援センターを設置しました。今後も残りの日常生活圏域に配置することを目指してまいります。	地域包括支援課	B	高齢者に対して、より身近な存在となり、地域に密着した支援や迅速な対応を行うため、7つに分けた日常生活圏域のうち、平成29年10月に、筑波圏域と茎崎圏域、平成31年4月に大穂豊里圏域と谷田部西圏域、令和2年4月に桜圏域に地域包括支援センターを設置した。 **計画通りに進んでいるため、B評価とする。**	今後も、高齢者数の増加が見込まれ、それに応じて相談件数も増加することから、地域包括支援センターの強化が必要である。				
	2	**在宅医療・介護連携の推進**	高齢者が住み慣れた地域で必要な医療サービス及び介護サービスを一体的に受けられることで、安心して在宅生活を続けられるように、医療及び介護に係る関係機関の調整並びに連携の強化を図り、在宅医療・介護連携を推進します。	地域包括支援課	B	①地域医療・介護資源の把握（情報誌・連携タイム更新等） ②つくば市在宅医療・介護連携推進協議会（3回） ③多職種連携のための意見交換会（2回） ④課題に応じた実務部会の設置（9回） ⑤課題に対応した連携シートの作成（多職種連携で気をつけたい10ポイント ⑥退院前情報共有チェックシート ⑦医療介護関係者の研修会（2回） ⑧地域住民への普及啓発（お薬手帳活用啓発チラシ作成、在宅医療季語啓発講座の開催6回、健康フォーラムつくば等） を推進した。 **計画通りに進んでいるため、B評価とする。**	課題に対応したツール等（多職種連携で気をつけたい10ポイント、退院前情報共有チェックリスト、お薬手帳活用チラシ）を作成したので、専門職に提示し、利用の促進を図る。 また、専門職団体や専門職が在宅医療と介護の課題を主体的に関われるよう、行政も協働で取り組む必要がある。				
	3	**地域ケア会議の充実**	医療・介護・保健・福祉・法律等の多職種が協働し、高齢者等の個別課題の解決に向けた協議をして、介護支援専門員等をはじめとするケアチームによる自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めます。また、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化するとともに、共有された地域課題の解決のため、「生活支援体制整備推進会議」において検討し、必要な社会資源開発や地域づくり、さらには政策形成につなげます。	地域包括支援課	B	個別事例の評価から、地域課題の抽出。買物等の外出困難者に対する支援方策の検討を行い、買物移送支援の実現に繋がった。 また、自立支援型個別ケア会議について各専門職から助言を受けることで、自立支援等に資する支援方法を得るきっかけに繋がった。 **数値基準では、Bが2つ、Aが1つであるため、B評価とする。**	地域ケア会議の機能をより充実させるため、抽出された地域課題の解決について、様々な事業との連携が必要である。	回数	36	33	91.7%
								職種	17	25	147.1%
								件数	36	33	91.7%
	4	**生活支援体制の整備**	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、NPOや地縁組織などの多様な主体による多様なサービスを提供する体制を構築してまいります。 具体的には、定期的な情報の共有・連携強化の場として中核をなす「協議体」の設置や生活支援サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす調整役として「生活支援コーディネーター」を配置し、多様な主体と連携をとりながら、互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合い・助け合いの体制づくりを推進してまいります。	地域包括支援課	B	本事業を進めていく上での柱の一つである「協議体」を全圏域に設置し、地域の多様な主体による協議の場が創出された。 同様に柱の一つである「生活支援コーディネーター」を市内7圏域中4圏域に配置し、ネットワークの構築や資源調査を進めた。 **課題はあるが、計画通りに進んでいるため、B評価とする。**	生活支援コーディネーターを全圏域に配置し、地域と一体となった第2層協議体運営及び体制整備を進めていく必要がある。 事業内容について参加者の理解が進んだが、実際の支えあい活動に繋げていけるかが重要であり、先行して支えあいが行われている地域を検証し、他地域に波及できるようにしていく。 社会資源について、生活支援コーディネーターを委託しているつくば市社会福祉協議会と連携を取りながら、実際に地域で行われている生活支援等の分析を進め新たな資源発掘に繋げる。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
	5	**包括的・継続的ケアマネジメント支援事業**	地域包括ケアネットワークを活用しながら、医療と介護の連携強化に努め、介護支援専門員、主治医をはじめ、地域の様々な関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉・その他の生活支援サービスなどを含め、地域における様々な資源を活用し、途切れることなく、施設・在宅を通じた地域における生活を支援しています。 また、高齢者の介護予防ケアマネジメント、要支援認定者の介護予防支援及び介護給付におけるケアマネジメントとの相互の連携を図ることにより、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを行っています。	地域包括支援課	B	初任者から熟練者等、各経験に応じた研修の機会を設けたことにより、介護支援専門員実践力向上と地域のネットワークの充実強化につながった。 また、各地域包括支援センターの主任介護支援専門員による相談体制を強化したことにより、介護支援専門員からの相談への対応力強化となった。	地域包括ケアシステムの強化推進にあたり、地域の介護支援専門員が抱える課題等を解決する地域マネジメント力の向上が必要である。	延べ参加者数	945	789	83%
	6	**地域見守りネットワーク事業**	住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるように、地域の方から選任した「ふれあい相談員」や見守りを直接行う「見守り支援員」と社会福祉協議会が協力し、見守りが必要な方に対し地域で見守ることができる仕組みづくりを進めています。必要に応じて専門機関や行政と連携し、地域の安心を支える活動です。 ①近隣住民によるさりげない見守り活動、②気になる方への「見守りチームづくり」、③孤立した要援護者の発見と報告、これら3つの役割を柱とし、この活動を支援する地域の組織づくりも同時に推進しています。	社会福祉協議会	B	ふれあい相談員設置数は、目標（195名）には達しなかったものの、地域の様々な方の理解と協力により160名（目標達成率82%）へとなっている。見守り登録者が死亡、施設入所により405名となったものの、各年度の新規登録者も概ね10名程度増えている状況である。 ふれあい相談員と民生委員の顔合わせを兼ねた懇談会を持つことで、地域の状況について情報共有を図ることができ、見守り活動についても連携しながら取り組んでいる地域も増えつつある。また、ふれあい相談員の設置についても、民生委員に設置が必要な地域について相談しながら進めることができている。	地域によっては、ふれあい相談員を早急に設置する必要がある。	相談員数	200	160	82.0%
							ふれあい相談員が、気になる方へ事業説明を促す際、対象者の年齢によっては、登録について抵抗がある方が多い状況にある。	登録者数	500	405	81.0%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
1-2 介護・福祉サービスの情報提供・相談体制の充実	1	**市民に対する情報提供**	市民に対して、要支援・要介護認定方法、サービスの利用手続きや保険料の賦課・徴収の仕組みなど、介護保険全般に関するわかりやすい情報の提供を広報紙や市民べんり帳、ホームページを通じて周知しています。	介護保険課・高齢福祉課・地域包括支援課	B	[介護・高齢] 介護保険情報や施設、給付金の情報等、広報紙や市民べんり帳、ホームページを通じて情報提供を行った。 [包括] 民生委員児童委員連絡協議会(市内全地区)やまつりつくば、おひさまサンサンいきいきまつり、ボランティアフェスタなどで周知活動を行った。認知症に関して認知症を知る月間に合わせて広報誌の掲載、区会回覧での情報提供を行った。 社会資源把握のためのガイドブック「高齢者の地域包括ケアのためのミニ知識2019」、ハートページ、在宅医療と介護のサービスマップ、認知症ケアパスの作成、ホームページの更新をして周知啓発を行った。 **様々な周知活動をしてきたため、B評価とする。しかし、課題もあるため、引き続き情報提供に努める。**	[介護・高齢] サービスの手続きや、施設の入所方法について等の問い合わせがあるため、引き続き、より利用しやすく、わかりやすい情報提供を行う必要がある。 [包括] サービスが必要になる前から介護や在宅医療、認知症について関心を持ってもらう必要がある。				
	2	**出前講座**	集会場や地域交流センターなど地域に出向き、希望に沿った福祉に関する講話や福祉制度の説明等を行うことにより、福祉等への関心を高め、地域福祉活動のきっかけをつくるなど市民に対する福祉啓発を行うとともに、地域で行われている福祉活動への支援を図っています。	介護保険課・地域包括支援課	B	[介護] 介護事業所や地域サロンでの出前教室を実施し、介護保険制度の周知を行っている。 [包括] 高齢者の生活と介護2回、認知症サポーター養成講座54回、成年後見制度1回、在宅医療と在宅介護2回、在宅医療介護啓発講座6回の出前講座を開催した。 **計画値よりも実績が上回っているが、課題のとおりニーズに合った講座を発信していくことが必要なためB評価とする。**	[介護] 説明する内容が介護保険制度全般の説明となっており、教室ごとのニーズに合わせた説明内容に変更する必要がある。 [包括] 各講座より多くの市民に参加いただけるよう、依頼を待つだけでなく、講座実施を提案し、積極的に市民が情報を得る機会を作る必要がある。	実施回数	26	[介護] 4 [包括] 59 合計 63	242.3%
	3	**総合相談支援事業**	地域の高齢者の総合相談窓口として、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握して、地域における適切なサービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っています。	地域包括支援課	B	委託型地域包括支援センターの設置が進んだことに伴い、総合相談件数も増加した。 センター名：相談者数／延相談件数 市：1,463人／2,003件 筑波：1,176人／1,869件 茎崎：1,441人／2,400件 大穂豊里：694人／1,118件 谷田部西：640人／1,433件 **相談件数はかなり増加したが、受け手の対応力の強化がより求められるのでB評価とする。**	委託型地域包括支援センターの設置が進み、センターに寄せられる相談内容が多岐にわたり、本人の生活課題の解決のため相談技術の向上だけでなく、地域課題や社会資源の調整や開発、ネットワーク構築能力が求められてる。	実相談者数	830	5,414	652.3%
								延べ相談件数	2,450	8,823	360.1%
	4	**介護サービス相談員派遣事業**	介護サービスを提供している事業所に、介護相談・地域づくり連絡会が主催する介護相談員養成研修を受講した相談員を派遣し、利用者からの介護サービスに関する疑問や不安、また、職員に直接言いにくいことなどの相談に応じて、介護サービス提供事業所との橋渡しをしながら、問題の改善や介護サービスの質の向上を図っています。	介護保険課	B	介護サービス相談員を介護サービス提供事業所に派遣し、より多くの利用者の相談に応じることにより、利用者の抱える疑問や不安の解消を図り、安心して介護サービスを利用できるよう取り組んでいる。	訪問する事業所数の増加を図り、より多くの利用者の相談に応じる必要がある。	延べ事業所数	178	143	80.3%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
権利擁護の推進											
2-1 **権利擁護の推進**	1	**権利擁護事業**	地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるように専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行っています。 高齢者虐待の対応では、通報・相談機関として位置づけられ、関係者のネットワークを構築して虐待発生の防止、被虐待者の保護、養護者への支援など問題解決に向けた取組を図っています。	地域包括支援課	B	高齢者虐待通報があった際には、原則訪問を実施し、適切な対応を実施することができた。 つくば市成年後見制度利用支援事業　実施要綱の改正、成年後見制度市長申立て(7件)を実施した。 また、つくば市社協に成年後見制度推進事業を委託し、法人後見(3件)、市民後見人養成講座(20人修了)等を実施した。 **適切に対応できたため、B評価とする。**	高齢者虐待は、養護者因子、高齢者因子、環境因子が複雑に組み合うことで発生しており、虐待発生後の対応だけでは解決が困難な事が多く、予防的観点の強化が必要である。 成年後見制度の利用促進のため、令和3年度に設置される中核機関が円滑に運営されるよう体制を整備する必要がある。				
	2	**日常生活自立支援事業**	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等とそれに伴う日常的金銭管理を支援するものです。 判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等であって、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方）で、尚且つ本事業の契約の内容について判断し得る能力を有していると認められる方が対象となります。	社会福祉協議会	B	判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等であって、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方）と茨城県社会福祉協議会、つくば市社会福祉協議会の三者契約を締結し、福祉サービス利用援助業務、日常的金銭管理業務、書類預かり業務を実施した。 [参考/令和元年度実績] **契約者　32名** 内訳） 認知症　18名 知　的　4名 精　神　10名 ※年度末時点契約者　27名	・地域特性によるサービス単価設定について サービス利用料金は茨城県独自の単価設定となっているが、当市の広域性に即していない。地域特性を考慮した単価設定が可能になる様に、茨城県社会福祉協議会に申し入れしているところである。 **※評価方法について** **実際の事業利用状況を把握するためには、年間の契約者数（継続、新規、終了の合計）が適していると思われるため、契約者総数で評価。計画どおりのためB評価とする。**			相談：1,921件 契約：27件 （年度末）	
	3	**高齢者の消費者トラブルの防止**	消費生活の安全対策は、住民の暮らしに直接関わる問題であり、高齢者をはじめ住民全体が正しい認識を持ち、地域でも支えられるように取り組むため、消費生活支援センターと連携し被害救済・相談業務を行い、消費者教育（学校教育や社会教育との連携）、広報紙、パンフレット等を通じて正しい情報の提供に努めます。	地域包括支援課	B	地域包括支援センターの窓口に消費生活センター発行の冊子を配置し、委託型センターの職員を対象に消費者被害防止の研修を実施し、相談内容を踏まえて、消費生活センターに相談する体制を整備した。 **課題はあるが、体制は着実に整備してきているため、B評価とする。**	消費者被害関連の相談が、地域包括支援センターに入ることが少ないため、相談窓口の周知、消費生活センターとの連携の強化が必要である。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度） 計画値	実績値	比率
施策目標2　健康づくりの推進											
高齢者の健康づくりと社会参加の支援											
1-1 **健康づくりの推進**	1	**健康診査事業**	特定健康診査対象者の40 歳以上国保加入者と後期高齢者医療保険加入者に対し個人案内をし、集団健診と医療機関健診で受診できる場を設け周知しています。	健康増進課・国民健康保険課・医療年金課	B	国民健康保険課及び医療年金課と共同で集団健診を行い、特定健診、高齢者健診に併せ、がん検診を実施。 ＜特定健診・後期高齢者健診受診状況＞ 春の集団健診（35日間） 国保　5,005人　　後期　2,744人 秋の集団健診（15日間） 国保　1,792人　後期　424人 冬の追加健診（2日間） 国保　245人　後期　15人 医療機関健診・人間ドック等 国保　4,843人　後期3,388人 ※受診人数は実人数であり、除外対象者を含む。 ＜受診勧奨通知＞ ・8月受診勧奨通知 国保　24,165人　　後期　16,949人 ・11月受診勧奨通知（40-50代） 国保のみ　　6,833人 **計画どおりに事業を推進しているため、B評価とする。**	［国保］ 特定健康診査受診率の向上のため、継続して特定健康診査の啓発や未受診者への受診勧奨を行うとともに、継続受診の必要性を含め、特定健康診査の付加価値について周知・啓発を行うなどの工夫が必要である。 医療機関等健診では、土曜日も健診受診が可能であることを周知することが必要である。未受診者に対する実態調査を行い、健康に対する意義や行動を把握するなど、啓発活動を工夫する必要がある。 ※つくば市国民健康保険データヘルス計画（第2期）より ［後期］ 春の集団健診の認知度は高いが、秋の集団健診や医療機関健診でも年間を通じて受診できることを知らないために、受診機会を逃している人がいた。 1年を通じて受診できる機会はあることを周知していく必要がある。 ［健康増進課］ かかりつけ医で継続的に治療を受けているため、健康診査の必要はないと考えられていることが受診率の低下の一因となっている。	対象者数	48,852	国保 27,995 後期 21,221 合計　49,216	
								受診者数	15,973	国保 10,909 後期 6,571 合計　17,480	
								受診率	32.69%	国保 39.0 後期 31.0 合計　35.5%	
	2	**健康相談事業**	集団健診を受けた方で、特定保健指導（40～74歳国保加入者）が必要な方には個別通知し、個別支援をしています。 また、生活習慣病を予防するための食事や生活の工夫や運動、休養の取り方等の相談も「成人健康相談」で行っています。	健康増進課・国民健康保険課	B	集団健診特定保健指導利用者303人、 成人健康相談利用者579人、 特定健診時相談者3,162人 **単純計算では計画値の70%を超えていないが、これまでの計画値は非常に高い設定としており、そのなかで400件以上の増加を達成できたため（割合にして約5%の増）、Bとして評価する**	［健康増進課］ 健診時健康相談を実施していることが知られておらず、健康に不安があっても相談につながらないケースもある。 ［国保］ 生活習慣病関連疾患の医療費が高くなっていることから、生活習慣病の基礎疾患である糖尿病、高血圧、脂質異常症の発症予防及び重症化予防の取り組みを行う必要がある。 ※国民健康保険データヘルス計画（第2期）より	利用者数	5,500	4,044	73.5%
	3	**健康手帳の交付**	健康診査教育、相談、訪問等を受けた者の中で希望する方又は市が必要と認める方に、生活習慣病予防や介護予防に役立てていただくために健康手帳を交付しています。	健康増進課	B	健康手帳の活用を促進し交付件数が増加した。 **計画値を超えた実績だが、計画値300は、市HPからダウンロードできることも踏まえて立てたもの。今後も、より多くの方に健康手帳を配布するのが目的であるため、B評価とする。**	厚労省が示している健康手帳はWeb版のダウンロード方式のものであるが、利用者は年配の方が多く、紙面版を希望する方がほとんどである。	利用者数	300	627	209.0%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

7期施策目標		No	(1) 主要施策	(2) 取組内容	(3) 担当課	(4) 評価	(5) 取組状況及び評価の根拠	(6) 事業の課題	(7) 評価事項（単位）	(8) 令和元年度（2019年度） 計画値	実績値	比率
1-2	高齢者の社会活動と就労支援	1	**シルバークラブ育成事業**	シルバークラブは、原則60 歳以上の方であれば加入できます。単位クラブでは、地域での仲間づくり、健康保持・増進、知識や経験を生かした新しい能力の発揮、社会活動への参画と貢献などいきいきとした高齢期の生活づくりを支援しています。	高齢福祉課・社会福祉協議会	B	[社協] 活動活性化委員会を中心とした会員増強運動等もあり、単位シルバークラブ数も計画値の90%を堅持しています。令和元年度には友愛訪問活動を市全体で実施。単位クラブ内での声掛けや、訪問を通じ新規会員の獲得や、お一人暮らし、高齢者のみ世帯等宅を訪問することによって地域の課題発見等に努める活動を展開した。 [高齢] 単位シルバークラブ137団体に8,516千円（うち今年度新規設立団体　3団体）、シルバークラブ連合会に3,000千円の補助金を交付することで、シルバークラブの活動を支援することができた。 ※H29年度実績値は補助金を交付していない2クラブ（77人）を含む	[社協] 国や県、他市町村でもクラブ数、会員数の大幅な減少傾向にある中、ここ数年は135クラブ以上の単位クラブ数を堅持し、ニュースポーツを取り入れた健康づくりや、友愛訪問活動など地域の活性化のための活動を展開してきた。 但し、高齢化の顕著な地域においても、個を意識した生活スタイルへの変化などから、役員の成り手や、会員数の減少等の課題が、大きなウェイトを占めている。 [高齢] 会員数が減少しており、今後の高齢者のニーズに合ったシルバークラブにしていく必要がある。	クラブ数	144	137	95.1%
									会員	7,000	6,569	93.8%
		2	**いきいきサロン**	概ね60 歳以上の方を対象に社会参加の促進と生きがいを高めるために老人福祉センター等4会場で歌、体操、絵手紙制作などの講座を開催しています。 また、交通手段がないため参加できない方々を対象に、出前講座を実施いています。身近な地域でおおむね10 名以上集まれば、年2回を限度に利用できるものです。	高齢福祉課・社会福祉協議会	B	[社協] 会場サロンは市内4施設を利用して実施している。メニューによっては参加人数に差があるが、チラシの利活用や参加者の口コミ等により、利用者は増えている。概ね計画に対しての実績値は満たしているのではないかと思う。また、出前サロンについても、周知活動と事業の浸透により、地域における利用者が増えている。 [高齢] 市内在住のおおむね60歳以上の方を対象に、市内4か所（老人福祉センターとよさと、市民研修センター、茎崎農村高齢者交流センター、大穂交流センター）で通常サロンを実施した。会場へ出向くことができない高齢者に対しては、出前サロンを実施した。 令和元年度から出前サロンの利用限度を年4回までに拡大した。 [実施回数] ・通常サロン　211回　2,062人 ・出前サロン　36回　479人 **項目毎の評価では、Aが2つ、Bが1つ、Cが1つであり、総合的にB評価とする。**	[社協] いきいきサロンは、参加することでの仲間づくりや生きがいづくりの一助となることを目的としているが、趣味活動が多様化している現在では、メニューによって参加人数に差が生じてしまっているのが問題である。本事業の知名度が低いのが原因の一つと思われるので、チラシ等を利用しての事業PRが課題であると思われる。 [高齢] 参加者が固定し、人数に偏りがあるメニューがある。	【通常サロン】登録者数	205	180	87.8%
									延べ利用者数	2,740	2,062	75.3%
									【出前講座】実施回数	26	33	126.9%
									延べ利用者数	416	479	115.1%
		3	**ふれあいサロン事業**	社会福祉協議会に地域のサロンとして登録している活動団体に、活動費の助成、保険への加入手続き、保険料の助成、機材の貸し出し、情報交換会や研修の開催、情報提供などの支援を行うことにより、地域の関係づくりや閉じこもりの防止など地域の誰もが安心して暮らせるまちづくりを図っています。	社会福祉協議会	B	地域にあった形で運営され、自由な発想で活動が行われている。誰もが同じ地域に住む者として、身近な場所で交流を深めることで、お互いに助け合える関係作りや生きがいづくりにつながり、地域交流の場となっている。民生委員、ふれあい相談員が中心となって開催する新たなサロンも生まれ、計画値を上回る実績となっている。	サロンによっては運営側のボランティアも高齢化も進み、参加者が減っていく状況もあり課題となっている。	登録団体数	85	98	115.3%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
	4	**いばらきねんりんスポーツ大会**	高齢者に適したスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深めることを目的として、「いばらきねんりんスポーツ大会」の予選会を開催しています。ゲートボール、ペタンク、輪投げ、グラウンドゴルフの種目を実施しています。	高齢福祉課・社会福祉協議会	B	高齢者に適したスポーツ競技を通じて、健康の保持増進を図るとともに、地域間の交流を深め、長寿社会の増進を図っている。現在4種目の競技を実施しているが、団体競技（ゲートボール、輪投げ、ペタンク）の参加人数が減少傾向にあるが、個人競技（グラウンドゴルフ）は年々参加者が増加している。	[社協] 個人競技のグラウンドゴルフは参加者が年々増加傾向にあるが、団体競技のゲートボールやペタンクへの参加が減少している。 [高齢] 出場者の増加・確保のため、シルバークラブ内での活動活性化を視野に入れながら、大会の運営委員会で検討していく必要がある。全国大会に出場するチームが年々出ており、市として支援していく必要がある。	参加者数 （※対象者は60歳以上の市民）	615	600	97.6%
	5	**おひさまサンサン生き生きまつり**	高齢者が心豊かで健康な生活を送るためには、体を動かすことは不可欠です。 市では高齢者の身近なスポーツ活動を支援するとともに、高齢者を対象とした運動会として「高齢者生き生きまつり」と障害児者を対象とした「おひさまサンサンフェスティバル」を合同開催し、高齢者と障害児者の相互交流を行っています。	障害者地域支援室・高齢福祉課	C	[障害・高齢] 10月26日（土）桜総合体育館にて開催。悪天候が予想されたため、屋内での開催となった。競技種目の実施のほか、障害者施設等による出店、ボッチャやハンドアーチェリー等の体験会を実施し、障害者スポーツの普及、推進を図った。 おひさまサンサン生き生きまつり2019の実施を通して、高齢者や障害者の社会参加や生きがいづくり・相互理解に寄与できた。 **悪天候により会場を屋内での実施とした結果、参加を辞退する団体があり、当初参加予定数の1,407人に比べ、実績値が減少した。屋外開催時の参加予定数を考慮し、C評価とした。**	[障害・高齢] 参加者数が減少傾向である。また、雨天時の対応においては、会場の広さから参加できる人数に限りがあるため競技参加者やプログラム等競技内容について検討が必要である。	参加者数 （※対象者は、障害福祉施設利用者が中心、他希望者参加可）	2,100	1,225	58.3%
	6	**シルバー人材センター**	高齢者が収入を得るためのほか、生きがいのための就労という観点から、健康的な高齢者が臨時又は短期的な就業の機会を得るための支援をしています。主な請負業務は、造園業、駐輪場管理、施設管理、スーパーの商品管理、襖・障子張り、リフォーム、家事援助サービス、自転車修理、販売事業などです。	高齢福祉課	C	補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。	シルバー人材センターの活動内容と補助対象事業を注視し、補助金の適正な把握が必要である。	利用者数	5,600	4,390	78.4%
								（参考） 会員数		679	
	7	**地域福祉推進事業**	社会福祉協議会に委託をし、ボランティアの促進を図るため、ボランティアセンターを拠点としてボランティアの登録、広報、啓発、斡旋、情報の収集や提供を行い、活動のネットワーク化を推進しています。	社会福祉協議会	B	昨年度（令和元年度）はボランティアセンターに団体登録数186団体（6,900人）、個人登録数143人、人数にして合計7,043人ボランティアの登録があった。また、ボランティアとして活動する方々には60代以上の方も多く、様々な活動の担い手として活躍している。登録団体や市民活動団体の情報を収集し、コーディネート業務に活用し、市民のボランティア活動に対する関心を高め、積極的なボランティア活動が展開されるよう取り組んでいる。 **計画どおりに進んでいるため、B評価とする。**	コロナウイルス影響下におけるボランティア活動支援が求められる。活動が衰退しないように、今までとは違った活動方法を提案したり、新たな提案のために必要な研修の機会や情報の提供が必要である。コロナウィルススの感染拡大防止を意識し、安心してボランティア活動に取り組めるような工夫、検討が必要である。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
施策目標3　介護予防・日常生活支援総合事業の推進											
介護予防・生活支援サービス事業											
1-1 **新しい介護予防・生活支援サービス事業**	1	**基準緩和型訪問サービス**	生活援助については新たな担い手によるサービス提供が行われ、有資格者は有資格者のみが行える身体介護業務に比重を移していくことにより、介護サービス全体の人材確保につながるような仕組みを構築していきます。	介護保険課・高齢福祉課	C	令和元年5月に1事業所の指定を行った。また、生活支援サポーター養成研修を年1回（7月）実施し、11名の生活支援サポーターを養成した。 **課題のとおり、提供事業所が少なく、利用実績がないため、C評価とする。**	1事業所が対応しているが、現在利用実績がない。サービス利用の周知が必要である。				
	2	**訪問型短期集中予防サービス**	保健・医療の専門職によって、心身の状況に応じた個別計画に基づいて運動指導を短期集中的に行うことで、生活機能や日常生活動作の維持・改善を行い、地域での活動や自立につなげる仕組みを構築します。	地域包括支援課	B	ケアマネージャー連絡会や地域ケア会議等にて事業周知を行った。 対象者の課題や目標を設定し、他職種と連携し、自立支援を行った。 事業終了後、生活機能向上や身体機能の数値的改善が見られた。 ニーズ調査から、令和2年度から低栄養改善口腔機能向上プログラムを開始する。 **事業を推進できているため、B評価とする。**	多くの方に利用を勧めたいため、引き続き周知活動を行う必要がある。 委託先である茨城県リハビリテーション協会、茨城県栄養士会、つくば歯科医師会や担当ケアマネと連携しながら、自立に向けた支援を行う必要がある。	人数		6	
	3	**基準緩和型通所サービス**	利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を行うことができるよう、必要な日常生活上の支援を行うことにより、利用者の社会参加の促進及び生活機能の維持または向上を目指します。	介護保険課・高齢福祉課	C	平成31年2月に1事業所の指定を行った。 **課題のとおり、提供事業所が少なく、利用実績がないため、C評価とする。**	1事業所が対応しているが、現在利用実績がない。サービス利用の周知が必要である。				
一般介護予防事業											
1-2 **一般介護予防事業**	1	**ICT（情報通信技術）高齢者いきいき健康アップ事業**	参加者が活動量計を身につけて歩き、歩数や運動強度のデータを定期的に市内数か所に設置してあるタブレットで読み込ませます。データ結果は郵送され、自分が歩いている量等を「見える化」することで運動意識を向上させ、ウォーキング等の運動を習慣化させます。	高齢福祉課	B	6月・10月に新規参加者向けの事業説明会及び体力測定を実施した。また、年度末に参加者全員を対象とした体力測定を実施した。 ・新規参加者数　32名 ・年度末の体力測定参加者数　198名 歩数などの運動結果をフィードバックすることで、健康増進への意識を向上させることができた。	多くの参加者に継続して御参加いただき運動の習慣化という目的を達成することができたこと、情報化の進展により健康管理の手法が時代に合わなくなってきたこと、5年の契約期間が終了することにより2020年度をもって事業廃止とします。	参加者数	470	412	87.7%
	2	**いきいきプラザでの運動教室**	健康増進施設いきいきプラザにて、年齢と強度を分け運動教室や健康講話、体力測定、栄養指導、運動指導、健康情報コーナーの設置を行っています。	健康増進課	B	・安全面に考慮し、参加者の年齢や運動強度に合わせた7コースを実施している。 ・健康教育や個別の健康相談、体力測定を実施している。 ・評価の根拠としては、実利用者数は、減っているが、延べ利用者数が増えているため。また、参加者のアンケートより「6割が身体的に良い変化、8割が精神的に良い変化を感じている」と回答しているため。	定員に満たないコースがあるため、参加者を増やす必要がある。参加募集のため、区会チラシ回覧、市報掲載、市交流センター等でチラシ配布を行う。 また、一方で感染症対策等安全に実施するために、定員の変更を検討する必要がある。	実利用者数	279	243	87.1%
								延べ利用者数	7,364	7,874	106.9%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
	3	**運動活動グループ支援事業（自主活動支援事業から名称変更）**	公共施設を中心に、健康増進課介護予防事業を経て発足した運動団体と介護予防を目的として発足した20 名以上の団体を対象に、活動しやすい環境への支援を行うため、備品の貸出や体力測定の実施、出前教室、募集広報活動の協力を行っています。	健康増進課	B	活動場所確保、健康講話、体力測定など継続した活動ができるよう支援を実施した。	運動場所の確保が課題となっているため、会場確保の支援を行う必要がある。	実参加者数	671	667	99.4%
								延べ参加者数	21,865	18,953	86.7%
	4	**出前健康教室事業（出前体操教室事業）から名称変更**	近くの集会所等に出向く出前教室は、シルバーリハビリ体操指導士によるシルバーリハビリ出前体操教室とインストラクターなどによる簡単体操などのメニューから選択して行う健康体操教室があります。	健康増進課	B	・民生委員連絡協議会やイベントの出席、電話・訪問等の事業啓発を行った。 ・評価の根拠としては、参加人数は減っているが、団体数は増えたため。	新規団体は増えているものの、地区により偏りがあるため、継続して地区活動を行う必要がある。	実参加者数	5,963	5,012	84.1%
								延べ参加者数	42,664	36,536	85.6%
	5	**介護支援ボランティア事業**	高齢者が介護保険施設等で介護支援ボランティア活動を通して地域貢献することを奨励及び支援し、高齢者自身の社会参加活動を通した介護予防を推進します。 ボランティア登録できる人は市内に住所を有する65 歳以上の高齢者となります。介護支援ボランティア活動の実績に応じてポイントを付与し、ポイントを換金した交付金を交付します。	地域包括支援課・社会福祉協議会	B	[包括] 介護支援ボランティア登録会・交流会を開催し、登録者と受入施設の交流の機会を設けることで、今後の活動に生かすことができた。 制度の周知により、市民のボランティアへの理解が進み、社会参加による生きがいづくりにつながった。（社協への委託事業） [社協] 前年度の146名から令和元年度の登録者数は163名に増加している。また、令和2年度からは、施設内での活動に加え施設車両を使用して買い物支援の同乗や、自家用車を使用した買い物等の移動支援を活動内容が加える等活動の幅も広げている。	[包括] 制度の申請方法やどのような活動をしているのか等の内容について、周知が十分でないため、今後もさらなる啓発活動を継続していく必要がある。 [社協] 高齢者による高齢者支援ということもあり、コロナウイルスの影響で活動が大きく減少している。今後、事業を実施するにあったて、どのような活動であれば、出来るのか等を再度、検討する必要がある。	活動者数	81	67	82.7%
	6	**こころとからだの健康教室**	体操や健康談話、レクリエーションを通して高齢者の閉じこもり予防や健康増進を図り、自立した日常生活が継続できるよう支援を行います。	地域包括支援課・社会福祉協議会	B	[包括] 多世代交流出前教室やシルバーリハビリ体操の体験デモやサロンの紹介を会場毎に行い、継続的な活動ができる場として、グループ立ち上げの支援を行った。 外部講師を依頼し認知症予防の知識を深めること、毎日の記録により行動習慣化につながった。（社協への一部委託事業） [社協] 筋力の向上、柔軟性の運動をリハビリ職が疾患や本人の状態、体力測定結果に合わせたアドバイスを行った。筋力バランスアップ教室は次年度より終了となる。（包括からの一部受託事業） **メニューの一つである「こころとからだの健康教室」が2018年度（平成30年度）で終了したため、実績値が計画値よりも低い。ほかの事業は計画どおり推進しているため、B評価とする。**	認知症予防の教室では、教室に対する評価を生活習慣の変化やアンケートでしか評価できていない。	実参加者数	380	225	59.2%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
施策目標4　介護者支援と在宅高齢者の生活支援											
在宅介護・家族介護者の支援の充実											
	在宅福祉サービスの充実	1	**あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅう施術費助成事業**	在宅の70 歳以上の高齢者に対して、あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅうの施術を受ける際、その費用の一部を助成しています。市と協定している施術所で利用できます。	高齢福祉課	B	あん摩、マッサージ、はり及びきゅうの施術費を助成することにより、高齢者の健康維持に寄与することができた。 **実績が計画値を超えているが、未だ課題もあるため、B評価とする。**	利用枚数の少ない交付者に対し、事業周知を効果的に行う必要がある。	交付者数	840	1,320	157.1%
		2	**ねたきり高齢者理美容料助成事業**	理容所又は美容院に行けない寝たきりの高齢者が、家で理容又は美容を受ける場合の料金の一部を助成します。助成券は、市に協力を申出している理容所又は美容院で利用できます。	高齢福祉課	B	ねたきりの高齢者に対して、居宅における理美容料金の一部を助成することにより、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与できた。	交付者及び利用率が低いため、向上に向けて周知していく必要がある。	交付者数	170	144	84.7%
1-2	家族介護者の支援	1	**在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業**	在宅の65 歳以上の高齢者で、要介護1～5の認定を受けている方に対して、紙おむつと尿取りパッドの購入費用の一部を助成します。助成券は、市に協力の申出をしている紙おむつ取扱店で利用できます。	高齢福祉課	B	65歳以上で要介護1～5の認定を受けている方を対象として、紙おむつ等を購入する費用の一部を助成した。紙おむつ等を必要とする高齢者及び　その家族の経済的負担を軽減できた。 **実績が計画値を超えているが、一部課題もあるため、B評価とする。**	助成券を紛失してしまうケースがあるため、家族等、確実に受け取りができる方へ助成券を送付できるようにする。	交付者数	2,570	2,670	103.9%
		2	**認知症高齢者等保護支援事業（はいかい高齢者家族支援サービス事業から名称変更）**	認知症により行方不明のおそれのある高齢者を介護している家族に対して、認知症の高齢者が身につける位置情報端末機の貸与を行い、行方不明時に家族がインターネットや電話で位置情報等を確認できるシステムを提供することで、高齢者の保護を支援しています。	地域包括支援課	B	認知症による行方不明の恐れがある高齢者を介護している家族に対して、位置情報端末機の貸与を行う。 **実績が計画値を超えているが、課題もあるため、B評価とする。**	令和2年度から小型の機種の導入もされるが、周知が十分でなく位置情報端末機を必要とするケースの利用に至っていない。	利用者数	4	8	200.0%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
介護サービス事業所の整備・質の向上											
1-1 **適切な介護サービス事業所の整備の推進**	1	**介護事業所・施設の整備**	介護保険事業計画に基づいて、必要な介護事業所・施設を整備していきます。	高齢福祉課	B	高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域でサービスの利用及び提供ができるように、地域密着型サービスの事業所を公募・選定した。現在、地域密着型特別養護老人ホーム2施設を、年度内完成に向けて整備中である。 **計画通りに事業が進んでいるため、B評価とする。**	現在整備中の地域密着型特別養護老人ホーム2施設を年度内に開設する。第8期高齢者福祉計画策定後、計画に従い施設の整備をすすめる。				
1-2 **介護サービスの質の向上**	1	**要介護（支援）認定の適正化**	介護保険制度における要介護（支援）認定については、全国一律の基準に基づき、客観的かつ公平・公正に行わなければなりません。認定申請受付後の認定調査、主治医意見書提出等を迅速に行うことが求められています。サービスを必要とする被保険者を認定するために、適正な認定調査、認定審査会における適正な審査判定を徹底していく必要があります。	介護保険課	B	サービスを必要とする被保険者を認定するために、適正な認定調査及び認定審査会における審査判定を実施している。	引き続き、認定調査や意見書の取得等を効率よく行い、速やかに適正な審査を実施する必要がある。	認定審査数	6,500	6,483	99.7%
	2	**介護予防ケアマネジメント事業**	高齢者が要介護（支援）状態になることを予防するため、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択（希望）に基づき必要な援助を行っています。	地域包括支援課	B	介護予防ケアマネジメントに関する業務手順書を作成し、地域包括支援センターと委託事業者との業務連携の充実強化となり、また、自立支援・介護予防の観点に基づいたケアマネジメントの実施にも資することができた。 **計画どおりに事業が進んでいるため、B評価とする。**	市内全域に委託型地域包括支援センターが設置されるに伴い、本業務も全て移行される。各地域包括支援センターの業務遂行が円滑にかつ適切に行われるように管理していくことが必要である。				
	3	**ケアマネジメント等の適正化**	利用者の「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向け、居宅介護（介護予防）サービス計画について、介護支援専門員資格を有する市職員とサービス計画を作成した介護支援専門員がともに確認検証を行うことで、個々の利用者が真に必要なサービスを確保し、適正なケアプランの作成の推進に努めています。	介護保険課・地域包括支援課	B	受給者に対する適切なサービスの確保と費用の効率化を図るため、適正化指導員によるケアプランの確認や事業所に対する指導等を行った。ケアプラン点検実施後、アンケートを行い、点検内容についての見直しを実施した。	引き続き、ケアプランを作成する上で、基本事項に漏れがないか点検を実施する必要がある。	実確認数	55	53	96.4%
	4	**住宅改修等の適正化**	住宅改修費の支給について、利用者宅の訪問調査や工事見積書の点検等を行います。また、福祉用具の貸与や購入についても、貸与事業者や介護支援専門員への聞き取り調査等を行い、利用者の身体の状態に応じた必要なサービス提供の確認を行っています。	介護保険課	B	要支援認定者が、日常生活をより快適に送れるよう、住宅改修や福祉用具の貸与申請が利用者にとって必要なものかを審査し、内容に疑義や書類のみでの確認が困難な場合は、必要に応じて現地調査を行った。 **実績が計画値を超えているが、課題もあるためB評価とする。**	引き続き、ケアプランを作成する上で、基本事項に漏れがないか点検を実施する必要がある。	延べ確認数	47	61	129.8%
	5	**事業者のサービス提供及び介護報酬請求の適正化**	事業者のサービス提供及び介護報酬請求の適正化について、県、市、国保連が一層連携して、すべての事業者がルールを遵守したサービス提供及び介護報酬の請求ができるように支援及び指導しています。	介護保険課	B	事業者のサービス内容等に疑義がある場合は、介護支援専門員や提供事業所に確認を行い、サービス利用および報酬請求できるよう、支援・指導を行った。 **計画通りに事業が進んでいるため、B評価とする。**	引き続き、適正化に向けた点検や確認を実施していく必要がある。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標		No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
										計画値	実績値	比率
1-3	介護サービス事業所の指導・監査の強化	1	**介護サービス事業所の指導及び監査**	平成25 年4月1日から、茨城県より、介護保険法等の事業認可等に関する権限がつくば市に移譲されたため、市内の介護サービス事業所に対し、「介護給付等対象サービス」の質の確保及び保険給付の適正化を図ることを目的として、介護保険法第24 条及び関係法令等の規定に基づき、指導及び監査を実施します。	社会福祉課	B	当初の計画どおりに一般指導監査を実施することができ、運営の適正化、利用者処遇の向上が図られた。 新設事業所は、開設時期により当該年度や翌年度に初回の指導監査を行った。また、廃止や休止の事業所も報酬の確定を待ち、利用者への不利益がないか確認を行っている。	市が所管する社会福祉施設は他分野でも増加しており、監査実施予定数が全体的に増えている。 監査項目の重点化や実施方法の工夫等により、効率的・効果的な指導監査の推進が求められる。	監査数	35	35	100.0%
1-4	介護人材の確保	1	**介護人材の処遇改善とキャリアアップの構築**	令和元年度の介護報酬改定において、介護職員の確保・定着につなげていくため、処遇改善加算に加え、介護職員等特定処遇改善加算が創設され、経験・技能のある介護職員に重点化しつつ、更なる改善が行われています。	高齢福祉課	B	事業者が介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算を取得することで、介護職員の報酬を上げ、育成と確保に努めている。 **引き続き課題のとおりに努めていくため、B評価とする。**	引き続き、処遇改善加算等の周知を行い、キャリアパスの要件の設置やキャリアアップの仕組みの構築を促していく。				
		2	**つくば市介護職員就労スタートアップフォロー給付金**	つくば市内の介護事業所等に新規で勤務を開始した方又は長期離職から復帰した方に対し、一定の条件を満たした場合に給付金を交付します。	高齢福祉課	B	30名に給付金を交付した。 **引き続き課題のとおりに努めていくため、B評価とする。**	引き続き、つくば市ホームページや広報紙への掲載、介護事業所への連絡を通して事業の周知を充実させる。				
		3	**つくば市介護職員キャリアアップ費用給付金**	つくば市内の介護事業所等に勤務している方で、介護職員初任者研修または実務者研修を修了した方に対し、一定の条件を満たした場合に給付金を交付します。	高齢福祉課	B	5名に給付金を交付した。 **引き続き課題のとおりに努めていくため、B評価とする。**	引き続き、つくば市ホームページや広報紙への掲載、介護事業所への連絡を通して事業の周知を充実させる。				
		4	**つくば市介護ロボット導入支援事業**	つくば市内の介護サービス事業所を対象に、働きやすい職場環境の整備及び介護従事者の確保を目的として、平成28 年度に国の補助金により、日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援のいずれかの場面において介護従事者の負担軽減や業務の効率化を図る介護ロボットを導入する費用の補助を行いました。	高齢福祉課	B	移乗介護、移動支援、見守り等の場面において、介護ロボットを活用することで、介護従事者の負担軽減や業務の効率化を図ることができている。 **引き続き課題のとおりに努めていくため、B評価とする。**	今後も国からの方針に基づき、介護事業所への適切な案内、支援をしていく。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標		No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
										計画値	実績値	比率
ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実												
1-1	日常生活に必要なサービスの充実	1	**在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業**	掛布団、毛布、敷布団の各1枚ずつを丸洗い乾燥し、健康維持を図ります。代わりの布団がない場合は、貸し出しも行っています。	高齢福祉課	A	ひとり暮らし等により布団の乾燥が困難な方を対象として布団の丸洗い乾燥を無料で行ったことで、高齢者の健康を保持し、生活環境を向上して、在宅福祉の増進に寄与することができた。	令和2年度から集配から丸洗い乾燥まで一括して委託することになるので、スムーズに実施できるよう調整していく必要がある。 事業内容や対象者について精査する必要がある。	交付者数	1,340	1,637	122.2%
		2	**高齢者日常生活支援事業（すけっとくん）**	75 歳以上のひとり暮らし及び高齢者世帯に対して、日常生活を送る上で自ら行うことが困難な軽作業（部屋の掃除・窓ふき・電球の交換等）をシルバー人材センターに依頼した際にかかる費用の一部を助成します。	高齢福祉課	A	日常生活を送る上で、自ら行うことが困難な部屋掃除や草取り等の軽易な作業を依頼した際にかかる費用の一部を助成することにより、高齢者の日常生活を支援し、高齢者の在宅福祉の増進に寄与できた。	利用者と事業所の間に、意思の疎通にすれ違いが起こることもあるため、両者の間に立って調整する必要がある。	交付者数	760	925	121.7%
	ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実	1	**緊急通報システム事業**	ひとり暮らし等の高齢者の日常生活での健康不安を解消するため、ペンダント型無線発信機や緊急通報機器一式を貸与し、24 時間体調不良時に、有資格者との電話相談ができます。また、急病等緊急時に迅速かつ適切な対応を図っています。利用できる方は、概ね65歳以上で病弱又は、重度の身体障害のあるひとり暮らしの方、75 歳以上のひとり暮らしの方です。	高齢福祉課	C	緊急通報システムの通報、お伺い電話等により、救急搬送だけでなく、入院・入所等も把握でき、ひとり暮らし高齢者の不安解消、生活の安全の確保に寄与できた。	引き続き、事業周知を行っていくとともに、親族等がいないひとり暮らしの方が死亡された際に機器の回収が困難になる場合の対応方法や協力員が利用者宅の合鍵を保管すること等の利用条件についての見直しについて検討を重ねていく。	利用者数	290	179	61.7%
		2	**愛の定期便事業**	安否確認・健康維持・孤独感の解消を図るため、週に3回、70 歳以上のひとり暮らし高齢者に乳製品を配達します。乳製品は市の協力事業所が配達します。	高齢福祉課	D	70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、最大週3回の乳製品の配達を実施したことにより、健康保持や定期的な安否確認による不安解消に寄与できた。	対面での安否確認の必要性について再検討する。利用者の配達希望曜日等に沿えるよう、協力事業者増加を目指す。	実利用者数	70	41	58.6%
		3	**宅配食事サービス事業**	食事を調理することが困難なひとり暮らし高齢者等に対して、委託業者が栄養計算した高齢者向けのお弁当を調理して、利用者の希望に応じ夕食を届けることにより、安否確認と健康維持を図っています。	高齢福祉課	B	65歳以上のひとり暮らしの方及び高齢者世帯に希望の曜日に夕食を配達し、配達時に不在だった場合、本人や親族等に連絡を取り、安否確認を行い、健康保持に寄与することができた。	安否確認事業であることの理解が十分でない。	実利用者数	160	145	90.6%
		4	**ふれあい型食事サービス事業**	市内に居住する65 歳以上の高齢者で、定期的な訪問が必要と思われるひとり暮らしの方や高齢者世帯、及び日中独居の方を対象に、各地区概ね月1回、ボランティアの手作り弁当を民生委員が配達することで安否確認の機会をつくり、見守り活動や生活支援へとつなげています。	社会福祉協議会	B	ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、地域住民による見守り活動の広がりにより利用者も増加している。栄養バランスに配慮したお弁当を居宅まで定期的に配達することにより安否確認の機会にもなっている。また、地域のボランティアの交流や情報交換の機会にもなっている。	食事サービスで関わっている各団体とも高齢化が進み、ボランティア後継者を見つけることが急務となっている。	実利用者数	550	541	98.4%
									延べ利用者数	6,373	6188	97.1%

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

資料1－1

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
	5	**緊急医療情報便ツクツク見守りたい**	ひとり暮らしの高齢者･障害者･健康に不安をかかえている方が、自宅で具合が悪くなり救急車を呼んだ際に、救急隊員等が迅速な処置を行えるよう、救急時の備えとして、医療情報や緊急時の連絡先などを記入した「救急医療情報便」を、自宅の冷蔵庫に貼っていただきます。	社会福祉課	B	民生員が高齢者台帳調査実施時や地域包括支援センターの定期訪問時に配布している。令和元年7月に申請書などの見直しを行い、啓発活動の強化を図っている。 **課題はあるものの、事業として定着しているため、B評価とする。**	用紙記入･設置後の、医療機関や服薬状況の更新もれが課題である。				
	6	**養護老人ホーム入所措置**	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者で、入所の判定が妥当であると認められた場合に、養護老人ホームへの入所手続きを進めています。入所の判定は、入所判定委員会を開催しています。	高齢福祉課	C	養護老人ホームに入所中の3名の保護措置費の支払など施設担当者と連携を図って対応し、措置入所者の生活の安定に寄与することができた。	措置入所者の今後について、引き続き施設担当者と連携を図ることが必要である。	利用者数	4	3	75.0%
	7	**資金等貸付事業**	経済的な困窮を含めた深刻な生活課題に関しては、地域包括支援センターなどとの連携のもとに、社会福祉協議会の「小口資金貸付事業」で次の収入までのつなぎ資金として貸付を行い、所持金もわずかな世帯等に関しては、「生活困窮者援助物資支給事業」により、食料等の物資を支給することにより支援を行います。	社会福祉協議会	B	相談者が抱える経済的な課題以外もある。それら課題に応じた制度利用を提案し、支援を行っている。制度については、他機関の制度も含め提案している。	高齢者世帯等においては、年金に依るところが多く、収入が限られている。そのため、貸付においては償還が伴うので、生活費等の使途計画も含めた支援が必要となる。			相談件数：550件 小口資金貸付件数：49件 物資支給件数：102件	
1-3	**移送サービスの充実**	1	**高齢者タクシー運賃助成事業**	65 歳以上のひとり暮らし高齢者、または70 歳以上の高齢者世帯、または市民税非課税世帯に属する70 歳以上の高齢者に対して、外出するためのタクシー料金の一部を助成します。利用券は、市に協力を申し出ている会社のタクシーを利用した時に使用できます。	高齢福祉課	A	1,888名に助成券を交付し、タクシー運賃の助成を行ったことで、高齢者の外出支援、社会参加に役立つことができた。 また、取扱事業所に「手引き」を送付することで、助成券の扱い等の周知が図られ、適正な使用につなげることができた。	日中独居など、親族が近くにいても移動支援を受けられない高齢者もおり、対象者の要件については検討していく必要がある。	交付者数	1,665	1,888	113.4%
		2	**福祉有償運送事業**	福祉有償運送事業は、NPO法人等が、一人で公共交通機関等を利用することが困難な障害者や高齢者を対象に行う有償移送サービスです。市内には福祉有償運送事業者が4団体あります。 つくば市福祉有償運送運営協議会では新規登録や更新登録等重要事項の決定や福祉有償運送の必要性や安全の確保、サービス内容を含めた事項について協議し、了承された団体が国土交通省へ申請をし、許可を得ています。	高齢福祉課･障害者地域支援室	A	補助金を交付することにより、福祉有償運送事業者の円滑な実施を支援し、障害者及び要支援要介護認定者その他の公共交通機関の利用が困難な者の社会参加の促進、福祉の増進 等に寄与できた。	今後、利用者が増えることにより、需要に対して供給が追いつかなくなり、事業者の存続が難しくなることが危惧される。	実利用者数	160	194	121.3%
								延べ利用者数	1,969	2,693	136.8%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
施策目標5　認知症支援の充実											
高齢者の認知症支援											
1-1 高齢者の認知症支援	1	**認知症サポーター養成事業**	認知症サポーター養成講座を地域や職域、学校などで開催し、講座を通じて、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく支援する認知症サポーターを、キャラバン・メイト（ボランティア）と協力して養成します。 また、認知症サポーター養成講座を受講された方で、「もっと活動したい」「スキルアップをしたい」という方に対して、ステップアップ講座を開催しています。平成29 年9 月30 日現在で10,047 名を養成しています。	地域包括支援課	A	学校関係への働きかけにより、小・中学校等での開催が増加した。また、認知症サポーターステップアップ講座を実施し、認知症カフェのボランティア活動につなげた。	養成した認知症サポーターが活躍できる体制づくりが必要である。	サポーター養成数	2,430	3082	126.8%
	2	**認知症声かけ模擬訓練（認知症徘徊模擬訓練から名称変更）**	認知症高齢者の行方不明になる問題の増加は、大きな社会問題となっています。そして、地域と連携し、認知症による外出行動と限定した高齢者役に声かけする模擬訓練を行い、安心して生活できる地域づくりをしていきます。	地域包括支援課	B	認知症声かけ模擬訓練は、桜南小学校区で開催し、地域の認知症に関する関心を高めた。今回の訓練をもって、全生活圏域ごとに1回づつの訓練を実施することができた。 **実績が計画値よりも低いが、毎年1小学校区で開催することを目標として5年行ってきた。事業を実施できたという点からB評価とする。**	5年かけて各生活圏域で認知症声かけ訓練を実施してきたが、その後のフォローアップが十分ではない。 実施体制の見直しをし、より多くの市民が参加し、継続的なアプローチができる体制を構築する必要がある。	参加者数	215	88	40.9%
	3	**認知症ケアパスの確立**	認知症ケアパスとは、認知症を発症したときから生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせていつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかをあらかじめ標準的に決めておくもので、国においては、地域に応じた認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成と普及が推進されています。	地域包括支援課	B	市民向けの認知症ケアパスを作成し、市民に配布し、適切なサービス提供の流れをの普及に努めた。	市民が認知症について正しく理解し、必要とする情報が提供できるよう、内容の見直しが必要である。				
	4	**認知症カフェ**	つくば市内に住所を有する認知症高齢者及びその家族並びに地域住民を対象にし、レクリエーション講演会など本人の生活意欲の向上のための企画や専門職による介護者への相談支援、地域の人への認知症理解のための啓発などを行います。	地域包括支援課	A	定期開催の認知症カフェは、全会場毎月1回開催の計画とし、市内北部に集中していた会場を見直し、茎崎地区での認知症カフェを実施し、より市民が参加しやすい実施体制を構築した。 また、連携協定を結ぶエーザイと単発認知症カフェ」を1回開催した。	認知症カフェが開設されていない生活圏域がある。	開催数	36	43	119.4%
								延べ参加者数	830	766	92.3%
	5	**認知症初期集中支援チーム**	複数の専門職（認知症初期集中支援チーム）が、認知症が疑われる人や生活上の困難を抱えている認知症高齢者及びその家族を自宅訪問し、複数の専門職による生活状況の観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行います。	地域包括支援課	B	令和元年度から、とよさと病院認知症疾患医療センターに1チーム委託し、直営の認知症初期集中支援チームを合わせて2チーム体制で活動を開始した。2チーム体制で活動することで、より多くのケースを支援できる体制となった。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	支援ケースの把握し、認知症初期集　中支援チームでの支援が終了した後も切れ目のない支援を継続するため地域包括支援センターと連携する体制の構築が必要である。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
	6	**認知症よろず相談所**	より身近な場所で認知症について相談できるように、市内の地域密着型サービス事業所であるグループホーム18 事業所で相談所を開設しています。専門の職員が認知症高齢者本人（家族）からの相談や認知症についての情報提供を行います。	地域包括支援課	E	地域包括支援センターの委託が進み、地域包括支援センターで相談しやすい環境になったことから、認知症よろず相談所での相談件数が減少している。 （相談件数　15件）	各生活圏域に地域包括支援センターが設置されたら、各事業所から市への報告を廃止する。	延べ相談件数	98	15	15.3%
	7	**認知症高齢者SOSネットワーク事業**	行方不明のおそれのある認知症高齢者が事前登録し、行方不明になった場合に、早期に発見できるよう認知症支援メール登録者と協力事務所に情報発信し、支援体制を構築し、高齢者の安全と家族等への支援を行います。	地域包括支援課	B	登録している高齢者が行方不明になった場合、認知症支援メール登録者と協力事業所に情報発信し、行方不明高齢者が早期に発見されるよう支援した。 （捜索件数　4件）	警察署と情報共有することで、登録されている方が保護された場合の家族等への引き継ぎは円滑にできるようになったが、事業の認知度が低ので、行方不明の恐れのある高齢者が早期に登録されるよう周知が必要である。 また、認知症支援メール登録者や協力事業所をより拡大し、行方不明発生時の支援体制を整備する必要がある。				
	8	**認知症高齢者等保護支援事業（再掲）（はいかい高齢者家族支援サービス事業から名称変更）**	行方不明のおそれのある高齢者を介護している家族に対して、認知症の高齢者が身につける位置情報端末機の貸与を行い、行方不明時に家族がインターネットや電話で位置情報等を確認できるシステムを提供することで、高齢者の保護を支援しています。	地域包括支援課	B	認知症による行方不明の恐れがある高齢者を介護している家族に対して、位置情報端末機の貸与を行う。 **実績が計画値を超えているが、課題もあるため、B評価とする。**	令和2年度から小型の機種の導入もされるが、周知が十分でなく位置情報端末機を必要とするケースの利用に至っていない。	利用者数	4	8	200.0%

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
施策目標6　高齢者の住まいの確保											
高齢者に適した居住環境を有する住宅の促進											
1-1 高齢者に適した居住環境を有する住宅の促進	1	**バリアフリーリフォームの促進**	高齢者が安心して快適な生活を営むことができるよう、自宅で居住する高齢者の自立した生活や介護しやすい環境を備えたバリアフリー住宅を促進します。 高齢者と日々接している介護支援専門員（ケアマネジャー）や、市のホームページや広報、一般財団法人茨城県建築センター、一般社団法人茨城県建築士会等のリフォーム相談を通して、下記の支給・補助・減免制度を案内し、改修費用の金銭的負担の軽減を行います。	介護保険課	B	要支援認定者が、できるだけ自宅で生活が送れる生活環境を整えるための住宅改修補助について、周知を行った。 **計画どおりに事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、住宅改修等の制度の周知を行っていく必要がある。				
	2	**ユニバーサルデザインによる住まいづくりの普及啓発**	誰もが安全で安心して快適に住み続けられる住宅を普及させるため、つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づき、啓発活動の実施に努めます。 また、実施に当たっては、米ノースカロライナ州立大学併設の研究機関のロナルド・メイスらが提唱したユニバーサルデザインの7原則に配慮します。	高齢福祉課	B	高齢者や介護サービス事業者などからの問い合わせに対し、つくば市ユニバーサルデザイン基本方針により情報提供している。 **計画どおりに事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、基本方針の周知を行っていく必要がある。				
	3	**高齢者居宅生活支援体制の確保**	日常生活に必要なサービスの充実や、ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実を目的とした事業について示しています。これらの、事業の利用を高齢者に促すことで、居宅生活支援体制の確保に努めます。	高齢福祉課	B	布団丸洗い乾燥事業、つくば市高齢者日常生活支援事業（すけっとくん）、緊急通報システム事業、つくば市宅配食事サービス事業等を実施し、日常生活に必要なサービスの充実やひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実を図れた。 **計画どおりに事業を推進しているため、B評価とする。**	高齢者福祉計画に内包する「つくば市高齢者居住安定確保計画」の部分であるため、詳細な記載はしない。（各事業の課題、方針については、「ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実」で記載しています）				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
賃貸住宅、老人ホーム及び施設の供給と適正化											
1-1	**賃貸住宅、老人ホーム及び施設の供給と適正化**	1 **サービス付き高齢者向け住宅の供給と適正化**	サービス付き高齢者向け住宅の市民ニーズの把握を行い、ニーズに応じた住宅供給を行うことを目標とします。 住宅運営事業者は、「つくば市サービス付き高齢者向け住宅事業の登録に係る事務取扱要綱」及び「つくば市サービス付き高齢者向け住宅設置運営指導指針」を遵守するものとし、さらに、住宅の安定的かつ継続的な事業運営を確保するため、より質の高い運営に向け努力するよう市が指導・助言を行います。	高齢福祉課・住宅政策課	B	[住宅] 登録申請のあった住宅について、「高齢者の居住の安定確保に関する法律施行規則」及びつくば市の事務取扱要綱に基づき内容の審査を実施している。令和元年度の審査件数は0件であった。 [高齢] 市内サービス付き高齢者向け住宅について、一般指導監査を5件実施した。 登録済みの2件について、入居を開始した。 **計画どおり、事業を推進しているため、B評価とする。**	茨城県の基準で既に登録されているサービス付き高齢者向け住宅については、今後、更新登録する際に「つくば市サービス付き高齢者向け住宅事業の登録に係る事務取扱要綱」及び「つくば市サービス付き高齢者向け住宅設置運営指導指針」を遵守するよう指導していく。				
		2 **有料老人ホームの供給と適正化**	サービス付き高齢者向け住宅の供給と同様に、市民ニーズに応じた住宅供給を行うことを目標とします。 運営事業者は、「つくば市有料老人ホーム設置運営指導要項」及び「つくば市有料老人ホーム設置運営指導指針」を遵守するものとし、さらに、安定的かつ継続的な事業運営を確保するため、より質の高い運営に向け努力するよう市が指導・助言を行います。 また、高齢者への市内の有料老人ホームの情報提供も推進します。	高齢福祉課	B	市内有料老人ホームについて、一般指導監査を2件実施した。 公募選定済みの事業者から、設置届を受理し、令和3年度に開設予定である。 **計画どおりに事業を推進しているため、B評価とする。**	令和3年4月の開設に向け、事業の進捗管理を行う。				
		3 **介護保険事業所の整備と方針**	高齢者居宅生活支援事業の用に供する介護保険事業所の整備と方針を示しています。	高齢福祉課	B	居宅サービス事業所を次のとおり整備しました。 居宅介護支援：1事業所 通所介護：6事業所 訪問介護：2事業所 訪問看護：2事業所 訪問リハビリテーション：1事業所 **計画どおりに事業を推進しているため、B評価とする。**	入所待機者が多いため、施設の拡充（新設や増床等）、居宅サービスを充実させていく必要がある。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
民間賃貸住宅情報提供及び市営住宅の供給											
1-1	**民間賃貸住宅と住み替え住宅の情報提供**	1 **つくば市民間賃貸住宅情報提供事業**	公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部と協定を締結し、高齢者のみの世帯など、住宅に困窮する者に対し、低額家賃の民間賃貸住宅の情報を提供します。	住宅政策課	B	市営住宅の案内に加えて、希望により低額な民間賃貸住宅の情報を窓口で提供している。令和元年度は、情報提供件数8件のうち高齢者世帯は2世帯であった。 **課題はあるが、事業として推進しているため、B評価とする。**	保有している民間賃貸住宅の情報について、常に最新状況にしておくこと。				
		2 **「つくば市空家バンク制度」による空家等の媒介に関する協定**	公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会とつくば市は、つくば市内の空家等の有効活用を通して、定住の促進及び地域の活性化を図るために実施する「つくば市空家バンク制度」による空家等の売買又は賃貸借の交渉等の媒介について、適正かつ円滑に推進することを目的とした協定を締結しています。	住宅政策課	B	令和元年度中の空家登録は、11件、利用希望登録は、31件、成約は、3件。また、全国版空家バンクへの登録、空家啓発パンフレットの作成及び各地区の民生委員連絡協議会での啓発周知活動を行った。さらに、令和元年5月には、公益社団法人全日本不動産協会茨城県本部との間で同様の協定を締結した。 **課題はあるが、事業として推進しているため、B評価とする。**	空家バンクの空家登録件数が少なく、利用希望者のニーズに応えられていない状況がある。				
		3 **住宅資産を活用した住み替え制度等の情報提供**	高齢者が所有する住宅資産を活用し、希望する高齢者向け住宅等に住み替えるために、一般社団法人移住・住み替え支援機構によるマイホーム借上げ制度や独立行政法人住宅金融支援機構の高齢者向け返済特例制度の情報提供や相談事業を行います。	住宅政策課	B	市ホームページにおいて、市営住宅の情報と併せて、「住まいの情報リンク集」内で情報提供を実施している。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	特になし。				
1-2	**市営住宅の供給とバリアフリー化**	1 **高齢者への市営住宅の供給**	真に住宅に困窮する高齢者世帯に対しては、市営住宅抽選時の優遇措置などにより、高齢者世帯等の居住の安定確保に努めます。 高齢者単身世帯の増加に備えるため、建替えなどの際に、2DK以下の住宅を整備することを検討します。	住宅政策課	B	令和元年度の市営住宅の入居については、年4回の定期募集（公募）を実施し、入居件数22件のうち高齢者世帯は5世帯であった。なお、応募が重複した場合は、高齢者世帯に対しては、抽選時の優遇措置を実施している。また、つくば市市営住宅長寿命化計画では、今後予定している建替え住宅については、立地、構造、間取り等に関して、高齢者世帯に配慮した居住水準・仕様として整備するものとしている。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	特になし。				
		2 **市営住宅のバリアフリー化**	既存の市営住宅の大規模改修にあたっては、手すりの設置、屋内の段差解消等の配慮に努め、そのほか個別ニーズに対応した改修によりバリアフリー化を推進します。 市営住宅の建替えにあっては、高齢者等へ配慮した構造、間取り等とし市営住宅に相応しい住宅とします。 用途廃止する住宅の多い筑波地区と谷田部地区において、建替えを実施します。立地については、谷田部地区の建替えは市有地で、利便性も比較的良い西町住宅へ、筑波地区は借地であるが、病院、スーパー等が近い北条団地への建替えを進めます。	住宅政策課	B	社会資本整備総合交付金を活用した「つくば市市営住宅長寿命化計画」に基づく市営住宅の大規模改修工事について、令和元年度に実施した駒形団地2号棟（32戸）及びひがし谷田川団地1号棟（24戸）の浴室改修工事では、床段差の小さい仕様とし、手すりを設置した。また、つくば市市営住宅長寿命化計画では、今後予定している建替え住宅については、立地、構造、間取り等に関して、高齢者世帯に配慮した居住水準・仕様として整備するものとしている。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	市営住宅の大規模改修及び建替え工事については、国の交付金が要望額に対して充分な配分が得られていないため、事業の進捗が遅れている状況にある。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
地震等災害に強い住まいづくり											
1-1	地震等災害に強い住まいづくり	1 **耐震改修に関する情報提供**	耐震性の低い住宅では、自然災害や火事等による生命の危険を脅かす被害も発生する懸念があります。高齢者の生命、財産を守るために、木造住宅耐震診断士の派遣や木造住宅耐震改修費補助により昭和56 年以前に建築された旧耐震基準によって建築された住宅を主として耐震改修の促進を図ります。	建築指導課	B	耐震診断士派遣事業及び耐震改修費補助事業に関して、市報、ホームページ、回覧板に募集案内を掲載している。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	現在、つくば市耐震改修促進計画の施行期間は令和2年度末までとなっている。未だ、計画の目標値に達しない民間の旧耐震建築物の耐震化について、目標達成まで計画を継続するため、国及び県の動向も注視しながら計画期間延長の手続きを進める。				
		2 **家庭でできる地震対策の普及（簡易な耐震器具の普及から事業名変更）**	災害時に自身の身と財産を守るため、家具等の転倒防止対策や、窓や棚などのガラス飛散防止対策の普及に努めます。	危機管理課（今回の計画から危機管理課へ）	B	家具等が転倒しないよう壁などにL字金具などで固定したり、飛散防止フィルムなどを貼るなどの事前の準備が非常に重要であることを、ホームページや出前講座、ハザードマップなどにより周知している。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	防災意識の重要性は理解しているが、防災対策の実効性が低い。				
		3 **介護施設等の災害対策の強化**	大地震を想定した介護施設等の耐震対策、非常食の確保の義務付け、緊急時の連絡体制の整備等を中心に災害対策を整備し、電気･水道などインフラ等が停止した場合でも対応できる施設整備に努めます。 また、平成27 年9月11 日に消防法の改正により、介護施設等のスプリンクラー設備や火災報知器、自動火災報知装置の設置の義務対象が拡充されています。 介護保険施設等指導検査実施時には防犯訓練の実施の状況の記録や、非常口の確保、消火器の使用期限と点検年月日の確認及び管理会社の有無の確認･指導を行っており、今後も施設の防火意識の向上に努めていきます。	高齢福祉課	B	施設の耐震化･非常用自家発電設備の整備･ブロック塀の改修･スプリンクラー設備の整備等について、事業所のニーズに応じて補助金を交付し整備を進め、災害対策を推進した。また、介護施設等の指導監査時に防火対策の確認を行った。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	補助金額には上限があり、また事業者の自己負担もあるため、災害対策が充分にできない場合も出てくる。国･県からの補助金等の情報を適切に周知し、事業所のニーズに応えられるよう手続きをすすめ、災害対策を促進する。				
		4 **つくば市避難行動要支援者制度**	これまでのつくば市災害時要援護者避難支援プランを東日本大震災の教訓から災害対策基本法の改正を受け、災害時の避難の際に支援が必要な方（避難行動要支援者）を対象とする「避難行動要支援者名簿」を作成し、随時更新していきます。この名簿に基づき、要支援者本人の同意により平常時から警察機関、消防機関、民生委員･児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織等の避難支援等関係者に名簿情報（氏名、住所、連絡先、避難支援を必要とする事由等）の提供を行い、災害に備えた避難計画や日頃の見守りに活用します。	社会福祉課	B	平成29年度に避難行動要支援者名簿を作成し、避難支援者等関係者に名簿を提供した。名簿については、随時更新を行っている。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	避難行動要支援者名簿のほかに、個別支援計画の作成が必要。				

資料1－1

■つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価表（2019年度評価用）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
7期施策目標	No	主要施策	取組内容	担当課	評価	取組状況及び評価の根拠	事業の課題	評価事項（単位）	令和元年度（2019年度）		
									計画値	実績値	比率
施策目標7　介護保険事業											
低所得者対策											
1-1 **利用者負担等の対策**	1	**社会福祉法人による利用者負担額減免事業**	低所得者で生計が困難である方に対して、介護保険サービスを提供する社会福祉法人が社会的役割にかんがみ、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的にする制度です。 この制度は、社会福祉法人にも負担が生じるため、軽減の実施に関しては各社会福祉法人に任されています。社会福祉法人が低所得者に対して利用者負担の軽減を実施する際には、市が該当する社会福祉法人に対して一定額を助成することで、利用者の負担軽減を図ります。	介護保険課	B	利用者負担を軽減するため、該当する社会福祉法人に対し、制度の周知を行い、減免事業への協力を依頼した。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、制度の周知を行う必要がある。		推計値 34	38	
	2	**特定入所者介護（予防）サービス費事業**	介護保険施設の入所又は短期入所を利用した場合に、介護費用以外に食費、居住費の負担が発生します。低所得者の世帯に対して過重な負担増により施設入所が困難になることがないよう、所得や預貯金等の資産状況に応じた定額の負担限度額を設けることにより、食費、居住費の一部を給付し負担軽減を図ります。	介護保険課	B	低所得者の負担する食費・居住費が、負担額を超えた場合、超えた分を介護保険から給付することにより、利用者負担を軽減する。更新時期の申請受付が円滑に進むよう、介護施設や居宅介護支援事業所、窓口センターに協力を依頼し、事務処理を適切に行った。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、制度の周知を行う必要がある。		推計値 1,450	1,517	
	3	**要介護旧措置入所者の経過措置事業**	特別養護老人ホームの旧措置入所者（介護保険法施行前に措置により入所していた人）については、介護保険の利用者負担が従前の費用徴収額を上回らないように、定率負担や食費の特定標準負担額の軽減を図ります。	介護保険課	―	平成29年度で旧措置入所者への経過措置事業であり、利用者がいなくなったため、平成30年度、事業廃止となった。	―		推計値 3		
	4	**高額介護（予防）サービス費事業 高額医療・高額介護合算サービス費事業**	介護保険サービスの利用者負担が著しく高額にならないように、世帯での負担合計が一定の上限（負担上限額）を超えた場合には、その超えた分を給付し、利用者負担を軽減します。 また、高額医療・高額介護合算サービス費は、医療費と介護費の負担が著しく高額にならないように、医療費と介護費を合算した負担額が一定の上限を超えた場合は、その超えた分の払い戻しを行います。	介護保険課	B	要介護者が介護保険サービスを利用し、利用者負担分が高額になった場合の負担軽減を図るため、支給対象者に申請勧奨を行い、実績等を確認し償還払い等の事務を速やかに行った。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、未申請の対象者に対し申請勧奨を行っていく必要がある。		推計値 26,000	24,678	
介護保険料対策											
2-1 **介護保険料対策**	1	**保険料の減免**	介護保険制度での保険料の段階は、所得状況及び市民税の課税状況に応じて設定されていますが、災害や心身の重大な障害、失業、生活困窮等により、保険料の全部又は一部を納付することができない場合は、保険料の減免措置を講ずるものとします。	介護保険課	B	災害や著しい所得減少などの理由で、保険料を支払うことが困難な場合、徴収猶予や減免措置を行っている。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、HP等で広く制度の周知に取り組む必要がある。				
	2	**保険料段階区分の細分化**	本市では、第7期計画の平成30年度(2018年度)から令和2年度(2020年度)の3年間の保険料段階区分について、所得水準に応じてきめ細かな保険料設定を行うため、多段階化を実施します。	介護保険課	B	低所得者の負担軽減や所得に応じた保険料とするため、保険料段階区分の細分化を行っている。 **計画どおり事業を推進しているため、B評価とする。**	引き続き、制度について丁寧な説明をし、理解を得られるよう取り組む必要がある。				

つくば市高齢者福祉計画（第8期）における新規事業と廃止事業

資料1－2

新規事業

事業名	新設理由（どのような経緯で）	取組内容	取組状況（令和元年度実績）と事業の課題
国の政策			
地域リハビリテーション活動支援事業 （地域包括支援課）	**令和元年度から** **国が定める地域支援事業における一般介護予防事業** 現在、各地域で「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいます。 特に「介護予防」は要介護状態の軽減や悪化の防止だけでなく、高齢者が地域で自立した生活を送れることが重要であるため、高齢者の自立支援に資する取り組みを推進するため、令和元年度より本事業を開始しました。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職が、住民や介護職員等への介護予防に関する技術的助言、ケアマネジメント支援を行う。	・介護予防活動普及促進支援　1回 ・ケアマネジメント支援　6回 ・福祉環境コーディネート支援　1回 ・介護予防ケア向上支援　2回 合計　10回 栄養に関する訪問対応の意見も上がったことから、リハビリテーションのみならず、多様な専門職種が地域で活動できる方法を検討する必要がある。 周知の回数や領域を増やし、引き続き周知のための活動を行っていく必要がある。 ■令和3年度以降の計画値 R3年度（2021）：20回 R4年度（2022）：25回 R5年度（2023）：30回
居住支援団体等の情報提供 （住宅政策課）	**平成30年度から** 茨城県が設置している居住支援協議会の会員となりました。 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律の規定に基づき、相談があった方に対して、茨城県の審査を経て登録されたため市内の民間の居住支援法人2者についての情報提供をしていきます。	高齢者等の住宅確保要配慮者に対し、民間の居住支援法人の情報を提供している。	民間の居住支援法人は、平成30年度令和2年度に1団体ずつ登録されている。相談実績は今のところなし。
市独自の政策			
高齢者憩いの広場運営補助事業 （高齢福祉課）	**令和元年度から** 介護保険法改正により、市町村が中心となり、地域の実情に応じて住民主体の体制づくりを支援する【介護予防・日常生活支援総合事業】が推進されました。つくば市においては、以前より高齢者の通いの場に対する支援の要望があったため、令和元年度より、総合事業のひとつとして高齢者憩いの広場運営補助事業を新規事業として開始しました。	高齢者を中心とした地域の住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化の防止のための地域憩いの場を確保する。	平成30年度にモデル事業を実施、令和元年度から事業開始し、6団体が補助を受けて活動を実施した。 新型コロナウイルスの影響で活動が一時期中断されてしまったため、再開後は感染予防に留意しつつ活動を維持できるよう支援していく。 ■令和3年度以降の計画値 R3年度（2021）：11団体 R4年度（2022）：12団体 R5年度（2023）：13団体
つくば市高齢者等買い物支援事業 （地域包括支援課）	**令和元年度から** 身近な商店の減少や高齢化等により、日常生活に必要な食料品及び日用雑貨品等の買い物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援することにより、高齢者等が外出するきっかけとなり、介護予防と地域のつながりづくりの促進を図ることで、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを目的として新設しました。	買い物困難な高齢者等に対して、店舗等での移動支援事業及び移動販売事業を行う。 移動支援事業は、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設が協力機関となる。移動販売事業は、要件を満たした事業所が行う。	移動支援事業は令和元年12月から試行利用として開始し、一月に7人が利用している。移動販売事業は、令和2年10月から開始予定。
つくば市看取り介護給付金事業 （高齢福祉課）	**令和元年度から** 安らかな最後を迎えたいという要望が高齢者には多くあり、看取り介護を推進することが望まれる一方で、看取り介護への意識は高まりつつも、施設側が看取り介護を負担に感じて救急搬送する事例も後を絶ちません。看取り介護を支援するため、給付金を交付することで施設の背中を押し、高齢者の意向に沿えるように新設しました。	人生の最終段階においても住み慣れた場所で暮らし続けたいという施設入所者の希望に対応し、対象施設における高齢者の看取り体制の推進を図ることを目的として給付金を交付する。	令和元年度から事業開始し、9施設53件に対して給付金を交付した。 引き続き事業の周知を行っていく必要がある。
要介護度改善ケア給付金事業 （高齢福祉課）	**令和元年度から** 現在の介護保険制度では、特別養護老人ホーム等の施設において、より質の高いケアを行い入所者の状態が改善して要介護度が低くなると、事業者に支払われる介護報酬が低下するシステムとなっています。そこで、要介護度が改善された場合に給付金を交付することで、健全な施設運営や介護スタッフのモチベーション向上を図り、入所者が最善のケアを受けられる環境を整えるために新設しました。	施設職員の意欲向上及び良質な介護サービスの継続的な提供に資することを目的とし、高齢者の要介護度が改善された場合に給付金を交付する。	令和元年度から事業開始し、5法人17件に対して給付金を交付した。 引き続き事業の周知を行っていく必要がある。

つくば市高齢者福祉計画（第8期）における新規事業と廃止事業

資料1－2

廃止事業・掲載しない事業

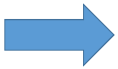
事業名	廃止理由	取組内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			実績値	実績値 （計画値）	実績値 （計画値）
（廃止） **ICT（情報通信技術）高齢者いきいき健康アップ事業** （高齢福祉課）	**令和2年度で終了** 多くの参加者に継続して御参加いただき運動の習慣化という目的を達成することができたこと、情報化の進展により健康管理の手法が時代に合わなくなってきたこと、5年の契約期間が終了することにより事業廃止とします。	参加者が活動量計を身につけて歩き、歩数や運動強度のデータを定期的に市内数か所に設置してあるタブレットで読み込ませる。データ結果は郵送され、自分が歩いている量等を「見える化」することで運動意識を向上させ、ウォーキング等の運動を習慣化させることが目的。	404	413 （435）	412 （470）
（廃止） **要介護旧措置入所者の経過措置事業** （介護保険課）	**平成29年度で終了** 旧措置入所者への経過措置事業であり、利用者がいなくなったため事業廃止となります。	特別養護老人ホームの旧措置入所者（介護保険法施行前に措置により入所していた人）については、介護保険の利用者負担が従前の費用徴収額を上回らないように、定率負担や食費の特定標準負担額の軽減を図る。	1	0	0
（掲載取下げ） **認知症よろず相談所** （地域包括支援課）	事業としては廃止しませんが、相談内容がグループホームへの入所がほとんどのため、市への毎月の報告を廃止することになりました。 認知症について相談は、地域包括支援センターで設置当初から行われており、今後も継続していきます。	より身近な場所で認知症について相談できるように、市内の地域密着型サービス事業所であるグループホーム18 事業所で相談所を開設。専門の職員が認知症高齢者本人（家族）からの相談や認知症についての情報提供を行う。	89	75 （95）	15 （98）
（掲載取下げ） **「つくば市空家バンク制度」による空家等の媒介に関する協定** （住宅政策課）	事業の目的が市内の定住の促進及び地域の活性化を図ることであり、特に高齢者を対象とした事業ではないため、掲載を取り下げます。	公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会とつくば市は、つくば市内の空家等の有効活用を通して、定住の促進及び地域の活性化を図るために実施する「つくば市空家バンク制度」による空家等の売買又は賃貸借の交渉等の媒介について、適正かつ円滑に推進することを目的とした協定を締結している。	―	―	―

資料１－３

施策目標の変更について

7期計画においては、施策目標は7つの柱として施策の推進を図ってきましたが、8期計画では、これら施策目標を6つとし、より的確に目標と各事業が連動するような形をとりました。実施事業の大幅な増加・減少はなく、課題に合わせた見直しを図ったものです。

第7期計画	
施策目標1	地域共生社会の実現に向けて
施策目標2	健康づくりの推進
施策目標3	介護予防・日常生活支援総合事業の推進
施策目標4	介護者支援と在宅高齢者の生活支援
施策目標5	認知症支援の充実
施策目標6	高齢者の住まいの確保 （つくば市高齢者居住安定確保計画）
施策目標7	介護保険事業



第8期計画	
施策目標1	地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実
施策目標2	認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進 （つくば市成年後見制度利用促進基本計画）
施策目標3	介護予防や健康づくりの推進
施策目標4	ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援
施策目標5	高齢者の住まいの確保と災害対応の強化 （つくば市高齢者居住安定確保計画）
施策目標6	介護保険サービスの充実と制度の活用

資料２

つくば市高齢者福祉計画
（第８期）

つ　く　ば　市

目　次

第１部　総 論……1
第１章　計画策定の趣旨と概要……1
１　計画策定の背景・趣旨……1
２　計画の根拠法令……2
３　計画の位置づけ……2
４　計画の期間……3
５　計画の推進体制……4
６　日常生活圏域の設定……5
７　地域包括ケア「見える化」システム……6
第２章　高齢者を取り巻く現状と課題……7
１　統計からみた本市の現状……7
２　高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査結果……19
３　アンケート調査からみた高齢者について……20
４　つくば市における課題……40
第３章　つくば市の高齢者福祉の基本的な考え方……50
１　計画の基本理念……50
２　計画の基本的視点……51
３　施策の体系……53
第２部　各 論……54
第１章　地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実……54
１　地域包括ケアシステムの推進……54
第２章　認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進……60
１　高齢者の認知症支援……60
２　権利擁護の推進……64
３　成年後見制度の利用促進（つくば市成年後見制度利用促進基本計画）……66
第３章　介護予防や健康づくりの推進……74
１　介護予防・生活支援サービス事業……74
２　高齢者の健康づくりと社会参加の支援……78
第４章　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援……84
１　在宅介護・家族介護者の支援の充実……84
２　ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実……86
第５章　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化……92
１　ニーズに合わせた多様な住まいの供給……93
２　適切な住まいに入居できるための情報提供の支援……95
３　安心安全な居住環境の確保……96
４　地震等災害に強い住まいづくり……98
第６章　介護保険サービスの充実と制度の活用……100

1　介護サービス事業所の整備・質の向上 100
2　低所得者の利用負担等の軽減 105
3　介護保険料の減免・細分化 107

第１部　総 論

第１章　計画策定の趣旨と概要

１　計画策定の背景･趣旨

介護保険制度は、平成 12 年にスタートし、これまで、要介護認定のしくみや新たなサービスを追加するなどの見直しが行われてきましたが、単身者や認知症の高齢者の急増など、多くの課題を抱える社会環境により、介護を必要とする家庭にとって、なくてはならない制度として定着し、利用者も増加しています。

我が国の 65 歳以上人口の割合である高齢化率は上昇しており、国際的にみても高い水準に達しています。高齢者の人口は今後もますます増加することが見込まれる一方、年少人口（０～14 歳)、生産年齢人口（15～64 歳）は減少していくことが予測されていることから、社会構造に大きな影響を与えることが考えられています。

こうした中、平成 29 年６月に「地域包括ケアシステムを強化するための介護保険法等の一部を改正する法律」が公布され、高齢者の自立支援と重度化防止に向けた保険者機能の強化、地域共生社会の実現に向けた取組、医療と介護の連携の推進など、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた制度改正が行われました。

本市においては、平成 30 年３月に『つくば市高齢者福祉計画（第７期)』を策定し、「高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として、高齢者施策への取組を総合的に一層充実・強化し展開してきたところです。

令和２年度は、第７期計画の最終年度であることから、これまでの計画の取組や第７期計画の進捗状況、介護保険サービスの利用実績、さらには、アンケート調査結果から見えた課題や生活実態等を踏まえ、介護保険制度の健全かつ安定的な運営と、さらなる地域包括ケアシステムの深化・推進等を念頭に、『つくば市高齢者福祉計画（第８期)』を策定するものです。

2　計画の根拠法令

高齢者福祉計画（老人福祉法第 20 条の 8 に基づく）は、高齢者施策に関する基本的な目標を設定し、その実現に向かって取り組むべき施策全般が定められています。

また、介護保険事業計画（介護保険法第 117 条に基づく）は、介護サービス量の見込みや地域支援事業の量の見込み等について明らかにしたものです。

なお、本計画は高齢者の住居や環境の整備を目指す高齢者居住安定確保計画（高齢者の居住の安定確保に関する法律第 4 条の 2 に基づく）と、成年後見制度の利用促進を図るため、今計画から成年後見制度利用促進基本計画（成年後見制度の利用の促進に関する法律第１４条）を内包しています。

高齢者福祉計画（高齢者全般に関する総合的な計画）

★老人福祉計画
老人福祉事業の目安、確保のための方策、供給体制の確保に関する事業計画

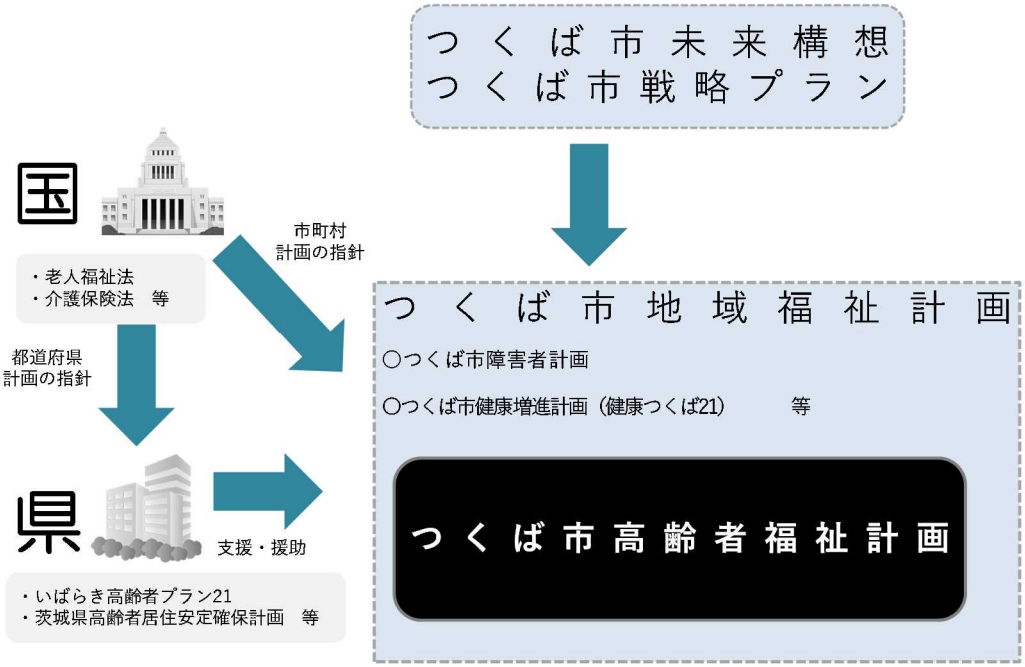
★高齢者居住安定確保計画
高齢者の様々なニーズに対応した住居や福祉サービスを選択できるように住宅・住環境の整備を目指す計画

★介護保険事業計画
要介護（支援）高齢者や要介護（支援）となるおそれのある高齢者を対象とした介護（予防）サービス、介護予防事業に関する実施計画

★成年後見制度利用促進基本計画
成年後見制度の利用促進に関する施策の総合的・計画的な推進を図るための計画

3　計画の位置づけ

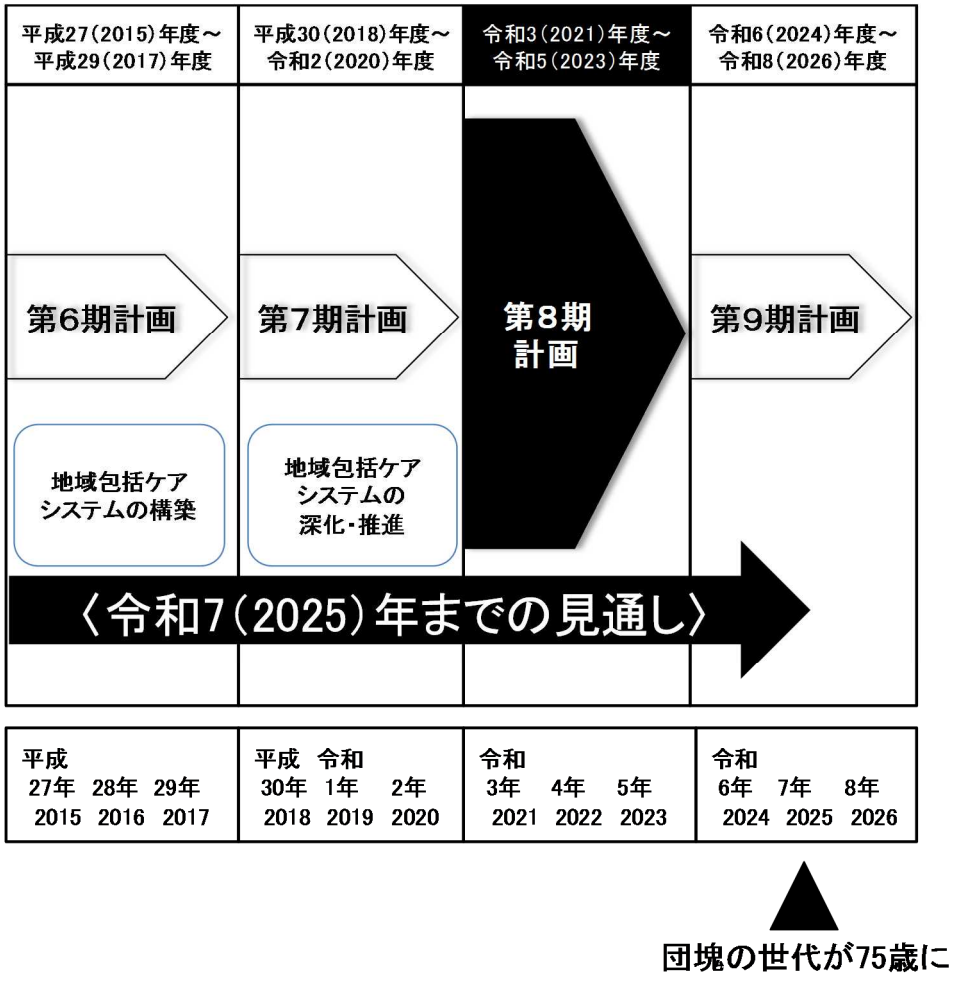
本計画を策定するにあたっては、令和元年度に実施した前期高齢者、後期高齢者、要支援認定者、要介護認定者、若年者及びケアマネジャーを対象としたアンケート調査の結果に基づくとともに、地域福祉計画などの上位計画や障害者計画・健康増進計画などの関連計画との整合と、つくば市戦略プランとの連携を図っています。



４　計画の期間

本計画は、令和３年度から令和５年度までの３か年計画となっています。

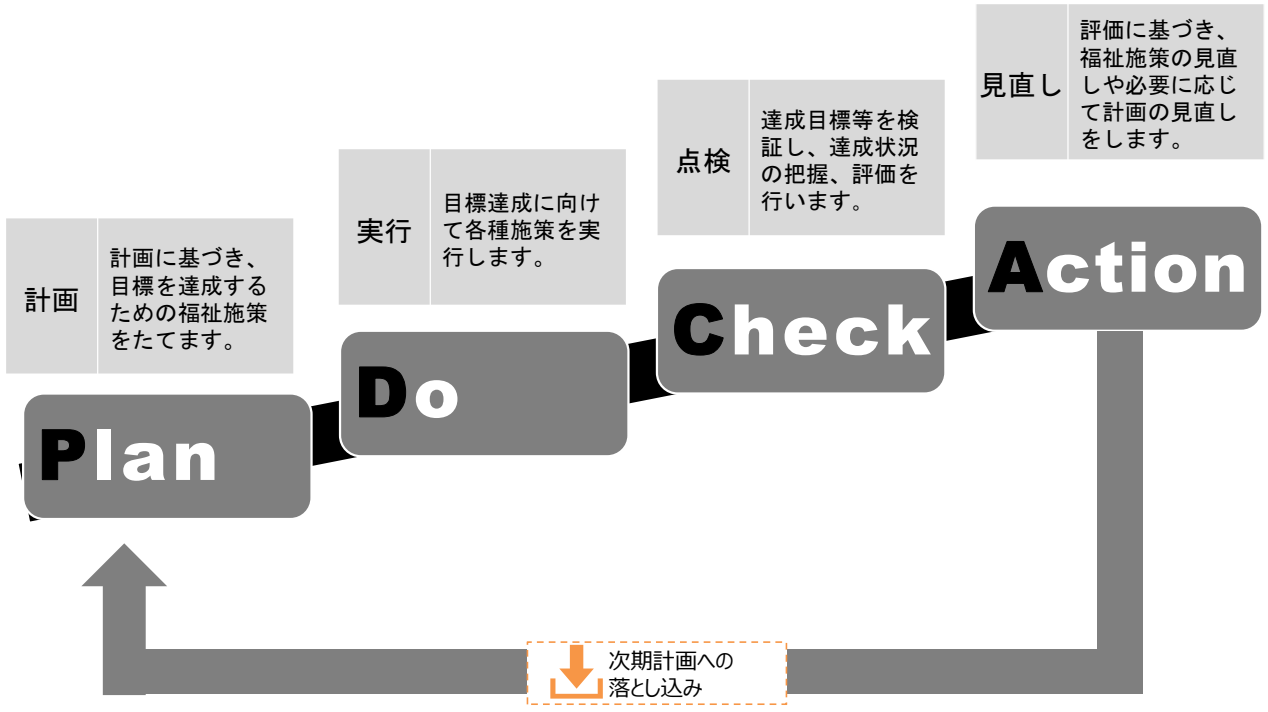
介護保険法第 117 条第１項により３年を１期として定められている介護保険事業計画にあわせて３年ごとに見直しを行い、新たな計画を策定します。



5　計画の推進体制

本計画の策定後、介護保険サービスの各事業について実施状況を毎年度審査し、課題の分析及び課題の解決策を講じ、適切な進行管理に努めます。

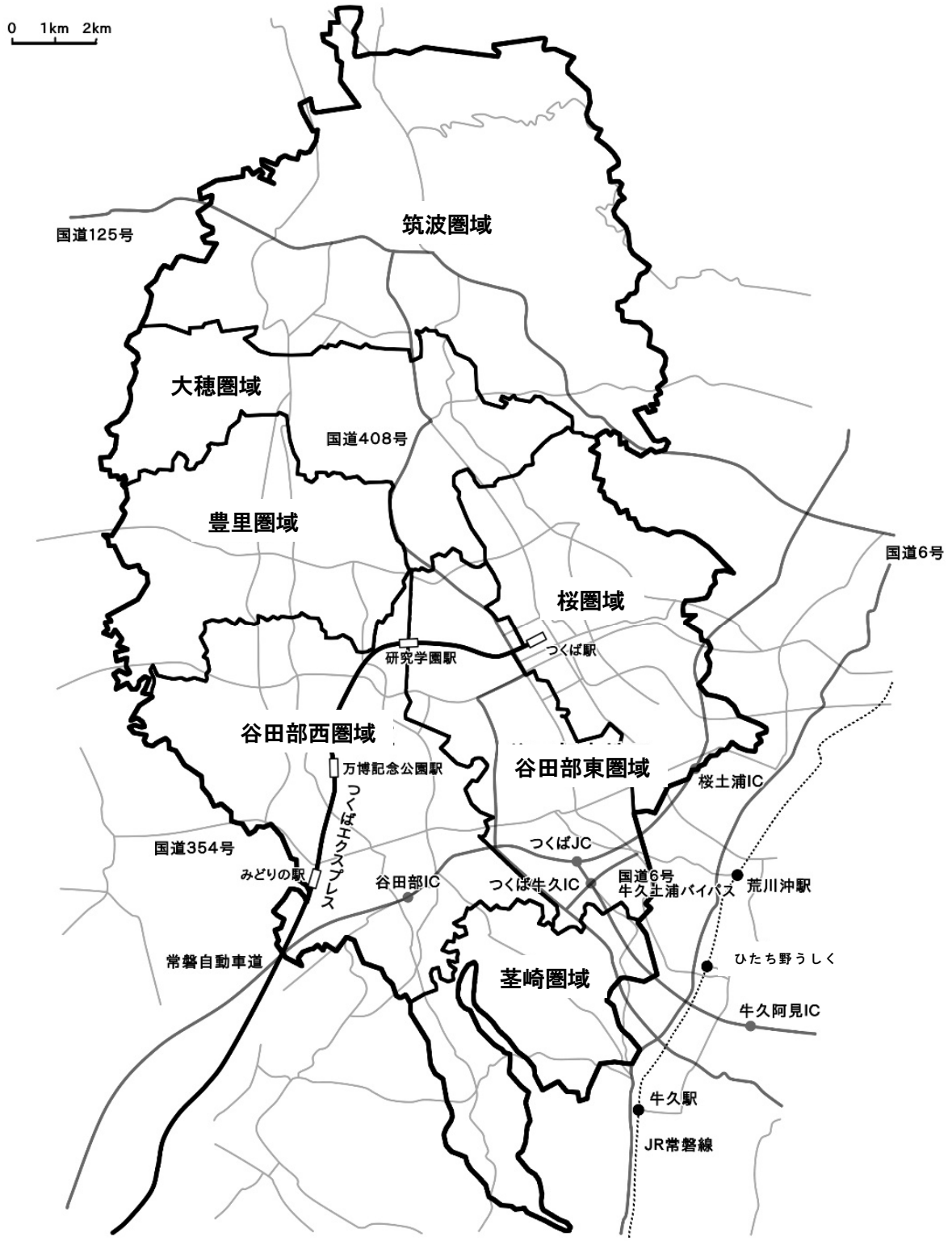
また、計画の推進にあたっては、公募による被保険者の代表、学識経験者、保健・医療・福祉団体の代表者及び介護サービス事業所の代表で構成する「つくば市高齢者福祉推進会議」の中で、ＰＤＣＡサイクルで計画の進捗評価をするとともに、事業の総合的な推進を図っていきます。



6　日常生活圏域の設定

介護保険事業計画では、高齢者が住み慣れた身近な地域で自立した生活を送ることができるように、市域をいくつかに区分した「日常生活圏域」を設定し、「日常生活圏域」ごとに、地域密着型サービスや施設整備等を行っています。

市では、原則として合併前の市町村単位で日常生活圏域を設定していますが、谷田部地区については、他の地区と比較して対象人口が多いため、東西に分割しています。



7　地域包括ケア「見える化」システム

本計画は、厚生労働省が運用する地域包括ケア「見える化」システムを活用し、作成しています。機能としては、アンケート調査結果分析に関する「現状分析」機能や介護サービスの見込み量及び介護保険料算定に関する「将来推計」機能等があり、これらを有効活用することによって計画に反映させています。



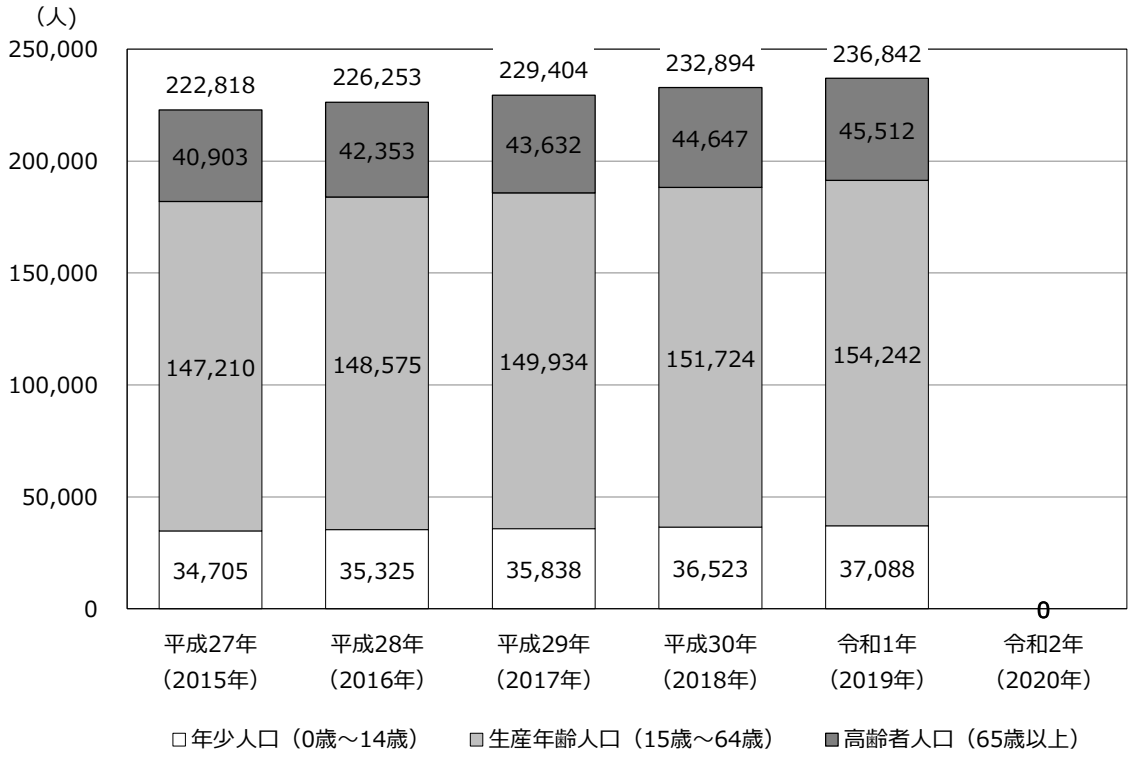
第２章　高齢者を取り巻く現状と課題

最新データは、コメントを追記し後日記載

１　統計からみた本市の現状

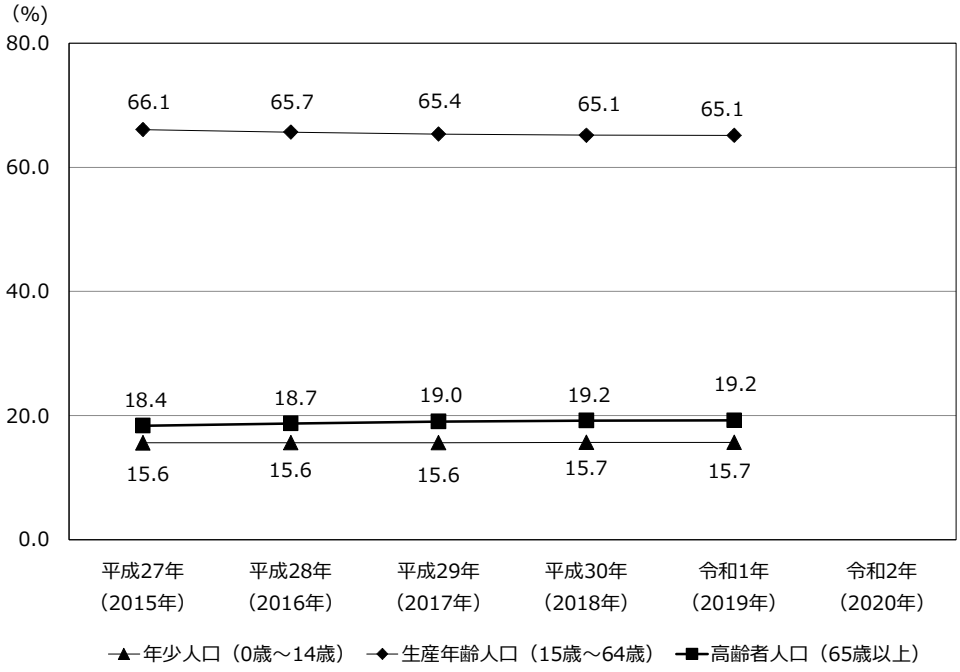
（１）人口の推移

①総人口の推移



資料：住民基本台帳（10 月 1 日）

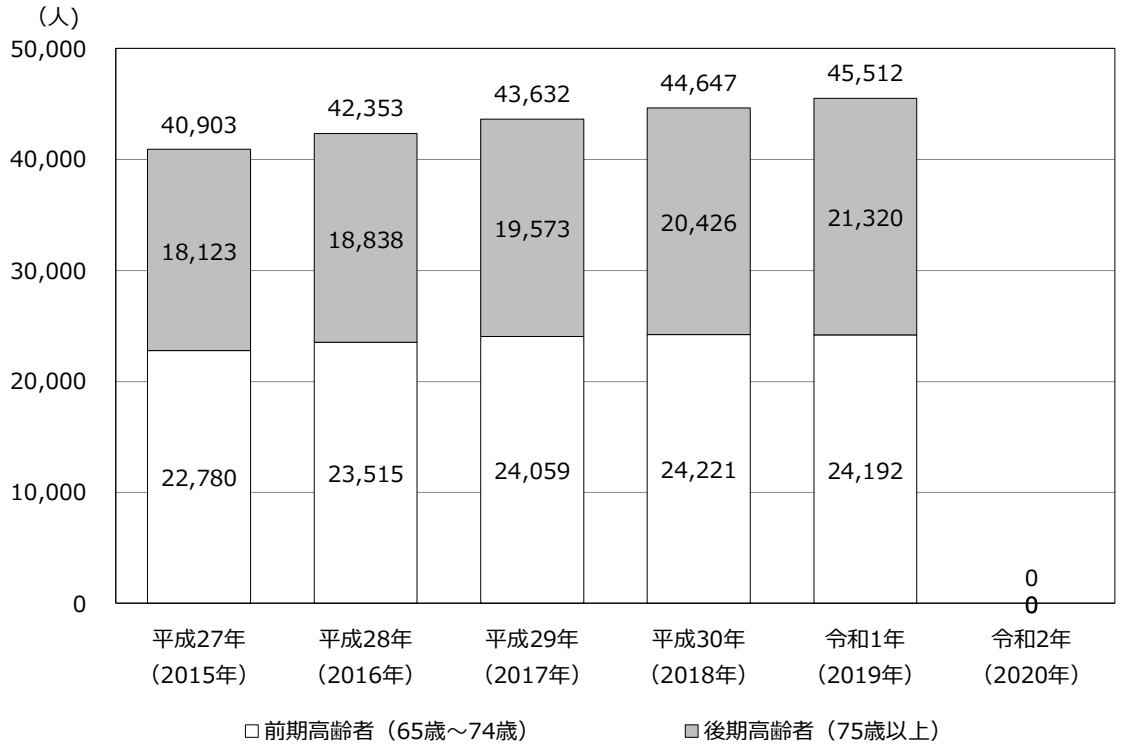
②年齢階級別割合の推移



資料：住民基本台帳（10 月 1 日）

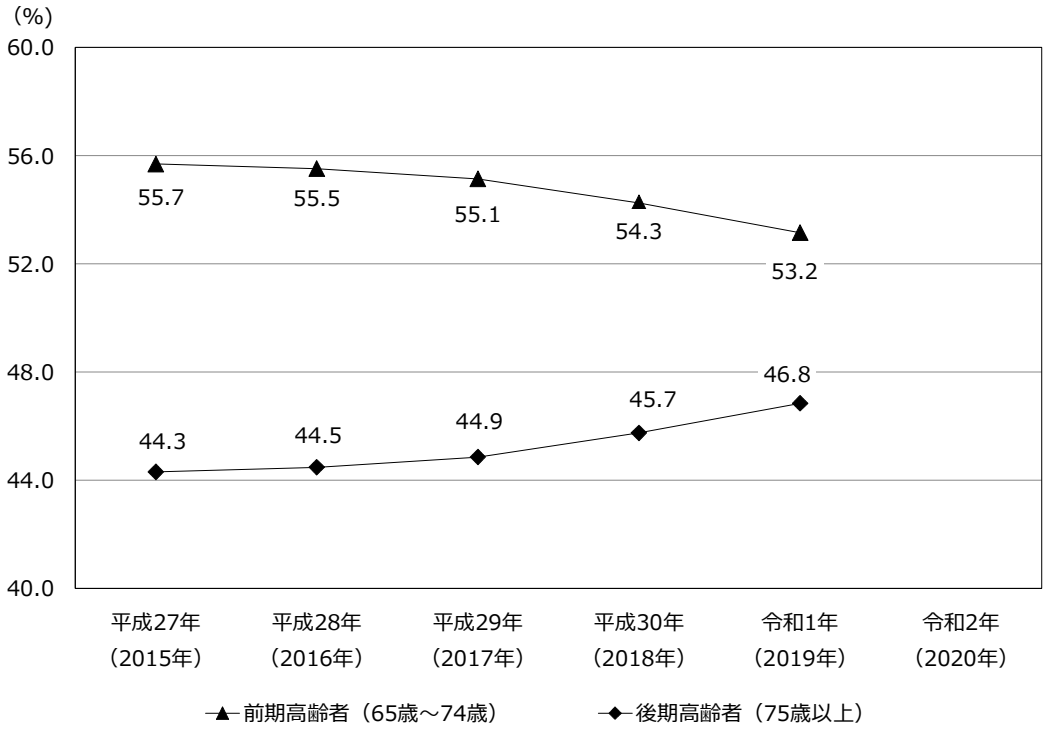
（２）高齢者人口の推移

①高齢者人口の推移



資料：住民基本台帳（10 月 1 日）

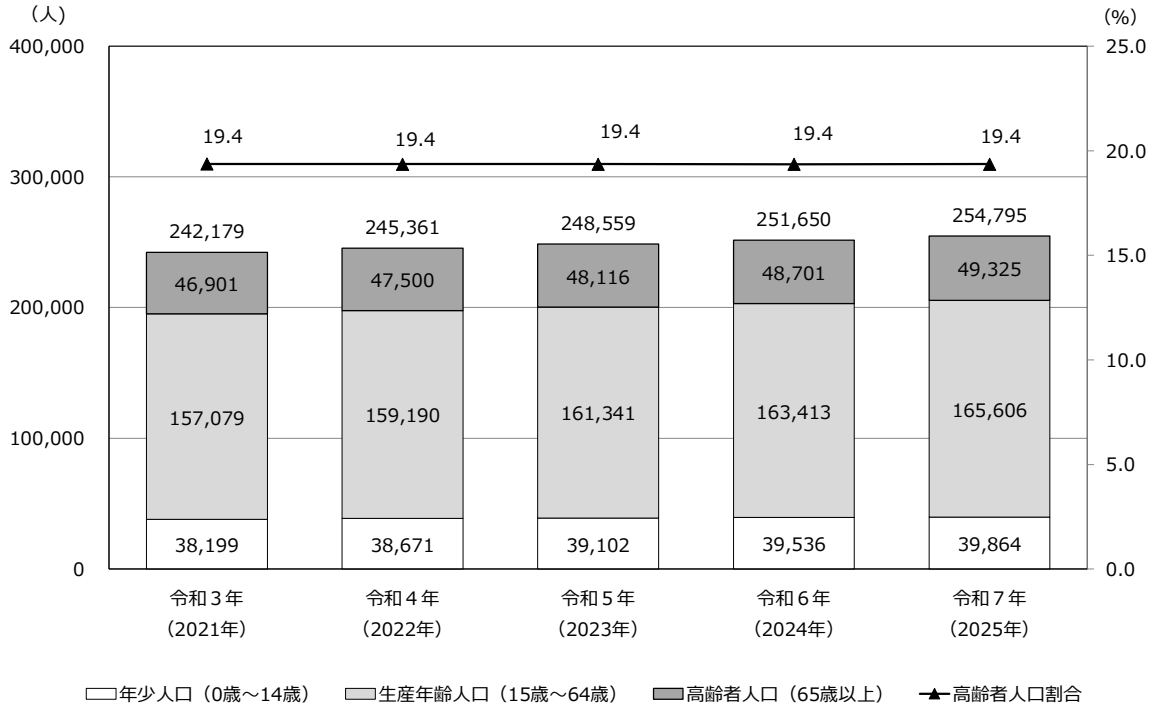
②前期・後期高齢者人口割合の推移



資料：住民基本台帳（10 月 1 日）

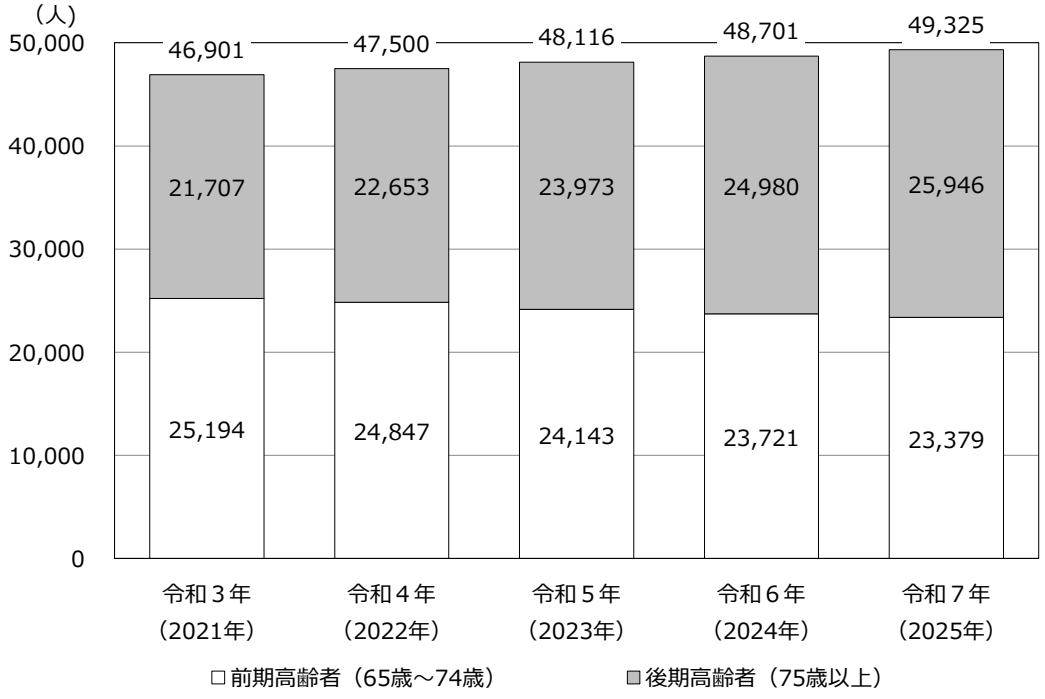
（3）人口推計

①総人口の推計



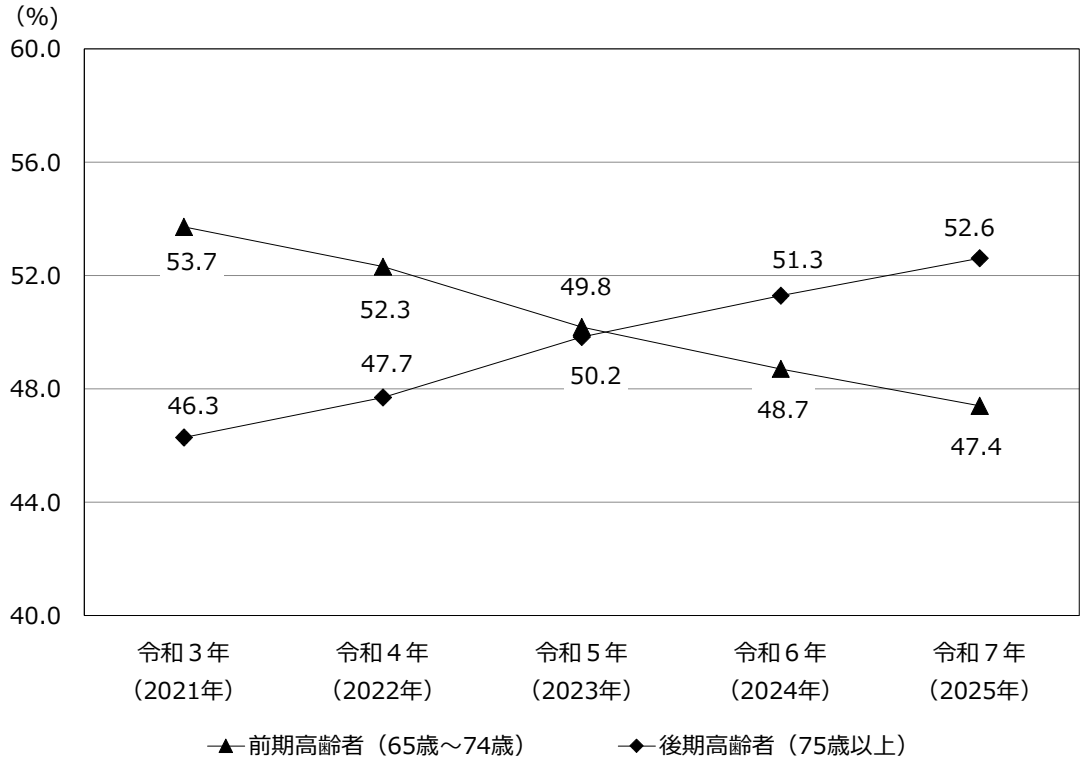
資料：コーホート変化率法にて推計

②高齢者人口の推計



資料：コーホート変化率法にて推計

③前期・後期高齢者人口割合の推計

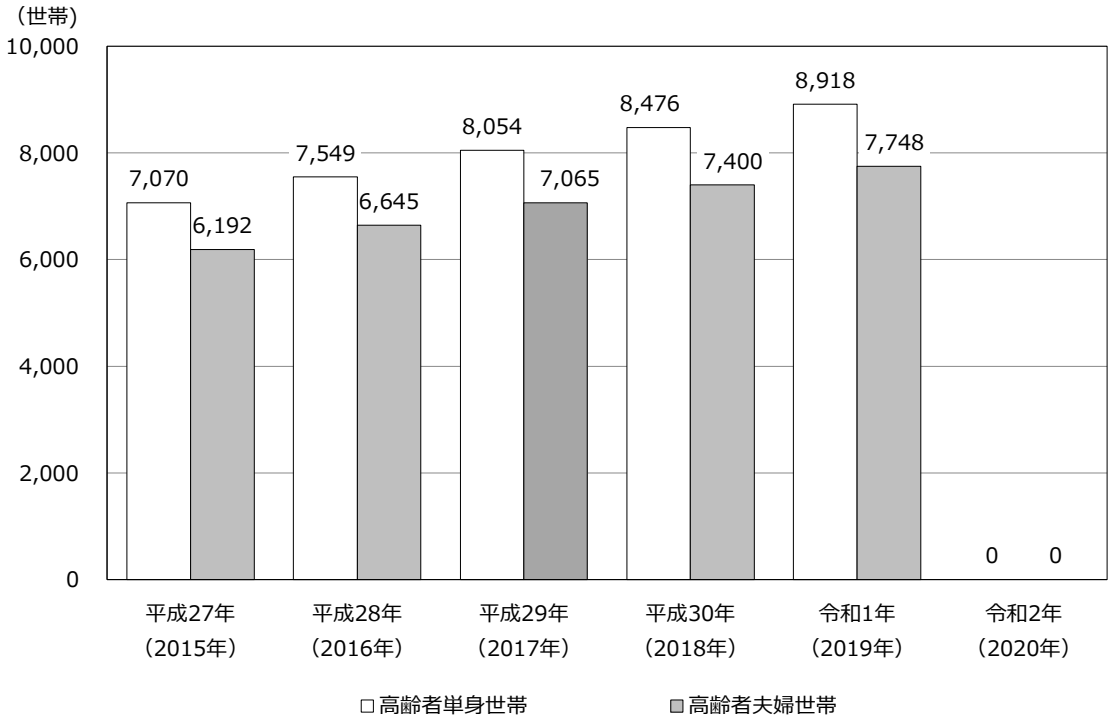


資料：コーホート変化率法にて推計

④2040（令和 22）年までの見通し

見える化システムより記載予定

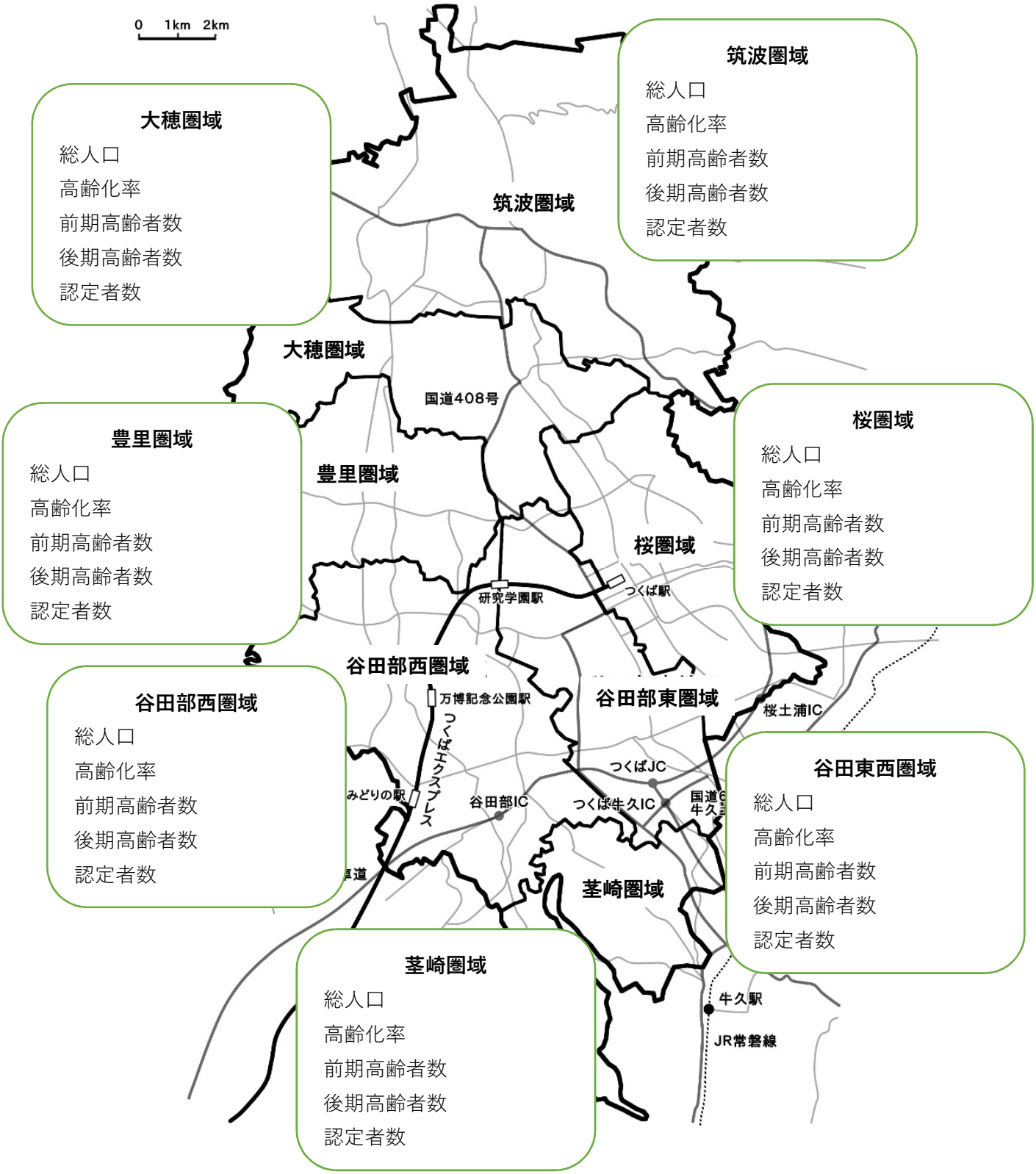
（４）高齢者世帯の推移



資料：住民基本台帳（10 月 1 日）

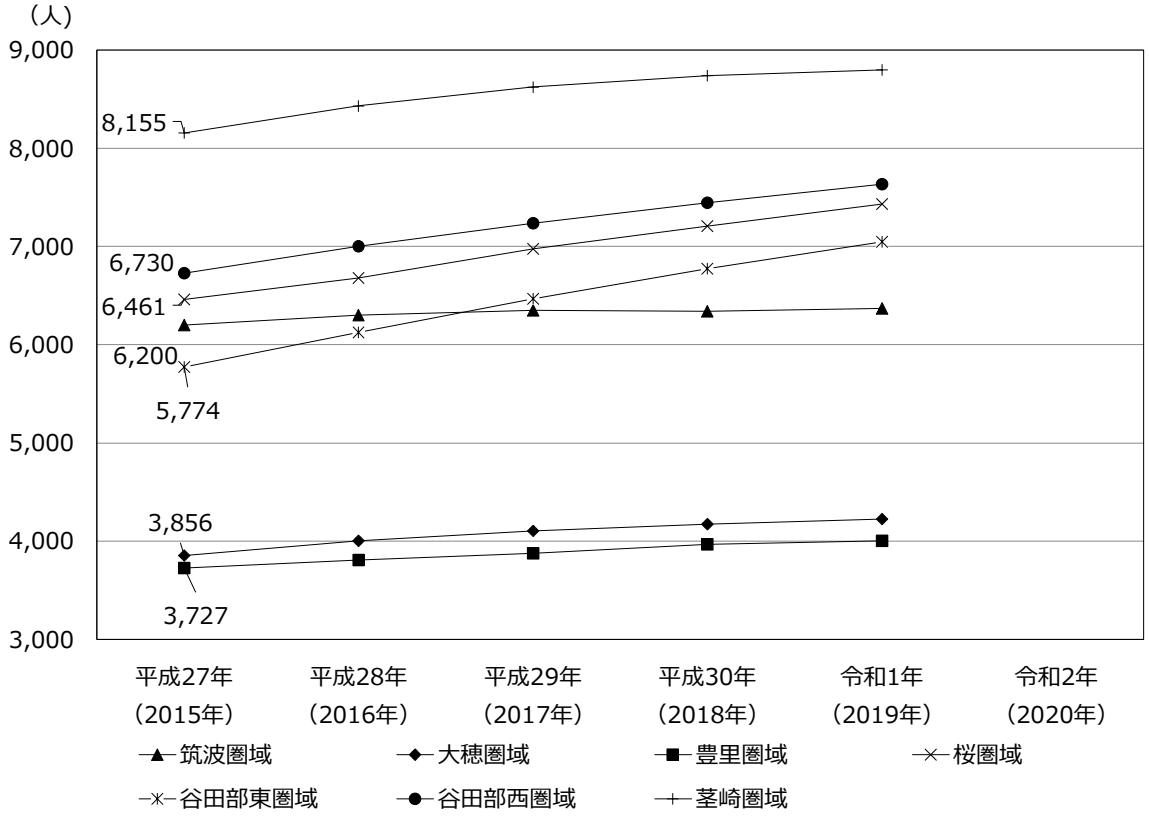
（５）日常生活圏域別の高齢者の状況

住基（R２年 10 月１日）データ記載予定



資料：住民基本台帳（令和２年 10 月１日）

（６）日常生活圏域別高齢者数の推移

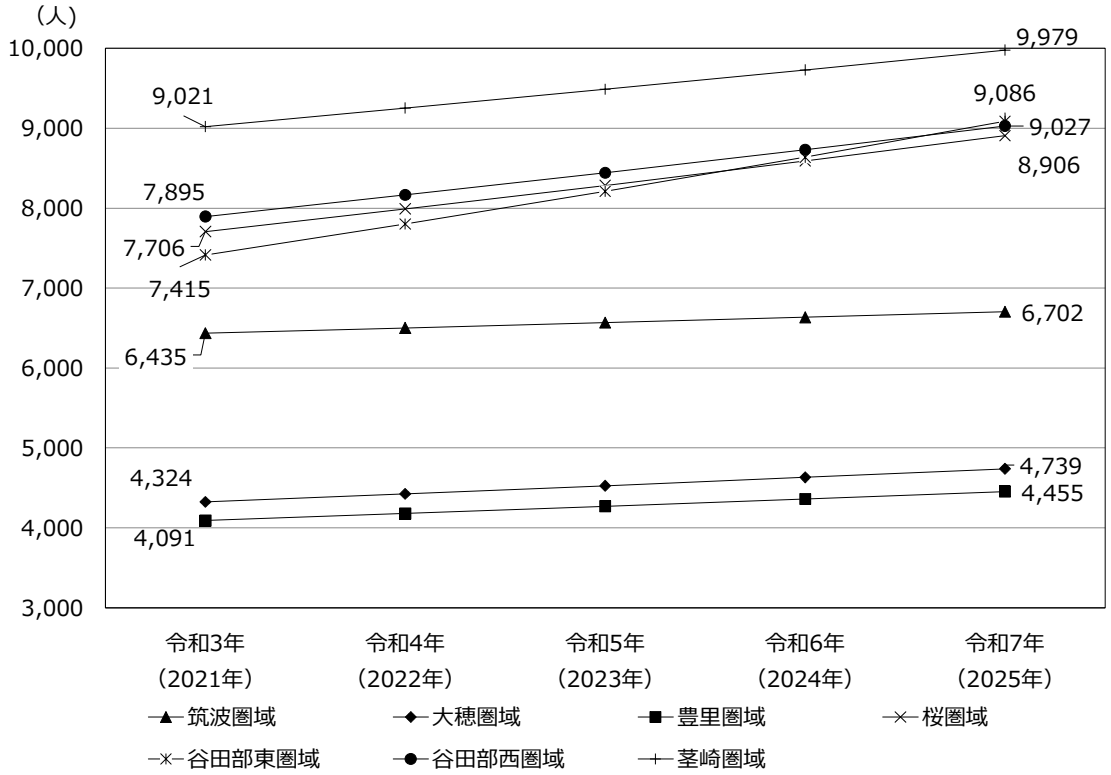


（単位：人）

	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R1 年	R2 年
筑波圏域	6,200	6,302	6,350	6,340	6,370	
大穂圏域	3,856	4,006	4,103	4,174	4,226	
豊里圏域	3,727	3,808	3,876	3,968	4,005	
桜圏域	6,461	6,681	6,976	7,208	7,432	
谷田部東圏域	5,774	6,125	6,468	6,773	7,048	
谷田部西圏域	6,730	7,000	7,236	7,445	7,635	
茎崎圏域	8,155	8,431	8,623	8,739	8,796	

資料：住民基本台帳（10 月 1 日）

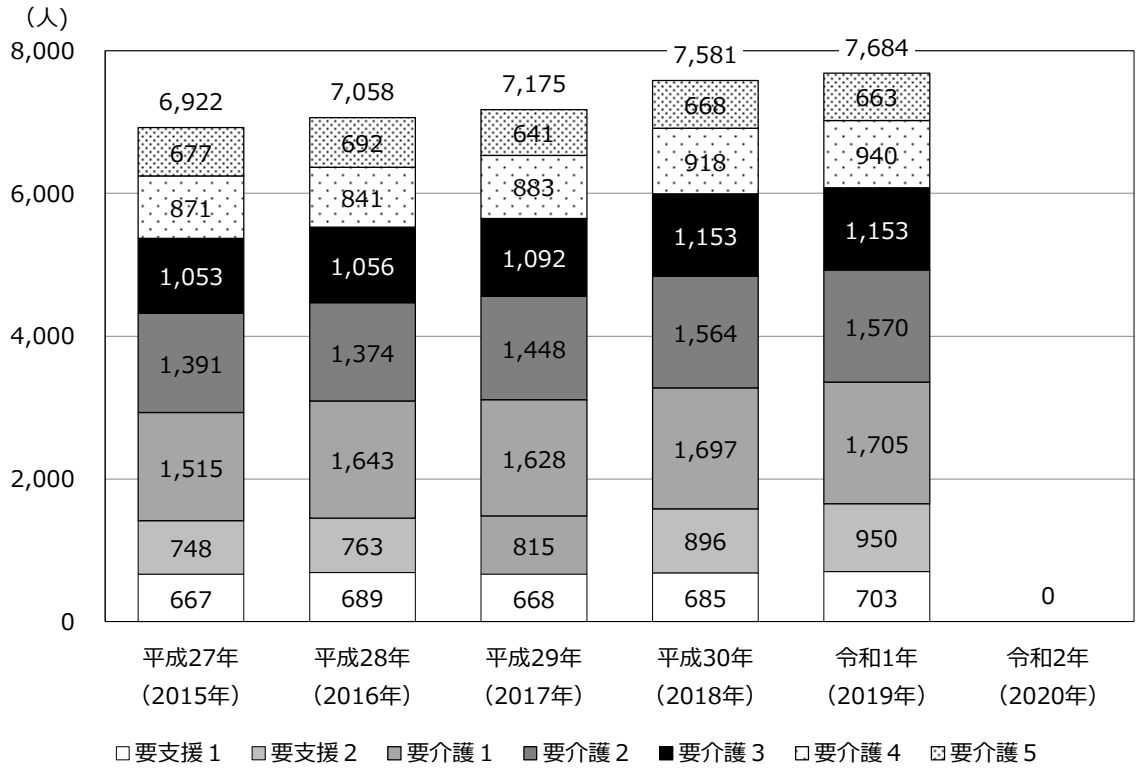
（７）日常生活圏域別高齢者数の推計



資料：各年の伸び率を基に推計　※（３）人口推計で用いている推計方法と異なるため数値は一致しません

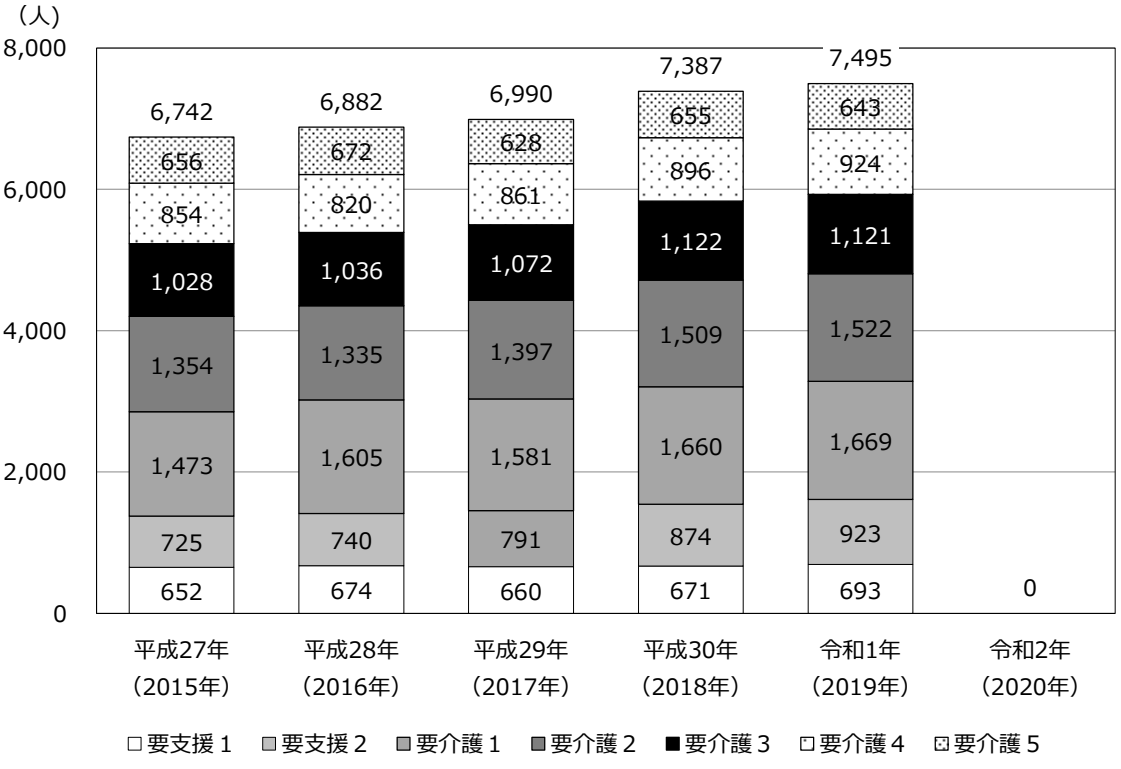
（８）要支援･要介護者数の推移と推計

①要支援・要介護者数の推移（２号被保険者含む）



資料：見える化システムから

②要支援・要介護者数の推移（１号被保険者）



資料：見える化システムから

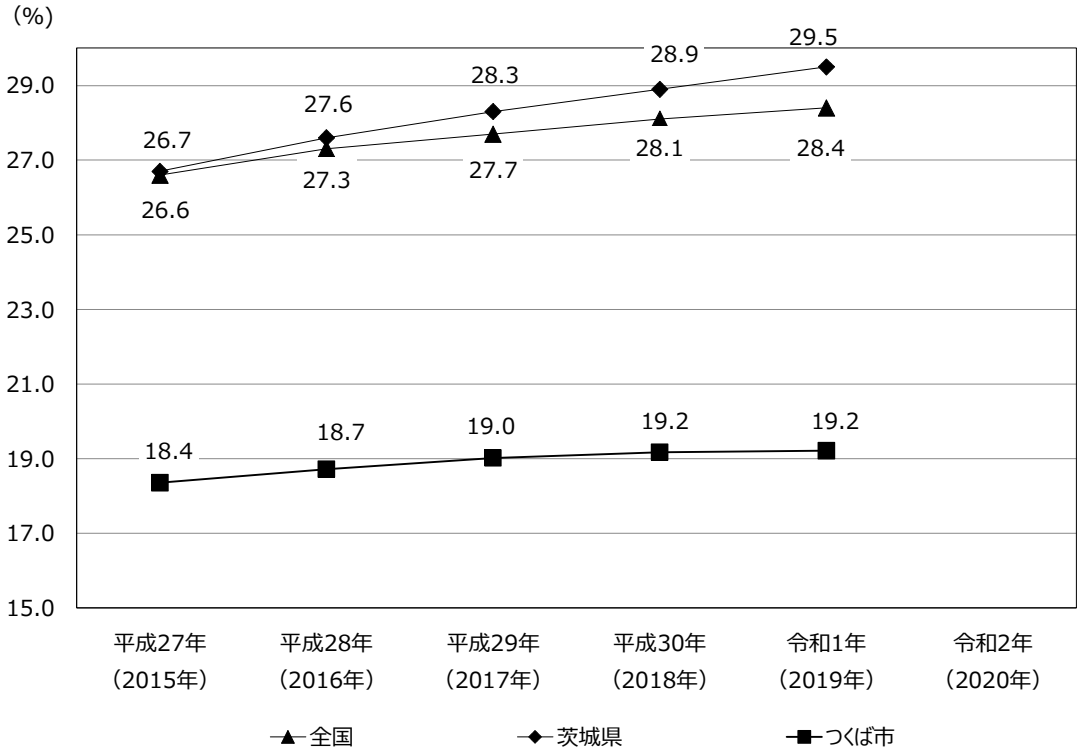
③要支援・要介護者数の推計

見える化システムより推計予定

資料：見える化システムから

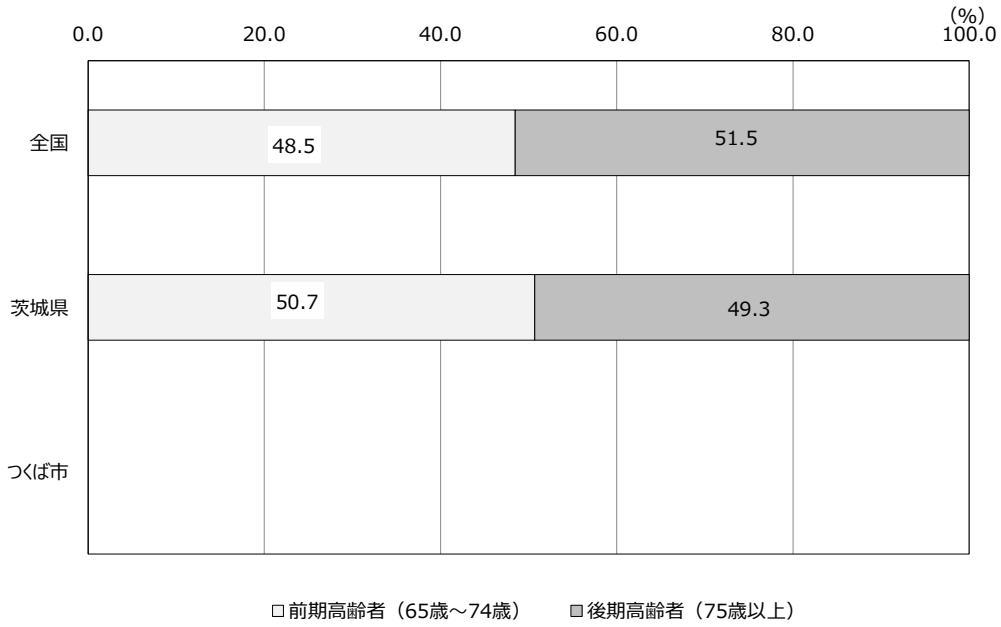
（９）国･県との比較

①高齢化率の比較



資料：国・県は「総務省統計局人口推計」、市は住民基本台帳（10 月 1 日）

②前期・後期高齢者人口割合の比較



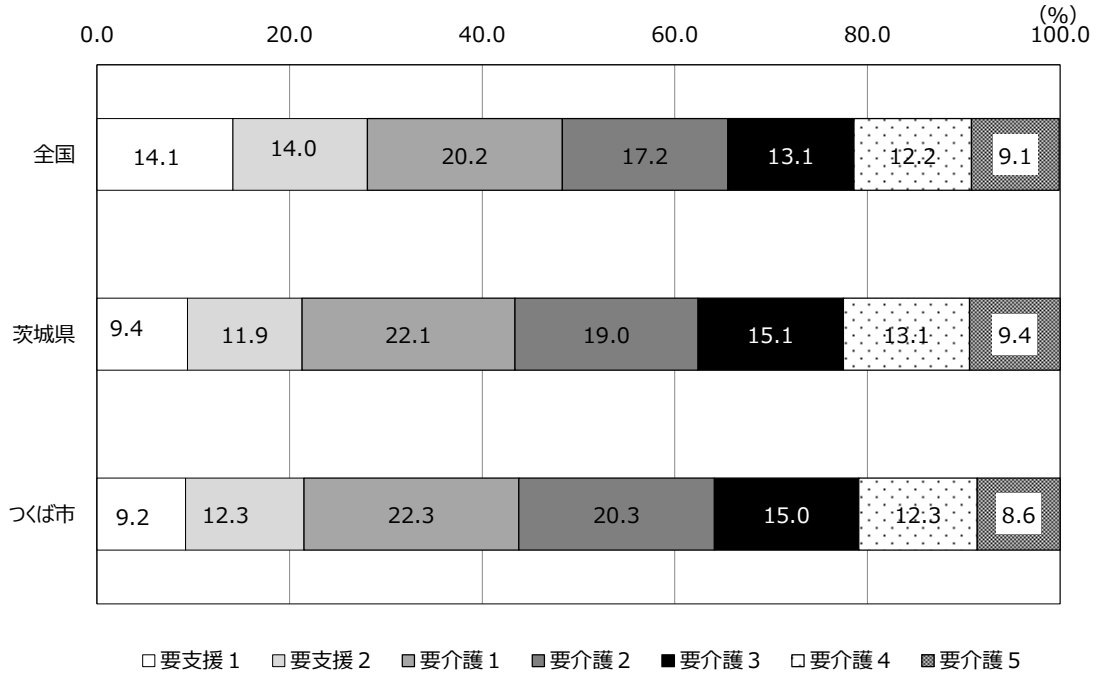
資料：国・県は「総務省統計局人口推計」、市は住民基本台帳（令和 2 年 10 月 1 日）

③高齢者人口に対する要介護認定者の比率

	第１号被保険者数	要支援・要介護認定者数	第１号被保険者数に対する比率
全国	35,388,434	6,539,825	18.5%
茨城県	835,146	128,674	15.4%
つくば市	45,372	7,495	16.5%

資料：介護保険事業状況報告（令和元年９月）

④要介護認定者の構成比



資料：介護保険事業状況報告（令和元年９月）

2　高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査結果

本調査は「つくば市高齢者福祉計画（第８期）」策定のため、市内に居住する高齢者及びケアマネジャーの現状を把握し、計画の基礎資料とするために実施したものです。

（１）調査の対象者

調査区分	対象
一般高齢者	つくば市の住民基本台帳に記載があり、介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者から 3,000 名分無作為抽出
要支援・要介護認定者	つくば市の住民基本台帳に記載があり、在宅で生活している要支援・要介護認定者から 3,000 名分無作為抽出
若年者	つくば市の住民基本台帳に記載があり、介護認定を受けていない 40 歳以上 65 歳未満の方から 2,000 名分無作為抽出
ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所、介護施設、地域密着型サービス事業所及び特定施設入居者生活介護事業所に所属するケアマネジャーに配布

（２）調査方法と実施期間

■調査方法：郵送配布、郵送回収

■実施期間：令和２年１月 15 日～令和２年２月 17 日

（３）回収結果

対象者	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者	3,000	1,821	1,821	60.7%
要支援・要介護認定者	3,000	1,502	1,502	50.1%
若年者	2,000	806	805	40.3%
ケアマネジャー	250	174	171	68.4%

3　アンケート調査からみた高齢者について

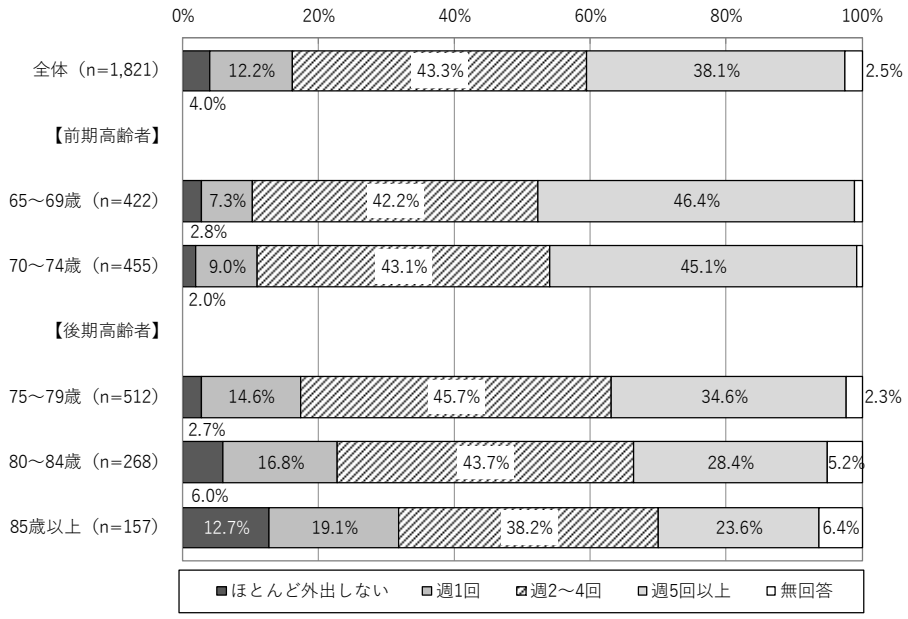
（１）アンケート調査結果抜粋

①高齢者の外出について

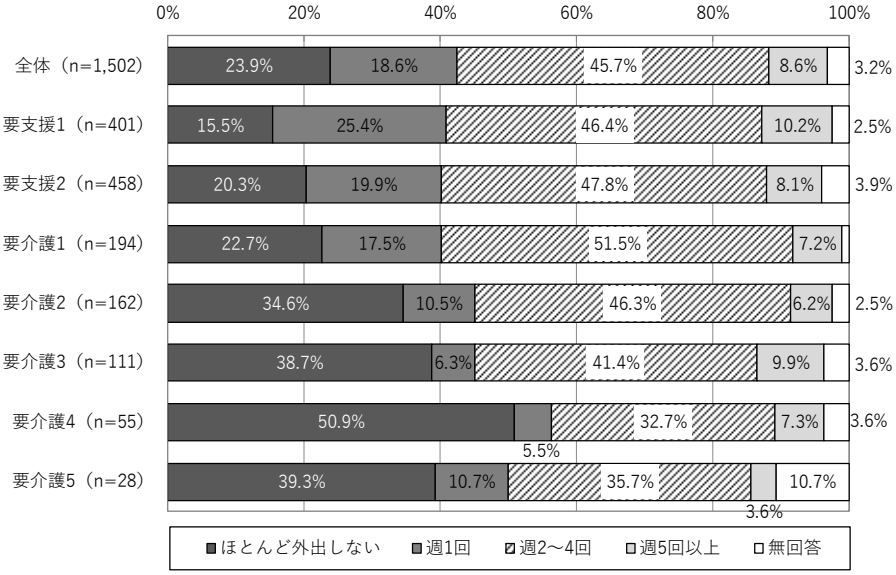
週に１回以上は外出しているかでは、一般高齢者、要支援・要介護者ともに「週 2～4 回」が約４割と最も多く、要支援・要介護者では「ほとんど外出しない」が約２割となっています。

【外出の有無】

一般高齢者



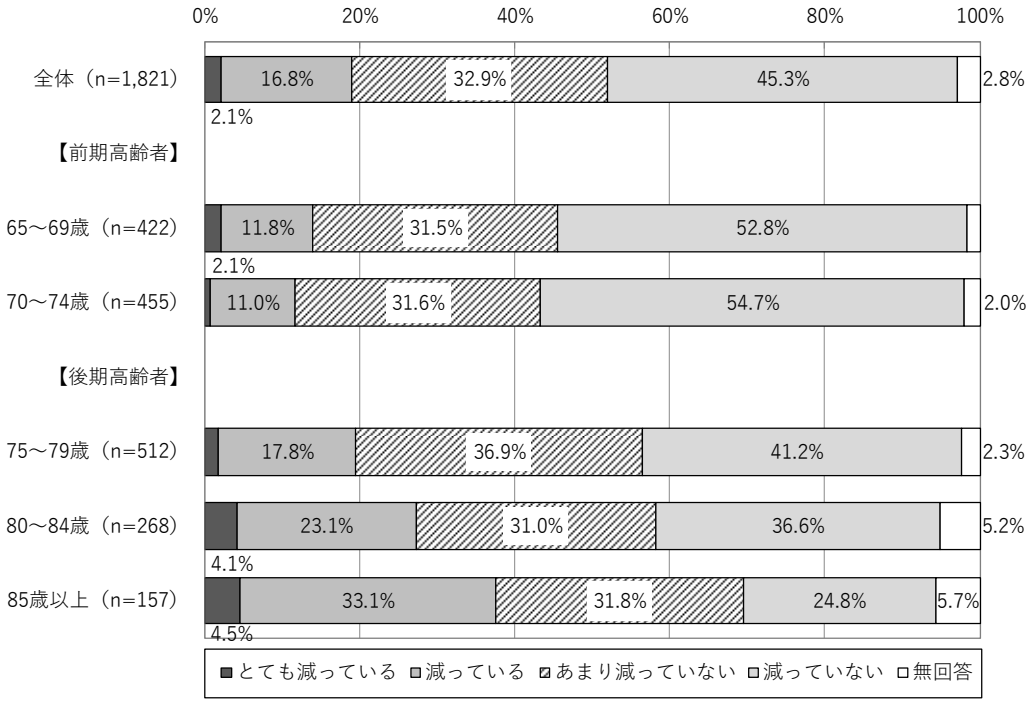
要支援･要介護者



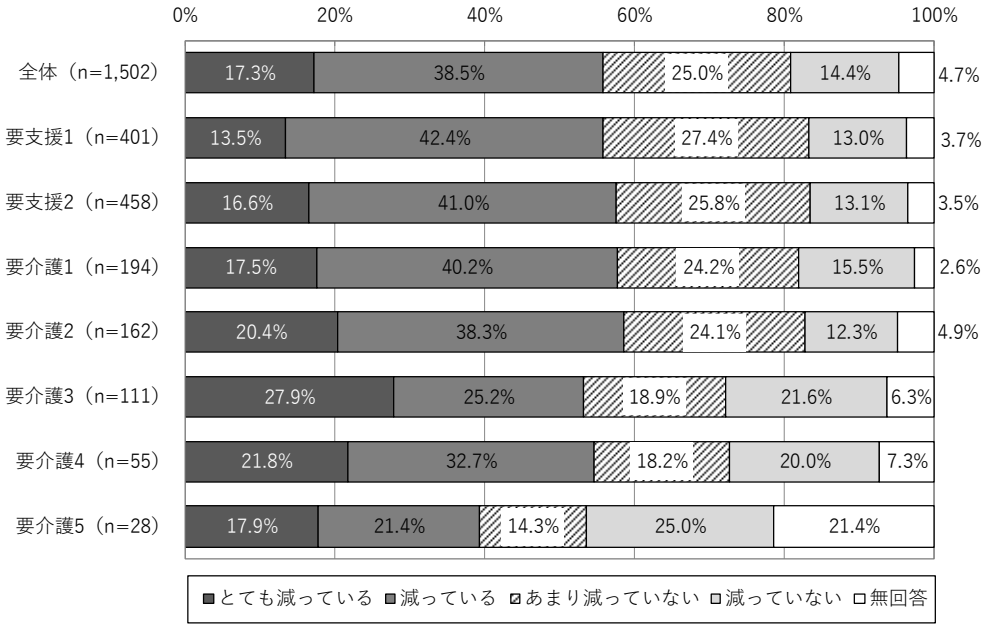
昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、一般高齢者では「減っていない」が４割と最も多く、要支援・要介護者では「とても減っている」及び「減っている」が約５割となっています。

【外出の回数】

一般高齢者



要支援･要介護者

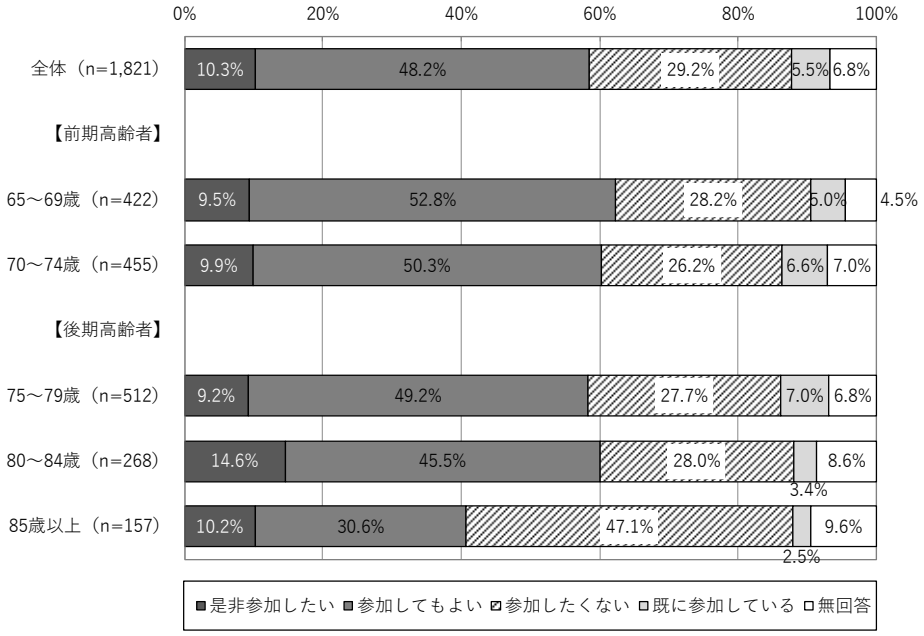


②地域との関わりについて

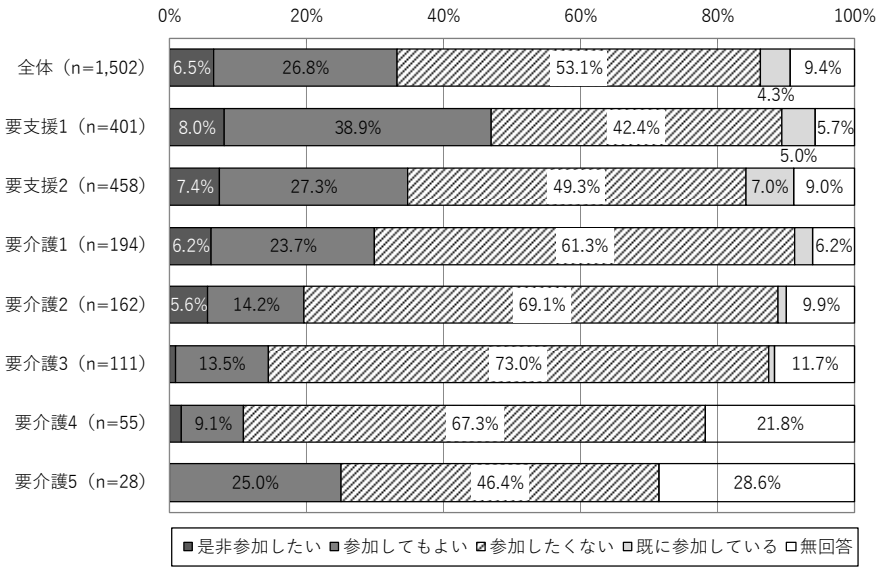
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、一般高齢者では、「参加してもよい」の回答が多く、要支援・要介護者では「参加したくない」が約５割となっています。

【趣味等のグループ活動への参加について】

一般高齢者



要支援･要介護者

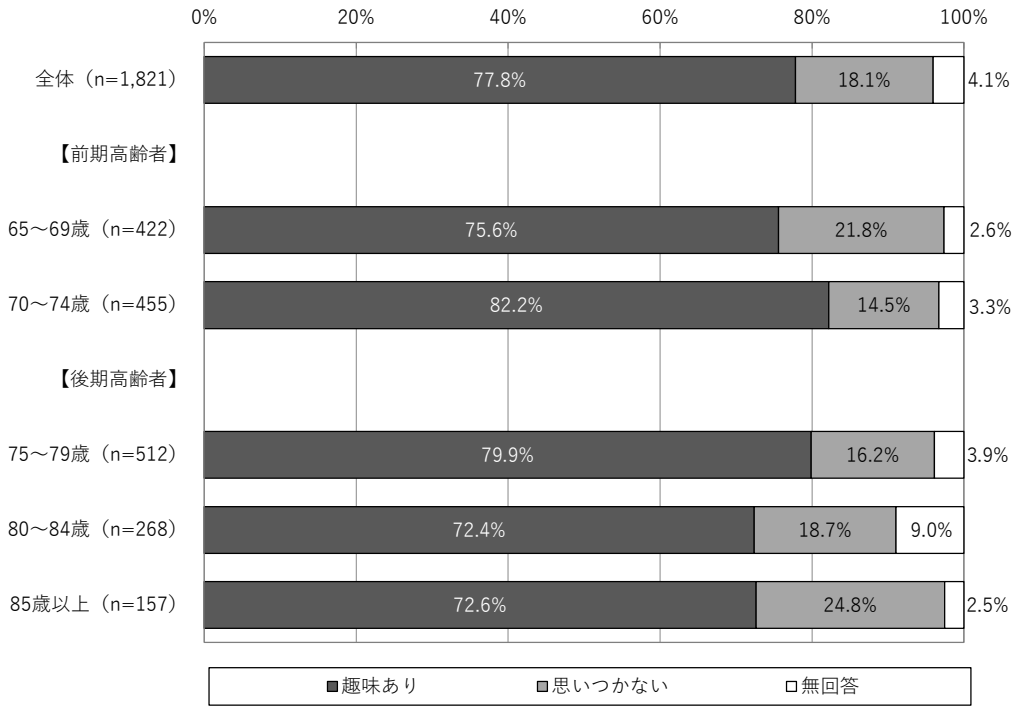


③高齢者の趣味について

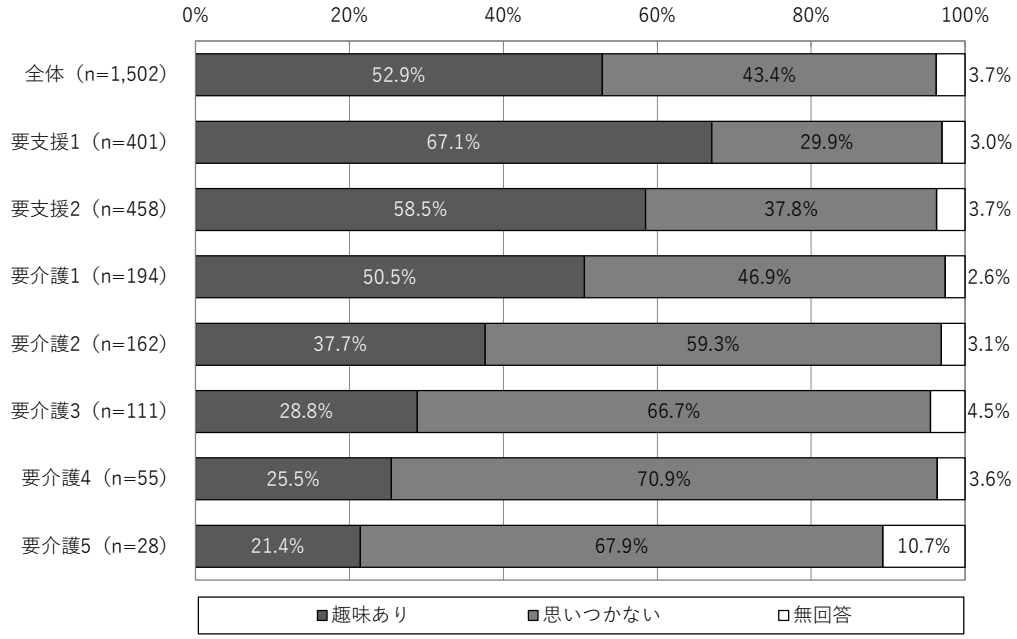
趣味の有無について、一般高齢者では約８割、要支援・要介護者では約５割の人が持っていますが、介護度が高くなるにつれて趣味を持つ人の割合が減少しています。

【趣味の有無】

一般高齢者



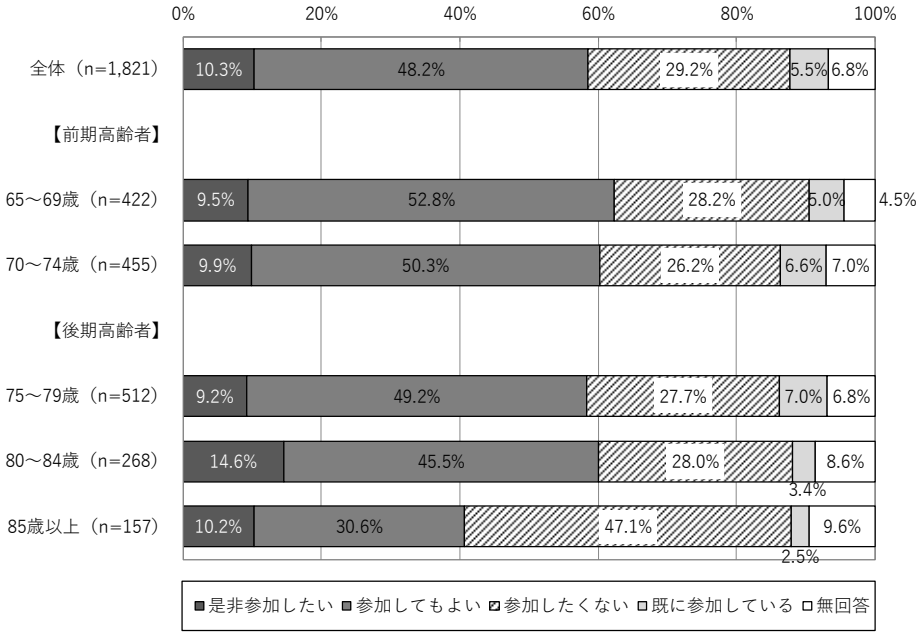
要支援･要介護者



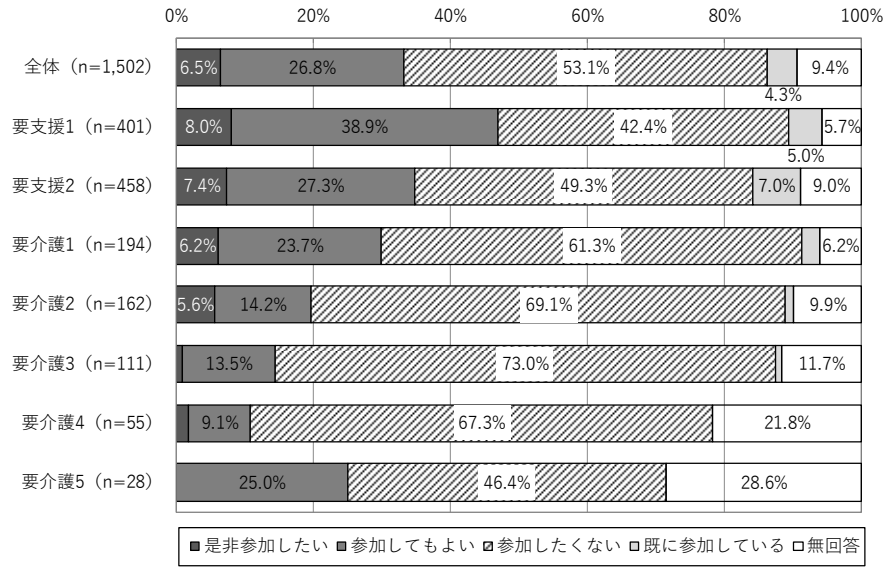
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、一般高齢者では、「参加してもよい」の回答が多く、要支援・要介護者では「参加したくない」が約５割となっています。

【趣味等のグループ活動への参加について】

一般高齢者



要支援･要介護者



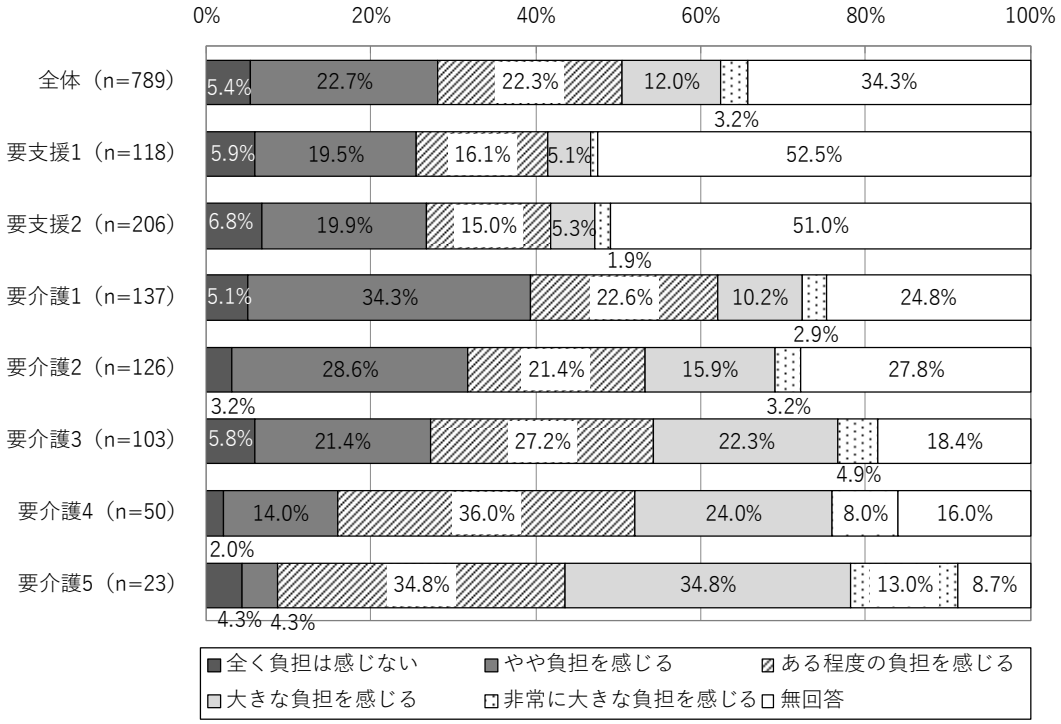
④在宅介護の状況について

介護の負担では、「やや負担を感じる」「ある程度の負担を感じる」「大きな負担を感じる」「非常に大きな負担を感じる」を合わせた『負担を感じる』が６割となっています。

また、要介護５では約半数の方が大きな負担を感じていることがみてとれます。

【介護についての負担】

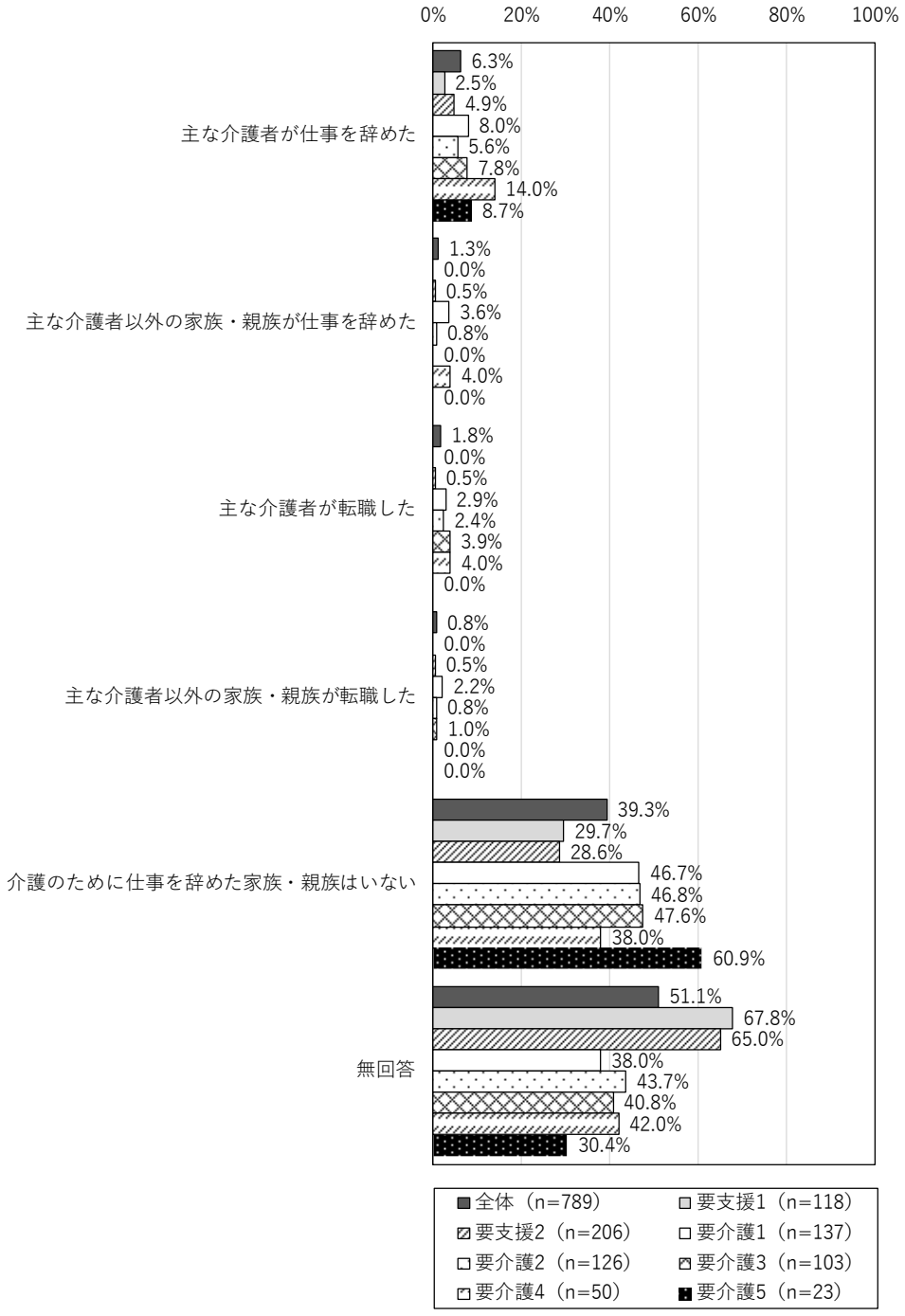
要支援･要介護者



介護離職については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約４割となっています。

【介護離職について】

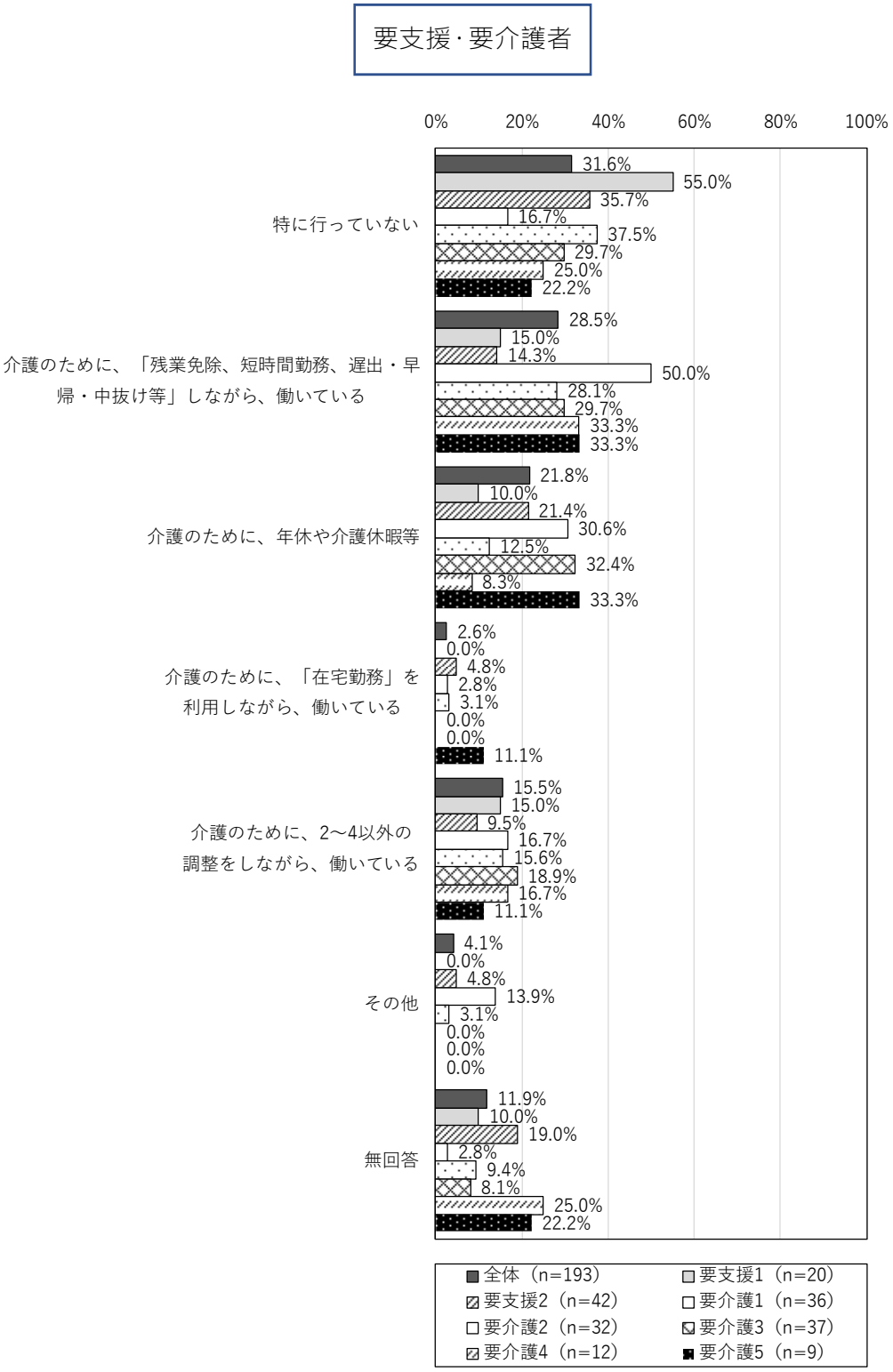
要支援･要介護者



介護にあたっての働き方の調整では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が約３割となっています。

また、「特に行っていない」の項目をみると、要介護２以上になるとその割合は減少してることがみてとれ、働き方において何かしらの調整をしていることがうかがえます。

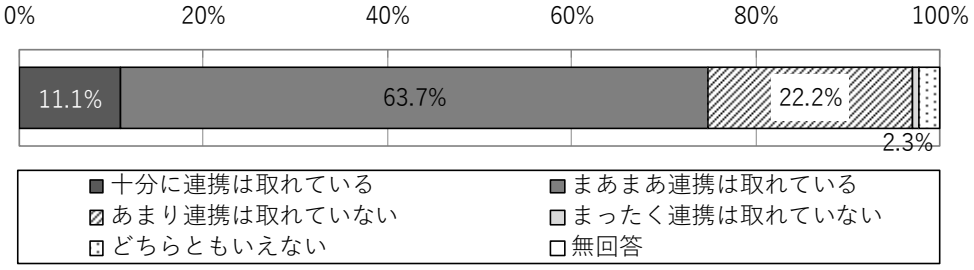
【介護にあたっての働き方の調整】



⑤ケアマネジャーの意見聴取について

医療との連携について、連携は取れているが約７割、連携は取れていないが約２割となっています。

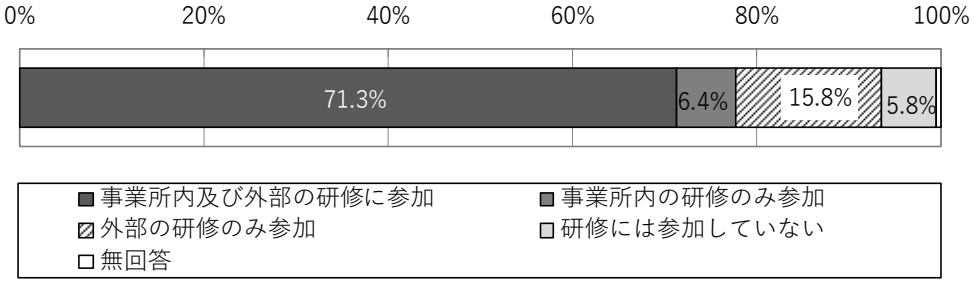
【医療との連携ついて】



n =171

サービスの質の向上に向けた研修に参加しているかでは、「事業所内及び外部の研修に参加」が約７割となっています。

【サービスの質の向上について】



n =171

（２）見える化システムにおける圏域分析

厚生労働省が運用する地域包括ケア「見える化」システムに高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果をアップロードすることによって、算出された数値を整理及びグラフ化し、つくば市における各圏域ごとの高齢者の現状を分析したものです。

①各圏域の現状

【全体】　(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
つくば市	10.5	7.2	29.0	16.1	44.3	29.6	4.3	27.9
筑波圏域	14.6	7.0	33.5	21.2	50.7	35.6	3.9	31.2
大穂圏域	10.6	5.4	30.2	21.6	52.5	30.4	7.3	28.5
豊里圏域	13.2	5.4	34.2	21.6	45.0	28.2	7.8	28.2
桜圏域	8.6	5.1	28.1	13.7	44.6	32.4	2.6	27.9
谷田部東圏域	8.6	8.9	26.6	13.0	39.3	26.6	2.2	27.6
谷田部西圏域	11.3	7.6	30.1	17.1	45.5	26.4	6.0	30.1
茎崎圏域	8.9	7.9	25.2	11.9	39.4	29.0	3.4	23.8

【男性】　(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
つくば市	4.2	2.7	15.3	6.8	22.3	14.3	2.6	12.5
筑波圏域	6.4	2.6	14.4	7.8	26.4	16.5	2.2	13.4
大穂圏域	4.4	2.4	16.6	11.1	23.5	15.0	4.9	13.0
豊里圏域	4.8	1.8	16.2	10.8	16.2	10.8	3.6	10.8
桜圏域	3.6	1.9	15.0	5.8	23.5	15.7	1.5	14.8
谷田部東圏域	3.7	2.3	14.6	4.7	21.7	13.7	1.6	12.3
谷田部西圏域	4.3	3.3	16.0	6.7	23.4	13.1	4.0	13.1
茎崎圏域	3.2	3.2	15.3	5.4	20.6	14.5	2.1	10.5

【女性】　(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
つくば市	6.3	4.5	13.7	9.3	22.0	15.3	1.7	15.4
筑波圏域	8.2	4.4	19.1	13.4	24.3	19.1	1.7	17.8
大穂圏域	6.2	3.0	13.6	10.5	29.0	15.4	2.4	15.5
豊里圏域	8.4	3.6	18.0	10.8	28.8	17.4	4.2	17.4
桜圏域	5.0	3.2	13.1	7.9	21.1	16.7	1.1	13.1
谷田部東圏域	4.9	6.6	12.0	8.3	17.6	12.9	0.6	15.3
谷田部西圏域	7.0	4.3	14.1	10.4	22.1	13.3	2.0	17.0
茎崎圏域	5.7	4.7	9.9	6.5	18.8	14.5	1.3	13.3

②各圏域の特徴

▶筑波圏域

運動器機能、うつ、転倒についての項目が圏域中最も高くなっており、咀嚼(そしゃく)機能、閉じこもり、認知症についても市平均よりも高い割合となっています。栄養改善、IADLについては、市平均よりも低くなっていますが、項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶大穂圏域

閉じこもり、認知症についての項目が圏域中最も高くなっており、運動器機能、咀嚼(そしゃく)機能、うつ、IADL、転倒についても市平均よりも高い割合となっています。栄養改善の項目は、市平均よりも低くなっていますが、項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶豊里圏域

咀嚼(そしゃく)機能、閉じこもり、IADL についての項目が圏域中最も高くなっており、運動器機能、認知症、転倒についての項目も市平均よりも高い割合となっています。栄養改善、うつについては、市平均よりも低くなっていますが、項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶桜圏域

項目全体をみると、突出して高い項目はありませんでしたが、認知症、うつについては市平均よりも高い割合となっています。その他の項目については市平均を下回っており、全体的にリスクが低い圏域となっています。

▶谷田部東圏域

栄養改善の項目のみ圏域中最も高く、その他の項目については市平均を下回っており、全体的にリスクが低い圏域となっています。

▶谷田部西圏域

項目全体をみると、突出して高い項目はありませんでしたが、うつ以外の全ての項目において、市平均よりも高い割合となっています。項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶茎崎圏域

項目全体をみると、突出して高い項目はありませんでしたが、栄養改善の項目のみ市平均よりも高い割合となっています。その他の項目については市平均を下回っており、全体的にリスクが低い圏域となっています。

③各リスクによる圏域の状況

▶運動器機能

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、３点以上を運動機能低下のリスク該当者としています。

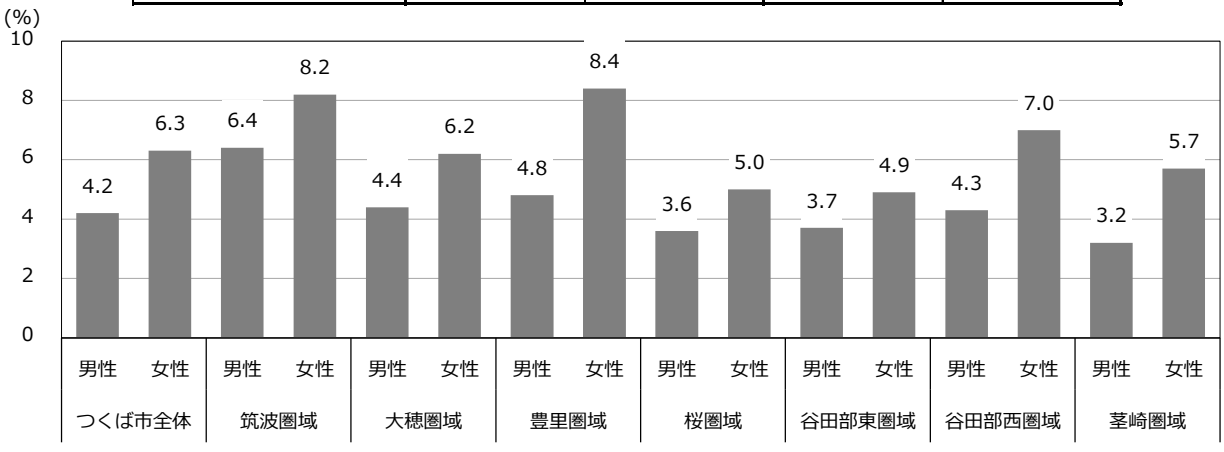
設問名	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	「できない」
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
15 分位続けて歩いていますか	「できない」
この１年間に転んだことがありますか	「何度もある」または「１度ある」
転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」または「やや不安である」

運動器機能については、男性では「筑波圏域」が 6.4％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 4.8％となっています。

女性では「豊里圏域」が 8.4％と最も高く、次いで「筑波圏域」が 8.2％となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	1.0	3.2	1.5	4.8
筑波圏域	1.7	4.7	3.0	5.2
大穂圏域	0.0	4.4	0.0	6.2
豊里圏域	0.0	4.8	1.2	7.2
桜圏域	0.7	2.9	1.8	3.2
谷田部東圏域	1.7	2.0	1.3	3.6
谷田部西圏域	1.3	3.0	1.3	5.7
茎崎圏域	0.8	2.4	1.6	4.1



▶栄養改善

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、２点以上を栄養低下リスク該当者としています。

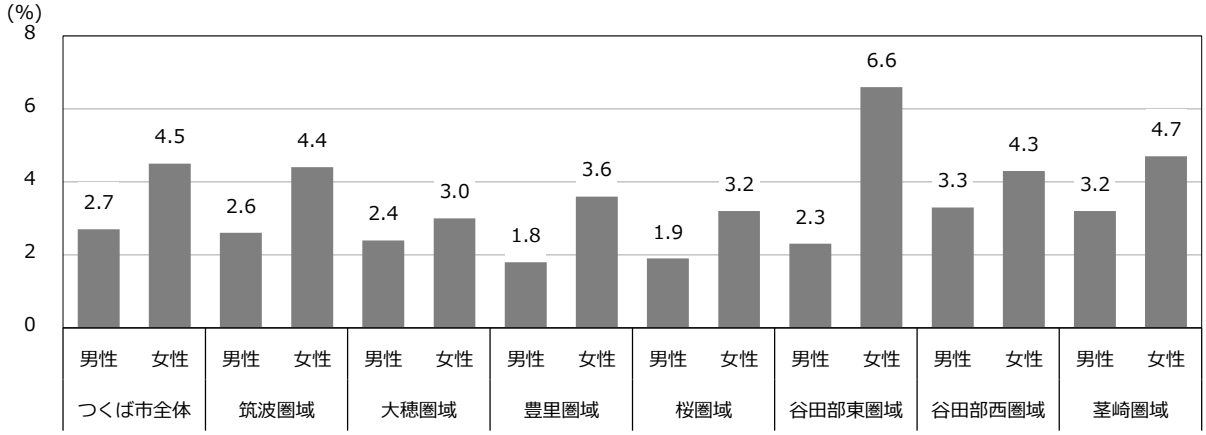
設問名	該当する選択肢
ＢＭＩ(身長と体重から算出)	18.5 未満
半年で２～３kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

栄養改善については、男性では「谷田部西圏域」が 3.3%と最も高く、次いで「茎崎圏域」が 3.2%となっています。

女性では「谷田部東圏域」が 6.6%と最も高く、次いで「茎崎圏域」が 4.7%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	1.3	1.4	2.0	2.5
筑波圏域	0.9	1.7	2.2	2.2
大穂圏域	0.6	1.8	0.6	2.4
豊里圏域	0.6	1.2	0.0	3.6
桜圏域	1.1	0.8	1.4	1.8
谷田部東圏域	1.0	1.3	3.0	3.6
谷田部西圏域	2.0	1.3	2.7	1.6
茎崎圏域	1.6	1.6	2.2	2.5



▶咀嚼機能

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、２点以上を口腔機能低下のリスク該当者としています。

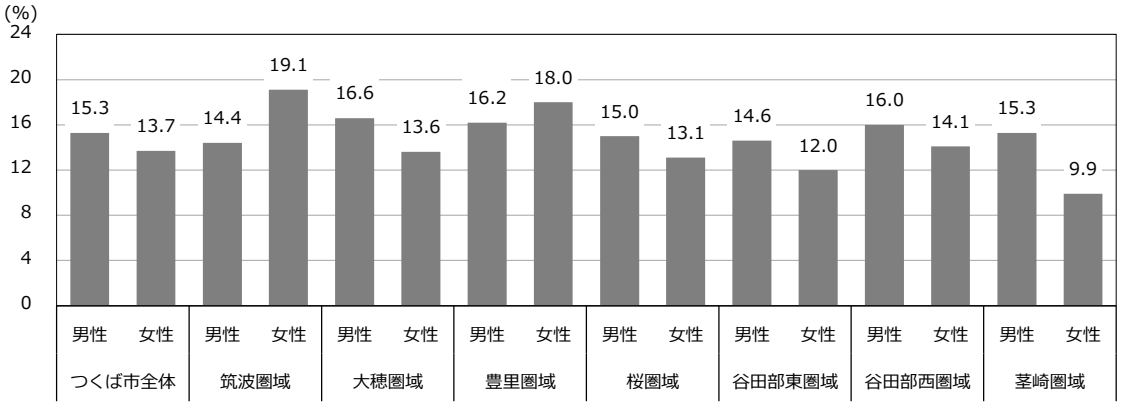
設問名	該当する選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
口の渇きが気になりますか	「はい」

咀嚼機能については、男性では「大穂圏域」が 16.6％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 16.2％となっています。

女性では「筑波圏域」が 19.1％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 18.0％となっています。

（%）

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	5.8	9.5	5.0	8.7
筑波圏域	4.4	10.0	8.2	10.9
大穂圏域	3.7	12.9	1.8	11.8
豊里圏域	4.8	11.4	5.4	12.6
桜圏域	6.1	8.9	5.3	7.8
谷田部東圏域	7.3	7.3	4.3	7.7
谷田部西圏域	6.3	9.7	5.7	8.4
茎崎圏域	6.2	9.1	4.0	5.9



▶閉じこもり

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を閉じこもりのリスク該当者としています。

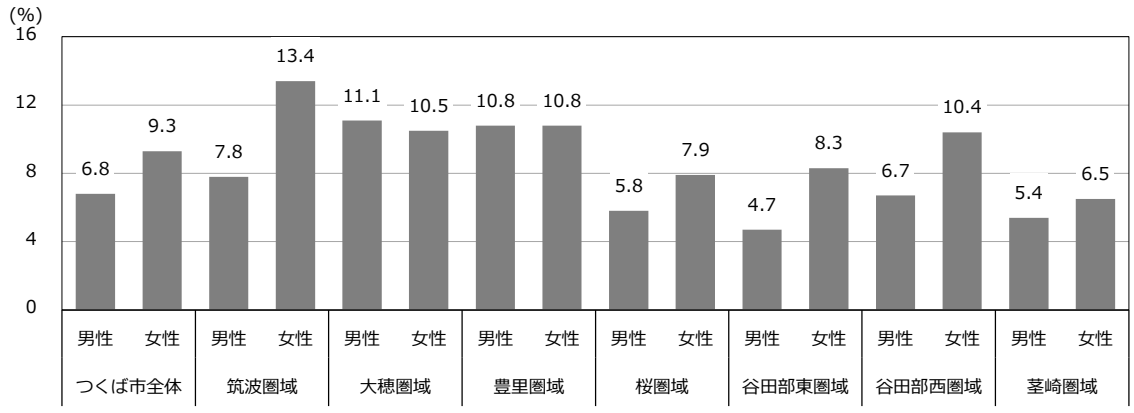
設問名	該当する選択肢
週に１回以上は外出していますか	「ほとんど外出していない」または「週１回」

閉じこもりについては、男性では「大穂圏域」が 11.1%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 10.8%となっています。

女性では「筑波圏域」が 13.4%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 10.8%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	2.2	4.6	2.9	6.4
筑波圏域	2.6	5.2	3.9	9.5
大穂圏域	2.4	8.7	2.5	8.0
豊里圏域	2.4	8.4	4.8	6.0
桜圏域	2.2	3.6	2.2	5.7
谷田部東圏域	3.0	1.7	2.3	6.0
谷田部西圏域	2.0	4.7	3.7	6.7
茎崎圏域	1.3	4.1	2.1	4.4



▶認知症

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、１点以上を認知症予防の該当者としています。

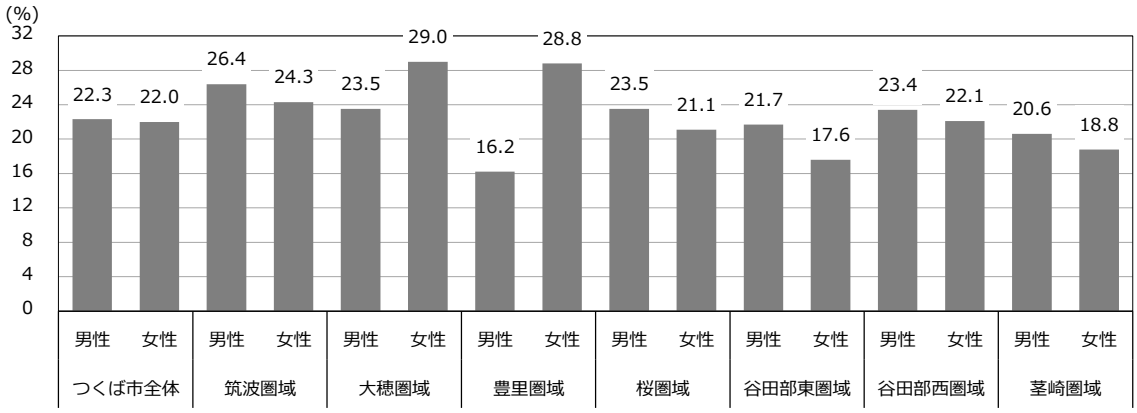
設問名	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか	「はい」
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「いいえ」
今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」

認知症については、男性では「筑波圏域」が 26.4％と最も高く、次いで「大穂圏域」及び「桜圏域」が 23.5％となっています。

女性では「大穂圏域」が 29.0％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 28.8％となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	9.1	13.2	8.9	13.1
筑波圏域	11.7	14.7	8.2	16.1
大穂圏域	6.8	16.7	13.6	15.4
豊里圏域	6.0	10.2	10.8	18.0
桜圏域	8.2	15.3	8.6	12.5
谷田部東圏域	11.0	10.7	8.3	9.3
谷田部西圏域	10.7	12.7	7.0	15.1
茎崎圏域	7.5	13.1	8.6	10.2



▶うつ

【指標】

下記の設問について、いずれか１つでも該当する選択肢を回答した方をうつのリスク該当者としています。

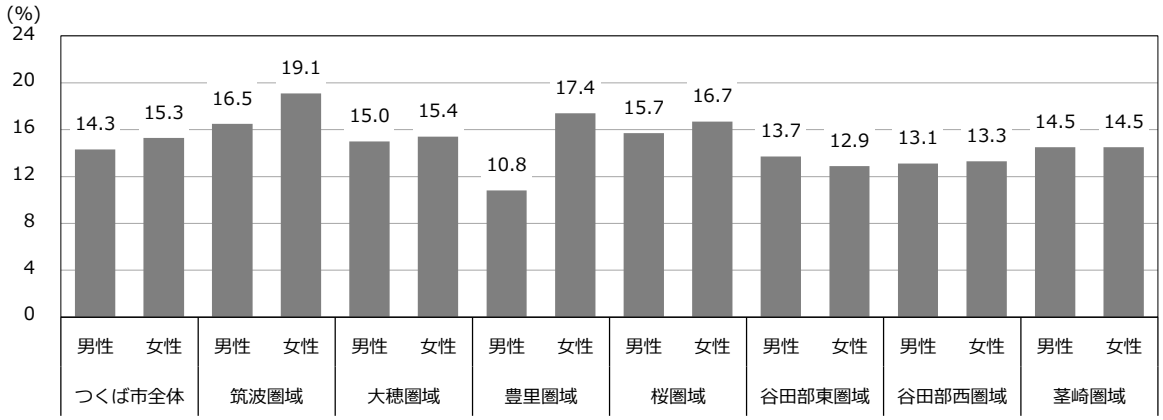
設問名	該当する選択肢
この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

うつについては、男性では「筑波圏域」が 16.5％と最も高く、次いで「桜圏域」が 15.7％となっています。

女性では「筑波圏域」が 19.1％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 17.4％となっています。

（%）

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	7.3	7.0	8.0	7.3
筑波圏域	9.1	7.4	10.0	9.1
大穂圏域	5.0	10.0	8.7	6.7
豊里圏域	5.4	5.4	8.4	9.0
桜圏域	7.5	8.2	8.5	8.2
谷田部東圏域	9.0	4.7	8.0	4.9
谷田部西圏域	7.7	5.4	5.6	7.7
茎崎圏域	5.9	8.6	7.8	6.7



▶IADL

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を 1 点として合計 5 点満点で評価し、5 点を「高い」、4 点を「やや低い」、3 点以下を「低い」とした上で、4 点以下を“低下者”に該当することとしました。

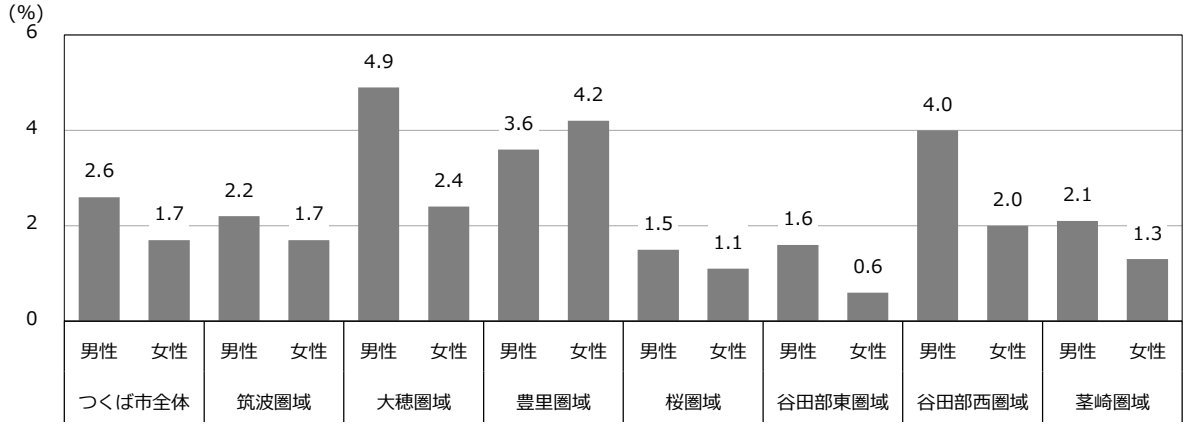
設問名	該当する選択肢
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」、「できるけどしていない」
日用品の買物をしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」

IADL については、男性では「大穂圏域」が 4.9%と最も高く、次いで「谷田部西圏域」が 4.0%となっています。

女性では「豊里圏域」が 4.2%と最も高く、次いで「大穂圏域」が 2.4%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	0.5	2.1	0.2	1.5
筑波圏域	0.0	2.2	0.0	1.7
大穂圏域	0.6	4.3	0.0	2.4
豊里圏域	1.2	2.4	0.6	3.6
桜圏域	0.0	1.5	0.4	0.7
谷田部東圏域	0.3	1.3	0.0	0.6
谷田部西圏域	1.3	2.7	0.0	2.0
茎崎圏域	0.6	1.5	0.0	1.3



▶転倒

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を閉じこもりのリスク該当者としています。

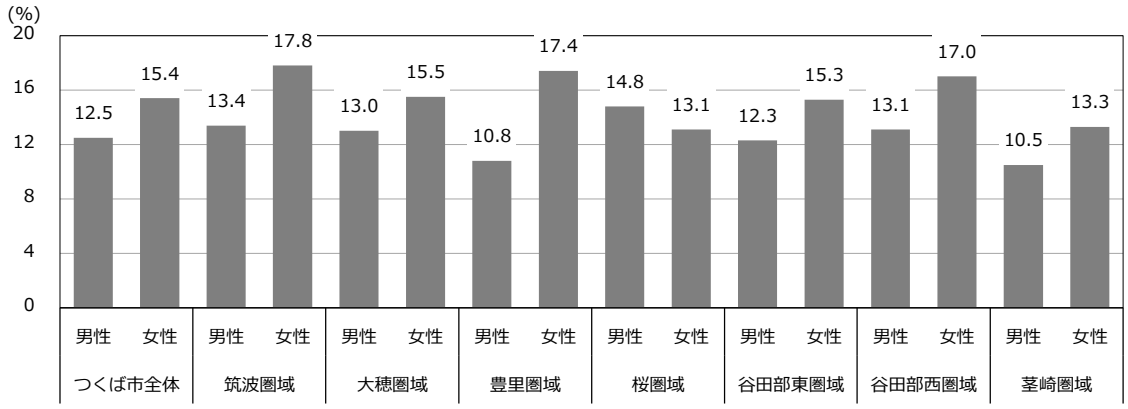
設問名	該当する選択肢
この１年間に転んだことがありますか	「何度もある」または「１度ある」

転倒については、男性では「桜圏域」が 14.8％と最も高く、次いで「筑波圏域」が 13.4％となっています。

女性では「筑波圏域」が 17.8％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 17.4％となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	5.0	7.5	5.8	9.6
筑波圏域	5.2	8.2	7.4	10.4
大穂圏域	3.7	9.3	5.6	9.9
豊里圏域	2.4	8.4	3.6	13.8
桜圏域	6.7	8.1	4.9	8.2
谷田部東圏域	5.6	6.7	6.3	9.0
谷田部西圏域	6.0	7.1	6.7	10.3
茎崎圏域	4.0	6.5	5.6	7.7



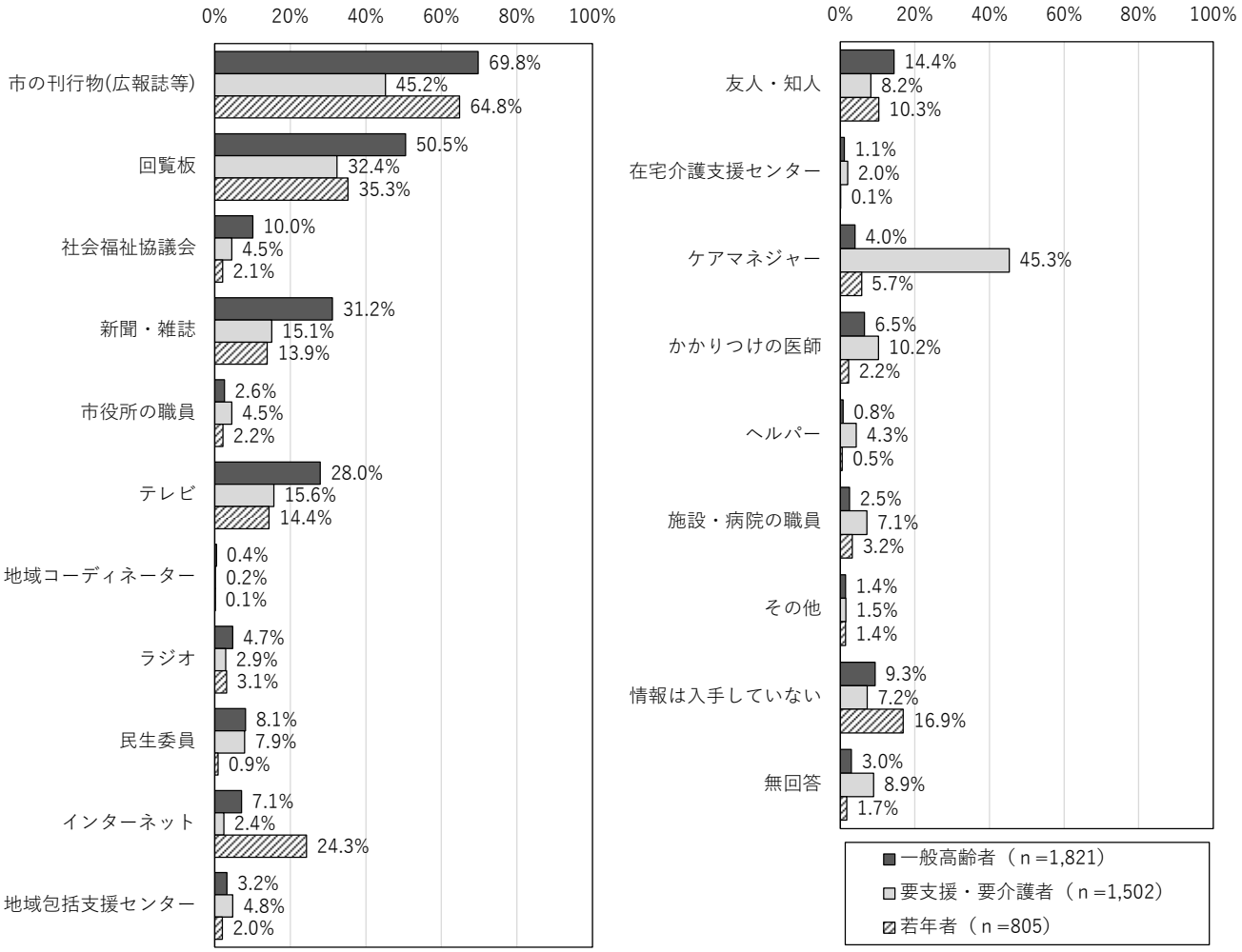
4　つくば市における課題

課題1　地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実

７期計画策定時のアンケート調査において、市のサービスの認知については、市の広報等で情報を得ている人が多くみられたため、内容の充実と周知の拡充に努めてきました。

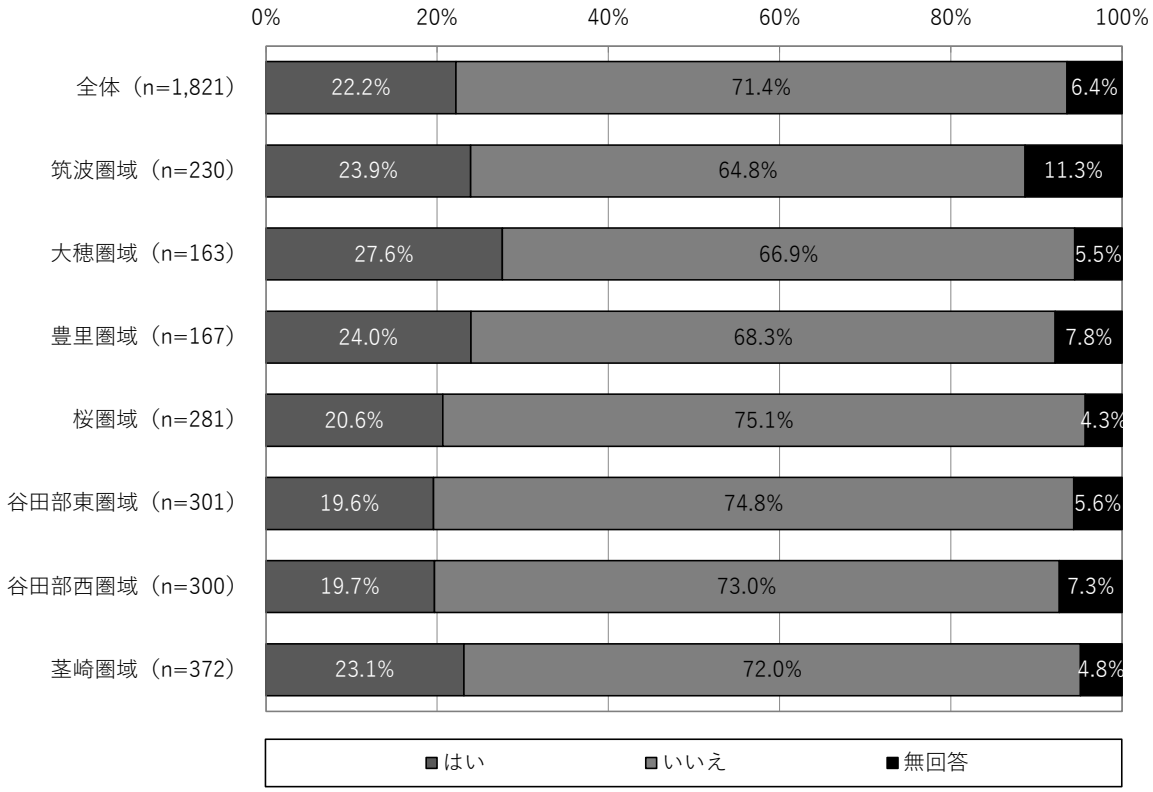
今回のアンケート調査結果をみても、一般高齢者、要支援・要介護者ともに、市の広報誌や回覧板、新聞・雑誌から情報を得ている人が多く見受けられますが、要支援・要介護者ではケアマネジャーという回答が最も多くなっています。

【市のサービスの認知】



しかしながら、介護保険の手続きの仕方がわからないという声や、認知症の相談窓口についても２割程度しか認知されておらず、圏域によって多少の偏りがあることもみえてきました。

【圏域別にみた認知症の相談窓口の認知（一般高齢者）】



今後は、更に多様化し複雑化する高齢者や介護をめぐる問題に対応していくために、ホームページ等のインターネット媒体については、高齢者から敬遠される傾向があるため、多様な手段を活用しながら情報提供の拡充を図っていくことが必要です。また、高齢者のみならず幅広い世代において、困りごとが生じた際に早い段階で適切な支援にたどりつくことができるよう、関係機関との連携を密にし、ワンストップの総合相談体制を強化した地域包括支援センターの一層の周知が求められます。

そのほかに、家族の介護負担については、６割が負担を感じると回答があり、家族介護者が在宅介護を続けていくための支援が求められています。家族介護者への精神面の支援として、要介護高齢者だけでなく、介護者も含めたケアマネジメントに取り組むことや介護者のための相談窓口の充実も重要です。

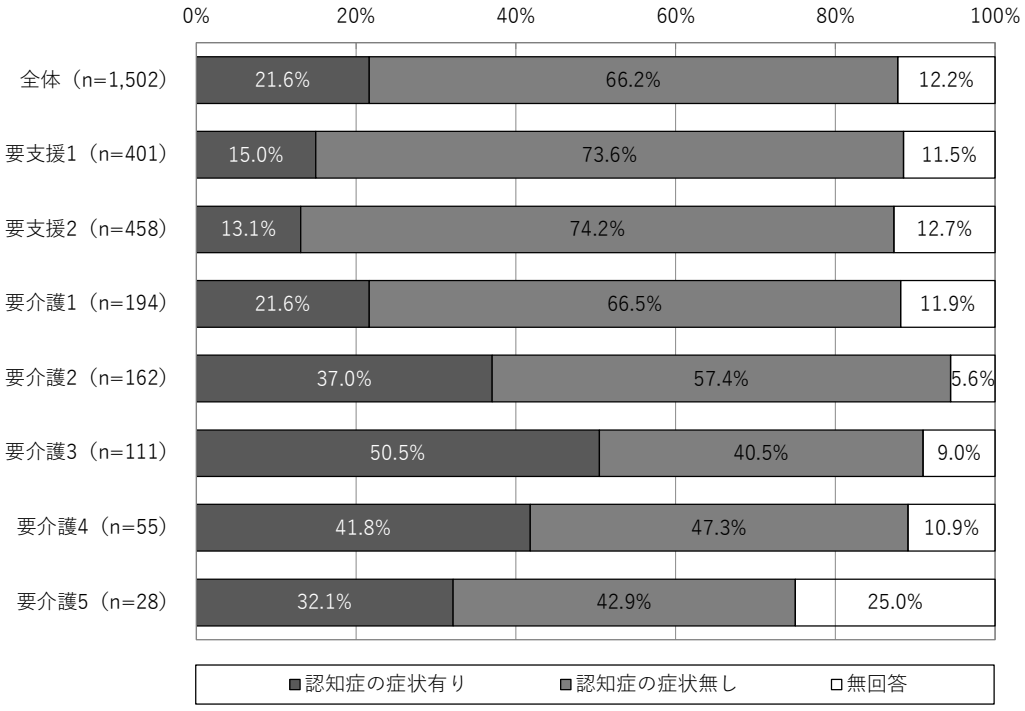
課題2　認知症地域支援や成年後見制度の利用の推進

地域包括システムでは、医療と介護と福祉の連携だけでなく、地域住民による地域の見守りの力が大切な要素となります。高齢化率の上昇により、認知症高齢者数の増加も懸念されるなか、認知症予防の取り組みの強化、早期発見・早期対応の体制強化に努めていくことが必要になっています。

アンケート調査結果をみると、要支援・要介護者における認知症の症状の有無については、全体では約２割となっていますが、介護度が高い人に多いことがみてとれました。

認知症に対する不安感を少しでも軽減するためには、認知症になっても、その人らしく安心して暮らせるための取り組みや情報の発信が必要になります。具体的には、複数の専門職による初期支援体制や市民が参加しやすい認知症カフェの開催、警察や事業所との連携等、本人はもとより家族に対する支援も求められています。若年性認知症の人やひとり暮らし高齢者等の日常生活を支えるためには、地域での居場所の確保や地域包括支援センター等の窓口での相談対応等、本人や家族の生活状況に応じた支援の取り組みも重要です。

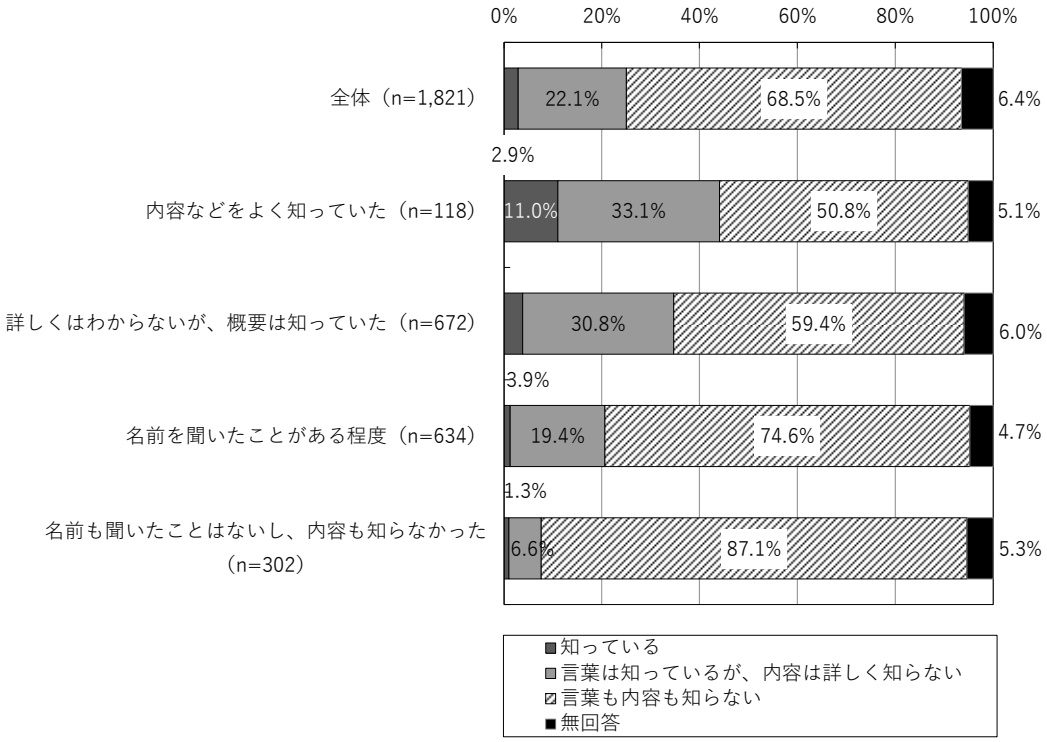
【介護度別にみた認知症の症状の有無（要支援・要介護者）】



成年後見制度の認知については、一般高齢者では約４割、要支援・要介護者では約３割の人が、よく知っている、概要は知っていると回答しています。

また、成年後見制度とＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）の相関関係をみると、成年後見制度の内容を知っている人ほど、ＡＣＰについての認知もしていることがわかりました。

【成年後見制度の認知とＡＣＰの認知の相関関係（一般高齢者）】



高齢者の虐待防止について、地域での見守り活動の重要性の周知・徹底を図り、関係機関との連携や研修等、早期発見のためのネットワークを強化することが大切です。

また、様々な手口を用いた悪質商法による高齢者の被害も増加していますが、こうした消費者被害の背景には、ひとり暮らしまたは夫婦のみで暮らす高齢者が増加し、身近に適切な相談相手がいないという問題があります。

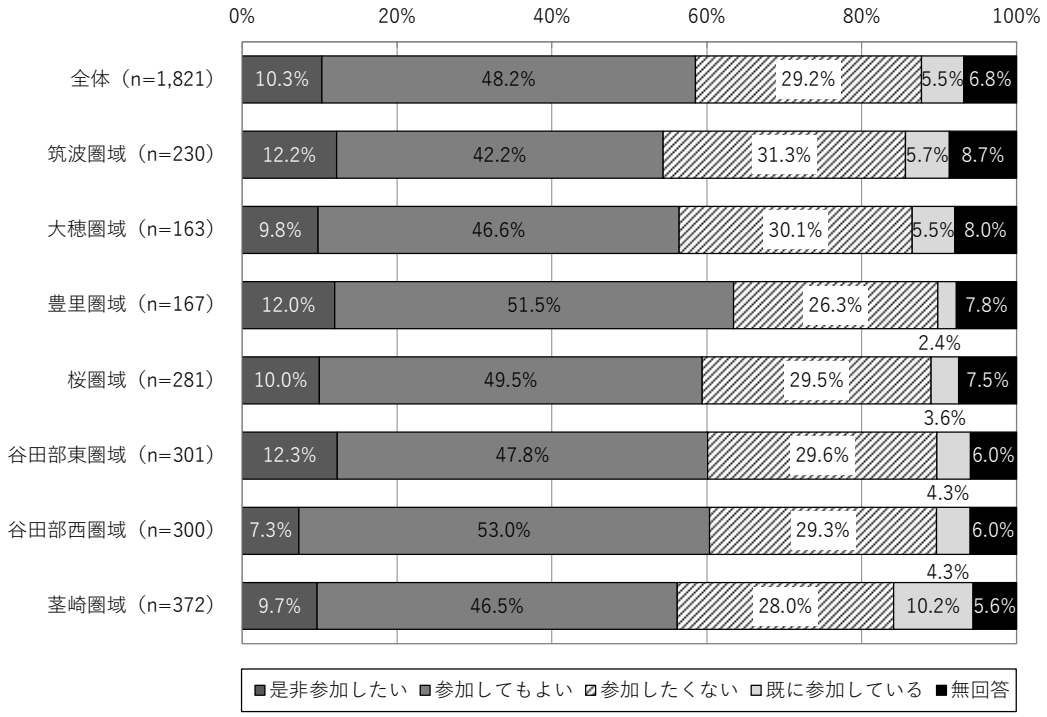
今後、これらの被害を防止するためには、成年後見制度等の利用を促進し、地域包括支援センターや各種ネットワークの活用、市民後見人の養成、日常生活自立支援事業の充実、相談支援の体制を図っていくことが必要です。

課題3　介護予防や健康づくりの推進と介護保険サービスの充実

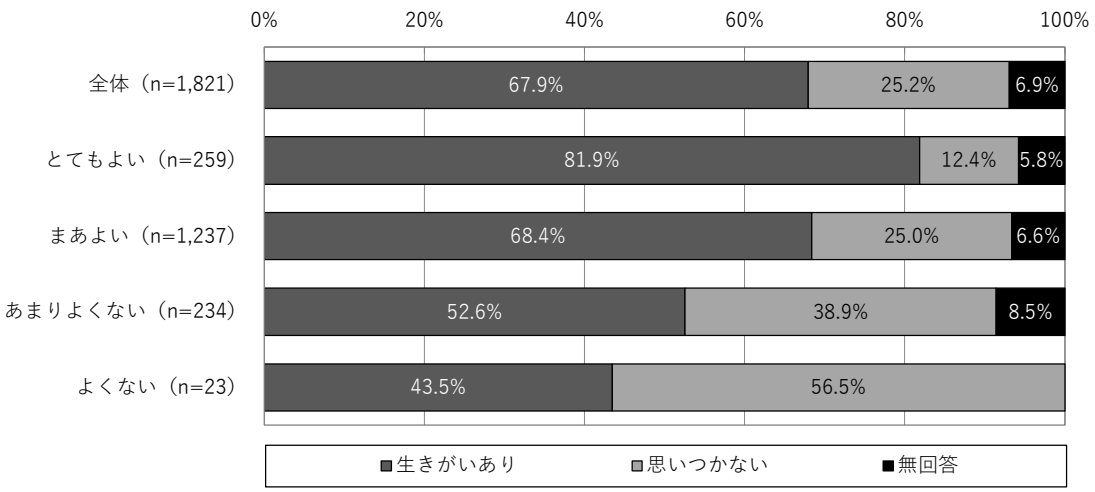
本市ではこれまでに、生活習慣病の予防や心身の機能の維持・改善をするために、健康診査や健康相談事業、そのほか介護予防に取り組むグループの支援、介護予防に関する講演会や講座等をすすめてまいりました。

アンケート調査結果では、一般高齢者では９割以上、要支援・要介護者では７割の人が外出していること、健康づくりや趣味活動への参加意向をみると、一般高齢者では約６割の人の意向がうかがえることや、生きがいの有無と主観的健康観との相関関係も見て取ることができました。

【圏域別にみた健康づくり活動への参加意向（一般高齢者）】

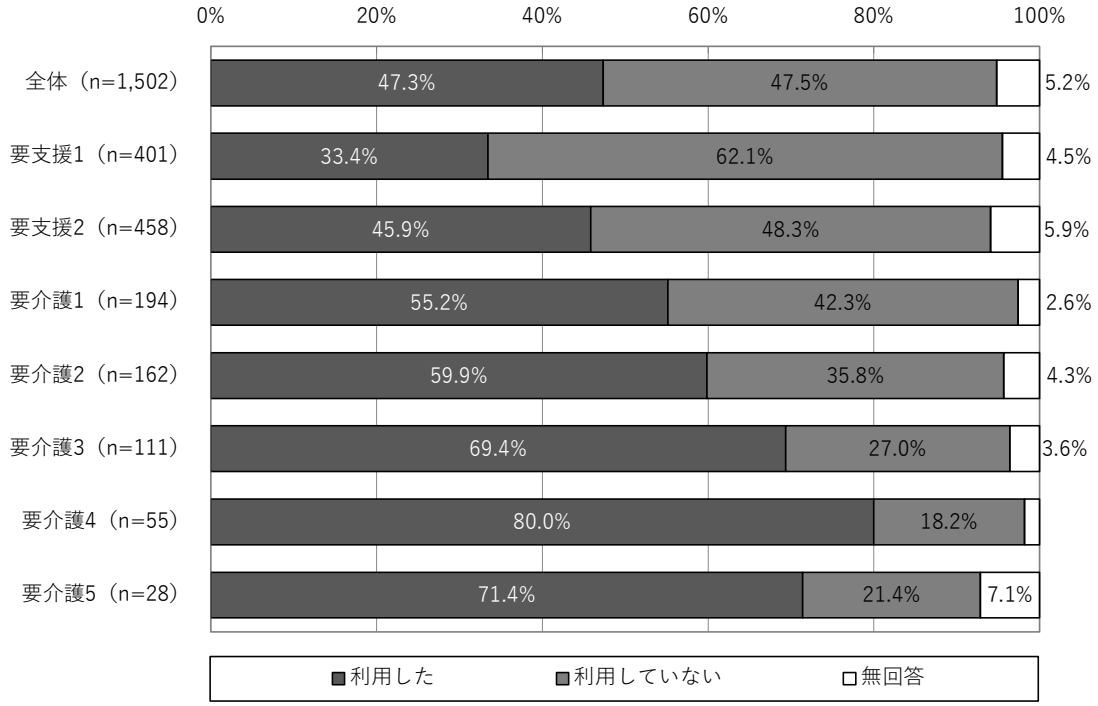


【生きがいの有無と主観的健康観の相関関係（一般高齢者）】



また、要支援・要介護者では約５割の人が、介護保険サービスを利用しており、おおかた７割の人がサービスに満足しています。

【介護度別にみた介護保険サービスの利用】



今後は、閉じこもりリスクを防止し、高齢者のアクティブな生活を支えるため、日ごろから個々で取り組むことのできる心身の健康づくり活動や、人と人とのつながりを通じて介護予防が図れる通いの場等の地域づくりを推進していくことが重要です。

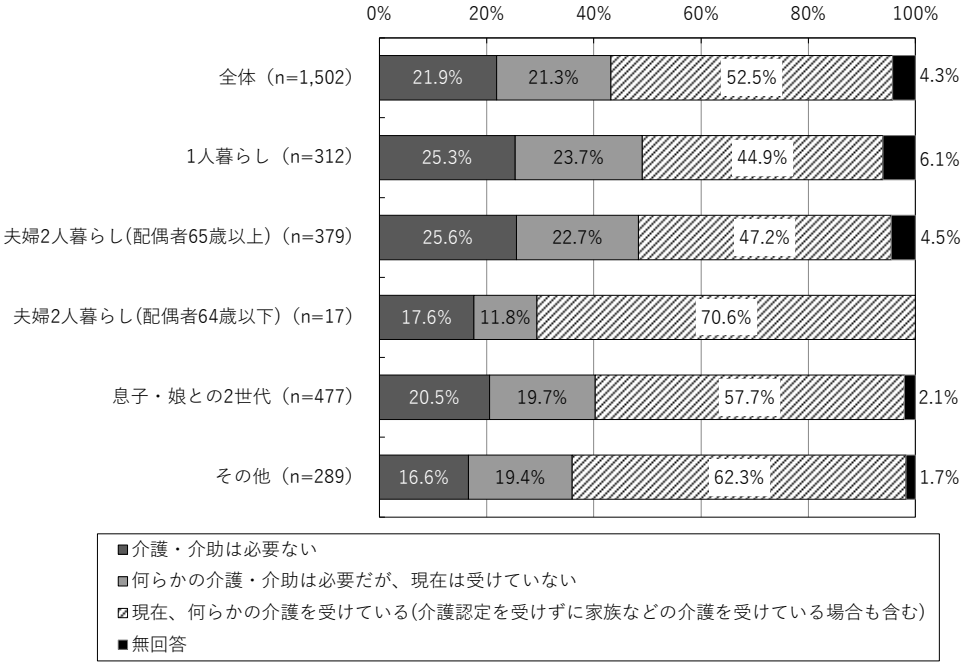
それとともに、引き続き高齢者一人ひとりに応じた適切な健康相談等を講じていくことや、高齢者が介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で暮らしていけるよう、介護保険サービスの一層の充実が必要です。

課題4　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援

本市においては、高齢化率の上昇はもとより、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯数も年々増加傾向にあります。こうした高齢者世帯では、突然の発病やけが、災害等の発生に対して脆弱である場合が多く、高齢化が進むにつれ、定期的な見守りやサポートが不可欠であると言えます。

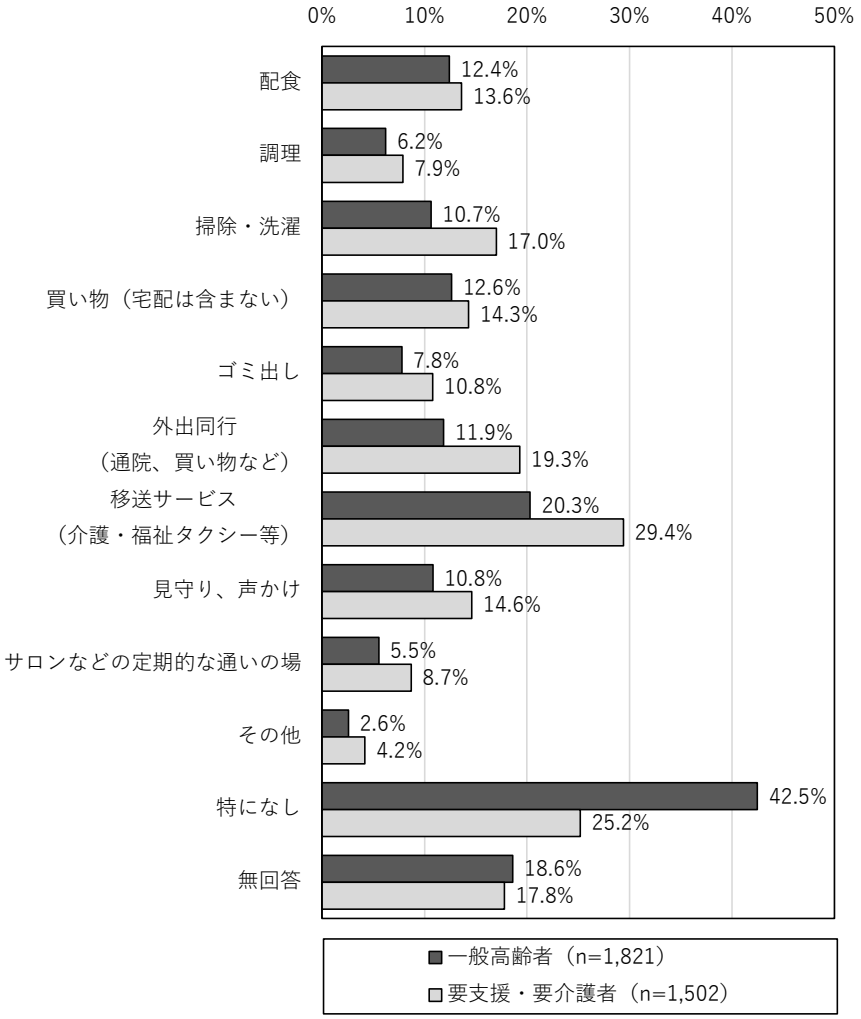
アンケート調査結果をみると、要支援・要介護者状態にあるひとり暮らし高齢者のうち、介護を受けている、ならびに介護は必要だが現在は受けていないと回答した人は約７割となっています。

【家族構成と介護の必要性（要支援・要介護者)】



今後、在宅生活をしていくうえで必要と感じる支援について、一般高齢者、要支援・要介護者ともに介護・福祉タクシー等をはじめとした移送サービスを求める声が多くなっています。

【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援等】



高齢者が住み慣れた地域において、できる限り自宅で暮らしていけるよう、地域資源を活用しサポートしていくことが必要です。

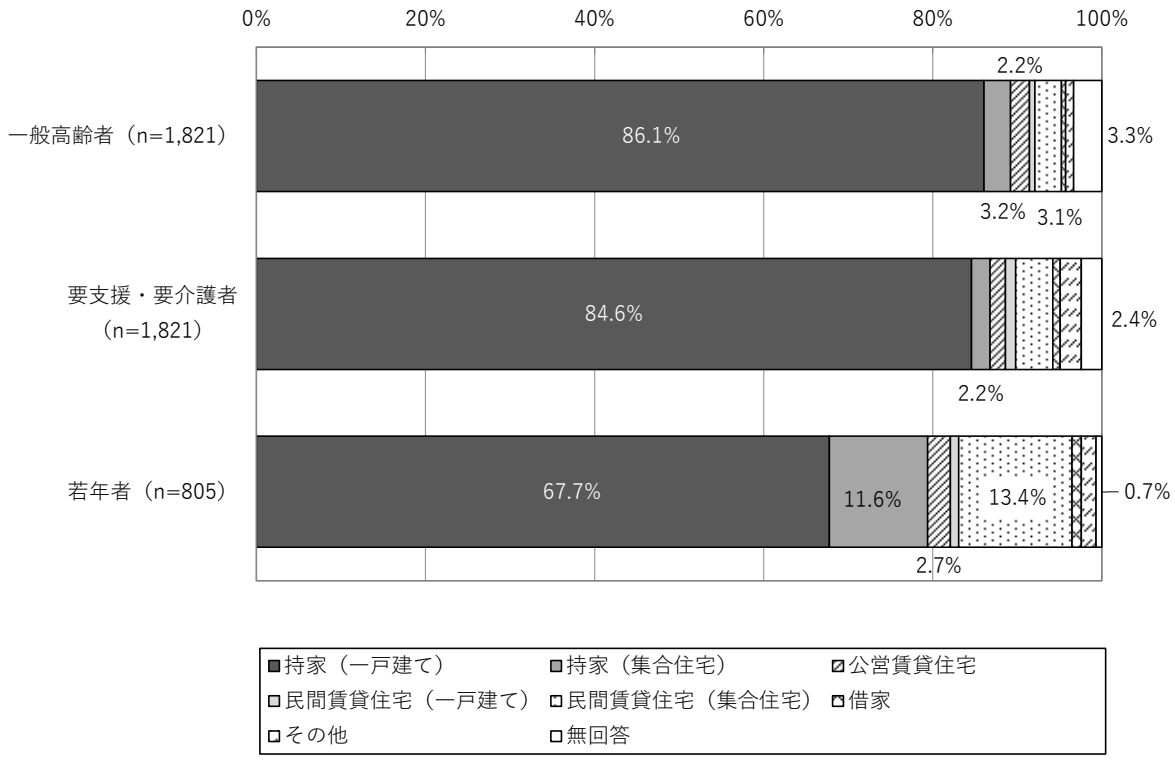
また、市民一人ひとりが在宅医療や介護についての理解を深めていくことや、本人や家族が人生の最終段階を迎えたとき、自宅をはじめとする住み慣れた環境での療養が選択肢となるよう、医療・介護サービスを提供する側の連携強化、見守り等の必要不可欠な生活支援体制が提供されるような地域づくりが求められます。

課題5　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化

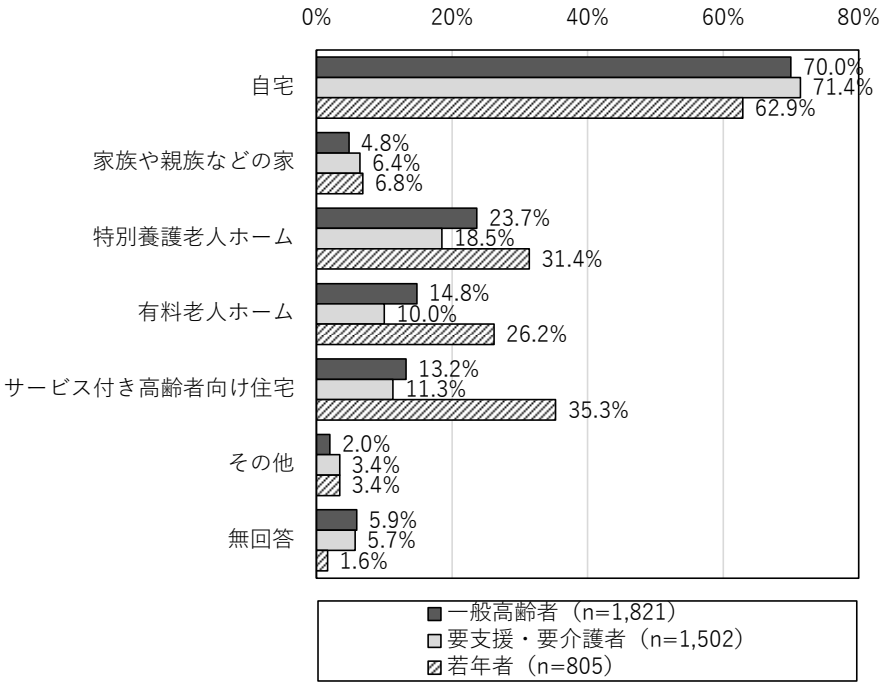
アンケート調査結果では、一戸建ての持ち家に住んでいる人の割合が最も高いことがみてとれますが、高齢者と若年者では 20 ポイント近くの差があります。

また、自身が介護状態になった場合の暮らしについては、自宅を望む声が最も多くなっており、現在の住まいで長く住み続けられるような方向性を市として推進していくことが、市民ニーズに沿うことと考えられます。しかし、借家や建築時期が古い住宅に居住する高齢者の多くが一定のバリアフリー化水準以下の住宅に居住しています。事故防止や予防の観点も含めたかたちでの住宅のバリアフリー化の重要性を周知し、一人ひとりのニーズにきめ細やかに対応した住まいの確保が必要です。

【住まいの状況】



【自身が介護状態になった場合、どこで暮らしたいか】



災害時の対策については、地域のつながりを含めて推進していくことが重要であり、災害に備えた準備活動や、いざという時に支援が必要な方の把握や支援方法の確立が急務となっています。そのため、防災意識の醸成を図り、災害時・緊急時に住民同士が助け合い、支え合えるような仕組みや関係の構築をしていくことや、各主体が連携することが必要です。

また、介護保険において、自力での避難が困難と考えられる入所者の安全を確保するため、対策を強化するよう促すとともに、災害時には避難所としての機能を発揮できるよう、協力を呼びかける必要があります。

第３章　つくば市の高齢者福祉の基本的な考え方

１　計画の基本理念

本市では、第３期計画より『高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり』を基本理念として、高齢者福祉施策や介護保険事業を展開してきました。

本計画においても、この基本的な考え方を継承し、高齢者への介護予防や健康づくり、また、社会参加を促し、地域社会で支えあいながら安心して暮らしていけることを目的とし推進していきます。

高齢者と介護者が生きがいを持ち、

住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり

2　計画の基本的視点

基本視点Ⅰ　高齢者の生きる力を支えます

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康で、できる限り自立した生活を送ることができるよう、日常生活に必要な福祉サービスを中心として、運動機能向上、口腔ケアや認知症予防などテーマに応じた介護予防事業や健康づくり事業の充実を図ります。

また、第７期計画時の制度改正に伴い、要支援者及び基本チェックリスト該当者に対する介護予防や配食・見守り等の生活支援サービスを総合的に提供する介護予防・日常生活支援総合事業を推進してきました。

本格的な高齢化社会が進行し、労働人口が減少する中では、高齢者はこれまでの「支えられる高齢者」だけでなく、地域社会や介助を必要とする高齢者を「支える高齢者」としての役割が求められています。

高齢者の社会参加のニーズは高く、高齢者の地域の社会的な活動への参加は、活動を行う高齢者自身の生きがいや介護予防等にもなります。はりのある生活の維持や高齢者の有する技術や知識を地域で役立たせるため、就労機会、ボランティア活動や趣味・生きがいの講座などソフト面を充実させることで、高齢者の生きる力の維持・創出を支えます。

基本視点Ⅱ　介護者の介護する力を支えます

高齢者が要介護状態になっても住み慣れた自宅で生活し続けるには、地域による見守り支援や介護保険サービスなど公的サービスによる支援といった重層的な支援体制が必要とされます。そのため、介護保険サービスや市の福祉サービスを積極的に利用できるよう、経済的支援などの利用支援を充実させるとともに、介護サービスの提供基盤の充実やサービスの質の向上に取り組み、必要とするサービスを利用しやすい環境の構築を図ります。

また、要介護高齢者が在宅生活を続けるにあたって重要となる家族介護者について、介護の負担を少しでも軽減し介護し続けられるよう、精神面のサポートや一時的な息抜きの場、交流の場などの支援を充実させるとともに、介護サービス事業所と連携して、家族の支援も実施できるよう努めます。

介護者の人材確保・育成についても、将来の要介護者増加に伴う人材不足の解消及び介護離職の防止に努めます。

基本視点Ⅲ　地域で高齢者の生活を支えます

国においては、団塊の世代が 75 歳以上となり、疾病や要介護状態にある高齢者数が大きく増加することが予想される令和 7 年(2025 年)を目標年度とした「地域包括ケアシステム」の完成に向けた取組が進められています。

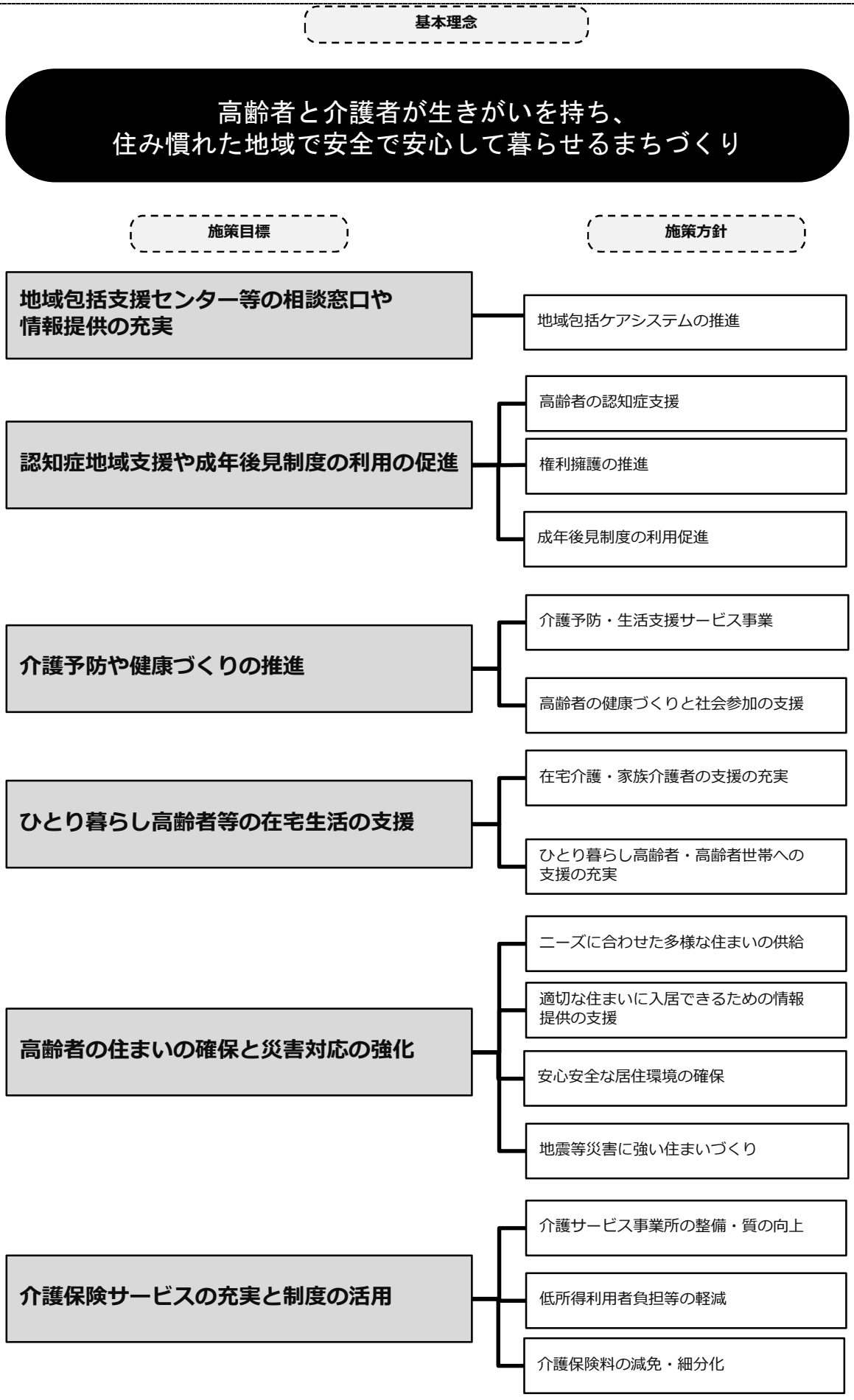
本市では、地域コミュニティ（自助・互助・共助）の連携強化と介護・福祉・保健サービス等（公助）の支援の充実など重層的な支援体制で、地域福祉を推進し地域包括ケアシステムを構築することが必要です。

また、より専門的な相談や事例に対応するため、市や地域包括支援センターは地域の医療・福祉・介護の多職種と関係を強化していきます。

そして、災害時の避難拠点として対応力を強化するため、災害ボランティアの育成配置を進めるとともに、介護施設等の災害時の対応力を高め、要介護認定者等利用者の安全を確保し、かつ、機能するよう耐震整備の促進等、必要な対策を進めます。

さらに、住まいの確保についての取組みや、住まいのバリアフリー化、権利擁護、消費者トラブル対応等、高齢者が安全で安心できる暮らしを確保するため、庁内外の部署・機関との連携の強化を図り、推進します。

3　施策の体系


基本理念
高齢者と介護者が生きがいを持ち、
住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり
施策目標
施策方針
地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実
地域包括ケアシステムの推進
認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進
高齢者の認知症支援
権利擁護の推進
成年後見制度の利用促進
介護予防や健康づくりの推進
介護予防・生活支援サービス事業
高齢者の健康づくりと社会参加の支援
ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援
在宅介護・家族介護者の支援の充実
ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実
高齢者の住まいの確保と災害対応の強化
ニーズに合わせた多様な住まいの供給
適切な住まいに入居できるための情報提供の支援
安心安全な居住環境の確保
地震等災害に強い住まいづくり
介護保険サービスの充実と制度の活用
介護サービス事業所の整備・質の向上
低所得利用者負担等の軽減
介護保険料の減免・細分化

第２部　各 論

第１章　地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実

１　地域包括ケアシステムの推進

（１）地域包括支援センターの充実

①地域包括支援センターの運営体制

担当課	地域包括支援課
事業概要	市では、情報の共有と支援方針の統一を図るため、平成 23 年度より直営の１カ所で地域包括支援センターを運営していました。 高齢者に対して、より身近な存在となり、地域に密着した支援や迅速な対応を行うため、日常生活圏域のうち平成 29 年 10 月に、筑波圏域と茎崎圏域、平成 31 年４月に大穂豊里圏域と谷田部西圏域、令和２年４月に桜圏域、令和２年 10 月に谷田部東圏域に地域包括支援センターを設置し、つくば市全圏域にセンターを設置しました。
今後の方針	地域包括支援センター職員に対する相談支援能力向上のために研修の充実と大穂豊里圏域の地域包括支援センターの増設を検討していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
センター数	2	2	4	6	6	7

②在宅医療・介護連携の推進

担当課	地域包括支援課
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で必要な医療サービス及び介護サービスを一体的に受けられることで、安心して在宅生活を続けられるように、医療及び介護に係る関係機関の調整並びに連携の強化を図り、在宅医療・介護連携を推進します。
今後の方針	市民が、在宅医療と介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、つくば市の「医療と介護のありたい姿（共通指針）」を医療・介護関係者と共有し、多職種連携の課題について、医療・介護・行政が協働して解決していきます。

③地域ケア会議の充実

担当課	地域包括支援課
事業概要	医療・介護・保健・福祉・法律等の多職種が協働し、高齢者等の個別課題の解決に向けた協議をして、介護支援専門員等をはじめとするケアチームによる自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めます。また、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化するとともに、共有された地域課題の解決のため、「生活支援体制整備推進会議」において検討し、必要な社会資源開発や地域づくり、さらには政策形成につなげます。
今後の方針	圏域別ケア会議及び自立支援型個別ケア会議では、個別課題（困難事例、自立支援等）の解決に資する会議となるよう充実を図ります。また、引き続き抽出された地域課題について、自立した生活を営むために必要な生活支援を整えることができるよう、生活支援体制整備事業と連携し、情報共有を図っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
ケア会議回数	36	36（36）	33（36）	36	36	36
参加職種	19	21（16）	25（17）	20	20	20
事例件数	36	36（36）	33（36）	36	36	36

※（　）は7期計画の計画値　　（各圏域2か月に1回の開催　6圏域×6回）

※令和元年度は新型コロナウィルス感染症拡大防止により会議数が減少。

④生活支援体制の整備

担当課	地域包括支援課
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、ＮＰＯや地縁組織などの多様な主体による多様なサービスを提供する体制を構築してまいります。 具体的には、定期的な情報の共有・連携強化の場として中核をなす「協議体」の設置や生活支援サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす調整役として「生活支援コーディネーター」を配置し、多様な主体と連携をとりながら、互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合い・助け合いの体制づくりを推進してまいります。
今後の方針	生活支援コーディネーターと第2層協議体が両輪となって、高齢者の居場所づくりや見守り、ゴミ出し、移動支援などの支えあい助け合いサービスを創出していきます。関係機関と連携を強化し、社会資源調査の周知やニーズ調査を継続して実施していきます。

⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	地域包括ケアネットワークを活用しながら、医療と介護の連携強化に努め、介護支援専門員、主治医をはじめ、地域の様々な関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉・その他の生活支援サービスなどを含め、地域における様々な資源を活用し、途切れることなく、施設・在宅を通じた地域における生活を支援しています。また、高齢者の介護予防ケアマネジメント、要支援認定者の介護予防支援及び介護給付におけるケアマネジメントとの相互の連携を図ることにより、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを行っています。
今後の方針	各地域包括支援センターに配属されている主任介護支援専門員を中心とした地域の主任介護支援専門員のネットワークの充実を図り、高齢者を支える介護支援専門員の資質向上を推進していきます。また、高齢者が住み慣れたところで自立した生活を営めるよう、地域包括ケアシステムの強化に向け、介護保険内外の情報を全てのケアマネジャーが活用し、支援できるように環境を整えていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
延べ参加者数	873	902 (919)	789 (945)	945	970	990

※（　）は 7 期計画の計画値

※令和元年度は新型コロナウィルス感染症拡大防止により会議数が減少。

⑥地域見守りネットワーク事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるように、地域の方から選任した「ふれあい相談員」や見守りを直接行う「見守り支援員」と社会福祉協議会が協力し、見守りが必要な方に対し地域で見守ることができる仕組みづくりを進めています。必要に応じて専門機関や行政と連携し、地域の安心を支える活動です。 ①近隣住民によるさりげない見守り活動、②気になる方への「見守りチームづくり」、③孤立した要援護者の発見と報告、これら３つの役割を柱とし、この活動を支援する地域の組織づくりも同時に推進しています。
今後の方針	区長や民生委員と連携し、その地域に適した相談役を見つけ、設置に向けて積極的に働きかけを行うことと、登録のメリットを含めた事業の周知を今後も継続していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
相談員数	150	163 （170）	160 （200）	170	180	190
登録者数	396	429 （450）	405 （500）	420	440	460

※（　　）は７期計画の計画値

（２）介護・福祉サービスの情報提供・相談体制の充実

①市民に対する情報提供

担当課	介護保険課・高齢福祉課・地域包括支援課
事業概要	市民に対して、要支援・要介護認定方法、サービスの利用手続きや保険料の賦課・徴収の仕組みなど、介護保険全般に関するわかりやすい情報の提供を広報紙や市民べんり帳、ホームページを通じて周知しています。
今後の方針	高齢者の情報入手手段は、市の刊行物（広報紙等）や回覧を利用されている人が多いため、必要な情報を分かりやすく整理し、広報紙等の内容の充実と拡充を図ります。特に、介護保険サービスが必要になる前の方々に対して、在宅医療、介護、認知症についての啓発活動や出前講座を行い、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進します。

②出前講座

担当課	介護保険課・地域包括支援課
事業概要	集会場や地域交流センターなど地域に出向き、希望に沿った福祉に関する講話や福祉制度の説明等を行うことにより、福祉等への関心を高め、地域福祉活動のきっかけをつくるなど市民に対する福祉啓発を行うとともに、地域で行われている福祉活動への支援を図っています。
今後の方針	地域のニーズを捉え、メニューの開発により市民からの依頼に対する体制づくりを行います。あわせて市民が必要な情報、知りたい情報を発信できる出前講座を実施していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実施回数	62	99（25）	63（26）	55	55	55

※（　）は 7 期計画の計画値

※平成 30 年度は学校からの依頼があったり、地区での講座開催の回数が多かった。

③総合相談支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	地域の高齢者の総合相談窓口として、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握して、地域における適切なサービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っています。
今後の方針	関係機関等との連携を密にし、各種制度の情報や支援方針の共有を図り、ワンストップの総合相談体制を強化します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実相談者数	2,128	3,565 （820）	5,602 （830）	6,498	6,540	6,600
延べ 相談件数	2,905	5,956 （2,380）	8,823 （2,450）	10,590	10,800	11,400

※（　）は 7 期計画の計画値

④介護サービス相談員派遣事業

担当課	介護保険課
事業概要	介護サービスを提供している事業所に、介護相談・地域づくり連絡会が主催する介護相談員養成研修を受講した相談員を派遣し、利用者からの介護サービスに関する疑問や不安、また、職員に直接言いにくいことなどの相談に応じて、介護サービス提供事業所との橋渡しをしながら、問題の改善や介護サービスの質の向上を図っています。
今後の方針	新規に事業を開始する介護サービス提供事業所についても、相談員の訪問受け入れの協力をお願いし、より多くの利用者の疑問や不安の解決にむけた相談に応じられる体制を整えます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
延べ事業所数	142	159 (173)	143 (178)	188	193	198

※（　）は 7 期計画の計画値

第２章　認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進

１　高齢者の認知症支援

（１）高齢者の認知症支援

①認知症サポーター養成事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症サポーター養成講座を地域や職域、学校などで開催し、講座を通じて、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく支援する認知症サポーターを、キャラバン・メイト（ボランティア）と協力して養成します。また、認知症サポーター養成講座を受講された方で、「もっと活動したい」「スキルアップをしたい」という方に対して、ステップアップ講座を開催しています。平成29年9月30日現在で10,047 名を養成しています。
今後の方針	地区活動を基盤にキャラバン・メイトの活動支援と協働により開催を推進していきます。特に学校関係への講座を開催し、若い世代の認知症理解を広げていきます。また、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症サポーターを中心とした早期からの継続支援の活動を行うチームオレンジの立ち上げを進めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	R4年度	R5年度
サポーター養成数	1,426	3,079 （2,360）	3,082 （2,430）	2,500	2,500	2,500

※（　）は７期計画の計画値

②認知症声かけ模擬訓練

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症高齢者が行方不明になる問題の増加は、大きな社会問題となっています。そして、地域と連携し、認知症による外出行動と限定した高齢者役に声かけする模擬訓練を行い、安心して生活できる地域づくりをしていきます。
今後の方針	高齢者に限らず、すべての市民が認知症を正しく理解するとともに、より具体的な認知症の方への対応方法を身につけることができるよう認知症声かけ模擬訓練を実施していきます。また、実施後に継続してフォローアップできる体制を構築し、認知症の人に対して地域の見守りができる体制づくりを目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加者数	367	376 （209）	88 （215）	220	220	220

※（　　）は 7 期計画の計画値

※毎年 1 小学校区で開催するところ、平成 29、30 年度は地元からの依頼があり、 2 小学校区で開催したため。

③認知症ケアパスの確立

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症ケアパスとは、認知症を発症したときから生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせていつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかをあらかじめ標準的に決めておくもので、国においては、地域に応じた認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成と普及が推進されています。
今後の方針	定期的に内容の見直しを実施し、認知症に関する知識や相談窓口等の最新の情報を発信します。また、認知症の早期発見、早期診断および認知症の方やその家族等が必要な支援につながるよう認知症ケアパスの活用を促進します。

④認知症カフェ

担当課	地域包括支援課
事業概要	つくば市内に住所を有する認知症高齢者及びその家族並びに地域住民を対象にし、レクリエーション講演会など本人の生活意欲の向上のための企画や専門職による介護者への相談支援、地域の人への認知症理解のための啓発などを行います。
今後の方針	認知症の人やその家族だけでなく、地域の方々が認知症を正しく理解しながら交流し、認知症の方が住みやすいまちづくりを推進します。また、参加しやすいよう７つの日常生活圏域での認知症カフェの開設を目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
開催数	12	37 （24）	43 （36）	72	78	84
延べ 参加者数	280	672 （550）	766 （830）	1,080	1,170	1,260

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑤認知症初期集中支援チーム

担当課	地域包括支援課
事業概要	複数の専門職（認知症初期集中支援チーム）が、認知症が疑われる人や生活上の困難を抱えている認知症高齢者及びその家族を自宅訪問し、複数の専門職による生活状況の観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行います。
今後の方針	チーム員のスキルアップを図り、認知症の早期診断と早期対応により、認知症の方や介護者等の負担が軽減するよう支援します。また、対応した事例をもとに地域課題を明らかにし、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
新規 支援者数	5	19	26	30	40	50

※平成 29 年 11 月からの実施

⑥認知症高齢者ＳＯＳネットワーク事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	行方不明のおそれのある認知症高齢者が事前登録し、行方不明になった場合に、早期に発見できるよう認知症支援メール登録者と協力事務所に情報発信し、支援体制を構築し、高齢者の安全と家族等への支援を行います。
今後の方針	行方不明になった高齢者の早期発見のため、認知症支援メール登録者と協力事業所の拡大を目指します。また、警察署と情報共有し保護した高齢者を早期に家族等へ引き継げる体制を整備します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
支援ﾒｰﾙ登録数	131	168	676	740	770	800

※令和元年度からつくば市メールサービスから登録できるようになったため増加。

⑦認知症高齢者等保護支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	行方不明のおそれのある高齢者を介護している家族に対して、認知症の高齢者が身につける位置情報端末機の貸与を行い、行方不明時に家族がインターネットや電話で位置情報等を確認できるシステムを提供することで、高齢者の保護を支援しています。
今後の方針	認知症の方の安全確保と介護者の負担軽減のため事業を継続し、必要とする方に利用していただくため、利用しやすい小型の機種の導入などの事業の周知、普及に努めていく。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	5	9（4）	8（4）	10	12	14

※（　）は７期計画の計画値

2　権利擁護の推進

（１）権利擁護の推進

①権利擁護事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるように専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行っています。 高齢者虐待の対応では、通報・相談機関として位置づけられ、関係者のネットワークを構築して虐待発生の防止、被虐待者の保護、養護者への支援など問題解決に向けた取組を図っています。
今後の方針	高齢者の権利を守るため、関係機関等で構成される虐待防止ネットワークとの連携を図り、高齢者虐待の未然防止を視野に入れた普及啓発を推進します。 成年後見制度の利用促進のため、「つくば市成年後見制度利用促進基本計画」を策定し、取組を強化していきます。

②日常生活自立支援事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等とそれに伴う日常的金銭管理を支援するものです。 判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等であって、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方）で、尚且つ本事業の契約の内容について判断し得る能力を有していると認められる方が対象となります。
今後の方針	権利擁護支援体制の地域ネットワーク構築の一翼を担えるよう、サービス提供体制の拡大を図ります。なお、必要とする人には成年後見制度への円滑な移行を支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
相談件数	1,479	2,135	1,921			
契約件数	26 （年度末）	23 （年度末）	27 （年度末）	40 （延べ）	50 （延べ）	60 （延べ）

③高齢者の消費者トラブルの防止

担当課	地域包括支援課
事業概要	消費生活の安全対策は、住民の暮らしに直接関わる問題であり、高齢者をはじめ住民全体が正しい認識を持ち、地域でも支えられるように取り組むため、消費生活支援センターと連携し被害救済・相談業務を行い、消費者教育（学校教育や社会教育との連携）、広報紙、パンフレット等を通じて正しい情報の提供に努めます。
今後の方針	被害救済や相談、各種制度の情報提供のため消費生活センターとの連携を強化します。また、対象者の状況に応じて適切に日常生活自立支援事業や成年後見制度等の権利擁護の支援を実施します。

3　成年後見制度の利用促進（つくば市成年後見制度利用促進基本計画）

（１）成年後見制度利用促進に当たっての基本的な考え方及び目標値等

①つくば市成年後見制度利用促進基本計画の位置付け

「つくば市成年後見制度利用促進基本計画」（以下「基本計画」という。）は、成年後見制度の利用の促進に関する法律（以下「促進法」という。）第 12 条第 1 項に基づき、成年後見制度の利用の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定された国の基本計画を踏まえ、促進法第 14 条に沿って、つくば市における成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画と位置付けます。対象期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 3 年間とします。

②基本的な考え方

成年後見制度は、ノーマライゼーションや自己決定権の尊重等の理念と、本人保護の理念との調和の観点から認知症や知的障害、精神障害によって判断能力が不十分な人に対して、成年後見人・保佐人・補助人(以下、「後見人」という。)がその判断能力を補うことによって、その人の生命、身体、自由、財産等の権利を擁護するという点に制度の趣旨があり、これらの点を踏まえ、国民にとって利用しやすい制度とすることを目指して導入された制度です。また、今後、認知症高齢者の増加や単独世帯の高齢者の増加が見込まれる中、成年後見制度の利用の必要性が高まっていくと考えられます。

③今後の施策の目標等

ア）利用者がメリットを実感できる制度・運用へ改善を進めます。

（a）利用者に寄り添った運用

成年後見制度においては、後見人による財産管理の側面のみを重視するのではなく、認知症高齢者や障害者の意思をできるだけ丁寧にくみ取ってその生活を守り権利を擁護していく意思決定支援・身上保護の側面も重視し、利用者がメリットを実感できる制度・運用とすることを基本とします。

（b）保佐・補助及び任意後見の利用促進

〇成年後見制度の利用者の能力に応じたきめ細かな対応を可能とする観点から、成年後見制度のうち利用が少ない保佐及び補助の類型の利用促進を図るとともに、利用者の自発的意思を尊重する観点から、任意後見制度が適切かつ安心して利用されるための取組を進めます。

〇認知症の症状が進行する高齢者等について、その時々の判断能力の状況に応じ、補助・保佐・後見の各類型間の移行を適切に行う。このため、その時々の心身の状況等に応じた見守り等、適切な権利擁護支援を強化します。

〇また、任意後見や保佐・補助類型についての周知活動を強化するとともに、早期の段階からの制度利用を促進するため、利用者の個別のニーズを踏まえた周知活動・相談対応等も強化します。

イ）必要な人が成年後見制度を利用できるよう、権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築を図ります。

〇成年後見制度の利用が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携を進めます。

〇今後の成年後見制度の利用促進の取組も踏まえた需要に対応していくため、地域住民の中から後見人候補者を育成しその支援を図るとともに、法人後見の担い手を育成することなどにより、成年後見等の担い手を確保します。

（２）成年後見制度の利用の促進に向けた施策

①権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり

★地域連携ネットワークの三つの役割

上記目標を達成するため、以下の三つの役割を念頭に、従来の保健・医療・福祉の連携（医療・福祉につながる仕組み）だけでなく、新たに、司法も含めた連携の仕組み（権利擁護支援の地域連携ネットワーク）を構築する必要があります。

ア）権利擁護支援の必要な人の発見・支援

〇地域において、権利擁護に関する支援の必要な人（財産管理や必要なサービスの利用手続を自ら行うことが困難な状態であるにもかかわらず必要な支援を受けられていない人、虐待を受けている人など）の発見に努め、速やかに必要な支援に結び付けます。

イ）早期の段階からの相談・対応体制の整備

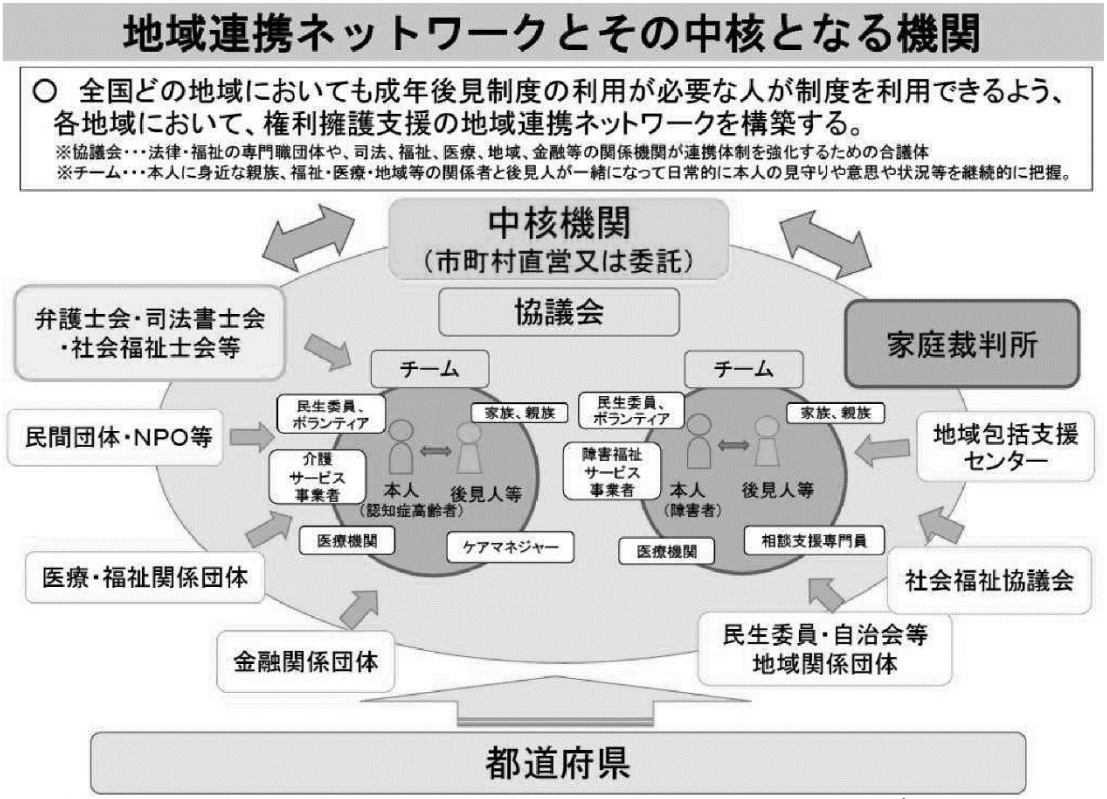
〇早期の段階から、任意後見や保佐・補助類型といった選択肢を含め、成年後見制度の利用について住民が身近な地域で相談できるよう、窓口等の体制を整備します。

ウ）意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制の構築

○成年後見制度を、本人らしい生活を守るための制度として利用できるよう、本人の意思、心身の状態及び生活の状況等を踏まえた運用を可能とする地域の支援体制を構築します。

★地域連携ネットワークの基本的仕組み

地域連携ネットワークは、以下の二つの基本的仕組みを有するものとして構築を進めます。



厚生労働省 令和元年度第2回 成年後見制度利用促進会議「参考資料２ 成年後見制度利用促進基本計画のポイント・概要」から引用

ア）本人を後見人等とともに支える「チーム」

○地域全体の見守り体制の中で、権利擁護支援が必要な人を地域において発見し、必要な支援へ結び付ける機能を強化します。

○権利擁護支援が必要な人について、本人の状況に応じ、成年後見・保佐・補助(以下、「後見等」という。)開始前においては本人に身近な親族や福祉・医療・地域の関係者が、後見等開始後はこれに後見人が加わる形で「チーム」としてかかわる体制づくりを進め、法的な権限を持つ後見人と地域の関係者等が協力して日常的に本人を見守り、本人の意思や状況をできる限り継続的に把握し対応する仕組みにします。

イ）　つくば市成年後見制度推進事業運営委員会及びつくば市成年後見制度利用支援会議(以下、「運営委員会及び支援会議」という。）

※上記イメージ図の「協議会」に相当

○後見等開始の前後を問わず、成年後見制度に関する専門相談への対応や、後見等の運用方針等についての家庭裁判所との情報交換・調整等に適切に対応するため、個々のケースに対する「チーム」での対応に加え、地域において、法律・福祉の専門職団体や関係機関がこれらのチームを支援する体制を構築します。

○このため、各地域において各種専門職団体・関係機関の協力・連携強化を協議する協議会等を設置し、個別の協力活動の実施、ケース会議の開催や、多職種間での更なる連携強化策等の地域課題の検討・調整・解決などを行います。

★地域連携ネットワークの中心となる機関

上記の地域連携ネットワークを整備し、運営委員会及び支援会議を運営する中心となる機関を中核機関といい、社会福祉法人つくば市社会福祉協議会が設置する「つくば成年後見センター」を中核機関と位置付け、下記の役割を担います。

ア）広報機能

○地域連携ネットワークに参加する司法、行政、福祉、医療、地域などの関係者は、成年後見制度が本人の生活を守り権利を擁護する重要な手段であることの認識を共有し、利用する本人への啓発活動とともに、そうした声を挙げることができない人を発見し支援につなげることの重要性や、制度の活用が有効なケースなどを具体的に周知啓発していくよう努めます。

○地域における効果的な広報活動推進のため、広報を行う各団体・機関（茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部、茨城県社会福祉士会、つくば市役所、福祉事業者、医療機関、金融機関、民生委員、区会等）と連携しながら、パンフレット作成・配布、研修会・セミナー企画等の広報活動が地域において活発に行なわれるよう配慮します。

○また、広報活動を実施する際には、任意後見、保佐・補助類型を含めた成年後見制度の早期利用も念頭においた活動とします。

イ）相談機能

〇専門職団体や法テラス等の協力を得て成年後見制度の利用に関する相談に対応する体制を構築します。

〇以下のような関係者からの相談対応、後見等ニーズの精査、見守り体制の調整を行います。

・権利擁護に関する支援が必要なケースについて、後見等ニーズに気付いた人、地域包括支援センター、障害者相談支援事業者等の関係者からの相談に応じ、情報を集約するとともに、必要に応じて茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部・茨城県社会福祉士会等の支援を得て、本人の意思を尊重しながら、権利を守る視点で、最も適切な類型選択ができるよう、後見等ニーズの精査と、必要な見守り体制（必要な権利擁護に関する支援が図られる体制）に係る調整を行います。

ウ）成年後見制度利用促進機能

（a）受任者調整（マッチング）等の支援

〇親族後見人候補者の支援

・後見人になるにふさわしい親族がいる場合、本人の状況に応じ、当該親族等へのアドバイス、専門職へのつなぎ、当該親族等が後見人になった後も継続的に支援できる体制の調整等を行います。

〇市民後見人候補者等の支援

・市民後見人が後見を行なうことがふさわしいケースについては、市民後見人候補者へのアドバイス、後見人になった後の継続的な支援体制の調整等を行ないます。

〇専門職後見人の受任者調整（マッチング）

・専門職後見がふさわしいケースは、専門職団体（茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部・茨城県社会福祉士会）と連携し、各会において円滑に人選を行えるよう連携を強化します。

（b）担い手の育成・活動の促進

〇市民後見人の研修・育成・活用

・市民後見人の育成については、これまでも行なってきているが、市民後見人の積極的な活用が可能となるよう取組みます。

・さらに、市民後見人がより活用されるための取組みとして市民後見人養成講座の修了者については、法人後見を実施する社会福祉協議会における後見業務や

見守り業務など、後見人となるための実務経験を重ねます。

（c）成年後見制度を利用できる環境の整備

〇成年後見制度利用支援

・つくば市は、成年後見制度が、様々な理由で利用できない人に対して、申立費用や成年後見等への報酬助成、必要に応じて市長申立を行います。

エ）後見人支援機能

〇親族後見人や市民後見人等の日常的な相談に応じるとともに、必要なケースについては、後見人と本人の親族や支援関係者等がチームとなって本人を見守り、本人の状況を継続的に把握し適切に対応する体制を作ります。

〇本人の状況が、法律・福祉専門職による支援が必要な場合、各専門職団体や支援関係者がチームとなりケース会議開催等を通して、意思決定支援・身上保護を重視した後見活動が行われるよう支援します。

★不正防止機能

成年後見制度における不正事案は、親族後見人等の理解不足や知識不足から発生することが多いことから、地域連携ネットワークやチームでの支援体制整備により、親族後見人等が日常的に相談できる体制を整備し、不正の発生を未然に防ぎます。

②関係団体の役割

茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部・茨城県社会福祉士会等といった法律専門職団体や福祉関係者団体等は、地域における協議会等に積極的に参加し、地域連携ネットワークにおける相談対応、チームの支援等の活動などにおいて積極的な役割が期待されます。

ア）福祉関係者団体

〇今後、成年後見制度において本人の意思決定支援・身上保護を重視した運用を進める上で、茨城県社会福祉士会など福祉関係団体は、以下のような役割が一層期待されます。

・ソーシャルワークの理念や技術などに基づく本人の意思決定の支援

・福祉に関する相談の一環として行われる成年後見制度の利用相談、制度や適切な関係機関の紹介

・日常的な見守りにおけるチームの支援や、後見の運用方針における専門的な助

言等の活動

〇社会福祉法人においては、地域における公益的な取組として、法人後見を実施するなど、成年後見制度の普及に向けた取組の実施が期待されます。

イ）法律関係者団体

〇今後も、複雑困難な後見等の事案や、財産管理が重視される事案、本人と後見人との間に利害の対立が生じている事案等においては、法律関係団体の関与が必要不可欠であり、以下のような役割が期待されます。

・法的観点からの後見等ニーズの精査や成年後見制度の利用の必要性、類型該当性等を見極める場面での助言や指導、ケース会議等への参加

・多額の金銭等財産の授受や遺産分割協議等の高度な法律的対応が必要となる案件等について、適切な後見人及び成年後見監督人等の候補者を推薦

・親族後見人、市民後見人等の選任後において、知識不足や理解不足から生じる不正事案発生等を未然に防止するため、支援機能の一環として、後見人に対する指導や助言、必要に応じて成年後見監督人等として関与

・本人と後見人との利害が対立した場合の調整に加え、協議会等における専門的な指導、助言等の活動

（３）成年後見制度利用促進基本計画の評価指標

本計画の進捗状況を把握し、必要に応じて、見直しや改善を行うため、以下の指標を設定します。

①利用者の把握と早期発見・早期支援の活動指標

区分		実績値	計画値		
年度		R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
権利擁護相談延件数	全地域包括支援センター	503	550	580	600
	障害者地域支援室・障害者相談支援事業所	56	70	75	80
	つくば成年後見センター	206	250	270	290

②各種制度の利用促進に向けた活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
日常生活自立支援事業延利用件数（うち新規）	27（２）	40（10）	50（10）	60（10）
成年後見制度利用者数	171	190	200	210

※成年後見制度利用者数は、つくば市内で成年後見・保佐・補助・任意後見を利用している人数の合計である。

③講座や研修の活動指標（集計は、参加者アンケートで実施）

区分	実績値	計画値		
年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
入門的内容の講座参加者が 制度利用に積極的になった割合		70%以上	70%以上	70%以上
応用的内容の研修参加者が 他者に説明できる自信をつけた割合		70%以上	70%以上	70%以上

※入門的内容の講座とは、依頼による出前講座やセンターが実施するテーマ別講座をいう。応用的内容の研修とは、市民向け・専門職向け研修会をいう。

④成年後見人等の業務支援の活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
成年後見人等からの相談実人数		5	7	10

⑤市民後見人(法人後見支援員)の活動状況の活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
延活動回数		30	40	50

⑥チーム会議への中核機関の参加の活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加回数		12	18	24

第３章　介護予防や健康づくりの推進

１　介護予防･生活支援サービス事業

（１）新しい介護予防･生活支援サービス事業

①基準緩和型訪問サービス

担当課	介護保険課・高齢福祉課
事業概要	生活援助については新たな担い手によるサービス提供が行われ、有資格者は有資格者のみが行える身体介護業務に比重を移していくことにより、介護サービス全体の人材確保につながるような仕組みを構築していきます。
今後の方針	ニーズを把握しながら、サービスを提供する事業所および利用者の増加に努めます。

②訪問型短期集中予防サービス

担当課	地域包括支援課
事業概要	保健･医療の専門職によって、心身の状況に応じた個別計画に基づいて運動指導を短期集中的に行うことで、生活機能や日常生活動作の維持･改善を行い、地域での活動や自立につなげる仕組みを構築します。
今後の方針	令和２年度新規事業より、新しいプログラムである「低栄養改善口腔機能向上プログラム」を追加し、より多くの高齢者に利用してもらうことで、生活機能や日常生活動作の維持・改善を行い、地域での活動や自立につなげていきます。 多くの人の利用を促進するため、住民や専門職へのさらなる周知･啓発を図っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
			6	10	12	15

③基準緩和型通所サービス

担当課	介護保険課・高齢福祉課
事業概要	利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を行うことができるよう、必要な日常生活上の支援を行うことにより、利用者の社会参加の促進及び生活機能の維持または向上を目指します。
今後の方針	ニーズを把握しながら、サービスを提供する事業所および利用者の増加に努めます。

（２）一般介護予防事業

①いきいきプラザでの運動教室

担当課	健康増進課
事業概要	健康増進施設いきいきプラザにて、年齢と強度を分け運動教室や健康講話、体力測定、栄養指導、運動指導、健康情報コーナーの設置を行っています。
今後の方針	市民が安心して、運動ができる環境整備をし、積極的に健康づくりに取り組む高齢者を増やしていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実利用者数	254	255 （272）	243 （279）	200	200	200
延べ利用者数	7,149	8,232 （7,162）	7,874 （7,364）	6,500	6,500	6,500

※（　）は７期計画の計画値

②運動活動グループ支援事業

担当課	健康増進課
事業概要	公共施設を中心に、健康増進課介護予防事業を経て発足した運動団体と介護予防を目的として発足した 20 名以上の団体を対象に、活動しやすい環境への支援を行うため、備品の貸出や体力測定の実施、出前教室、募集広報活動の協力を行っています。
今後の方針	継続した活動ができるよう、団体の希望に合わせ健康講話や体力測定を提供していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実参加者数	624	647 （652）	667 （671）	680	700	700
延べ参加者数	17,945	20,146 （21,263）	18,953 （21,865）	21,000	21,000	21,000

※（　）は７期計画の計画値

③出前健康教室事業

担当課	健康増進課
事業概要	近くの集会所等に出向く出前教室は、シルバーリハビリ体操指導士によるシルバーリハビリ出前体操教室とインストラクターなどによる簡単体操などのメニューから選択して行う健康体操教室があります。
今後の方針	身近な場所で、運動や健康づくりができる場を増やしていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実参加者数	5,633	5,336 （5,799）	5,012 （5,963）	5,100	5,100	5,100
延べ参加者数	41,439	38,784 （41,490）	36,536 （42,664）	39,500	39,500	39,500

※（　　）は 7 期計画の計画値

④介護支援ボランティア事業

担当課	地域包括支援課・社会福祉協議会
事業概要	高齢者が介護保険施設等で介護支援ボランティア活動を通して地域貢献することを奨励及び支援し、高齢者自身の社会参加活動を通した介護予防を推進します。ボランティア登録できる人は市内に住所を有する 65 歳以上の高齢者となります。介護支援ボランティア活動の実績に応じてポイントを付与し、ポイントを換金した交付金を交付します。
今後の方針	ボランティア登録施設を増やし、各地区でボランティアを実施しやすい環境を作ります。また、ボランティア内容に買い物等に伴う移動支援を新たに追加し、より多くの方に利用していただくように周知します。今後も、新たなボランティア項目の追加を検討し、さらなる社会参加の場を増やし、介護予防を推進していきます。新型コロナウイルスの影響による活動施設の減少に伴い、今後も活動の減少は継続すると予想されます。活動が地域における社会貢献や本人の生きがいづくり等に繋がり、今後も広げていけるように検討をしていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
活動者数	55	77（79）	67（81）	80	90	100

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑤こころとからだの健康教室

担当課	地域包括支援課・社会福祉協議会
事業概要	体操や健康談話、レクリエーションを通して高齢者の閉じこもり予防や健康増進を図り、自立した日常生活が継続できるよう支援を行います。
今後の方針	他市町村の例を参考に、教室の内容について随時見直しを行い、参加者が自分の指標を知ることができるよう、認知機能をチェックする機会や個別相談の機会をつくります。毎日チェック表を使用することで、日々の記録を生活に取り入れながら参加者の生活習慣を維持・改善できるようにしていきます。また、教室の前後でアンケートを実施し、教室の評価を行っていくことで、ニーズに合った教室を展開していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実参加者数	327	594 （380）	225 （380）	75	75	75

※（　　）は 7 期計画の計画値

※こころとからだの健康教室は令和元年度、筋力バランスアップ教室は令和 2 年度で終了し、脳元気アップ教室のみの計画値。

※平成 30 年度は脳元気アップ教室にかかる講演会の開催により参加者が増加。

⑥地域リハビリテーション活動支援事業【新規】

担当課	地域包括支援課
事業概要	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職が、住民や介護職員等への介護予防に関する技術的助言、ケアマネジメント支援を行います。
今後の方針	訪問による栄養に関する自立支援及び重度化予防に資する助言や指導を実施します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
支援回数				20	25	30

2　高齢者の健康づくりと社会参加の支援

（１）健康づくりの推進

①健康診査事業

担当課	健康増進課・国民健康保険課・医療年金課
事業概要	特定健康診査対象者の 40 歳以上国保加入者と後期高齢者医療保険加入者に対し個人案内をし、集団健診と医療機関健診で受診できる場を設け周知しています。
今後の方針	受診勧奨通知のデザインを工夫する等して、特定健康診査受診率の向上を積極的に展開することで、被保険者が自身の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や早期発見につなげます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
対象者数	49,271	49,150 （48,181）	49,216 （48,852）	52,400	53,000	53,600
受診者数	16,038	16,841 （14,930）	17,480 （15,973）	22,392	24,320	26,260
受診率	64	67（31）	70（33）	83	89	95

※（　）は７期計画の計画値

②健康相談事業

担当課	健康増進課・国民健康保険課
事業概要	集団健診を受けた方で、特定保健指導（40～74 歳国保加入者）が必要な方には個別通知し、個別支援をしています。 また、生活習慣病を予防するための食事や生活の工夫や運動、休養の取り方等の相談も「成人健康相談」で行っています。
今後の方針	検診時健康診断、成人健康相談についての効果的な周知方法について検討し、情報発信を行っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	3,159	3,608 （5,250）	4,044 （5,500）	4,200	4,200	4,200

※（　）は７期計画の計画値

③健康手帳の交付

担当課	健康増進課
事業概要	健康診査教育、相談、訪問等を受けた者の中で希望する方又は市が必要と認める方に、生活習慣病予防や介護予防に役立てていただくために健康手帳を交付しています。
今後の方針	Ｗｅｂ版の「健康手帳」についてを周知し、活用を促していくとともに、希望者には紙面版を提供します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	627	186 （300）	627 （300）	300	300	300

※（　　）は７期計画の計画値

※市ＨＰから「健康手帳」がダウンロードできるため、窓口で配布する健康手帳の交付数を計画値とした。

※平成 30 年度は配布方法に差があったため減少。

（２）高齢者の社会活動と就労支援

①シルバークラブ育成事業

担当課	高齢福祉課・社会福祉協議会
事業概要	シルバークラブは、原則 60 歳以上の方であれば加入できます。単位クラブでは、地域での仲間づくり、健康保持・増進、知識や経験を生かした新しい能力の発揮、社会活動への参画と貢献などいきいきとした高齢期の生活づくりを支援しています。
今後の方針	現在、シルバークラブは各地域において健康づくりや安心して暮らせる地域づくりに寄与しています。今後も「社会や地域を支える存在」として、若手会員の加入促進やスポーツ活動に趣味活動、介護予防運動など、楽しくて魅力のある活動メニューを広げる取り組みに努め、高齢者の新しい生きがいの発見につながる機会となるよう連合会全体の活性化を支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
クラブ数	139	134 （140）	137 （144）	140	140	140
会員	6,767	6,428 （6,800）	6,569 （7,000）			

※（　　）は７期計画の計画値

②いきいきサロン

担当課	高齢福祉課・社会福祉協議会
事業概要	市内在住の概ね 60 歳以上の方を対象に社会参加の促進と生きがいを高めるために老人福祉センター等 4 会場で歌、体操、絵手紙制作などの講座を開催しています。また、交通手段がないため参加できない方々を対象に、出前講座を実施いています。身近な地域でおおむね 10 名以上集まれば、年 4 回を限度に利用できるものです。
今後の方針	通常サロンについては、メニューによって参加人数に差があるため、メニューの見直しを行うとともに、新規メニューの開拓を図っていきます。その他にも、新しい会場での通常サロンの実施を検討していきます。 出前サロンについては、通常サロン同様にチラシ等による周知努力をすることで利用団体・人数の増加を目指していきます。また、専門知識・技能がある人材を講師として招き、活躍の場を創出していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
[通常ｻﾛﾝ] 登録者数	186	184 （200）	180 （205）	190	195	200
延べ利用者数	2,197	2,078 （2,660）	2,062 （2,740）	2,100	2,200	2,300
[出前講座] 実施回数	24	26（25）	33（26）	30	35	40
延べ利用者数	372	346 （400）	479 （416）	400	425	450

※（　　）は 7 期計画の計画値

③ふれあいサロン事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	社会福祉協議会に地域のサロンとして登録している活動団体に、活動費の助成、保険への加入手続き、保険料の助成、機材の貸し出し、情報交換会や研修の開催、情報提供などの支援を行うことにより、地域の関係づくりや閉じこもりの防止など地域の誰もが安心して暮らせるまちづくりを図っています。
今後の方針	ふれあいサロンは、身近な住民同士や世代を超えた交流を推進するなど居場所づくりとして、互いに助け合える関係性や地域交流の場となっています。今後も積極的に、未設置の地域に向けてサロンづくりを支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
登録団体数	70	86（80）	98（85）	90	100	110

※（　）は 7 期計画の計画値

④いばらきねんりんスポーツ大会

担当課	高齢福祉課・社会福祉協議会
事業概要	高齢者に適したスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深めることを目的として、「いばらきねんりんスポーツ大会」の予選会を開催しています。ゲートボール、ペタンク、輪投げ、グラウンドゴルフの種目を実施しています。
今後の方針	大会を通じてスポーツを楽しむことを支援し、親睦と交流の場を提供できるよう努めます。出場者の増加・確保のため、運営委員会等で競技会場の選定を検討するとともに、シルバークラブ内での活動活性化も合わせて図っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加者数	567	592 （595）	600 （615）	600	610	620

※（　）は 7 期計画の計画値

⑤おひさまサンサン生き生きまつり

担当課	高齢福祉課・障害者地域支援室
事業概要	高齢者が心豊かで健康な生活を送るためには、体を動かすことは不可欠です。 市では高齢者の身近なスポーツ活動を支援するとともに、高齢者を対象とした運動会として「高齢者生き生きまつり」と障害児者を対象とした「おひさまサンサンフェスティバル」を合同開催し、高齢者と障害児者の相互交流を行っています。
今後の方針	近隣住民へのチラシ配布等広報を強化し、一般参加者の増加を図ります。また、安全を第一に、天候に合わせたプログラム構成や競技内容を考え、さらに魅力的な大会になるよう、工夫を凝らした運営に努めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加者数	1,800	1,605 (2,000)	1,225 (2,100)	2,000	2,000	2,000

※（　）は７期計画の計画値

⑥シルバー人材センター

担当課	高齢福祉課
事業概要	高齢者が収入を得るためのほか、生きがいのための就労という観点から、健康的な高齢者が臨時又は短期的な就業の機会を得るための支援をしています。主な請負業務は、造園業、駐輪場管理、施設管理、スーパーの商品管理、襖・障子張り、リフォーム、家事援助サービス、自転車修理、販売事業などです。
今後の方針	公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるように今後も運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、就業機会の拡大に寄与していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	4,962	4,609 (5,600)	4,390 (5,600)	4,400	4,400	4,400
登録者数	634	643	679			

※（　）は７期計画の計画値

⑦地域福祉推進事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	社会福祉協議会に委託をし、ボランティアの促進を図るため、ボランティアセンターを拠点としてボランティアの登録、広報、啓発、斡旋、情報の収集や提供を行い、活動のネットワーク化を推進しています。
今後の方針	見守りや地域活動から発掘した地域課題とボランティアをつなぎ、地域の中で助け合いが進んでいくよう、ボランティア登録のある団体や個人の情報を詳細に把握し、コーディネート力を強化していきます。

⑧高齢者憩いの広場運営補助事業【新規】

担当課	高齢福祉課
事業概要	高齢者を中心とした地域の住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化の防止のための地域憩いの場を確保します。
今後の方針	高齢者の生きがいづくり、社会的孤立感の解消等に寄与する通いの場を確保するため、活動の拡充を支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
団体数			6	11	12	13

第４章　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援

１　在宅介護･家族介護者の支援の充実

（１）在宅福祉サービスの充実

①あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅう施術費助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	在宅の 70 歳以上の高齢者に対して、あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅうの施術を受ける際、その費用の一部を助成しています。市と協定している施術所で利用できます。
今後の方針	交付者数は年々増加しており、本事業の認知度は上がってきています。今後も継続した広報活動を行っていくほか、施術所と協力し、市民が助成券を使用しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	975	1,069 （820）	1,320 （840）	1,404	1,545	1,686

※（　）は 7 期計画の計画値

②ねたきり高齢者理美容料助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	理容所又は美容院に行けない寝たきりの高齢者が、家で理容又は美容を受ける場合の料金の一部を助成します。助成券は、市に協力を申出している理容所又は美容院で利用できます。
今後の方針	在宅の寝たきり高齢者が介護保険外で利用できるサービスとして、ケアマネジャー等の保健福祉関係者への事業周知を行い、サービスの普及に努めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	151	154 （165）	144 （170）	145	150	155

※（　）は 7 期計画の計画値

（２）家族介護者の支援

①在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	在宅の 65 歳以上の高齢者で、要介護１～５の認定を受けている方に対して、紙おむつと尿取りパッドの購入費用の一部を助成します。助成券は、市に協力の申出をしている紙おむつ取扱店で利用できます。
今後の方針	利用者は年々増加傾向にあります。要介護者の方々を支援することにより高齢者が安心して生活を送ることができるよう利用者のニーズに考慮した内容を検討します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
交付者数	2,405	2,611 （2,500）	2,670 （2,570）	2,898	3,008	3,118

※（　　）は７期計画の計画値

②認知症高齢者等保護支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症により行方不明のおそれのある高齢者を介護している家族に対して、認知症の高齢者が身につける位置情報端末機の貸与を行い、行方不明時に家族がインターネットや電話で位置情報等を確認できるシステムを提供することで、高齢者の保護を支援しています。
今後の方針	認知症の方の安全確保と介護者の負担軽減のため事業を継続し、必要とする方に利用していただくため事業の周知、普及に努めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
利用者数	5	9（4）	8（4）	10	12	14

※（　　）は７期計画の計画値

2　ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実

（１）日常生活に必要なサービスの充実

①在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	掛布団、毛布、敷布団の各１枚ずつを丸洗い乾燥し、健康維持を図ります。代わりの布団がない場合は、貸し出しも行っています。
今後の方針	健康保持、生活環境の向上に寄与するため、今後も事業の利用促進を図ります。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
交付者数	1,457	1,559 （1,300）	1,637 （1,340）	1,800	1,900	2,000

※（　　）は７期計画の計画値

②高齢者日常生活支援事業（すけっとくん）

担当課	高齢福祉課
事業概要	75 歳以上のひとり暮らし及び高齢者世帯に対して、日常生活を送る上で自ら行うことが困難な軽作業（部屋の掃除・窓ふき・電球の交換等）をシルバー人材センターに依頼した際にかかる費用の一部を助成します。
今後の方針	より利用しやすい事業になるように検討を重ねていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
交付者数	801	837 （740）	925 （760）	960	995	1,030

※（　　）は７期計画の計画値

（２）ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実

①緊急通報システム事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	ひとり暮らし等の高齢者の日常生活での健康不安を解消するため、ペンダント型無線発信機や緊急通報機器一式を貸与し、24 時間体調不良時に、有資格者との電話相談ができます。また、急病等緊急時に迅速かつ適切な対応を図っています。利用できる方は、概ね 65 歳以上で病弱又は、重度の身体障害のあるひとり暮らしの方、75 歳以上のひとり暮らしの方です。
今後の方針	事業継続に努め、利用条件や事業周知について検討し、利用者の増加につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	201	193 （290）	179 （290）	190	200	210

※（　　）は 7 期計画の計画値

②愛の定期便事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	安否確認・健康維持・孤独感の解消を図るため、週に 3 回、70 歳以上のひとり暮らし高齢者に乳製品を配達します。乳製品は市の協力事業所が配達します。
今後の方針	事業継続に努め、利用条件や事業周知について検討し、利用者の増加につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実利用者数	45	48（60）	41（70）	60	60	60

※（　　）は 7 期計画の計画値

③宅配食事サービス事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	食事を調理することが困難なひとり暮らし高齢者等に対して、委託業者が栄養計算した高齢者向けのお弁当を調理して、利用者の希望に応じ夕食を届けることにより、安否確認と健康維持を図っています。
今後の方針	本事業は定期的な見守りを目的としており、配達時に本人の安否確認が取れなかった場合には、緊急連絡先への連絡等、迅速に対応していきます。 その他、本事業を必要としているひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への周知のため、広報紙以外にも、日頃から民生委員やケアマネジャー等に理解を広げていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実利用者数	134	119 （150）	145 （160）	150	160	170

※（　）は 7 期計画の計画値

④ふれあい型食事サービス事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	市内に居住する 65 歳以上の高齢者で、定期的な訪問が必要と思われるひとり暮らしの方や高齢者世帯、及び日中独居の方を対象に、各地区概ね月 1 回、ボランティアの手作り弁当を民生委員が配達することで安否確認の機会をつくり、見守り活動や生活支援へとつなげています。
今後の方針	地域で支援でき体制が整った地区から小地域版として（おおむね小学校区）食事サービス事業実施に向けて支援を行っていきます。小地域版食事サービスを実施することにより、新たな見守り活動や地域の輪など、更なる広がりにつなげます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実利用者数	506	530 （535）	541 （550）	545	550	555
延べ利用者数	6,177	6,863 （6,197）	6,188 （6,373）	6,400	6,405	6,410

※（　）は 7 期計画の計画値

⑤救急医療情報便ツクツク見守りたい

担当課	社会福祉課
事業概要	ひとり暮らしの高齢者・障害者・健康に不安をかかえている方が、自宅で具合が悪くなり救急車を呼んだ際に、救急隊員等が迅速な処置を行えるよう、救急時の備えとして、医療情報や緊急時の連絡先などを記入した「救急医療情報便」を、自宅の冷蔵庫に貼っていただきます。
今後の方針	救急医療情報便から、最新の情報が得やすいお薬手帳の活用へシフトすることを検討していきます。

⑥養護老人ホーム入所措置

担当課	高齢福祉課
事業概要	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者で、入所の判定が妥当であると認められた場合に、養護老人ホームへの入所手続きを進めています。入所の判定は、入所判定委員会を開催しています。
今後の方針	環境上の理由及び経済的な理由により養護を受けることが困難な 65 歳以上の高齢者の心身の健康保持及び生活の安定を確保するため、速やかで適切な対応ができるような体制づくりに努めていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	3	3（4）	3（4）	3	3	3

※（　）は 7 期計画の計画値

⑦資金等貸付事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	経済的な困窮を含めた深刻な生活課題に関しては、地域包括支援センターなどとの連携のもとに、社会福祉協議会の「小口資金貸付事業」で次の収入までのつなぎ資金として貸付を行い、所持金もわずかな世帯等に関しては、「生活困窮者援助物資支給事業」により、食料等の物資を支給することにより支援を行います。
今後の方針	今後も社協として、小口資金貸付事業は継続して行います。

【実績値】

区分	実績値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
談件数	741	526	550
小口資金貸付件数	71	53	49
物資支給件数	70	78	102

（3）移送サービスの充実

①高齢者タクシー運賃助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	65 歳以上のひとり暮らし高齢者、または 70 歳以上の高齢者世帯、または市民税非課税世帯に属する 70 歳以上の高齢者に対して、外出するためのタクシー料金の一部を助成します。利用券は、市に協力を申し出ている会社のタクシーを利用した時に使用できます。
今後の方針	事業継続に努め、利用条件や事業周知について検討し、利用者の増加につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	1,698	1,741 （1,620）	1,888 （1,665）	1,965	2,060	2,155

※（　）は 7 期計画の計画値

②福祉有償運送事業

担当課	高齢福祉課・障害者地域支援室
事業概要	福祉有償運送事業は、ＮＰＯ法人等が、一人で公共交通機関等を利用することが困難な障害者や高齢者を対象に行う有償移送サービスです。市内には福祉有償運送事業者が４団体あります。 つくば市福祉有償運送運営協議会では新規登録や更新登録等重要事項の決定や福祉有償運送の必要性や安全の確保、サービス内容を含めた事項について協議し、了承された団体が国土交通省へ申請をし、許可を得ています。
今後の方針	事業者が継続して運営できるよう引き続き支援を行うとともに、今後の運営支援について検討していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R１年度	R３年度	R４年度	R５年度
実利用者数	196	181 （155）	194 （160）	205	215	225
延べ利用者数	2,235	2,846 （1,915）	2,693 （1,969）	2,800	2,900	3,000

※（　　）は７期計画の計画値

③つくば市高齢者等買い物支援事業【新規】

担当課	地域包括支援課
事業概要	身近な商店の減少や高齢化等により、日常生活に必要な食料品及び日用雑貨品等の買い物が困難な状況に置かれた高齢者等に対して、店舗等への移動支援事業及び移動販売事業を行います。移動支援事業は、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設が協力機関となり、店舗等への移動支援を行います。移動販売事業は、要件を満たした事業所が各関係機関との連携をとりながら、買い物困難地域への移動販売、買い物対象者の見守り等を行います。
今後の方針	引き続き、協力事業所と連携をとりながら、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

第５章　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化

（つくば市高齢者居住安定確保計画）

つくば市高齢者居住安定確保計画の位置づけ

「つくば市高齢者居住安定確保計画」は、高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）第４条の２に基づき、茨城県高齢者居住安定確保計画の基本方針を踏まえて、つくば市での高齢者の「住まい」に関する計画と位置づけます。対象期間は、令和３年度から令和５年度までの３年間とします。

基本理念（茨城県高齢者居住安定確保計画）

『高齢者が安心して暮らせる住まい・生活環境づくり』

基本目標Ⅰ　住み続けられる住まいづくり
基本目標Ⅱ　高齢者のニーズに応じた居住の場の確保
基本目標Ⅲ　高齢者の住宅セーフティネットの構築
基本目標Ⅳ　地域支援体制の構築

つくば市では、上昇し続ける高齢化率と要支援・要介護者人口の増加により、地域各機関の連携を強化した地域で高齢者の生活を支える地域包括ケアシステムの重要性がより高まっています。市内全域の高齢者のニーズをより広く把握するために、『高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり』という共通の基本理念のもと、高齢者・介護者・地域の３つの視点から、つくば市高齢者福祉計画（第８期）の中に、「つくば市高齢者居住安定確保計画」を内包し、支援施策を定めた高齢者福祉に関する総合的な計画として「つくば市高齢者福祉計画」、高齢者の「住まい」に焦点を当てた計画として「つくば市高齢者居住安定確保計画」を定めています。そこで、市として以下の基本目標を定め、達成を将来にわたり確立させていきます。

基本方針１　ニーズに合わせた多様な住まいの供給
基本方針２　適切な住まいに入居できるための情報提供の支援
基本方針３　安心安全な居住環境の確保
基本方針４　地震等災害に強いまちづくり

1　ニーズに合わせた多様な住まいの供給

市民の高齢期に備えた住み替えの希望や加齢に伴う生活スタイルの変化に対応するため、高齢者が安心して長く住み続けることができる住まいとして、一人ひとりの心身の状況に合わせた多様な生活支援サービスや高齢者向けに配慮された設備・構造を備えた居住環境をつくります。なお、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の供給にあたっては、真に介護が必要な高齢者の居住の場として、「つくば市高齢者居住安定確保計画」を内包する「つくば市高齢者福祉計画（第８期）」のニーズを踏まえ、バランスの取れた居住環境を整備します。

平成 23 年 10 月の高齢者住まい法の改正により、高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の登録制度がスタートしています。

また、つくば市は、平成 25 年に有料老人ホーム、平成 26 年にサービス付き高齢者向け住宅に係る事務権限の委譲を受け、当該住宅事業の登録基準を適切に運用し、民間事業者等に対して助言・指導を行っております。

有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅は、高齢者のニーズに合わせて必要量を整備するための指針を明示していきます。

また、併設している介護サービス事業所等により、利用者の意見や身体状況に沿わない不適切な介護サービスの提供が行われないよう適正なチェック体制をつくります。

賃貸住宅、老人ホーム及び施設の供給と適正化

①有料老人ホームの供給と適正化

担当課	高齢福祉課
事業概要	サービス付き高齢者向け住宅の供給と同様に、市民ニーズに応じた住宅供給を行うことを目標とします。運営事業者は、「つくば市有料老人ホーム設置運営指導要項」及び「つくば市有料老人ホーム設置運営指導指針」を遵守するものとし、さらに、安定的かつ継続的な事業運営を確保するため、より質の高い運営に向け努力するよう市が指導・助言を行います。また、高齢者への市内の有料老人ホームの情報提供も推進します。 ・つくば市有料老人ホーム設置運営指導要項の運用 ・つくば市有料老人ホーム設置運営指導指針の運用の徹底 ・市内有料老人ホームの情報提供 ・運営実態把握のための立入検査
今後の方針	引き続き、質の高い運営のために、指導・助言を行います。

②サービス付き高齢者向け住宅の供給と適正化

担当課	高齢福祉課・住宅政策課
事業概要	サービス付き高齢者向け住宅の市民ニーズの把握を行い、ニーズに応じた住宅供給を行うことを目標とします。住宅運営事業者は、「つくば市サービス付き高齢者向け住宅事業の登録に係る事務取扱要綱」及び「つくば市サービス付き高齢者向け住宅設置運営指導指針」を遵守するものとし、さらに、住宅の安定的かつ継続的な事業運営を確保するため、より質の高い運営に向け努力するよう市が指導・助言を行います。 ・つくば市サービス付き高齢者向け住宅事業の登録に係る事務取扱要綱の運用 ・つくば市サービス付き高齢者向け住宅設置運営指導方針の運用の徹底 ・市内サービス付き高齢者向け住宅の情報提供 ・運営実態把握のための立入検査
今後の方針	引き続き登録申請のあった住宅について、審査を実施します。

＜有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の立地状況＞（令和 2 年 10 月 1 日現在）

	入居定員総数
有料老人ホーム	人
サービス付き高齢者向け住宅	人
軽費老人ホーム	人
計	人

③介護保険事業所の整備と方針

担当課	高齢福祉課
事業概要	高齢者居宅生活支援事業の用に供する介護保険事業所の整備と方針を示しています。
今後の方針	日常生活圏域ごとの実情に応じた介護サービス提供体制の整備に努めます。

＜介護保険施設の立地状況＞（令和 2 年 10 月 1 日現在）

	床数
介護老人福祉施設	床
介護老人保健施設	床
計	床

④高齢者への市営住宅の供給

担当課	住宅政策課
事業概要	真に住宅に困窮する高齢者世帯に対しては、市営住宅抽選時の優遇措置などにより、高齢者世帯等の居住の安定確保に努めます。高齢者単身世帯の増加に備えるため、建替えなどの際に、２ＤＫ以下の住宅を整備することを検討します。
今後の方針	市営住宅の入居について、高齢者世帯に対しては、引き続き抽選時の優遇措置を実施していきます。また、令和２年度に策定を予定している新たな「つくば市市営住宅長寿命化計画」においても、現計画同様に高齢者世帯に配慮した整備方針とする予定です。

２　適切な住まいに入居できるための情報提供の支援

住宅の確保に配慮を要する高齢者世帯が、安心して生活を送れるよう、民間賃貸住宅の情報提供や希望する高齢者向け住宅等に住み替えるために、住宅資産を活用した住み替え制度等の情報提供を行います。

民間賃貸住宅への入居支援と住み替え住宅の情報提供

①つくば市民間賃貸住宅情報提供事業

担当課	住宅政策課
事業概要	公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部と協定を締結し、高齢者のみの世帯など、住宅に困窮する者に対し、低額家賃の民間賃貸住宅の情報を提供します。
今後の方針	市営住宅の案内に加えて、希望により低額な民間賃貸住宅の情報を保有する協力不動産業者の一覧を提供していきます。

②居住支援団体等の情報提供

担当課	住宅政策課
事業概要	住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律の規定に基づき、茨城県の審査を経て登録された民間の居住支援法人の情報を提供することで、高齢者等の住宅確保要配慮者が適切な住居の選択ができるよう支援します。
今後の方針	高齢者等の住宅確保要配慮者に対し、民間の居住支援法人の情報を提供します。

③住宅資産を活用した住み替え制度等の情報提供

担当課	住宅政策課
事業概要	高齢者が所有する住宅資産を活用し、希望する高齢者向け住宅等に住み替えるために、一般社団法人移住・住み替え支援機構によるマイホーム借上げ制度や独立行政法人住宅金融支援機構の高齢者向け返済特例制度の情報提供を行います。
今後の方針	引き続き情報提供を実施していきます。

3　安心安全な居住環境の確保

市民が、高齢者になっても、可能な限りそれまで住み慣れてきた地域でずっと過ごせるよう、住まいのバリアフリー化により安心して住み続けられる社会の実現を目指します。

また、ひとり暮らしや高齢者世帯が孤立しないよう、見守り体制を充実させ、高齢者を支える地域の活力の維持や、ユニバーサルデザインを勘案した住まいづくり等、安全で安心して暮らすことの出来る生活環境の実現を目指します。

（1）高齢者に適した居住環境を有する住宅の促進

①バリアフリーリフォームの促進

担当課	介護保険課
事業概要	高齢者が安心して快適な生活を営むことができるよう、自宅で居住する高齢者の自立した生活や介護しやすい環境を備えたバリアフリー住宅を促進します。 高齢者と日々接している介護支援専門員（ケアマネジャー）や、市のホームページや広報、一般財団法人茨城県建築センター、一般社団法人茨城県建築士会等のリフォーム相談を通して、下記の支給・補助・減免制度を案内し、改修費用の金銭的負担の軽減を行います。
今後の方針	市のホームページや出前講座等を通して、介護保険での住宅改修費の支給について周知を行います。

②市営住宅のバリアフリー化

担当課	住宅政策課
事業概要	既存の市営住宅の大規模改修にあたっては、手すりの設置、屋内の段差解消等の配慮に努め、そのほか個別ニーズに対応した改修によりバリアフリー化を推進します。市営住宅の建替えにあっては、高齢者等へ配慮した構造、間取り等とし市営住宅に相応しい住宅とします。
今後の方針	令和２年度に改訂を予定している「つくば市市営住宅長寿命化計画」では、現計画同様に高齢者世帯に配慮した整備方針とすることに加えて、工事の年次計画についても見直しを行います。

③ユニバーサルデザインによる住まいづくりの普及啓発

担当課	高齢福祉課
事業概要	誰もが安全で安心して快適に住み続けられる住宅を普及させるため、つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づき、啓発活動の実施に努めます。また、実施に当たっては、米ノースカロライナ州立大学併設の研究機関のロナルド・メイスらが提唱したユニバーサルデザインの７原則に配慮します。 ユニバーサルデザインの７原則 1　だれにも公平に使いやすいものであること 2　使用する際に自由度が高いこと 3　使い方が簡単で分かりやすいこと 4　必要な情報が効果的に伝わるようにすること 5　間違った動作が危険につながらないデザインであること 6　身体的な負担が少なく、楽に使用できること 7　アクセスや操作がしやすいスペースと大きさがあること
今後の方針	関係部署と連携し、「つくば市ユニバーサルデザイン基本方針」に基づき啓発活動を推進していきます。

（２）安心した日常生活を営むための地域支援体制の構築

①高齢者居宅生活支援体制の確保

担当課	高齢福祉課
事業概要	第４章「ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援」の中で、日常生活に必要なサービスの充実や、ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実を目的とした事業について示しています。 ＜日常生活に必要なサービスの充実＞ ・布団丸洗い乾燥事業 ・高齢者日常生活支援事業 ＜ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実＞ ・緊急通報システムの事業 ・愛の定期便事業 ・宅配食事サービス事業 ・ふれあい型食事サービス事業　　等
今後の方針	事業の利用を高齢者に促すことで、居宅生活支援体制の確保に努めます。

４　地震等災害に強い住まいづくり

災害対策として、想定を超えた大地震が起こっても、対応できるよう、緊急時の連絡体制と非常食の確保、インフラ整備が停止した場合でも運営できる施設の整備に努めるほか、災害時の高齢者の安否確認をできる体制づくりや災害時行動マニュアル等の整備及び要配慮者の避難所となる「民間福祉避難所」の体制強化を推進します。

地震等災害に強い住まいづくり

①耐震改修に関する情報提供

担当課	建築指導課
事業概要	耐震性の低い住宅では、自然災害や火事等による生命の危険を脅かす被害も発生する懸念があります。高齢者の生命、財産を守るために、木造住宅耐震診断士の派遣や木造住宅耐震改修費補助により昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準によって建築された住宅を主として耐震改修の促進を図ります。
今後の方針	今後も耐震診断士派遣事業及び耐震改修費補助事業を継続し、引続き募集案内します。

②家庭でできる地震対策の普及

担当課	危機管理課
事業概要	災害時に自身の身と財産を守るため、家具等の転倒防止対策や、窓や棚などのガラス飛散防止対策の普及に努めます。
今後の方針	家具等が転倒しないよう壁などに L 字金具などで固定したり、飛散防止フィルムなどを貼るなどの事前の準備が非常に重要であることを、関係部署、関係機関と連携を取りながら、ホームページや出前講座、ハザードマップなどにより周知していきます。

③介護施設等の災害対策の強化

担当課	高齢福祉課
事業概要	大地震を想定した介護施設等の耐震対策、非常食の確保の義務付け、緊急時の連絡体制の整備等を中心に災害対策を整備し、電気・水道などインフラ等が停止した場合でも対応できる施設整備に努めます。 また、平成 27 年 9 月 11 日、消防法の改正により、介護施設等のスプリンクラー設備や火災報知器、自動火災報知装置の設置の義務対象が拡充されています。 介護保険施設等指導検査実施時には防犯訓練の実施の状況の記録や、非常口の確保、消火器の使用期限と点検年月日の確認及び管理会社の有無の確認・指導を行っており、今後も施設の防火意識の向上に努めていきます。
今後の方針	施設の防災改修・スプリンクラー整備・給水施設整備・ブロック塀等改修整備に加え、R1 年度末より新型コロナウイルスの感染拡大防止のための多床室の個室化改修支援も補助金対象となりました。新規対象事業については重点的に周知し、状況に応じた災害対策ができるよう支援していきます。

④つくば市避難行動要支援者制度

担当課	社会福祉課
事業概要	これまでのつくば市災害時要援護者避難支援プランを東日本大震災の教訓から災害対策基本法の改正を受け、災害時の避難の際に支援が必要な方（避難行動要支援者）を対象とする「避難行動要支援者名簿」を作成し、随時更新していきます。この名簿に基づき、要支援者本人の同意により平常時から警察機関、消防機関、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織等の避難支援等関係者に名簿情報（氏名、住所、連絡先、避難支援を必要とする事由等）の提供を行い、災害に備えた避難計画や日頃の見守りに活用します。
今後の方針	個別支援計画を災害リスクの高い土砂災害警戒区域及び浸水想定区域から順次作成をしていきます。

第６章　介護保険サービスの充実と制度の活用

１　介護サービス事業所の整備・質の向上

（１）適切な介護サービス事業所の整備の推進

①介護事業所・施設の整備

担当課	高齢福祉課
事業概要	介護保険事業計画に基づいて、必要な介護事業所・施設を整備していきます。
今後の方針	計画に基づき、必要な介護事業所・施設の整備を進めていきます。

（２）介護サービスの質の向上

①要介護（支援）認定の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険制度における要介護（支援）認定については、全国一律の基準に基づき、客観的かつ公平・公正に行わなければなりません。認定申請受付後の認定調査、主治医意見書提出等を迅速に行うことが求められています。サービスを必要とする被保険者を認定するために、適正な認定調査、認定審査会における適正な審査判定を徹底していく必要があります。
今後の方針	認定調査及び主治医意見書取得を迅速に行うとともに、必要な介護サービスが速やかに適切に提供できるよう取り組みます。また、認定審査会の委員については、県の研修等に参加するなど資質の向上に努めていただき、審査会の円滑な運営を実施していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
認定審査数	6,470	5,923 （6,400）	6,483 （6,500）	6,700	6,800	6,900

※（　　）は７期計画の計画値

②介護予防ケアマネジメント事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	高齢者が要介護（支援）状態になることを予防するため、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択（希望）に基づき必要な援助を行っています。
今後の方針	各地域包括支援センターと業務委託事業者の業務に滞りが生じることなく、利用が必要な高齢者等が、自立支援に資するサービスを利用することができるように連携支援を行います。

③ケアマネジメント等の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	利用者の「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向け、居宅介護（介護予防）サービス計画について、介護支援専門員資格を有する市職員とサービス計画を作成した介護支援専門員がともに確認検証を行うことで、個々の利用者が真に必要なサービスを確保し、適正なケアプランの作成の推進に努めています。
今後の方針	「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向け、介護支援専門員の気づきを促し、ケアマネジメントの適正化及び質的な向上を目指して確認検証を実施します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実確認数	57	54（50）	53（55）	60	60	60

※（　）は 7 期計画の計画値

④住宅改修等の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	住宅改修費の支給について、利用者宅の訪問調査や工事見積書の点検等を行います。また、福祉用具の貸与や購入についても、貸与事業者や介護支援専門員への聞き取り調査等を行い、利用者の身体の状態に応じた必要なサービス提供の確認を行っています。
今後の方針	「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向け、介護支援専門員の気づきを促し、ケアマネジメントの適正化及び質的な向上を目指して確認検証を実施します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
延べ確認数	86	45（45）	61（47）	51	53	55

※（　）は 7 期計画の計画値

⑤事業者のサービス提供及び介護報酬請求の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	事業者のサービス提供及び介護報酬請求の適正化について、県、市、国保連が一層連携して、すべての事業者がルールを遵守したサービス提供及び介護報酬の請求ができるように支援及び指導しています。
今後の方針	国保連介護給付適正化システムを活用し、サービス内容に疑義がある際は、提供事業所や介護支援専門員へ確認を行うなど、サービス利用及び報酬請求の適正化を図っていきます。

⑥つくば市看取り介護給付金事業【新規】

担当課	高齢福祉課
事業概要	人生の最終段階においても住み慣れた場所で暮らし続けたいという施設入所者の希望に対応し、対象施設における高齢者の看取り体制の推進を図ることを目的として給付金を交付します。
今後の方針	高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けるために、施設における看取り体制の整備を支援していきます。

給付金額	6,400 円／人
R 1 年度実績	53 件

⑦要介護度改善ケア給付金事業【新規】

担当課	高齢福祉課
事業概要	施設職員の意欲向上及び良質な介護サービスの継続的な提供に資することを目的とし、高齢者の要介護度が改善された場合に給付金を交付します。
今後の方針	良質な介護サービスを継続的に提供できるよう、支援していきます。

給付金額	50,000 円／人
R 1 年度実績	17 件

（３）介護サービス事業所の指導･監査の強化

①介護サービス事業所の指導及び監査

担当課	社会福祉課
事業概要	平成 25 年 4 月 1 日から、茨城県より、介護保険法等の事業認可等に関する権限がつくば市に移譲されたため、市内の介護サービス事業所に対し、「介護給付等対象サービス」の質の確保及び保険給付の適正化を図ることを目的として、介護保険法第 24 条及び関係法令等の規定に基づき、指導及び監査を実施します。
今後の方針	指導監査項目の重点化や実施方法の工夫等により、効率的･効果的な指導監査を推進します。

【実績値と計画値】

区分	実績数			予定数		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
監査数	42	60	35	53	32	39

※施設の新設や緊急時の監査等を考慮し、予定数としました。法律に基づいた監査年度で実施予定。

（４）介護人材の確保

①介護人材の処遇改善とキャリアアップの構築

担当課	高齢福祉課
事業概要	令和元年度の介護報酬改定において、介護職員の確保・定着につなげていくため、処遇改善加算に加え、介護職員等特定処遇改善加算が創設され、経験・技能のある介護職員に重点化しつつ、更なる改善が行われています。
今後の方針	本市における介護人材の確保及び質の維持向上のため、処遇改善加算等の制度の中で事業所の大小に関わらずキャリアパスの要件の設置やキャリアアップの仕組みの構築を促し、介護職の魅力を介護報酬の面からも上げることで、介護の担い手の育成と確保に努めます。

②つくば市介護職員就労スタートアップフォロー給付金

担当課	高齢福祉課
事業概要	つくば市内の介護事業所等に新規で勤務を開始した方又は長期離職から復帰した方に対し、一定の条件を満たした場合に給付金を交付します。
今後の方針	本市における良質な介護サービスを持続的に提供していくため、介護人材の確保をすることが急務となっています。つくば市ホームページや広報紙への掲載、介護事業所への連絡を通して事業の周知を充実させ、介護の担い手の育成と確保に努めます。

給付金額	（常勤職員）50,000 円　（非常勤職員）30,000 円
Ｒ１年度実績	30 件

③つくば市介護職員キャリアアップ費用給付金

担当課	高齢福祉課
事業概要	つくば市内の介護事業所等に勤務している方で、介護職員初任者研修または実務者研修を修了した方に対し、一定の条件を満たした場合に給付金を交付します。
今後の方針	利用者数の増加を目指し、スタートアップフォロー給付金とあわせて、事業の周知を行い、介護の担い手の育成と確保に努めます。

給付金額	介護職員初任者研修の受講料及びテキスト代金の半額 （1,000 円未満切り捨て、上限 50,000 円）
Ｒ１年度実績	5 件

④つくば市介護ロボット導入支援事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	つくば市内の介護サービス事業所を対象に、働きやすい職場環境の整備及び介護従事者の確保を目的として、平成 28 年度に国の補助金により、日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援のいずれかの場面において介護従事者の負担軽減や業務の効率化を図る介護ロボットを導入する費用の補助を行いました。
今後の方針	引き続き、介護ロボットの活用により、介護従事者の負担軽減や業務の効率化を図っていきます。

2　低所得者の利用負担等の軽減

（１）低所得者の利用負担等の軽減

①社会福祉法人による利用者負担額減免事業

担当課	介護保険課
事業概要	低所得者で生計が困難である方に対して、介護保険サービスを提供する社会福祉法人が社会的役割にかんがみ、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的にする制度です。 この制度は、社会福祉法人にも負担が生じるため、軽減の実施に関しては各社会福祉法人に任されています。社会福祉法人が低所得者に対して利用者負担の軽減を実施する際には、市が該当する社会福祉法人に対して一定額を助成することで、利用者の負担軽減を図ります。
今後の方針	ホームページや広報紙を利用して、制度の周知を行います。また、新規に事業を開始する社会福祉法人等に対し減免事業への協力を依頼していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実認定者数	38	40（32）	38（34）	38	40	42

※（　　）は７期計画の計画値

②特定入所者介護（予防）サービス費事業

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険施設の入所又は短期入所を利用した場合に、介護費用以外に食費、居住費の負担が発生します。低所得者の世帯に対して過重な負担増により施設入所が困難になることがないよう、所得や預貯金等の資産状況に応じた定額の負担限度額を設けることにより、食費、居住費の一部を給付し負担軽減を図ります。
今後の方針	ホームページや広報紙を利用して、制度の周知を行います。また、介護支援専門員やサービス提供事業所に対しても、制度の利用が必要と思われる方への周知について協力を依頼していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実認定者数	1,415	1,402 （1,400）	1,517 （1,450）	1,550	1,600	1,650

③高額介護（予防）サービス費事業　高額医療・高額介護合算サービス費事業

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険サービスの利用者負担が著しく高額にならないように、世帯での負担合計が一定の上限（負担上限額）を超えた場合には、その超えた分を給付し、利用者負担を軽減します。 また、高額医療・高額介護合算サービス費は、医療費と介護費の負担が著しく高額にならないように、医療費と介護費を合算した負担額が一定の上限を超えた場合は、その超えた分の払い戻しを行います。
今後の方針	対象者へ申請書を送付する際に、同封するお知らせ通知等の見直しを行い、よりわかりやすい制度の周知や申請勧奨を行っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実認定者数	20,750	21,034 （24,500）	24,678 （26,000）	28,000	28,500	29,000

※（　）は 7 期計画の計画値

3　介護保険料の減免･細分化

（１）介護保険料の減免･細分化

①保険料の減免

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険制度での保険料の段階は、所得状況及び市民税の課税状況に応じて設定されていますが、災害や心身の重大な障害、失業、生活困窮等により、保険料の全部又は一部を納付することができない場合は、保険料の減免措置を講ずるものとします。
今後の方針	本市では、年度途中に発生した、特別事情に対しての保険料負担に配慮するため、徴収猶予や減免措置を引続き継続します。

②保険料段階区分の細分化

担当課	介護保険課
事業概要	本市では、第７期計画の平成 30 年度(2018 年度)から令和２年度(2020 年度)の３年間の保険料段階区分について、所得水準に応じてきめ細かな保険料設定を行うため、多段階化を実施します。
今後の方針	介護保険は、他の社会保険同様、強制加入の仕組みとなっています。加入が個人の任意に基づくものではないため、負担能力の低い者でも負担できるよう定める必要があります。そのため、本市では、所得水準に応じた市民税課税層の細分化を引続き行います。

当日配布資料1

※見える化システムにおいて設問項目が一部変更になりましたので、修正いたしました。

▶栄養改善リスク（体重の増減等があった人）

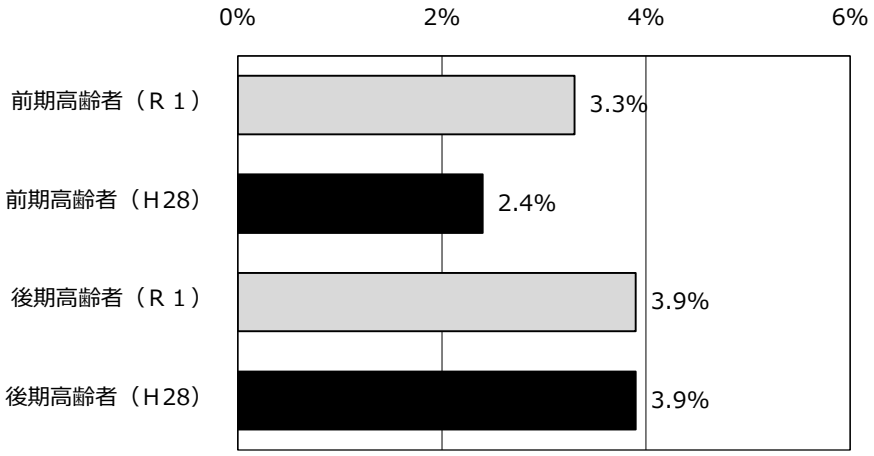
【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を栄養改善のリスク該当者としています。

（4）食べることについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問１	ＢＭＩ(身長と体重から算出)	18.5 未満

前期高齢者は約１ポイント増加しており、後期高齢者では 0.3 ポイント増加しています。



▶咀嚼機能リスク（口腔機能に低下がみられる人）

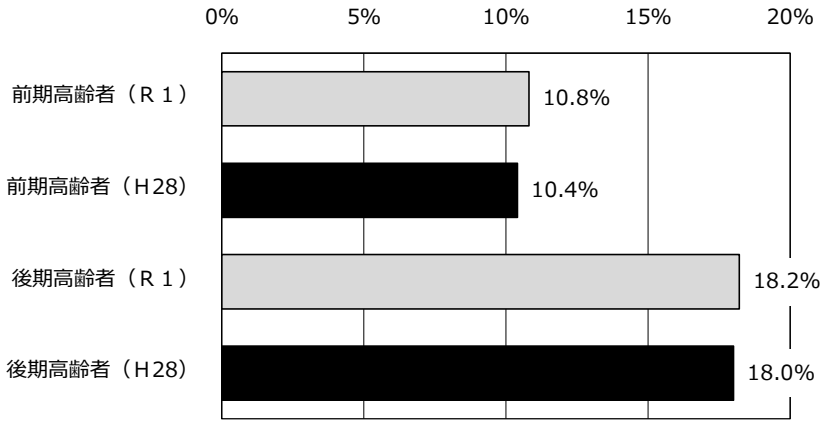
【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を咀嚼機能のリスク該当者としています。

（4）食べることについて

設問番号	設問名	該当する選択肢
問 2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」

前期高齢者は 0.4 ポイント増加しており、後期高齢者では 0.2 ポイント増加しています。



▶認知症リスク（認知機能が低下している人）

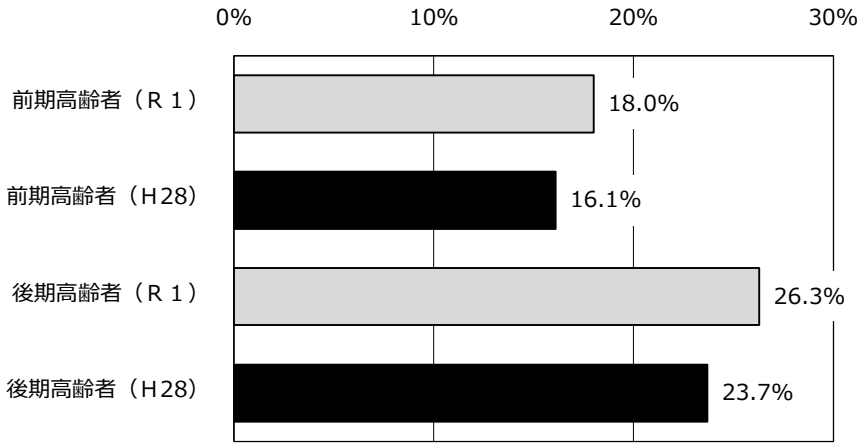
【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を認知症のリスク該当者としています。

（５）毎日の生活について

設問番号	設問名	該当する選択肢
問１	物忘れが多いと感じますか	「はい」

前期高齢者は 1.9 ポイント増加しており、後期高齢者では 2.6 ポイント増加しています。



第３回つくば市高齢者福祉推進会議を欠席しますので、資料１－１（2019年度評価）について私の意見を提出します。

記入日	令和２年８月２２日
氏名	室生　勝
意見	資料１－１・８～９ページ　数年、内容がほとんど改定されていない「一般介護予防事業」を見直す時期に来ていると思います。詳しくは添付しました「高齢者の介護予防と健康管理」をお読みください。 １．ICT（情報通信技術）高齢者いきいき健康アップ 2019年度の検討を行っていませんが、2018年度及び2017年度の実施状況から意見を述べます。 活動量計を貸し出す際の測定で、血圧、脈拍,BMIなどの測定が実施されています。しかし、すべての測定結果が把握されていないだけでなく、測定の結果による運動不適者への指導も実施されていません。 厚労省による全国のデータでは、65-74歳の30.3%、75歳以上の44.2%が高血圧（収縮期血圧140㎜Hg以上）です。 参加前の収縮期血圧が140㎜Hg以上、脈拍数が90/分以上、BMIが30以上のいずれかあれば運動を負荷した場合に健康被害を引き起こす可能性があります。 また、2017年度には中断者の中断理由が調べられていますが、身体的理由による中断者に対する事後指導が行われておらず、この事業との関連を調査していません。 この事業は青柳幸利氏（東京都健康長寿医療センター研究所老化制御研究チーム副部長）が群馬県中之条町の65歳以上の全住民約5000人を対象に、歩き（身体活動）と病気予防の関係の調査の成績に基づいたものです。65歳以上の全住民約5000人を種々の調査から対象を2000人に絞り、さらに500人に身体活動計を携帯させ、24時間、365日の身体活動状況を調べました。その結果、１日平均8000歩を歩き、その中に速歩き20分が含まれていればさまざまな病気を予防できると結論していますが、5000人から2000人、さらに500人と絞る過程を論文に記載していません。また、疾患や事故で研究対象者から除外された高齢者についても記載していません。このよう非科学的な研究をマスメディアが「１日8000歩・速歩き20分」健康法と宣伝しました。 高齢福祉課は事前の健康チェックで事業参加不適者の選別と不適者に他の健康づくりを奨めていません。例えば、血圧が140㎜Hg以上の人たちには家庭血圧の週4回以上の自己測定と減塩食を指導し、140㎜Hgが続くならば医療機関を受診すること、肥満者には適切な食事と軽度負荷の運動を指導すべきであります。また、健康管理や運動前のウォーミングアップの実行を確認していません。高齢者が対象であるからには高血圧の有無にかかわらず毎日か週に4日以上、起床時血圧の測定を測定法から指導し、運動予定当日の起床時収縮期血圧が140㎜Hgあれば行わないように指導すべきです。さらに、対象者に運動する際の注意点を確認していません。夏であれば24℃以下のときに、冬は脳卒中や心筋梗塞が発症しやすい早朝から午前中の時間帯を避けて行うこと、行う前にストレッチングと準備体操をすることなどです。

意見	２．いきいきプラザでの運動教室（健康増進課） 保健師が中心となって実施しているので、参加者の事前健康チェックは実施されています。当日の参加不適者には見学だけで別メニューを用意されないこともありました。 　後期高齢者の多くが車を運転して来所していることから後期高齢者には住まいの近くの運動教室に通うことを奨めるべきです。 　これからは後期高齢者が増え、要支援1、2の高齢者も増えます。歩いて通えるか、あるいは、つくバスで通える近くの会場で自主活動支援事業として実施すべきです。 　担当課は後期高齢者に今後、公共交通機関の利用を奨める考えらしいですが、2021年度からいきいきプラザの事業を見直し、全市を対象する場合は74歳以下、75歳以上は歩いて通えるか、あるいはつくバスで通える近くの会場で自主活動支援事業に参加を奨めることに切り替えるべきと考えます。 ３．自主活動支援事業（健康増進課） 　今後、各地区の自主活動グループを増やすにはいきいきプラザを今まで以上に「運動普及推進員」を多数養成する場に転換すべきです。 　推進員資格は座学と実技を週１回年間50回の習得を提案します。 ４．出前体操教室事業（健康増進課） 　2014年度から始まった厚労省の「地域づくりによる介護予防推進支援事業」は最近になって注目を浴びてきました。そのモデル事業をまとめた日本能率協会の「地域づくりによる介護予防を推進するための手引き」では、「週1回運動ができる身近な通いの場」「体操をきっかけに地域づくりへの展開」を奨めています。 　団塊の世代が後期高齢者になる2025年から、一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯が増え、閉じこもりやすい、あるいは孤立しやすい高齢者が増えます。そのためには後期高齢者が歩いて通える居場所で介護予防ができる体制が必要になります。 　その介護予防の基本メニューは誰もが小学生のときから親しんでいるラジオ体操です。体操を毎日行う習慣化こそが効果的な介護予防になります。ラジオ体操の指導は専門職でなくても「運動普及推進員」が学習すればできます。ラジオ体操を毎日、自宅で、あるいは仲間と近所の空き地や公園で実践し、通える居場所ではシルバーリハビリ体操を2～3種類ずつ学び、習慣化していくことです。 　保健師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進員等は体操以外の各職種の専門分野の講話を各地区の通える居場所に月1回、出前する体制を整えるべきでしょう。 〇提案 1. 地域づくりによる介護予防の推進のため、「週1回運動ができる身近な通いの場」を目指します。 2. 「いきいきプラザでの運動教室」卒業生及び1年以上通った高齢者に「運動普及推進員」を委嘱し、体操を主目的とした通いの場を増やします。 3.「いきいきプラザの運動教室」の対象者を74歳以下とし、ストレッチングとラジオ体操及びシルバーリハビリ体操の実技、高齢者の自己管理法を学び、「運動普及推進員」を養成します。 4. 保健師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進員等は健康増進だけでなく高齢者の自己健康管理法を学び、出前講座で高齢者の介護予防を奨めます。 5. 高齢者の介護予防はすでに慢性疾患あるいは障がいを有していることを想定して、施策を企画すべきです。

高齢者の介護予防と健康管理

室生　勝（つくば市高齢者福祉推進会議委員　※サロンゆうゆう主宰者）

はじめに

高齢者の健康はそれぞれが自己管理して維持できるものです。健康管理で加齢や疾病による心身機能の低下をできるだけ遅らせ、要介護になる時期を先送りすることが介護予防です。健康と感じれば、自然に生きがいが生まれます。

高齢者それぞれが医療機関の受診や健康診査で指摘された慢性疾患や障がいを受容し、健康維持に努めるとき、それを支えるのが介護予防サービスです。

私はつくば市高齢者福祉推進会議委員を 20 年間続けている立場から、現在、実施されている介護予防サービスを第 7 期つくば市高齢者福祉計画（2018～2020 年度）の実施状況から考察を試みました。

「第 6 章介護予防・日常生活支援事業の推進」の具体的施策について、実施状況とその成果を検討しました。

１．ICT（情報通信技術）高齢者いきいき健康アップ（高齢福祉課）

参加者が活動量計（注１）を身につけて歩き、歩数や運動強度を知ることで運動意識を向上させるのが目的です。

[方法]

参加希望者に活動量計を貸し出す際に、身長、体重、脈拍、血圧等を測定し、５種類の体力テストを実施します。活動量計を身につけて歩き、歩数や運動強度のデータを定期的に市内数か所に設置してあるタブレットで読み込ませます。月ごとの歩数と中等度活動時間と病気の予防度合が分かる図（あんしん生活 MY カルテ）を２か月ごとに郵送し、運動意識を向上させ、ウォーキング等の運動を習慣化させるのが目的です。

（注 1）活動量計 Information and Communication Technology（ICT）情報通信技術を用いた機器

[結果]

2018 年度は 413 名が参加しています。参加者があんしん生活 MY カルテを見て健康感を得ます。実施後の体力テストを行っていません。

[検討]

活動量計を貸し出す際の測定で、血圧、脈拍,BMI などの測定が実施されています。しかし、すべての測定結果が把握されていないだけでなく、測定の結果による運動不適者への指導も実施されていません。

厚生労働省による全国のデータでは、65-74 歳の 30.3%、75 歳以上の 44.2%が高血圧（収縮期血圧 140mmHg 以上）です（注２）。

参加前の収縮期血圧が 140mmHg 以上、脈拍数が 90/分以上、BMI が 30 以上のいずれかあれば運動を負荷した場合に健康被害を引き起こす可能性があります。

また、2017 年度には中断者の中断理由が調べられていますが、身体的理由による中断者に対す

る事後指導が行われておらず、この事業との関連を調査していません。
（注２）厚生労働省　平成 28 年国民健康・栄養調査
[考察]
青柳幸利氏（東京都健康長寿医療センター研究所老化制御研究チーム副部長）が群馬県中之条町の 65 歳以上の全住民約 5000 人を対象に、歩き（身体活動）と病気予防の関係の調査（中之条研究）を 2000 年から始め、種々の調査から対象を 2000 人に絞り、さらに 500 人に身体活動計を携帯させ、24 時間、365 日の身体活動状況を調べました。その結果、１日平均 8000 歩を歩き、その中に速歩き 20 分が含まれていればさまざまな病気を予防できると結論しています。2012 年にその内容の冊子※が発刊され、2014 年から数県の市町村がこの方法で健康づくりを始めました。
青柳氏は研究対象者を約 5000 人から 2000 人、さらに 500 人と絞る過程を論文（注３）に記載していません。また、疾患や事故で研究対象者から除外された高齢者についても記載していません。このような研究を科学的と言えるでしょうか。
市町村が「１日 8000 歩・速歩き 20 分」を実施するとき、テキストとなる（注３）の②の実施に際しての健康チェックの記載が無く、注意事項も漠然と書かれています。
（注３）
①青柳幸利著:健康長寿の実現に最適な日常身体活動の量と質(ノーブル･プレス 2012 年２月)
②青柳幸利著：あらゆる病気を防ぐ「１日 8000 歩・速歩き 20 分」健康法（草思社 2013 年 4 月）
つくば市もこの不確かな方法で事業を始めたうえ、事前の健康チェックで事業参加不適者の選別と不適者に他の健康づくりを奨めていません。例えば、血圧が 140mmHg 以上の人たちには家庭血圧の週 4 回以上の自己測定と減塩食を指導し、140mmHg が続くならば医療機関を受診すること、肥満者には適切な食事と軽度負荷の運動を指導すべきであります。「血圧が高い方には体力測定への参加を控えていただく」、「医師の診断による運動制限がなく、歩くことに支障のない方を申請要件とし、体調がすぐれないときには運動を中止していただく旨、本人から同意を得る」といった対応では意味がありません。健康管理や運動前のウォーミングアップの実行を確認していません。
高齢者が対象であるからには高血圧の有無にかかわらず毎日か週に 4 日以上、起床時血圧の測定を測定法から指導し、運動予定当日の起床時収縮期血圧が 140mmHg あれば行わないように指導すべきです。　さらに、対象者に運動する際の注意点を確認していません。夏であれば 24℃以下（注４）のときに、冬は脳卒中や心筋梗塞が発症しやすい早朝から午前中の時間帯を避けて行うこと、行う前にストレッチングと準備体操をすることなどです。
（注４）環境省熱中症予防情報サイト暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）を健康増進課が電話サービスする方法もある。
寒さでは交感神経が緊張し、全身の動脈と冠動脈が収縮して血圧が高くなりやすくなり、血圧が高くなれば心臓に負荷をかけ、狭心症や心筋梗塞が誘発される危険性が高くなることを説明すべきです。
また、身体的理由による中断者に対する事後指導を行い、この事業との関連も調査すべきです。
[結語]

高齢者の健康づくり施策は慢性疾患や障がいがあることを考慮し、健康被害にならないよう配慮する必要があります。高齢者に運動負荷による介護予防サービスを提供する場合、医学的に効果があると実証されている方法であっても慎重に実施しなければなりません。

２．いきいきプラザでの運動教室（健康増進課）

いきいきプラザの年齢別、強度別の運動や健康講話、栄養指導等は運動の習慣化、転倒予防、生活機能の維持向上、閉じこもり予防を目的として週１回行われています。

[結果（2018 年度）]

市内全域を対象に実施され、2018 年度の実利用者は 255 名でした。後期高齢者を含め、多くの参加者が自分で運転して来所しています。後期高齢者の来所手段について、健康増進課は公共交通機関の利用を奨めています。

身体的理由による中途退会者の退会理由は調査されています。

[考察]

保健師が中心となって実施しているので、参加者の事前健康チェックは実施されています。当日の参加不適者には見学だけで別メニューを用意されないこともありました。

後期高齢者の多くが車を運転して来所していることから後期高齢者には住まいの近くの運動教室に通うことを奨めるべきです。

これからは後期高齢者が増え、要支援 1、2 の高齢者も増えます。歩いて通えるか、あるいは、つくバスで通える近くの会場で自主活動支援事業として実施すべきです。

担当課は後期高齢者に今後、公共交通機関の利用を奨める考えらしいですが、2021 年度からいきいきプラザの事業を見直し、全市を対象する場合は 74 歳以下、75 歳以上は歩いて通えるか、あるいはつくバスで通える近くの会場で自主活動支援事業に参加を奨めることに切り替えるべきと考えます。

[結語]

後期高齢者の運動教室は 2019 年度から始まった「高齢者地域ふれあいサロン運営補助事業」の介護予防サロン、社協のふれあいサロン、高齢者の自主支援事業等で実施するよう提案します。

いきいきプラザは壮年者から前期高齢者を対象に「運動普及推進員」養成教室に転換すべきです。

３．自主活動支援事業（健康増進課）

介護予防を目的として発足した 20 名以上の団体を対象に活動しやすい環境への支援を行っています。5 年間継続した参加者が 5 年卒業生として各地区の自主活動リーダーとして活躍しています。

[結果（2018 年度）]

2018 年度は筑波地区２、谷田部地区１、桜地区１、茎崎地区３、豊里地区１、いきいきプラザ４の 12 団体で実施しています。しかし、いきいきプラザの 4 団体はつくば市全域を対象にしています。

[考察]

今後、各地区の自主活動グループを増やすにはいきいきプラザを今まで以上に「運動普及推進員」を多数養成する場に転換すべきです。

推進員資格は座学と実技を週1回年間50回の習得を提案します。

[結語]

自主活動支援事業は①「高齢者地域ふれあいサロン」に転換を奨め、少なくとも週1回開くことを奨めます。②社協の月1回のふれあいサロンを週1回に回数を増やす支援をします。③後期。高齢者が歩いて通える場所に居場所つくりを推進します。

実施日には保健師が地区を巡回して健康チェックを支援する体制を提案します。

４．出前体操教室事業（健康増進課）

各地区への出前教室はシルバーリハビリ体操指導士によるシルバーリハビリ体操教室と運動インストラクターなどによる体操などです。対象団体は①シルバークラブ、②ふれあいサロン、③各種サークル、④自治会等です。 1団体の年間最大利用回数は12回です。

[結果]

2018年度の利用平均回数は8.3回です。

実施メニューはシルバーリハビリ体操やカラオケ体操とリハビリ職の講話と実技、保健師や管理栄養士の講話、歯科衛生士の指導、食生活改善推進員の試食提供、「運動普及推進員」によるウォーキング教室等です。

[考察]

2014年度から始まった厚労省の「地域づくりによる介護予防推進支援事業」は最近になって注目を浴びてきました。そのモデル事業をまとめた日本能率協会の「地域づくりによる介護予防を推進するための手引き」では、「週1回運動ができる身近な通いの場」「体操をきっかけに地域づくりへの展開」を奨めています。

団塊の世代（1947～1949年生まれ）が後期高齢者になる2025年から、一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯が増え、閉じこもりやすい、あるいは孤立しやすい高齢者が増えます。そのためには後期高齢者が歩いて通える居場所で介護予防ができる体制が必要になります。

その介護予防の基本メニューは誰もが小学生のときから親しんでいるラジオ体操です。体操を毎日行う習慣化こそが効果的な介護予防になります。ラジオ体操の指導は専門職でなくても「運動普及推進員」が学習すればできます。ラジオ体操を毎日、自宅で、あるいは仲間と近所の空き地や公園で実践し、通える居場所ではシルバーリハビリ体操を2～3種類ずつ学び、習慣化していくことです。

保健師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進員等は体操以外の各職種の専門分野の講話を各地区の通える居場所に月1回、出前する体制を整えるべきでしょう。

[結語]

出前講座を希望するグループへの回数は年間12回を堅持し、今後、希望する各地区の後期高齢者が通える居場所が増えることを想定して、体操の出前講座は「運動普及推進員」が担当する方向の事業を奨めます。起立できない人や障がい者にはシルバーリハビリ体操指導士が指導します。

保健師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進員等の講話や指導等は月1回、

交替で提供する方向で体制の整備を提案します。

提言

1.地域づくりによる介護予防の推進のため､｢週１回運動ができる身近な通いの場｣を目指します。

2.｢いきいきプラザでの運動教室｣卒業生及び 1 年以上通った高齢者に｢運動普及推進員｣を委嘱し、体操を主目的とした通いの場を増やします。

3.｢いきいきプラザの運動教室｣の対象者を 74 歳以下とし、ストレッチングとラジオ体操及びシルバーリハビリ体操の実技、高齢者の自己管理法を学び、｢運動普及推進員｣を養成します。

4.保健師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進員等は健康増進だけでなく高齢者の自己健康管理法を学び、出前講座で高齢者の介護予防を奨めます。

5.高齢者の介護予防はすでに慢性疾患あるいは障がいを有していることを想定して、施策を企画すべきです。ICT（情報通信技術）機器を用いる場合は年齢制限、できれば前期高齢者に限るべきです。実施前中後の健康チェックを行っても予期しない発病、病状悪化が出現するからです。

おわりに

日本人の平均寿命の延伸が毎年、更新を続けています。市町村の介護予防事業は平均寿命の延伸に応じた事業に転換する時機に来ています。

平均寿命が伸びても健康寿命（寝たきりや介護の世話にならず、元気で生活できる期間）が伸びなければ医療及び介護サービスを必要とする期間が長くなります。健康寿命を伸ばすには、介護予防サービスで運動を学ぶだけでなく、自己健康管理を学ぶことです。例えば、血圧の測り方を学び、少なくとも週 4 回は朝起床時と就寝前に血圧を測定し、夏冬の血圧値の違いを知り、血圧の変動の原因を知り、健康管理に興味を持ちます。ウォーキングも年齢別に歩き方、姿勢、速度、距離等を、食事も食材、料理法、食事量、食べ方等を科学的に学びます。受け身の介護予防でなく、自らの介護予防を目指します。

介護予防サービスを提供する市町村は保健師、リハビリ職、管理栄養士等の専門職の従来の方法を見直し、高齢者の自発性を引き出す方法に変える方向に転換しなければなりません。

※サロンゆうゆう

葛城地区 （学園の森 1～3 丁目、研究学園 1～7 丁 目、 学園南 1～3 丁目）に新しく住みついた高齢者のための交流サロンである。高齢者は見知らぬ土地に移住すると､住まいに閉 じこもり（孤立）になりやすい。孤立すると心身 機能が衰え、うつ病、認知症、ロコモティブ症候群（運動機能低下で転倒しやすい）の発症率が高まる。健康管理、患者学、高齢者保健福祉介護等を学び、遊びの中で脳トレ、筋トレを行い、心身機能の向上を目指す。

サロンを主宰する元開業医（40 年間、高齢者医療実践）が個人的な健康、医療、介護等の相談にも対応する。

【日時】 毎週月曜日（祝日は休み）13:00～15:30

【会場】 研究学園駅公園口近くのレーベン研究学園 1 階・林技術事務所

事前質問票（２）

① 平成 12 年に始まった介護保険制度も 20 年経過し、高齢化の進展で当初に比べ社会の実感として制度も日常に深く浸透してきた。平成 29 年に加わった地域包括ケアシステム強化のため介護保険法等の改定で、高齢者の自立支援、重度化防止に向けた保険者機能の強化、医療と介護の連携推進が浸透してきた。年月が経過し、当然のごとく要介護者の増加等で介護費用高騰右肩上がりの先が見えない。

介護施設の充実、そこに働く人材育成費等も加わり、原資の確保はどのように計画されているのか。

（答）

・介護施設の充実について：既存の施設の改修整備については、国からの地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、随時必要な施設の改修整備を行っています。新規施設の整備については、茨城県の地域医療介護総合確保基金を活用し、福祉計画に基づき整備を行っています。

・人材育成費について：介護人材の確保及び定着についてのつくば市独自の早期対応策として、平成 28 年度より、介護職員就労スタートアップフォロー給付金と介護職員キャリアアップ費用給付金という２種類の給付金の交付を開始しました。今後も市の予算を確保し、事業を継続していきます。

② 介護費受給者は約２割弱で、他の元気な高齢者（未認定者）への還元施策は。

例えば７期で廃止になったＩＣＴに代わる計画はあるのでしょうか。

（答）

ＩＣＴに代わる計画は現在のところ予定しておりません。その他の市の健康づくり事業の周知を行い、健康増進課で行っている運動活動グループ支援事業や出前健康教室事業等の推進をしてまいります。

③コロナ禍で自粛による運動不足から元気な高齢者の運動不足による健康阻害は避けられません。予測として半年から１年の短期間で対応が迫られると思う。
８期計画期間内での課題として織り込む必要がある。

（答）

つくば市では、コロナ禍による外出自粛が続いたことで、閉じこもりになった高齢者等に向けて、運動不足の低下や、健康状態の悪化を予防するため、自宅で簡単にできる市オリジナル体操動画を作成し、You Tube 配信と DVD の配布を行っています。

そのほかに「つくば健康マイレージ」として一定期間、運動や食事の目標活動を達成した方に抽選で豪華賞品をプレゼントする企画を行っています。

また、高齢者の生きがいづくりや介護予防のための通いの広場等に関しましては、感染症対策をしっかりと行い、引き続きご利用いただいております。

今後の状況が予想できないところもございますが、８期において、感染症対策という観点から、課題として検討が必要だと考えています。

会　議　録

会議の名称		第４回つくば市高齢者福祉推進会議		
開催日時		令和２年(2020 年)10 月 27 日（火）		
開催場所		つくば市役所２階会議室 201		
事務局（担当課）		保健福祉部高齢福祉課		
出席者	委員	田宮菜奈子委員長、森田信委員、石川益子委員、織田順委員、ホー真美委員、寺沼源一委員、吉場勉委員、飯泉孝司委員、岩﨑学委員、金野信子委員、木村聡委員、梅原久美子委員		
	その他			
	事務局	保健福祉部：小室部長、安曽次長 介護保険課：水品課長、中澤係長 地域包括支援課：板倉課長補佐 健康増進課：今野係長、倉持係長 住宅政策課：滝本主任主査 高齢福祉課：中根課長、城取課長補佐、菊池係長、相澤係長、主任　大津		
公開・非公開の別		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	０人
非公開の場合はその理由				
議題		（１）委員からの事前質問票について （２）つくば市高齢者福祉計画（第８期）素案について		
会議次第		１　開会 ２　議題 （１）委員からの事前質問票について （２）つくば市高齢者福祉計画（第８期）素案について ３　その他 ４　閉会		

１　開会

２　議題

（１）委員からの事前質問票について

◎資料１、資料２、事前質問票（当日配布）に基づき事務局より説明

・資料１：前回会議についての委員意見資料（斎藤委員からの御意見）

・資料２：前回会議で御質問いただいた事業の詳細資料

・事前質問票：室生委員からの御意見

委員長　以前に私のほうから指摘した箇所はどうなっていますか。

事務局　委員長からの指摘事項として、まず斉藤委員からの御意見に対する反映ということで、３点反映しております。１つ目が「地域ケア会議の充実」【素案P59③】、それから「生活支援体制の整備」【素案P60④】、「総合相談支援事業」【素案P64⑦】、こちらの３点については、回答の内容を踏まえ、文言を一部追加修正いたしました。
そのほかに、介護者支援としての緊急ショートステイに関することについては、本年度から、地域ケア情報の見える化サイトを導入して、事業所間のネットワークを構築しております。今後、緊急ショートステイについて、随時反映していく予定です。また、パンフレット等の工夫については、介護サービス事業者のガイドブックである「ハートページ」を前計画後に新たに作成し、素案P63に「市が発行している医療・介護・福祉に関する情報冊子」として掲載しました。そして、家族介護者の精神的な負担軽減ということで、第２章に認知症支援として掲げている「認知症ケアパス」「認知症カフェ」の施策について、「再掲」という形で第４章の家族介護者支援において掲載しました。

委員長　地域ケア情報の見える化サイトとはどのようなものですか。素案ではどこにあたりますか。

事務局　素案のＰ63②「介護事業所等関係者に対する情報提供」に追加しました。

委員長　これは国が行っているものですか。

事務局　ワムネットという厚労省が運営しているものがありますが、地域ケア情報の見える化サイトとはそれの民間版のWebシステムです。内容としては、今現在、デイサービスとショート等を行っている事業所のサービス状況が閲覧できるようになっております。

岩﨑委員　実際に運用していくのはまだ先になります。また、これは主にケアマネジャーと事業所間で利用しており、実際には利用者が直接閲覧できるものではありません。

委員長　以前から家族介護者支援の内容が薄いということを再三申し上げていたところで、今回は再掲という形で素案の中に反映していただきました。もう少しこの地域ケア情報の見える化サイトのことを踏み込んで計画に反映させるのは厳しいでしょうか。市としても重要なことに取り組んでいますので、踏み込んで掲載していくほうが市民のためにもなると思います。

事務局　検討いたします。

（2）つくば市高齢者福祉計画（第８期）素案について

◎資料３、当日配布①、当日配布②に基づき事務局より説明
・資料３：つくば市高齢者福祉計画（第８期）素案
・当日配布①：素案内容追加点まとめ（修正）
・当日配布②：サービスごとの給付実績の推移と推計（介護保険事業分該当ページ）

委員長　当日配布①は委員からの意見と事務局での変更が両方あるということですか。

事務局　そうです。

委員長　委員の意見が反映しているのはどこですか。それと室生委員の意見はどうなっていますか。

事務局　田宮委員長からの御指摘による反映は４番と６番です。室生委員の意見は間に合わなかったので、事前質問票で説明したところを反映いたします。

委員長　介護サービスの推計値は変更になりますか。

事務局　９月時点の暫定値ですので、１月に数値を変更し、次回は確定します。

委員長　今後のスケジュールはどうなっていますか。

事務局　11 月 27 日から約１か月パブリックコメントを実施する関係上、素案に対す

	る御意見や修正点等がありましたら、本日中にいただきたいと思います。
委員長	皆様、今までの資料の御説明の中で分からなかったところや確認されておきたいこと、何でも結構です。どうぞ、お願いします。
木村委員	素案 140 ページの圏域ごとの整備状況という箇所がありますが、今期の状況はどこかに記載がありますか。
事務局	パブリックコメント期間中に検討していく予定です。
委員長	つくば市要介護度改善ケア給付金事業については、計画で触れていますか。
事務局	素案 121 ページで触れています。
委員長	新規とありますが、これはどのような意味ですか。
事務局	こちらは計画に新規掲載という意味なのですが、実際には令和元年度から始まっている事業なので、「新規」は削除します。
委員長	実績値の記載は 17 名とありますが、施設数はいくつですか。
事務局	対象施設は地域密着型が５施設、広域が 10 施設ですが、内訳までは今は把握できかねます。
委員長	改善に関しての評価は１年間ということですか。
事務局	そうです。介護認定の期間ですが、最高で３年間期間が延長されていますが、状態の良い悪いは区分変更の申請を本人からもらうので、認定調査を行ってから審査をする流れとなります。
委員長	１年間だと介護度が改善された人の中の一部が対象となってしまっているケースはないですか。
事務局	こちらに関しては改善した個人が対象ではなく、改善に取り組んだ施設が対象となります。期間のサイクルの中で１年間のうちに要介護度の更新の申請があった場合にはもちろん対象になります、そういう方も多いと思います。

委員長　　２年、３年待って、たまたまそのサイクルが対象の１年になったという方が多いのですね。

委員長　　区分申請で手を挙げて改善が認められたケースでもいいわけですよね。

事務局　　はい。介護度の変化だけを見ているので、申請の理由は関係ないです。

委員長　　１年だけでは、たまたまその年に当たった人だけが対象と限られてしまうのかと懸念していたのですが、３年の期間の中であれば公平性もありますし、区分申請も可能であるということが分かりました。改善された場合に区分申請して、認められれば給付金交付事業で給付金が頂けるということですね。これを励みにやっていけるような試みだと思います。とてもいい事業ですので、ぜひ継続いただいて、広く周知していただきたいです。

そのほかに、現場の色々な意見をぜひお聞かせください。
委員の皆様、一言ずつお話しいただいてもいいですか。

梅原委員　特養は要介護３からですが、要介護２になった場合はどうなるのでしょうか。

事務局　　特例入所として認められるかどうかを判断します。実際にそのようなケースも資料では確認したことがあります。

木村委員　現場の本音としては、私は特養なのであまり介護度が軽くなるというケースは少ないのですが、経営面で言うと介護度が軽くなるとそれだけ報酬が下がるので、元気になったから区分変更をかけようとはなかなかならないこともあると思いますが、こういう給付金があると、モチベーションを上げるという意味で、ある程度効果はあると思います。

金野委員　経営的には５万円だと厳しいのが実情です。
それと、今の現状における施設でのボランティアの扱いはどうなっていきますか。

事務局　市としては国の通知に倣って、施設には感染症対策を十分に考慮してくださいとしか言えません。

岩﨑委員　ケアマネ目線で話をしますと、ケアマネが担当として利用者につくと、これまでつながっていた地域の人たちが手を引いてしまうケースが往々にしてあり、見守り体制を弱めてしまっていることもあります。また、様々な取組があるのですが、それ自体がみな個別に行われていて連携が取れていないように思えます。今後は施策のみだけでなく、それらをリンクさせていけるようなものを構築していく必要があります。

委員長　ここから、事務局の回答は最後にまとめて発言ください。

飯泉委員　計画のなかでは、2025 年や 2040 年のことをふれていますが、施設の整備などは 2040 年頃までを考慮しているのでしょうか。

吉場委員　計画の中では社協が受託している事業がいくつかありますが、社協だから取り組んでいけることを深堀しながら推進していきます。

寺沼委員　パブリックコメントという形で市民から意見をいただくとのことですが、市民の代表である議会への対応はどうなっていますか。

ホー委員　介護ロボットが活躍している施設はありますか。

織田委員　コロナ禍において問題に思うことがあります。
私自身、シルバーリハビリ体操の指導をしています。今回のコロナを危惧して、体操指導が止まってしまい、認知症が進展して施設に入られた方が３名いらっしゃいます。また、認知症カフェを見学に行った際、私が行っている高齢者向けの体操メニューなどからはほど遠いことを実施しているところもありました。そういった箇所のチェックはどのようにしていますか。

石川委員　介護度改善ケア給付金や看取りの場合も同様ですが、これらの給付について、自己申告ではなく、介護保険の点数や国保、後期高齢者医療保険等の中で数値として引っかかったときに対象者に差し上げるようなシステムが今後出来たら良いと思いました。

事務局　飯泉委員からの意見ですが、2040 年には推計にもあるように、介護認定者が

増加していることが予想されます。そのため、現状をふまえながら今後、施設数の増加について検討していきます。

寺沼委員からの意見ですが、パブコメ自体に議員の意見をもらうという前提でいるので、あえて議会にかけるということはありません。

ホー委員からの意見ですが、介護ロボットについては、去年度まで県で介護ロボットを貸し出す際の補助事業を行っていました。今、具体的に導入した施設数は分かりかねるのですが、幾つかの施設で職員が介護をする際に介護ロボットを腰につけて補強したりするほか、別部署になりますがサイバーダインのロボット技術を使って高齢者施設へ補助を行いました。幾つかの施設でお申込みいただいて、実際に負担が軽減したという感想をいただいています。

織田委員からの認知症カフェについては、基本的に認知症の本人と家族、地域の方と専門職が交流することを目的にしています。メニューは運動だけではなく、レクリエーション、講演会などもあります。内容に関しては、地域包括支援課のほうに毎月実績報告をあげてもらっているので、それで確認したり、実際にカフェに職員が出席して確認したりしています。

石川委員からの意見は、今現在のシステムでは難しいので、今後検討させていただきます。

３　その他

事務局　今回の議論を踏まえて素案を修正し、パブコメ公表前に皆様に郵送でお送りします。パブコメの後、１月に最終案の審議を行い、３月に計画策定を予定しております。

４　閉会

資料１

＜前回会議についての委員意見資料＞

※斎藤委員からいただいた御意見について、以下のとおり回答しております。

■第３回つくば市高齢者福祉推進会議における意見について

資料 1-1（つくば市高齢者福祉計画（第７期）施策進捗状況評価表）から
P1
1. 地域包括支援センター運営体制（地域包括支援課）
地域包括支援センターに嘱託として理学療法士(作業療法士・言語聴覚士・栄養士)を配置する施策を作成頂けないでしょうか？

(回答)

現状として、3 専門職（保健師・社会福祉士・主任ケアマネ）の配置で精一杯のため、難しいと思います。

２. 在宅医療・介護連携の推進（地域包括支援課）
事業のバランスが偏っている印象がぬぐえない

(回答)

在宅医療と介護の連携推進のため、通院できる人でなく在宅医療が必要な人への介護との連携を推進し、住み慣れた地域で人生の最期まで住み続けられることができるようにする事業のため、重度の介護者が対象となります。

３. 地域ケア会議の充実（地域包括支援課）
この事業から地域リハ活動支援事業や総合事業につなげる、つながる流れを作る必要がある

(回答)

昨年度から自立支援型ケア会議も開始されているため、その中から地域リハ活動支援事業や一般介護予防などにつなげていくケースは考えられます。

４. 生活支援体制の整備（地域包括支援課）
この事業から地域リハ活動支援事業や総合事業につなげる、つながる流れを作る必要がある

(回答)

地域の支えあいや助け合い活動を創出していく中で、居場所での予防運動などにつながっていくケースは考えられます。

地域リハ活動支援事業でサロン等へのリハ職の派遣を実施しています。

P2

５．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（地域包括支援課）

「自立支援」「重症化予防」の視点を加えることで、より目的となるケアマネジメントが浸透する。リハ専門職のケアマネジメントへの関与を積極的に進めてはどうでしょうか？

(回答)

居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに、地域リハビリテーション活動支援事業のケアマネジメント支援を活用してもらうことが考えられます。

６．地域見守りネットワーク事業（つくば市社会福祉協議会）

住民による見守りから行政および専門職へのつなぎを意識してはどうか？

住民が困った時にだれに相談するのかという視点である。

(回答)

社協から委嘱されたふれあい相談員が地域の見守り支援員や地域住民と連携し、情報共有を行っています。そこであがってきた支援が必要な方については、社協から専門職や市などにつないでいます。ふれあい相談員が地域の身近な相談役になれるよう社協も支援していきます。また、地域住民や各専門職にふれあい相談員の役割が浸透するように努めていきます。

P3

７．総合相談支援事業（地域包括支援課）

相談内容を分析して、PDCA を回してはどうか？

(回答)

地域包括支援課及び委託包括支援センターが合同で年 2 回程度、ケース共有を行う。それぞれの支援方針や実施した支援などについて、分析や意見交換を行い、その後の相談支援につなげています。

８．介護サービス相談員派遣事業（介護保険課）

必要に応じてリハ専門職の同行派遣をモデル事業化してはどうか？

(回答)

施設利用者の相談内容としては、施設の運営状況や職員の対応が主となります。相談内容で専門職の意見が必要な場合は、庁内で助言・協力をいただいておりますが、件数としては多くない状況です。今後、必要に応じて検討していきます。

P5

９．健康診査事業（健康増進課）

保険事業と介護予防の一体化のなかに理学療法士等の関与も示された。この事業にどのように理学療法士等を参画させるかの検討を開始されたい

（回答）

健康診査事業において、現在は保健師、管理栄養士が健康相談・栄養指導等を行っています。理学療法士による参画については今後、必要に応じて関係各課と検討していきます。

１０．　健康相談事業（健康増進課）

保険事業と介護予防の一体化のなかに理学療法士等の関与も示された。このこともあり、この事業にどのように理学療法士等を参画させるかの検討を開始されたい

（回答）

健康相談事業において、現在は保健師、管理栄養士が健康相談を行っています。理学療法士による参画については今後、必要に応じて関係各課と検討していきます。

P6

１１．　ふれあいサロン事業（つくば市社会福祉協議会）

参加者減少の課題からアウトリーチ活動が重要にあると思われる。

（回答）

代表の担い手がいない、活動内容に困る、参加者の固定化など、地域やサロンにより課題が異なるため、７圏域の地域活動コーディネーターが、各サロンを訪問し、アセスメントを行っています。そこで出た課題について、具体的な解決に向け、サロン代表者だけでなく、参加者、さらには地域住民も含め、話し合いを行うことで対応していきます。

P8

１２．　基準緩和型訪問・通所サービス（高齢福祉課）

この推進に関してモデル事業を事業化してはどうか？

（回答）

基準緩和型訪問・通所サービスについては、課内で検討し現在サービスの指定を受けている事業所や今後検討中としている事業所と調整を行いました。しかし、現段階においては利用者と従事者のニーズの問題に加え、介護保険や総合事業の枠内で

は事業としての成立が難しいという結論に至りました。今後も様々な視点から基準緩和型サービスの良い点を生かせるような事業の在り方を検討していきます。

P9

１３．　出前健康教室事業（健康増進課）

必要に応じてリハ専門職・栄養士の派遣をモデル事業化してはどうか？

（回答）

リハビリテーション専門職や栄養士の派遣については、現在も実施しています。今後も継続し派遣していきたいと思っています。

P11

１４．　介護予防ケアマネジメント事業（地域包括支援課）

「自立支援」「重症化予防」の視点を加えることで、より目的となるケアマネジメントが浸透する。リハ専門職のケアマネジメントへの関与を積極的ン進めてはどうでしょうか？

（回答）

居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに、地域リハビリテーション活動支援事業のケアマネジメント支援を活用してもらうことが考えられます。

１５．　ケアマネジメント等の適正化（介護保険課）

「自立支援」「重症化予防」の視点を加えることで、より目的となるケアマネジメントが浸透する。リハ専門職のケアマネジメントへの関与を積極的ン進めてはどうでしょうか？

（回答）

居宅介護支援事業所に、地域リハビリテーション活動支援事業のケアマネジメント支援を活用してもらうことが考えられます。

１６．　住宅改修等の適正化（介護保険課）

理学療法士、作業療法士の関与をモデル事業化してはどうか？

(回答)

理学療法士、作業療法士などの専門職にも、点検や訪問調査への協力を依頼し、庁内で連携し業務を行っています。

今後も、利用者の状態に応じたサービスの提供が行われるよう継続していきます。

資料２

＜前回会議で御質問いただいた事業の詳細資料＞

つくば市要介護度改善ケア給付金交付事業について

対象施設に入所している者のうち、評価期間内に要介護度が改善した者の人数に応じて給付金を交付する事業です。

１　対象施設

市内の地域密着型介護老人福祉施設（５施設）及び介護老人福祉施設（10 施設）

２　評価期間

交付申請日が属する年度の前年度の４月１日から翌年の３月 31 日

（交付申請期間は、毎年 12 月１日から 12 月 28 日までです。）

３　要介護度が改善した者

つくば市の介護保険の被保険者であって、要介護度が改善される６月以上から対象施設に入所する者のうち、評価期間中に要介護度が改善され、その介護度が６月以上維持された者

例）平成 30 年４月１日～平成 31 年３月 31 日を評価期間とした入所者。平成 29 年５月に対象施設に入所し、平成 30 年４月１日には要介護度が４であったが、同年５月１日に要介護３と認定されたケース。６月後の平成 30 年 11 月１日まで要介護３を維持した場合、対象となる。

４　給付金額

要介護度が改善した者１人につき５万円

５　交付までの流れ

対象施設で要介護度が改善した者の一覧を添えて交付申請期間内に申請し、該当であると確認できた場合に給付金を交付します。

⇒実績値の 17 名は、以上の内容に該当した方々です。

つくば市看取り介護推進給付金について

対象施設において、看取り介護死亡日加算の介護給付費の請求を行った場合に給付金を交付するものです。

１　対象施設

市内の地域密着型介護老人福祉施設（５施設）及び介護老人福祉施設（10 施設）のうち、交付申請日の前年の１月１日から 12 月 31 日までの間に、つくば市の介護保険の被保険者で看取り介護加算の死亡日についての加算の対象となる者が入所していた施設。

２　対象となる看取り介護死亡日加算

給付金の交付を受けようとする年の１月 10 日までに介護給付費の請求を行ったもの。なお、給付金の交付申請日は毎年２月１日から２月 28 日までです。

３　給付金額

看取り介護死亡日加算対象入所者１人につき 6,400 円

４　交付までの流れ

対象施設が看取り介護死亡日加算対象入所者の一覧を添えて交付申請期間内に申請し、該当であると確認できた場合に給付金を交付します。

⇒国と同じ基準で同じ人に重ねて出しています。

資料３

つくば市高齢者福祉計画
（第８期）

令和２年　10 月

つ　く　ば　市

目　次

第１部　総 論 1
第１章　計画策定の趣旨と概要 1
1　計画策定の背景・趣旨 1
2　計画の根拠法令 2
3　計画の位置づけ 2
4　計画の期間 3
5　計画の推進体制 4
6　日常生活圏域の設定 5
7　地域包括ケア「見える化」システム 6
第２章　高齢者を取り巻く現状と課題 7
1　統計からみた本市の現状 7
2　高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査結果 18
3　アンケート調査からみた高齢者について 19
4　つくば市における課題 39
第３章　つくば市の高齢者福祉の基本的な考え方 49
1　計画の基本理念 49
2　計画の基本的視点 50
3　施策の体系 53
第２部　各 論 54
第１章　地域包括ケアシステムの深化・推進 54
1　地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実 54
第２章　認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進 66
1　高齢者の認知症支援 66
2　権利擁護の推進 71
3　成年後見制度の利用促進（つくば市成年後見制度利用促進基本計画） 73
第３章　介護予防や健康づくりの推進 83
1　介護予防・日常生活支援総合事業 83
2　高齢者の健康づくりと社会参加の支援 89
第４章　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援 96
1　在宅介護・家族介護者の支援の充実 96
2　ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実 100
第５章　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化 107
1　ニーズに合わせた多様な住まいの供給 108
2　適切な住まいに入居できるための情報提供の支援 111
3　安心安全な居住環境の確保 113
4　地震等災害に強い住まいづくり 116
第６章　介護保険サービスの充実と制度の活用 118

1　介護サービス事業所の整備・質の向上 118
2　低所得者の利用負担等の軽減 124
3　介護保険料の減免・細分化 126
第７章　介護保険事業計画の推進 127
1　要支援・要介護者数の推移と推計 127
2　サービスごとの給付実績の推移と推計 129
3　日常生活圏域ごとの整備状況と今期計画の考え方 140
4　介護（予防）給付費等の推移と推計 146

第１部　総 論

第１章　計画策定の趣旨と概要

１　計画策定の背景･趣旨

介護保険制度は、平成 12 年にスタートし、これまで、要介護認定のしくみや新たなサービスを追加するなどの見直しが行われてきましたが、単身者や認知症の高齢者の急増など、多くの課題を抱える社会環境により、介護を必要とする家庭にとって、なくてはならない制度として定着し、利用者も増加しています。

我が国の 65 歳以上人口の割合である高齢化率は上昇しており、国際的にみても高い水準に達しています。高齢者の人口は今後もますます増加することが見込まれる一方、年少人口（０～14 歳)、生産年齢人口（15～64 歳）は減少していくことが予測されていることから、社会構造に大きな影響を与えることが考えられています。

こうした中、平成 29 年６月に「地域包括ケアシステムを強化するための介護保険法等の一部を改正する法律」が公布され、高齢者の自立支援と重度化防止に向けた保険者機能の強化、地域共生社会の実現に向けた取組、医療と介護の連携の推進など、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた制度改正が行われました。

本市においては、平成 30 年３月に『つくば市高齢者福祉計画（第７期)』を策定し、「高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として、高齢者施策への取組を総合的に一層充実・強化し展開してきたところです。

令和２年度は、第７期計画の最終年度であることから、これまでの計画の取組や第７期計画の進捗状況、介護保険サービスの利用実績、さらには、アンケート調査結果から見えた課題や生活実態等を踏まえ、介護保険制度の健全かつ安定的な運営と、さらなる地域包括ケアシステムの深化・推進等を念頭に、『つくば市高齢者福祉計画（第８期)』を策定するものです。

2　計画の根拠法令

高齢者福祉計画（老人福祉法第 20 条の 8 に基づく）は、高齢者施策に関する基本的な目標を設定し、その実現に向かって取り組むべき施策全般が定められています。

また、介護保険事業計画（介護保険法第 117 条に基づく）は、介護サービスや地域支援事業の量の見込み等について明らかにしたものです。

なお、本計画は高齢者の住居や環境の整備を目指す高齢者居住安定確保計画（高齢者の居住の安定確保に関する法律第 4 条の 2 に基づく）と、成年後見制度の利用促進を図るため、今計画から成年後見制度利用促進基本計画（成年後見制度の利用の促進に関する法律第 14 条）を内包しています。

高齢者福祉計画（高齢者全般に関する総合的な計画）

★老人福祉計画
老人福祉事業の目安、確保のための方策、供給体制の確保に関する事業計画

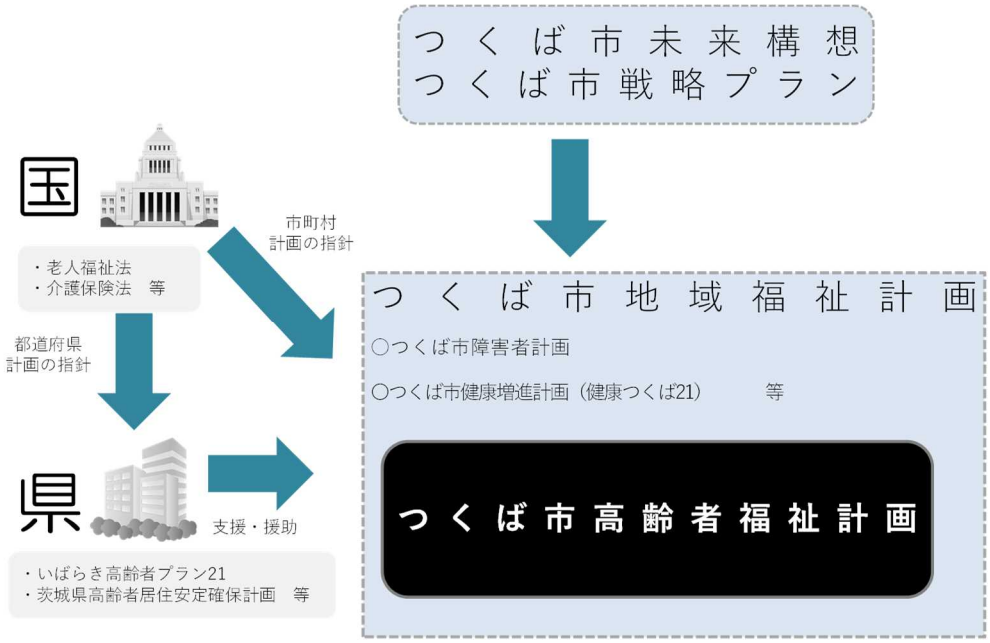
★高齢者居住安定確保計画
高齢者の様々なニーズに対応した住居や福祉サービスを選択できるように住宅・住環境の整備を目指す計画

★介護保険事業計画
要介護（支援）高齢者や要介護（支援）となるおそれのある高齢者を対象とした介護（予防）サービス、介護予防事業に関する実施計画

★成年後見制度利用促進基本計画
成年後見制度の利用促進に関する施策の総合的・計画的な推進を図るための計画

3　計画の位置づけ

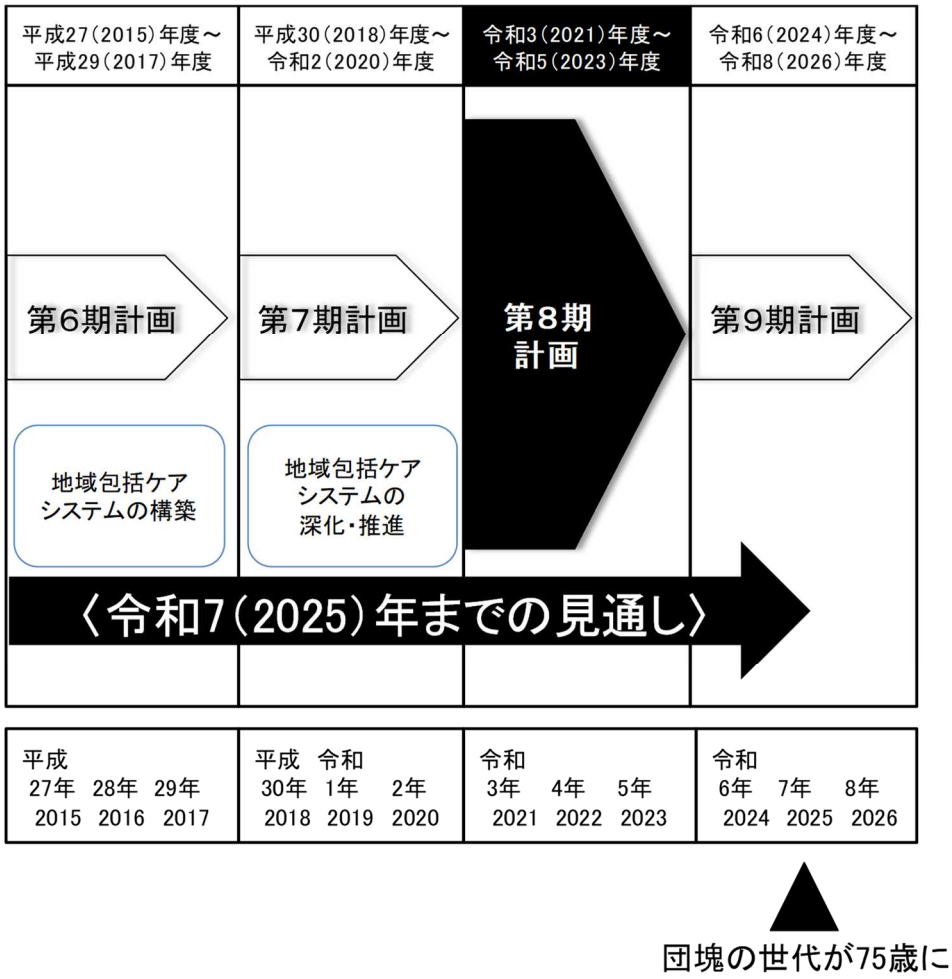
本計画を策定するにあたっては、令和元年度に実施した前期高齢者、後期高齢者、要支援認定者、要介護認定者、若年者及びケアマネジャーを対象としたアンケート調査の結果に基づくとともに、地域福祉計画などの上位計画や障害者計画・健康増進計画などの関連計画との整合と、つくば市戦略プランとの連携を図っています。



４　計画の期間

本計画は、令和３年度から令和５年度までの３か年計画となっています。

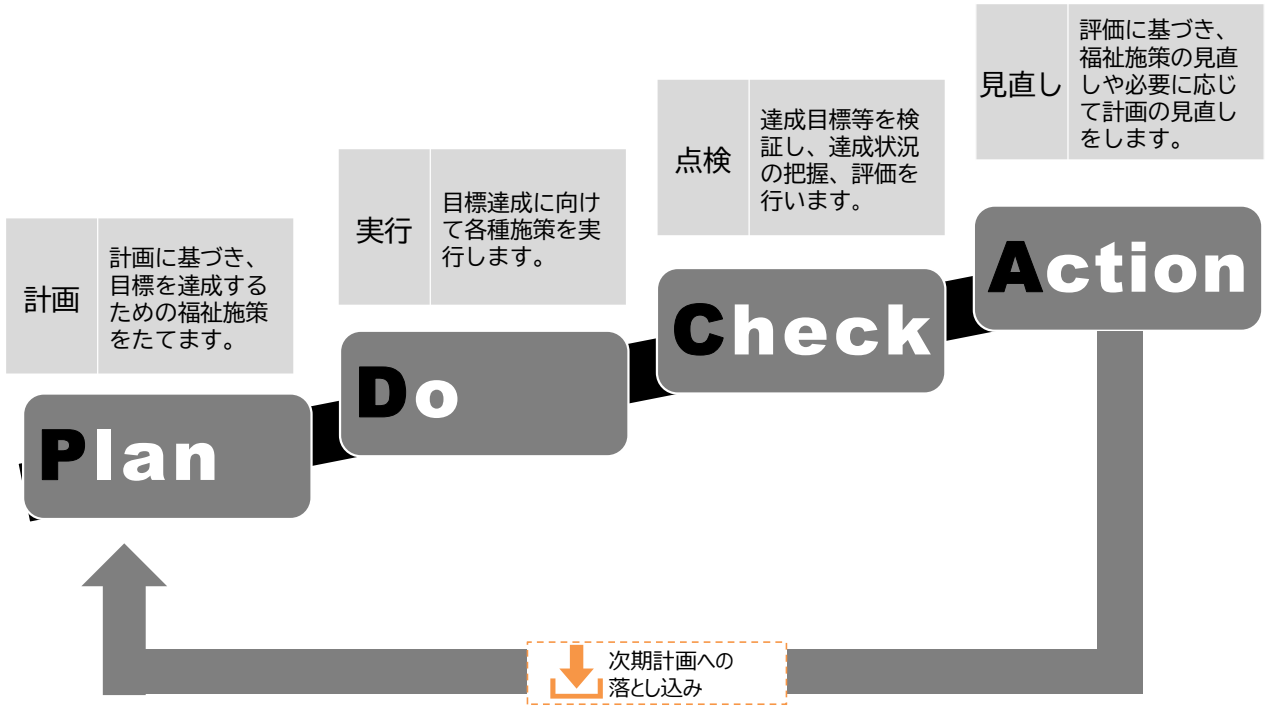
介護保険法第 117 条第１項により３年を１期として定められている介護保険事業計画にあわせて３年ごとに見直しを行い、新たな計画を策定します。



5　計画の推進体制

本計画の策定後、介護保険サービスの各事業について実施状況を毎年度審査し、課題の分析及び課題の解決策を講じ、適切な進行管理に努めます。

また、計画の推進にあたっては、公募による被保険者の代表、学識経験者、保健・医療・福祉団体の代表者及び介護サービス事業所の代表で構成する「つくば市高齢者福祉推進会議」の中で、ＰＤＣＡサイクルで計画の進捗評価をするとともに、事業の総合的な推進を図っていきます。



6　日常生活圏域の設定

介護保険事業計画では、高齢者が住み慣れた身近な地域で自立した生活を送ることができるように、市域をいくつかに区分した「日常生活圏域」を設定し、「日常生活圏域」ごとに、地域密着型サービスや施設整備等を行っています。

市では、原則として合併前の市町村単位で日常生活圏域を設定していますが、谷田部圏域については、他の圏域と比較して対象人口が多いため、東西に分割しています。



7　地域包括ケア「見える化」システム

本計画は、厚生労働省が運用する地域包括ケア「見える化」システムを活用し、作成しています。機能としては、アンケート調査結果分析に関する「現状分析」機能や介護サービスの見込み量及び介護保険料算定に関する「将来推計」機能等があり、これらを有効活用することによって計画に反映させています。



第２章　高齢者を取り巻く現状と課題

１　統計からみた本市の現状

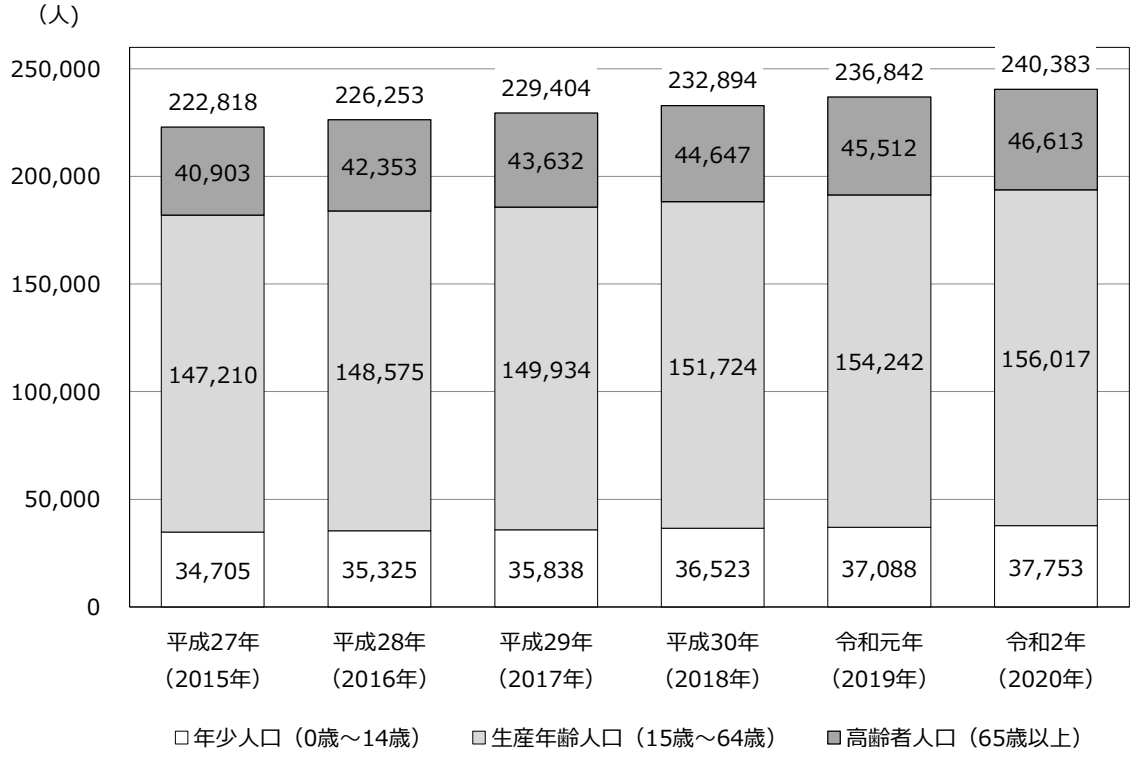
（１）人口の推移

①総人口の推移

本市の人口は、増加傾向を示しており、平成 27 年の 222,818 人から令和２年の 240,383 人と 17,565 人増加しています。

年少人口は、平成 27 年の 34,705 人から令和２年の 37,753 人、生産年齢人口は 147,210 人から令和２年の 156,017 人とそれぞれ増加傾向にあります。

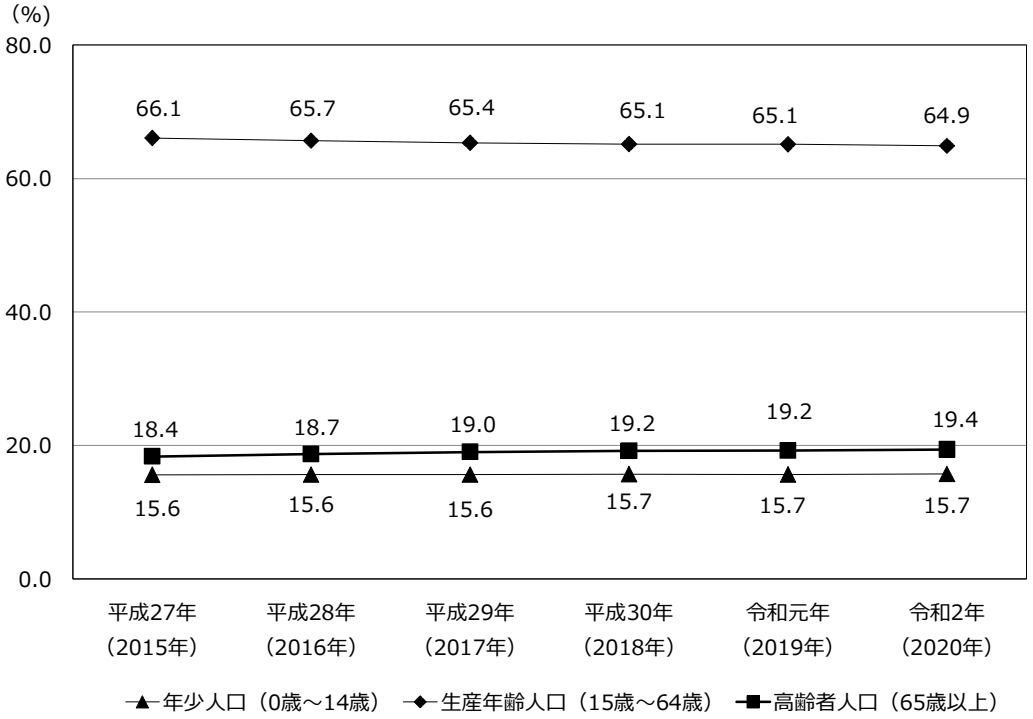
高齢者人口も同様に、平成 27 年の 40,903 人から令和２年の 46,613 人と増加傾向にあります。



資料：住民基本台帳（各年 10 月１日）

②年齢階級別割合の推移

平成 27 年から令和 2 年までの年齢階級別割合の推移では、年少人口割合は 0.1 ポイント、高齢者人口割合は 1 ポイントとそれぞれ増加しており、生産年齢人口は 1.2 ポイント減少しています。



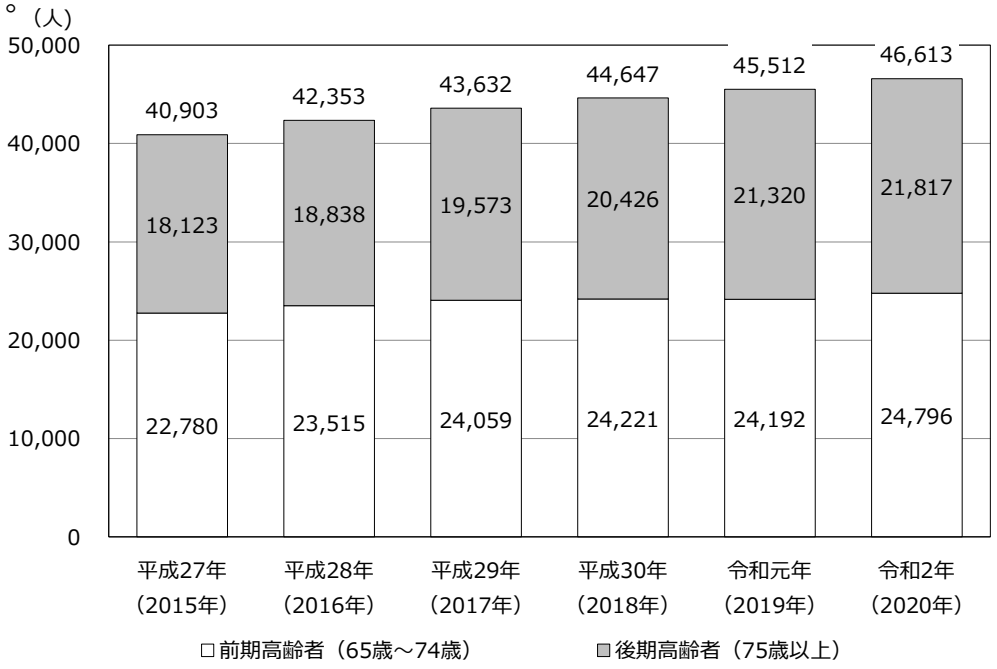
資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

（２）高齢者人口の推移

①高齢者人口の推移

高齢者人口は、平成 27 年の 40,903 人から、令和 2 年の 46,613 人と 5,710 人増加しています。

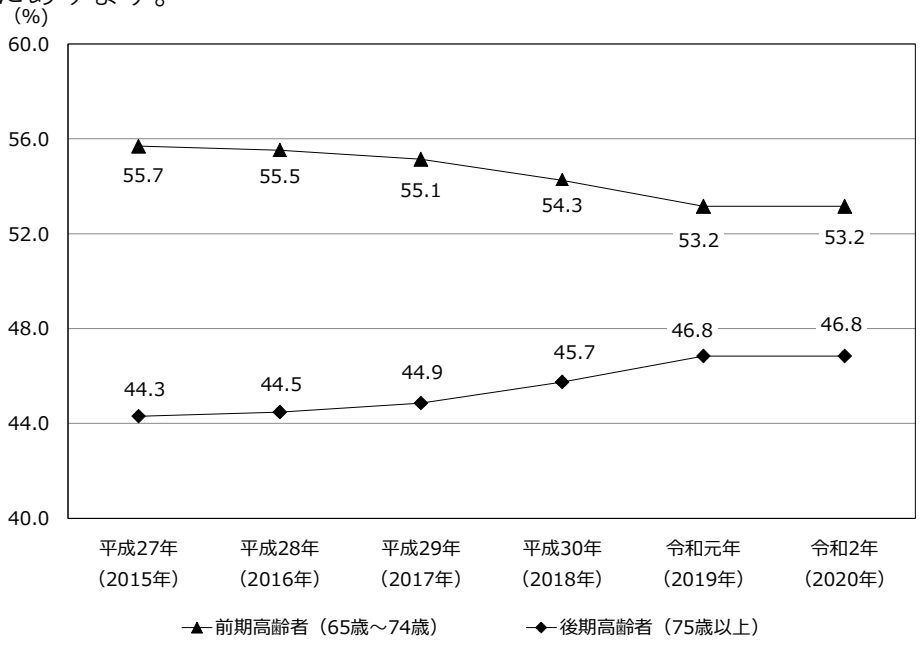
前期高齢者は、平成 27 年の 22,780 人から令和 2 年の 24,796 人と 2,016 人増加し、後期高齢者は、平成 27 年の 18,123 人から令和 2 年の 21,817 人と 3,694 人増加しています。



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

②前期・後期高齢者人口割合の推移

前期・後期高齢者人口割合の推移では、前期高齢者が減少傾向にあり、後期高齢者が増加傾向にあります。



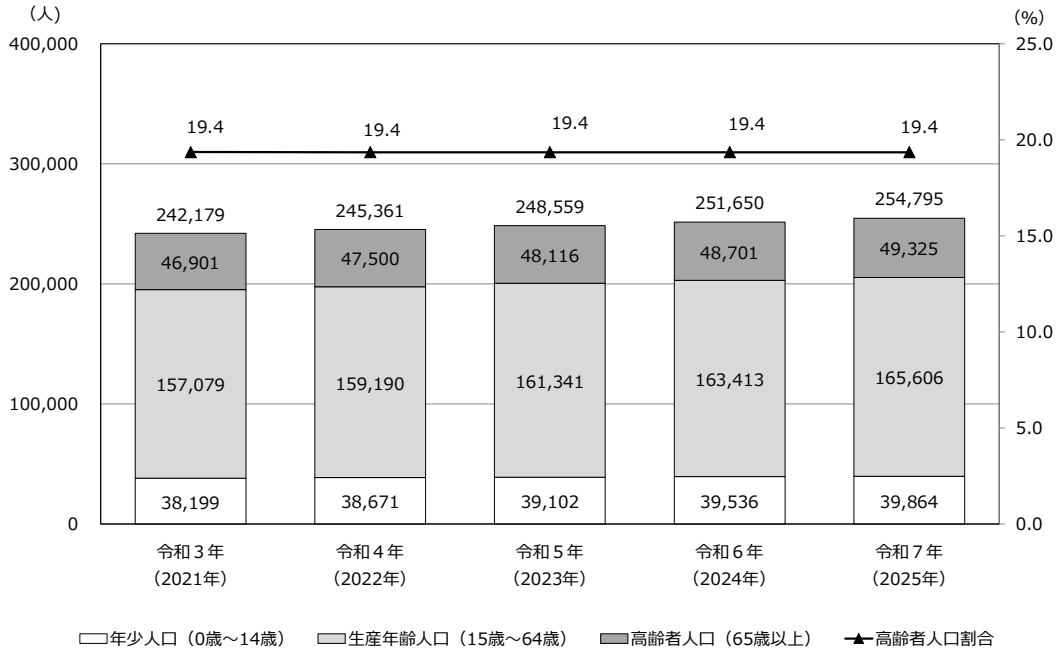
資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

（3）人口推計

①総人口の推計

令和３年から令和５年までの計画期間中の人口推計をみると年少人口、生産年齢人口、高齢者人口全ての年齢階級において増加傾向を示しています。

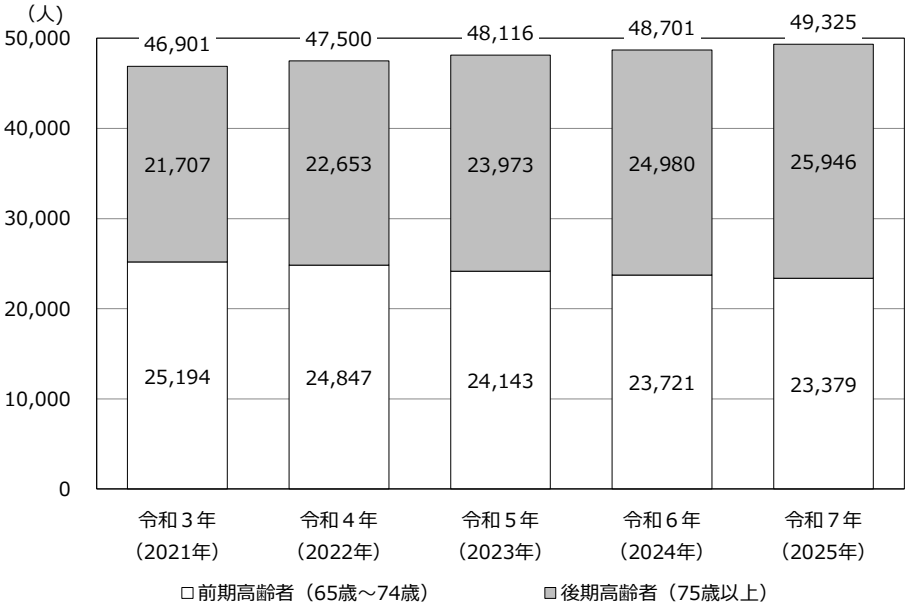
また、団塊の世代の全ての方が 75 歳をむかえる令和７年の総人口は 25 万人程度となっています。



資料：コーホート変化率法にて推計

②高齢者人口の推計

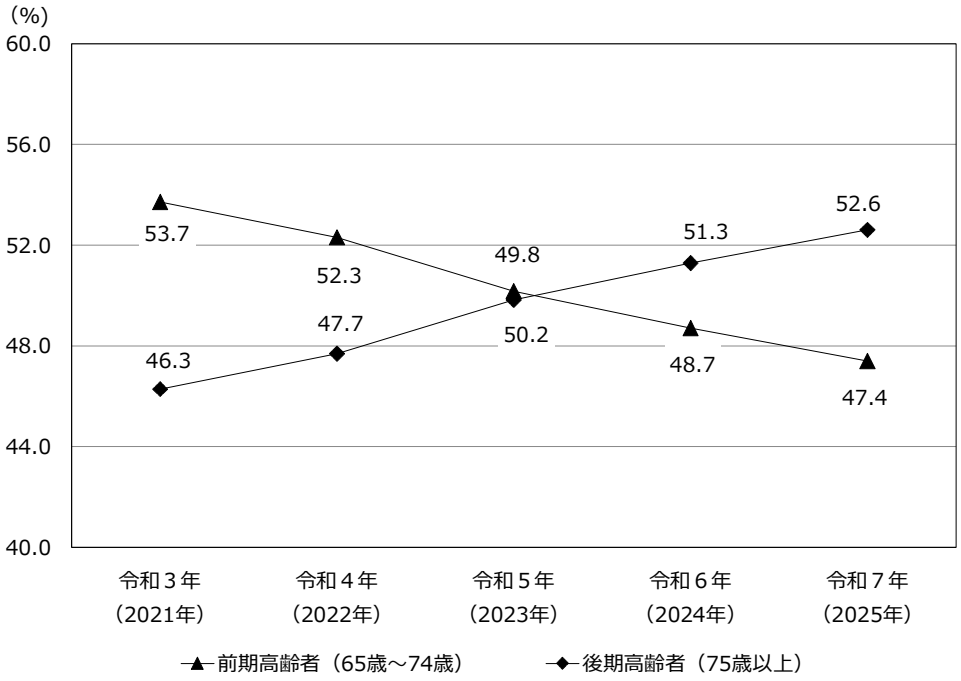
令和３年から令和５年までの計画期間中の高齢者人口の推計をみると、前期高齢者は減少傾向、後期高齢者は増加傾向を示しており、令和７年では５万人程度となることが見込まれます。



資料：コーホート変化率法にて推計

③前期・後期高齢者人口割合の推計

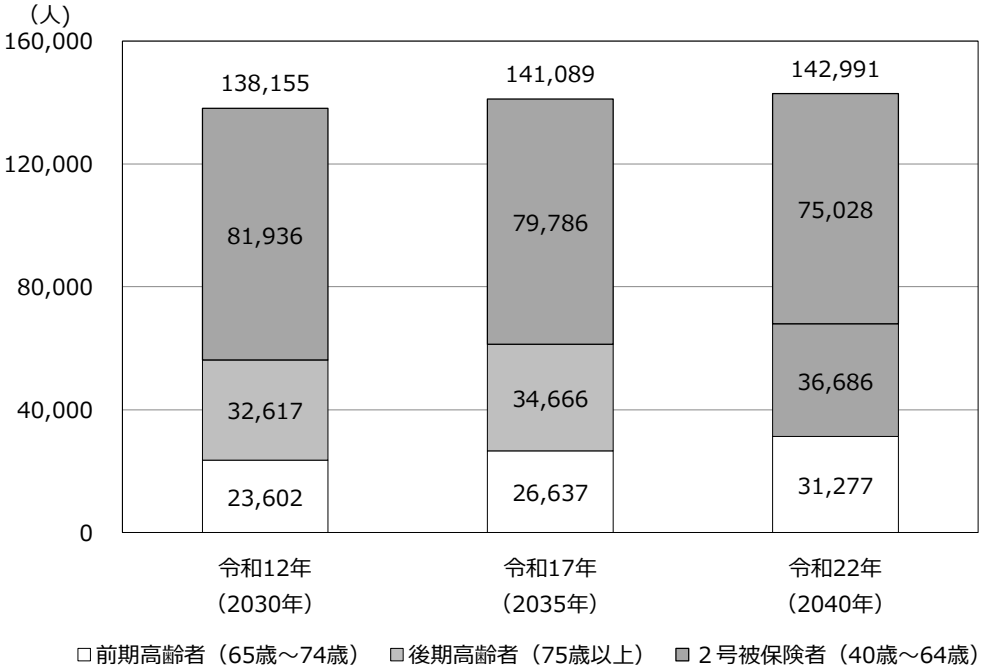
前期・後期高齢者人口割合の推計をみると、令和５年を目途に後期高齢者割合が多くなることが見込まれます。



資料：コーホート変化率法にて推計

④令和 22（2040）年までの見込み

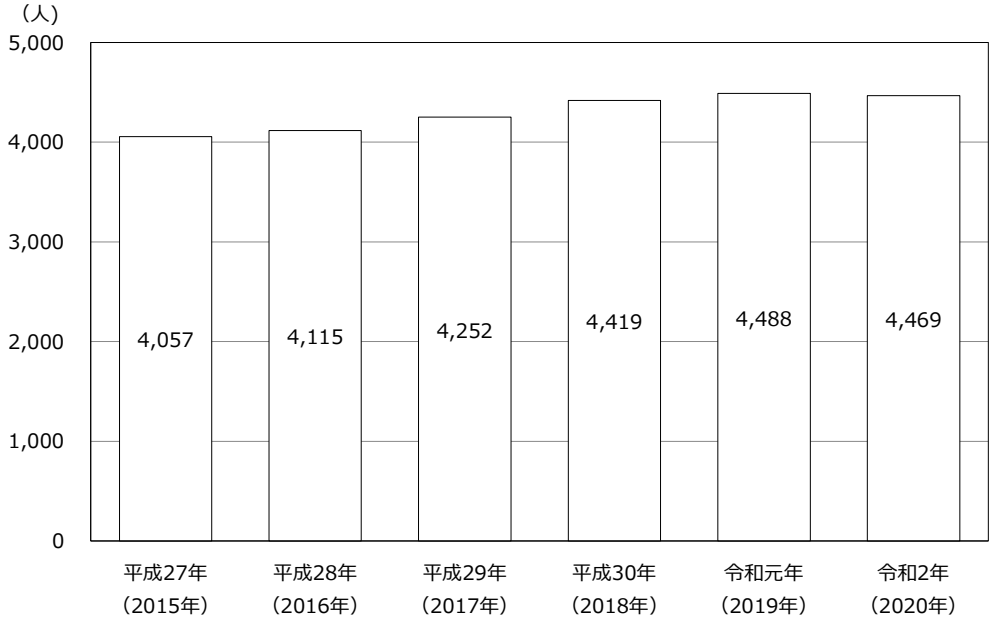
令和 12 年から令和 22（2040）年までの高齢者人口及び第２号被保険者の中長期的な推計をみると、高齢者人口は増加傾向を示していますが、第２号被保険者は減少が見込まれています。



資料：国立社会保障・人口問題研究所

（４）認知症高齢者数の推移

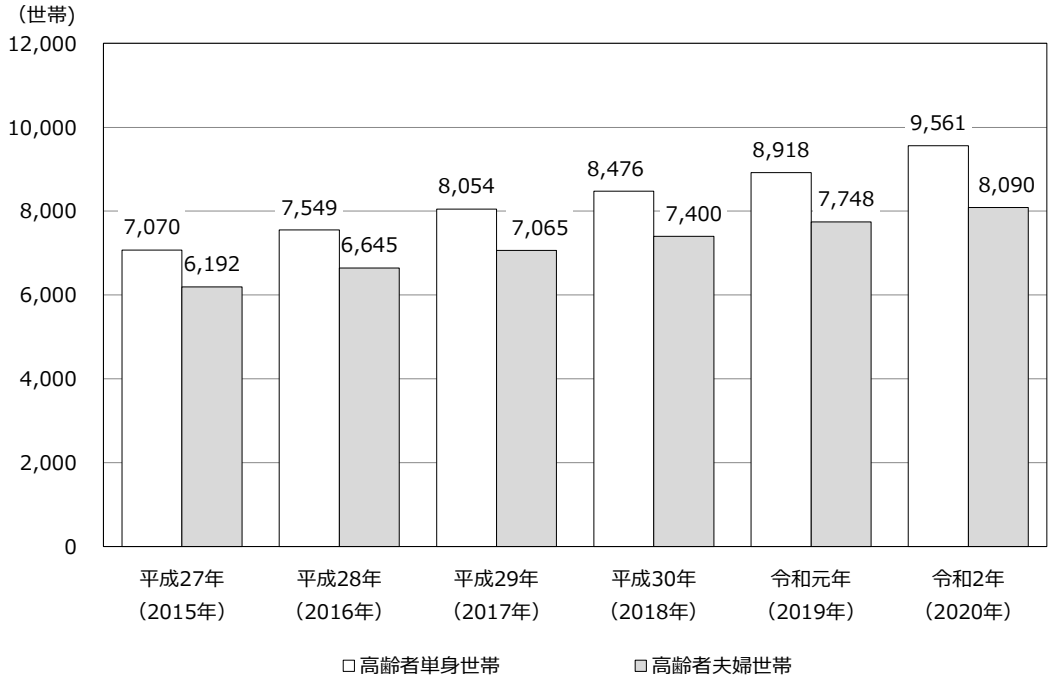
要支援・要介護認定者のうちの認知症高齢者数の推移をみると、平成 27 年から令和２年までで約 400 人増加しています。



資料：介護保険課（各年 9 月 30 日）※認知症自立度Ⅱ以上

（５）高齢者世帯の推移

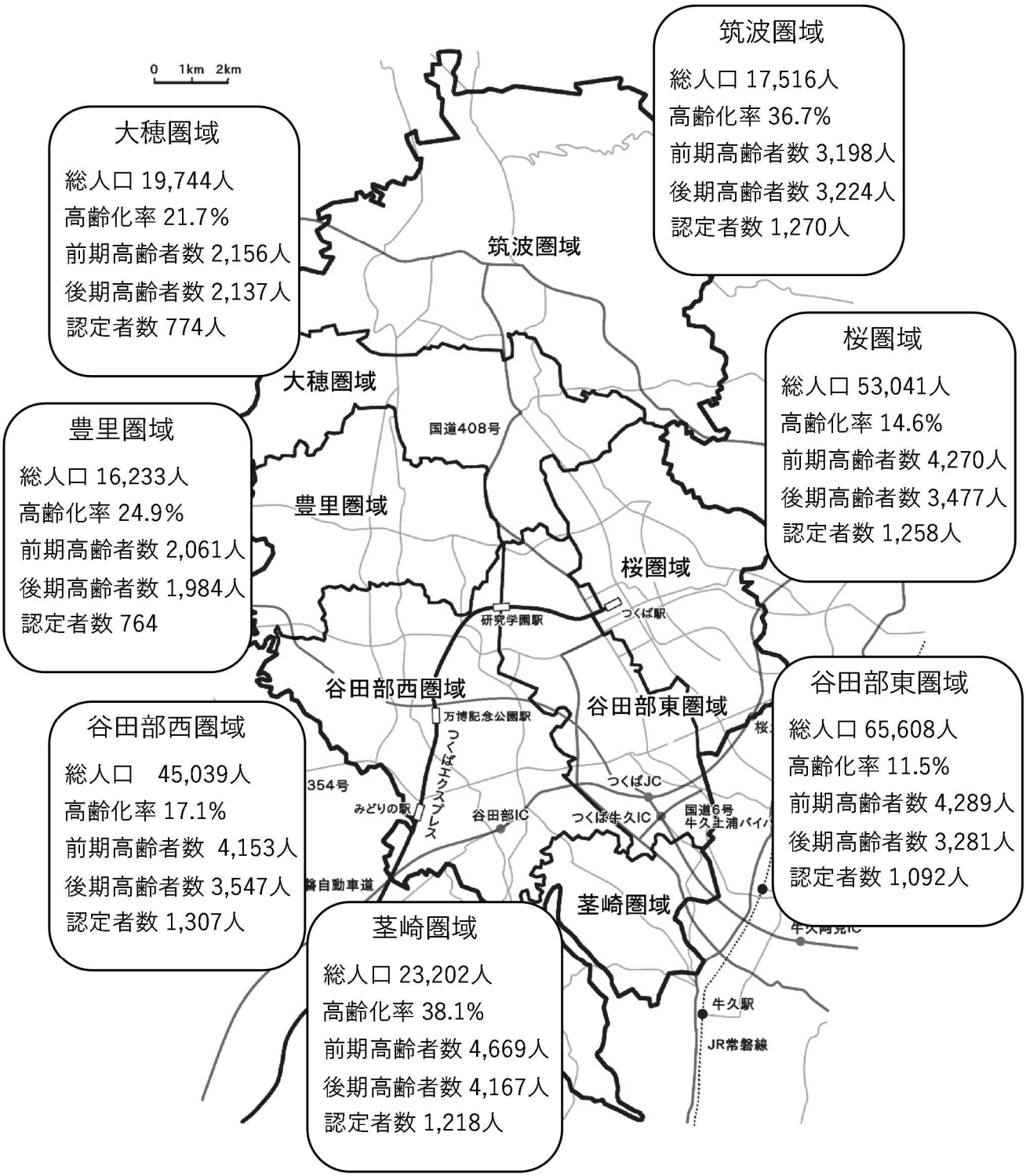
高齢者世帯の推移を見ると，高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯ともに増加傾向にあり、平成 27 年から令和 2 年までで、高齢者単身世帯では 2,491 世帯、高齢者夫婦世帯では 1,898 世帯とそれぞれ増加しています。



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

（６）日常生活圏域別の高齢者の状況

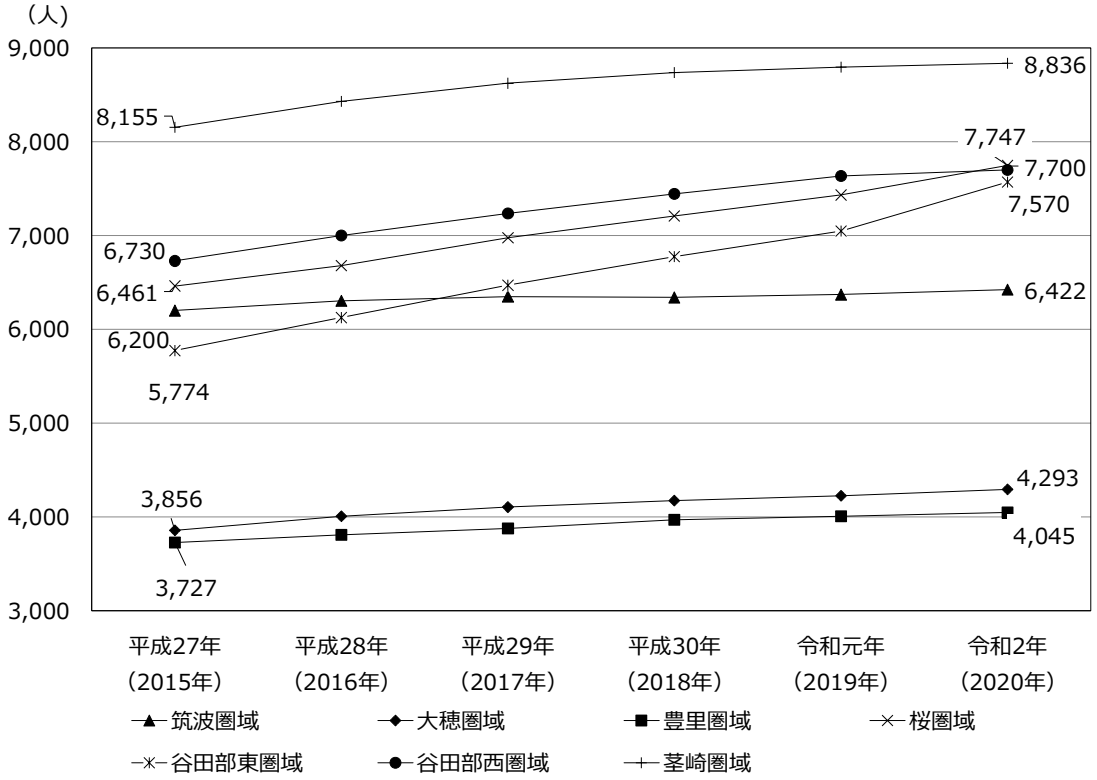
令和２年 10 月１日現在の日常生活圏域別の高齢化率をみると、「茎崎圏域」の 38.1％が最も高く、次いで「筑波圏域」の 36.7％となっています。高齢化率が最も低い圏域では「谷田部東圏域」の 11.5％となっています。



資料：住民基本台帳（令和２年 10 月１日）

（７）日常生活圏域別高齢者数の推移

日常生活圏域別高齢者数の推移をみると、令和２年では「茎崎圏域」の高齢者数が8,836人と最も多く、次いで「桜圏域」の7,747人となっています。



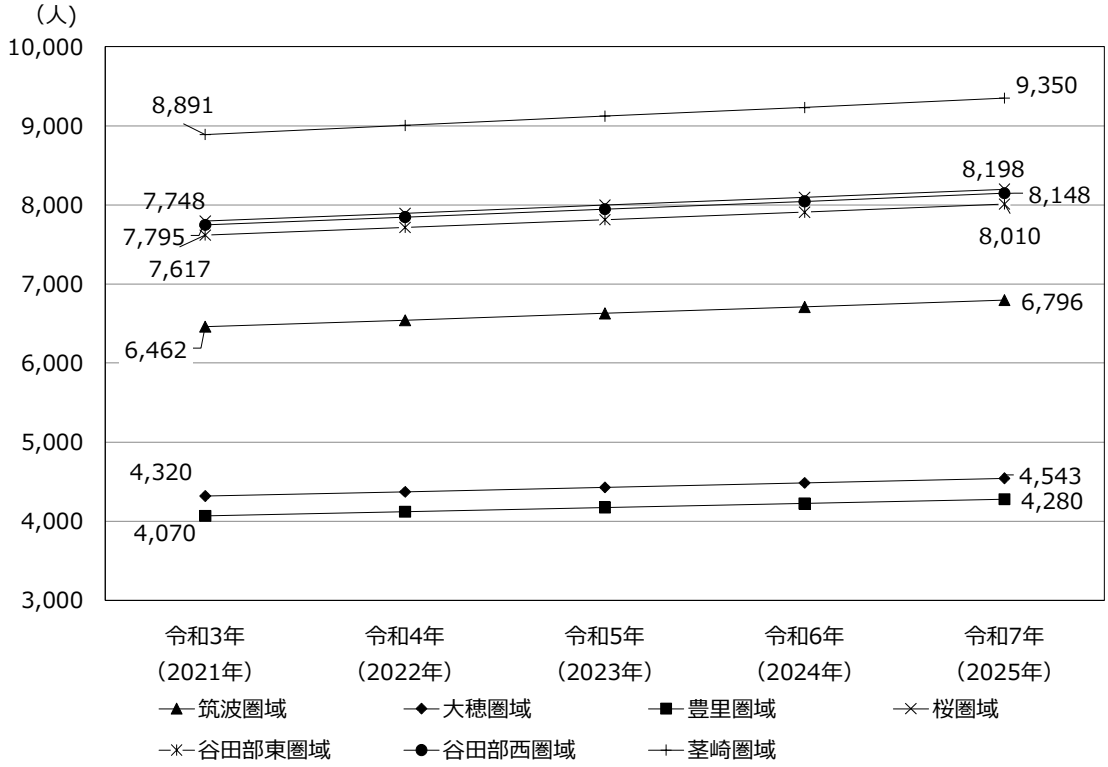
（単位：人）

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
筑波圏域	6,200	6,302	6,350	6,340	6,370	6,422
大穂圏域	3,856	4,006	4,103	4,174	4,226	4,293
豊里圏域	3,727	3,808	3,876	3,968	4,005	4,045
桜圏域	6,461	6,681	6,976	7,208	7,432	7,747
谷田部東圏域	5,774	6,125	6,468	6,773	7,048	7,570
谷田部西圏域	6,730	7,000	7,236	7,445	7,635	7,700
茎崎圏域	8,155	8,431	8,623	8,739	8,796	8,836

資料：住民基本台帳（各年10月1日）

（８）日常生活圏域別高齢者数の推計

日常生活圏域別高齢者数の推計をみると、「茎崎圏域」、「桜圏域」、「谷田部東圏域」での高齢者の伸び率がやや高いことが予想されます。

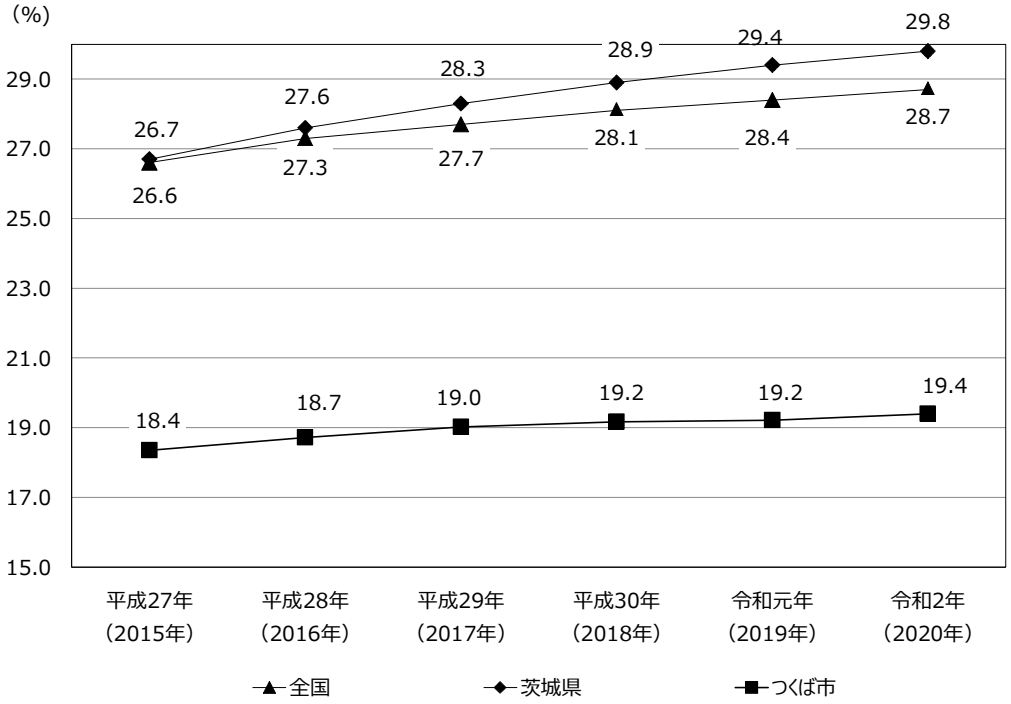


資料：各年の伸び率を基に推計

（９）国･県との比較

①高齢化率の比較

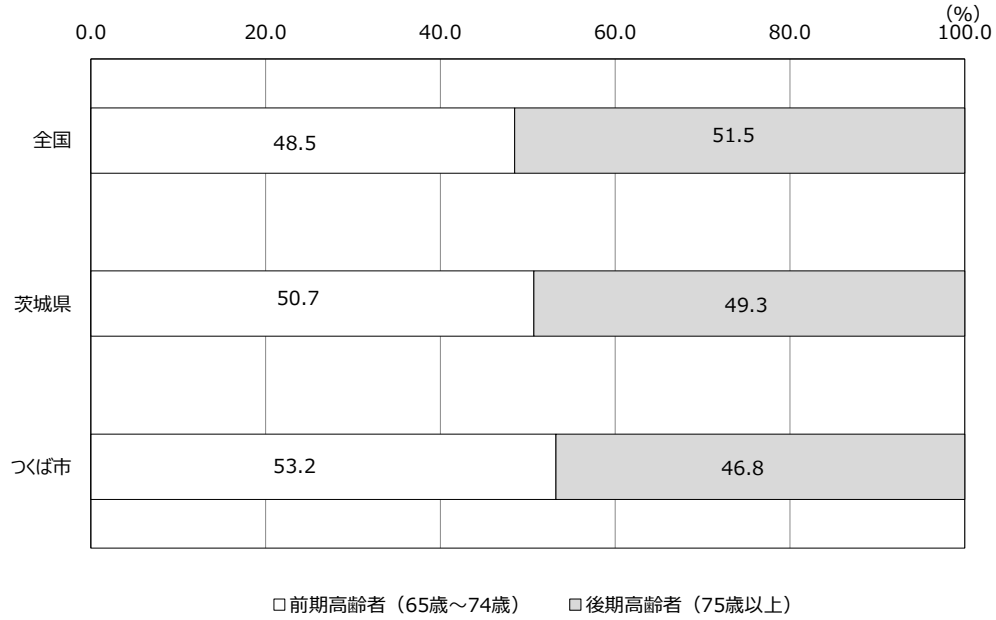
全国及び茨城県と高齢化率の比較をすると、令和２年では、全国とは 9.3 ポイント、茨城県とは 10.4 ポイントとそれぞれ低くなっています。



資料：国・県は茨城県資料、市は住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

②前期・後期高齢者人口割合の比較

全国及び茨城県と前期・後期高齢者人口割合を比較すると、前期高齢者の割合が高いことがうかがえます。



資料：国・県は「総務省統計局人口推計」、市は住民基本台帳（令和２年 10 月 1 日）

③高齢者人口に対する要介護認定者の比率

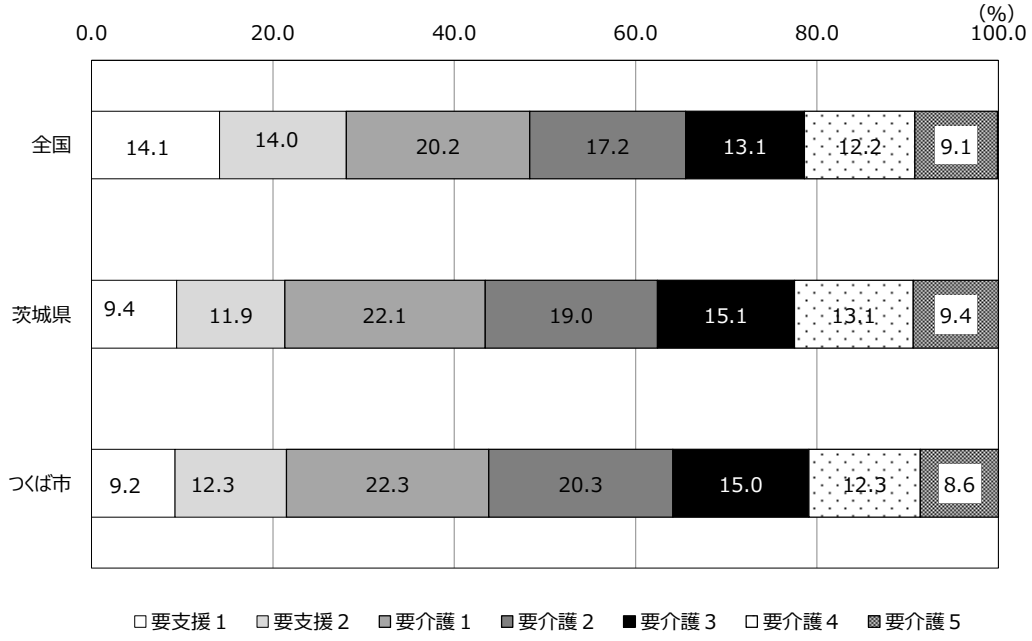
高齢者人口に対する要支援・要介護認定者数の割合は、本市は 16.5%で、茨城県より 1.1 ポイント高く、全国より 2 ポイント低くなっています。

	第１号被保険者数	要支援・要介護認定者数	第１号被保険者数に対する比率
全国	35,388,434	6,539,825	18.5%
茨城県	835,146	128,674	15.4%
つくば市	45,372	7,495	16.5%

資料：介護保険事業状況報告（令和元年９月）

④要介護認定者の構成比

要介護認定者の構成比について、本市は「要介護１・２」の割合が全国及び茨城県に比べ高くなっています。



資料：介護保険事業状況報告（令和元年９月）

2　高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査結果

本調査は「つくば市高齢者福祉計画（第８期）」策定のため、市内に居住する高齢者及びケアマネジャーの現状を把握し、計画の基礎資料とするために実施したものです。

（１）調査の対象者

調査区分	対象
一般高齢者	つくば市の住民基本台帳に記載があり、介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者から 3,000 名分無作為抽出
要支援・要介護認定者	つくば市の住民基本台帳に記載があり、在宅で生活している要支援・要介護認定者から 3,000 名分無作為抽出
若年者	つくば市の住民基本台帳に記載があり、介護認定を受けていない 40 歳以上 65 歳未満の方から 2,000 名分無作為抽出
ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所、介護施設、地域密着型サービス事業所及び特定施設入居者生活介護事業所に所属するケアマネジャー250 名に配布

（２）調査方法と実施期間

■調査方法：郵送配布、郵送回収

■実施期間：令和２年１月 15 日～令和２年２月 17 日

（３）回収結果

対象者	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者	3,000	1,821	1,821	60.7%
要支援・要介護認定者	3,000	1,502	1,502	50.1%
若年者	2,000	806	805	40.3%
ケアマネジャー	250	174	171	68.4%

3　アンケート調査からみた高齢者について

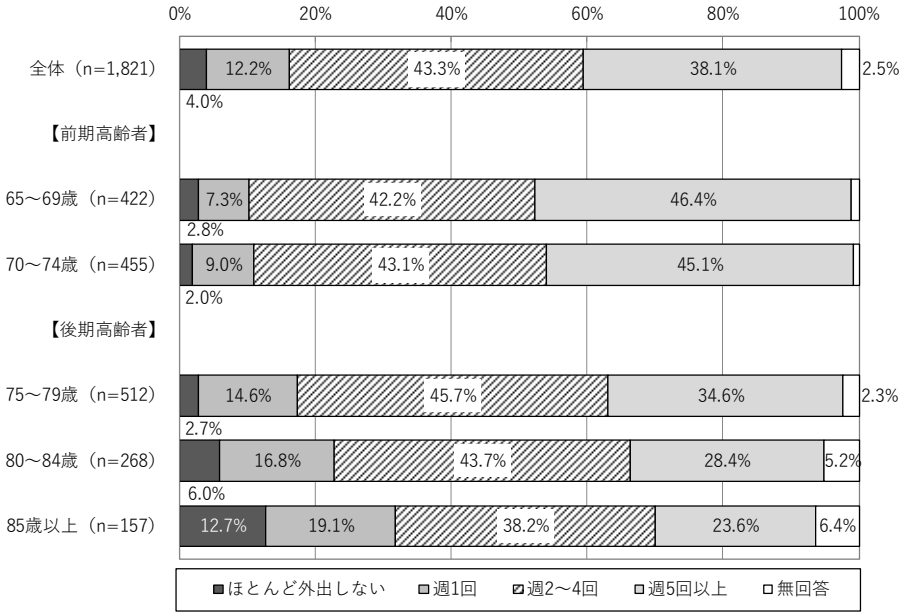
（１）アンケート調査結果抜粋

①高齢者の外出について

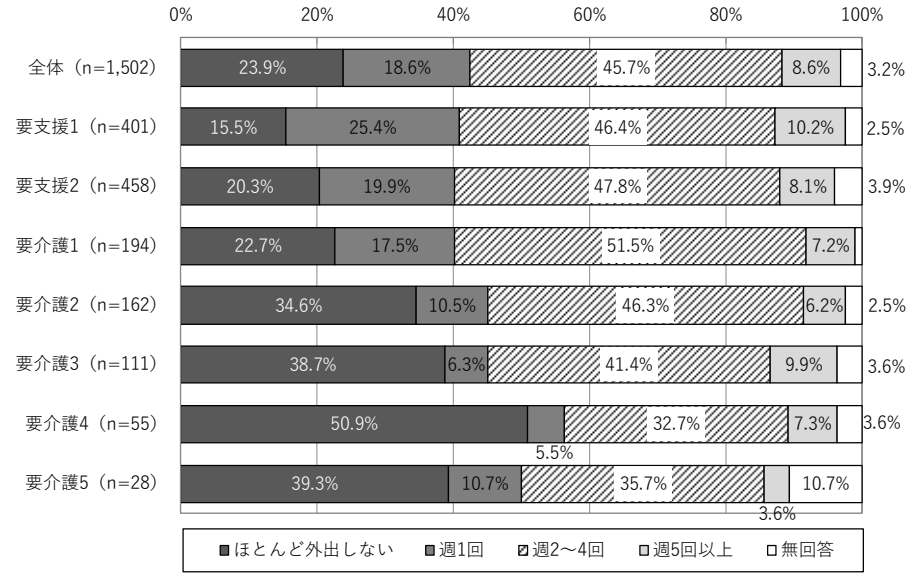
週に１回以上は外出しているかでは、一般高齢者、要支援・要介護者ともに「週 2～4 回」が約４割と最も多く、要支援・要介護者では「ほとんど外出しない」が約２割となっています。

【外出の有無】

一般高齢者



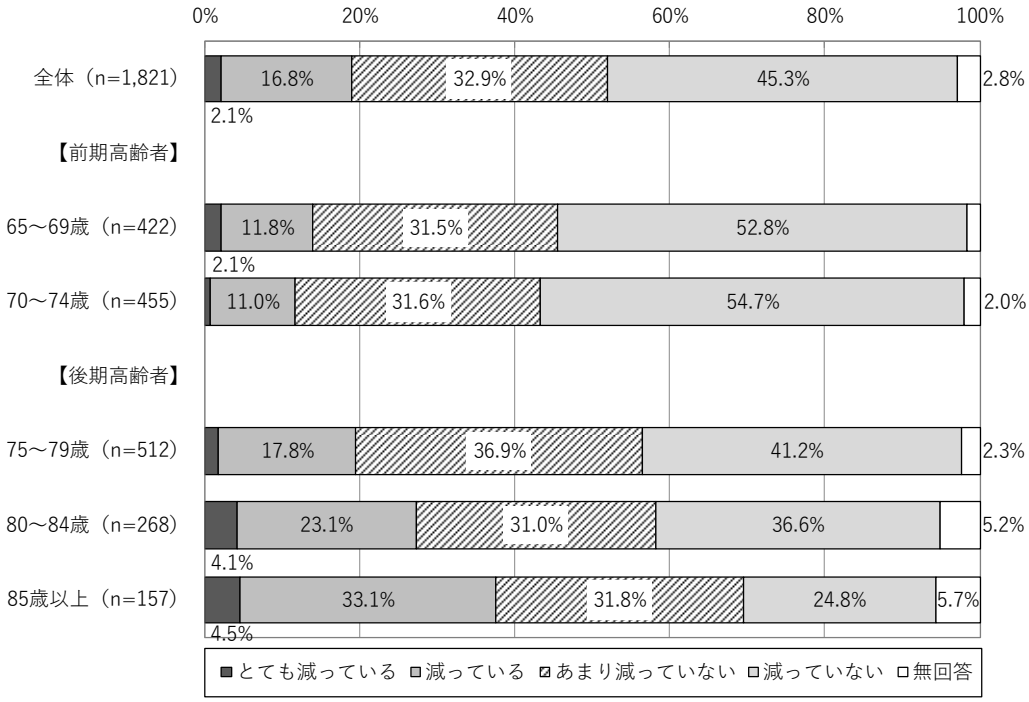
要支援・要介護者



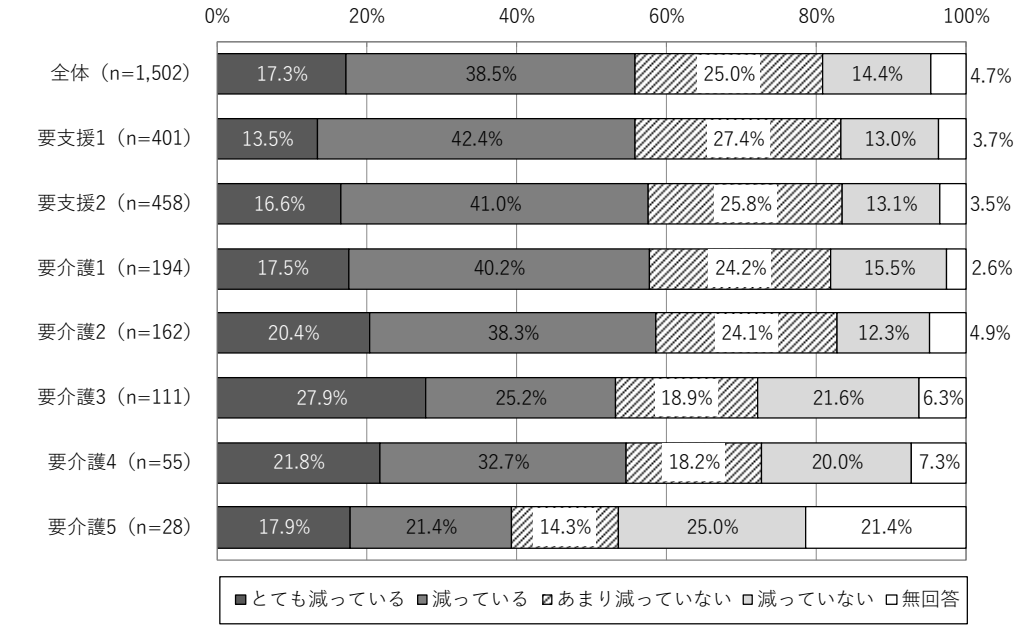
昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、一般高齢者では「減っていない」が４割と最も多く、要支援・要介護者では「とても減っている」及び「減っている」が約５割となっています。

【外出の回数】

一般高齢者



要支援・要介護者

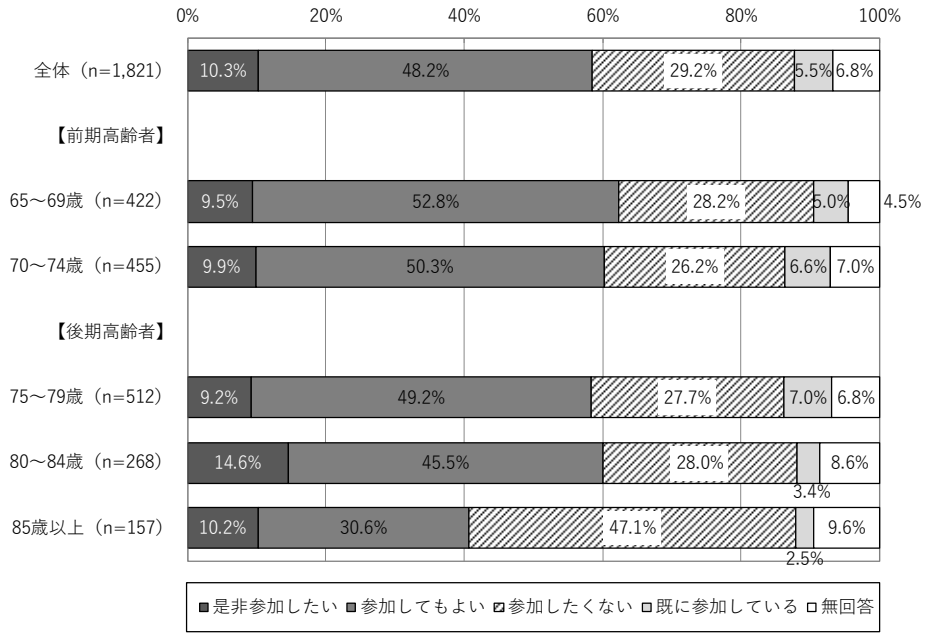


②地域との関わりについて

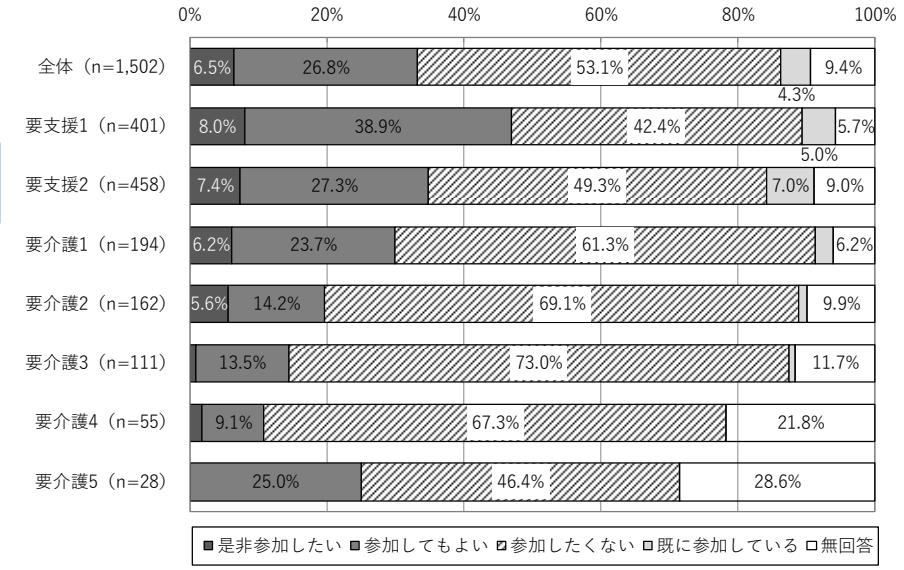
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、一般高齢者では、「参加してもよい」の回答が多く、要支援・要介護者では「参加したくない」が約５割となっています。

【趣味等のグループ活動への参加について】

一般高齢者



要支援・要介護者

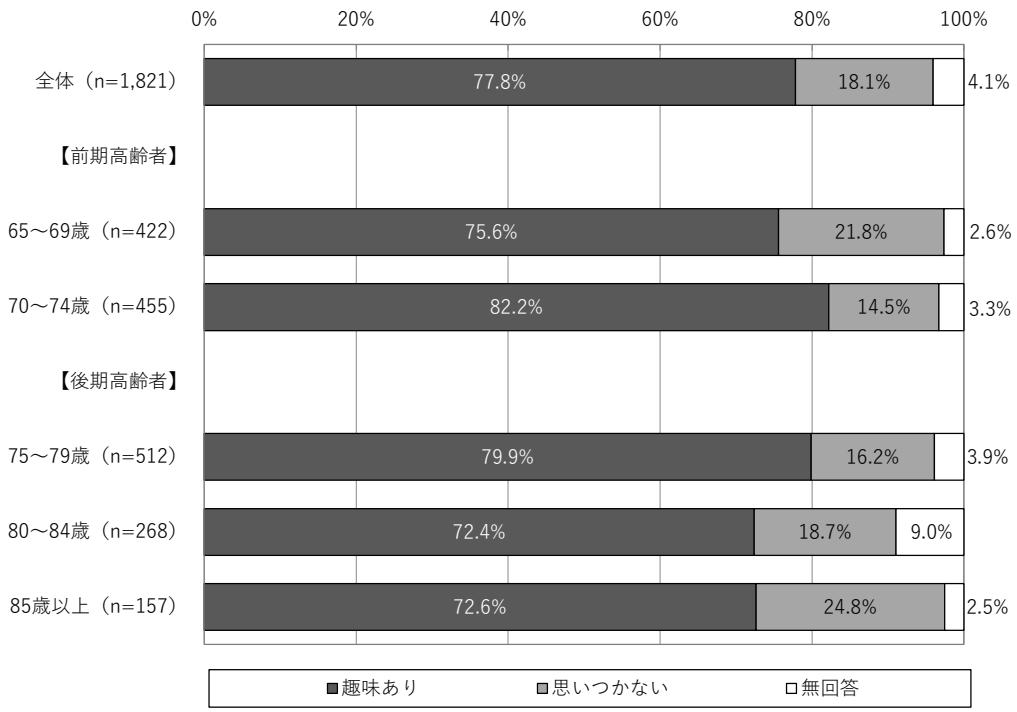


③高齢者の趣味について

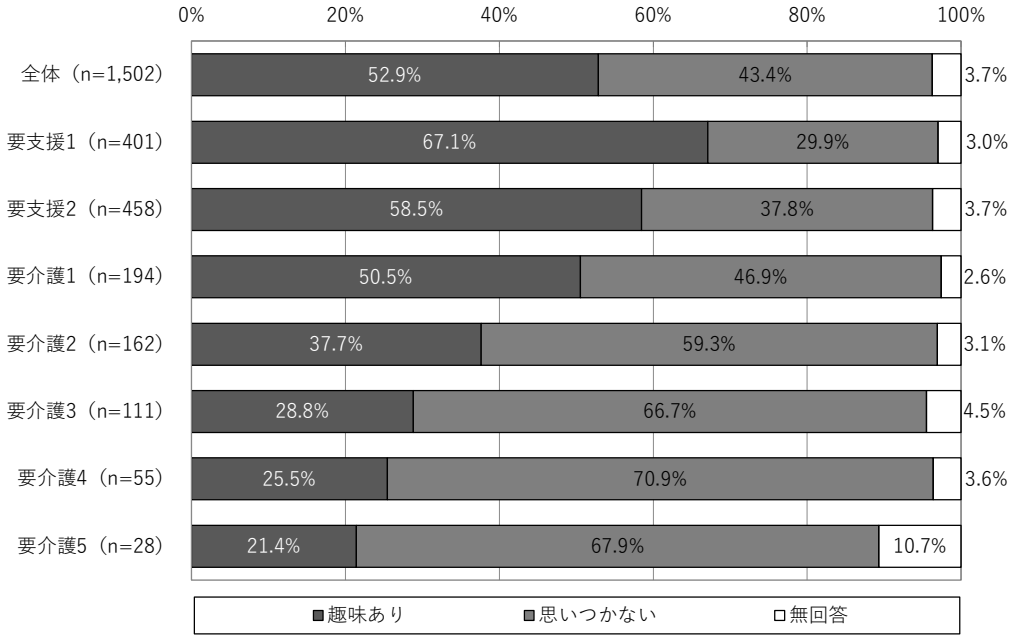
趣味の有無について、一般高齢者では約８割、要支援・要介護者では約５割の人が持っていますが、介護度が高くなるにつれて趣味を持つ人の割合が減少しています。

【趣味の有無】

一般高齢者



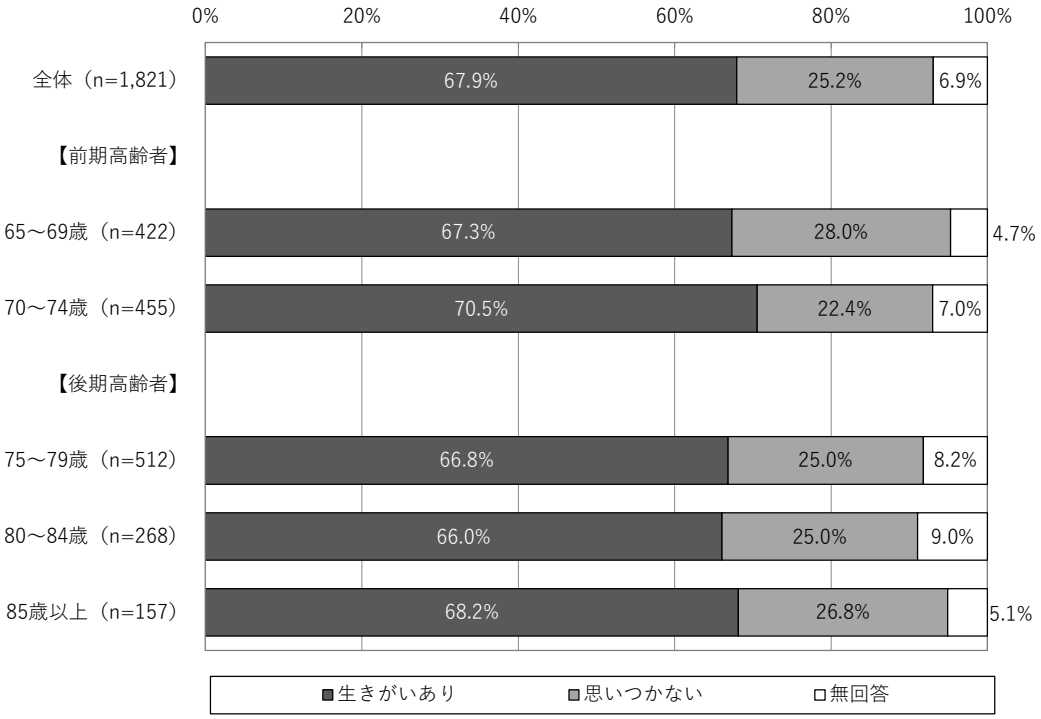
要支援・要介護者



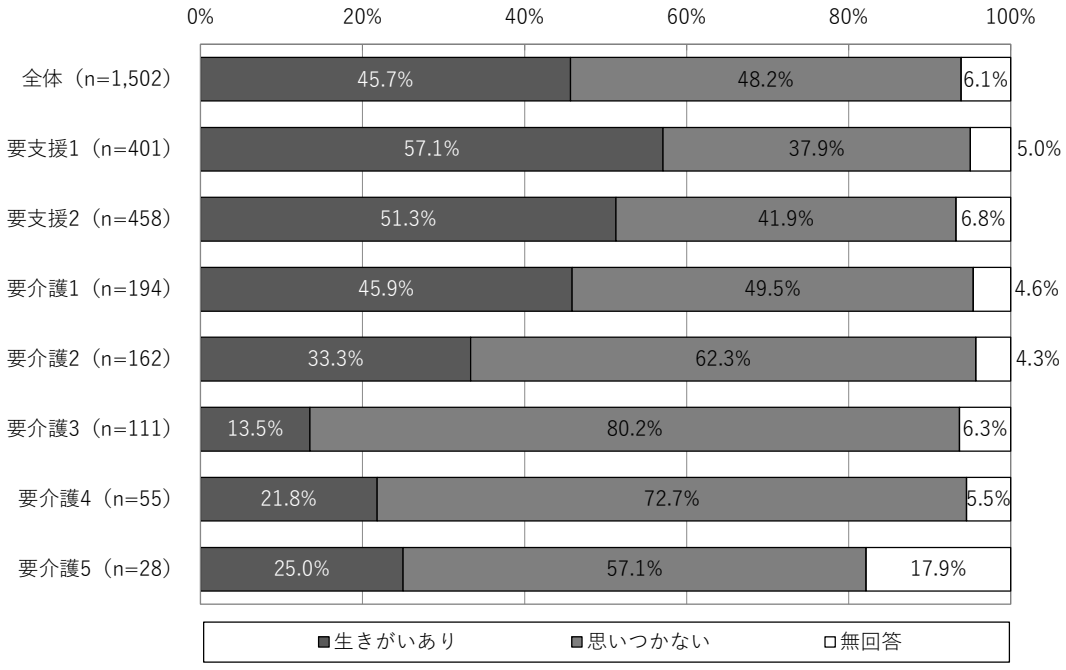
生きがいの有無について、一般高齢者では約７割、要支援・要介護者では約５割の人が持っています。

【生きがいの有無】

一般高齢者



要支援・要介護者

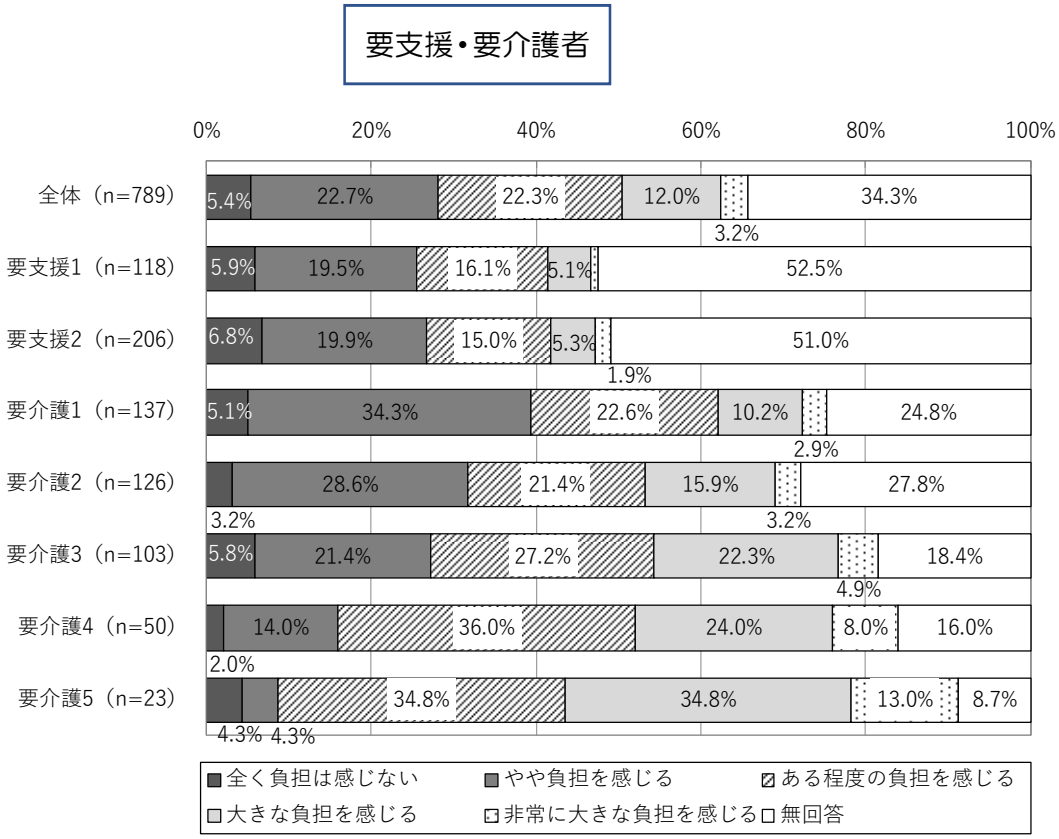


④在宅介護の状況について

介護の負担では、「やや負担を感じる」「ある程度の負担を感じる」「大きな負担を感じる」「非常に大きな負担を感じる」を合わせた『負担を感じる』が６割となっています。

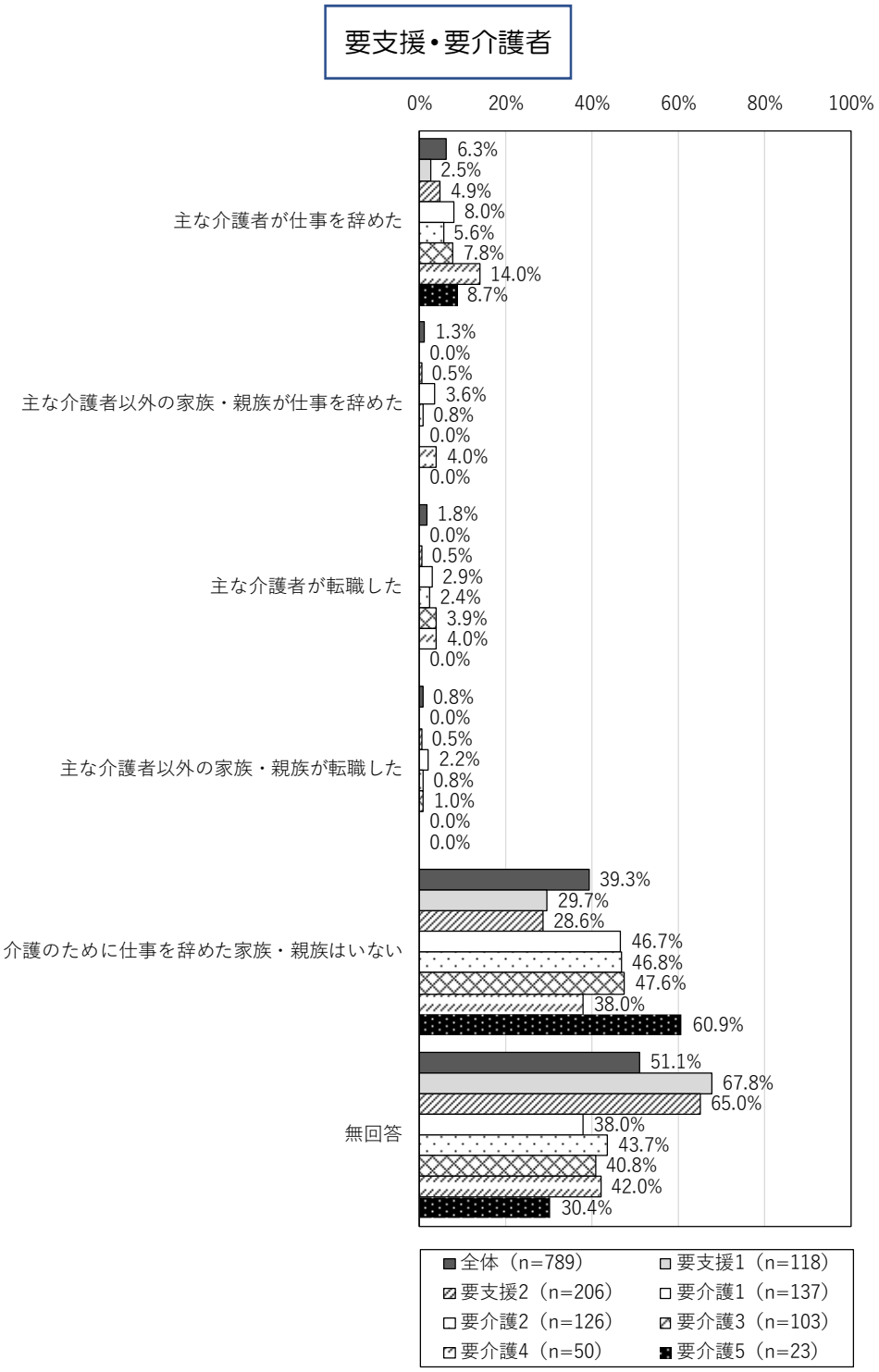
また、要介護５では約半数の方が大きな負担を感じていることがみてとれます。

【介護についての負担】



介護離職については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約４割となっています。

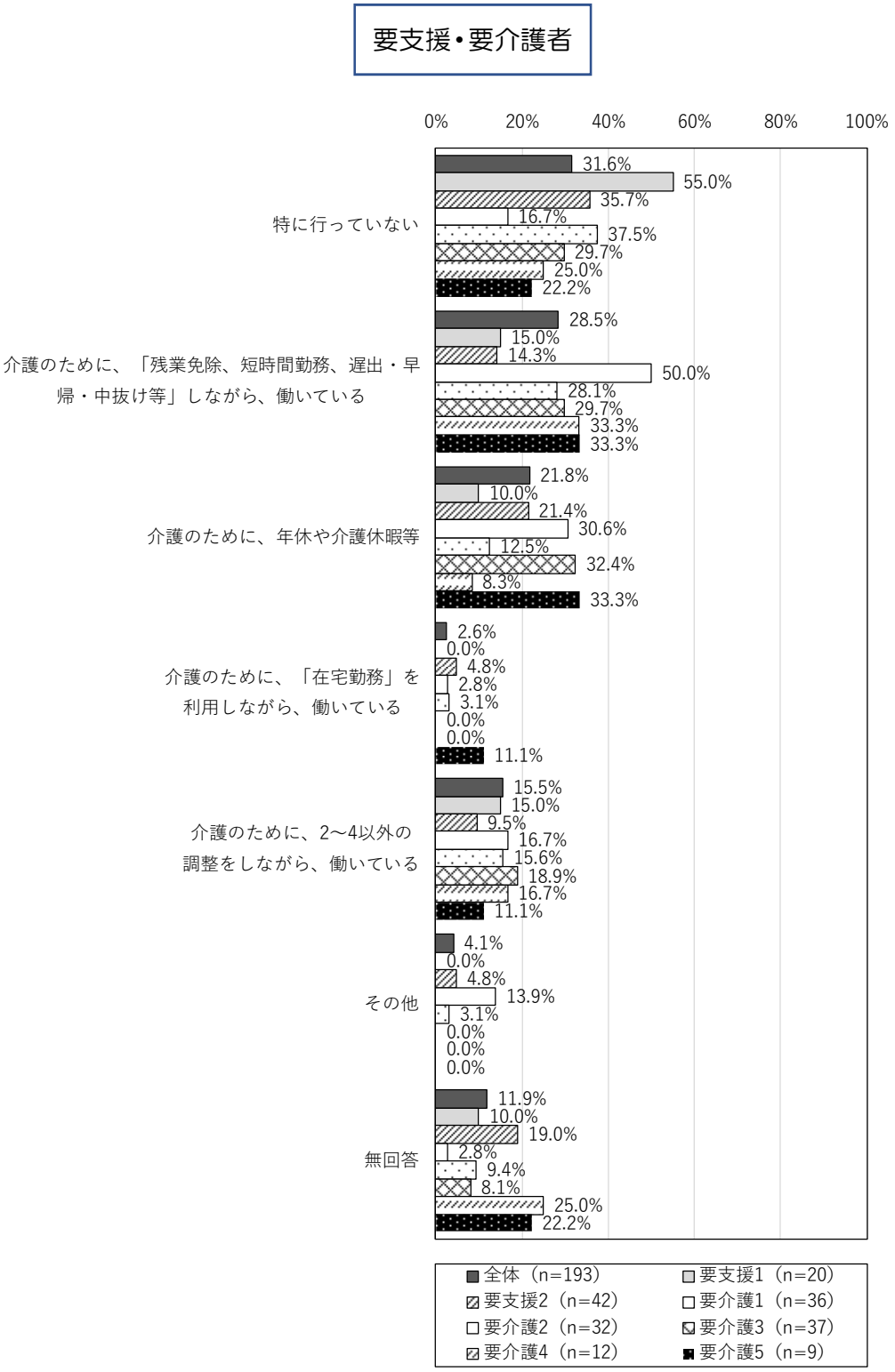
【介護離職について】



介護にあたっての働き方の調整では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が約３割となっています。

また、「特に行っていない」の項目をみると、要介護２以上になるとその割合は減少していることがみてとれ、働き方において何かしらの調整をしていることがうかがえます。

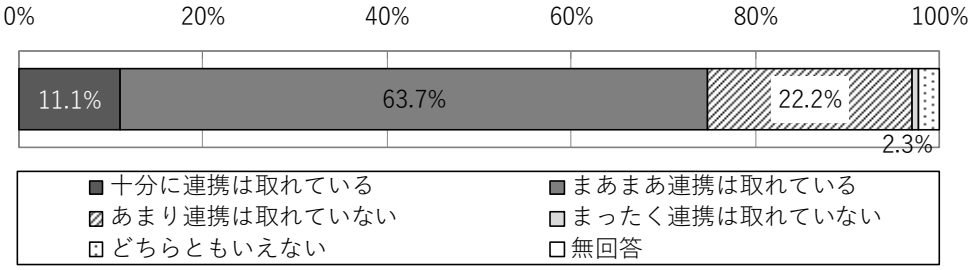
【介護にあたっての働き方の調整】



⑤ケアマネジャーの意見聴取について

医療との連携について、連携は取れているが約７割、連携は取れていないが約２割となっています。

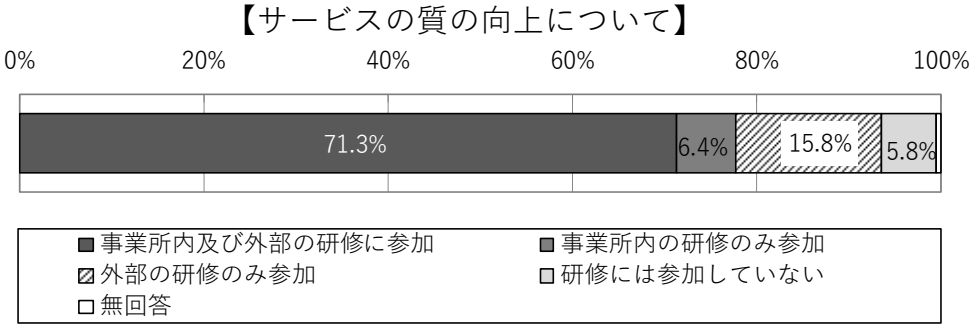
【医療との連携ついて】



n =171

サービスの質の向上に向けた研修に参加しているかでは、「事業所内及び外部の研修に参加」が約７割となっています。

【サービスの質の向上について】



n =171

（２）見える化システムにおける圏域分析

厚生労働省が運用する地域包括ケア「見える化」システムに高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果をアップロードすることによって、算出された数値を整理及びグラフ化し、つくば市における各圏域ごとの高齢者の現状を分析したものです。

①各圏域の現状

【全体】　(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
つくば市	10.5	7.2	29.0	16.1	44.3	29.6	4.3	27.9
筑波圏域	14.6	7.0	33.5	21.2	50.7	35.6	3.9	31.2
大穂圏域	10.6	5.4	30.2	21.6	52.5	30.4	7.3	28.5
豊里圏域	13.2	5.4	34.2	21.6	45.0	28.2	7.8	28.2
桜圏域	8.6	5.1	28.1	13.7	44.6	32.4	2.6	27.9
谷田部東圏域	8.6	8.9	26.6	13.0	39.3	26.6	2.2	27.6
谷田部西圏域	11.3	7.6	30.1	17.1	45.5	26.4	6.0	30.1
茎崎圏域	8.9	7.9	25.2	11.9	39.4	29.0	3.4	23.8

【男性】　(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
つくば市	4.2	2.7	15.3	6.8	22.3	14.3	2.6	12.5
筑波圏域	6.4	2.6	14.4	7.8	26.4	16.5	2.2	13.4
大穂圏域	4.4	2.4	16.6	11.1	23.5	15.0	4.9	13.0
豊里圏域	4.8	1.8	16.2	10.8	16.2	10.8	3.6	10.8
桜圏域	3.6	1.9	15.0	5.8	23.5	15.7	1.5	14.8
谷田部東圏域	3.7	2.3	14.6	4.7	21.7	13.7	1.6	12.3
谷田部西圏域	4.3	3.3	16.0	6.7	23.4	13.1	4.0	13.1
茎崎圏域	3.2	3.2	15.3	5.4	20.6	14.5	2.1	10.5

【女性】　(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
つくば市	6.3	4.5	13.7	9.3	22.0	15.3	1.7	15.4
筑波圏域	8.2	4.4	19.1	13.4	24.3	19.1	1.7	17.8
大穂圏域	6.2	3.0	13.6	10.5	29.0	15.4	2.4	15.5
豊里圏域	8.4	3.6	18.0	10.8	28.8	17.4	4.2	17.4
桜圏域	5.0	3.2	13.1	7.9	21.1	16.7	1.1	13.1
谷田部東圏域	4.9	6.6	12.0	8.3	17.6	12.9	0.6	15.3
谷田部西圏域	7.0	4.3	14.1	10.4	22.1	13.3	2.0	17.0
茎崎圏域	5.7	4.7	9.9	6.5	18.8	14.5	1.3	13.3

②各圏域の特徴

▶筑波圏域

運動器機能、うつ、転倒についての項目が圏域中最も高くなっており、咀嚼機能、閉じこもり、認知症についても市平均よりも高い割合となっています。栄養改善、IADLについては、市平均よりも低くなっていますが、項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶大穂圏域

閉じこもり、認知症についての項目が圏域中最も高くなっており、運動器機能、咀嚼機能、うつ、IADL、転倒についても市平均よりも高い割合となっています。栄養改善の項目は、市平均よりも低くなっていますが、項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶豊里圏域

咀嚼機能、閉じこもり、IADL についての項目が圏域中最も高くなっており、運動器機能、認知症、転倒についての項目も市平均よりも高い割合となっています。栄養改善、うつについては、市平均よりも低くなっていますが、項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶桜圏域

項目全体をみると、突出して高い項目はありませんでしたが、認知症、うつについては市平均よりも高い割合となっています。その他の項目については市平均を下回っており、全体的にリスクが低い圏域となっています。

▶谷田部東圏域

栄養改善の項目のみ圏域中最も高く、その他の項目については市平均を下回っており、全体的にリスクが低い圏域となっています。

▶谷田部西圏域

項目全体をみると、突出して高い項目はありませんでしたが、うつ以外の全ての項目において、市平均よりも高い割合となっています。項目全体をみると注意が必要な高齢者が多い圏域となっています。

▶茎崎圏域

項目全体をみると、突出して高い項目はありませんでしたが、栄養改善の項目のみ市平均よりも高い割合となっています。その他の項目については市平均を下回っており、全体的にリスクが低い圏域となっています。

③各リスクによる圏域の状況

▶運動器機能

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を１点として合計し、３点以上を運動器機能低下のリスク該当者としています。

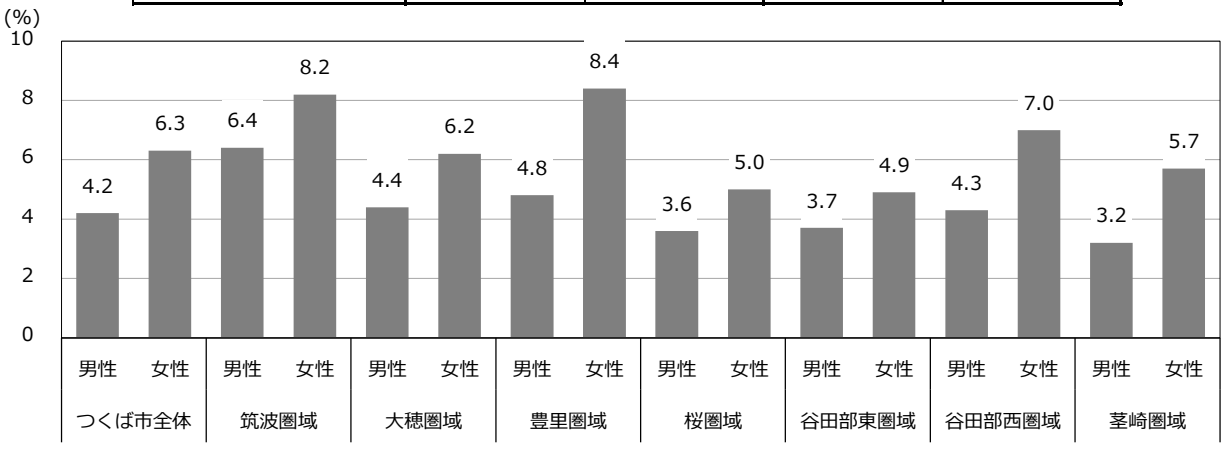
設問名	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	「できない」
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
15 分位続けて歩いていますか	「できない」
この１年間に転んだことがありますか	「何度もある」または「１度ある」
転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」または「やや不安である」

運動器機能については、男性では「筑波圏域」が 6.4％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 4.8％となっています。

女性では「豊里圏域」が 8.4％と最も高く、次いで「筑波圏域」が 8.2％となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	1.0	3.2	1.5	4.8
筑波圏域	1.7	4.7	3.0	5.2
大穂圏域	0.0	4.4	0.0	6.2
豊里圏域	0.0	4.8	1.2	7.2
桜圏域	0.7	2.9	1.8	3.2
谷田部東圏域	1.7	2.0	1.3	3.6
谷田部西圏域	1.3	3.0	1.3	5.7
茎崎圏域	0.8	2.4	1.6	4.1



▶栄養改善

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を栄養改善のリスク該当者としています。

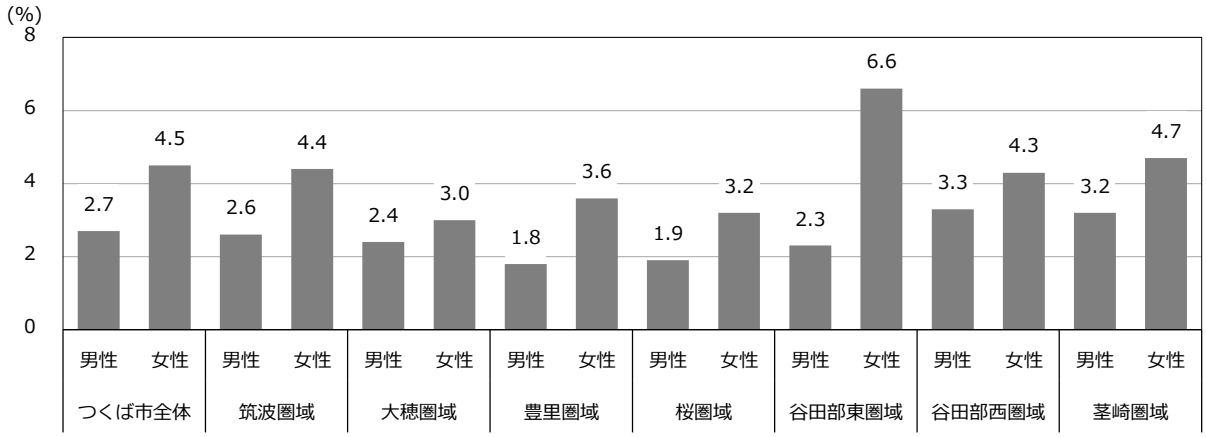
設問名	該当する選択肢
ＢＭＩ(身長と体重から算出)	18.5 未満

栄養改善については、男性では「谷田部西圏域」が 3.3%と最も高く、次いで「茎崎圏域」が 3.2%となっています。

女性では「谷田部東圏域」が 6.6%と最も高く、次いで「茎崎圏域」が 4.7%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	1.3	1.4	2.0	2.5
筑波圏域	0.9	1.7	2.2	2.2
大穂圏域	0.6	1.8	0.6	2.4
豊里圏域	0.6	1.2	0.0	3.6
桜圏域	1.1	0.8	1.4	1.8
谷田部東圏域	1.0	1.3	3.0	3.6
谷田部西圏域	2.0	1.3	2.7	1.6
茎崎圏域	1.6	1.6	2.2	2.5



▶咀嚼機能

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を咀嚼機能のリスク該当者としています。

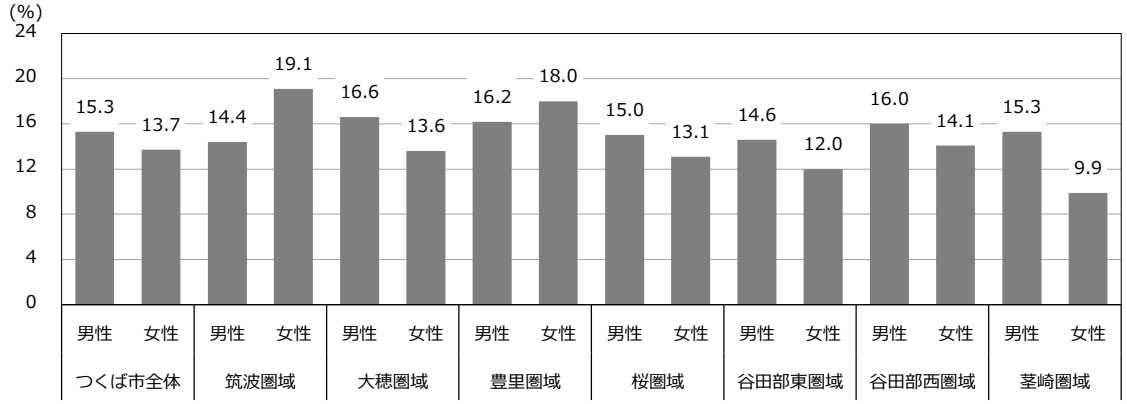
設問名	該当する選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」

咀嚼機能については、男性では「大穂圏域」が 16.6%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 16.2%となっています。

女性では「筑波圏域」が 19.1%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 18.0%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	5.8	9.5	5.0	8.7
筑波圏域	4.4	10.0	8.2	10.9
大穂圏域	3.7	12.9	1.8	11.8
豊里圏域	4.8	11.4	5.4	12.6
桜圏域	6.1	8.9	5.3	7.8
谷田部東圏域	7.3	7.3	4.3	7.7
谷田部西圏域	6.3	9.7	5.7	8.4
茎崎圏域	6.2	9.1	4.0	5.9



▶閉じこもり

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を閉じこもりのリスク該当者としています。

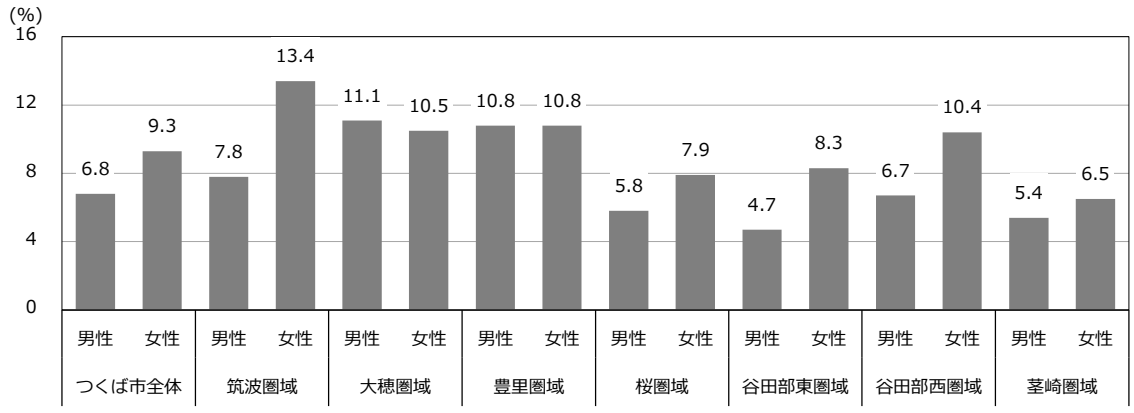
設問名	該当する選択肢
週に１回以上は外出していますか	「ほとんど外出していない」または「週１回」

閉じこもりについては、男性では「大穂圏域」が 11.1%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 10.8%となっています。

女性では「筑波圏域」が 13.4%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 10.8%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	2.2	4.6	2.9	6.4
筑波圏域	2.6	5.2	3.9	9.5
大穂圏域	2.4	8.7	2.5	8.0
豊里圏域	2.4	8.4	4.8	6.0
桜圏域	2.2	3.6	2.2	5.7
谷田部東圏域	3.0	1.7	2.3	6.0
谷田部西圏域	2.0	4.7	3.7	6.7
茎崎圏域	1.3	4.1	2.1	4.4



▶認知症

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を認知症のリスク該当者としています。

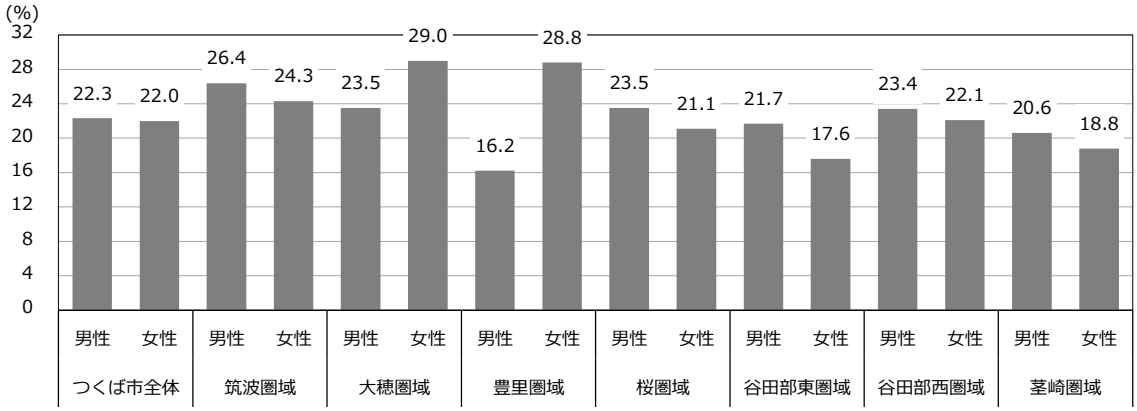
設問名	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか	「はい」

認知症については、男性では「筑波圏域」が 26.4％と最も高く、次いで「大穂圏域」及び「桜圏域」が 23.5％となっています。

女性では「大穂圏域」が 29.0％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 28.8％となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	9.1	13.2	8.9	13.1
筑波圏域	11.7	14.7	8.2	16.1
大穂圏域	6.8	16.7	13.6	15.4
豊里圏域	6.0	10.2	10.8	18.0
桜圏域	8.2	15.3	8.6	12.5
谷田部東圏域	11.0	10.7	8.3	9.3
谷田部西圏域	10.7	12.7	7.0	15.1
茎崎圏域	7.5	13.1	8.6	10.2



▶うつ

【指標】

下記の設問について、いずれか１つでも該当する選択肢を回答した方をうつのリスク該当者としています。

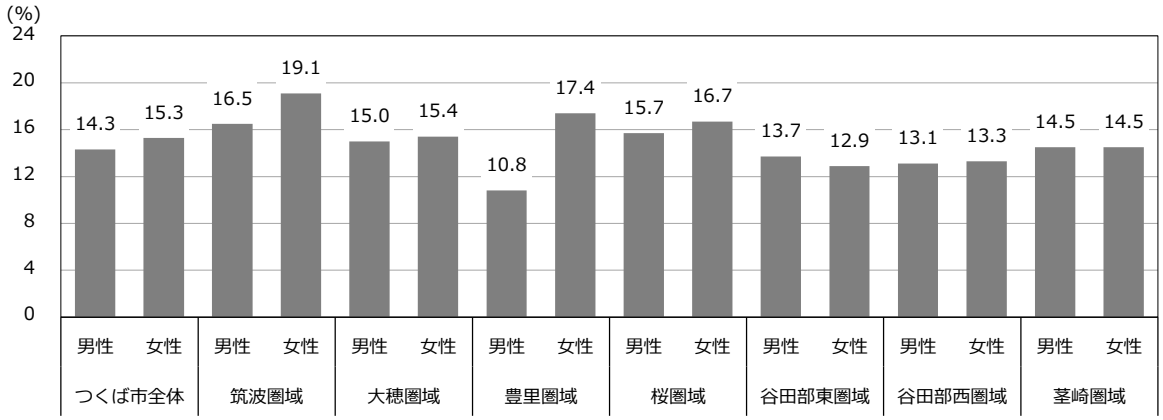
設問名	該当する選択肢
この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

うつについては、男性では「筑波圏域」が 16.5％と最も高く、次いで「桜圏域」が 15.7％となっています。

女性では「筑波圏域」が 19.1％と最も高く、次いで「豊里圏域」が 17.4％となっています。

（%）

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	7.3	7.0	8.0	7.3
筑波圏域	9.1	7.4	10.0	9.1
大穂圏域	5.0	10.0	8.7	6.7
豊里圏域	5.4	5.4	8.4	9.0
桜圏域	7.5	8.2	8.5	8.2
谷田部東圏域	9.0	4.7	8.0	4.9
谷田部西圏域	7.7	5.4	5.6	7.7
茎崎圏域	5.9	8.6	7.8	6.7



▶IADL

【指標】

下記の設問について、該当する選択肢を回答した方を 1 点として合計 5 点満点で評価し、5 点を「高い」、4 点を「やや低い」、3 点以下を「低い」とした上で、4 点以下を“低下者”に該当することとしました。

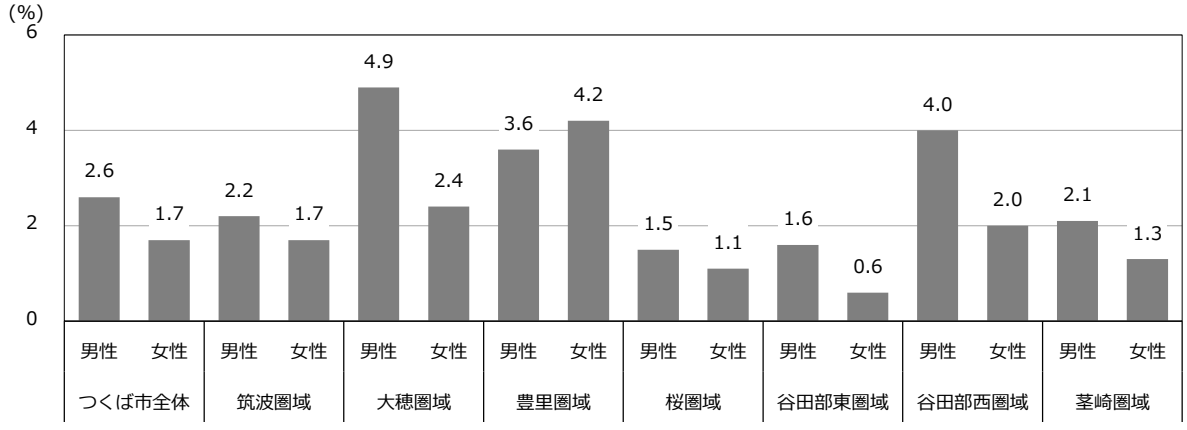
設問名	該当する選択肢
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」、「できるけどしていない」
日用品の買物をしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」
預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」、「できるけどしていない」

IADL については、男性では「大穂圏域」が 4.9%と最も高く、次いで「谷田部西圏域」が 4.0%となっています。

女性では「豊里圏域」が 4.2%と最も高く、次いで「大穂圏域」が 2.4%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	0.5	2.1	0.2	1.5
筑波圏域	0.0	2.2	0.0	1.7
大穂圏域	0.6	4.3	0.0	2.4
豊里圏域	1.2	2.4	0.6	3.6
桜圏域	0.0	1.5	0.4	0.7
谷田部東圏域	0.3	1.3	0.0	0.6
谷田部西圏域	1.3	2.7	0.0	2.0
茎崎圏域	0.6	1.5	0.0	1.3



▶転倒

【指標】

下記の設問について、以下の回答をした方を転倒のリスク該当者としています。

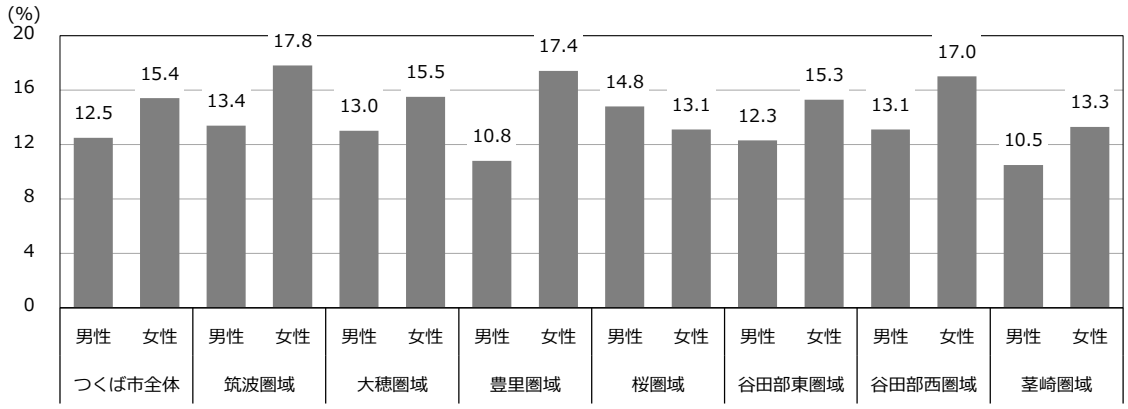
設問名	該当する選択肢
この１年間に転んだことがありますか	「何度もある」または「１度ある」

転倒については、男性では「桜圏域」が 14.8%と最も高く、次いで「筑波圏域」が 13.4%となっています。

女性では「筑波圏域」が 17.8%と最も高く、次いで「豊里圏域」が 17.4%となっています。

(%)

	男性		女性	
	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）	前期高齢者（65～74歳）	後期高齢者（75歳以上）
つくば市全体	5.0	7.5	5.8	9.6
筑波圏域	5.2	8.2	7.4	10.4
大穂圏域	3.7	9.3	5.6	9.9
豊里圏域	2.4	8.4	3.6	13.8
桜圏域	6.7	8.1	4.9	8.2
谷田部東圏域	5.6	6.7	6.3	9.0
谷田部西圏域	6.0	7.1	6.7	10.3
茎崎圏域	4.0	6.5	5.6	7.7



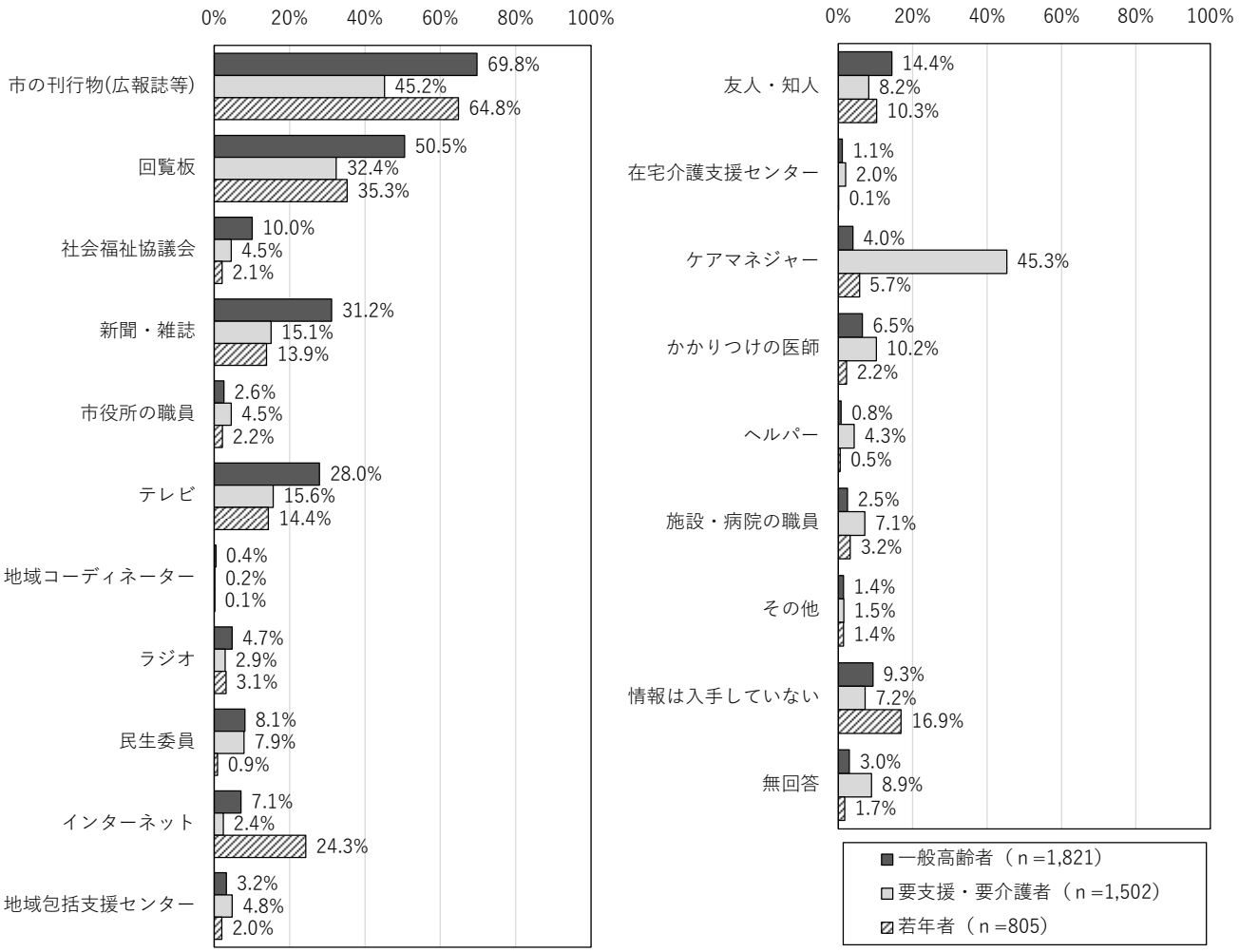
4　つくば市における課題

課題1　地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実

７期計画策定時のアンケート調査において、市のサービスの認知については、市の広報等で情報を得ている人が多くみられたため、内容の充実と周知の拡充に努めてきました。

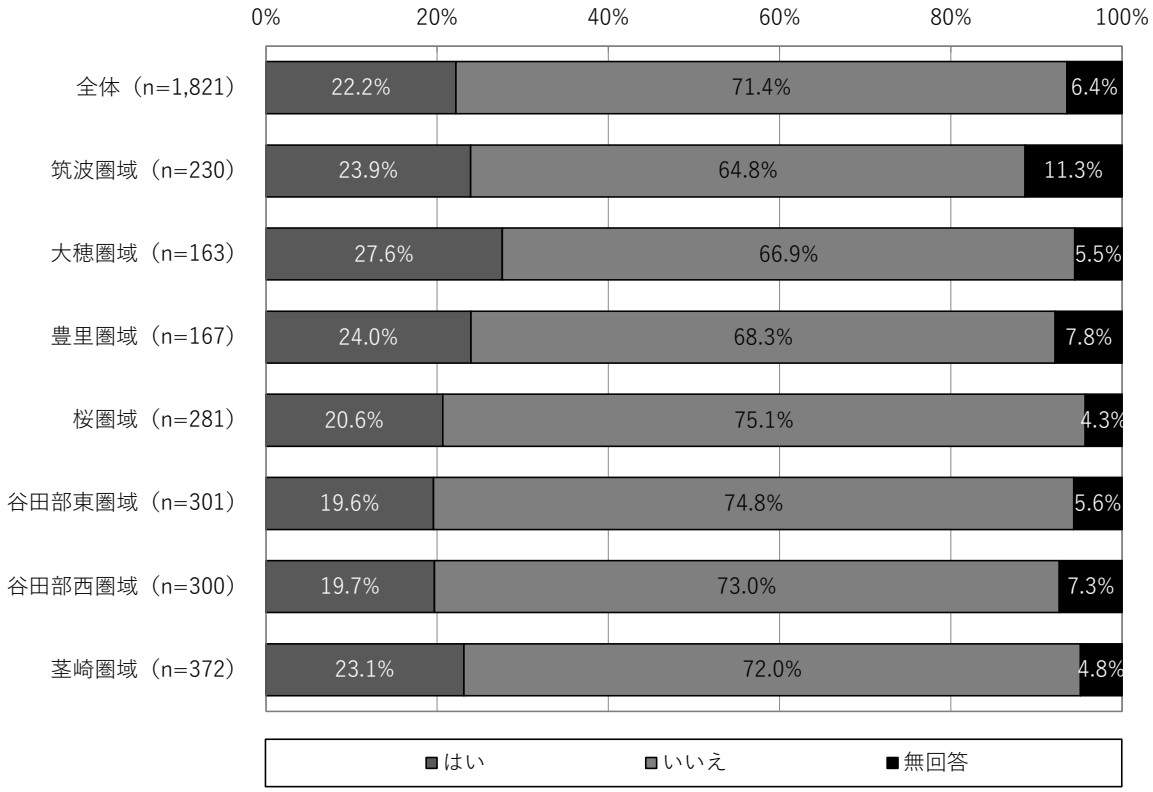
今回のアンケート調査結果をみても、一般高齢者、要支援・要介護者ともに、市の広報誌や回覧板、新聞・雑誌から情報を得ている人が多く見受けられますが、要支援・要介護者ではケアマネジャーという回答が最も多くなっています。

【市のサービスの認知】



しかしながら、介護保険の手続きの仕方がわからないという声や、認知症の相談窓口についても２割程度しか認知されておらず、圏域によって多少の偏りがあることもみえてきました。

【圏域別にみた認知症の相談窓口の認知（一般高齢者）】



今後は、更に多様化し複雑化する高齢者や介護をめぐる問題に対応していくために、ホームページ等のインターネット媒体については、高齢者から敬遠される傾向があるため、多様な手段を活用しながら情報提供の拡充を図っていくことが必要です。

また、高齢者のみならず幅広い世代において、困りごとが生じた際に早い段階で適切な支援にたどりつくことができるよう、関係機関との連携を密にし、ワンストップの総合相談体制を強化した地域包括支援センターの一層の周知が求められます。

そのほかに、家族の介護負担については、６割が負担を感じると回答があり、家族介護者が在宅介護を続けていくための支援が求められています。家族介護者への精神面の支援として、要介護高齢者だけでなく、介護者も含めたケアマネジメントに取り組むことや介護者のための相談窓口の充実も重要です。

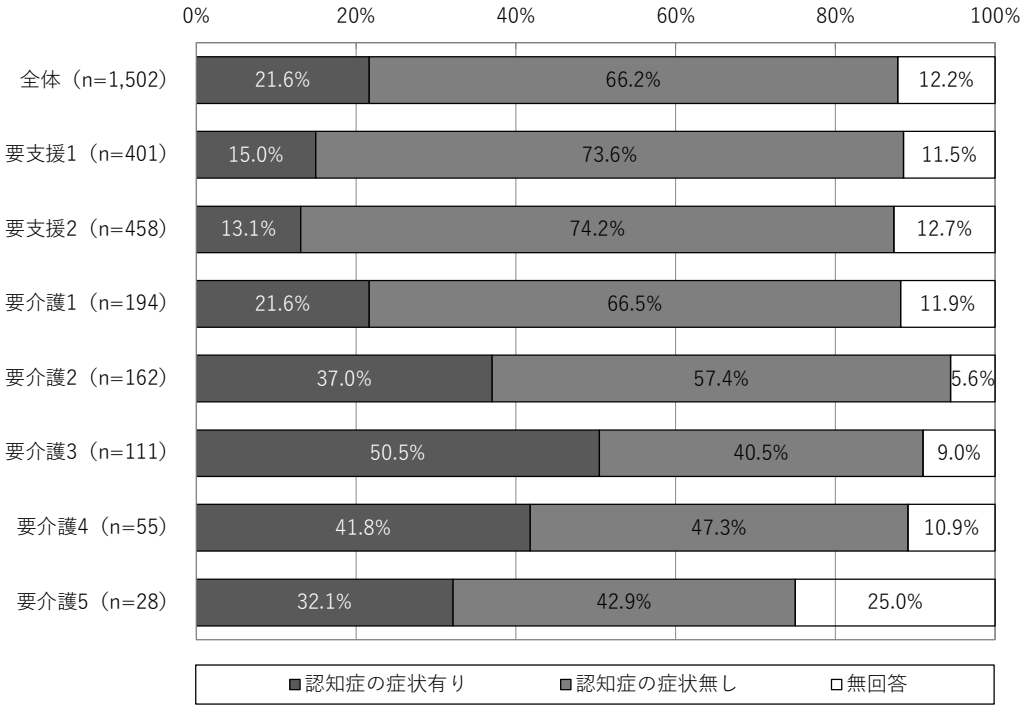
課題2　認知症地域支援や成年後見制度の利用の推進

地域包括システムでは、医療と介護と福祉の連携だけでなく、地域住民による地域の見守りの力が大切な要素となります。高齢化率の上昇により、認知症高齢者数の増加も懸念されるなか、認知症予防の取組の強化、早期発見・早期対応の体制強化に努めていくことが必要になっています。

アンケート調査結果をみると、要支援・要介護者における認知症の症状の有無については、全体では約２割※となっていますが、介護度が高い人に多いことがみてとれました。

認知症に対する不安感を少しでも軽減するためには、認知症になっても、その人らしく安心して暮らせるための取組や情報の発信が必要になります。具体的には、複数の専門職による初期支援体制や市民が参加しやすい認知症カフェの開催、警察や事業所との連携等、本人はもとより家族に対する支援も求められています。若年性認知症の人やひとり暮らし高齢者等の日常生活を支えるためには、地域での居場所の確保や地域包括支援センター等の窓口での相談対応等、本人や家族の生活状況に応じた支援の取組も重要です。

【介護度別にみた認知症の症状の有無（要支援・要介護者）】

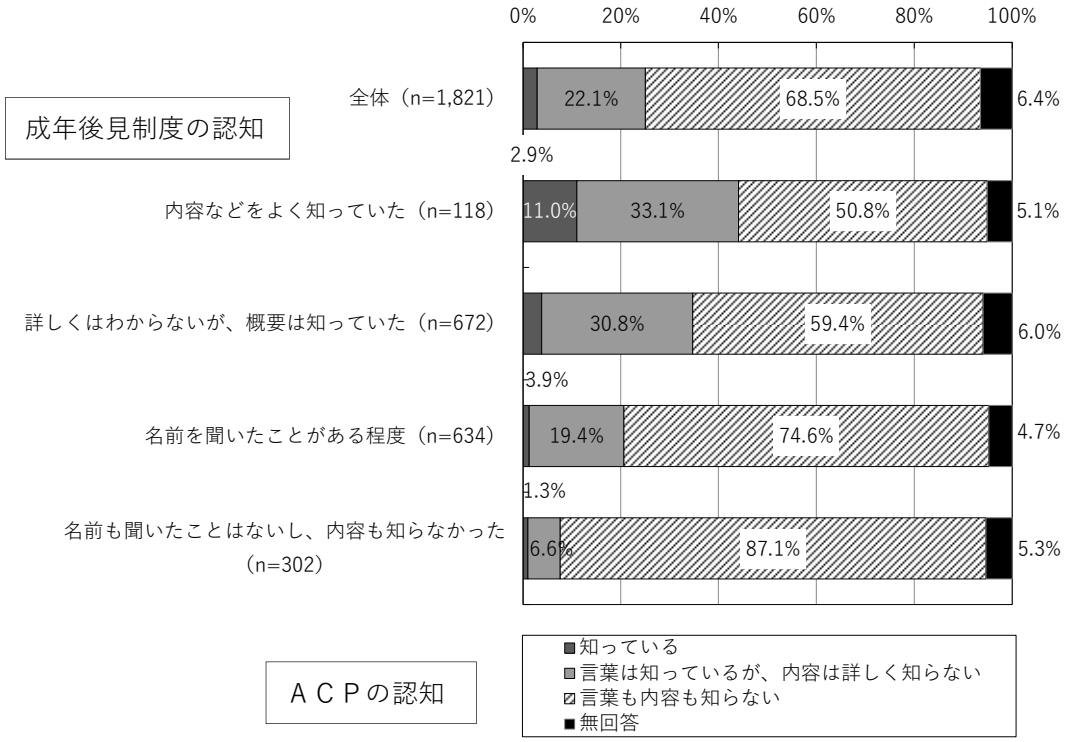


※アンケート調査の回答者から得られた数値のため、実際の認知症の認定を受けている人の数とは異なります。

成年後見制度の認知については、一般高齢者では約４割、要支援・要介護者では約３割の人が、よく知っている、概要は知っていると回答しています。

また、成年後見制度とＡＣＰ（アドバンスケアプランニング）の相関関係をみると、成年後見制度の内容を知っている人ほど、ＡＣＰについても認知していることがわかりました。

【成年後見制度の認知とＡＣＰの認知の相関関係（一般高齢者）】



高齢者の虐待防止について、地域での見守り活動の重要性の周知・徹底を図り、関係機関との連携や研修等、早期発見のためのネットワークを強化することが大切です。

また、様々な手口を用いた悪質商法による高齢者の被害も増加していますが、こうした消費者被害の背景には、ひとり暮らしまたは夫婦のみで暮らす高齢者が増加し、身近に適切な相談相手がいないという問題があります。

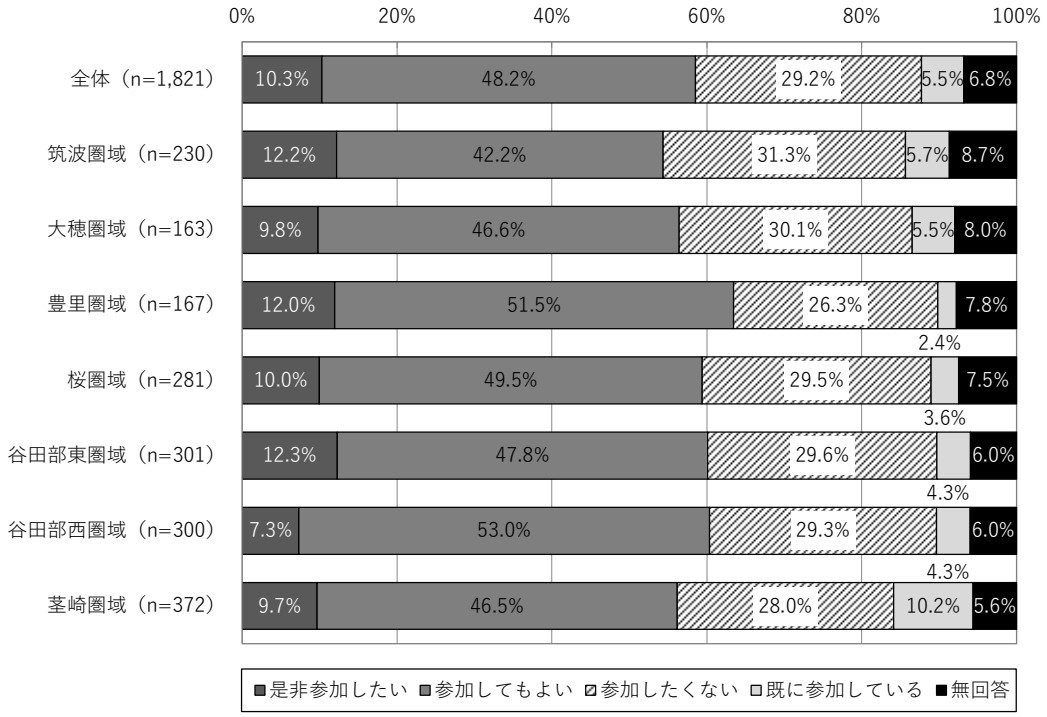
今後、これらの被害を防止するためには、成年後見制度等の利用を促進し、地域包括支援センターや各種ネットワークの活用、市民後見人の養成、日常生活自立支援事業の充実、相談支援の体制を図っていくことが必要です。

課題3　介護予防や健康づくりの推進と介護保険サービスの充実

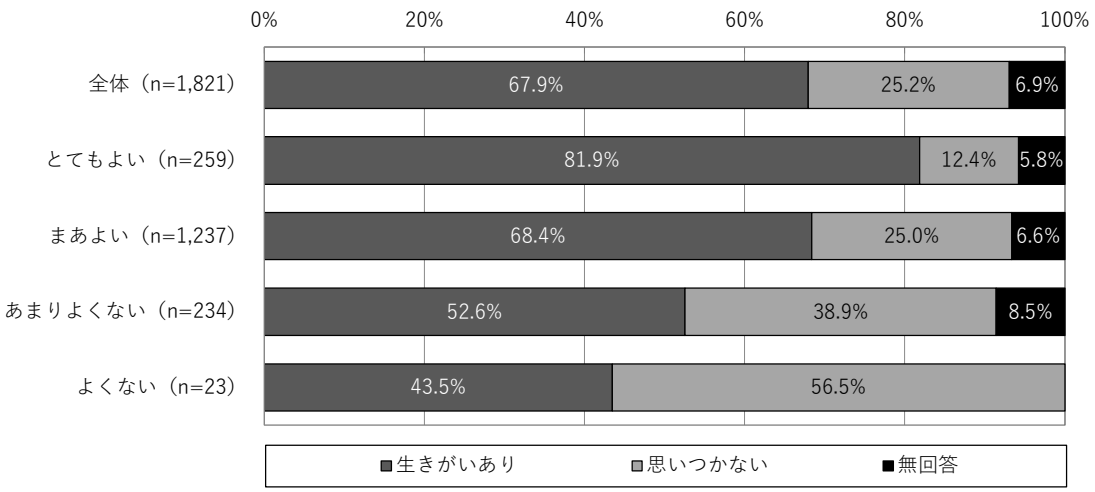
本市ではこれまでに、生活習慣病の予防や心身の機能の維持・改善をするために、健康診査や健康相談事業、そのほか介護予防に取り組むグループの支援、介護予防に関する講演会や講座等をすすめてまいりました。

アンケート調査結果では、一般高齢者では９割以上、要支援・要介護者では７割の人が外出していること、健康づくりや趣味活動への参加意向をみると、一般高齢者では約６割の人の意向がうかがえることや、生きがいの有無と主観的健康観との相関関係も見て取ることができました。

【圏域別にみた健康づくり活動への参加意向（一般高齢者）】

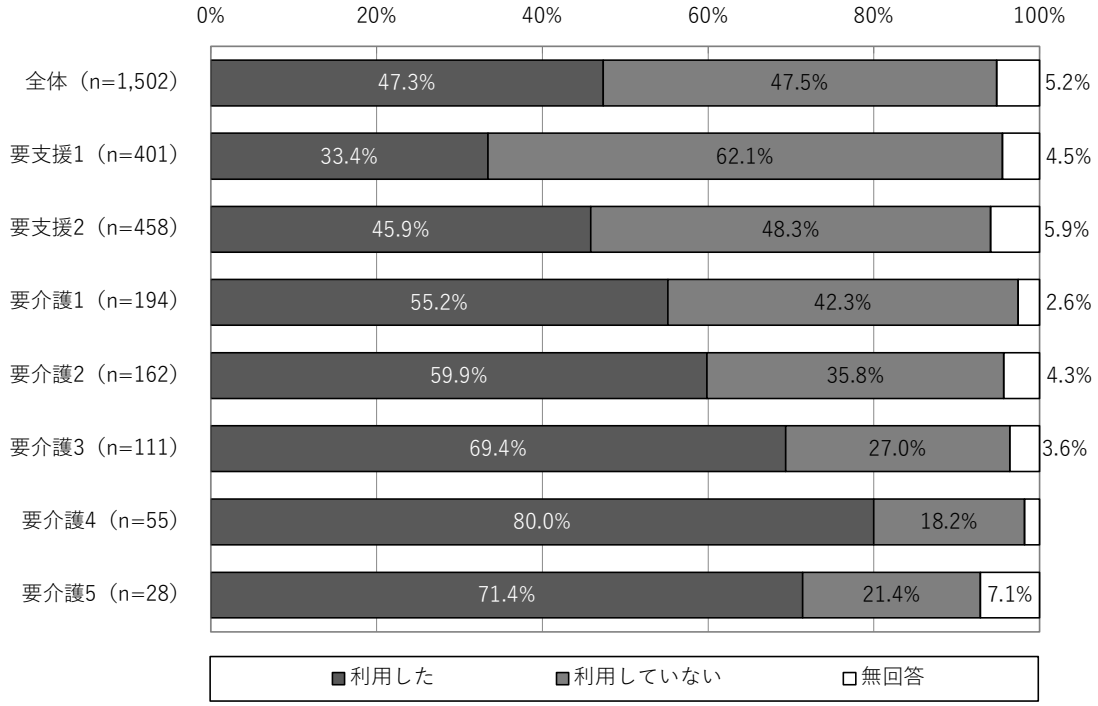


【生きがいの有無と主観的健康観の相関関係（一般高齢者）】



また、要支援・要介護者では約５割の人が、介護保険サービスを利用しており、おおかた７割の人がサービスに満足しています。

【介護度別にみた介護保険サービスの利用】



今後は、閉じこもりリスクを防止し、高齢者のアクティブな生活を支えるため、日ごろから個々で取り組むことのできる心身の健康づくり活動や、人と人とのつながりを通じて介護予防が図れる通いの場等の地域づくりを推進していくことが重要です。

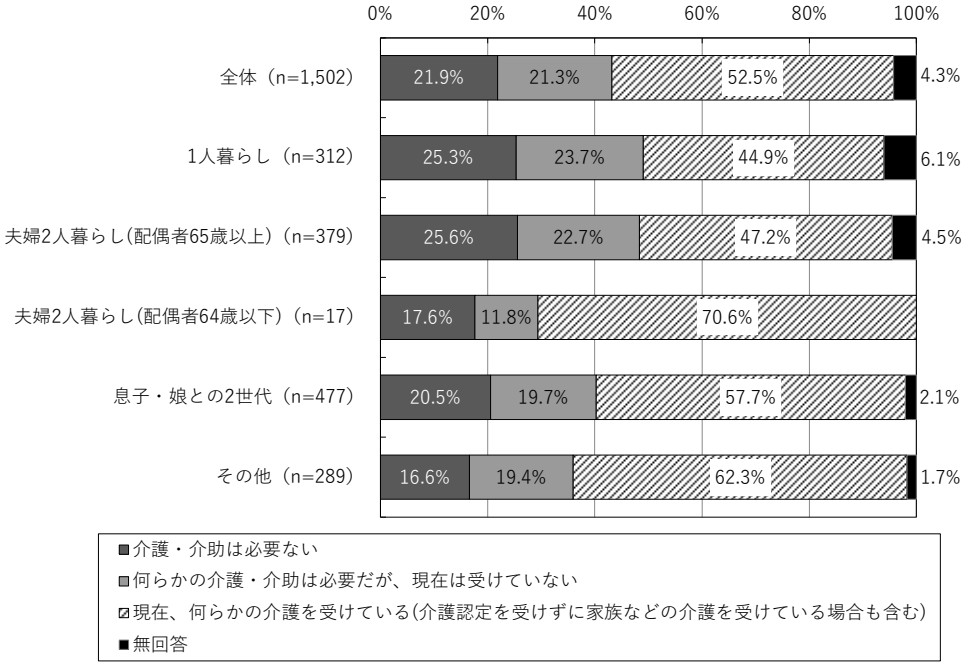
それとともに、引き続き高齢者一人ひとりに応じた適切な健康相談等を講じていくことや、高齢者が介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で暮らしていけるよう、介護保険サービスの一層の充実が必要です。

課題4　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援

本市においては、高齢化率の上昇はもとより、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯数も年々増加傾向にあります。こうした高齢者世帯では、突然の発病やけが、災害等の発生に対して脆弱である場合が多く、高齢化が進むにつれ、定期的な見守りやサポートが不可欠であると言えます。

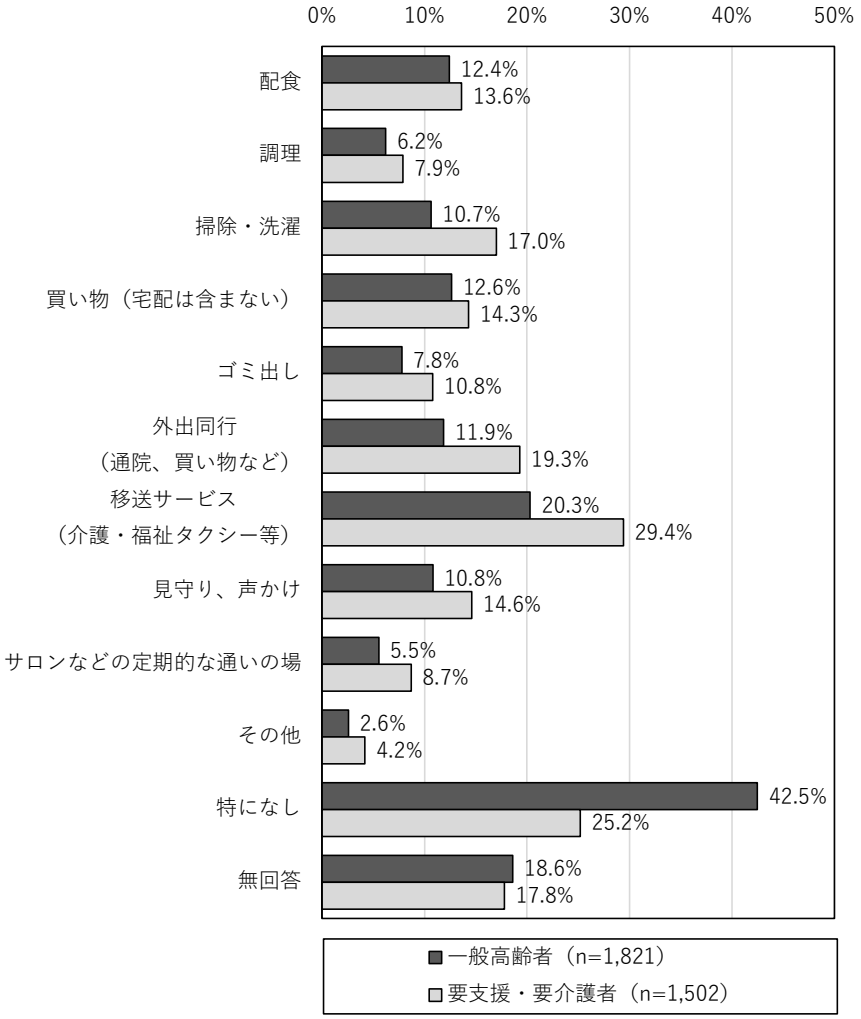
アンケート調査結果をみると、要支援・要介護者状態にあるひとり暮らし高齢者のうち、介護を受けている、ならびに介護は必要だが現在は受けていないと回答した人は約７割となっています。

【家族構成と介護の必要性（要支援・要介護者)】



今後、在宅生活をしていくうえで必要と感じる支援についてでは、一般高齢者、要支援・要介護者ともに介護・福祉タクシー等をはじめとした移送サービスを求める声が多くなっています。

【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援等】



高齢者が住み慣れた地域において、できる限り自宅で暮らしていけるよう、地域資源を活用しサポートしていくことが必要です。

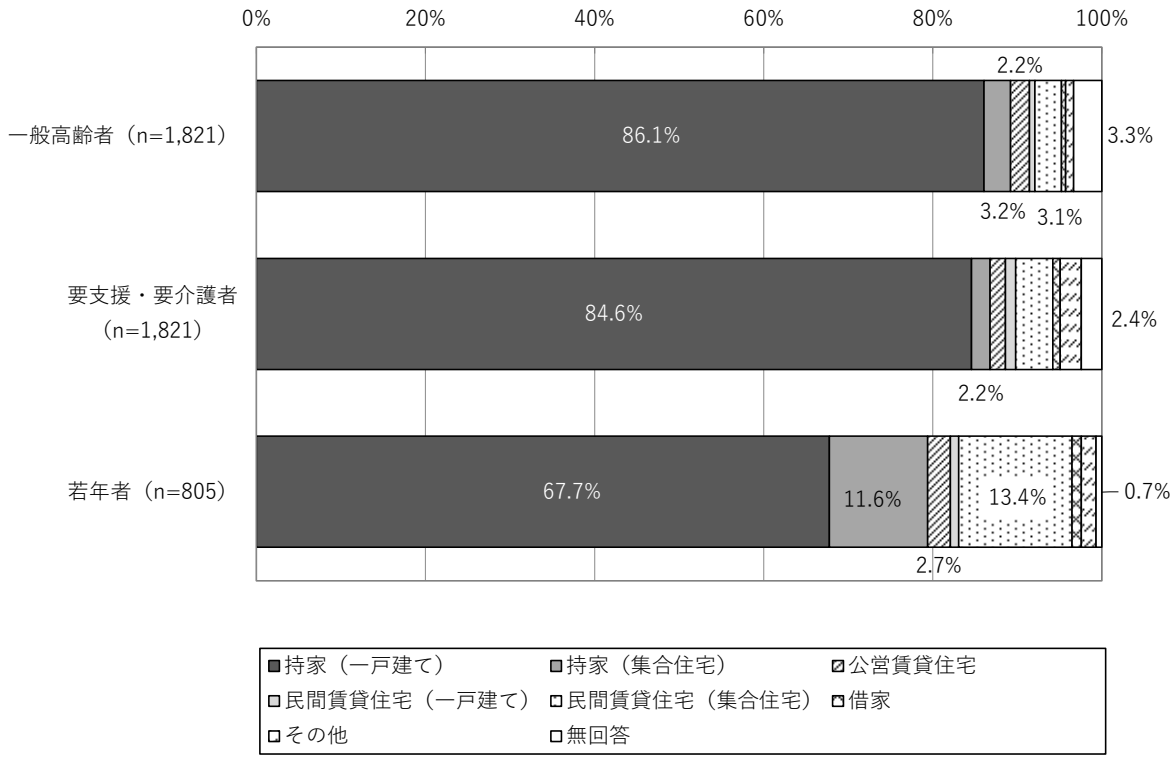
また、市民一人ひとりが在宅医療や介護についての理解を深めていくことや、本人や家族が人生の最終段階を迎えたとき、自宅をはじめとする住み慣れた環境での療養が選択肢となるよう、医療・介護サービスを提供する側の連携強化、見守り等の必要不可欠な生活支援体制が提供されるような地域づくりが求められます。

課題5　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化

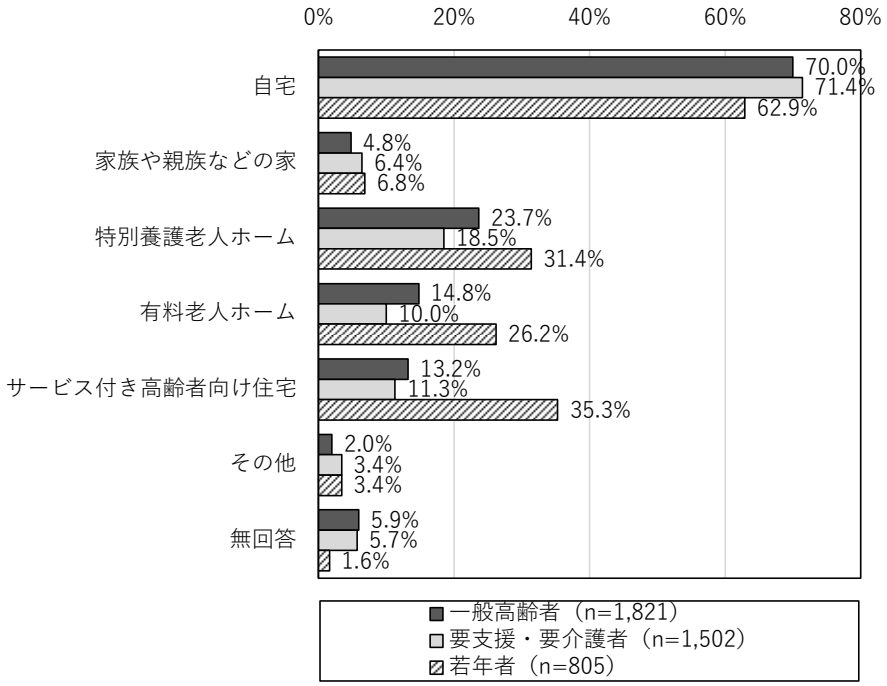
アンケート調査結果では、一戸建ての持ち家に住んでいる人の割合が最も高いことがみてとれますが、高齢者と若年者では 20 ポイント近くの差があります。

また、自身が介護状態になった場合の暮らしについては、自宅を望む声が最も多くなっており、現在の住まいで長く住み続けられるような方向性を市として推進していくことが、市民ニーズに沿うことと考えられます。しかし、借家や建築時期が古い住宅に居住する高齢者の多くが一定のバリアフリー化水準以下の住宅に居住しています。事故防止や予防の観点も含めたかたちでの住宅のバリアフリー化の重要性を周知し、一人ひとりのニーズにきめ細やかに対応した住まいの確保が必要です。

【住まいの状況】



【自身が介護状態になった場合、どこで暮らしたいか】



災害時の対策については、地域のつながりを含めて推進していくことが重要であり、災害に備えた準備活動や、いざという時に支援が必要な方の把握や支援方法の確立が急務となっています。そのため、防災意識の醸成を図り、災害時・緊急時に住民同士が助け合い、支え合えるような仕組みや関係の構築をしていくことや、各主体が連携することが必要です。

また、介護保険において、自力での避難が困難と考えられる入所者の安全を確保するため、対策を強化するよう促すとともに、災害時には避難所としての機能を発揮できるよう、協力を呼びかける必要があります。

第３章　つくば市の高齢者福祉の基本的な考え方

１　計画の基本理念

本市では、第３期計画より『高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり』を基本理念として、高齢者福祉施策や介護保険事業を展開してきました。

本計画においても、この基本的な考え方を継承し、高齢者への介護予防や健康づくり、また、社会参加を促し、地域社会で支えあいながら安心して暮らしていけることを目的とし推進していきます。

高齢者と介護者が生きがいを持ち、

住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり

2　計画の基本的視点

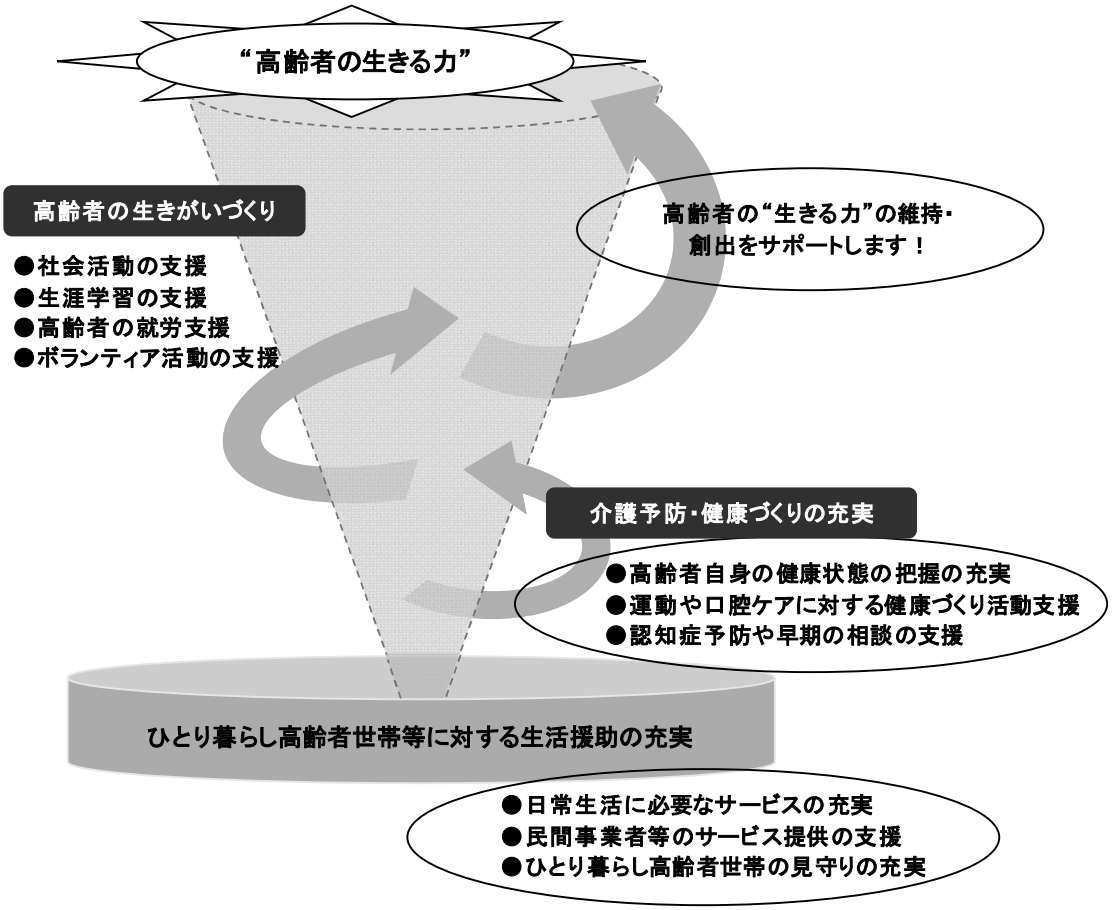
基本視点Ⅰ　高齢者の生きる力を支えます

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康で、できる限り自立した生活を送ることができるよう、日常生活に必要な福祉サービスを中心として、運動機能向上、口腔ケアや認知症予防などテーマに応じた介護予防事業や健康づくり事業の充実を図ります。

また、第７期計画時の制度改正に伴い、要支援者及び基本チェックリスト該当者に対する介護予防・日常生活支援サービス総合事業を推進してきました。

本格的な高齢化社会が進行し、労働人口が減少する中では、高齢者はこれまでの「支えられる高齢者」だけでなく、地域社会や介助を必要とする高齢者を「支える高齢者」としての役割が求められています。

高齢者の社会参加のニーズは高く、高齢者の地域の社会的な活動への参加は、活動を行う高齢者自身の生きがいや介護予防等にもなります。はりのある生活の維持や高齢者の有する技術や知識を地域で役立たせるため、就労機会、ボランティア活動や趣味・生きがいの講座などソフト面を充実させることで、高齢者の生きる力の維持・創出を支えます。

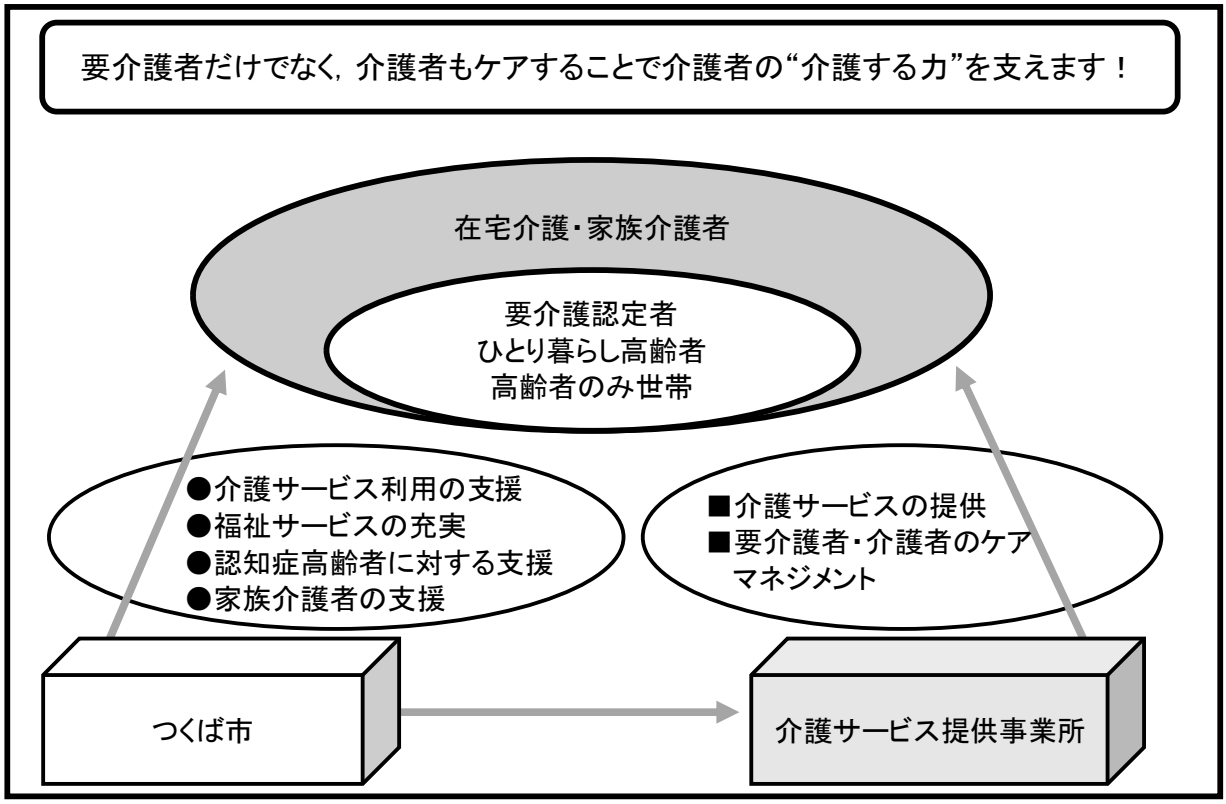


基本視点Ⅱ　介護者の介護する力を支えます

高齢者が要介護状態になっても住み慣れた自宅で生活し続けるには、地域による見守り支援や介護保険サービスなど公的サービスによる支援といった重層的な支援体制が必要とされます。そのため、介護保険サービスや市の福祉サービスを積極的に利用できるよう、経済的支援などの利用支援を充実させるとともに、介護サービスの提供基盤の充実やサービスの質の向上に取り組み、必要とするサービスを利用しやすい環境の構築を図ります。

また、要介護高齢者が在宅生活を続けるにあたって重要となる家族介護者について、介護の負担を少しでも軽減し介護し続けられるよう、精神面のサポートや一時的な息抜きの場、交流の場などの支援を充実させるとともに、介護サービス事業所と連携して、家族の支援も実施できるよう努めます。

介護者の人材確保・育成についても、将来の要介護者増加に伴う人材不足の解消及び介護離職の防止に努めます。



●適切な介護サービス事業所の整備の推進
●介護サービスの質の向上
●介護サービス事業所の指導・監査の強化

基本視点Ⅲ　地域で高齢者の生活を支えます

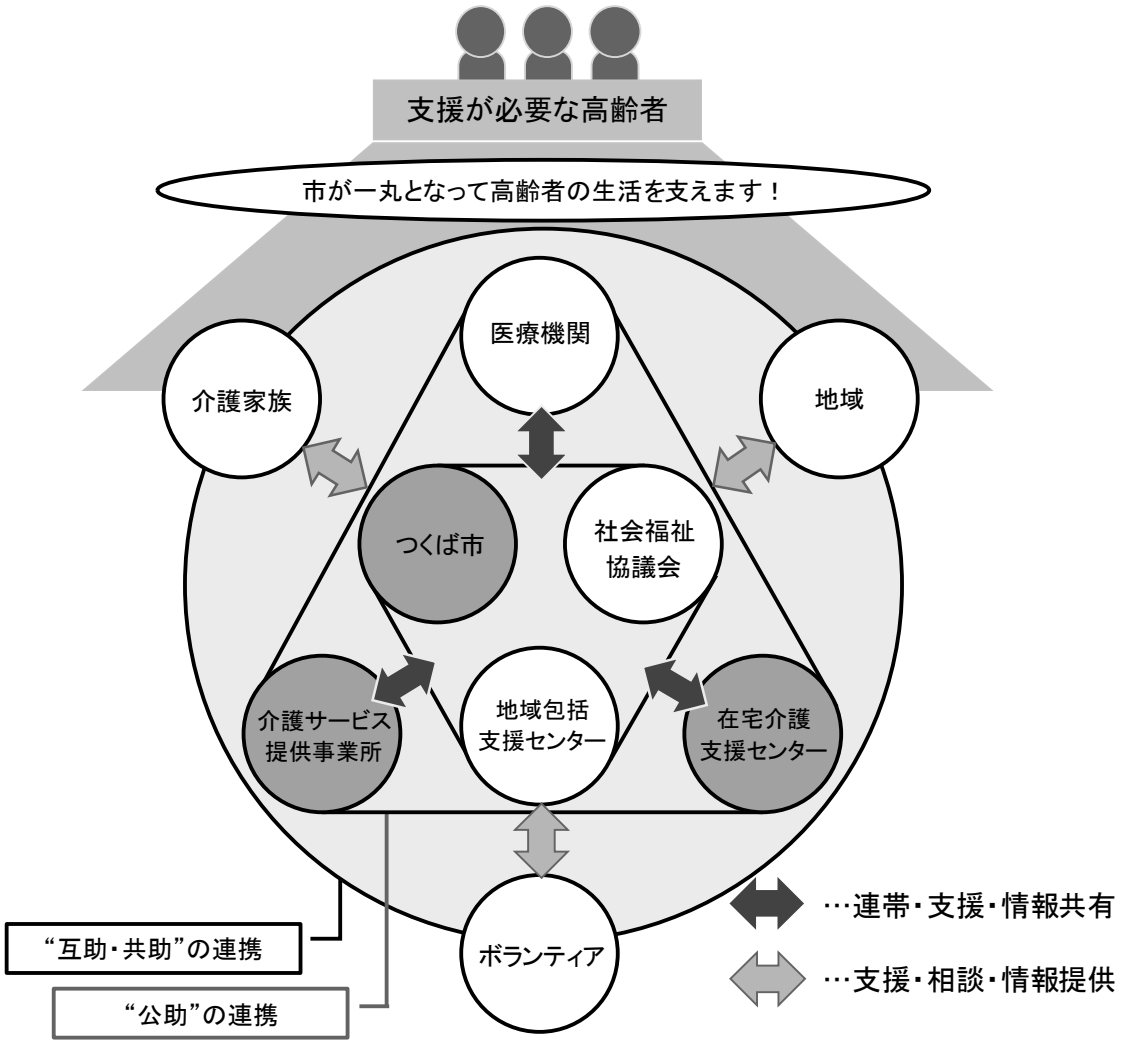
国においては、団塊の世代が 75 歳以上となり、疾病や要介護状態にある高齢者数が大きく増加することが予想される令和 7 年(2025 年)を目標年度とした「地域包括ケアシステム」の完成に向けた取組が進められています。

本市では、地域コミュニティ（自助・互助・共助）の連携強化と介護・福祉・保健サービス等（公助）の支援の充実など重層的な支援体制で、地域福祉を推進し地域包括ケアシステムを構築することが必要です。

また、より専門的な相談や事例に対応するため、市や地域包括支援センターは地域の医療・福祉・介護の多職種と関係を強化していきます。

そして、災害時の避難拠点として対応力を強化するため、災害ボランティアの育成配置を進めるとともに、介護施設等の災害時の対応力を高め、要介護認定者等利用者の安全を確保し、かつ、機能するよう耐震整備の促進等、必要な対策を進めます。

さらに、住まいの確保についての取組や、住まいのバリアフリー化、権利擁護、消費者トラブル対応等、高齢者が安全で安心できる暮らしを確保するため、庁内外の部署・機関との連携の強化を図り、推進します。



3　施策の体系

基本理念

**高齢者と介護者が生きがいを持ち、
住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり**

施策目標	施策方針
地域包括ケアシステムの深化・推進	地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実
認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進	高齢者の認知症支援
	権利擁護の推進
	成年後見制度の利用促進
介護予防や健康づくりの推進	介護予防・日常生活支援総合事業
	高齢者の健康づくりと社会参加の支援
ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援	在宅介護・家族介護者の支援の充実
	ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実
高齢者の住まいの確保と災害対応の強化	ニーズに合わせた多様な住まいの供給
	適切な住まいに入居できるための情報提供の支援
	安心安全な居住環境の確保
	地震等災害に強い住まいづくり
介護保険サービスの充実と制度の活用	介護サービス事業所の整備・質の向上
	低所得者の利用者負担等の軽減
	介護保険料の減免・細分化

第２部　各 論

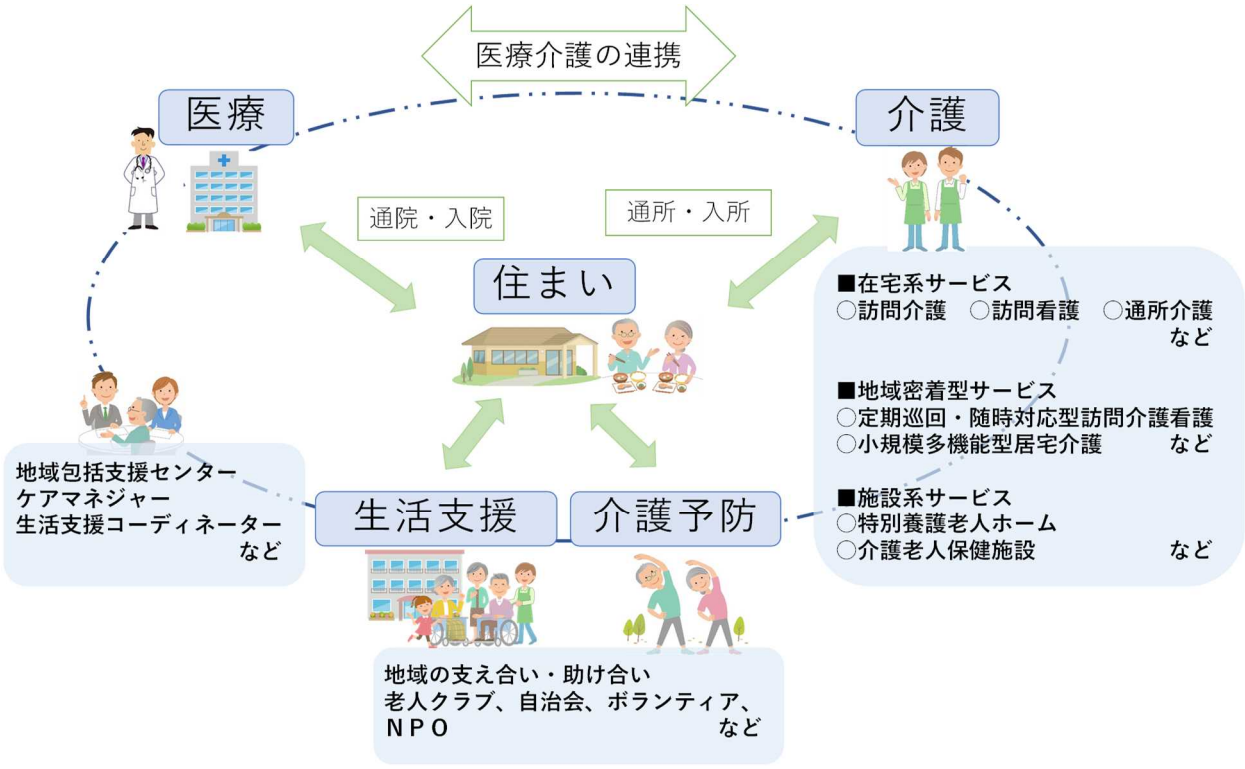
第１章　地域包括ケアシステムの深化・推進

１　地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実

市民が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護サービスのみならず、その他のフォーマルやインフォーマルの多様な社会資源を市民が活用できるようにし、包括的および継続的に支援するため、各日常生活圏域に地域包括支援センターを配置しました。これにより、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援の５つが包括的に提供されるネットワークを構築するとともに、制度・分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、市民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく地域共生社会の実現に向けて推進していきます。

また、市民に対する相談窓口の案内や情報提供の手段の確保はもちろんのこと、事業所に対しても地域の集約した介護資源情報を提供していくことで、専門職がより正確に、公平に、細やかに地域ケア情報を把握し、利用者や家族の課題やニーズに沿った介護サービスにつなげていけるよう支援をしていきます。

【地域包括ケアシステムの姿】



（１）地域包括支援センターの充実

①地域包括支援センターの運営体制

担当課	地域包括支援課
事業概要	市では、情報の共有と支援方針の統一を図るため、平成 23 年度より直営の 1 カ所で地域包括支援センターを運営していました。 高齢者に対して、より身近な存在となり、地域に密着した支援や迅速な対応を行うため、日常生活圏域のうち平成 29 年 10 月に、筑波圏域と茎崎圏域、平成 31 年 4 月に大穂豊里圏域と谷田部西圏域、令和 2 年 4 月に桜圏域、令和 2 年 10 月に谷田部東圏域に地域包括支援センターを設置し、つくば市全圏域にセンターを設置しました。
今後の方針	地域包括支援センター職員に対する相談支援能力向上のために研修の充実と大穂豊里圏域の地域包括支援センターの増設を検討していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
センター数	3	3	5	7	7	8

★つくば市の医療と介護のありたい姿

ありたい姿１　希望の最期を共に考える

本人や家族の希望に応じて、自宅を中心とする地域の中で安心して最期を迎えることができている。（終活や ACP を通じた本人の意思と多職種の理解）

2025 年の目標

ACP や人生会議を専門職が理解し、当たり前のように本人や家族に説明し、日常的に話題にするようになっている。

2040 年の理想

市民は健康な時から自身の最期のあり方を考えることが当然になっており、看取りの時期までにはそれを専門職と確実に共有することができている。

ありたい姿２　本人を第一に考えた多職種連携

専門職は、つくば市のありたい姿を共有し、本人・家族や地域の状況を踏まえ、共に最善のアプローチを考え、対応することできている。（多職種は、専門性の背景を超えて、本人の希望や望ましい生活を第一に考えて知恵を出し合う関係）

2025 年の目標

専門職は、医療と介護の専門職間のコミュニケーションをとることへの苦手意識が低くなっていて、各専門性を十分に発揮し、本人を支援する連携ができている。

2040 年の理想

医療と介護、病院と診療所、診療所と診療所など、地域包括ケアを担う専門職間の連携が、特別な負担なくできる仕組みが完成している。専門職間の顔が見える関係は維持されており、互いに相手の専門性や価値観に敬意を払い尊重しあう関係がさらに深まっている。

ありたい姿３　専門職のスキルアップとやりがい

医療・介護の専門職は、働きやすく、やりがいがある環境で専門性を発揮し、本人や家族が望む生活の継続を支援することができている。
（医療と介護の専門職は、やりがいのある魅力的な職種であり、燃え尽きることなく、成長し続けることができている）

2025 年の目標

専門職を対象とした魅力的な研修活動がさらに充実しており、積極的に参加する人が増加している。ケアマネジャーの幸福度をはじめとする専門職のやりがいの指標が向上している。

2040 年の理想

若年人口が減少しても、専門職（特に介護専門職）はやりがいのある職業として、認知され、能力・やる気のある人材が地域の医療・介護を支えている。

ありたい姿４　認知症になっても安心して暮らせる地域

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる。（地域住民・医療介護の専門職・行政等の総力による認知症の人や家族との関わり）

2025 年の目標

各専門職が携わっている認知症の方の変化の気付きや対応力が向上し、本人を支援するチームの支援力も向上している。

2040 年の理想

地域での見守りに加えて、ICT やロボットなどのつくば市ならではの技術を実装活用することで、多数の認知症の人が住み慣れた場所で安心して生活することができている。

ありたい姿５　多様な生活の場の提供

本人は、在宅でも介護施設でも、自分らしく暮らすことができている。（本人が安心して在宅療養できる医療・介護サービスの充実と自宅生活の延長としての特養等での生活の充実）

2025 年の目標

専門職は、各種の介護施設や介護サービス事業の特色を利用者の視点に立って分かりやすく説明でき、利用者の価値観にあったサービスを選択することを支援できるようになっている。

2040 年の理想

施設サービスの質がさらに向上しており、地域の中で介護施設が今以上に身近な存在となっている。その結果として介護施設に入居後も自宅と変わらないような生活が送れるようになっている。

ありたい姿６　相互に支え合う生活支援・介護予防

住み慣れた地域には健康づくりや住民同士がつながる場所があり、高齢になっても、介護が必要になっても地域の中で役割がある。（世代を超え、支え合うコミュニティが地域の身近にある）

2025 年の目標

地域の身近な場所で、住民主体による介護予防や助け合いの取り組みの参加者が増えている。

2040 年の理想

市民は、地域の互助による自発的な活動に参加していて、若い世代も介護予防や助け合いの活動に積極的に参加している。

ありたい姿７　誰一人取り残さない

誰一人取り残されず、一人ひとりの安心が守られ、地域の隅々まで医療と介護、生活支援がいきわたり、自分らしく生きることができている。（医療や介護を拒否する人でも支援に繋がり孤立している人がいない）

2025 年の目標

地域包括支援センターは市民、民生委員、専門職等と連携して、地域の潜在的な課題を発見し、予防的に支援することができている。

2040 年の理想

全ての高齢者は、地域包括支援センターと顔が見える関係で繋がっていて安心して生活できている。

②在宅医療・介護連携の推進

担当課	地域包括支援課
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で必要な医療サービス及び介護サービスを一体的に受けられることで、安心して在宅生活を続けられるように、医療及び介護に係る関係機関の調整並びに連携の強化を図り、在宅医療・介護連携を推進します。
今後の方針	市民が、在宅医療と介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、つくば市の「医療と介護のありたい姿（共通指針）」を医療・介護関係者と共有し、多職種連携の課題について、医療・介護・行政が協働して解決していきます。

③地域ケア会議の充実

担当課	地域包括支援課
事業概要	医療・介護・保健・福祉・法律等の多職種が協働し、高齢者等の個別課題の解決に向けた協議をして、介護支援専門員等をはじめとするケアチームによる自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めます。また、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化するとともに、共有された地域課題の解決のため、「生活支援体制整備推進会議」において検討し、必要な社会資源開発や地域づくり、さらには政策形成につなげます。
今後の方針	圏域別ケア会議及び自立支援型個別ケア会議では、個別課題（困難事例、自立支援等）の解決に資する会議となるよう充実し、自立支援・重度化防止の推進を図ります。また、引き続き抽出された地域課題について、自立した生活を営むために必要な生活支援を整えることができるよう、生活支援体制整備事業と連携し、情報共有を図っていきます。

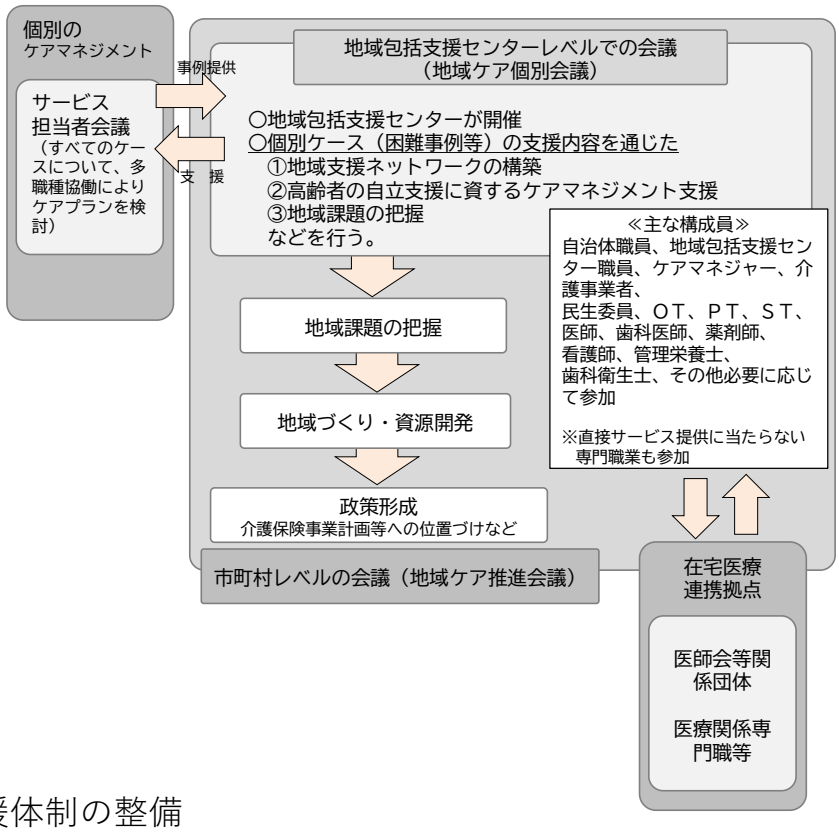
【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
ケア会議回数	36	36（36）	33（36）	36	36	36
参加職種	19	21（16）	25（17）	20	20	20
事例件数	36	36（36）	33（36）	36	36	36

※（　　）は 7 期計画の計画値　　（各圏域 2 か月に 1 回の開催　6 圏域× 6 回）

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により会議数が減少。

【地域ケア会議のイメージ】



④生活支援体制の整備

担当課	地域包括支援課
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、ＮＰＯや地縁組織などの多様な主体による多様なサービスを提供する体制を構築してまいります。 具体的には、定期的な情報の共有・連携強化の場として中核をなす「協議体」の設置や生活支援サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす調整役として「生活支援コーディネーター」を配置し、多様な主体と連携をとりながら、互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合い・助け合いの体制づくりを推進してまいります。
今後の方針	生活支援コーディネーターと第 2 層協議体が両輪となって、高齢者の居場所づくりや見守り、ゴミ出し、移動支援などの支えあい助け合いサービスを創出することで、高齢者の社会参加や生きがいづくりを推進していきます。関係機関と連携を強化し、社会資源調査の周知やニーズ調査を継続して実施していきます。

⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	地域包括ケアネットワークを活用しながら、医療と介護の連携強化に努め、介護支援専門員、主治医をはじめ、地域の様々な関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉・その他の生活支援サービスなどを含め、地域における様々な資源を活用し、途切れることなく、施設・在宅を通じた地域における生活を支援しています。また、高齢者の介護予防ケアマネジメント、要支援認定者の介護予防支援及び介護給付におけるケアマネジメントとの相互の連携を図ることにより、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを行っています。
今後の方針	各地域包括支援センターに配属されている主任介護支援専門員を中心とした地域の主任介護支援専門員のネットワークの充実を図り、高齢者を支える介護支援専門員の資質向上を推進していきます。また、高齢者が住み慣れたところで自立した生活を営めるよう、地域包括ケアシステムの強化に向け、介護保険内外の情報を全てのケアマネジャーが活用し、支援できるように環境を整えていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
延べ参加者数	873	902 (919)	789 (945)	945	970	990

※（　）は 7 期計画の計画値

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により会議数が減少。

⑥地域見守りネットワーク事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるように、地域の方から選任した「ふれあい相談員」や見守りを直接行う「見守り支援員」と社会福祉協議会が協力し、見守りが必要な方に対し地域で見守ることができる仕組みづくりを進めています。必要に応じて専門機関や行政と連携し、地域の安心を支える活動です。 ①近隣住民によるさりげない見守り活動、②気になる方への「見守りチームづくり」、③孤立した要援護者の発見と報告、これら 3 つの役割を柱とし、この活動を支援する地域の組織づくりも同時に推進しています。
今後の方針	区長や民生委員と連携し、その地域に適した相談役を見つけ、設置に向けて積極的に働きかけを行うことと、登録のメリットを含めた事業の周知を今後も継続していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
ふれあい相談員数	150	163 （170）	160 （200）	170	180	190
見守り支援登録者数	396	429 （450）	405 （500）	420	440	460

※（　）は 7 期計画の計画値

（２）介護・福祉サービスの情報提供・相談体制の充実

①市民に対する情報提供

担当課	介護保険課・高齢福祉課・地域包括支援課
事業概要	市民に対して、要支援・要介護認定方法、サービスの利用手続きや保険料の賦課・徴収の仕組みなど、介護保険全般に関するわかりやすい情報の提供を広報紙や市民べんり帳、ホームページを通じて周知しています。
今後の方針	高齢者の情報入手手段は、市の刊行物（広報紙等）や回覧を利用されている人が多いため、必要な最新の情報を分かりやすく整理し、広報紙等の内容の充実と拡充を図ります。特に、介護保険サービスが必要になる前の方々に対して、在宅医療、介護、認知症に関する情報冊子の配布や出前講座等での啓発活動を行い、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進します。

②介護事業所等関係者に対する情報提供

担当課	地域包括支援課
事業概要	在宅介護を支援するケアマネジャー等に対して、各介護事業所の運営状況や利用者の受入状況及びインフォーマルの地域資源に関する情報の集約と提供を、地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」を活用しています。
今後の方針	これまで、多様な媒体にある情報を、ケアマネジャー等の支援者がそれぞれ管理していましたが、介護保険内・外サービス情報を、本システムにより集約・配信することで、地域の介護資源を把握しやすくなります。今後、短期入所系事業所の空き状況及び通所系事業所の利用時間区分ごとの空き状況の見える化等、利用者のニーズに合う効率的な介護サービスの選択に資することができるよう、内容の充実と拡充を図ります。

＜市が発行している医療・介護・福祉に関する情報冊子＞

冊子名	内容
① あんしん介護保険	・介護保険制度の仕組みに関するガイドブック
② つくば市在宅医療と介護のサービスマップ	・つくば市の在宅医療と介護保険サービス事業所等、各種関係機関のガイドブック
③ つくば市介護サービス事業者ガイドブック「ハートページ」 ※平成 29 年より、税金を使わない民間活力を導入して無料で編集・制作し、市町村の窓口や病院等の関連施設等へ配布	・要介護（要支援）認定を受けた方がサービス事業者を選ぶ際の参考となるガイドブック
④ 高齢者の地域包括ケアのためのミニ知識「保健福祉関係者のための市内の保健福祉サービス民間関連サービスの概要」（専門職向け）	・医療、介護の多職種向けへのつくば市内におけるフォーマル、インフォーマルサービスガイドブック

※市の窓口で配布しており、毎年度改訂しています。また、HP でもご覧になることができます。

③出前講座

担当課	介護保険課・地域包括支援課
事業概要	集会場や地域交流センターなど地域に出向き、希望に沿った福祉に関する講話や福祉制度の説明等を行うことにより、福祉等への関心を高め、地域福祉活動のきっかけをつくります。また、市民に対する福祉啓発を行うとともに、地域で行われている福祉活動への支援を図っています。
今後の方針	市民からの多様なニーズに対応できるような体制づくりを行います。あわせて市民が必要な情報、知りたい情報を発信できる出前講座を実施していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実施回数	62	99（25）	63（26）	55	55	55

※（　）は 7 期計画の計画値

※平成 30 年度は学校からの依頼や、地区での講座開催の回数が多かった。

④総合相談支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	地域の高齢者の総合相談窓口として、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握して、地域における適切なサービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っています。
今後の方針	関係機関等との連携を密にし、各種制度の情報や支援方針の共有を図り、ワンストップの総合相談体制を強化します。また、各地域包括支援センター合同でケース共有を行い、支援内容を分析や情報共有し、よりよい相談支援につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実相談者数	2,128	3,565 （820）	5,602 （830）	6,498	6,540	6,600
延べ 相談件数	2,905	5,956 （2,380）	8,823 （2,450）	10,590	10,800	11,400

※（　）は 7 期計画の計画値

年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
介護・日常生活に関する相談 （介護方法・認知症・一人暮らし世帯）	2,191	5,321	7,263
サービス利用に関する相談	233	1,613	3,477
医療に関する相談	199	659	1,340
所得・家庭生活に関する相談	226	672	1,085

⑤介護サービス相談員派遣事業

担当課	介護保険課
事業概要	介護サービスを提供している事業所に、介護相談・地域づくり連絡会が主催する介護サービス相談員養成研修を受講した相談員を派遣し、利用者からの介護サービスに関する疑問や不安、また、職員に直接言いにくいことなどの相談に応じて、介護サービス提供事業所との橋渡しをしながら、問題の改善や介護サービスの質の向上を図っています。
今後の方針	介護サービスの対象外である、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅についても、相談員の訪問受け入れの協力をお願いし、より多くの利用者の疑問や不安の解決にむけた相談に応じられる体制を整えます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
延べ訪問 事業所数	142	159 （173）	143 （178）	188	193	198
受入 事業所数	35	35	34	36	38	40

※（　）は 7 期計画の計画値

第２章　認知症地域支援や成年後見制度の利用の促進

１　高齢者の認知症支援

高齢化の進展とともに 2025 年には、高齢者の５人に１人が認知症になると推計されています。このように、認知症は誰でもなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人にとって身近なものとなっています。

こうした中、令和元年 6 月に取りまとめられた「認知症施策推進大綱」を踏まえ、認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人の意思が尊重され、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指すために、認知症の発症を遅らせたり、進行を緩やかにしたりする「予防」と認知症になっても周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができる「共生」を車の両輪として施策を推進していきます。

（１）高齢者の認知症支援

①認知症サポーター養成事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症サポーター養成講座を地域や職域、学校などで開催し、講座を通じて、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく支援する認知症サポーターを、キャラバン・メイト（ボランティア）と協力して養成します。また、認知症サポーター養成講座を受講された方で、「もっと活動したい」「スキルアップをしたい」という方に対して、ステップアップ講座を開催しています。令和２年３月 31 日現在で 16,519 名を養成しています。
今後の方針	地区活動を基盤にキャラバン・メイトの活動支援と協働により開催を推進していきます。特に学校関係への講座を開催し、若い世代の認知症理解を広げていきます。また、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症サポーターを中心とした早期からの継続支援の活動を行うチームオレンジの立ち上げを進めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R３年度	R４年度	R５年度
サポーター養成数	1,426	3,079 （2,360）	3,082 （2,430）	2,500	2,500	2,500

※（　　）は７期計画の計画値

②認知症声かけ模擬訓練

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症高齢者が行方不明になる問題の増加は、大きな社会問題となっています。地域と連携し、認知症による外出行動を想定した高齢者役に声かけする模擬訓練を行い、安心して生活できる地域づくりをしていきます。
今後の方針	高齢者に限らず、すべての市民が認知症を正しく理解するとともに、より具体的な認知症の方への対応方法を身につけることができるよう認知症声かけ模擬訓練を実施していきます。また、実施後に継続してフォローアップできる体制を構築し、認知症の人に対して地域の見守りができる体制づくりを目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
参加者数	367	376 （209）	88 （215）	220	220	220

※（　　）は 7 期計画の計画値

※毎年 1 小学校区で開催するところ、平成 29、30 年度は地元からの依頼があり、 2 小学校区で開催したため。

③認知症ケアパスの確立

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症ケアパスとは、認知症を発症したときから生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせていつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかをあらかじめ標準的に決めておくもので、国においては、地域に応じた認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成と普及が推進されています。
今後の方針	定期的に内容の見直しを実施し、認知症に関する知識や相談窓口等の最新の情報を発信します。また、認知症の早期発見、早期診断および認知症の方やその家族等が必要な支援につながるよう認知症ケアパスの活用を促進します。

④認知症カフェ

担当課	地域包括支援課
事業概要	つくば市内に住所を有する認知症高齢者及びその家族並びに地域住民を対象にし、レクリエーション講演会など本人の生活意欲の向上のための企画や専門職による介護者への相談支援、地域の人への認知症理解のための啓発などを行います。
今後の方針	認知症の人やその家族だけでなく、地域の方々が認知症を正しく理解しながら交流し、認知症の方が住みやすいまちづくりを推進します。また、参加しやすいよう７つの日常生活圏域での認知症カフェの開設を目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
開催数	12	37 （24）	43 （36）	72	78	84
延べ 参加者数	280	672 （550）	766 （830）	1,080	1,170	1,260

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑤認知症初期集中支援チーム

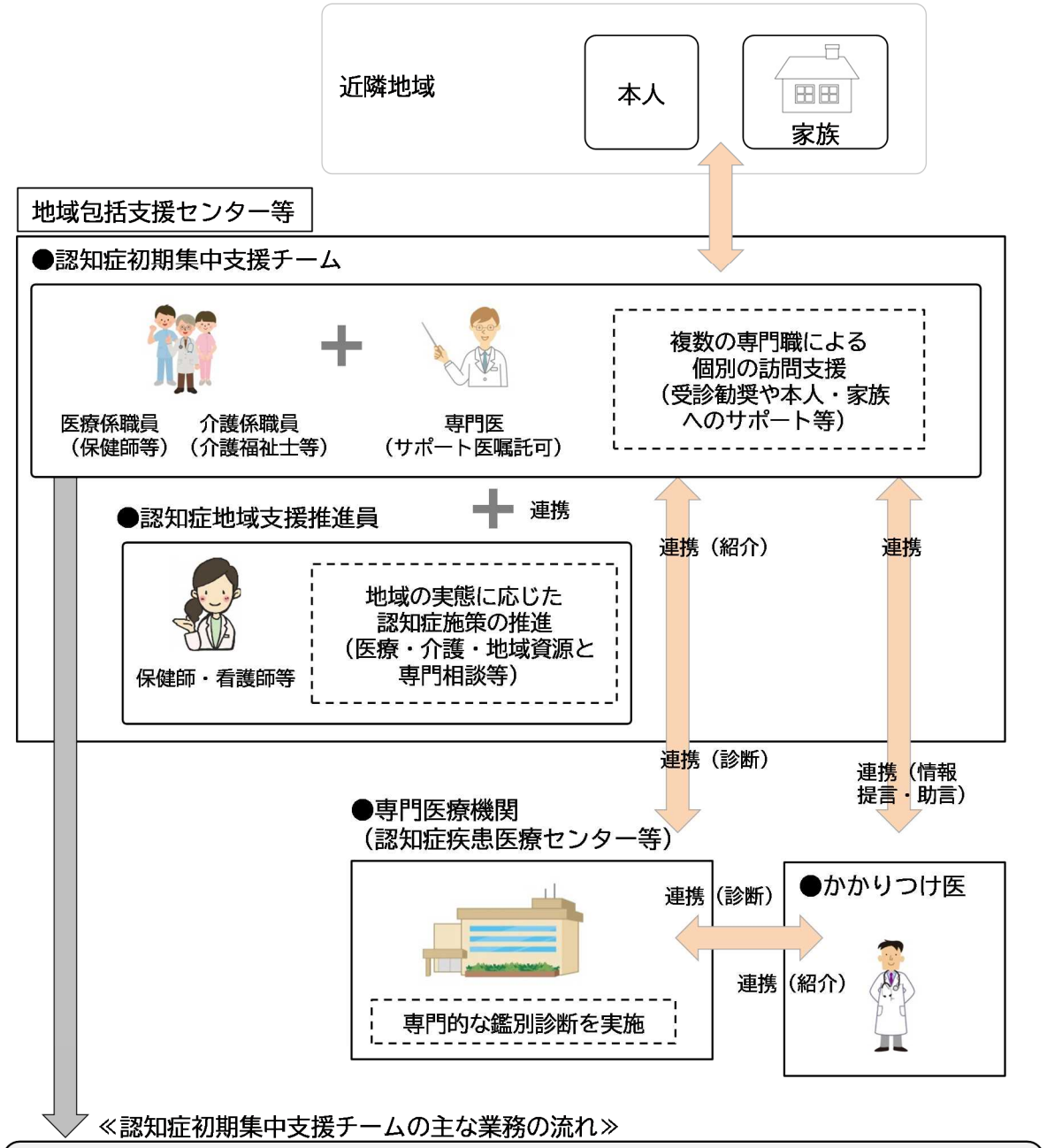
担当課	地域包括支援課
事業概要	複数の専門職（認知症初期集中支援チーム）が、認知症が疑われる人や生活上の困難を抱えている認知症高齢者及びその家族を自宅訪問し、複数の専門職による生活状況の観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行います。
今後の方針	チーム員のスキルアップを図り、認知症の早期診断と早期対応により、認知症の方や介護者等の負担が軽減するよう支援します。また、対応した事例をもとに地域課題を明らかにし、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
新規 支援者数	5	19	26	30	40	50

※平成 29 年 11 月からの実施

【認知症初期集中支援チームによる支援のイメージ】



≪認知症初期集中支援チームの主な業務の流れ≫

①訪問支援対象者の把握　②情報収集（本人の生活情報や家族の状況など）　③アセスメント（認知機能障害、生活機能障害、行動・心理症状、家族の介護負担度、身体の様子のチェック）　④初回訪問時の支援（認知症への理解、専門的医療機関等の利用の説明、介護保険サービス利用の説明、本人・家族への心理的サポート）　⑤チーム員会議の開催（アセスメント内容の確認、支援の方針・内容・頻度等の検討）　⑥初期集中支援の実施（専門的医療機関等への受診勧奨、本人への助言、身体を整えるケア、生活環境の改善など）　⑦引継ぎ後のモニタリング

⑥認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	行方不明のおそれのある認知症高齢者を事前登録し、行方不明になった場合に、早期に発見できるよう認知症支援メール登録者と協力事務所に情報発信し、支援体制を構築し、高齢者の安全と家族等への支援を行います。
今後の方針	行方不明になった高齢者の早期発見のため、認知症支援メール登録者と協力事業所の拡大を目指します。また、警察署と情報共有し保護した高齢者を早期に家族等へ引き継げる体制を整備します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
支援ﾒｰﾙ登録数	131	168	676	740	770	800

※令和元年度からつくば市メールサービスから登録できるようになったため増加。

⑦認知症高齢者等保護支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	行方不明のおそれのある高齢者を介護している家族に対して、認知症の高齢者が身につける位置情報端末機の貸与を行い、行方不明時に家族がインターネットや電話で位置情報等を確認できるシステムを提供することで、高齢者の保護を支援しています。
今後の方針	認知症の方の安全確保と介護者の負担軽減のため事業を継続し、必要とする方に利用していただくため、利用しやすい小型の機種の導入などの事業の周知、普及に努めていく。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	5	9（4）	8（4）	10	12	14

※（　）は７期計画の計画値

2　権利擁護の推進

地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題解決できない、適切なサービス等につなげる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域で尊厳のある生活を維持し、安心して生活ができるよう、専門的・継続的に支援をします。

特に、介護者の介護負担やストレスなどが原因となって、高齢者の虐待につながる場合が多いことから、地域や関係機関と連携し、高齢者とその家族が地域で孤立しないように見守るとともに、虐待の早期発見、適切な支援に努めます。

（１）権利擁護の推進

①権利擁護事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるように専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行っています。 高齢者虐待の対応では、通報・相談機関として位置づけられ、関係者のネットワークを構築して虐待発生の防止、被虐待者の保護、養護者への支援など問題解決に向けた取組を図っています。
今後の方針	高齢者の権利を守るため、関係機関等で構成される虐待防止ネットワークとの連携を図り、高齢者虐待の未然防止を視野に入れた普及啓発を推進します。 成年後見制度の利用促進のため、「つくば市成年後見制度利用促進基本計画」を策定し、取組を強化していきます。

②日常生活自立支援事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等とそれに伴う日常的金銭管理を支援するものです。 判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等であって、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方）で、尚且つ本事業の契約の内容について判断し得る能力を有していると認められる方が対象となります。
今後の方針	権利擁護支援体制の地域ネットワーク構築の一翼を担えるよう、サービス提供体制の拡大を図ります。なお、必要とする人には成年後見制度への円滑な移行を支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
相談件数	1,479	2,135	1,921			
契約件数	26 （年度末）	23 （年度末）	27 （年度末）	40 （延べ）	50 （延べ）	60 （延べ）

③高齢者の消費者トラブルの防止

担当課	地域包括支援課
事業概要	消費生活の安全対策は、住民の暮らしに直接関わる問題であり、高齢者をはじめ住民全体が正しい認識を持ち、地域でも支えられるように取り組むため、消費生活支援センターと連携し被害救済・相談業務を行い、消費者教育（学校教育や社会教育との連携）、広報紙、パンフレット等を通じて正しい情報の提供に努めます。
今後の方針	被害救済や相談、各種制度の情報提供のため消費生活センターとの連携を強化します。また、対象者の状況に応じて適切に日常生活自立支援事業や成年後見制度等の権利擁護の支援を実施します。

3　成年後見制度の利用促進（つくば市成年後見制度利用促進基本計画）

認知症等により財産の管理や日常生活等に支障がある人たちを社会全体で支え合うことが、高齢社会における喫緊の課題であり、かつ、共生社会の実現に資することです。しかし、成年後見制度はこれらの人たちを支える重要な手段であるにもかかわらず十分に利用されていませんでした。

このような背景から、国は、成年後見制度の利用の促進に関する法律が平成 28 年 4 月 15 日に公布され、同年 5 月 13 日に施行され、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、また、基本方針その他の基本となる事項を定めました。

本市においても、ノーマライゼーションや自己決定権の尊重、財産管理だけでなく身上保護を重視するなどの基本的な考えの下、高齢者が認知症等により判断能力が不十分になる前から住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、つくば市成年後見制度利用促進基本計画を策定し、成年後見制度の普及啓発と活用の促進に努めます。

（１）成年後見制度利用促進に当たっての基本的な考え方及び目標値等

①つくば市成年後見制度利用促進基本計画の位置付け

「つくば市成年後見制度利用促進基本計画」（以下「基本計画」という。）は、成年後見制度の利用の促進に関する法律（以下「促進法」という。）第 12 条第 1 項に基づき、成年後見制度の利用の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定された国の基本計画を踏まえ、促進法第 14 条に沿って、つくば市における成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画と位置付けます。対象期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 3 年間とします。

②基本的な考え方

成年後見制度は、ノーマライゼーションや自己決定権の尊重等の理念と、本人保護の理念との調和の観点から認知症や知的障害、精神障害によって判断能力が不十分な人に対して、成年後見人・保佐人・補助人(以下、「後見人」という。)がその判断能力を補うことによって、その人の生命、身体、自由、財産等の権利を擁護するという点に制度の趣旨があり、これらの点を踏まえ、国民にとって利用しやすい制度とすることを目指して導入された制度です。また、今後、認知症高齢者の増加や単独世帯の高齢者の増加が見込まれる中、成年後見制度の利用の必要性が高まっていくと考えられます。

③今後の施策の目標等

ア）利用者がメリットを実感できる制度・運用へ改善を進めます。

（a）利用者に寄り添った運用

成年後見制度においては、後見人による財産管理の側面のみを重視するのではなく、認知症高齢者や障害者の意思をできるだけ丁寧にくみ取ってその生活を守り権利を擁護していく意思決定支援・身上保護の側面も重視し、利用者がメリットを実感できる制度・運用とすることを基本とします。

（b）保佐・補助及び任意後見の利用促進

〇成年後見制度の利用者の能力に応じたきめ細かな対応を可能とする観点から、成年後見制度のうち利用が少ない保佐及び補助の類型の利用促進を図るとともに、利用者の自発的意思を尊重する観点から、任意後見制度が適切かつ安心して利用されるための取組を進めます。

〇認知症の症状が進行する高齢者等について、その時々の判断能力の状況に応じ、補助・保佐・後見の各類型間の移行を適切に行う。このため、その時々の心身の状況等に応じた見守り等、適切な権利擁護支援を強化します。

〇また、任意後見や保佐・補助類型についての周知活動を強化するとともに、早期の段階からの制度利用を促進するため、利用者の個別のニーズを踏まえた周知活動・相談対応等も強化します。

イ）必要な人が成年後見制度を利用できるよう、権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築を図ります。

〇成年後見制度の利用が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携を進めます。

〇今後の成年後見制度の利用促進の取組も踏まえた需要に対応していくため、地域住民の中から後見人候補者を育成しその支援を図るとともに、法人後見の担い手を育成することなどにより、成年後見等の担い手を確保します。

（２）成年後見制度の利用の促進に向けた施策

①権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり

★地域連携ネットワークの三つの役割

上記目標を達成するため、以下の三つの役割を念頭に、従来の保健・医療・福祉の連携（医療・福祉につながる仕組み）だけでなく、新たに、司法も含めた連携の仕組み（権利擁護支援の地域連携ネットワーク）を構築する必要があります。

ア）権利擁護支援の必要な人の発見・支援

○地域において、権利擁護に関する支援の必要な人（財産管理や必要なサービスの利用手続を自ら行うことが困難な状態であるにもかかわらず必要な支援を受けられていない人、虐待を受けている人など）の発見に努め、速やかに必要な支援に結び付けます。

イ）早期の段階からの相談・対応体制の整備

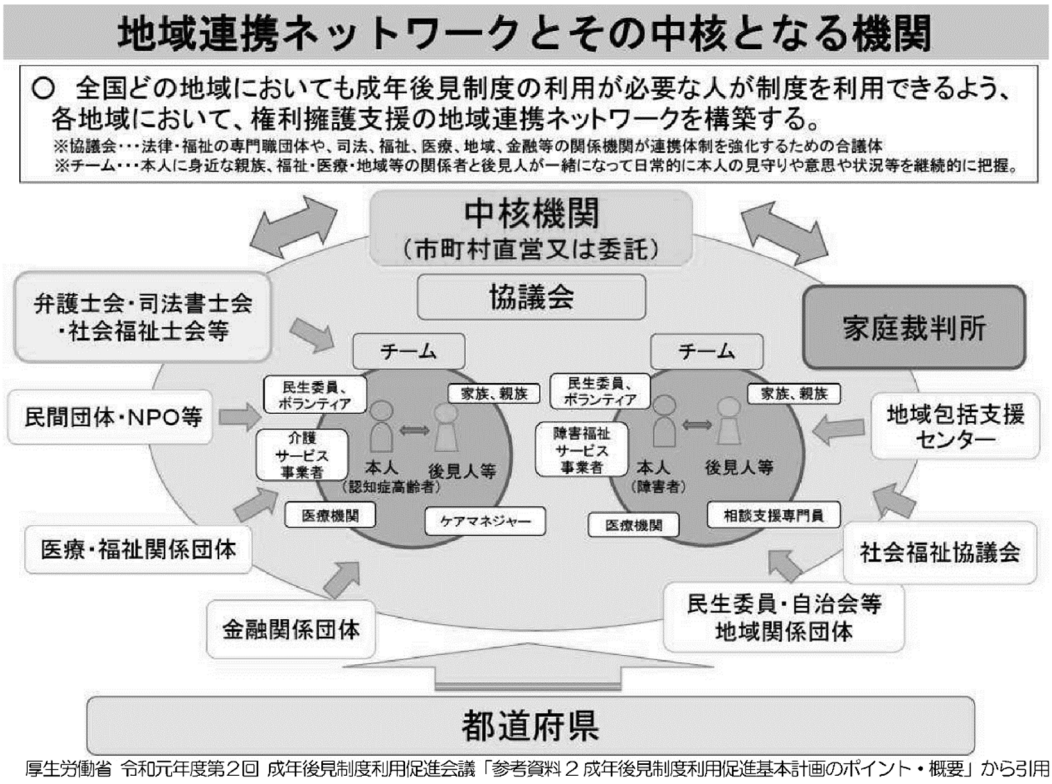
○早期の段階から、任意後見や保佐・補助類型といった選択肢を含め、成年後見制度の利用について住民が身近な地域で相談できるよう、窓口等の体制を整備します。

ウ）意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制の構築

○成年後見制度を、本人らしい生活を守るための制度として利用できるよう、本人の意思、心身の状態及び生活の状況等を踏まえた運用を可能とする地域の支援体制を構築します。

★地域連携ネットワークの基本的仕組み

地域連携ネットワークは、以下の二つの基本的仕組みを有するものとして構築を進めます。



厚生労働省 令和元年度第2回 成年後見制度利用促進会議「参考資料２成年後見制度利用促進基本計画のポイント・概要」から引用

ア）本人を後見人等とともに支える「チーム」

○地域全体の見守り体制の中で、権利擁護支援が必要な人を地域において発見し、必要な支援へ結び付ける機能を強化します。

○権利擁護支援が必要な人について、本人の状況に応じ、成年後見・保佐・補助(以下、「後見等」という。)開始前においては本人に身近な親族や福祉・医療・地域の関係者が、後見等開始後はこれに後見人が加わる形で「チーム」としてかかわる体制づくりを進め、法的な権限を持つ後見人と地域の関係者等が協力して日常的に本人を見守り、本人の意思や状況をできる限り継続的に把握し対応する仕組みにします。

イ）　つくば市成年後見制度推進事業運営委員会及びつくば市成年後見制度利用支援会議(以下、「運営委員会及び支援会議」という。)

※上記イメージ図の「協議会」に相当

○後見等開始の前後を問わず、成年後見制度に関する専門相談への対応や、後見等の運用方針等についての家庭裁判所との情報交換・調整等に適切に対応するため、個々のケースに対する「チーム」での対応に加え、地域において、法律・福祉の専門職団体や関係機関がこれらのチームを支援する体制を構築します。

○このため、各地域において各種専門職団体・関係機関の協力・連携強化を協議する協議会等を設置し、個別の協力活動の実施、ケース会議の開催や、多職種間での更なる連携強化策等の地域課題の検討・調整・解決などを行います。

★地域連携ネットワークの中心となる機関

上記の地域連携ネットワークを整備し、運営委員会及び支援会議を運営する中心となる機関を中核機関といい、社会福祉法人つくば市社会福祉協議会が設置する「つくば成年後見センター」を中核機関と位置付け、下記の役割を担います。

ア）広報機能

○地域連携ネットワークに参加する司法、行政、福祉、医療、地域などの関係者は、成年後見制度が本人の生活を守り権利を擁護する重要な手段であることの認識を共有し、利用する本人への啓発活動とともに、そうした声を挙げることができない人を発見し支援につなげることの重要性や、制度の活用が有効なケースなどを具体的に周知啓発していくよう努めます。

○地域における効果的な広報活動推進のため、広報を行う各団体・機関（茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部、茨城県社会福祉士会、つくば市役所、福祉事業者、医療機関、金融機関、民生委員、区会等）と連携しながら、パンフレット作成・配布、研修会・セミナー企画等の広報活動が地域において活発に行なわれるよう配慮します。

○また、広報活動を実施する際には、任意後見、保佐・補助類型を含めた成年後見制度の早期利用も念頭においた活動とします。

イ）相談機能

〇専門職団体や法テラス等の協力を得て成年後見制度の利用に関する相談に対応する体制を構築します。

〇以下のような関係者からの相談対応、後見等ニーズの精査、見守り体制の調整を行います。

・権利擁護に関する支援が必要なケースについて、後見等ニーズに気付いた人、地域包括支援センター、障害者相談支援事業者等の関係者からの相談に応じ、情報を集約するとともに、必要に応じて茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部・茨城県社会福祉士会等の支援を得て、本人の意思を尊重しながら、権利を守る視点で、最も適切な類型選択ができるよう、後見等ニーズの精査と、必要な見守り体制（必要な権利擁護に関する支援が図られる体制）に係る調整を行います。

ウ）成年後見制度利用促進機能

（a）受任者調整（マッチング）等の支援

〇親族後見人候補者の支援

・後見人になるにふさわしい親族がいる場合、本人の状況に応じ、当該親族等へのアドバイス、専門職へのつなぎ、当該親族等が後見人になった後も継続的に支援できる体制の調整等を行います。

〇市民後見人候補者等の支援

・市民後見人が後見を行なうことがふさわしいケースについては、市民後見人候補者へのアドバイス、後見人になった後の継続的な支援体制の調整等を行います。

〇専門職後見人の受任者調整（マッチング）

・専門職後見がふさわしいケースは、専門職団体（茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部・茨城県社会福祉士会）と連携し、各会において円滑に人選を行えるよう連携を強化します。

（b）担い手の育成・活動の促進

〇市民後見人の研修・育成・活用

・市民後見人の育成については、これまでも行ってきているが、市民後見人の積極的な活用が可能となるよう取り組みます。

・さらに、市民後見人がより活用されるための取組として市民後見人養成講座の修了者については、法人後見を実施する社会福祉協議会における後見業務や見守り業務など、後見人となるための実務経験を重ねます。

（c）成年後見制度を利用できる環境の整備

〇成年後見制度利用支援

・つくば市は、成年後見制度が、様々な理由で利用できない人に対して、申立費用や成年後見等への報酬助成、必要に応じて市長申立を行います。

エ）後見人支援機能

〇親族後見人や市民後見人等の日常的な相談に応じるとともに、必要なケースについては、後見人と本人の親族や支援関係者等がチームとなって本人を見守り、本人の状況を継続的に把握し適切に対応する体制を作ります。

〇本人の状況が、法律・福祉専門職による支援が必要な場合、各専門職団体や支援関係者がチームとなりケース会議開催等を通して、意思決定支援・身上保護を重視した後見活動が行われるよう支援します。

★不正防止機能

成年後見制度における不正事案は、親族後見人等の理解不足や知識不足から発生することが多いことから、地域連携ネットワークやチームでの支援体制整備により、親族後見人等が日常的に相談できる体制を整備し、不正の発生を未然に防ぎます。

②関係団体の役割

茨城県弁護士会土浦支部、成年後見センター・リーガルサポート茨城支部・茨城県社会福祉士会等といった法律専門職団体や福祉関係者団体等は、地域における協議会等に積極的に参加し、地域連携ネットワークにおける相談対応、チームの支援等の活動などにおいて積極的な役割が期待されます。

ア）福祉関係者団体

〇今後、成年後見制度において本人の意思決定支援・身上保護を重視した運用を進める上で、茨城県社会福祉士会など福祉関係団体は、以下のような役割が一層期待されます。

・ソーシャルワークの理念や技術などに基づく本人の意思決定の支援

・福祉に関する相談の一環として行われる成年後見制度の利用相談、制度や適切な関係機関の紹介

・日常的な見守りにおけるチームの支援や、後見の運用方針における専門的な助言等の活動

〇社会福祉法人においては、地域における公益的な取組として、法人後見を実施するなど、成年後見制度の普及に向けた取組の実施が期待されます。

イ）法律関係者団体

〇今後も、複雑困難な後見等の事案や、財産管理が重視される事案、本人と後見人との間に利害の対立が生じている事案等においては、法律関係団体の関与が必要不可欠であり、以下のような役割が期待されます。

・法的観点からの後見等ニーズの精査や成年後見制度の利用の必要性、類型該当性等を見極める場面での助言や指導、ケース会議等への参加

・多額の金銭等財産の授受や遺産分割協議等の高度な法律的対応が必要となる案件等について、適切な後見人及び成年後見監督人等の候補者を推薦

・親族後見人、市民後見人等の選任後において、知識不足や理解不足から生じる不正事案発生等を未然に防止するため、支援機能の一環として、後見人に対する指導や助言、必要に応じて成年後見監督人等として関与

・本人と後見人との利害が対立した場合の調整に加え、協議会等における専門的な指導、助言等の活動

（３）成年後見制度利用促進基本計画の評価指標

本計画の進捗状況を把握し、必要に応じて、見直しや改善を行うため、以下の指標を設定します。

①利用者の把握と早期発見・早期支援の活動指標

区分		実績値	計画値		
年度		R元年度	R３年度	R４年度	R５年度
権利擁護相談延件数	全地域包括支援センター	503	550	580	600
	障害者地域支援室・障害者相談支援事業所	56	70	75	80
	つくば成年後見センター	206	250	270	290

②各種制度の利用促進に向けた活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R元年度	R３年度	R４年度	R５年度
日常生活自立支援事業延利用件数（うち新規）	27（２）	40（10）	50（10）	60（10）
成年後見制度利用者数	171	190	200	210

※成年後見制度利用者数は、つくば市内で成年後見・保佐・補助・任意後見を利用している人数の合計である。

③講座や研修の活動指標（集計は、参加者アンケートで実施）

区分	実績値	計画値		
年度	R元年度	R３年度	R４年度	R５年度
入門的内容の講座参加者が制度利用に積極的になった割合		50％以上	50％以上	50％以上
応用的内容の研修参加者が他者に説明できる自信をつけた割合		50％以上	50％以上	50％以上

※入門的内容の講座とは、依頼による出前講座やセンターが実施するテーマ別講座をいう。応用的内容の研修とは、市民向け・専門職向け研修会をいう。

④成年後見人等の業務支援の活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R元年度	R３年度	R４年度	R５年度
成年後見人等からの相談実人数		5	7	10

⑤市民後見人(法人後見支援員)の活動状況の活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度
延活動回数		30	40	50

⑥チーム会議への中核機関の参加の活動指標

区分	実績値	計画値		
年度	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加回数		12	18	24

第３章　介護予防や健康づくりの推進

１　介護予防･日常生活支援総合事業

現在、国においては、中長期的視点にたち令和 22（2040）年頃にはいわゆる団塊ジュニア世代が高齢者となり、現役世代人口が急減してくることから、第８期計画の基本指針においても「介護予防・健康づくり施策の充実・推進」を謳っており、介護サービス基盤の整備に加えて、介護予防や健康づくりの取組を通じての地域のつながりの強化を図っていくことが求められています。

このような状況の中で、介護予防・日常生活支援総合事業が平成 27 年の制度改正により創設され、これは２種類のサービスから成り立っています。

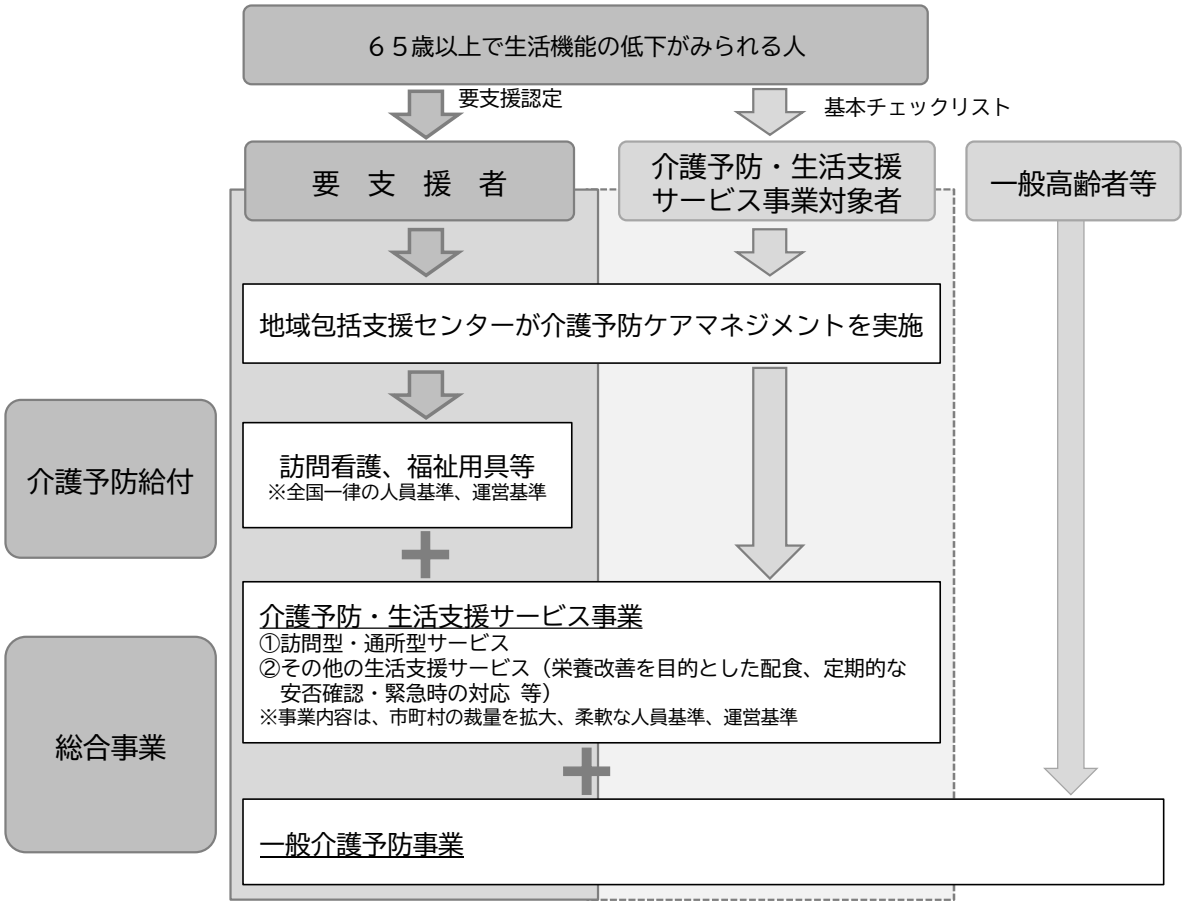
介護予防・生活支援サービス事業は、要支援認定を受けた方及び地域包括支援センターや市役所の担当窓口で基本チェックリストにより該当した方を対象に、訪問型サービスや通所型サービス等の一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを利用することで介護予防を図ります。

また、一般介護予防事業は、65 歳以上のすべての高齢者の方を対象として、運動教室や介護予防のための様々な取組を行っています。従来の通所型の運動だけではなく、地域の集会所など人々に密着した場所で、専門職やシルバーリハビリ体操指導士等を活用し、高齢者に適した小規模の体操教室などを推進していきます。

今後は、これらの取組のさらなる充実を目指すとともに、保健、医療専門職による訪問での運動指導やリハビリテーション専門職による住民や介護職員等への介護予防に関する技術的な助言やケアマネジメント支援を行っていくことで、高齢者一人ひとりの地域における活動や自立につなげていく取組を推進していきます。

（１）介護予防･生活支援サービス事業

【総合事業のイメージ図】



①基準緩和型訪問サービス

担当課	介護保険課・高齢福祉課
事業概要	生活援助については新たな担い手によるサービス提供が行われ、有資格者は有資格者のみが行える身体介護業務に比重を移していくことにより、介護サービス全体の人材確保につながるような仕組みを構築していきます。
今後の方針	ニーズを把握しながら、サービスを提供する事業所および利用者の増加に努めます。

②訪問型短期集中予防サービス

担当課	地域包括支援課
事業概要	保健・医療の専門職によって、心身の状況に応じた個別計画に基づいた運動指導を短期集中的に行うことで、生活機能や日常生活動作の維持・改善を行い、地域での活動や自立につなげる仕組みを構築します。
今後の方針	令和２年度から、新しいプログラムである「低栄養改善口腔機能向上プログラム」を追加し、より多くの高齢者に利用してもらうことで、生活機能や日常生活動作の維持・改善を行い、地域での活動や自立につなげていきます。 多くの人の利用を促進するため、住民や専門職へのさらなる周知・啓発を図っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R３年度	R４年度	R５年度
利用者数			6	10	12	15

③基準緩和型通所サービス

担当課	介護保険課・高齢福祉課
事業概要	利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を行うことができるよう、必要な日常生活上の支援を行うことにより、利用者の社会参加の促進及び生活機能の維持または向上を目指します。
今後の方針	ニーズを把握しながら、サービスを提供する事業所および利用者の増加に努めます。

（２）一般介護予防事業

①いきいきプラザでの運動教室

担当課	健康増進課
事業概要	健康増進施設いきいきプラザにて、年齢と強度を分け運動や健康講話、体力測定、栄養指導、運動指導、健康情報コーナーの設置を行っています。
今後の方針	市民が安心して、運動ができる環境整備をし、積極的に健康づくりに取り組む高齢者を増やしていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
実利用者数	254	255 （272）	243 （279）	200	200	200
延べ利用者数	7,149	8,232 （7,162）	7,874 （7,364）	6,500	6,500	6,500

※（　　）は７期計画の計画値

②運動活動グループ支援事業

担当課	健康増進課
事業概要	公共施設を中心に、健康増進課介護予防事業を経て発足した運動団体と介護予防を目的として発足した 20 名以上の団体を対象に、活動しやすい環境への支援を行うため、備品の貸出や体力測定の実施、出前教室、募集広報活動の協力を行っています。
今後の方針	継続した活動ができるよう、団体の希望に合わせ健康講話や体力測定を提供していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
実参加者数	624	647 （652）	667 （671）	680	700	700
延べ参加者数	17,945	20,146 （21,263）	18,953 （21,865）	21,000	21,000	21,000

※（　　）は７期計画の計画値

③出前健康教室事業

担当課	健康増進課
事業概要	近くの集会所等に出向く出前健康教室は、シルバーリハビリ体操指導士によるシルバーリハビリ出前体操教室とインストラクターなどによる簡単体操などのメニューから選択して行う健康体操教室があります。
今後の方針	身近な場所で、運動や健康づくりができる場を増やしていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実参加者数	5,633	5,336 (5,799)	5,012 (5,963)	5,100	5,100	5,100
延べ参加者数	41,434	38,784 (41,490)	36,536 (42,664)	39,500	39,500	39,500

※（　　）は 7 期計画の計画値

④介護支援ボランティア事業

担当課	地域包括支援課・社会福祉協議会
事業概要	高齢者が介護保険施設等で介護支援ボランティア活動を通して地域貢献することを奨励及び支援し、高齢者自身の社会参加活動を通した介護予防を推進します。ボランティア登録できる人は市内に住所を有する 65 歳以上の高齢者となります。介護支援ボランティア活動の実績に応じてポイントを付与し、ポイントを換金した交付金を交付します。
今後の方針	ボランティア登録施設を増やし、各地区でボランティアを実施しやすい環境を作ります。また、ボランティア内容に買い物等に伴う移動支援を新たに追加し、より多くの方に利用していただくように周知します。今後も、新たなボランティア項目の追加を検討し、さらなる社会参加の場を増やし、介護予防を推進していきます。新型コロナウイルスの影響による活動施設の減少に伴い、今後も活動の減少は継続すると予想されます。活動が地域における社会貢献や本人の生きがいづくり等に繋がり、今後も広げていけるように検討をしていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
活動者数	55	77（79）	67（81）	80	90	100

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑤こころとからだの健康教室

担当課	地域包括支援課
事業概要	体操や健康談話、レクリエーションを通して高齢者の閉じこもり予防や健康増進を図り、自立した日常生活が継続できるよう支援を行います。
今後の方針	他市町村の例を参考に、教室の内容について随時見直しを行い、参加者が自分の指標を知ることができるよう、認知機能をチェックする機会や個別相談の機会をつくります。毎日チェック表を使用することで、日々の記録を生活に取り入れながら参加者の生活習慣を維持・改善できるようにしていきます。また、教室の前後でアンケートを実施し、教室の評価を行っていくことで、ニーズに合った教室を展開していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実参加者数	327	594 （380）	225 （380）	75	75	75

※（　　）は 7 期計画の計画値

※閉じこもり予防教室は令和元年度、筋力バランスアップ教室は令和 2 年度で終了し、脳元気アップ教室のみの計画値。

※平成 30 年度は脳元気アップ教室にかかる講演会の開催により参加者が増加。

⑥地域リハビリテーション活動支援事業【新規】

担当課	地域包括支援課
事業概要	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職が、住民や介護職員等への介護予防に関する技術的助言、ケアマネジメント支援を行います。
今後の方針	訪問による栄養に関する自立支援及び重度化予防に資する助言や指導を実施します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
支援回数			10	20	25	30

2　高齢者の健康づくりと社会参加の支援

高齢者が長く健康な生活を送っていけることを目指すために、各種健診等を実施し、様々な疾病の早期発見・早期治療をしていくこと、また、生活習慣病による要介護状態の悪化を防止していくため生活習慣病等予防の取組を強化していきます。

地域活動や健康づくり活動、ボランティア活動などの社会参加については、希望する誰もが役割を持ち、社会参加の機会を得ることができる環境の整備やいきがいづくりを、シルバークラブやいきいきサロン、ふれあいサロンなどを通して、進めていきます。

また、令和元年度から、高齢者憩いの広場運営補助事業も始まり、より一層高齢者が気軽に通うことができる居場所の確保のため、活動の拡充を図っていくことや、シルバー人材センターを中心に、高齢者が長年培った知識や経験、技能等を生かし高齢者の就業機会を創出し活躍できる環境整備をしていきます。

特に、健康な高齢者については、介護の担い手としても活躍していくことが期待されることから、ボランティア事業の拡充、啓発、各種ボランティアへの高齢者の参加の促進を図ります。

（１）健康づくりの推進

①健康診査事業

担当課	健康増進課・国民健康保険課・医療年金課
事業概要	特定健康診査対象者の 40 歳以上国保加入者と後期高齢者医療保険加入者に対し個人案内をし、集団健診と医療機関健診で受診できる場を設け周知しています。
今後の方針	受診勧奨通知のデザインや内容を工夫する等、特定健康診査・後期高齢者健康診査受診率の向上のための取組を積極的に展開することで、被保険者が自身の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や早期発見につなげます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
対象者数	49,271	49,150 (48,181)	49,216 (48,852)	52,400	53,000	53,600
受診者数	16,038	16,841 (14,930)	17,480 (15,973)	22,392	24,320	26,260
受診率	32.55%	34.26% (30.98%)	35.51% (32.69%)	42.73%	45.88%	48.99%

※（　）は 7 期計画の計画値

②健康相談事業

担当課	健康増進課・国民健康保険課
事業概要	集団健診を受けた方で、特定保健指導（40～74 歳国保加入者）が必要な方には個別通知し、個別支援をしています。 また、生活習慣病を予防するための食事や生活の工夫や運動、休養の取り方等の相談も「成人健康相談」で行っています。
今後の方針	健診時健康相談、成人健康相談についての効果的な周知方法について検討し、情報発信を行っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	3,159	3,608 （5,250）	4,044 （5,500）	4,200	4,200	4,200

※（　　）は 7 期計画の計画値

③健康手帳の交付

担当課	健康増進課
事業概要	健康診査教育、相談、訪問等を受けた者の中で希望する方又は市が必要と認める方に、生活習慣病予防や介護予防に役立てていただくために健康手帳を交付しています。
今後の方針	Ｗｅｂ版の「健康手帳」を周知し、活用を促していくとともに、希望者には紙面版を提供します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	627	186 （300）	627 （300）	300	300	300

※（　　）は 7 期計画の計画値

※市ＨＰから「健康手帳」がダウンロードできるため、窓口で配布する健康手帳の交付数を計画値とした。

※平成 30 年度は配布方法に差があったため減少。

（２）高齢者の社会活動と就労支援

①シルバークラブ育成事業

担当課	高齢福祉課・社会福祉協議会
事業概要	シルバークラブは、おおむね 60 歳以上の方であれば加入できます。単位クラブでは、地域での仲間づくり、健康保持・増進、知識や経験を生かした新しい能力の発揮、社会活動への参画と貢献などいきいきとした高齢期の生活づくりを支援しています。
今後の方針	現在、シルバークラブは各地域において健康づくりや安心して暮らせる地域づくりに寄与しています。今後も「社会や地域を支える存在」として、若手会員の加入促進やスポーツ活動に趣味活動、介護予防運動など、楽しくて魅力のある活動メニューを広げる取組に努め、高齢者の新しい生きがいの発見につながる機会となるよう連合会全体の活性化を支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
クラブ数	139	135 （140）	137 （144）	140	140	140
会員数	6,767	6,569 （6,800）	6,569 （7,000）	7,000	7,000	7,000

※（　　）は 7 期計画の計画値

②いきいきサロン

担当課	高齢福祉課・社会福祉協議会
事業概要	市内在住のおおむね 60 歳以上の方を対象に社会参加の促進と生きがいを高めるために老人福祉センター等 4 会場で歌、体操、絵手紙制作などの講座を開催しています。また、交通手段がないため参加できない方々を対象に、出前サロンを実施しています。身近な地域でおおむね 10 名以上集まれば、年 4 回を限度に利用できるものです。
今後の方針	通常サロンについては、メニューによって参加人数に差があるため、メニューの見直しを行うとともに、新規メニューの開拓を図っていきます。 出前サロンについては、通常サロン同様にチラシ等による周知努力をすることで利用団体・人数の増加を目指していきます。また、専門知識・技能がある人材を講師として招き、活躍の場を創出していきます。

【実績値と計画値】

■通常サロン

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
登録者数	186	184 （200）	180 （205）	191	197	202
延べ利用者数	2,197	2,078 （2,660）	2,062 （2,740）	2,186	2,248	2,310

■出前サロン

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実施回数	24	26（25）	33（26）	39	40	41
延べ利用者数	372	346 （400）	479 （416）	508	523	537

※（　）は 7 期計画の計画値

③ふれあいサロン事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	社会福祉協議会に地域のサロンとして登録している活動団体に、活動費の助成、保険への加入手続き、保険料の助成、機材の貸し出し、情報交換会や研修の開催、情報提供などの支援を行うことにより、地域の関係づくりや閉じこもりの防止など地域の誰もが安心して暮らせるまちづくりを図っています。
今後の方針	ふれあいサロンは、身近な住民同士や世代を超えた交流を推進するなど居場所づくりとして、互いに助け合える関係性や地域交流の場となっています。今後も積極的に、未設置の地域に向けてサロンづくりを支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
登録団体数	70	86（80）	98（85）	90	100	110

※（　）は 7 期計画の計画値

④いばらきねんりんスポーツ大会

担当課	高齢福祉課・社会福祉協議会
事業概要	高齢者に適したスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深めることを目的として、「いばらきねんりんスポーツ大会」の予選会を開催しています。ゲートボール、ペタンク、輪投げ、グラウンドゴルフの種目を実施しています。
今後の方針	大会を通じてスポーツを楽しむことを支援し、親睦と交流の場を提供できるよう努めます。出場者の増加・確保のため、運営委員会等で競技会場の選定を検討するとともに、シルバークラブ内での活動活性化も合わせて図っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加者数	567	592 （595）	593 （615）	600	605	610

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑤おひさまサンサン生き生きまつり

担当課	高齢福祉課・障害福祉課
事業概要	高齢者が心豊かで健康な生活を送るためには、体を動かすことは不可欠です。 市では高齢者の身近なスポーツ活動を支援するとともに、高齢者を対象とした運動会として「高齢者生き生きまつり」と障害児者を対象とした「おひさまサンサンフェスティバル」を合同開催し、高齢者と障害児者の相互交流を行っています。
今後の方針	近隣住民へのチラシ配布等広報を強化し、一般参加者の増加を図ります。また、安全を第一に、天候に合わせたプログラム構成や競技内容を考え、さらに魅力的な大会になるよう、工夫を凝らした運営に努めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加者数	1,800	1,605 （2,000）	1,225 （2,100）	2,000	2,000	2,000

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑥シルバー人材センター

担当課	高齢福祉課
事業概要	高齢者が収入を得るためのほか、生きがいのための就労という観点から、健康的な高齢者が臨時又は短期的な就業の機会を得るための支援をしています。主な業務は、植栽の維持、駐輪場管理、施設管理、スーパーの商品管理、襖・障子張り、自転車修理、販売事業、子育て支援などです。
今後の方針	公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるように今後も運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、就業機会の拡大に寄与していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	4,962	4,609 （5,600）	4,390 （5,600）	4,400	4,400	4,400

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑦地域福祉推進事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	社会福祉協議会に委託をし、ボランティアの促進を図るため、ボランティアセンターを拠点としてボランティアの登録、広報、啓発、斡旋、情報の収集や提供を行い、活動のネットワーク化を推進しています。
今後の方針	見守りや地域活動から発掘した地域課題とボランティアをつなぎ、地域の中で助け合いが進んでいくよう、ボランティア登録のある団体や個人の情報を詳細に把握し、コーディネート力を強化していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
登録者数	6,321	6,740	7,043	7,000	7,100	7,200

⑧高齢者憩いの広場運営補助事業【新規】

担当課	高齢福祉課
事業概要	高齢者を中心とした地域の住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化防止のための憩いの場の確保を支援します。
今後の方針	高齢者の生きがいづくり、社会的孤立感の解消等に寄与する通いの場を確保するため、活動の拡充を支援していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
団体数			6	11	12	13

※つくば市では、コロナ禍による外出自粛が続いたことで、閉じこもりになった高齢者等に向けて運動機能の低下や健康状態の悪化を予防するため、自宅で簡単にできる市オリジナル体操動画を作成し、動画配信と DVD を配布しました。
今後も、国や県、庁内の関係部署等と連携しながら、必要な情報を発信していくとともに、感染予防に努めた介護予防や健康づくりの施策に取り組んでいきます。

第４章　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援

１　在宅介護･家族介護者の支援の充実

高齢化が進み、在宅の要介護者が増えていく中で、自宅で介護をしている家族介護者も今後ますます増えていくことが予想されます。

アンケート調査では、要支援･要介護状態が続いた場合の暮らしの場所は「自宅」と希望する方が多いため、中重度となっても、自宅で安心して生活を続けられるように、在宅介護サービスが利用しやすい仕組みづくりに努めます。

また、在宅介護を進めるためには、介護をする家族の身体的負担や精神的負担、経済的負担等の軽減を図ることが必要であるため、本市としては、より一層の在宅福祉サービスの充実を目指します。

サービス内容として、あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅう施術費助成事業、ねたきり高齢者理美容料助成事業、紙おむつ購入費助成事業などを実施し、介護を受けている本人や介護者の負担軽減を図っていきます。また、認知症高齢者等保護支援事業では、認知症の方の行方不明発生時の早期発見・保護を支援し、家族介護者の負担軽減を図っていきます。

（１）在宅福祉サービスの充実

①あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅう施術費助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	在宅の 70 歳以上の高齢者に対して、あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅうの施術を受ける際、その費用の一部を助成しています。助成券は市と協定している施術所で利用できます。
今後の方針	交付者数は年々増加しており、本事業の認知度は上がってきています。今後も継続した広報活動を行っていくほか、施術所と協力し、市民が助成券を使用しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
交付者数	975	1,069 （820）	1,320 （840）	1,404	1,545	1,686

※（　）は 7 期計画の計画値

②ねたきり高齢者理美容料助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	理容所又は美容院に行けない寝たきりの高齢者が、家で理容又は美容を受ける場合の料金の一部を助成します。助成券は、市に協力を申出している理容所又は美容院で利用できます。
今後の方針	在宅の寝たきり高齢者が介護保険外で利用できるサービスとして、ケアマネジャー等の保健福祉関係者への事業周知を行い、サービスの普及に努めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	151	154 （165）	144 （170）	145	150	155

※（　）は 7 期計画の計画値

（2）家族介護者の支援

①在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	日常生活上、紙おむつ等を使用している在宅の高齢者が、紙おむつと尿取りパッドを購入する際の費用の一部を助成します。助成券は、市に協力の申出をしている紙おむつ取扱店で利用できます。
今後の方針	利用者は年々増加傾向にあります。要介護者の方々を支援することにより高齢者が安心して生活を送ることができるよう利用者のニーズに考慮した内容を検討します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	2,405	2,611 （2,500）	2,670 （2,570）	2,898	3,008	3,118

※（　）は 7 期計画の計画値

②認知症高齢者等保護支援事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症により行方不明のおそれのある高齢者を介護している家族に対して、認知症の高齢者が身につける位置情報端末機の貸与を行い、行方不明時に家族がインターネットや電話で位置情報等を確認できるシステムを提供することで、高齢者の保護を支援しています。
今後の方針	認知症の方の安全確保と介護者の負担軽減のため事業を継続し、必要とする方に利用していただくため事業の周知、普及に努めます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	5	9（4）	8（4）	10	12	14

※（　）は 7 期計画の計画値

③認知症ケアパスの確立　（再掲）

担当課	地域包括支援課
事業概要	認知症ケアパスとは、認知症を発症したときから生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせていつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかをあらかじめ標準的に決めておくもので、国においては、地域に応じた認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成と普及が推進されています。
今後の方針	定期的に内容の見直しを実施し、認知症に関する知識や相談窓口等の最新の情報を発信します。また、認知症の早期発見、早期診断および認知症の方やその家族等が必要な支援につながるよう認知症ケアパスの活用を促進します。

④認知症カフェ　（再掲）

担当課	地域包括支援課
事業概要	つくば市内に住所を有する認知症高齢者及びその家族並びに地域住民を対象にし、レクリエーション講演会など本人の生活意欲の向上のための企画や専門職による介護者への相談支援、地域の人への認知症理解のための啓発などを行います。
今後の方針	認知症の人やその家族だけでなく、地域の方々が認知症を正しく理解しながら交流し、認知症の方が住みやすいまちづくりを推進します。また、参加しやすいよう７つの日常生活圏域での認知症カフェの開設を目指します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
開催数	12	37 （24）	43 （36）	72	78	84
延べ 参加者数	280	672 （550）	766 （830）	1,080	1,170	1,260

※（　）は 7 期計画の計画値

2　ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援の充実

高齢化に伴い、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加していることや、近年では、高齢者の孤独死や孤立死も大きな社会問題となっています。こうした高齢者世帯では、突然の発病やけが、災害等の発生に対して脆弱である場合が多く、定期的な見守りやサポートが不可欠です。

ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯の高齢者が、住み慣れた家で生活し続けられるよう、日常生活に必要なサービスの充実を図ることはもとより、日常生活での不安の解消や孤独感の解消、突然の発病などに備えた定期的な見守り、安否確認サービスの充実を図ります。

スーパー等へ買い物に行くための移動が困難な地域の高齢者に対し、店舗等への移動支援や移動販売事業を行うとともに、高齢者の外出時の移動手段の確保や外出支援を図るため、各協力事業所と連携をとりながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域作りを目指します。

また、アンケート調査結果によると、経済的な不安を抱えている高齢者も一定数みられることから、不安を抱える高齢者には生活の安定が確保できるよう、包括的な取組を推進します。

（１）日常生活に必要なサービスの充実

①在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	掛布団、毛布、敷布団の各１枚ずつを丸洗い乾燥し、健康維持を図ります。代わりの布団がない場合は、貸し出しも行っています。
今後の方針	健康保持、生活環境の向上に寄与するため、今後も事業の利用促進を図ります。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	1,457	1,559 （1,300）	1,637 （1,340）	1,800	1,900	2,000

※（　　）は７期計画の計画値

②高齢者日常生活支援事業（すけっとくん）

担当課	高齢福祉課
事業概要	75 歳以上のひとり暮らし及び高齢者世帯に対して、日常生活を送る上で自ら行うことが困難な軽作業（部屋の掃除・窓ふき・電球の交換等）を市の協力事業所に依頼した際にかかる費用の一部を助成します。
今後の方針	より利用しやすい事業になるように検討を重ねていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	801	837 （740）	925 （760）	960	995	1,030

※（　　）は 7 期計画の計画値

（２）ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実

①緊急通報システム事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	ひとり暮らし等の高齢者の日常生活での健康不安を解消するため、ペンダント型無線発信機や緊急通報機器一式を貸与し、急病等緊急時に迅速かつ適切な対応を図っています。利用できる方は、概ね 65 歳以上で病弱又は、重度の身体障害のあるひとり暮らしの方、75 歳以上のひとり暮らしの方です。
今後の方針	事業継続に努め、利用条件や事業周知について検討し、利用者の増加につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	201	193 （290）	179 （290）	190	200	210

※（　　）は 7 期計画の計画値

②愛の定期便事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	70 歳以上のひとり暮らし高齢者の安否確認・健康維持・孤独感の解消を図るため、週に 3 回まで、乳製品を手渡しで配達します。乳製品は市の協力事業所が配達します。
今後の方針	事業継続に努め、利用条件や事業周知について検討し、利用者の増加につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
実利用者数	45	48（60）	41（70）	60	60	60

※（　）は 7 期計画の計画値

③宅配食事サービス事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	心身の障害などの理由で、調理や買い物が困難なひとり暮らし高齢者等に対して、高齢者向けのお弁当を調理している委託業者が、利用者の希望の曜日に夕食を手渡しで配達することにより、安否確認と健康維持を図っています。
今後の方針	定期的な見守りを目的としており、配達時に本人の安否確認が取れなかった場合には、緊急連絡先への連絡等、迅速に対応していきます。 その他、本事業を必要としているひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への周知のため、広報紙以外にも、日頃から民生委員やケアマネジャー等に理解を広げていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
実利用者数	134	119 （150）	145 （160）	150	160	170

※（　）は 7 期計画の計画値

④ふれあい型食事サービス事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	市内に居住する 65 歳以上の高齢者で、定期的な訪問が必要と思われるひとり暮らしの方や高齢者世帯、及び日中独居の方を対象に、各地区概ね月１回、ボランティアの手作り弁当を民生委員が配達することで安否確認の機会をつくり、見守り活動や生活支援へとつなげています。
今後の方針	地域で支援できる体制が整った地区から小地域版として（おおむね小学校区）食事サービス事業実施に向けて支援を行っていきます。小地域版食事サービスを実施することにより、新たな見守り活動や地域の輪など、更なる広がりにつなげます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
実利用者数	506	530 （535）	541 （550）	545	550	555
延べ利用者数	6,177	6,863 （6,197）	6,188 （6,373）	6,400	6,405	6,410

※（　　）は 7 期計画の計画値

⑤救急医療情報便ツクツク見守りたい

担当課	社会福祉課
事業概要	ひとり暮らしの高齢者・障害者・健康に不安をかかえている方が、自宅で具合が悪くなり救急車を呼んだ際に、救急隊員等が迅速な処置を行えるよう、救急時の備えとして、医療情報や緊急時の連絡先などを記入した「救急医療情報便」を、自宅の冷蔵庫に貼っていただきます。
今後の方針	救急医療情報便から、最新の情報が得やすいお薬手帳の活用へシフトすることを検討していきます。

⑥養護老人ホーム入所措置

担当課	高齢福祉課
事業概要	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者で、入所の判定が妥当であると認められた場合に、養護老人ホームへの入所手続きを進めています。入所の判定は、入所判定委員会を開催しています。
今後の方針	環境上の理由及び経済的な理由により養護を受けることが困難な 65 歳以上の高齢者の心身の健康保持及び生活の安定を確保するため、速やかに適切な対応ができるような体制づくりに努めていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用者数	3	3（4）	3（4）	3	3	3

※（　）は 7 期計画の計画値

⑦資金等貸付事業

担当課	社会福祉協議会
事業概要	経済的な困窮を含めた深刻な生活課題に関しては、地域包括支援センターなどとの連携をもとに、社会福祉協議会の資金貸付事業等（生活福祉資金・小口資金貸付・生活困窮援助物資支給）により、要件に該当する世帯へ支援を行います。
今後の方針	経済的な援護を必要とする世帯を対象として、資金の貸付け等の支援を行います。

【実績値】

区分	実績値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
相談件数	741	526	550
小口資金貸付件数	71	53	49
物資支給件数	70	78	102

（３）移送サービスの充実

①高齢者タクシー運賃助成事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	65 歳以上のひとり暮らし高齢者、または 70 歳以上の高齢者世帯、または市民税非課税世帯に属する 70 歳以上の高齢者に対して、外出するためのタクシー運賃の一部を助成します。助成券は、市に協力を申し出ている事業所のタクシーを利用した時に使用できます。
今後の方針	事業継続に努め、利用条件や事業周知について検討し、利用者の増加につなげていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
交付者数	1,698	1,741 （1,620）	1,888 （1,665）	4,000	4,400	4,840

※（　　）は 7 期計画の計画値

②福祉有償運送事業

担当課	高齢福祉課・障害福祉課
事業概要	福祉有償運送事業は、ＮＰＯ法人等が、一人で公共交通機関等を利用することが困難な障害者や高齢者を対象に行う有償移送サービスです。市内には福祉有償運送事業者が 4 団体あります。 つくば市福祉有償運送運営協議会では新規登録や更新登録等重要事項の決定や福祉有償運送の必要性や安全の確保、サービス内容を含めた事項について協議し、了承された団体が国土交通省へ申請をし、許可を得ています。
今後の方針	事業者が継続して運営できるよう引き続き支援を行うとともに、今後の運営支援について検討していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実利用者数	196	181 （155）	194 （160）	205	215	225
延べ利用者数	2,235	2,846 （1,915）	2,693 （1,969）	2,800	2,900	3,000

※（　　）は 7 期計画の計画値

③つくば市高齢者等買い物支援事業【新規】

担当課	地域包括支援課
事業概要	身近な商店の減少や高齢化等により、日常生活に必要な食料品及び日用雑貨品等の買い物が困難な状況に置かれた高齢者等に対して、店舗等への移動支援事業及び移動販売事業を行います。移動支援事業は、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設が協力機関となり、店舗等への移動支援を行います。移動販売事業は、要件を満たした事業所が各関係機関との連携をとりながら、買い物困難地域への移動販売、買い物対象者の見守り等を行います。
今後の方針	引き続き、協力事業所と連携をとりながら、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

④高齢者運賃割引証の交付

担当課	総合交通政策課
事業概要	65 歳以上のつくば市民を対象に、高齢者運賃割引証を交付し、つくバスとつくタクの運賃の割引（半額）を行っています。
今後の方針	引き続き、ホームページや各公共交通ガイド等で周知を行い、対象となる方に運賃割引を実施していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
つくタク割引実施数	42,567	43,956	42,627

⑤高齢者運転免許自主返納支援事業

担当課	防犯交通安全課
事業概要	高齢者の交通事故防止対策として、65 歳以上の高齢者が自主的に運転免許を返納した場合に「つくバス」、「つくタク」の乗車券などを進呈し、運転免許返納の促進を図っています。
今後の方針	高齢者による交通事故を未然に防止することを目的に、今後も積極的に高齢者運転免許自主返納支援事業を推進していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
申請者数	295	255	493

第５章　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化

（つくば市高齢者居住安定確保計画）

つくば市高齢者居住安定確保計画の位置づけ

「つくば市高齢者居住安定確保計画」は、高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）第４条の２に基づき、茨城県高齢者居住安定確保計画の基本理念を踏まえて、つくば市での高齢者の「住まい」に関する計画と位置づけます。

茨城県高齢者居住安定確保計画

基本理念

『高齢者が安心して暮らせる住まい・生活環境づくり』

基本目標Ⅰ　住み続けられる住まい・まちづくり
基本目標Ⅱ　高齢者のニーズに応じた居住の場の確保
基本目標Ⅲ　高齢者の住宅セーフティネットの構築
基本目標Ⅳ　地域支援体制の構築

つくば市では、高齢化率の上昇及び要支援・要介護者人口の増加により、地域にある各機関が強固に連携した地域で高齢者の生活を支える地域包括ケアシステムの重要性がより高まっています。そこで、「つくば市高齢者居住安定確保計画」を、高齢者への支援施策を定めた高齢者福祉に関する総合的な計画である「つくば市高齢者福祉計画」に内包することで、基本理念『高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり』を共有するとともに、市内全域の高齢者のニーズをより広く把握し、高齢者・介護者・地域の３つの視点から高齢者の「住まい」に焦点を当てた計画とします。

つくば市高齢者居住安定確保計画に次の基本方針を定め、達成を推進していきます。また、計画期間は、令和３年度から令和５年度までの３年間とします。

つくば市高齢者居住安定確保計画

基本理念

『高齢者と介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくり』

基本方針１　ニーズに合わせた多様な住まいの供給
基本方針２　適切な住まいに入居できるための情報提供の支援
基本方針３　安心安全な居住環境の確保
基本方針４　地震等災害に強いまちづくり

1　ニーズに合わせた多様な住まいの供給

市民の高齢期に備えた住み替えの希望や加齢に伴う生活スタイルの変化に対応するため、高齢者が安心して長く住み続けることができる住まいとして、一人ひとりの心身の状況に合わせた多様な生活支援サービスや高齢者向けに配慮された設備・構造を備えた居住環境を目指します。なお、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の供給にあたっては、真に介護が必要な高齢者の居住の場として、「つくば市高齢者福祉計画（第８期）」のニーズを踏まえ、バランスの取れた居住環境を整備します。

つくば市は、平成 25 年に有料老人ホーム、平成 26 年にサービス付き高齢者向け住宅に係る事務権限の移譲を受けており、入居者が適切な介護サービスを利用しながら安心して暮らすことができるよう、当該住宅事業の指針に基づき、民間事業者等に対して助言・指導を行っています。

（１）賃貸住宅、老人ホーム及び施設の供給と適正化

①有料老人ホームの供給と適正化

担当課	高齢福祉課
事業概要	サービス付き高齢者向け住宅の供給と同様に、市民ニーズに応じた住宅供給を行うことを目標とします。運営事業者は、「つくば市有料老人ホーム設置運営指導要項」及び「つくば市有料老人ホーム設置運営指導指針」を遵守するものとし、さらに、安定的かつ継続的な事業運営を確保するため、より質の高い運営に向け努力するよう市が指導・助言を行います。また、高齢者への市内の有料老人ホームの情報提供も推進します。 ・つくば市有料老人ホーム設置運営指導要項の運用 ・つくば市有料老人ホーム設置運営指導指針の運用の徹底 ・市内有料老人ホームの情報提供 ・運営実態把握のための立入検査
今後の方針	引き続き、質の高い運営のために、指導・助言を行います。

②サービス付き高齢者向け住宅の供給と適正化

担当課	高齢福祉課・住宅政策課
事業概要	サービス付き高齢者向け住宅の市民ニーズの把握を行い、ニーズに応じた住宅供給を行うことを目標とします。住宅運営事業者は、「つくば市サービス付き高齢者向け住宅事業の登録に係る事務取扱要綱」及び「つくば市サービス付き高齢者向け住宅設置運営指導指針」を遵守するものとし、さらに、住宅の安定的かつ継続的な事業運営を確保するため、より質の高い運営に向け努力するよう市が指導・助言を行います。 ・つくば市サービス付き高齢者向け住宅事業の登録に係る事務取扱要綱の運用 ・つくば市サービス付き高齢者向け住宅設置運営指導方針の運用の徹底 ・市内サービス付き高齢者向け住宅の情報提供 ・運営実態把握のための立入検査
今後の方針	引き続き登録申請のあった住宅について、審査を実施します。

＜有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の立地状況＞（令和 2 年 10 月 1 日現在）

	入居定員総数
有料老人ホーム	495 人
サービス付き高齢者向け住宅	268 人
軽費老人ホーム	36 人
計	799 人

③介護保険事業所の整備と方針

担当課	高齢福祉課
事業概要及び今後の方針	高齢者居宅生活支援事業の用に供する介護保険事業所について、日常生活圏域ごとの実情に応じた介護サービス提供体制の整備に努めます。

＜介護保険施設の立地状況＞（令和 2 年 10 月 1 日現在）

	床数
介護老人福祉施設	790 床
介護老人保健施設	758 床
計	1,548 床

④高齢者への市営住宅の供給

担当課	住宅政策課
事業概要	真に住宅に困窮する高齢者世帯に対しては、市営住宅抽選時の優遇措置などにより、高齢者世帯等の居住の安定確保に努めます。高齢者単身世帯の増加に備えるため、建替えなどの際に、２ＤＫ以下の住宅を整備することを検討します。
今後の方針	市営住宅の入居について、高齢者世帯に対しては、引き続き抽選時の優遇措置を実施していきます。また、令和２年度に策定を予定している新たな「つくば市市営住宅長寿命化計画」においても、現計画同様に高齢者世帯に配慮した整備方針とする予定です。

2　適切な住まいに入居できるための情報提供の支援

住宅の確保に配慮を要する高齢者世帯が、安心して生活を送れるために、民間賃貸住宅の情報提供や希望する高齢者向け住宅等に住み替えるための住宅資産を活用した住み替え制度等の情報提供を行います。

（１）民間賃貸住宅への入居支援と住み替え住宅の情報提供

①つくば市民間賃貸住宅情報提供事業

担当課	住宅政策課
事業概要	公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部と協定を締結し、高齢者のみの世帯など、住宅に困窮する者に対し、低額家賃の民間賃貸住宅の情報を提供します。
今後の方針	市営住宅の案内に加えて、希望により低額な民間賃貸住宅の情報を保有する協力不動産業者の一覧を提供していきます。

②居住支援団体等の情報提供

担当課	住宅政策課
事業概要	住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律の規定に基づき、茨城県の審査を経て登録された民間の居住支援法人やセーフティネット住宅の情報を提供することで、高齢者等の住宅確保要配慮者が適切な住居の選択ができるよう支援します。
今後の方針	高齢者等の住宅確保要配慮者に対し、民間の居住支援法人やセーフティネット住宅の情報を提供します。

③住宅資産を活用した住み替え制度等の情報提供

担当課	住宅政策課
事業概要	高齢者が所有する住宅資産を活用し、希望する高齢者向け住宅等に住み替えるために、一般社団法人移住・住み替え支援機構によるマイホーム借上げ制度※1 や独立行政法人住宅金融支援機構の高齢者向け返済特例制度※2 の情報提供を行います。
今後の方針	引き続き情報提供を実施していきます。

※1　マイホーム借り上げ制度：（一財）移住・住みかえ支援機構が、年齢 50 歳以上の方が所有するマイホームを借上げ、第三者に転貸し、転貸収入から借上げ賃料をマイホーム所有者へ支払う制度です。

※2　高齢者向け返済特例制度：（独）住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）が行う直接融資業務の 1 つで、満 60 歳以上の人が自宅をバリアフリー工事、または耐震改修工事を含むリフォームをする場合、1000 万円を限度に融資し、申込人（連帯債務者含む）が死亡した時点で、相続人が担保提供された土地・建物を処分するなどして一括返済するという制度です。

3　安心安全な居住環境の確保

市民が、高齢者になっても、可能な限りそれまで住み慣れてきた住宅でずっと過ごせるよう、住まいのバリアフリー化により安全な生活環境の実現を目指します。

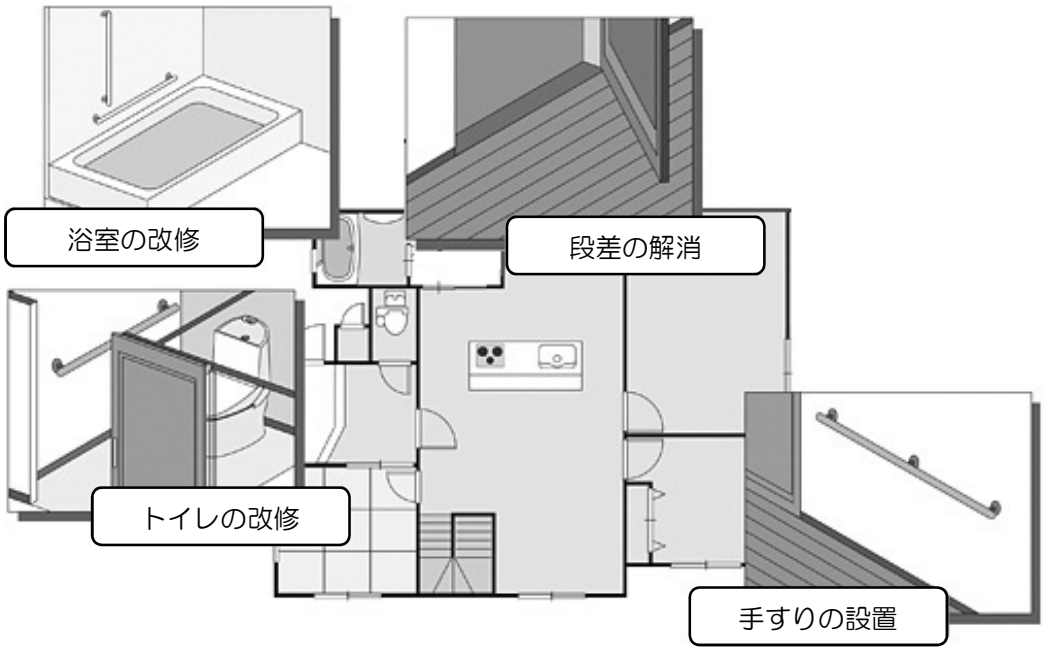
また、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が孤立しないよう、見守り体制を充実させ、高齢者を支える地域の活力の維持等、安全で安心して住み続けられる社会の実現を目指します。

（１）高齢者に適した居住環境を有する住宅の促進

①住宅改修（バリアフリーリフォーム）の促進

担当課	介護保険課
事業概要	高齢者が安心して快適な生活を営むことができるよう、自宅で居住する高齢者の自立した生活や介護しやすい環境を備えるための住宅改修を促進します。 高齢者と日々接している介護・福祉・保健医療の専門家（ケアマネジャー等）と、住宅改修の内容を相談し、改修費用の金銭的負担の軽減を行います。
今後の方針	市のホームページや出前講座等を通して、介護保険での住宅改修費の支給について周知を行います。

《バリアフリーリフォームの主な箇所》



・浴室の改修

滑りにくい床に変更したり、浴室と脱衣室の間の段差解消、またぎの低い浴槽への交換、手すりの設置などを行うことで、転倒防止や入浴時の動作の負担軽減になります。

・トイレの改修

手すりの設置や和式便器を洋式便器に取り替えることなどにより、動作の負担が少なくなります。

・段差の解消

部屋と部屋の段差を解消し、つまずきの防止や車いすでの移動を容易にします。

・手すりの設置

玄関や廊下などに手すりを設置することで、移動の際の転倒防止や、つかまり立ちができるようになります。

・引き戸などへの扉の取り替え

開き戸を引き戸、折戸等に取り替える扉全体の取り替えのほか、ドアノブの変更などを行うことで、安全に開閉ができるようになります。

②市営住宅のバリアフリー化

担当課	住宅政策課
事業概要	既存の市営住宅の大規模改修にあたっては、手すりの設置、屋内の段差解消等の配慮に努め、そのほか個別ニーズに対応した改修によりバリアフリー化を推進します。市営住宅の建替えにあっては、高齢者等へ配慮した構造、間取り等とし市営住宅に相応しい住宅とします。
今後の方針	令和２年度に改訂を予定している「つくば市市営住宅長寿命化計画」では、現計画同様に高齢者世帯に配慮した整備方針とすることに加えて、工事の年次計画についても見直しを行います。

③ユニバーサルデザインによる住まいづくりの普及啓発

担当課	高齢福祉課
事業概要	誰もが安全で安心して快適に住み続けられる住宅を普及させるため、つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づき、啓発活動の実施に努めます。また、実施に当たっては、米ノースカロライナ州立大学併設の研究機関のロナルド・メイスらが提唱したユニバーサルデザインの７原則に配慮します。 ユニバーサルデザインの７原則 1　だれにも公平に使いやすいものであること 2　使用する際に自由度が高いこと 3　使い方が簡単で分かりやすいこと 4　必要な情報が効果的に伝わるようにすること 5　間違った動作が危険につながらないデザインであること 6　身体的な負担が少なく、楽に使用できること 7　アクセスや操作がしやすいスペースと大きさがあること
今後の方針	関係部署と連携し、「つくば市ユニバーサルデザイン基本方針」に基づき啓発活動を推進していきます。

（２）安心した日常生活を営むための地域支援体制の構築

①高齢者居宅生活支援体制の確保

担当課	高齢福祉課
事業概要	第４章「ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援」の中で、日常生活に必要なサービスの充実や、ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実を目的とした事業について示しています。 ＜日常生活に必要なサービスの充実＞ ・布団丸洗い乾燥事業 ・高齢者日常生活支援事業 ＜ひとり暮らし・高齢者世帯の見守りの充実＞ ・緊急通報システム事業 ・愛の定期便事業 ・宅配食事サービス事業 ・ふれあい型食事サービス事業　　等
今後の方針	事業の利用を高齢者に促すことで、居宅生活支援体制の確保に努めます。

４　地震等災害に強い住まいづくり

近年の災害の発生状況を踏まえ、想定を超えた災害や大地震等が起こっても、対応できるよう、緊急時の連絡体制と非常食の確保、インフラ設備が停止した場合でも運営できる施設の整備に努めるほか、庁内の関係部署等と連携し、災害時の高齢者の安否確認をできる体制づくりや災害時行動マニュアル等の整備及び要配慮者の避難所となる「福祉避難所」の体制強化を推進します。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、高齢者が犠牲となるケースも相次いで報告されており、状況に応じた迅速な対応が必要となっています。そのため、施設での感染症の対策に必要な設備等の整備を促進し、高齢者の体調管理や安全確保に努めます。

地震等災害に強い住まいづくり

①耐震改修の促進

担当課	建築指導課
事業概要	耐震性の低い住宅では、地震だけでなく自然災害による被害も大きくなり、生命が脅かされる危険性が高くなります。高齢者の生命、財産を守るために、木造住宅耐震診断士の派遣や木造住宅耐震改修費補助により、昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準による住宅を主な対象として耐震改修の促進を図ります。
今後の方針	今後も木造住宅の耐震改修を奨励します。

②家庭でできる地震対策の普及

担当課	危機管理課
事業概要	災害時に自身の身と財産を守るため、家具等の転倒防止対策や、窓や棚などのガラス飛散防止対策の普及に努めます。
今後の方針	家具等が転倒しないよう壁などに L 字金具などで固定したり、飛散防止フィルムなどを貼るなどの事前の準備が非常に重要であることを、関係部署、関係機関と連携を取りながら、ホームページや出前講座、ハザードマップなどにより周知していきます。

③介護施設等の災害対策の強化

担当課	高齢福祉課
事業概要	大地震等を想定した介護施設等の耐震対策、非常食の確保の義務付け、緊急時の連絡体制の整備等を中心に災害対策を整備し、電気・水道などインフラ等が停止した場合でも対応できる施設整備に努めます。 また、平成 27 年 9 月 11 日、消防法の改正により、介護施設等のスプリンクラー設備や火災報知器、自動火災報知装置の設置の義務対象が拡充されています。 介護保険施設等指導検査実施時には防犯訓練の実施の状況の記録や、非常口の確保、消火器の使用期限と点検年月日の確認及び管理会社の有無の確認・指導を行い、施設の災害意識の向上に努めます。
今後の方針	施設の防災改修・スプリンクラー整備・給水施設整備・ブロック塀等改修整備に加え、令和元年度末より新型コロナウイルスの感染拡大防止のための多床室の個室化改修支援も補助金対象となりました。新規対象事業については重点的に周知し、状況に応じた災害対策ができるよう支援していきます。また、衛生用品等の物品の支給等も支援していきます。

④つくば市避難行動要支援者制度

担当課	社会福祉課
事業概要	東日本大震災等の教訓による災害対策基本法の改正を受け、災害時の避難の際に支援が必要な方（避難行動要支援者）を対象とする「避難行動要支援者名簿」を作成し、随時更新していきます。この名簿に基づき、要支援者本人の同意により平常時から警察機関、消防機関、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織等の避難支援等関係者に名簿情報（氏名、住所、連絡先、避難支援を必要とする事由等）の提供を行い、災害に備えた避難計画や日頃の見守りに活用します。
今後の方針	個別支援計画を災害リスクの高い土砂災害警戒区域及び浸水想定区域から順次作成をしていきます。

第６章　介護保険サービスの充実と制度の活用

１　介護サービス事業所の整備･質の向上

日常生活圏域ごとに、認知度や自立度など要介護者のニーズに合った居宅・施設・地域密着型サービス事業所を介護保険事業計画に基づいて整備を進めます。

また、介護サービスの質の向上を図るため、認定調査・認定審査会の適正化、ケアプランのチェック、福祉用具購入・住宅改修の現地確認、医療情報との付き合わせ等を、また、介護保険施設等の監査時や指定更新の現地調査時には、人員配置基準を確認するとともに、避難訓練が適切に行われているか、緊急時や苦情についての対応、個人情報の取り扱い、衛生管理等が適切に行われているかを詳細にチェックし、指摘や助言することにより、安心して利用できる施設環境の保持に努めます。

ケアマネジャーに対しては、さらなる質の向上を図るため研修や事例検討会の参加や開催などを推進します。

介護保険制度の施行後、介護職員数は 10 年間で倍以上となり、団塊の世代がすべて 75 歳以上となる令和 7 年(2025 年)には、介護職員は更に 1.5 倍以上必要と推計されています（厚生労働省資料による)。このため、介護人材を持続的に確保していくことが大きな課題となっており、今後高齢化が進む本市においても、県と連携しながら、介護現場の業務改善を図り、地域包括システム及び介護を持続的にしていくための人材の育成・確保に努めていきます。

（１）適切な介護サービス事業所の整備の推進

①介護事業所・施設の整備

担当課	高齢福祉課
事業概要及び今後の方針	第 7 章にて、介護保険事業計画に基づいて、必要な介護事業所・施設を整備していきます。

（２）介護サービスの質の向上

①要介護（支援）認定の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険制度における要介護（支援）認定については、全国一律の基準に基づき、客観的かつ公平・公正に行わなければなりません。また、認定申請受付後の認定調査、主治医意見書提出等を迅速に行うことが求められています。サービスを必要とする被保険者を認定するために、適正な認定調査及び認定審査会における審査判定を徹底して実施します。
今後の方針	認定調査及び主治医意見書の取得を迅速に行うとともに、必要な介護サービスが速やかに適切に提供できるよう取り組みます。また、認定審査会の委員については、県の研修等に参加するなど資質の向上に努めていただき、審査会の円滑な運営を実施していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
認定審査数	6,470	5,923 （6,400）	6,483 （6,500）	6,700	6,800	6,900

※（　　）は 7 期計画の計画値

②介護予防ケアマネジメント事業

担当課	地域包括支援課
事業概要	高齢者が要介護（支援）状態になることを予防するため、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択（希望）に基づき必要な援助を行っています。
今後の方針	各地域包括支援センターと業務委託事業者の業務に滞りが生じることなく、利用が必要な高齢者等が、自立支援に資するサービスを利用することができるように連携支援を行います。

③ケアマネジメント等の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	利用者の「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向け、居宅介護（介護予防）サービス計画について、介護支援専門員資格を有する市職員とサービス計画を作成した介護支援専門員がともに確認検証を行うことで、個々の利用者が真に必要なサービスを確保し、適正なケアプランの作成の推進に努めています。
今後の方針	「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向け、介護支援専門員の気づきを促し、ケアマネジメントの適正化及び質的な向上を目指して確認検証を実施します。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
実確認数	57	54（50）	53（55）	60	60	60

※（　）は 7 期計画の計画値

④住宅改修等の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	住宅改修費の支給について、利用者宅の訪問調査や工事見積書の点検等を行います。また、福祉用具の貸与や購入についても、貸与事業者や介護支援専門員への聞き取り調査等を行い、利用者の身体の状態に応じた必要なサービス提供の確認を行っています。
今後の方針	理学療法士などの専門職にも点検や訪問調査への協力を依頼し、利用者の状態に応じたサービスの提供が行われるよう、確認を行います。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
延べ確認数	86	45（45）	61（47）	60	60	60

※（　）は 7 期計画の計画値

⑤事業者のサービス提供及び介護報酬請求の適正化

担当課	介護保険課
事業概要	事業者のサービス提供及び介護報酬請求の適正化について、県、市、国保連が一層連携して、すべての事業者がルールを順守したサービス提供及び介護報酬の請求ができるように支援及び指導しています。介護給付費通知の送付を年 2 回行い、介護給付等に要する費用への理解を求めるとともに、利用者が受けたサービス等の確認を行います。
今後の方針	国保連介護給付適正化システムを活用し、サービス内容に疑義がある際は、提供事業所や介護支援専門員へ確認を行うなど、サービス利用及び報酬請求の適正化を図っていきます。

⑥つくば市看取り介護給付金事業【新規】

担当課	高齢福祉課
事業概要	人生の最終段階においても住み慣れた場所で暮らし続けたいという施設入所者の希望に対応し、対象施設における高齢者の看取り体制の推進を図ることを目的として給付金を交付します。
今後の方針	高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けるために、施設における看取り体制の整備を支援していきます。

給付金額	6,400 円／人
R 元年度実績	53 件

⑦つくば市要介護度改善ケア給付金事業【新規】

担当課	高齢福祉課
事業概要	施設職員の意欲向上及び良質な介護サービスの継続的な提供に資することを目的とし、高齢者の要介護度が改善された場合に給付金を交付します。
今後の方針	良質な介護サービスを継続的に提供できるよう、支援していきます。

給付金額	50,000 円／人
R 元年度実績	17 件

（３）介護サービス事業所の指導･監査の強化

①介護サービス事業所の指導及び監査

担当課	社会福祉課
事業概要	平成 25 年 4 月 1 日から、茨城県より、介護保険法等の事業認可等に関する権限がつくば市に移譲されたため、市内の介護サービス事業所に対し、「介護給付等対象サービス」の質の確保及び保険給付の適正化を図ることを目的として、介護保険法第 24 条及び関係法令等の規定に基づき、指導及び監査を実施します。
今後の方針	指導監査項目の重点化や実施方法の工夫等により、効率的･効果的な指導監査を推進します。

【実績値と計画値】

区分	実績数			予定数		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
監査数	42	60	35	53	32	39

※施設の新設や緊急時の監査等を考慮し、予定数としました。法律に基づいた監査年度で実施予定。

（４）介護人材の確保

①介護人材の処遇改善とキャリアアップの構築

担当課	高齢福祉課
事業概要	令和元年度の介護報酬改定において、介護職員の確保・定着につなげていくため、処遇改善加算に加え、介護職員等特定処遇改善加算が創設され、経験・技能のある介護職員に重点化しつつ、更なる改善が行われています。
今後の方針	本市における介護人材の確保及び質の維持向上のため、処遇改善加算等の制度の中で事業所の大小に関わらずキャリアパスの要件の設置やキャリアアップの仕組みの構築を促し、介護職の魅力を介護報酬の面からも上げることで、介護の担い手の育成と確保に努めます。

②つくば市介護職員就労スタートアップフォロー給付金

担当課	高齢福祉課
事業概要	つくば市内の介護事業所等に新規で勤務を開始した方又は長期離職から復帰した方に対し、一定の条件を満たした場合に給付金を交付します。
今後の方針	本市における良質な介護サービスを持続的に提供していくため、介護人材の確保をすることが急務となっています。つくば市ホームページや広報紙への掲載、介護事業所への連絡を通して事業の周知を充実させ、介護の担い手の育成と確保に努めます。

給付金額	（常勤職員）50,000 円　（非常勤職員）30,000 円
R 元年度実績	30 件

③つくば市介護職員キャリアアップ費用給付金

担当課	高齢福祉課
事業概要	つくば市内の介護事業所等に勤務している方で、介護職員初任者研修または実務者研修を修了した方に対し、一定の条件を満たした場合に給付金を交付します。
今後の方針	利用者数の増加を目指し、スタートアップフォロー給付金とあわせて、事業の周知を行い、介護の担い手の育成と確保に努めます。

給付金額	介護職員初任者研修または実務者研修の受講料及びテキスト代金の半額（1,000 円未満切り捨て、上限 50,000 円）
R 元年度実績	5 件

④つくば市介護ロボット導入支援事業

担当課	高齢福祉課
事業概要	つくば市内の介護サービス事業所を対象に、働きやすい職場環境の整備及び介護従事者の確保を目的として、平成 28 年度に国の補助金により、日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援のいずれかの場面において介護従事者の負担軽減や業務の効率化を図る介護ロボットを導入する費用の補助を行いました。
今後の方針	引き続き、介護ロボットの活用により、介護従事者の負担軽減や業務の効率化を図っていきます。

2　低所得者の利用負担等の軽減

低所得者で、特に生計を維持することが困難な方に対して、利用料の負担の軽減を実施していきます。

また、利用者負担軽減制度である「特定入所者介護（介護予防）サービス費」、「高額介護（介護予防）サービス費」、「高額医療合算介護（介護予防）サービス費」について、利用者にわかりやすいような制度周知に努めていきます。

（１）低所得者の利用負担等の軽減

①社会福祉法人による利用者負担額減免事業

担当課	介護保険課
事業概要	低所得者で生計が困難である方に対して、介護保険サービスを提供する社会福祉法人が社会的役割にかんがみ、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的にする制度です。 この制度は、社会福祉法人にも負担が生じるため、軽減の実施に関しては各社会福祉法人に任されています。社会福祉法人が低所得者に対して利用者負担の軽減を実施する際には、市が該当する社会福祉法人に対して一定額を助成することで、利用者の負担軽減を図ります。
今後の方針	ホームページや広報紙を利用して、制度の周知を行います。また、新規に事業を開始する社会福祉法人等に対し減免事業への協力を依頼していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実認定者数	38	40（32）	38（34）	38	40	42

※（　　）は 7 期計画の計画値

②特定入所者介護（予防）サービス費事業

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険施設の入所又は短期入所を利用した場合に、介護費用以外に食費、居住費の負担が発生します。低所得者の世帯に対して過重な負担増により施設入所が困難になることがないよう、所得や預貯金等の資産状況に応じた定額の負担限度額を設けることにより、食費、居住費の一部を給付し負担軽減を図ります。
今後の方針	ホームページや広報紙を利用して、制度の周知を行います。また、介護支援専門員やサービス提供事業所に対しても、制度の利用が必要と思われる方への周知について協力を依頼していきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実認定者数	1,415	1,402 （1,400）	1,517 （1,450）	1,550	1,600	1,650

③高額介護（予防）サービス費事業　高額医療・高額介護合算サービス費事業

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険サービスの利用者負担が著しく高額にならないように、世帯での負担合計が一定の上限（負担上限額）を超えた場合には、その超えた分を給付し、利用者負担を軽減します。 また、高額医療・高額介護合算サービス費は、医療費と介護費の負担が著しく高額にならないように、医療費と介護費を合算した負担額が一定の上限を超えた場合は、その超えた分の払い戻しを行います。
今後の方針	対象者へ申請書を送付する際に、同封するお知らせ通知等の見直しを行い、よりわかりやすい制度の周知や申請勧奨を行っていきます。

【実績値と計画値】

区分	実績値			計画値		
年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
実認定者数	20,968	21,188 （24,500）	24,855 （26,000）	26,000	26,500	27,000

※（　　）は 7 期計画の計画値

3　介護保険料の減免･細分化

公費による低所得者への更なる保険料軽減強化として、保険料段階第 1～3 段階である市民税非課税世帯に属する方の介護保険料を減額しています。

また、災害等で著しい損害が生じた、あるいは世帯の生計を主として維持する方の収入が一定程度減少した場合は、申請に基づいて保険料の減免や徴収猶予を行っています。

（１）介護保険料の減免･細分化

①保険料の減免

担当課	介護保険課
事業概要	介護保険制度での保険料の段階は、所得状況及び市民税の課税状況に応じて設定されていますが、災害や心身の重大な障害、失業、生活困窮等により、保険料の全部又は一部を納付することができない場合は、保険料の減免措置を行います。
今後の方針	特別事情に対しての保険料負担に配慮するため、徴収猶予や減免措置を行います。

②保険料段階区分の細分化

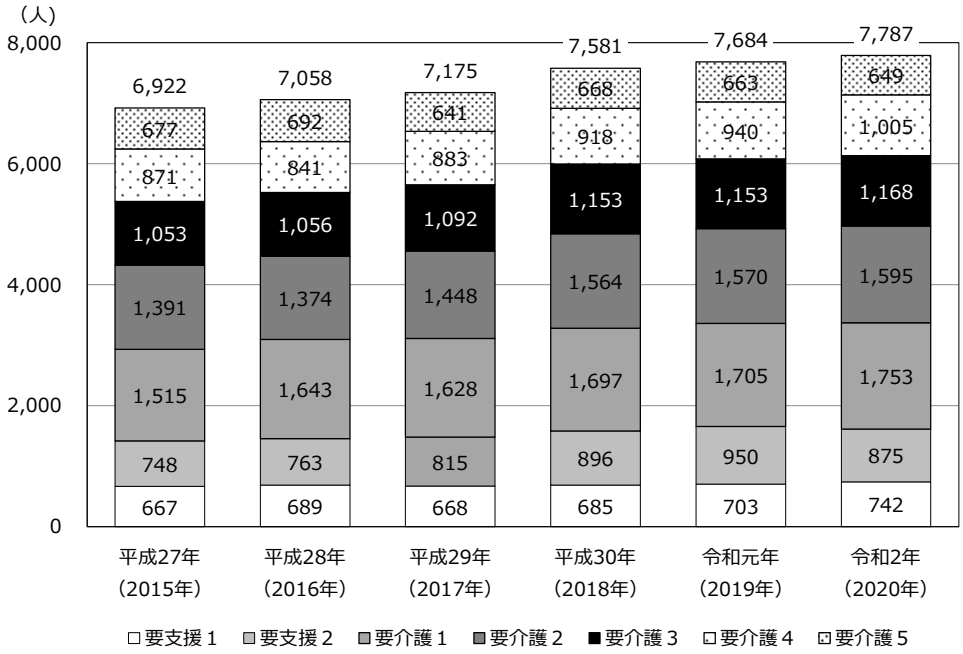
担当課	介護保険課
事業概要	第 8 期計画の令和 3 年度(2021 年度)から令和 5 年度(2023 年度)の 3 年間の保険料段階区分について、所得水準に応じてきめ細かな保険料設定を行うため、引続き多段階化を実施します。
今後の方針	所得水準に応じた市民税課税層の細分化を引続き行います。

第７章　介護保険事業計画の推進

１　要支援･要介護者数の推移と推計

（１）要支援･要介護者数の推移（第２号被保険者含む）

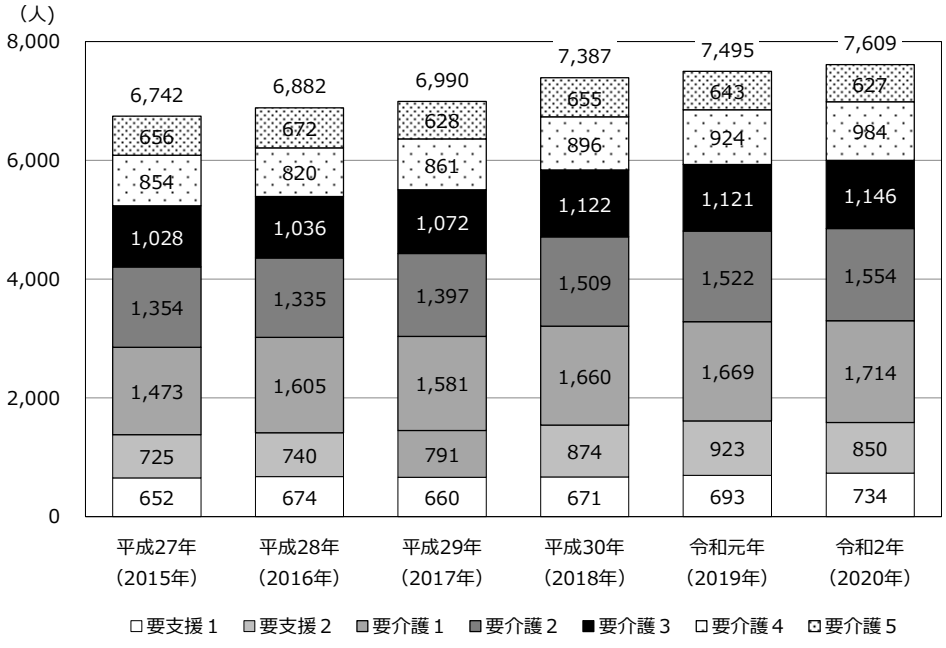
平成 27 年から令和２年までの要支援・要介護者の総数をみると、令和２年では 7,787 人と年々増加しています。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える」化システム

（２）要支援･要介護者数の推移（第１号被保険者）

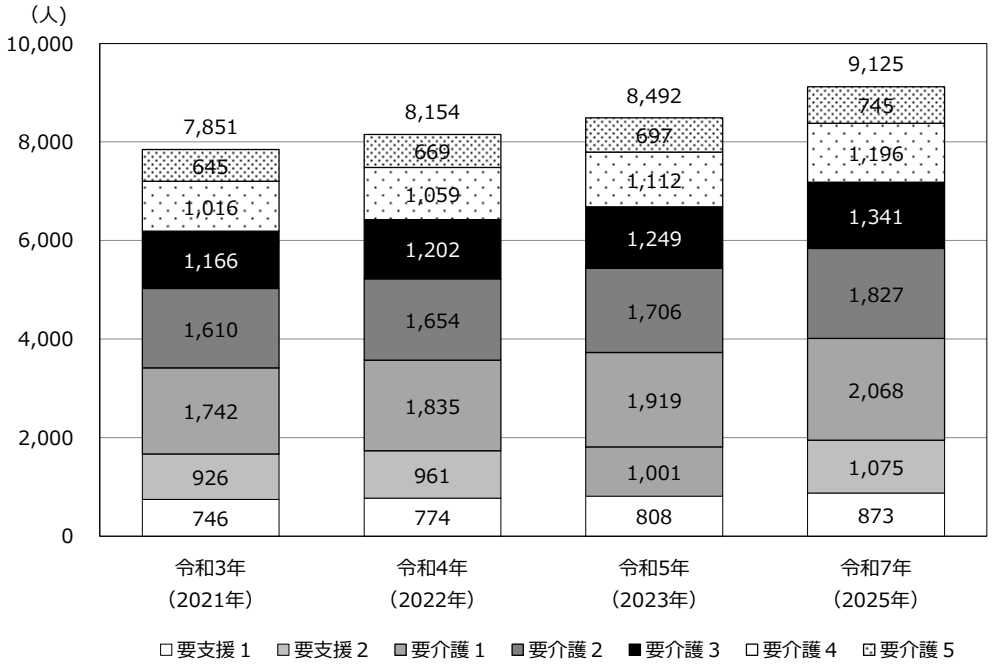
第１号被保険者のうち要支援・要介護者をみると、要介護５以外はどの介護度でも増加しています。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える」化システム

（３）要支援･要介護者数の推計（第２号被保険者含む）

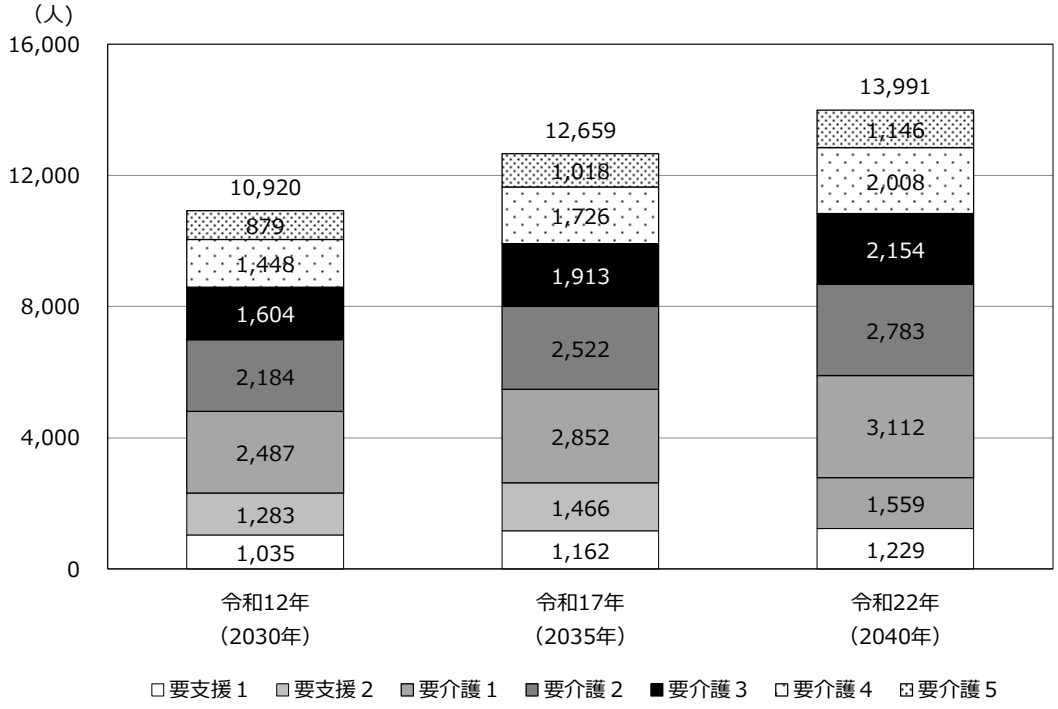
要支援・要介護者の推計をみると、年々増加傾向を示しており、令和３年から令和５年までの計画期間中では 600 人程度の増加が見込まれます。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える」化システム

（４）要支援･要介護者数の令和 22（2040）年までの見込み（第２号被保険者含む）

令和 12 年から令和 22（2040）年までの要支援・要介護者数の中長期的な推計をみると、令和 12 年からむこう 10 年間で 3,000 人程度の認定者の増加が見込まれます。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える」化システム

2　サービスごとの給付実績の推移と推計

（１）居宅サービス

①訪問介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

②訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

③訪問看護・介護予防訪問看護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

④訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑤通所介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

⑥通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

⑦居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

⑧短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(日)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(日)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑨短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(日)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(日)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑩特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑪福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑫特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑬住宅改修・介護予防住宅改修

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑭居宅介護支援・介護予防支援

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

（２）地域密着型サービス

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

②夜間対応型訪問介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

③地域密着型通所介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

④認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
介護給付(回)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　）は 7 期計画時の推計値

⑤小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　）は 7 期計画時の推計値

⑥認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							
予防給付(人)							
執行率（%）							

※（　）は 7 期計画時の推計値

⑦地域密着型特定施設入居者生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑨看護小規模多機能型居宅介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は 7 期計画時の推計値

【地域密着型サービスの整備予定】

（人）

		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
認知症対応型共同生活介護	筑波地区	72	72	
	大穂地区	63	63	
	豊里地区	18	18	
	桜地区	27	27	
	谷田部東地区	27	27	
	谷田部西地区	69	69	
	茎崎地区	36	36	
	市全体			
地域密着型特定施設入居者生活介護	筑波地区	0	0	
	大穂地区	0	0	
	豊里地区	0	0	
	桜地区	0	0	
	谷田部東地区	0	0	
	谷田部西地区	0	0	
	茎崎地区	0	0	
	市全体			
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	筑波地区	29	29	
	大穂地区	29	29	
	豊里地区	29	29	
	桜地区	29	29	
	谷田部東地区	29	29	
	谷田部西地区	29	29	
	茎崎地区	29	29	
	市全体			

（３）施設サービス

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

②介護老人保健施設（老人保健施設）

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

③介護医療院

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

④介護療養型医療施設

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)							
執行率（%）							

※（　　）は７期計画時の推計値

3　日常生活圏域ごとの整備状況と今期計画の考え方

（１）日常生活圏域ごとの整備状況（地域密着型サービス）

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	デルフィ	医療法人　恵仁会	筑波	18	72
2	幸寿苑	有限会社　弥久	筑波	18	
3	作谷長寿館	株式会社　長寿館	筑波	18	
4	いちさと筑波	東成産業　株式会社	筑波	18	
5	ファミーユ	医療法人　健佑会	大穂	27	63
6	つくしの森	医療法人社団　柴原医院	大穂	18	
7	みどりの森	医療法人社団　柴原医院	大穂	18	
8	あいリレーとよさと	株式会社　アイリレーとよさと	豊里	18	18
9	ほほえみ	有限会社　ほほえみ	桜	9	27
10	楓	株式会社　メディカルアシスト	桜	18	
11	いっしん館つくば	株式会社　いっしん	谷田部東	18	27
12	美桜	有限会社　ライフファクトリー	谷田部東	9	
13	いちさと	東成産業　株式会社	谷田部西	15	69
14	たんぽぽ	株式会社　キュート	谷田部西	27	
15	自然の家	日新興業　株式会社	谷田部西	9	
16	筑水苑	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	18	
17	いちょうの木	社会福祉法人　愛信会	茎崎	18	36
18	あおぞら六斗	有限会社　アートライフ	茎崎	18	
小規模多機能型居宅介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	あいリレー・ケアホームつくば	株式会社　つくばエデュース	大穂	29	29
2	豊里長寿館	株式会社　長寿館	豊里	25	25
3	楓	株式会社　メディカルアシスト	桜	29	29
4	ケアサポート田村	社会福祉法人　筑南会	谷田部西	25	25
看護小規模多機能型居宅介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	看護小規模多機能型なかよし	医療法人社団　健康尚仁会	筑波	25	25
認知症対応型通所介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	デイサービス美桜	有限会社　ライフファクトリー	谷田部東	12	12

※地域密着型特養除く

地域密着型通所介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	お泊りデイサービスいこい	株式会社　SC	大穂	15	15
2	デイサービスうちね	株式会社　内根	桜	10	63
3	指定通所介護事業所ほほえみ	有限会社　ほほえみ	桜	10	
4	だんらんの家　テクノパーク桜	株式会社　エルイック	桜 (H30 年度新規)	10	
5	つくばの杜指定通所介護事業所	社会福祉法人　勘翁慈温会	桜 (H30 年度新規)	18	
6	レコードブックつくば竹園	P-can　株式会社	桜	15	
7	葛城デイサービスセンター	社会福祉法人　葛城福祉会	谷田部東	18	28
8	デイサービスゆとりえ春日	株式会社　アネックス	谷田部東	10	
9	デイサービス自然の家	日新興業　株式会社	谷田部西	10	73
10	サンシャインデイサービスセンター	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	15	
11	デイサービスセンターＶＩＶＩＤつくば	株式会社　つくばアクアライフ	谷田部西	15	
12	トレランス田村デイサービスセンター	社会福祉法人　筑南会	谷田部西	18	
13	でいさ～びす木の花さくや	社会福祉法人　のぞみ会	谷田部西	15	

※地域密着型特養除く


グループホーム
小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能型居宅介護
認知症対応型通所介護
地域密着型通所介護
0 1km 2km
幸寿苑
デルフィ
作谷長寿館
看護小規模多機能型なかよし
いちさと筑波
国道125号
筑波圏域
ファミーユ
あいリレー・ケアホームつくば
つくしの森
大穂圏域
デイサービスゆとりえ春日
みどりの森
ほほえみ
国道408号
あいリレーとよさと
指定通所介護事業所ほほえみ
養生園
豊里圏域
だんらんの家テクノパーク桜
豊里長寿館
桜圏域
デイサービスうちね
葛城デイサービスセンター
つくばの社指定通所介護事業所
研究学園駅
つくば駅
でいさ～びす木の花さくや
楓
デイサービスセンターVIDIつくば
楓
谷田部西圏域
谷田部東圏域
いちさと
万博記念公園駅
桜土浦IC
いっしん館つくば
築水苑
つくばエクスプレス
国道354号
つくばJC
美桜
サンシャインデイサービスセンター
みどりの駅
谷田部IC
つくば牛久IC
国道6号
牛久土浦バイパス
荒川沖駅
デイサービス美桜
トレランス田村デイサービスセンター
自然の家
常磐自動車道
ひたちのうしく駅
ケアサポート田村
茎崎圏域
牛久阿見IC
デイサービス自然の家
たんぽぽ
牛久駅
JR常磐線
いちょうの木
あおぞら六斗

（２）日常生活圏域の整備状況（施設･有料老人ホーム）

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	筑波園	社会福祉法人　恵愛会	筑波	110	110
2	シニアガーデン	社会福祉法人　健誠会	大穂	50	50
3	美健荘	社会福祉法人　豊里園	豊里	50	50
4	つくばの杜	社会福祉法人　勘翁慈温会	桜	50	50
5	新つくばホーム	社会福祉法人　筑南会	谷田部東	85	155
6	はなみずき	社会福祉法人　筑竜会	谷田部東	70	
7	アイリスコート	社会福祉法人　二希会	谷田部西	50	120
8	木の花さくや	社会福祉法人　のぞみ会	谷田部西	70	
9	くきの里	社会福祉法人　愛信会	茎崎	50	110
10	大地と大空	社会福祉法人　欣水会	茎崎	60	
介護老人保健施設					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	アレーテル・つくば	医療法人　恵仁会	筑波	100	300
2	豊浦	医療法人社団　桜水会	筑波	100	
3	なでしこ	医療法人　重陽会	筑波	100	
4	つくばケアセンター	医療法人社団　筑波記念会	大穂	100	200
5	つくばリハビリテーションセンター	医療法人　健佑会	大穂	100	
6	そよかぜ	一般財団法人　筑波麓仁会	谷田部西	100	180
7	プレミエール元気館	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	80	
8	ひまわり	医療法人社団　双愛会	茎崎	78	78
特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム混合型)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	らいふつくば花畑	株式会社　とんぼらいふ	大穂	30	75
2	つくばメディケアレジデンス	有限会社　ケイエム企画	大穂	45	
3	サンシャインつくばリゾート	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部東 (R2 年度新規)	68	68
4	サンシャイン・ヴィラつくば倶楽夢	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	50	50

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(地域密着型特別養護老人ホーム)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	シニアガーデンアネックス	社会福祉法人　健誠会	筑波	29	29
2	シニアガーデン別館	社会福祉法人　健誠会	大穂	29	29
3	フロンティア	社会福祉法人　博愛会	豊里	29	29
4	桜華	社会福祉法人　千羽鶴	桜 (R2 年度新規)	29	29
5	はなみずきサテライト	社会福祉法人　筑竜会	谷田部東 (R2 年度新規)	29	29
6	トレランス田村	社会福祉法人　筑南会	谷田部西	29	29
7	ユニット型特別養護老人ホーム　いちょうの木	社会福祉法人　愛信会	茎崎	29	29

※地域密着型特養含む


特別養護老人ホーム
老人保健施設
有料老人ホーム
地域密着型特別養護老人ホーム
0 1km 2km
豊浦
シニアガーデンアネックス
筑波園
国道125号
筑波圏域
なでしこ
アレーテル・つくば
つくばリハビリテーション
大穂圏域
つくばメディアレジデンス
シニアガーデン
国道408号
シニアガーデン別館
ライフつくば花畑
つくばケアセンター
美健荘
豊里圏域
桜華
国道6号
サンシャインリゾート
桜圏域
新つくばホーム
研究学園駅
つくば駅
木の花さくや
つくばの社
谷田部西圏域
プレミエール元気館
谷田部東圏域
万博記念公園駅
桜土浦IC
サンシャイン・ヴィラつくば倶楽部
はなみずき
つくばエクスプレス
国道354号
つくばJC
はなみずキサテライト
アイリスコート
みどりの駅
谷田部IC
つくば牛久IC
国道6号
牛久土浦バイパス
荒川沖駅
そよかぜ
トランス田村
常磐自動車道
ひたちのうしく駅
茎崎圏域
牛久阿見IC
大地と大空
ひまわり
くきの里
牛久駅
JR常磐線
ユニット型特別養護介護老人ホーム　いちょうの木

4 介護（予防）給付費等の推移と推計

（1）介護給付費の推移

平成 30 年度から令和元年度の増減率について，居宅サービスでは 104.5%、地域密着型サービスでは 101.0%、施設サービスでは 102.2%となっています。

（千円）

区分		H30 年度	R 元年度	増減率（%）
居宅サービス	訪問介護	649,083	671,718	103.5%
	訪問入浴介護	96,252	85,634	89.0%
	訪問看護	285,467	301,584	105.6%
	訪問リハビリテーション	90,792	91,672	101.0%
	居宅療養管理指導	85,986	92,903	108.0%
	通所介護	1,614,795	1,728,370	107.0%
	通所リハビリテーション	448,769	440,081	98.1%
	短期入所生活介護	761,048	795,076	104.5%
	短期入所療養介護（老健）	41,301	49,520	119.9%
	短期入所療養介護（療養型）	655	806	123.1%
	短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	—
	福祉用具貸与	316,122	332,443	105.2%
	特定福祉用具購入	9,849	10,062	102.2%
	住宅改修	24,813	25,146	101.3%
	特定施設入居者生活介護	242,543	250,621	103.3%
	居宅介護支援	608,733	636,879	104.6%
	居宅サービス　小計	5,276,208	5,512,515	104.5%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1,876	—
	夜間対応型訪問介護	0	0	—
	地域密着型通所介護	241,583	239,339	99.1%
	認知症対応型通所介護	6,992	7,754	110.9%
	小規模多機能型居宅介護	192,164	191,830	99.8%
	認知症対応型共同生活介護	906,004	921,942	101.8%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	464,178	473,609	102.0%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	—
	看護小規模多機能型居宅介護	50,079	43,240	86.3%
	地域密着型サービス　小計	1,861,000	1,879,590	101.0%
施設サービス	介護老人福祉施設	1,889,844	1,932,073	102.2%
	介護老人保健施設	1,915,245	1,952,070	101.9%
	介護医療院	7,876	16,717	212.3%
	介護療養型医療施設	8,040	4,215	52.4%
	施設サービス小計	3,821,005	3,905,075	102.2%
介護給付費　合計		10,958,213	11,297,180	103.1%

（２）介護給付費の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の介護給付費をみると、７億円程度増加することが見込まれます。

また、令和 22 年の見込額は 220 億円程度となることが予想されます。

（千円）

区分		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ７年度	Ｒ22 年度
居宅サービス	訪問介護	758,180	812,862	876,593	926,114	1,411,424
	訪問入浴介護	88,981	88,981	92,250	97,857	138,387
	訪問看護	355,087	388,231	409,351	433,764	660,818
	訪問リハビリテーション	97,647	103,540	108,700	115,293	175,892
	居宅療養管理指導	101,549	110,914	117,651	124,507	189,846
	通所介護	1,724,741	1,815,237	1,919,942	2,027,874	3,539,673
	通所リハビリテーション	410,854	424,135	436,358	460,729	702,847
	短期入所生活介護	819,229	848,963	884,356	936,849	1,427,728
	短期入所療養介護（老健）	47,851	50,038	53,249	55,038	85,701
	短期入所療養介護（療養型）	0	0	0	0	0
	短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	0	0	0
	福祉用具貸与	379,022	415,439	445,480	465,342	711,975
	特定福祉用具購入	14,781	15,704	16,891	17,539	27,187
	住宅改修費	29,857	32,053	32,053	35,356	54,216
	特定施設入居者生活介護	263,008	277,277	286,469	310,983	474,148
	居宅介護支援	673,744	721,962	778,636	813,442	1,260,699
	居宅サービス　小計	5,764,531	6,105,336	6,457,979	6,820,687	10,860,541
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0	0	0
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0
	地域密着型通所介護	252,562	260,276	269,533	282,345	432,426
	認知症対応型通所介護	3,527	3,527	3,527	4,940	8,467
	小規模多機能型居宅介護	211,158	224,192	238,647	252,423	366,223
	認知症対応型共同生活介護	971,443	971,443	971,443	1,106,624	1,701,882
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	688,459	688,756	689,365	692,982	940,265
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
	看護小規模多機能型居宅介護	35,228	39,393	36,010	40,175	67,072
	地域密着型サービス　小計	2,162,377	2,187,587	2,208,525	2,379,489	3,516,335
施設サービス	介護老人福祉施設	1,962,355	1,962,355	1,962,355	2,308,420	3,721,916
	介護老人保健施設	2,096,831	2,096,831	2,096,831	2,434,936	3,904,450
	介護医療院	11,661	11,661	11,661	11,661	23,322
	施設サービス小計	4,070,847	4,070,847	4,070,847	4,755,017	7,649,688
介護給付費　合計		11,997,755	12,363,770	12,737,351	13,955,193	22,026,564

（３）介護予防給付費の推移

平成 30 年度から令和元年度の増減率について、介護予防サービスでは 108.6%、地域密着型介護予防サービスでは 78.0%となっています。

（千円）

区分		H30 年度	R 元年度	増減率（%）
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	0	0	―
	介護予防訪問看護	28,318	25,389	89.7%
	介護予防訪問リハビリテーション	11,758	12,480	106.1%
	介護予防居宅療養管理指導	3,034	3,064	101.0%
	介護予防通所リハビリテーション	34,482	36,465	105.8%
	介護予防短期入所生活介護	1,991	1,898	95.3%
	介護予防短期入所療養介護（老健）	413	86	20.8%
	介護予防短期入所療養介護（病院等）	0	0	―
	介護予防短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	―
	介護予防福祉用具貸与	24,984	29,728	119.0%
	特定介護予防福祉用具購入	1,670	1,708	102.3%
	介護予防住宅改修	10,190	11,024	108.2%
	介護予防特定施設入居者生活介護	7,529	11,602	154.1%
	介護予防支援	22,911	26,456	115.5%
	介護予防サービス　小計	147,280	159,900	108.6%
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	―
	介護予防小規模多機能型居宅介護	8,347	8,053	96.5%
	介護予防認知症対応型共同生活介護	2,588	478	18.5%
	地域密着型介護予防サービス　小計	10,935	8,531	78.0%
予防給付費　合計		158,215	168,431	106.5%

（４）介護予防給付費の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の予防給付費をみると、２千万円程度増加することが見込まれます。

また、令和 22 年の見込額は３億円程度となることが予想されます。

（千円）

区分		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ７年度	R22 年度
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0
	介護予防訪問看護	27,675	30,143	32,187	33,805	52,113
	介護予防訪問リハビリテーション	10,763	11,482	11,841	12,557	19,375
	介護予防居宅療養管理指導	2,647	2,740	2,958	3,176	4,857
	介護予防通所リハビリテーション	33,497	34,277	35,556	37,615	57,202
	介護予防短期入所生活介護	1,957	1,957	1,957	1,957	3,261
	介護予防短期入所療養介護	0	0	0	0	0
	介護予防福祉用具貸与	35,983	39,071	41,769	44,009	67,195
	特定介護予防福祉用具購入	2,252	2,815	2,815	2,815	4,504
	介護予防住宅改修	13,364	14,440	14,440	15,629	23,387
	介護予防特定施設入居者生活介護	15,650	16,356	17,062	19,033	27,917
	介護予防支援	29,384	31,505	33,860	35,744	54,529
	介護予防サービス　小計	173,172	184,786	194,445	206,340	314,340
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0
	介護予防小規模多機能型居宅介護	5,523	5,523	6,532	7,028	11,047
	介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0
	地域密着型介護予防サービス　小計	5,523	5,523	6,532	7,028	11,047
予防給付費　合計		178,695	190,309	200,977	213,368	325,387

（５）保険給付額全体の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の標準給付見込額をみると、令和３年度の 129 億円から令和５年の 137 億円と８億円程度の増加が見込まれます。

また、令和 22 年の見込額では 237 億円程度となることが予想されます。

（千円）

区分	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ７年度	R22 年度
介護給付費計	11,997,755	12,363,770	12,737,351	13,955,193	22,026,564
予防給付費計	178,695	190,309	200,977	213,368	325,387
特定入所者介護サービス費等給付費	427,595	444,097	462,506	496,982	762,002
高額介護サービス費等給付額	288,133	299,253	311,658	334,889	513,472
高額医療合算介護サービス費等給付額	32,208	33,451	34,837	37,434	57,396
審査支払手数料	10,070	10,459	10,893	11,705	17,946
標準給付費見込額	12,934,456	13,341,339	13,758,222	15,049,571	23,702,767

（６）地域支援事業費の推移

平成 30 年度から令和元年度の増減率をみると、介護予防・日常生活支援総合事業費では 108.3%、包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業では 120.9%、包括的支援事業（社会保障充実分）では、113.3%となっています。

また、地域支援事業費の総計では増減率は 113.8%となっており、7 千万円程度増加しています。

（千円）

区分		H30 年度	R 元年度	増減
介護予防・日常生活支援総合事業	訪問型サービス（第１号訪問事業）	38,952	42,012	107.9%
	訪問介護相当サービス	38,646	41,530	107.5%
	訪問型サービスＡ	0	0	―
	訪問型サービスＣ（短期集中予防サービス）	306	482	157.5%
	通所型サービス（第１号通所事業）	158,528	181,294	114.4%
	通所介護相当サービス	158,528	181,294	114.4%
	通所型サービスＡ（緩和した基準によるサービス）	0	0	―
	介護予防ケアマネジメント（第１号介護予防支援事業）	23,870	24,927	104.4%
	高額介護予防サービス費相当事業等	261	616	236.0%
	一般介護予防事業	39,978	34,421	86.1%
	介護予防把握事業	0	0	―
	介護予防普及啓発事業	28,736	32,618	113.5%
	地域介護予防活動支援事業	11,242	1,762	15.7%
	一般介護予防事業評価事業	0	0	―
	地域リハビリテーション活動支援事業	0	41	―
	上記以外の介護予防・日常生活支援総合事業	728	785	107.8%
	計	262,317	284,055	108.3%
包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	157,386	197,476	125.5%
	任意事業	53,187	57,013	107.2%
	介護給付等費用適正化事業	4,807	4,906	102.1%
	家族介護支援事業	44,868	48,064	107.1%
	その他の事業	3,512	4,043	115.1%
	計	210,573	254,489	120.9%
包括的支援事業（社会保障充実分）	在宅医療・介護連携推進事業	9,316	9,788	105.1%
	生活支援体制整備事業	18,745	23,784	126.9%
	認知症初期集中支援推進事業	21,049	17,759	84.4%
	認知症地域支援・ケア向上事業	960	5,240	545.8%
	地域ケア会議推進事業	155	344	223.4%
	計	50,225	56,915	113.3%

（千円）

区分		H30 年度	R 元年度	増減
地域支援事業費　計		523,115	595,459	113.8%
	介護予防・日常生活支援総合事業費	262,317	284,055	108.3%
	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業費	210,573	254,489	120.9%
	包括的支援事業（社会保障充実分）	50,225	56,915	113.3%

（7）地域支援事業費の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の地域支援事業費の推移をみると、令和３年度の 7.1 億円から令和５年度の 7.8 億円と７千万円程度増加が見込まれます。

（千円）

区分		R３年度	R４年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護予防・日常生活支援総合事業	訪問型サービス（第１号訪問事業）	49,411	53,169	57,910	49,892	54,108
	訪問介護相当サービス	47,978	51,576	55,444	47,571	51,125
	訪問型サービスＡ	633	633	1,266	0	0
	訪問型サービスＣ（短期集中予防サービス）	800	960	1,200	2,321	2,983
	通所型サービス（第１号通所事業）	220,894	240,894	261,788	220,288	236,747
	通所介護相当サービス	220,000	240,000	260,000	220,288	236,747
	通所型サービスＡ（緩和した基準によるサービス）	894	894	1,788	0	0
	介護予防ケアマネジメント（第１号介護予防支援事業）	27,169	28,365	29,613	33,665	43,278
	高額介護予防サービス費相当事業等	1,252	1,502	1,803	1,350	1,736
	一般介護予防事業	32,370	34,630	36,914	38,939	50,059
	介護予防把握事業	0	0	0	0	0
	介護予防普及啓発事業	30,000	32,000	34,000	36,189	46,523
	地域介護予防活動支援事業	2,210	2,430	2,674	2,599	3,341
	一般介護予防事業評価事業	0	0	0	0	0
	地域リハビリテーション活動支援事業	160	200	240	151	195
	上記以外の介護予防・日常生活支援総合事業	835	1,002	1,202	900	1,156
	計	331,931	359,562	389,230	345,034	387,084
包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	258,200	258,200	258,200	271,073	357,345
	任意事業	58,598	61,918	62,750	63,890	84,224
	介護給付等費用適正化事業	5,042	5,328	5,400	5,498	7,248
	家族介護支援事業	49,400	52,199	52,900	53,862	71,003
	その他の事業	4,156	4,391	4,450	4,530	5,973
	計	316,798	320,118	320,950	334,963	441,569
包括的支援事業（社会保障充実分）	在宅医療・介護連携推進事業	11,057	11,737	12,458	10,416	10,416
	生活支援体制整備事業	29,425	31,234	33,155	27,720	27,720
	認知症初期集中支援推進事業	17,772	18,865	20,025	16,742	16,742
	認知症地域支援・ケア向上事業	5,314	5,641	5,988	5,006	5,006
	地域ケア会議推進事業	567	602	639	534	534
	計	64,135	68,079	72,265	60,418	60,418

（千円）

区分		R３年度	R４年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
地域支援事業費　計		712,864	747,759	782,445	740,415	889,071
	介護予防・日常生活支援総合事業費	331,931	359,562	389,230	345,034	387,084
	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業費	316,798	320,118	320,950	334,963	441,569
	包括的支援事業（社会保障充実分）	64,135	68,079	72,265	60,418	60,418

■素案内容追加点まとめ

資料３－１

	素案ページ	内容
1	P8～17	◎人口統計データに「令和２年（2020年）10月１日現在の統計データ」を追加し、各項目に対するコメントを記載。
2	P55、56	◎「３.施策体系」及び「第２部各論　第１章」の施策目標と施策方針の修正 施策方針に具体的な目標を設定するために「地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実」と「地域包括ケアシステムの推進」を入れ替え。かつ、「地域包括ケアシステムの推進」を「地域包括ケアシステムの深化・推進」に変更。
3	P55～	◎「第２部各論　各章の基本指針の文章」を追加（点線で囲まれている箇所）
4	P62	◎「介護事業所等関係者に対する情報提供」を追加 地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」を活用し、在宅介護を支援するケアマネジャー等に対して、各介護事業所の運営状況や利用者の受入状況及びインフォーマルの地域資源に関する情報の集約と提供を行っている旨を記載。
5	P62	◎市が発行している情報冊子一覧を追加
6	P102	◎「第４章ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援（３）移送サービスの充実」に「④高齢者運賃割引証の交付」と「⑤高齢者運転免許自主返納支援事業」を追加。 （国の指針における交通部局との連携の項目により設定） ※上記同様、既存事業であり、新規掲載扱い。いずれも市の独自政策。
7	P93 P113、114	◎新型コロナウイルスに関する、今年度の市の取組と今後の方針について、記載。 P93　（在宅）章の最後に記載。 P113、114（施設） 「第５章高齢者の住まいの確保と災害対応の強化」内の「基本方針」の文中と「③介護施設等の災害対策の強化」にて記載。
8	P123	◎介護保険事業計画の章として「第７章介護保険事業計画の推進」を追加。 内容として ・要支援・要介護者数の推移と推計 ・サービスごとの給付実績の見込み ・日常生活圏域ごとの整備状況と今期計画の考え方 ・介護（予防）給付費等の推移と推計

※このほかに、イラストや図等の挿入、細かな誤字脱字の修正を行いました。

■パブリックコメントの実施期間変更に伴う今後のスケジュールについて

10 月 27 日（火）　第４回つくば市高齢者福祉推進会議

11 月上旬　　市長・副市長説明

11 月 17 日（火）　庁議

◎広報紙（広報つくば）→12 月号掲載

11 月 27 日（金）～12 月 27 日（日）31 日間　パブリックコメント期間

１月中旬～下旬　　第５回つくば市高齢者福祉推進会議（パブリックコメント意見の報告、最終確認）
市長・副市長説明

２月　　パブリックコメント実施結果公表
庁議

３月　　計画策定公表

■素案内容追加点まとめ(修正)

当日配布①

	素案ページ		内容
1	P7～16	数値追加	◎人口統計データに「令和２年（2020年）10月１日現在」の統計データを追加し、各項目に対するコメントを記載。
2	P53、54	文言訂正	◎「３.施策体系」及び「第２部各論　第１章」の施策目標と施策方針の修正 施策方針に具体的な目標を設定するために「地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実」と「地域包括ケアシステムの推進」を入れ替え。かつ、「地域包括ケアシステムの推進」を「地域包括ケアシステムの深化・推進」に変更。
3	P54～	文言追加	◎「第２部各論　各章の基本指針の文章」を追加（点線で囲まれている箇所）
4	P63	文言追加	◎「介護事業所等関係者に対する情報提供」を追加 地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」を活用し、在宅介護を支援するケアマネジャー等に対して、各介護事業所の運営状況や利用者の受入状況及びインフォーマルの地域資源に関する情報の集約と提供を行っている旨を記載。
5	P63	文言追加	◎市が発行している情報冊子一覧を追加
6	P98、99	文言追加	◎「第４章ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援『在宅介護・家族介護者の支援の充実』」において、家族介護者への支援として③認知症ケアパス、④認知症カフェを「再掲」という形で追加。
7	P106	文言追加	◎「第４章ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援（３）移送サービスの充実」に「④高齢者運賃割引証の交付」と「⑤高齢者運転免許自主返納支援事業」を追加。 （国の指針における交通部局との連携の項目により設定） ※既存事業であり、新規掲載扱い。いずれも市の独自政策。
8	P95 P116、117	文言追加	◎新型コロナウイルスに関する、今年度の市の取組と今後の方針について、記載。 P95　（在宅）章の最後に記載。 P116、117（施設） 「第５章高齢者の住まいの確保と災害対応の強化」内の「基本方針」の文中と「③介護施設等の災害対策の強化」にて記載。
9	P127	文言・ 数値追加	◎介護保険事業計画の章として「第７章介護保険事業計画の推進」を追加。 内容として ・要支援・要介護者数の推移と推計 ・サービスごとの給付実績の見込み ・日常生活圏域ごとの整備状況と今期計画の考え方 ・介護（予防）給付費等の推移と推計

※このほかに、イラストや図等の挿入、細かな誤字脱字の修正を行いました。

当日配布②

サービスごとの給付実績の推移と推計

（１）居宅サービス

居宅サービスの実績をみると、介護サービスでは、「短期入所療養介護」等が、介護予防サービスでは、「介護予防訪問リハビリテーション」等が、平成 30 年度と令和元年度ともに計画値を実績値が上回っています。

また、居宅サービスの推計では、直近の実績から各種サービスの利用率、一人あたり利用回数（日数）を基に算出しており、全体的には、介護サービス、介護予防サービスともに増加傾向が見込まれます。

①訪問介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	9,532 (9,732)	9,952 (10,608)	11,124	11,928	12,852	13,584	20,712
執行率（%）	97.9	93.8					
介護給付(回)	230,412 (254,774)	236,068 (282,537)	266,089	285,283	307,682	325,043	495,365
執行率（%）	90.4	83.6					

※（　　）は７期計画時の推計値

②訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	1,460 (1,884)	1,286 (1,980)	1,296	1,296	1,344	1,428	2,004
執行率（%）	77.5	64.9					
介護給付(回)	7,812 (10,451)	6,898 (11,419)	7,098	7,098	7,358	7,806	11,040
執行率（%）	74.7	60.4					
予防給付(人)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					
予防給付(回)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は７期計画時の推計値

③訪問看護・介護予防訪問看護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	6,158 (6,204)	6,715 (6,900)	7,860	8,592	9,060	9,600	14,628
執行率（%）	99.3	97.3					
介護給付(回)	45,727 (48,844)	47,869 (54,262)	59,172	64,696	68,215	72,282	110,114
執行率（%）	93.6	88.2					
予防給付(人)	867 (780)	797 (852)	816	888	948	996	1,536
執行率（%）	111.2	93.5					
予防給付(回)	5,785 (4,964)	4,805 (5,418)	4,963	5,412	5,780	6,068	9,350
執行率（%）	116.5	88.7					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

④訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	2,567 (2,472)	2,829 (2,808)	3,192	3,384	3,552	3,768	5,748
執行率（%）	103.8	100.7					
介護給付(回)	30,194 (30,192)	30,402 (34,879)	32,184	34,127	35,828	38,000	57,976
執行率（%）	100.0	87.2					
予防給付(人)	386 (228)	454 (276)	360	384	396	420	648
執行率（%）	169.3	164.5					
予防給付(回)	3,985 (2,670)	4,195 (3,259)	3,630	3,875	3,997	4,236	6,538
執行率（%）	149.3	128.7					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑤通所介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	19,878 (20,124)	21,161 (21,528))	20,748	21,840	23,100	24,396	42,660
執行率（%）	98.8	98.3					
介護給付(回)	207,769 (212,662)	221,207 (228,581)	218,946	230,458	243,756	257,436	449,758
執行率（%）	97.7	96.8					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑥通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	6,264 (6,300)	6,156 (6,900)	6,012	6,204	6,384	6,744	10,284
執行率（%）	99.4	89.2					
介護給付(回)	51,849 (52,884)	51,146 (58,032)	47,988	49,526	50,968	53,828	82,091
執行率（%）	98.0	88.1					
予防給付(人)	953 (1,116)	1,037 (1,200)	984	1,008	1,044	1,104	1,680
執行率（%）	85.4	86.4					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑦居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	8,792 (7,776)	9,375 (8,520)	10,668	11,652	12,360	13,080	19,944
執行率（%）	113.1	110.0					
予防給付(人)	309 (276)	328 (336)	300	312	336	360	552
執行率（%）	112.0	97.6					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑧短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	6,190 (6,360)	6,218 (6,864)	6,312	6,540	6,804	7,212	10,992
執行率（%）	97.3	90.6					
介護給付(日)	91,297 (98,174)	94,415 (106,867)	96,538	100,040	104,207	110,395	168,244
執行率（%）	93.0	88.3					
予防給付(人)	62 (84)	67 (96)	36	36	36	36	60
執行率（%）	73.8	69.8					
予防給付(日)	341 (452)	388 (530)	306	306	306	306	510
執行率（%）	75.4	73.2					

※（　　）は７期計画時の推計値

⑨短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	616 (588)	732 (624)	612	648	684	708	1,104
執行率（%）	104.8	117.3					
介護給付(日)	3,936 (4,127)	4,484 (4,368)	4,423	4,639	4,920	5,098	7,930
執行率（%）	95.4	102.7					
予防給付(人)	8 (12)	4 (12)	0	0	0	0	0
執行率（%）	66.7	33.3					
予防給付(日)	62 (54)	8 (54)	0	0	0	0	0
執行率（%）	114.8	14.8					

※（　　）は７期計画時の推計値

⑩特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	106 (102)	109 (104)	111	117	121	131	200
執行率（%）	103.9	104.8					
予防給付(人)	9 (8)	14 (6)	19	20	21	23	34
執行率（%）	112.5	233.3					

※（　　）は 7 期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

⑪福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	23,836 (22,032)	25,007 (23,244)	28,452	31,152	33,336	34,956	53,388
執行率（%）	108.2	107.6					
予防給付(人)	3,345 (3,612)	3,937 (4,164)	4,620	5,016	5,364	5,652	8,628
執行率（%）	92.6	94.5					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑫特定福祉用具購入・特定介護予防福祉用具購入

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	388 (432)	389 (480)	492	528	564	588	912
執行率（%）	89.8	81.0					
予防給付(人)	73 (108)	72 (108)	96	120	120	120	192
執行率（%）	67.6	66.7					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑬住宅改修・介護予防住宅改修

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	269 (300)	266 (312)	324	348	348	384	588
執行率（%）	89.7	85.3					
予防給付(人)	96 (132)	104 (144)	144	156	156	168	252
執行率（%）	72.7	72.2					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑭居宅介護支援・介護予防支援

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	40,421 (38,916)	41,586 (40,644)	43,848	46,992	50,664	53,028	81,948
執行率（%）	103.9	102.3					
予防給付(人)	4,813 (8,856)	5,451 (9,156)	5,988	6,420	6,900	7,284	11,112
執行率（%）	54.3	59.5					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

（２）地域密着型サービス

地域密着型サービスの実績をみると、「夜間対応型訪問介護」や「地域密着型特定施設入居者生活介護」の利用実績はなく、「地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護」等が、平成 30 年度と令和元年度ともに計画値を実績値が上回っています。

また、地域密着型サービスの推計は、直近の実績から各種サービスの利用率、一人あたり利用回数を基に算出しており、全体的には増加傾向が見込まれます。

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	0 (0)	7 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は７期計画時の推計値

②夜間対応型訪問介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は７期計画時の推計値

③地域密着型通所介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	3,232 (3,588)	3,223 (4,080)	3,132	3,228	3,336	3,504	5,364
執行率（%）	90.1	79.0					
介護給付(回)	30,297 (35,226)	30,270 (40,594)	31,198	32,159	33,280	34,906	53,430
執行率（%）	86.0	74.6					

※（　　）は７期計画時の推計値

④認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	41 (84)	65 (108)	60	60	60	72	120
執行率（%）	48.8	60.2					
介護給付(回)	615 (1,098)	777 (1,373)	350	350	350	496	846
執行率（%）	56.0	56.6					
予防給付(人)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑤小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	932 (924)	940 (972)	1,056	1,116	1,188	1,260	1,812
執行率（%）	100.9	96.7					
予防給付(人)	123 (108)	114 (108)	84	84	96	108	168
執行率（%）	113.9	105.6					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑥認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	299 (297)	301 (309)	302	302	302	344	529
執行率（%）	100.7%	97.4%					
予防給付(人)	1 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は 7 期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

⑦地域密着型特定施設入居者生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	―	―					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	144 (124)	145 (124)	199	199	199	200	272
執行率（%）	116.1	116.9					

※（　　）は 7 期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

⑨看護小規模多機能型居宅介護

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R 22 年度
介護給付(人)	227 (288)	209 (300)	180	204	180	204	336
執行率（%）	78.8	69.7					

※（　　）は 7 期計画時の推計値

（３）施設サービス

施設サービスの実績をみると、「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」ともにほぼ計画通りの実績となっています。

また、施設サービスの推計は、直近の実績から各種サービスの利用率、一人あたり利用回数を基に算出しており、全体的には８期計画期間中は据え置きとなっています。

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	605 (602)	609 (602)	603	603	603	709	1,144
執行率（%）	100.5	101.2					

※（　）は７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

②介護老人保健施設（老人保健施設）

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	587 (586)	590 (592)	613	613	613	712	1,140
執行率（%）	100.2	99.7					

※（　）は７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

③介護医療院

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	2 (0)	4 (0)	3	3	3	3	6
執行率（%）	―	―					

※（　）は７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

④介護療養型医療施設

	実績		推計				
	H30 年度	R 元年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R7 年度	R22 年度
介護給付(人)	2 (5)	1 (5)	0	0	0	0	0
執行率（%）	40.0	20.0					

※（　）は７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

事前質問票

第４回つくば市高齢者福祉推進会議について（意見書）

記入日	令和２年10月27日
氏名	室生　勝
意見・感想	１ ・P5日常生活圏域の設定：谷田部東圏域と谷田部西圏域の境界を明示すべき。境界に接する集落名を明示して欲しい。 ★１（反映する） **「日常生活圏域の地名一覧」を計画書の付録として掲載します。**（高齢福祉課） ２ ・P31③各リスクによる圏域の状況 前期高齢者、後期高齢者の男性数、女性数が分からない。P18で明らかにしておくべき。 ★２（反映する） **P18に男女の回答数を掲載します。**（高齢福祉課） ・P40「しかしながら、介護保険の手続きの仕方がわからないという声」 は「アンケート調査報告書」P264「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」9.0%を指すのか？「無回答」33.0%に意味あり。 「手続きや利用方法が分からない」はP39「市のサービスの認知」の市の刊行物（広報誌等）の「わかりやすい介護保険」や「わたしたちの介護保険」は家庭に配付されないので市民は知らない。69.8%は「市報つくば」を指すのかも知れない。「アンケート調査」P264「介護保険サービスを利用していない理由は何ですか」の回答選択肢に「介護保険証を知っていますか」を入れるとよい。介護保険証を知っていれば手続きは分かると思う。「各圏域の地域包括支援センター等の窓口や情報提供」を見直さねばならない。 **⇒御意見として承りました。** ・P41課題２の「認知症地域支援」は認知症になってからでは遅い。一万人コホート年齢階級別の認知症有病率（2012年）では75歳～79歳 11.0%、80歳～84歳 24.0%、85歳～89歳 48.5%である。80歳以上を保健師か精神保健士が個別訪問、あるいは地域見守り活動（社会福祉協議会）で「認知症かもしれない」の時機に支援に結びつける。家族は認知症かもしれないと気づいても否定する気持ちが強いので必要な相談や受診が遅れがち。第三者が気づいて早めに対応すれば本人の希望や想いに沿った必要なサポートを受けつつ、住み慣れた地域で暮らすことができる。

	認知症施策推進大綱（2019）上の「予防」とは「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」、「認知症になっても進行を穏やかにする」という意味で早めの対応が奏功する。 **⇒御意見として承りました。** ・P42の「高齢者の虐待防止」に「地域の見守り活動の重要性」とあるが、見守る人たちの養成が必要である。「認知症サポーターステップアップ講座修了者」を見守りﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに育成し、社協の見守り活動に参加を促す。下から3行目からは具体的施策が見えない。 **⇒御意見として承りました。** ・P43課題３の「一般高齢者の健康づくり」は参加すればすぐ健康に結びつく健康法を学習する機会を提供する。例えば自己健康管理法（家庭血圧測定、血圧が高くなる仕組み、適正体重と体力を維持する食事と運動を学ぶ）である。健診とは別に食後の血糖や血清脂質（中性脂肪、総コレステロール）を測定し、その意味を学習する。 **⇒御意見として承りました。** ・課題４　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援【家族構成と介護の必要性（要支援・要介護者）】は65歳以上と後期高齢者も含まれた数字である。問題は後期高齢者である。2019年10月調査では、75歳以上のひとり暮らし高齢者5,307世帯、75歳以上の夫婦だけが2,513世帯、計7,820世帯の介護認定を受けていない世帯について、詳しい生活実態調査を行い、在宅生活支援対策を考えるべきである。65歳以上全体を対象として考えることは意味が無い。緊急時の支援、特に夜間の支援で高齢者の安心を保証したい。緊急通報システムとツクツク見守りたいをひとり暮らし高齢者に限らず75歳以上の夫婦だけの世帯にも提供すべきである。 **【回答】（高齢福祉課）** **緊急通報システムについては、原則、ひとり暮らし高齢者を対象としています。しかし、高齢者夫婦だけの世帯で、どちらかが認知症などにより緊急時に対応できない場合などの設置について相談を受けることがあり、申請していただき、訪問調査をし、生活実態の調査をした上で必要だと判断した場合、設置している場合もあります。今後、対象者について検討していきたいと考えています。** ・課題５　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化 75歳以上で要支援・要介護者は建物が老朽化している場合、住み慣れた地域の集合高齢者住宅に入居を奨める。旧庁舎跡地や廃校跡地をJAや商工会に貸し、サービス付き高齢者住宅を建てる。１階は診療所、訪問看護ST、ヘルパーST、高齢者通いの場等に、2階以上を個室、高齢者夫婦室にする。要支援・要介護１・２が入居する。災害

	にも対応できる。住み慣れた地域なので訪れる友人・知人が多く、入居に抵抗が少ない。 **【回答】（高齢福祉課・住宅政策課）** **旧庁舎跡地や廃校跡地については、公有地利活用推進課で利活用の検討をしており、民間事業者からも広く意見を集めています。** **また、サービス付き高齢者住宅については、個人あるいは法人が事業者となりつくば市へ登録申請が可能です。さらに今回想定されているように様々な機能を持つ事業所を併設していれば高齢者のニーズは高まります。** **跡地の利活用検討に参加し、事業を実施しようとする事業者があれば事前申出を受け付け、事前協議をいたします。** ・P50基本視点Ⅰ高齢者の生きる力を支えます 7行目：・・地域社会や介助を必要とする高齢者を「支える高齢者」・・ 9行目：『高齢者の社会参加のニーズは高く、高齢者の地域の社会的な活動への参加は・・』 この指摘はP23の「前期高齢者の生きがいがあり」67～70%とP43の「一般高齢者の健康づくり活動への参加意向」の「参加してもよい」50%によるものと思う。健康づくりから社会参加へ移行する施策を実施する。 **【回答】（高齢福祉課）** **９期に向けて検討していきます。** ・P51基本視点Ⅱ介護者の介護する力を支えます 1行目：高齢者が要介護状態になっても住み慣れた自宅や地域で生活し続けるには、地域の見守り支援や地域住民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、介護保険サービスや民間サービス、公的サービス（市のサービス）による・・・ 8行目の「精神面のサポートや一時的な息抜きの場、交流の場」に「介護者カフェ」を週1回開けるように運営補助金事業を実施する。室生は「つくば草の根はりきゅう治療院」（小池栄治氏）と共に週1回午後に実験的に行ったがPR不足で利用者は毎週0～２名であった。 **【回答】（高齢福祉課）** **９期に向けて検討していきます。** ・P54基本視点Ⅲ地域で高齢者の生活を支えます 2行目：フォーマル⇒公的？介護保険ｻｰﾋﾞｽや社協ｻｰﾋﾞｽは含まれる？ インフォーマル⇒民間？NPO、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、商業的を指すのか？ 漢字に直せないのか？ **【回答】（地域包括支援課）** **フォーマル・インフォーマルの方が一般的に使われているため、現行通りとします。**

	３ ・P55ありたい姿１・4行目：・・専門職が理解し、当たり前のように… →専門職がさらに理解を深め、当たり前のように… ★３（反映する） **下線部分を記載します。**（地域包括支援課） ４ ・6行目：「2040年」の記載があるのはP11の人口推計の項目だけである。 「2040年」の意味を前もって詳しく記述しておく必要がある。 1970～1974年生まれの団塊ジュニアが70～74歳となり、高齢者の人口の伸びは落ち着くが、現役世代（担い手）が急減する。そこで、社会の活力を維持・向上するためには、70歳までの高齢者をはじめとして多様な就労・社会参加を促進する。総就業者数は増加するが「より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現」することが必要である。 ※今後の社会保障改革についてー　2040年を見据えて　平成31年2月1日 を参照のこと。 ★４（反映する） **「P1計画策定の趣旨と概要」にて2040年を見据えた文言を訂正します。**（高齢福祉課） ５ ・P59地域ケア会議の充実・今後の方針：2行目：・・ように充実し、特に医療職（医療機関の医師や看護師）のさらなる参加を奨め、自立支援・重度化防止・・ ★５（反映する） **下線のとおりに記載します。**（地域包括支援課） ・P60【実績値と計画値】：計画値を各圏域、年6回から9回に。 36⇒54 **【回答】（地域包括支援課）** **年間36回が限界のため現状通りとします。** 「参加職種」でなく平均参加者数？ **【回答】（地域包括支援課）** **674名/33回＝約20名** 「参加職種名」を記載する。 **【回答】（地域包括支援課）**

	地域ケア会議のイメージの主な構成員に参加職種の記載があるため、省略しました。 （主任介護支援専門員・介護支援専門員・看護師・医師・歯科医師・歯科衛生士・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・民生委員・研修医・機能訓練指導員・鍼灸師・退院調整看護師・ＭＳＷ・ＰＳＷ・介護職員・生活相談員・ケースワーカー・職種に分類されない事務職員等） ・検討事例の医療情報が不十分で対象者の病状が十分把握されないままの検討はケア会議の役割を果たしていない。 各年度で浮かび上がった「地域課題」は何であったか？ **【回答】（地域包括支援課）** **買い物支援、ごみ捨て、地域のつながり等です。** ・P61⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援事業【実績値と計画値】 催し物の内容と年間開催回数、平均参加者数、参加者職種名は？ **【回答】（地域包括支援課）** **居宅介護支援事業所連絡会定例会：研修・9回・87人** **主任介護支援専門員連絡会：研修・4回・57人** ・P62①市民に対する情報提供・今後の方針：広報紙（広報つくば）や市民べんり帳を紛失する市民が多いので、各圏域地域包括支援センターが高齢者介護・福祉の記事をコピーして張り出し情報を提供する。また、両者が役立つ情報を提供していることを知らせる。 **⇒御意見として承りました。** ・P62①市民に対する情報提供 事業概要：2行目・・広報紙（広報つくば等）・・ 今後の方針：3行目・・図ります。特に、各圏域の地域包括支援センターで広報紙や市民べんり帳の介護・福祉関連記事をコピーして張り出し、市民に両者から重要な情報が得られることを周知します。さらに、介護保険サービスが・・ **⇒御意見として承りました。** ６ ・P63②介護事業所関係者に対する情報提供・事業概要：ミルモネットの説明を記載する。『新型コロナウイルス感染症拡大が懸念された4月に、行政とケアマネジャーが各介護事業所の運営状況や利用者の受け入れ状況を把握することを目的として、つくば市にて地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」を導入。 **【回答】（地域包括支援課）** **新型コロナ流行以前から進めていたので記載しません。** **ただし、以下、下線部分は表の下方に記載します。**

	★６（反映する） ミルモネットとは:行政と専門職(主にケアマネジャー)と介護サービス事業所をつなぐことを目的に、地域の介護サービス事業所の情報が登録されているWEBシステム。（地域包括支援課） **※ミルモネットの表記については、「地域ケア情報の見える化サイト」として掲載をいたします。** ＜つくば市で確認できた効果＞行政：市内の各事業所の運営状況を効率的に把握することができた。ケアマネジャー：利用者の受け入れ状況をリアルタイムで確認でき、事業所とのコミュニケーションがスピーティになった。介護サービス利用者：代替サービスが必要な場合に、ケアマネジャーが市内全域の選択肢の中からその方に必要なサービスをスピーディに調整することができた。 **【回答】（地域包括支援課）** **効果は、まだ把握していませんので記載できません。** ７ ・P64③出前講座・事業概要：地域の住民グループの要請に応じて地域に出向き、要望に沿った・・ ★７（反映する） **下線の部分を追記します。**（地域包括支援課） ８ ・P65⑤介護サービス相談員派遣事業:介護サービスを提供している事業所を具体的に記載すべき。特別養護老人ホームや老人保健施設か？ ★８（反映する） **表下方に「介護サービスを提供している事業所は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、地域密着型通所介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護をいいます。」と記載します。**（介護保険課） ・P66①認知症サポーター養成事業・今後の方針：3行目・・づくりを目指すため、認知症サポーターステップアップ講座修了者に社会福祉協議会の地域見守り活動への参加を奨め、認知症の早め気づきで早期からの継続支援の活動を行うチームオレンジの・・　チームオレンジとは？ 認知症を疑う時点から地域で支援することはBPSDの出現を防ぐ。初期のBPSDの大半は認知症によるものではなく、本人の不安と家族や身近な人たちの無理解な対応から生じる。 **【回答】（地域包括支援課）** **すでに勧めているため、記載の変更はしません。**

	・P67②認知症声かけ模擬訓練・今後の方針:全文の書き換えを提案。 **【回答】（同上）** **現状で十分と考えられるため変更しません。** 今後、高齢化が進むと前期高齢者より後期高齢者が増え、認知症の人も増える。社協の地域見守り活動と協働する事業方針を提案する。 **【回答】（同上）** **次回計画以降にて、検討いたします。** ・P67③認知症ケアパスの確立・今後の方針:家族や地域の人たち（地域見守り活動も含む）が「認知症かもしれない」と気づいたとき、すぐに必要な相談や受診ができる環境を整え、そして、本人の希望や想いが尊重されながら必要なサポートを受けつつ、住み慣れた地域で暮らすことができる連続性のある支援体制の構築を目指す。 **【回答】（同上）** **ケアパスの意味でなく、認知症施策全体の内容になっているため変更しません。** ・P68④認知症カフェ・事業概要：1行目：各日常生活圏域に市内に住所・・ ・・地域住民を対象に配置し、レクリエーション・・　毎月？ **【回答】（同上）** **カフェによって２月に１回もあります。** 今後の方針・2行目：さらに、参加しやすいように７か所目の認知症カフェ○か所で毎月１回計37回、□か所で毎月１回計43回と記載できないか？ **【回答】（同上）** **カフェによって２月に１回もあるため記載できません。年度途中開始もあります。** ・P68⑤認知症初期集中支援チーム・事業概要：認知症専門医療機関の受診が優先しがちでないか？ **【回答】（同上）** **かかりつけ医と連携しているため優先しがちではありません。** 平行して、あるいは医療に先行して家族支援や介護指導しているか？ **【回答】（同上）** **しています。** 「支援チームの主な業務の流れ」の⑥に注意。

	【支援のイメージ】かかりつけ医は初期には関与しないのか？ **【回答】（同上）** **かかりつけ医とは情報共有しています。** 筑波大３名以外のサポート医は10名がいるが圏域でチームで活動しているか？ **【回答】（同上）** **６名活動しています。** 今後の方針：チーム員のスキルアップの具体的計画は？サポート医も参加したスキルアップ研修は？（大半のサポート医は圏域ケア会議に参加していない） **【回答】（同上）** **国や県による研修、検討委員会による検証などが考えられます。** 【実績値と計画値】H30の19件、R1の26件の各圏域別内訳は？対象者の圏域のサポート医が関与したか？ 認知症サポート医は筑波圏域２名、大穂豊里圏域３名、桜圏域２名、谷田部東圏域３名、谷田部西圏域１名 参考資料 筑波中央病院・大崎　彩（筑波圏域） 飯田医院・飯田章太郎（筑波圏域） 筑波記念病院・吉井與志彦（大穂豊里圏域） とよさと病院・萩原　直木（大穂豊里圏域） 柴原医院・柴原　健（大穂豊里圏域） さくら内科・呼吸器内科クリニック・石川　昌英（桜圏域） 筑波病院・小野内　健司（桜圏域） 紫峰の森クリニック・田中　康雄（谷田部東圏域） 筑波学園病院・清水　梨華（谷田部東圏域） 成島クリニック・成島　淨（谷田部東圏域） みなのクリニック内科呼吸器科・陶山　時彦（谷田部西圏域） **【回答】（同上）** **H30：筑波２・大穂４・豊里３・桜１・谷東５・谷西３・茎崎１** **R1：筑波６・大穂２・豊里４・桜５・谷東１・谷西４・茎崎４** **サポート医は北部（筑波・大穂・豊里）３名・南部（桜・谷田部・茎崎）３名です。** ・P86①いきいきプラザでの運動教室・事業概要：後期高齢者年齢別数と通所交通手段は？元気はつらつ運動教室は75歳～何歳まで？ **【回答】（健康増進課）**

１.後期高齢者年齢別数　１０７人

年齢別	７５歳	６人
	７６歳	６人
	７７歳	13 人
	７８歳	10 人
	７９歳	13 人
	８０歳	12 人
	８１歳	９人
	８２歳	６人
	８３歳	７人
	８４歳	８人
	８５歳	４人
	８６歳	３人
	８７歳	３人
	８８歳	２人
	８９歳	４人
	９０歳	１人

通所手段	自家用車	84 人
	送迎	11 人
	つくバス、つくタク	９人
	自転車	２人
	徒歩	１人

２.元気はつらつ教室は 75 歳以上　年齢による上限はなし
また、運転免許についても自主返納の検討やそれに合わる通所手段を提案しています。今後も安全面に考慮しながら進めていきたいと考えています。

今後の方針：後期高齢者の多くが車を運転して来所している（運転事故を心配）ことから後期高齢者には住まいの近くの歩いて通えるか、あるいは、つくバスで通える運動教室に通うことを奨めるべき。「高齢者憩いの場運営補助事業」の憩いの場、社協のふれあいサロン（月1回を少なくとも2回に）、高齢者の自主支援事業等で実施するよう提案する。いきいきプラザは壮年者から前期高齢者を対象に「運動普及推進員」養成教室に転換すべきである。
⇒御意見として承りました。

・P86②**運動グループ支援事業**・事業概要：いきいきプラザ運動教室を5年間継続した参加者が卒業生として各地区の自主活動リーダーとして活躍していていると聴く。実施会場は筑波地区２、谷田部地区１、桜地区１、茎崎地区３、豊里地区１、いきいきプラザ４（全市を対象）の12団体か？
【回答】（同上）

12団体です。地区は筑波２、谷田部１、桜１、茎崎２、豊里１、いきいきプラザ５です。いきいきプラザは、市内各地から参加しています。

今後の方針：今後、各地区の自主活動グループを増やすにはいきいきプラザを「運動普及推進員」を多数養成する場に転換すべき。高齢者憩いの場やふれあいサロンを介護予防サロンと位置づけ、出前講座で運動法、食改善、自己健康管理法を学習する場に変換することを提案する。

【回答】（同上）

各団体代表者を中心に活動が進められています。コロナ感染症対策等情報提供をし、相談に応じるなど適時進めています。

【実績値と計画値】週１回グループ、２週１回グループごと、地区別に１回平均参加者数を示せないか？

【回答】（同上）

総活動回数　536回、総延べ参加者数18,953人です。地区別は以下のとおりです。

＜地区別１回平均参加者数＞

地区	週１回	２週に１回
筑波	28	－
谷田部	71	－
桜	45	－
茎崎	44	10
豊里	24	－
大穂	28	24

・③出前健康教室事業・事業概要：保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の講話もあるのではないか？

【回答】（同上）

健康体操教室では、様々な職種による健康講話を毎回行っています。

今後の方針：運動活動グループ、高齢者憩いの場、ふれあいサロン等における介護予防活動を支援する取り組みを強化すべき。

【回答】（同上）

実際にふれあいサロン等と連携しながら、介護予防活動の支援を行っています。

【実績値と計画値】地区別、会場数、出前講師職種ごとの出前回数を記載できないか？

★９（反映する）（同上）
「参考」として令和元年度の状況を掲載します。

＜圏域別会場数＞（令和元年度）

圏域	会場数
筑波	20
大穂	15
豊里	8
桜	23
谷田部東	25
谷田部西	23
茎崎	25

＜出前講師職種ごとの出前回数＞（令和元年度）

講師職種・内容	回数
インストラクター	544
理学療法士・作業療法士	61
スクエアステップ	267
カラオケ体操	221
ウォーキング	12
健康講話	27
体力測定	96
健康遊具	1
食生活改善推進員	62

一般介護予防事業の①②③は個々に実施するのではなく関連性を持って協働すべき。各事業の利用者満足度および要望事項の調査が必要。

・P87④介護支援ボランティア事業・事業概要：期間は１年？６か月？ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の実績とは？
【回答】（地域包括支援課）
1年間で、施設でのお茶出しや傾聴など行っています。

期間あるいは回数によるﾎﾟｲﾝﾄか？
【回答】（同上）
回数です。

１ﾎﾟｲﾝﾄ何円？
【回答】（同上）
10～19回1,000円・20～29回2,000円・・・10,000円までです。

実施施設の感想を訊いているか？
【回答】（同上）
ボランティアと施設の交流会を実施しています。

	施設への支援になっているか？１年か毎年も参加できるか？ **【回答】（同上）** **毎年です。** ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ経験者のその後の追跡調査は？ **【回答】（同上）** **行っていません。** 今後の方針：移動支援は車の運転か？ **【回答】（同上）** **車で乗せていく支援です。** 在宅支援なのか？ **【回答】（同上）** **在宅です。** 施設入所者への支援なのか？ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ経験者の地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱにつなげる方法を考えては？ **【回答】（同上）** **地域ボランティアとは何のことでしょうか。** **現時点でつなげていくことは考えていません。** 【実績値と計画値】圏域別、施設数と施設種ごとの参加者数は？年齢別、性別数は？ **【回答】（同上）** **受入れ施設55：通所18・特養15・GH9・老健8・SS2・小多機2・有料1** **平均75.4歳：男76.8歳・女74.6歳** **登録者数163名：男61名・女102名** ・P88こころとからだの健康教室・事業概要：閉じこもり予防教室も筋力バランスアップ教室もフレイル予防で認知症予防を目指していたと思う。残された事業・脳元気アップ教室は認知症予防のための脳トレ・運 動・栄養・口腔ケア・音楽などの講話と実践を各回ごとに専門の講師 が行う。1か所？だけで3か月間に6回の講座。定員は50名。 今後の方針：各圏域で開催すべき。私が4年間開催していた介護予防サロン「サロンゆうゆう」（週1回）で実践していた。効果がある。 **【回答】（同上）** **今年度から運動前後に認知機能の測定を行っています。** 保健師が講師となって地域の高齢者サロンに広めるべき。新型コロナウイルス感染症流行時は「三密」を避けた状態で行えばよい。

	【実績値と計画値】会場は何か所？ **【回答】（同上）** **３会場です。** １会場の参加者数？ **【回答】（同上）** **30名です。** ・P90③健康手帳の交付・事業概要：内容を改訂し、家庭血圧測定法、毎日の血圧測定値の記入、自覚症状記入ページを増やし、かかりつけ医の受診時に日頃の健康状態を知らせるツールとすべき。国保連合会から「高齢者健康手帳」が刊行されている。 今後の方針：※市HPからダウンロードする高齢者は何人いるだろうか？ 希望者に配付よりも講座（出前も）のときに利用を奨めるため配付する。 私が主宰する高齢者サロンで「高齢者健康手帳」を配付し、家庭血圧測定が普及しつつある。かかりつけ医に受診時に見せ好評を得ている。 **【回答】（健康増進課）** **現在、市で使用している健康手帳は、自身の基本データから、健診記録、日ごろの体調管理、健康教育、医療・薬剤の記録などの記録部分と健康づくりのポイントや検診の記録の見方などの医療知識部分からなり、健康に役立つ情報が掲載されています。これは保健用品関連の出版社が制作したもので、著作権設定があり、改変はできないと考えます。** **現在も出前講座や健康教室などで配布されることもあり、乳がん、子宮がん検診、骨粗しょう症健診の際には「女性健康手帳」を配布しています。今後も様々な機会をとらえて、健康手帳の交付方法について検討していきます。** **参考：令和２年度購入数：１冊102.6円×400冊×1.1＝45,144円** ・P91①シルバークラブ育成事業・事業概要：1行目：単位クラブでは地域での仲間づくり、健康保持・増進・・の実例は？ノウハウは？ 今後の方針・2行目：・・健康づくりや・・寄与しています。実例は？ 3行目：・・活動メニュー・・の具体例は？ **【回答】（高齢福祉課）** **①** **各単位クラブでの仲間づくり・・・輪投げ大会、地区のお祭りに参加、カラオケや囲碁、将棋など** **健康保持・増進・・グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、健康麻雀** **健康づくりの実例・・シルバーリハビリ体操など** **活動メニュー・・若い方にも興味をもってもらえるようなスポーツ**

	吹き矢などのニュースポーツを取り入れた活動を行う。 ・P91②いきいきサロン・事業概要：４行目・・おおむね10名以上集まれば年４回を限度・・年４回の意味は？ **【回答】（高齢福祉課）** **年４回までは、市が講師料を負担するが、５回目以降は参加者負担となる。** 「ふれあいサロン」との違いは？ **【回答】（同上）** **高齢者いきいきサロンは、市（社会福祉協議会）が主催となり、誰もが自由に参加できるサロンを開催するが、ふれあいサロンは、住民が主体となって運営する。** 今後の方針：ふれあいサロンに組み入れるべき。社協単独でよいと思う。 **【回答】（同上）** **いきいきサロンは１回でも気軽に参加できるようなメニューとなっている。気軽に参加できるところが魅力であることから、さらに同じような内容を今後も継続してやりたい方にはふれあいサロンを案内することも可能かと思うが、孤独感の解消が目的の一つであることから、サロンに組み込むことはしない方針。** ・P92【実績値と計画値】通常サロン・１会場ごとのグループ数は？ **【回答】（同上）** **いきいきサロンは、曜日ごとに教室が決まっており、希望者が参加したい教室に通うというものです。グループというカウントではありません。** 出前サロン：交通手段が無く参加できない人たちは身近なふれあいサロンが無いのか？ **【回答】（同上）** **身近なふれあいサロンの有無については、承知してません。** 何か所で年何回行ったか？ **【回答】（同上）** **か所数は現在確認中ですが、回数は36回です。** ・P92③ふれあいサロン・今後の方針：1行目・・居場所づくりとして・・ 居場所にするには少なくとも週1回が必要で互いに助け合える関係や地域交流の場になる。月1回は1回欠席すると2か月会わないこと

	になる。 まず月2回開催を目指すべき。 **【回答】（つくば市社会福祉協議会）** **ふれあいサロンは、地域で生活している高齢者や障害者、子育て世帯など、日々の生活に寂しさや不安を感じている方々が気軽に参加し、地域住民と交流できる場として支援しています。** **また、多くの参加や協力が得られるよう、開催回数や内容については、各サロンの実状に応じて企画・実施していただいています。** ・P94⑥シルバー人材センター・今後の方針：公益社団法人つくばシルバー人材センターを第3者委員会で他の地方自治体の成功モデルを参考にした見直しが必要である。 **【回答】（高齢福祉課）** **参考にさせていただきます。** ・P94⑧高齢者憩いの広場運営補助事業・今後の方針：常設会場を確保できない地域がある。都市部には借りやすい空き家、空き店舗（借り賃高額） が無い。つくば市に探してもらいたい。新しい企画なので前期高齢者を主体に地域住民の居場所づくりを奨めるべき。常設会場が確保できた場合、その地域の60歳台に老後の自己健康法を健康増進課の協力で学習する機会を設ける。そのなかで地域住民の日常的な交流がいかに老後の健康維持に効果があるかを啓蒙する。 P43課題３（一般高齢者）の健康づくりでも述べた。 参考資料 【健康寿命延伸プラン】 ⇒2040年までに、健康寿命を男女ともに３年以上延伸し75歳以上に。 ①健康無関心層へのアプローチの強化、 ②地域・保険者間の格差の解消により、 以下の3分野を中心に、取組を推進 ・次世代を含めたすべての人の健やかな 生活習慣形成等 ・疾病予防・重症化予防 ・介護予防・フレイル対策、認知症予防 **【回答】（高齢福祉課）** **高齢者憩いの広場の会場につきましては、住宅政策課と連携し、空き家バンク等に登録している物件など住宅政策課で把握している空き家について、憩いの広場を実施したいが場所が見つからないといった相談があった場合に対応できるよう準備しております。ただ、空き家で憩いの広場事業を実施する際には、消防法など各種法令の制約や手続きがあり、現状すぐに事業を実施するのは難しい状況となっております。** **また、現在憩いの広場活動を行っている団体につきましては、出前健康教育事業や地域リハビリテーション活動支援事業等の支援**

	を受けながら活動している団体が多数あります。そのなかで専門職の指導協力を依頼していきます。 ・P95※２行目・・体操動画・・・動画配信とDVDを配付しました。配信方法とDVD配付先は？ コミュニティチャンネル・テレビつくば11で動画を放送すべき。PRすれば高齢者はテレビなら観る。 **【回答】（高齢福祉課）** **配布方法は電話やメールで申込みをしていただいた方には郵送で送付しました。** **高齢福祉課窓口で申請した方には直接配布しました。** **市民の方以外の配布先は、希望する民生委員やケアマネ、各保健センターで希望する方（体操教室などの参加者）、スポーツ振興課の関連する障害のある方などにもDVDを配布しました。** **動画配信については、６月から８月にかけてケーブルテレビで放送しました。また、現在も市HPからYouTube動画を配信しています。** ・P97(2)家族介護者の支援：「介護者カフェ」をモデル事業に 在宅介護支援：P51基本視点Ⅱ「介護者の介護する力を支えます」の具体的計画が無い。 「介護者カフェ」を介護福祉施設のオープンスペースを借りてモデル的に開く方法を考えてほしい。 **【回答】（高齢福祉課）** **９期に向けて検討していきます。** ・P103⑤救急医療情報ツクツク見守りたい・今後の方針：高齢者健康手帳も生かすべき。 **⇒御意見として承りました。** ・P109②サービス付き高齢者向け住宅の供給と適正化・今後の方針：今後ひとり暮らし高齢者が増える。住まいの老朽化やバリアフリーを改善するより、住み慣れた地域のサービス付き高齢者向け住宅に入居すれば近所の友人も訪れるし、食事、入浴、夜間の不安解消等を保証できることを説明すれば納得するであろう。JAが旧庁舎跡地や廃校跡地を借り、サ高住を建て、兼業農家後継者の老親たちに入居を奨める。後継者は平日はサラリーマン、土日は農業と老親の介護まで手が回らない。介護をサ高住に依頼すれば嫁も来てくれる。1階に診療所と訪問看護St、ヘルパーSt、デイサービス施設、高齢者憩いの場等を備える。 入居者は要支援1.2、要介護１～3も入居できる。介護福祉施設（要介護３以上が入居）を補完する役割もある。 **【回答】（高齢福祉課・住宅政策課）**

	前出の「(P47)課題５高齢者の住まいの確保と災害対応の強化」の部分の質問と重複する内容ですので、回答も前出の通りです。 ・P110④高齢者への市営住宅の供給・今後の方針：サ高住が代替えにならないか検討すべき。 【回答】（住宅政策課） 市営住宅の入居対象の方は、低額所得者であり、かつ自立した生活が可能な方となっています。 市営住宅の入居者で、高齢単身の方が介護が必要となった場合、介護を受けられる施設、あるいはサービス付き高齢者住宅へ転居されています。 今後、高齢者の人口が増加していきますので、市営住宅の代替としてのサービス付き高齢者住宅ではなく、役割を分担し、それぞれの施設の整備が必要と考えています。 以上。

会　議　録

会議の名称		第５回つくば市高齢者福祉推進会議		
開催日時		令和３年(2021 年) 1 月 20 日（水）（書面郵送）		
開催場所		書面会議により実施		
事務局（担当課）		保健福祉部高齢福祉課		
出席者	委員	森田　信委員、織田　順委員、田宮　菜奈子委員長、山脇　博紀委員、大河原　純也委員、吉場　勉委員、岩﨑　学委員、金野　信子委員、木村　聡委員、梅原　久美子委員、石川　益子委員、室生　勝委員、ホー　真美委員、寺沼　源一委員、成島　淨委員、飯泉　孝司委員、斉藤　秀之委員		
	その他			
	事務局	高齢福祉課：中根課長、城取課長補佐、菊池係長、大津主任		
公開・非公開の別		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	０人
非公開の場合はその理由		緊急事態宣言による書面会議への変更のため、傍聴不可。		
議題		（１）パブリックコメント実施結果について （２）介護保険事業について		
会議次第		１　議題 (1) パブリックコメント実施結果について (2) 介護保険事業について ２　会議資料 ・資料１　前回会議後からパブリックコメント前までの修正点 ・資料２　パブリックコメント実施結果報告書 ・資料３　介護保険事業及び資料編について ・その他		

	書面により、委員から以下のとおり御意見をいただきました。 **（１）パブリックコメント実施結果について**
石川委員	P106　移送サービス パブリックコメントの御意見から、市の高齢者タクシー運賃助成事業に対する受け取り方が違うのではないか。例えば、市民べんり帳の 109 ページでは、パブリックコメントへの回答ほど、当該事業の意義が記

	載されていない。
事務局	今後、市民べんり帳をはじめとする広報紙等の広報物への記載の仕方を改善し、情報発信の工夫に努めていきます。
	（２）介護保険事業について
吉場委員	市民の理解を得られるよう努力してください。
事務局	丁寧な説明を心がけ、対応してまいります。
	（３）その他意見
委員長	P55　②在宅医療・介護連携の推進 今後の方針内にある「医療と介護のありたい姿（共通指針）」が、次ページに大きく掲載されているため、関係性が分かるように、今後の方針内において、つくば市の「医療と介護のありたい姿（共通指針）」に「次ページ以降に掲載」を追記することと、次ページの指針にも説明書きを入れてください。
事務局	P55 に「次ページ以降に掲載」の文言と P56 の表題下に共通指針の説明書きを追記しました。
木村委員	P141、142、145 日常生活圏域ごとの施設整備状況リストの一番下に「※地域密着型特養除く」「※地域密着型特養含む」の記載は、各表題のすぐそばに記載した方が分かりやすかったと思う。
事務局	P141 表題の後、P144 表題の後に位置を修正しました。
吉場委員	P93　ふれあいサロン事業 （社会福祉協議会の御意見として）ふれあいサロン事業における保険料の助成を令和３年度よりなくす予定ですので、市民に丁寧に説明をします。
事務局	よろしくお願いいたします。

梅原委員	P57　ありたい姿３　専門職のスキルアップとやりがい 2025年の目標が介護支援専門員の幸福度をはじめとする専門職の指標が向上しているとなっていますが、ケアマネは研修が大変で、給料面でも介護職の方がアップしケアマネになりたがらない人が多いとの話を聞きます。是非ケアマネを目指す人が増えるような施策をお願いします。
事務局 （地域包括支援課）	介護職の確保が難しいのと同様、ケアマネジャーの確保も大きな課題として捉えています。令和元年度に実施した、つくば市内居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務実態に関する調査（回答者数133人）において、年代層別で50歳以上が約46%を占める一方、25歳～39歳では約11%と低い状況です。また、業務により負担を感じるとの回答が約75%を超えるものもあることから、きつい、大変な職種というイメージが定着して、若手がケアマネジャーになりたがらないことがうかがえました。 今後、負担軽減及び業務効率化のためのICT等の導入を支援しつつ、医療及び介護関係者に対して、ケアマネジメント業務のやりがいを伝えていくことを検討していきます。
岩﨑委員	P117　④「つくば市避難行動要支援者制度」について 要支援者となる方が多様化・多年代化していることも踏まえ、全市的スキームで要支援者、要介護者をサポートする担当者、要支援者の居住する地域の方を含めた実務者が一同に会して具体的検討を行う場が必要ではないか。 また、有事に必要な対応を記した災害時ケアプラン的なものを統一した様式で運用していく等、個別支援計画の具体的な取組に期待したい。
事務局 （社会福祉課）	避難行動要支援者制度における避難支援者の取組状況は、地域ごとに異なるため、今後、効果的な連携方法等について検討していきます。 また、個別支援計画については、災害リスクの高い地域から順次策定を進めており、策定率の向上に努めていきます。
岩﨑委員	P112（４）介護人材の確保 高齢者福祉計画により様々な制度、施設、整備目標等が計画されているが、実際に現場で従事する人材が確保できなければ計画はあってもサービスがない状況が懸念される。制度を利用して就労を目指す側と制度を利用して採用する側とのマッチングをサポートしていく等、制度の積極的活用を促進していく取組に期待したい。

事務局 （高齢福祉課）	介護人材の確保については、以前より重要な課題としてとらえており、平成 28 年度よりつくば市介護職員就労スタートアップフォロー給付金の支給事業を行っているところです。新規に介護職に就いたり、長期離職から復帰したりする場合に給付金を支給することで、介護の担い手の育成と確保に努めています。介護就労と採用のマッチングを促進できるよう、制度のさらなる周知を進めます。
織田委員	P68　④認知症カフェ 認知症の理解を広めるための施策として開かれているカフェで茎崎交流センターの会場が円椅子、背もたれがない様子のため、参加者の高齢者へのこころ配りを願いたい。 課題はたくさんあるでしょうが、今８期は課題を絞り込み、比較的分かりやすい表現が折り込まれており、良い計画書となっていると喜ばしく思います。お疲れさまでした。
事務局 （地域包括支援課）	認知症カフェの会場についてですが、通年で毎月１回開催できることを条件とすると茎崎交流センターの工作室のみしか確保できない状況です。背もたれが必要な方には、別の会議室等から折りたたみの椅子を借り、個別で対応させていただいております。今後も引き続き、より良い会場の確保に努めてまいります。
森田委員	大変しっかりした第８期計画（案）になったと思います。担当課の皆さんの労を多としたいと思います。今後この計画案が着実に実施されることを希望します。さらに、本市はスマートシティ計画にも手を挙げています。これが実現すると力強い高齢者対策にもなると思います。選ばれることを期待しております。
事務局	温かいお言葉をありがとうございます。委員の皆様の御協力のもと、第８期計画を策定できる段階にまいりました。第８期計画実施後も、定期的に各事業の進捗状況評価を行い、より良い施策運営に努めてまいります。
室生委員	①P41 課題２の「認知症地域支援」は認知症になってからでは遅い。一万人コホート年齢階級別の認知症有病率（2012 年）では 75 歳～79 歳 11.0%、80 歳～84 歳 24.0%、85 歳～89 歳 48.5%である。85 歳以上の未介護認定者を保健師か精神保健士が個別訪問、あるいは地域見守り活動（社会福祉協議会）で「認知症かもしれない」の時機に支援に結びつける。家族は認知症かもしれないと気づいても否定する気持ち

	が強いので必要な相談や受診が遅れがち。第三者が気づいて早めに対応すれば本人の希望や想いに沿った必要なサポートを受けつつ、住み慣れた地域で暮らすことができます。 認知症施策推進大綱（2019）上の「予防」とは「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」、「認知症になっても進行を穏やかにする」という意味で早めの対応が功を奏します。 ８行目：具体的には・・・の「複数の専門職による初期支援体制」はごく少ない事例です。「認知症カフェ」に来る認知症の疑いの人もごく少ないです。警察や事業所との連携で発見された人たちは年間、何人でしょうか(データーが示されていない)。待ちの姿勢でなく上記の「85歳以上の未介護認定者を保健師か精神保健士が個別訪問、あるいは地域見守り活動（社会福祉協議会）で「認知症かもしれない」の時機に支援に結びつける」が必要ではないでしょうか。
事務局 （地域包括支援課）	・85 歳以上の未介護認定者を保健師か精神保健福祉士が戸別訪問することについて 85 歳以上に限らず、ＫＤＢシステムから過去３年間、医療機関・健康診断未受診かつ介護保険未申請者に、受診勧奨等のほか介護予防を目的に訪問しています。 ・警察や事業所との連携で発見された人数について 認知症支援メールの関係機関への送付件数は、令和元年度が４件、令和２年度現時点で８件です。うち、１名を除いて発見されています。
事務局（社会福祉協議会）	・85 歳以上の未介護認定者を地域見守り活動（社会福祉協議会）で「認知症かもしれない」時期に支援に結び付けることについて 見守りネットワーク事業は、ふれあい相談員を通じて、地域で気になる方に事業説明を行い、見守り登録をしていただけるようご案内しています。その活動の中で、気になる方が支援を要すると思われる場合は報告を受け、市や地域のふれあいサロン（認知症カフェ）等関係機関に繋ぎ、必要なサービスへとつなげるようにしています。今後も 85 歳以上の未介護認定者（認知症かもしれない時期）にかかわらず、本会に報告をいただき、関係機関につなぎ、必要な支援へと結びつけていきます。
室生委員	②P43　６行目「高齢者の虐待防止」に「地域の見守り活動の重要性」とありますが、見守る人たちの養成が必要です。「認知症サポーターステップアップ講座修了者」を見守りﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに育成し、社協の見守り活動に参加を促します。 ７行目「早期発見のためのネットワーク」の具体的な対応として社協の見守り活動を生かすことです。保健福祉部と社協の協働作業が目に

	見えません。
事務局 （地域包括支援課）	市として、虐待に対しての正しい認識を地域（地域包括支援センターや民生委員等）や介護施設等に普及啓発して行くことで、早期発見、防止に繋げていきます。
室生委員	③P43 課題３の「介護予防や健康づくりの推進」 P45　３行目から８行目の具体策として、下記の内容を取り入れることを勧めます。 一般高齢者の健康づくりは参加すればすぐ健康に結びつく健康法を学習する機会を提供する方法を実施すれば[圏域別にみた健康づくり活動への参加意向]の「参加したくない」30%が参加するようになると思います。具体的には自己健康管理法（家庭血圧測定、血圧が高くなる仕組み、適正体重と体力を維持する食事と運動）の学習です。健診とは別に食後の血糖を測定し、その意味を学習する（高齢者に食後高血糖が多い。医療機関では空腹時血糖しか測定していない)。前期高齢者対象に重点的に取り組み介護予防につなげます。
事務局 （健康増進課）	自己健康管理法については、地域の研修センター等に出向いて健康体操教室並びにシルバーリハビリ出前体操教室時に、高血圧・糖尿病・脂質異常症予防等内容を健康講話でお伝えしております。 健診に関しては、年に一度の健診受診を勧めており、集団健診・医療機関健診で実施している検査は、約９割が ＨｂA1ｃで、１割弱の方は空腹時血糖を測定しております。それらの結果から必要な方に、面接や家庭訪問により保健指導を行っております。また、医師講話の教室を実施し、医療機関と連携し、糖尿病の重症化予防を行っております。
室生委員	④P46 課題４　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援【家族構成と介護の必要性（要支援・要介護者)】は 65 歳以上と後期高齢者も含まれた数字です。問題は後期高齢者です。2019 年 10 月調査では、75 歳以上のひとり暮らし高齢者 5,307 世帯、75 歳以上の夫婦だけが 2,513 世帯、計 7,820 世帯の介護認定を受けていない世帯について、詳しい生活実態調査を行い、在宅生活支援対策を考えるべきです。65 歳以上全体を対象として考えることは意味がありません。緊急時の支援、特に夜間の支援で高齢者の安心を保証したいです。緊急通報システムとツクツク見守りたいをひとり暮らし高齢者に限らず 75 歳以上の夫婦だけの世帯にも提供すべきと思います。
事務局（高齢福	「緊急通報システム」については、原則、ひとり暮らし高齢者を対象

祉課・社会福祉課）	としています。しかし、高齢者夫婦だけの世帯で、どちらかが認知症などにより緊急時に対応できない場合などの設置について相談を受けることがあり、申請していただき、訪問調査をし、生活実態の調査をした上で必要だと判断した場合、設置している場合もあります。今後、対象者について検討していきたいと考えています。 「救急医療情報便ツクツク見守りたい」については、高齢者・障害者・健康に不安を抱えている方が対象となります。（年齢制限はなく高齢者世帯の方でもご利用になれます。）ご希望される方に配布することが可能です。 ※計画案において対象者の要件を修正します。
室生委員	⑤P48 課題５　高齢者の住まいの確保と災害対応の強化 5行目：「しかし、借家や建築時期が古い住宅に・・・・きめ細かに対応した住まいの確保・・・」はどのような住居をイメージしているのか分りません。第５章の高齢者の住まいの確保と・・・で下記のような具体策を提案できないでしょうか。 75歳以上で要支援・要介護者は建物が老朽化している場合、住み慣れた地域の集合高齢者住宅に入居を奨めます。旧庁舎跡地や廃校跡地をJAや商工会に貸し、サービス付き高齢者住宅を建てます。１階は診療所、訪問看護ST、ヘルパーST、高齢者通いの場等に、2階以上を個室、高齢者夫婦室にします。要支援・要介護１・２が入居できます。災害にも対応できます。住み慣れた地域なので訪れる友人・知人が多く、入居することに抵抗が少ないと思います。
事務局 （高齢福祉課）	旧庁舎跡地や廃校跡地については、公有地利活用推進課で利活用の検討をしており、民間事業者からも広く意見を集めています。 また、サービス付き高齢者住宅については、個人あるいは法人が事業者となりつくば市へ登録申請が可能です。さらに今回想定されているように様々な機能を持つ事業所を併設していれば高齢者のニーズは高まります。 事業を実施しようとする事業者があれば事前申出を受け付けし、事前協議をいたします。
室生委員	⑥P60　（１）高齢者の認知症支援①認知症サポーター養成事業　今後の方針 ステップアップ講座の予定開催回数を入れるべき、チームオレンジの説明を入れるべきです。

事務局 （地域包括支援課）	※計画案の「今後の方針」下枠に、補足説明として以下２点、記載します。 ・認知症サポーターステップアップ講座は、平成 28 年度から毎年度 12 月に１回開催。 ・チームオレンジとは、認知症サポーターがステップアップ研修を受講し、チームを組んで活動する。認知症の人とその家族、認知症サポーターなどで構成し、早期から継続的な支援を行う。
室生委員	⑦P61 ②認知症声かけ模擬訓練　今後の方針 「実施後に継続してフォローアップできる体制を構築し、・・・地域の見守りができる体制づくり」は、いつになったら具体化するのか？「社協の地域見守り活動」と協働することを入れるべきではないでしょうか。
事務局（地域包括支援課）	平成 27 年度から各生活圏域の小学校区単位で認知症声掛け模擬訓練を実施しています。 今後は、訓練を小規模型とし、各圏域の生活支援コーディネーター（つくば市社協に配置）や地域包括支援センターと協力しながら実施する予定です。小規模型で実施することで、地域性に合わせ認知症の方に対する対応方法をより具体的に伝えられます。
室生委員	⑧P75 いきいきプラザでの運動教室 ●事業内容：年齢と強度を分け・・　対象者年齢を①②の理由で前期高齢者までに！！ ①後期高齢者が車を運転して来る可能性あり。行き来の交通事故を心配します。もし、事故を起こされた場合、民間のスポーツクラブなら利用者の自己責任で済まされますが、つくば市の事業では公共交通機関の利用を勧めていただけでは市の責任を問われるでしょう。 ②後期高齢者では主治医の診断書があっても安心できません。狭心症、脳梗塞等の動脈硬化による疾患が突然に発症、あるいは帰宅後に出現することがあります。後期高齢者の健康増進は健康被害になる場合もあります。過去の中途退会者のフォローを行っていますか。 私自身が 84 歳であり、45 年間、高齢者医療を行ってきた医師であり、さらに後期高齢者の介護予防サロンを主宰している立場から発言しています。 「いきいきプラザでの運動教室」は対象者を前期高齢者までとして「運動活動グループ支援事業」の「運動指導員」を育成する事業に切り替える時代に来ています。この運動教室は 10 年以上も続いており、見直しが必要と考えます。

	後期高齢者が増え、後期高齢者が歩いて通える場所での介護予防事業が求められています。 ⑨P75 ②運動活動グループ支援事業 事業内容　「・・・健康増進課介護予防事業を経て発足した運動団体と介護予防を目的として発足した20名以上の団体を・・・」にある2種類の団体の中心となる人材育成を体系づける必要があります。旧態依然とした事業の進め方を改めるべきと思います。 「いきいきプラザでの運動教室」を人材育成の場に改編することを真剣に考えてください。 今後の方針　後期高齢者が歩いて通えるか、あるいは、つくバスで通える場所で開催できるように、各地域に広めることが重要です。 第7期つくば市高齢者福祉計画のP78に記述されている＜一般介護予防事業の種類＞の「地域介護予防活動支援事業」の主旨を生かした事業にすべきです。 ＜一般介護予防事業の種類＞の表を再掲してください。
事務局（健康増進課）	いただいた提言を事業化するには、まず後期高齢者にあたる運動教室参加者や運動活動グループメンバーの要望等を生の声として聞く必要があります。また後期高齢者といっても年齢幅が広く体力など個人差もかなりあるように思います。そのため早急な変更は難しいのですが、今後ご意見を参考に検討して参ります。 現在においても、地域の研修センター等に出向いて健康体操教室並びにシルバーリハビリ出前体操教室を行い、運動普及推進員の協力を頂き介護予防事業に取り組んでいます。 ※「一般介護予防事業の種類」の表は、P86 一般介護予防事業の中に掲載いたします。ただし、７期の再掲ではなく、厚生労働省が定める「地域支援事業実施要綱」を参照としたものとなります。
室生委員	参考資料 ◎健康被害が見受けられた「ICT 高齢者いきいき健康アップ事業」の検証を室生が検証した。 参加者が活動量計を身につけて歩き、歩数や運動強度のデーターを定期的に市内数カ所で読み込ませる。データー結果は参加者に郵送され、自分が歩いている量を「見える化」することで運動意識を向上させ、ウォーキング等の運動を習慣化させる。 平成28年度の参加した後期高齢者の状況を検証した結果を次に示す。申し込み時の所見で血圧150/90以上を高血圧、BMI30以上を肥満とした。市は事前の健康チェックで参加不適者の選別をせず問診票で処理した。運動前の準備運動、脊椎後湾者、軽度の身体障がい者等の歩行姿勢、運動至適気温、運動至適時間帯、週4日以上の家庭血圧測定等

	について注意しなかった。また身体的理由による中断者に対する事後指導も行わなかった。 平成 28 年度は前期 6 月～９月、後期 10 月～１月に 354 人が実施した。75～84 歳は 132 人。血圧 150 以上 15 人、うち 150 以上/90 以上が２人。肥満（BMI：30 以上）が 3 人。 85～92 歳は 8 人。高血圧や肥満はいなかった。 下記の収縮期血圧 160 以上の５名は参加したが、中途中止したかどうか不明であった。75 歳男性で血圧 173/93、脈拍 95/分。　76 歳女性で血圧 163/97、脈拍 93/分。79 歳男性で血圧 164/78、脈拍 100/分。　81 歳女性で血圧 160/80、脈拍 96/分。82 歳男性で血圧 169/83、脈拍 61/分。 中途中断者は前期高齢者 23 人、後期高齢者 44 人、計 67 人（18.6%）。その理由は、体調不良 11 人（前期高齢者 2 人、後期高齢者 9 人）、腰痛 2 人（後期高齢者）、歩行困難 7 人（前期高齢者 1 人、後期高齢者 6 人）、本人希望 15 人（前期高齢者 6 人、後期高齢者 9 人）。 死亡者は 75 歳、95 歳の 2 人であった。以上の状況から健康被害となる事例がある。特に後期高齢者にある。
事務局 （高齢福祉課）	令和２年度で終了予定の事業になりますが、今後同様の事業を実施する場合には、御指摘いただいた健康管理に留意して実施したいと考えております。 以上 **連絡事項** 　いただいた御意見を踏まえ、最終案を修正し、計画の策定に進めさせていただきます。

＜資料説明＞

資料１　前回会議後からパブリックコメント前までの修正点

前回会議での委員からの意見による修正や文言等の修正を行いました。

資料２　パブリックコメント実施結果報告書

パブリックコメント実施結果の報告です。いただいた意見を概要としてまとめ、市の考え方を公表するものです。

11 月 24 日付けで送付しているパブリックコメント公表書類一式とあわせて御確認ください。（資料２の２ページで「№」下のページ数はパブリックコメント公表書類一式内の計画案のページ数となっております。）

今回、パブリックコメントによる修正はありませんが、パブリックコメント後の文言の修正等も公表する必要があるため、ページ後方部に掲載しております。

資料３　介護保険事業及び資料編について

第７章及び第８章について追加修正したものです。介護保険料は３月の議会を経て決定するため、「算定中」との表記になっております。

その他

第７期計画で整備した施設の進捗及び今後の計画策定までのスケジュールについて報告します。

議題(1)
資料１

前回会議後からパブリックコメント前までの修正点

○　全体的な修正事項　について

修正前	修正後
―	◎数字について １桁は全角、２桁は半角に統一しました。
―	◎元号と西暦の表記について １.文中⇒元号のみ 例）令和２年度 ２.グラフ・表⇒併記 例）令和２年（2020 年） ３.キーワード⇒元号と西暦を併記 例）令和７年度（2025 年度） 令和 22 年度（2040 年度）
―	◎文言の表記について １.「人」、「方」が混在している ⇒基本は「人」で、限定的な表現は「方」 ２.要介護認定者 ⇒「要支援・要介護認定者」 （グラフ中の文言も修正） ３.要支援・要介護認定 ⇒「要介護（支援）認定」 ４.介護支援専門員、ケアマネジャー ⇒「介護支援専門員（ケアマネジャー）」 ５.「単身者」 ⇒「ひとり暮らし」 ６「令和１年」 ⇒「令和元年」 ７.２割程度 ⇒　約２割 ８.ホームページ ⇒市ホームページ　等

○　P1 第1部第1章1計画策定の背景・趣旨 について

文中において本市の高齢化率の状況と８期計画の特色を追加しました。

修正前	修正後
―	①３段落目　追加 本市は茨城県や全国と比較しても、高齢化率の低い自治体となっていますが、近年では高齢化率が 19%を超え、今後も高齢者の増加が見込まれ「超高齢社会」の水準に差し掛かりつつあります。 ②５段落目　追加 第８期計画策定にあたっては、中長期的視点にたち令和 22 年（2040 年）頃にはいわゆる団塊ジュニア世代が高齢者となり、現役世代人口が急減してくることを視野に入れ、社会の活力を維持・向上させていくための取組、より一層の介護予防や健康づくりの取組を強化していくことや、認知症者への支援として令和元年６月に「認知症施策推進大綱」を取りまとめ、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指す取組を推進していくこと、また、介護人材の確保や災害・感染症に対する体制整備に努めていくこととしています。

○　P2 計画の根拠法令 について

簡潔な文章に修正しました。

修正前	修正後
高齢者福祉計画（老人福祉法第 20 条の８に基づく）は、高齢者施策に関する基本的な目標を設定し、その実現に向かって取り組むべき施策全般	高齢者福祉計画は、老人福祉計画（老人福祉法第 20 条の８）、介護保険事業計画（介護保険法第 117 条）、高齢者居住安定確保計画（高齢者の居

が定められています。 また、介護保険事業計画（介護保険法第 117 条に基づく）は、介護サービスや地域支援事業の量の見込み等について明らかにしたものです。 なお、本計画は高齢者の住居や環境の整備を目指す高齢者居住安定確保計画（高齢者の居住の安定確保に関する法律第４条の２に基づく）と、成年後見制度の利用促進を図るため、今計画から成年後見制度利用促進基本計画（成年後見制度の利用の促進に関する法律第 14 条）を内包しています。	住の安定確保に関する法律第４条の２）の３つを一体として策定したものです。なお、本計画からは「成年後見制度の利用の促進に関する法律」第 14 条で定められた成年後見制度利用促進基本計画も内包しています。

○　P97･100　第4章　ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援　について

文言の一部修正と委員意見から「再掲」として施策事業を追加しました。

修正前	修正後
P97 　また、在宅介護を進めるためには、介護をする家族の身体的負担や精神的負担、経済的負担等の軽減を図ることが必要であるため、本市としては、より一層の在宅福祉サービスの充実を目指します。 サービス内容として、あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅう施術費助成事業、ねたきり高齢者理美容料助成事業、紙おむつ購入費助成事業などを実施し、介護を受けている本人や介護者の負担軽減を図っていきます。また、認知症高齢者等保護支援事業では、認知症の方の行方不明発生時の早期発見･保護を支援し、家族介護者の負担軽減を図っていき	P97 また、在宅介護を進めるためには、介護をする家族の身体的負担や精神的負担、経済的負担等の軽減を図ることが必要であるため、介護支援専門員（ケアマネジャー）や介護サービス事業所等と連携し、利用者とその家族のニーズに沿った在宅福祉サービスの充実を目指します。 在宅の高齢者向けに、あん摩・マッサージ・指圧・はり及びきゅう施術費助成事業、ねたきり高齢者理美容料助成事業、紙おむつ購入費助成事業などを実施し、介護を受けている本人や介護者の負担軽減を図っていきます。また、認知症本人や家族、

ます。	地域の方々が正しく認知症を理解しながら交流することを目的とする認知症カフェでは、様々な企画や啓発活動を行い、専門職による介護者への相談支援を行っていくことで、家族介護者の負担軽減を図っていきます。
P100 記載なし	P100 （２）家族介護者の支援の中に「⑤介護事業所等関係者に対する情報提供（再掲）」を追加。

○　P63･100 地域ケア情報見える化サイトの表記　について

委員意見から固有名詞を削除しました。

修正前	修正後
地域ケア情報見える化サイト 「ミルモネット」	地域ケア情報の見える化サイト

○　P141 第2部第7章介護保険事業計画の推進　について

委員意見から修正しました。

修正前	修正後
３　日常生活圏域ごとの整備状況と今期計画の考え方	３　日常生活圏域ごとの整備状況
記載なし	同項右上に「（令和３年４月１日見込）」を追加

議題(1)
資料２

様式第５号（第 10 条関係）

パブリックコメント実施結果報告書
【案件名：つくば市高齢者福祉計画（第８期）（案）】

令和３年（2021 年） ３月
つくば市保健福祉部高齢福祉課

■ 意見集計結果

令和2年 11 月 27 日から令和2年 12 月 27 日までの間、つくば市高齢者福祉計画（第8期）（案）について、意見募集を行った結果、3人（団体を含む。）から13件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数（団体を含む。）
直接持参	1　人
郵便	人
電子メール	人
ファクシミリ	人
電子申請	2　人
合　計	3　人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○　第1部第2章　3アンケート調査からみた高齢者　について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1 (P21)	(地域とのかかわりについて【趣味等のグループ活動への参加について】) 趣味と地域、生活を一体化するとパーソナル空間の問題が起きる。気まずい仲になったらどこへ行ってもその関係が付きまとう。そのため行動範囲が狭まり身体的な制限や鬱状態になりやすい85歳以上で急に参加したくないが多いのか？	1 件	この設問は、社会参加活動や就労状況を問う設問として国が示すアンケートの必須項目となっております。御意見の「グループ活動への参加したくない理由」については、さらに踏み込んで問う設問を市独自項目として採用するか否かにつきまして、次回の計画において国が示す項目を確認し、掲載内容について検討させていただきます。
2 (P22)	(高齢者の趣味について【趣味の有無】【生きがいの有無】)	1 件	上記同様に、この設問は、国が示す必須項目で、趣味・生きがいを問う設問です。「参加したくない」

	被介護者のしたい内容と提供される趣味のレベル、身体的にできる内容、意欲、記憶力的に覚えられる内容の食い違い、もしくは選択肢がないため、85歳以上になって急に「参加したくない」が増えるのではないか？一例ではAIでの忘却曲線を使った学習や学習者のレベルに興味あった講座による、褒められ体験、成功体験等を導入できるかもしれない。 メンタルヘルス的なのも必要かも知れない。		「思いつかない」といった項目に対する理由の設問はございません。御意見のとおり、やりたい意欲があるものの、自分に合うものがないといった潜在的ニーズも拾えるよう、他市町村の例を参考にしながら高齢者の生きがいにつながる施策を検討していきます。
3 (P32)	(栄養改善について) アンケート結果の栄養改善リスクには、やせ型以外でも肥満や高塩分などの問題もある。	1 件	こちらについても国が示す指標のとおり、ＢＭＩ（身長と体重から算出）の設問のみの該当者をリスクのある人とみなしております。しかし、御指摘のとおり、ＢＭＩ基準だけでなく高血圧や肥満等いわゆる生活習慣病の予防も重要であると考えていますので、市としても P90「第３章２高齢者の健康づくりと社会参加の支援」において、生活習慣病等の様々な疾病による要介護状態の悪化を防止していく取組を強化していきます。
4 (P35)	(認知症について) 「物忘れが多いと感じますか」についての質問は、忘れたこと自体忘れて認識しない者にこの質問は正しく答えられない。認知症のチェックの長谷川式スケールなどではこのような質問はない。	1 件	上記同様、国が示す指標であるため、今回の変更は難しいですが、御指摘のとおり認知症リスクと判断するには、やや材料が少ないと考えます。つきましては、次回の計画において国が示す指標を確認し、掲載内容について検討させていただきます。
5 (P37)	(IADL(手段的日常生活動作)について)	1 件	この設問は、ＩＡＤＬの低下を問う設問で、国の指標に基づいてお

	アンケートの質問内容は、一人暮らし高齢者と同居の者がいる高齢者では回答が違ってくる。同居者がいた場合「できるけどしていない」という回答が当然増える。今はコロナで買い物は一人を奨励しているが、家族と一緒に買い物に行くこともあり「できるけどしていない」という選択肢になる。介護で付き添ってもらって一緒に買い物に行くわけではない。		ります。ＩＡＤＬが低下している高齢者の地域分布を把握することで事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することを目的としています。そのため、生活全般について「できない」状況の方の数値を指標の１つとして参考にさせていただいております。
６ (P46)	(【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援等】について) アンケート選択肢の「掃除」と「洗濯」は分けるべきではないか。また、「片付け」も別項目として必要である。洗濯だけ、片付け、掃除だけをしてほしい、というのもあり得る。細かく言うと、「掃除」は、風呂掃除、トイレ掃除等あり、「調理」は、使用後の調理器具洗い、食事後の食器洗い等に分かれる。 所要時間や金額は、自分でできる内容、お願いしたい内容によって違う。 P102のすけっとくんとも重なるが害虫駆除、塗り替え、家電修理、日曜大工、買い物代行、予約、手紙代行、代書、資料収集(秘書、執事、家政婦、コンシェルジェ、掃除業、ハウスキーピング)も項目にあるとよい。	１ 件	こちらの設問につきましても、国が示す必須項目となっております。 「掃除・洗濯」については御指摘のとおり別のものであり、ニーズによって、実際には細かく分かれる部分もあり得ると考えられます。 今回のこちらの選択肢は国が設定したものとなっているため、次回の計画において国が示す選択肢を確認し、掲載内容について検討させていただきます。
７ (P48)	(自身が要介護状態になった場合、どこで暮らしたいかについ	１ 件	市では、高齢者に対して提供している施設として、要介護度が高い

	て) コロナ禍ですすめられる政策ではないが二世帯、三世帯住宅やグループホーム、シェアルーム、プライバシーの配慮された梁山泊やマンガ家の集団が住んでいたトキワ荘のような集合住居型の高齢者アパート、高齢者、障害者、無職、ひきこもりなどのセーフティーネット集合住宅で支援があればほしい。		方向けに、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）で、比較的要介護度が低い方向けには、介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等において、入所者に応じた介護サービスを提供しております。 また、真に住宅に困窮する高齢者世帯に対し、低廉な家賃で市営住宅をお貸しするとともに、住宅セーフティネット法に基づく居住支援法人やセーフティネット住宅の情報を提供し、高齢者世帯等の居住の安定確保に努めております。

○　第2部第1章　1(2)①市民に対する情報提供　について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
8 (P62)	高齢福祉関連に限らず、つくば市は近年、様々な情報を発信しているが「ホームページをご覧ください。」ということになっていて、ネット環境にない人にとっては、情報を手に入れることは容易ではない。市報は月に1回なので、狭間ができており、ラジオやACCSの利用など、考えられないか。	1 件	高齢者の情報入手手段は、市の刊行物や回覧を利用されている方が多いため、必要な最新の情報を分かりやすく整理し、広報紙等の内容の充実と拡充に努めております。特に、介護保険サービスが必要になる前の方々に対して、在宅医療、介護、認知症に関する情報冊子の配布や出前講座等で啓発活動を行い、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進していきます。 今年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、外出自粛が続いたことで、閉じこもりになった高齢者等に向けて運

			動機能の低下や健康状態の悪化を予防するため、自宅で簡単にできる市オリジナル体操動画を作成し、ＡＣＣＳや動画配信サイトで発信しました。今後も、多くの市民の方に情報が行き届くよう情報発信に努めていきます。

○　第2部第2章　1⑥認知症高齢者等保護支援事業　について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
９ (P70)	位置情報端末は高齢者と児童、幼児や何か防犯など他のとも共通化してないと高齢者が持っていると認知症だとわかるため、抵抗があり嫌がる。	１　件	端末は小さくお守りや靴の底に入るものであるので、他の人から見て持っていることは気づかないようになっています。 また、本人や家族、地域の人が認知症だとわかっても嫌がらないよう、認知症の人が地域に当たり前のように暮らし続けられる地域づくり（共生）を目指していますので、認知症に対して正しく理解し、偏見を持たなくなるよう周知啓発していきます。

○　第2部第3章　2高齢者の健康づくりと社会参加の支援　について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
１０ (P83～)	元気な前期高齢者が趣味以外で、活動の場や行き場がなく、外出の回数が減っている。活躍できる場や、役目を担ってほしい。 提案として、居場所については、交通機関に頼らず行ける身近な場所が良く、地域の様々な情報が集まり、趣味サークルの集まり後に仲間と食事やお茶を飲みながら歓談や、体調や家庭、隣近所の気になる事を気軽に相談でき、またとくに用事がなく	１　件	現在高齢者の方に提供している通いの場として、いきいきサロン、ふれあいサロン、高齢者憩いの広場等、就労支援の場としてシルバー人材センター、社会福祉施設への介護支援ボランティア等があります。これらは、社会活動や地域貢献への参加、高齢者の生きがいや健康づくりを目的に推進しております。 地域交流センターは、すべての年代の方を対象とし、市民の自主的な活動の促進を図ることを目的

	ても新聞を広げてコーヒーを楽しんだり、図書コーナーの本を読んだりできる場所が必要である。 これらの条件をかなえるのはその名のとおり、地域交流センターがふさわしいと考える。 地域包括支援センターに限らず、交流センターでも相談に答えてくれるような人材がいると、親しみもわきやすい。 現状では、飲食は許されておらず、部屋は空いていても予約しなければ使えない。 地域の人たちが気軽に利用でき、交流が活性化する場になるよう、地域交流センターの本来の役目を見直してほしい。		とした施設です。 そのため、市が相談員を配置して事業を行うということは現状の趣旨とは異なりますが、貴重な御意見として承り、担当課（文化芸術課）とともに今後の地域交流センターのより良い利用方法を検討していきます。

○　第2部第4章2（1）日常生活に必要なサービスの充実　について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
11 (P101)	高齢の障害者など複雑な状況を抱える場合、市役所に駆け込んでも、課が分かれているため、たらいまわしになりかねない。 また、障害者や高齢者で構成される家庭において、高齢の一人暮らしや高齢者世帯対象のサービスが受けられない。 具体的には、在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業と宅配食事サービス事業がある。	1　件	御指摘のとおり個人や世帯が抱える問題は、複雑化・多様化が一層進んでおり、制度により、市民の方に複数課を渡っていただくことには御不便をおかけしております。 今後も庁内の部署や関係機関との連携を強化し、包括的な対応に努めていきます。 そして、高齢福祉課で実施している在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業に関しては、布団の乾燥が困難な一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方を対象としていますが、障害者手帳をお持ちの方が同居している場合、その方からの支援は困難で

			あるとみなし、対象とさせていただいております。 また、宅配食事サービス事業に関しては、心身の障害等の理由により自ら調理が困難な一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方を対象とした安否確認事業となっています。そのため、申請後、訪問調査を行い、総合的に判断させていただいております。

○　第2部第4章2 （3）移送サービスの充実 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
12 (P106)	タクシー助成は日常の生活において使うには枚数が足りない。家族の送迎がない(家族が「日中働いている、育児中、高齢、運転免許を所持していない」)と行動できない。 また、ガソリン補助かタクシー補助か選べる町も多いので、考慮してほしい(ただし免許未所持者なども考えてほしい)。	1 件	高齢者タクシー運賃助成事業の目的は、経済的支援ではなく、高齢者の外出支援及び社会参加の促進としています。そのため、通院や買い物等で定期的にタクシーを利用されている方にとっては御不便を感じている方もいることは認識しており、課題であると考えています。御指摘の内容を踏まえ、今後の事業推進の際に参考にさせていただきます。
13	移送サービスの内容について、前期（第７期）計画と変わっていない。この３年間、市長タウンミーティング、窓口、地域福祉計画（第４期）策定委員会の中で意見を伝え続けてきたが、反映されておらず、残念である。本気で危機感を抱いていないと感じるので、当該項目については省いたほうが良い。現場と行政に温度差を感じる。「誰一人取り残さない」というフレ	1 件	御意見のとおり、病院への通院支援等、高齢者の移動支援が課題の一つであることは認識しており、さらなる充実を図ることが重要であると考えていますが、本計画においては高齢者タクシー運賃助成事業の利用者の増加を見込んでおり、より多くの方の移動支援が確保できるものと考えています。 しかし、それでも十分でないことは承知しているため、今後のより

	ーズに対して本気で考えているのだろうか。介護タクシー事業者として、日々利用の相談があり、このままでは厳しいと肌で感じているからこそ提言する。今からでも遅くはないので、本気で移送を必要としている住民のために、事業者も含め、一緒に考える機会を作っていただきたい。		良い移動支援を検討していきたいと考えております。

■ 修正の内容

パブリックコメントによるものではありませんが、以下の項目について修正しました。

○　第2部第3章2 (2)③ふれあいサロン事業　について

修正前	修正後
P93③ふれあいサロン事業について 社会福祉協議会に地域のサロンとして登録している活動団体に、活動費の助成、保険への加入手続き、保険料の助成、機材の貸し出し、	P93③ふれあいサロン事業について 社会福祉協議会に地域のサロンとして登録している活動団体に、活動費の助成、保険への加入手続き、＿＿＿＿＿、機材の貸し出し、

※誤表記を修正しました。

○　第2部第7章 介護保険事業計画の推進　について

修正前	修正後
第７章介護保険事業計画の推進において、基準日を令和２年９月末とし、暫定値を作成しました。	（基準日変更に伴う修正） 第７章介護保険事業計画の推進において、基準日を令和２年 12 月末現在とし、再度作成しました。 P129 （３）要支援・要介護認定者数の推計（第２号被保険者含む） （４）要支援・要介護認定者数の令和 22 年（2040 年）までの見込み P130～138、140

	２サービスごとの給付実績の推移と推計 （１）居宅サービス （２）地域密着型サービス （３）施設サービス P148 （２）介護給付費の見込額 P150、151 （４）介護予防給付費の見込額 （５）保険給付額全体の見込額 P154、155 （７）地域支援事業費の見込額
記載なし	P146　今期計画の整備方針を追加 ＜今期計画の整備方針＞ 介護保険施設の整備状況を踏まえ、今計画期間中に特別養護老人ホーム 70 床を１施設、既存の特別養護老人ホームの 40 床増床を２施設、既存の老人保健施設の 20 床増床を１施設整備していきます。

※基準日の変更に伴う数値の訂正、文言等の追加を行いました。

○　第2部第8章　介護保険料の見込額　について

修正前	修正後
記載なし	第７章の後に、介護保険料の説明のため「第８章介護保険料の見込額」を記載しました。

○　資料編　について

修正前	修正後
詳細な記載はなし	１　つくば市高齢者福祉計画（第８期）策定経過 ２　つくば市高齢者福祉推進会議設置要綱 ３　つくば市高齢者福祉推進会議委員名簿 ４　用語解説 ５　日常生活圏域別地名一覧

※必要な資料を追加しました。

議題(2)
資料３

介護保険事業及び資料編について

つくば市高齢者福祉計画（第８期）（案）

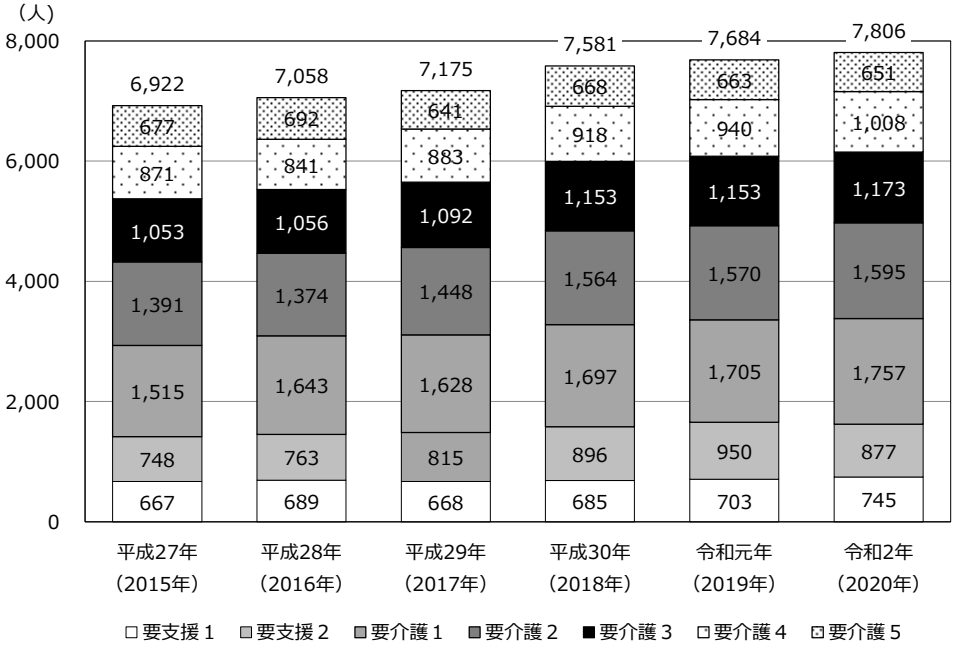
・第２部第７章　介護保険事業計画の推進
・第２部第８章　介護保険料の見込額
・資料編

第７章　介護保険事業計画の推進

１　要支援･要介護認定者数の推移と推計

（１）要支援･要介護認定者数の推移（第２号被保険者含む）

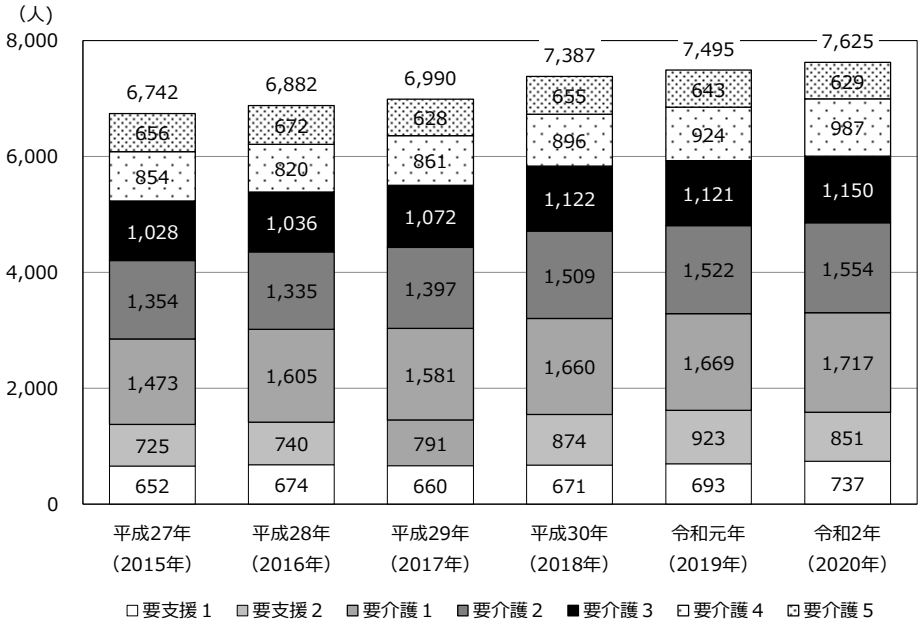
平成 27 年から令和２年までの要支援・要介護認定者の総数をみると、令和２年では 7,806 人と年々増加しています。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える化」システム

（２）要支援･要介護認定者数の推移（第１号被保険者）

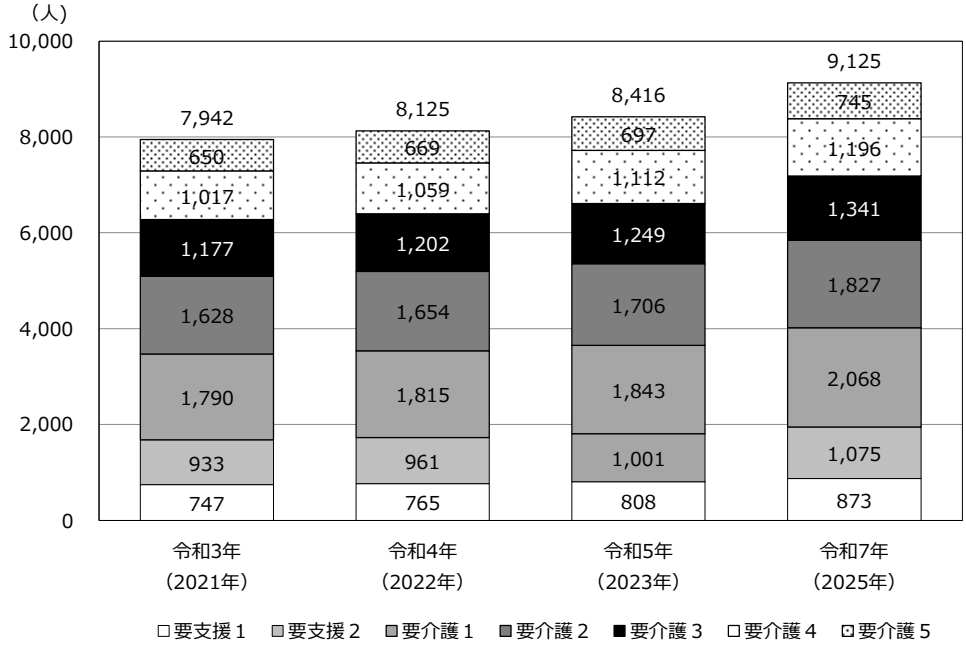
要支援・要介護認定者のうち第１号被保険者をみると、要介護５以外はどの介護度でも増加しています。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える化」システム

（３）要支援･要介護認定者数の推計（第２号被保険者含む）

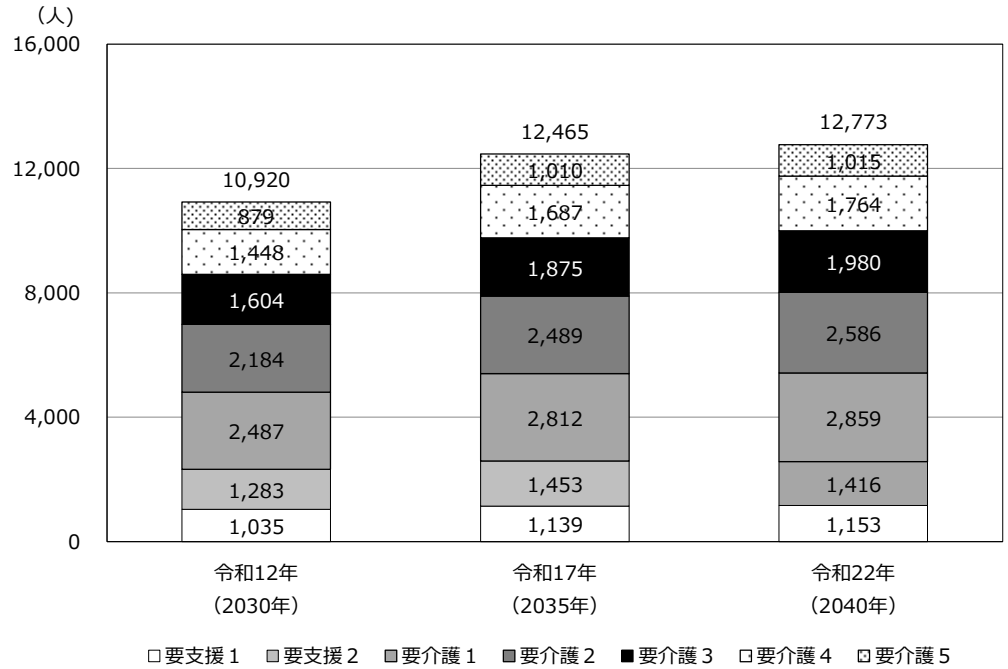
要支援・要介護認定者の推計をみると、年々増加傾向を示しており、令和３年から令和５年までの期間では 500 人程度の増加が見込まれます。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える化」システム

（４）要支援･要介護認定者数の令和 22 年（2040 年）までの見込み（第２号被保険者含む）

令和 12 年から令和 22 年（2040 年）までの要支援・要介護認定者数の中長期的な推計をみると、令和 12 年からむこう 10 年間で 2,000 人程度の認定者の増加が見込まれます。



資料：厚生労働省地域包括ケア「見える化」システム

2　サービスごとの給付実績の推移と推計

（1）居宅サービス

居宅サービスの実績をみると、介護サービスでは、「短期入所療養介護」等が、介護予防サービスでは、「介護予防訪問リハビリテーション」等が、平成 30 年度と令和元年度ともに計画値を実績値が上回っています。

また、居宅サービスの推計では、直近の実績から各種サービスの利用率、一人あたり利用回数（日数）を基に算出しており、全体的には、介護サービス、介護予防サービスともに増加傾向が見込まれます。

①訪問介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	9,528 (9,732)	9,948 (10,608)	10,776	11,592	12,084	13,812	20,580
執行率（%）	97.9	93.8					
介護給付（回）	230,412 (254,774)	236,068 (282,537)	249,169	274,836	281,297	326,326	486,842
執行率（%）	90.4	83.6					

※（　　）は第 7 期計画時の推計値

②訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	1,464 (1,884)	1,284 (1,980)	1,332	1,392	1,476	1,560	2,196
執行率（%）	77.7	64.9					
介護給付（回）	7,812 (10,451)	6,900 (11,419)	7,216	7,551	7,980	8,425	11,801
執行率（%）	74.7	60.4					
予防給付（人）	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					
予防給付（回）	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は第 7 期計画時の推計値

③訪問看護・介護予防訪問看護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	6,156 (6,204)	6,720 (6,900)	7,668	8,352	8,604	9,648	13,680
執行率（%）	99.2	97.4					
介護給付（回）	45,727 (48,844)	47,869 (54,262)	57,433	62,740	64,439	72,740	102,678
執行率（%）	93.6	88.2					
予防給付（人）	864 (780)	792 (852)	852	924	960	1,068	1,584
執行率（%）	111.0	93.0					
予防給付（回）	5,785 (4,964)	4,805 (5,418)	5,070	5,485	5,693	6,316	9,403
執行率（%）	116.5	88.7					

※（　　）は第７期計画時の推計値

④訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	2,568 (2,472)	2,832 (2,808)	2,700	2,904	3,012	3,432	5,580
執行率（%）	103.8	100.7					
介護給付（回）	30,194 (30,192)	30,402 (34,879)	27,216	29,410	30,425	34,818	56,525
執行率（%）	100.0	87.2					
予防給付（人）	384 (228)	456 (276)	372	408	444	564	1,164
執行率（%）	168.4	165.2					
予防給付（回）	3,985 (2,670)	4,195 (3,259)	3,752	4,114	4,475	5,669	11,705
執行率（%）	149.3	128.7					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑤通所介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	19,884 (20,124)	21,156 (21,528))	21,816	22,884	23,748	26,112	40,236
執行率（%）	98.8	98.3					
介護給付（回）	207,768 (212,662)	221,208 (228,581)	228,520	240,133	248,724	273,972	421,146
執行率（%）	97.7	96.8					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑥通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	6,264 (6,300)	6,156 (6,900)	6,492	6,732	6,924	7,608	11,292
執行率（%）	99.4	89.2					
介護給付（回）	51,849 (52,884)	51,146 (58,032)	51,420	53,372	54,786	60,277	89,608
執行率（%）	98.0	88.1					
予防給付（人）	948 (1,116)	1,032 (1,200)	984	1,032	1,080	1,200	1,680
執行率（%）	84.9	86.0					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑦居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	8,796 (7,776)	9,372 (8,520)	10,344	11,208	11,376	12,900	18,168
執行率（%）	113.1	110.0					
予防給付（人）	312 (276)	324 (336)	336	348	372	396	600
執行率（%）	113.0	96.4					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑧短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	6,192 (6,360)	6,216 (6,864)	6,336	6,612	6,660	7,344	9,864
執行率（%）	97.3	90.6					
介護給付（日）	91,297 (98,174)	94,415 (106,867)	95,642	100,284	100,424	110,528	152,016
執行率（%）	93.0	88.3					
予防給付（人）	60 (84)	72 (96)	36	36	36	48	60
執行率（%）	71.4	75.0					
予防給付（日）	341 (452)	388 (530)	204	204	204	306	408
執行率（%）	75.4	73.2					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑨短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	624 (588)	732 (624)	684	756	828	1,044	2,088
執行率（%）	106.1	117.3					
介護給付（日）	3,936 (4,127)	4,484 (4,368)	4,606	5,033	5,398	6,653	12,511
執行率（%）	95.4	102.7					
予防給付（人）	12 (12)	0 (12)	0	0	0	0	0
執行率（%）	100.0	0					
予防給付（日）	62 (54)	8 (54)	0	0	0	0	0
執行率（%）	114.8	14.8					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑩特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	106 (102)	109 (104)	131	135	137	144	194
執行率（%）	103.9	104.8					
予防給付（人）	9 (8)	14 (6)	19	20	21	24	33
執行率（%）	112.5	233.3					

※（　　）は第７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

⑪福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	23,832 (22,032)	25,008 (23,244)	28,536	30,912	31,572	34,728	51,672
執行率（%）	108.2	107.6					
予防給付（人）	3,348 (3,612)	3,936 (4,164)	4,644	5,016	5,364	5,640	8,544
執行率（%）	92.6	94.5					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑫特定福祉用具購入・特定介護予防福祉用具購入

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	384 (432)	384 (480)	456	480	504	576	1,044
執行率（%）	88.8	80.0					
予防給付（人）	72 (108)	72 (108)	60	72	72	96	132
執行率（%）	67.6	66.7					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑬住宅改修・介護予防住宅改修

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	264 (300)	264 (312)	264	276	288	324	480
執行率（%）	88.0	84.6					
予防給付（人）	96 (132)	108 (144)	84	84	84	84	132
執行率（%）	72.7	75.0					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑭居宅介護支援・介護予防支援

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	40,416 (38,916)	41,592 (40,644)	43,332	45,384	47,148	52,464	79,536
執行率（%）	103.9	102.3					
予防給付（人）	4,812 (8,856)	5,448 (9,156)	5,988	6,420	6,780	7,284	10,920
執行率（%）	54.3	59.5					

※（　　）は第７期計画時の推計値

（２）地域密着型サービス

地域密着型サービスの実績をみると、「夜間対応型訪問介護」や「地域密着型特定施設入居者生活介護」の利用実績はなく、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」が、平成 30 年度と令和元年度ともに計画値を実績値が上回っています。

また、地域密着型サービスの推計は、直近の実績から各種サービスの利用率、一人あたり利用回数を基に算出しており、全体的には増加傾向が見込まれます。

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	0 (0)	12 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	―	―					

※（　　）は第７期計画時の推計値

②夜間対応型訪問介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	―	―					

※（　　）は第７期計画時の推計値

③地域密着型通所介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	3,228 (3,588)	3,228 (4,080)	3,264	3,324	3,360	3,516	4,044
執行率（%）	90.0	79.1					
介護給付（回）	30,297 (35,226)	30,270 (40,594)	32,470	33,264	33,701	35,609	42,116
執行率（%）	86.0	74.6					

※（　　）は第７期計画時の推計値

④認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	36 (84)	60 (108)	72	72	72	96	156
執行率（%）	42.8	55.5					
介護給付（回）	615 (1,098)	777 (1,373)	1,018	1,048	1,068	1,286	2,509
執行率（%）	56.0	56.6					
予防給付（人）	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	―	―					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑤小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	936 (924)	936 (972)	1,068	1,140	1,200	1,320	2,088
執行率（%）	101.2	96.3					
予防給付（人）	120 (108)	120 (108)	84	84	96	108	168
執行率（%）	111.1	111.1					

※（　　）は第７期計画時の推計値

⑥認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	299 (297)	301 (309)	302	305	308	312	485
執行率（%）	100.7%	97.4%					
予防給付（人）	1 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	―	―					

※（　　）は第７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

⑦地域密着型特定施設入居者生活介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0
執行率（%）	—	—					

※（　　）は第 7 期計画時の推計値

⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	144 (124)	145 (124)	199	199	199	210	272
執行率（%）	116.1	116.9					

※（　　）は第 7 期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

⑨看護小規模多機能型居宅介護

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	228 (288)	204 (300)	216	228	240	264	636
執行率（%）	78.8	68.0					

※（　　）は第 7 期計画時の推計値

【地域密着型サービス定員数の見込み量】

（人）

		令和３年度 (2021 年度)	令和４年度 (2022 年度)	令和５年度 (2023 年度)
認知症対応型共同生活介護	筑波圏域	72	72	72
	大穂圏域	63	63	63
	豊里圏域	18	18	18
	桜圏域	27	27	27
	谷田部東圏域	27	27	27
	谷田部西圏域	69	69	69
	茎崎圏域	36	36	36
	市全体	**312**	**312**	**312**
地域密着型特定施設入居者生活介護	筑波圏域	0	0	0
	大穂圏域	0	0	0
	豊里圏域	0	0	0
	桜圏域	0	0	0
	谷田部東圏域	0	0	0
	谷田部西圏域	0	0	0
	茎崎圏域	0	0	0
	市全体	**0**	**0**	**0**
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	筑波圏域	29	29	29
	大穂圏域	29	29	29
	豊里圏域	29	29	29
	桜圏域	29	29	29
	谷田部東圏域	29	29	29
	谷田部西圏域	29	29	29
	茎崎圏域	29	29	29
	市全体	**203**	**203**	**203**

（３）施設サービス

施設サービスの実績をみると、「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」ともにほぼ計画通りの実績となっています。

また、施設サービスの推計は、直近の実績から各種サービスの利用率、一人あたり利用回数を基に算出しています。

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	605 (602)	609 (602)	603	605	750	754	854
執行率（%）	100.5	101.2					

※（　　）は第７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

②介護老人保健施設（老人保健施設）

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	587 (586)	590 (592)	613	615	630	630	720
執行率（%）	100.2	99.7					

※（　　）は第７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

③介護医療院

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	2 (0)	4 (0)	4	4	4	12	18
執行率（%）	―	―					

※（　　）は第７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

④介護療養型医療施設

	実績		推計				
年度	H30(2018)	R 1 (2019)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付（人）	2 (5)	1 (5)	0	0	0	0	0
執行率（%）	40.0	20.0					

※（　　）は第７期計画時の推計値、人数÷12 カ月で算定

3　日常生活圏域ごとの整備状況

（１）日常生活圏域ごとの整備状況（地域密着型サービス）

（令和３年４月１日見込）（人）

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	デルフィ	医療法人　恵仁会	筑波	18	72
2	幸寿苑	有限会社　弥久	筑波	18	
3	作谷長寿館	株式会社　長寿館	筑波	18	
4	いちさと筑波	東成産業　株式会社	筑波	18	
5	ファミーユ	医療法人　健佑会	大穂	27	63
6	つくしの森	医療法人社団　柴原医院	大穂	18	
7	みどりの森	医療法人社団　柴原医院	大穂	18	
8	あいリレーとよさと	株式会社　アイリレーとよさと	豊里	18	18
9	ほほえみ	有限会社　ほほえみ	桜	9	27
10	楓	株式会社　メディカルアシスト	桜	18	
11	いっしん館つくば	株式会社　いっしん	谷田部東	18	27
12	美桜	有限会社　ライフファクトリー	谷田部東	9	
13	いちさと	東成産業　株式会社	谷田部西	15	69
14	たんぽぽ	株式会社　キュート	谷田部西	27	
15	自然の家	日新興業　株式会社	谷田部西	9	
16	筑水苑	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	18	
17	いちょうの木	社会福祉法人　愛信会	茎崎	18	36
18	あおぞら六斗	有限会社　アートライフ	茎崎	18	
小規模多機能型居宅介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	あいリレー・ケアホームつくば	株式会社　つくばエデュース	大穂	29	29
2	豊里長寿館	株式会社　長寿館	豊里	25	25
3	楓	株式会社　メディカルアシスト	桜	29	29
4	ケアサポート田村	社会福祉法人　筑南会	谷田部西	25	25
看護小規模多機能型居宅介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	看護小規模多機能型なかよし	医療法人社団　健康尚仁会	筑波	25	25
認知症対応型通所介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	デイサービス美桜	有限会社　ライフファクトリー	谷田部東	12	12

※地域密着型特養除く

（人）

地域密着型通所介護					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	お泊りデイサービスいこい	株式会社　SC	大穂 (R2 年度新規)	15	15
2	デイサービスうちね	株式会社　内根	桜	10	63
3	指定通所介護事業所ほほえみ	有限会社　ほほえみ	桜	10	
4	だんらんの家　テクノパーク桜	株式会社　エルイック	桜 (H30 年度新規)	10	
5	つくばの杜指定通所介護事業所	社会福祉法人　勘翁慈温会	桜 (H30 年度新規)	18	
6	レコードブックつくば竹園	P-can　株式会社	桜	15	
7	葛城デイサービスセンター	社会福祉法人　葛城福祉会	谷田部東	18	28
8	デイサービスゆとりえ春日	株式会社　アネックス	谷田部東	10	
9	デイサービス自然の家	日新興業　株式会社	谷田部西	10	73
10	サンシャインデイサービスセンター	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	15	
11	デイサービスセンターＶＩＶＩＤつくば	株式会社　つくばアクアライフ	谷田部西	15	
12	トレランス田村デイサービスセンター	社会福祉法人　筑南会	谷田部西	18	
13	でいさ～びす木の花さくや	社会福祉法人　のぞみ会	谷田部西	15	

※地域密着型特養除く


0 1km 2km
グループホーム
小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能型居宅介護
認知症対応型通所介護
地域密着型通所介護
幸寿苑
デルフィ
作谷長寿館
看護小規模多機能型なかよし
いちさと筑波
国道125号
筑波圏域
ファミーユ
あいリレー・ケアホームつくば
つくしの森
大穂圏域
デイサービスゆとりえ春日
みどりの森
ほほえみ
国道408号
あいリレーとよさと
指定通所介護事業所ほほえみ
養生園
豊里圏域
だんらんの家テクノパーク桜
豊里長寿館
桜圏域
デイサービスうちね
葛城デイサービスセンター
つくばの社指定通所介護事業所
でいさ～びす木の花さくや
研究学園駅
つくば駅
楓
デイサービスセンターVIDIつくば
楓
谷田部西圏域
つくば中央IC
いちさと
谷田部東圏域
万博記念公園駅
桜土浦IC
築水苑
いっしん館つくば
つくばエクスプレス
つくばJC
国道354号
美桜
サンシャインデイサービスセンター
みどりの駅
谷田部IC
つくば学生久IC
国道6号
牛久土浦バイパス
荒川沖駅
デイサービス美桜
トレランス田村デイサービスセンター
自然の家
常磐自動車道
ひたちのうしく駅
ケアサポート田村
茎崎圏域
牛久阿見IC
デイサービス自然の家
たんぽぽ
牛久駅
JR常磐線
いちょうの木
あおぞら六斗

（２）日常生活圏域の整備状況（施設･有料老人ホーム）

（令和３年４月１日見込）（人）

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	筑波園	社会福祉法人　恵愛会	筑波	110	110
2	シニアガーデン	社会福祉法人　健誠会	大穂	50	50
3	美健荘	社会福祉法人　豊里園	豊里	50	50
4	つくばの杜	社会福祉法人　勘翁慈温会	桜	50	50
5	新つくばホーム	社会福祉法人　筑南会	谷田部東	85	155
6	はなみずき	社会福祉法人　筑竜会	谷田部東	70	
7	アイリスコート	社会福祉法人　二希会	谷田部西	50	120
8	木の花さくや	社会福祉法人　のぞみ会	谷田部西	70	
9	くきの里	社会福祉法人　愛信会	茎崎	50	110
10	大地と大空	社会福祉法人　欣水会	茎崎	60	
介護老人保健施設					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	アレーテル・つくば	医療法人　恵仁会	筑波	100	300
2	豊浦	医療法人社団　桜水会	筑波	100	
3	なでしこ	医療法人　重陽会	筑波	100	
4	つくばケアセンター	医療法人社団　筑波記念会	大穂	100	200
5	つくばリハビリテーションセンター	医療法人　健佑会	大穂	100	
6	そよかぜ	一般財団法人　筑波麓仁会	谷田部西	100	180
7	プレミエール元気館	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	80	
8	ひまわり	医療法人社団　双愛会	茎崎	78	78
特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム混合型)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	らいふつくば花畑	株式会社　とんぼらいふ	大穂	30	75
2	つくばメディケアレジデンス	有限会社　ケイエム企画	大穂	45	
3	サンシャインつくばリゾート	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部東 (R2 年度新規)	50	50
4	サンシャイン・ヴィラつくば倶楽夢	医療法人社團　みなみつくば會	谷田部西	68	68

（人）

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(地域密着型特別養護老人ホーム)					
名称		法人名	日常生活圏域	定員	圏域定員
1	シニアガーデン アネックス	社会福祉法人　健誠会	筑波	29	29
2	シニアガーデン別館	社会福祉法人　健誠会	大穂	29	29
3	フロンティア	社会福祉法人　博愛会	豊里	29	29
4	桜華	社会福祉法人　千羽鶴	桜 (R2 年度新規)	29	29
5	はなみずきサテライト	社会福祉法人　筑竜会	谷田部東 (R2 年度新規)	29	29
6	トレランス田村	社会福祉法人　筑南会	谷田部西	29	29
7	ユニット型特別養護 老人ホーム いちょうの木	社会福祉法人　愛信会	茎崎	29	29

※地域密着型特養含む



＜今期計画の整備方針＞

介護保険施設の整備状況を踏まえ、今計画期間中に特別養護老人ホーム 70 床を 1 施設、既存の特別養護老人ホームの 40 床増床を 2 施設、既存の老人保健施設の 20 床増床を 1 施設整備していきます。

4 介護（予防）給付費等の推移と推計

（1）介護給付費の推移

平成 30 年度から令和元年度の増減率について、居宅サービスでは 104.5%、地域密着型サービスでは 101.0%、施設サービスでは 102.2%となっています。

（千円）

区分		H30(2018)	R 1 (2019)	増減率（%）
居宅サービス	訪問介護	649,083	671,718	103.5%
	訪問入浴介護	96,252	85,634	89.0%
	訪問看護	285,467	301,584	105.6%
	訪問リハビリテーション	90,792	91,672	101.0%
	居宅療養管理指導	85,986	92,903	108.0%
	通所介護	1,614,795	1,728,370	107.0%
	通所リハビリテーション	448,769	440,081	98.1%
	短期入所生活介護	761,048	795,076	104.5%
	短期入所療養介護（老健）	41,301	49,520	119.9%
	短期入所療養介護（療養型）	655	806	123.1%
	短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	—
	福祉用具貸与	316,122	332,443	105.2%
	特定福祉用具購入	9,849	10,062	102.2%
	住宅改修	24,813	25,146	101.3%
	特定施設入居者生活介護	242,543	250,621	103.3%
	居宅介護支援	608,733	636,879	104.6%
	居宅サービス　小計	5,276,208	5,512,515	104.5%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1,876	—
	夜間対応型訪問介護	0	0	—
	地域密着型通所介護	241,583	239,339	99.1%
	認知症対応型通所介護	6,992	7,754	110.9%
	小規模多機能型居宅介護	192,164	191,830	99.8%
	認知症対応型共同生活介護	906,004	921,942	101.8%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	464,178	473,609	102.0%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	—
	看護小規模多機能型居宅介護	50,079	43,240	86.3%
	地域密着型サービス　小計	1,861,000	1,879,590	101.0%
施設サービス	介護老人福祉施設	1,889,844	1,932,073	102.2%
	介護老人保健施設	1,915,245	1,952,070	101.9%
	介護医療院	7,876	16,717	212.3%
	介護療養型医療施設	8,040	4,215	52.4%
	施設サービス小計	3,821,005	3,905,075	102.2%
介護給付費　合計		10,958,213	11,297,180	103.1%

（２）介護給付費の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の介護給付費をみると、10 億円程度増加することが見込まれます。

また、令和 22 年(2040 年)の見込額は 190 億円程度となることが予想されます。

（千円）

区分		R３(2021)	R４(2022)	R５(2023)	R７(2025)	R22(2040)
居宅サービス	訪問介護	717,815	790,206	810,360	939,296	1,400,557
	訪問入浴介護	90,961	99,688	94,665	106,284	148,869
	訪問看護	348,124	380,427	390,812	440,984	622,712
	訪問リハビリテーション	83,029	89,764	92,922	106,309	172,951
	居宅療養管理指導	100,563	109,053	110,589	125,594	176,549
	通所介護	1,814,984	1,917,562	1,978,774	2,188,076	3,355,380
	通所リハビリテーション	439,043	456,758	466,841	515,134	771,449
	短期入所生活介護	820,214	862,329	861,365	948,654	1,309,629
	短期入所療養介護（老健）	52,220	56,949	60,683	74,248	137,080
	短期入所療養介護（療養型）	0	0	0	0	0
	短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	0	0	0
	福祉用具貸与	386,414	418,857	423,125	466,528	688,533
	特定福祉用具購入	12,770	13,395	14,153	16,046	28,817
	住宅改修費	24,294	25,495	26,520	29,895	44,188
	特定施設入居者生活介護	315,653	325,328	329,380	345,940	464,362
	居宅介護支援	669,282	702,575	728,710	812,777	1,227,233
	居宅サービス　小計	5,875,366	6,248,386	6,388,899	7,115,765	10,548,309
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0	0	0
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0
	地域密着型通所介護	270,290	278,065	282,171	300,624	361,615
	認知症対応型通所介護	10,720	11,042	11,262	13,465	26,295
	小規模多機能型居宅介護	217,082	233,513	245,168	270,972	433,262
	認知症対応型共同生活介護	974,442	984,740	965,407	997,197	1,551,796
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	689,326	690,188	690,893	727,246	943,662
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
	看護小規模多機能型居宅介護	45,666	47,431	50,497	56,244	132,123
	地域密着型サービス　小計	2,207,526	2,244979	2,245,398	2,365,748	3,448,753
施設サービス	介護老人福祉施設	1,974,478	1,981,569	2,451,325	2,464,090	2,783,242
	介護老人保健施設	2,117,346	2,125,681	2,178,556	2,182,782	2,497,889
	介護医療院	11,734	11,740	11,740	33,166	50,263
	介護療養型医療施設	19,028	22,212	25,385	―	―
	施設サービス小計	4,122,586	4,141202	4,667,006	4,680,038	5,331,394
介護給付費　合計		12,205,478	12,634,567	13,301,303	14,161,551	19,328,456

（３）介護予防給付費の推移

平成 30 年度から令和元年度の増減率について、介護予防サービスでは 108.6%、地域密着型介護予防サービスでは 78.0%となっています。

（千円）

区分		H30(2018)	R１(2019)	増減率（%）
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	0	0	―
	介護予防訪問看護	28,318	25,389	89.7%
	介護予防訪問リハビリテーション	11,758	12,480	106.1%
	介護予防居宅療養管理指導	3,034	3,064	101.0%
	介護予防通所リハビリテーション	34,482	36,465	105.8%
	介護予防短期入所生活介護	1,991	1,898	95.3%
	介護予防短期入所療養介護（老健）	413	86	20.8%
	介護予防短期入所療養介護（病院等）	0	0	―
	介護予防短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	―
	介護予防福祉用具貸与	24,984	29,728	119.0%
	特定介護予防福祉用具購入	1,670	1,708	102.3%
	介護予防住宅改修	10,190	11,024	108.2%
	介護予防特定施設入居者生活介護	7,529	11,602	154.1%
	介護予防支援	22,911	26,456	115.5%
	介護予防サービス　小計	147,280	159,900	108.6%
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	―
	介護予防小規模多機能型居宅介護	8,347	8,053	96.5%
	介護予防認知症対応型共同生活介護	2,588	478	18.5%
	地域密着型介護予防サービス　小計	10,935	8,531	78.0%
予防給付費　合計		158,215	168,431	106.5%

（４）介護予防給付費の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の予防給付費をみると、２千万円程度増加することが見込まれます。

また、令和 22 年(2040 年)の見込額は３億円程度となることが予想されます。

（千円）

区分		R３(2021)	R４(2022)	R５(2023)	R７(2025)	R22(2040)
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0
	介護予防訪問看護	27,974	30,304	31,461	34,932	51,949
	介護予防訪問リハビリテーション	11,158	12,243	13,321	16,906	34,897
	介護予防居宅療養管理指導	3,252	3,359	3,595	3,832	5,826
	介護予防通所リハビリテーション	35,005	36,599	38,173	42,109	58,770
	介護予防短期入所生活介護	2,015	2,689	3,361	2,689	2,016
	介護予防短期入所療養介護	0	0	0	0	0
	介護予防福祉用具貸与	36,624	39,552	42,281	44,465	67,342
	特定介護予防福祉用具購入	1,444	1,721	1,721	2,304	3,165
	介護予防住宅改修	8,248	8,248	8,248	8,248	12,914
	介護予防特定施設入居者生活介護	15,519	16,233	16,938	19,586	26,997
	介護予防支援	29,565	31,716	33,496	35,986	53,945
	介護予防サービス　小計	170,804	182,664	192,595	211,057	317,821
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0
	介護予防小規模多機能型居宅介護	5,633	5,636	6,655	7,175	11,272
	介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0
	地域密着型介護予防サービス　小計	5,633	5,636	6,655	7,175	11,272
予防給付費　合計		176,437	188,300	199,250	218,232	329,093

（５）保険給付額全体の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の標準給付見込額をみると、令和３年度の 131 億円から令和５年の 143 億円と 12 億円程度の増加が見込まれます。

また、令和 22 年(2040 年)の見込額では 210 億円程度となることが予想されます。

（千円）

区分	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護給付費計	12,205,478	12,634,567	1,3301,303	14,161,551	19,328,456
予防給付費計	176,437	188,300	199,250	218,232	329,093
特定入所者介護サービス費等給付費	427,595	444,097	462,506	496,982	762,002
高額介護サービス費等給付額	288,133	299,253	311,658	334,889	513,472
高額医療合算介護サービス費等給付額	32,208	33,451	34,837	37,434	57,396
審査支払手数料	10,070	10,459	10,893	11,705	17,946
標準給付費見込額	13,139,921	13,610,127	14,320,447	15,260,793	21,008,365

（６）地域支援事業費の推移

平成 30 年度から令和元年度の増減率をみると、介護予防・日常生活支援総合事業費では 108.3%、包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業では 120.9%、包括的支援事業（社会保障充実分）では、113.3%となっています。

また、地域支援事業費の総計では増減率は 113.8%となっており、7 千万円程度増加しています。

（千円）

区分			H30(2018)	R 1 (2019)	増減率（%）
介護予防・日常生活支援総合事業	訪問型サービス（第１号訪問事業）		38,952	42,012	107.9%
		介護予防訪問介護相当サービス	38,646	41,530	107.5%
		訪問型サービスＡ（基準緩和型）	0	0	―
		訪問型サービスＣ（短期集中予防サービス）	306	482	157.5%
	通所型サービス（第１号通所事業）		158,528	181,294	114.4%
		介護予防通所介護相当サービス	158,528	181,294	114.4%
		通所型サービスＡ（基準緩和型）	0	0	―
	介護予防ケアマネジメント（第１号介護予防支援事業）		23,870	24,927	104.4%
	高額介護予防サービス費相当事業等		261	616	236.0%
	一般介護予防事業		39,978	34,421	86.1%
		介護予防把握事業	0	0	―
		介護予防普及啓発事業	28,736	32,618	113.5%
		地域介護予防活動支援事業	11,242	1,762	15.7%
		一般介護予防事業評価事業	0	0	―
		地域リハビリテーション活動支援事業	0	41	―
	上記以外の介護予防・日常生活支援総合事業		728	785	107.8%
	計		262,317	284,055	108.3%
包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）		157,386	197,476	125.5%
	任意事業		53,187	57,013	107.2%
		介護給付等費用適正化事業	4,807	4,906	102.1%
		家族介護支援事業	44,868	48,064	107.1%
		その他の事業	3,512	4,043	115.1%
	計		210,573	254,489	120.9%
包括的支援事業（社会保障充実分）	在宅医療・介護連携推進事業		9,316	9,788	105.1%
	生活支援体制整備事業		18,745	23,784	126.9%
	認知症初期集中支援推進事業		21,049	17,759	84.4%
	認知症地域支援・ケア向上事業		960	5,240	545.8%
	地域ケア会議推進事業		155	344	223.4%
	計		50,225	56,915	113.3%

（千円）

区分		H30(2018)	R 1 (2019)	増減率（%）
地域支援事業費　計		523,115	595,459	113.8%
	介護予防・日常生活支援総合事業費	262,317	284,055	108.3%
	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業費	210,573	254,489	120.9%
	包括的支援事業（社会保障充実分）	50,225	56,915	113.3%

（７）地域支援事業費の見込額

令和３年度から令和５年度までの計画期間中の地域支援事業費をみると、令和３年度の 7.2 億円から令和５年度の 7.8 億円と６千万円程度増加が見込まれます。

（千円）

区分		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
介護予防・日常生活支援総合事業	訪問型サービス（第１号訪問事業）	50,531	54,129	58,630	64,432	99,906
	介護予防訪問介護相当サービス	47,978	51,576	55,444	59,970	93,915
	訪問型サービスＡ(基準緩和型)	633	633	1,266	1,899	2,658
	訪問型サービスＣ（短期集中予防サービス）	1,920	1,920	1,920	2,563	3,333
	通所型サービス（第１号通所事業）	231,303	255,042	279,676	335,223	686,434
	介護予防通所介護相当サービス	230,409	254,148	277,888	332,541	682,680
	通所型サービスＡ(基準緩和型)	894	894	1,788	2,682	3,754
	介護予防ケアマネジメント（第１号介護予防支援事業）	27,974	29,069	30,260	32,793	57,377
	高額介護予防サービス費相当事業等	872	962	1061	1290	4681
	一般介護予防事業	35,453	35,453	35,453	35,453	35,453
	介護予防把握事業	0	0	0	0	0
	介護予防普及啓発事業	32,757	32,757	32,757	32,757	32,757
	地域介護予防活動支援事業	2,337	2,337	2,337	2,337	2,337
	一般介護予防事業評価事業	0	0	0	0	0
	地域リハビリテーション活動支援事業	359	359	359	359	359
	上記以外の介護予防・日常生活支援総合事業	848	870	892	938	1,374
	計	346,981	375,525	405,972	470,129	885,225
包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	249,296	249,296	249,296	249,296	249,296
	任意事業	49,746	49,746	49,746	49,746	49,746
	介護給付等費用適正化事業	5,686	5,686	5,686	5,686	5,686
	家族介護支援事業	40,045	40,045	40,045	40,045	40,045
	その他の事業	5,509	5,509	5,509	5,509	5,509
	計	299,042	299,042	299,042	299,042	299,042
包括的支援事業（社会保障充実分）	在宅医療・介護連携推進事業	10,709	10,709	10,709	10,709	10,709
	生活支援体制整備事業	41,051	41,051	41,051	41,051	41,051
	認知症初期集中支援推進事業	21,094	21,094	21,094	21,094	21,094
	認知症地域支援・ケア向上事業	5,816	5,816	5,816	5,816	5,816
	地域ケア会議推進事業	584	584	584	584	584
	計	79,254	79,254	79,254	79,254	79,254

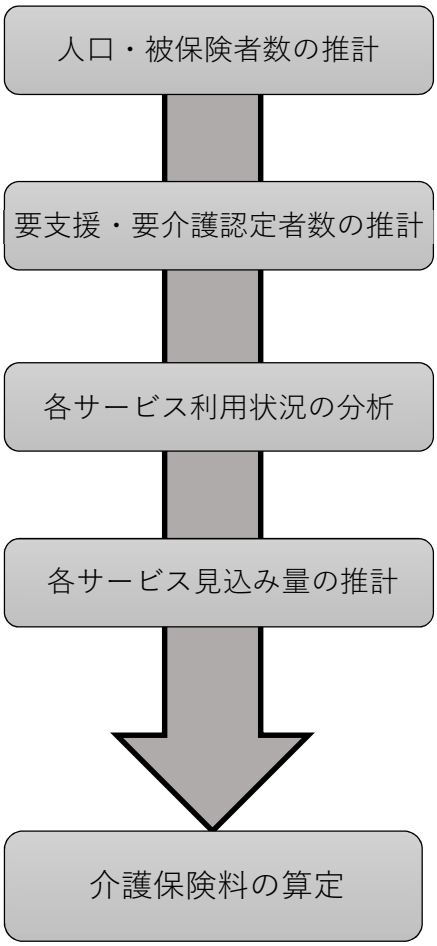
（千円）

区分		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 7 (2025)	R 22(2040)
地域支援事業費　計		725,277	753,821	784,268	848,425	1,263,521
	介護予防・日常生活支援総合事業費	346,981	375,525	405,972	470,129	885,225
	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業費	299,042	299,042	299,042	299,042	299,042
	包括的支援事業（社会保障充実分）	79,254	79,254	79,254	79,254	79,254

第８章　介護保険料の見込み額

１　介護保険料の算出について

計画期間の要介護認定者及び各種サービス量の見込みにあたっては、以下の手順で介護保険事業量を推計し、介護保険料を算定します。



・計画期間の令和３年度から令和５年度及び「団塊の世代」が 75 歳以上の後期高齢者となる令和７年度(2025 年度)、「団塊ジュニア」が高齢者にさしかかる令和 22 年度(2040 年度)までの推計を行いました。

・人口や被保険者数の推計とこれまでの介護保険事業の実績をもとに、要支援・要介護認定者を推計しました。

・平成 30 年度から令和２年度のサービスごとの給付分析を行い、利用回数や利用人数等のデータから、今後の需要動向を検討しました。

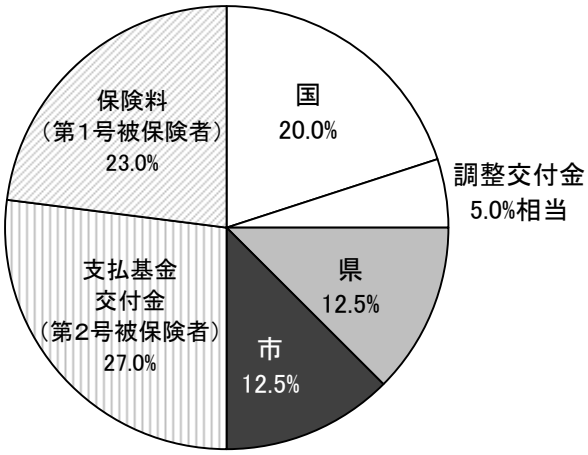
・推計した要支援・要介護認定者数や，各サービスの利用状況をもとに、施設、居住系サービス及び在宅サービス等の見込み量を「見える化」システムにて算出しました。

・被保険者数、要支援・要介護認定者数、サービス見込み量等をもとに給付費の総額、及び地域支援事業費の総額等を推計し、第１号被保険者の保険料を算出しました。

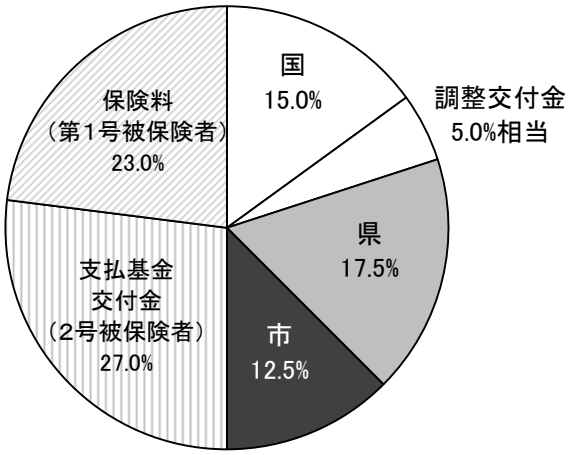
2　介護保険事業の財源構成

介護保険サービス給付の財源及び地域支援事業の財源として、第１号被保険者の負担割合は 23.0％になっています。

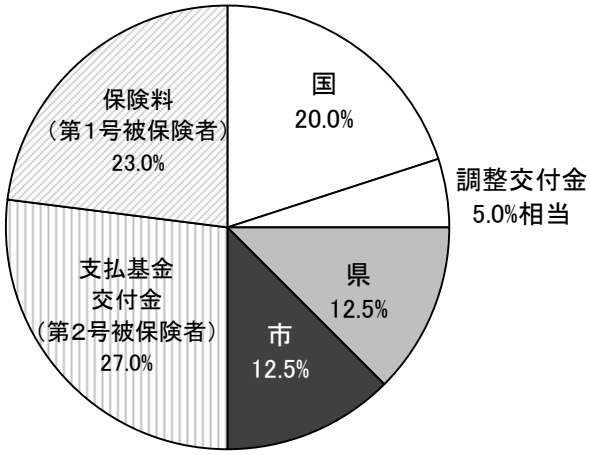
居宅給付費



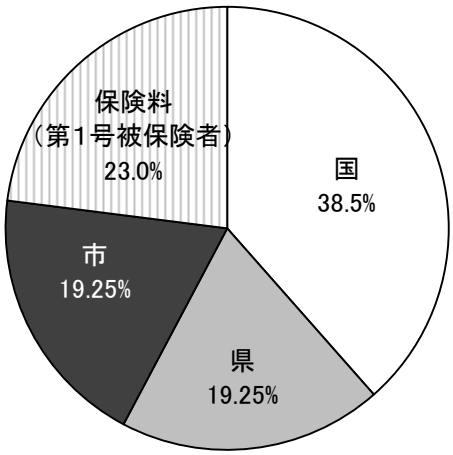
施設等給付費



介護予防・日常生活支援総合事業



包括的支援事業・任意事業



保険給付に要する費用の財源は、40 歳以上の被保険者が負担する保険料と、国・都道府県・市町村が負担する公費でまかなわれ、保険料と公費の割合は原則として 50％ずつとなっています。

3　保険料収納必要額

（千円）

区分	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	合　計
費用合計額　（A）				
標準給付費　（B）				
地域支援事業費				
介護予防・日常生活支援総合事業費（C）				
包括的支援事業(地域包括支援センターの運営）及び任意事業費				
包括的支援事業（社会保障充実分）				
第１号被保険者負担分相当額　（D）（A×23%）				
調整交付金相当額　（E）（（B+C）×5%）				
調整交付金見込割合　（F）				
調整交付金見込額　（G）（（B+C）×F）				
保険料収納必要額（D+E-G）（H）				

算定中

４　保険料基準額の算定

保険料収納必要額から、介護給付費準備基金の取崩額を差し引き、予定収納率で割り、令和３年度から令和５年度の３年間の計画期間中の所得段階別加入割合補正後の被保険者数で割ると介護保険料基準額が算出されます。

この結果、第８期計画の期間における介護保険料の基準額は、年額で　　円、月額で　　円となります。

なお、介護給付費準備基金の取り崩しにより、月額で　　円下げる結果となります。

((A)～(C)・(E)は千円、(F)は人、(G)・(H)は円)

区分	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	合計
保険料収納必要額　（A）				
介護給付費準備基金取崩額　（B）				
実質保険料収納必要額（A-B）（C）				
予定収納率　（D）				
保険料賦課額（C÷D）　（E）				
所得段階別加入割合補正後被保険者数　（F）				
保険料基準額（年額）　（G）				
保険料基準額（月額）　（H）				

算定中

公費による低所得者の保険料軽減

介護保険制度を維持するためには、所得の低い被保険者に対しても、一定の負担を求める必要があります。

低所得者に対する配慮として、本計画期間においても、国・茨城県・本市の公費を投入して、引き続き市民税非課税世帯の保険料率を引き下げることとします。

5　保険料基準額の算定

保険料額の算定に基づき、第８期計画期間である令和３年度から令和５年度の所得段階別の保険料額は、下記のとおりとなります。

<table>
<tr><th>段階</th><th colspan="3">対象者</th><th>保険料率</th><th>年間保険料額（円）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第１段階</td><td colspan="3">生活保護受給者及び老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税者</td><td rowspan="2">0.5</td><td rowspan="17">算定中</td></tr>
<tr><td rowspan="3">本人及び世帯全員が市民税非課税者</td><td colspan="2">本人の前年の公的年金等収入金額と合計所得金額の合計が 80 万円以下の方</td></tr>
<tr><td>第２段階</td><td>本人の前年の公的年金等収入金額と合計所得金額の合計が 80 万円を超え、120 万円以下の方</td><td>0.73</td></tr>
<tr><td>第３段階</td><td>本人の前年の公的年金等収入金額と合計所得金額の合計が 120 万円を超える方</td><td>0.73</td></tr>
<tr><td>第４段階</td><td colspan="3">本人が市民税非課税者で世帯員に市民税課税者がいる方のうち、本人の前年の公的年金等収入金額と合計所得金額の合計が 80 万円以下の方</td><td>0.88</td></tr>
<tr><td>第５段階
基準保険料</td><td colspan="3">本人が市民税非課税者で世帯員に市民税課税者がいる方のうち、本人の前年の公的年金等収入金額と合計所得金額の合計が 80 万円を超える方</td><td>1.0</td></tr>
<tr><td>第６段階</td><td rowspan="11">本人が市民税課税者</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 120 万円未満の方</td><td>1.18</td></tr>
<tr><td>第７段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 120 万円以上 210 万円未満の方</td><td>1.3</td></tr>
<tr><td>第８段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 210 万円以上 320 万円未満の方</td><td>1.5</td></tr>
<tr><td>第９段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 320 万円以上 400 万円未満の方</td><td>1.7</td></tr>
<tr><td>第 10 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 400 万円以上 500 万円未満の方</td><td>1.8</td></tr>
<tr><td>第 11 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 500 万円以上 600 万円未満の方</td><td>1.9</td></tr>
<tr><td>第 12 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 600 万円以上 700 万円未満の方</td><td>2.0</td></tr>
<tr><td>第 13 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 700 万円以上 800 万円未満の方</td><td>2.1</td></tr>
<tr><td>第 14 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 800 万円以上 900 万円未満の方</td><td>2.2</td></tr>
<tr><td>第 15 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 900 万円以上 1,000 万円未満の方</td><td>2.3</td></tr>
<tr><td>第 16 段階</td><td colspan="2">前年の合計所得金額が 1,000 万円以上の方</td><td>2.4</td></tr>
</table>

6　保険料基準額の推移

保険料基準額（保険料率 1.0）の推移を第 1 期計画期間から第 8 期計画期間で比較すると、下記のとおりとなります。

第 1 号被保険者の保険料の推移

区分	基準額（円）		上昇率
	年額	月額	
第 1 期（平成 12 年度～平成 14 年度）	32,100 円	2,680 円	―
第 2 期（平成 15 年度～平成 17 年度）	32,100 円	2,680 円	0.0%
第 3 期（平成 18 年度～平成 20 年度）	46,500 円	3,875 円	44.6%
第 4 期（平成 21 年度～平成 23 年度）	49,500 円	4,125 円	6.5%
第 5 期（平成 24 年度～平成 26 年度）	58,200 円	4,850 円	17.6%
第 6 期（平成 27 年度～平成 29 年度）	70,700 円	5,892 円	21.5%
第 7 期（平成 30 年度～令和 2 年度）	72,600 円	6,050 円	2.7%
第 8 期（令和 3 年度～令和 5 年度）	算定中		

資　料　編

1　つくば市高齢者福祉計画（第８期）策定経過

令和元年度

月　日	項　目	協議事項・内容等
9月20日	第1回 つくば市高齢者福祉推進会議	（1）つくば市高齢者福祉推進会議について （2）第8期高齢者福祉計画の概要について （3）第7期高齢者福祉計画の進捗状況評価について （4）第8期高齢者福祉計画の策定スケジュールについて （5）第8期高齢者福祉計画策定に向けたアンケート項目案について
令和2年 1月15日～ 2月17日	アンケート調査実施	

令和2年度

月　日	項　目	協議事項・内容等
6月17日	第2回　つくば市高齢者福祉推進会議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議）	アンケート調査結果について
8月25日	第3回　つくば市高齢者福祉推進会議	（1）アンケート調査結果の経年比較について （2）つくば市高齢者福祉計画（第7期）施策進捗状況評価について （3）つくば市高齢者福祉計画（第8期）骨子案について
10月27日	第4回　つくば市高齢者福祉推進会議	（1）委員からの事前質問票について （2）つくば市高齢者福祉計画（第8期）素案について
11月27日～ 12月27日	パブリックコメント実施	
令和3年 1月26日	第5回つくば市高齢者福祉推進会議	（1）パブリックコメント実施結果について （2）介護保険事業について

2　つくば市高齢者福祉推進会議設置要項

（設置）

第１条　つくば市における高齢者施策と介護保険事業等について広く意見を聴くため、つくば市高齢者福祉推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（協議事項）

第２条　推進会議は、次に掲げる事項を協議する。

（１）高齢者の保健福祉施策の総合的な推進に関すること。

（２）老人福祉計画の策定、進行管理及び評価に関すること。

（３）介護保険事業計画の策定、進行管理及び評価に関すること。

（４）高齢者居住安定確保計画の策定、進行管理及び評価に関すること。

（５）その他高齢者の保健福祉に関し必要な事項。

（構成）

第３条　推進会議は、委員 21 人以内で構成する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

（１）市民

（２）保健、医療、福祉又は高齢者に係る住宅政策等に関し学識経験を有する者

（３）保健、医療又は福祉関係団体を代表する者

（４）介護サービスに関する事業に従事する者

（任期）

第４条　委員の任期は、３年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

２　委員は、再任されることができる。

（推進会議）

第５条　推進会議に委員の互選により委員長及び副委員長をおく。

２　委員長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（推進会議の開催）

第６条　推進会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

２　委員長は、推進会議の議長となる。

３　推進会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。ただし、会議の招集が困難である場合等にあっては、開催に代えて書面の郵送により意見の聴取を行うことができるものとする。

（報告）

第７条　委員長は、市長に推進会議の結果を報告する。

（専門部会）

第８条　委員長は、専門的な事項を特に調査及び検討させる必要があると認めるときは、推進会議に諮り、専門部会を置くことができる。

（庶務）

第９条　推進会議の庶務は、保健福祉部高齢福祉課において処理する。

附　則

この要項は、平成 13 年 8 月 1 日から施行する。
この要項は、平成 16 年 10 月 1 日から施行する。
この要項は、平成 19 年 12 月 10 日から施行する。
この要項は、平成 22 年 6 月 22 日から施行する。
この要項は、平成 25 年 8 月 13 日から施行する。
この要項は、平成 28 年 5 月 17 日から施行する。
この要項は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
この要項は、令和 2 年 5 月 28 日から施行する。

3　つくば市高齢者福祉推進会議委員名簿

任期：令和元年（2019 年）9 月 20 日～令和 4 年（2022 年）3 月 31 日

役　職　名	氏　名	所　属
委員長	田宮　菜奈子	国立大学法人筑波大学
副委員長	山脇　博紀	国立大学法人筑波技術大学
	森田　信	市民（一般公募）介護保険第 1 号被保険者
	石川　益子	市民（一般公募）介護保険第 1 号被保険者
	織田　順	市民（一般公募）介護保険第 1 号被保険者
	室生　勝	市民（一般公募）介護保険第 1 号被保険者
	ホー　真美	市民（一般公募）介護保険第 2 号被保険者
	寺沼　源一	一般財団法人茨城県住宅管理センター
	成島　淨	一般社団法人つくば市医師会
	大河原 純也	つくば市歯科医師会
	吉場　勉	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会
	飯泉　孝司	つくば市民生委員児童委員連絡協議会
	斉藤　秀之	一般社団法人茨城県ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門職協会
	岩﨑　学	つくばケアマネジャー連絡会
	金野　信子	つくば市特別養護老人ホーム連絡会
	木村　聡	つくば市地域密着型サービス事業所連絡会
	梅原　久美子	つくば市地域密着型サービス事業所連絡会

（敬称略）

４　用語解説

あ 行

ＩＡＤＬ（手段的日常生活動作：Instrumental Activity Of Daily Living）

買物、電話、掃除、金銭管理などの生活活動を指します。個々が自立して生活するための身体動作よりも高次の活動の水準を図る指標として活用されます。

ＡＣＰ（アドバンスケアプランニング：Advance Care Planning）

終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、意思決定が出来なくなったときに備えて、本人に代わって意思決定をする人を決めておくプロセスを指します。

栄養改善

高齢者の毎日の営みである「食」を通じて、低栄養状態の改善を図り、高齢者の生活機能の維持・向上を目指します。

ＮＰＯ（エヌピーオー：Non Profit Organization）

「民間非営利組織」のことです。「利益拡大のためではなく、その使命の実現のために活動する」という組織です。狭義では、特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）として設立された組織をいいます。しかし、一般的にはボランティア団体や市民活動団体も含まれます。

か 行

介護医療院

介護療養型施設の受け皿となる、新しい介護保険施設です。「生活の場としての機能」を兼ね備えている、日常的に長期療養のための医療ケアが必要な重介護者を受け入れる、ターミナルケアや看取りも対応するという特徴があります。

介護支援専門員（ケアマネジャー）

介護保険制度において、ケアマネジメントを実施する有資格者です。介護保険制度を実施するために誕生した資格で 2000 年４月から開始され、介護保険制度運営の核となっています。

介護予防

要支援・要介護状態の発生をできる限り防ぐことをいいます。また、要介護等の状態にあっても、その悪化をできる限り改善又は防ぐこともいいます。

介護予防・日常生活支援総合事業

65 歳以上の方の多様なニーズに、地域の実情に応じた、多様なサービスを提供するもので、要支援者、事業対象者に向けた介護予防・生活支援サービス事業と、65 歳以上の方全員に向けた一般介護予防事業があります。

介護療養型医療施設（療養病床等）

療養病床などに入院する要介護者に対して、療養上の世話や医学的な見地からの看護・治療等を行う施設をいいます。

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

常に介護が必要で、自宅では介護ができない方が対象で、食事・入浴などの日常の介護や健康管理を受けられる施設です。

介護老人保健施設（老人保健施設）

病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な人が対象で、医学的な管理のもとでの介護や看護、リハビリを受けられる施設です。

看護小規模多機能型居宅介護

2015 年度より、「複合型サービス」から名称が変更となりました。要介護度が高くなった人や医療的ケアが必要になった人でも、できるだけ自宅を中心として日常生活を送ることができるよう支援するサービスをいいます。

基本チェックリスト

生活機能の低下のおそれがある高齢者を早期に把握し、介護予防・日常生活支援総合事業へつなげることにより状態悪化を予防するためのもので、全 25 項目の質問で構成されています。

キャラバン・メイト

認知症サポーターを養成するために開催する認知症サポーター養成講座の講師を、基本的にボランティアで務める人のことです。キャラバン・メイトになるには研修を受ける必要があります。

居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問して、必要な療養上の健康管理や保健指導を行うサービスをいいます。

ケアプラン

要介護・要支援者の希望に沿った介護サービスを提供するための計画をいいます。介護支援専門員（ケアマネジャー）が作成します。

ケアマネジメント

利用者一人ひとりのニーズに沿った最適なサービスを提供できるよう、地域で利用できる様々な資源を最大限に組み合わせ、調整することをいいます。

さ行

サービス付き高齢者向け住宅

バリアフリー化された居住空間に加え、安否確認と生活相談のほか、必要に応じて介護サービスや医療サービスを提供する高齢者向け住宅です。

社会福祉協議会

全国社会福祉協議会の下に都道府県、市町村のそれぞれの行政単位に組織された福祉団体です。住民の福祉向上を目的として、調査、総合的企画、連絡・調整、普及・宣伝、人材開発・研修、事業の企画・実施を行います。

住宅改修費

生活環境を整えるための手すりの取り付けや段差の解消等の小規模な改修に対して、上限20万円のうちの9割から7割分が支給されるサービスをいいます。

主任介護支援専門員

2006年度から創設された一定年数以上のケアマネジャー実務経験と所定の研修修了、能力評価により資格付与される職種です。

小規模多機能型居宅介護

「通い」を中心として、利用者の状況や希望などに応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせて、食事・入浴などの介護や機能訓練などを行うサービスをいいます。

シルバークラブ

一般に60歳以上の方が、地域において教養の向上や健康の増進、社会奉仕活動を行う親睦団体をいいます。

シルバー人材センター

60 歳以上の方が自立的に運営する公益法人で、健康で働く意欲のある方が会員となり、それぞれの能力や希望に応じて臨時的・短期的な仕事を供給します。

スキルアップ

訓練して身に付けた技能を向上させることをいいます。

成年後見制度

家庭裁判所の手続きを通じて、成年後見人や保佐人等が、認知症高齢者等の判断能力が十分でない人を保護するため、その人の身の回りに配慮した財産管理等を行う制度をいいます。

た 行

第 1 号被保険者

市町村の区域内に住所を有する 65 歳以上の方をいいます。

第 2 号被保険者

市町村の区域内に住所を有する 40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者をいいます。

団塊ジュニア世代

第二次ベビーブームに生まれた人たちのことで、1971 年から 1974 年までに生まれた世代のことをいいます。

団塊の世代

第 2 次世界大戦後の第 1 次ベビーブームに生まれた人たちのことで、概ね 1947 年から数年の間に生まれた世代のことをいいます。

短期入所生活介護（ショートステイ）・短期入所療養介護（医療型ショートステイ）

特別養護老人ホーム等の施設に短期間入所できるサービスをいいます。介護保険法では、特別養護老人ホーム等で行うものを「短期入所生活介護」、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等で行うものを「短期入所療養介護」と区分しています。

地域支援事業

地域支援事業とは、介護保険法の改正によって 2006 年度に創設された事業です。高齢者が「要介護・要支援状態」になることを予防するとともに、「要介護・要支援状態」になっても住み慣れた身近な地域で自立した日常生活を継続できるよう支援します。地域支援事業の実施主体は、市町村であり、事業内容は①介護予防・日常生活支援総合事業、②包括的支援事業、③任意事業に大別されます。

地域包括ケア

医療や家族との関係など、介護以外の問題にも対処しながら、介護サービスを提供するために、介護保険のサービスを中核としつつ、保健・福祉・医療の専門職の相互の連携、さらにはボランティアなどの住民活動も含めた連携によって、地域の様々な資源を統合した包括的なケア（地域包括ケア）を提供することをいいます。また、これらの「人的支援」からなる組織体を地域包括ケアネットワーク（地域包括支援ネットワーク）といいます。

地域包括支援センター

地域の高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活安定のために必要な援助、支援を包括的に行う拠点となる機関です。地域包括支援センターは、次の 3 つの基本機能を担う業務を行います。①介護予防事業及び介護保険法に基づく予防給付に関する介護予防ケアマネジメント業務。②多様なネットワークを活用した地域の高齢者の実態把握や虐待への対応などを含む総合的な相談支援業務及び権利擁護業務。③高齢者の状態の変化に対応した長期継続的なケアマネジメントの後方支援を行う包括的・継続的ケアマネジメント支援業務。なお、地域包括支援センターの設置者は、市町村又は市町村から委託を受けた者となっています。

地域密着型サービス

介護保険制度の改正により、高齢者が要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにする観点から、2006 年度に創設された介護保険サービスをいいます。原則として日常生活圏域内でサービスの利用及び提供が完結するサービスを新たに類型化するものであり、市町村が事業者の指定及び指導・監督を行うこととなります。

通所介護（デイサービス）

自宅から施設に通い、食事・入浴などの日常生活上の介護や日常動作訓練、レクリエーションなどを行うサービスをいいます。

通所リハビリテーション（デイケア）

自宅から施設に通い、食事・入浴などの日常生活上の介護や日常生活行為向上のためのリハビリテーションなどを行うサービスをいいます。

特定施設入居者生活介護

特定施設（有料老人ホーム、ケアハウス等）に入居している人が、特定施設サービス計画に基づいて、食事・入浴・排泄などの日常生活上の世話や機能訓練等を受けるサービスをいいます。

な 行

日常生活動作

身辺動作（食事、排せつ、入浴など）や移動動作といった、自立して生活するために必要な基本的動作のことです。ADL（Activities of Daily Living）ともいいます。

認知症

脳や身体の疾患を原因として、記憶・認識・判断・学習などの知的機能が低下し、自立した生活に支障が生じる状態をいいます。

認知症サポーター

認知症のことを正しく理解して、偏見を持たず認知症の人やその介護家族を温かく支援することを目的に、「認知症サポーター養成講座」を受講した人のことです。

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

要介護者等であって認知症の状態にある人で、寝たきりでなく、少人数による共同生活を営むことに支障がない人が、少人数で介護スタッフとともに共同生活を行い、食事・入浴・排泄などの日常生活の支援や機能訓練を受けるサービスをいいます。

認知症対応型通所介護

認知症の人が自宅から事業所に通い、食事・入浴などの日常生活上の介護や日常動作訓練、レクリエーションなどを行うサービスをいいます。

は 行

福祉用具
要介護者等の日常生活の便宜を図るための用具及び要介護者等の機能訓練のための用具をいいます。

訪問介護
ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や家事援助等をしてくれるサービスをいいます。

訪問看護
看護師が自宅を訪問して、医師の指示のもとに療養上の世話や必要な診療の補助を行うサービスをいいます。

訪問入浴介護
自宅での入浴が困難な場合などに、介護職員や看護師が自宅に訪問し、簡易浴槽を用いて入浴介助を行うサービスをいいます。

訪問リハビリテーション
自宅での生活能力を向上させるため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が自宅を訪問してリハビリテーションなどを行うサービスをいいます。

ま 行

民生委員
社会奉仕の精神を持って市民からの相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めることを任務としています。市町村・特別区に置かれ、任期は３年、厚生労働大臣が委嘱します。

や 行

ユニバーサルデザイン
障害の有無や年齢・性別・能力を問わない、すべての人のための製品・環境・空間・建築などのデザインをいいます。

要介護状態

介護保険制度において、介護給付（要介護１～５）の対象となる状態をいいます。

要介護（支援）認定

被保険者や家族等の申請に対し、介護認定審査会が訪問調査の結果及びかかりつけ医の意見書に基づき、要介護状態・要支援状態・自立の判定を行います。

養護老人ホーム

老人福祉法に基づき設置される老人福祉施設の一つです。65 歳以上で、心身機能の衰えなどのため日常生活に支障があったり、環境上の事情や経済的事情で、家庭での生活が困難な高齢者が入所できます。

ら 行

リハビリテーション

心身の機能や生活に支障が生じた際、機能回復や社会復帰をするための機能回復訓練をいいます。

5　日常生活圏域別地名一覧

日常生活圏域	地名
筑波	筑波、上大島、国松、沼田、臼井、神郡、漆所、大貫、杉木、上菅間、中菅間、洞下、高野原新田、磯部、池田、明石、田中、小沢、北条、小泉、泉、平沢、山口、小和田、小田、大形、下大島、北太田、君島、山木、水守、作谷、寺具、安食、田水山、和台原
大穂	佐、若森、大曽根、鹿島台、玉取、前野、長高野、大砂、西高野、吉沼、篠崎、蓮沼、花畑１丁目、花畑２丁目、花畑３丁目、要、筑穂１丁目、筑穂２丁目、筑穂３丁目
豊里	沼崎、今鹿島、上里、田倉、上郷、手子生、木俣、野畑、高野、百家、酒丸、土田、東光台１丁目、東光台２丁目、東光台３丁目、東光台４丁目、東光台５丁目、中原新田、遠東、豊里の杜１丁目、豊里の杜２丁目
桜	栗原、上野、上境、柴崎、東岡、金田、中根、栄、松栄、松塚、横町、大、古来、吉瀬、花室、上ノ室、妻木、桜１丁目、桜２丁目、桜３丁目、春風台、さくらの森、流星台、東新井、谷田部、倉掛、吾妻４丁目、竹園１丁目、竹園２丁目、竹園３丁目、千現１丁目、千現２丁目、花園、上広岡、下広岡、大角豆、並木２丁目、並木３丁目、並木４丁目、天久保１丁目、天久保２丁目、天久保３丁目、天久保４丁目、吾妻１丁目、吾妻２丁目、吾妻３丁目、蓮沼の一部
谷田部東	葛城根崎、苅間、原、西大橋、西岡、島、西郷、小野崎、西大沼、松代１丁目、松代２丁目、松代３丁目、松代４丁目、松代５丁目、手代木、研究学園７丁目、学園南１丁目、学園南２丁目、学園南３丁目、二の宮１丁目、二の宮２丁目、二の宮３丁目、二の宮４丁目、松野木、上原、小野川、中内、榎戸、北中妻、南中妻、館野、東１丁目、東２丁目、稲荷前、赤塚、下原、梶内、新牧田、稲岡、北中島、市之台、下横場、高野台２丁目、高野台３丁目、鷹野原、梅園２丁目、西平塚、東平塚、下平塚、春日１丁目、春日２丁目、春日３丁目、春日４丁目、学園の森３丁目、研究学園６丁目、学園の森１丁目、学園の森２丁目、研究学園２丁目、研究学園３丁目、研究学園４丁目、研究学園５丁目、高須賀の一部、東新井の一部、上横場の一部、
谷田部西	島名、大白硲、小白硲、平、柳橋、新井、山中、上横場、今泉、谷田部、飯田、古館、境松、境田、緑が丘、東丸山、羽成、観音台１丁目、台町１丁目、台町２丁目、台町３丁目、面野井、高田、鬼ケ窪、上河原崎、下河原崎、中別府、下別府、高須賀、高良田、鍋沼新田、真瀬、水堀、上河原崎下河原崎入会地、上萱丸、下萱丸、中野、花島新田、西栗山、片田、根崎、みどりの１丁目、みどりの２丁目、みどりの中央、みどりの東、みどりの南、榎戸の一部、下横場の一部
茎崎	小茎、下岩崎、上岩崎、房内、高崎、天宝喜、宝陽台、桜ケ丘、森の里、あしび野、高見原１丁目、富士見台、自由ケ丘、梅ケ丘、駒込、小山、茎崎、大舟戸、細見、泊崎、九万坪、六斗、若栗、菅間、樋の沢、大井、牧園、城山、若葉、高見原２丁目、高見原３丁目、高見原４丁目、高見原５丁目、明神、稲荷原、中山、西大井、池向

つくば市高齢者福祉計画（第８期）

令和３年度（2021 年度）～令和５年度（2023 年度）

発　　行／つくば市
発　行　年　月／令和３年（2021 年）３月
住　　所／茨城県つくば市研究学園一丁目１番地１
電　　話／029-883-1111（代表）
編　　集／保健福祉部高齢福祉課
市ホームページ／http://www.city.tsukuba.lg.jp

その他

◇第７期つくば市高齢者福祉計画を基に整備された施設の状況

第７期で整備した施設は以下のとおりです。

① 地域密着型特別養護老人ホーム（谷田部東圏域）
施設名称　　はなみずきサテライト
所在地　　つくば市下原 338-1
設置主体　　社会福祉法人　筑竜会
入所定員　　29 名
開設年月日　令和２年 12 月 1 日

② 地域密着型特別養護老人ホーム（桜圏域）
施設名称　　桜華
所在地　　つくば市柴崎 79-2
設置主体　　社会福祉法人　千羽鶴
入所定員　　29 名（短期入所生活介護 10 名定員併設）
開設年月日　令和３年２月１日予定

③ 介護付き有料老人ホーム
施設名称　　サンシャインつくばリゾート
所在地　　つくば市手代木 1932
設置主体　　医療法人社團　みなみつくば會
入所定員　　50 名
開設年月日　令和３年３月 31 日予定

◇今後のスケジュール

令和３年３月　　パブリックコメント結果の公表
介護保険料の決定（議会承認）
計画の公表

別紙

【送付先】

つくば市役所高齢福祉課　計画・施設係　大津、菊池行

電話番号　　029-883-1111(代表)

ＦＡＸ番号　　029-868-7534

メール　　wef030@city.tsukuba.lg.jp

送付日　　年　　月　　日

委員名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

つくば市高齢者福祉計画（第８期）（最終案)の内容について（回答）

件名について、承認いただける場合は〇印を記載してください。なお、御意見・御感想がある場合は下欄に資料番号とページ数、内容を御記入ください。

記

最終案として 承認します		左欄に〇印を記載してください

議題番号・資料番号 ページ数	御意見の主な内容

※11 月 24 日付けで送付しましたパブリックコメント公表書類一式に加え、資料２及び資料３にて追加修正した内容が最終案となります。